

# 川崎市子ども・若者調査 報告書

令和3年3月

川 崎 市



## 目次

### 第1章 調査の概要

(1) 調査の目的	1
(2) 調査の実施方法等	1
(3) 調査項目	1
(4) 調査票の回収状況	2
(5) 集計の視点	3
(6) 調査結果の見方・留意点	3

### 第2章 未就学の子を持つ保護者に関する調査結果

第1節 保護者（世帯）の属性及び状況	5
(1) 世帯の属性	5
(2) 世帯の状況	13
(3) 保護者の最終学歴・就労状況	17
第2節 経済的困難の状況	24
(1) 世帯の所得状況	24
(2) 世帯の家計状況	27
(3) 暮らしの状況	42
(4) 各支援制度の利用状況	45
第3節 保護者の状況	46
(1) 保護者の精神状態や考え方	46
(2) 保護者の悩みごと	59
(3) 保護者の相談相手の有無等	67
第4節 子育ての状況	77
(1) 保育所・幼稚園等の利用状況	77
(2) 保育所や幼稚園等を利用していない子どもの日中の過ごし方	82
(3) 保育所・幼稚園等に関する情報の入手状況	86
(4) 子育てに関する情報の入手状況	94
(5) 保護者と子どもとの関わり	96

### 第3章 小学生・中学生の子を持つ保護者に関する調査結果

第1節 保護者（世帯）の属性及び状況	101
(1) 世帯の属性	101
(2) 世帯の状況	108
(3) 保護者の最終学歴・就労状況	112
第2節 経済的困難の状況	123
(1) 世帯の所得状況	123
(2) 世帯の家計状況	129
(3) 暮らしの状況	166
(4) 各支援制度の利用状況	171

<b>第3節 保護者の状況</b> .....	174
(1) 保護者の精神状態や考え方.....	174
(2) 保護者の悩みごと.....	199
(3) 保護者の相談相手の有無等.....	208
<b>第4節 子育ての状況</b> .....	225
(1) 保護者と子どもとの関わり.....	225
(2) 子どもに対する将来展望.....	283
(3) 保護者から見た子どもの状況.....	306

## 第4章 小学生・中学生に関する調査結果

<b>第1節 子どもの属性</b> .....	339
(1) 子どもの属性.....	339
<b>第2節 子どもの日常生活</b> .....	340
(1) 基本的な生活習慣.....	340
(2) 子どもの居場所.....	353
(3) 相談相手の有無.....	374
(4) スマートフォン等情報機器の利用状況等.....	377
<b>第3節 子どもの学校生活</b> .....	382
(1) 学習状況.....	382
(2) 課外活動の状況.....	398
<b>第4節 子どもの状況</b> .....	402
(1) 子どもの精神状態や考え方.....	402
(2) 将来展望.....	436

## 第5章 若者向けアンケートの結果

<b>第1節 若者の属性</b> .....	449
(1) 若者の属性.....	449
<b>第2節 若者の生活</b> .....	455
(1) 直近1年間の学校や職場以外での地域活動やボランティア活動等.....	455
(2) 学校や職場などでの部活動やグループ・団体活動等.....	458
(3) 自由な時間.....	463
(4) スマートフォン等情報機器の利用状況等.....	469
<b>第3節 若者の意識等</b> .....	479
(1) 現在の関心ごと.....	479
(2) 経済的な生活状況.....	481
(3) 進学に関する希望.....	485
(4) 仕事を選ぶ際に重要だと思うこと.....	487
(5) 将来に対する考え方や自己肯定感など.....	495
(6) 理想とする生き方.....	502
(7) つらい経験.....	504

(8) 精神状態	510
(9) 相談相手の有無	514
(10) 「いらいらする」「むかつく」こと	516
(11) 現在の幸福感	519
<b>第4節 青少年関連施設等</b>	522
(1) 青少年関連施設	522
(2) 居場所	527
<b>第5節 その他</b>	531
(1) 新型コロナウイルス感染症で困っていること	531
(2) 自由回答	533

## 資料 使用した調査票

(1) 0～6歳の子を持つ親	535
(2) 小学2年生・小学5年生の子を持つ親	555
(3) 小学5年生の子ども	575
(4) 中学2年生の子を持つ親	583
(5) 中学2年生の子ども	602
(6) 16～30歳の子ども・若者	613



# 第 1 章 調査の概要





# 第 1 章調査の概要

## (1) 調査の目的

川崎市の子ども・若者や子育て家庭を対象に、生活状況や生活意識、行政に対する意識等についての調査を多面的に調査することにより、「第2期川崎市子ども・若者の未来応援プラン」策定（令和3年度予定）の際の基礎資料とすることを目的としている。

## (2) 調査の実施方法等

### ア 調査対象者、対象者数、配布方法等

区分	調査対象	対象者数	配布方法	回収方法
調査Ⅰ	0～6歳の子を持つ親	3,000 人	郵送	郵送
調査Ⅱ	小学2年生の子を持つ親	3,295 人	学校配布	学校回収
	小学5年生の子ども	3,105 人	学校配布	学校回収
	小学5年生の子を持つ親	3,105 人	学校配布	学校回収
	中学2年生の子ども	3,482 人	学校配布	学校回収
	中学2年生の子を持つ親	3,482 人	学校配布	学校回収
調査Ⅲ	16～30歳の子ども・若者	3,000 人	郵送	WEB回答

※ 調査Ⅰ及び調査Ⅲの対象者については、令和2年10月15日時点の川崎市住民基本台帳から無作為抽出した。

※ 調査Ⅱの対象者については、区ごとに在籍数等を勘案し、無作為抽出した学校の対象学年（小学2年生、小学5年生及び中学2年生）の全学級に配布した。

※ 調査Ⅱのうち、子ども本人も対象としている調査については、親と子は同一世帯を対象とした。

### イ 調査期間

令和2年11月16日から令和2年12月7日

## (3) 調査項目

### ア 保護者に対する調査項目 ※調査Ⅰ・Ⅱ

#### ① 基本情報

世帯人員、居住区・年数、生活状況、学歴、就労・所得状況など

#### ② 利用施設、子育て情報 ※調査Ⅰのみ

日中の預け先、利用している子育てサービス、子育て情報など

#### ③ 子どもの日常生活・学校生活

子どもの生活習慣、放課後の過ごし方など

#### ④ 子どもとの関わり方や子どもの将来展望

子どもとの関わり方、希望する学歴（調査Ⅱのみ）、希望する働き方（調査Ⅱのみ）など

#### ⑤ 子育てに関する悩みや現在の気持ち

生活費や子どもの発達、将来等に関する悩み、保護者の精神状態など

#### ⑥ 新型コロナウイルスによる影響

新型コロナウイルス感染前後の子ども及び保護者の状況

## イ 子ども（小5・中2）に対する調査項目 ※調査Ⅱ

### ① 基本情報

性別、居住区

### ② 日常生活・学校生活

生活習慣、学習習慣、放課後の過ごし方（居場所、部活動等の有無）、インターネット利用状況（中2のみ）など

### ③ 将来展望や現在の気持ち

希望する学歴、将来の夢、精神状態など

### ④ 新型コロナウイルスによる影響

学校休校時の過ごし方

## ウ 子ども・若者（16～30歳）に対する調査項目 ※調査Ⅲ

### ① 基本情報

性別、居住区、学歴・所属

### ② 日常生活等

地域活動等への参加状況、スマートフォン等の利用状況、生活状況など

### ③ 将来展望や現在の気持ち

希望する学歴、理想とする生き方や職業観、自己肯定感や現在の関心ごと、過去の経験、悩みごとの相談先、精神状態など

### ④ その他

施設の利用状況、「居場所」の有無、新型コロナウイルス感染による影響など

## （４）調査票の回収状況

有効回答数、有効回答率は以下のとおりである。

区分	調査対象	配布数	有効回答数	有効回答率
調査Ⅰ	0～6歳の子を持つ親	3,000 人	2,223 人	74.1%
調査Ⅲ	16～30歳の子ども・若者	3,000 人	1,184 人	39.5%

区分	調査対象	配布数	有効回答数	マッチング人数 (マッチング率)
			有効回答率	
調査Ⅱ	小学2年生の子を持つ親	3,295 人	2,839 人	
			86.2%	
	小学5年生の子ども	3,105 人	2,638 人	2,615 人 (84.2%)
			85.0%	
	小学5年生の子を持つ親	3,105 人	2,633 人	
			84.8%	
中学2年生の子ども	3,482 人	2,811 人	2,800 人 (80.4%)	
		80.7%		
中学2年生の子を持つ親	3,482 人	2,825 人		
		81.1%		

## (5) 集計の視点

### ア 所得分類の考え方

本報告書では、世帯の年間所得合計額（いわゆる可処分所得<sup>1</sup>）について、平成30年度国民生活基礎調査による等価可処分所得<sup>2</sup>の中央値（254万円）及び貧困線<sup>3</sup>（127万円）を基準に、貧困線未満の等価可処分所得の世帯を「分類Ⅰ」、貧困線以上等価可処分所得の中央値未満の世帯を「分類Ⅱ」、中央値以上の等価可処分所得の世帯を「分類Ⅲ」の3つの区分に分類した。

なお、本調査における等価可処分所得の算出にあたっては、選択肢の金額に幅があるため、選択肢の中央値を平均値とし、1,000万円以上と回答したものは一律「1,000万円」として計算した<sup>4</sup>。（例えば、世帯人員が4人で、本調査で回答した年間所得合計額が「500万円～550万円未満」の場合、等価可処分所得は「262.5万円」であり、「分類Ⅲ」に該当する。）

#### ●平成30年度国民生活基礎調査に基づいた所得分類

分類Ⅰ (貧困線未満)	分類Ⅱ (貧困線以上中央値未満)	分類Ⅲ (中央値以上)
127万円未満	127万円以上254万円未満	254万円以上

## (6) 調査結果の見方・留意点

- ① 図表中の「n」（number of case の略）は各設問の回答者数を示し、比率算出の基数である。
- ② 図表中の「MA」（Multiple Answer の略）はあてはまる選択肢すべてに○をつける設問である。
- ③ 図表中の「SA」（Single Answer の略）は最もあてはまる選択肢一つを選んで○をつける設問である。
- ④ 集計は百分率とし、小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答比率を合計しても100.0%にならない場合がある。
- ⑤ 回答の比率（%）は、その設問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- ⑥ クロス集計時に、基数（n）が50未満の場合は、参考値とみなし該当属性に対するコメントは控え、比較対象から除外している場合がある。
- ⑦ クロス集計時に、基数（n）が10未満の場合は、比率が動きやすく分析には適さないため、除外している場合がある。
- ⑧ クロス集計について、分析の軸となる設問の回答の「無回答」は表示していない。また、全体は単純集計の結果から無回答を除いたものを母数としているので、分析軸に表記した回答者数の合計が、全体の件数と一致しないことがある。
- ⑨ 表中の網掛けは全体の数値よりプラスマイナス5ポイント以上の差がある場合に表示しており、濃淡により5ポイント以上と10ポイント以上の差を表している。また、白抜きの数値は、全体の数値よりも5ポイント以上高い場合を表している。

<sup>1</sup> 可処分所得とは、収入から税金・社会保険料等を差し引き、手当等を加えた、いわゆる手取り収入をいう。

<sup>2</sup> 等価可処分所得とは、世帯の可処分所得を世帯人員の平方根で割って調整した所得をいう。

<sup>3</sup> 国民生活基礎調査による貧困線とは、等価可処分所得の中央値の半分の額をいう。貧困線の算出方法は、OECD（経済協力開発機構）の作成基準に基づいている。なお、貧困線を下回る等価可処分所得に該当する者の割合を相対的貧困率という。

<sup>4</sup> 本調査では、アンケート調査票で世帯全体の手取り収入額について、21の選択肢（「50万円未満」から「1,000万円以上」まで。選択肢の幅は50万円単位）を設定し、いずれに該当するかを回答していただいた。設問については、内閣府「令和元年度子供の貧困実態調査に関する研究報告書」記載の共通調査項目である。



## 第2章 未就学の子を持つ保護者に関する 調査結果



## 第2章 未就学の子を持つ保護者に関する調査結果

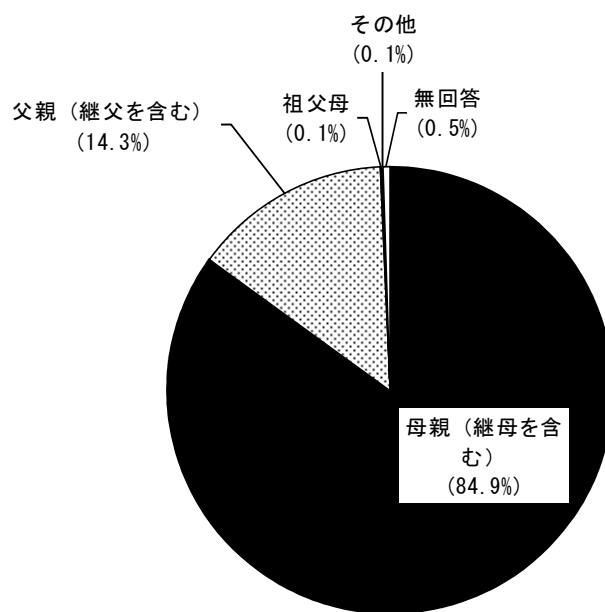
### 第1節 保護者（世帯）の属性及び状況

#### (1) 世帯の属性

##### ア 回答者の属性【問21】(SA)

子どもからみた続柄を聞いたところ、「母親（継母を含む）」が84.9%で最も高く、次いで「父親（継父を含む）」が14.3%、「祖父母」が0.1%となっている。

【図表 2-1】回答者の属性



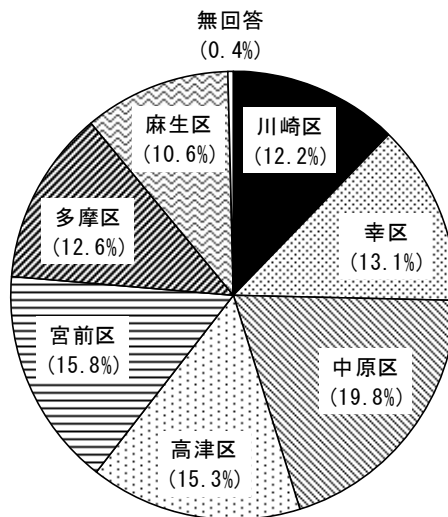
n=2, 223

イ 居住区及び居住年数

① 居住区【問 22】(SA)

居住地区を聞いたところ、「中原区」が 19.8%で最も高く、次いで「宮前区」が 15.8%、「高津区」が 15.3%となっている。

【図表 2-2】居住区



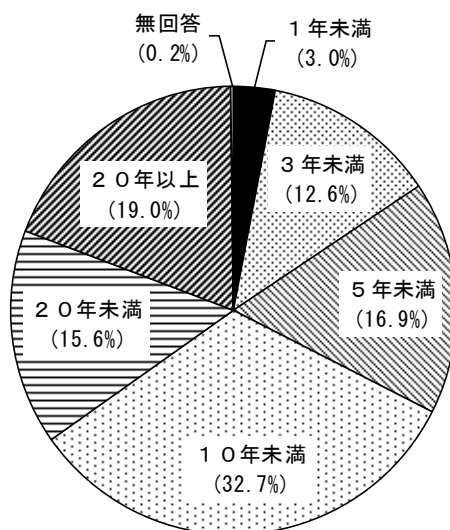
n=2, 223



## ② 居住年数【問 23】(SA)

川崎市の居住年数を聞いたところ、「10年未満」が32.7%で最も高く、次いで「20年以上」が19.0%、「5年未満」が16.9%となっている。

【図表 2-3】居住年数



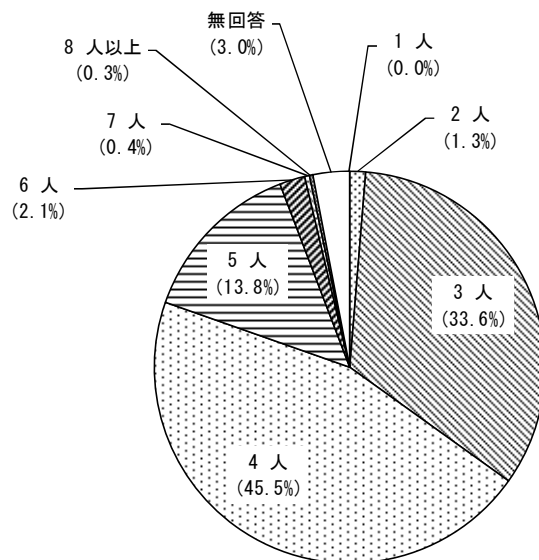
n=2, 223

## ウ 世帯構成

### ① 世帯人員【問 25】(FA)

世帯人員を聞いたところ、「4人」が45.5%で最も高く、次いで「3人」が33.6%、「5人」が13.8%となっている。

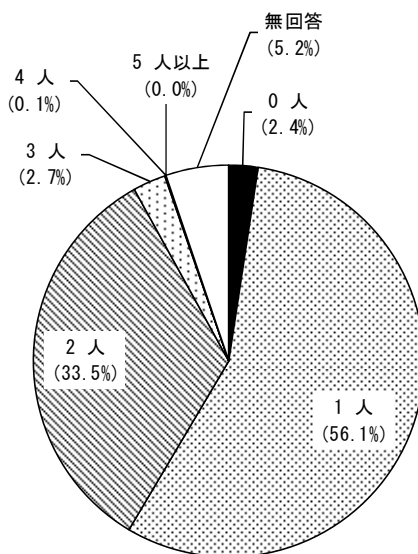
【図表 2-4】 世帯人員



n=2, 223

そのうち子どもの人数を聞いたところ、0～5歳は「1人」が56.1%で最も高く、次いで「2人」が33.5%、「3人」が2.7%となっている。

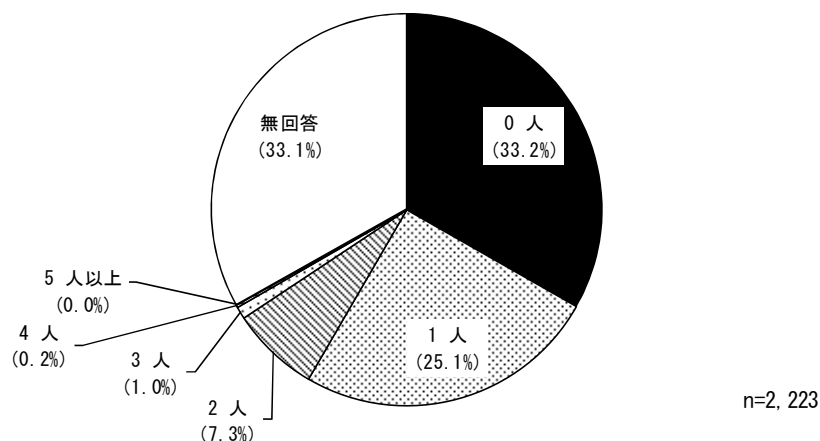
【図表 2-5】 0～5歳の人数



n=2, 223

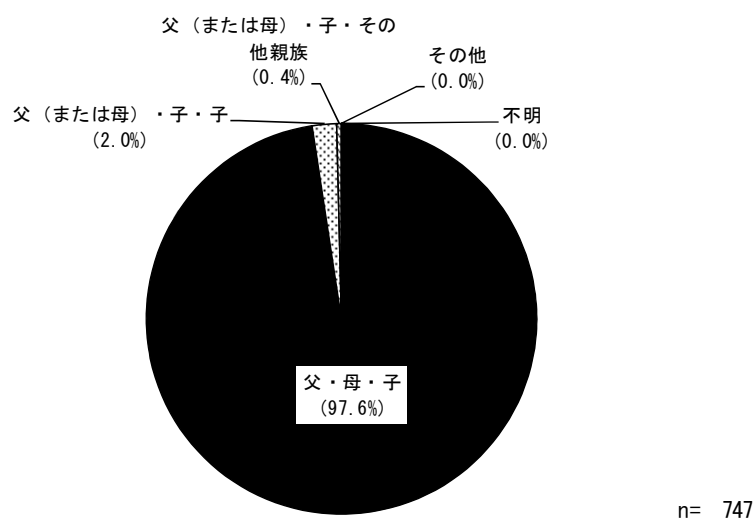
6歳以上は「0人」が33.2%で最も高く、次いで「1人」が25.1%、「2人」が7.3%となっている。

【図表 2-6】 6歳以上の人数



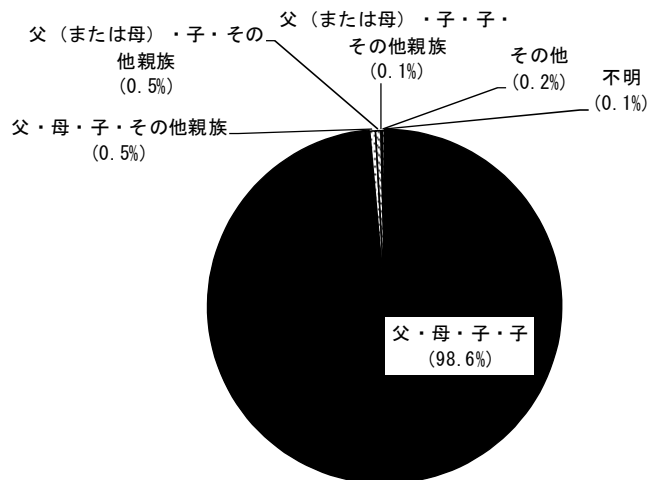
また、世帯の内訳について聞いたところ、3人世帯では「父・母・子」が97.6%で最も高く、次いで「父（または母）・子・子」が2.0%、「父（または母）・子・その他親族」が0.4%となっている。

【図表 2-7】 3人世帯の内訳



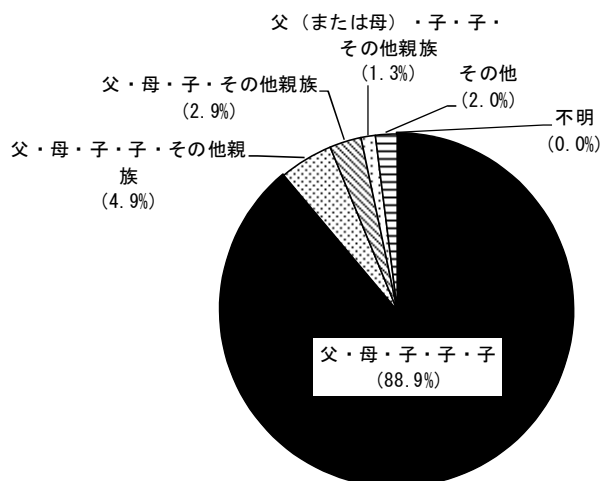
4人世帯では「父・母・子・子」が98.6%が最も高く、次いで「父・母・子・その他親族」が0.5%、「父（または母）・子・その他親族」が0.5%となっている。

【図表 2-8】 4人世帯の内訳



5人世帯では「父・母・子・子・子」が88.9%で最も高く、次いで「父・母・子・子・その他親族」が4.9%、「父・母・子・その他親族」が2.9%となっている。

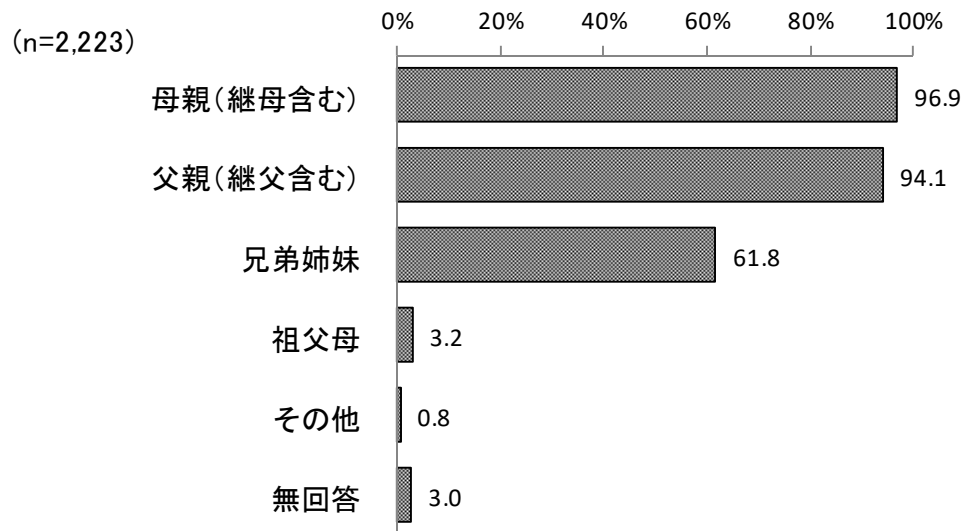
【図表 2-9】 5人世帯の内訳



② 続柄【問26】(MA)

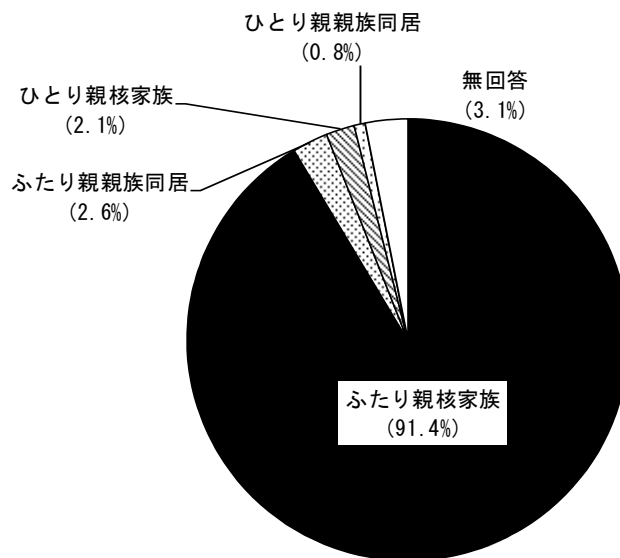
世帯人員で回答した世帯全員の続柄を複数回答で聞いたところ、「母親（継母を含む）」が96.9%で最も高く、次いで「父親（継父を含む）」が94.1%、「兄弟姉妹」が61.8%となっている。

【図表 2-10】続柄（複数回答）



また、世帯全員の続柄の回答から、世帯構成を「ふたり親核家族」、「ふたり親親族同居」、「ひとり親核家族」、「ひとり親親族同居」、「無回答」の5つに分類した。その結果、「ふたり親核家族」(91.4%)が最も高く、次いで「ふたり親親族同居」(2.6%)、「ひとり親核家族」(2.1%)、「ひとり親親族同居」(0.8%)、となっている。なお、「親族同居」については、「祖父母」や「その他」で「(子どもの)叔父や叔母」と回答した世帯を分類している。また、本章にて世帯構成別の分析をする際には、「無回答」を除き、「ふたり親核家族」、「ふたり親親族同居」、n値の小さい「ひとり親核家族」と「ひとり親親族同居」を足し合わせた「ひとり親」の3分類で行う。

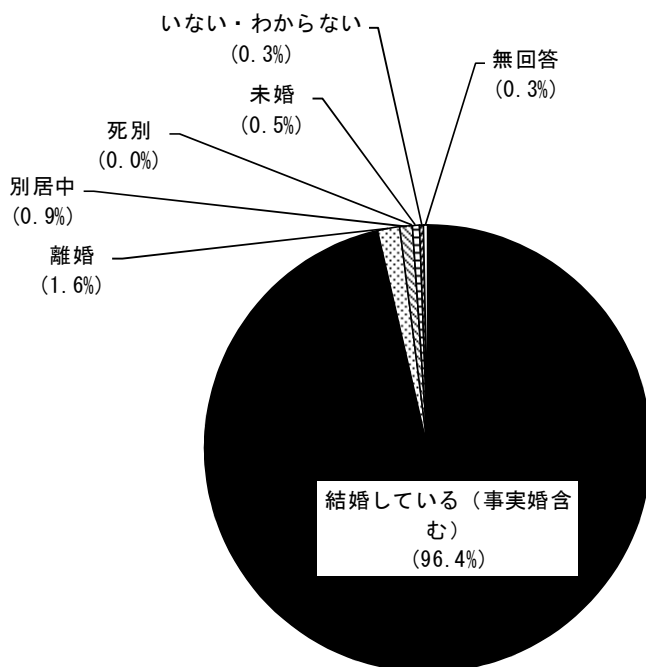
【図表 2-11】世帯構成



### ③ 婚姻状況【問 24】(SA)

保護者の婚姻状況を聞いたところ、「結婚している（事実婚含む）」が96.4%で最も高く、次いで「離婚」が1.6%、「別居中」が0.9%となっている。

【図表 2-12】婚姻状況



n=2, 223

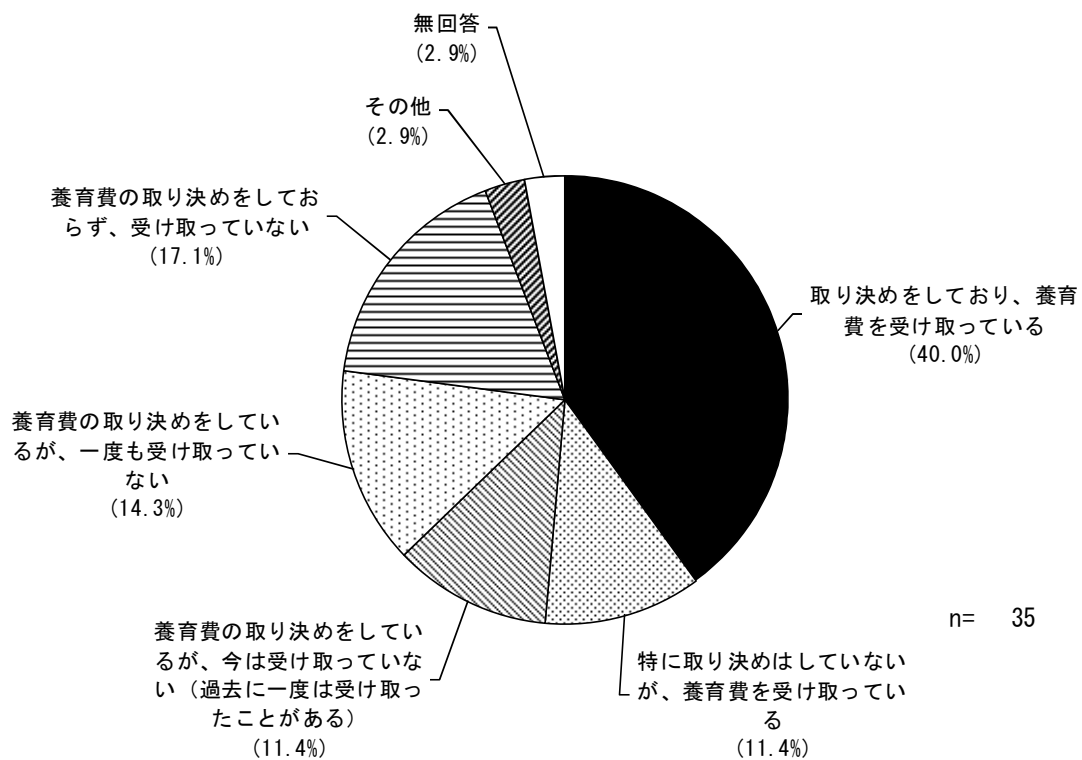
## (2) 世帯の状況

### ア 調査対象となる子どもの養育費の取り決め状況【問 24-2】(SA)

保護者の婚姻状況で「2. 離婚」と回答した方に養育費受取状況を聞いたところ、「取り決めをしており、養育費を受け取っている」が 40.0%で最も高く、次いで「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」が 17.1%、「養育費の取り決めをしているが、一度も受け取っていない」が 14.3%となっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないため参考値とする。

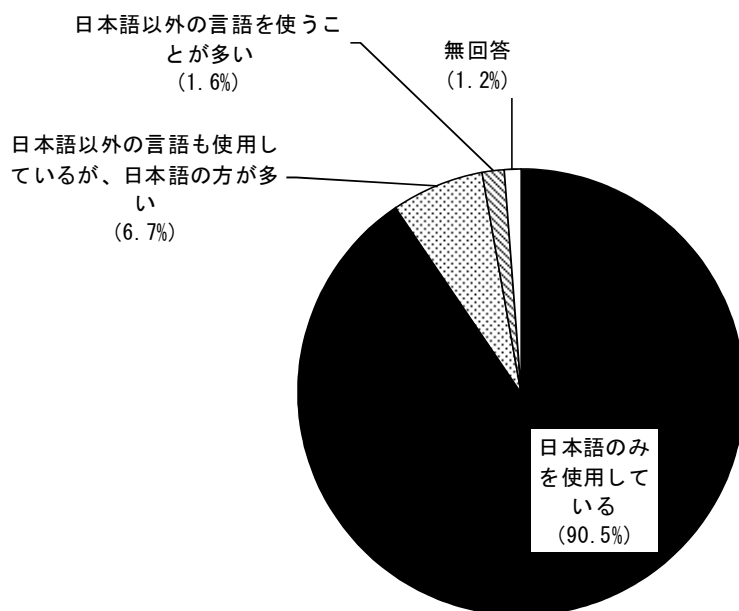
【図表 2-13】 調査対象となる子どもの養育費の取り決め状況



## イ 家庭で使用する言語【問 28】(SA)

家庭で使用している言語を聞いたところ、「日本語のみを使用している」が90.5%で最も高く、次いで「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が6.7%、「日本語以外の言語を使うことが多い」が1.6%となっている。

【図表 2-14】家庭で使用する言語



n=2, 223

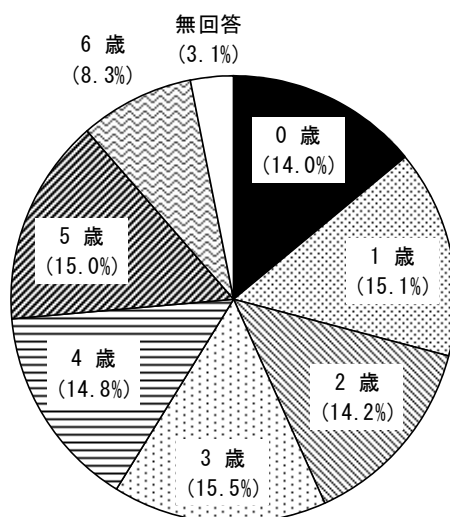


## ウ 調査対象となる子どもの年齢・性別【問 19】(SA)

調査対象となる子どもの年齢は、「3歳」が15.5%で最も高く、次いで「1歳」が15.1%、「5歳」が15.0%となっている。

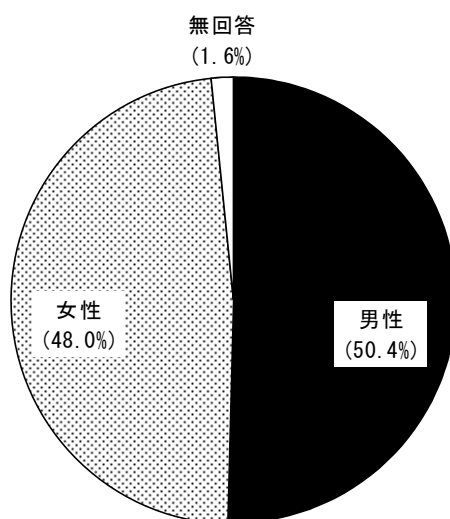
また、子どもの性別を聞いたところ、「男性」が50.4%、女性が48.0%となっている。

【図表 2-15】調査対象となる子どもの年齢



n=2, 223

【図表 2-16】調査対象となる子どもの性別

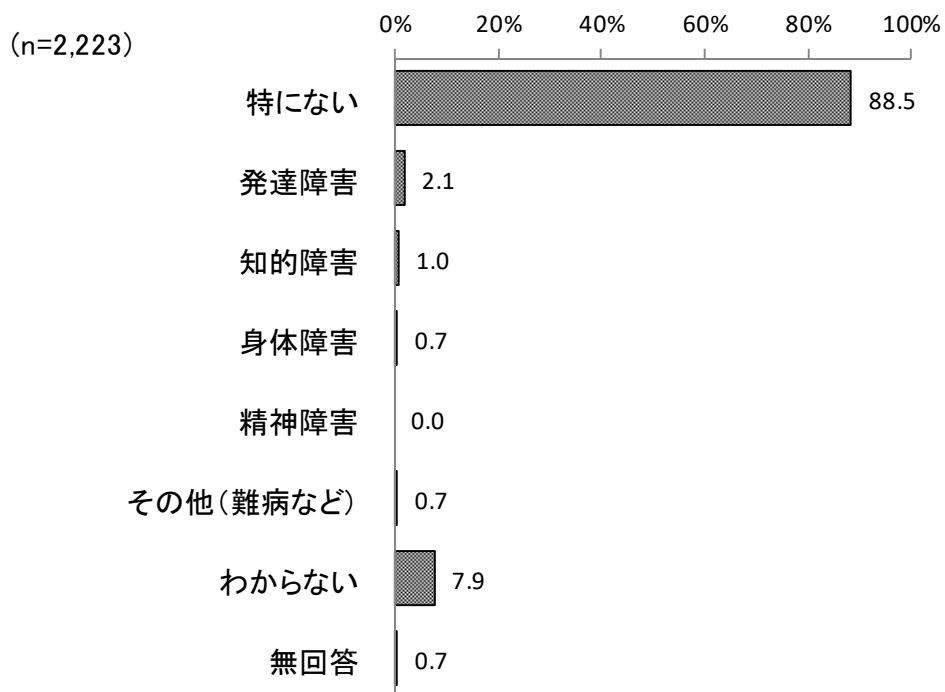


n=2, 223

## エ 調査対象となる子どもの障害の有無【問 20】(MA)

子どもの障害の有無と種類を複数回答で聞いたところ、「特にない」が88.5%で最も高く、次いで「わからない」が7.9%、「発達障害」が2.1%となっている。

【図表 2-17】 調査対象となる子どもの障害の有無（複数回答）

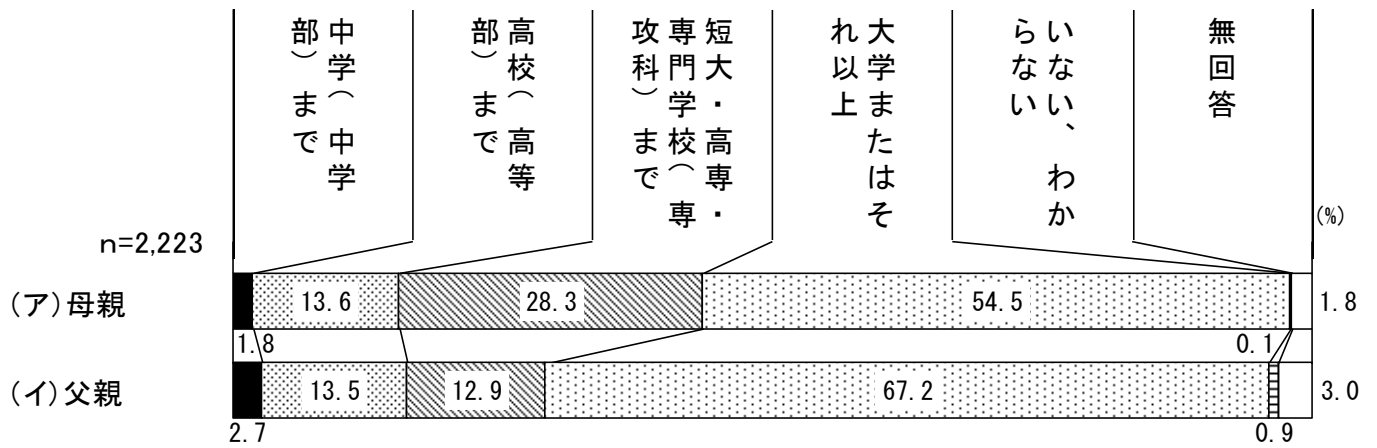


(3) 保護者の最終学歴・就労状況

ア 保護者の最終学歴【問 29】(SA)

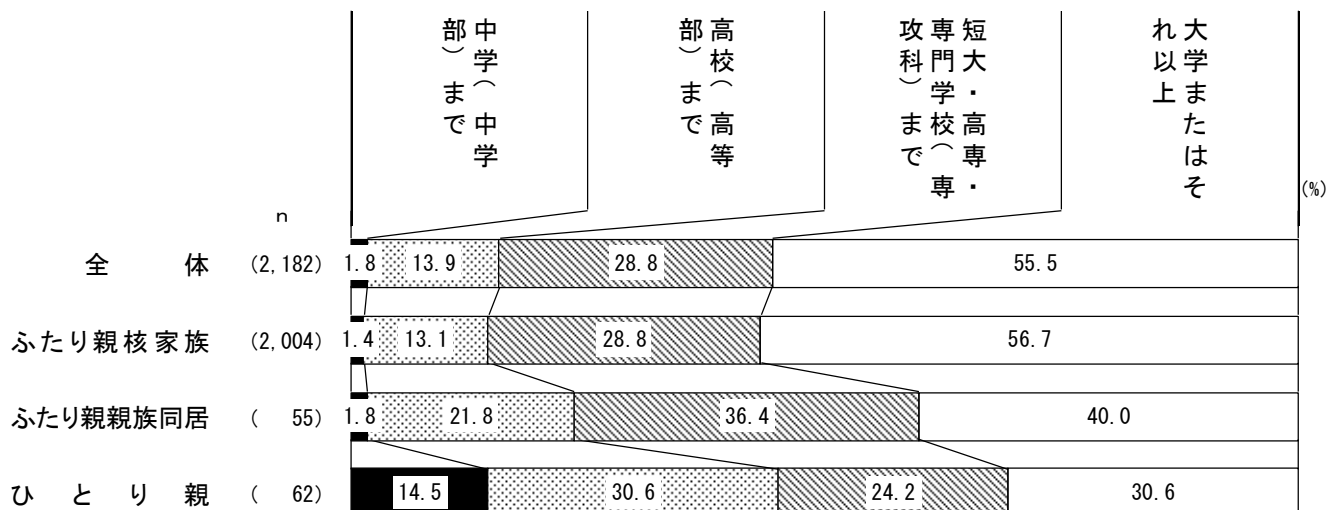
母親・父親の最終学歴を聞いたところ、父母共に「大学またはそれ以上」(母親:54.5%、父親:67.2%)が最も高くなっている。

【図表 2-18】 保護者の最終学歴



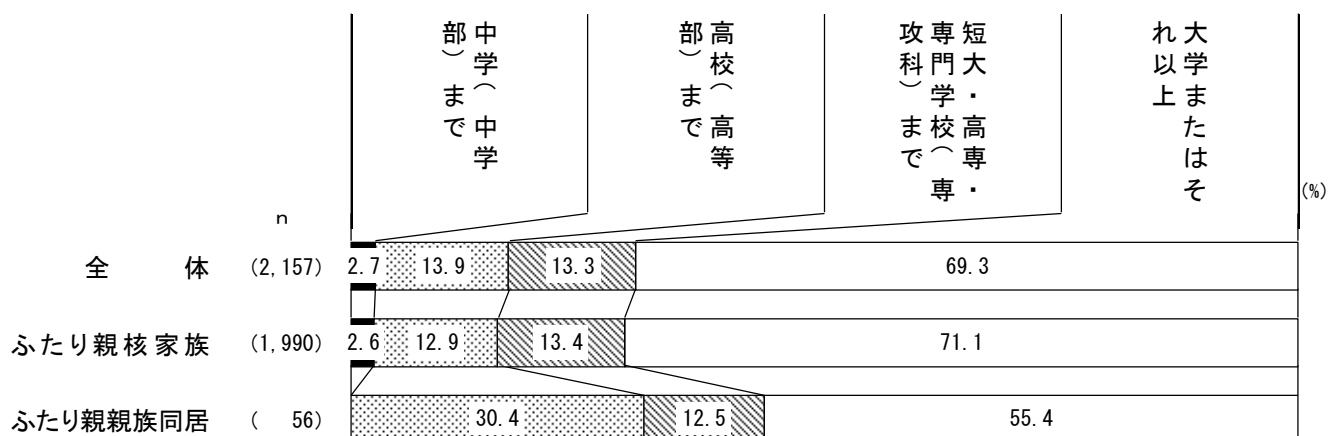
母親の最終学歴を世帯構成別にみると、「大学またはそれ以上」の割合は、『ふたり親核家族』(56.7%)、『ふたり親親族同居』(40.0%)、『ひとり親』(30.6%)の順に高くなっており、すべての世帯で高い割合を占めている。一方で「中学まで」と「高校まで」を足し合わせた割合は、『ひとり親』(45.1%)、『ふたり親親族同居』(23.6%)、『ふたり親核家族』(14.5%)となっており、『ふたり親』に比べて『ひとり親』の割合の方が高くなっている。

【図表 2-19】 母親の最終学歴（世帯構成別）



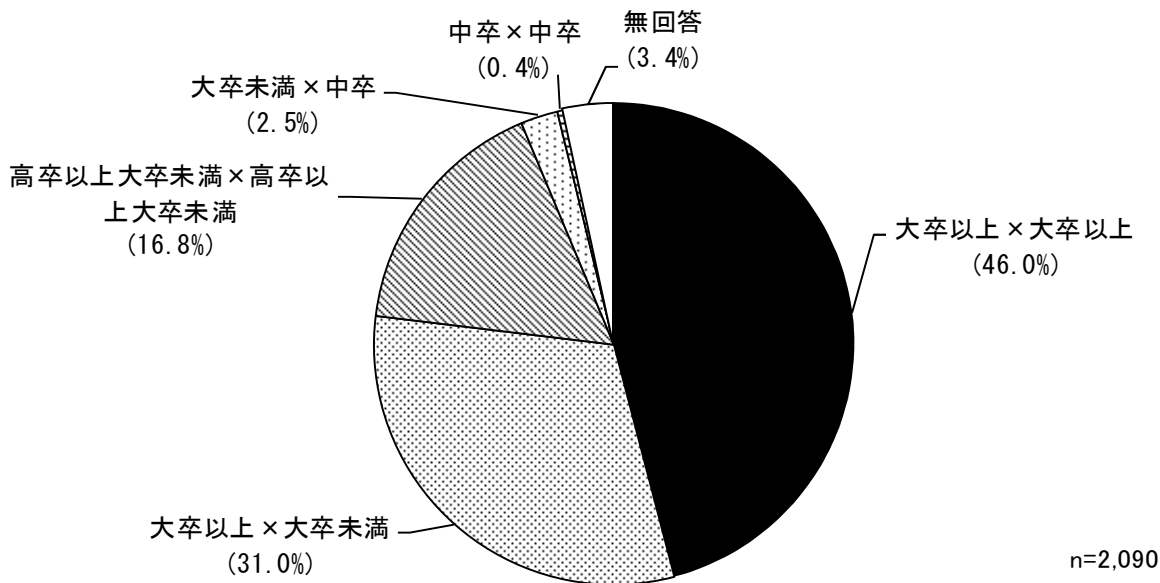
父親の最終学歴を世帯構成別にみると、「大学またはそれ以上」の割合は、『ふたり親核家族』(71.1%)、『ふたり親親族同居』(55.4%)の順に高くなっており、すべての世帯で最も高い割合を占めている。一方で「中学まで」と「高校まで」を足し合わせた割合は、『ふたり親親族同居』(30.4%)、『ふたり親核家族』(15.5%)となっている。(クロス軸「ひとり親」は、サンプル数が10に満たないため除外している。)

【図表 2-20】 父親の最終学歴（世帯構成別）



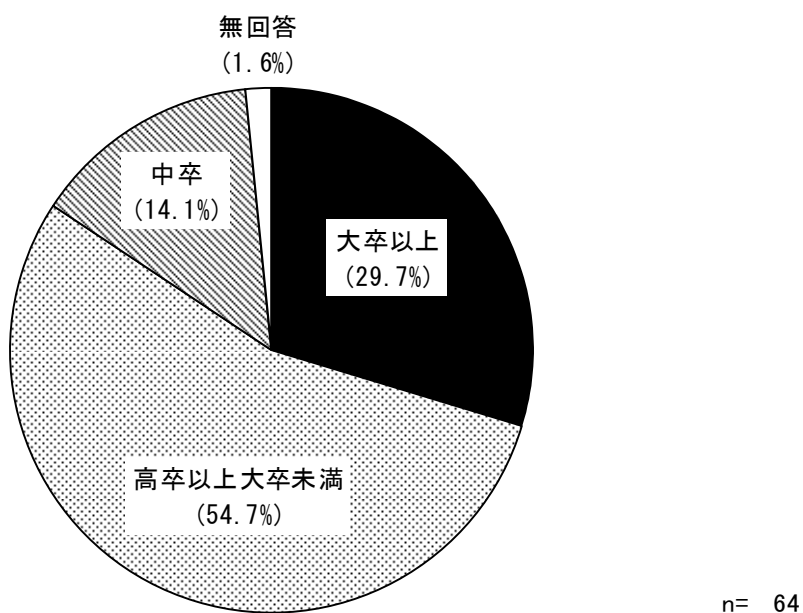
ふたり親世帯の母親と父親の最終学歴の組み合わせをみると、「大卒以上×大卒以上」が46.0%で最も高く、次いで「大卒以上×大卒未満」が31.0%、「高卒以上大卒未満×高卒以上大卒未満」が16.8%となっている。

【図表 2-21】 ふたり親の最終学歴の組合せ



ひとり親世帯の最終学歴をみると、「高卒以上大卒未満」が54.7%で最も高く、次いで「大卒以上」が29.7%、「中卒」が14.1%となっている。

【図表 2-22】 ひとり親の最終学歴

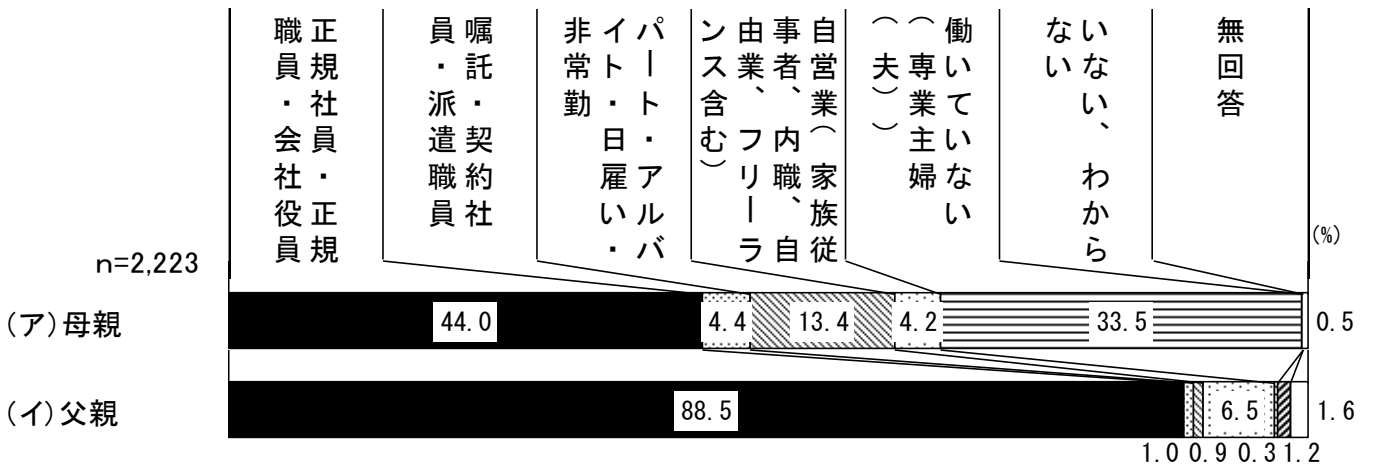


イ 保護者の就労状況

① 就労状況【問 30】(SA)

母親・父親の就労状況を聞いたところ、父母共に「正規社員・正規職員・会社役員」(母親：44.0%、父親：88.5%)が最も高くなっている。また、『母親』については、「働いていない(専業主婦(夫))」の割合が、33.5%となっており、「正規社員・正規職員・会社役員」に次いで2番目に高い割合を占めている。

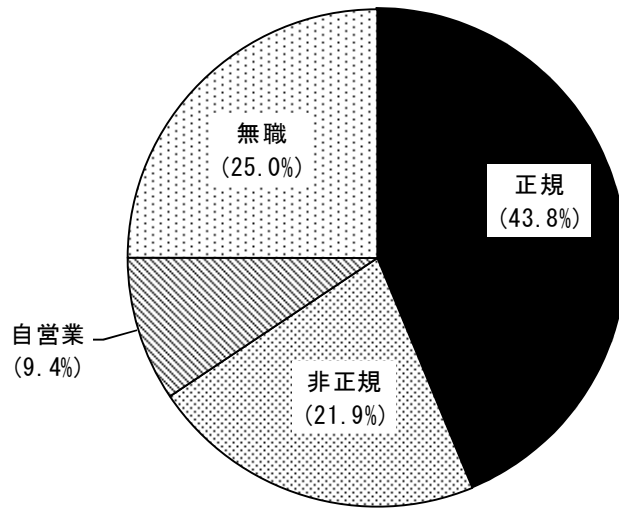
【図表 2-23】保護者の就労状況



ひとり親世帯の就労状況をみると、「正規」が43.8%と最も高くなっており、次いで「無職」が25.0%、「非正規」が21.9%となっている。

なお、サンプル数が50に満たないため参考値とする。

【図表 2-24】ひとり親世帯の就労状況

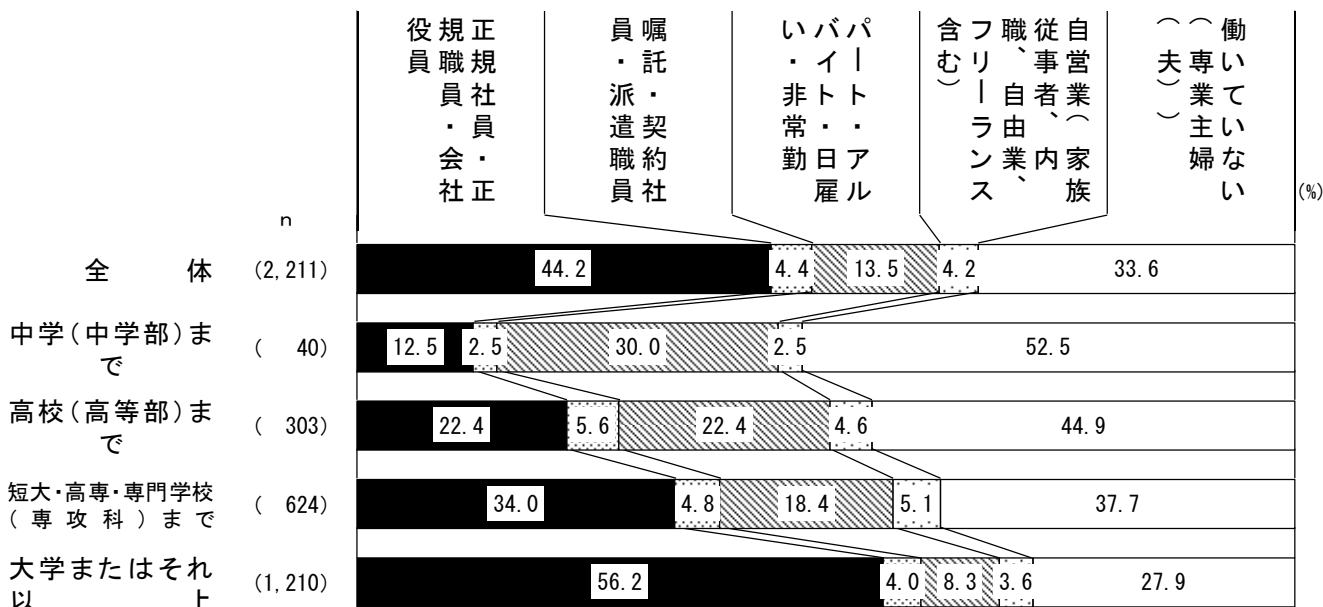


n= 47

母親の就労状況を最終学歴別にみると、「正規社員・正規職員・会社役員」は、『中学（中学部）』までが12.5%、『高校（高等部）』までが22.4%、『短大・高専・専門学校（専攻科）』までが34.0%、『大学またはそれ以上』が56.2%となっており、最終学歴が上がるにつれて割合が高くなっている。

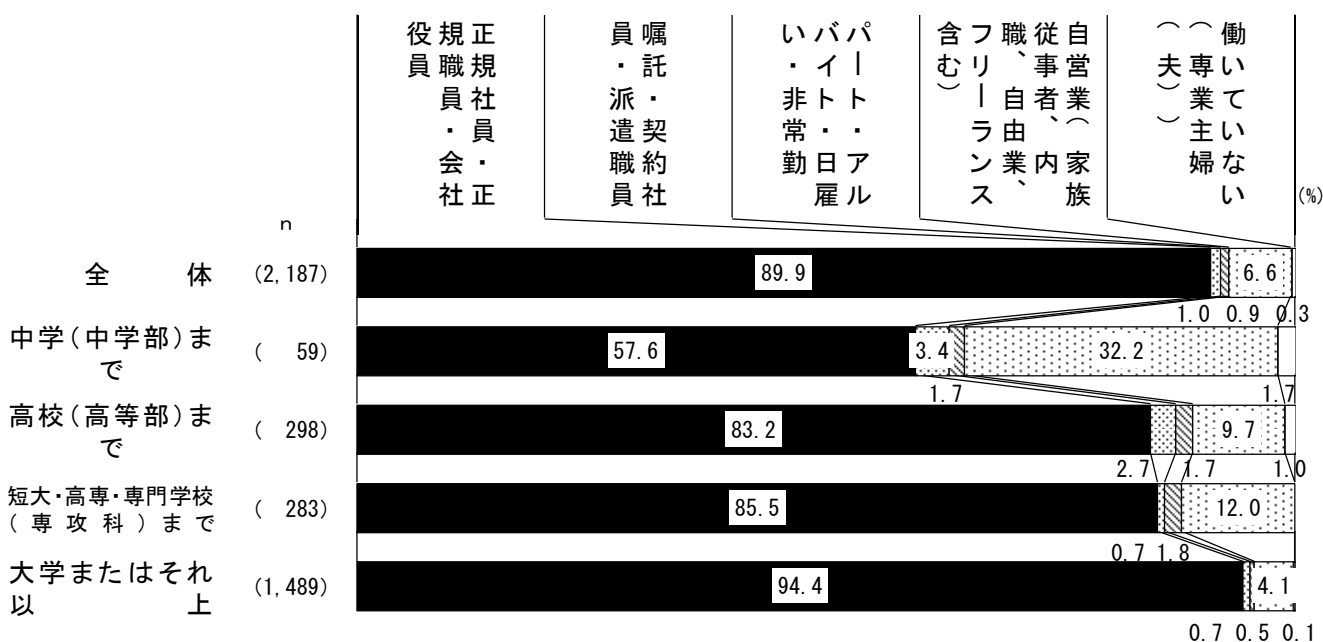
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 2-25】母親の就労状況（最終学歴別）



父親の就労状況を最終学歴別にみると、「自営業（家族従事者、内職、自由業、フリーランス含む）」は『中学（中学部）』までが32.2%となっており、『高校（高等部）』まで以上に比べて割合が高くなっている。

【図表 2-26】父親の就労状況（最終学歴別）



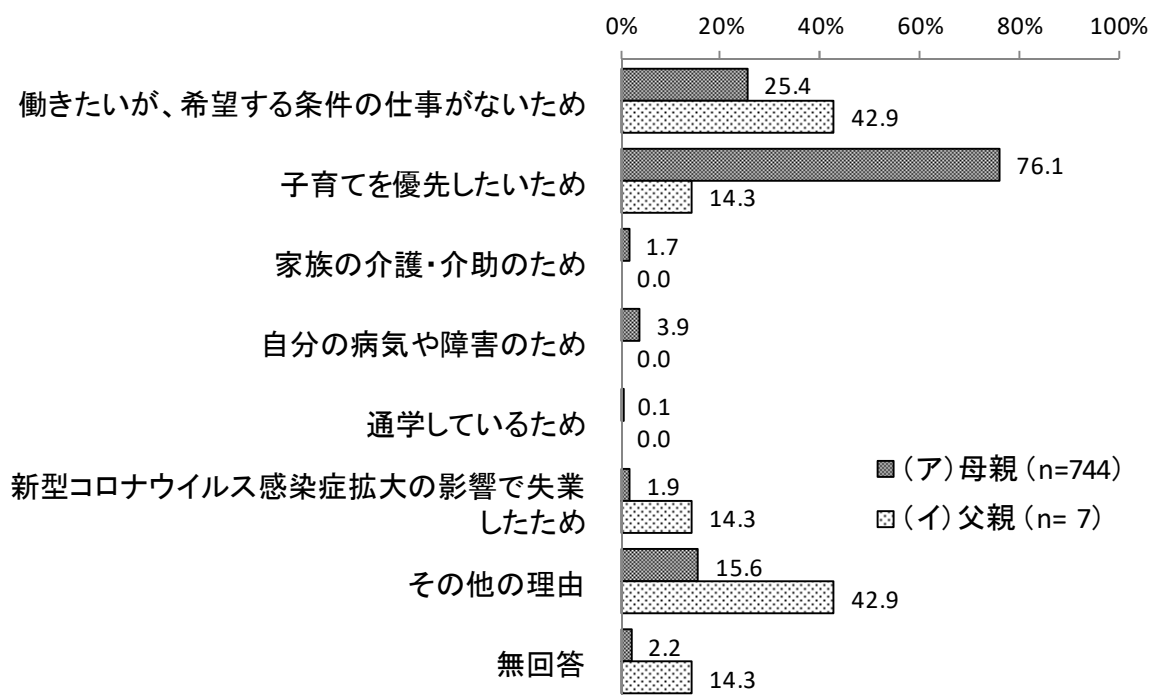


② 働いていない理由【問 30-2】(MA)

働いていないと回答した方に不就業の理由を複数回答で聞いたところ、『母親』は「子育てを優先したいため」が 76.1%で最も高く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が 25.4%、「自分の病気や障害のため」が 3.9%となっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

【図表 2-27】働いていない理由（複数回答）



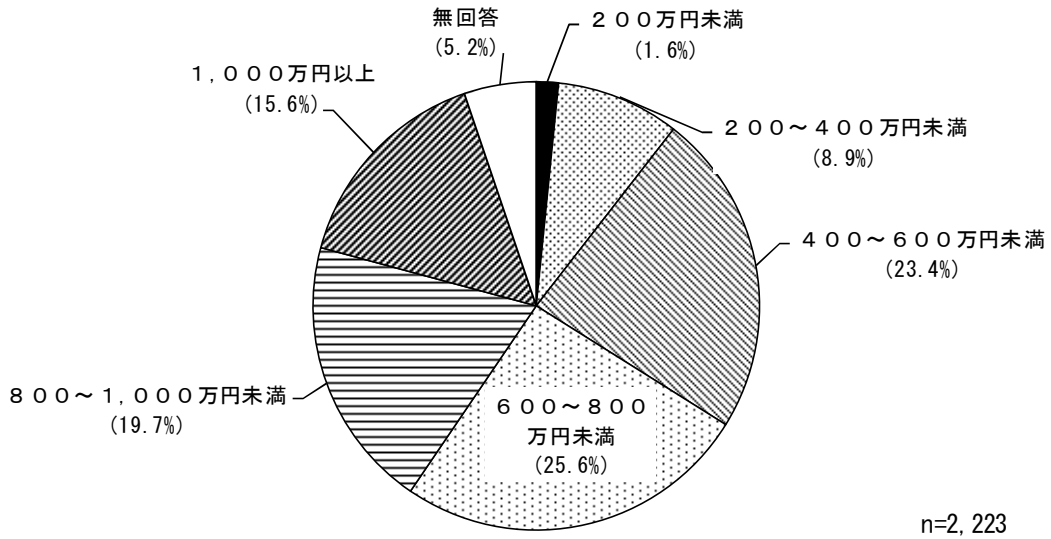
第2節 経済的困難の状況

(1) 世帯の所得状況

① 世帯の年間所得合計額【問31】(SA)

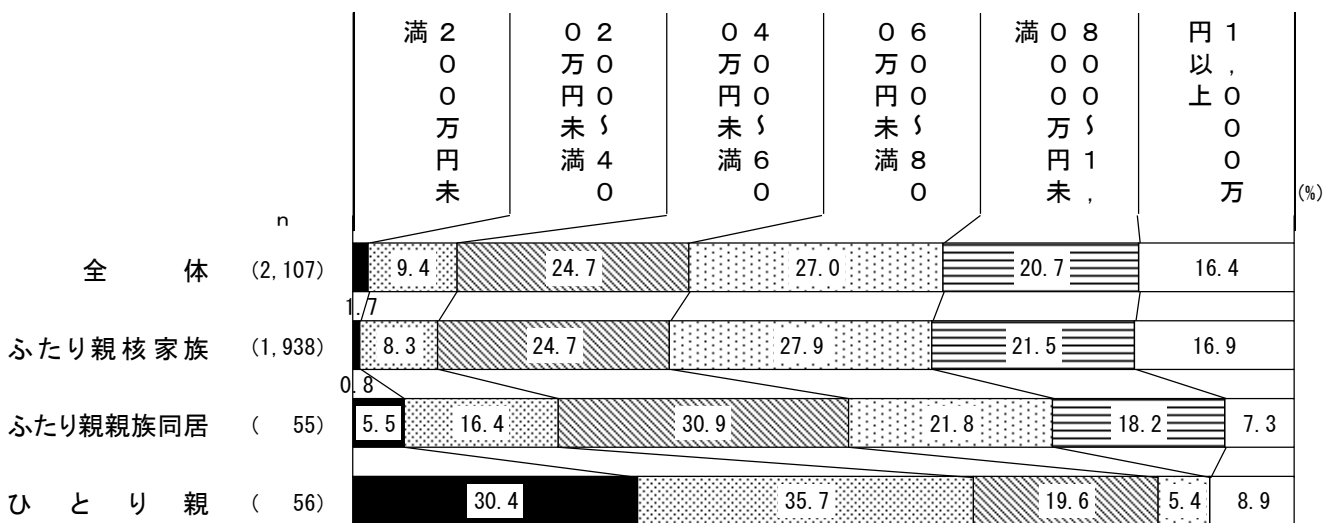
世帯の年間所得合計額<sup>1</sup>を聞いたところ、「600～800万円未満」が25.6%で最も高く、次いで「400～600万円未満」が23.4%、「800～1,000万円未満」が19.7%となっている。

【図表 2-28】世帯の年間所得合計額



世帯の年間所得合計額を世帯構成別にみると、『ひとり親』において「200万円未満」が30.4%、「200～400万円未満」が35.7%となっており、全体に比べて高くなっている。

【図表 2-29】世帯の年間所得合計額（世帯構成別）



<sup>1</sup>世帯全体の前年（平成31年1月～令和元年12月までの1年間）の手取り収入額について、21の選択肢（「50万円未満」から「1,000万円以上」まで。選択肢の幅は50万円単位）から選択

## ② 所得分類【問 31】(SA)

### 【所得分類の考え方】

本報告書では、世帯の年間所得合計額（いわゆる可処分所得<sup>2)</sup>）について、平成 30 年度国民生活基礎調査による等価可処分所得<sup>3)</sup>の中央値（254 万円）及び貧困線<sup>4)</sup>（127 万円）を基準に、貧困線未満の等価可処分所得の世帯を「分類Ⅰ」、貧困線以上等価可処分所得の中央値未満の世帯を「分類Ⅱ」、中央値以上の等価可処分所得の世帯を「分類Ⅲ」の 3 つの区分に分類した。

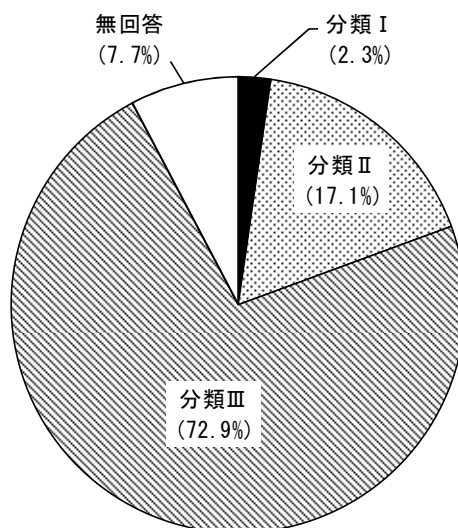
なお、本調査における等価可処分所得の算出にあたっては、選択肢の金額に幅があるため、選択肢の中央値を平均値とし、1,000 万円以上と回答したものは一律「1,000 万円」として計算した<sup>5)</sup>。（例えば、世帯人員が 4 人で、本調査で回答した年間所得合計額が「500 万円～550 万円未満」の場合、等価可処分所得は「262.5 万円」であり、「分類Ⅲ」に該当する。）

### ●平成 30 年度国民生活基礎調査に基づいた所得分類

分類Ⅰ (貧困線未満)	分類Ⅱ (貧困線以上中央値未満)	分類Ⅲ (中央値以上)
127 万円未満	127 万円以上 254 万円未満	254 万円以上

所得分類をみると、「分類Ⅰ」が 2.3%、「分類Ⅱ」が 17.1%、「分類Ⅲ」が 72.9%となっている。

【図表 2-30】所得分類



n=2, 223

<sup>2)</sup> 可処分所得とは、収入から税金・社会保険料等を差し引き、手当等を加えた、いわゆる手取り収入をいう。

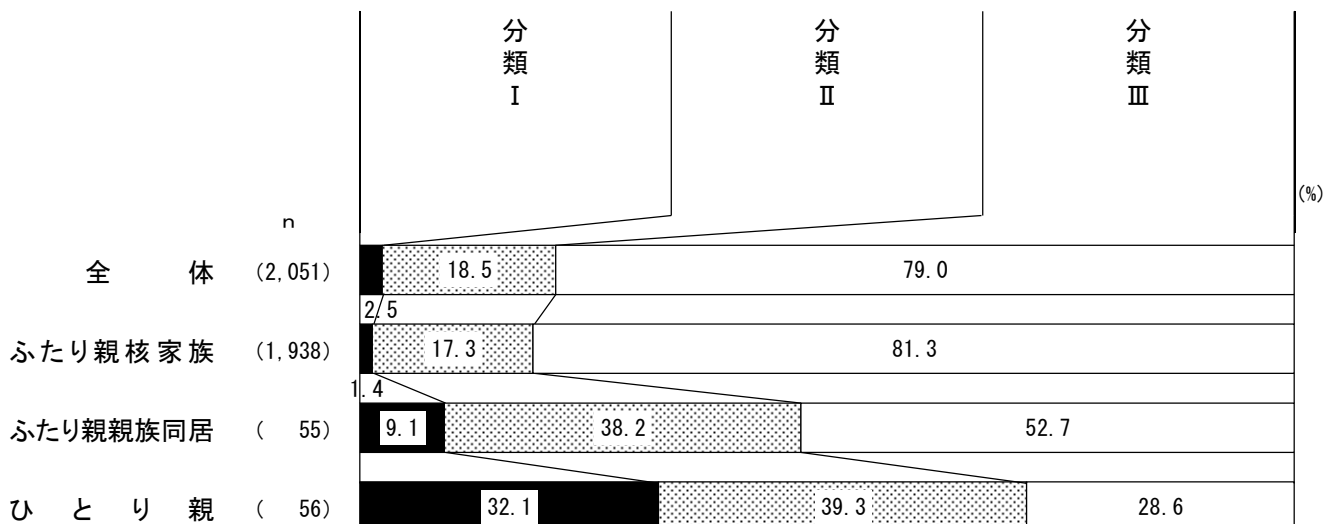
<sup>3)</sup> 等価可処分所得とは、世帯の可処分所得を世帯人員の平方根で割って調整した所得をいう。

<sup>4)</sup> 国民生活基礎調査による貧困線とは、等価可処分所得の中央値の半分の額をいう。貧困線の算出方法は、OECD（経済協力開発機構）の作成基準に基づいている。なお、貧困線を下回る等価可処分所得に該当する者の割合を相対的貧困率という。

<sup>5)</sup> 本調査では、アンケート調査票で世帯全体の手取り収入額について、21 の選択肢（「50 万円未満」から「1,000 万円以上」まで。選択肢の幅は 50 万円単位）を設定し、いずれに該当するかを回答していただいた。設問については、内閣府「令和元年度子供の貧困実態調査に関する研究報告書」記載の共通調査項目である。

所得分類を世帯構成別にみると、「分類Ⅰ」が占める割合は、『ひとり親』においては32.1%となっており、全体に比べて高くなっている。また、「分類Ⅱ」の割合については、『ふたり親親族同居』(38.2%)と『ひとり親』(39.3%)は全体に比べて高く、「分類Ⅲ」の割合は『ふたり親親族同居』(52.7%)と『ひとり親』(28.6%)は全体に比べて低くなっている。

【図表 2-31】所得分類（世帯構成別）



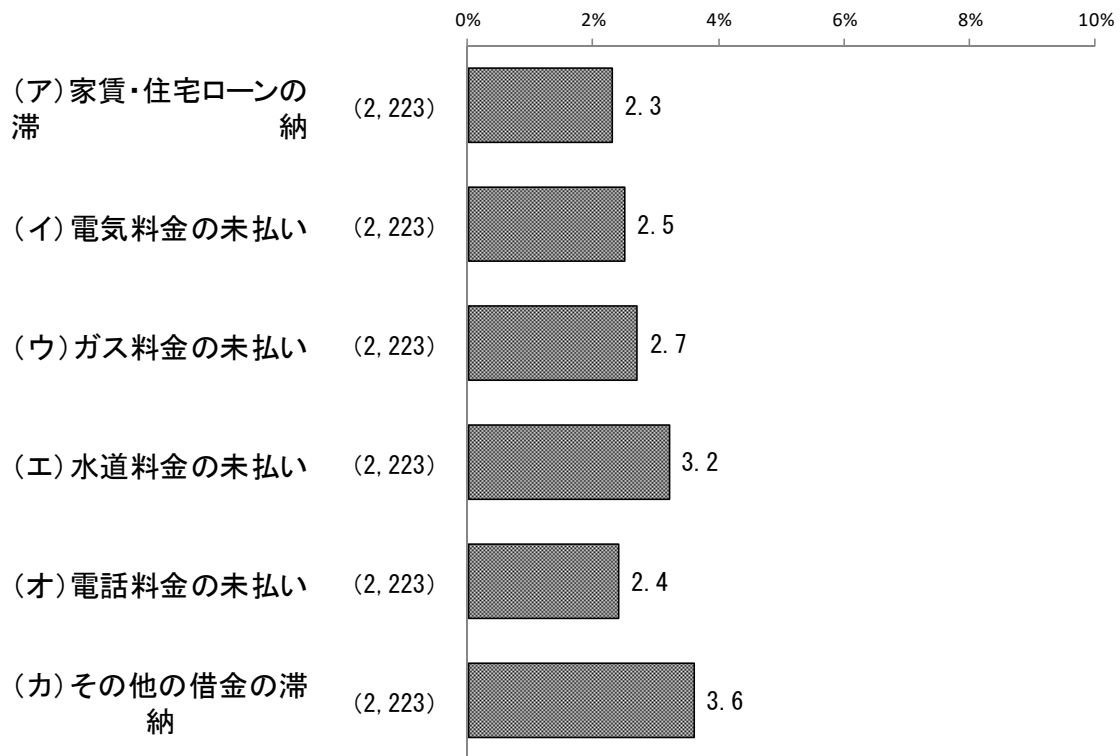
(2) 世帯の家計状況

ア 公共料金等の未払い経験

① 電気・ガス・水道等の未払いの有無【問33】(SA)

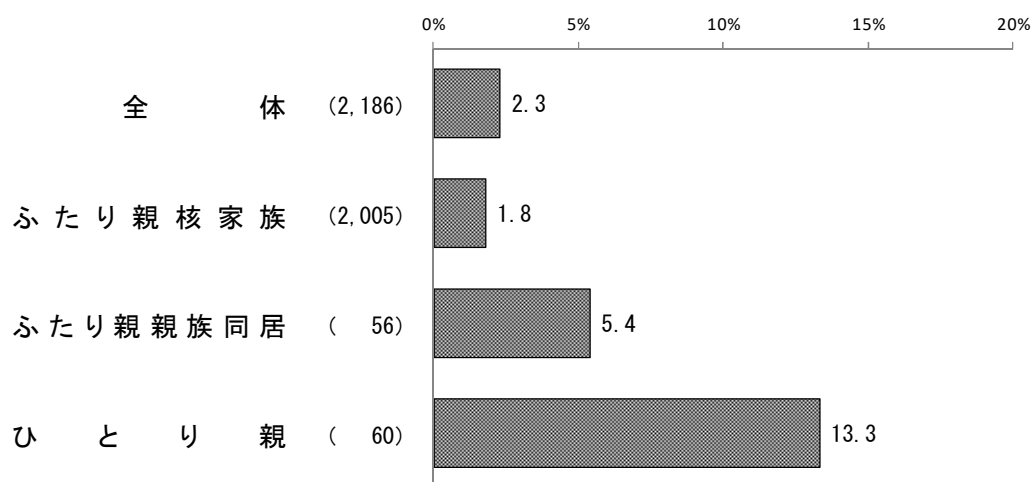
過去1年間において、家賃・住宅ローンや公共料金（電気・ガス・水道）等について、経済的な理由で未払いとなったことがあったかを聞いたところ、それぞれ2%～3%の世帯において滞納経験がみられた。

【図表 2-32】公共料金等の未払い経験



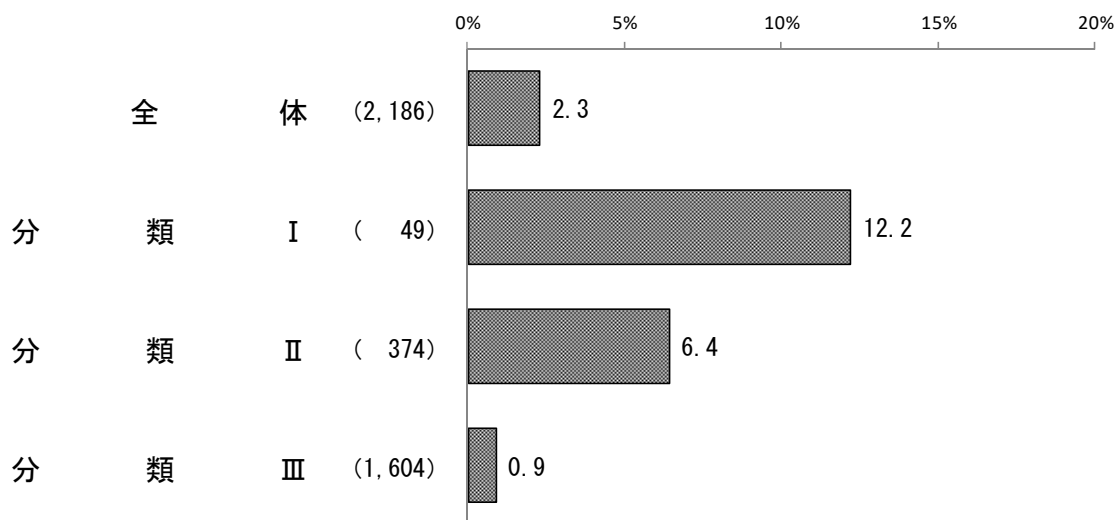
家賃・住宅ローンの未払いの有無を世帯構成別にみると、『ひとり親』については13.3%となっており、全体と比べて高くなっている。

【図表 2-33】家賃・住宅ローンの未払いの有無（世帯構成別）



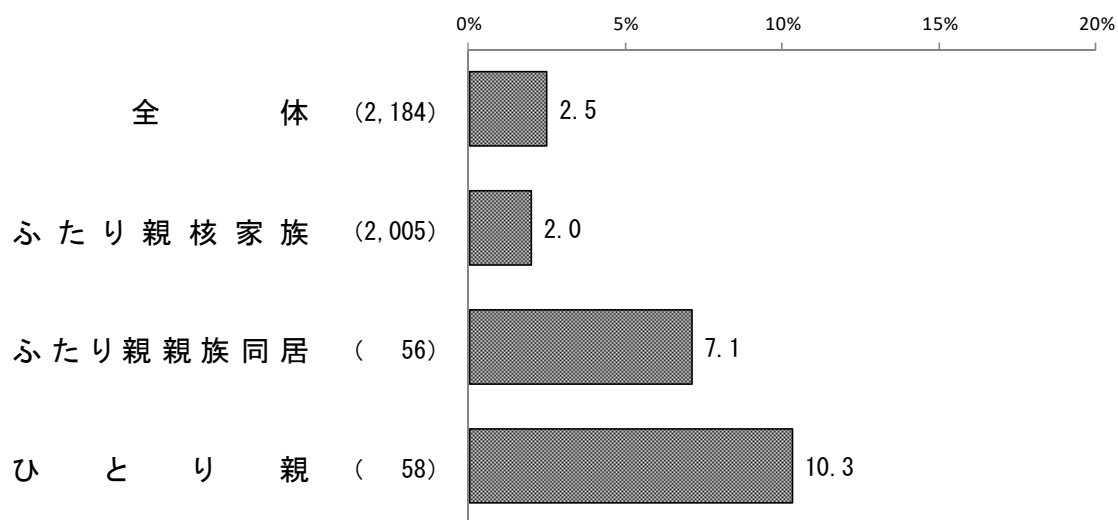
家賃・住宅ローンの未払いの有無を所得分類別にみると、大きな差はみられない。なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 2-34】家賃・住宅ローンの未払いの有無（所得分類別）



電気料金の未払いの有無を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

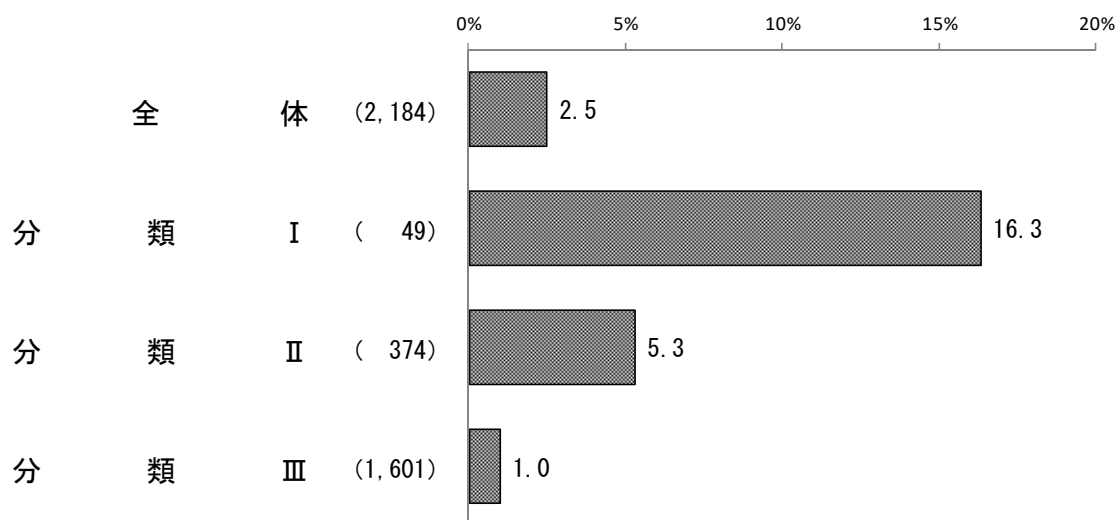
【図表 2-35】 電気料金の未払いの有無（世帯構成別）



電気料金の未払いの有無を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』においては16.3%と全体に比べて高くなっている。

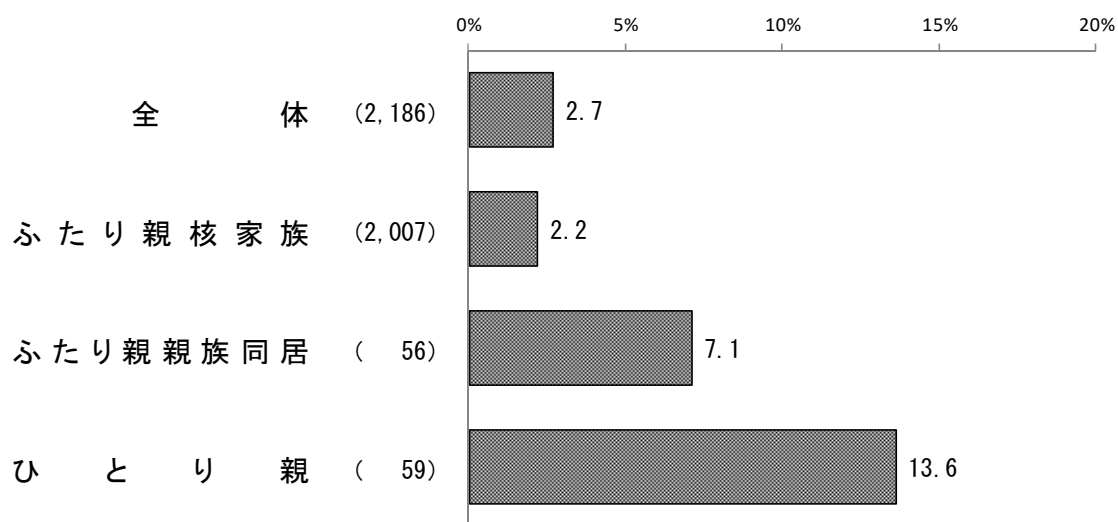
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 2-36】 電気料金の未払いの有無（所得分類別）



ガス料金の未払いの有無を世帯構成別にみると、『ひとり親』では13.6%と全体に比べて高くなっている。

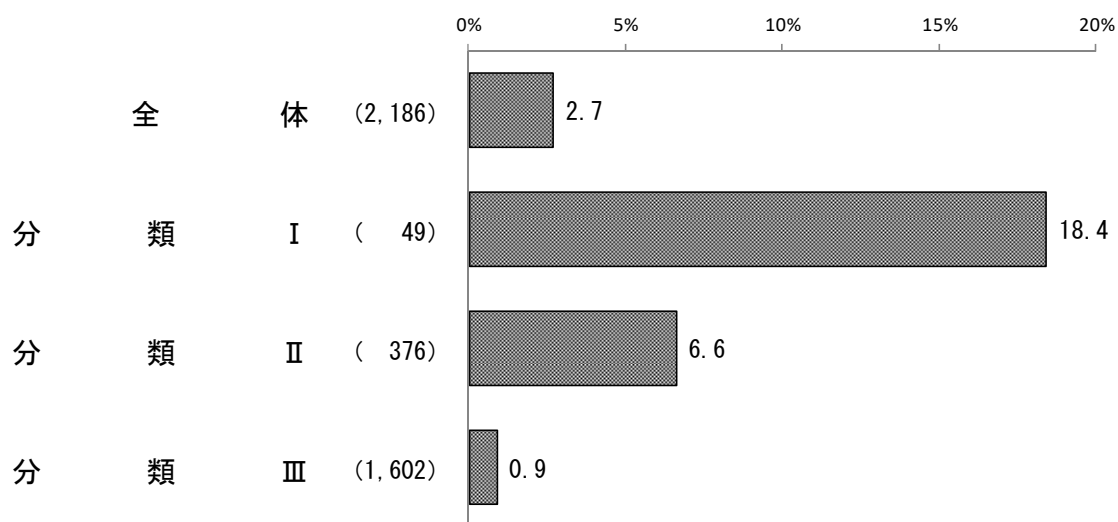
【図表 2-37】 ガス料金の未払いの有無（世帯構成別）



ガス料金の未払いの有無を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』においては18.4%と全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

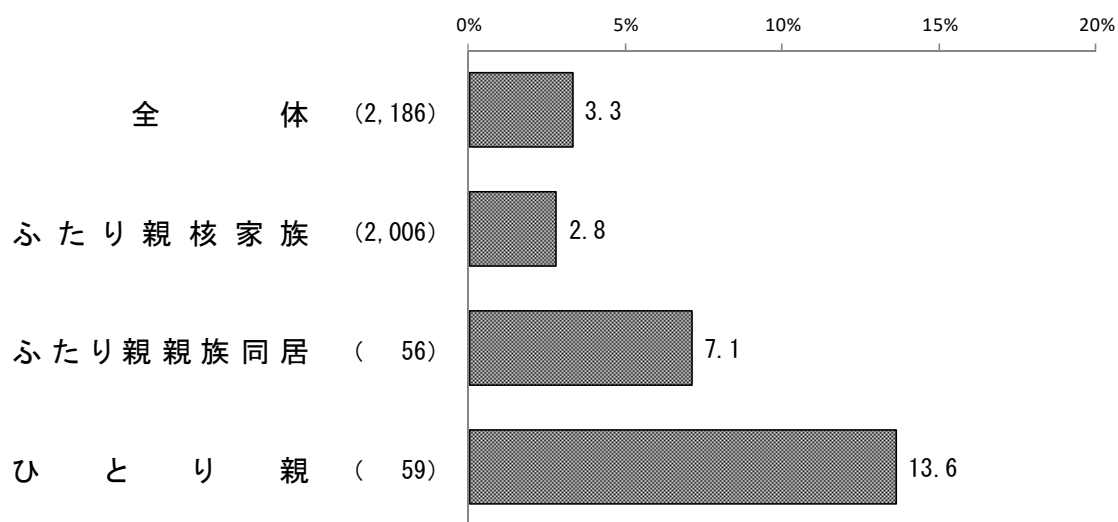
【図表 2-38】 ガス料金の未払いの有無（所得分類別）





水道料金の未払いの有無を世帯構成別にみると、『ひとり親』では13.6%と全体に比べて高くなっている。

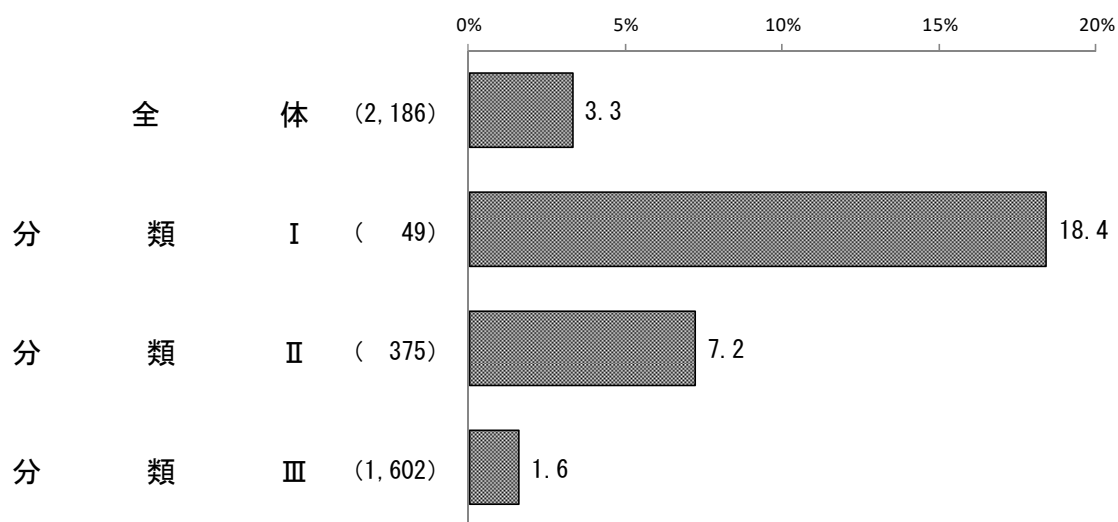
【図表 2-39】水道料金の未払いの有無（世帯構成別）



水道料金の未払いの有無を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』においては18.4%と全体に比べて高くなっている。

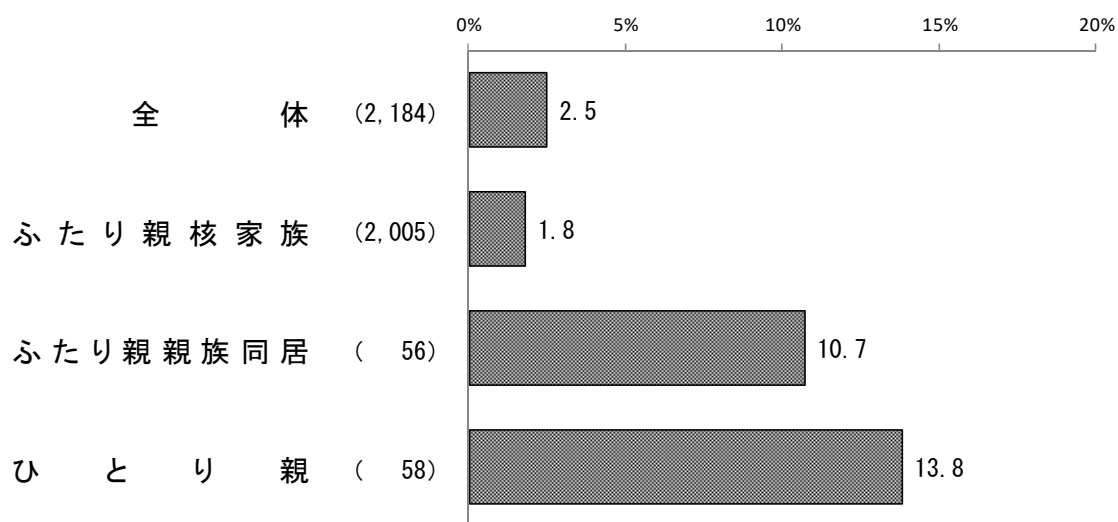
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 2-40】水道料金の未払いの有無（所得分類別）



電話料金の未払いの有無を世帯構成別にみると、『ひとり親』では13.8%と全体に比べて高くなっている。

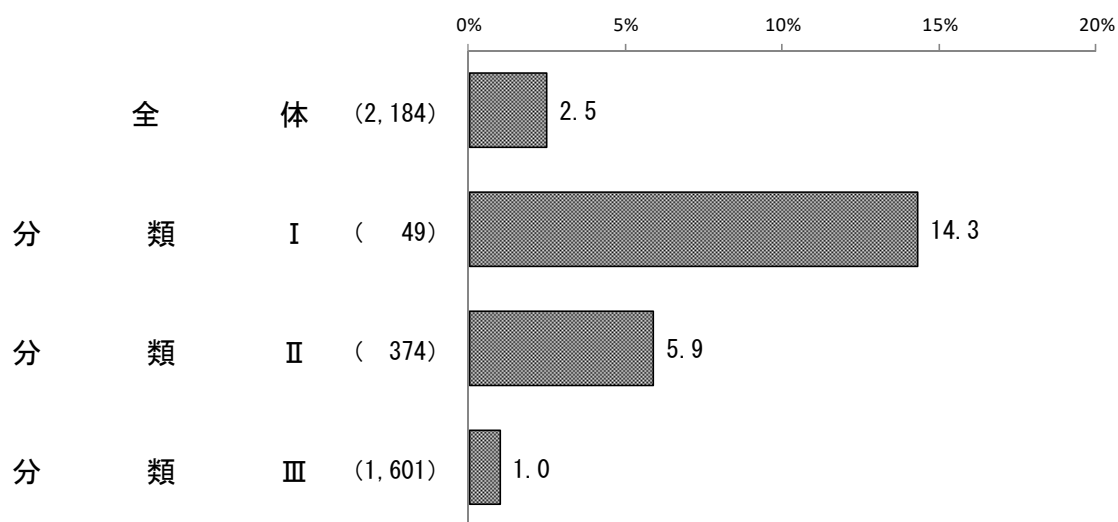
【図表 2-41】 電話料金の未払いの有無（世帯構成別）



電話料金の未払いの有無を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』においては14.3%と全体に比べて高くなっている。

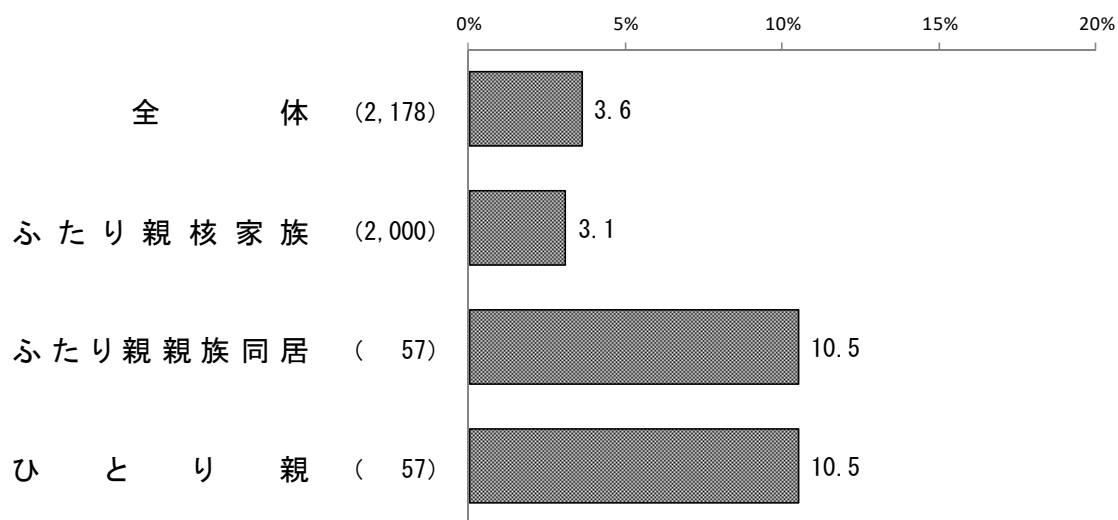
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 2-42】 電話料金の未払いの有無（所得分類別）



その他の借金の未払いの有無を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

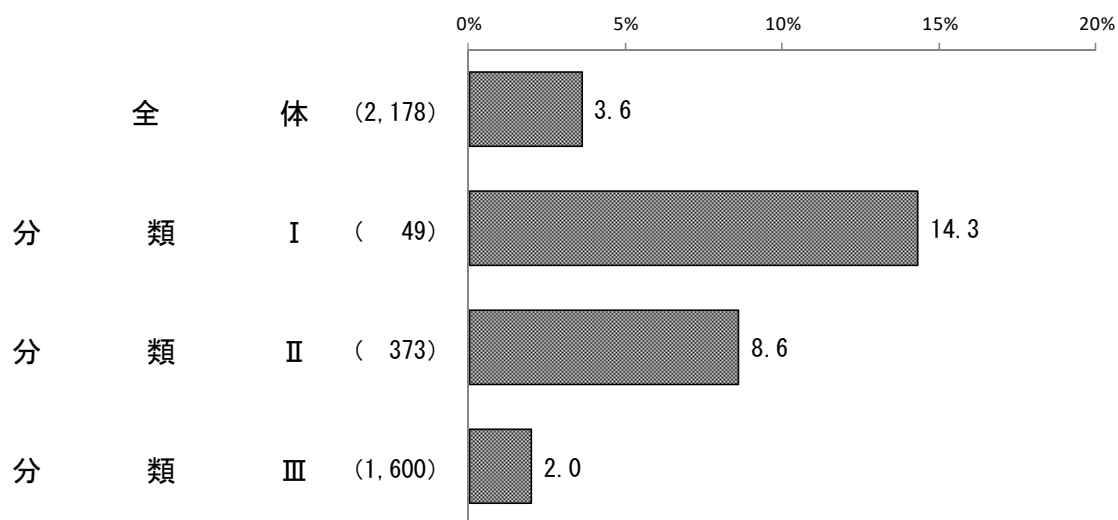
【図表 2-43】 その他の借金の未払いの有無（世帯構成別）



その他の借金の未払いの有無を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』においては14.3%と全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

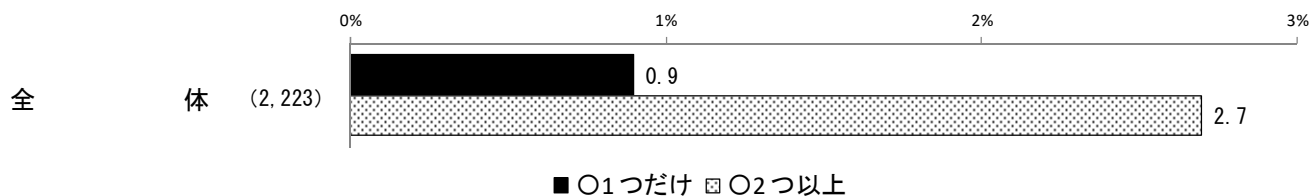
【図表 2-44】 その他の借金の未払いの有無（所得分類別）



## ② 公共料金等の未払いの頻度【問 33】(SA)

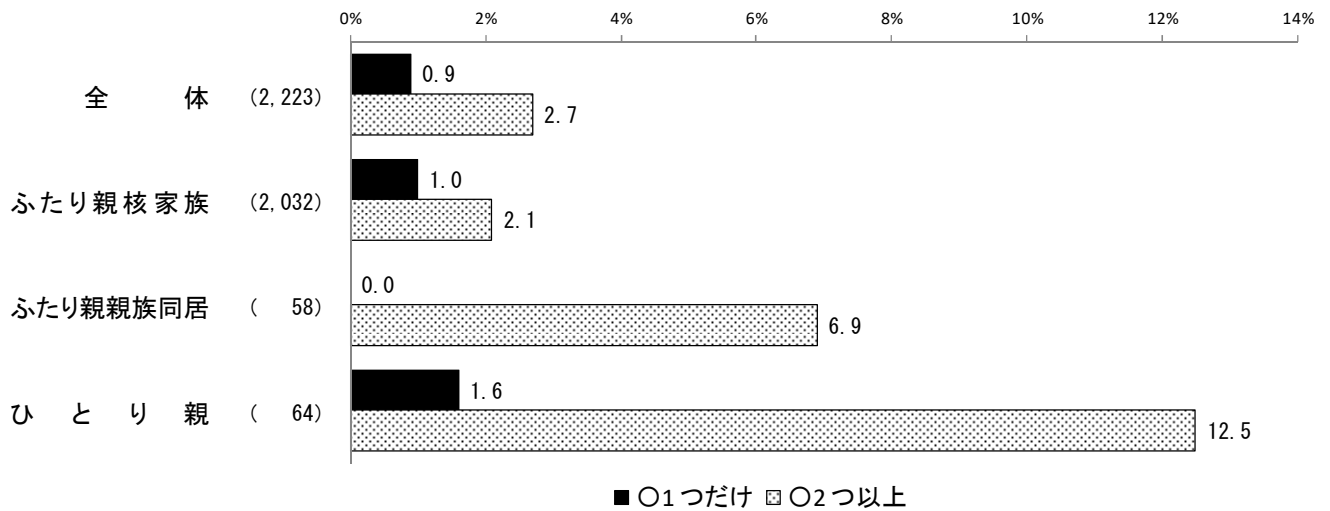
公共料金等の未払いの頻度について、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」に1つだけ○をした『○1つだけ』、2つ以上○をした『○2つ以上』に分類したところ、『○1つだけ』が0.9%、『○2つ以上』が2.7%となっている。

【図表 2-45】公共料金等の未払いの頻度



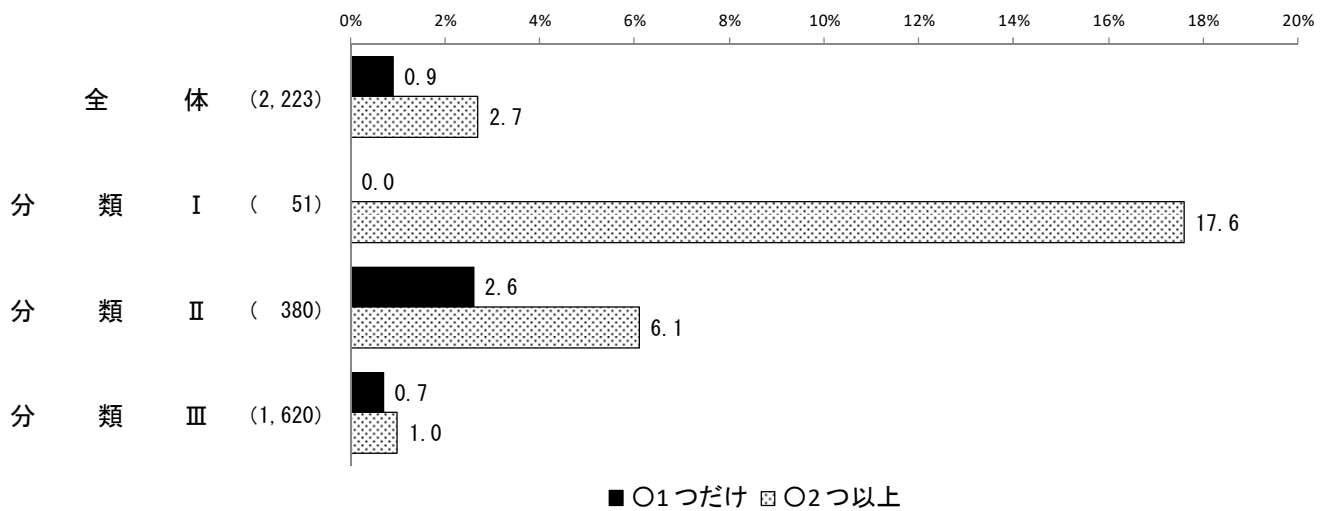
公共料金等の未払いの頻度を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

【図表 2-46】 公共料金等の未払いの頻度（世帯構成別）



公共料金等の未払いの頻度を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』では「02つ以上」が17.6%と全体に比べて高くなっている。

【図表 2-47】 公共料金等の未払いの頻度（所得分類別）

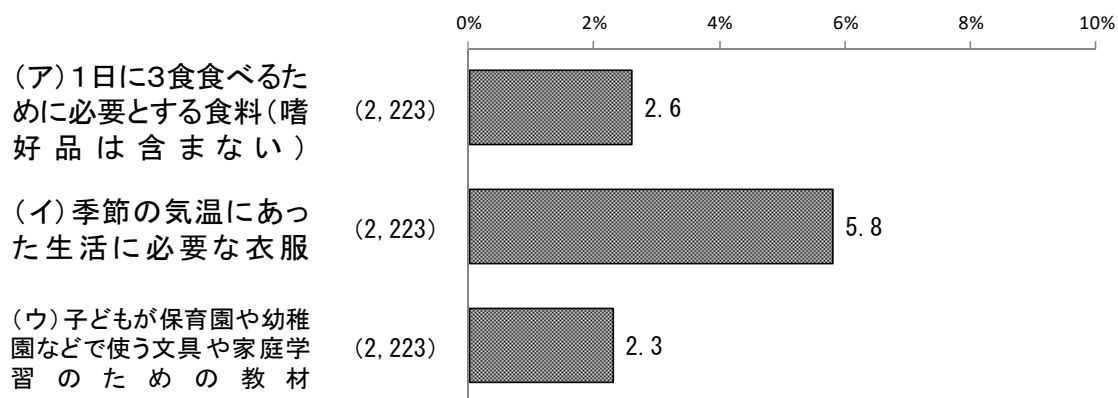


## イ 生活必需品の購入状況【問 34】(SA)

### ① 生活必需品の購入の有無

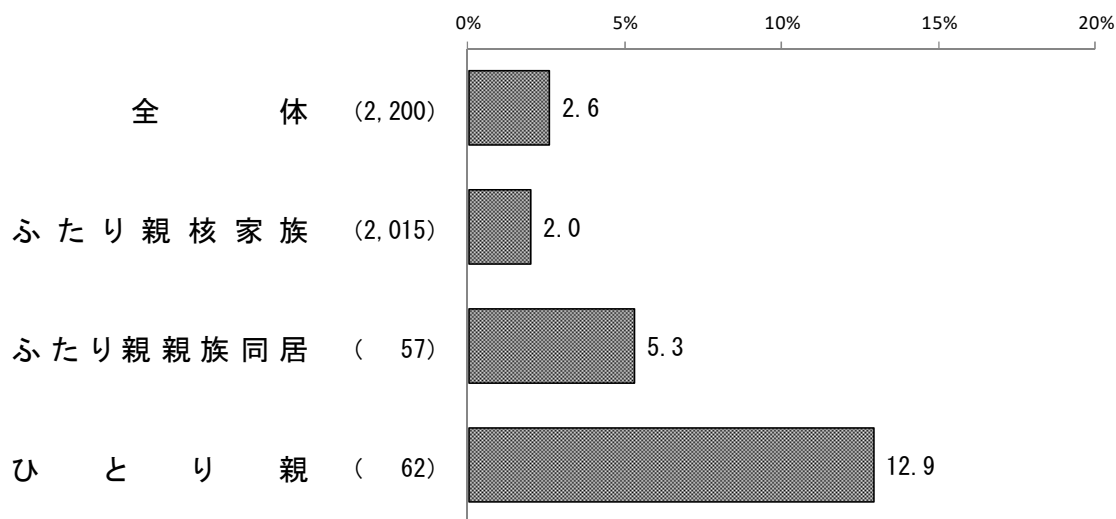
過去1年間において、食料や衣服などの生活必需品について、経済的な理由で買えなかった経験があったかを聞いたところ、経験があると答えた世帯（「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」のいずれかを答えた世帯）は、それぞれ2%～5%台となっている。

【図表 2-48】生活必需品が買えなかった経験の有無



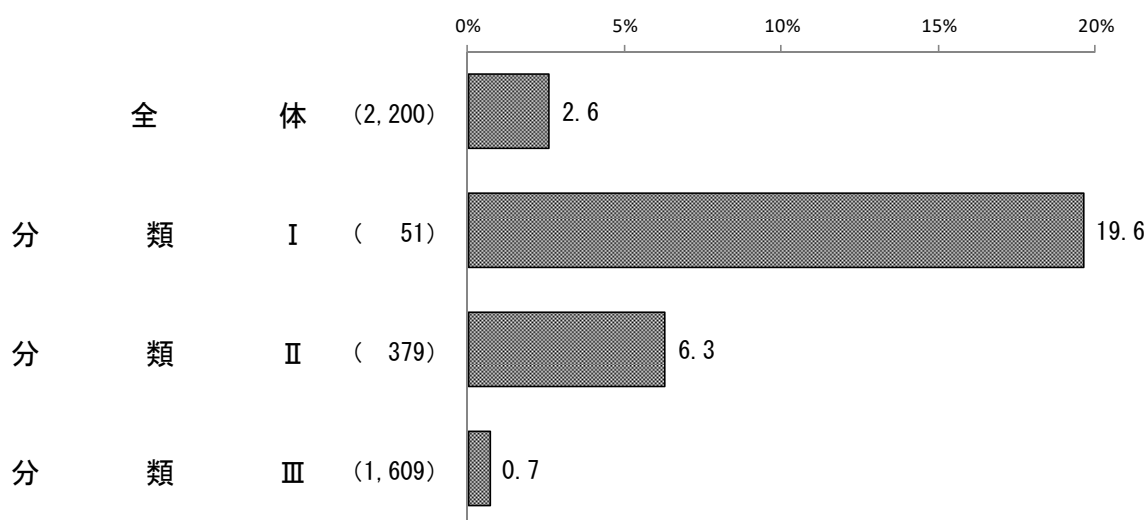
経済的な理由で1日に3食食べるために必要な食料が買えなかった経験を世帯構成別にみると、『ひとり親』においては、12.9%と全体に比べて高くなっている。

【図表 2-49】 1日に3食食べるために必要な食料が買えなかった経験の有無  
(世帯構成別)



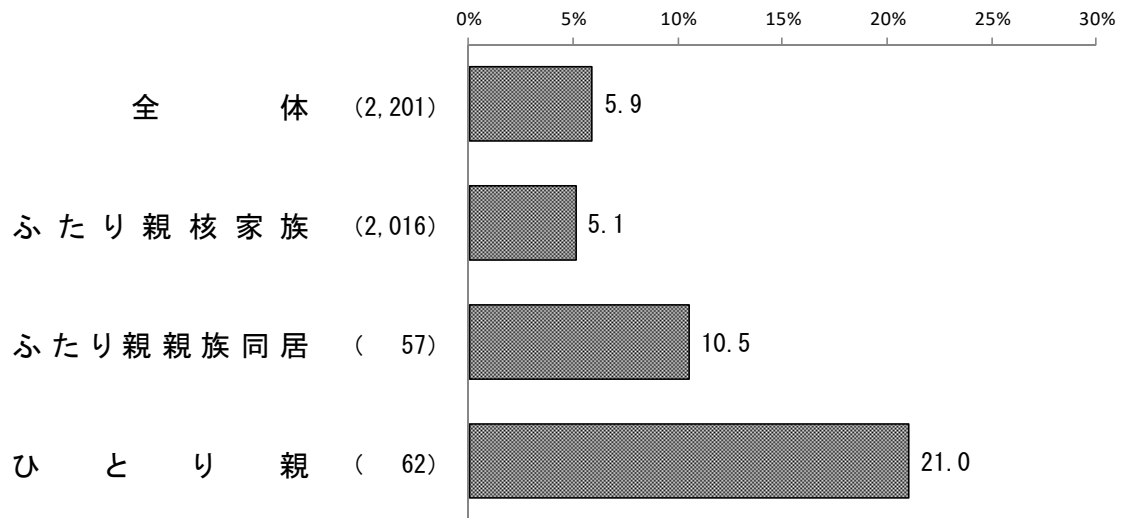
経済的な理由で1日に3食食べるために必要な食料が買えなかった経験を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』においては、19.6%と全体に比べて高くなっている。

【図表 2-50】 1日に3食食べるために必要な食料が買えなかった経験の有無  
(所得分類別)



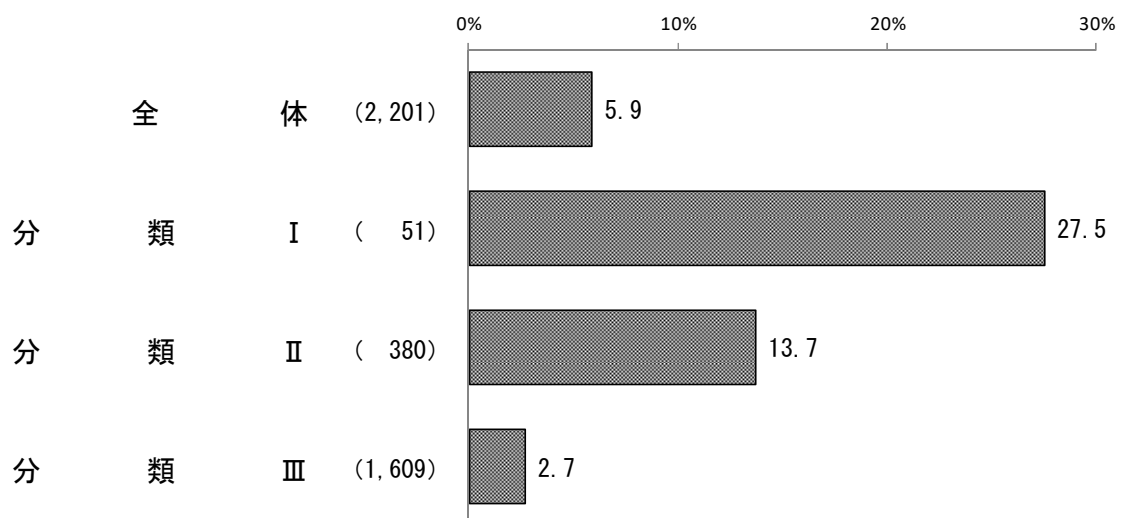
経済的な理由で季節の気温に合った生活に必要な衣服が買えなかった経験を世帯構成別にみると、『ひとり親』においては、21.0%と全体に比べて高くなっている。

【図表 2-51】季節の気温に合った生活に必要な衣服が買えなかった経験の有無  
(世帯構成別)



経済的な理由で季節の気温に合った生活に必要な衣服が買えなかった経験を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』においては、27.5%と全体に比べて高くなっている。

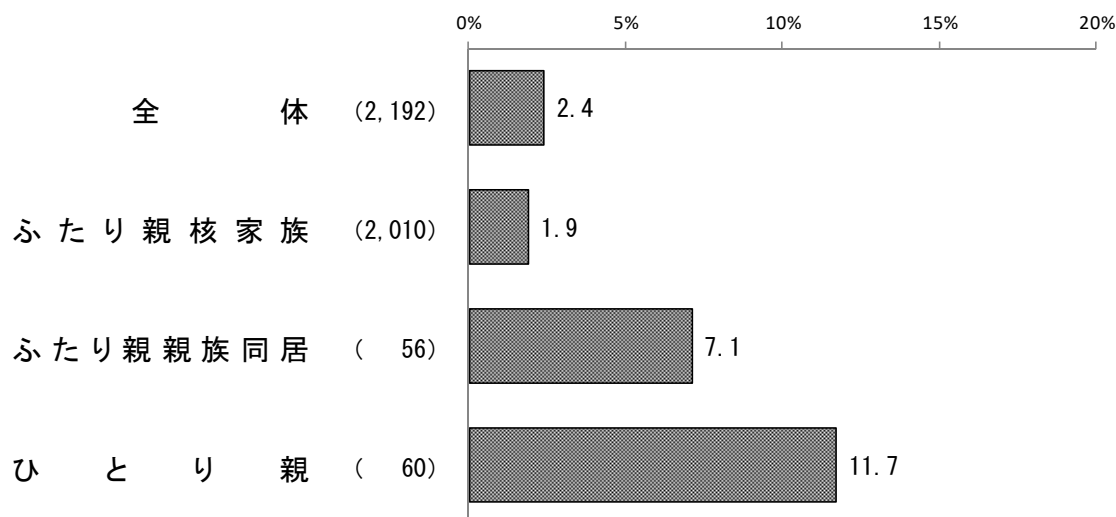
【図表 2-52】季節の気温に合った生活に必要な衣服が買えなかった経験の有無  
(所得分類別)





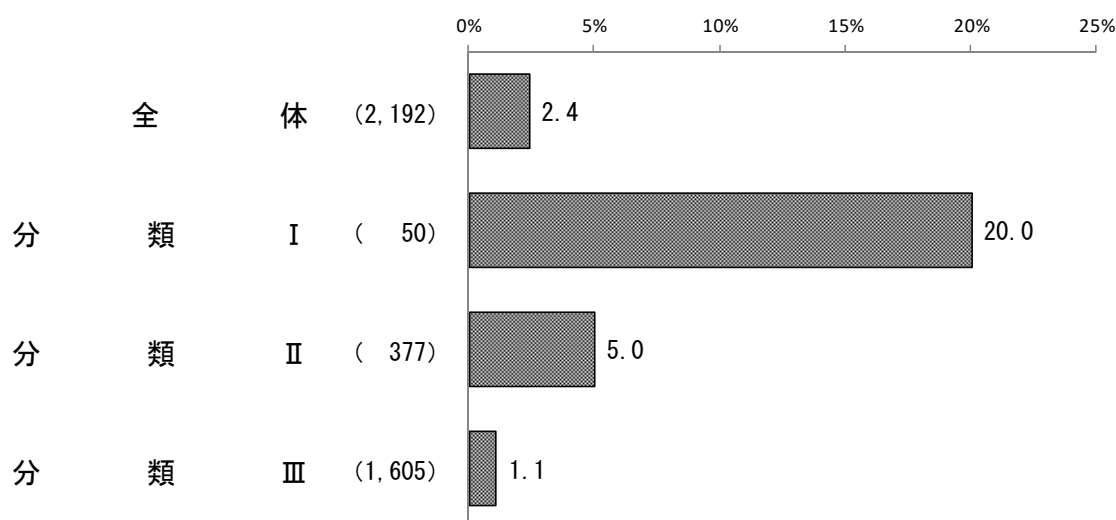
経済的な理由で子どもが保育園や幼稚園などで使う文具や家庭学習のための教材が買えなかった経験を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

【図表 2-53】子どもが保育園や幼稚園などで使う文具や家庭学習のための教材が買えなかった経験の有無（世帯構成別）



経済的な理由で子どもが保育園や幼稚園などで使う文具や家庭学習のための教材が買えなかった経験を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』においては20.0%と全体に比べて高くなっている。

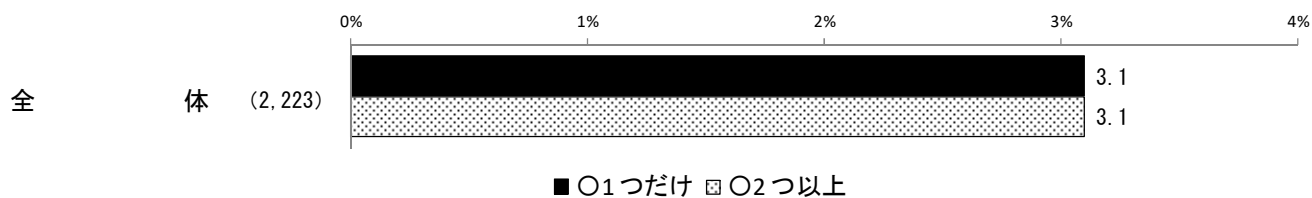
【図表 2-54】子どもが保育園や幼稚園などで使う文具や家庭学習のための教材が買えなかった経験の有無（所得分類別）



## ② 生活必需品の購入ができなかった頻度

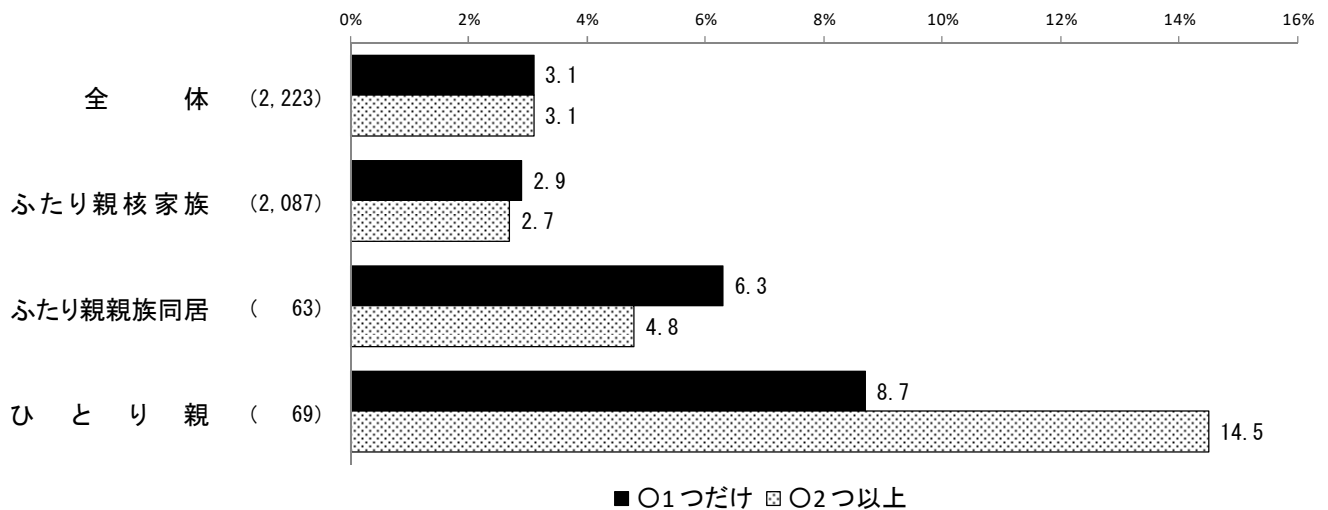
生活必需品の購入ができなかった頻度について、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」に1つだけ○をした『○1つだけ』、2つ以上○をした『○2つ以上』に分類したところ、『○1つだけ』、『○2つ以上』ともに3.1%となっている。

【図表 2-55】生活必需品の購入ができなかった頻度



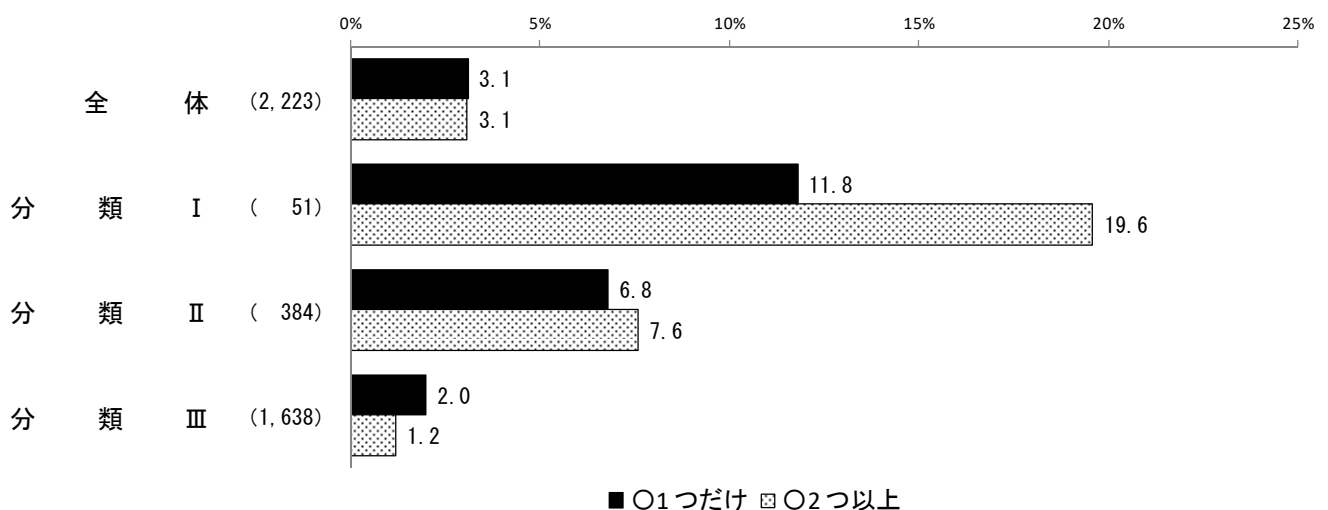
経済的な理由で（ア）から（ウ）の生活必需品が買えなかった経験について、世帯構成別にみると、『ひとり親』において「○2つ以上」が14.5%となっており、全体に比べて高くなっている。

【図表 2-56】生活必需品が買えなかった経験頻度（世帯構成別）



経済的な理由で（ア）から（ウ）の生活必需品が買えなかった経験について、所得分類別にみると、「○2つ以上」が19.6%となっており、全体に比べて高くなっている。

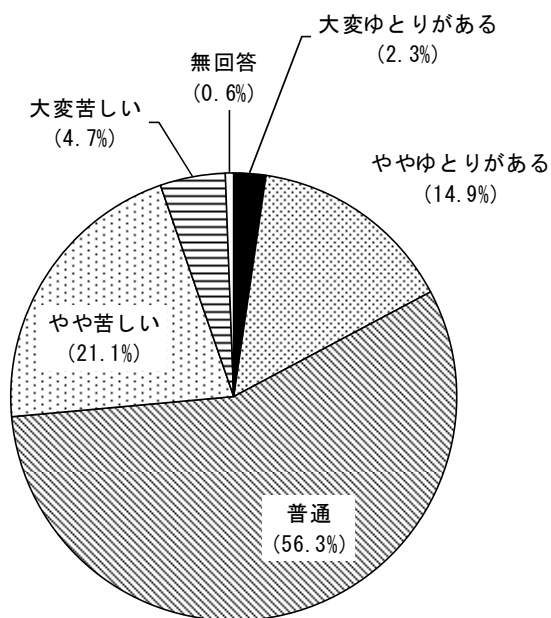
【図表 2-57】生活必需品が買えなかった経験頻度（所得分類別）



### (3) 暮らしの状況【問 32】(SA)

現在の暮らしの状況を聞いたところ、「普通」が 56.3%で最も高く、次いで「やや苦しい」が 21.1%、「ややゆとりがある」が 14.9%となっている。

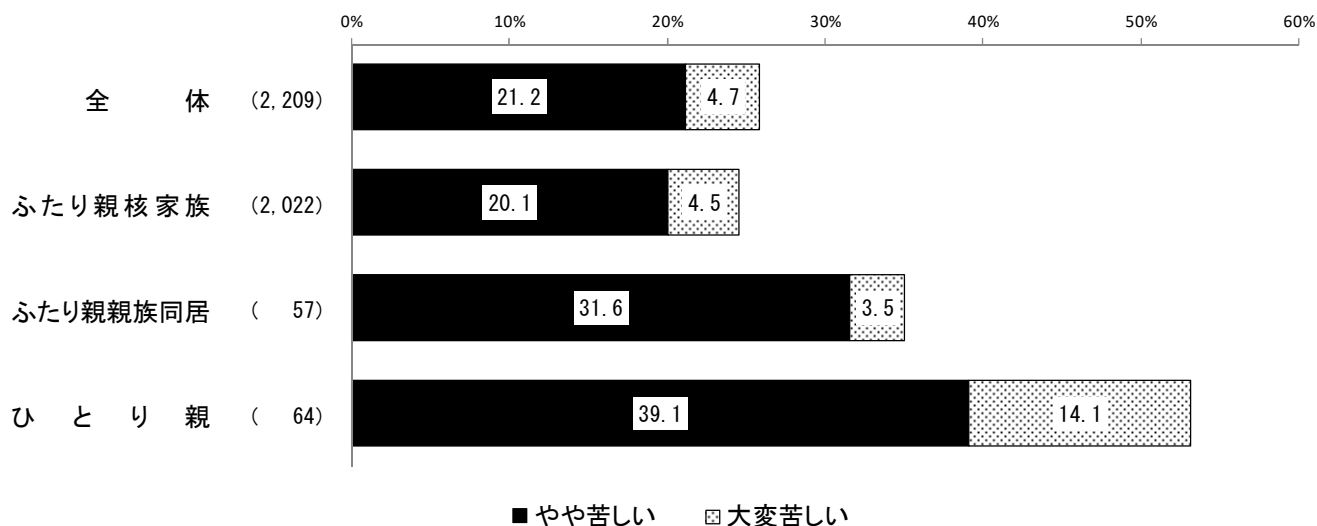
【図表 2-58】暮らしの状況



n=2, 223

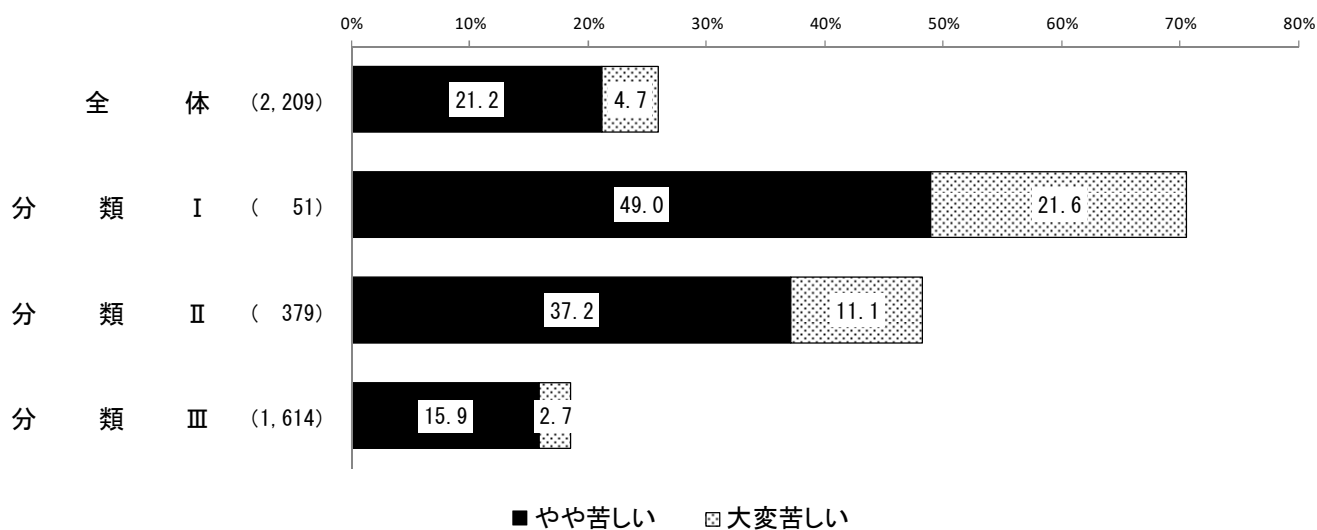
現在の暮らしの状況について、「やや苦しい」、「苦しい」と答えた人について、世帯構成別にみると、『ひとり親』において「やや苦しい」と「大変苦しい」を足し合わせた割合は 53.2%と、全体に比べて高くなっている。

【図表 2-59】暮らしの状況（世帯構成別）



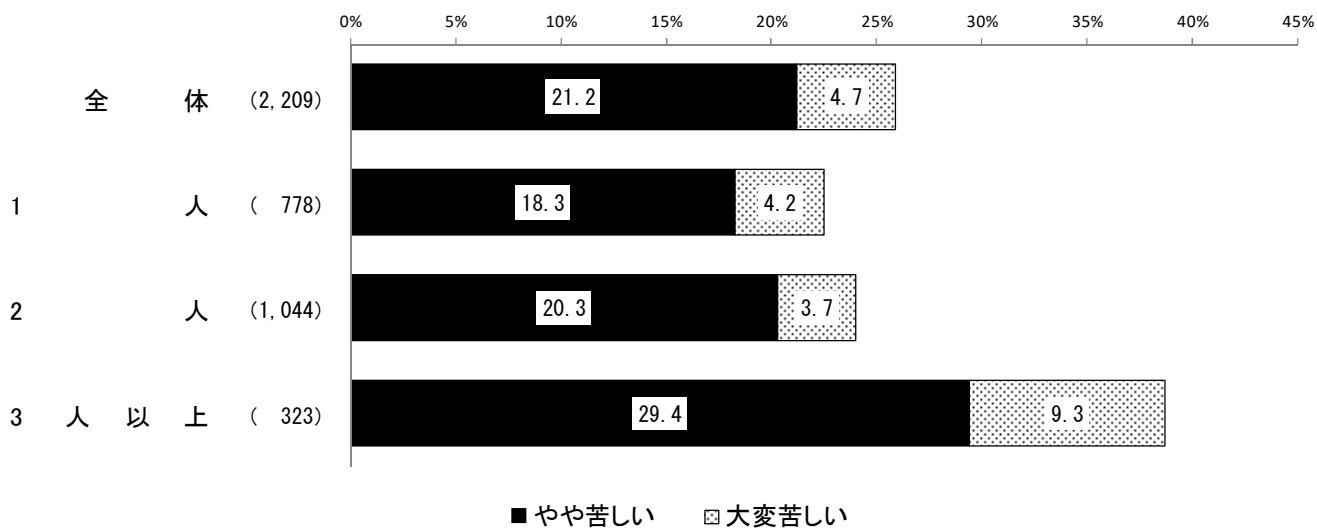
現在の暮らしの状況について、「やや苦しい」、「苦しい」と答えた人について、所得分類別にみると、『分類Ⅰ』において、「やや苦しい」と「大変苦しい」を足し合わせた割合は 70.6%と、全体に比べて高くなっている。

【図表 2-60】暮らしの状況（所得分類別）



現在の暮らしの状況について、子どもの人数別にみると、3人以上では「やや苦しい」と「大変苦しい」を足し合わせた割合は38.7%と、全体に比べて高くなっている。

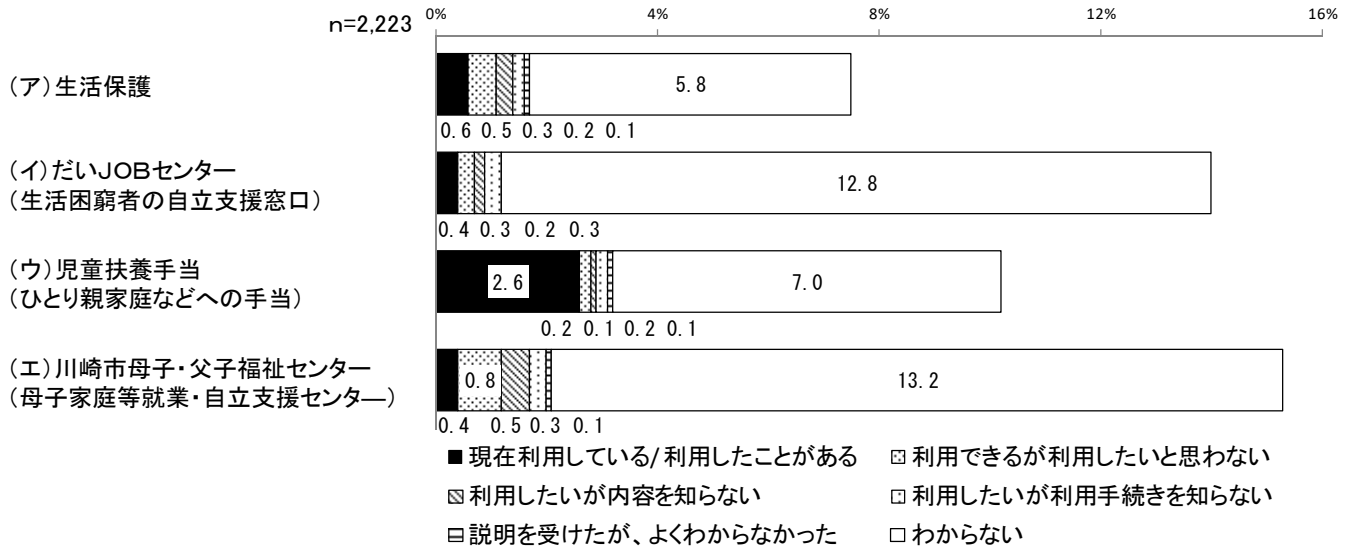
【図表 2-61】暮らしの状況（子どもの人数別）



(4) 各支援制度の利用状況【問 35】(SA)

各支援制度の利用状況を聞いたところ、『川崎市母子・父子福祉センター』を除く全ての項目で「制度の対象外」が8割を超えている。また、『川崎市母子・父子福祉センター』も「制度の対象外」が79.0%で高くなっている。なお、「制度の対象外」は図表から除外している。

【図表 2-62】各支援制度の利用状況



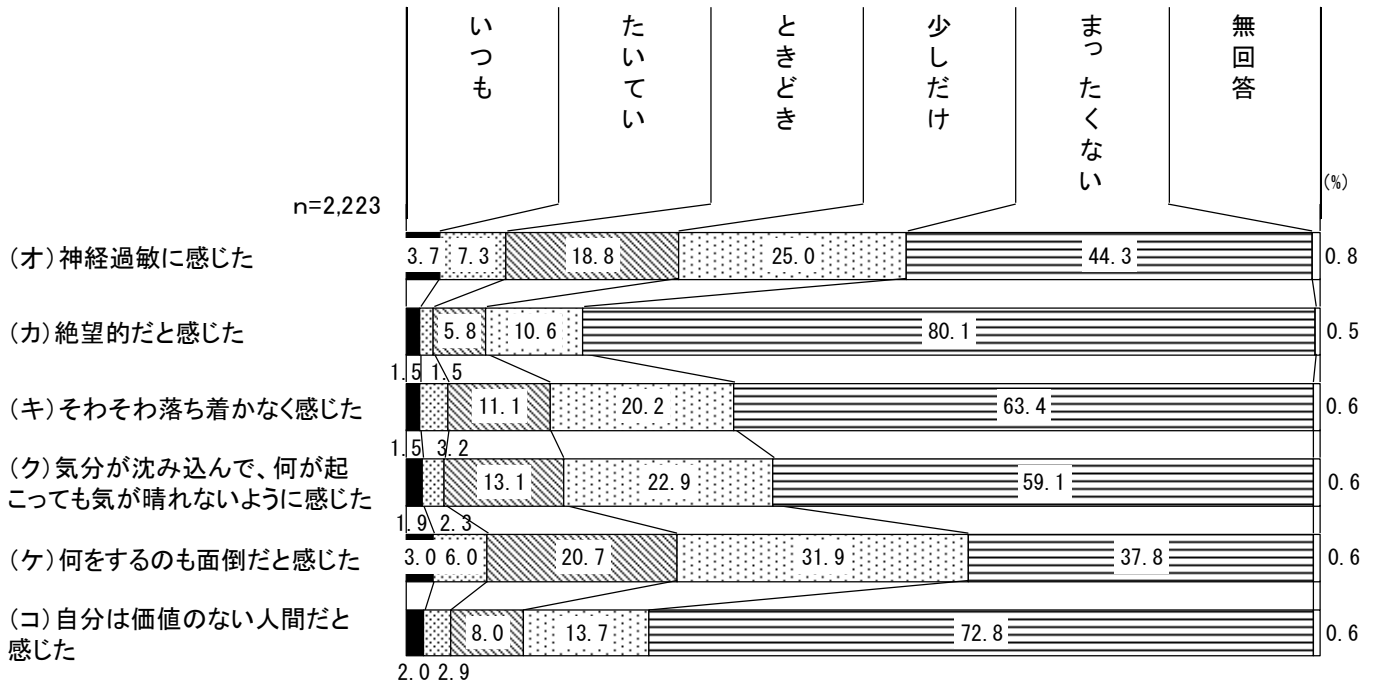
### 第3節 保護者の状況

#### (1) 保護者の精神状態や考え方

##### ア 保護者の精神状態【問12】(オ～コ) (SA)

直近1か月間の保護者の精神状態を聞いたところ、「いつも」、「たいてい」、「ときどき」、「少しだけ」を合計すると、『何をするのも面倒だと感じた』が61.6%で最も高く、次いで『神経過敏に感じた』が54.8%、『気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じた』が40.2%となっている。

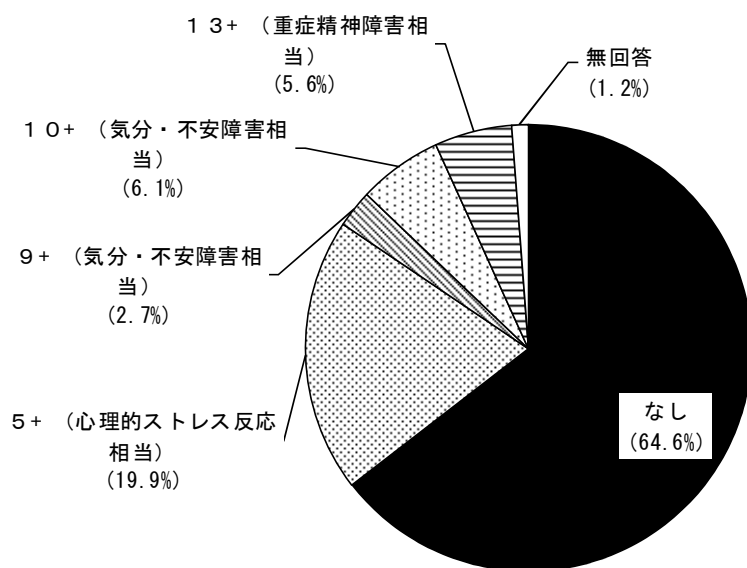
【図表 2-63】 保護者の精神状態





保護者の精神状態をうつ傾向を測る指標として普及されているK 6 指標<sup>1</sup>に基づく分類で分けると、「なし」が 64.6%で最も高く、次いで「5+（心理的ストレス反応相当）」が 19.9%、「10+（気分・不安障害相当）」が 6.1%となっている。

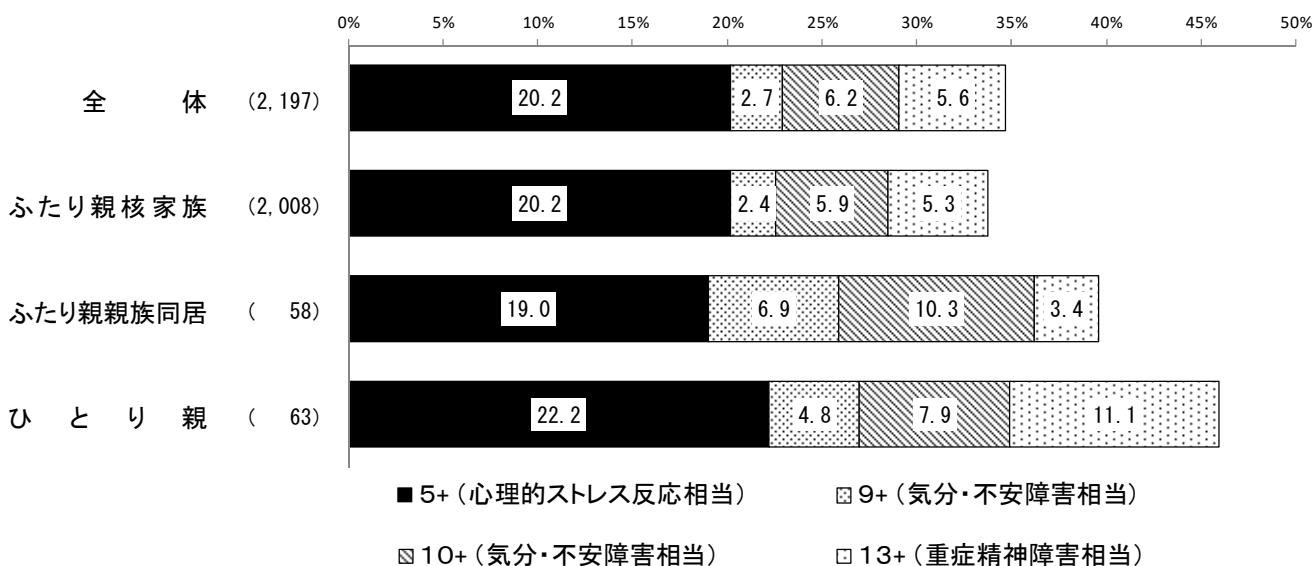
【図表 2-64】 K 6 指標に基づく抑うつ傾向



<sup>1</sup> K 6 指標は、米国の Kessler らによって、うつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、一般住民を対象とした調査で心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として広く利用されており、厚生労働省が実施する国民生活基礎調査においても用いられているものである。6つの質問について、5段階（「まったくない」(0点)、「少しだけ」(1点)、「ときどき」(2点)、「たいてい」(3点)、「いつも」(4点)）で点数化を行い、その得点によって「重症精神障害相当」(13点以上)、「気分・不安障害相当」(9点以上及び10点以上)、「心理的ストレス反応相当」(5点以上)に分類され、合計点数が高いほど精神的な問題がより重い可能性があるとされている。

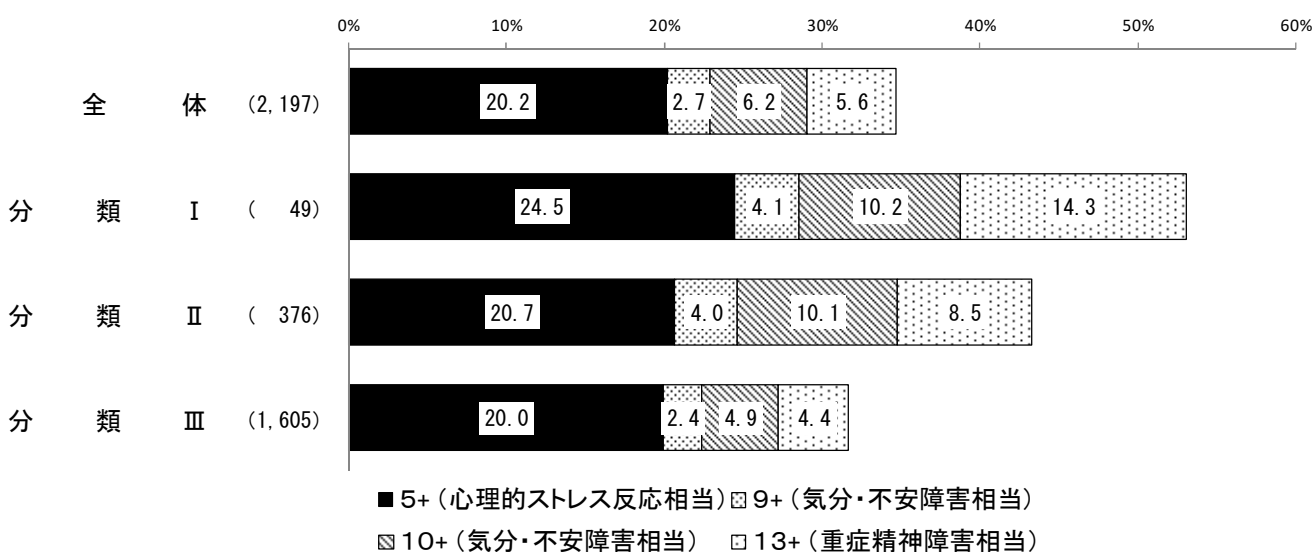
「重症精神障害相当」(13点以上)、「気分・不安障害相当」(9点以上及び10点以上)、「心理的ストレス反応相当」(5点以上)それぞれについて、世帯構成別にみると、全体の傾向と比較して大きな差は見られないが、それぞれを足し合わせた割合は、『ひとり親』において46.0%と、全体に比べて高くなっている。

【図表 2-65】 K6指標に基づく抑うつ傾向（世帯構成別）



「重症精神障害相当」(13点以上)、「気分・不安障害相当」(9点以上及び10点以上)、「心理的ストレス反応相当」(5点以上)それぞれについて、所得分類別にみると、全体の傾向と比較して大きな差は見られないが、それぞれを足し合わせた割合は、参考値ではあるが、『分類Ⅰ』において53.1%と全体に比べて高くなっている。

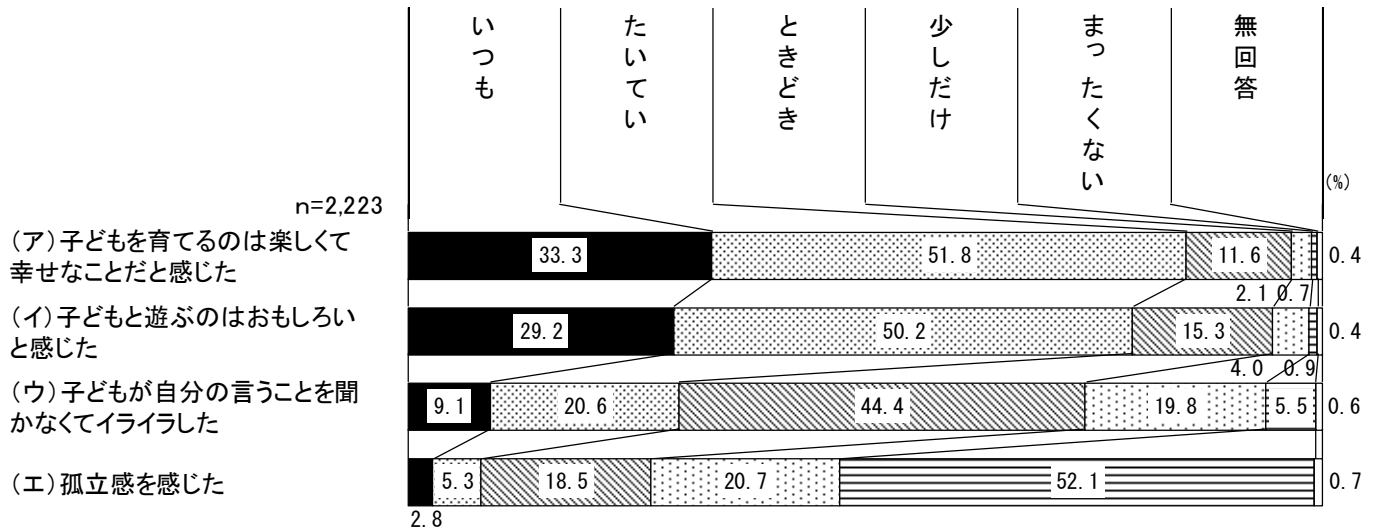
【図表 2-66】 K6指標に基づく抑うつ傾向（所得分類別）



## イ 子育てに関する感情【問12】(ア～エ)(SA)

直近1か月間の子育てに関する気持ちを聞いたところ、『子どもが自分の言うことを聞かなくてイライラした』について、「いつも」又は「たいてい」と答えた世帯は29.7%となっており、『孤立感を感じた』について、「いつも」又は「たいてい」と答えた世帯は、8.1%となっている。

【図表 2-67】子育てに関する感情

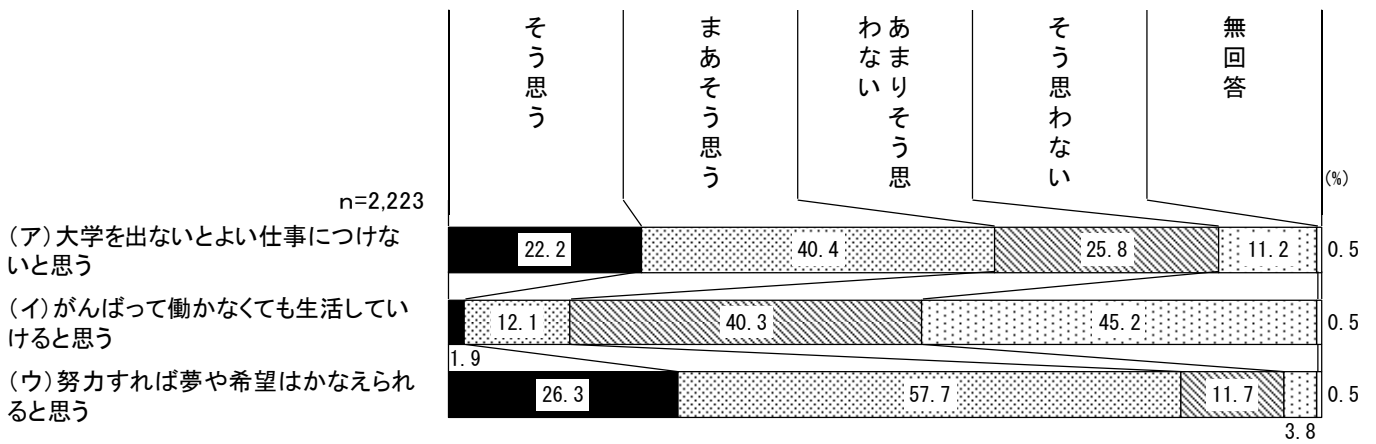


ウ 将来に対する考え方など【問8】(SA)

ある考えに対しどう思うかを聞いたところ、『大学を出ないとよい仕事につけないと思う』について、「そう思う」(22.2%)と「まあそう思う」(40.4%)を足し合わせた割合は62.6%、「あまりそう思わない」(25.8%)と「そう思わない」(11.2%)を足し合わせた割合は37.0%となっている。また、『努力すれば夢や希望はかなえられると思う』について、「そう思う」(26.3%)と「まあそう思う」(57.7%)を足し合わせた割合は84.0%、「あまりそう思わない」(11.7%)と「そう思わない」(3.8%)を足し合わせた割合は15.5%となっている。

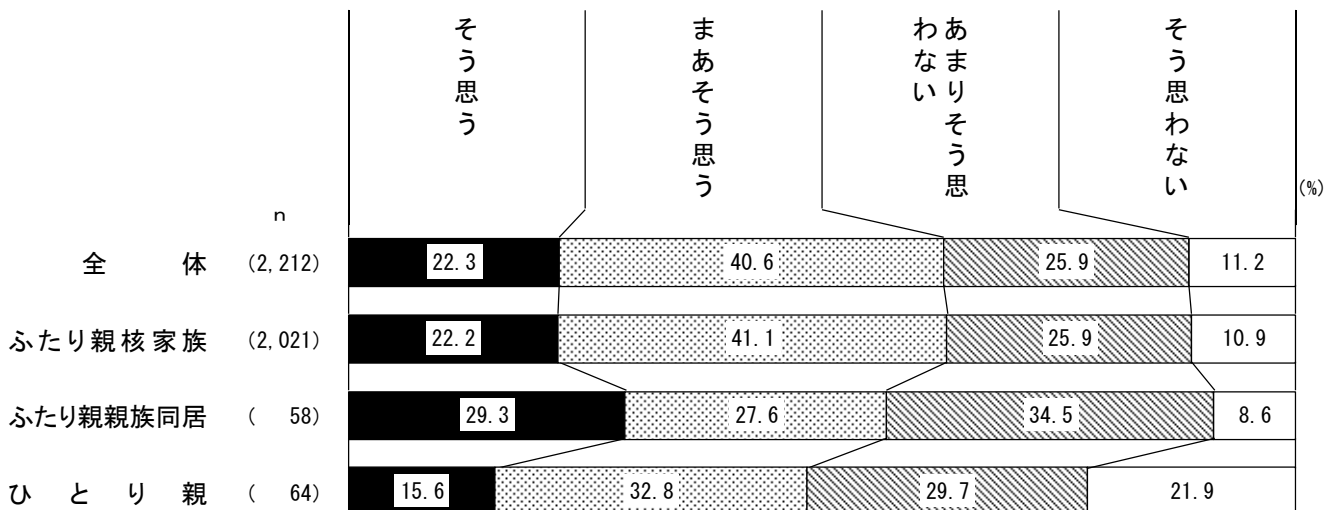
一方で、『がんばって働かなくても生活していけると思う』について、「そう思う」(1.9%)と「まあそう思う」(12.1%)を足し合わせた割合は14.0%がとなっており、「あまりそう思わない」(40.3%)と「そう思わない」(45.2%)を足し合わせた割合は85.5%となっている。

【図表 2-68】 将来に対する考え方



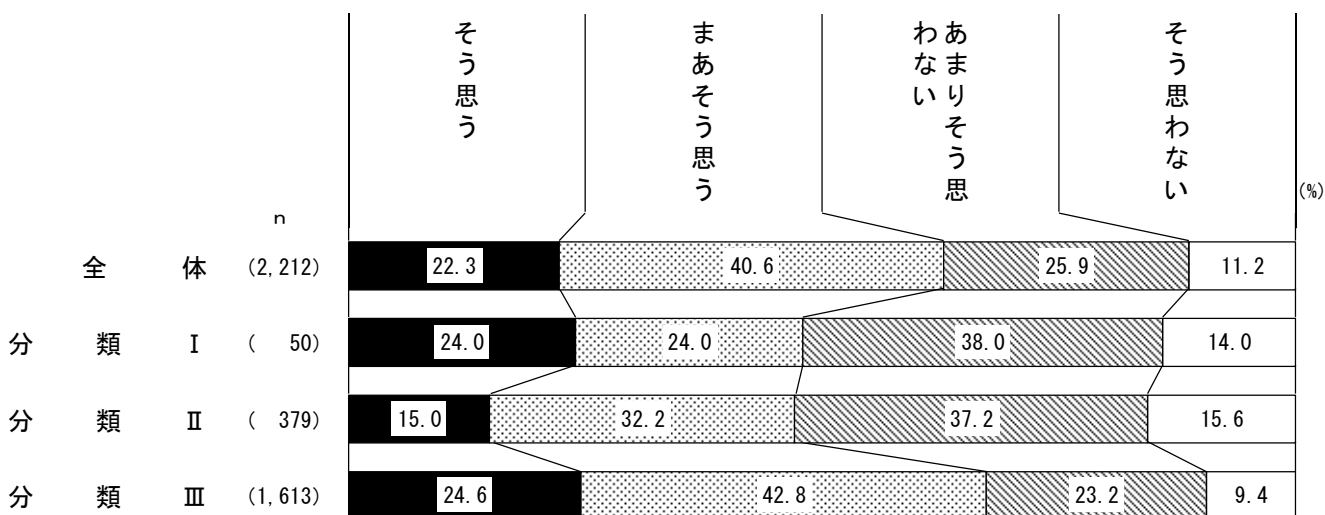
『大学を出ないとよい仕事につけないと思う』について、世帯構成別にみると、『ひとり親』において、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を足し合わせた割合は、51.6%となっており、全体（37.1%）に比べて高くなっている。

【図表 2-69】『大学を出ないとよい仕事につけないと思う』について（世帯構成別）



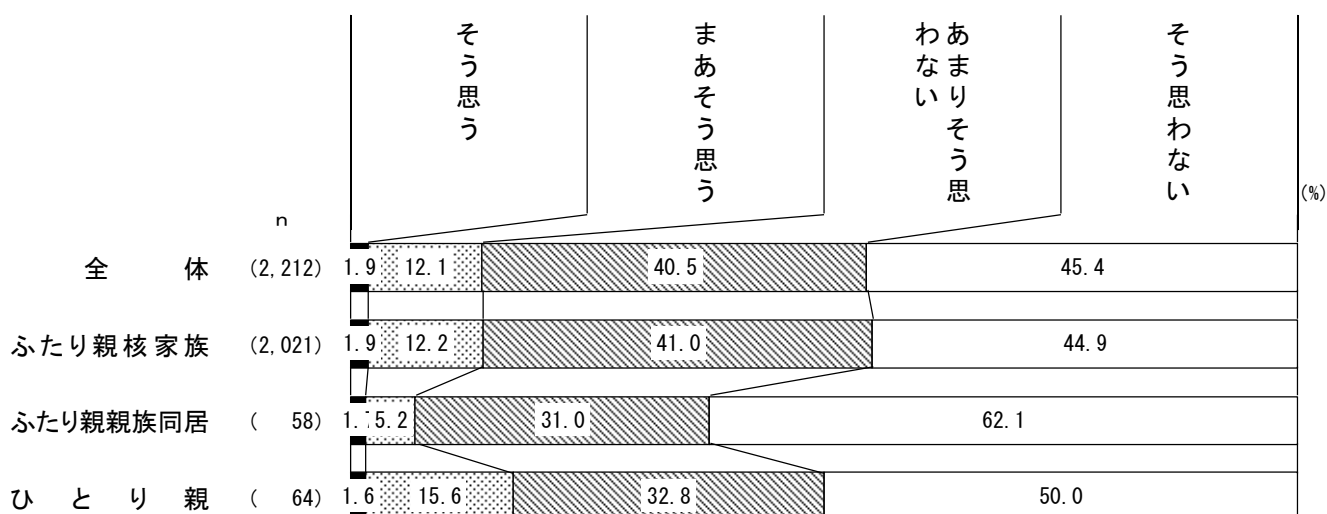
『大学を出ないとよい仕事につけないと思う』について、所得状況別にみると、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を足し合わせた割合は、『分類Ⅰ』が 52.0%、『分類Ⅱ』が 52.8%と、全体に比べて高くなっている。

【図表 2-70】『大学を出ないとよい仕事につけないと思う』について（所得分類別）



『がんばって働かなくても生活していけると思う』について、世帯構成別にみると、「そう思わない」と回答した割合は『ふたり親親族同居』において62.1%と、全体に比べて高くなっている。

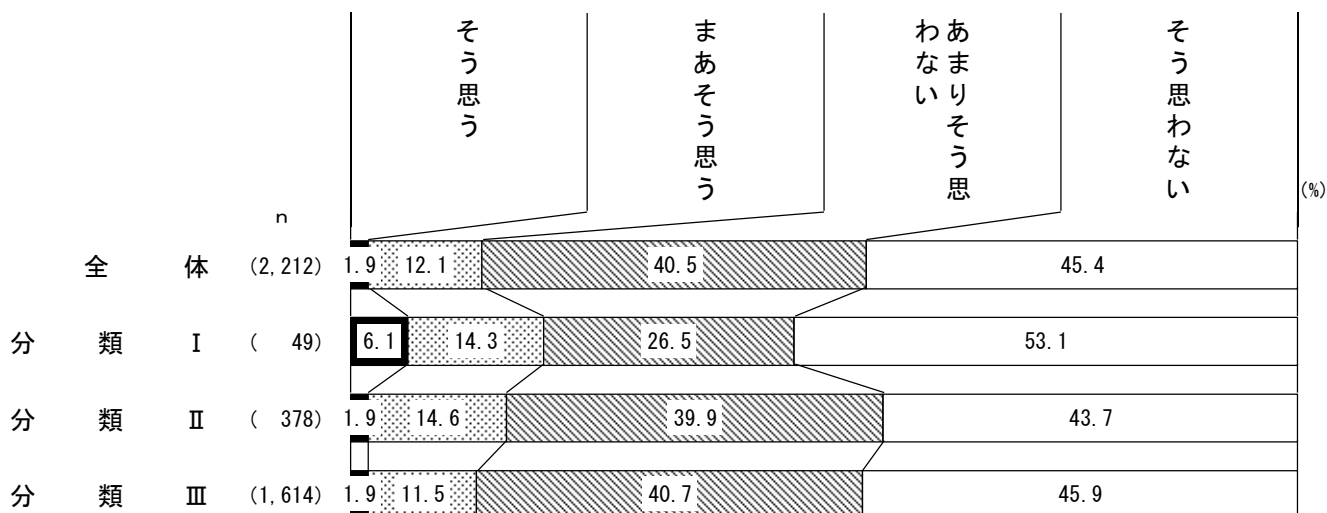
【図表 2-71】『がんばって働かなくても生活していけると思う』について（世帯構成別）



『がんばって働かなくても生活していけると思う』について、所得分類別にみると、大きな差はみられない。

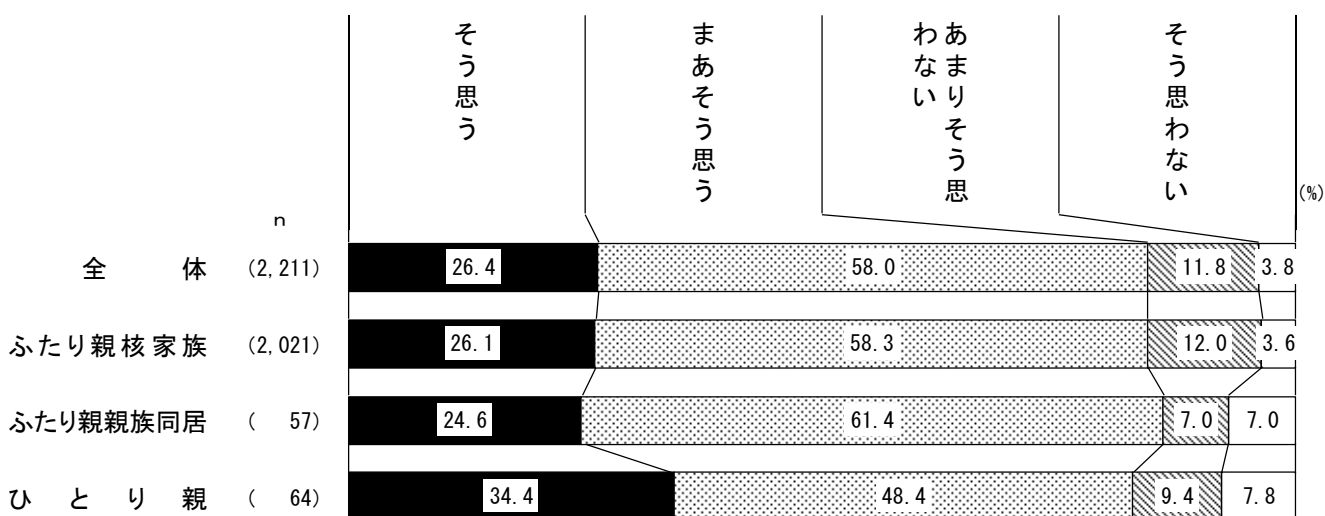
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 2-72】『がんばって働かなくても生活していけると思う』について（所得分類別）



『努力すれば夢や希望はかなえられると思う』について、世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

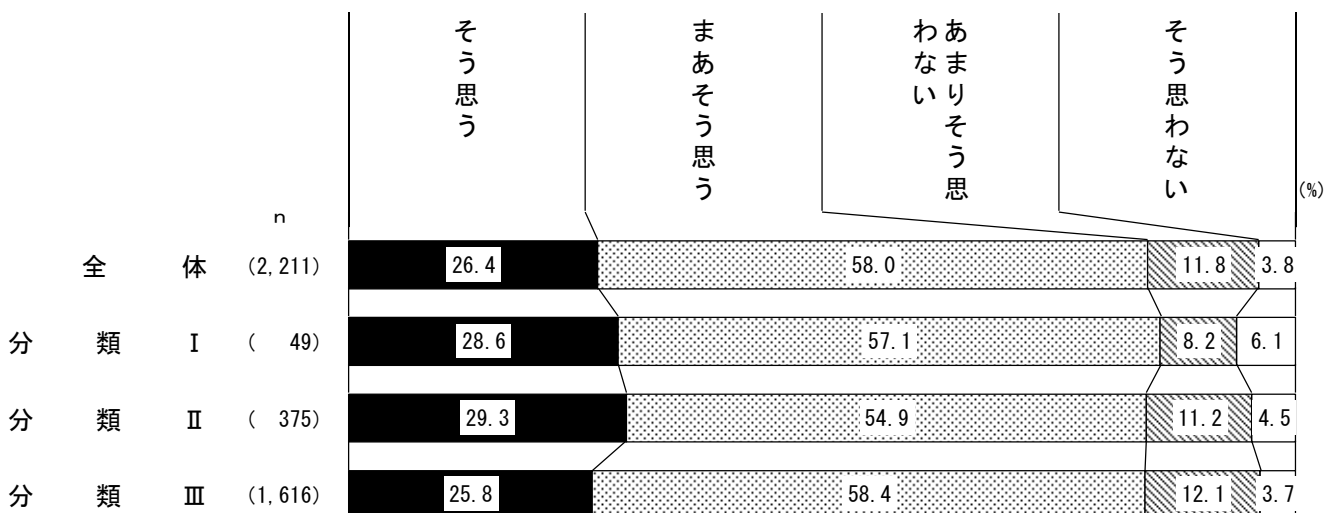
【図表 2-73】『努力すれば夢や希望はかなえられると思う』について（世帯構成別）



『努力すれば夢や希望はかなえられると思う』について、所得状況別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 2-74】『努力すれば夢や希望はかなえられると思う』について（所得分類別）

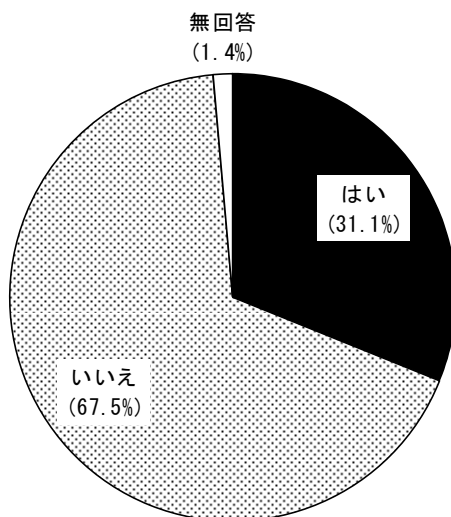


## エ 今後の子どもの出産希望

### ① 出産希望【問 27】(SA)

新たに子どもを出産する希望があるか聞いたところ、「はい」が31.1%、「いいえ」が67.5%となっている。

【図表 2-75】 出産希望

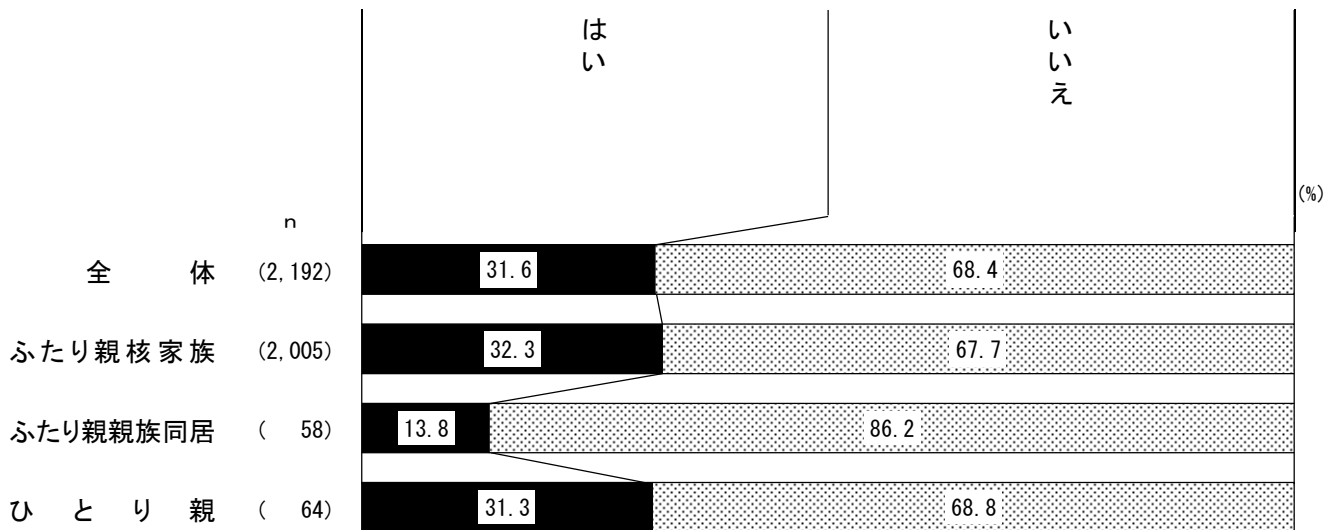


n=2, 223



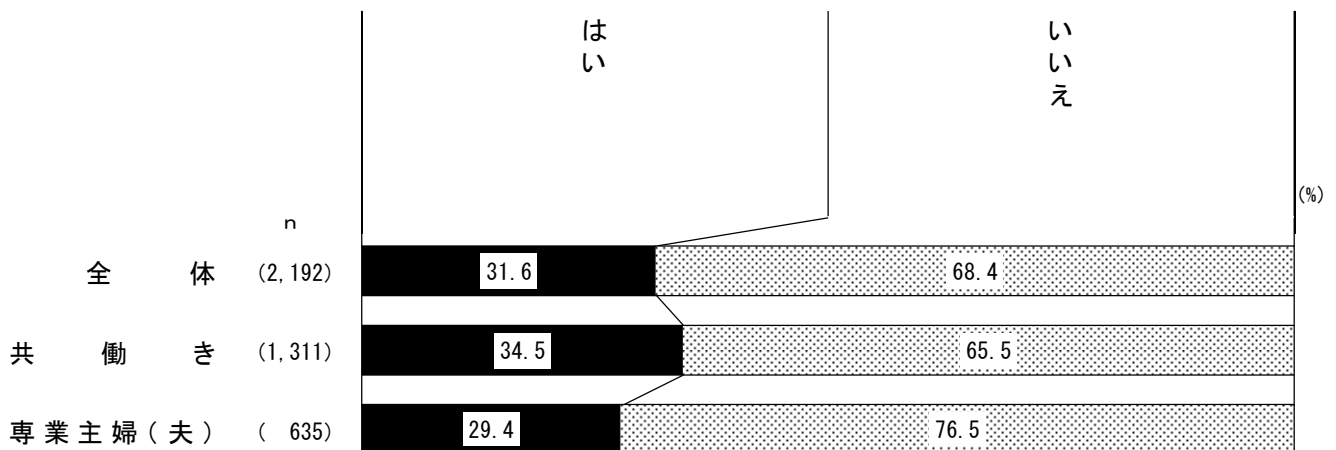
新たに子どもを出産する希望があるかについて、世帯構成別にみると、「いいえ」と回答した割合は『ふたり親親族同居』において86.2%と、全体に比べて高くなっている。

【図表 2-76】 出産希望（世帯構成別）



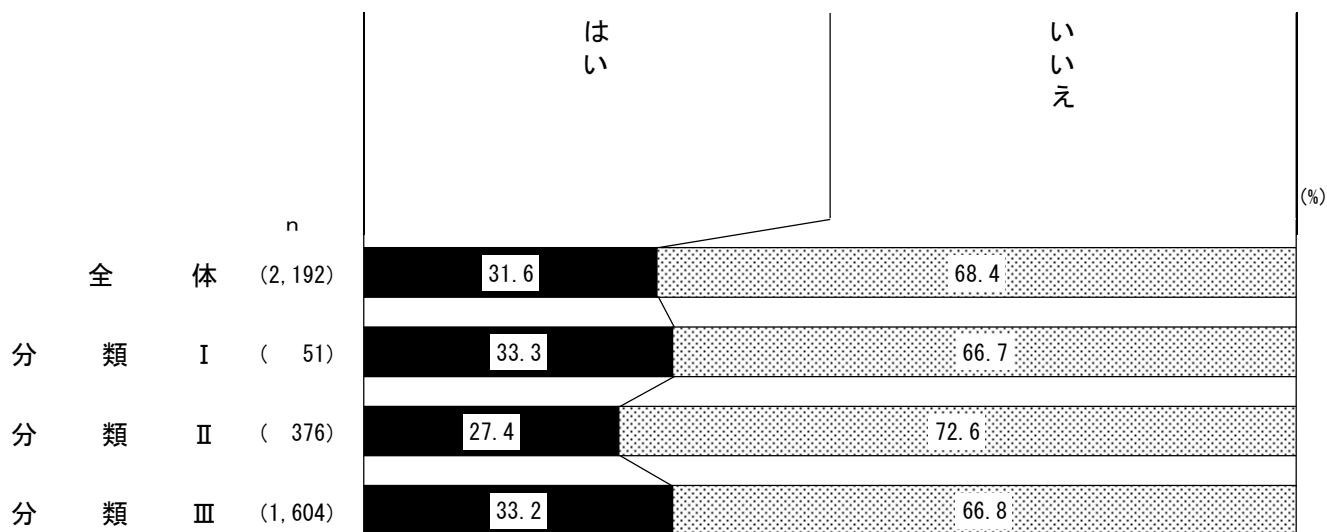
新たに子どもを出産する希望があるかについて、ふたり親（核家族）の就労状況別にみると、大きな差は見られない。（クロス軸「その他（両方無職含む）」は、サンプル数が10に満たないため除外している。）

【図表 2-77】 出産希望（ふたり親世帯（核家族）の就労状況別）



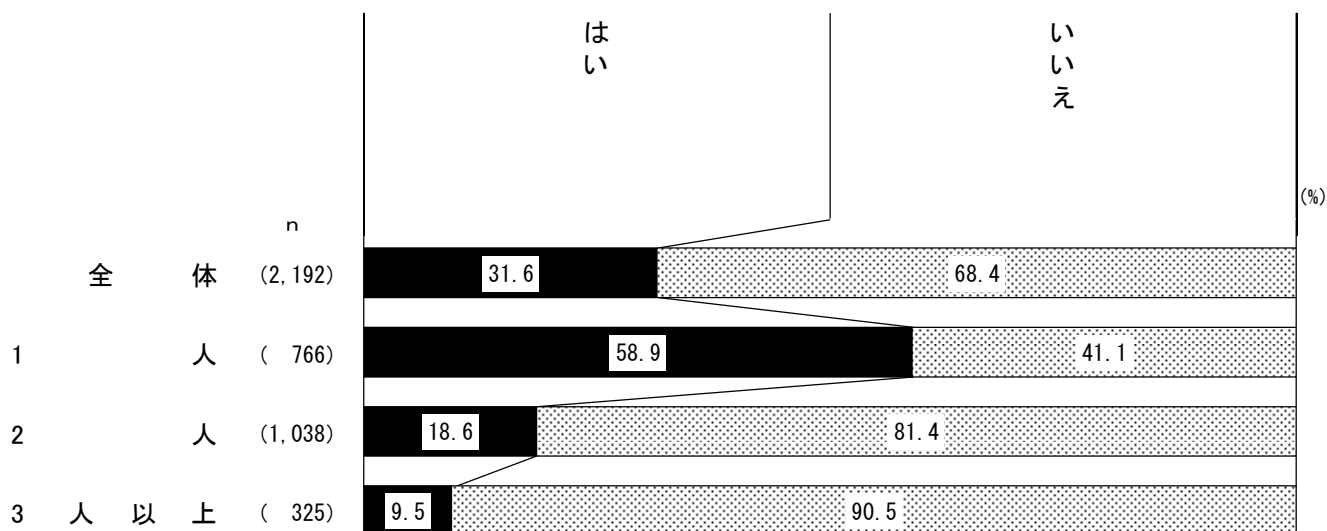
新たに子どもを出産する希望があるかについて、所得状況別に見ると、大きな差は見られない。

【図表 2-78】 出産希望（所得分類別）



新たに子どもを出産する希望があるかについて、現在の子どもの人数別にみると、「はい」は子どもの人数が少ないほど、「いいえ」は子どもの人数が多いほど割合が高くなっている。

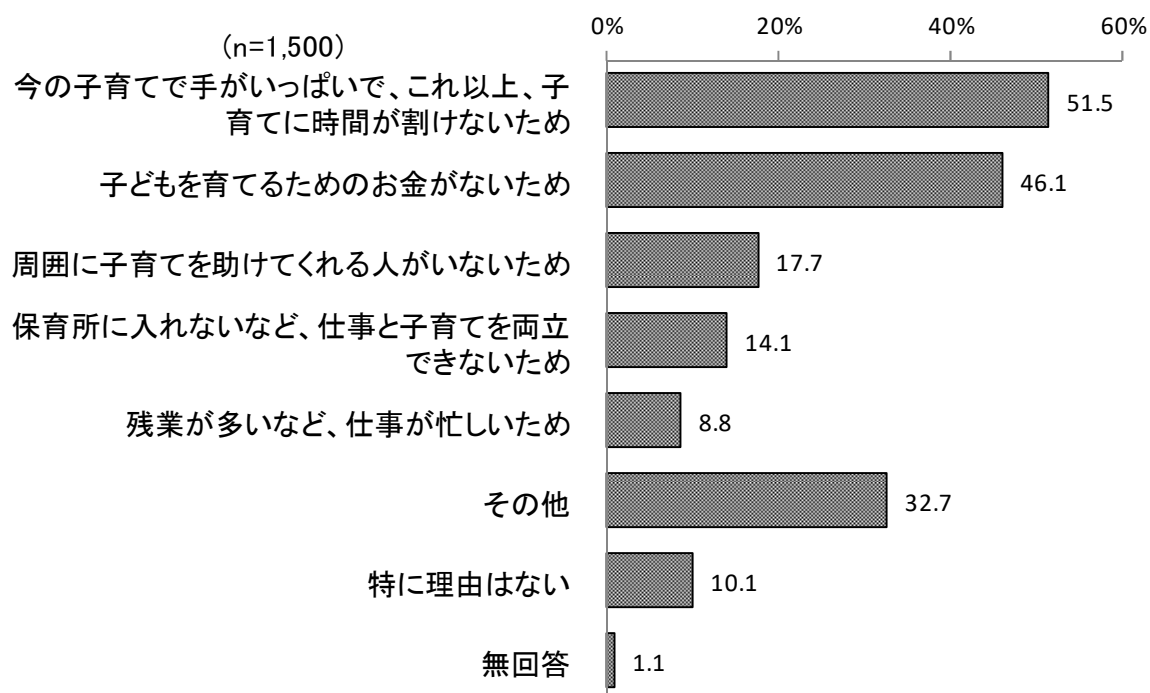
【図表 2-79】 出産希望（子どもの人数別）



## ② 新たに子どもを望まない理由【問 27-2】(MA)

新たに子どもを出産することを望まない方に、その理由を複数回答で聞いたところ、「今の子育てで手がいっぱい、これ以上、子育てに時間が割けないため」が 51.5%で最も高く、次いで「子どもを育てるためのお金がないため」が 46.1%、「周囲に子育てを助けてくれる人がいないため」が 17.7%となっている。

【図表 2-80】新たに子どもを望まない理由（複数回答）



新たに子どもを出産することを望まない理由を複数回答で聞いたところ、世帯構成別、子どもの人数別、ふたり親・核家族の就労状況別にみると、大きな差はみられない。

所得分類別にみると、『分類Ⅱ』において「子どもを育てるためのお金がないため」が61.4%と全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 2-81】 出産を望まない理由（複数回答）  
（世帯構成別、子どもの人数別、ふたり親世帯（核家族）の就労状況別、所得分類別）

		n	の子どもを育てるため	事業が多いため、仕事	両立、育で仕事に入れないため	保育所に預けるのを助けない	周囲に子育てを助けない	子育てに時間割けない	今の子育てで手がいつ	その他	特に理由はない
全体		1,483	46.7	8.9	14.2	17.9	52.1	33.1	10.2		
世帯構成	ふたり親核家族	1,343	46.6	8.8	13.6	18.2	52.4	32.8	9.9		
	ふたり親親族同居	49	46.9	8.2	16.3	12.2	46.9	38.8	16.3		
	ひとり親	44	47.7	13.6	18.2	15.9	45.5	29.5	13.6		
子どもの数	1人	312	43.6	10.3	19.9	23.1	46.2	38.1	7.7		
	2人	834	48.0	9.8	14.1	18.7	52.9	28.8	11.5		
	3人以上	292	45.9	4.8	6.5	10.6	55.8	38.7	9.2		
親ふたり核	共働き	848	47.8	13.1	17.1	17.6	53.5	32.8	8.6		
	専業主婦（夫）	482	45.4	1.2	7.9	19.5	50.8	33.0	11.6		
	その他（両方無職含む）	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
所得分類	分類Ⅰ	34	52.9	14.7	23.5	17.6	52.9	11.8	14.7		
	分類Ⅱ	272	61.4	4.0	16.2	18.0	51.8	27.6	7.4		
	分類Ⅲ	1,058	42.5	10.3	12.6	18.1	51.4	35.1	10.6		

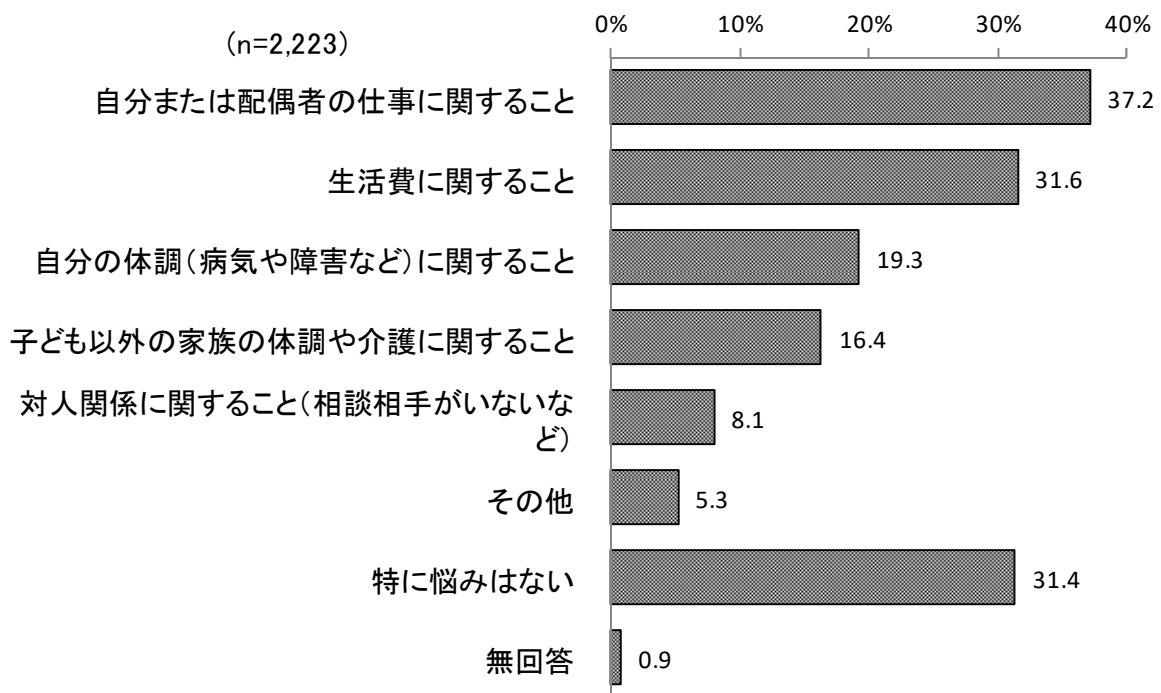
(2) 保護者の悩みごと

ア 生活に関する悩み

① 保護者自身に関する悩み【問13】(MA)

保護者自身に関する悩みを複数回答で聞いたところ、「特に悩みはない」と回答した世帯が31.4%となっている一方で、悩みがあると回答した世帯においては、「自分または配偶者の仕事に関すること」が37.2%で最も高く、次いで「生活費に関すること」が31.6%、「自分の体調(病気や障害など)に関すること」が19.3%となっている。

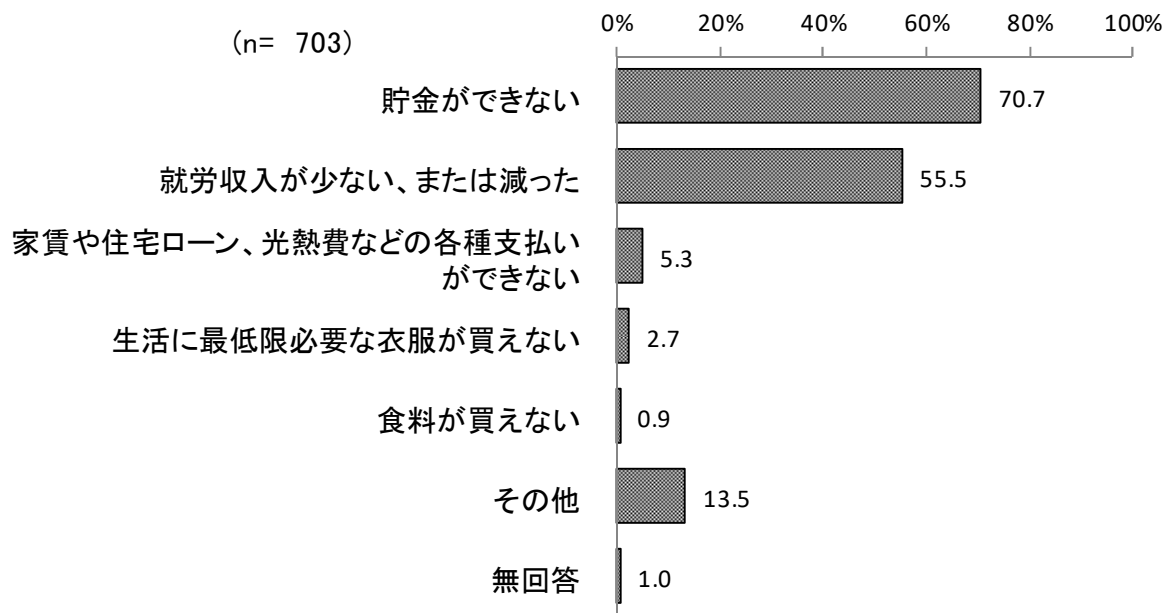
【図表 2-82】 保護者自身に関する悩み(複数回答)



## ② 生活費に関する心配ごと・悩み【問 13-2】(MA)

保護者自身に関する悩みについて、「生活費に関すること」と回答した方に、心配ごと・悩みの内容を複数回答で聞いたところ、「貯金ができない」が70.7%で最も高く、次いで「就労収入が少ない、または減った」が55.5%、「家賃や住宅ローン、光熱費などの各種支払いができない」が5.3%となっている。

【図表 2-83】生活費に関する悩み（複数回答）

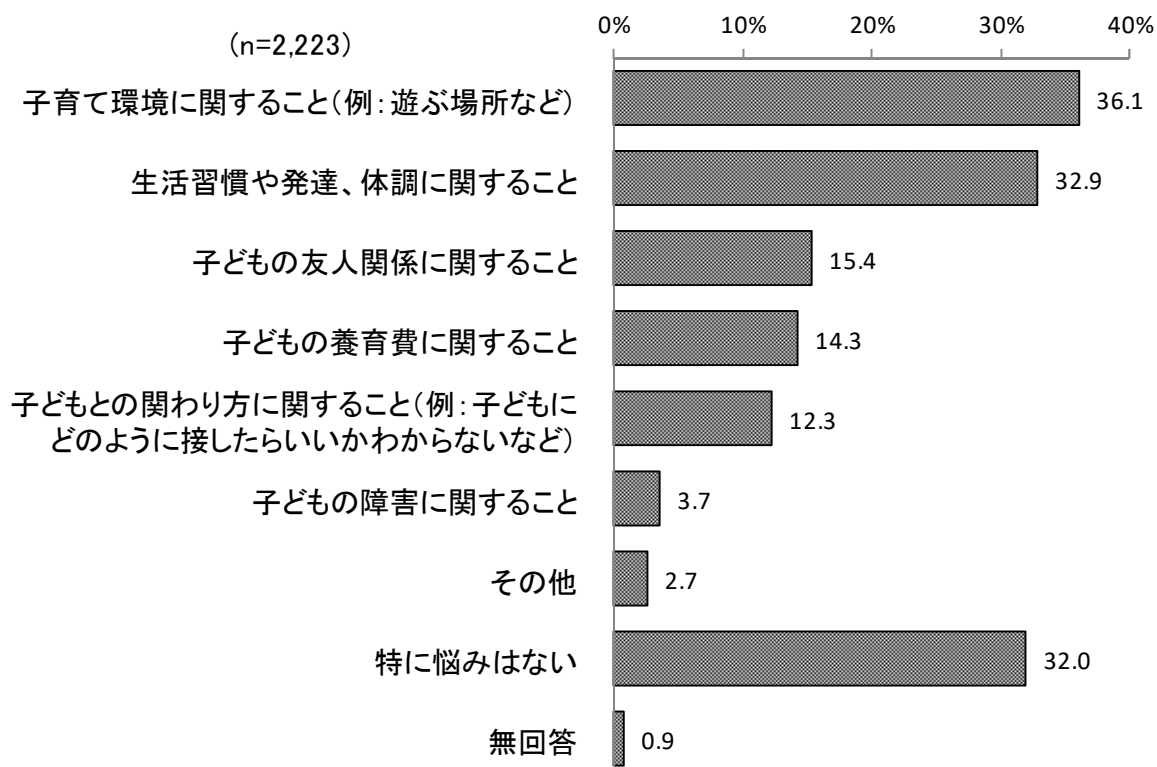


## イ 子どもに関する悩み

### ① 子ども・子育てに関する悩み【問 14】(MA)

子ども・子育てに関する悩みを複数回答で聞いたところ、「特に悩みはない」と回答した世帯が 32.0% となっている一方で、悩みがあると回答した世帯においては、「子育て環境に関すること（例：遊ぶ場所など）」が 36.1% で最も高く、次いで「生活習慣や発達、体調に関すること」が 32.9%、「子どもの友人関係に関すること」が 15.4% となっている。

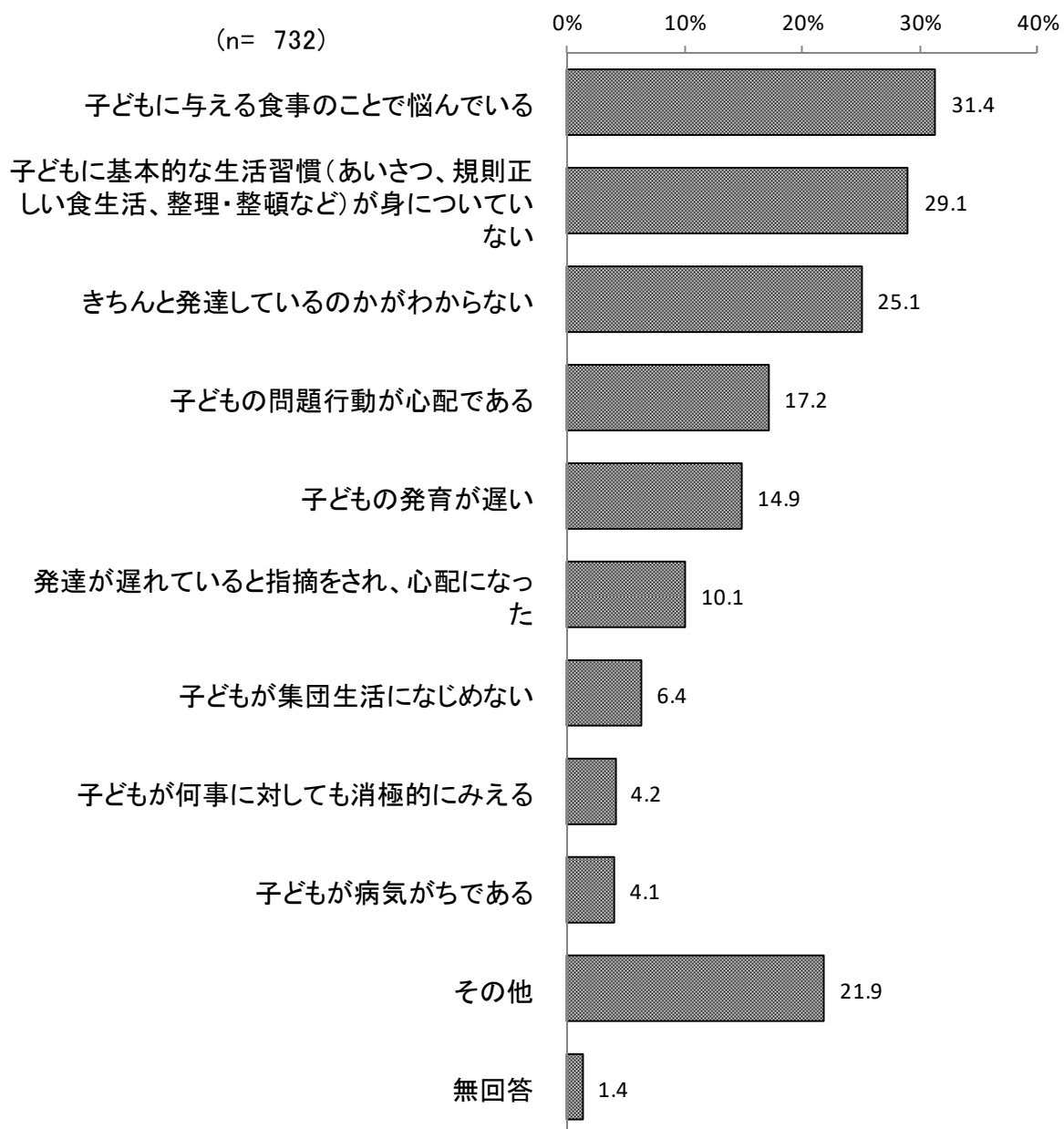
【図表 2-84】 子ども・子育てに関する悩み（複数回答）



② 子どもの生活習慣や発達、体調に関する心配ごと・悩み【問 14-2】(MA)

子ども・子育てに関する悩みについて、「生活習慣や発達、体調に関すること」と回答した方に、心配ごと・悩みの内容を複数回答で聞いたところ、「子どもに与える食事のことで悩んでいる」が31.4%で最も高く、次いで「子どもに基本的な生活習慣（あいさつ、規則正しい食生活、整理・整頓など）が身につけていない」が29.1%、「きちんと発達しているのかがわからない」が25.1%となっている。

【図表 2-85】子どもの生活習慣や発達、体調に関する心配ごと・悩み（複数回答）

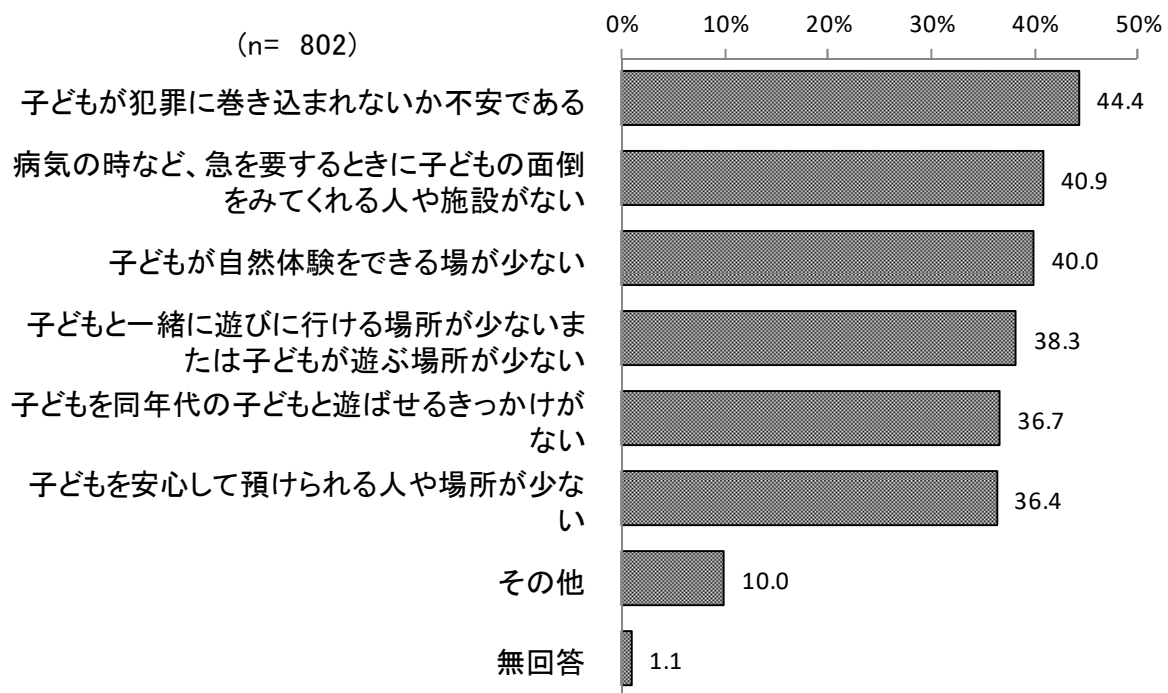




## ウ 子育て環境に関する心配ごと・悩み【問 14-3】(MA)

子ども・子育てに関する悩みについて、「子育て環境に関すること（例：遊ぶ場所など）」と回答した方に、心配ごと・悩みの内容を複数回答で聞いたところ、「子どもが犯罪に巻き込まれないか不安である」が44.4%で最も高く、次いで「病気の時など、急を要するときに子どもの面倒をみってくれる人や施設がない」が40.9%、「子どもが自然体験をできる場が少ない」が40.0%となっている。

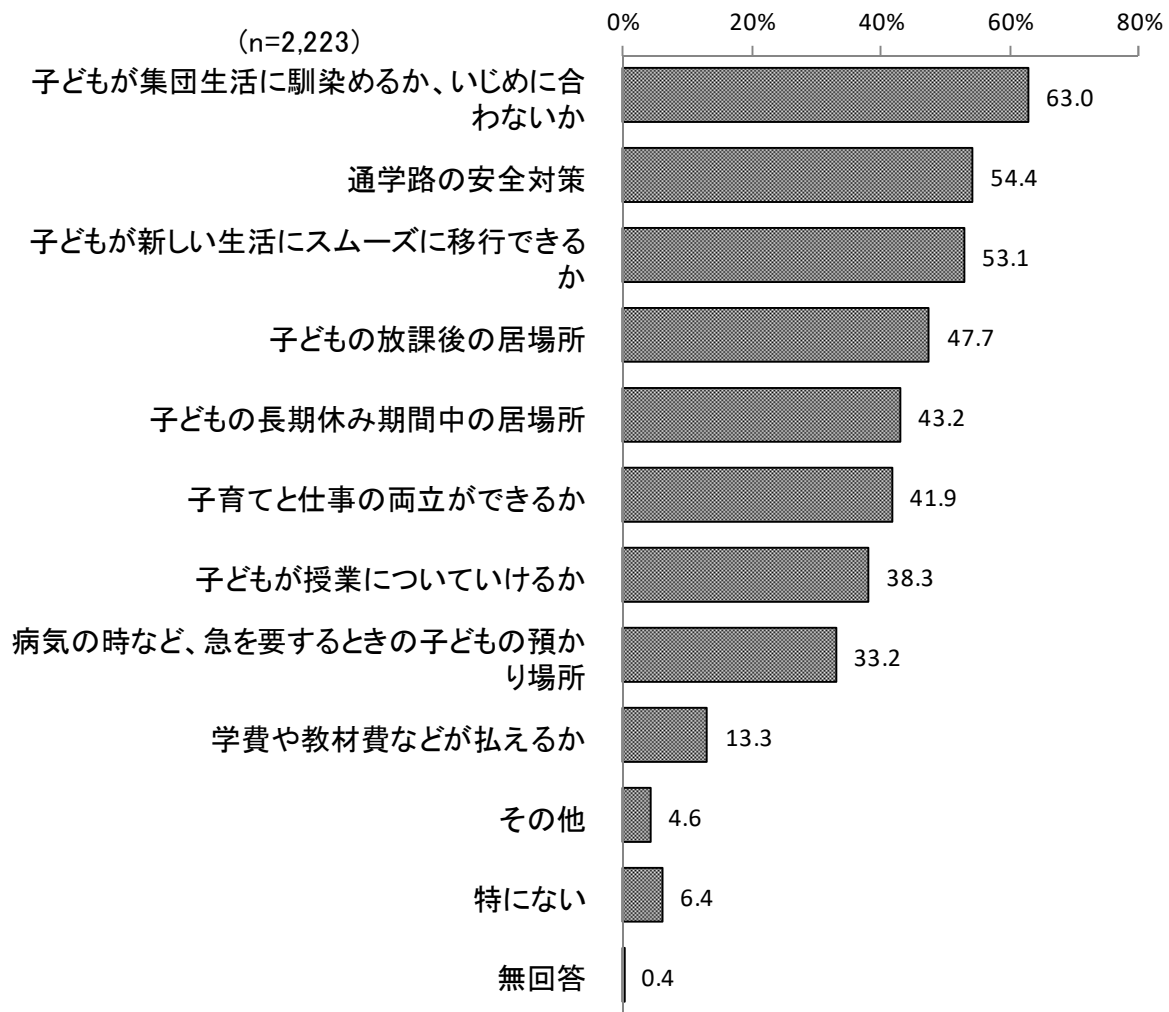
【図表 2-86】子育て環境に関する心配ごと・悩み（複数回答）



エ 小学校入学に向けた悩み【問7】(MA)

小学校入学に向けて、保護者が抱える不安なことを複数回答で聞いたところ、「特にない」と回答した世帯は6.4%となっている一方で、「子どもが集団生活に馴染めるか、いじめに合わないか」が63.0%で最も高く、次いで「通学路の安全対策」が54.4%、「子どもが新しい生活にスムーズに移行できるか」が53.1%となっている。

【図表 2-87】 小学校入学に向けた悩み（複数回答）

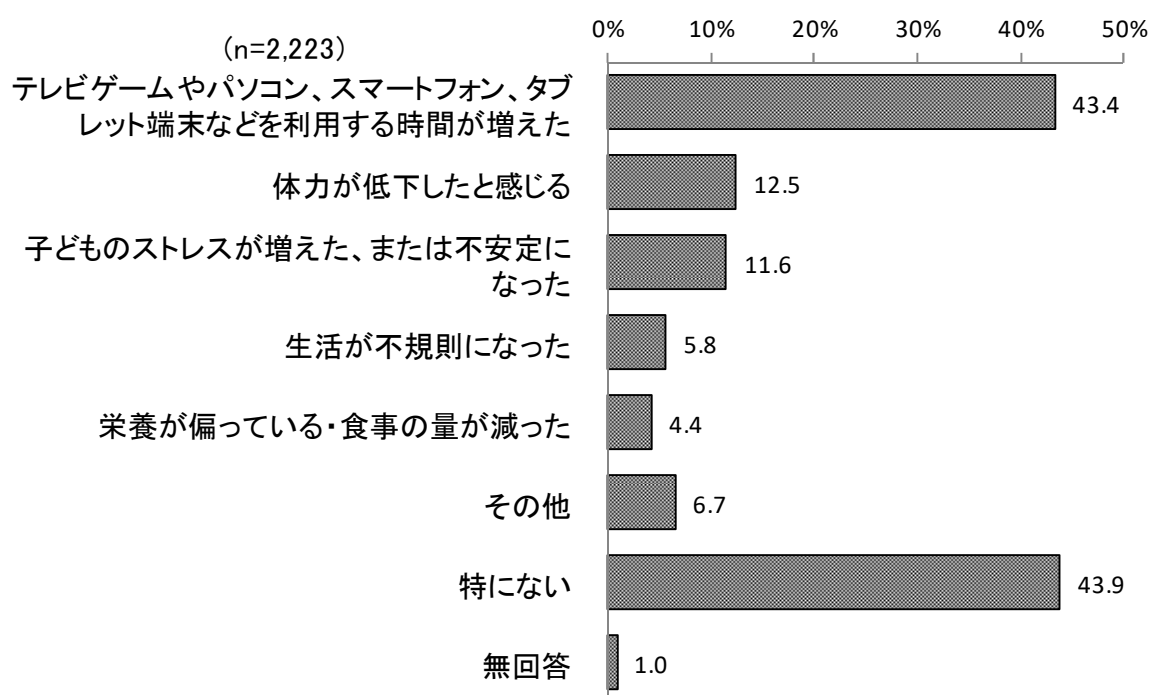


## オ コロナ禍による影響

### ① 外出自粛等の影響による子どもの変化【問17】(MA)

新型コロナウイルス感染拡大前と比べて、子どもの生活面で心配なことがあるか複数回答で聞いたところ、「特にない」と回答した世帯は43.9%となっている一方で、心配なことがあると回答した世帯においては、「テレビゲームやパソコン、スマートフォン、タブレット端末などを利用する時間が増えた」が43.4%で最も高く、次いで「体力が低下したと感じる」が12.5%、「子どものストレスが増えた、または不安定になった」が11.6%となっている。

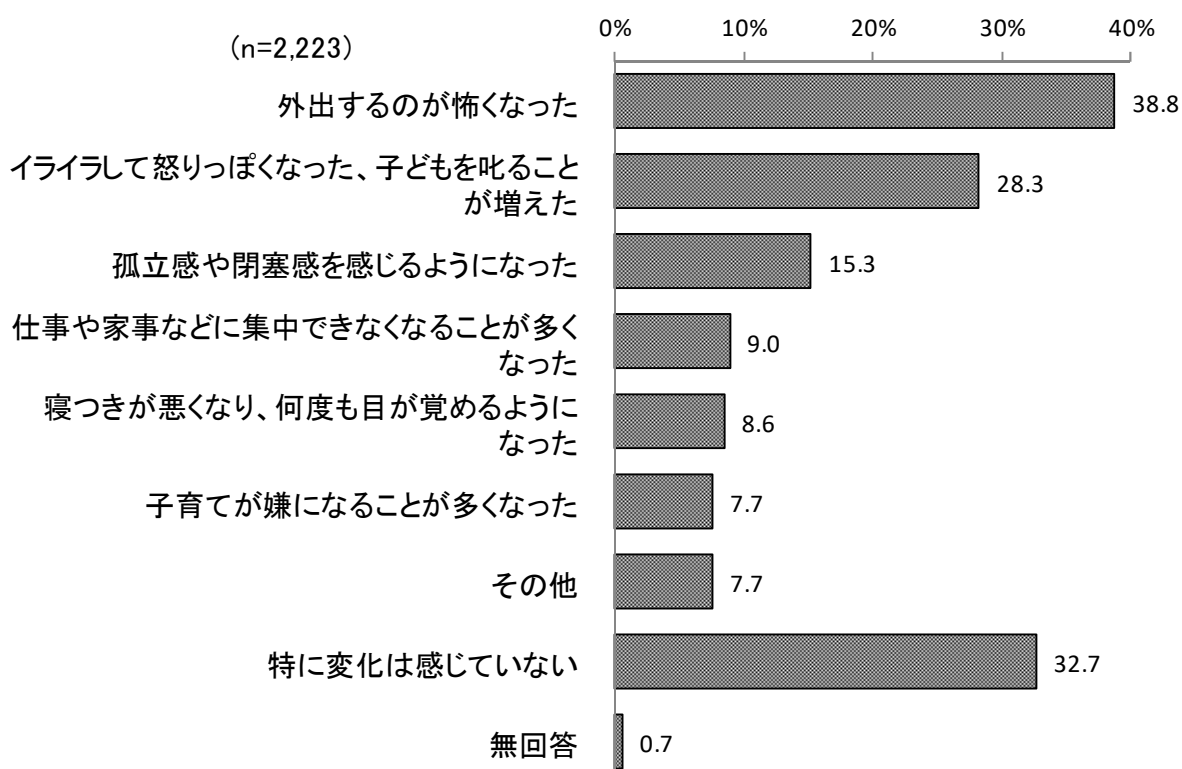
【図表 2-88】外出自粛等の影響による子どもの変化（複数回答）



## ② 外出自粛等の影響による保護者自身の変化【問 18】(MA)

新型コロナウイルス感染拡大前と比べて、保護者自身の生活面での変化を複数回答で聞いたところ、「外出するのが怖くなった」が 38.8%で最も高く、次いで「イライラして怒りっぽくなった、子どもを叱ることが増えた」が 28.3%、「孤立感や閉塞感を感じるようになった」が 15.3%となっている。一方、「特に変化は感じていない」が 32.7%となっている。

【図表 2-89】外出自粛等の影響による保護者自身の変化（複数回答）



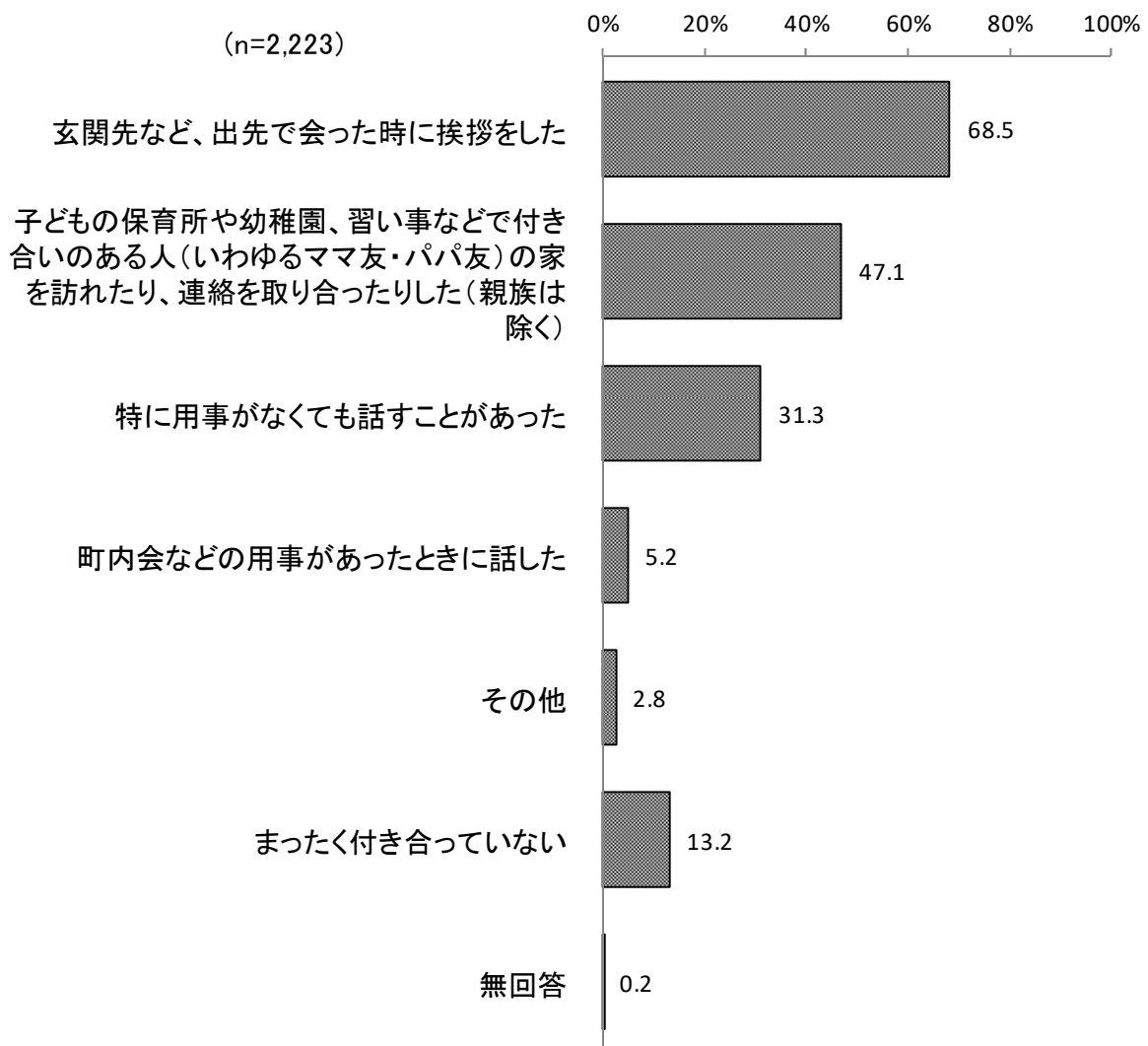
### (3) 保護者の相談相手の有無等

#### ア 近所付き合いの程度【問10】(MA)

直近1か月間の近所付き合いの程度を複数回答で聞いたところ、「玄関先など、出先で会った時に挨拶をした」が68.5%で最も高く、次いで「子どもの保育所や幼稚園、習い事などで付き合いのある人(いわゆるママ友・パパ友)の家を訪れたり、連絡を取り合ったりした(親族は除く)」が47.1%、「特に用事がなくても話すことがあった」が31.3%となっている。

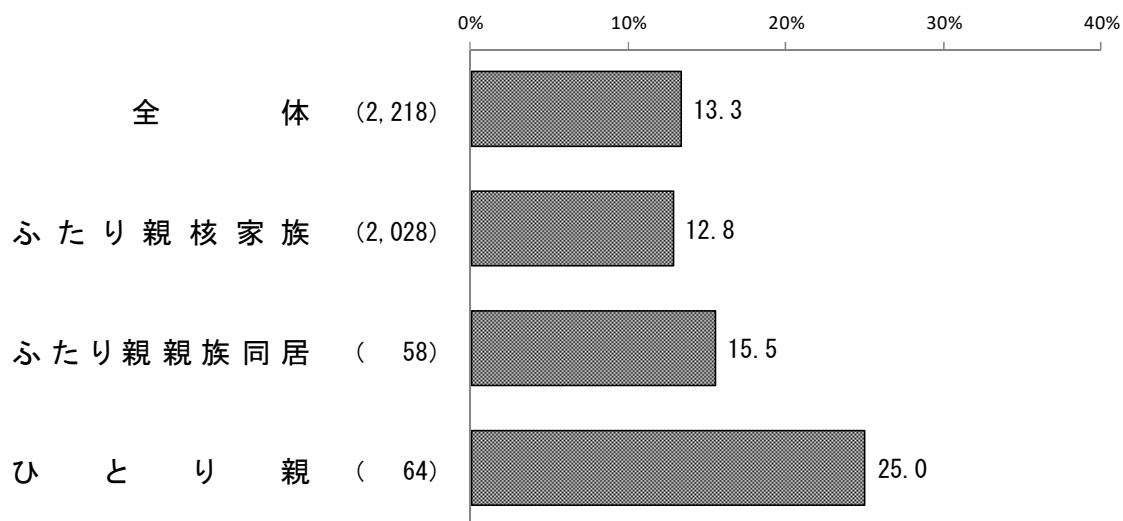
一方、「まったく付き合いがない」が13.2%となっている。

【図表 2-90】近所付き合いの程度(複数回答)



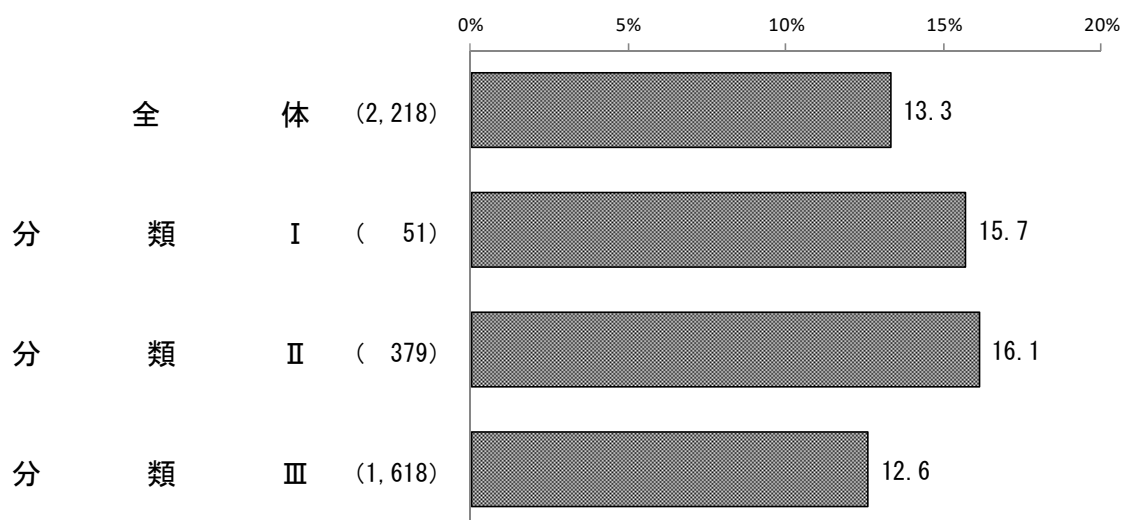
直近1か月間の近所付き合いの程度のうち『まったく付き合いがない』と回答した人を世帯構成別にみると、『ひとり親』では25.0%と全体に比べて高くなっている。

【図表 2-91】 近所付き合いの程度『まったく付き合いがない』  
(世帯構成別)



直近1か月間の近所付き合いの程度のうち『まったく付き合いがない』と回答した人を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

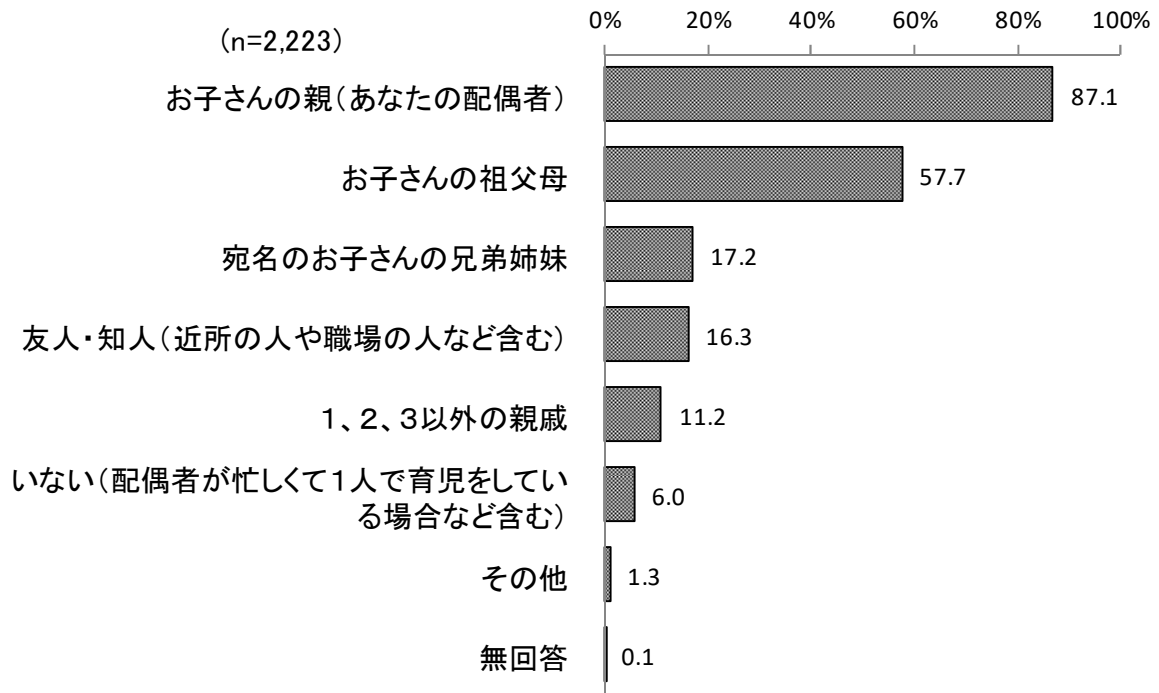
【図表 2-92】 近所付き合いの程度『まったく付き合いがない』  
(所得分類別)



## イ 子育て協力者の有無【問9】(MA)

ふだん子育てに協力してくれる人を複数回答で聞いたところ、「お子さんの親（あなたの配偶者）」が87.1%で最も高く、次いで「お子さんの祖父母」が57.7%、「宛名のお子さんの兄弟姉妹」が17.2%となっている。

【図表 2-93】子育て協力者の有無（複数回答）



ふだん子育てに協力してくれる人を世帯構成別にみると、「お子さんの祖父母」では、『ふたり親親族同居』（77.6%）、『ひとり親』（70.3%）がそれぞれ全体に比べて高くなっている。また、「宛名のお子さんの兄弟姉妹」においては、『ふたり親親族同居』が29.3%と全体に比べて高くなっている。一方、「お子さんの親（あなたの配偶者）」では、『ひとり親』で17.2%と全体に比べて低くなっている。

所得分類別にみると、『分類Ⅰ』においては「お子さんの親」の割合が60.0%と、全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 2-94】子育て協力者の有無（複数回答）  
（世帯構成別、ふたり親世帯（核家族）の就労状況、所得分類別）

		n	た お の 配 偶 者 ）	お 子 さ ん の 祖 父 母	弟 宛 名 の お 子 さ ん の 兄 姉 妹	戚 1、 2、 3 以 外 の 親	む ） 人 や 職 場 の 人 な ど 含 む ）	い く て 1 人 で 育 児 を し て い な い （ 配 偶 者 が 忙 し い 場 合 な ど 含 む ）
全 体		2,221	87.2	57.7	17.2	11.3	16.3	6.0
世 成 帯 構	ふたり親核家族	2,030	89.8	56.7	16.8	11.0	16.3	5.9
	ふたり親親族同居	58	84.5	<b>77.6</b>	<b>29.3</b>	17.2	17.2	3.4
	ひとり親	64	17.2	<b>70.3</b>	15.6	<b>18.8</b>	15.6	<b>14.1</b>
家 族 ・ 核 心	共働き	1,329	90.5	59.4	15.7	11.4	15.0	4.9
	専業主婦（夫）	679	88.1	51.4	19.1	10.2	18.6	8.0
	その他（両方無職含む）	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
分 所 得	分類Ⅰ	50	60.0	62.0	14.0	14.0	10.0	10.0
	分類Ⅱ	380	85.8	62.6	<b>24.5</b>	15.3	19.2	6.3
	分類Ⅲ	1,619	89.3	55.9	15.0	10.1	15.3	5.9

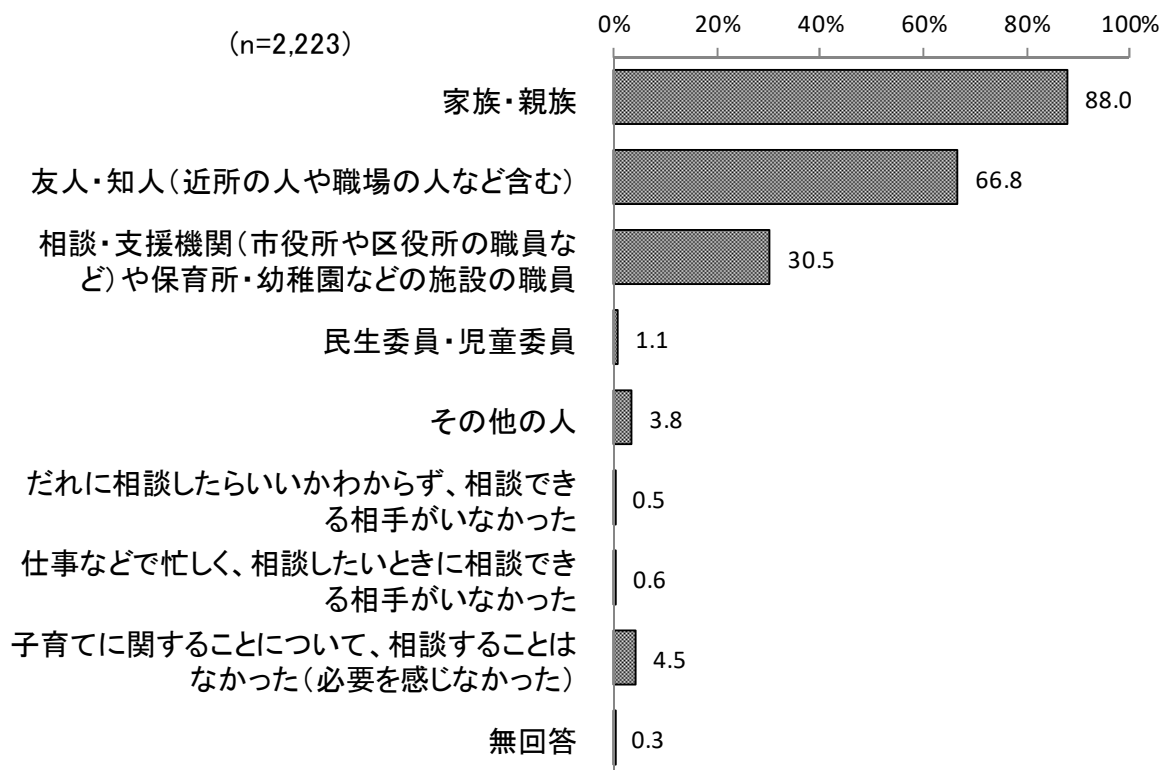


## ウ 相談相手の有無

### ① 子育てに関する相談先【問 11a】(MA)

子育てに関する相談先を複数回答で聞いたところ、「家族・親族」が88.0%で最も高く、次いで「友人・知人(近所の人や職場の人など含む)」が66.8%、「相談・支援機関(市役所や区役所の職員など)や保育所・幼稚園などの施設の職員」が30.5%となっている。

【図表 2-95】子育てに関する相談先(複数回答)



『子育てに関することについて相談する相手がいなかった』、『相談することはなかった』と回答した方について世帯構成別、所得分類別にみると、いずれも大きな差はみられない。

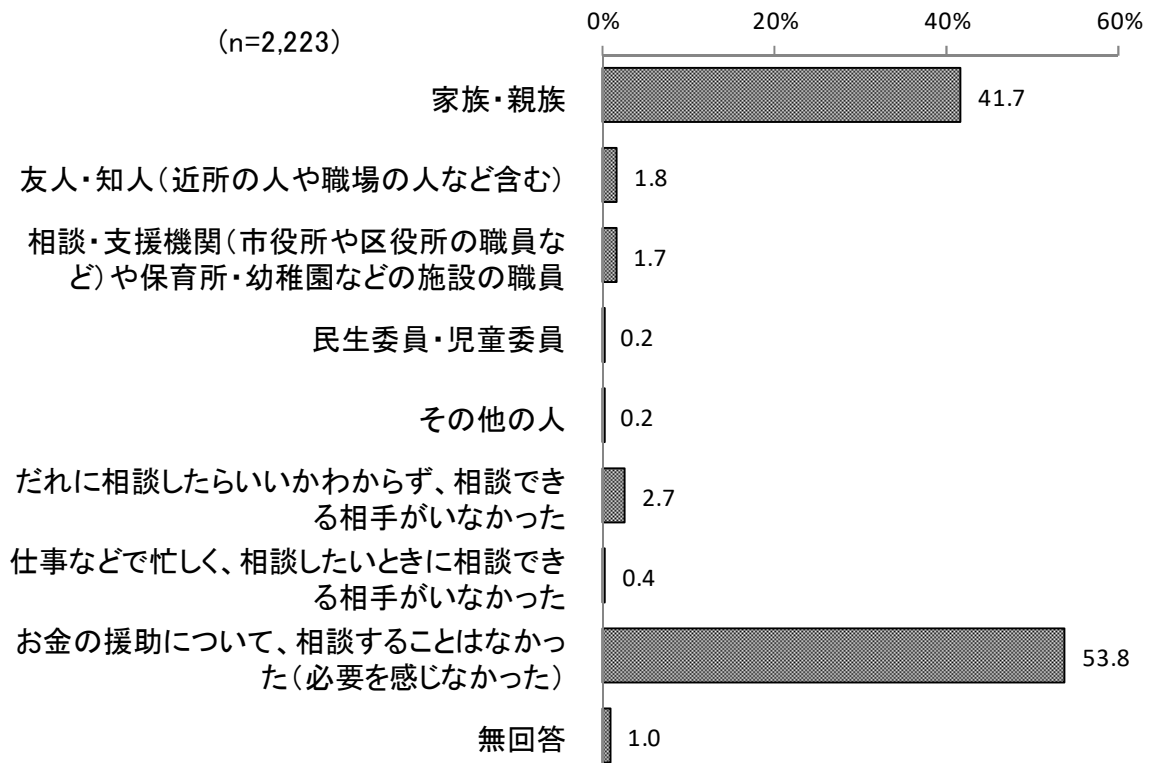
【図表 2-96】子育てに関する相談先（複数回答）  
（世帯構成別、所得分類別）

		n	るか 相 手 が い ず な か つ た で い き	だ れ に 相 談 し た ら い き	き し 手 が い ず な か つ た で	仕 事 な ど で し ま さ ず 相 談 し た ら い き	じ は な か つ た （ 必 要 を 感 ず く	つ つ と 相 談 す る こ と に 関 心 を も つ た
全 体		2,216	0.5	0.6	4.6			
世 帯 構 成	ふたり親核家族	2,026	0.4	0.5	4.5			
	ふたり親親族同居	58	1.7	3.4	3.4			
	ひとり親	63	3.2	1.6	9.5			
分 所 類 得	分類Ⅰ	50	2.0	2.0	0.0			
	分類Ⅱ	379	1.1	0.5	5.0			
	分類Ⅲ	1,616	0.3	0.6	4.5			

② いざという時のお金の援助相談先【問 11b】(MA)

いざという時のお金の援助相談先を複数回答で聞いたところ、「家族・親族」が 41.7%で最も高く、「お金の援助について、相談することはなかった(必要を感じなかった)」が 53.8%となっている。

【図表 2-97】 いざという時のお金の援助相談先(複数回答)



いざという時のお金について相談する相手がいなかった、相談することはなかったと回答した方について世帯構成別にみると、「お金の援助について、相談することはなかった（必要は感じなかった）」は『ふたり親親族同居』（34.5%）、『ひとり親』（37.1%）で、それぞれ全体に比べて低くなっている。

所得分類別にみると、「お金の援助について、相談することはなかった（必要は感じなかった）」は『分類Ⅰ』（24.0%）、『分類Ⅱ』（40.1%）でそれぞれ全体に比べて低くなっている。

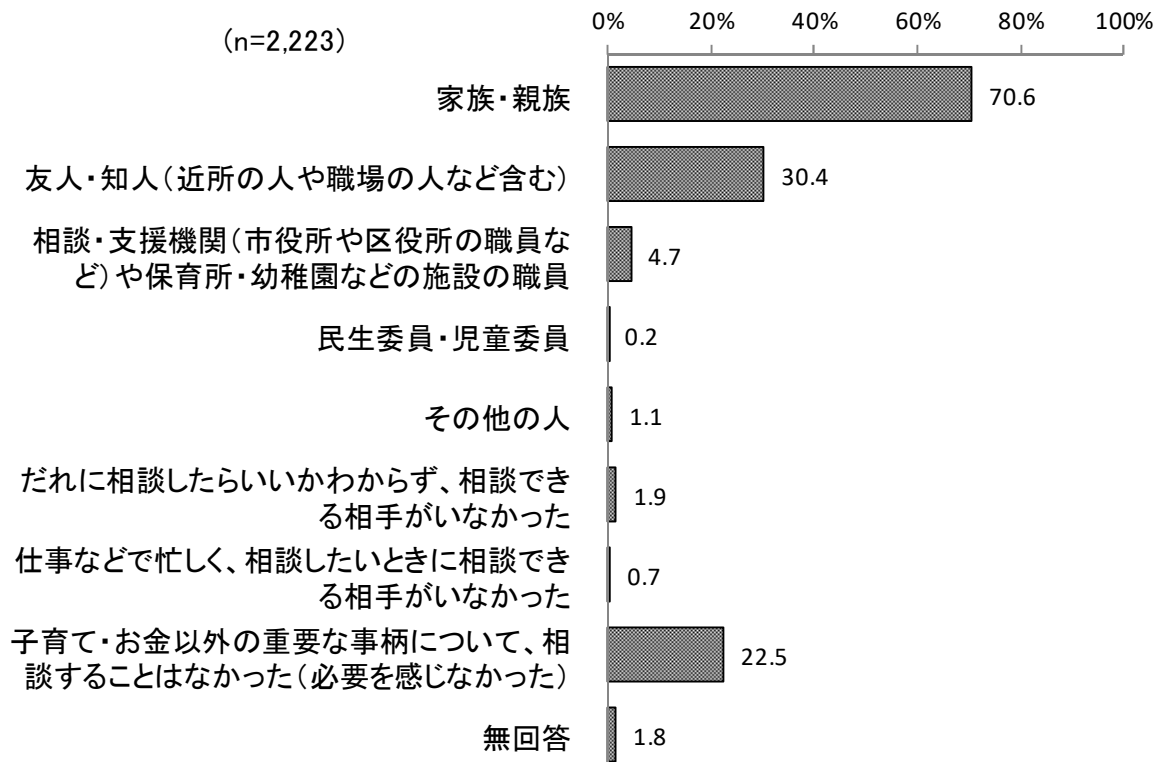
【図表 2-98】 いざという時のお金の援助相談先（複数回答）  
（世帯構成別、所得分類別）

		n	るか 相わ 手が がら いず な か つ た で い き い	き 談 し 相 手 が と い き な に し か つ た で 相	仕 事 な ど で 忙 し く 、 相 談 し な か つ た で 相	た た 相 談 す る に は 必 要 な か ら な い か つ た で 相	お 金 の 援 助 を 感 じ な か つ た で 相
全 体		2,201	2.8	0.5	54.3		
世 帯 構 成	ふたり親核家族	2,013	2.4	0.4	55.8		
	ふたり親親族同居	58	8.6	1.7	34.5		
	ひとり親	62	9.7	0.0	37.1		
分 所 得 類	分類Ⅰ	50	10.0	2.0	24.0		
	分類Ⅱ	377	8.2	0.5	40.1		
	分類Ⅲ	1,607	1.4	0.3	58.7		

③ 子育て、お金の援助相談以外の重要な事柄の相談先【問 11c】(MA)

子育て、お金の援助相談以外の重要な事柄の相談先を複数回答で聞いたところ、「家族・親族」が70.6%で最も高く、次いで「友人・知人(近所の人や職場の人など含む)」が30.4%となっており、「子育て・お金以外の重要な事柄について、相談することはなかった(必要を感じなかった)」が22.5%となっている。

【図表 2-99】子育て、お金の援助相談以外の重要な事柄の相談先(複数回答)



子育て、お金の援助相談以外の重要な事柄について相談する相手がいなかった、相談することはなかったと回答した方について世帯構成別にみると、「子育て・お金以外の重要な事柄について、相談することはなかった」は『ひとり親』において12.9%と、全体に比べて低くなっている。

所得分類別にみると、「子育て・お金以外の重要な事柄について、相談することはなかった」は『分類Ⅰ』において10.2%と、全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 2-100】子育て、お金の援助相談以外の重要な事柄の相談先（複数回答）  
（世帯構成別、所得分類別）

		n	相談する相手がいないかつた	相談したいがいきなかつた	仕事などで忙しく相談できなかった	子育て・お金以外の重要な事柄について相談する必要がある（必要）
全 体		2,184	1.9	0.7	22.9	
世帯構成	ふたり親核家族	1,998	1.9	0.7	23.5	
	ふたり親親族同居	57	1.8	0.0	14.0	
	ひとり親	62	4.8	1.6	12.9	
所得分類	分類Ⅰ	49	6.1	2.0	10.2	
	分類Ⅱ	377	3.7	0.8	19.4	
	分類Ⅲ	1,594	1.4	0.6	24.1	

## 第4節 子育ての状況

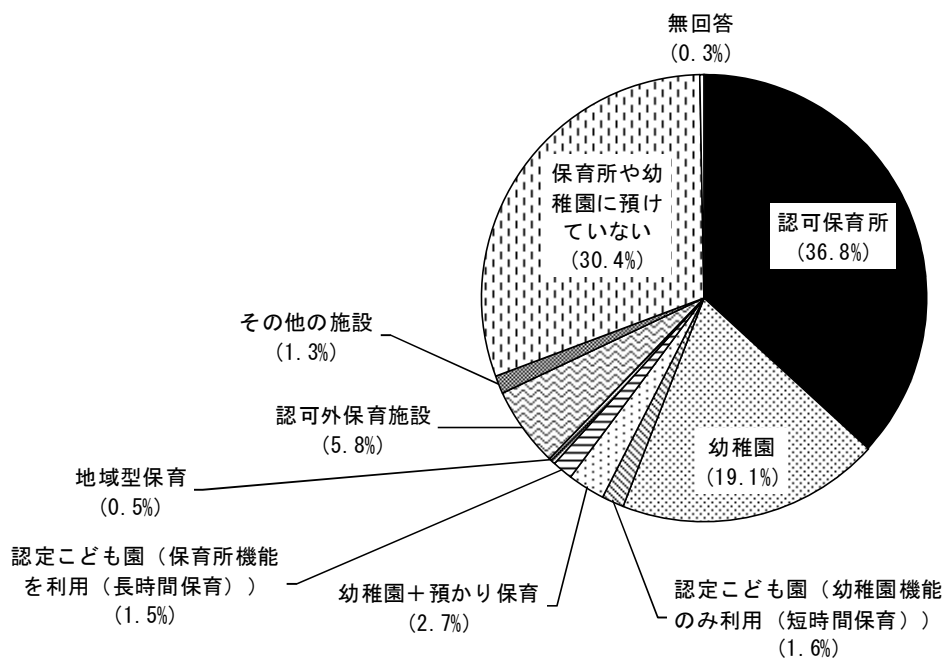
### (1) 保育所・幼稚園等の利用状況

#### ア 平日の日中に主に利用している施設等【問1】(SA)

平日の日中に主に利用している施設を聞いたところ、「認可保育所」が36.8%で最も高く、次いで「幼稚園」が19.1%、「認可外保育施設」が5.8%となっている。

一方、「保育所や幼稚園に預けていない」が30.4%となっている。

【図表 2-101】 平日の日中に主に利用している施設等

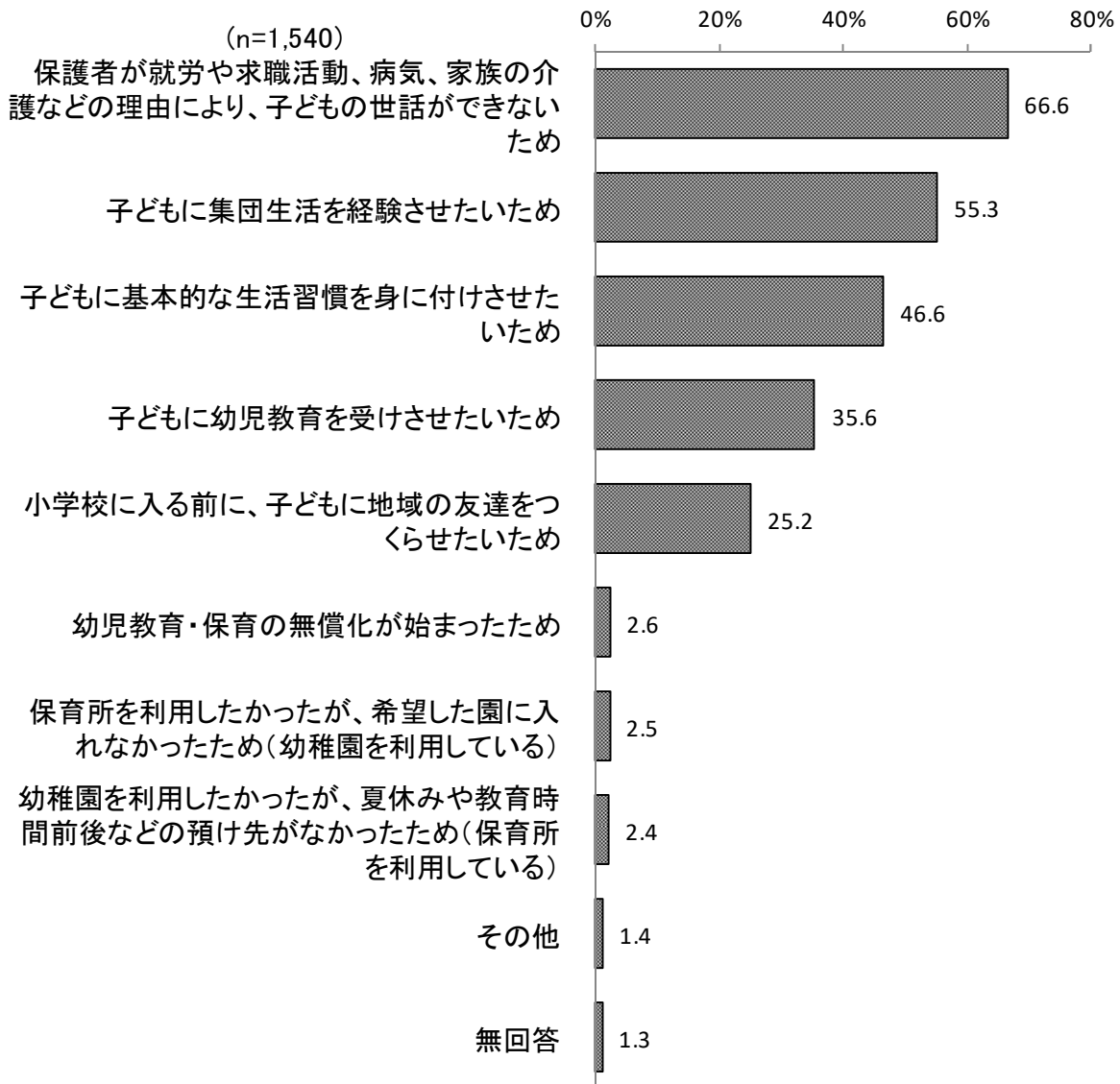


n=2, 223

イ 保育所・幼稚園等に預ける理由【問2】(MA)

子どもを保育所や幼稚園等に預けていると回答した方に、保育所・幼稚園等を利用している理由を複数回答で聞いたところ、「保護者が就労や求職活動、病気、家族の介護などの理由により、子どもの世話ができないため」が66.6%で最も高く、次いで「子どもに集団生活を経験させたいため」が55.3%、「子どもに基本的な生活習慣を身に付けさせたいため」が46.6%となっている。

【図表 2-102】保育所・幼稚園等に預ける理由（複数回答）





利用施設別にみると、「保護者が就労や求職活動、病気、家族の介護などの理由により、子どもの世話ができないため」は『保育所』で98.0%、「子どもに幼児教育を受けさせたいため」(幼稚園:81.8%、認定こども園:58.0%)、「子どもに基本的な生活習慣を身に付けさせたいため」(幼稚園:80.1%、認定こども園:59.4%)、「子どもに集団生活を経験させたいため」(幼稚園:92.5%、認定こども園:66.7%)、「小学校に入る前に、子どもに地域の友達をつくらせたいため」(幼稚園:50.6%、認定こども園:39.1%)では『幼稚園』、『認定こども園』で、それぞれ全体に比べて高くなっている。

世帯構成別にみると、「保護者が就労や求職活動、病気、家族の介護などの理由により、子どもの世話ができないため」は『ひとり親』で87.5%、「子どもに基本的な生活習慣を身に付けさせたいため」(60.5%)、「子どもに集団生活を経験させたいため」(71.1%)では『ふたり親親族同居』で、それぞれ全体に比べて高くなっている。

ふたり親・核家族の就労状況別にみると、「保護者が就労や求職活動、病気、家族の介護などの理由により、子どもの世話ができないため」は『共働き』で87.2%、「子どもに幼児教育を受けさせたいため」(78.4%)、「子どもに基本的な生活習慣を身に付けさせたいため」(80.5%)、「子どもに集団生活を経験させたいため」(93.5%)、「小学校に入る前に、子どもに地域の友達をつくらせたいため」(49.1%)では『専業主婦(夫)』で、それぞれ全体に比べて高くなっている。

所得分類別にみると、『分類Ⅰ』において「保護者が就労や求職活動、病気、家族の介護などの理由により、子どもの世話ができないため」が78.8%と、全体に比べて高くなっている。

【図表 2-103】保育所・幼稚園等に預ける理由（複数回答）

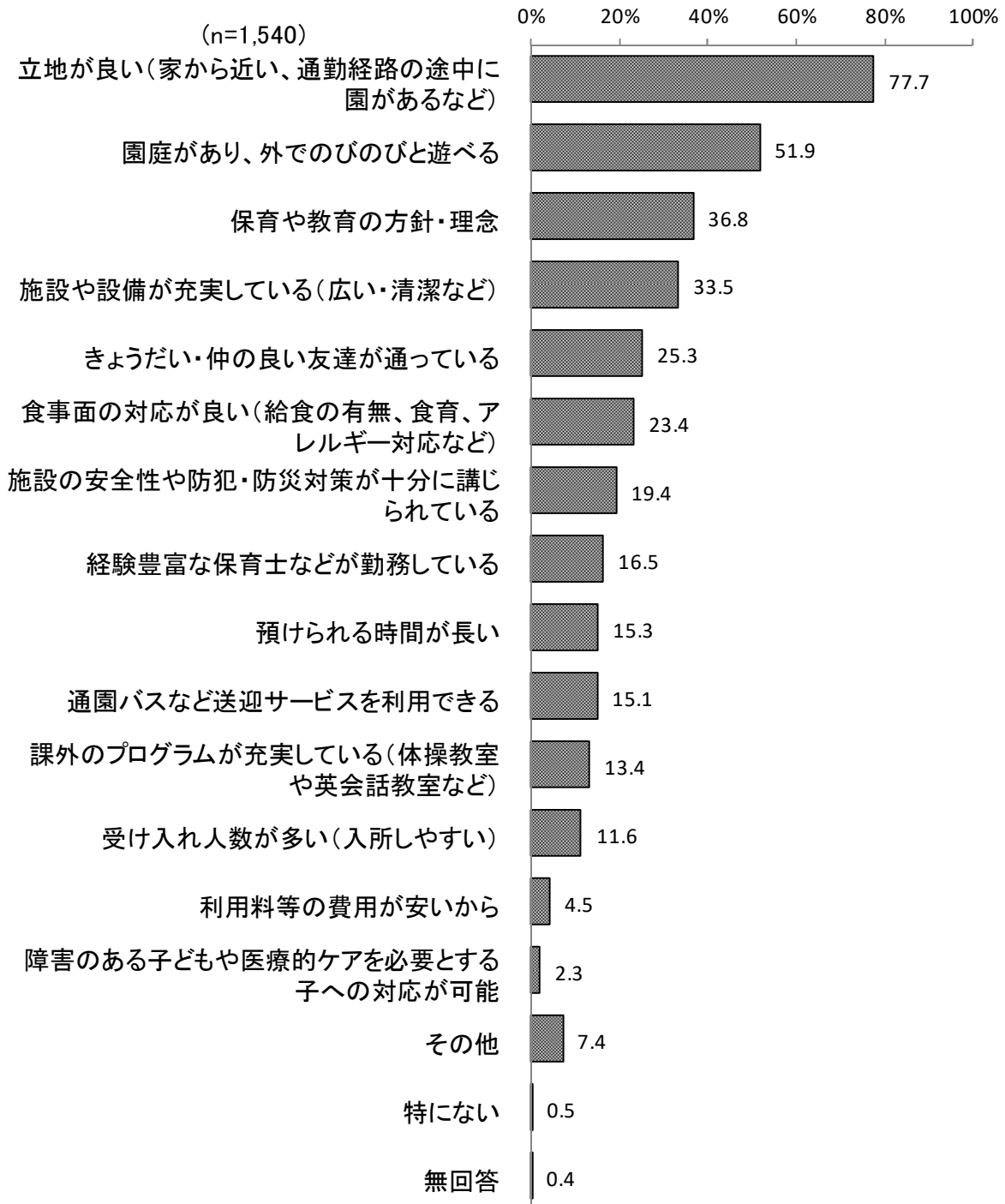
(利用施設別、世帯構成別、ふたり親世帯(核家族)の就労状況別、所得分類別)

		n	い た よ り、 保 護 者 が 子 ど も の 世 話 が で き な い た め	保 護 者 が 就 労 や 求 職 活 動 、 病 気 、 家 族 の 介 護 な ど の 理 由 に よ り、 子 ど も の 世 話 が で き な い た め	預 け 先 が な か つ た た め ( 保 育 所 を 利 用 し て い る )	幼 稚 園 を 利 用 し た か つ た た め ( 夏 休 み や 教 育 時 間 後 な ど が 、 預 け 先 が な か つ た た め ( 保 育 所 を 利 用 し て い る )	保 育 所 を 利 用 し た か つ た た め ( 幼 稚 園 を 利 用 し て い る )	受 け も せ た 幼 児 教 育 を	子 ど も に 基 本 的 な 生 活 慣 を 身 に 付 け さ せ た た め	子 ど も に 集 団 生 活 を 経 験 さ せ た た め	小 学 校 入 る 前 に、 子 ど も に 地 域 の 友 達 を つ く ら せ た た め	幼 児 教 育 ・ 保 育 の 無 償 化
全 体		1,520	67.5	2.4	2.6	36.1	47.2	56.1	25.5	2.6		
利 設 用 施	保育所(地域型、認可外含む)	949	98.0	3.8	0.3	12.0	29.3	36.7	12.5	1.4		
	幼稚園(預かり含む)	478	10.0	0.2	7.1	81.8	80.1	92.5	50.6	5.2		
	認定こども園	69	52.2	0.0	1.4	58.0	59.4	66.7	39.1	2.9		
世 帯 構 成	ふたり親核家族	1,379	67.1	2.5	2.5	36.2	47.1	56.2	25.2	2.6		
	ふたり親親族同居	38	55.3	0.0	5.3	44.7	60.5	71.1	31.6	5.3		
	ひとり親	48	87.5	4.2	4.2	27.1	41.7	45.8	25.0	2.1		
親 ・ た 核 り	共働き	1,025	87.2	3.3	1.9	22.3	35.9	43.9	17.3	2.0		
	専業主婦(夫)	338	6.2	0.3	4.4	78.4	80.5	93.5	49.1	4.4		
	その他(両方無職含む)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
分 所 類 得	分類Ⅰ	33	78.8	0.0	6.1	27.3	42.4	45.5	21.2	0.0		
	分類Ⅱ	240	58.3	1.3	4.6	42.5	51.3	62.5	33.3	3.3		
	分類Ⅲ	1,116	69.1	3.0	2.1	35.2	46.1	54.7	24.2	2.5		

ウ 保育所・幼稚園等を選んだ際に重視した点【問3】(MA)

子どもを保育所や幼稚園等に預けていると回答した方に、保育所・幼稚園を選ぶ際に重視した点を複数回答で聞いたところ、「立地が良い(家から近い、通勤経路の途中に園があるなど)」が77.7%で最も高く、次いで「園庭があり、外でのびのびと遊べる」が51.9%、「保育や教育の方針・理念」が36.8%となっている。

【図表 2-104】保育所・幼稚園等を選んだ際に重視した点(複数回答)



利用している施設別にみると、「通園バスなど送迎サービスを利用できる」（幼稚園：40.7%、認定こども園：32.9%）は『幼稚園』、『認定こども園』で、「保育や教育の方針・理念」（56.8%）、「園庭があり、外でのびのびと遊べる」（66.1%）は『認定こども園』で、それぞれ全体に比べて高くなっている。一方、「立地が良い（家から近い、通勤経路の途中に園があるなど）」（60.7%）は『幼稚園』で、「通園バスなど送迎サービスを利用できる」（0.8%）、「保育や教育の方針・理念」（26.9%）は『保育所』で、それぞれ全体に比べて低くなっている。

世帯構成別にみると、「通園バスなど送迎サービスを利用できる」は『ふたり親親族同居』で29.3%、「施設や設備が充実している」は『ひとり親』で44.9%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。一方、「きょうだい・仲の良い友達が通っている」は『ひとり親』で12.2%と、全体に比べて低くなっている。

ふたり親・核家族の就労状況別にみると、「通園バスなど送迎サービスを利用できる」（40.9%）、「保育や教育の方針・理念」（53.5%）、「園庭があり、外でのびのびと遊べる」（65.5%）は『専業主婦（夫）』で、それぞれ全体に比べて高くなっている。一方、「立地が良い（家から近い、通勤経路の途中に園があるなど）」は『専業主婦（夫）』で61.7%と、全体に比べて低くなっている。

所得分類別にみると、「立地が良い（家から近い、通勤経路の途中に園があるなど）」は『分類Ⅰ』で64.7%と、全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 2-105】 保育所・幼稚園等を選んだ際に重視した点（複数回答）  
（利用施設別、世帯構成別、ふたり親世帯（核家族）の就労状況別、所得分類別）

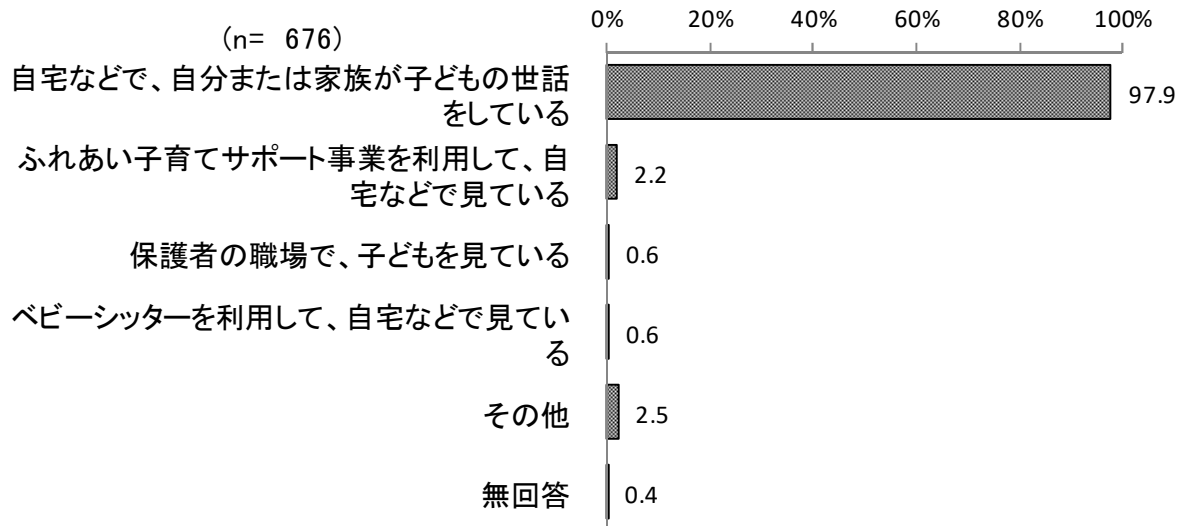
		n	中近立 に園、 が通 勤経 路の 途中 に園 がある など	いき よ う だ い の 良 い	るサ ー ビ ス を 利 用 送 迎 き	理保 念育 や教 育の 方 針・ 理 念	び園 庭の びと あり 、外 での 遊 べ る	なて 設 講 に 犯 施 に 英 実 課 外 の プ ロ グ ラ ム が 充 実 し て い る （ 体 操 教 室 や 英 会 話 教 室 な ど）	に 犯 施 に 英 実 課 外 の プ ロ グ ラ ム が 充 実 し て い る （ 体 操 教 室 や 英 会 話 教 室 な ど）	に 犯 施 に 英 実 課 外 の プ ロ グ ラ ム が 充 実 し て い る （ 体 操 教 室 や 英 会 話 教 室 な ど）
全	体	1,534	78.0	25.4	15.1	37.0	52.1	33.6	19.5	13.4
利 用 施 設	保育所（地域型、認可外含む）	955	87.2	23.4	0.8	26.9	45.3	33.3	18.2	11.7
	幼稚園（預かり含む）	484	60.7	30.6	40.7	56.8	66.1	33.3	22.3	15.9
	認定こども園	70	74.3	18.6	32.9	41.4	51.4	40.0	17.1	24.3
世 帯 構 成	ふたり親核家族	1,389	78.3	25.7	14.9	37.4	52.1	33.3	19.2	13.1
	ふたり親親族同居	41	70.7	19.5	29.3	34.1	43.9	29.3	26.8	14.6
	ひとり親	49	73.5	12.2	10.2	36.7	49.0	44.9	20.4	14.3
家 族 核 心	共働き	1,031	83.8	25.1	6.3	32.2	47.8	33.9	17.8	13.5
	専業主婦（夫）	342	61.7	28.1	40.9	53.5	65.5	32.2	22.5	12.6
	その他（両方無職含む）	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
分 所 類 得	分類Ⅰ	34	64.7	17.6	8.8	29.4	50.0	38.2	26.5	17.6
	分類Ⅱ	242	73.1	29.3	16.1	37.6	56.2	33.5	18.6	11.6
	分類Ⅲ	1,125	79.3	24.3	15.0	37.8	51.1	33.9	19.6	13.8

(2) 保育所や幼稚園等を利用していない子どもの日中の過ごし方

① 保育所や幼稚園等を利用していない子どもの日中の過ごし方【問1-2】(MA)

子どもを保育所や幼稚園等に預けていないと回答した方に、子どもをどのように育てているか複数回答で聞いたところ、「自宅などで、自分または家族が子どもの世話をしている」が97.9%で最も高く、次いで「ふれあい子育てサポート事業を利用して、自宅などで見ている」が2.2%、「保護者の職場で、子どもを見ている」が0.6%となっている。

【図表 2-106】 保育所や幼稚園等を利用していない子どもの日中の過ごし方（複数回答）



世帯構成別、ふたり親・核家族の世帯就労状況別、所得分類別にみると、いずれも大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

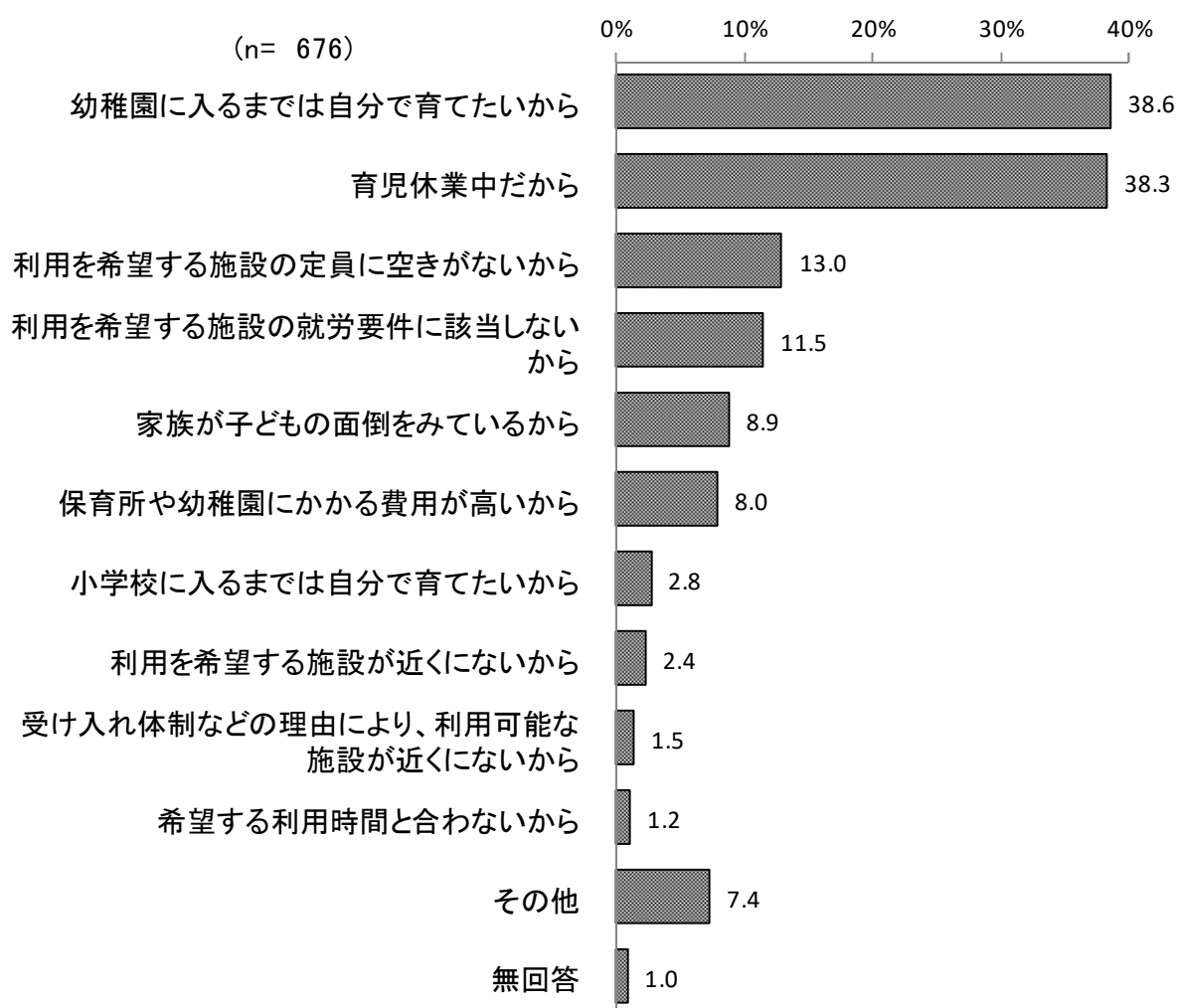
【図表 2-107】 保育所や幼稚園等を利用していない子どもの日中の過ごし方（複数回答）  
（世帯構成別、ふたり親世帯（核家族）の就労状況別、所得分類別）

		n	世話は家族がしている	自宅などで、自分のま	ども保護者の職場で、子ども	見ている	用いて、自宅などで	宅などで見ている	ふれあい子育てサポート	その他
全 体		673	98.4	0.6	0.6	2.2	2.5			
世帯構成	ふたり親核家族	630	98.4	0.6	0.5	2.2	2.4			
	ふたり親親族同居	16	100.0	0.0	0.0	0.0	6.3			
	ひとり親	14	92.9	0.0	0.0	7.1	7.1			
親ふたり核家族	共働き	294	98.0	1.4	0.7	3.1	3.4			
	専業主婦（夫）	330	98.8	0.0	0.3	1.5	1.5			
	その他（両方無職含む）	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
所得分類	分類Ⅰ	16	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	分類Ⅱ	136	98.5	0.7	0.0	5.1	2.2			
	分類Ⅲ	483	98.1	0.6	0.6	1.7	2.9			

② 保育所・幼稚園等を利用していない理由【問1-3】(MA)

子どもを保育所や幼稚園等に預けていないと回答した方に、保育所・幼稚園等を利用していない理由を複数回答で聞いたところ、「幼稚園に入るまでは自分で育てたいから」が38.6%で最も高く、次いで「育児休業中だから」が38.3%、「利用を希望する施設の定員に空きがないから」が13.0%となっている。

【図表 2-108】保育所・幼稚園等を利用していない理由（複数回答）



世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

ふたり親・核家族の就労状況別にみると、「育児休業中だから」は『共働き』で 80.5%、「幼稚園に入るまでは自分で育てたいから」は『専業主婦（夫）』で 64.0%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。一方、「育児休業中だから」は『専業主婦（夫）』で 2.4%、「幼稚園に入るまでは自分で育てたいから」は『共働き』で 10.9%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

所得分類別にみると、『分類Ⅱ』では「育児休業中だから」が 23.5%と、全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

【図表 2-109】保育所・幼稚園等を利用していない理由（複数回答）  
（世帯構成別、ふたり親世帯（核家族）の就労状況別、所得分類別）

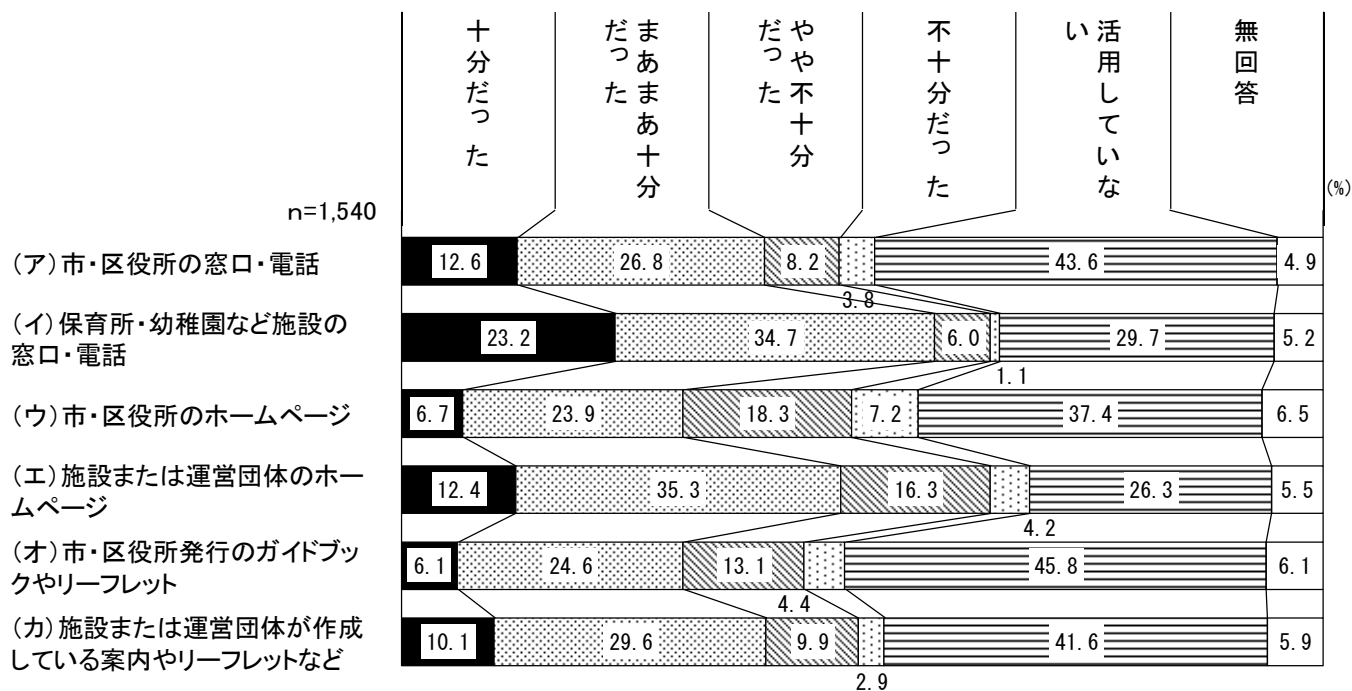
		n	育児休業中だから	幼稚園で育てたいから	小学校で育てたいから	利用を希望する施設	利用を希望する施設	利用を希望する施設	施設が近く、利用可能な理由	受け入れ体制などの理由	保育所や幼稚園からか	希望する利用時間と	家族が子どもの面倒	その他
全体		669	38.7	39.0	2.8	11.7	13.2	2.4	1.5	8.1	1.2	9.0	7.5	
世帯構成	ふたり親核家族	627	39.2	39.1	2.9	11.6	12.3	2.4	1.4	7.8	1.1	9.1	7.3	
	ふたり親親族同居	16	25.0	37.5	6.3	25.0	37.5	6.3	0.0	6.3	6.3	6.3	12.5	
	ひとり親	14	14.3	42.9	0.0	7.1	28.6	0.0	7.1	14.3	0.0	14.3	7.1	
親・ふたり核家族	共働き	293	80.5	10.9	1.0	4.1	14.0	1.7	0.0	4.1	1.0	4.8	5.8	
	専業主婦（夫）	328	2.4	64.0	4.6	18.3	11.0	3.0	2.7	11.3	1.2	13.1	8.2	
	その他（両方無職含む）	1	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
所得分類	分類Ⅰ	17	23.5	29.4	0.0	11.8	29.4	5.9	0.0	0.0	0.0	17.6	17.6	
	分類Ⅱ	136	23.5	45.6	2.9	13.2	16.9	0.7	2.9	14.7	2.2	10.3	3.7	
	分類Ⅲ	481	44.5	37.0	3.1	11.4	11.2	2.9	0.8	5.8	1.0	8.7	7.9	

(3) 保育所・幼稚園等に関する情報の入手状況

ア 保育所・幼稚園等に関する情報量【問5】(SA)

子どもを保育所や幼稚園等に預けていると回答した方に、保育所・幼稚園を選ぶ際の情報源と情報量の評価を聞いたところ、「十分だった」と「まあまあ十分だった」を足し合わせた割合は『保育所・幼稚園など施設の窓口・電話』が57.9%で最も高く、「やや不十分だった」と「不十分だった」を足し合わせた割合は『市・区役所のホームページ』が25.5%で最も高くなっている。

【図表 2-110】 保育所・幼稚園等に関する情報量

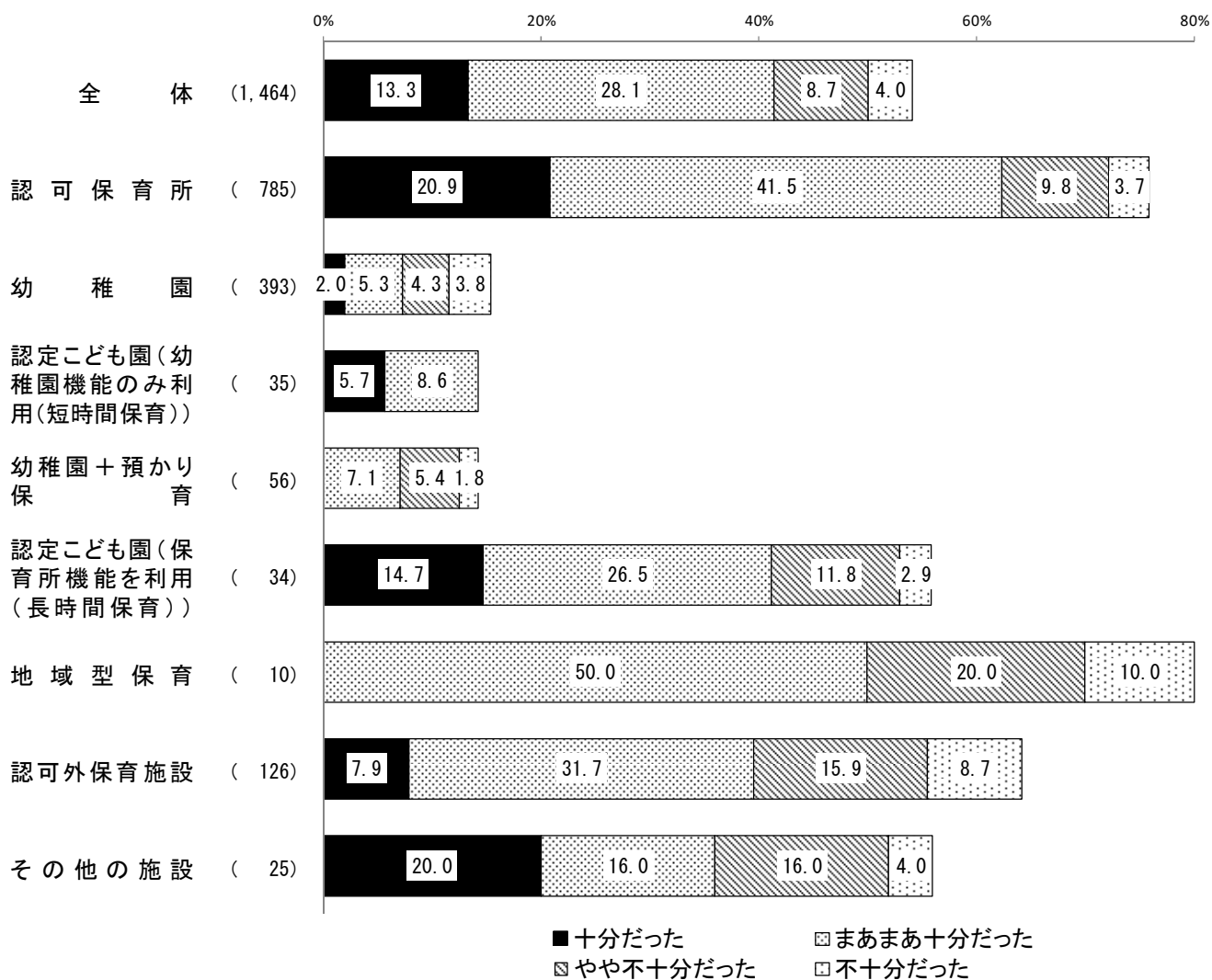




「市・区役所の窓口・電話」を利用施設別にみると、「十分だった」と「まあまあ十分だった」を足し合わせた割合は『幼稚園』(7.3%)、『認定こども園(短時間保育)』(14.3%)、『幼稚園+預かり保育』(7.1%)で、それぞれ全体に比べて低くなっている。

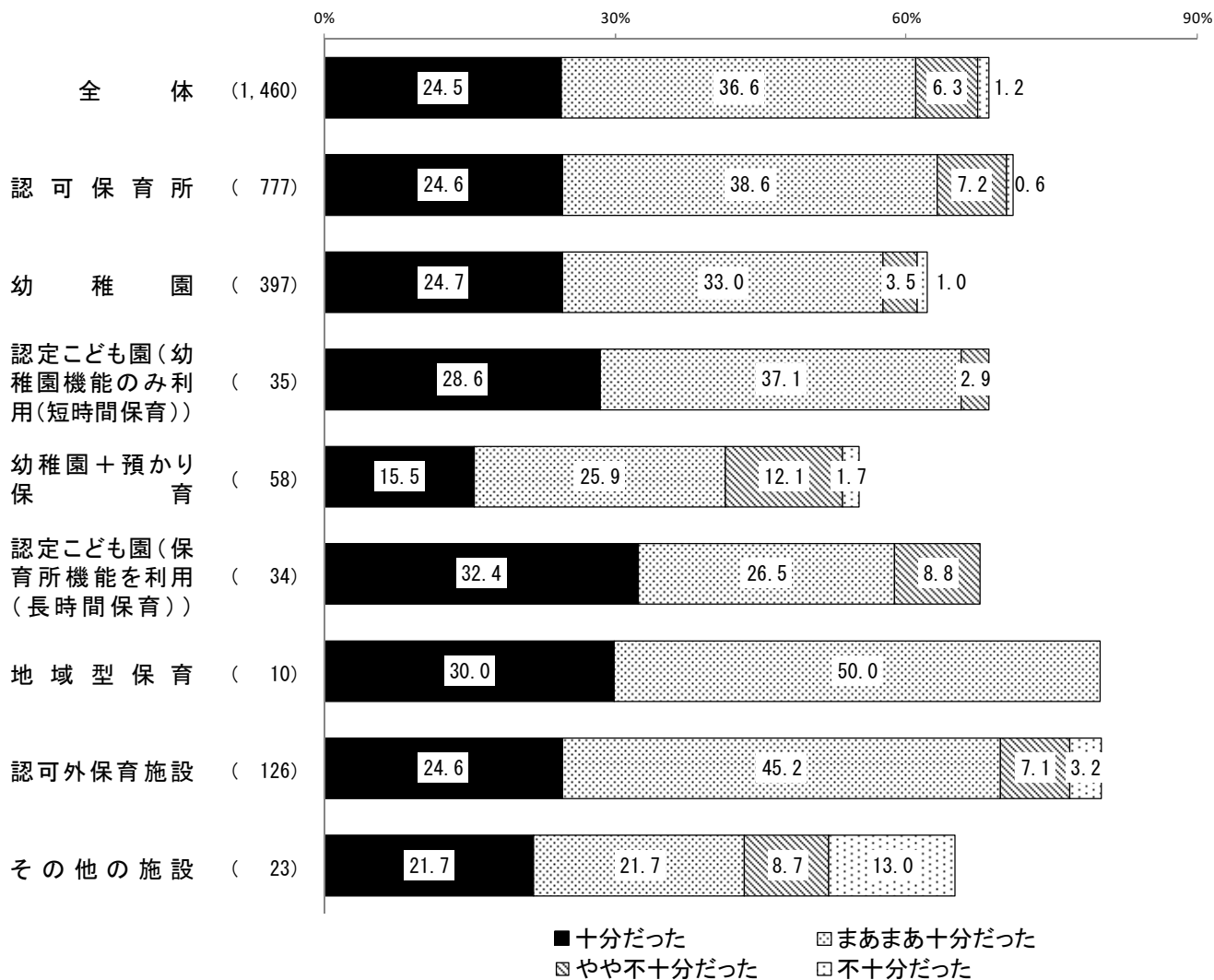
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 2-111】「市・区役所の窓口・電話」に関する情報量（利用施設別）



「保育所・幼稚園など施設の窓口・電話」を利用施設別にみると、「十分だった」と「まあまあ十分だった」を足し合わせた割合は『幼稚園+預かり保育』で41.4%と、全体に比べて低くなっている。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

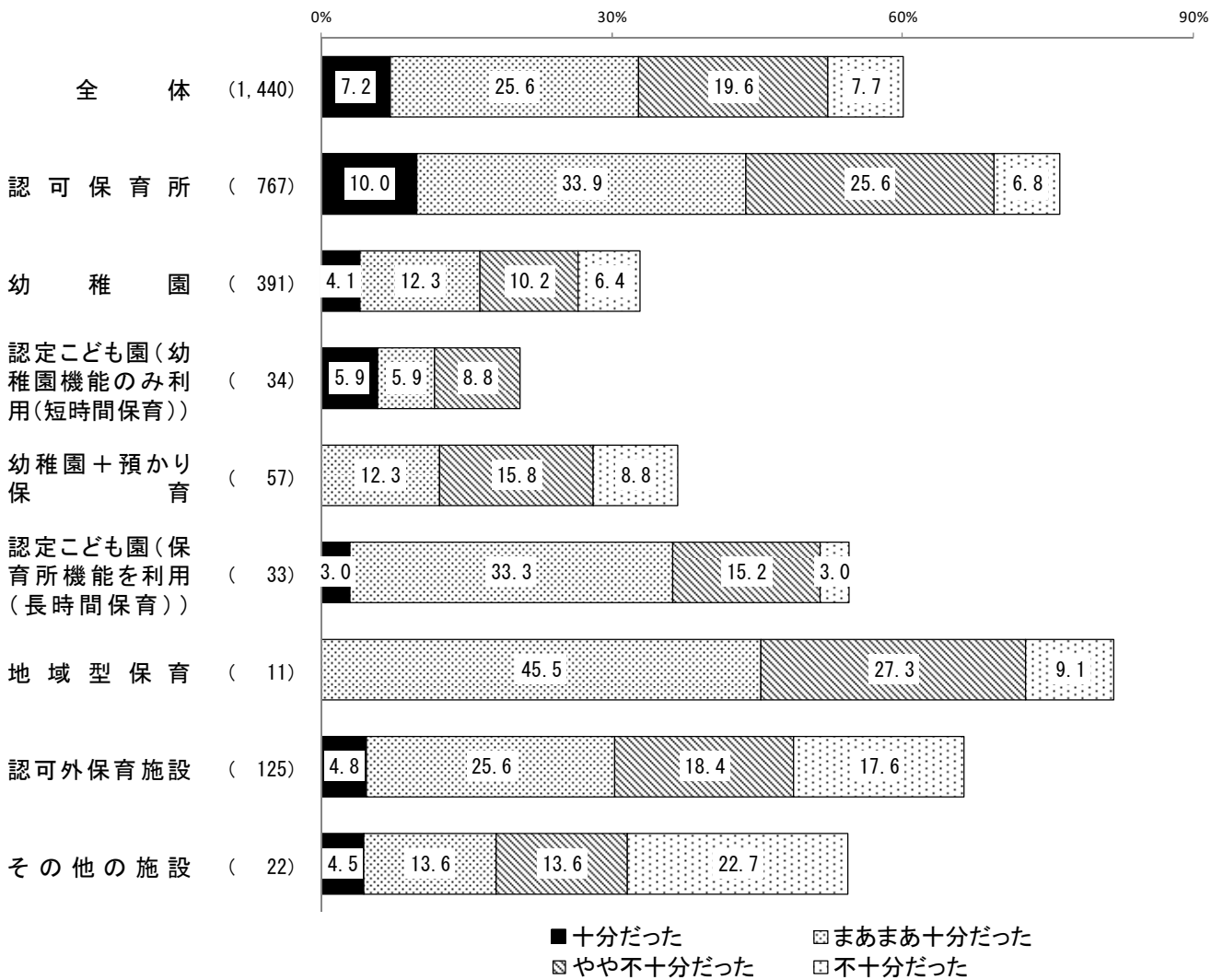
【図表 2-112】「保育所・幼稚園など施設の窓口・電話」に関する情報量（利用施設別）



「市・区役所のホームページ」を利用施設別にみると、「十分だった」と「まあまあ十分だった」を足し合わせた割合は『幼稚園』で16.4%、『認定こども園(短時間保育)』で11.8%、『幼稚園+預かり保育』で12.3%、『その他の施設』で18.1%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

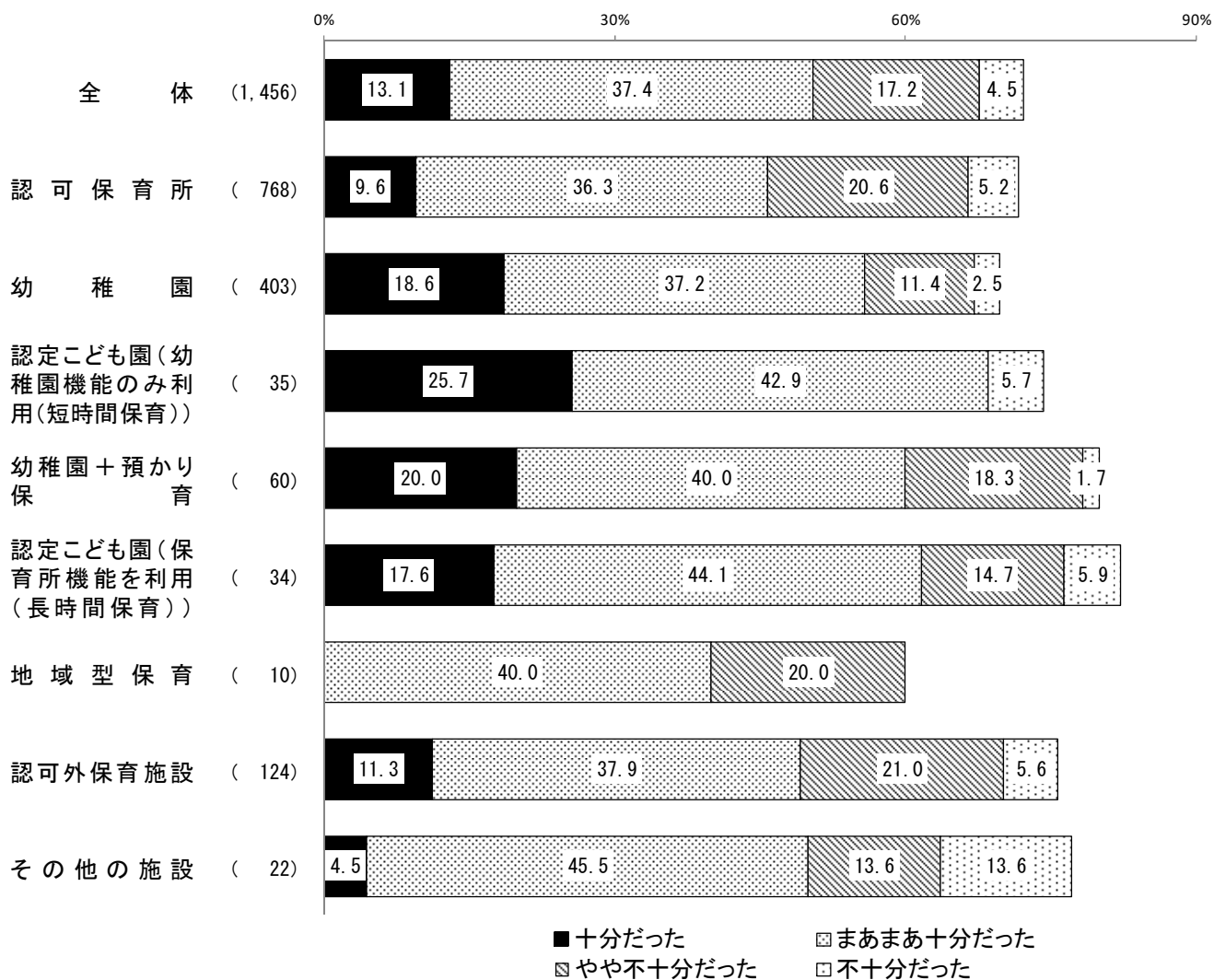
【図表 2-113】「市・区役所のホームページ」に関する情報量（利用施設別）



「施設または運営団体のホームページ」を利用施設別にみると、「十分だった」と「まあまあ十分だった」を足し合わせた割合は『認定こども園(短時間保育)』で 68.6%と、全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

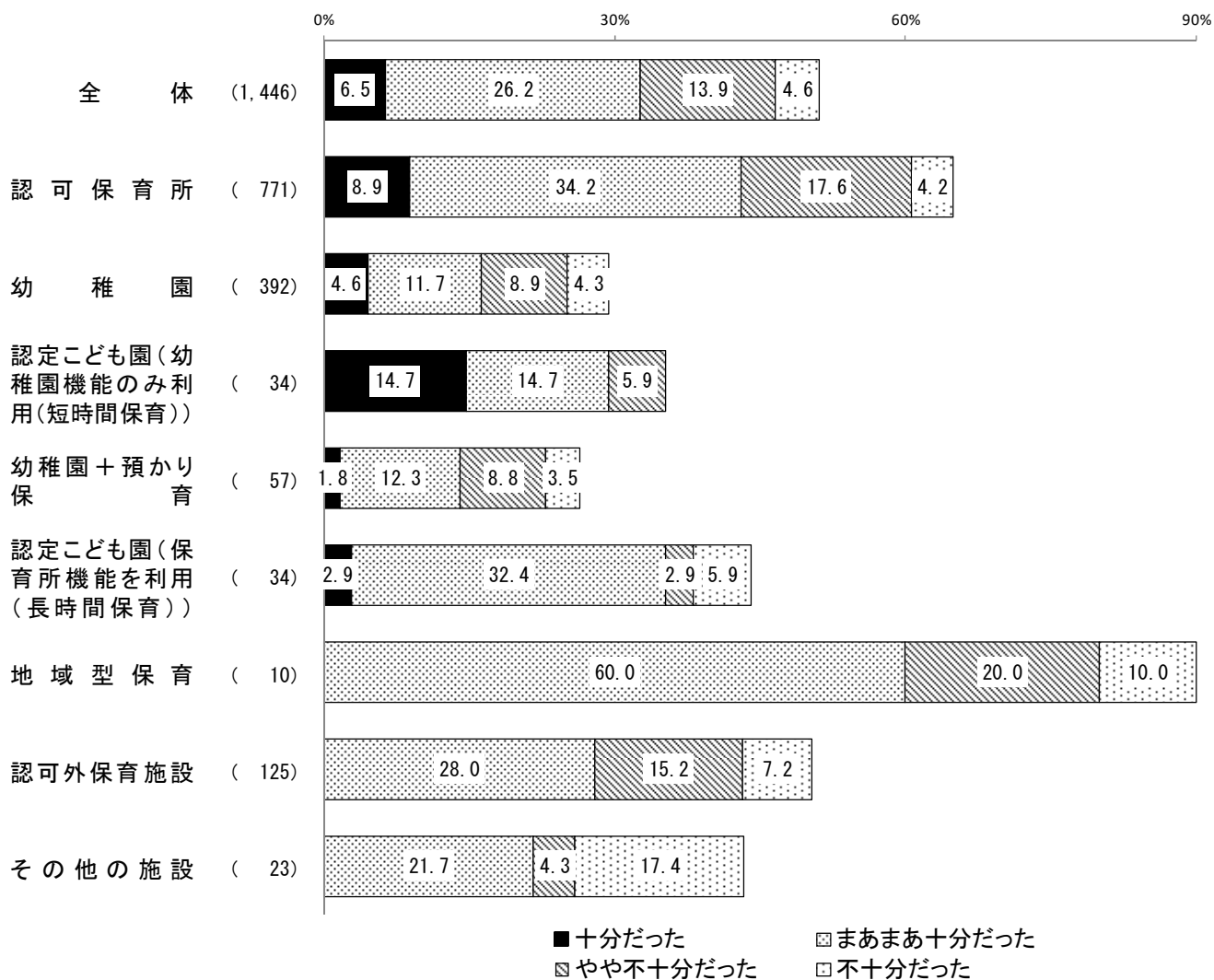
【図表 2-114】「施設または運営団体のホームページ」に関する情報量  
(利用施設別)



「市・区役所発行のガイドブックやリーフレット」を利用施設別にみると、「十分だった」と「まあまあ十分だった」を足し合わせた割合は、『幼稚園』で16.3%、『幼稚園+預かり保育』で14.1%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

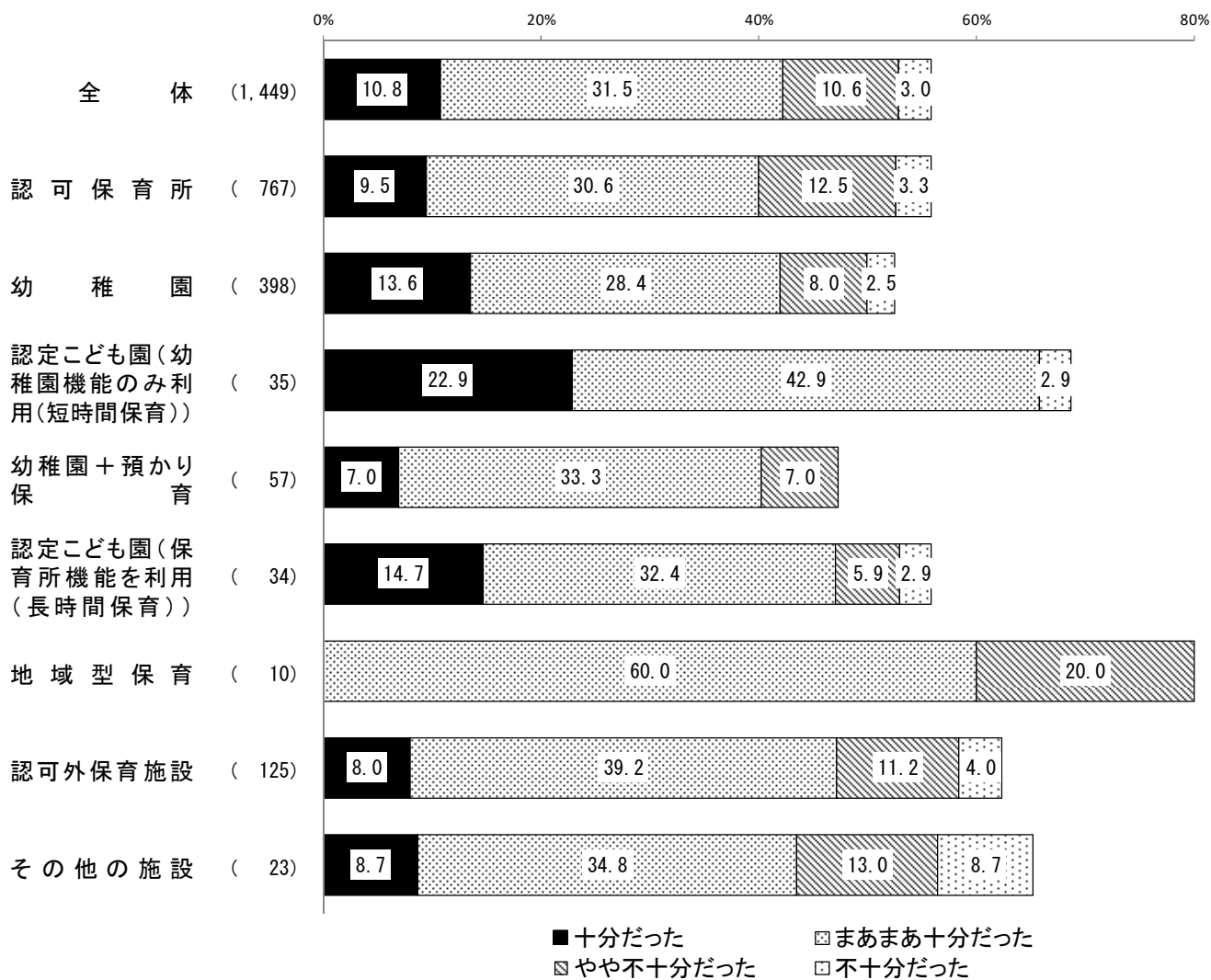
【図表 2-115】「市・区役所発行のガイドブックやリーフレット」に関する情報量  
(利用施設別)



「施設または運営団体が作成している案内やリーフレットなど」を利用施設別にみると、「十分だった」と「まあまあ十分だった」を足し合わせた割合は、『認定こども園(短時間保育)』で 65.8%と、全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

【図表 2-116】「施設または運営団体が作成している案内やリーフレットなど」に関する情報量  
(利用施設別)

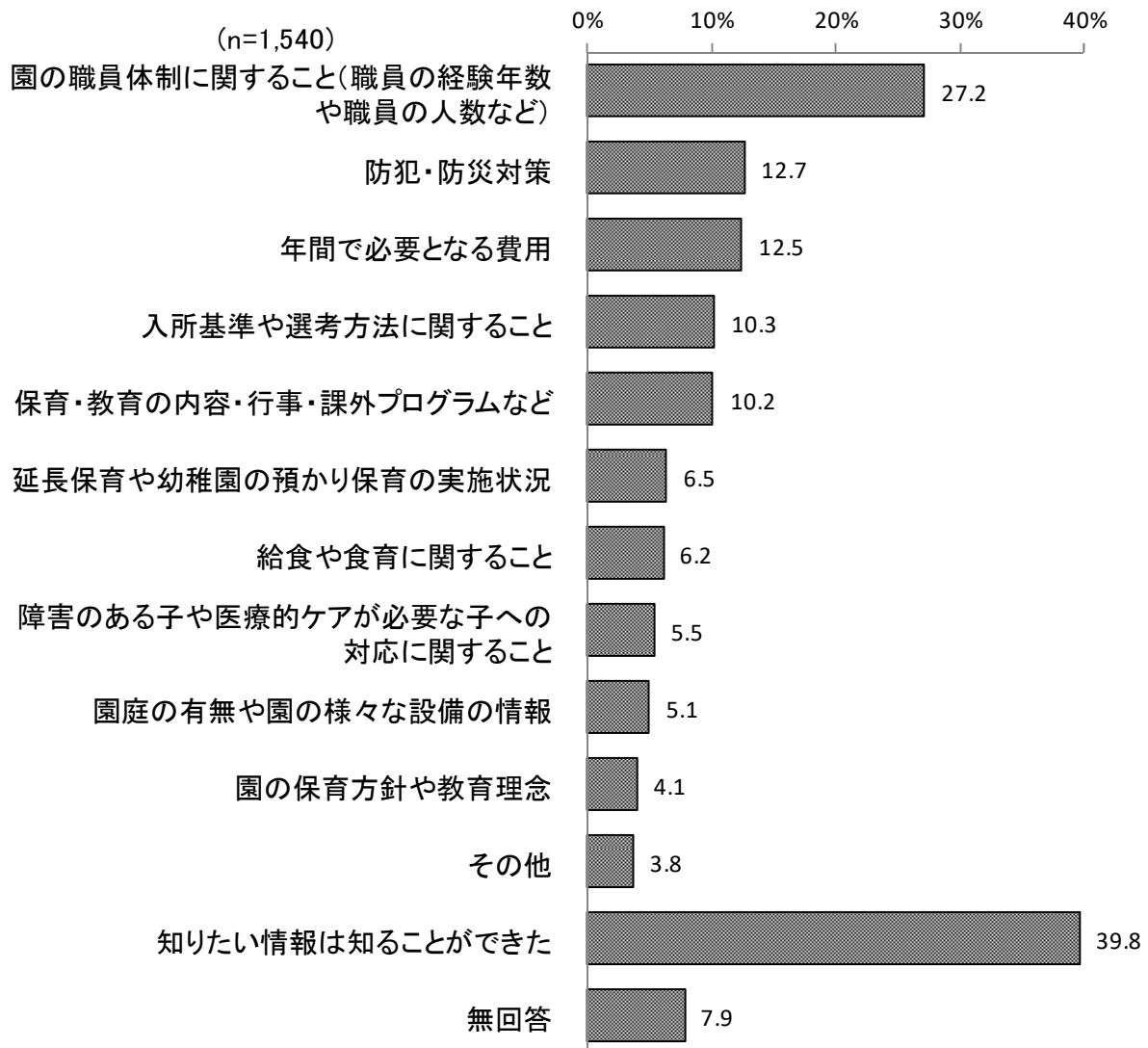


## イ 保育所・幼稚園を選ぶ際に不十分だと感じた情報【問4】(MA)

子どもを保育所や幼稚園等に預けていると回答した方に、保育所・幼稚園を選ぶ際に不十分だった情報を複数回答で聞いたところ、「園の職員体制に関すること（職員の経験年数や職員の数など）」が27.2%で最も高く、次いで「防犯・防災対策」が12.7%、「年間で必要となる費用」が12.5%となっている。

一方、「知りたい情報は知ることができた」が39.8%となっている。

【図表 2-117】 保育所・幼稚園を選ぶ際に不十分だと感じた情報（複数回答）



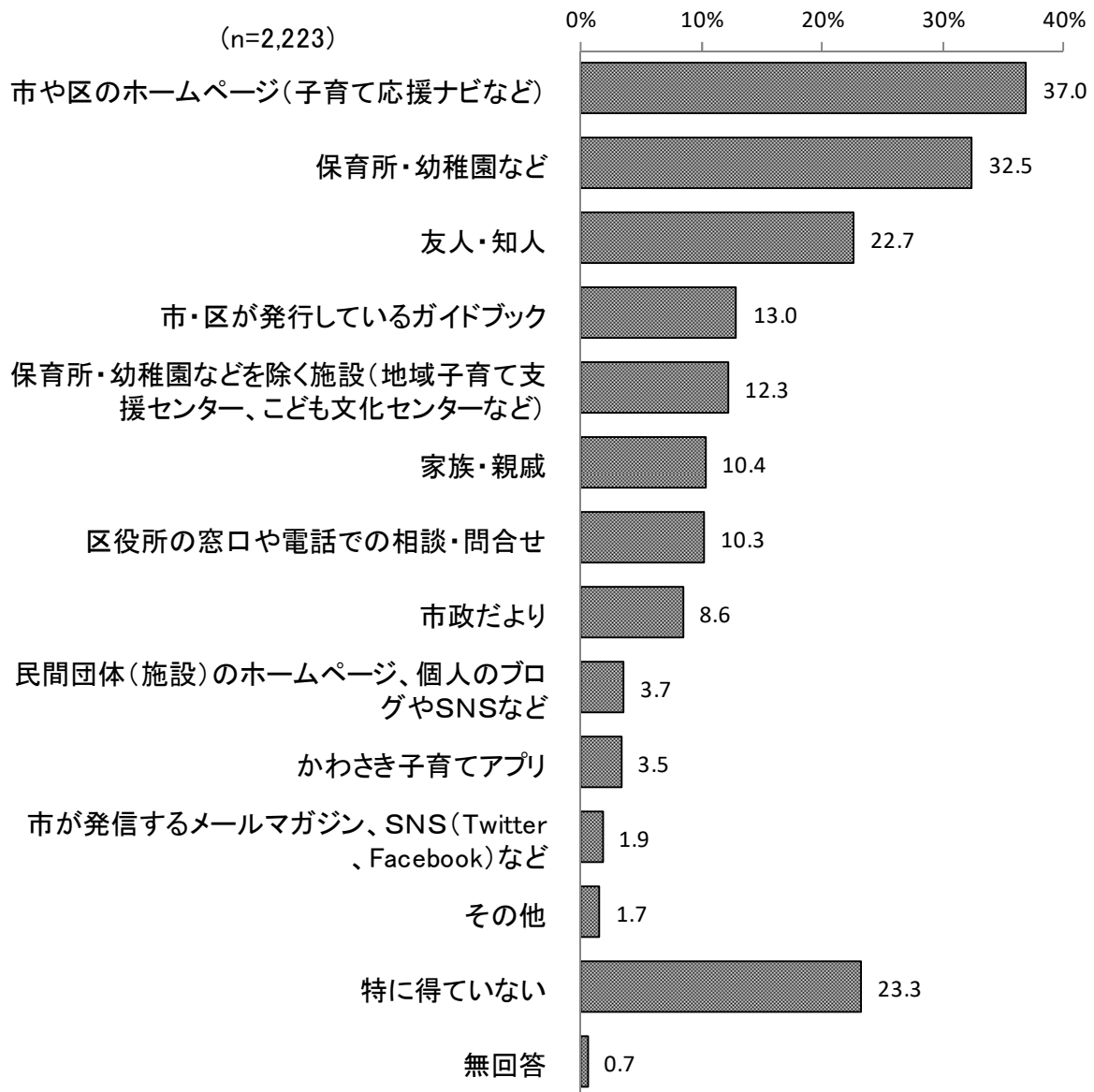
(4) 子育てに関する情報の入手状況

ア 子育て方法の入手方法【問15】(MA)

この1年間における子育てに関する情報の入手先を複数回答で聞いたところ、「市や区のホームページ(子育て応援ナビなど)」が37.0%で最も高く、次いで「保育所・幼稚園など」が32.5%、「友人・知人」が22.7%となっている。

一方、「特に得ていない」が23.3%となっている。

【図表 2-118】子育て方法の入手方法(複数回答)

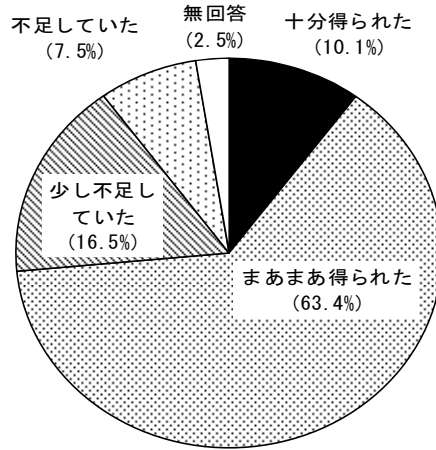




イ 子育てに関する情報量【問16】(SA)

この1年間で子育てに関する情報を入手した方に、子育てに関する情報を十分に得られているか聞いたところ、「まあまあ得られた」が63.4%で最も高く、次いで「少し不足していた」が16.5%、「十分得られた」が10.1%となっている。

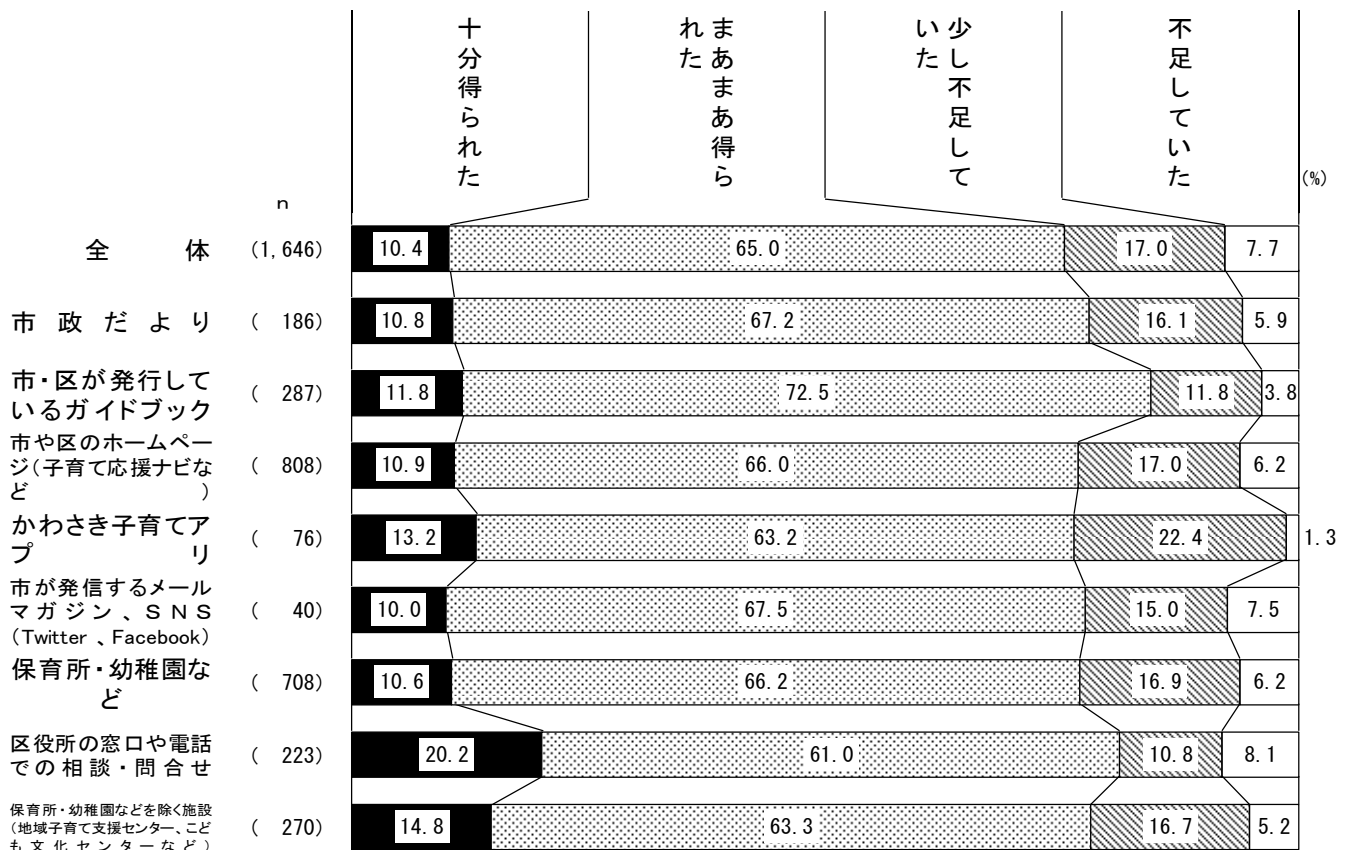
【図表 2-119】子育てに関する情報量



n=1,688

子育ての情報の入手方法別にみると、大きな差はみられない。  
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

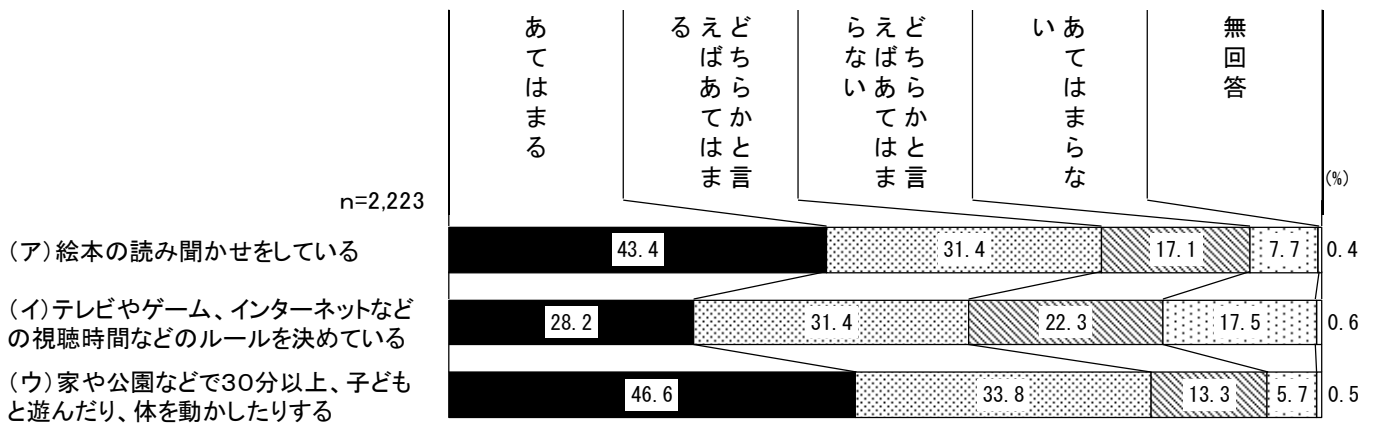
【図表 2-120】子育てに関する情報量（子育て情報の入手方法別）



(5) 保護者と子どもとの関わり【問6】(SA)

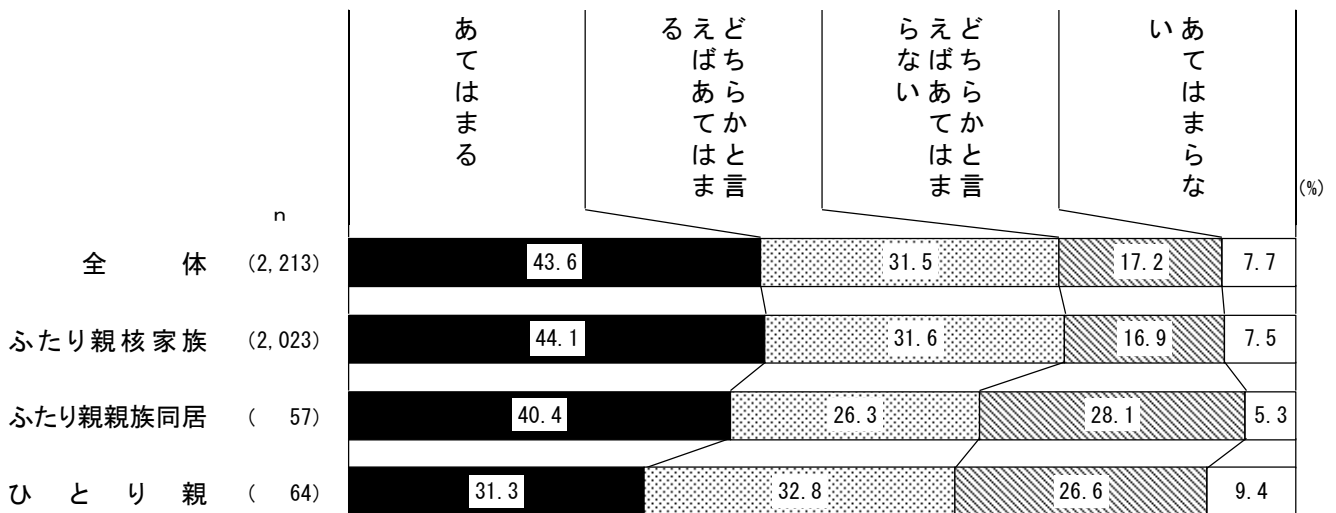
子どもとの関わり方を聞いたところ、「あてはまる」と「どちらかと言えばあてはまる」を足し合わせた割合は『家や公園などで30分以上、子どもと遊んだり、体を動かしたりする』が80.4%で最も高く、「どちらかと言えばあてはまらない」と「あてはまらない」を足し合わせた割合は『テレビやゲーム、インターネットなどの視聴時間などのルールを決めている』が39.8%で最も高くなっている。

【図表 2-121】保護者と子どもとの関わり



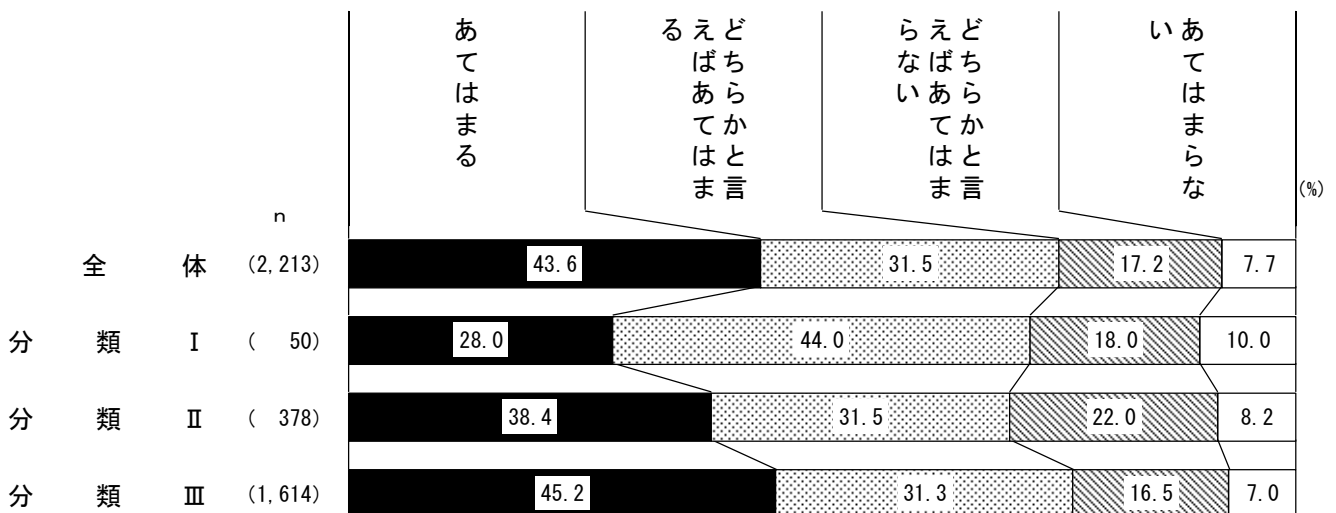
『絵本の読み聞かせをしている』を世帯構成別にみると、「あてはまる」は『ひとり親』で31.3%と、全体に比べて低くなっている。

【図表 2-122】『絵本の読み聞かせをしている』について（世帯構成別）



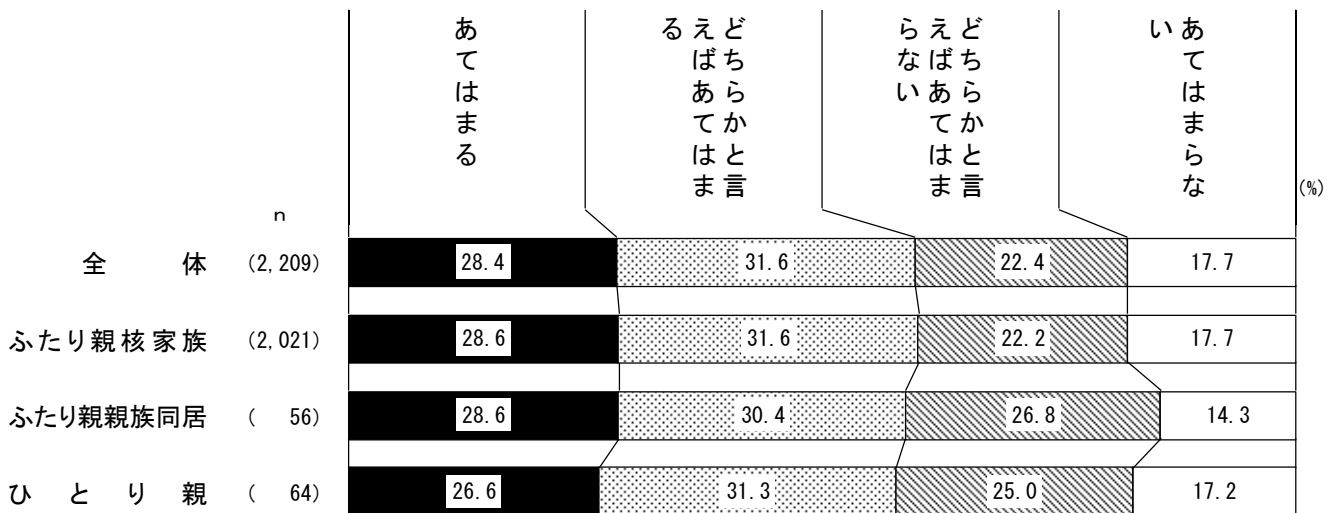
『絵本の読み聞かせをしている』を所得分類別にみると、「あてはまる」は『分類Ⅰ』で28.0%と、全体に比べて低くなっている。

【図表 2-123】『絵本の読み聞かせをしている』について（所得分類別）



『テレビやゲーム、インターネットなどの視聴時間などのルールを決めている』を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

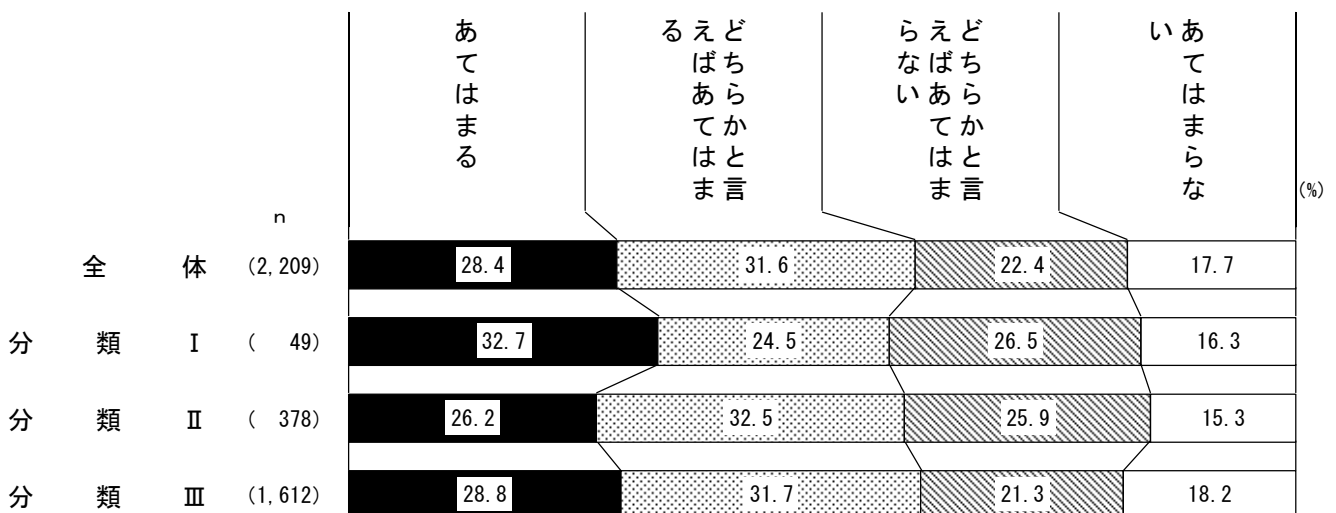
【図表 2-124】『テレビやゲーム、インターネットなどの視聴時間などのルールを決めている』について  
(世帯構成別)



『テレビやゲーム、インターネットなどの視聴時間などのルールを決めている』を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

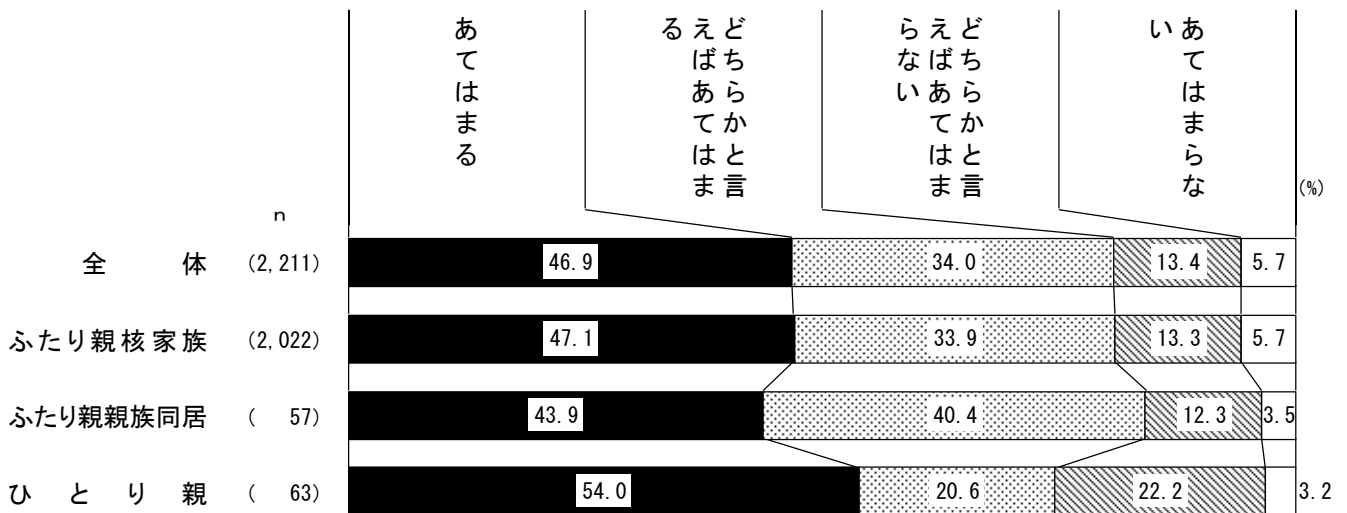
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 2-125】『テレビやゲーム、インターネットなどの視聴時間などのルールを決めている』について  
(所得分類別)



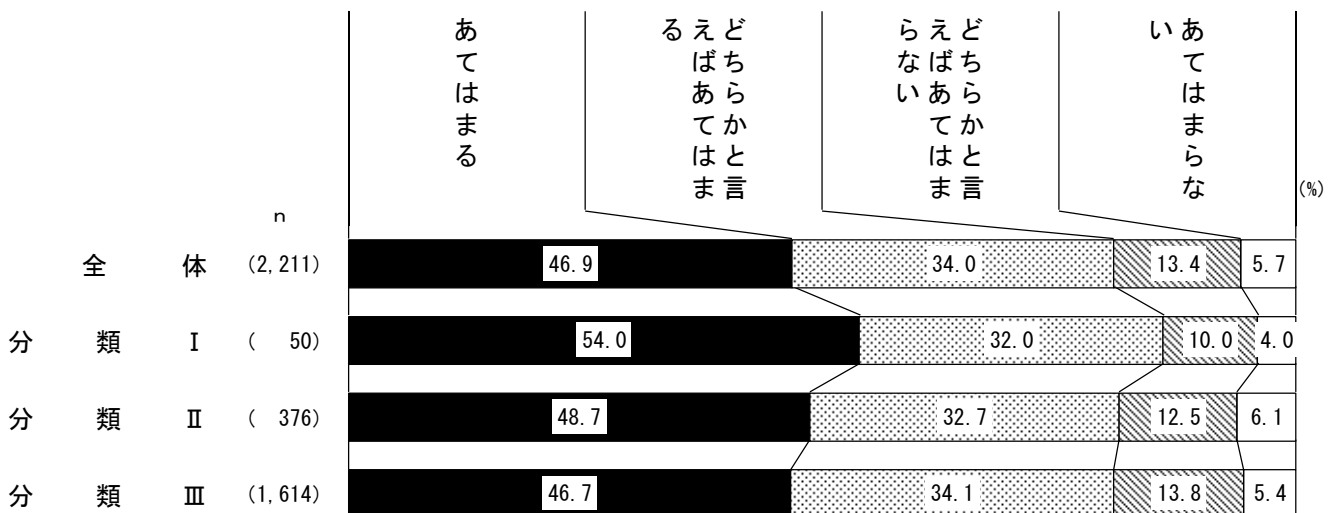
『家や公園などで30分以上、子どもと遊んだり、体を動かしたりする』を世帯構成別にみるとどちらかと言えばあてはまるは『ひとり親』で20.6%と、全体に比べて低くなっている。

【図表 2-126】『家や公園などで30分以上、子どもと遊んだり、体を動かしたりする』について  
(世帯構成別)



『家や公園などで30分以上、子どもと遊んだり、体を動かしたりする』を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

【図表 2-127】『家や公園などで30分以上、子どもと遊んだり、体を動かしたりする』について  
(所得分類別)





### 第3章 小学生・中学生の子を持つ 保護者に関する調査結果





# 第3章 小学生・中学生の子を持つ保護者に関する調査結果

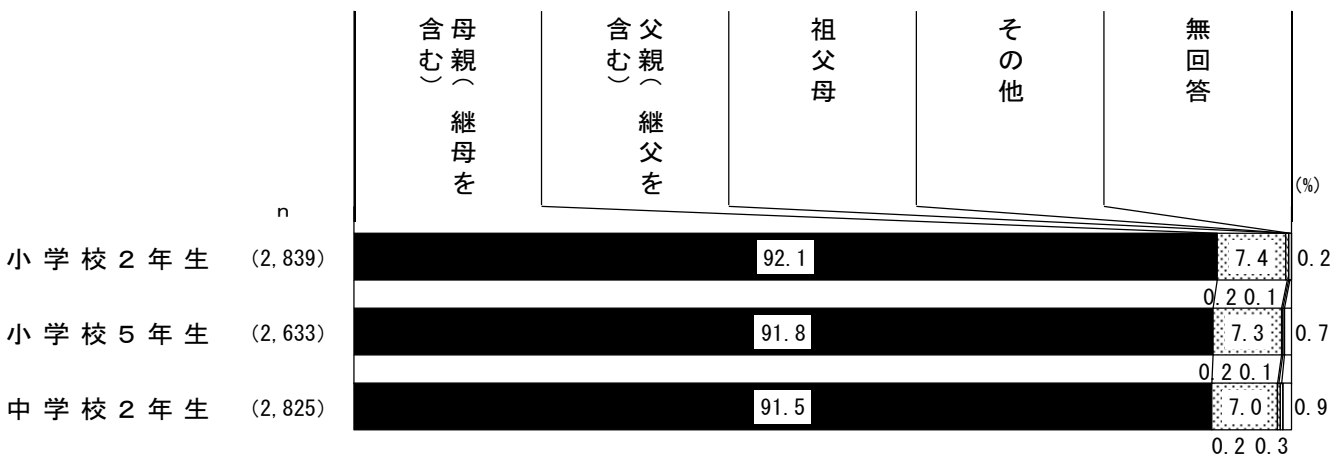
## 第1節 保護者（世帯）の属性及び状況

### (1) 世帯の属性

#### ア 回答者の属性【小学・問26、中学・問24】

子どもからみた続柄を聞いたところ、いずれの学年でも「母親（継母を含む）」（小学2年生：92.1%、小学5年生：91.8%、中学2年生：91.5%）が最も高くなっている。

【図表 3-1】回答者の属性

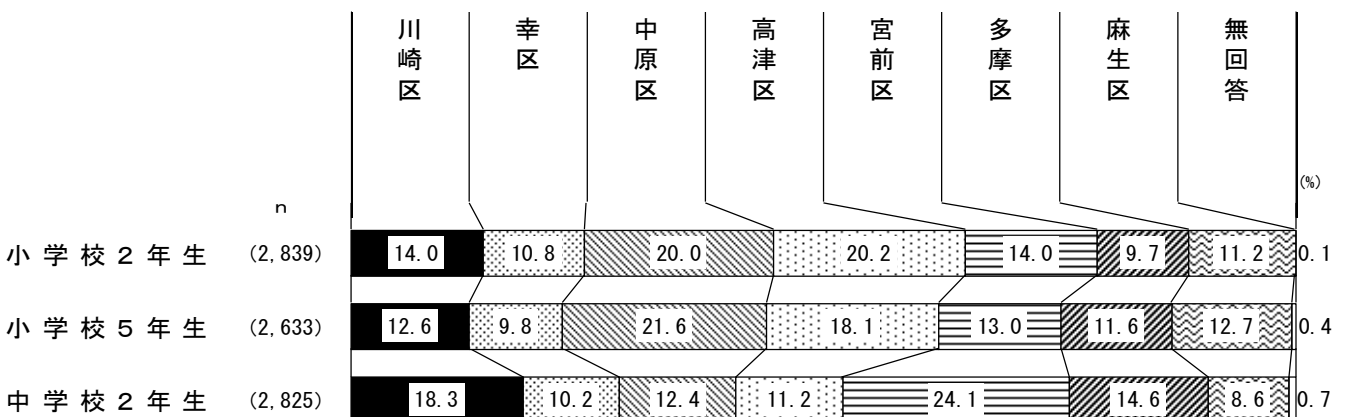


#### イ 居住区及び居住年数

##### ① 居住区【小学・問27、中学・問25】(SA)

居住地区を聞いたところ、小学2年生のいる世帯では「高津区」が20.2%で最も高く、次いで「中原区」が20.0%、「川崎区」と「宮前区」が14.0%となっている。小学5年生のいる世帯では「中原区」が21.6%で最も高く、次いで「高津区」が18.1%、「宮前区」が13.0%となっている。中学2年生のいる世帯では「宮前区」が24.1%で最も高く、次いで「川崎区」が18.3%、「多摩区」が14.6%となっている。

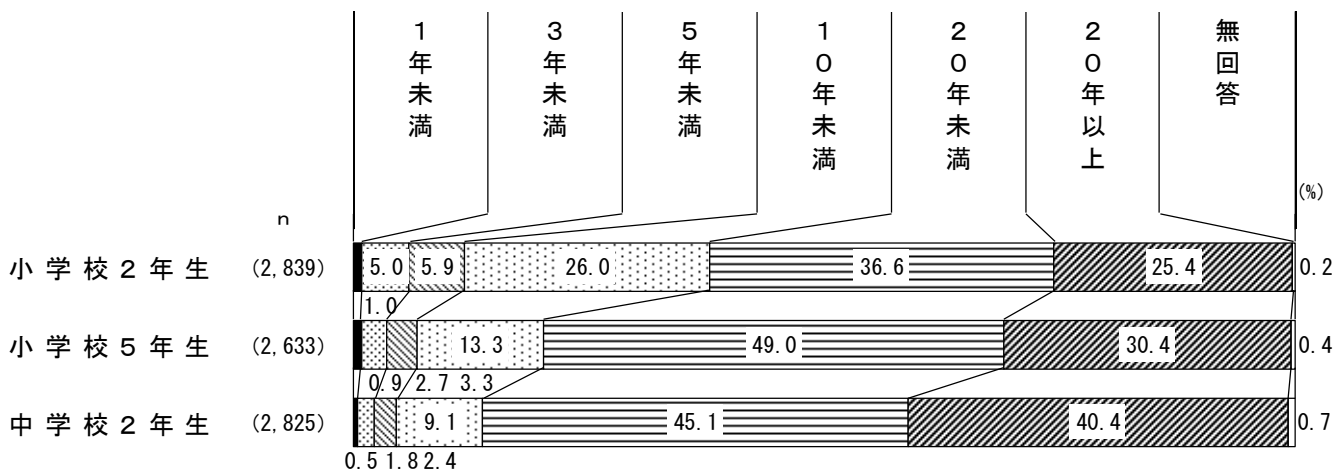
【図表 3-2】居住地区



② 居住年数【小学・問 28、中学・問 26】(SA)

川崎市の居住年数を聞いたところ、小学2年生のいる世帯では「20年未満」が36.6%で最も高く、次いで「10年未満」が26.0%、「20年以上」が25.4%となっている。小学5年生のいる世帯では「20年未満」が49.0%で最も高く、次いで「20年以上」が30.4%、「10年未満」が13.3%となっている。中学2年生のいる世帯では「20年未満」が45.1%で最も高く、次いで「20年以上」が40.4%、「10年未満」が9.1%となっている。

【図表 3-3】居住年数

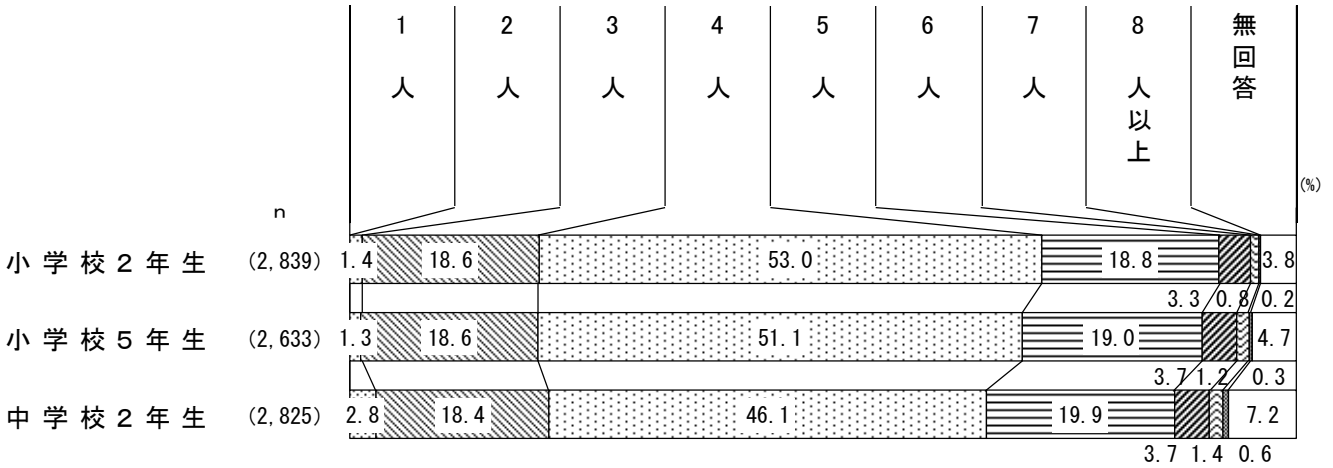


ウ 世帯構成

① 世帯人員【小学・問30、中学・問28】(FA)

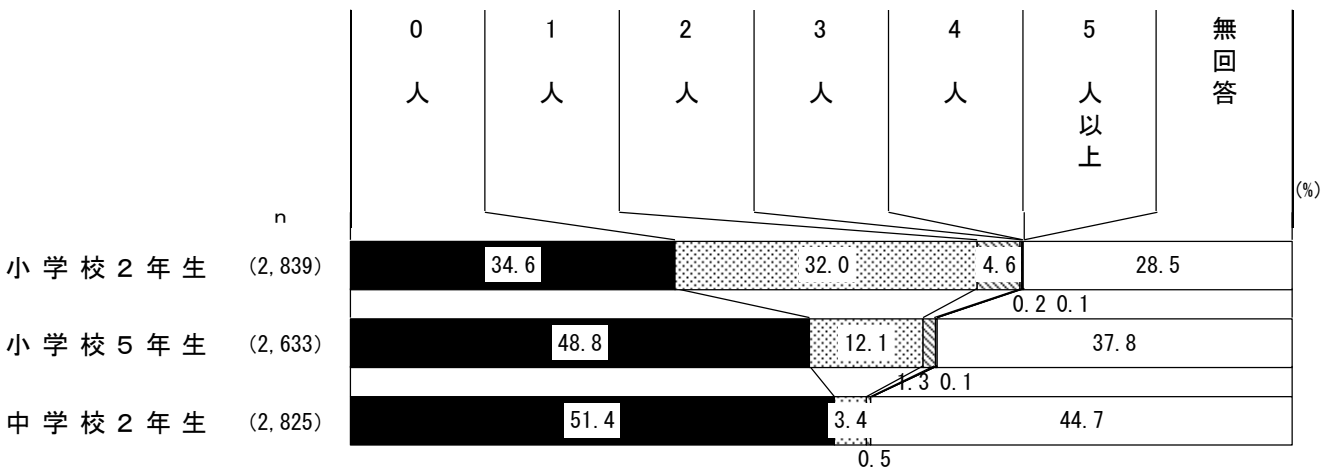
世帯人員を聞いたところ、いずれの学年でも「4人」(小学2年生：53.0%、小学5年生：51.1%、中学2年生：46.1%)が最も高く、次いで「5人」(小学2年生：18.8%、小学5年生：19.0%、中学2年生：19.9%)、「3人」(小学2年生：18.6%、小学5年生：18.6%、中学2年生：18.4%)となっている。

【図表 3-4】世帯人員



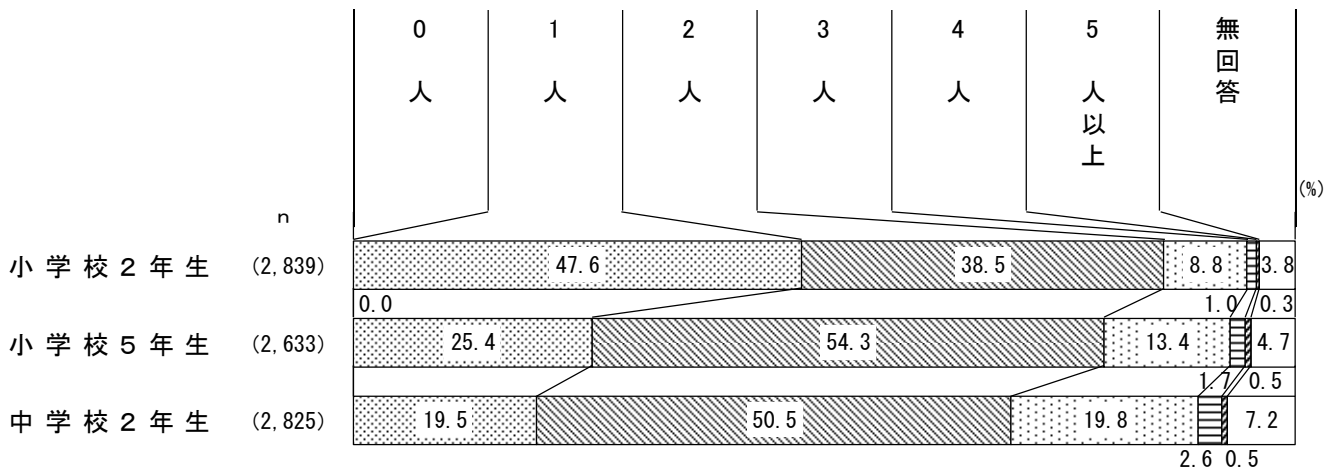
そのうち0～5歳の子どもの人数を聞いたところ、いずれの学年でも「0人」(小学2年生：34.6%、小学5年生：48.8%、中学2年生：51.4%)が最も高く、次いで「1人」(小学2年生：32.0%、小学5年生：12.1%、中学2年生：3.4%)、「2人」(小学2年生：4.6%、小学5年生：1.3%、中学2年生：0.5%)となっている。

【図表 3-5】0～5歳の子どもの人数



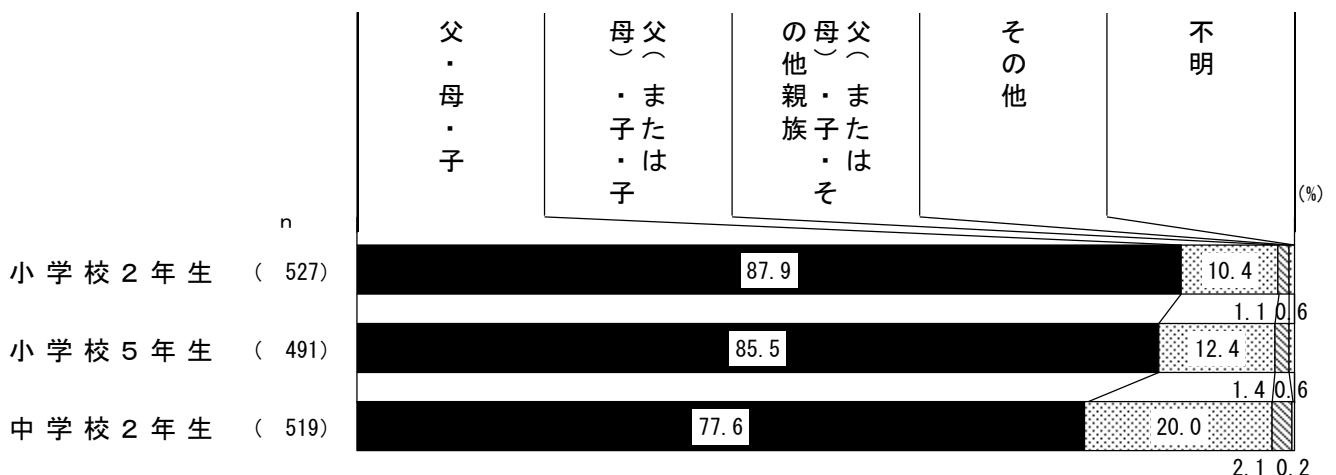
6歳以上の子どもの人数を聞いたところ、小学2年生のいる世帯では「1人」が47.6%で最も高く、次いで「2人」が38.5%、「3人」が8.8%となっている。小学5年生のいる世帯では「2人」が54.3%で最も高く、次いで「1人」が25.4%、「3人」が13.4%となっている。中学2年生のいる世帯では「2人」が50.5%で最も高く、次いで「3人」が19.8%、「1人」が19.5%となっている。

【図表 3-6】 6歳以上の子どもの人数



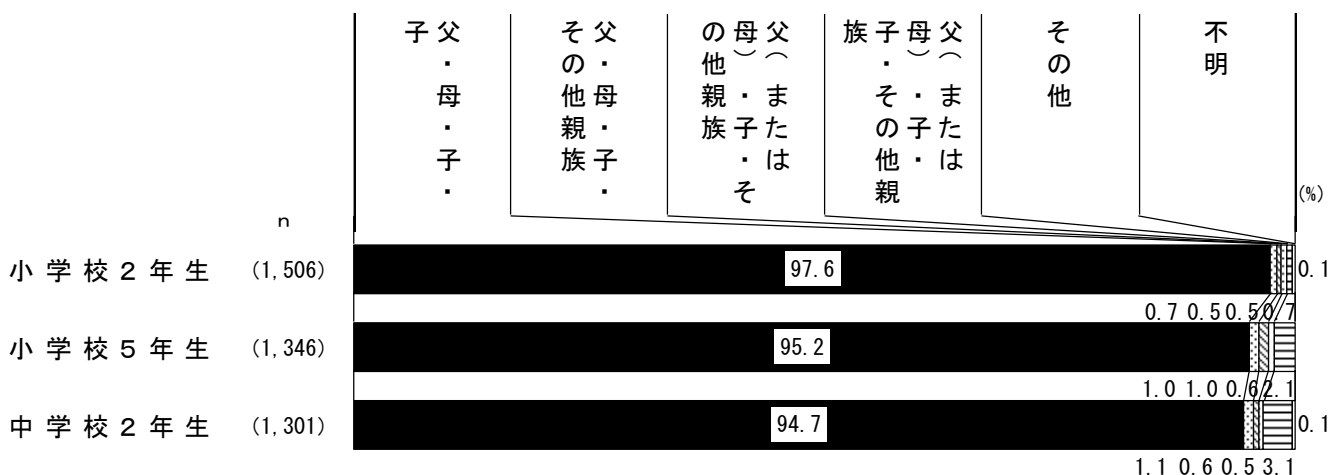
3人世帯の内訳を聞いたところ、いずれの学年でも「父・母・子」(小学2年生:87.9%、小学5年生:85.5%、中学2年生:77.6%)が最も高く、次いで「父(または母)・子・子」(小学2年生:10.4%、小学5年生:12.4%、中学2年生:20.0%)、「父(または母)・子・その他親族」(小学2年生:1.1%、小学5年生:1.4%、中学2年生:2.1%)となっている。

【図表 3-7】 3人世帯の内訳



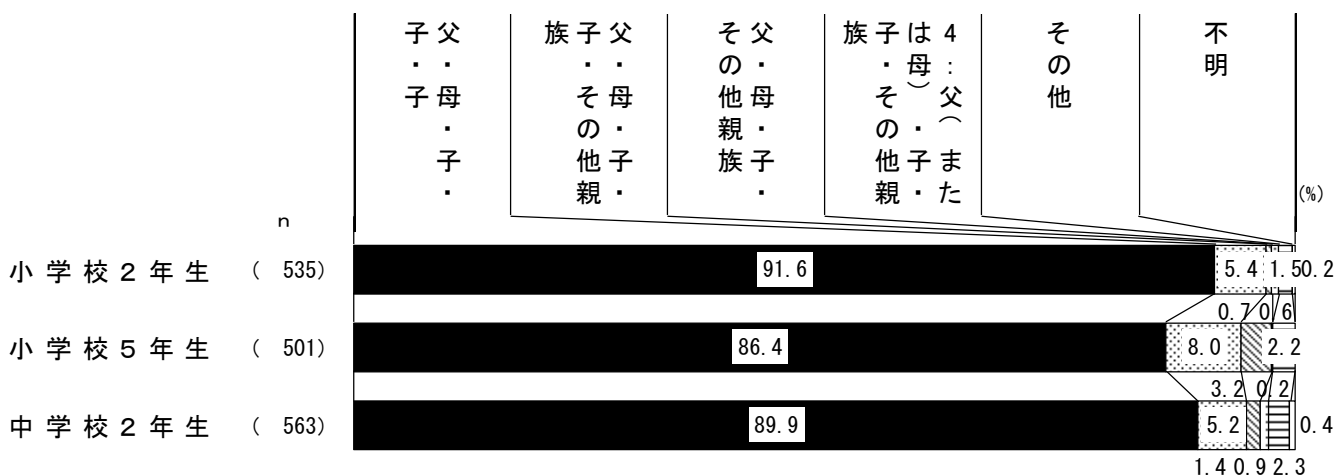
4人世帯の内訳を聞いたところ、小学2年生のいる世帯では「父・母・子・子」が97.6%で最も高く、次いで「父・母・子・その他親族」が0.7%、「父（または母）・子・その他親族」と「父（または母）・子・子・その他親族」が0.5%となっている。小学5年生のいる世帯では「父・母・子・子」が95.2%で最も高く、次いで「父・母・子・その他親族」と「父（または母）・子・その他親族」が1.0%となっている。中学2年生のいる世帯では「父・母・子・子」が94.7%で最も高く、次いで「父・母・子・その他親族」が1.1%、「父（または母）・子・その他親族」が0.6%となっている。

【図表 3-8】 4人世帯の内訳



5人世帯の内訳を聞いたところ、いずれの学年でも「父・母・子・子・子」(小学2年生：91.6%、小学5年生：86.4%、中学2年生：89.9%)が最も高く、次いで「父・母・子・子・その他親族」(小学2年生：5.4%、小学5年生：8.0%、中学2年生：5.2%)、「父・母・子・その他親族」(小学2年生：0.7%、小学5年生：3.2%、中学2年生：1.4%)となっている。

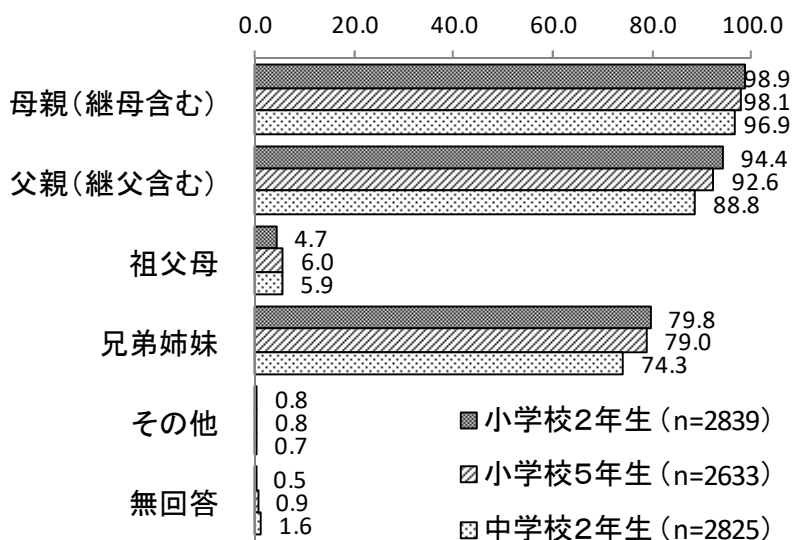
【図表 3-9】 5人世帯の内訳



② 続柄【小学・問31、中学・問29】(MA)

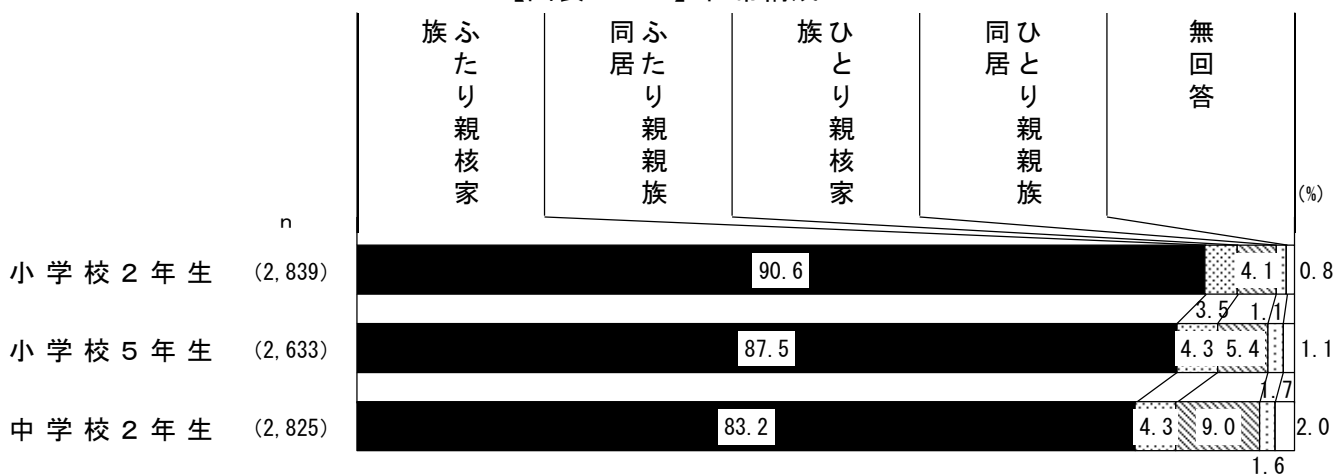
世帯人員で回答した世帯全員の続柄を複数回答で聞いたところ、いずれの学年でも「母親（継母含む）」（小学2年生：98.9%、小学5年生：98.1%、中学2年生：96.9%）が最も高く、次いで「父親（継父含む）」（小学2年生：94.4%、小学5年生：92.6%、中学2年生：88.8%）、「兄弟姉妹」（小学2年生：79.8%、小学5年生：79.0%、中学2年生：74.3%）となっている。

【図表 3-10】続柄（複数回答）



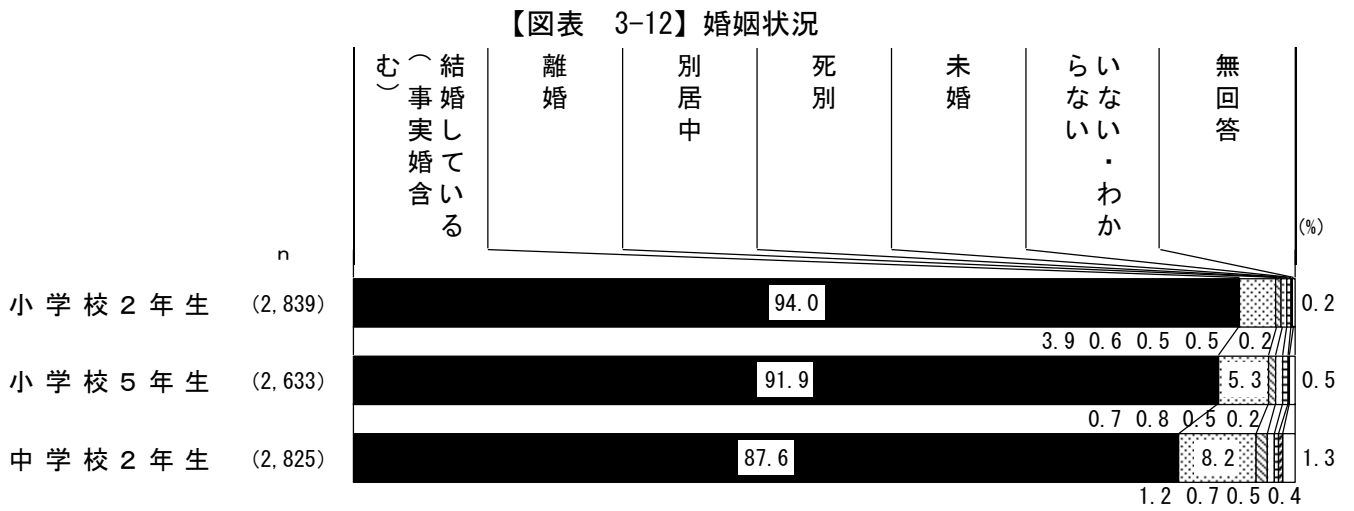
また、世帯全員の続柄の回答から、世帯構成を「ふたり親核家族」、「ふたり親親族同居」、「ひとり親核家族」、「ひとり親親族同居」、「無回答」の5つに分類した。その結果、いずれの学年でも「ふたり親核家族」（小学2年生：90.6%、小学5年生：87.5%、中学2年生：83.2%）が最も高くなっている。なお、「親族同居」については、「祖父母」や「その他」で「(子どもの) 叔父や叔母」と回答した世帯を分類している。

【図表 3-11】世帯構成



③ 婚姻状況【小学・問29、中学・問27】(SA)

保護者の婚姻状況を聞いたところ、いずれの学年でも「結婚している（事実婚含む）」（小学2年生：94.0%、小学5年生：91.9%、中学2年生：87.6%）が最も高くなっている。

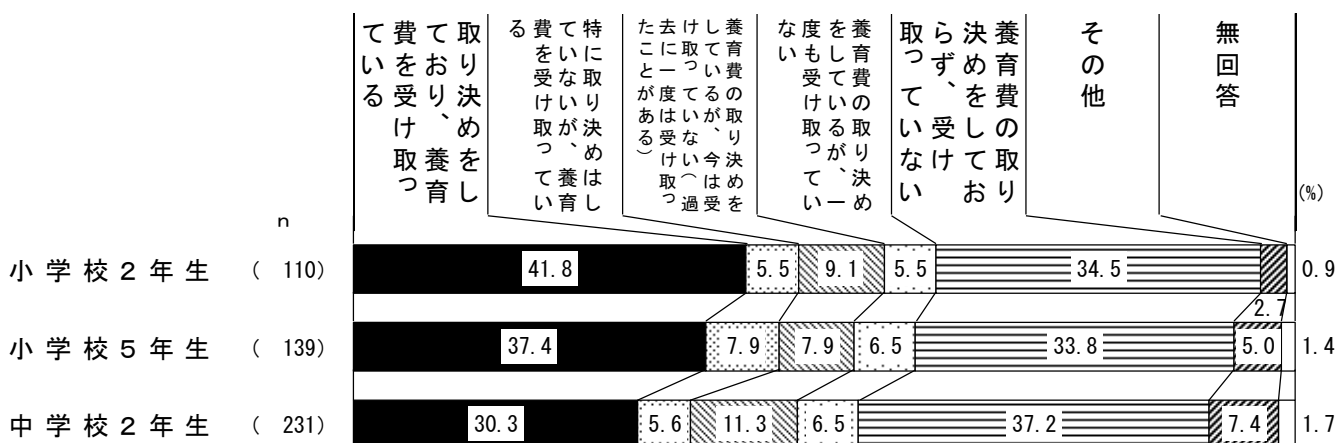


(2) 世帯の状況

ア 調査対象となる子どもの養育費の取り決め状況【小学・問 29-2、中学・問 27-2】(SA)

保護者の婚姻状況で「2. 離婚」と回答した方に養育費受取状況を聞いたところ、小学2年生のいる世帯と小学5年生のいる世帯では「取り決めをしており、養育費を受け取っている」(小学2年生：41.8%、小学5年生：37.4%)が最も高く、次いで「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」(小学2年生：34.5%、小学5年生：33.8%)となっている。中学2年生のいる世帯では「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」が37.2%で最も高く、次いで「取り決めをしており、養育費を受け取っている」が30.3%となっている。

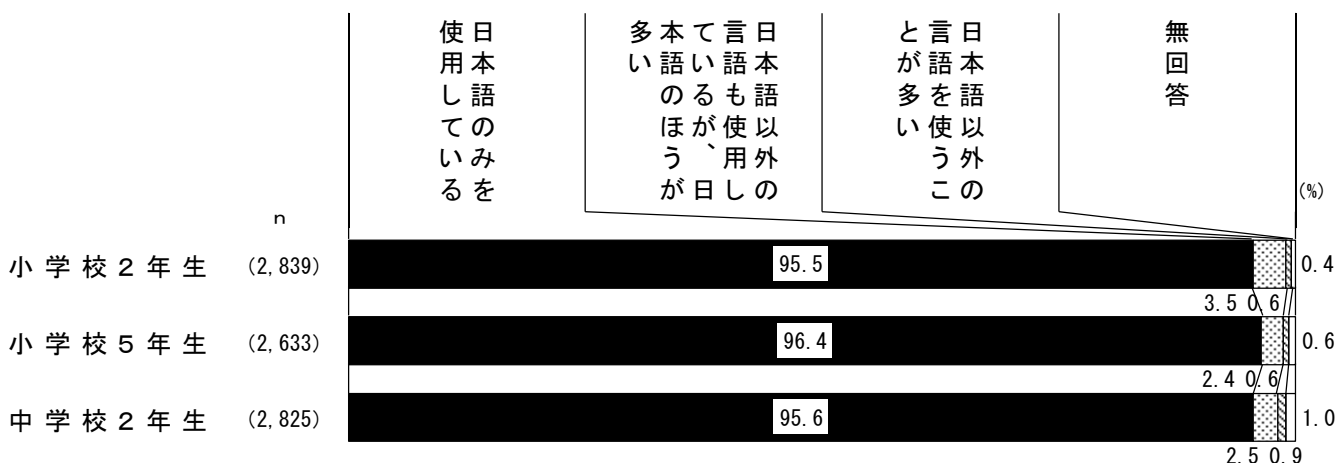
【図表 3-13】 調査対象となる子どもの養育費の取り決め状況



イ 家庭で使用する言語【小学・問 32、中学・問 30】(SA)

家庭で使用している言語を聞いたところ、いずれの学年でも「日本語のみを使用している」(小学2年生：95.5%、小学5年生：96.4%、中学2年生：95.6%)が最も高くなっている。

【図表 3-14】 家庭で使用する言語

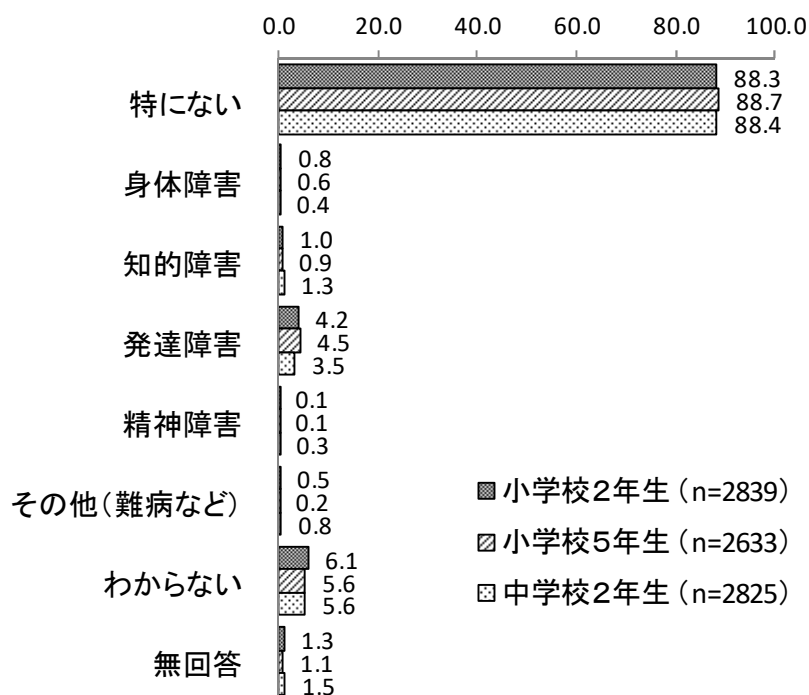




ウ 調査対象となる子どもの障害の有無【小学・問 24、中学・問 22】(MA)

子どもの障害の有無と種類を複数回答で聞いたところ、いずれの学年でも「特にない」(小学2年生：88.3%、小学5年生：88.7%、中学2年生：88.4%) が最も高くなっている。

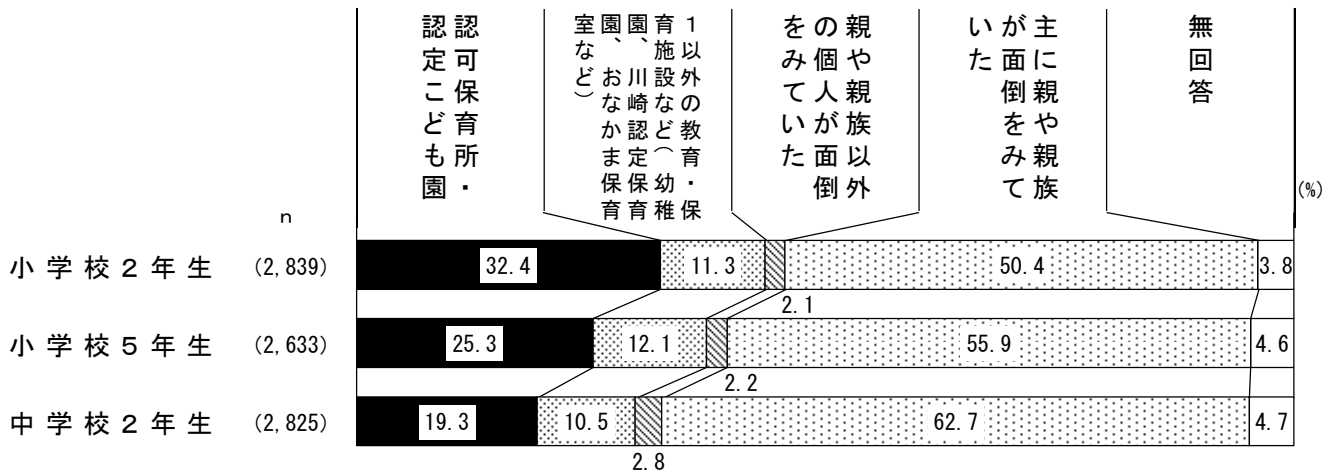
【図表 3-15】 調査対象となる子供の障害の有無



エ 調査対象となる子どもの未就学時期の日中の過ごし方【小学・問 25、中学・問 23】(SA)

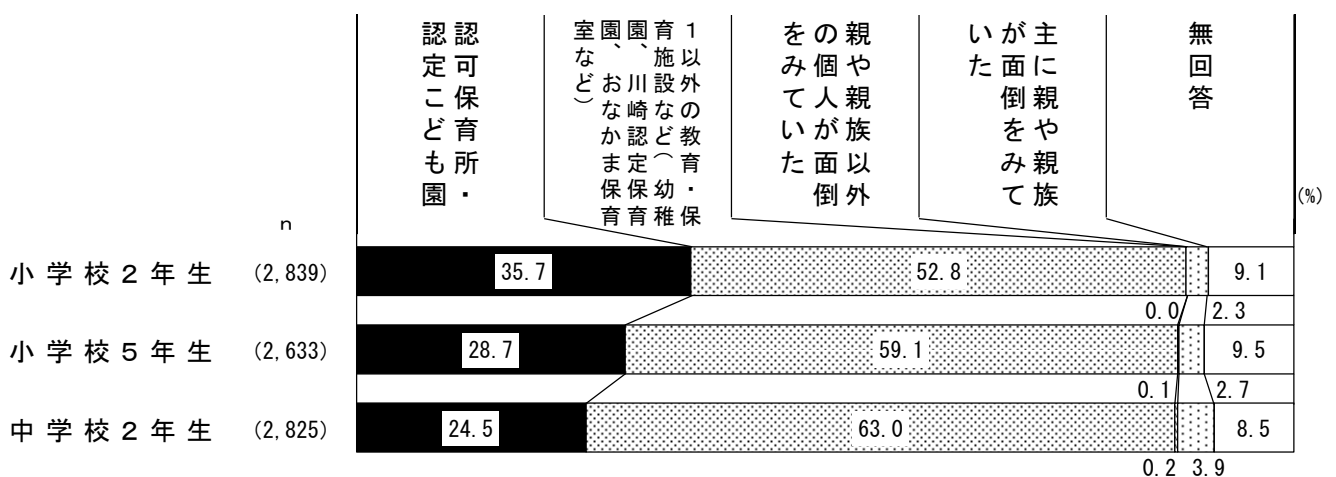
子どもが最も長く通っていた教育・保育施設等を聞いたところ、0～2歳の間では、「認可保育所・認定こども園」(小学2年生：32.4%、小学5年生：25.3%、中学2年生：19.3%)は学年が低くなるにつれ割合が高くなっており、「主に親や親族が面倒をみていた」(小学2年生：50.4%、小学5年生：55.9%、中学2年生：62.7%)は学年が高くなるにつれ割合が高くなっている。

【図表 3-16】 調査対象となる子どもの未就学時期の日中の過ごし方 (0～2歳の間)



3～5歳の間では、「認可保育所・認定こども園」(小学2年生：35.7%、小学5年生：28.7%、中学2年生：24.5%)は学年が低くなるにつれ割合が高くなっており、「1以外の教育・保育施設など(幼稚園、川崎認定保育園、おなかま保育室など)」(小学2年生：52.8%、小学5年生：59.1%、中学2年生：63.0%)は学年が高くなるにつれ割合が高くなっている。

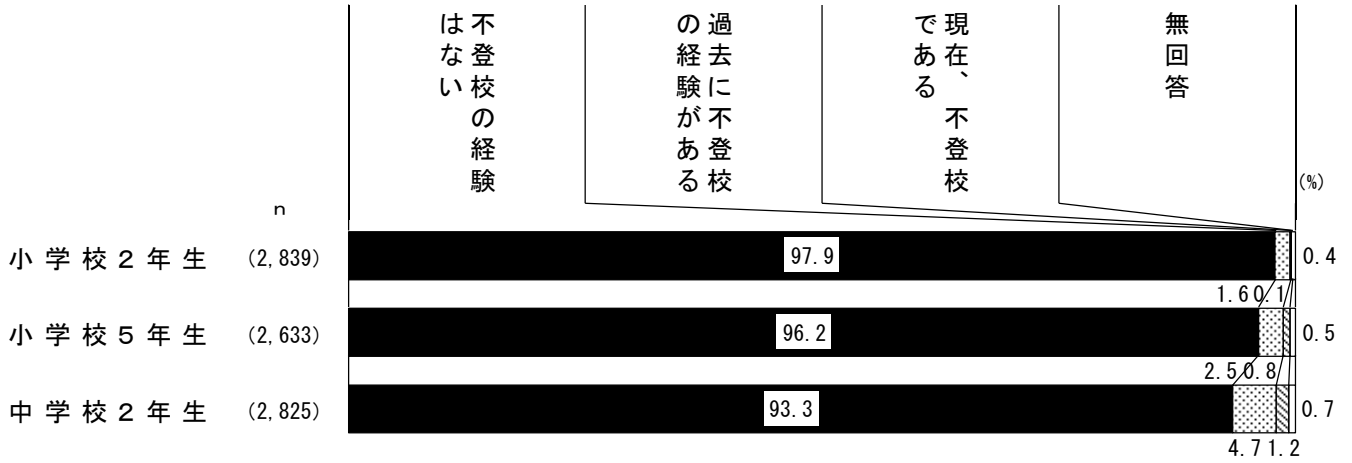
【図表 3-17】 調査対象となる子どもの未就学時期の日中の過ごし方 (3～5歳の間)



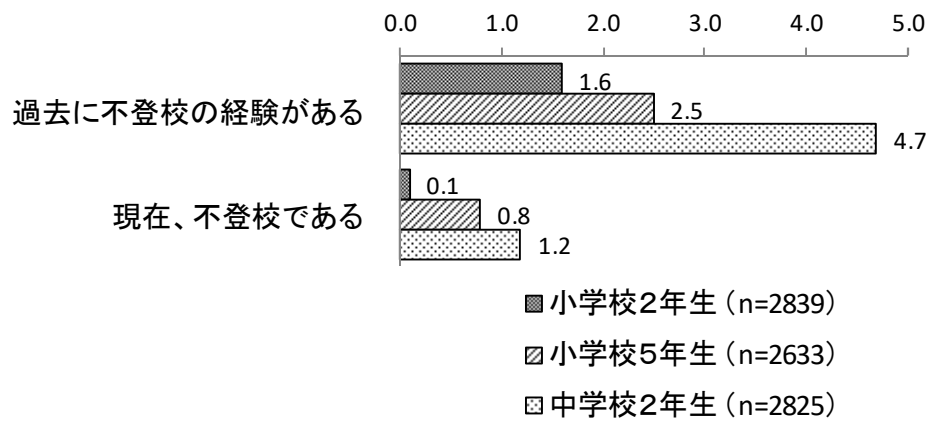
オ 調査対象となる子どもの不登校経験【小学・問6、中学・問5】(SA)

子どもの不登校の経験の有無を聞いたところ、いずれの学年でも「不登校の経験はない」(小学2年生：97.9%、小学5年生：96.2%、中学2年生：93.3%)が最も高くなっている。

【図表 3-18】 調査対象となる子どもの不登校経験



【図表 3-19】 調査対象となる子どもの不登校経験（経験ありのみ抜粋）

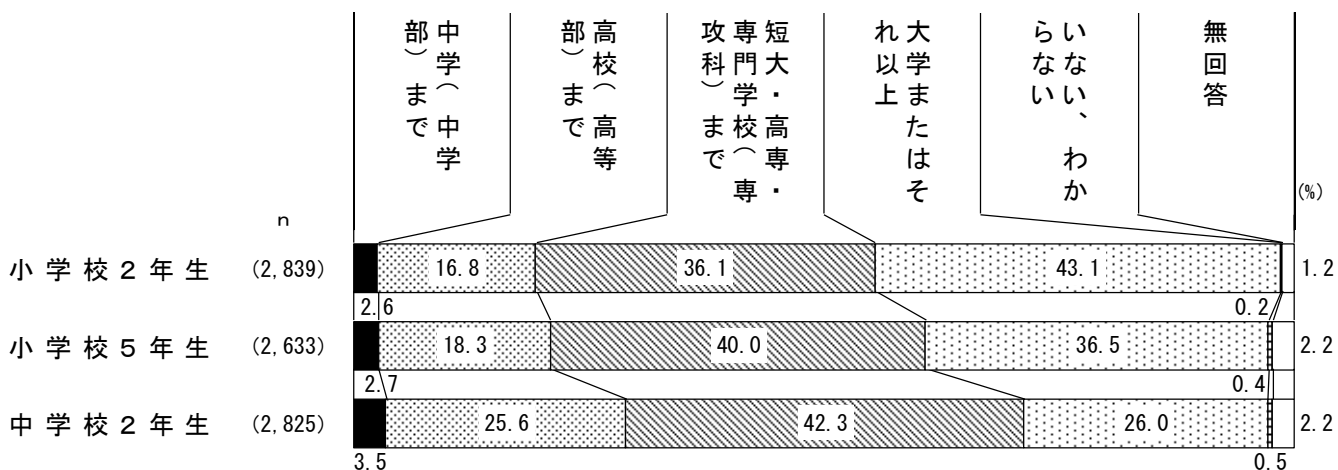


(2) 保護者の最終学歴・就労状況

ア 保護者の最終学歴【小学・問33、中学・問31】(SA)

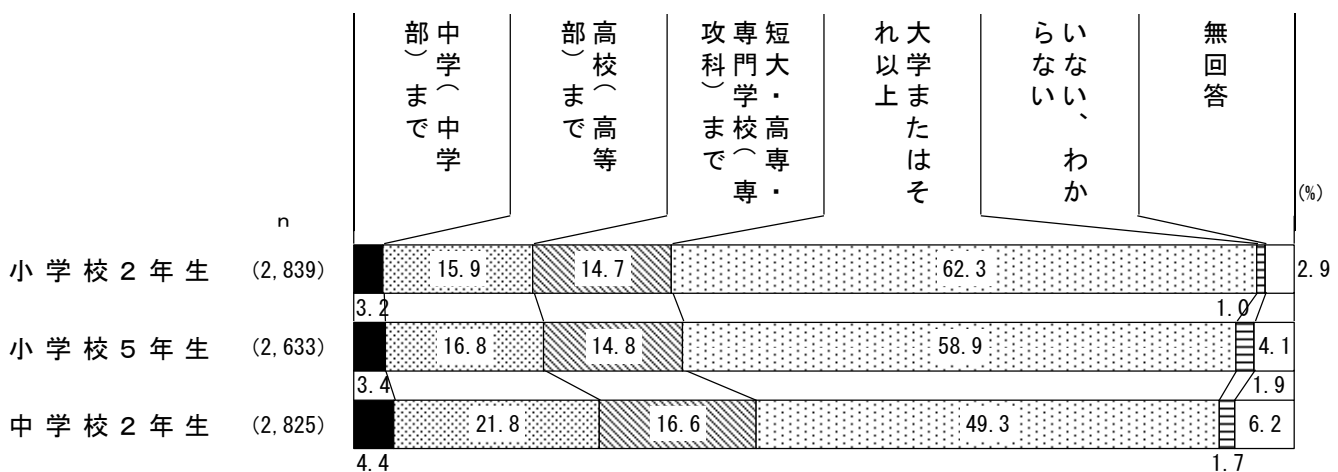
母親の最終学歴を聞いたところ、小学2年生のいる世帯では「大学またはそれ以上」が43.1%最も高く、次いで「短大・高専・専門学校(専攻科)まで」が36.1%、「高校(高等部)まで」が16.8%となっている。小学5年生のいる世帯、中学2年生のいる世帯では「短大・高専・専門学校(専攻科)まで」(小学5年生:40.0%、中学2年生:42.3%)が最も高く、次いで「大学またはそれ以上」(小学5年生:36.5%、中学2年生:26.0%)、「高校(高等部)まで」(小学5年生:18.3%、中学2年生:25.6%)となっている。

【図表 3-20】 母親の最終学歴



父親の最終学歴を聞いたところ、いずれの学年でも「大学またはそれ以上」(小学2年生:62.3%、小学5年生:58.9%、中学2年生:49.3%)が最も高く、次いで「高校(高等部)まで」(小学2年生:15.9%、小学5年生:16.8%、中学2年生:21.8%)、「短大・高専・専門学校(専攻科)まで」(小学2年生:14.7%、小学5年生:14.8%、中学2年生:16.6%)となっている。

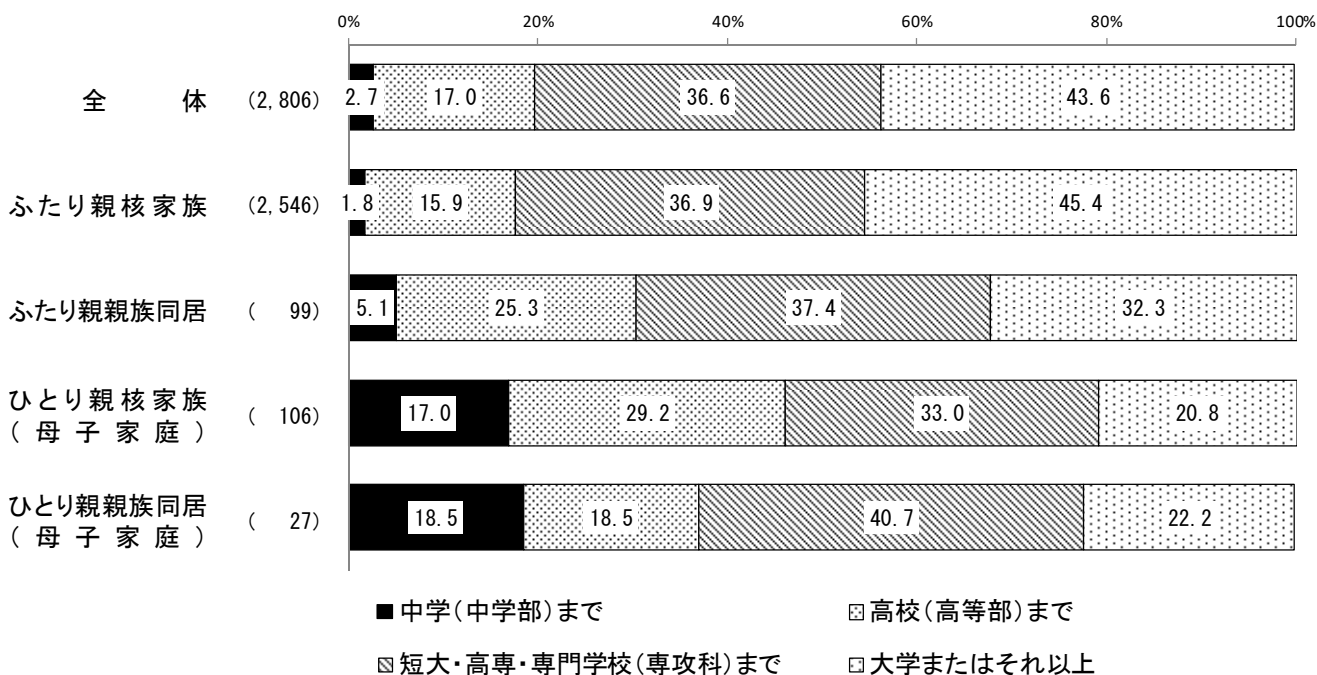
【図表 3-21】 父親の最終学歴



小学2年生のいる世帯の母親の最終学歴を世帯構成別にみると、「中学（中学部）まで」は『ひとり親核家族（母子家庭）』で17.0%と、「高校（高等部）まで」は『ひとり親核家族（母子家庭）』で29.2%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。

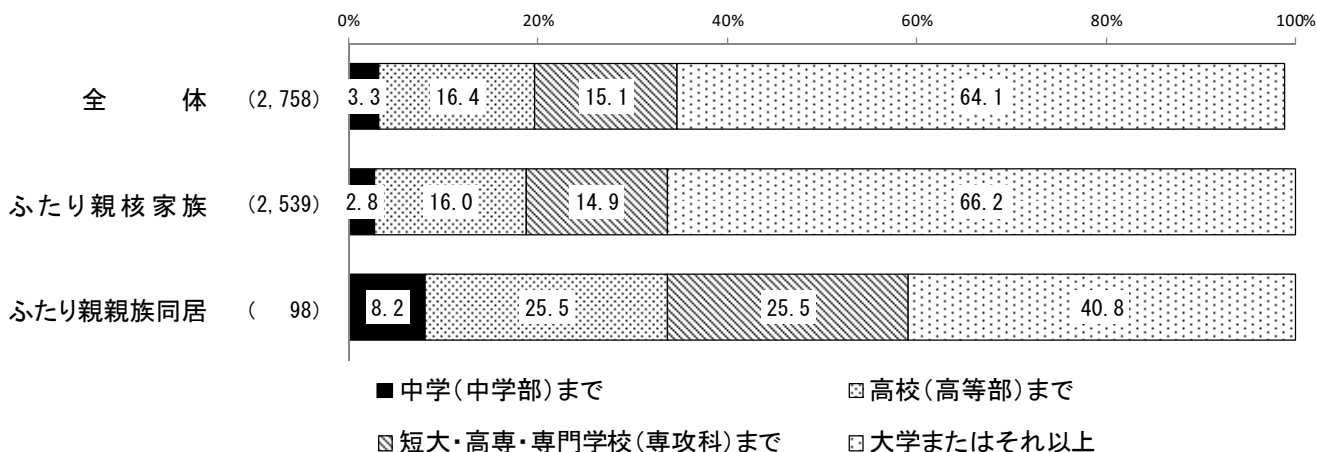
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-22】 母親の最終学歴（小学2年生・世帯構成別）



小学2年生のいる世帯の父親の最終学歴を世帯構成別にみると、「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」は『ふたり親親族同居』で25.5%と、全体に比べて高くなっている。（クロス軸「ひとり親核家族（父子家庭）」、「ひとり親親族同居（父子家庭）」は、サンプル数が10に満たないため除外している。）

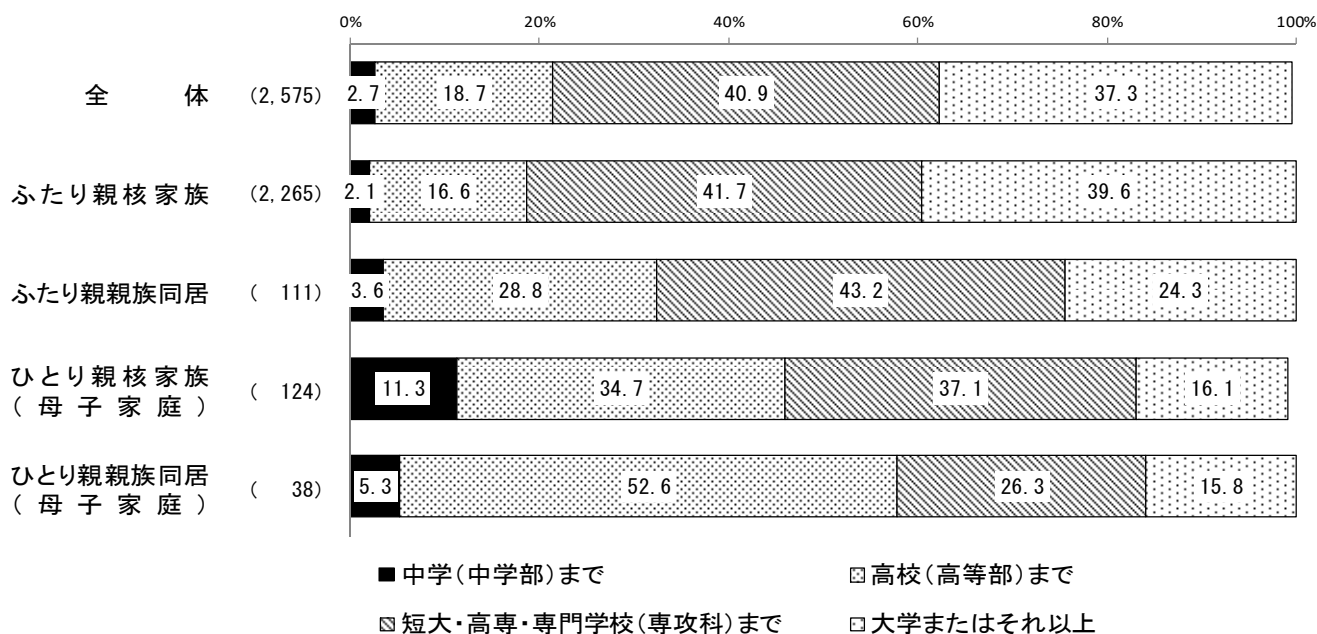
【図表 3-23】 父親の最終学歴（小学2年生・世帯構成別）



小学5年生のいる世帯の母親の最終学歴を世帯構成別にみると、「高校（高等部）まで」は『ふたり親親族同居』で28.8%と、『ひとり親核家族（母子家庭）』で34.7%と、『ひとり親親族同居（母子家庭）』で52.6%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。一方、「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」は『ひとり親親族同居（母子家庭）』で26.3%と、全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

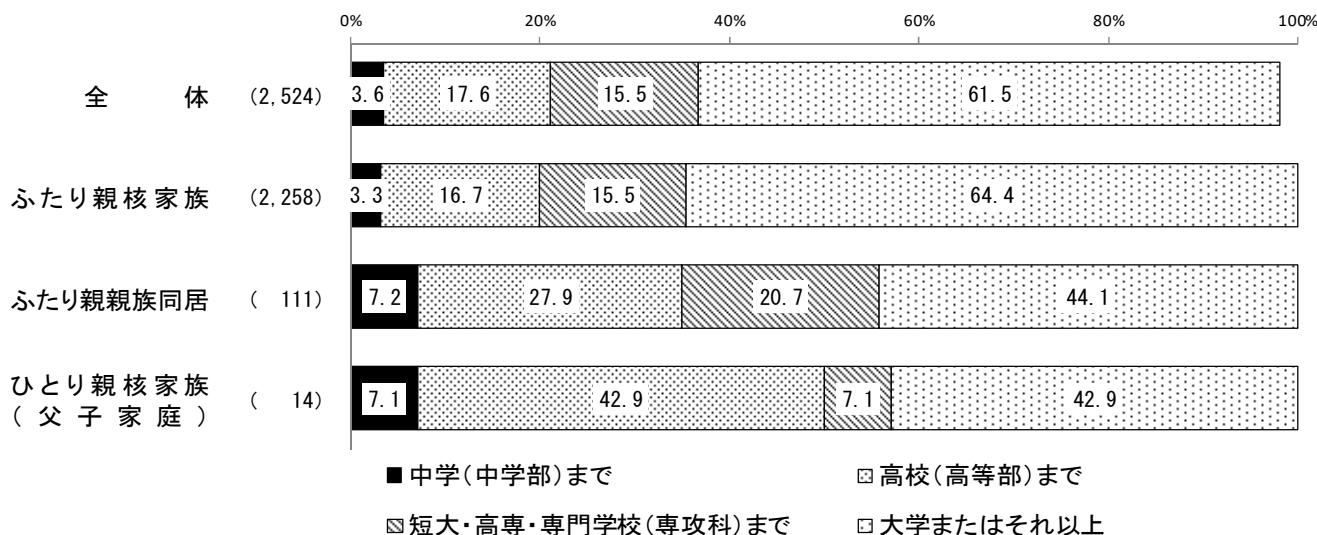
【図表 3-24】 母親の最終学歴（小学5年生・世帯構成別）



小学5年生のいる世帯の父親の最終学歴を世帯構成別にみると、「高校（高等部）まで」は『ふたり親親族同居』で27.9%と、全体に比べて高くなっている。

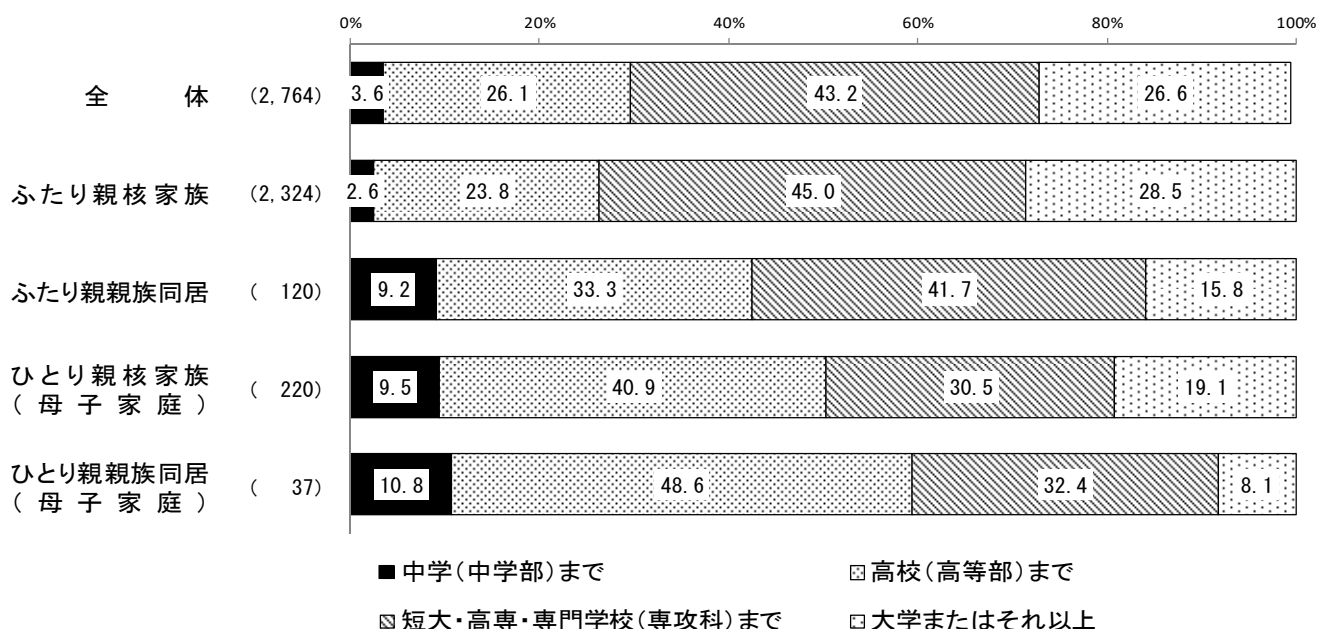
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。（クロス軸「ひとり親親族同居（父子家庭）」は、サンプル数が10に満たないため除外している。）

【図表 3-25】 父親の最終学歴（小学5年生・世帯構成別）



中学2年生のいる世帯の母親の最終学歴を世帯構成別にみると、「高校（高等部）まで」は『ひとり親核家族（母子家庭）』で40.9%と、『ひとり親親族同居（母子家庭）』で48.6%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。一方、「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」は『ひとり親核家族（母子家庭）』で30.5%と、『ひとり親親族同居（母子家庭）』で32.4%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

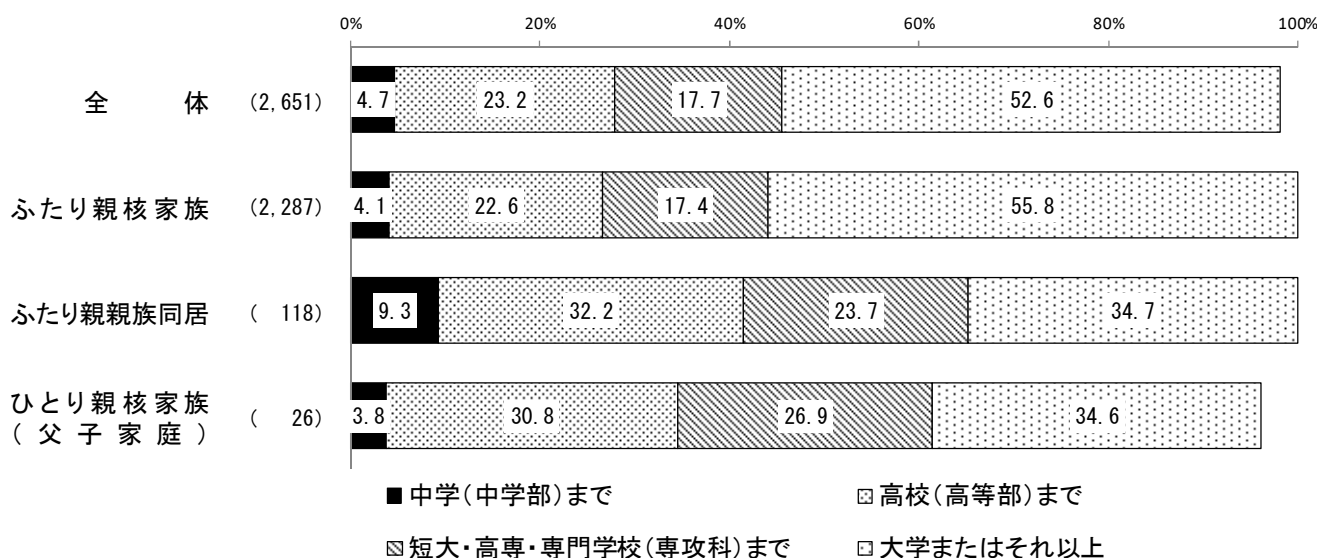
【図表 3-26】 母親の最終学歴（中学2年生・世帯構成別）



中学2年生のいる世帯の父親の最終学歴を世帯構成別にみると、「大学またはそれ以上」は『ふたり親親族同居』で34.7%と、全体に比べて低くなっている。

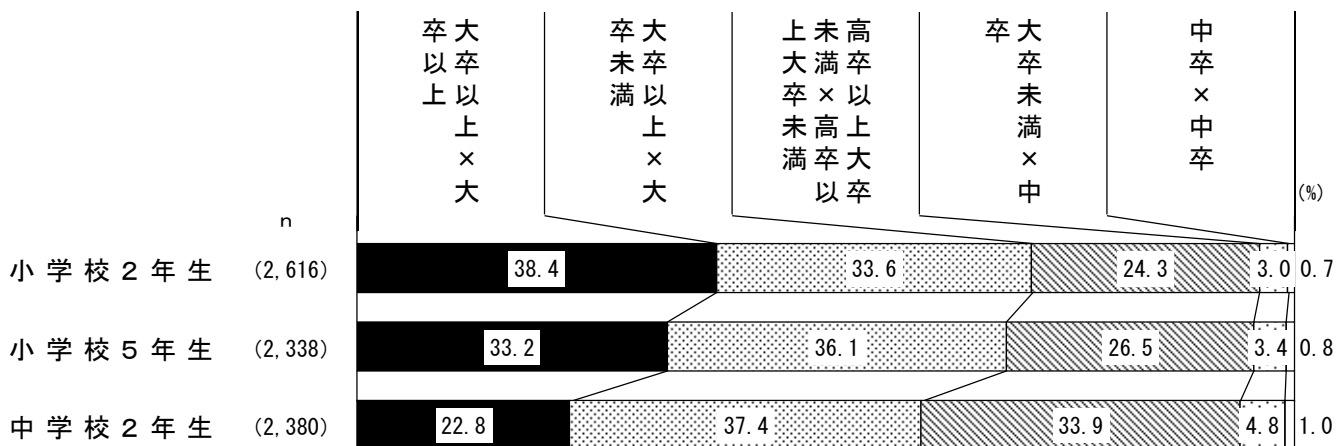
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。(クロス軸「ひとり親親族同居(父子家庭)」は、10に満たないため除外している。)

【図表 3-27】 父親の最終学歴（中学2年生・世帯構成別）



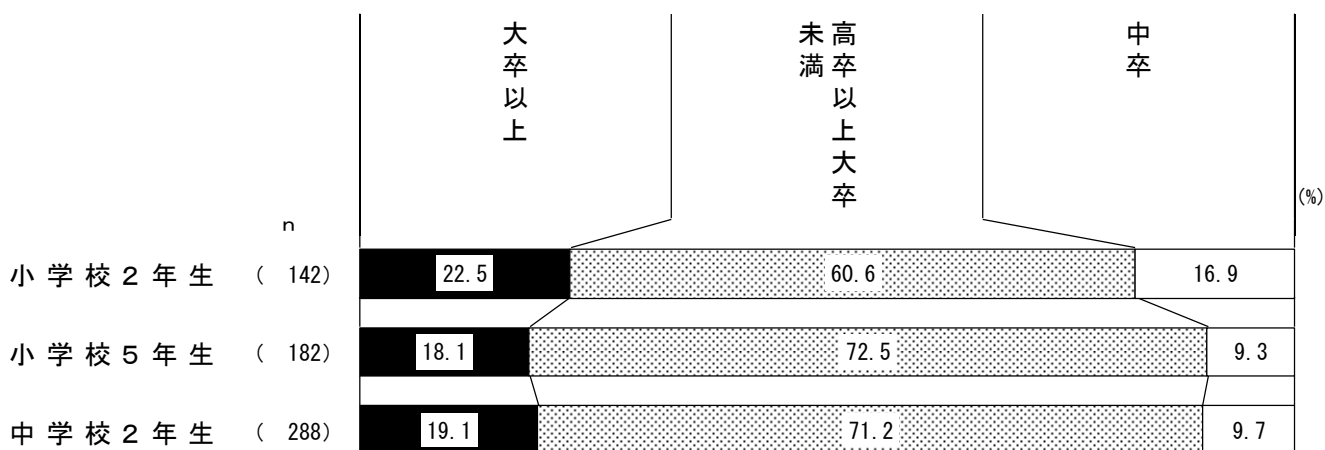
ふたり親の最終学歴の組合せをみると、小学2年生のいる世帯では「大卒以上×大卒以上」が38.4%で最も高く、次いで「大卒以上×大卒未満」が33.6%、「高卒以上大卒未満×高卒以上大卒未満」が24.3%となっている。小学5年生のいる世帯では「大卒以上×大卒以上」が33.2%で最も高く、次いで「大卒以上×大卒以上」が33.2%、「高卒以上大卒未満×高卒以上大卒未満」が26.5%となっている。中学2年生のいる世帯では「大卒以上×大卒未満」が37.4%で最も高く、次いで「高卒以上大卒未満×高卒以上大卒未満」が33.9%、「大卒以上×大卒以上」が22.8%となっている。

【図表 3-28】 ふたり親の最終学歴の組合せ



ひとり親の最終学歴をみると、いずれの学年でも「高卒以上大卒未満」（小学2年生：60.6%、小学5年生：72.5%、中学2年生：71.2%）が最も高く、次いで「大卒以上」（小学2年生：22.5%、小学5年生：18.1%、中学2年生：19.1%）、「中卒」（小学2年生：16.9%、小学5年生：9.3%、中学2年生：9.7%）となっている。

【図表 3-29】 ひとり親の最終学歴



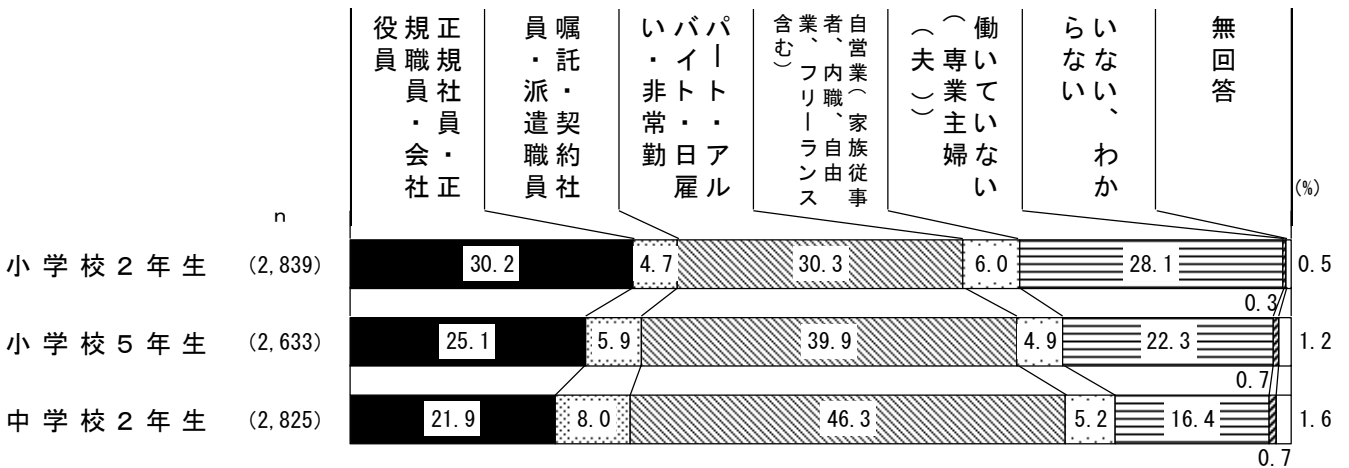


イ 保護者の就労状況

① 就労状況【小学・問 34、中学・問 32】(SA)

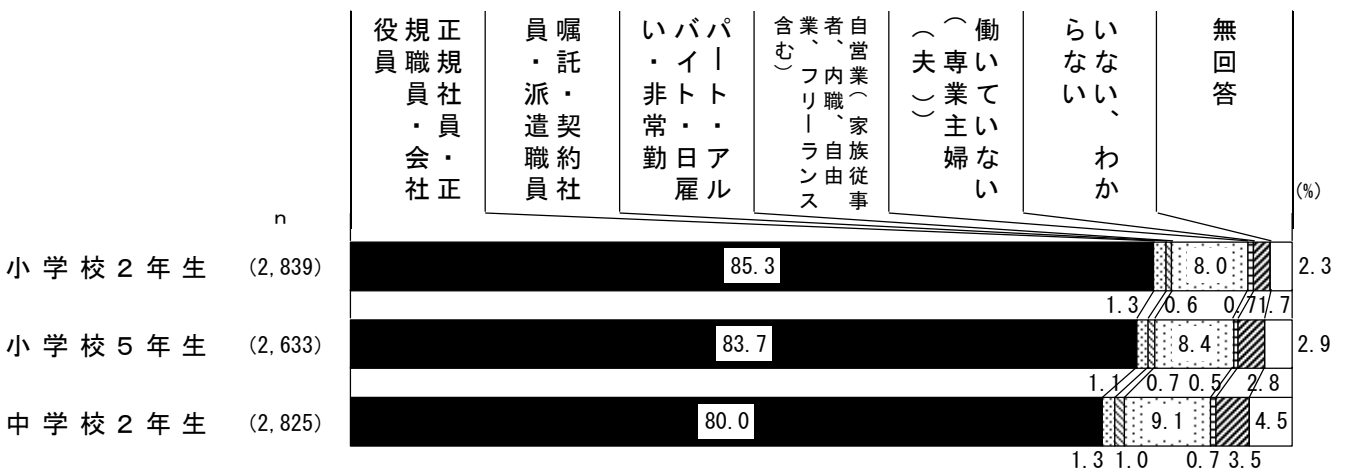
母親の就労状況を聞いたところ、いずれの学年でも「パート・アルバイト・日雇い・非常勤」(小学2年生：30.3%、小学5年生：39.9%、中学2年生：46.3%)が最も高く、次いで「正規社員・正規職員・会社役員」(小学2年生：30.2%、小学5年生：25.1%、中学2年生：21.9%)、「働いていない(専業主婦(夫))」(小学2年生：28.1%、小学5年生：22.3%、中学2年生：16.4%)となっている。

【図表 3-30】母親の就労状況



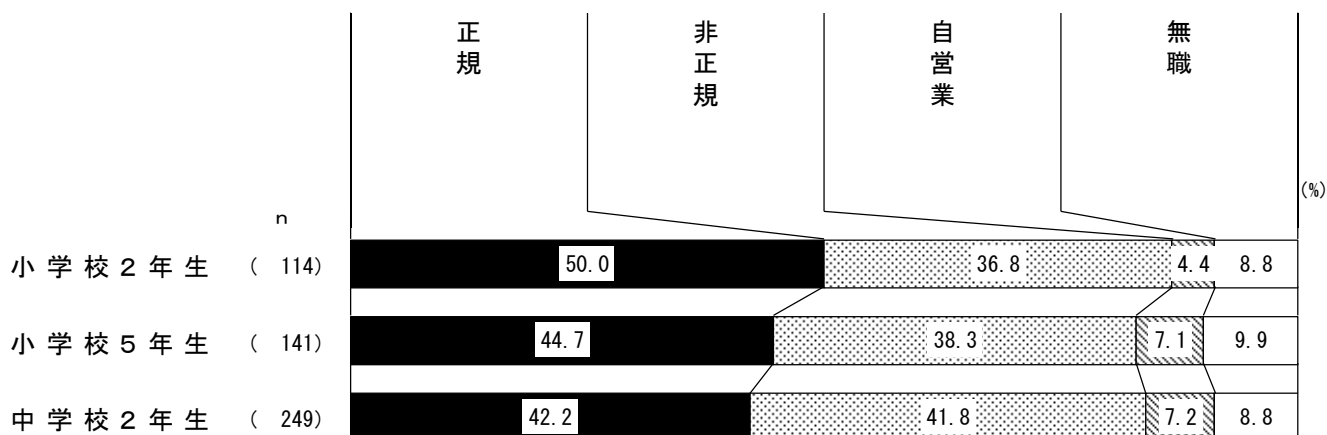
父親の就労状況を聞いたところ、いずれの学年でも「正規社員・正規職員・会社役員」(小学2年生：85.3%、小学5年生：83.7%、中学2年生：80.0%)が最も高く、次いで「自営業(家族従事者、内職、自由業、フリーランス含む)」(小学2年生：8.0%、小学5年生：8.4%、中学2年生：9.1%)となっている。

【図表 3-31】父親の就労状況



ひとり親世帯（核家族）の就労状況をみると、いずれの学年でも「正規」（小学2年生：50.0%、小学5年生：44.7%、中学2年生：42.2%）が最も高く、次いで「非正規」（小学2年生：36.8%、小学5年生：38.3%、中学2年生：41.8%）、「無職」（小学2年生：8.8%、小学5年生：9.9%、中学2年生：8.8%）となっている。

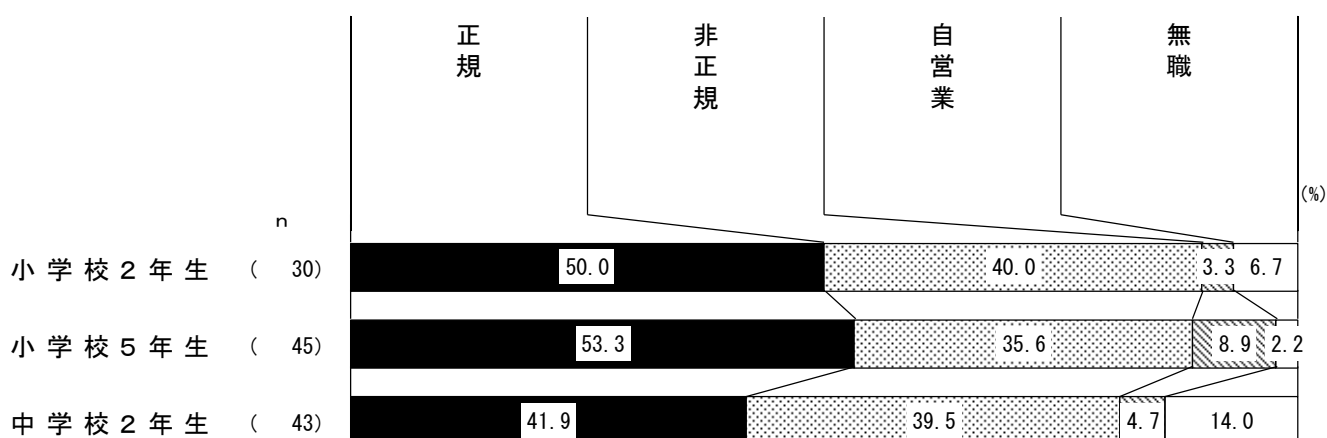
【図表 3-32】ひとり親世帯（核家族）の就労状況



ひとり親世帯（親族同居）の就労状況をみると、小学2年生のいる世帯、中学2年生のいる世帯では「正規」（小学2年生：50.0%、中学2年生：41.9%）が最も高く、次いで「非正規」（小学2年生：40.0%、中学2年生：39.5%）、「無職」（小学2年生：6.7%、中学2年生：14.0%）となっている。小学5年生のいる世帯では「正規」が53.3%で最も高く、次いで「非正規」が35.6%、「自営業」が8.9%となっている。

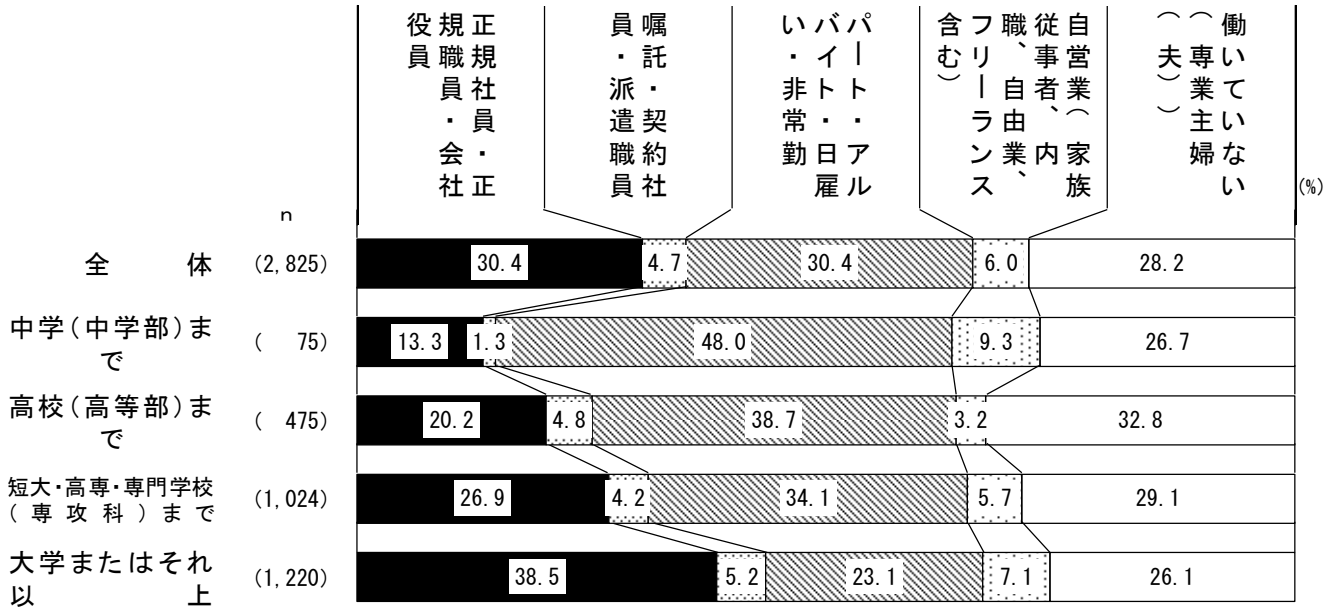
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-33】ひとり親世帯（親族同居）の就労状況



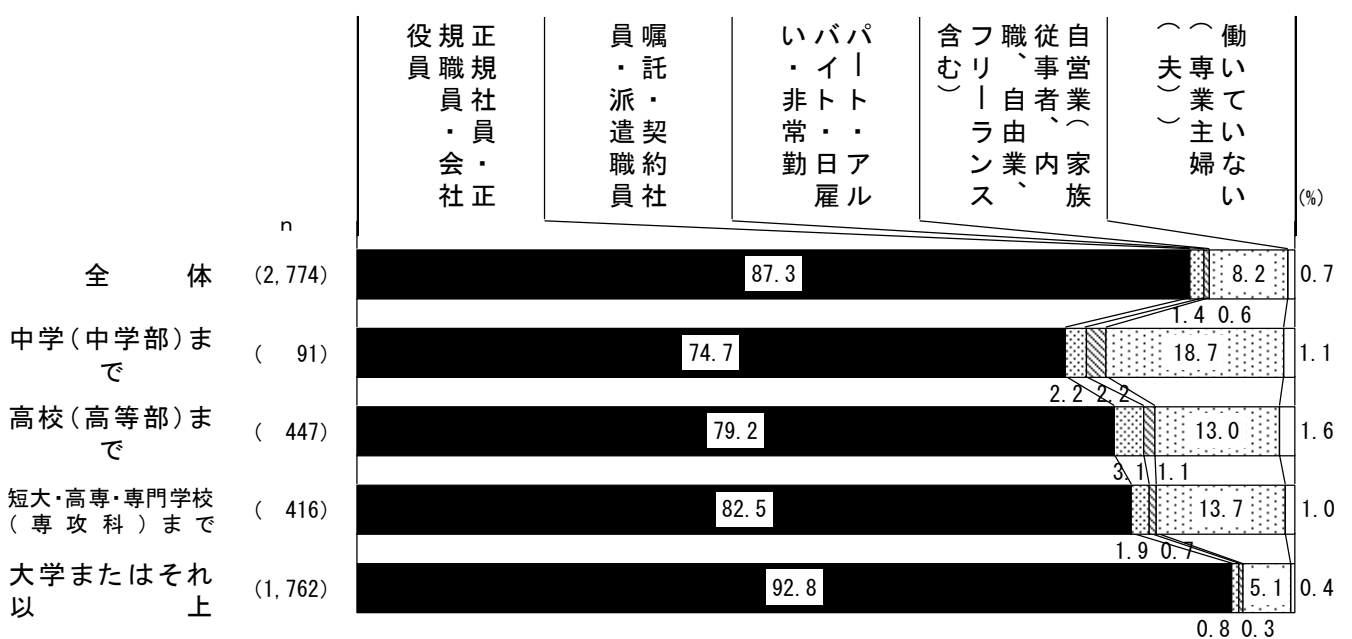
小学2年生のいる世帯の母親の就労状況を最終学歴別にみると、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤」は『中学（中学部）まで』で48.0%と、全体に比べて高くなっている。一方、「正規社員・正規職員・会社役員」は『中学（中学部）まで』で13.3%と、『高校（高等部）まで』で20.2%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

【図表 3-34】母親の就労状況（小学2年生・母親の最終学歴別）



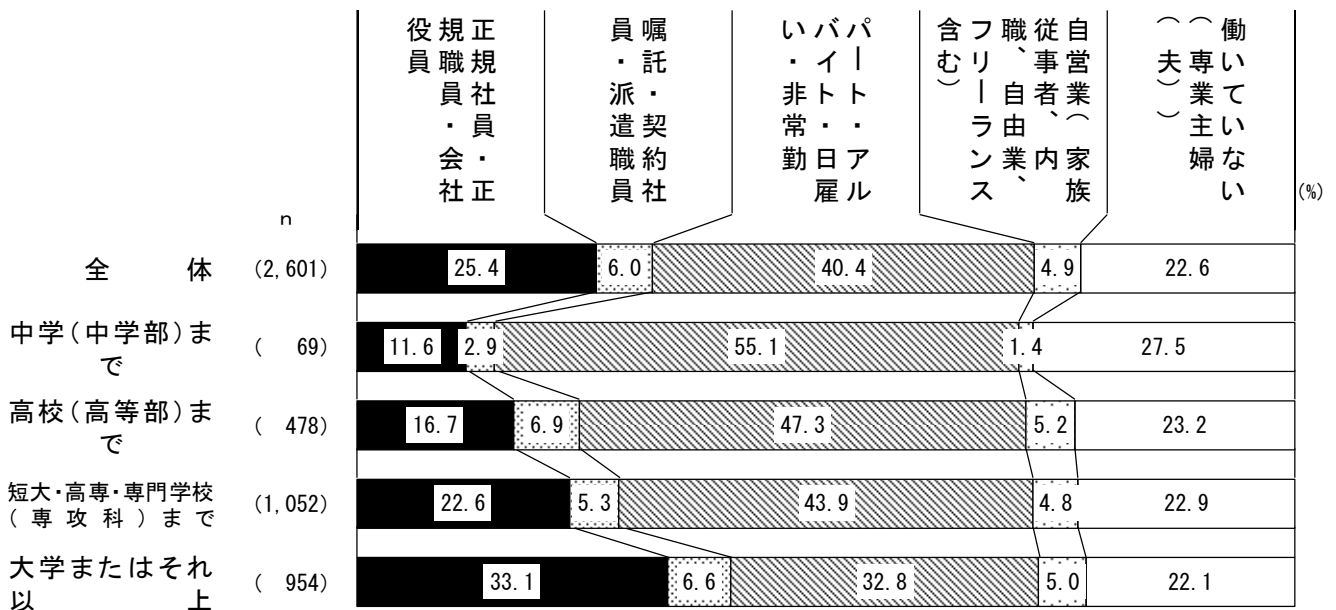
小学2年生のいる世帯の父親の就労状況を最終学歴別にみると、「自営業（家族従事者、内職、自由業、フリーランス含む）」は『中学（中学部）まで』で18.7%と、全体に比べて高くなっている。一方、「正規社員・正規職員・会社役員」は『中学（中学部）まで』で74.7%と、全体に比べて低くなっている。

【図表 3-35】父親の就労状況（小学2年生・父親の最終学歴別）



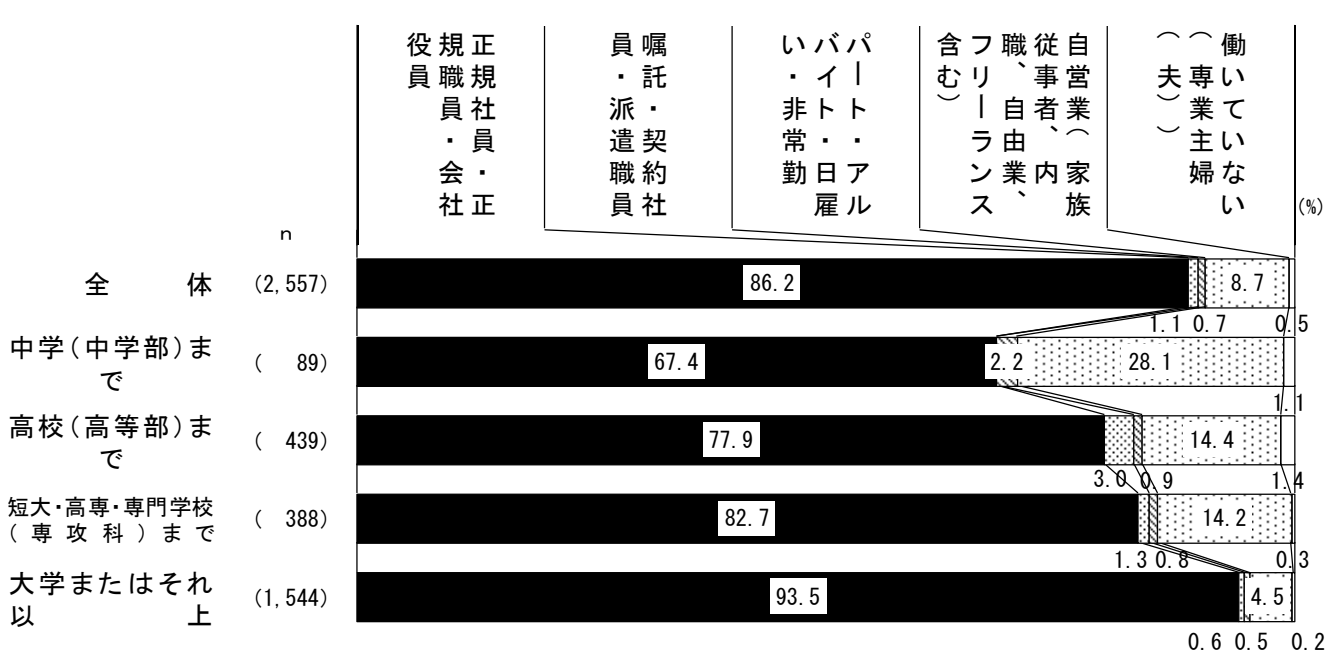
小学5年生のいる世帯の母親の就労状況を最終学歴別にみると、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤」は『中学（中学部）まで』で55.1%と、全体に比べて高くなっている。一方、「正規社員・正規職員・会社役員」は『中学（中学部）まで』で11.6%と、全体に比べて低くなっている。

【図表 3-36】 母親の就労状況（小学5年生・母親の最終学歴別）



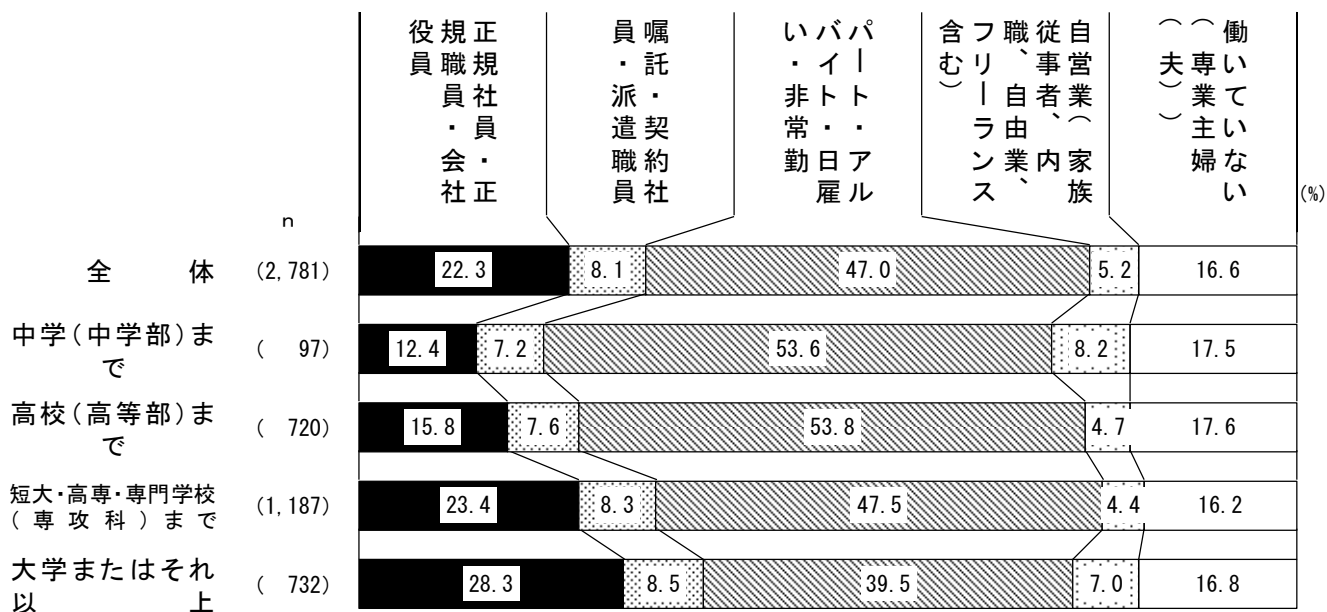
小学5年生のいる世帯の父親の就労状況を最終学歴別にみると、「自営業（家族従事者、内職、自由業、フリーランス含む）」は『中学（中学部）まで』で28.1%と、全体に比べて高くなっている。一方、「正規社員・正規職員・会社役員」は『中学（中学部）まで』で67.4%と、全体に比べて低くなっている。

【図表 3-37】 父親の就労状況（小学5年生・父親の最終学歴別）



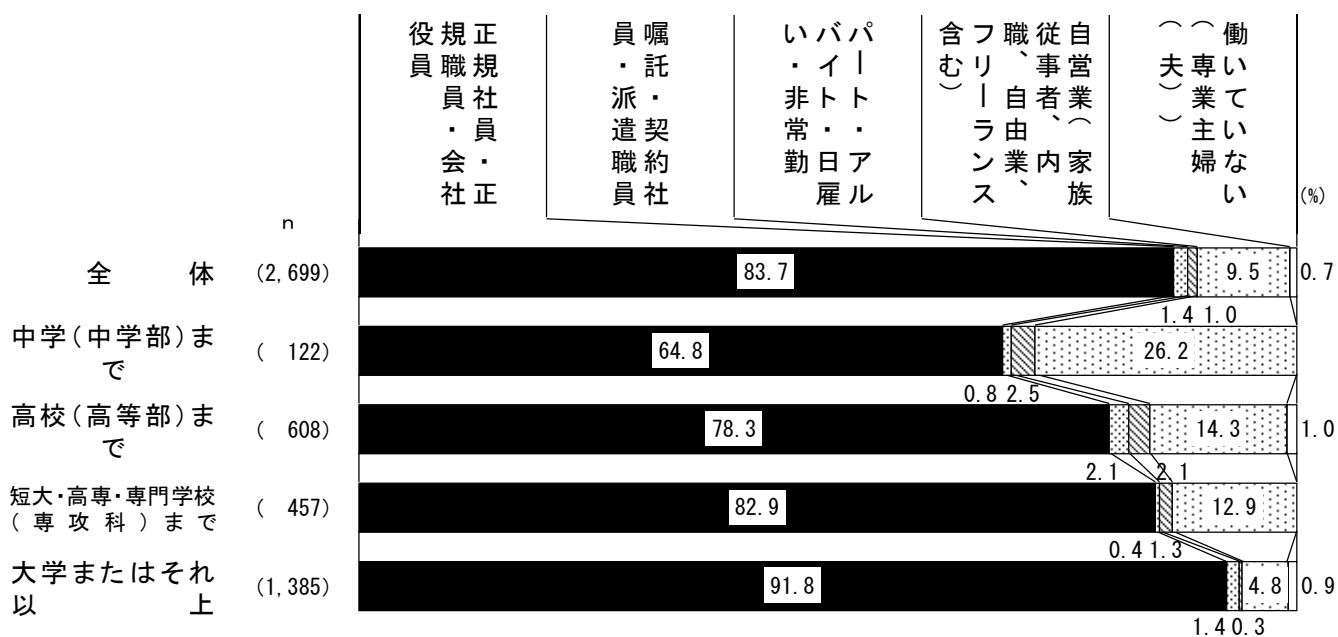
中学2年生のいる世帯の母親の就労状況を最終学歴別にみると、大きな差はみられない。

【図表 3-38】 母親の就労状況（中学2年生・母親の最終学歴別）



中学2年生のいる世帯の父親の就労状況を最終学歴別にみると、「自営業（家族従事者、内職、自由業、フリーランス含む）」は『中学（中学部）まで』で26.2%と、全体に比べて高くなっている。一方、「正規社員・正規職員・会社役員」は『中学（中学部）まで』で64.8%と、全体に比べて低くなっている。

【図表 3-39】 父親の就労状況（中学2年生・父親の最終学歴別）

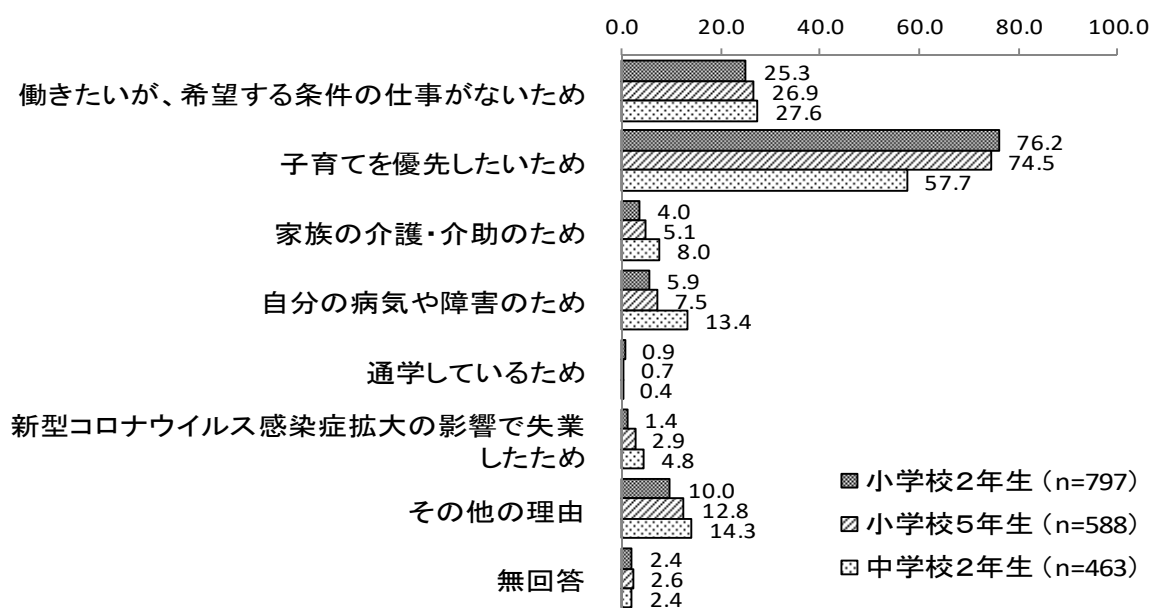


② 働いていない理由【小学・問 34-2、中学・問 32-2】(MA)

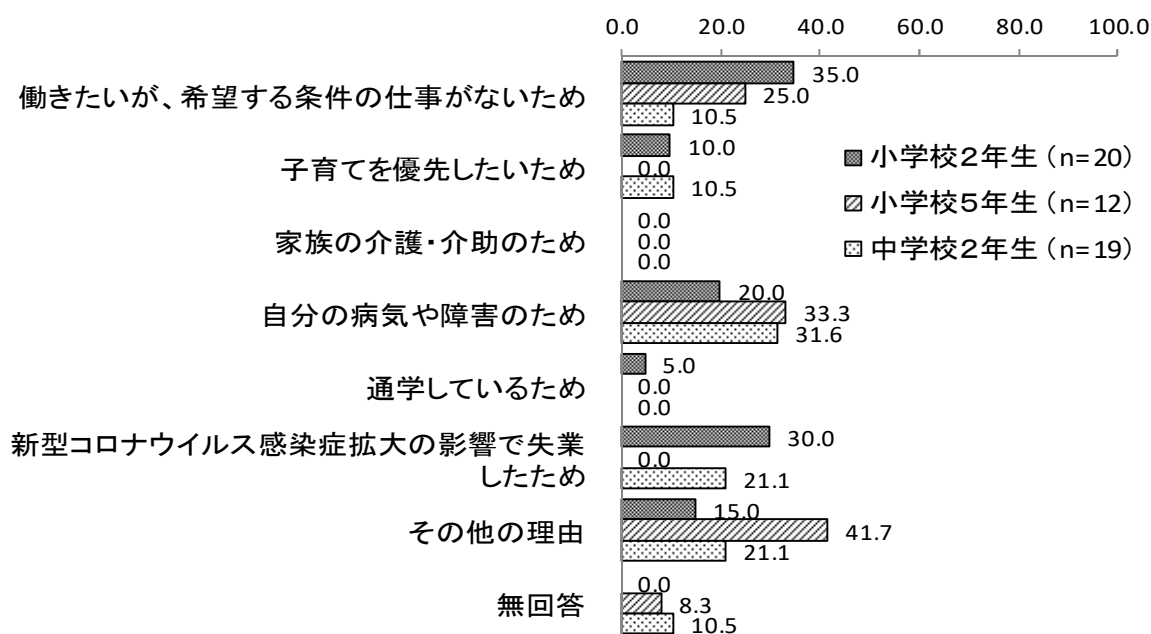
働いていないと回答した方に不労の理由を複数回答で聞いたところ、「母親」ではいずれの学年でも「子育てを優先したいため」(小学2年生：76.2%、小学5年生：74.5%、中学2年生：57.7%)が最も高く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」(小学2年生：25.3%、小学5年生：26.9%、中学2年生：27.6%)、「自分の病気や障害のため」(小学2年生：5.9%、小学5年生：7.5%、中学2年生：13.4%)となっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-40】母親の働いていない理由



【図表 3-41】父親の働いていない理由



## 第2節 経済的困難の状況

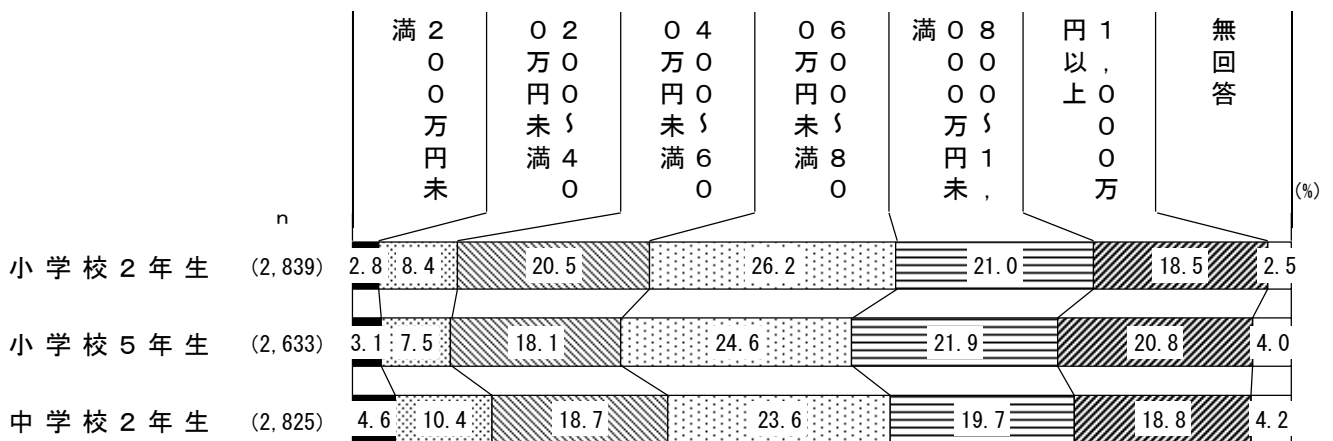
### (1) 世帯の所得状況

#### ① 世帯の年間所得合計額【小学・問35、中学・問33】(SA)

世帯の年間所得合計額を聞いたところ、小学2年生のいる世帯では「600～800万円未満」が26.2%で最も高く、次いで「800～1,000万円未満」が21.0%、「400～600万円未満」が20.5%となっている。

小学5年生のいる世帯、中学2年生のいる世帯では「600～800万円未満」(小学5年生：24.6%、中学2年生：23.6%)が最も高く、次いで「800～1,000万円未満」(小学5年生：21.9%、中学2年生：19.7%)、「1,000万円以上」(小学5年生：20.8%、中学2年生：18.8%)となっている。

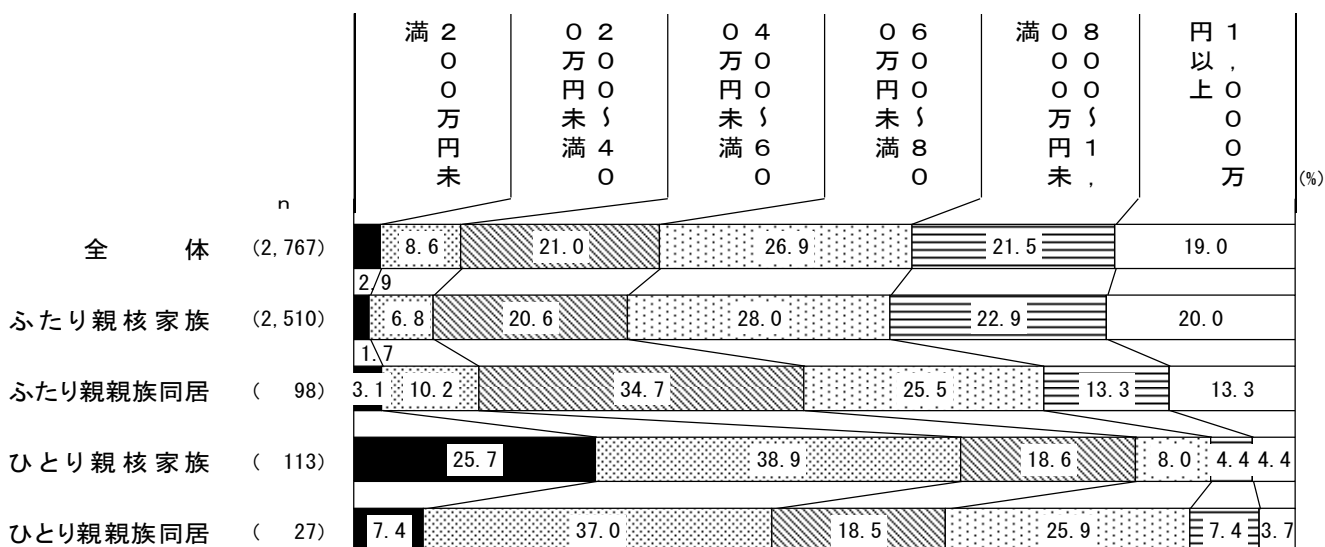
【図表 3-42】世帯の年間所得合計額



小学2年生のいる世帯の年間所得合計額を世帯構成別にみると、「200万円未満」(25.7%)、「200～400万円未満」(38.9%)は『ひとり親核家族』で、それぞれ全体に比べて高くなっている。一方、「800～1,000万円未満」は『ひとり親核家族』で4.4%と、「1,000万円以上」は『ひとり親核家族』で4.4%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

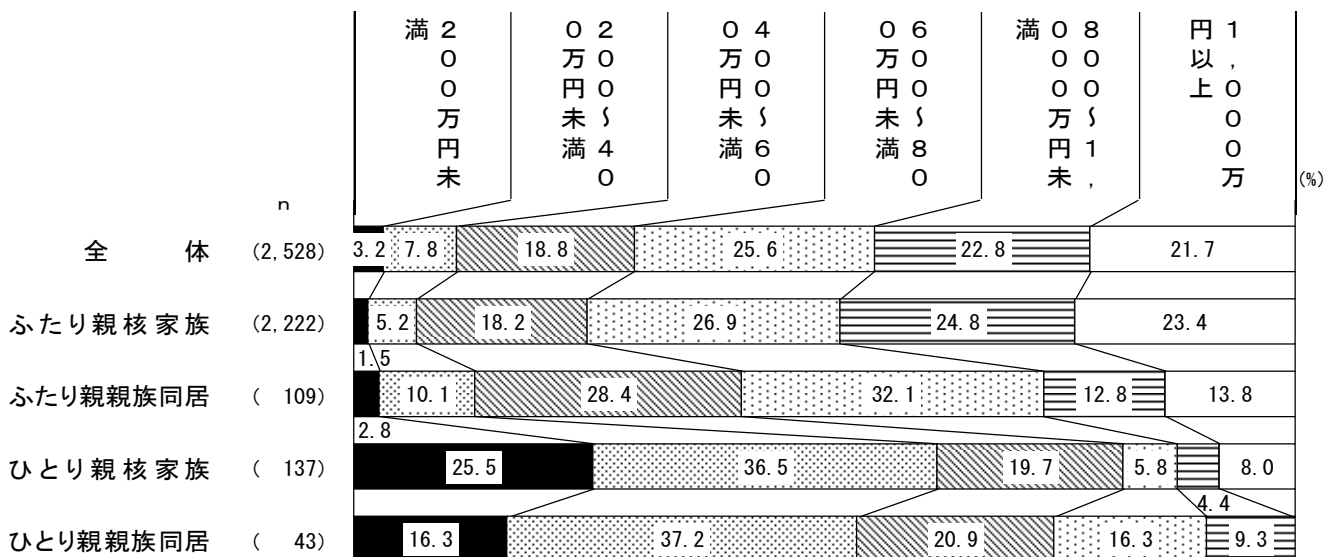
【図表 3-43】世帯の年間所得合計額（小学2年生・世帯構成別）



小学5年生のいる世帯の年間所得合計額を世帯構成別にみると、「200万円未満」(ひとり親核家族：25.5%、ひとり親親族同居：16.3%)、「200～400万円未満」(ひとり親核家族：36.5%、ひとり親親族同居：37.2%)は『ひとり親核家族』、『ひとり親親族同居』で、それぞれ全体に比べて高くなっている。一方、「600～800万円未満」は『ひとり親核家族』で5.8%と、「800～1,000万円未満」は『ふたり親親族同居』で12.8%と、『ひとり親核家族』で4.4%と、『ひとり親親族同居』で9.3%と、「1,000万円以上」は『ひとり親核家族』で8.0%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-44】世帯の年間所得合計額（小学5年生・世帯構成別）

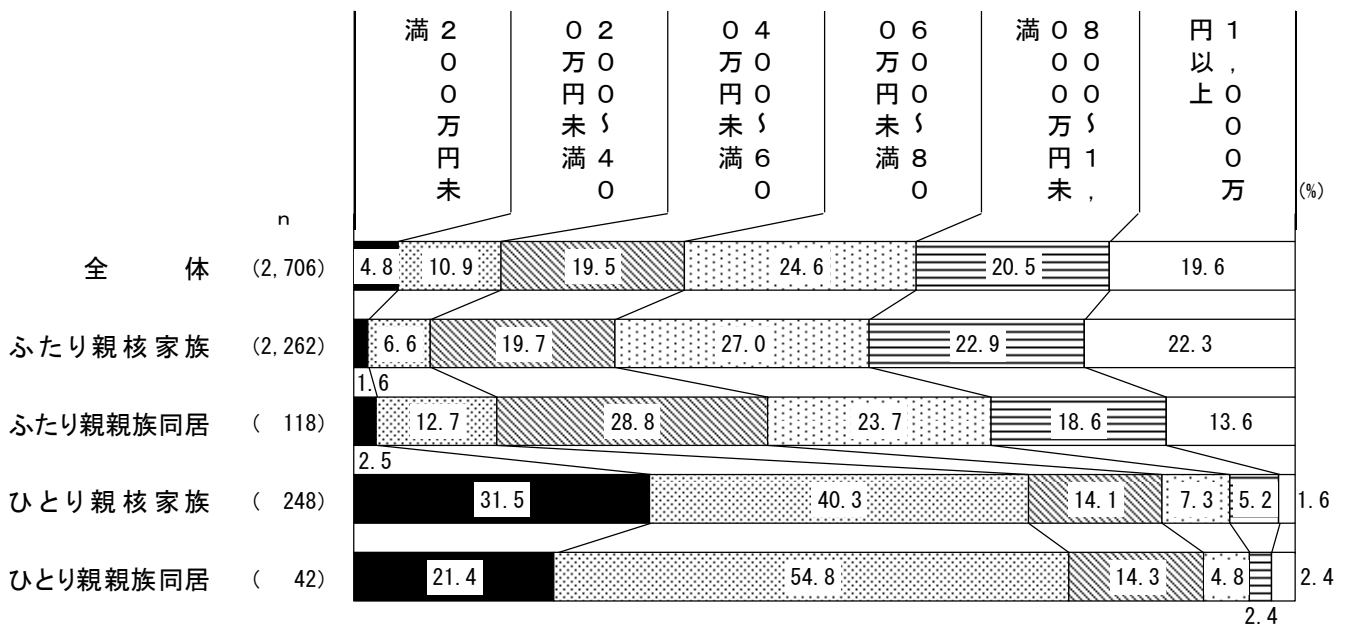




中学2年生のいる世帯の年間所得合計額を世帯構成別にみると、「200万円未満」（ひとり親核家族：31.5%、ひとり親親族同居：21.4%）、「200～400万円未満」（ひとり親核家族：40.3%、ひとり親親族同居：54.8%）は『ひとり親核家族』、『ひとり親親族同居』で、それぞれ全体に比べて高くなっている。一方、「600～800万円未満」は『ひとり親核家族』で7.3%と、『ひとり親親族同居』で4.8%と、「800～1,000万円未満」は『ひとり親核家族』で5.2%と、『ひとり親親族同居』で2.4%と、「1,000万円以上」は『ひとり親核家族』で1.6%と、『ひとり親親族同居』で2.4%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-45】世帯の年間所得合計額（中学2年生・世帯構成別）



② 所得分類【小学・問 35、中学・問 33】(SA)

【所得分類の考え方】

本報告書では、世帯の年間所得合計額（いわゆる可処分所得<sup>1</sup>）について、平成 30 年度国民生活基礎調査による等価可処分所得<sup>2</sup>の中央値（254 万円）及び貧困線<sup>3</sup>（127 万円）を基準に、貧困線未満の等価可処分所得の世帯を「分類Ⅰ」、貧困線以上等価可処分所得の中央値未満の世帯を「分類Ⅱ」、中央値以上の等価可処分所得の世帯を「分類Ⅲ」の 3 つの区分に分類した。

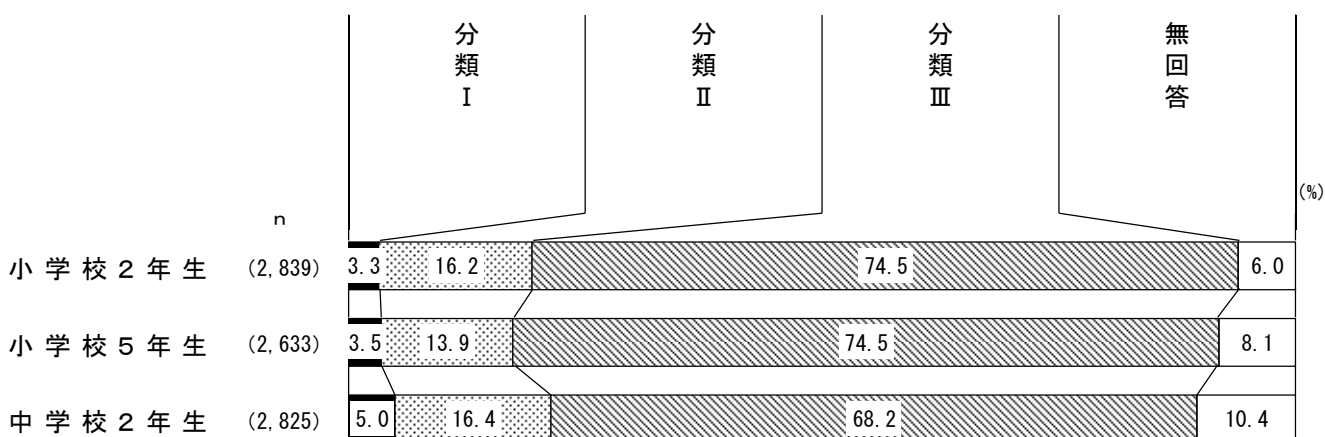
なお、本調査における等価可処分所得の算出にあたっては、選択肢の金額に幅があるため、選択肢の中央値を平均値とし、1,000 万円以上と回答したものは一律「1,000 万円」として計算した<sup>4</sup>。（例えば、世帯人員が 4 人で、本調査で回答した年間所得合計額が「500 万円～550 万円未満」の場合、等価可処分所得は「262.5 万円」であり、「分類Ⅲ」に該当する。）

●平成 30 年度国民生活基礎調査に基づいた所得分類

分類Ⅰ (貧困線未満)	分類Ⅱ (貧困線以上中央値未満)	分類Ⅲ (中央値以上)
127 万円未満	127 万円以上 254 万円未満	254 万円以上

所得分類をみると、いずれの学年でも『分類Ⅲ』（小学 2 年生：74.5%、小学 5 年生：74.5%、中学 2 年生：68.2%）が最も高く、次いで『分類Ⅱ』（小学 2 年生：16.2%、小学 5 年生：13.9%、中学 2 年生：16.4%）、『分類Ⅰ』（小学 2 年生：3.3%、小学 5 年生：3.5%、中学 2 年生：5.0%）となっている。

【図表 3-46】所得分類

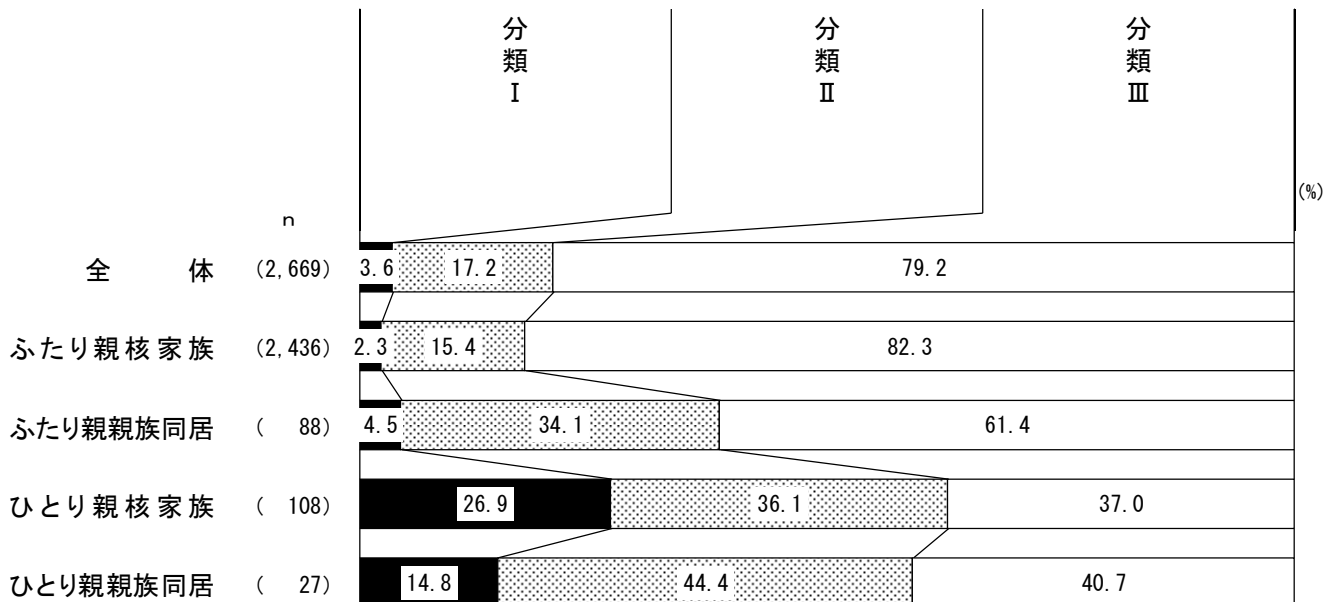


<sup>1</sup> 可処分所得とは、収入から税金・社会保険料等を差し引き、手当等を加えた、いわゆる手取り収入をいう。  
<sup>2</sup> 等価可処分所得とは、世帯の可処分所得を世帯人員の平方根で割って調整した所得をいう。  
<sup>3</sup> 国民生活基礎調査による貧困線とは、等価可処分所得の中央値の半分の額をいう。貧困線の算出方法は、OECD（経済協力開発機構）の作成基準に基づいている。なお、貧困線を下回る等価可処分所得に該当する者の割合を相対的貧困率という。  
<sup>4</sup> 本調査では、アンケート調査票で世帯全体の手取り収入額について、21 の選択肢（「50 万円未満」から「1,000 万円以上」まで。選択肢の幅は 50 万円単位）を設定し、いずれに該当するかを回答していただいた。設問については、内閣府「令和元年度子供の貧困実態調査に関する研究報告書」記載の共通調査項目である。

小学2年生のいる世帯の所得分類を世帯構成別にみると、『分類Ⅰ』は『ひとり親核家族』で26.9%、『分類Ⅱ』は『ひとり親核家族』で36.1%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。一方、『分類Ⅲ』は『ひとり親核家族』で37.0%と、全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

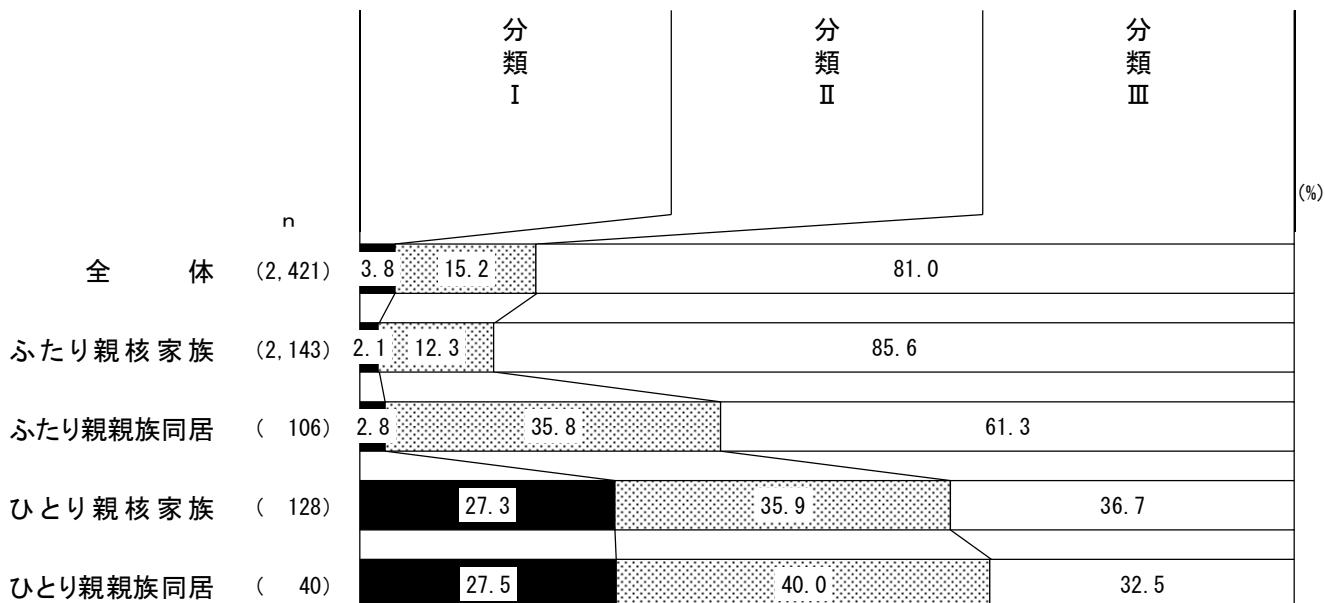
【図表 3-47】 所得分類（小学2年生・世帯構成別）



小学5年生のいる世帯の所得分類を世帯構成別にみると、『分類Ⅰ』は『ひとり親核家族』(27.3%)、『ひとり親親族同居』(27.5%)で、『分類Ⅱ』は『ふたり親親族同居』(35.8%)、『ひとり親核家族』(35.9%)、『ひとり親親族同居』(40.0%)で、それぞれ全体に比べて高くなっている。一方、『分類Ⅲ』は『ひとり親核家族』で36.7%と、『ひとり親親族同居』で32.5%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

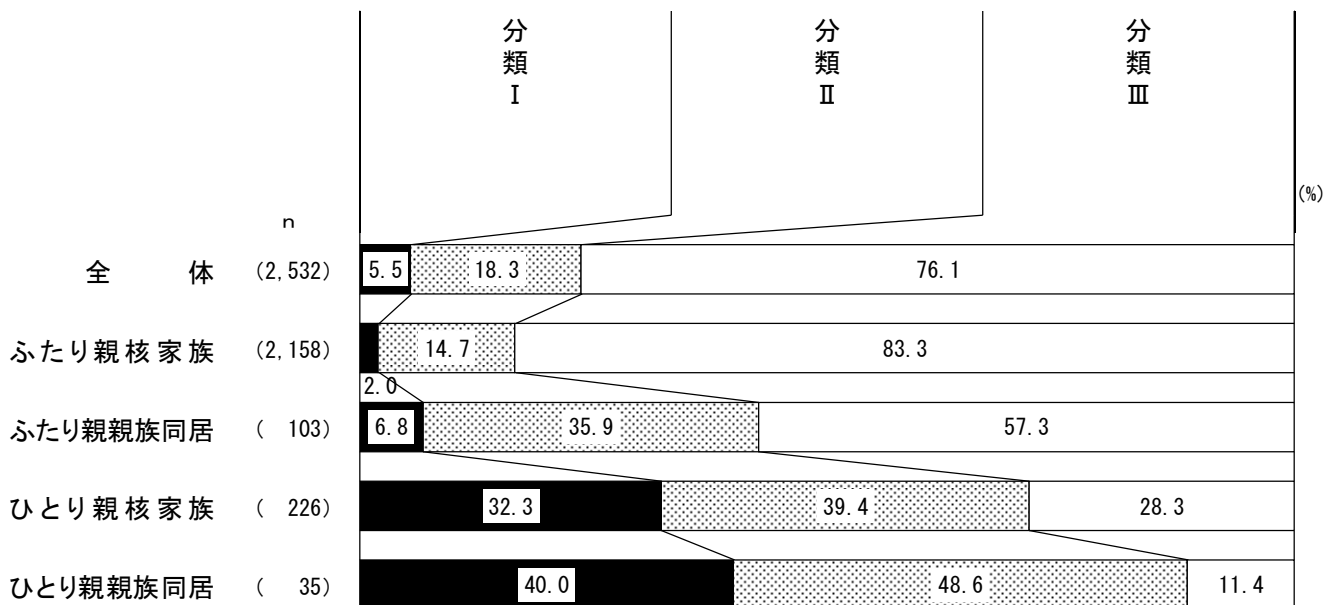
【図表 3-48】 所得分類（小学5年生・世帯構成別）



中学2年生のいる世帯の所得分類を世帯構成別にみると、『分類Ⅰ』は『ひとり親核家族』(32.3%)、『ひとり親親族同居』(40.0%)で、『分類Ⅱ』は『ふたり親親族同居』(35.9%)、『ひとり親核家族』(39.4%)、『ひとり親親族同居』(48.6%)で、それぞれ全体に比べて高くなっている。一方、『分類Ⅲ』は『ふたり親親族同居』で57.3%と、『ひとり親核家族』で28.3%と、『ひとり親親族同居』で11.4%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-49】 所得分類（中学2年生・世帯構成別）



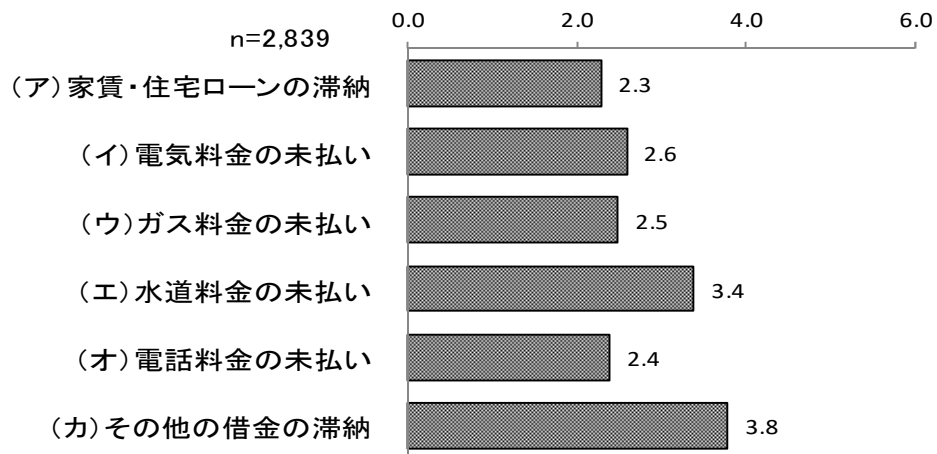
(2) 世帯の家計状況

ア 公共料金等の未払いの経験【小学・問37、中学・問35】(SA)

①-1 電気・ガス・水道等の未払いの有無(小学2年生)

小学2年生のいる世帯に電気・ガス・水道等の未払いの有無を聞いたところ、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた『一度でもあった』は、「その他借金の滞納」が3.8%と最も高くなっている。

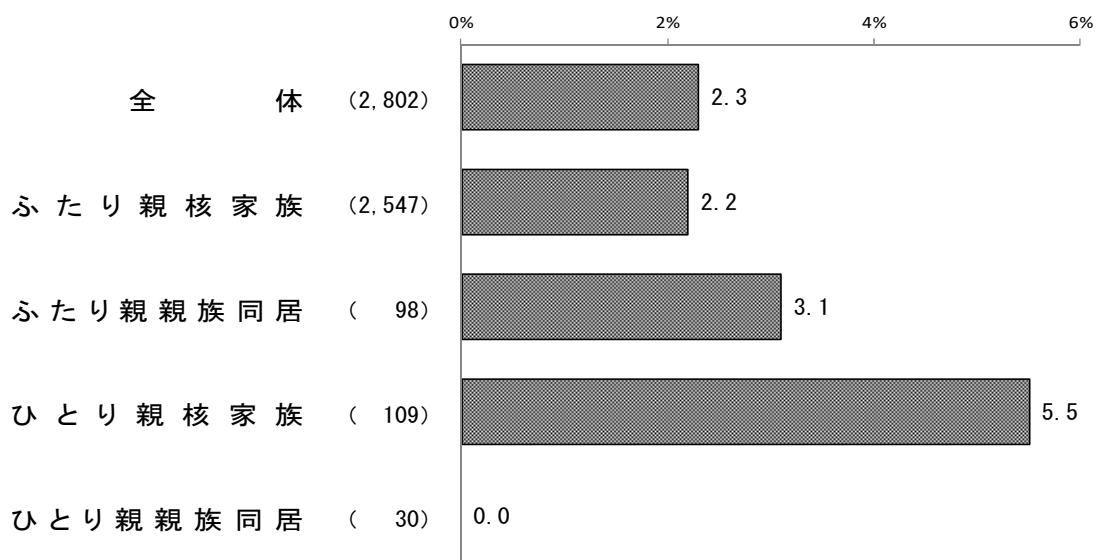
【図表 3-50】電気・ガス・水道等の未払いの有無(小学2年生)



小学2年生のいる世帯の家賃・住宅ローンの未払いの有無を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

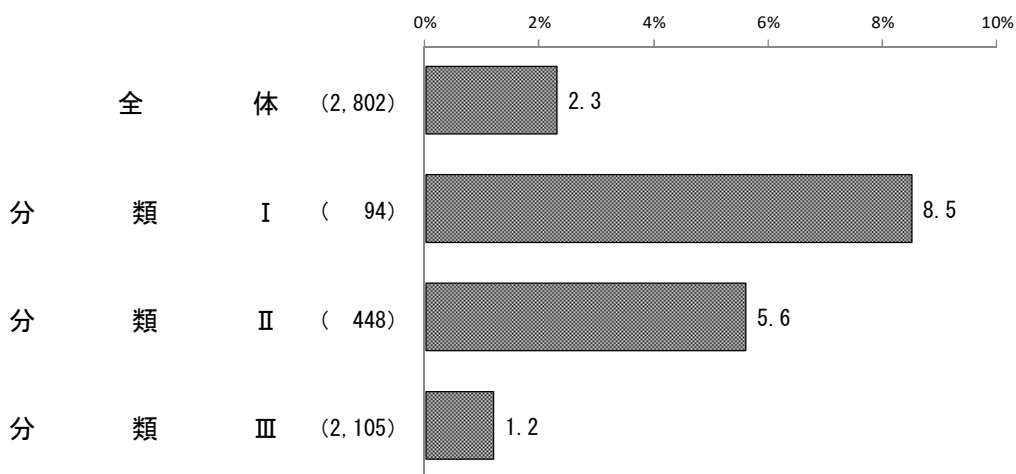
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-51】家賃・住宅ローンの未払いの有無(小学2年生・世帯構成別)



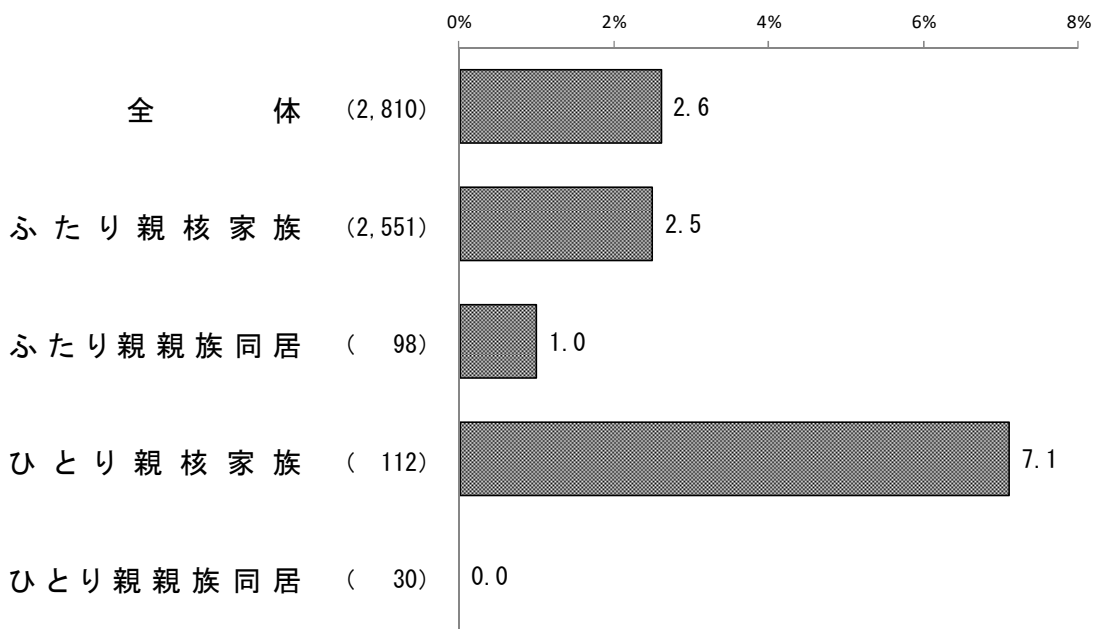
小学2年生のいる世帯の家賃・住宅ローンの未払いの有無を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』(8.5%)、『分類Ⅱ』(5.6%)、『分類Ⅲ』(1.2%)の順に高くなっている。

【図表 3-52】家賃・住宅ローンの未払いの有無（小学2年生・所得分類別）



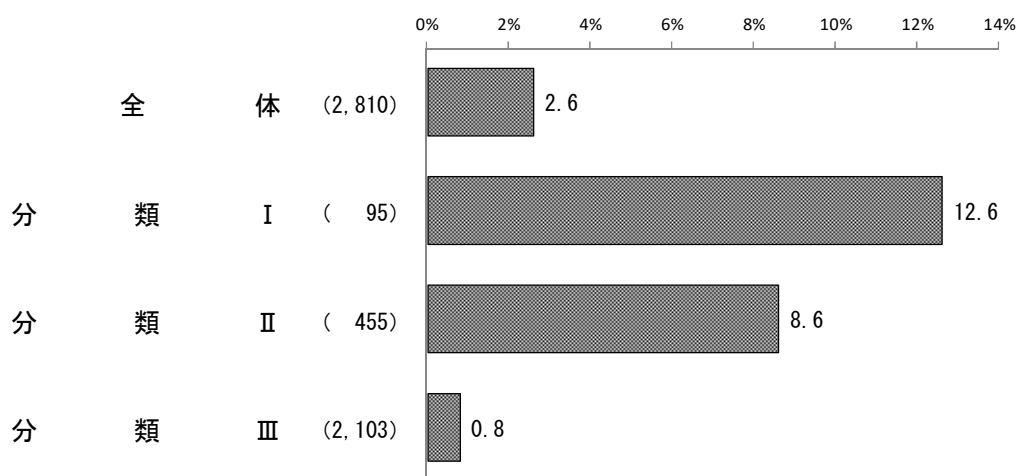
小学2年生のいる世帯の電気料金の未払いの有無を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-53】電気料金の未払いの有無（小学2年生・世帯構成別）



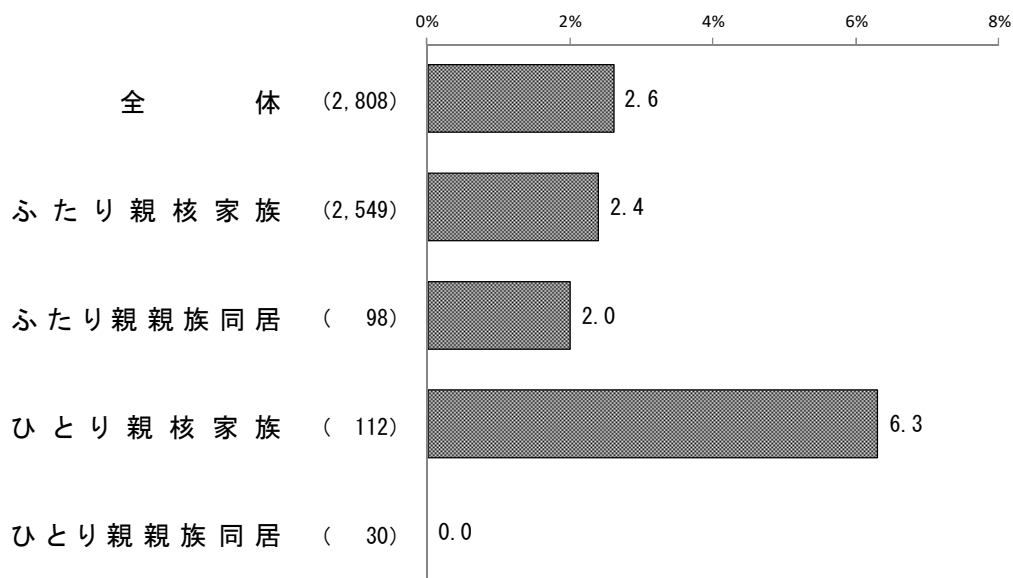
小学2年生のいる世帯の電気料金の未払いの有無を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』（12.6%）、『分類Ⅱ』（8.6%）、『分類Ⅲ』（0.8%）の順に高くなっている。

【図表 3-54】電気料金の未払いの有無（小学2年生・所得分類別）



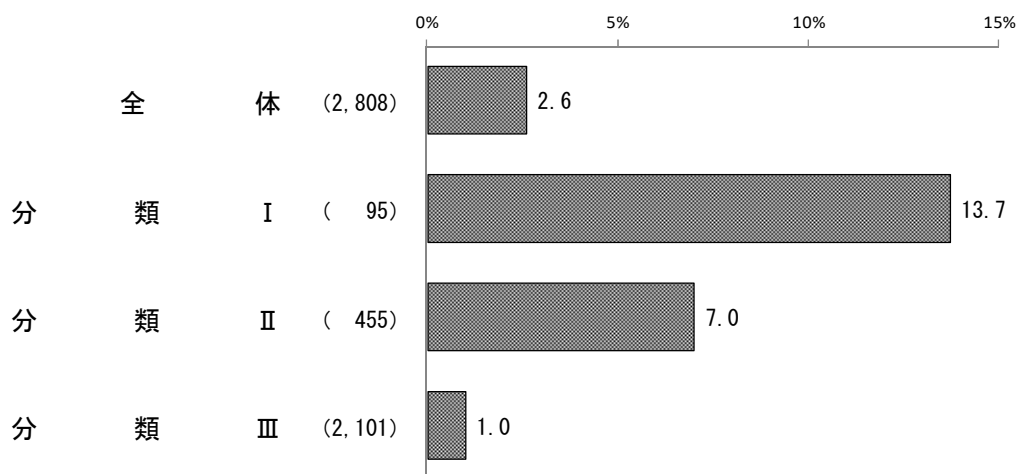
小学2年生のいる世帯のガス料金の未払いの有無を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-55】ガス料金の未払いの有無（小学2年生・世帯構成別）



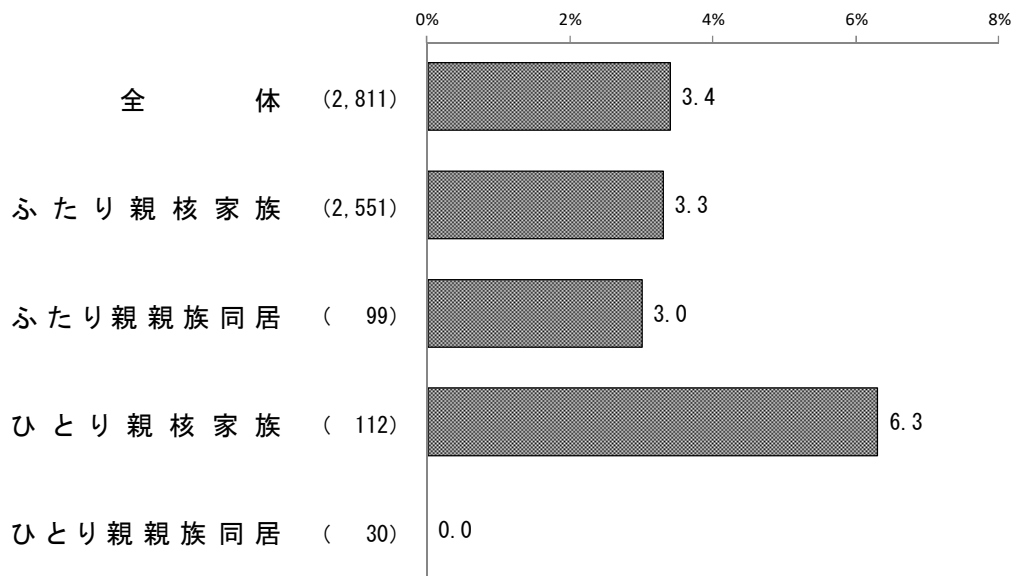
小学2年生のいる世帯のガス料金の未払いの有無を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』（13.7%）、『分類Ⅱ』（7.0%）、『分類Ⅲ』（1.0%）の順に高くなっている。

【図表 3-56】ガス料金の未払いの有無（小学2年生・所得分類別）



小学2年生のいる世帯の水道料金の未払いの有無を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

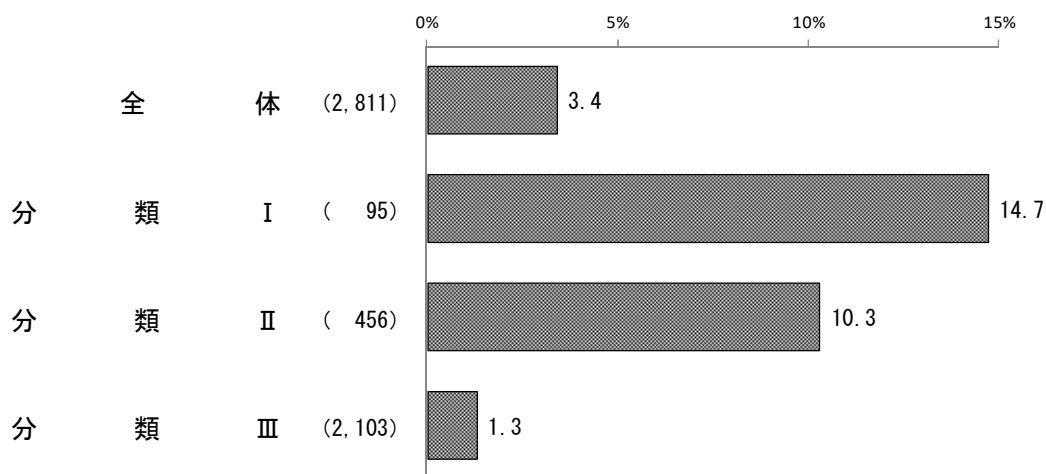
【図表 3-57】水道料金の未払いの有無（小学2年生・世帯構成別）





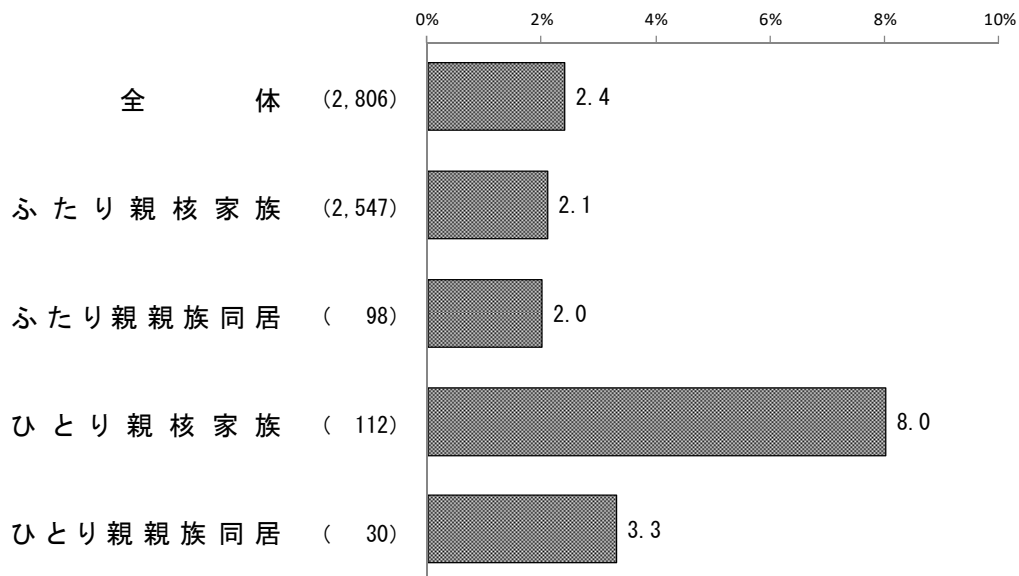
小学2年生のいる世帯の水道料金の未払いの有無を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』（14.7%）、『分類Ⅱ』（10.3%）、『分類Ⅲ』（1.3%）の順に高くなっている。

【図表 3-58】水道料金の未払いの有無（小学2年生・所得分類別）



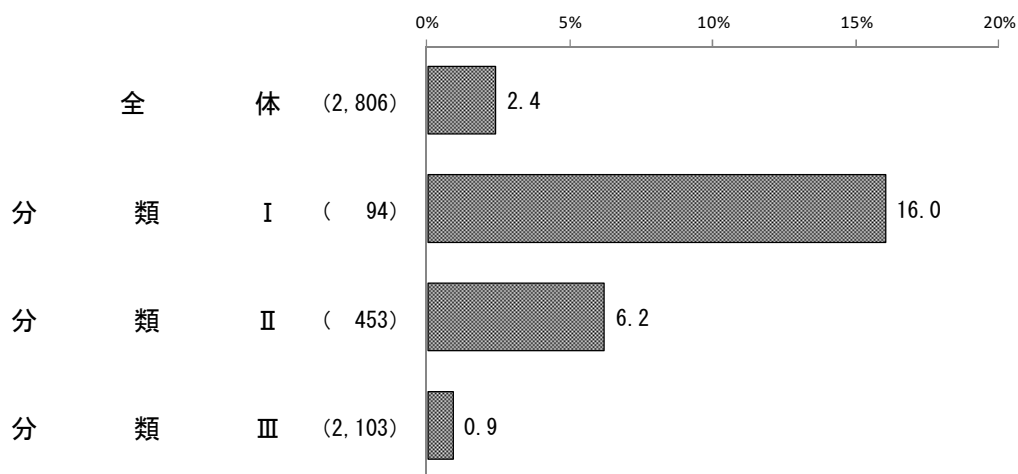
小学2年生のいる世帯の電話料金の未払いの有無を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-59】電話料金の未払いの有無（小学2年生・世帯構成別）



小学2年生のいる世帯の電話料金の未払いの有無を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』（16.0%）、『分類Ⅱ』（6.2%）、『分類Ⅲ』（0.9%）の順に高くなっている。

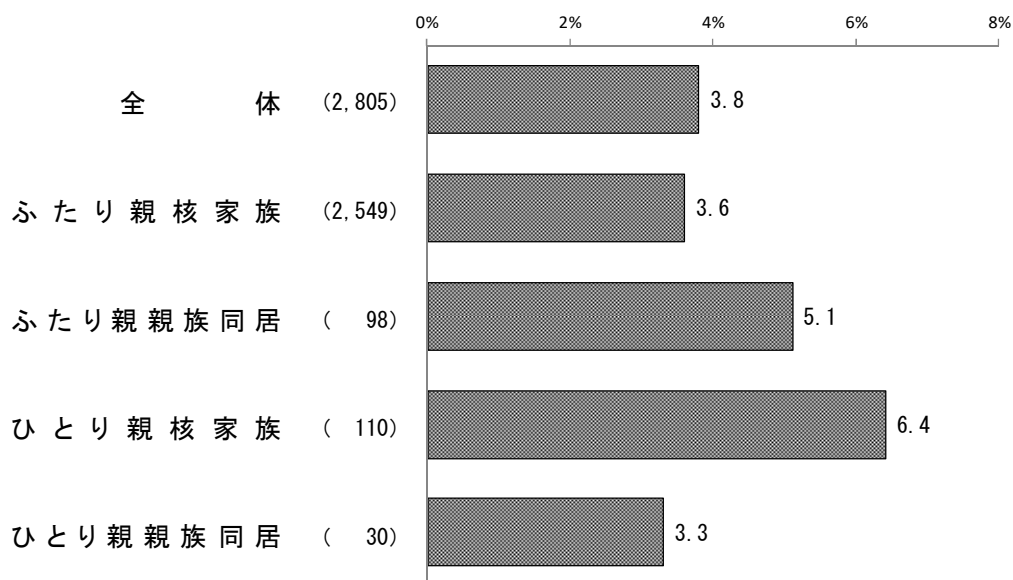
【図表 3-60】電話料金の未払いの有無（小学2年生・所得分類別）



小学2年生のいる世帯のその他の借金の未払いの有無を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

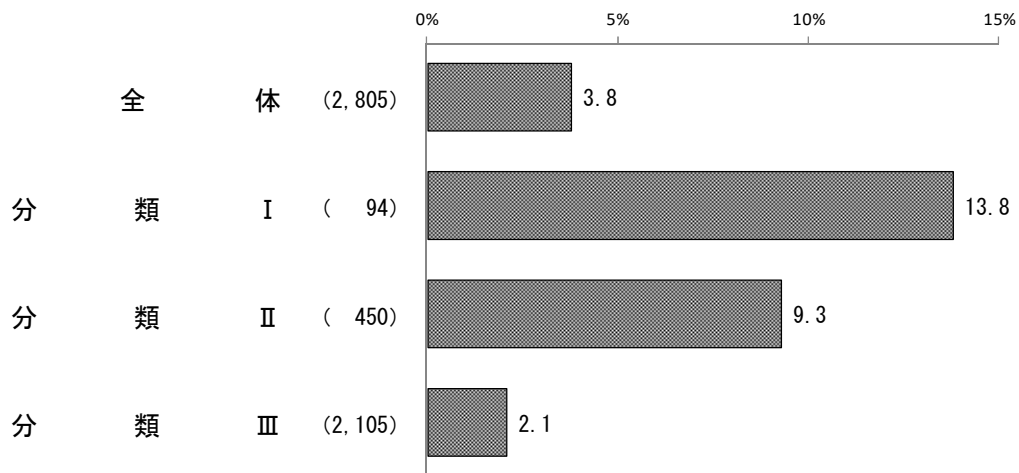
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-61】その他の借金の未払いの有無（小学2年生・世帯構成別）



小学2年生のいる世帯のその他の借金の未払いの有無を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』（13.8%）、『分類Ⅱ』（9.3%）、『分類Ⅲ』（2.1%）の順に高くなっている。

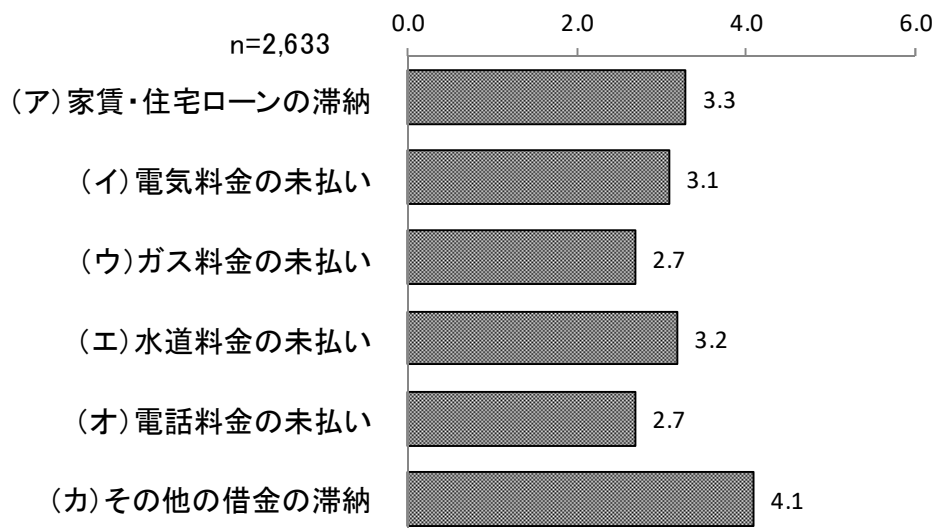
【図表 3-62】 その他の借金の未払いの有無（小学2年生・所得分類別）



①-2 電気・ガス・水道等の未払いの有無（小学5年生）

小学5年生のいる世帯に電気・ガス・水道等の未払いの有無を聞いたところ、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた『一度でもあった』は、「その他借金の滞納」が4.1%と最も高くなっている。

【図表 3-63】 電気・ガス・水道等の未払いの有無（小学5年生）

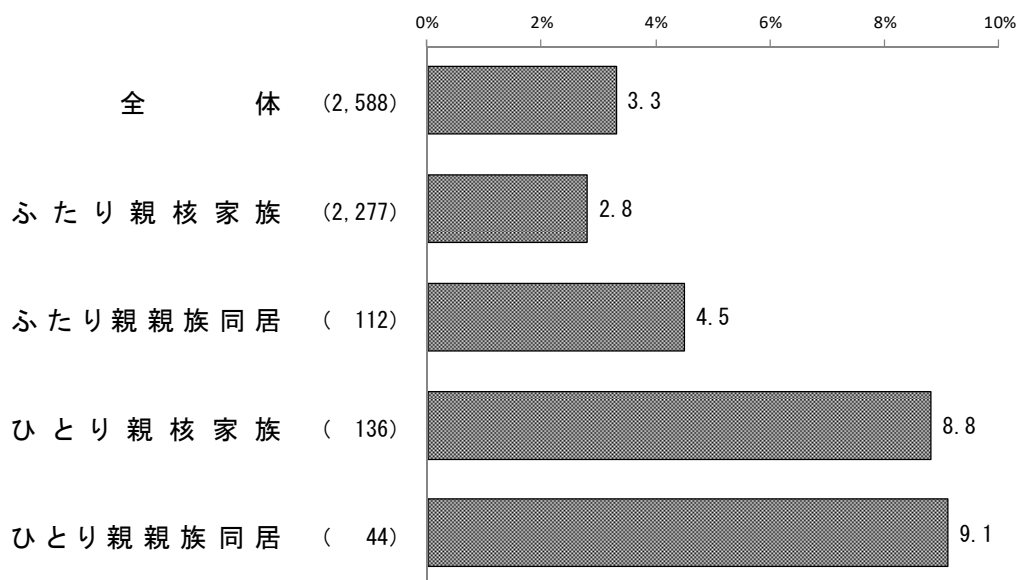


## ①-2 電気・ガス・水道等の未払いの有無（小学5年生）

小学5年生のいる世帯の家賃・住宅ローンの未払いの有無を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

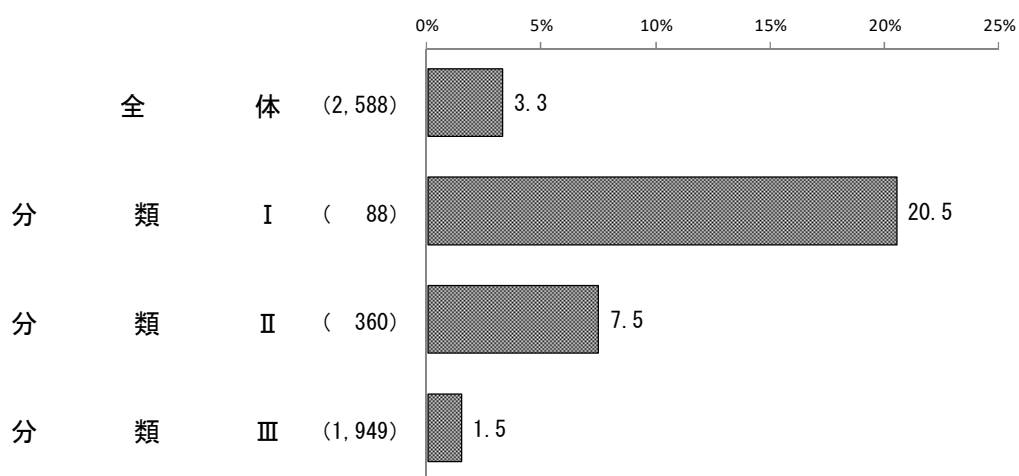
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-64】家賃・住宅ローンの未払いの有無（小学5年生・世帯構成別）



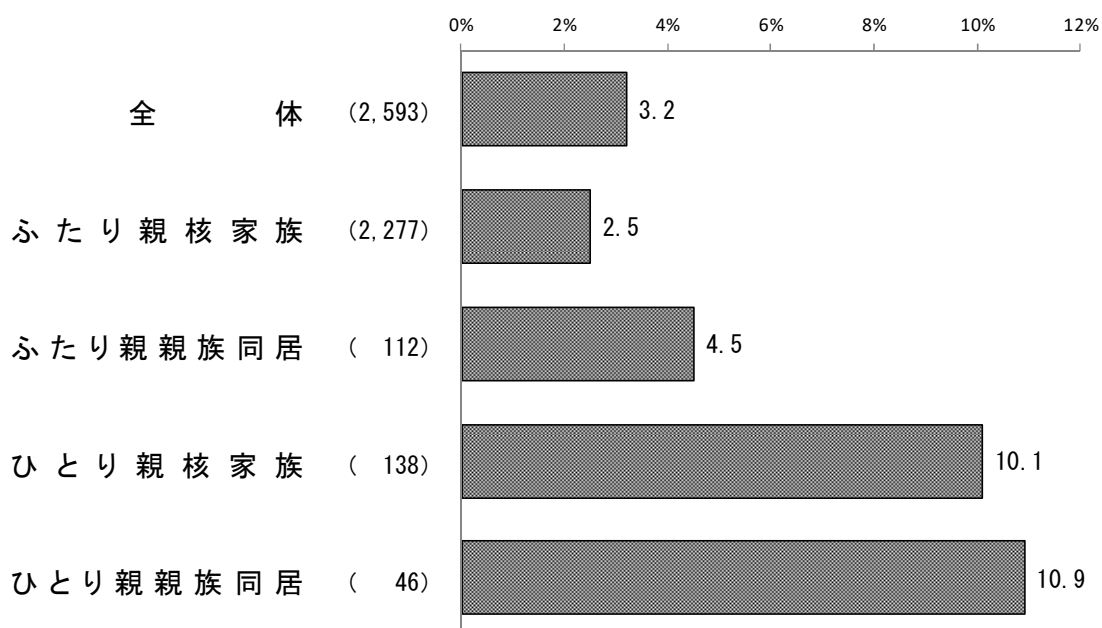
小学5年生のいる世帯の家賃・住宅ローンの未払いの有無を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』（20.5%）、『分類Ⅱ』（7.5%）、『分類Ⅲ』（1.5%）の順に高くなっている。

【図表 3-65】家賃・住宅ローンの未払いの有無（小学5年生・所得分類別）



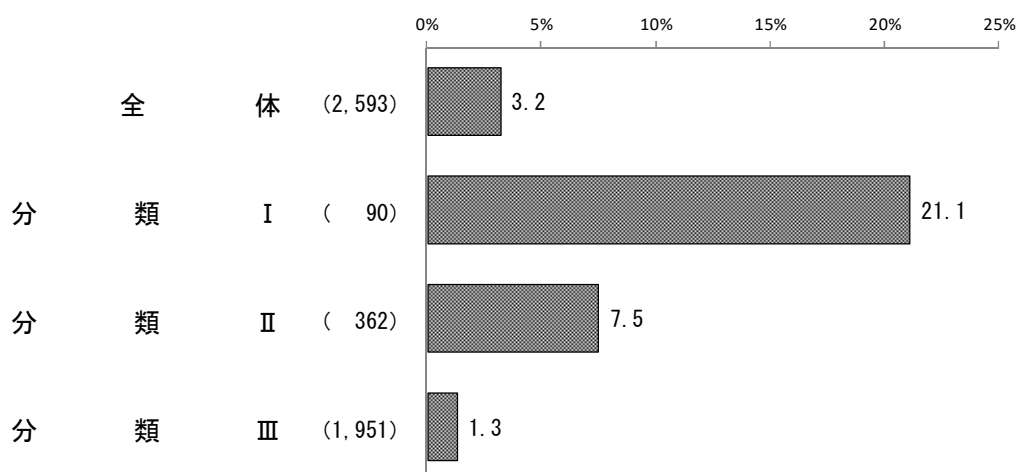
小学5年生のいる世帯の電気料金の未払いの有無を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-66】電気料金の未払いの有無（小学5年生・世帯構成別）



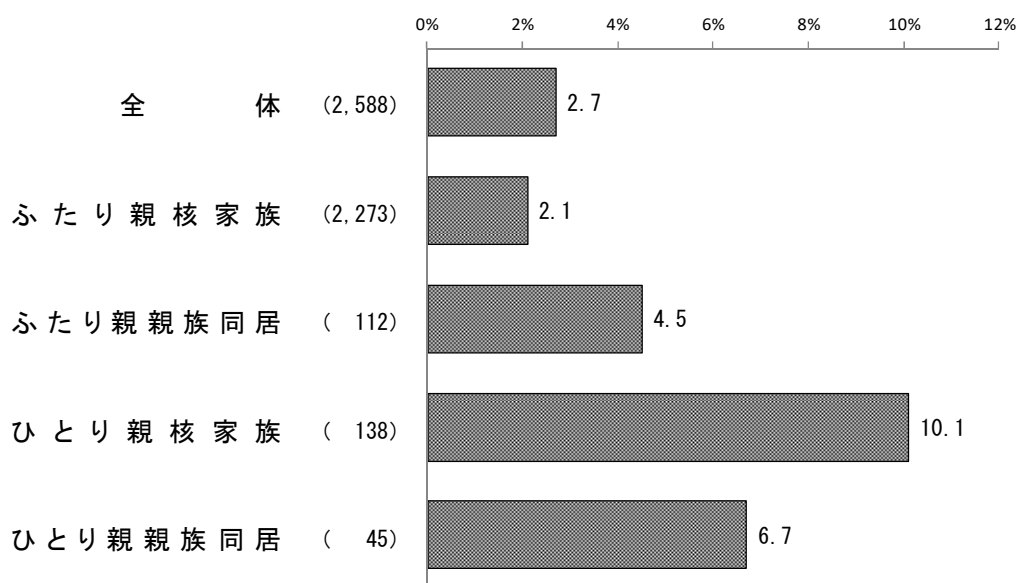
小学5年生のいる世帯の電気料金の未払いの有無を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』（21.1%）、『分類Ⅱ』（7.5%）、『分類Ⅲ』（1.3%）の順に高くなっている。

【図表 3-67】電気料金の未払いの有無（小学5年生・所得分類別）



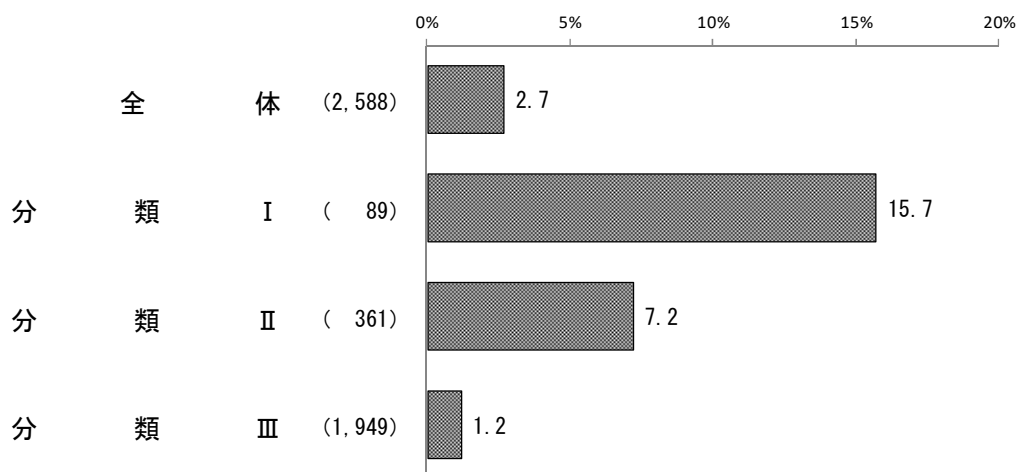
小学5年生のいる世帯のガス料金の未払いの有無を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-68】 ガス料金の未払いの有無（小学5年生・世帯構成別）



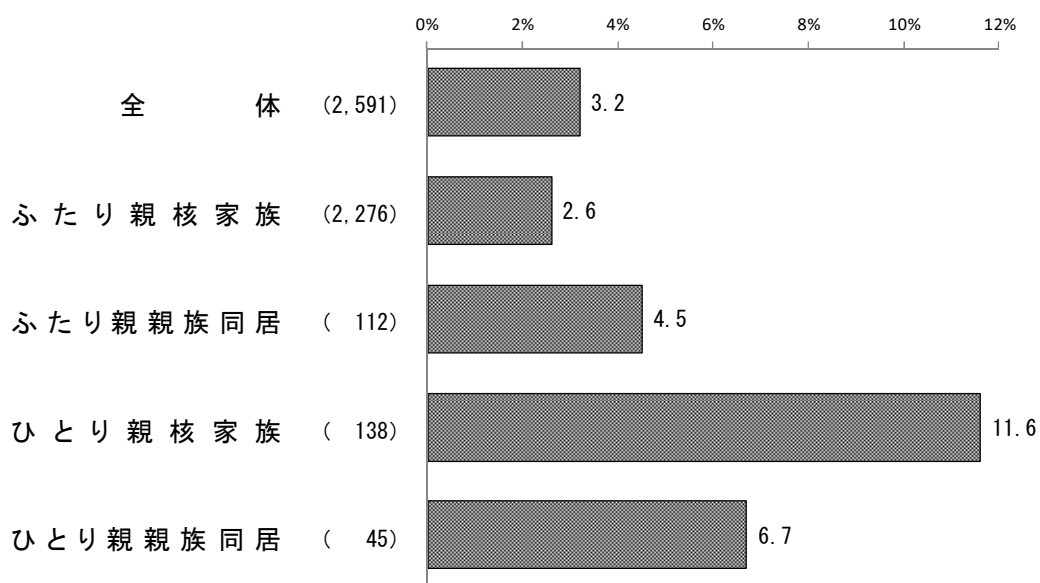
小学5年生のいる世帯のガス料金の未払いの有無を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』（15.7%）、『分類Ⅱ』（7.2%）、『分類Ⅲ』（1.2%）の順に高くなっている。

【図表 3-69】 ガス料金の未払いの有無（小学5年生・所得分類別）



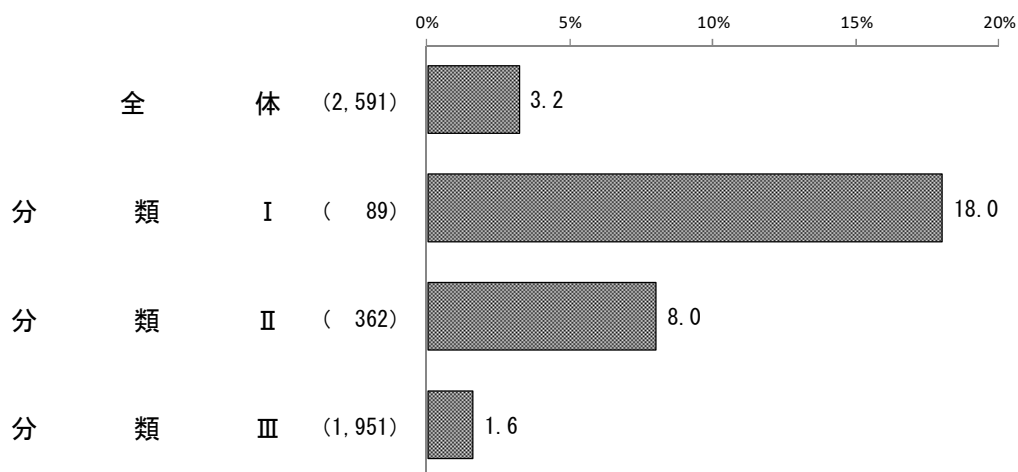
小学5年生のいる世帯の水道料金の未払いの有無を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-70】水道料金の未払いの有無（小学5年生・世帯構成別）



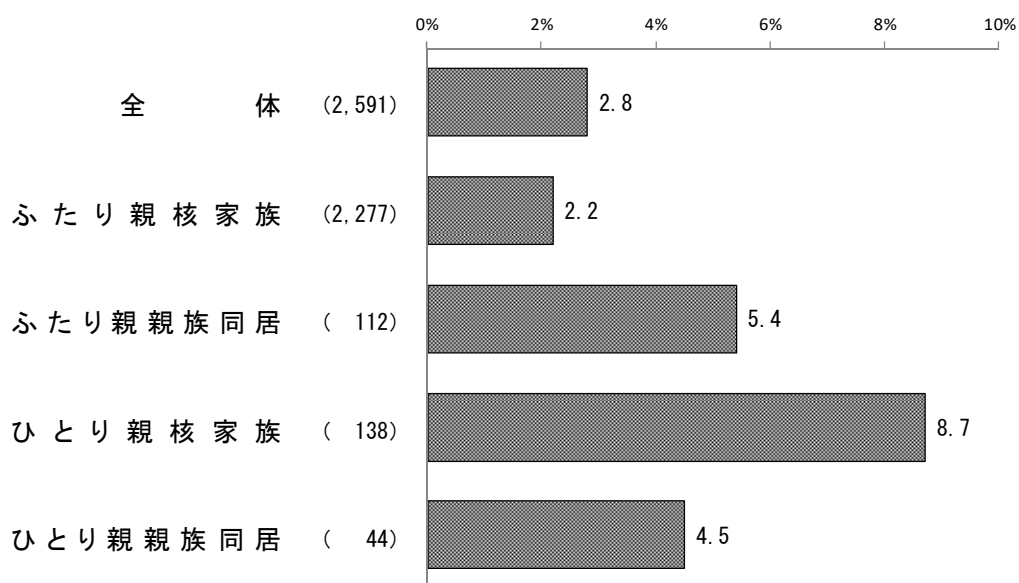
小学5年生のいる世帯の水道料金の未払いの有無を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』（18.0%）、『分類Ⅱ』（8.0%）、『分類Ⅲ』（1.6%）の順に高くなっている。

【図表 3-71】水道料金の未払いの有無（小学5年生・所得分類別）



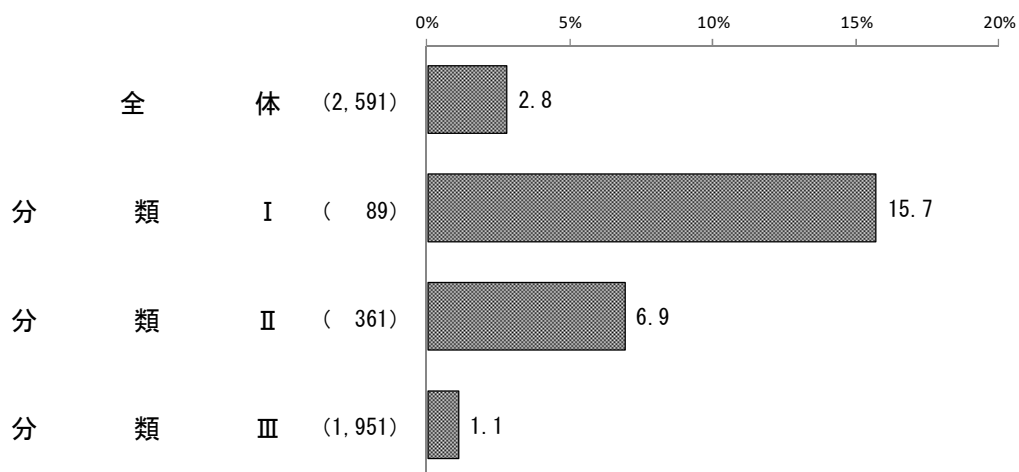
小学5年生のいる世帯の電話料金の未払いの有無を世帯構成別にみると大きな差はみられない。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-72】電話料金の未払いの有無（小学5年生・世帯構成別）



小学5年生のいる世帯の電話料金の未払いの有無を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』（15.7%）、『分類Ⅱ』（6.9%）、『分類Ⅲ』（1.1%）の順に高くなっている。

【図表 3-73】電話料金の未払いの有無（小学5年生・所得分類別）

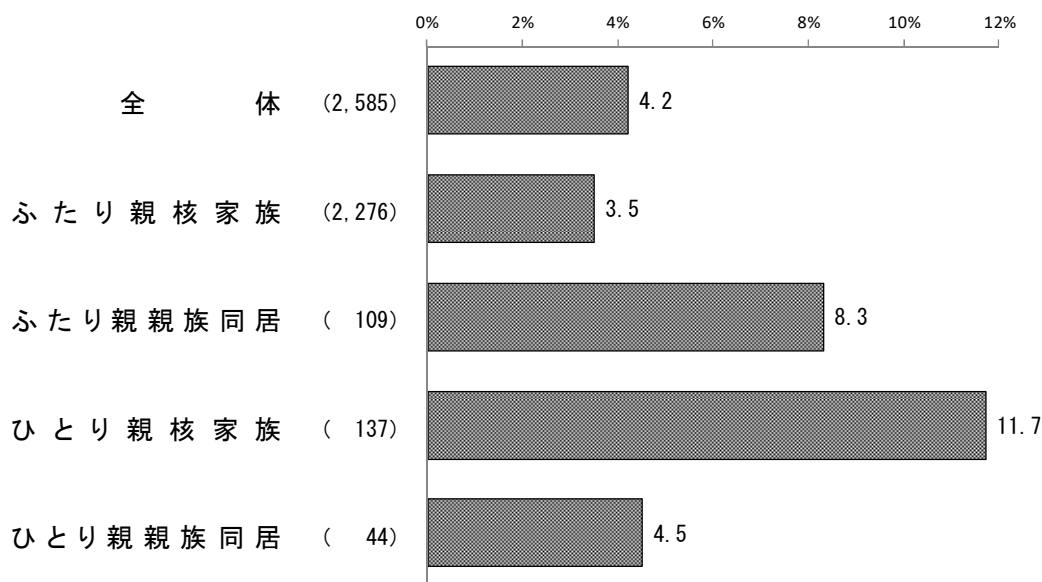




小学5年生のいる世帯のその他の借金の未払いの有無を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

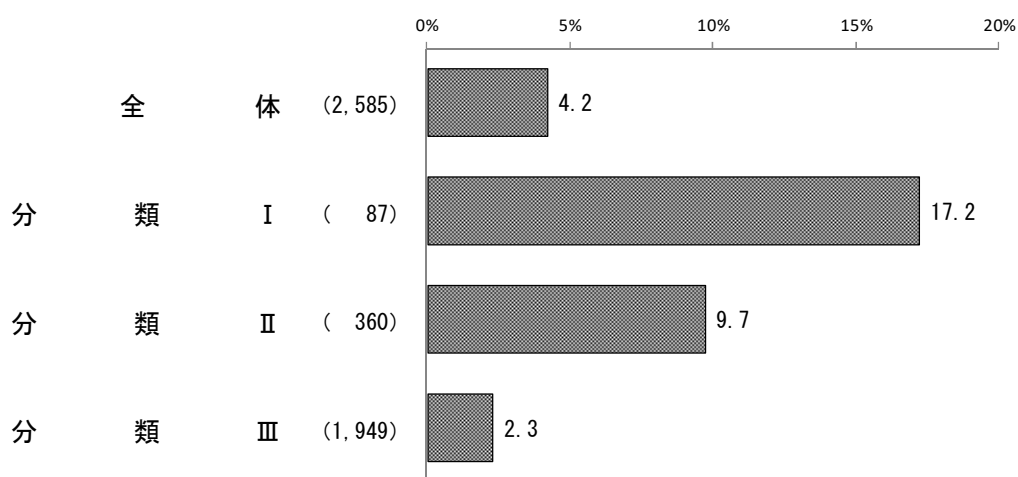
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-74】 その他の借金の未払いの有無（小学5年生・世帯構成別）



小学5年生のいる世帯のその他の借金の未払いの有無を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』（17.2%）、『分類Ⅱ』（9.7%）、『分類Ⅲ』（2.3%）の順に高くなっている。

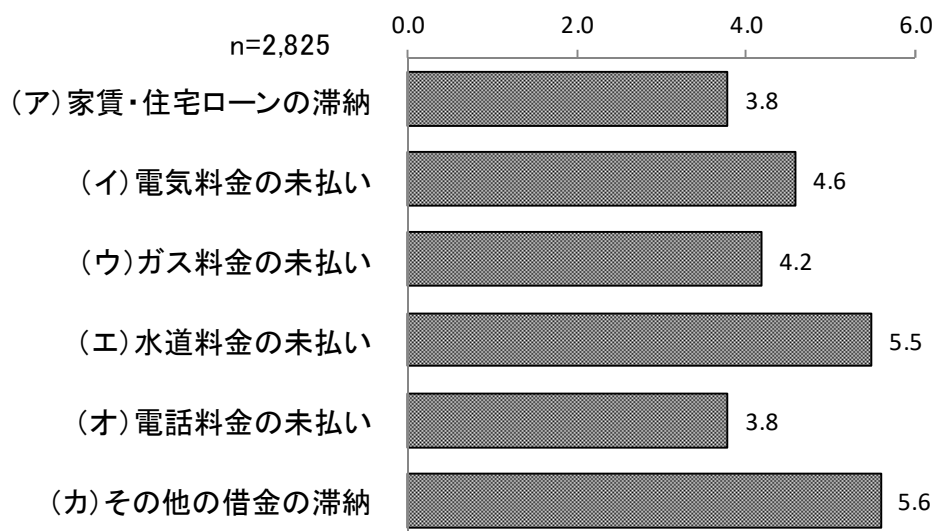
【図表 3-75】 その他の借金の未払いの有無（小学5年生・所得分類別）



### ①-3 電気・ガス・水道等の未払いの有無（中学2年生）

中学2年生のいる世帯に電気・ガス・水道等の未払いの有無を聞いたところ、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた『一度でもあった』は、「その他借金の滞納」が5.6%と最も高くなっている。

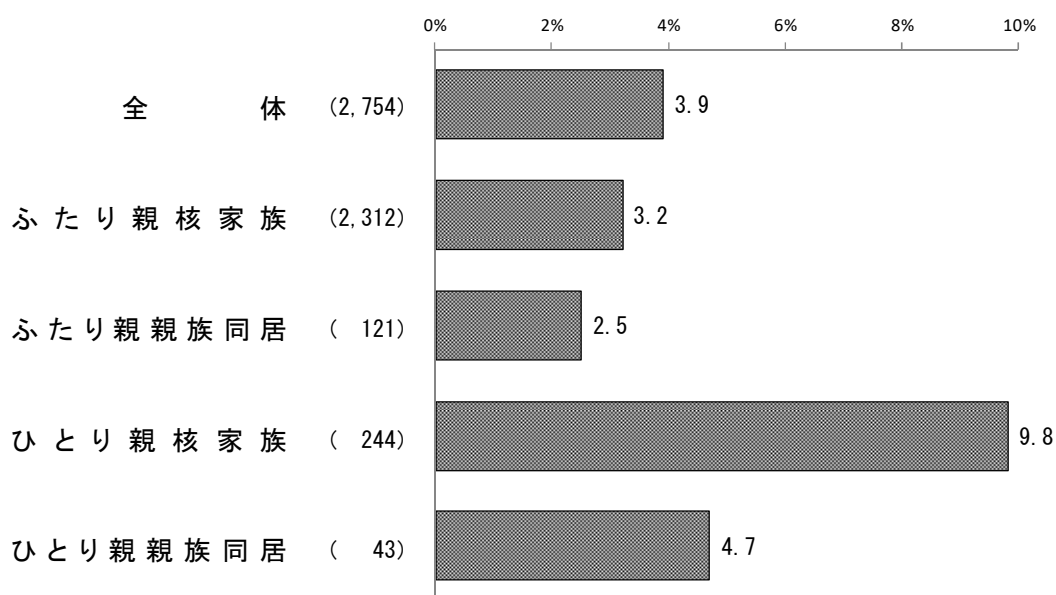
【図表 3-76】電気・ガス・水道等の未払いの有無（中学2年生）



中学2年生のいる世帯の家賃・住宅ローンの未払いの有無を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

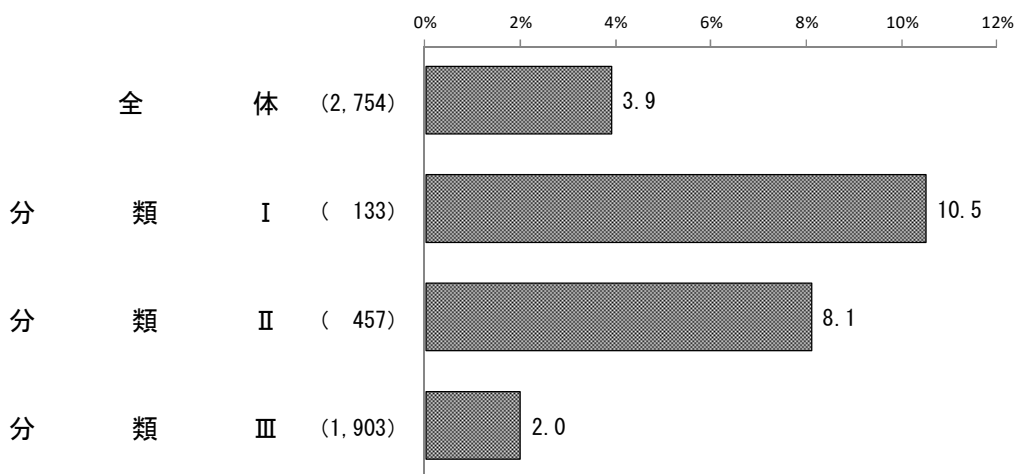
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-77】家賃・住宅ローンの未払いの有無（中学2年生・世帯構成別）



中学2年生のいる世帯の家賃・住宅ローンの未払いの有無を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』(10.5%)、『分類Ⅱ』(8.1%)、『分類Ⅲ』(2.0%)の順に高くなっている。

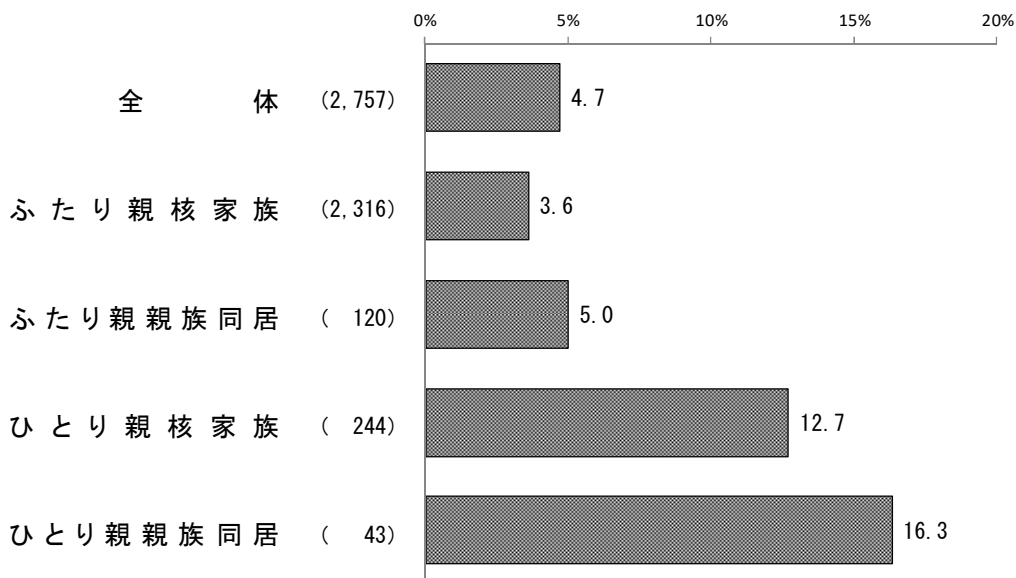
【図表 3-78】家賃・住宅ローンの未払いの有無（中学2年生・所得分類別）



中学2年生のいる世帯の電気料金の未払いの有無を世帯構成別にみると、『ひとり親親族同居』では16.3%となっており、全体と比べて高くなっている。

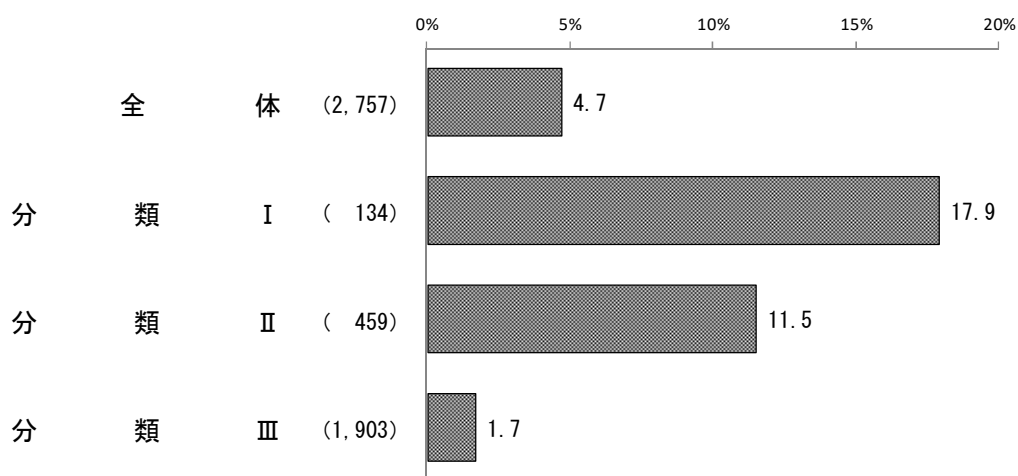
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-79】電気料金の未払いの有無（中学2年生・世帯構成別）



中学2年生のいる世帯の電気料金の未払いの有無を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』（17.9%）、『分類Ⅱ』（11.5%）、『分類Ⅲ』（1.7%）の順に高くなっている。

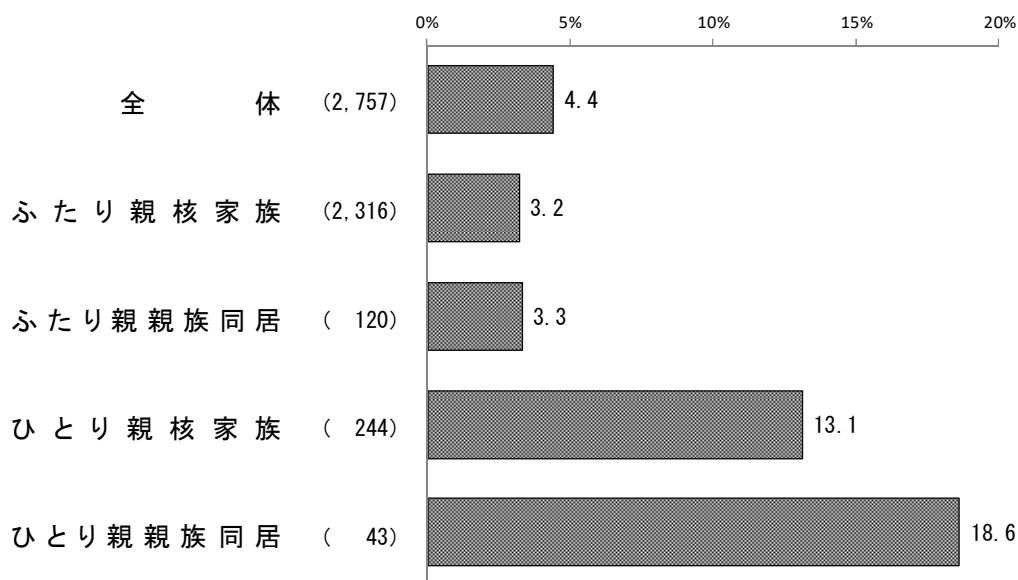
【図表 3-80】電気料金の未払いの有無（中学2年生・所得分類別）



中学2年生のいる世帯のガス料金の未払いの有無を世帯構成別にみると、『ひとり親親族同居』では18.6%となっており、全体と比べて高くなっている。

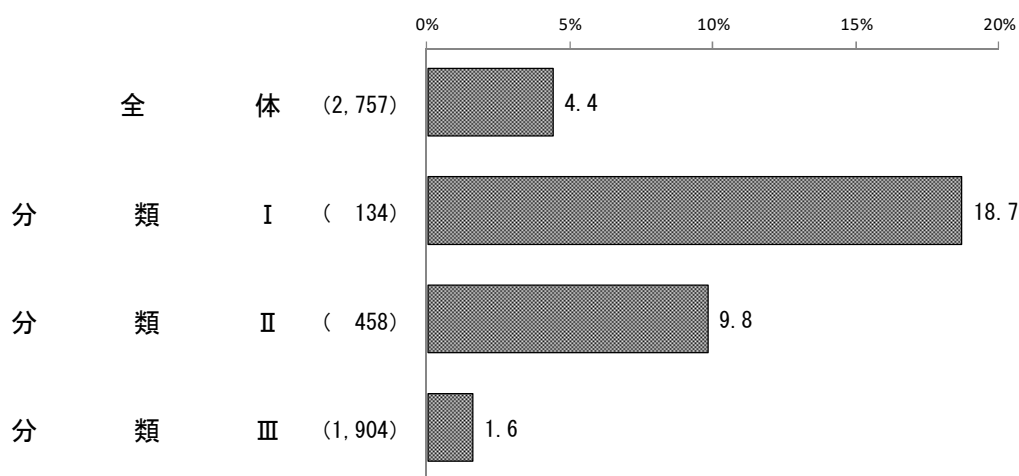
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-81】ガス料金の未払いの有無（中学2年生・世帯構成別）



中学2年生のいる世帯のガス料金の未払いの有無を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』（18.7%）、『分類Ⅱ』（9.8%）、『分類Ⅲ』（1.6%）の順に高くなっている。

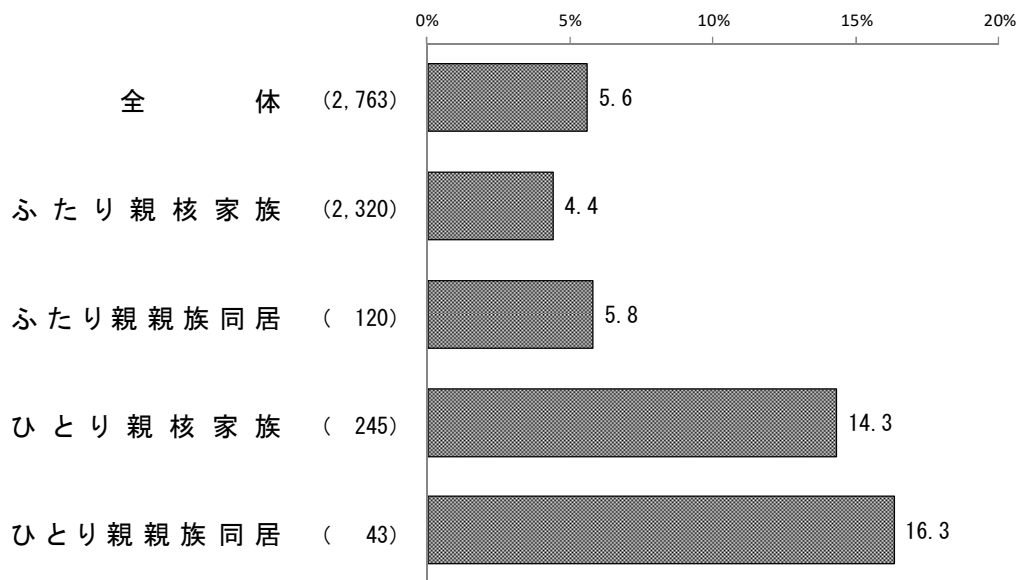
【図表 3-82】ガス料金の未払いの有無（中学2年生・所得分類別）



中学2年生のいる世帯の水道料金の未払いの有無を世帯構成別にみると、『ひとり親親族同居』では16.3%となっており、全体と比べて高くなっている。

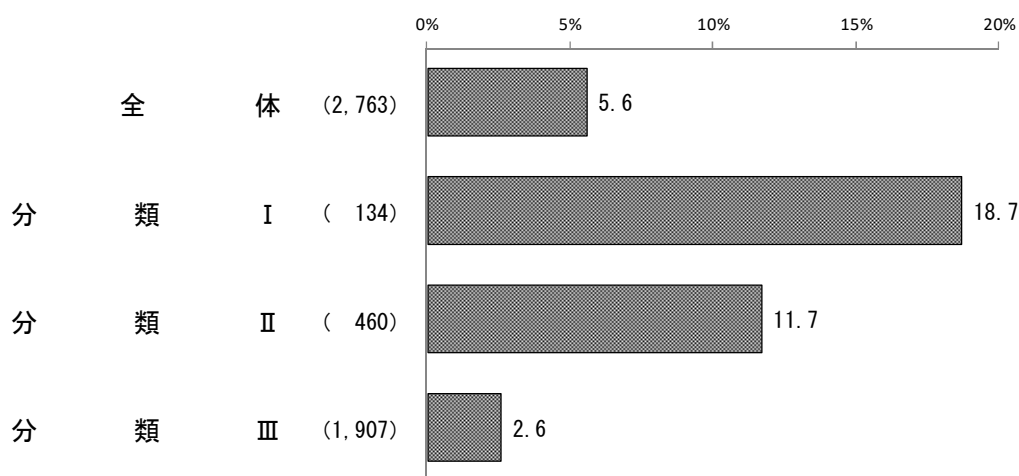
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-83】水道料金の未払いの有無（中学2年生・世帯構成別）



中学2年生のいる世帯の水道料金の未払いの有無を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』（18.7%）、『分類Ⅱ』（11.7%）、『分類Ⅲ』（2.6%）の順に高くなっている。

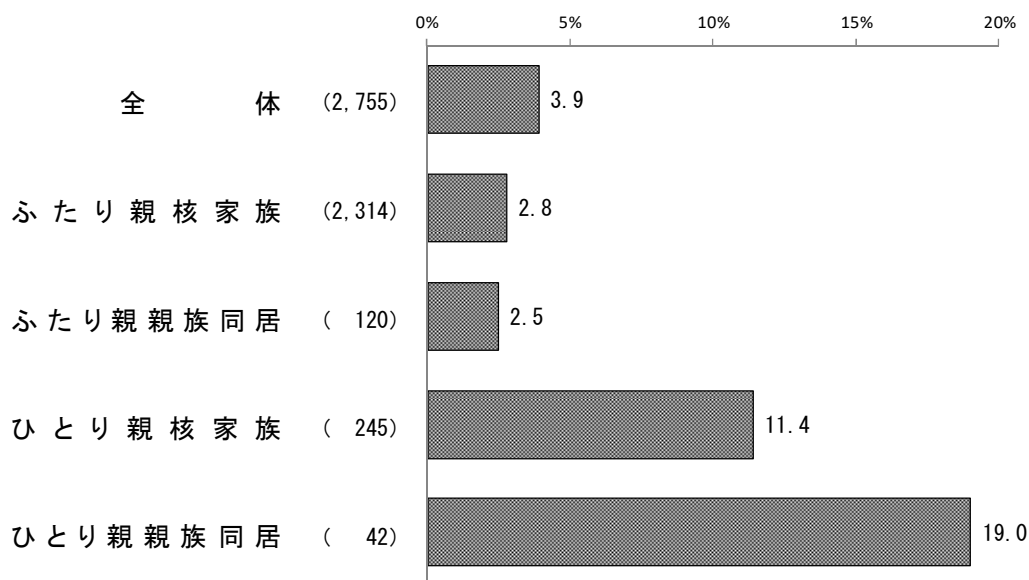
【図表 3-84】水道料金の未払いの有無（中学2年生・所得分類別）



中学2年生のいる世帯の電話料金の未払いの有無を世帯構成別にみると、『ひとり親親族同居』では19.0%となっており、全体と比べて高くなっている。

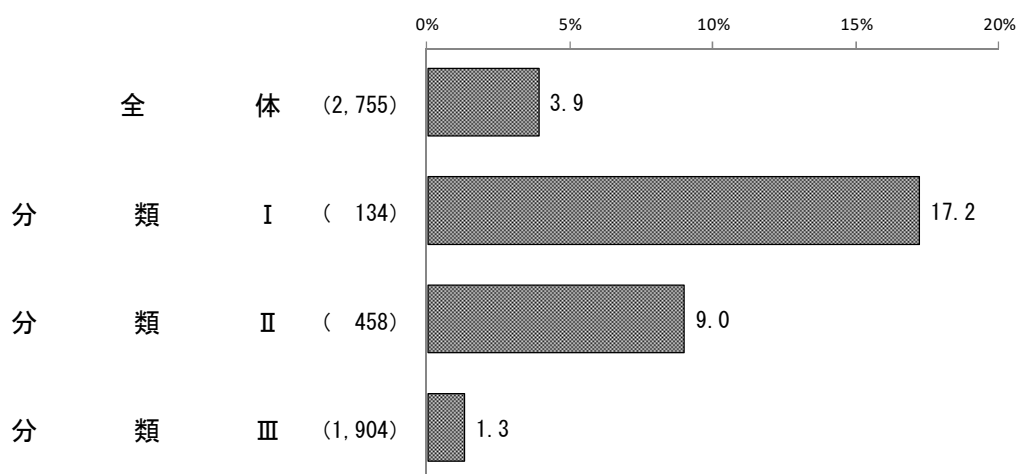
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-85】電話料金の未払いの有無（中学2年生・世帯構成別）



中学2年生のいる世帯の電話料金の未払いの有無を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』（17.2%）、『分類Ⅱ』（9.0%）、『分類Ⅲ』（1.3%）の順に高くなっている。

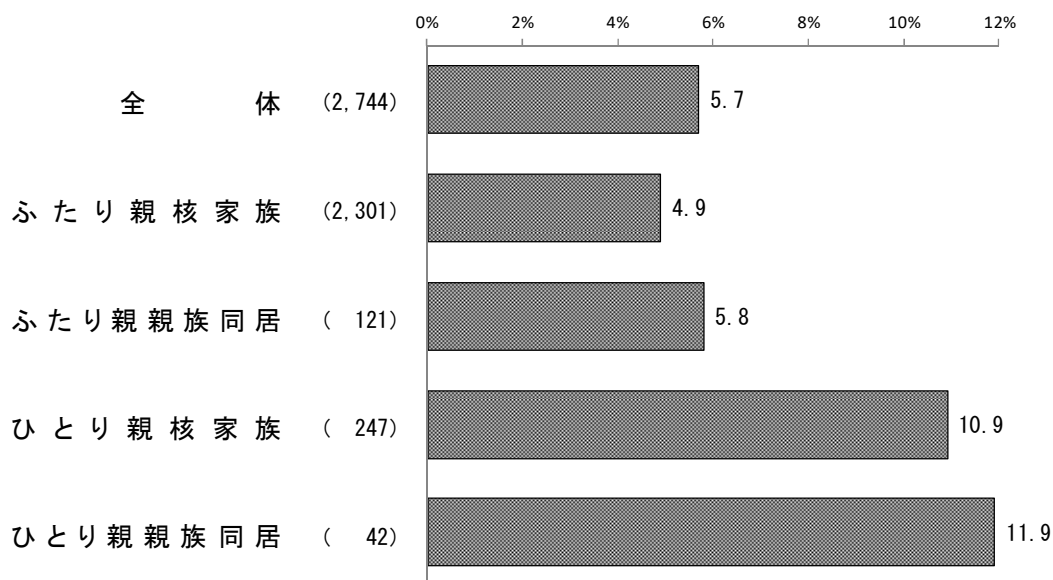
【図表 3-86】電話料金の未払いの有無（中学2年生・所得分類別）



中学2年生のいる世帯のその他の借金の未払いの有無を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

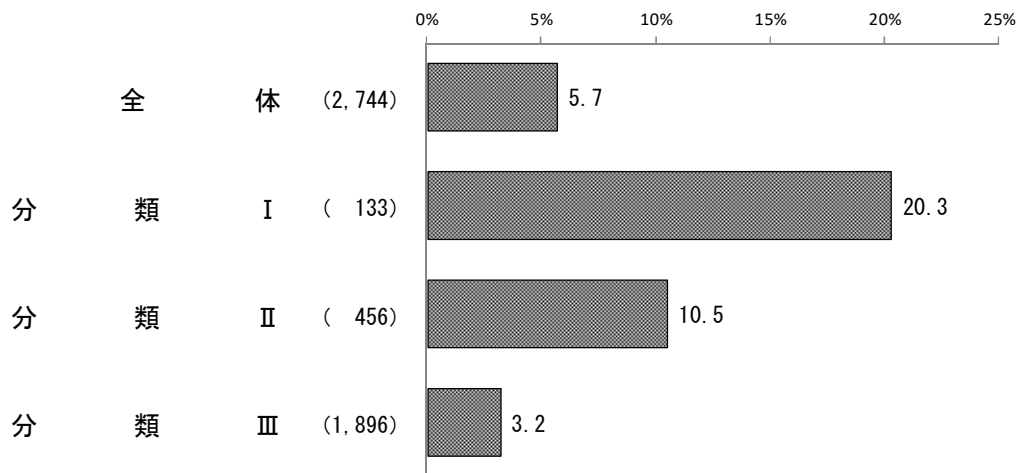
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-87】その他の借金の未払いの有無（中学2年生・世帯構成別）



中学2年生のいる世帯のその他の借金の未払いの有無を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』（20.3%）、『分類Ⅱ』（10.5%）、『分類Ⅲ』（3.2%）の順に高くなっている。

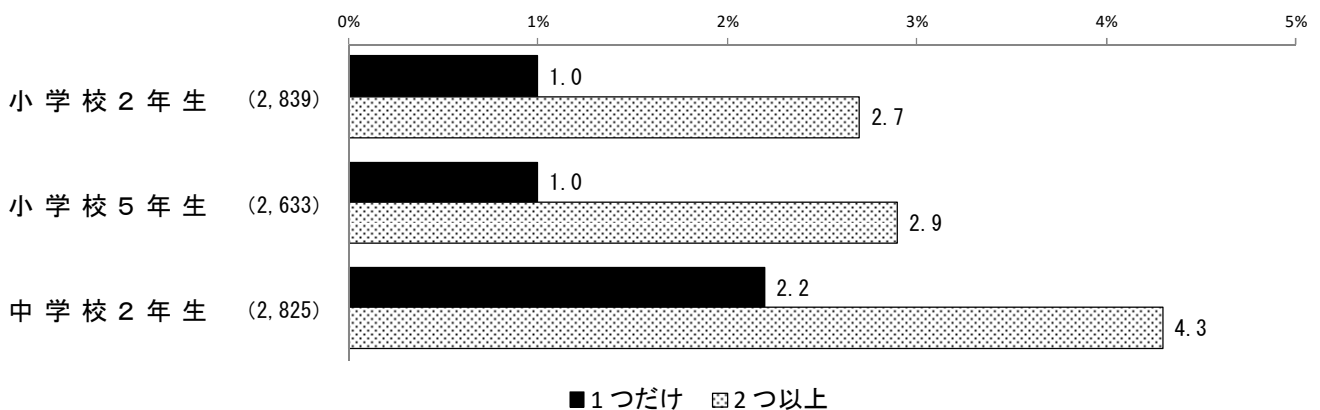
【図表 3-88】 その他の借金の未払いの有無（中学2年生・所得分類別）



② 公共料金等の未払いの頻度【小学・問37、中学・問35】(SA)

公共料金等の未払いの頻度について、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」に1つだけ○をした『1つだけ』、2つ以上○をした『2つ以上』に分類したところ、いずれの学年でもそれぞれ1割未満となっている。

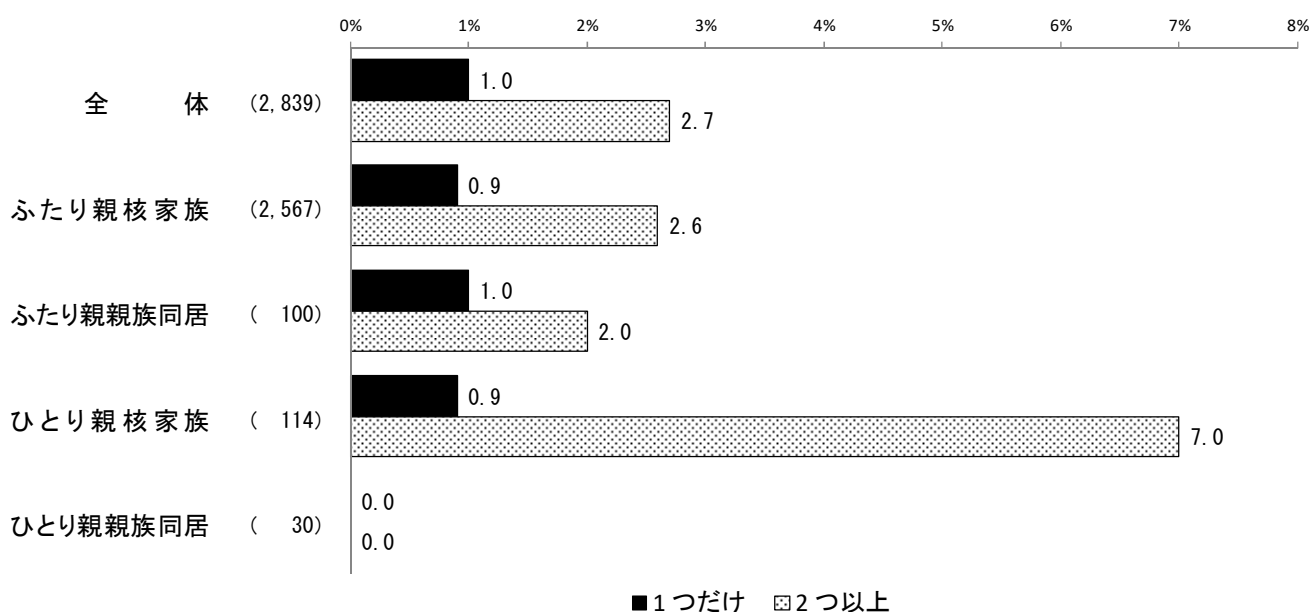
【図表 3-89】 公共料金等の未払いの頻度





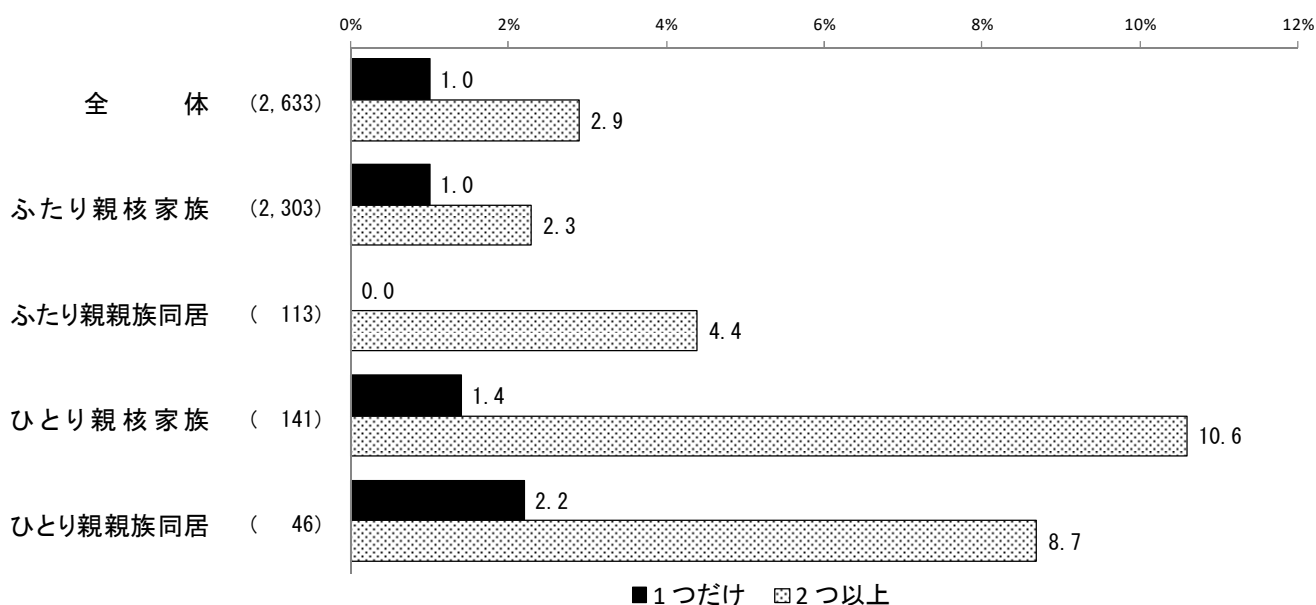
小学2年生のいる世帯の公共料金等の未払いの頻度を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-90】公共料金等の未払いの頻度（小学2年生・世帯構成別）



小学5年生のいる世帯の公共料金等の未払いの頻度を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

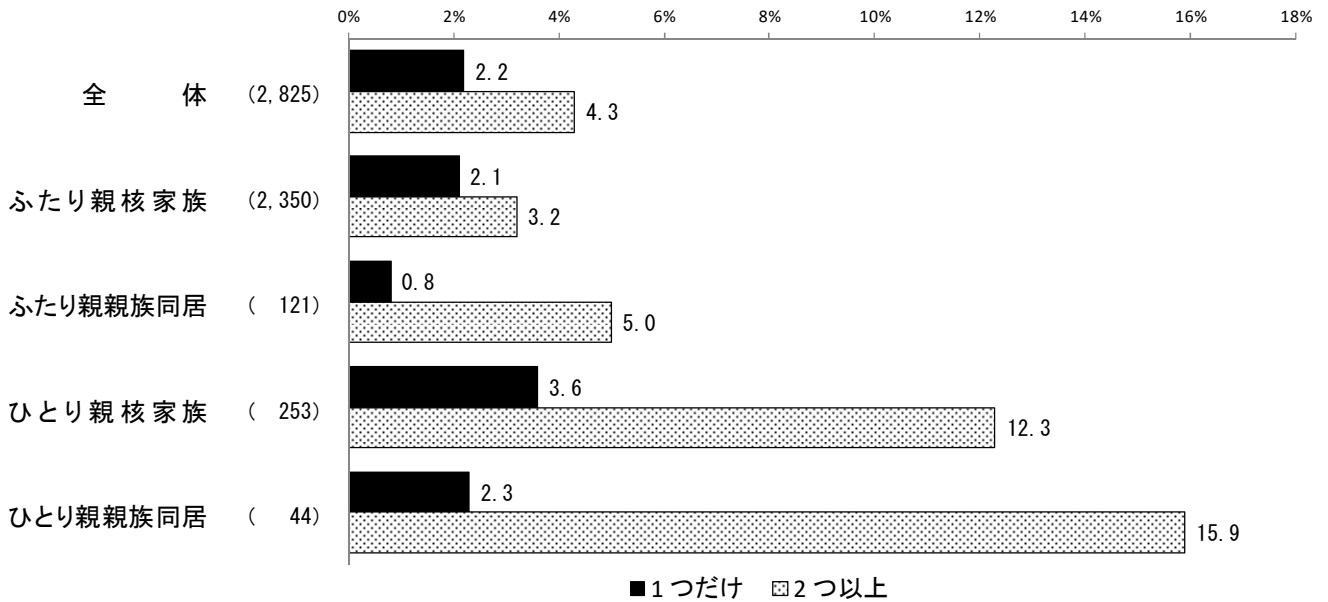
【図表 3-91】公共料金等の未払いの頻度（小学5年生・世帯構成別）



中学2年生のいる世帯の公共料金等の未払いの頻度を世帯構成別にみると、「2つ以上」は『ひとり親親族同居』で15.9%と、全体に比べて高くなっている。

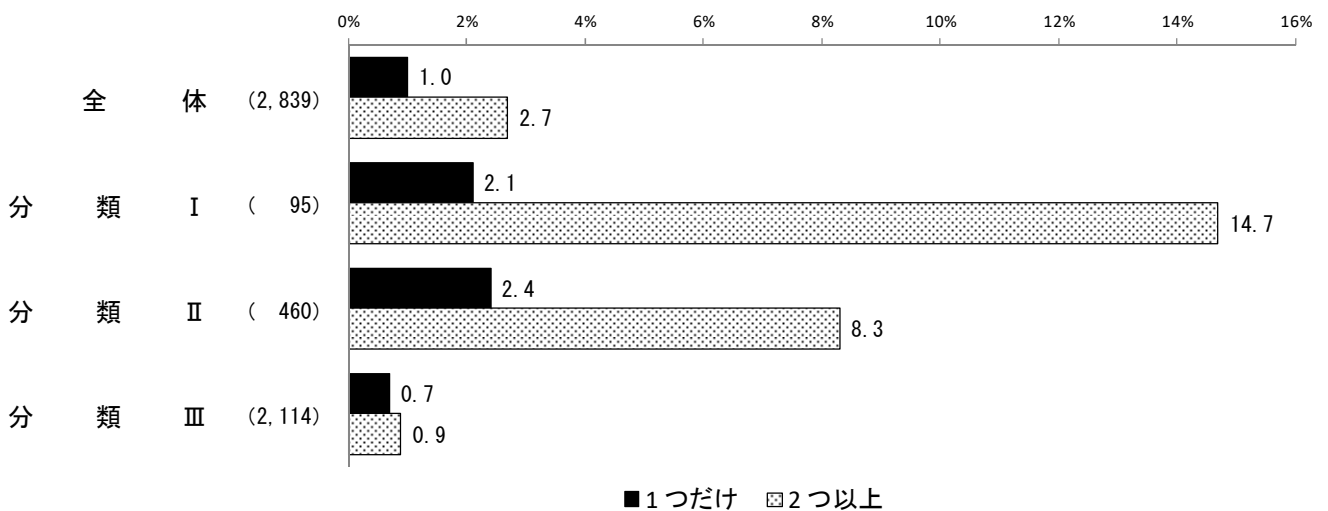
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-92】公共料金等の未払いの頻度（中学2年生・世帯構成別）



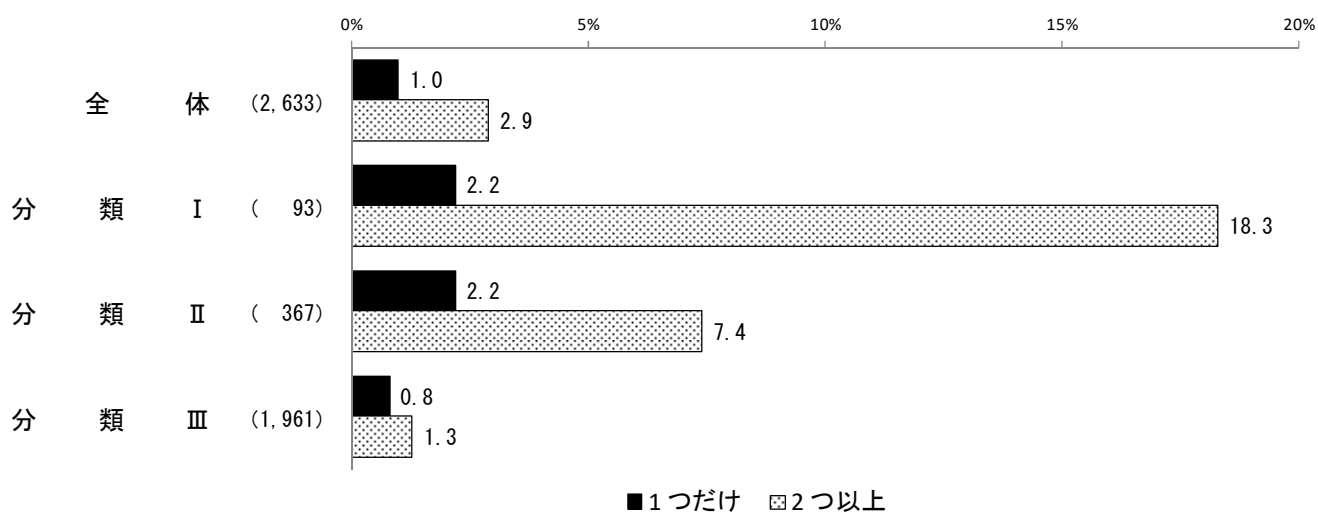
小学2年生のいる世帯の公共料金等の未払いの頻度を所得分類別にみると、「2つ以上」は『分類Ⅰ』で14.7%と、全体に比べて高くなっている。

【図表 3-93】公共料金等の未払いの頻度（小学2年生・所得分類別）



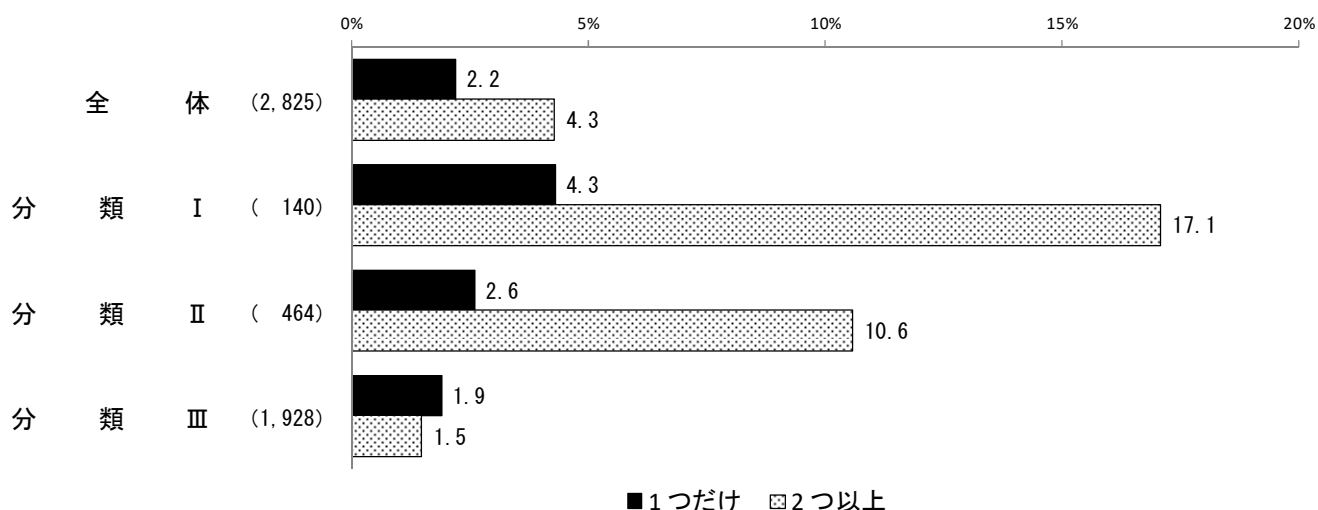
小学5年生のいる世帯の公共料金等の未払いの頻度を所得分類別にみると、「2つ以上」は『分類Ⅰ』で18.3%と、全体に比べて高くなっている。

【図表 3-94】公共料金等の未払いの頻度（小学5年生・所得分類別）



中学2年生のいる世帯の公共料金等の未払いの頻度を所得分類別にみると、「2つ以上」は『分類Ⅰ』で17.1%と、全体に比べて高くなっている。

【図表 3-95】公共料金等の未払いの頻度（中学2年生・所得分類別）

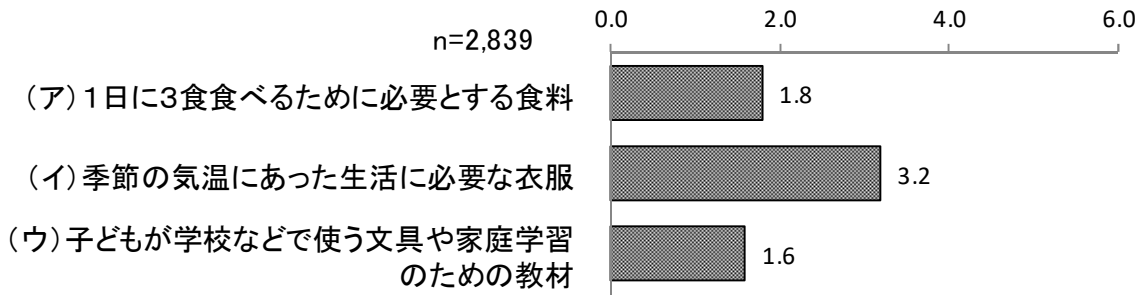


イ 生活必需品の購入状況【小学・問38、中学・問36】(SA)

①-1 生活必需品の購入の有無(小学2年生)

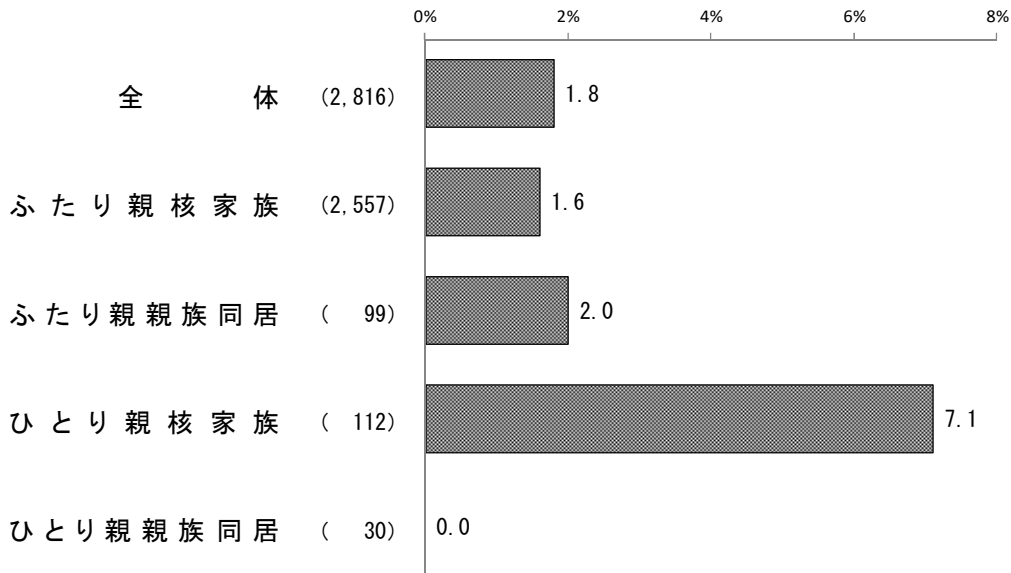
小学2年生のいる世帯に過去1年間において、食料や衣服などの生活必需品について、経済的な理由で買えなかった経験があったかを聞いたところ、経験があると答えた世帯、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた『一度でもあった』は、「季節の気温に合った生活に必要な衣服」で3.2%と最も高くなっている。

【図表 3-96】生活必需品の購入の有無(小学2年生)



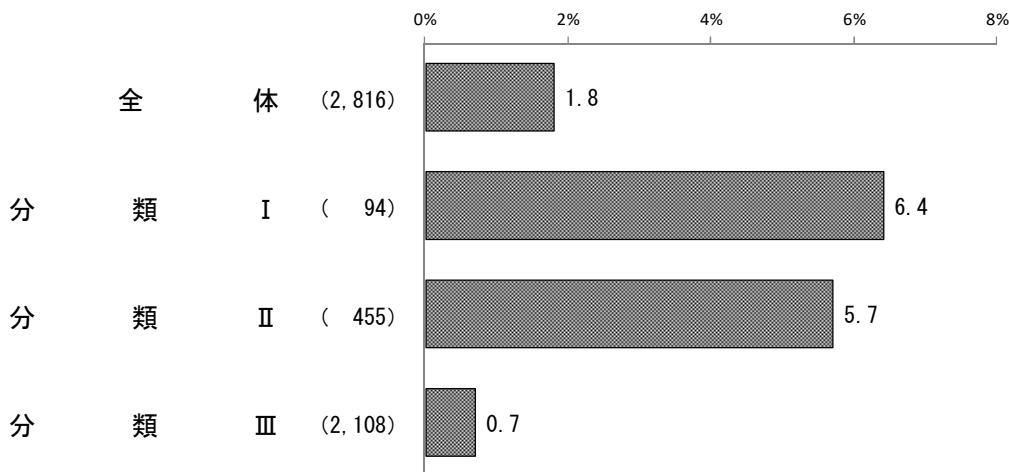
小学2年生のいる世帯の経済的な理由で1日に3食食べるために必要な食料が買えなかった経験を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』においては、大きな差はみられない。

【図表 3-97】1日に3食食べるために必要な食料が買えなかった経験の有無(小学2年生・世帯構成別)



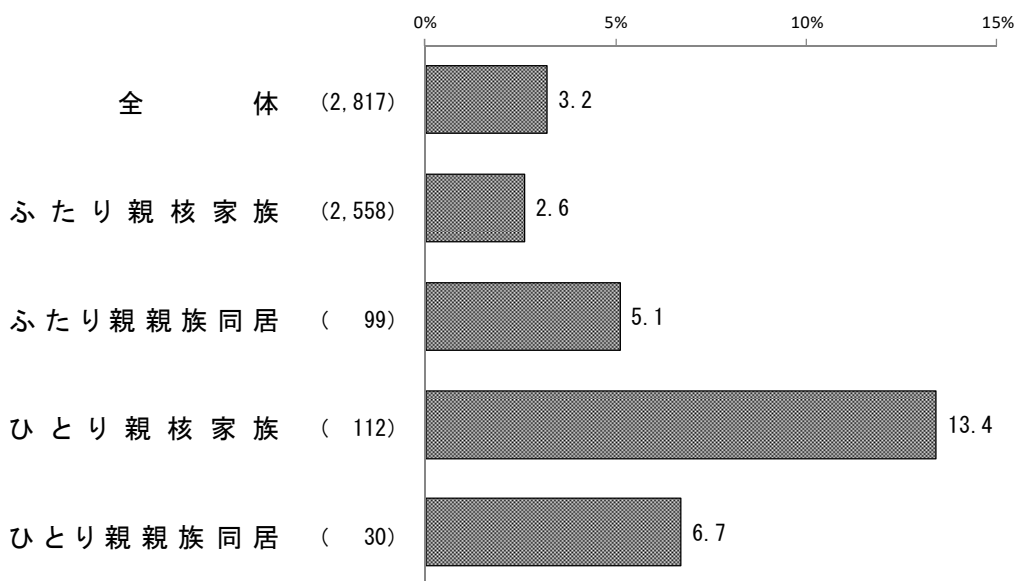
小学2年生のいる世帯の経済的な理由で1日に3食食べるために必要な食料が買えなかった経験を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』においては、大きな差はみられない。

【図表 3-98】 1日に3食食べるために必要な食料が買えなかった経験の有無  
(小学2年生・所得分類別)



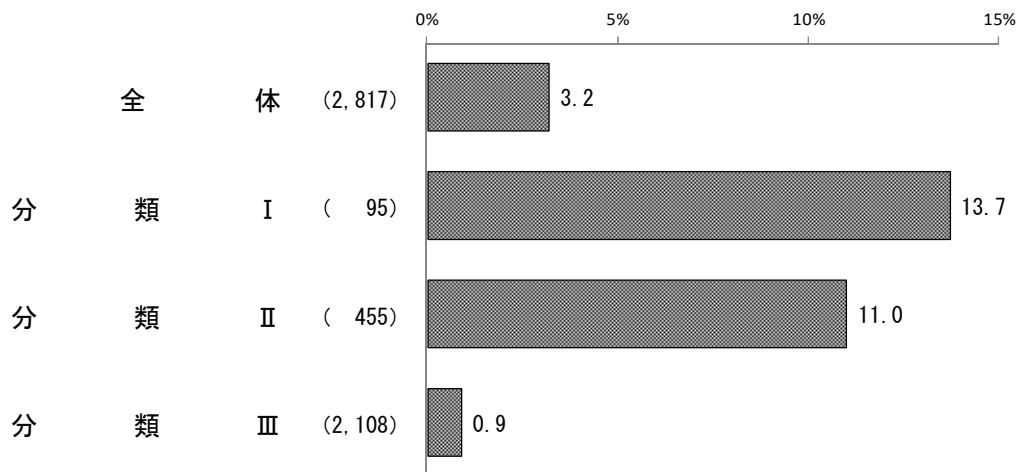
小学2年生のいる世帯の経済的な理由で季節の気温に合った生活に必要な衣服が買えなかった経験を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』においては、13.4%と全体に比べて高くなっている。なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-99】 季節の気温に合った生活に必要な衣服が買えなかった経験の有無  
(小学2年生・世帯構成別)



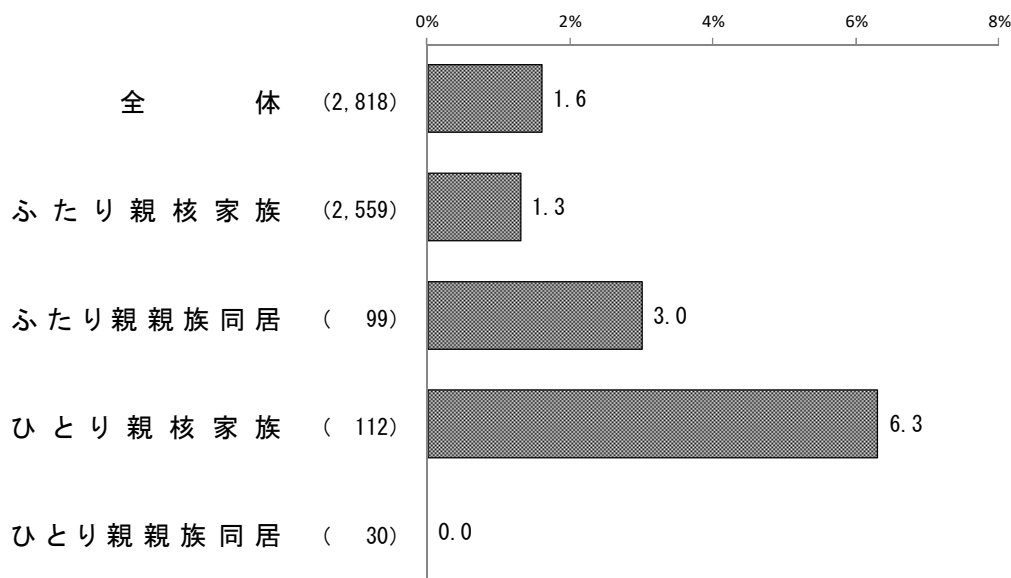
小学2年生のいる世帯の経済的な理由で季節の気温に合った生活に必要な衣服が買えなかった経験を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』においては、13.7%と全体に比べて高くなっている。

【図表 3-100】 季節の気温に合った生活に必要な衣服が買えなかった経験の有無  
(小学2年生・所得分類別)



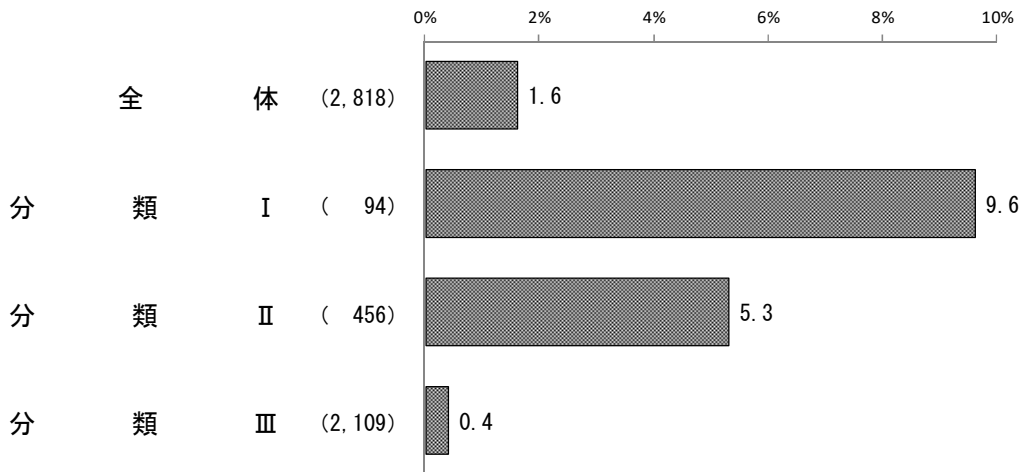
小学2年生のいる世帯の経済的な理由で子どもが学校などで使う文具や家庭学習のための教材が買えなかった経験を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

【図表 3-101】 子どもが学校などで使う文具や家庭学習のための教材が買えなかった経験の有無 (小学2年生・世帯構成別)



小学2年生のいる世帯の経済的な理由で子どもが学校などで使う文具や家庭学習のための教材が買えなかった経験を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

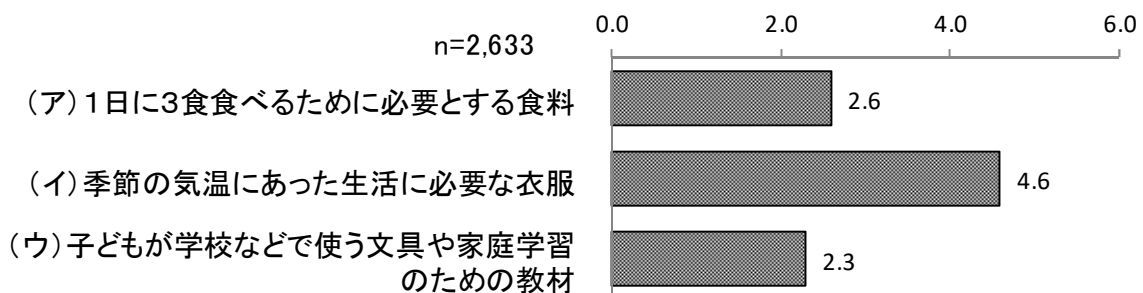
【図表 3-102】子どもが学校などで使う文具や家庭学習のための教材が買えなかった経験の有無（小学2年生・所得分類別）



①-2 生活必需品の購入の有無（小学5年生）

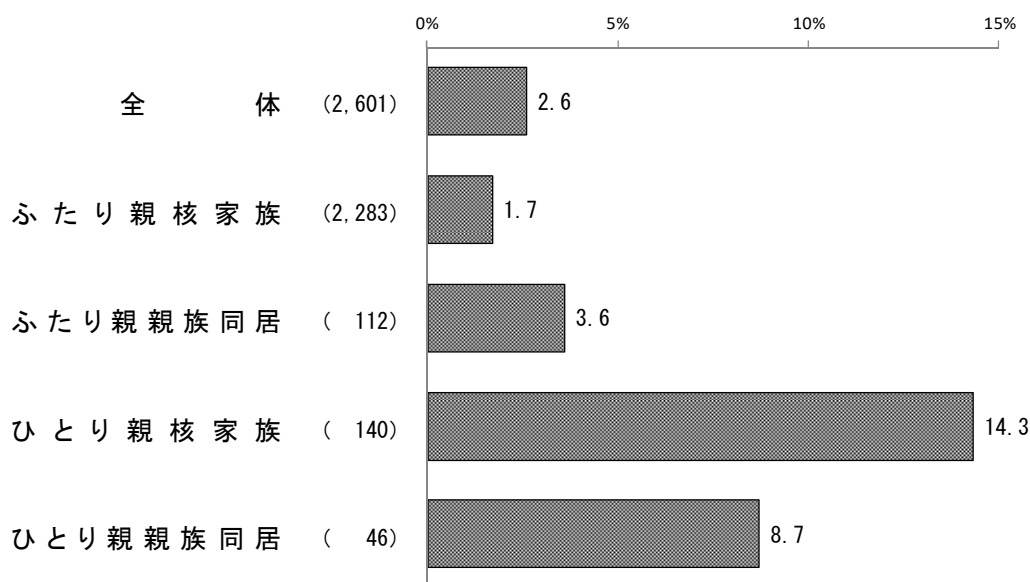
小学5年生のいる世帯に過去1年間において、食料や衣服などの生活必需品について、経済的な理由で買えなかった経験があったかを聞いたところ、経験があると答えた世帯、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた『一度でもあった』は、「季節の気温に合った生活に必要な衣服」で4.6%と最も高くなっている。

【図表 3-103】生活必需品の購入の有無（小学5年生）



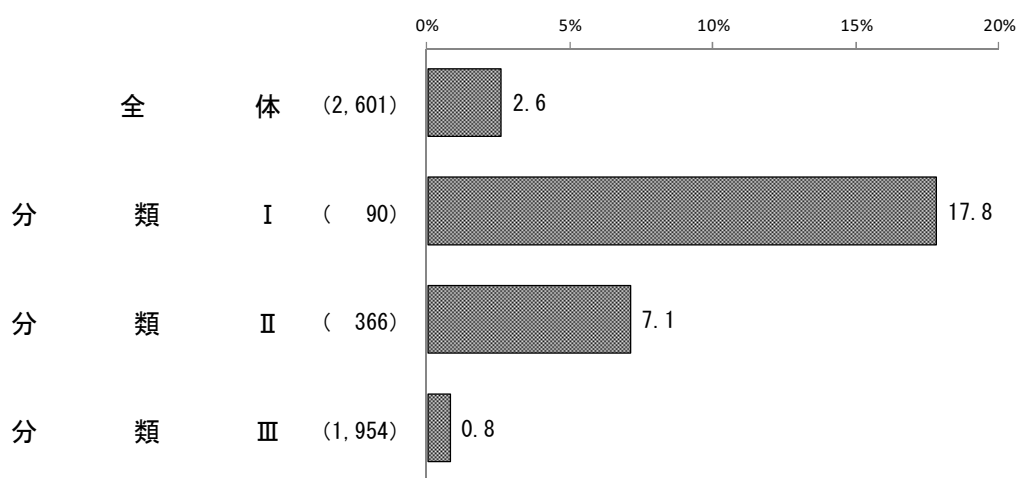
小学5年生のいる世帯の経済的な理由で1日に3食食べるために必要な食料が買えなかった経験を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』においては、14.3%と全体に比べて高くなっている。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-104】 1日に3食食べるために必要な食料が買えなかった経験の有無  
 (小学5年生・世帯構成別)



小学5年生のいる世帯の経済的な理由で1日に3食食べるために必要な食料が買えなかった経験を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』においては、17.8%と全体に比べて高くなっている。

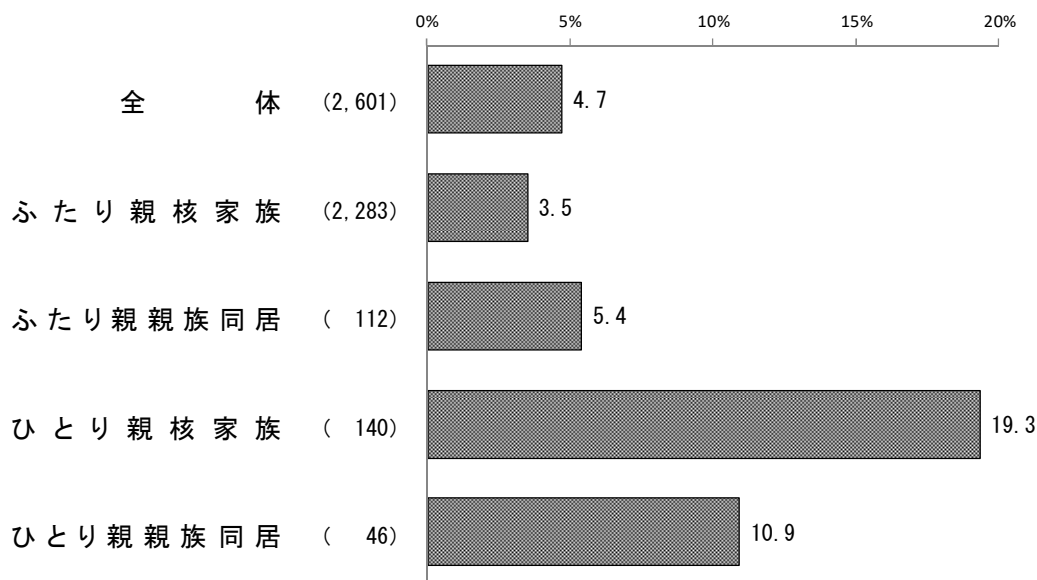
【図表 3-105】 1日に3食食べるために必要な食料が買えなかった経験の有無  
 (小学5年生・所得分類別)





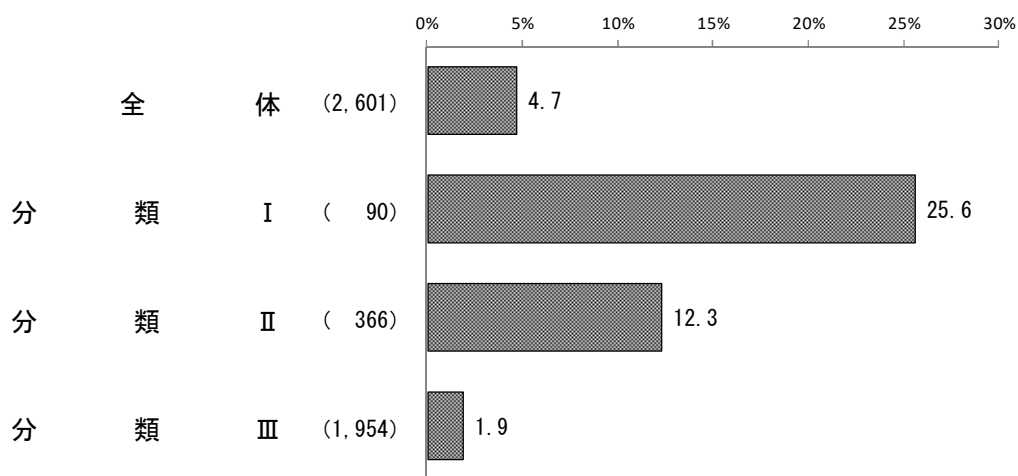
小学5年生のいる世帯の経済的な理由で季節の気温に合った生活に必要な衣服が買えなかった経験を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』においては、19.3%と全体に比べて高くなっている。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-106】 季節の気温に合った生活に必要な衣服が買えなかった経験の有無  
 (小学5年生・世帯構成別)



小学5年生のいる世帯の経済的な理由で季節の気温に合った生活に必要な衣服が買えなかった経験を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』においては、25.6%と全体に比べて高くなっている。

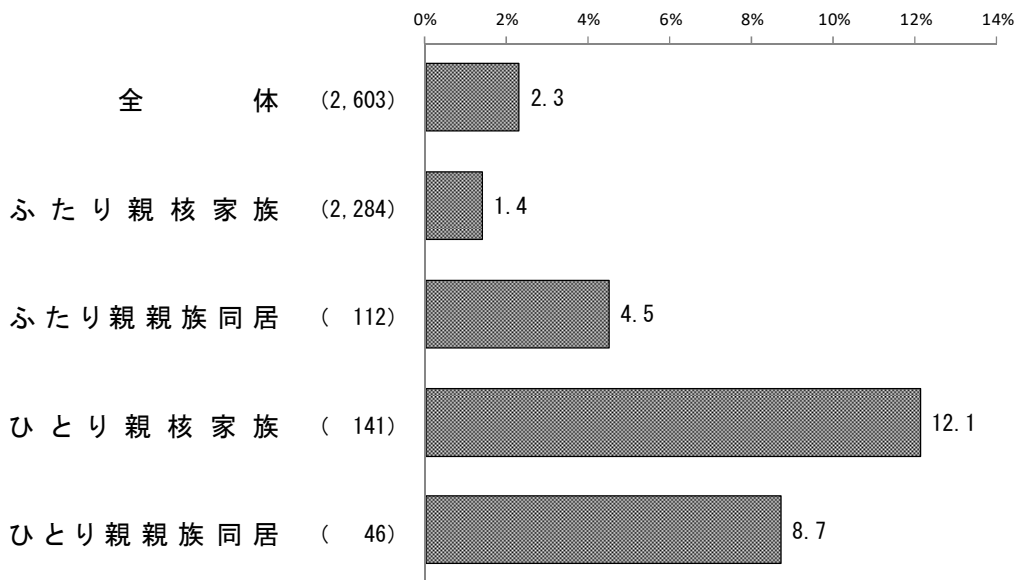
【図表 3-107】 季節の気温に合った生活に必要な衣服が買えなかった経験の有無  
 (小学5年生・所得分類別)



小学5年生のいる世帯の経済的な理由で子どもが学校などで使う文具や家庭学習のための教材が買えなかった経験を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

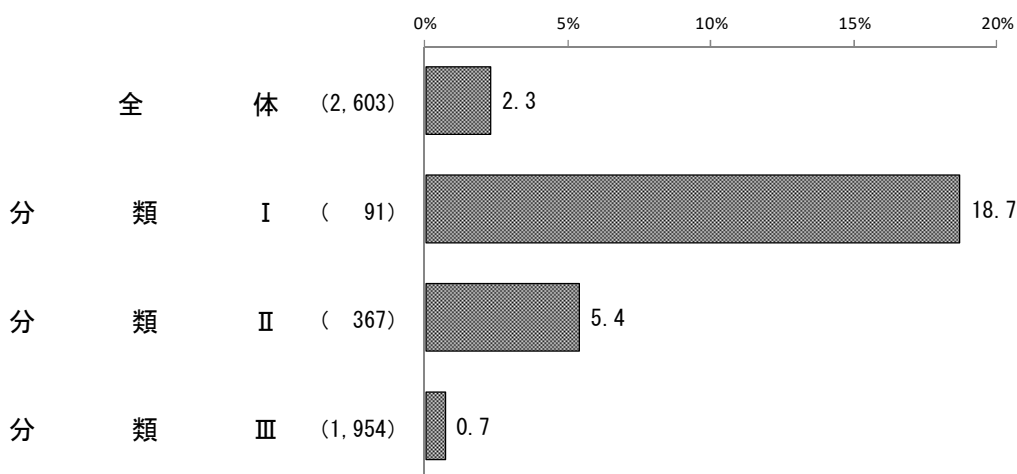
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-108】子どもが学校などで使う文具や家庭学習のための教材が買えなかった経験の有無（小学5年生・世帯構成別）



小学5年生のいる世帯の経済的な理由で子どもが学校などで使う文具や家庭学習のための教材が買えなかった経験を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』においては、18.7%と全体に比べて高くなっている。

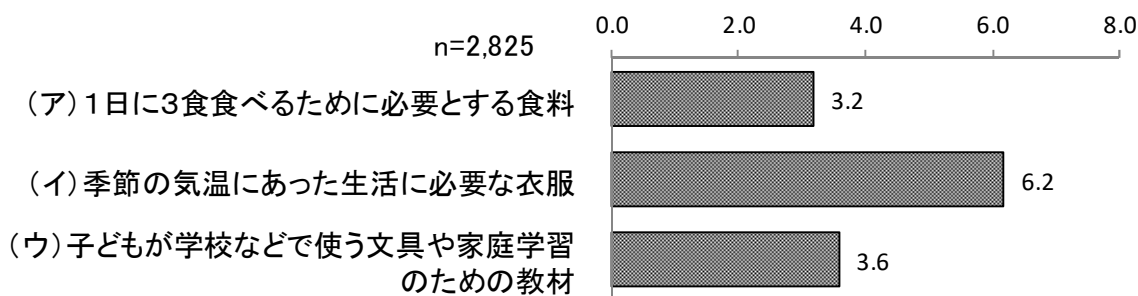
【図表 3-109】子どもが学校などで使う文具や家庭学習のための教材が買えなかった経験の有無（小学5年生・所得分類別）



①-3 生活必需品の購入の有無（中学2年生）

中学2年生のいる世帯に過去1年間において、食料や衣服などの生活必需品について、経済的な理由で買えなかった経験があったかを聞いたところ、経験があると答えた世帯、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた『一度でもあった』は、「季節の気温に合った生活に必要な衣服」で6.2%と最も高くなっている。

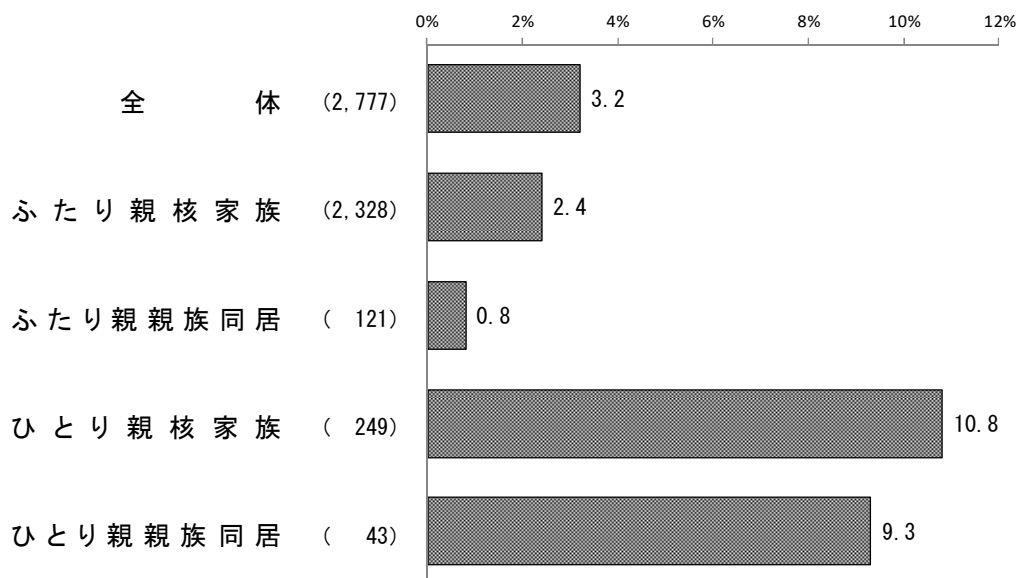
【図表 3-110】生活必需品の購入の有無（中学2年生）



中学2年生のいる世帯の経済的な理由で1日に3食食べるために必要な食料が買えなかった経験を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

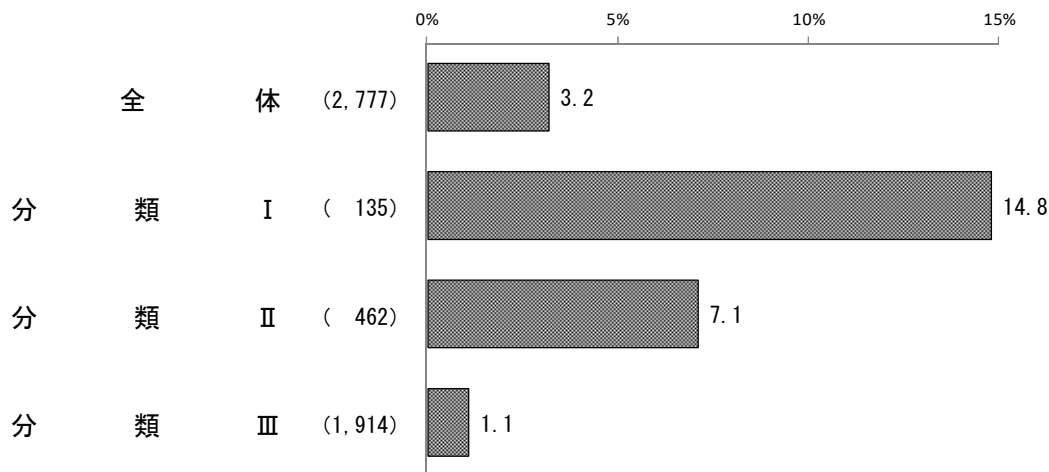
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-111】1日に3食食べるために必要な食料が買えなかった経験の有無（中学2年生・世帯構成別）



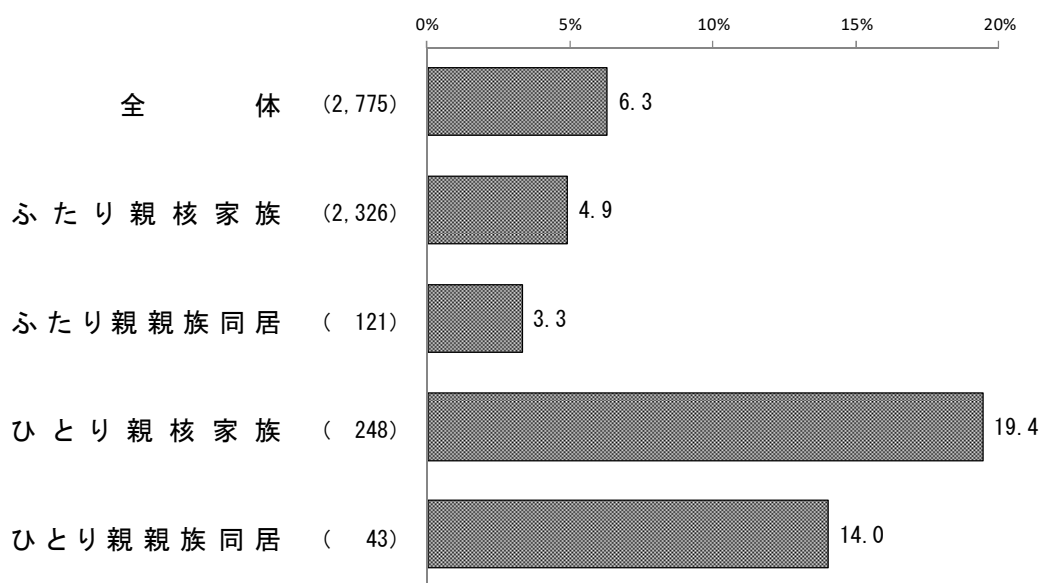
中学2年生のいる世帯の経済的な理由で1日に3食食べるために必要な食料が買えなかった経験を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』においては、14.8%と全体に比べて高くなっている。

【図表 3-112】 1日に3食食べるために必要な食料が買えなかった経験の有無  
(中学2年生・所得分類別)



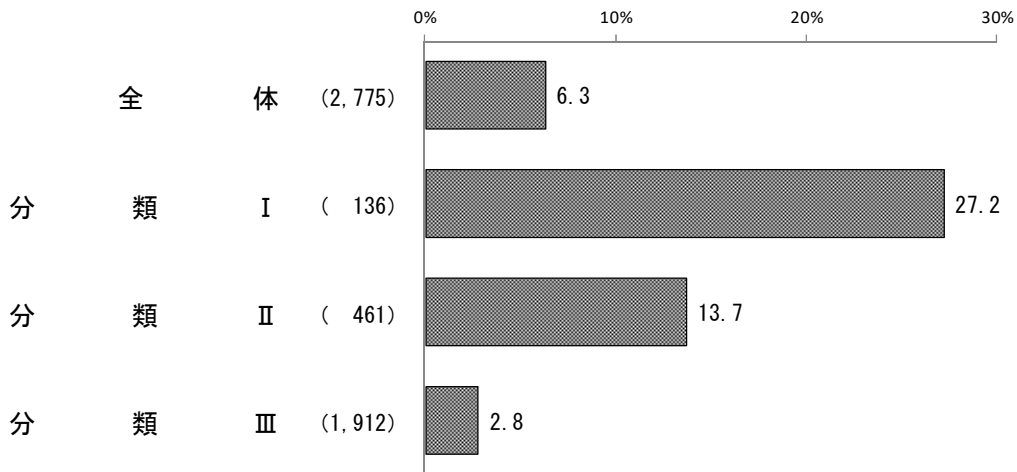
中学2年生のいる世帯の経済的な理由で季節の気温に合った生活に必要な衣服が買えなかった経験を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』においては、19.4%と全体に比べて高くなっている。  
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-113】 季節の気温に合った生活に必要な衣服が買えなかった経験の有無  
(中学2年生・世帯構成別)



中学2年生のいる世帯の経済的な理由で季節の気温に合った生活に必要な衣服が買えなかった経験を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』においては、27.2%と全体に比べて高くなっている。

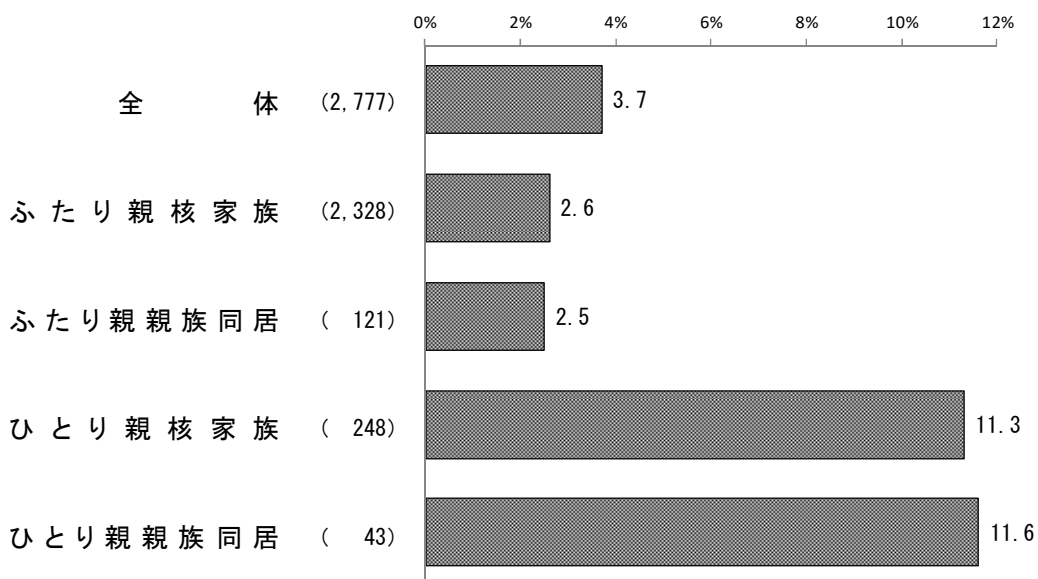
【図表 3-114】 季節の気温に合った生活に必要な衣服が買えなかった経験の有無  
(中学2年生・所得分類別)



中学2年生のいる世帯の経済的な理由で子どもが学校などで使う文具や家庭学習のための教材が買えなかった経験を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

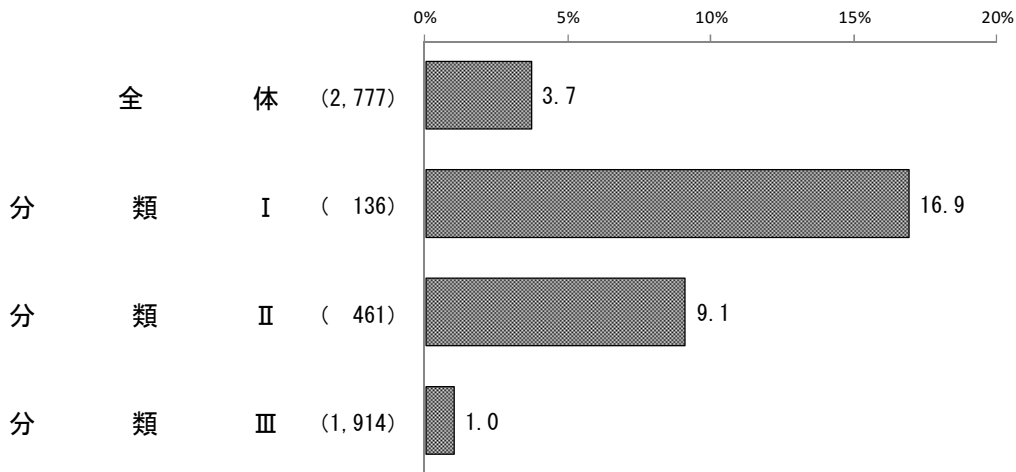
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-115】 子どもが学校などで使う文具や家庭学習のための教材が買えなかった経験の有無 (中学2年生・世帯構成別)



中学2年生のいる世帯の経済的な理由で子どもが学校などで使う文具や家庭学習のための教材が買えなかった経験を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』においては、16.9%と全体に比べて高くなっている。

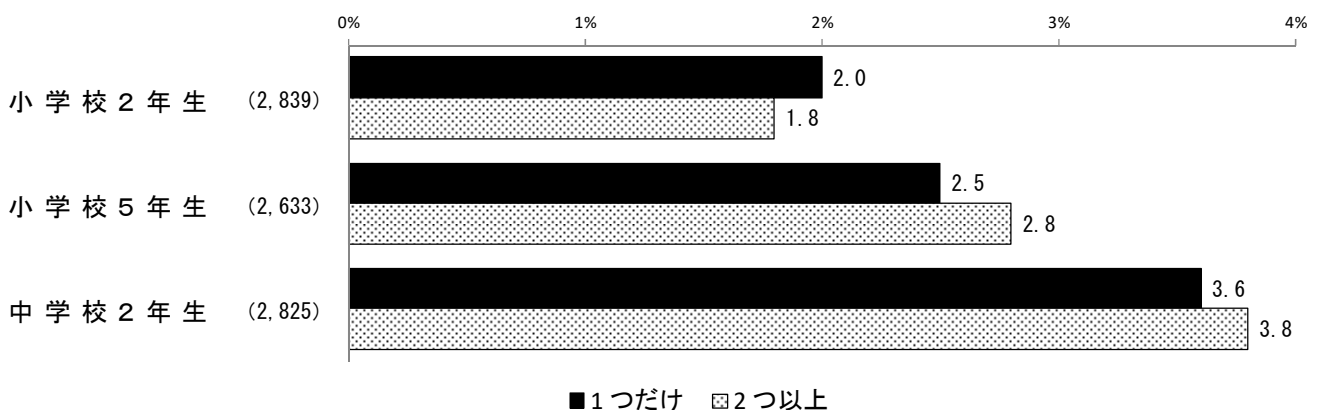
【図表 3-116】子どもが学校などで使う文具や家庭学習のための教材が買えなかった経験の有無（中学2年生・所得分類別）



② 生活必需品の購入ができなかった頻度

生活必需品の購入ができなかった頻度について、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」に1つだけ○をした『1つだけ』、2つ以上○をした『2つ以上』に分類したところ、いずれの学年でもそれぞれ1割未満となっている。

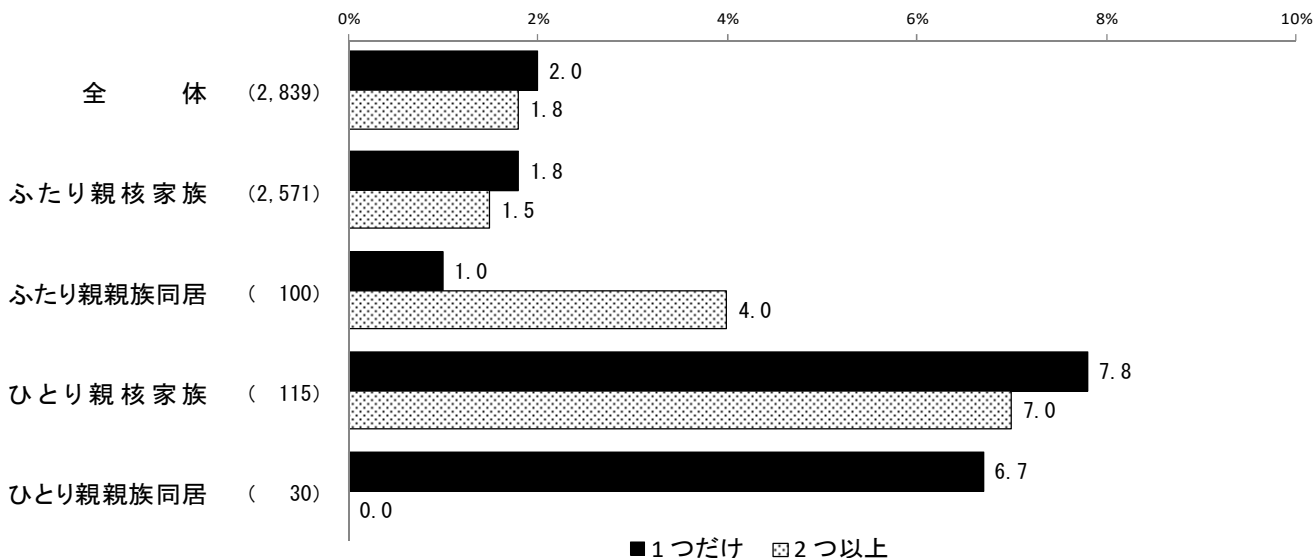
【図表 3-117】生活必需品の購入ができなかった頻度



小学2年生のいる世帯の生活必需品の購入ができなかった頻度を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

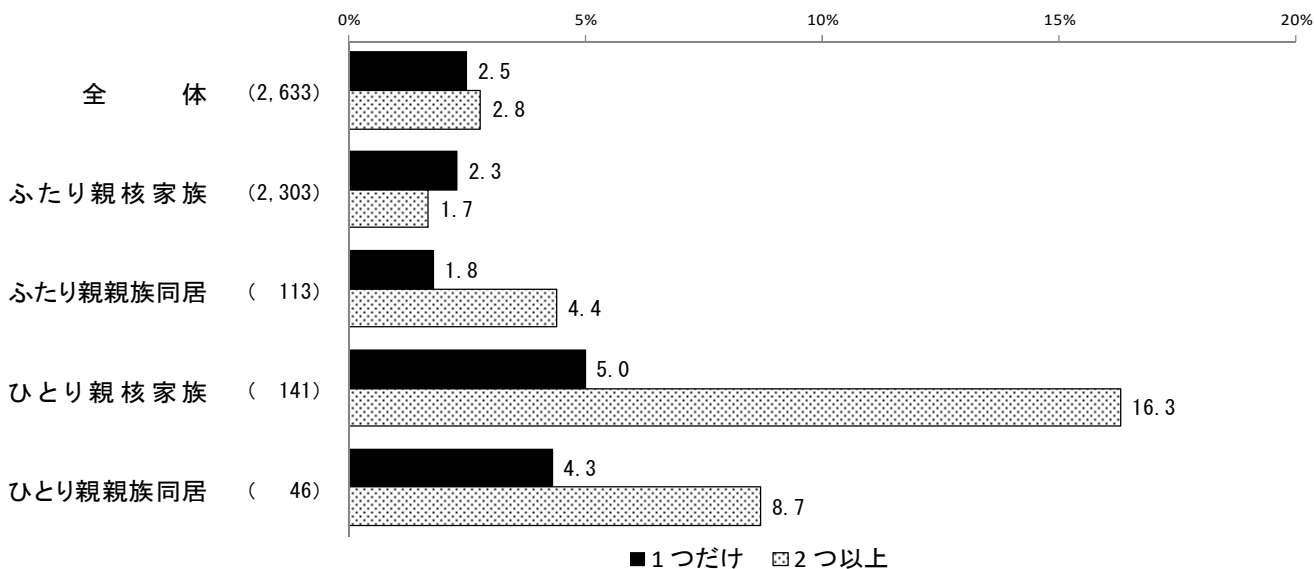
【図表 3-118】生活必需品の購入ができなかった頻度（小学2年生・世帯構成別）



小学5年生のいる世帯の生活必需品の購入ができなかった頻度を世帯構成別にみると、「2つ以上」は『ひとり親核家族』で16.3%と、全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

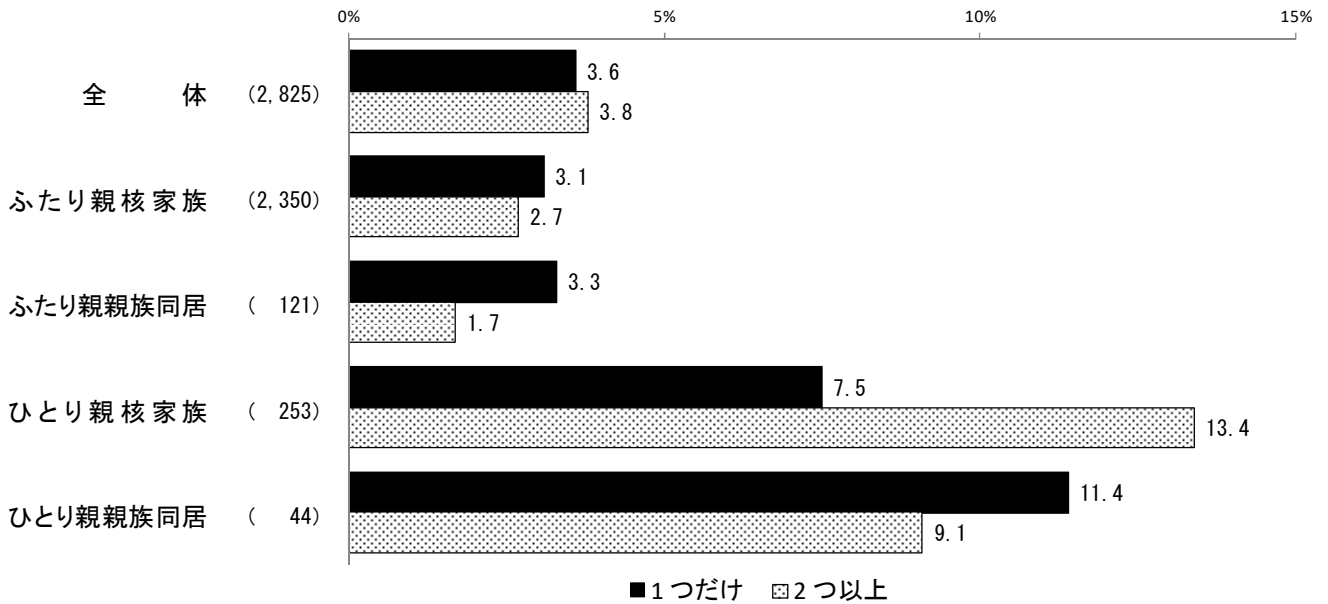
【図表 3-119】生活必需品の購入ができなかった頻度（小学5年生・世帯構成別）



中学2年生のいる世帯の生活必需品の購入ができなかった頻度を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

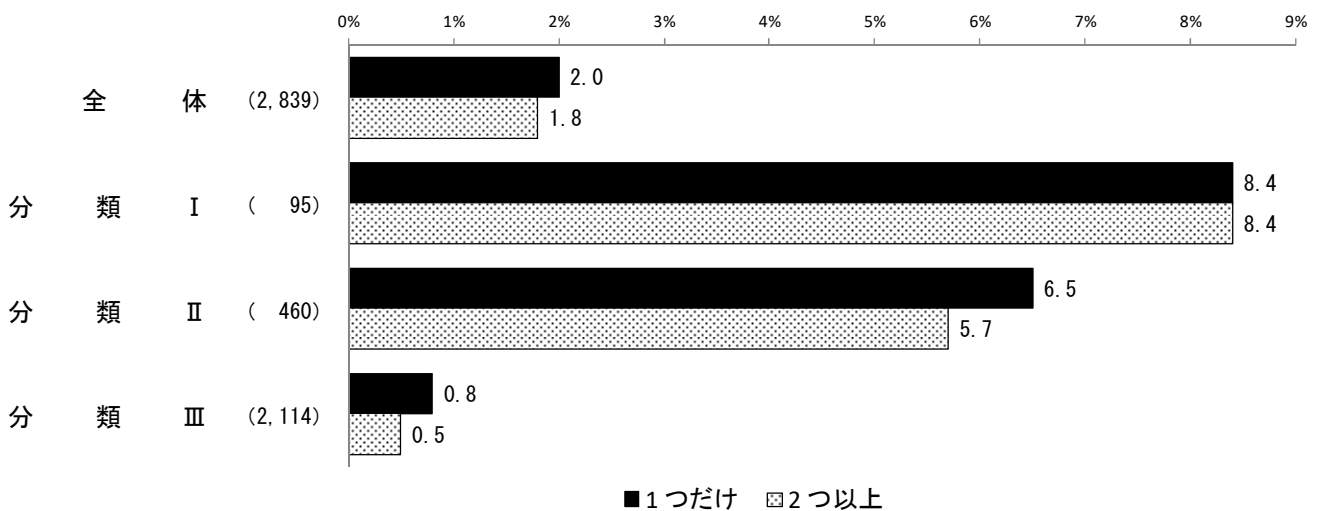
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-120】生活必需品の購入ができなかった頻度（中学2年生・世帯構成別）



小学2年生のいる世帯の生活必需品の購入ができなかった頻度を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

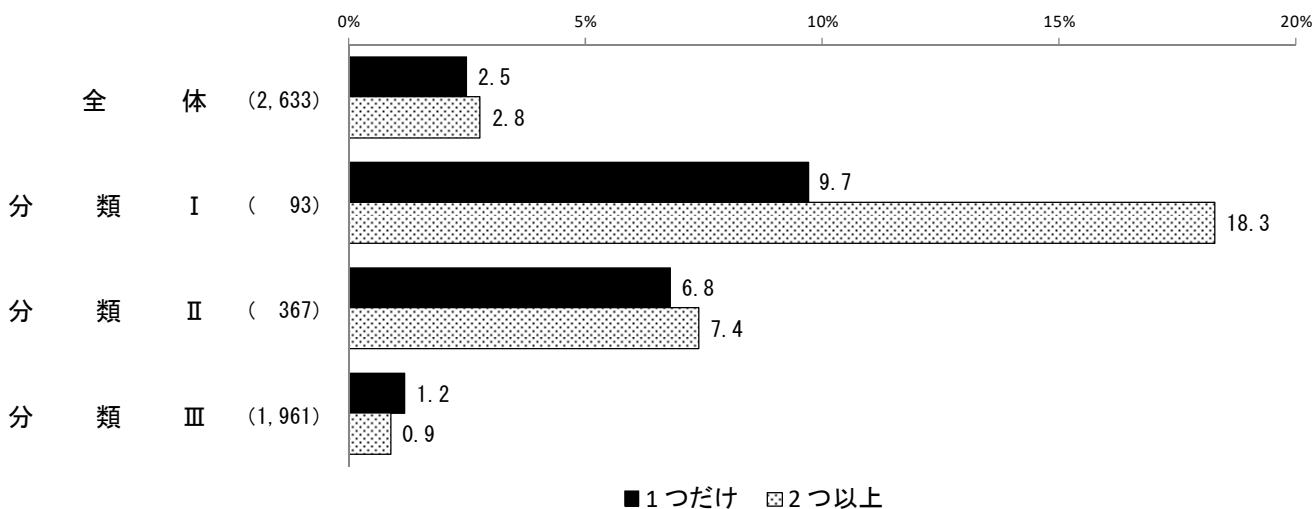
【図表 3-121】生活必需品の購入ができなかった頻度（小学2年生・所得分類別）





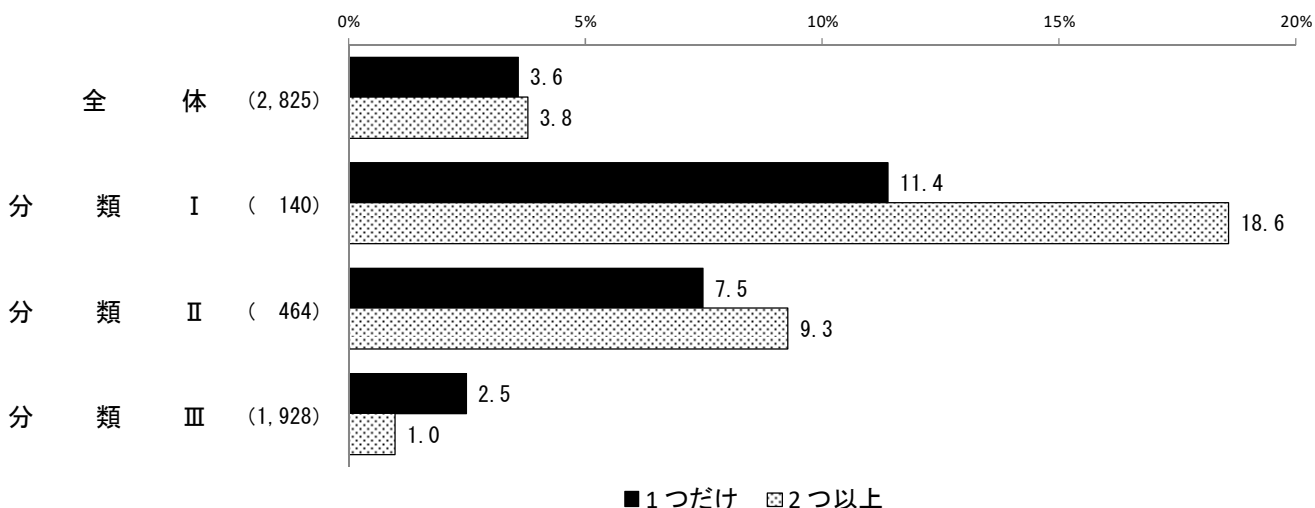
小学5年生のいる世帯の生活必需品の購入ができなかった頻度を所得分類別にみると、「2つ以上」は『分類Ⅰ』で18.3%と、全体に比べて高くなっている。

【図表 3-122】生活必需品の購入ができなかった頻度（小学5年生・所得分類別）



中学2年生のいる世帯の生活必需品の購入ができなかった頻度を所得分類別にみると、「2つ以上」は『分類Ⅰ』で18.6%と全体に比べて高くなっている。

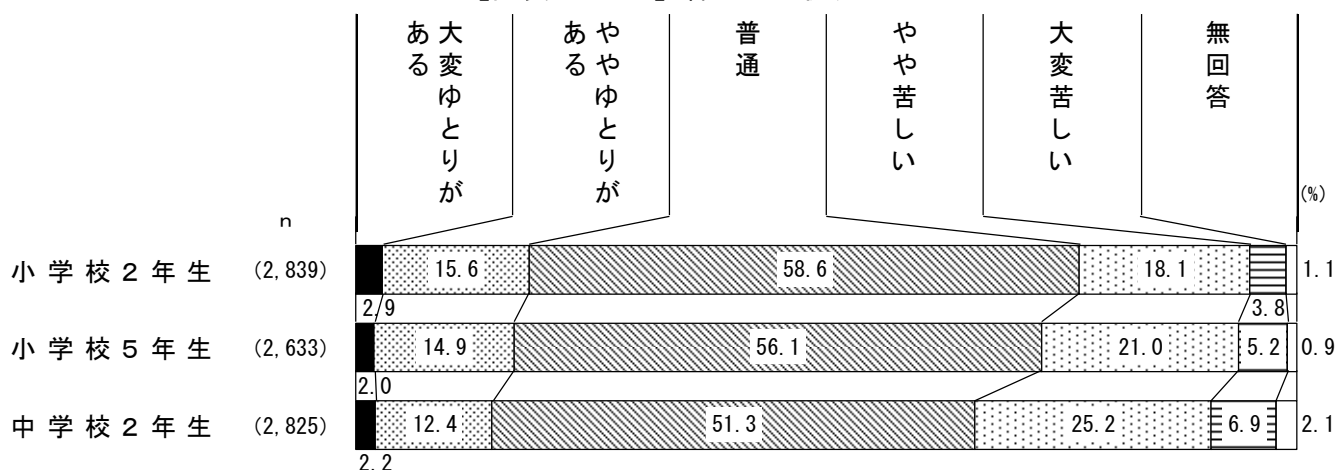
【図表 3-123】生活必需品の購入ができなかった頻度（中学2年生・所得分類別）



(3) 暮らしの状況【小学・問36、中学・問34】(SA)

現在の暮らしの状況を聞いたところ、いずれの学年でも「普通」(小学2年生:58.6%、小学5年生:56.1%、中学2年生:51.3%)が最も高くなっている。また、いずれの学年でも「やや苦しい」と「大変苦しい」を合わせた『苦しい』(小学2年生:21.9%、小学5年生:26.2%、中学2年生:32.1%)が「大変ゆとりがある」と「ややゆとりがある」を合わせた『ゆとりがある』(小学2年生:18.5%、小学5年生:16.9%、中学2年生:14.6%)を上回っている。

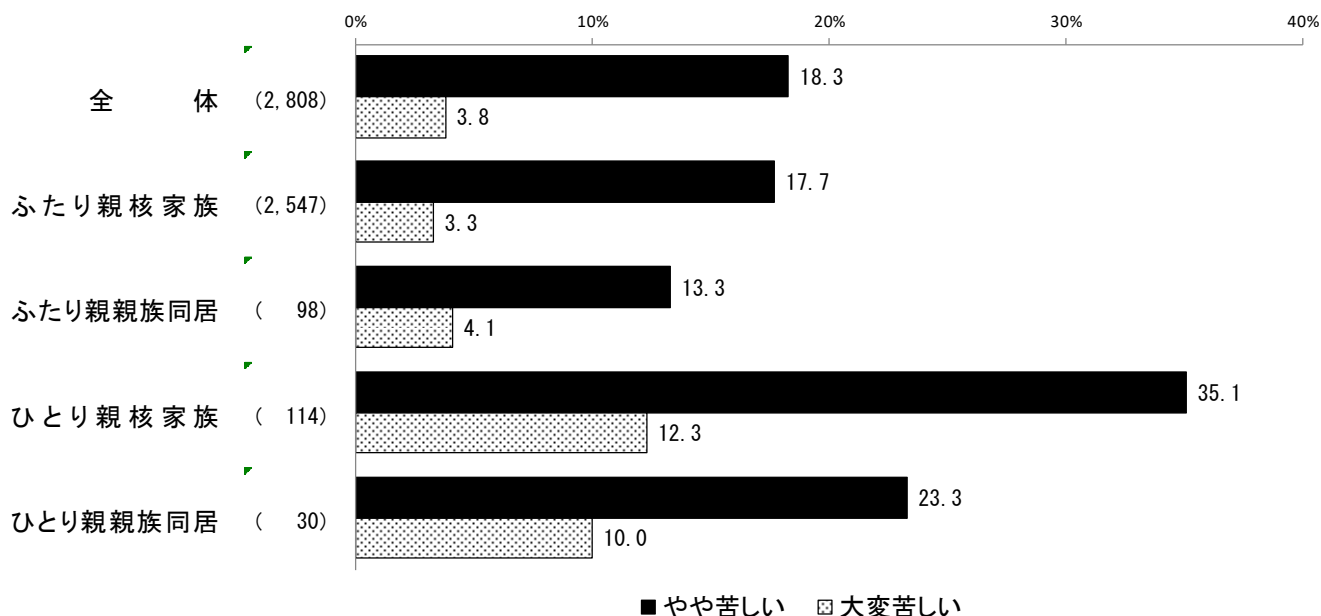
【図表 3-124】暮らしの状況



小学2年生のいる世帯の暮らしの状況を世帯構成別にみると、「やや苦しい」は『ひとり親親族同居』で35.1%と、全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

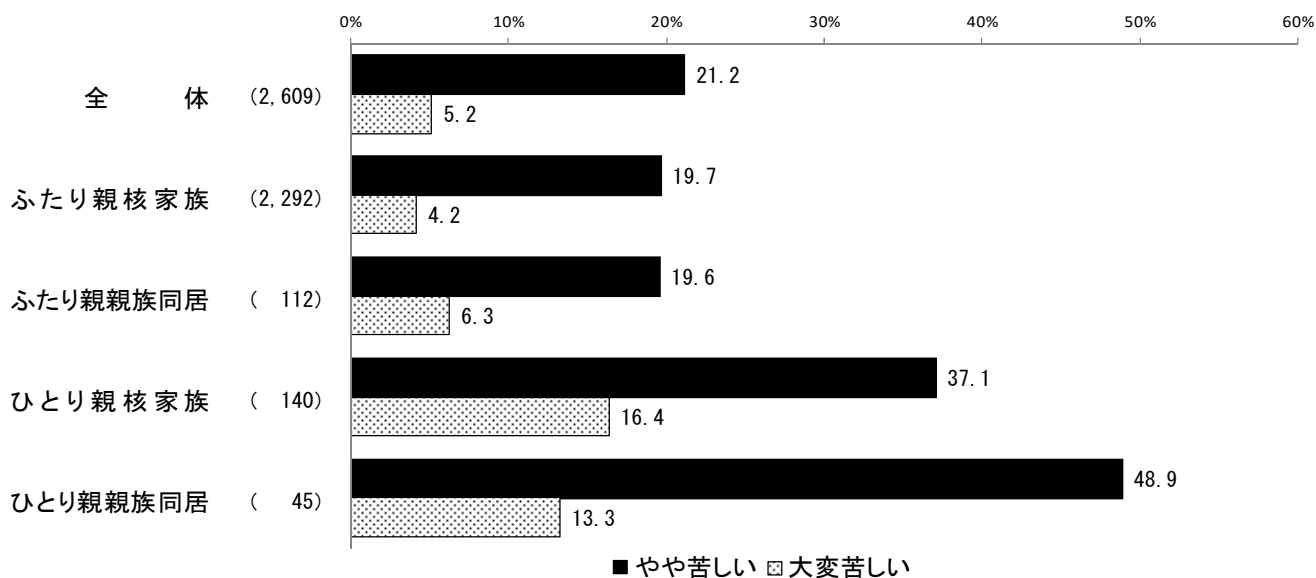
【図表 3-125】暮らしの状況(小学2年生・世帯構成別)



小学5年生のいる世帯の暮らしの状況を世帯構成別にみると、「やや苦しい」は『ひとり親核家族』(37.1%)、『ひとり親親族同居』(48.9%)で、「大変苦しい」は『ひとり親核家族』で16.4%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

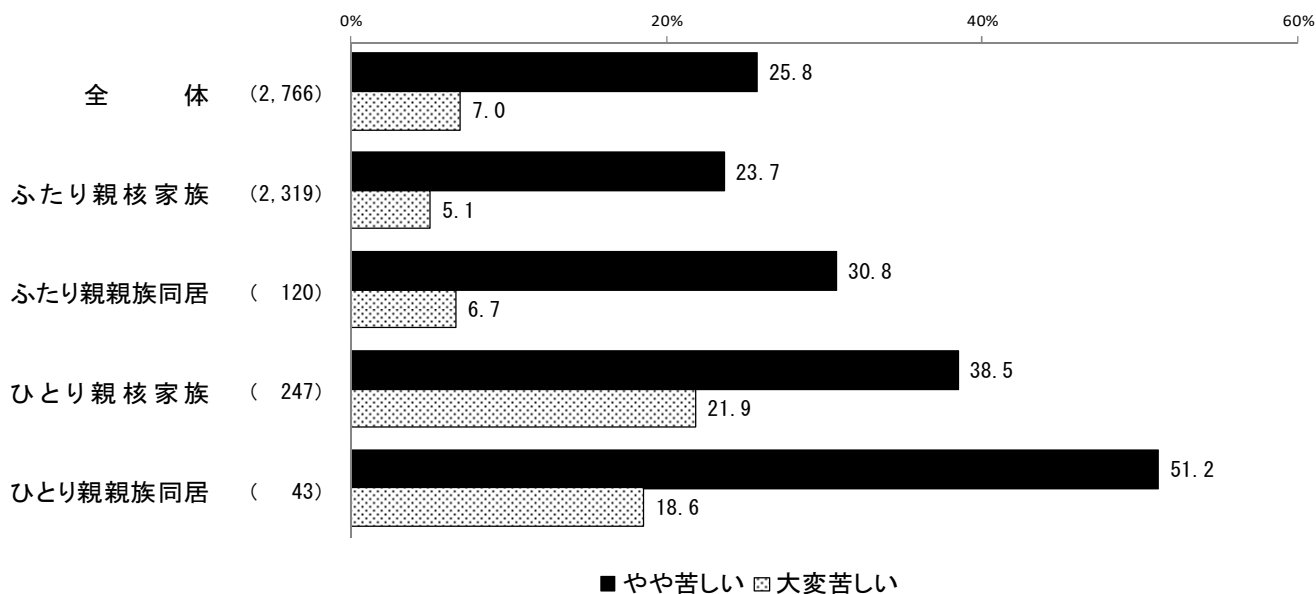
【図表 3-126】暮らしの状況（小学5年生・世帯構成別）



中学2年生のいる世帯の暮らしの状況を世帯構成別にみると、「やや苦しい」は『ひとり親核家族』(38.5%)、『ひとり親親族同居』(51.2%)で、「大変苦しい」は『ひとり親核家族』(21.9%)、『ひとり親親族同居』(18.6%)で全体に比べて高くなっている。

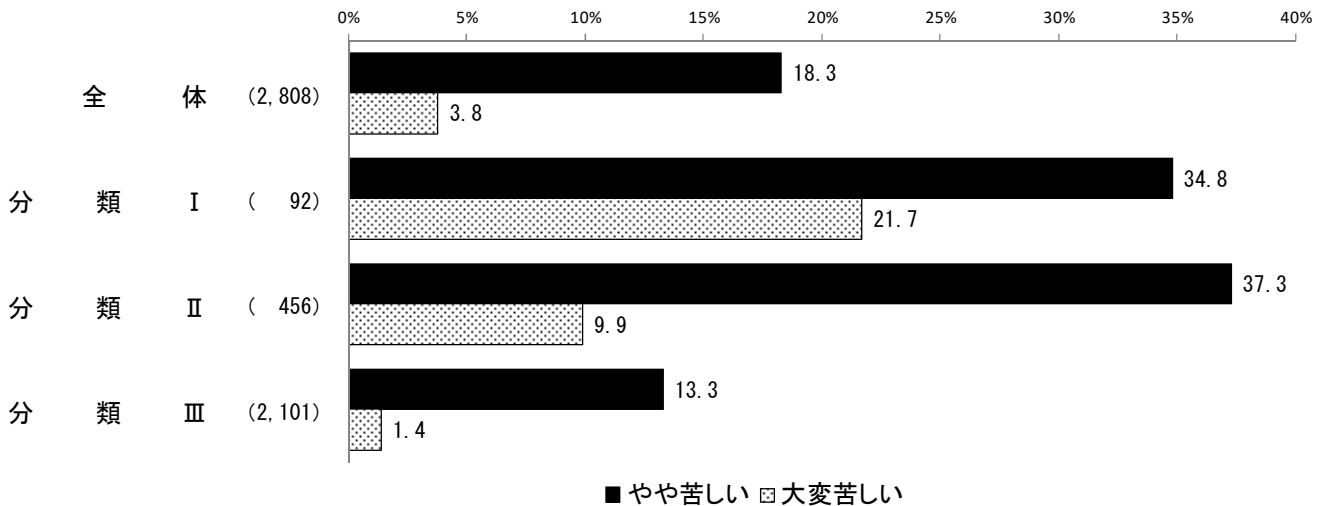
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-127】暮らしの状況（中学2年生・世帯構成別）



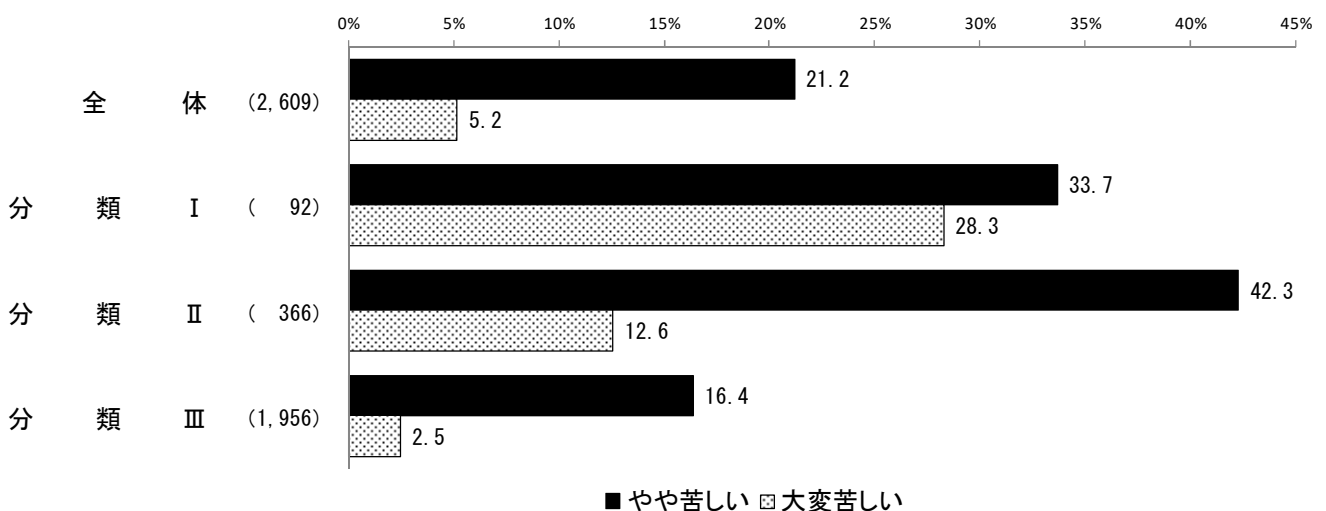
小学2年生のいる世帯の暮らしの状況を所得分類別にみると、「やや苦しい」は『分類Ⅰ』(34.8%)、『分類Ⅱ』(37.3%)で、「大変苦しい」は『分類Ⅰ』で21.7%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。

【図表 3-128】暮らしの状況（小学2年生・所得分類別）



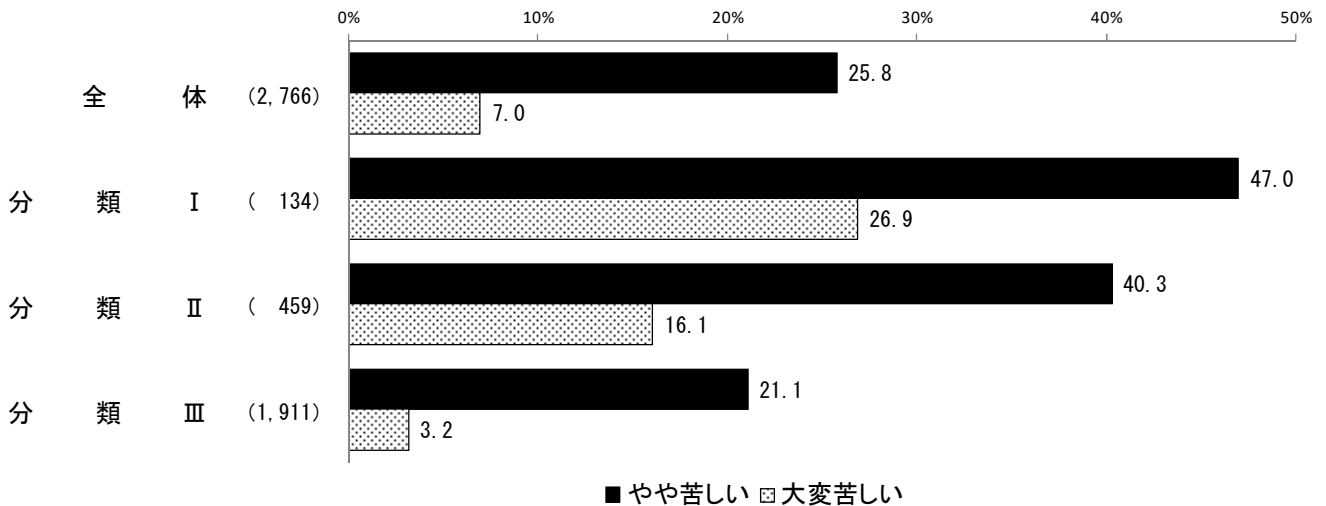
小学5年生のいる世帯の暮らしの状況を所得分類別にみると、「やや苦しい」は『分類Ⅰ』(33.7%)、『分類Ⅱ』(42.3%)で、「大変苦しい」は『分類Ⅰ』で28.3%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。

【図表 3-129】暮らしの状況（小学5年生・所得分類別）



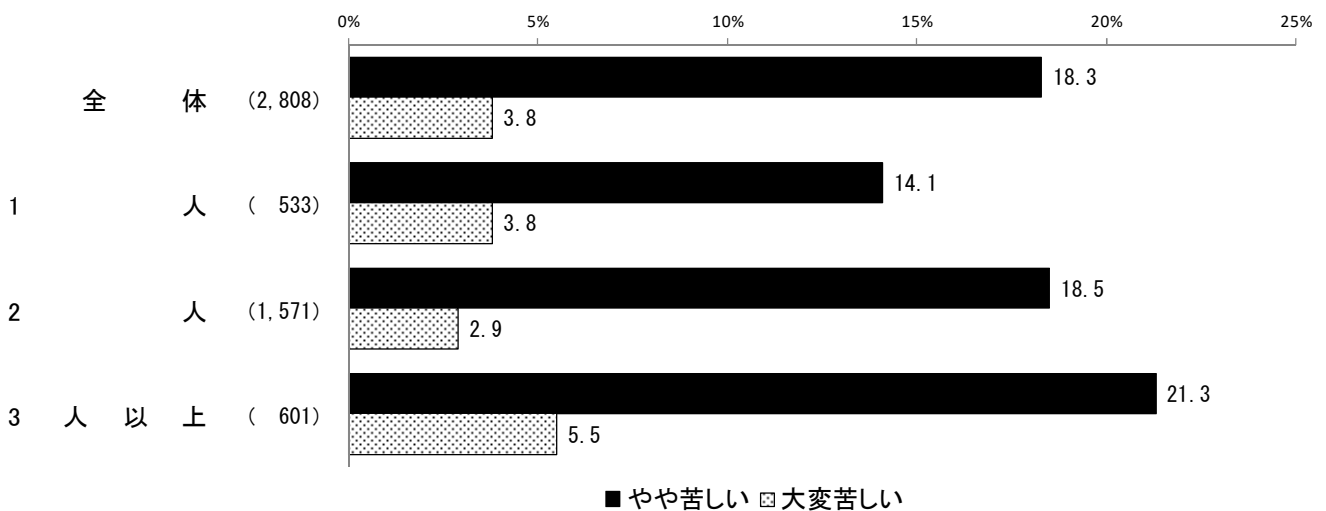
中学2年生のいる世帯の暮らしの状況を所得分類別にみると、「やや苦しい」は『分類Ⅰ』（47.0%）、『分類Ⅱ』（40.3%）で、「大変苦しい」は『分類Ⅰ』で26.9%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。

【図表 3-130】暮らしの状況（中学2年生・所得分類別）



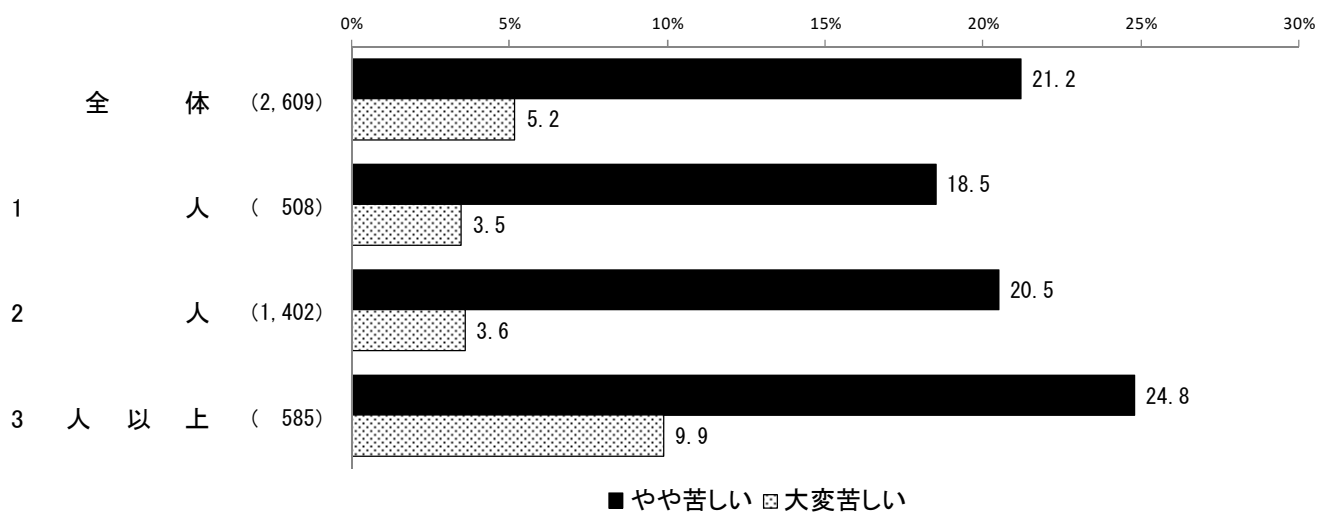
小学2年生のいる世帯の暮らしの状況を子どもの人数別にみると、大きな差はみられない。

【図表 3-131】暮らしの状況（小学2年生・子どもの人数別）



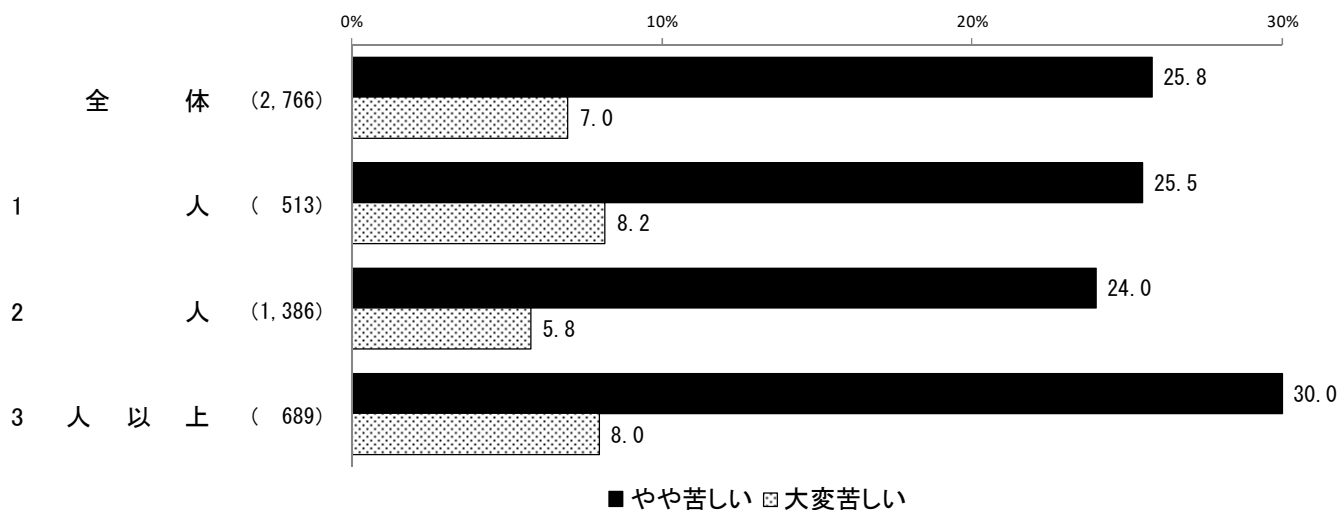
小学5年生のいる世帯の暮らしの状況を子どもの人数別にみると、大きな差はみられない。

【図表 3-132】暮らしの状況（小学5年生・子どもの人数別）



中学2年生のいる世帯の暮らしの状況を子どもの人数別にみると、大きな差はみられない。

【図表 3-133】暮らしの状況（中学2年生・子どもの人数別）

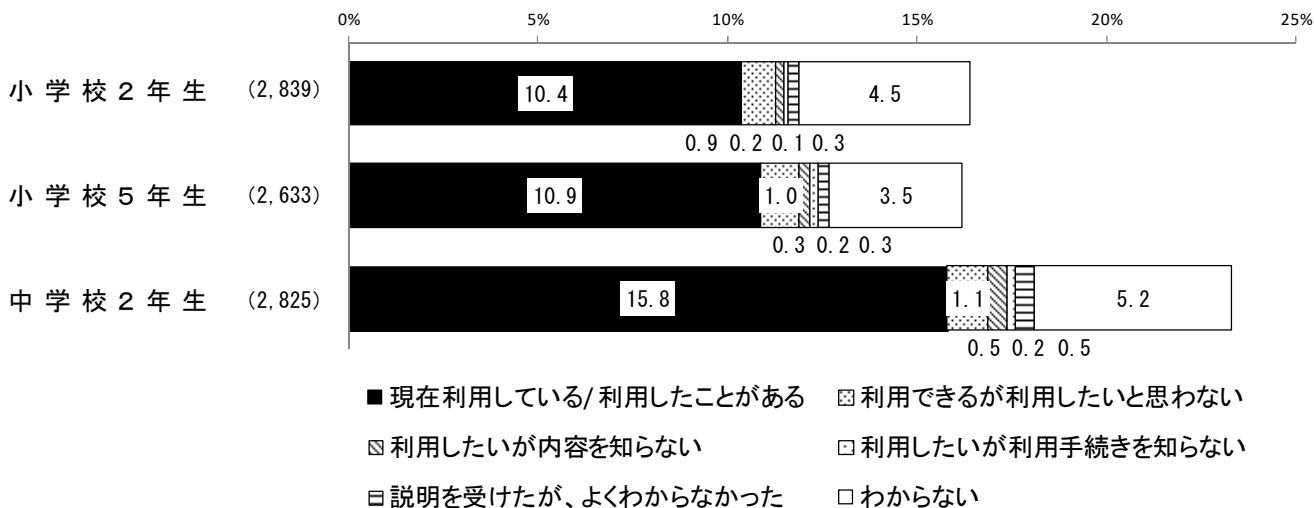


(4) 各支援制度の利用状況【小学・問39、中学・問37】(SA)

ア 就学援助

就学援助の利用状況を聞いたところ、いずれの学年でも「制度の対象外」(小学2年生：80.5%、小学5年生：79.7%、中学2年生：72.6%)が最も高く、次いで「現在利用している/利用したことがある」(小学2年生：10.4%、小学5年生：10.9%、中学2年生：15.8%)となっている。なお、「制度の対象外」は図表から除外している。

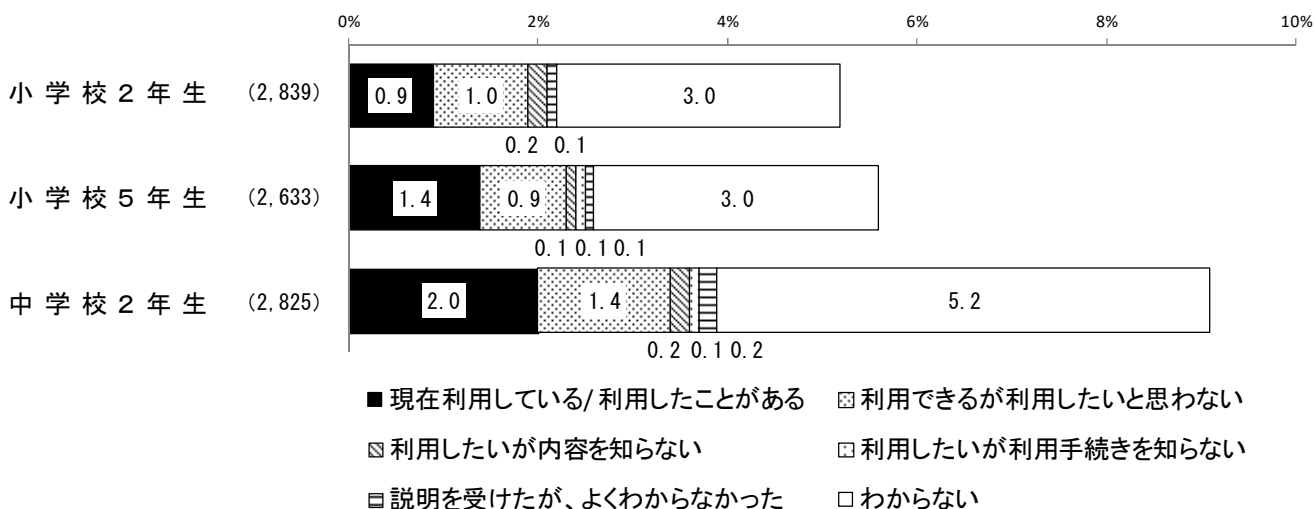
【図表 3-134】就学援助の利用状況



イ 生活保護

生活保護の利用状況を聞いたところ、いずれの学年でも「制度の対象外」(小学2年生：90.6%、小学5年生：89.3%、中学2年生：85.9%)が最も高くなっている。なお、「制度の対象外」は図表から除外している。

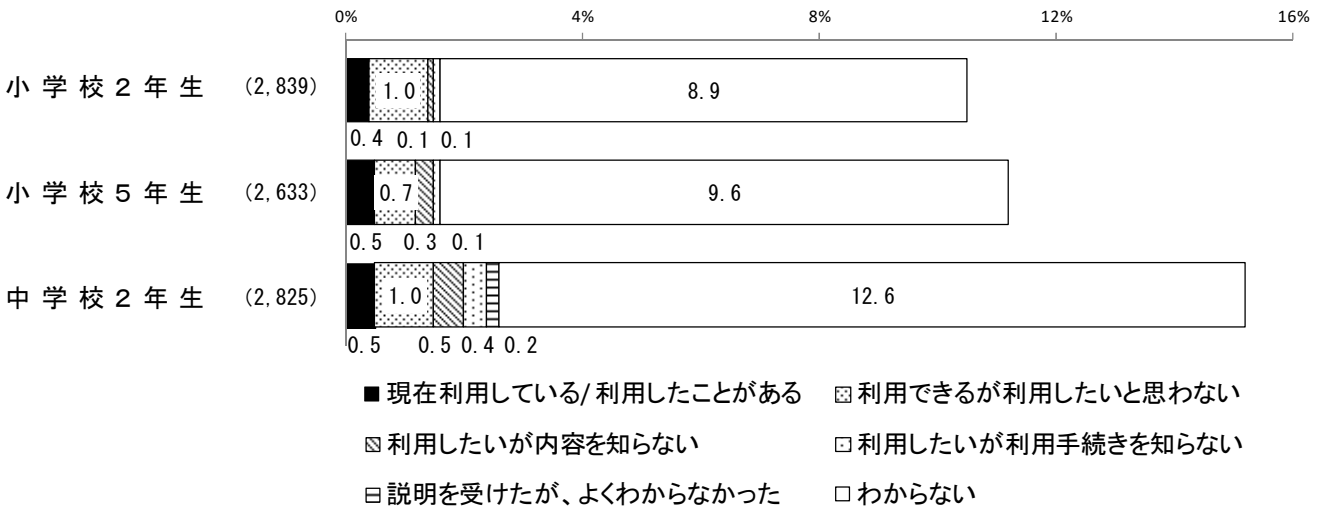
【図表 3-135】生活保護の利用状況



### ウ だいJOBセンター（生活困窮者の自立支援窓口）

だいJOBセンター（生活困窮者の自立支援窓口）の利用状況を聞いたところ、いずれの学年でも「制度の対象外」（小学2年生：85.0%、小学5年生：83.4%、中学2年生：79.1%）が最も高く、次いで「わからない」（小学2年生：8.9%、小学5年生：9.6%、中学2年生：12.6%）となっている。なお、「制度の対象外」は図表から除外している。

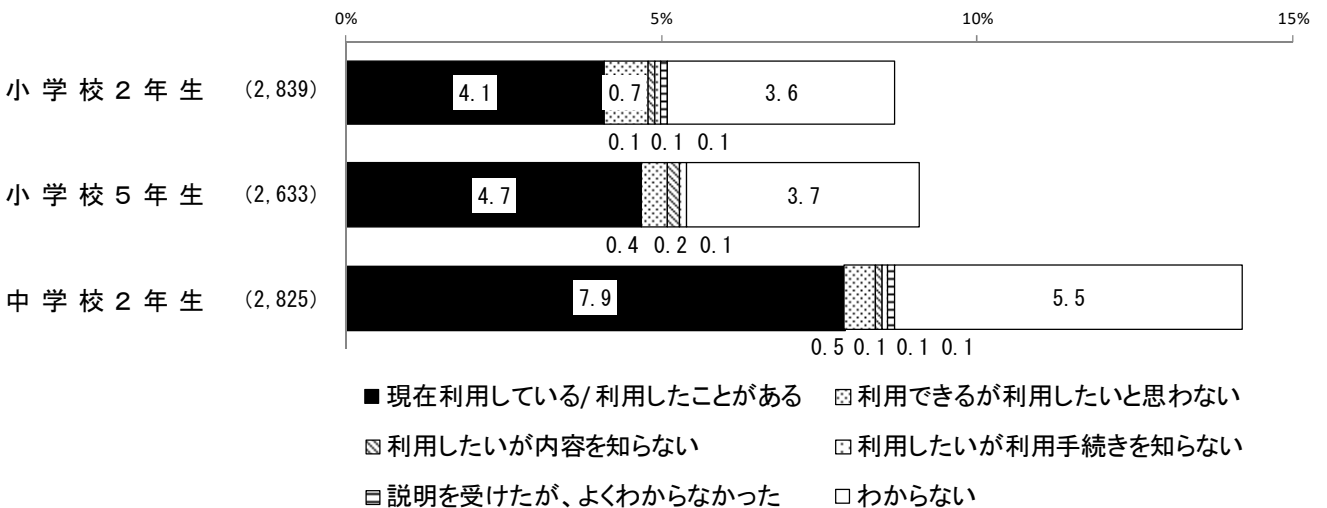
【図表 3-136】 だいJOBセンター（生活困窮者の自立支援窓口）の利用状況



### エ 児童扶養手当（ひとり親家庭などへの手当）

児童扶養手当（ひとり親家庭などへの手当）の利用状況を聞いたところ、いずれの学年でも「制度の対象外」（小学2年生：87.6%、小学5年生：86.1%、中学2年生：81.2%）が最も高く、次いで「現在利用している/利用したことがある」（小学2年生：4.1%、小学5年生：4.7%、中学2年生：7.9%）となっている。なお、「制度の対象外」は図表から除外している。

【図表 3-137】 児童扶養手当（ひとり親家庭などへの手当）の利用状況

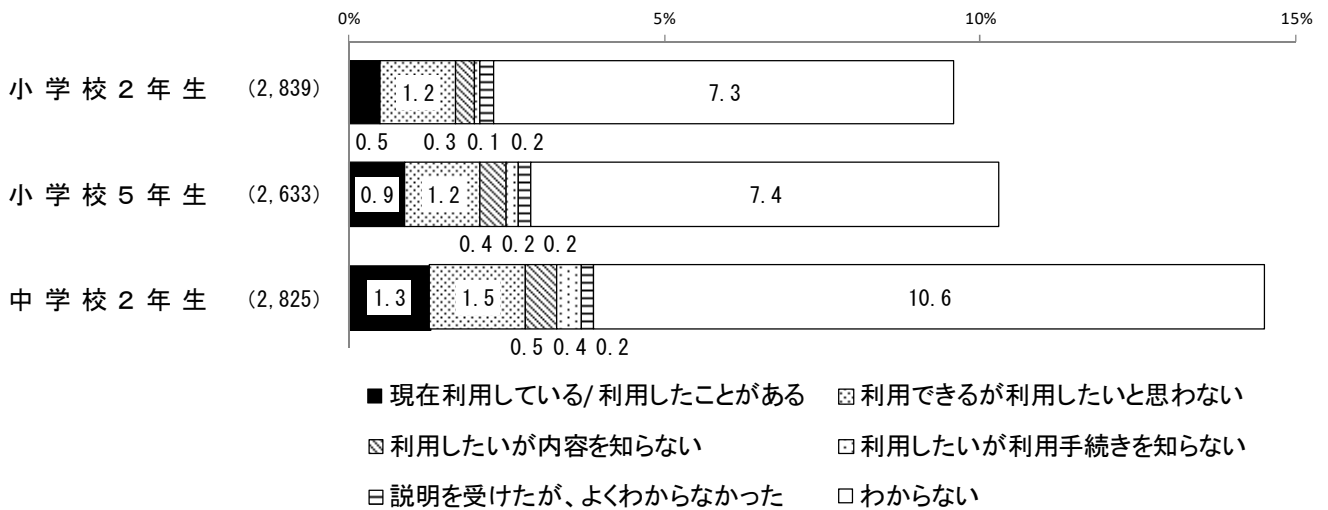




オ 川崎市母子・父子福祉センター（母子家庭等就業・自立支援センター）

川崎市母子・父子福祉センター（母子家庭等就業・自立支援センター）の利用状況を聞いたところ、いずれの学年でも「制度の対象外」（小学2年生：86.2%、小学5年生：84.6%、中学2年生：80.2%）が最も高く、次いで「わからない」（小学2年生：7.3%、小学5年生：7.4%、中学2年生：10.6%）となっている。なお、「制度の対象外」は図表から除外している。

【図表 3-138】川崎市母子・父子福祉センター（母子家庭等就業・自立支援センター）の利用状況



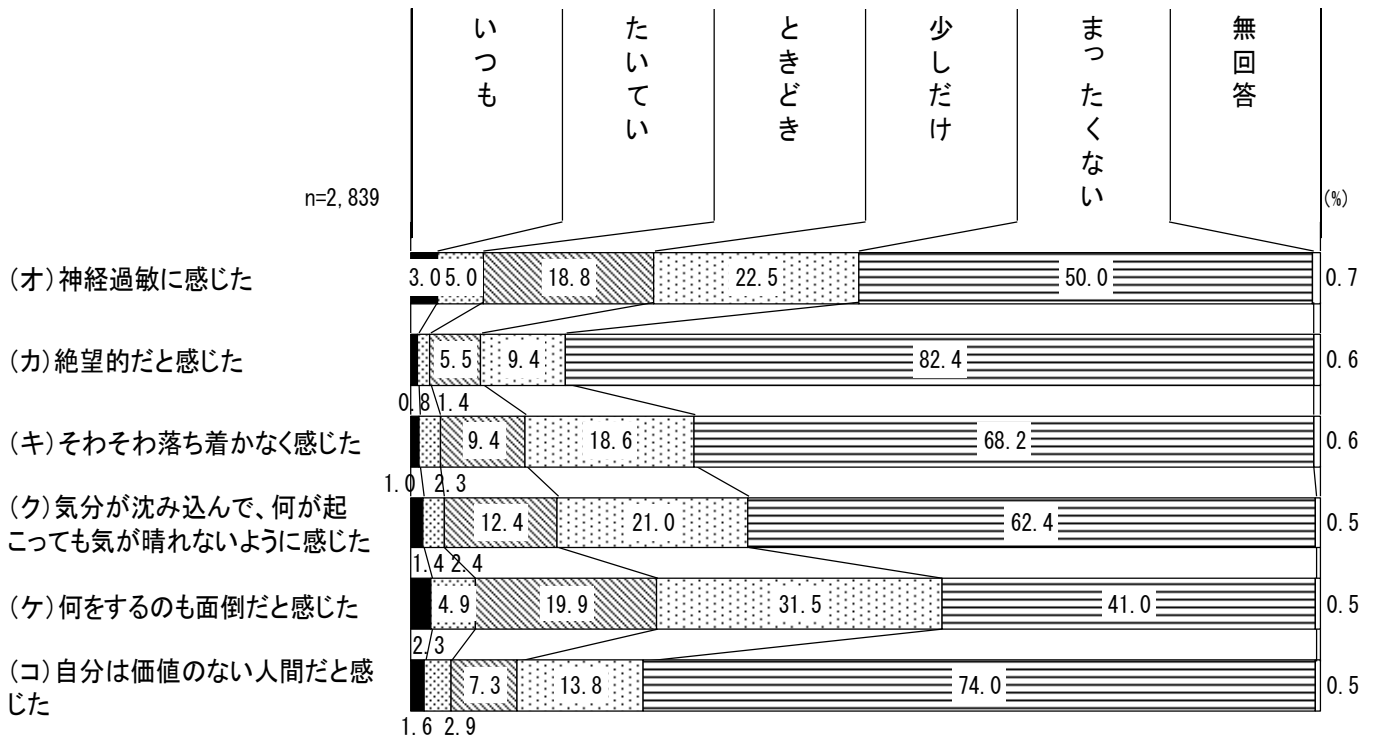
### 第3節 保護者の状況

#### (1) 保護者の精神状態や考え方

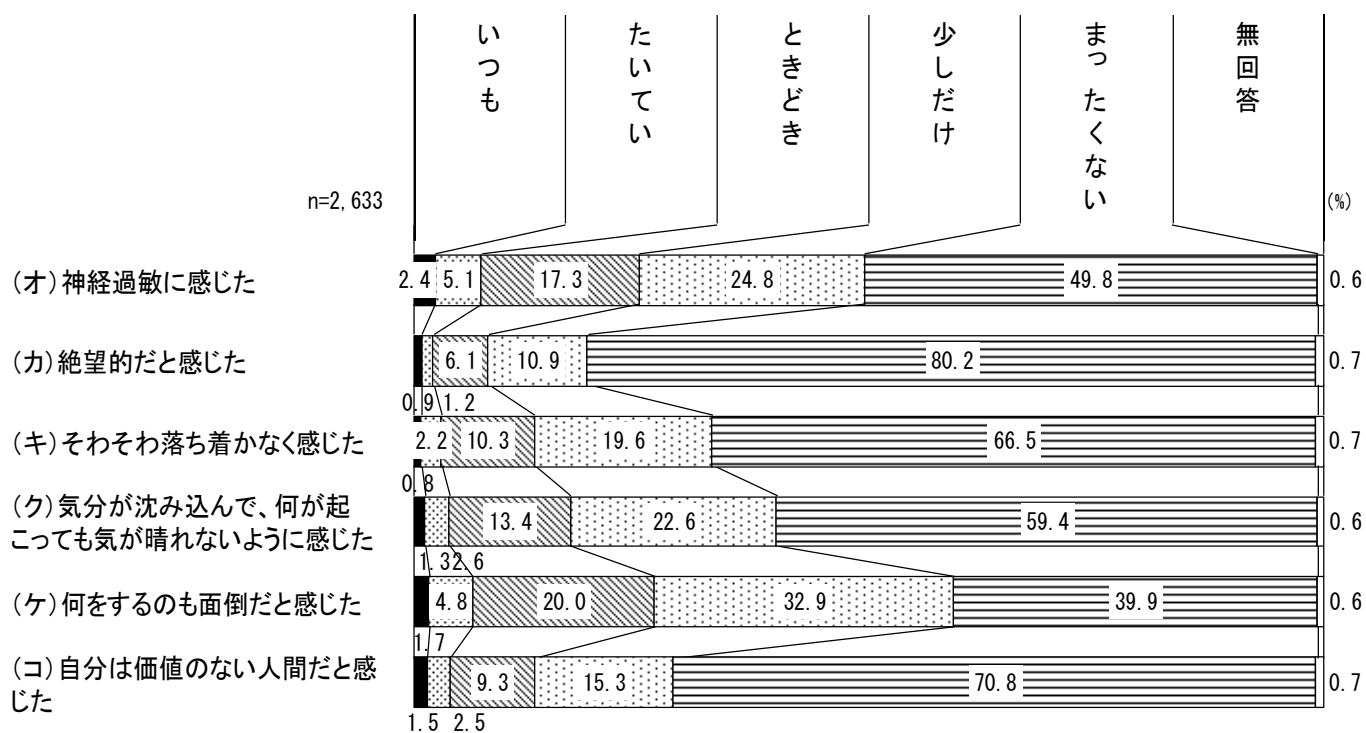
##### ア 保護者の精神状態【小学・問18・中学・問17】(小学オ～コ、中学ア～カ)(SA)

直近1か月間の保護者の精神状態や考え方を聞いたところ、いずれの学年でも「まったくない」の割合が『絶望的だと感じた』(小学2年生:82.4%、小学5年生:80.2%、中学2年生:70.3%)で最も高く、次いで『自分は価値のない人間だと感じた』(小学2年生:74.0%、小学5年生:70.8%、中学2年生:67.8%)となっている。

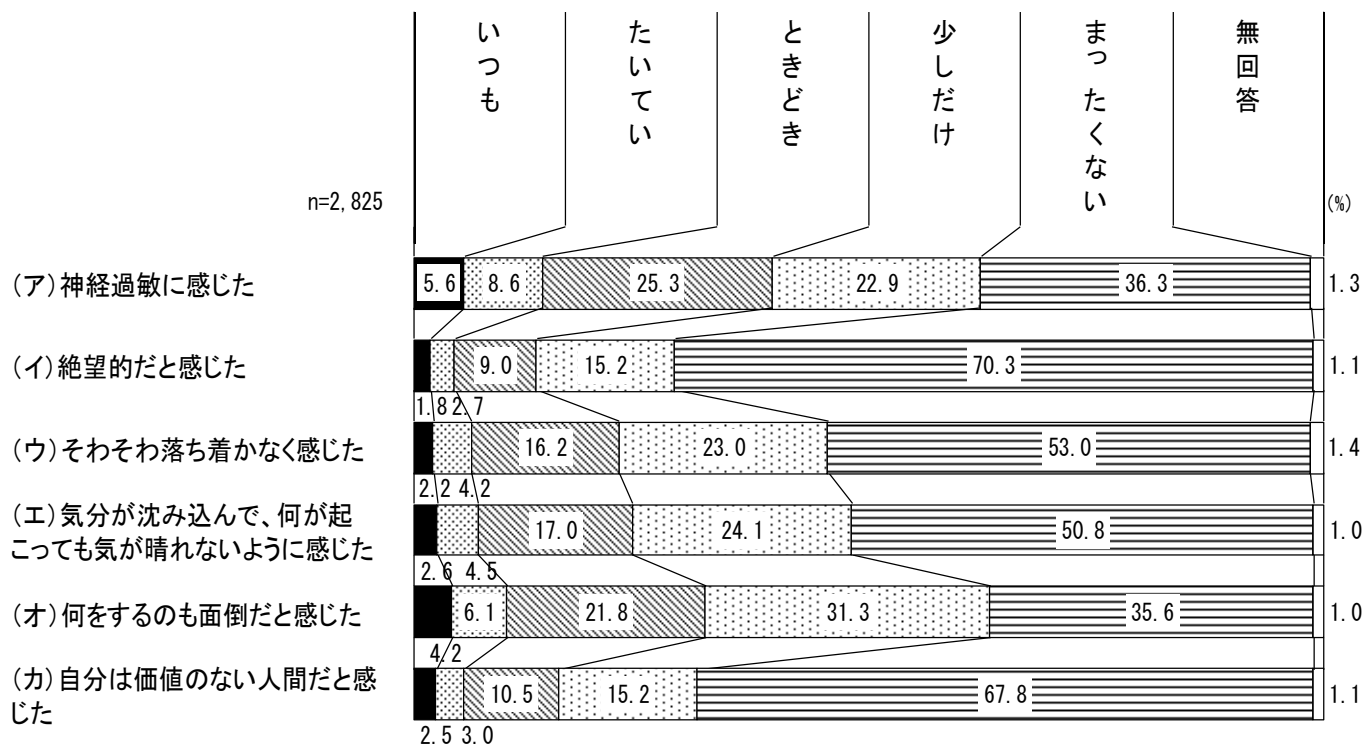
【図表 3-139】保護者の精神状態 (小学2年生)



【図表 3-140】 保護者の精神状態（小学5年生）

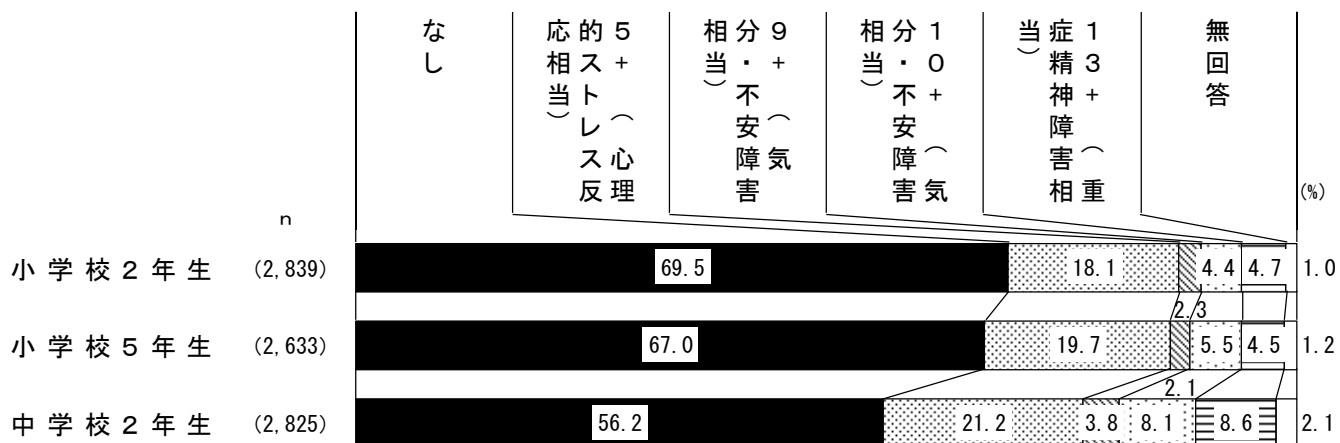


【図表 3-141】 保護者の精神状態（中学2年生）



保護者の精神状態をうつ傾向を測る指標として普及されているK 6 指標<sup>1</sup>に基づく分類で分けると、いずれの学年でも「なし」(小学2年生：69.5%、小学5年生：67.0%、中学2年生：56.2%)が最も高く、次いで「5+ (心理的ストレス反応相当)」(小学2年生：18.1%、小学5年生：19.7%、中学2年生：21.2%)となっている。

【図表 3-142】 K 6 指標に基づく抑うつ傾向

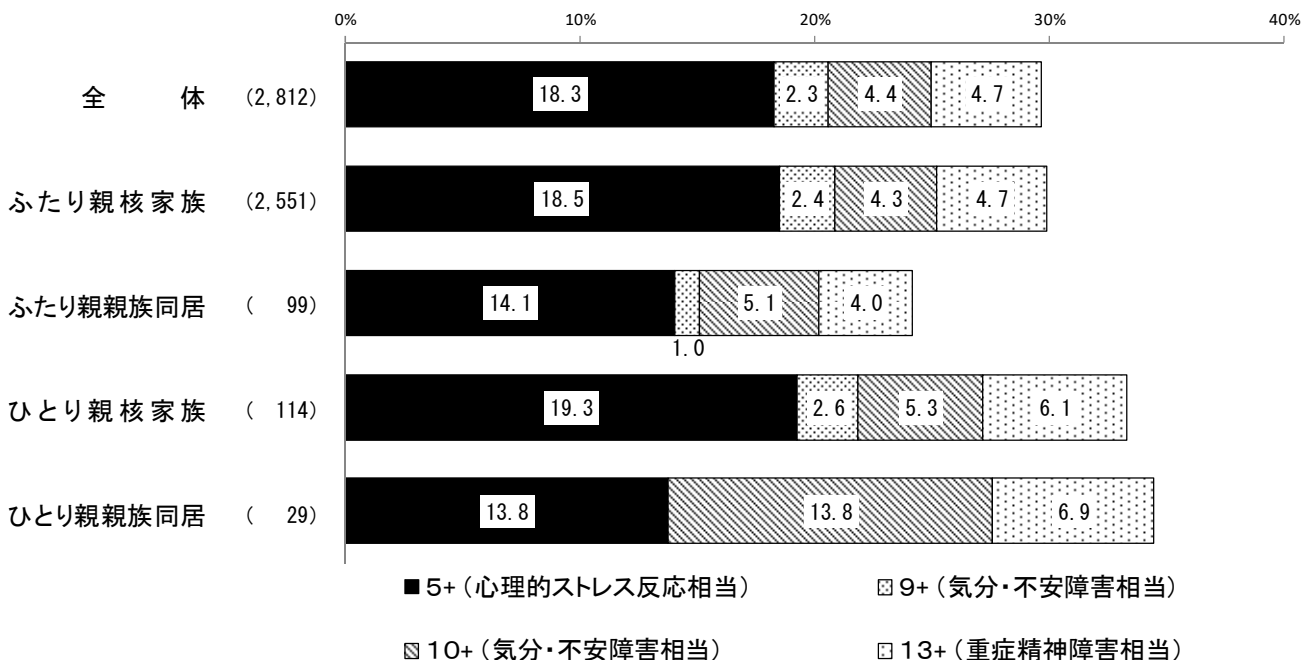


<sup>1</sup> K 6 指標は、米国の Kessler らによって、うつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、一般住民を対象とした調査で心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として広く利用されており、厚生労働省が実施する国民生活基礎調査においても用いられているものである。6つの質問について、5段階（「まったくない」(0点)、「少しだけ」(1点)、「ときどき」(2点)、「たいてい」(3点)、「いつも」(4点)）で点数化を行い、その得点によって「重症精神障害相当」(13点以上)、「気分・不安障害相当」(9点以上及び10点以上)、「心理的ストレス反応相当」(5点以上)に分類され、合計点数が高いほど精神的な問題がより重い可能性があるとしてされている。

「重症精神障害相当」(13 点以上)、「気分・不安障害相当」(9 点以上及び 10 点以上)、「心理的ストレス反応相当」(5 点以上) それぞれについて、小学 2 年生のいる世帯の保護者の抑うつ傾向を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

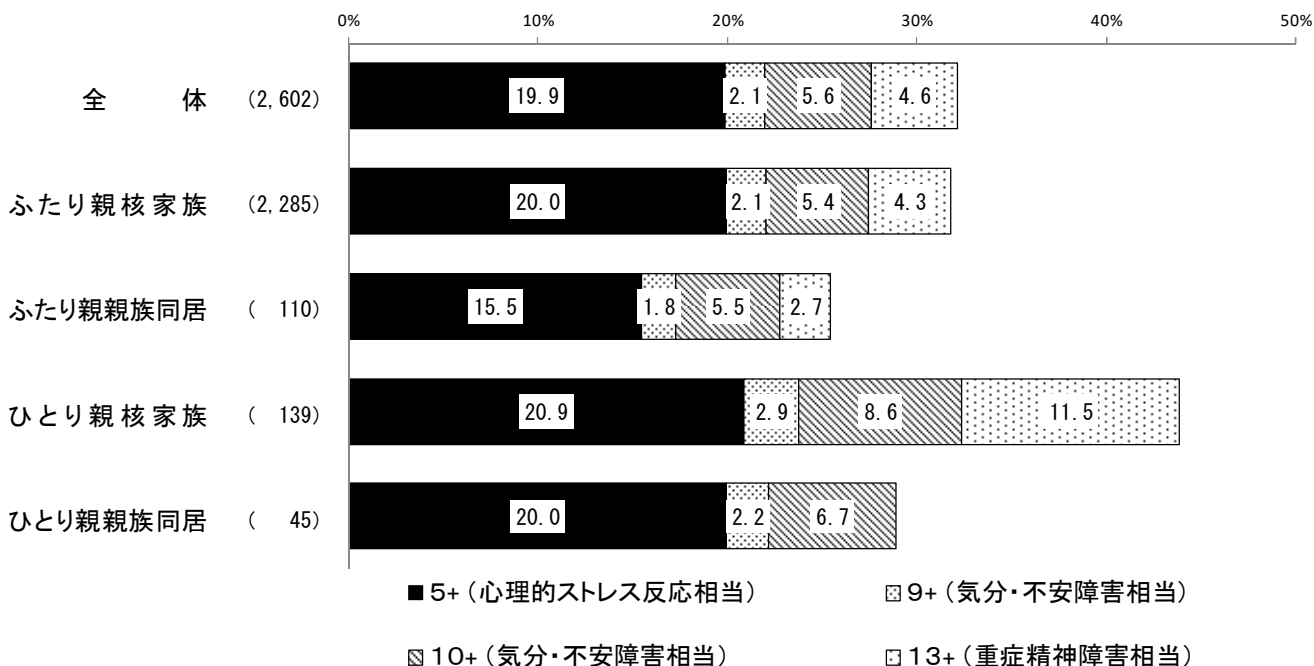
【図表 3-143】 K 6 指標に基づく抑うつ傾向 (小学 2 年生・世帯構成別)



「重症精神障害相当」(13 点以上)、「気分・不安障害相当」(9 点以上及び 10 点以上)、「心理的ストレス反応相当」(5 点以上) それぞれについて、小学 5 年生のいる世帯の保護者の抑うつ傾向を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

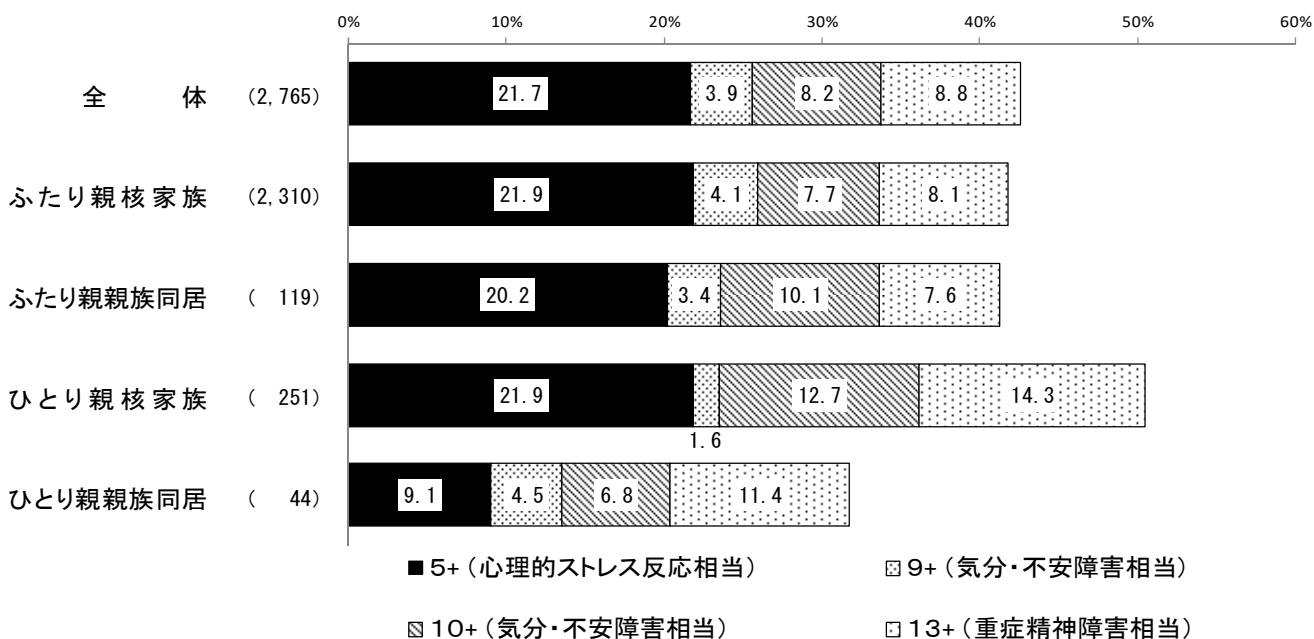
【図表 3-144】 K 6 指標に基づく抑うつ傾向 (小学 5 年生・世帯構成別)



「重症精神障害相当」(13 点以上)、「気分・不安障害相当」(9 点以上及び 10 点以上)、「心理的ストレス反応相当」(5 点以上) それぞれについて、中学 2 年生のいる世帯の保護者の抑うつ傾向を世帯構成別にみると、「5+ (心理的ストレス反応相当)」は『ひとり親親族同居』で 9.1%と全体に比べて低くなっている。

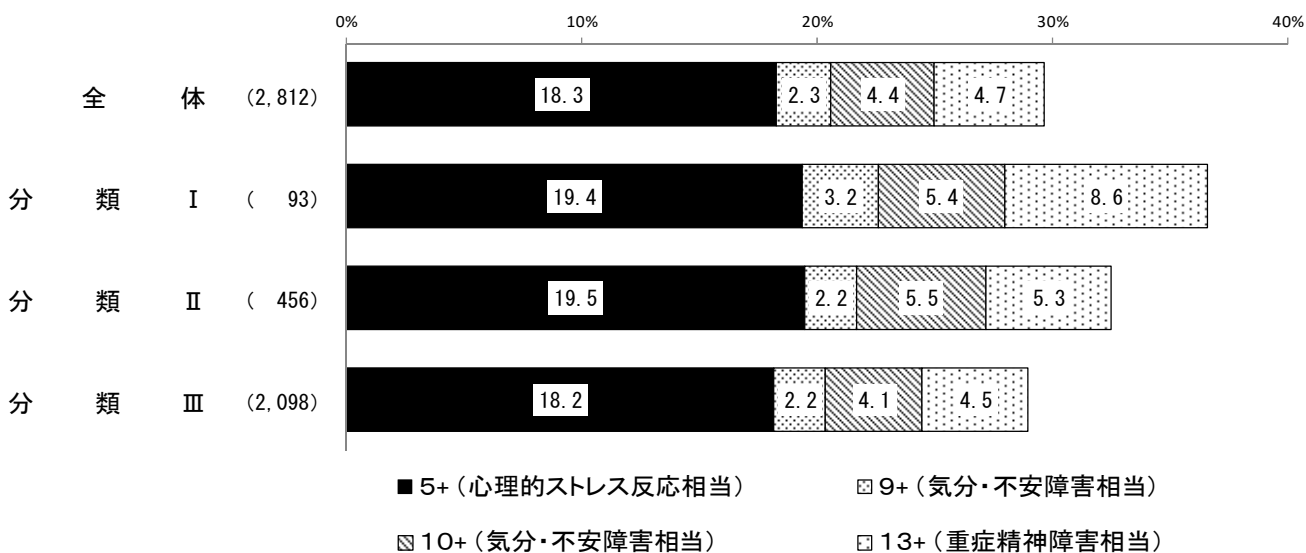
なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

【図表 3-145】 K 6 指標に基づく抑うつ傾向 (中学 2 年生・世帯構成別)



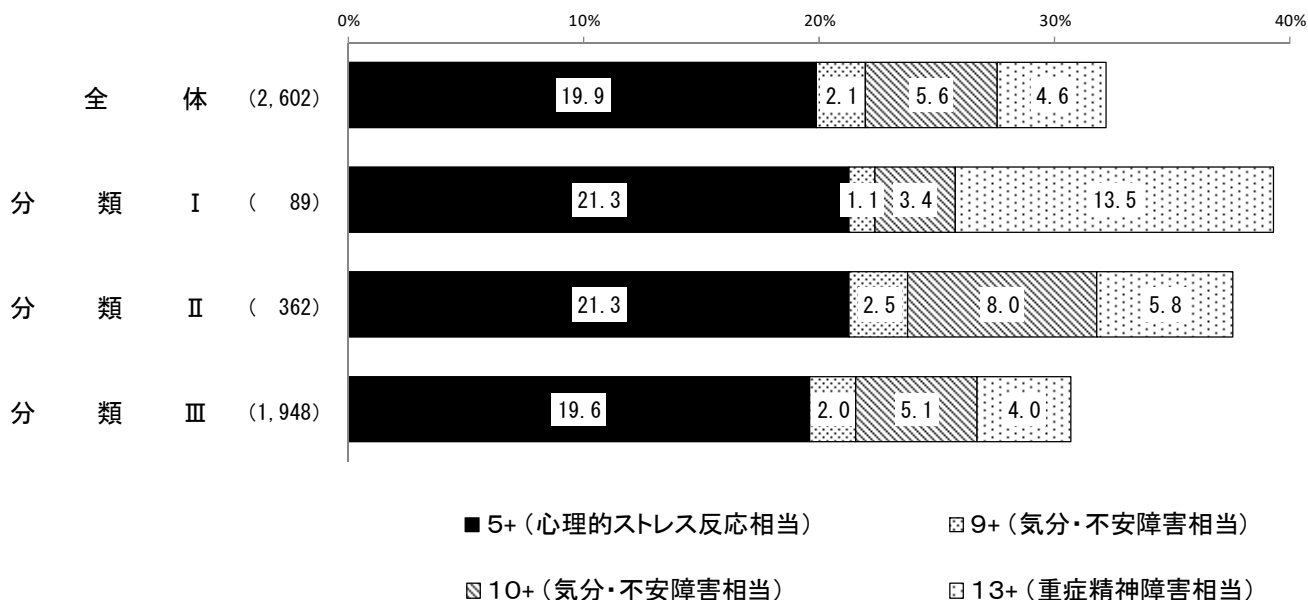
「重症精神障害相当」(13 点以上)、「気分・不安障害相当」(9 点以上及び 10 点以上)、「心理的ストレス反応相当」(5 点以上) それぞれについて、小学 2 年生のいる世帯の保護者の抑うつ傾向を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

【図表 3-146】 K 6 指標に基づく抑うつ傾向 (小学 2 年生・所得分類別)



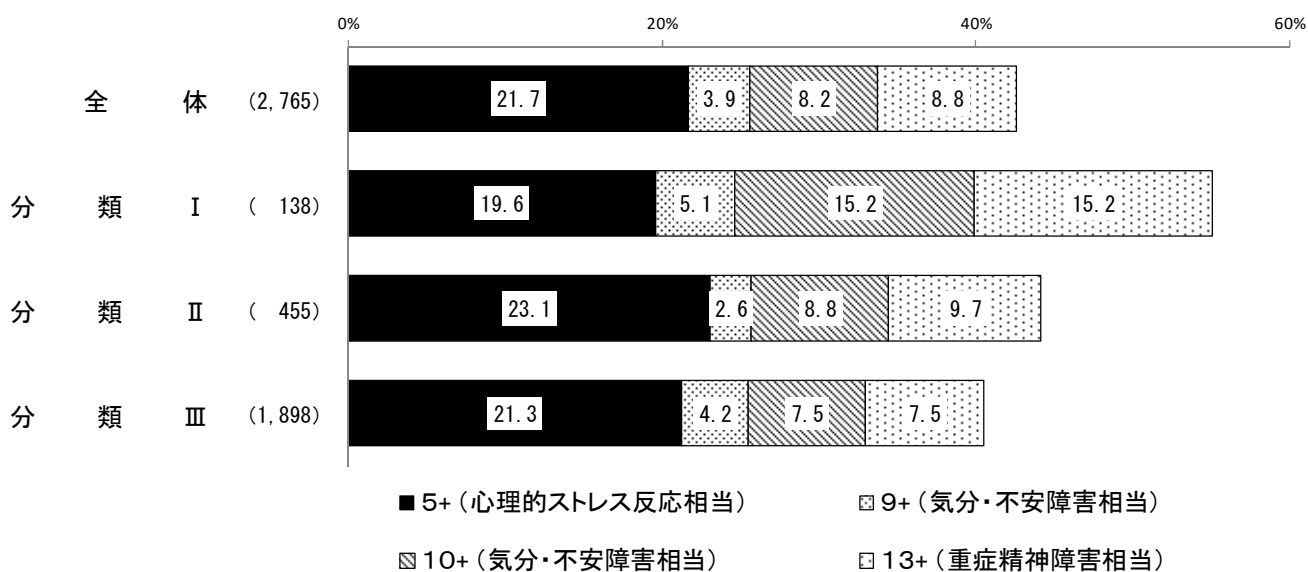
「重症精神障害相当」(13点以上)、「気分・不安障害相当」(9点以上及び10点以上)、「心理的ストレス反応相当」(5点以上)それぞれについて、小学5年生のいる世帯の保護者の抑うつ傾向を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

【図表 3-147】 K6指標に基づく抑うつ傾向（小学5年生・所得分類別）



「重症精神障害相当」(13点以上)、「気分・不安障害相当」(9点以上及び10点以上)、「心理的ストレス反応相当」(5点以上)それぞれについて、中学2年生のいる世帯の保護者の抑うつ傾向を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

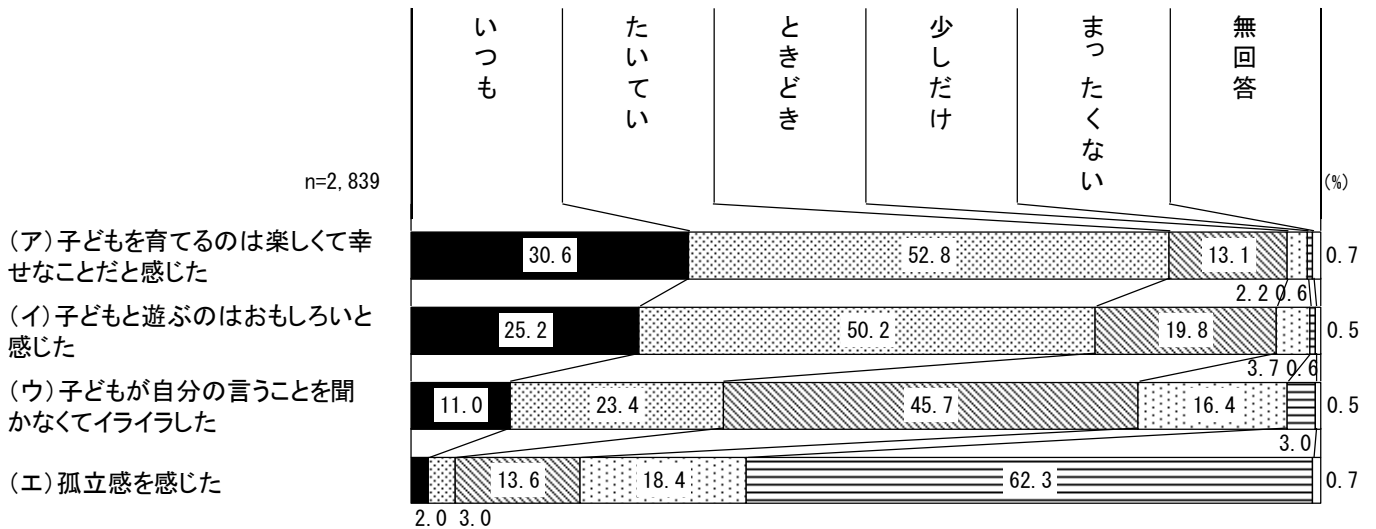
【図表 3-148】 K6指標に基づく抑うつ傾向（中学2年生・所得分類別）



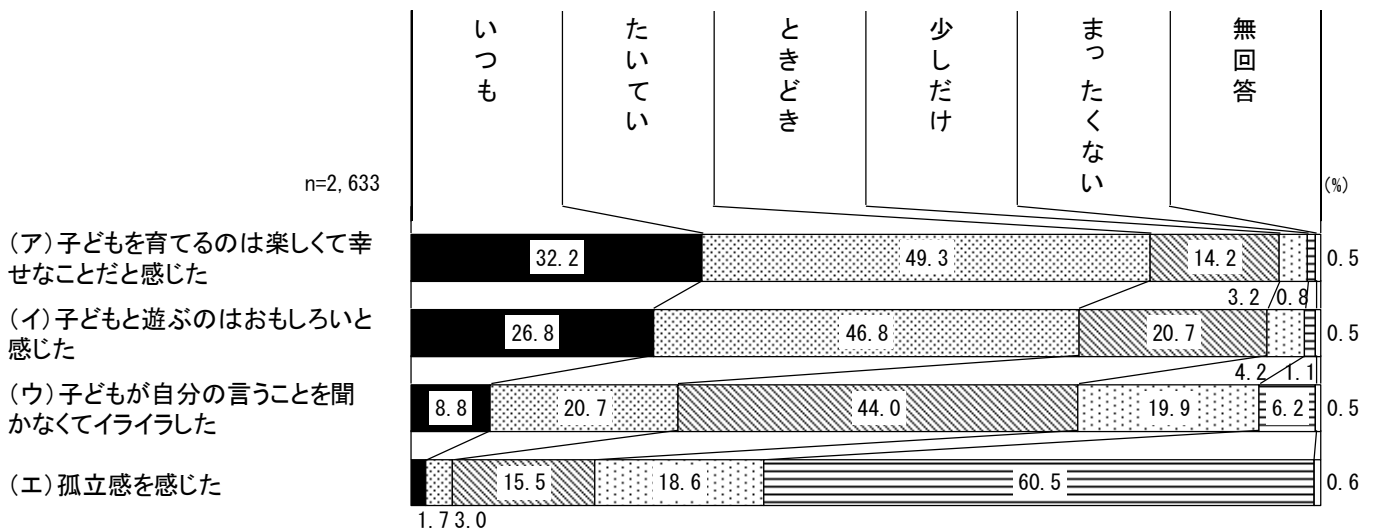
イ 子育てに関する感情【小学・問18】(ア～エ)(SA)

保護者の精神状態を聞いたところ、小学2年生、小学5年生のいる世帯の保護者ともに「いつも」は『子どもを育てるのは楽しくて幸せなことだと感じた』(小学2年生:30.6%、小学5年生:32.2%)が最も高く、次いで『子どもと遊ぶのはおもしろいと感じた』(小学2年生:25.2%、小学5年生:26.8%)となっている。

【図表 3-149】 子育てに関する感情 (小学2年生)



【図表 3-150】 子育てに関する感情 (小学5年生)

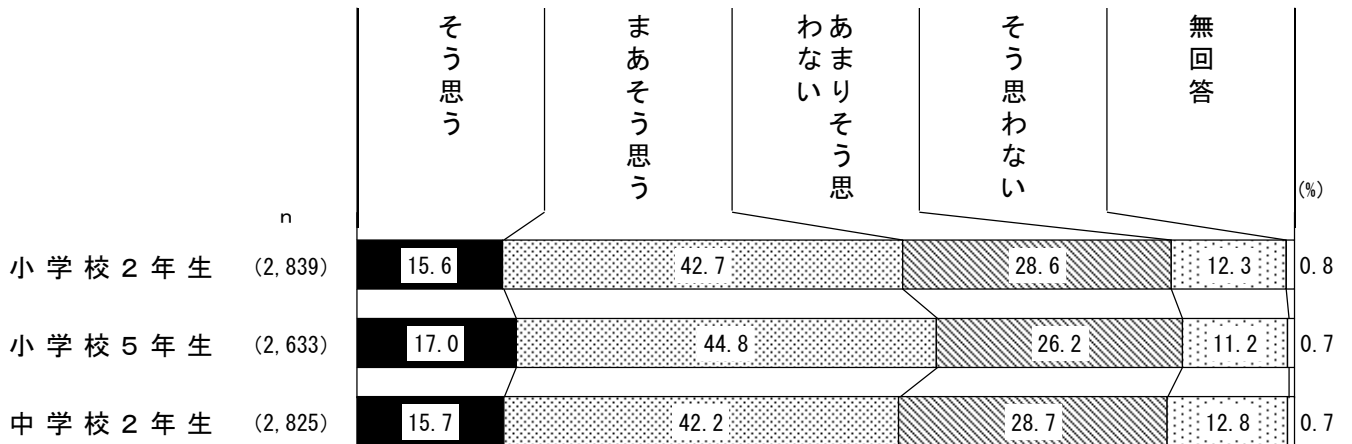




ウ 将来に対する考え方など【小学・問15、中学・問14】(SA)

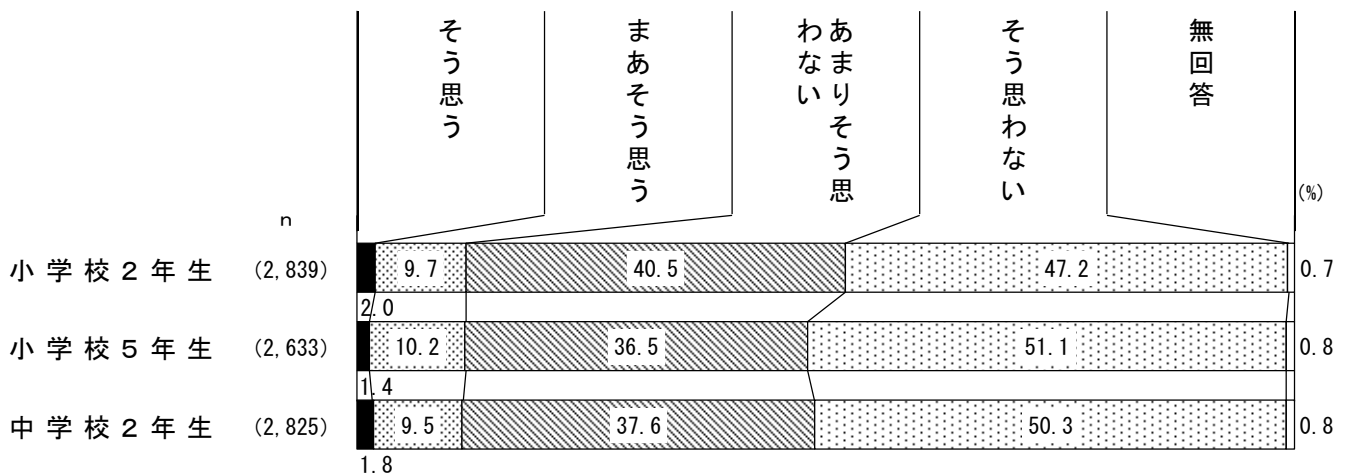
『大学を出ないとよい仕事につけないと思う』についてどう思うか聞いたところ、いずれの学年でも「そう思う」と「まあそう思う」を足し合わせた割合が「あまりそう思わない」と「そう思わない」を足し合わせた割合を上回っている。

【図表 3-151】『大学を出ないとよい仕事につけないと思う』について



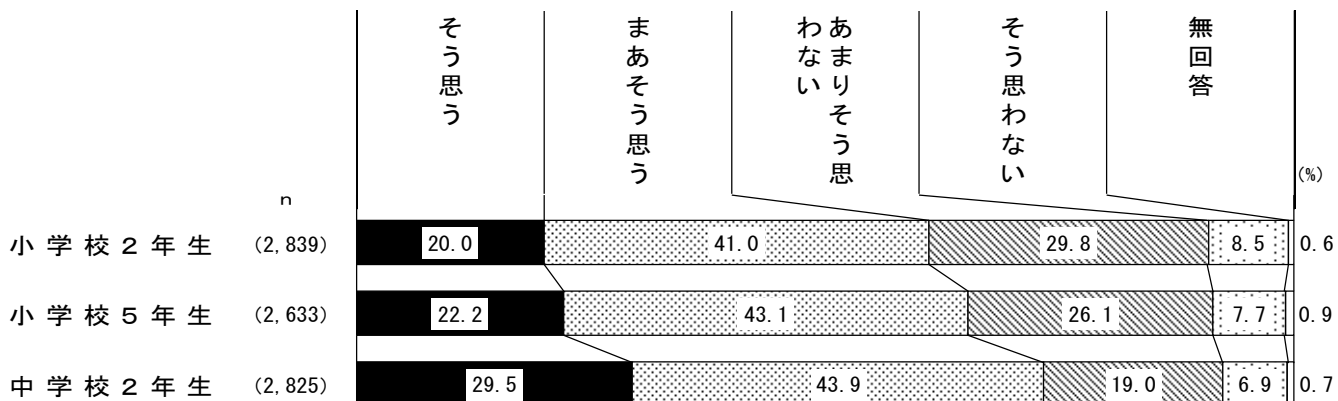
『がんばって働かなくても生活していけると思う』についてどう思うか聞いたところ、いずれの学年でも「そう思わない」と「あまりそう思わない」を足し合わせた割合が「そう思う」と「まあそう思う」を足し合わせた割合を上回っている。

【図表 3-152】『がんばって働かなくても生活していけると思う』について



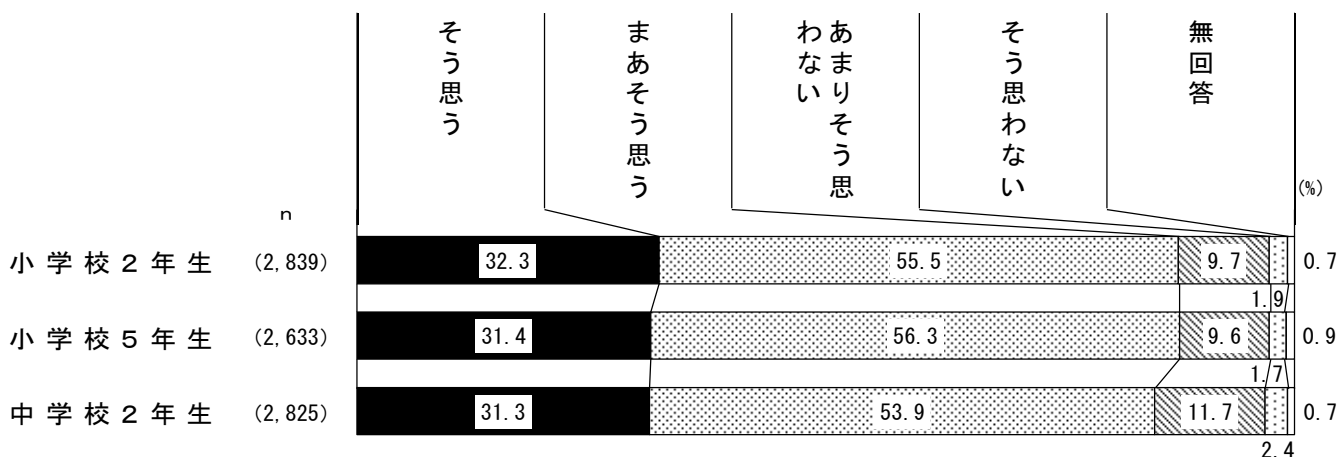
『子どもが希望する学校や会社に入れるか不安だ』についてどう思うか聞いたところ、いずれの学年でも「そう思う」と「まあそう思う」を足し合わせた割合が「あまりそう思わない」と「そう思わない」を足し合わせた割合を上回っている。

【図表 3-153】『子どもが希望する学校や会社に入れるか不安だ』について



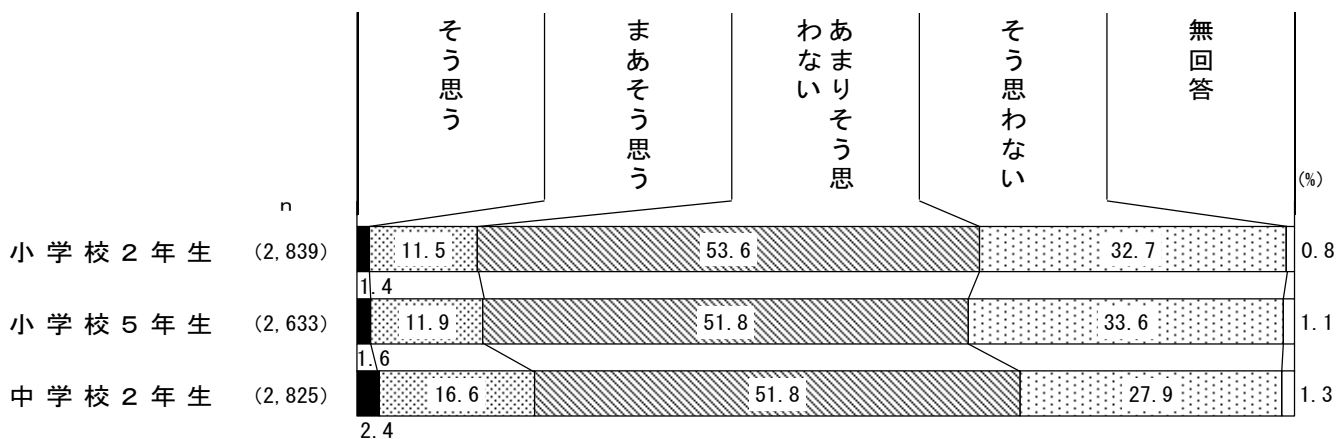
『努力すれば夢や希望はかなえられると思う』についてどう思うか聞いたところ、いずれの学年でも「そう思う」と「まあそう思う」を足し合わせた割合が「あまりそう思わない」と「そう思わない」を足し合わせた割合を上回っている。

【図表 3-154】『努力すれば夢や希望はかなえられると思う』について



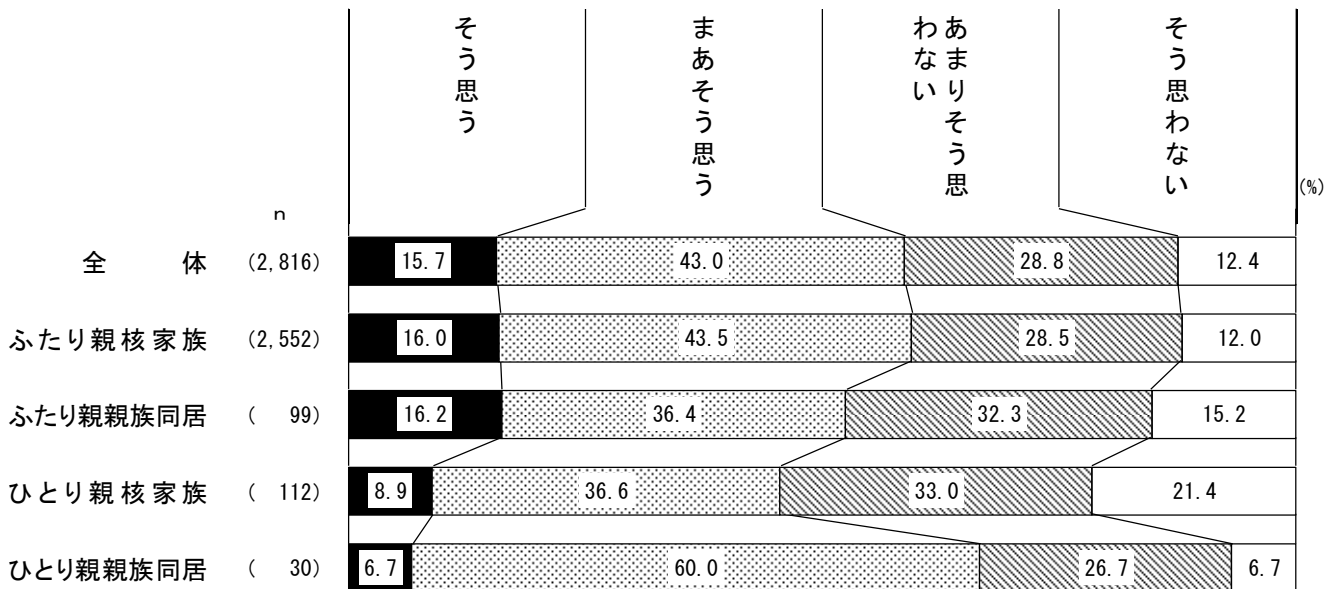
『子どもには少しでも早く働いて欲しいと思う』についてどう思うか聞いたところ、いずれの学年でも「そう思わない」と「あまりそう思わない」を足し合わせた割合が「そう思う」と「まあそう思う」を足し合わせた割合を上回っている。

【図表 3-155】『子どもには少しでも早く働いて欲しいと思う』について

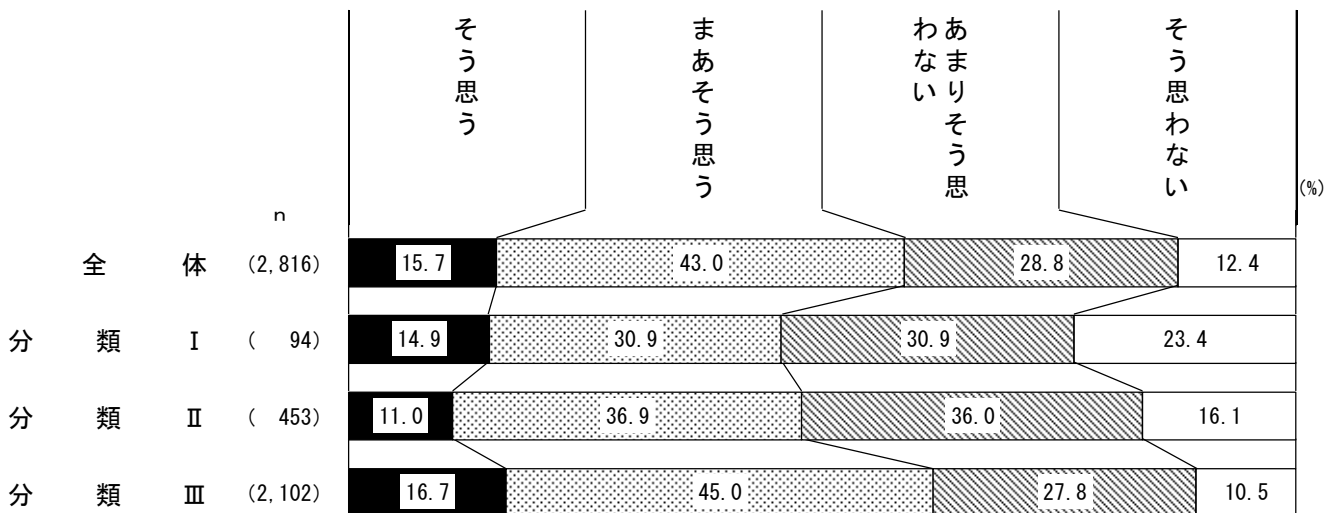


小学2年生のいる世帯の保護者の『大学を出ないとよい仕事につけないと思う』という考えを世帯構成別にみると、「まあそう思う」は『ひとり親親族同居』で60.0%と、全体に比べて高くなっている。所得分類別でみると、「そう思わない」は『分類Ⅰ』で23.4%と、全体に比べて高くなっている。なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-156】『大学を出ないとよい仕事につけないと思う』について  
(小学2年生・世帯構成別)



【図表 3-157】『大学を出ないとよい仕事につけないと思う』について  
(小学2年生・所得分類別)

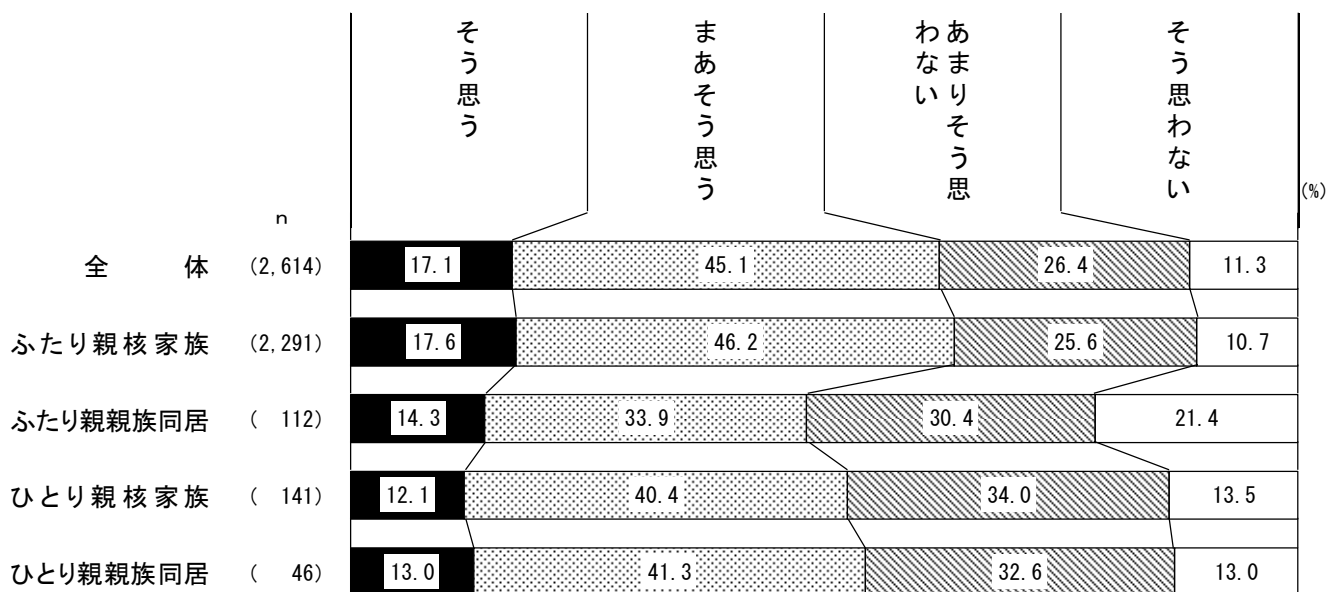


小学5年生のいる世帯の保護者の『大学を出ないとよい仕事につけないと思う』という考えを世帯構成別にみると、「そう思わない」は『ふたり親親族同居』で21.4%と、全体に比べて高くなっている。

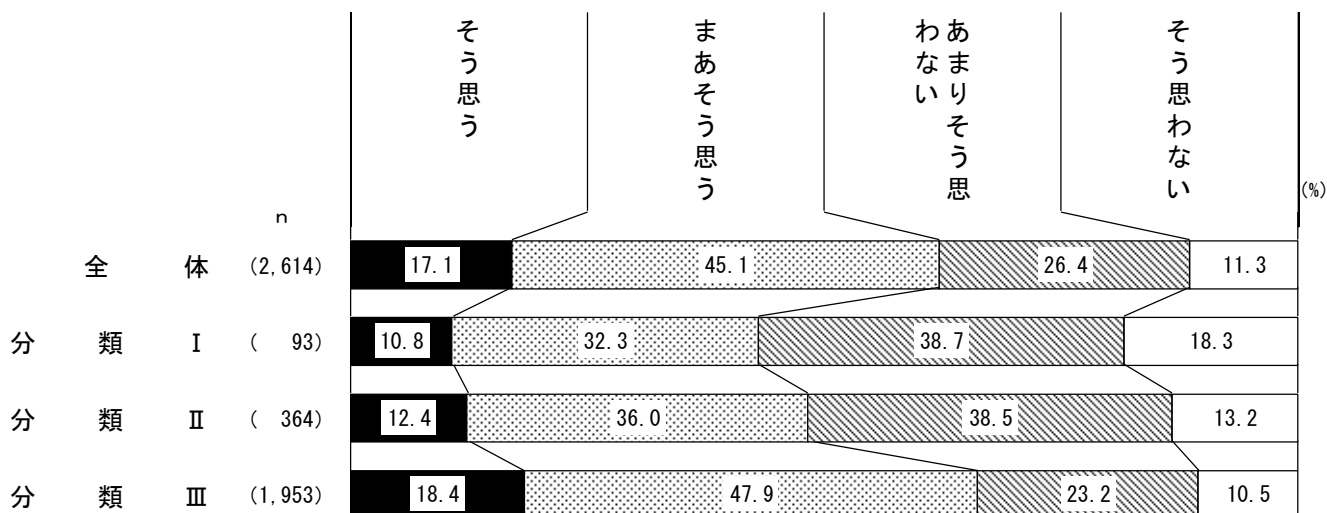
所得分類別でみると、「あまりそう思わない」は『分類Ⅰ』で38.7%、『分類Ⅱ』で38.5%とそれぞれ全体に比べて高くなっている。一方、「まあそう思う」は『分類Ⅰ』で32.3%と、全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-158】『大学を出ないとよい仕事につけないと思う』について  
(小学5年生・世帯構成別)



【図表 3-159】『大学を出ないとよい仕事につけないと思う』について  
(小学5年生・所得分類別)

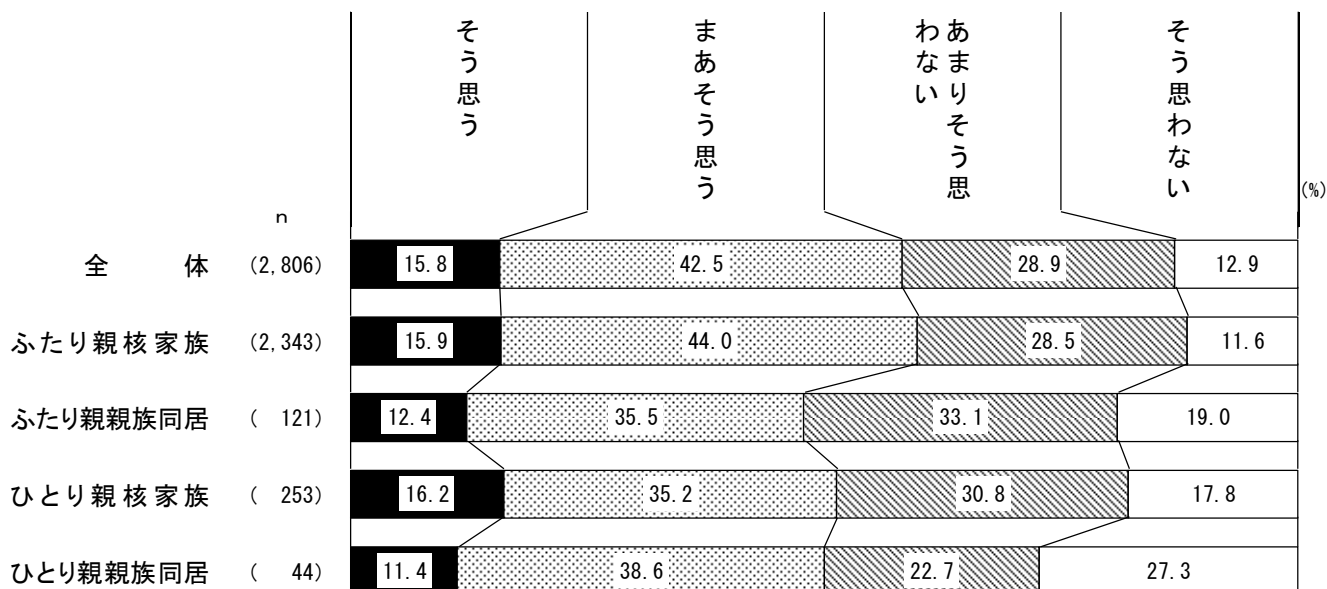


中学2年生のいる世帯の保護者の『大学を出ないとよい仕事につけないと思う』という考えを世帯構成別にみると、「そう思わない」は『ひとり親親族同居』で27.3%と、全体に比べて高くなっている。

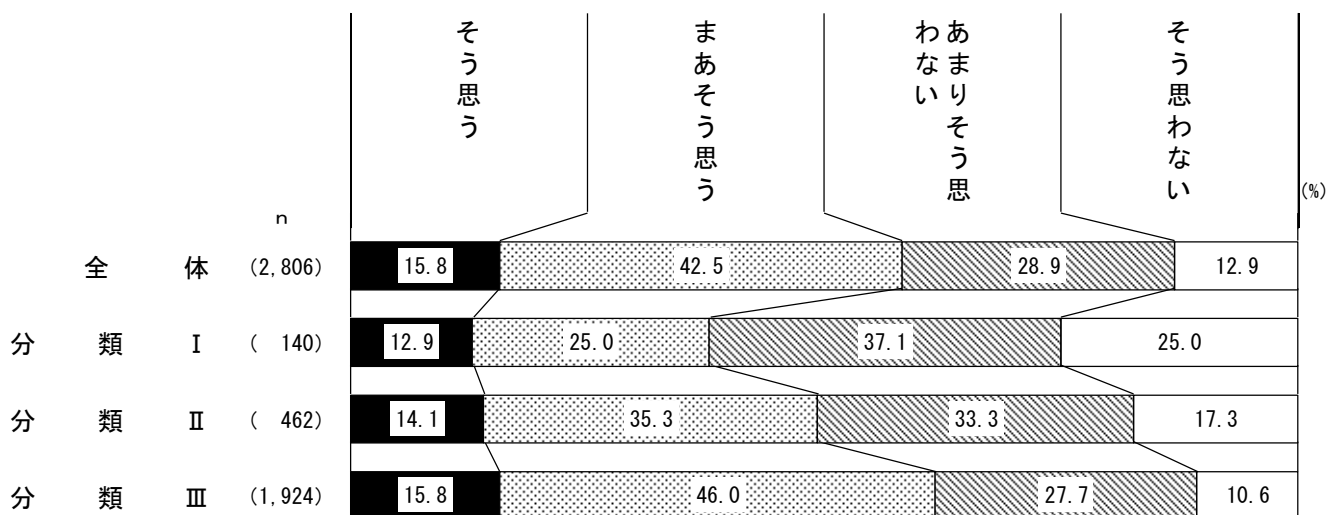
所得分類別にみると、「そう思わない」は『分類Ⅰ』で25.0%と、全体に比べて高くなっている。一方、「まあそう思う」は『分類Ⅰ』で25.0%と、全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-160】『大学を出ないとよい仕事につけないと思う』について  
(中学2年生・世帯構成別)



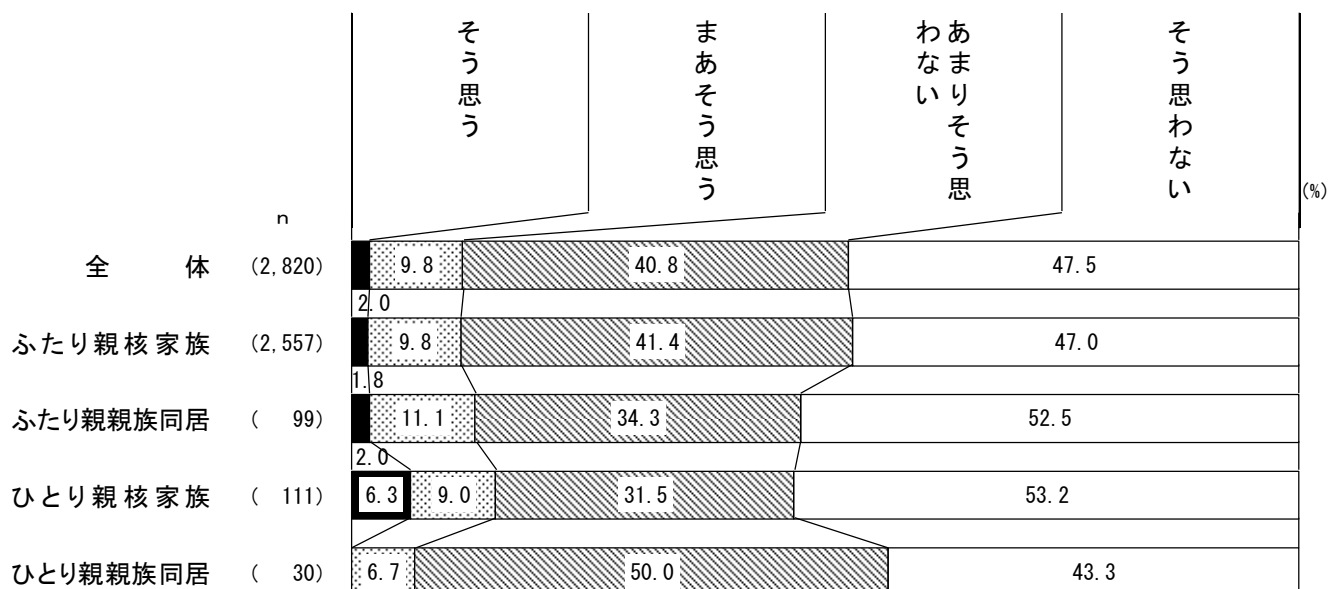
【図表 3-161】『大学を出ないとよい仕事につけないと思う』について  
(中学2年生・所得分類別)



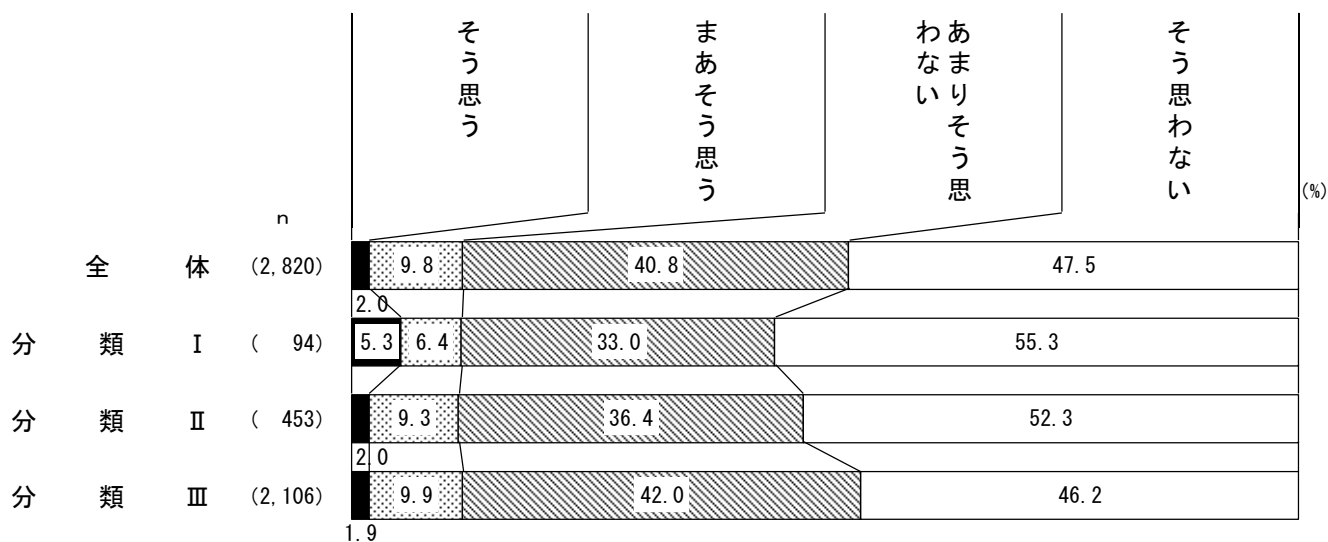
小学2年生のいる世帯の保護者の『がんばって働かなくても生活していけると思う』という考えを世帯構成別、所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-162】『がんばって働かなくても生活していけると思う』について  
(小学2年生・世帯構成別)



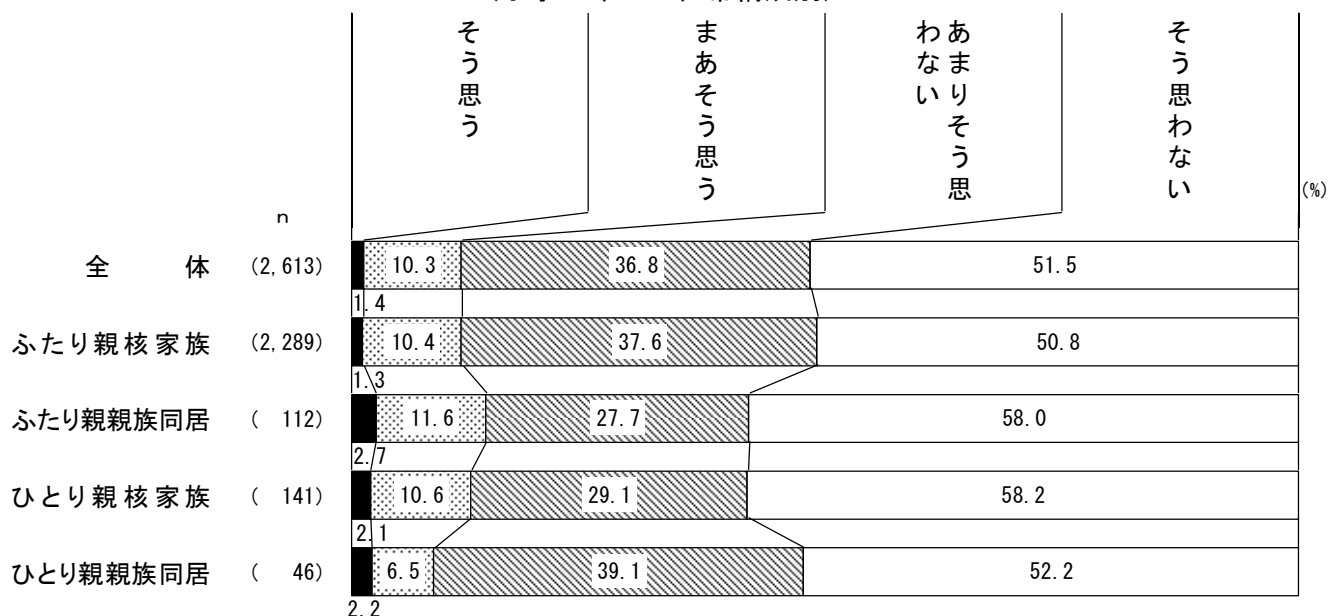
【図表 3-163】『がんばって働かなくても生活していけると思う』について  
(小学2年生・所得分類別)



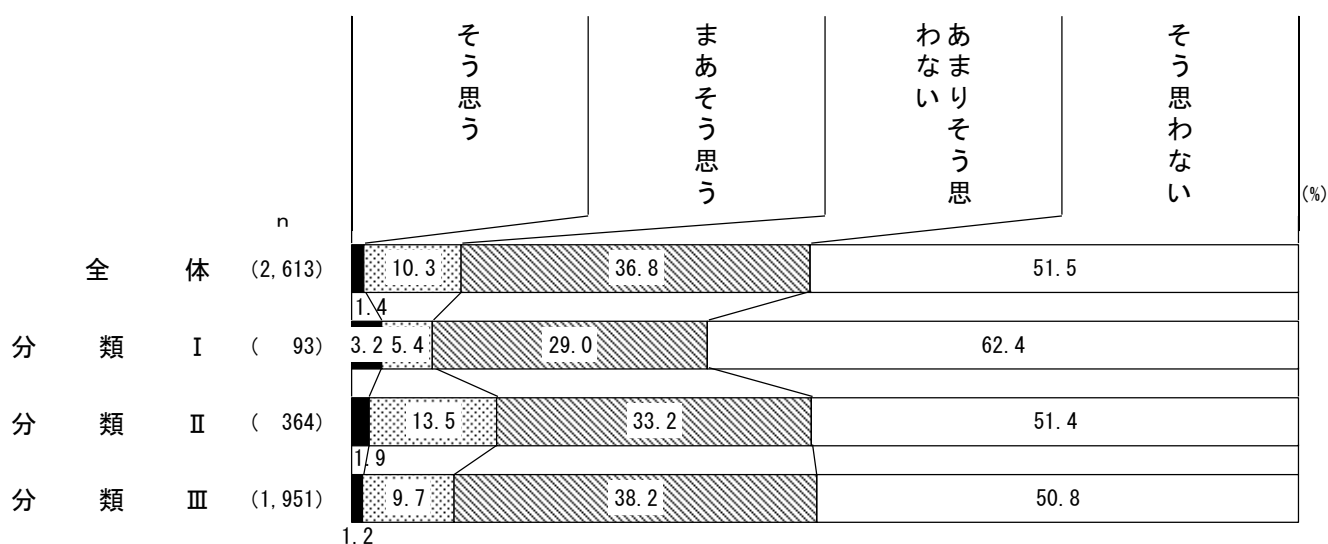
小学5年生のいる世帯の保護者の『がんばって働かなくても生活していけると思う』という考えを世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

所得分類別でみると、「そう思わない」は『分類Ⅰ』で62.4%と、全体に比べて高くなっている。なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-164】『がんばって働かなくても生活していけると思う』について  
(小学5年生・世帯構成別)



【図表 3-165】『がんばって働かなくても生活していけると思う』について  
(小学5年生・所得分類別)

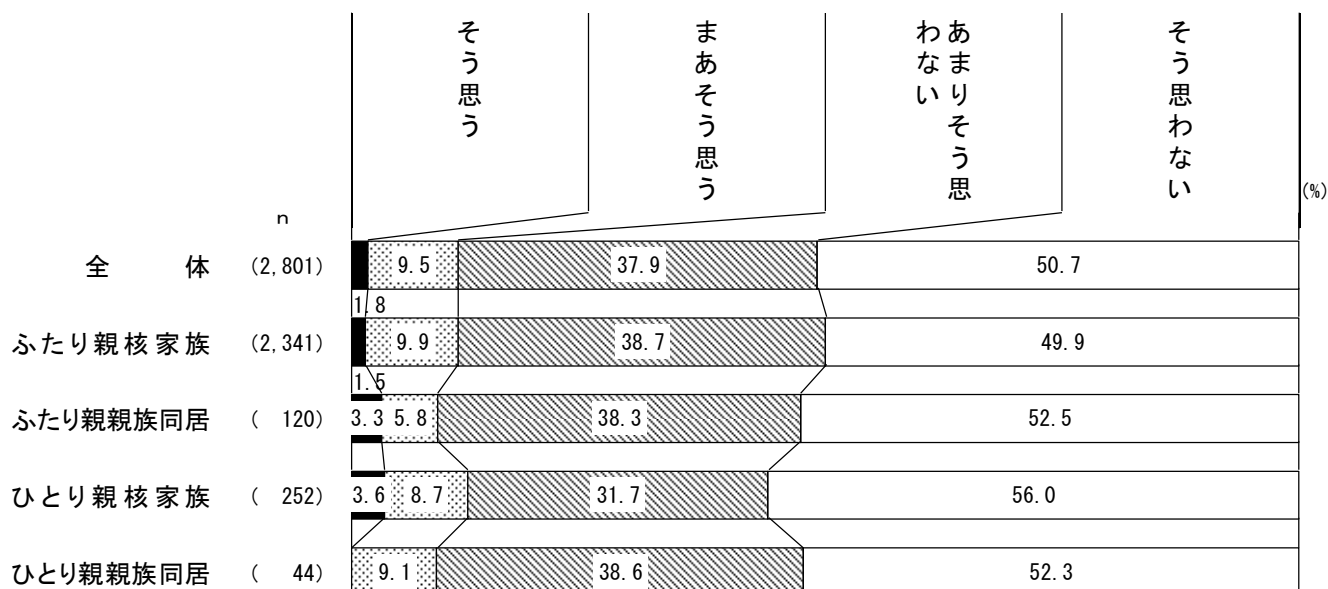




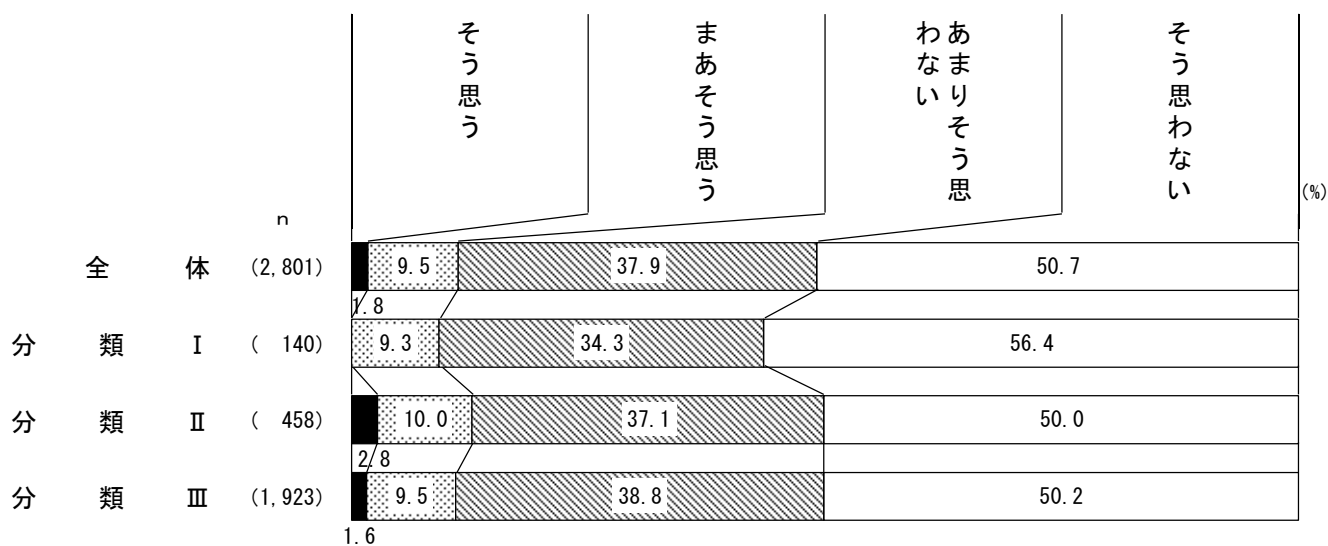
中学2年生のいる世帯の保護者の『がんばって働かなくても生活していけると思う』という考えを世帯構成別、所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-166】『がんばって働かなくても生活していけると思う』について  
(中学2年生・世帯構成別)



【図表 3-167】『がんばって働かなくても生活していけると思う』について  
(中学2年生・所得分類別)

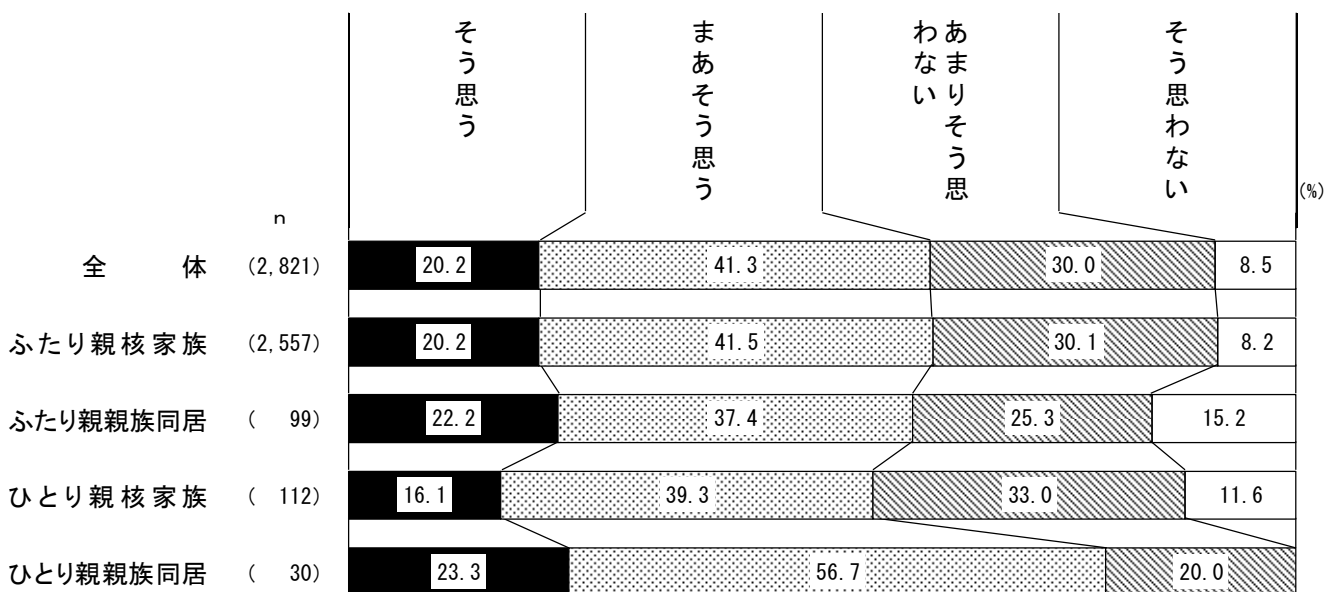


小学2年生のいる世帯の保護者の『子どもが希望する学校や会社に入れるか不安だ』という考えを世帯構成別にみると、「まあそう思う」は『ひとり親親族同居』で56.7%と、全体に比べて高くなっている。一方、「あまりそう思わない」は『ひとり親親族同居』で20.0%と、全体に比べて低くなっている。

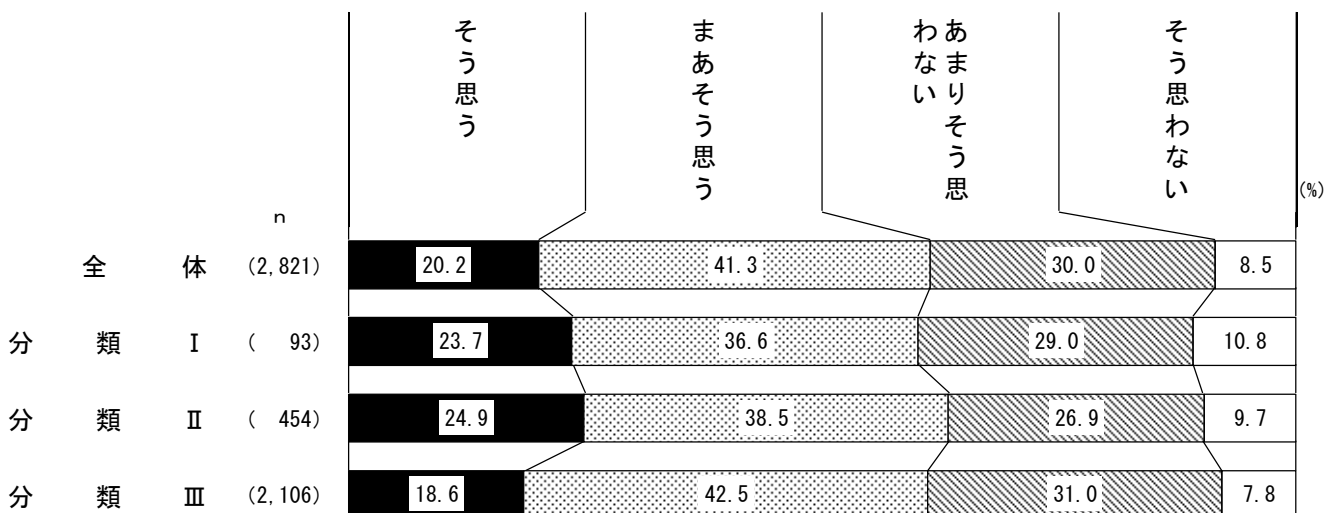
所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-168】『子どもが希望する学校や会社に入れるか不安だ』について  
(小学2年生・世帯構成別)



【図表 3-169】『子どもが希望する学校や会社に入れるか不安だ』について  
(小学2年生・所得分類別)

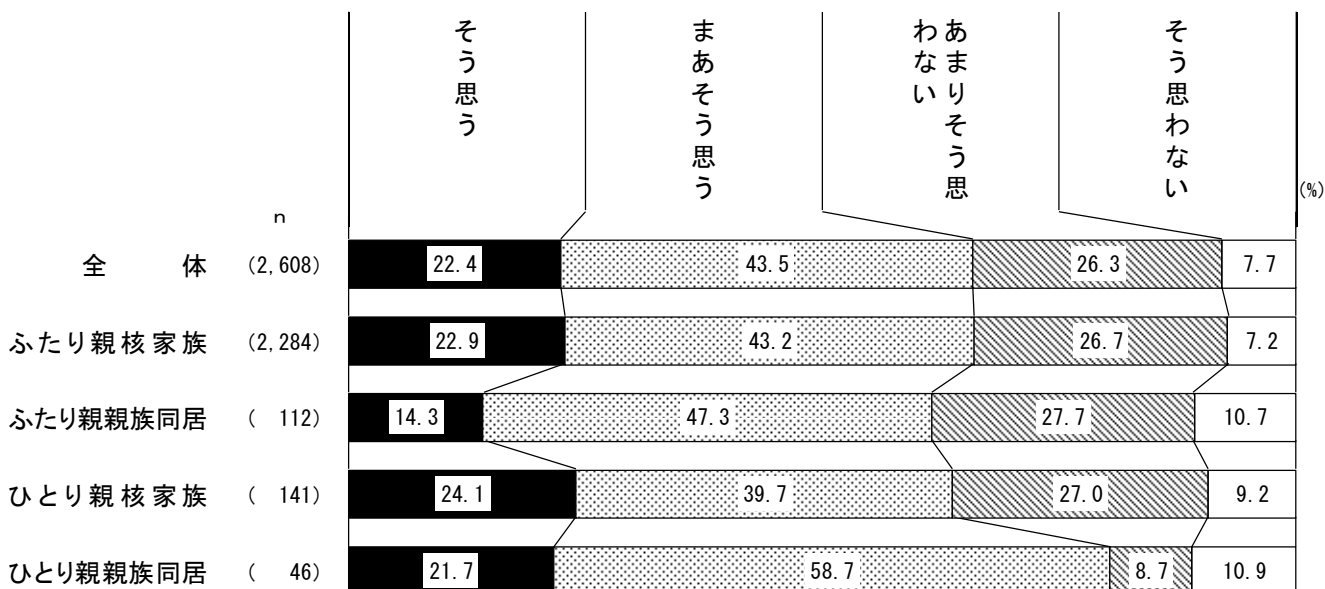


小学5年生のいる世帯の保護者の『子どもが希望する学校や会社に入れるか不安だ』という考えを世帯構成別にみると、「まあそう思う」は『ひとり親』で58.7%と、全体に比べて高くなっている。一方、「あまりそう思わない」は『ひとり親親族同居』で8.7%と、全体に比べて低くなっている。

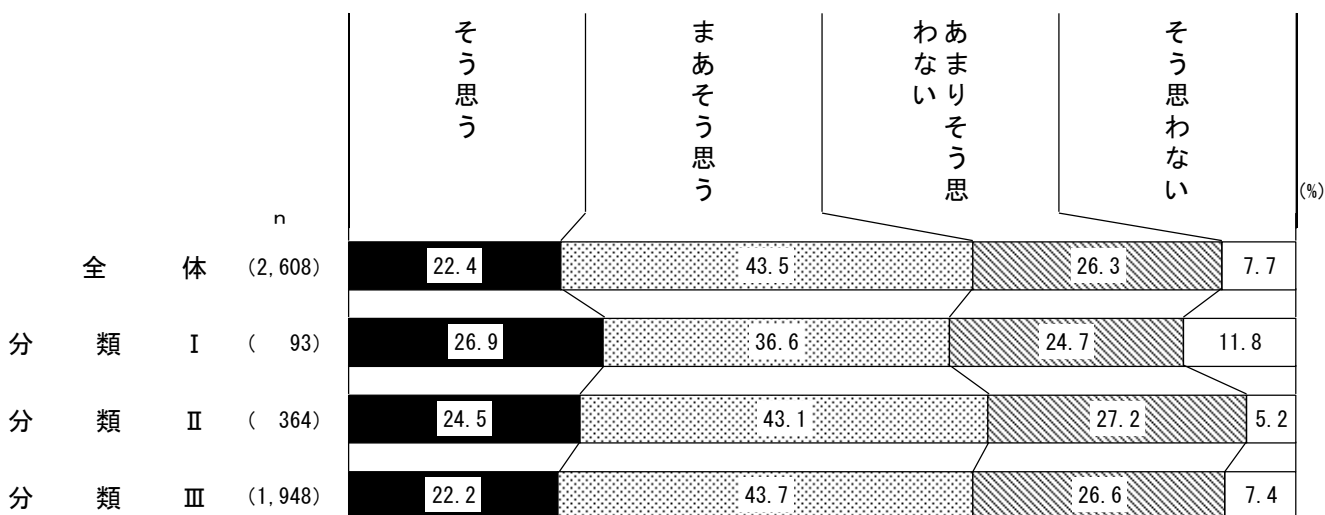
所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-170】『子どもが希望する学校や会社に入れるか不安だ』について  
(小学5年生・世帯構成別)



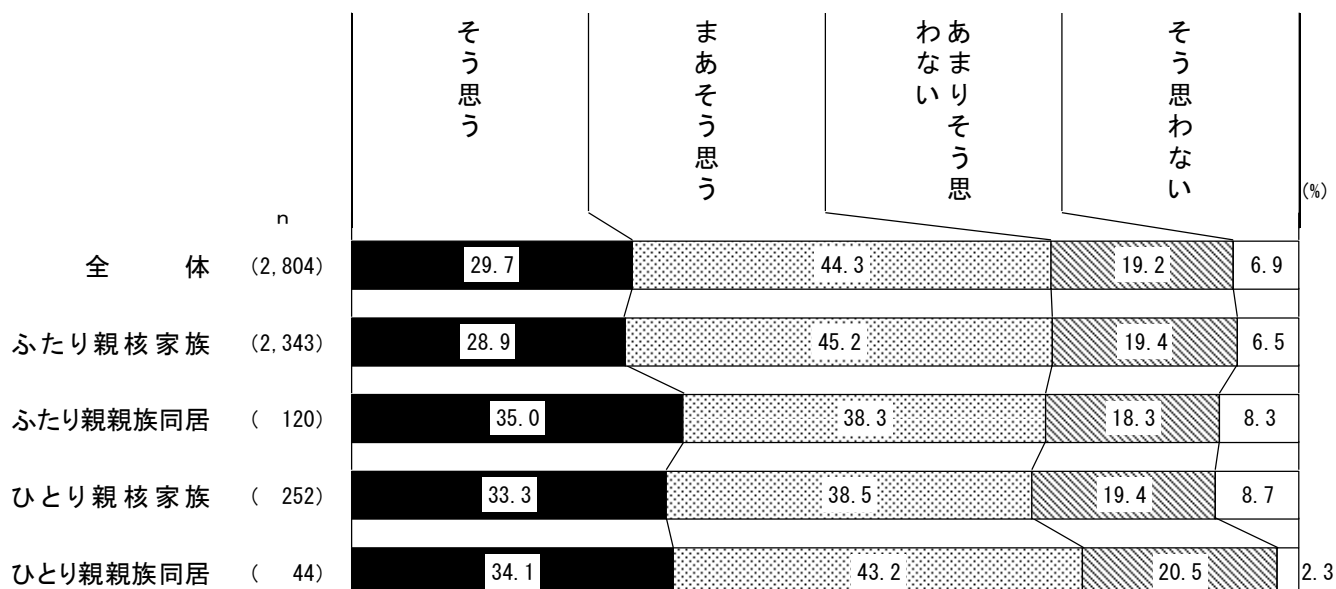
【図表 3-171】『子どもが希望する学校や会社に入れるか不安だ』について  
(小学5年生・所得分類別)



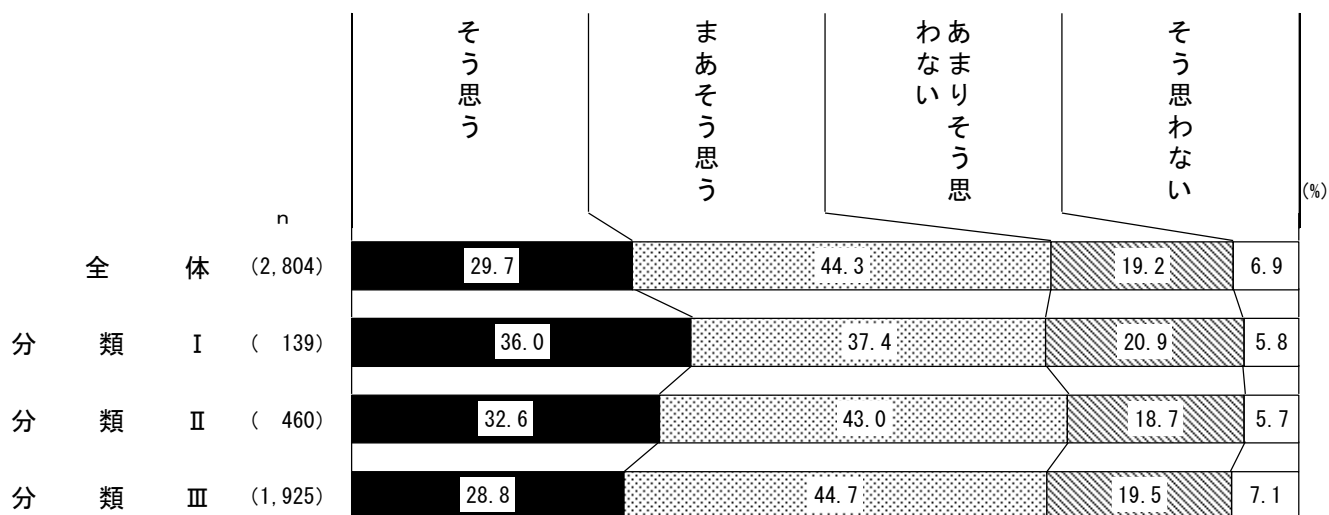
中学2年生のいる世帯の保護者の『子どもが希望する学校や会社に入れるか不安だ』という考えを世帯構成別、所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-172】『子どもが希望する学校や会社に入れるか不安だ』について  
(中学2年生・世帯構成別)



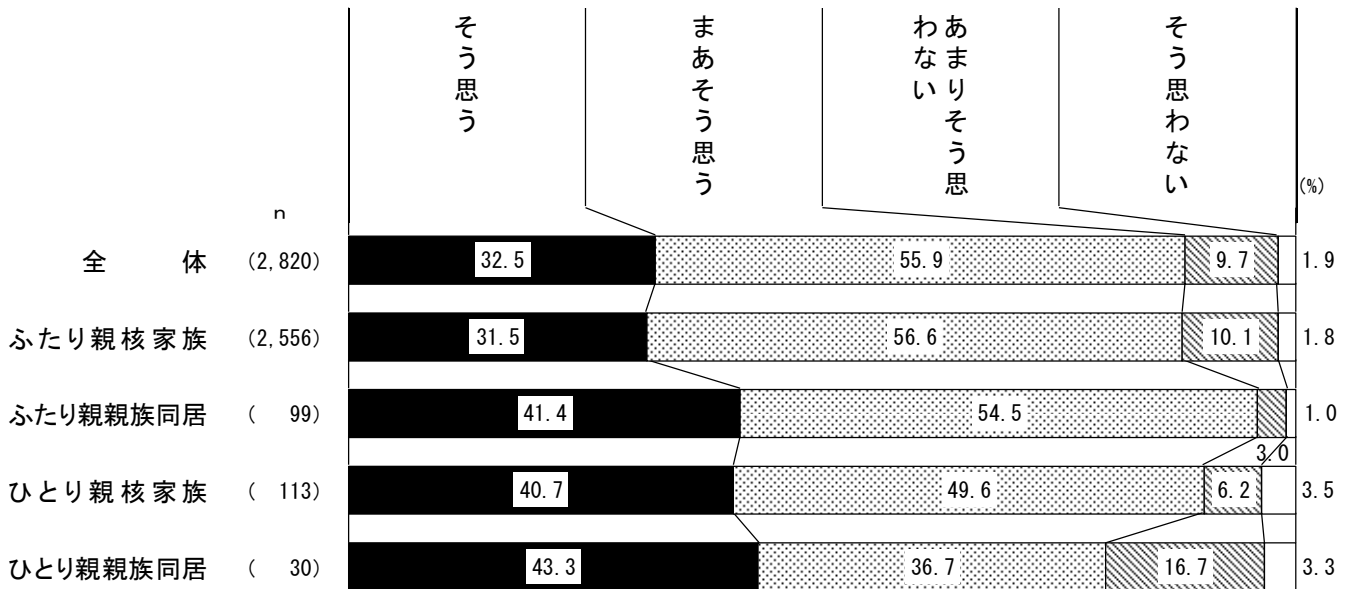
【図表 3-173】『子どもが希望する学校や会社に入れるか不安だ』について  
(中学2年生・所得分類別)



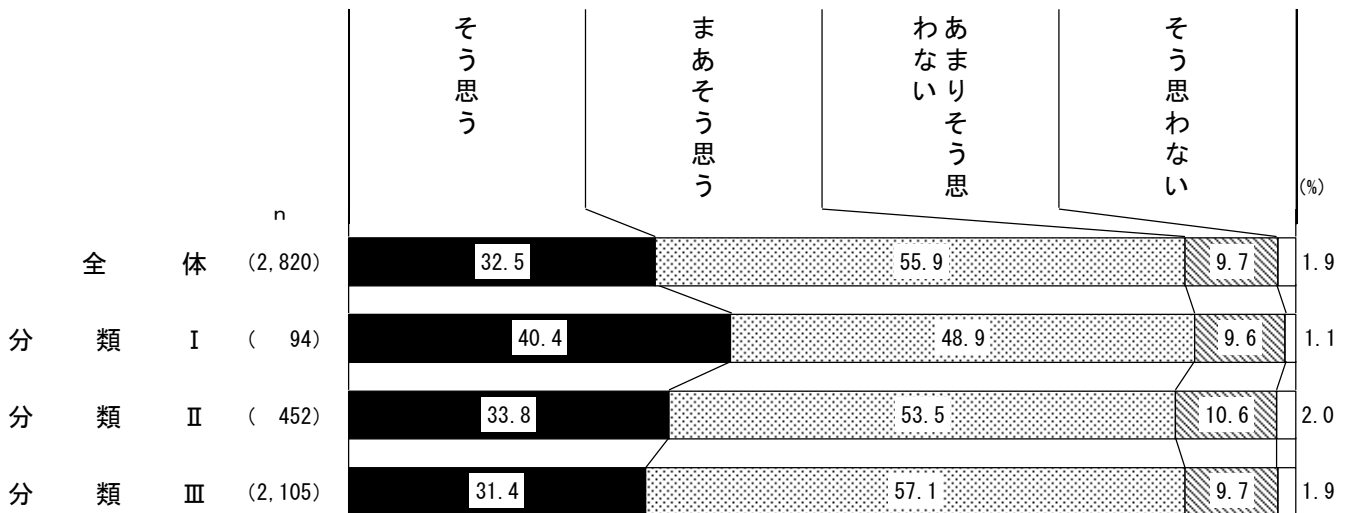
小学2年生のいる世帯の保護者の『努力すれば夢や希望はかなえられると思う』という考えを世帯構成別、所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-174】『努力すれば夢や希望はかなえられると思う』について  
(小学2年生・世帯構成別)



【図表 3-175】『努力すれば夢や希望はかなえられると思う』について  
(小学2年生・所得分類別)

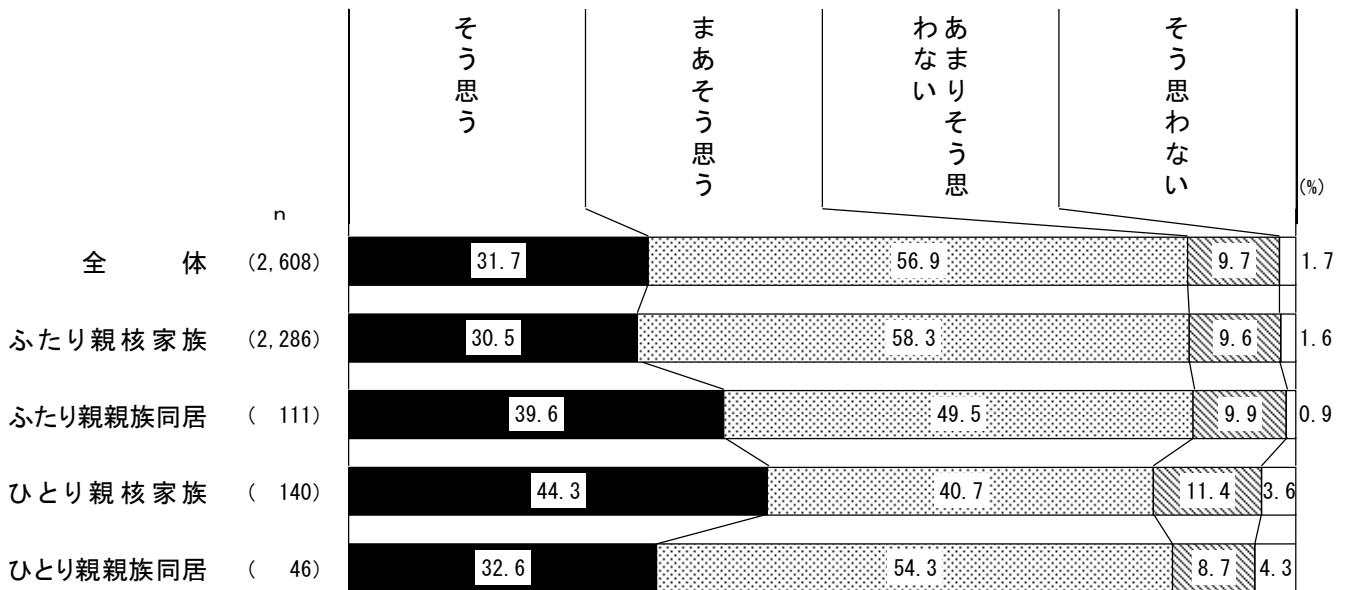


小学5年生のいる世帯の保護者の『努力すれば夢や希望はかなえられると思う』という考えを世帯構成別にみると、「そう思う」は『ひとり親核家族』で44.3%と、全体に比べて高くなっている。一方、「まあそう思う」は『ひとり親核家族』で40.7%と、全体に比べて低くなっている。

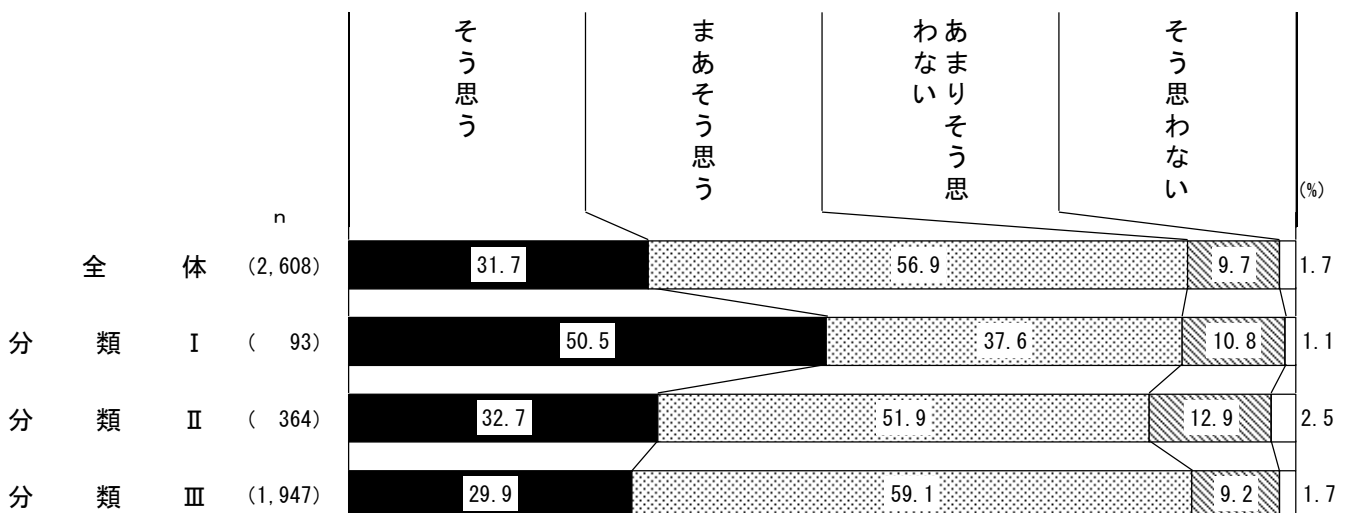
所得分類別にみると、「そう思う」は『分類Ⅰ』で50.5%と、全体に比べて高くなっている。一方、「まあそう思う」は『分類Ⅰ』で37.6%と、全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-176】『努力すれば夢や希望はかなえられると思う』について  
(小学5年生・世帯構成別)



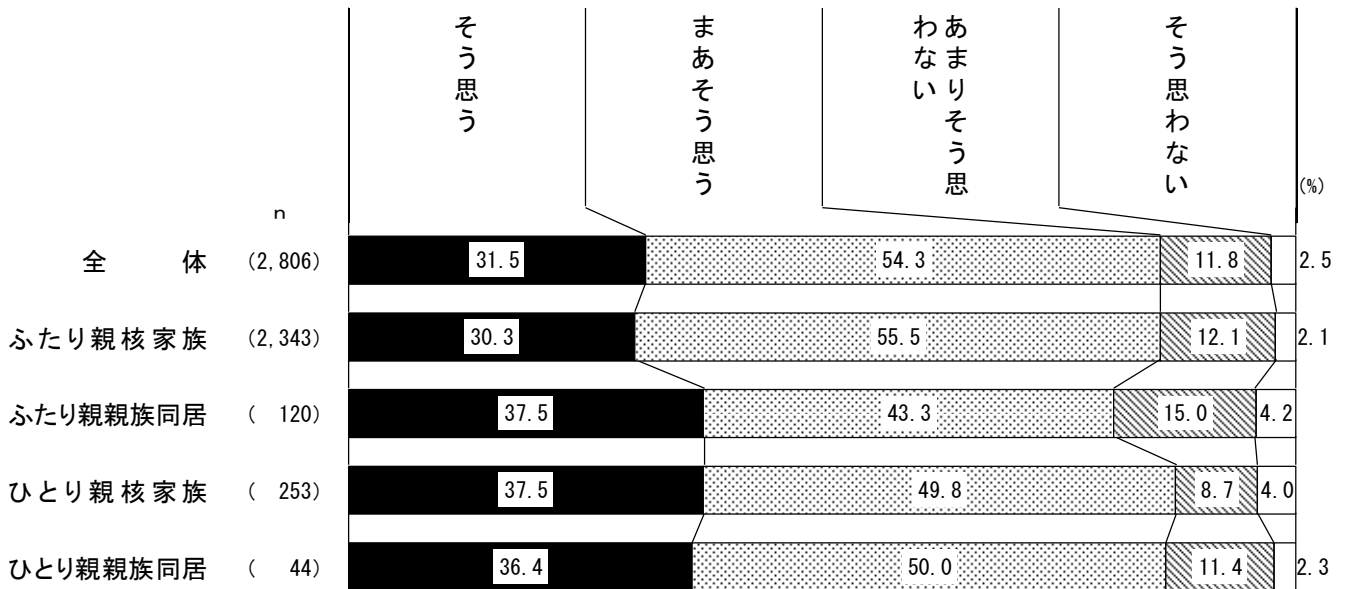
【図表 3-177】『努力すれば夢や希望はかなえられると思う』について  
(小学5年生・所得分類別)



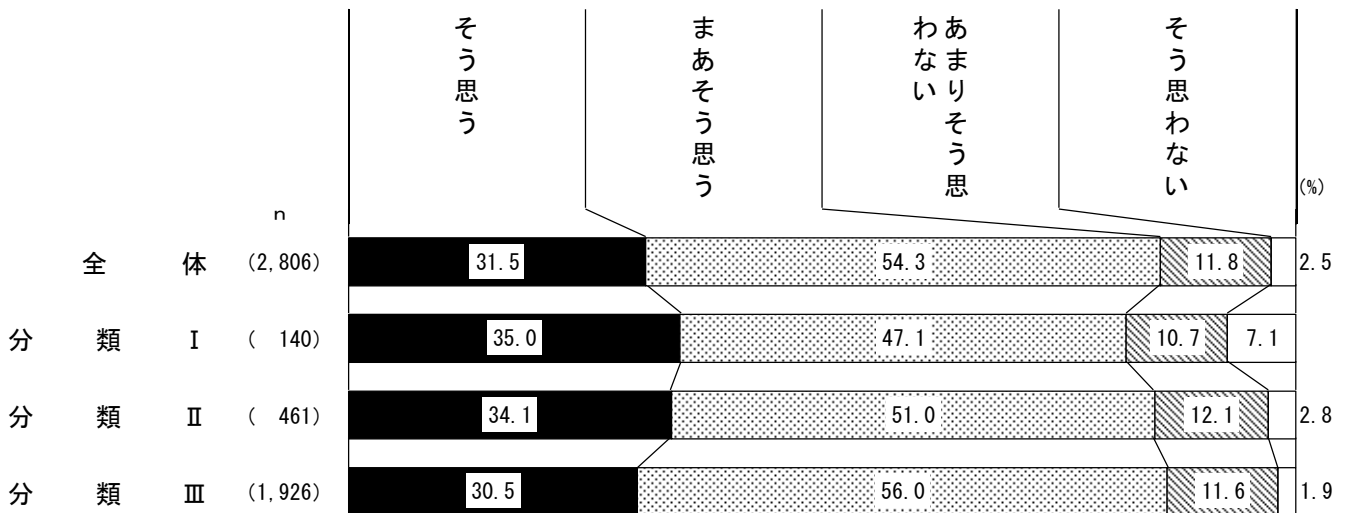
中学2年生のいる世帯の保護者の『努力すれば夢や希望はかなえられると思う』という考えを世帯構成別、所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-178】『努力すれば夢や希望はかなえられると思う』について  
(中学2年生・世帯構成別)

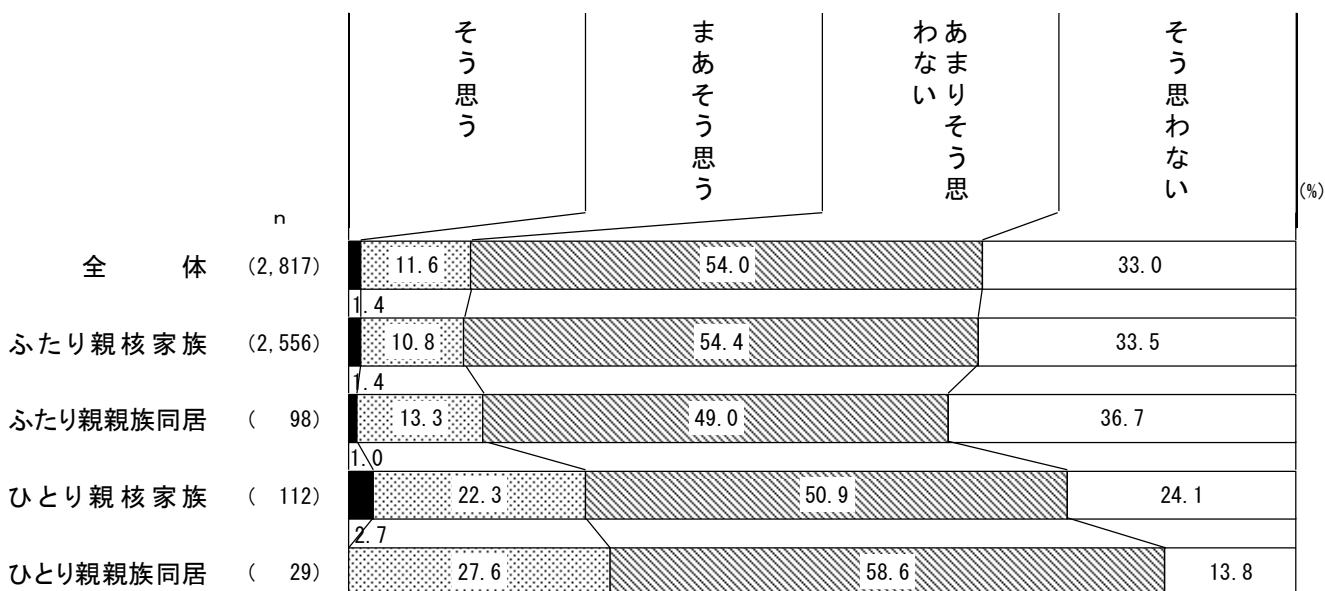


【図表 3-179】『努力すれば夢や希望はかなえられると思う』について  
(中学2年生・所得分類別)

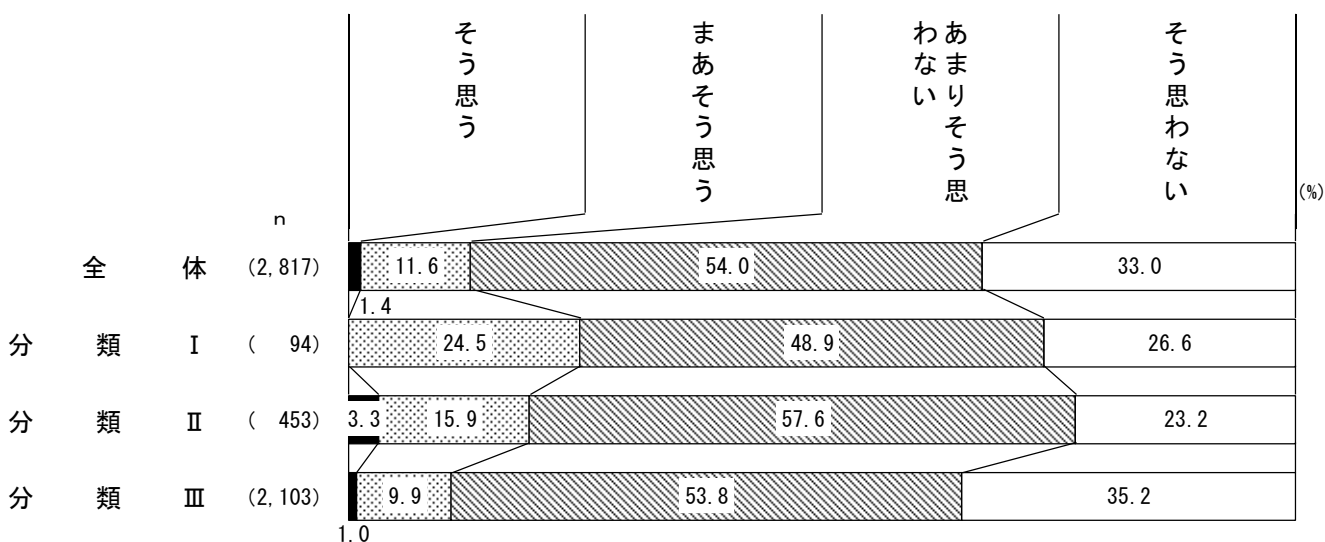


小学2年生のいる世帯の保護者の『子どもには少しでも早く働いて欲しいと思う』という考えを世帯構成別にみると、「まあそう思う」は『ひとり親核家族』で22.3%と、全体に比べて高くなっている。所得分類別にみると、「まあそう思う」は『分類Ⅰ』で24.5%と、全体に比べて高くなっている。なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-180】『子どもには少しでも早く働いて欲しいと思う』について  
(小学2年生・世帯構成別)



【図表 3-181】『子どもには少しでも早く働いて欲しいと思う』について  
(小学2年生・所得分類別)





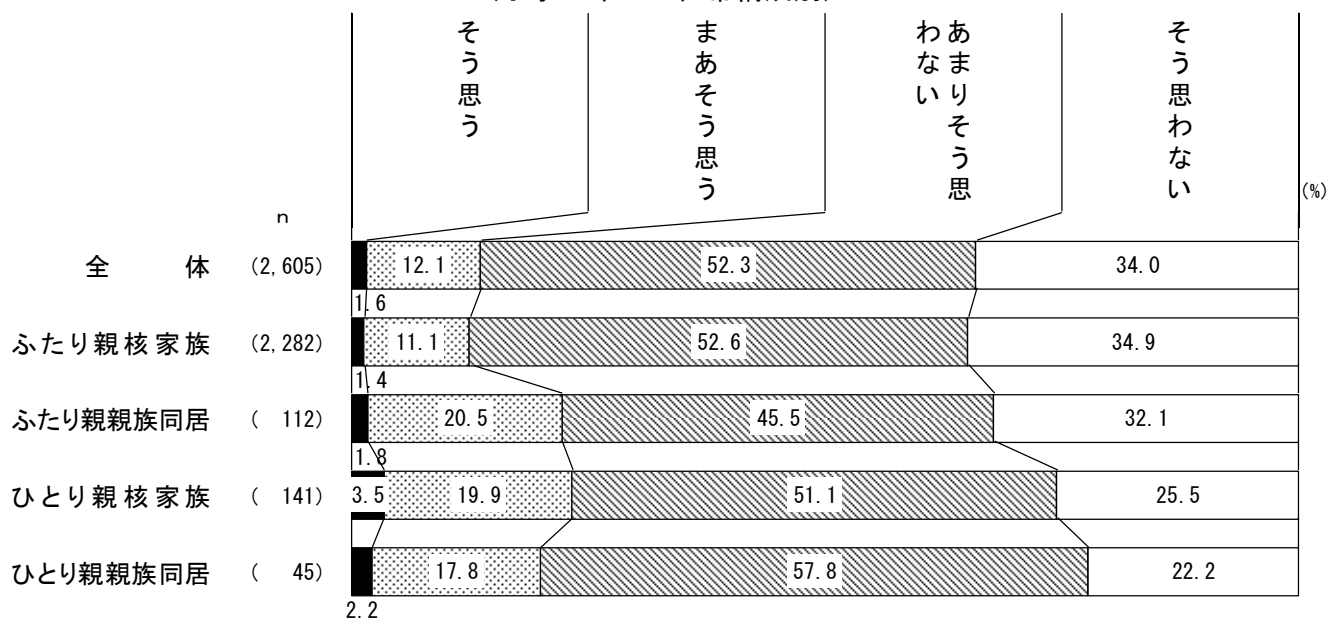
小学5年生のいる世帯の保護者の『子どもには少しでも早く働いて欲しいと思う』という考えを世帯構成別にみると、「そう思わない」は『ひとり親親族同居』で22.2%と、全体に比べて低くなっている。

所得分類別にみると、「そう思う」は『分類Ⅰ』で23.7%と、全体に比べて高くなっている。一方、「そう思わない」は『分類Ⅰ』(20.4%)、『分類Ⅱ』(20.9%)で、それぞれ全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

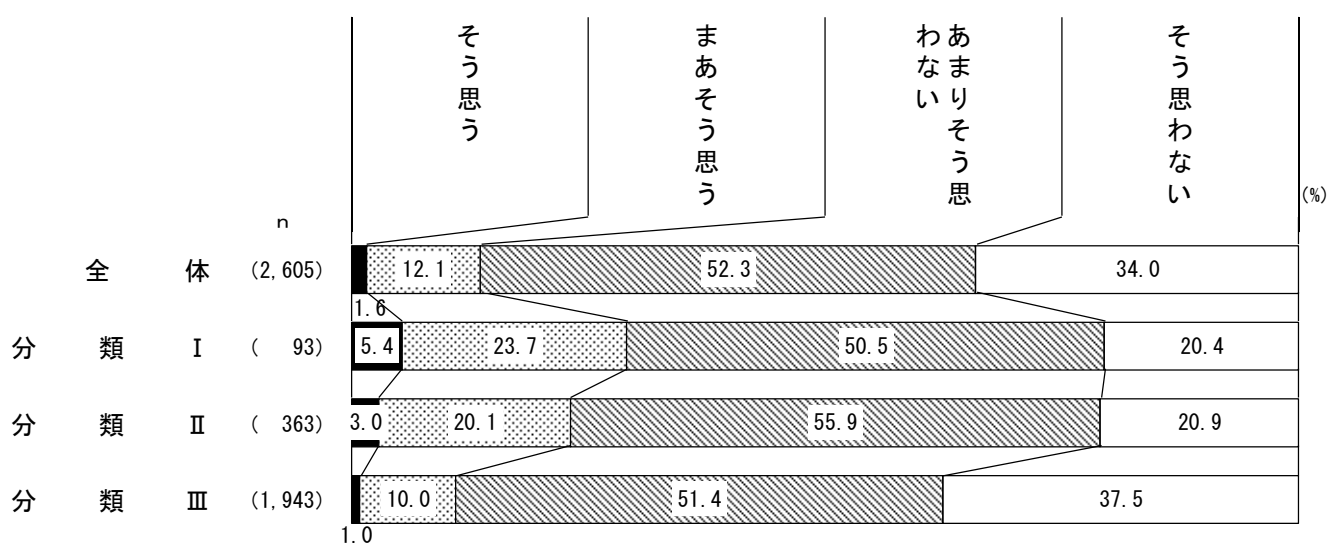
【図表 3-182】『子どもには少しでも早く働いて欲しいと思う』について

(小学5年生・世帯構成別)



【図表 3-183】『子どもには少しでも早く働いて欲しいと思う』について

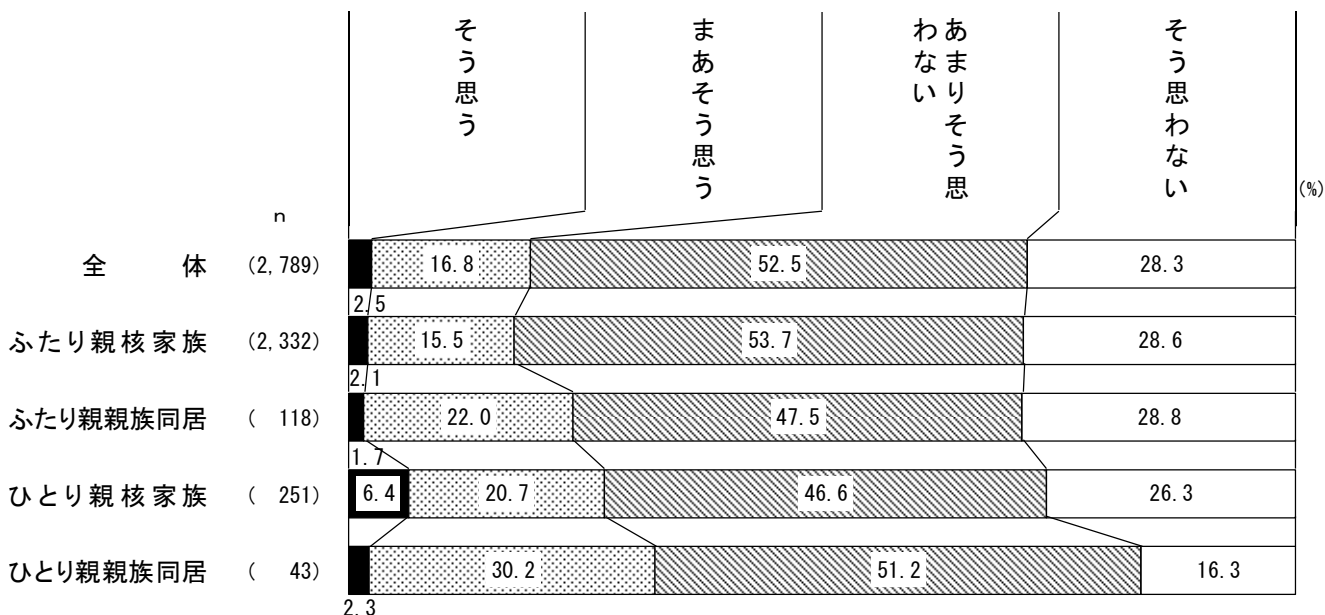
(小学5年生・所得分類別)



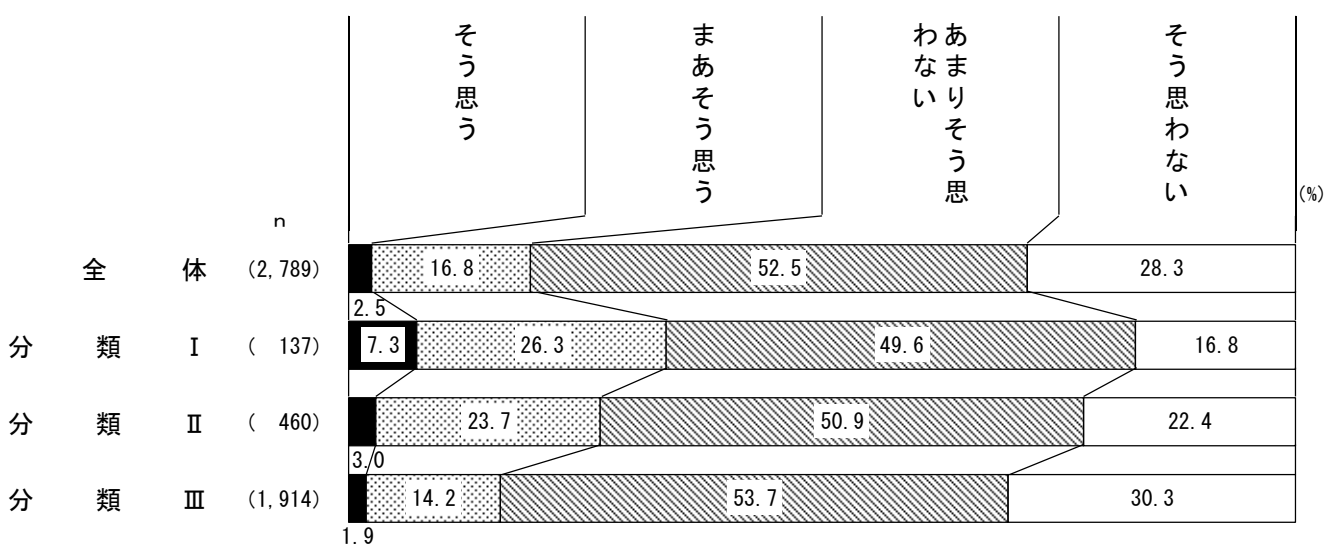
中学2年生のいる世帯の保護者の『子どもには少しでも早く働いて欲しいと思う』という考えを世帯構成別にみると、「まあそう思う」は『ひとり親親族同居』で30.2%と、全体に比べて高くなっている。一方、「そう思わない」は『ひとり親親族同居』で16.3%と、全体に比べて低くなっている。

所得分類別にみると、「そう思わない」は『分類Ⅰ』で16.8%と、全体に比べて低くなっている。なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-184】『子どもには少しでも早く働いて欲しいと思う』について  
(中学2年生・世帯構成別)



【図表 3-185】『子どもには少しでも早く働いて欲しいと思う』について  
(中学2年生・所得分類別)



(2) 保護者の悩みごと

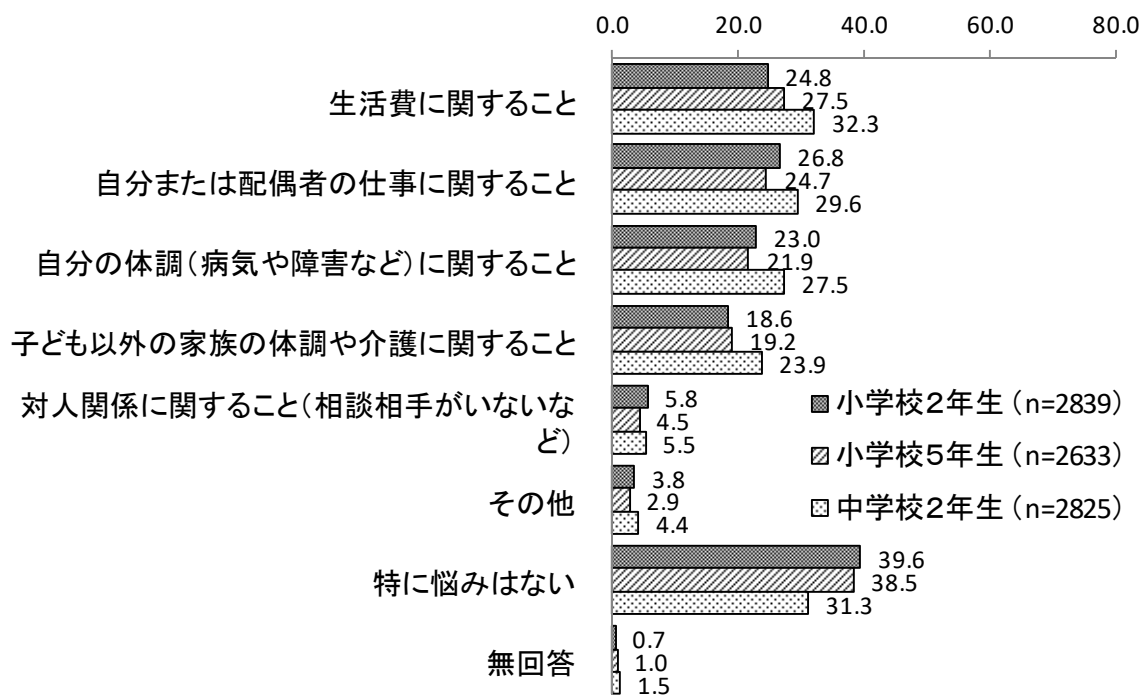
ア 生活に関する悩み

① 保護者自身に関する悩み【小学・問19・中学・問18】(MA)

保護者自身に関する悩みを複数回答で聞いたところ、いずれの学年でも「特に悩みはない」(小学2年生：39.6%、小学5年生：38.5%、中学2年生：31.3%)が最も高くなっている。

悩みの回答内容では、小学5年生、中学2年生のいる世帯の保護者では「生活費に関すること」(小学5年生：27.5%、中学2年生：32.3%)が最も高く、次いで「自分または配偶者の仕事に関すること」(小学5年生：24.7%、中学2年生：29.6%)、「自分の体調(病気や障害など)に関すること」(小学5年生：21.9%、中学2年生：27.5%)となっている。

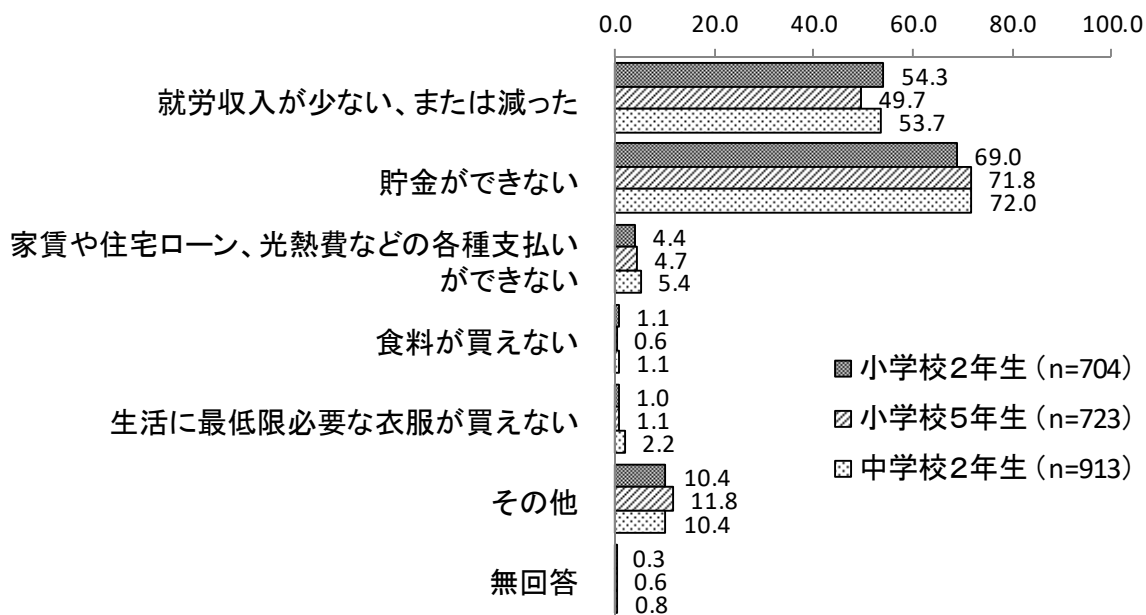
【図表 3-186】保護者自身に関する悩み(複数回答)



② 生活費に関する心配ごと・悩み【小学・問19-2・中学・問18-2】(MA)

保護者自身に関する悩みについて、「生活費に関すること」と回答した方に、心配ごと・悩みの内容を複数回答で聞いたところ、いずれの学年でも「貯金ができない」(小学2年生:69.0%、小学5年生:71.8%、中学2年生:72.0%)が最も高く、次いで「就労収入が少ない、または減った」(小学2年生:54.3%、小学5年生:49.7%、中学2年生:53.7%)となっている。

【図表 3-187】生活費に関する心配ごと・悩み(複数回答)

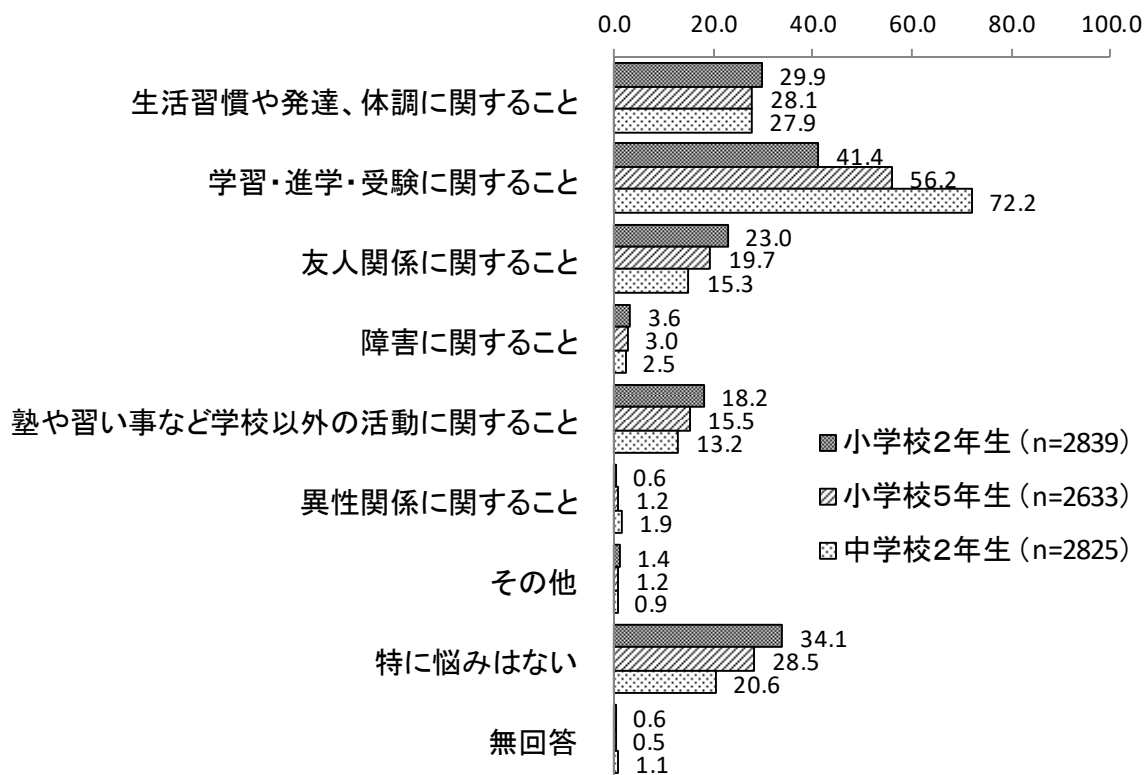


## イ 子どもに関する悩み

### ① 子どもに関する悩み【小学・問20・中学・問19】(MA)

子どもに関する悩みを複数回答で聞いたところ、いずれの学年でも「学習・進学・受験に関すること」(小学2年生：41.4%、小学5年生：56.2%、中学2年生：72.2%)が最も高く、次いで「生活習慣や発達、体調に関すること」(小学2年生：29.9%、小学5年生：28.1%、中学2年生：27.9%)、「友人関係に関すること」(小学2年生：23.0%、小学5年生：19.7%、中学2年生：15.3%)となっている。

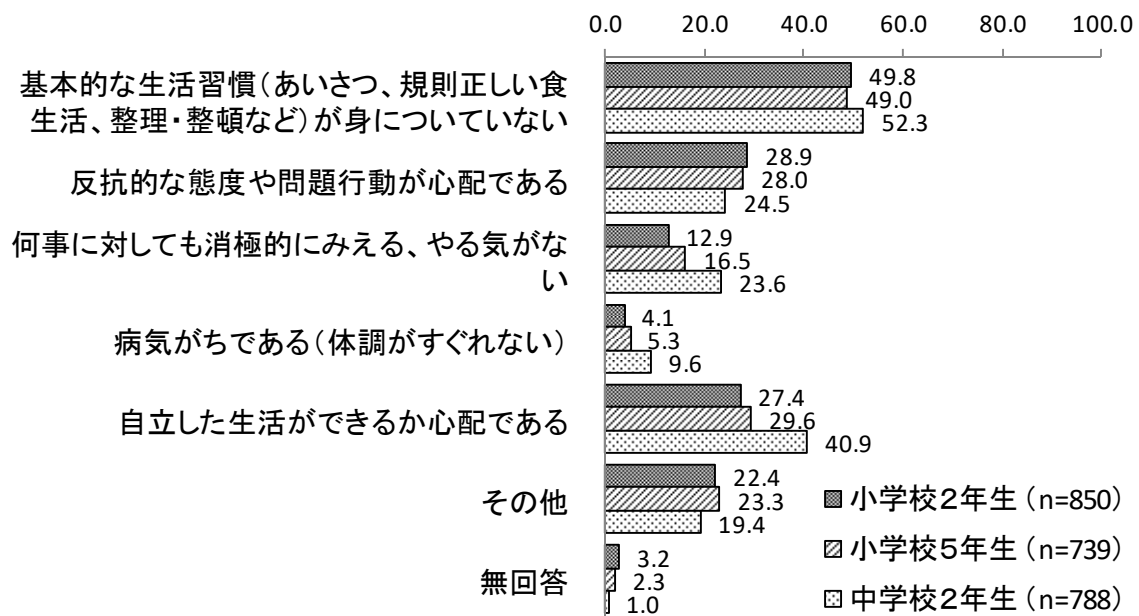
【図表 3-188】子どもに関する悩み(複数回答)



② 子どもの生活習慣や発達、体調に関する心配ごと・悩み【小学・問 20-2・中学・問 19-2】(MA)

子どもに関する悩みについて、「生活習慣や発達、体調に関すること」と回答した方に、心配ごと・悩みの内容を複数回答で聞いたところ、いずれの学年でも「基本的な生活習慣（あいさつ、規則正しい食生活、整理・整頓など）が身につけていない」（小学2年生：49.8%、小学5年生：49.0%、中学2年生：52.3%）が最も高く、次いで小学2年生のいる世帯の保護者では「反抗的な態度や問題行動が心配である」が28.9%、小学5年生、中学2年生のいる世帯の保護者では「自立した生活ができるか心配である」（小学5年生：29.6%、中学2年生：40.9%）となっている。

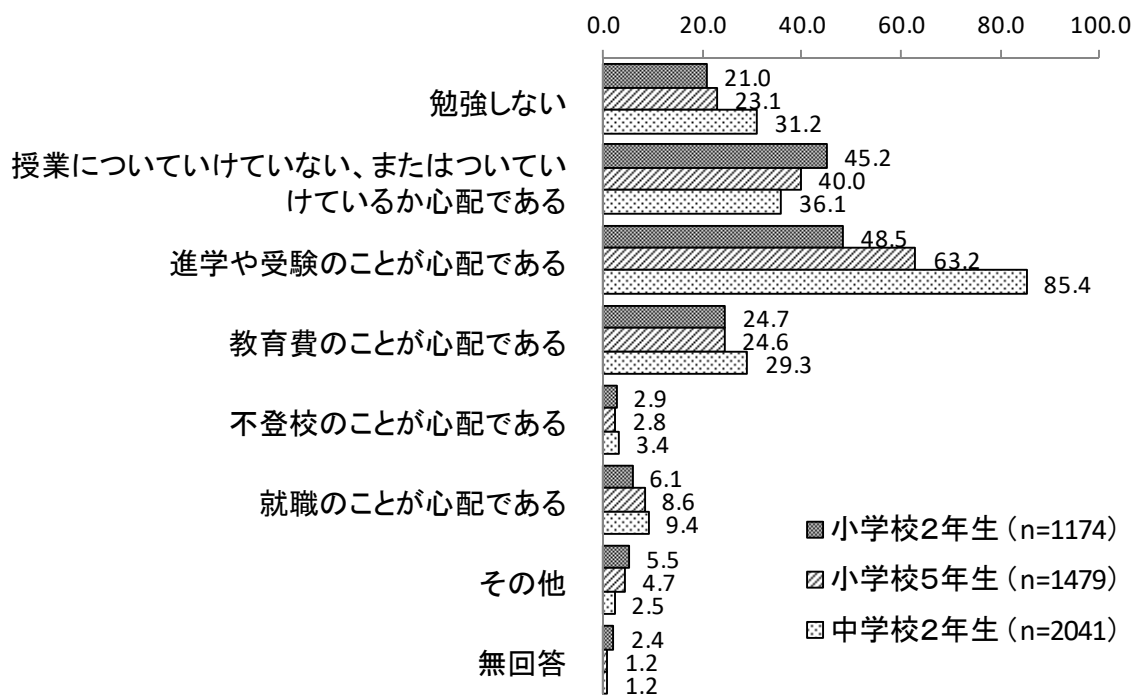
【図表 3-189】子どもの生活習慣や発達、体調に関する心配ごと・悩み  
(複数回答)



③ 子どもの学習・進学・受験に関する心配ごと・悩み【小学・問 20-3・中学・問 19-3】(MA)

子どもに関する悩みについて、「学習・進学・受験に関すること」と回答した方に、心配ごと・悩みの内容を複数回答で聞いたところ、いずれの学年でも「進学や受験のことが心配である」(小学2年生：48.5%、小学5年生：63.2%、中学2年生：85.4%)が最も高く、次いで「授業についていけない、またはついていけないか心配である」(小学2年生：45.2%、小学5年生：40.0%、中学2年生：36.1%)となっている。

【図表 3-190】子どもの学習・進学・受験に関する心配ごと・悩み  
(複数回答)



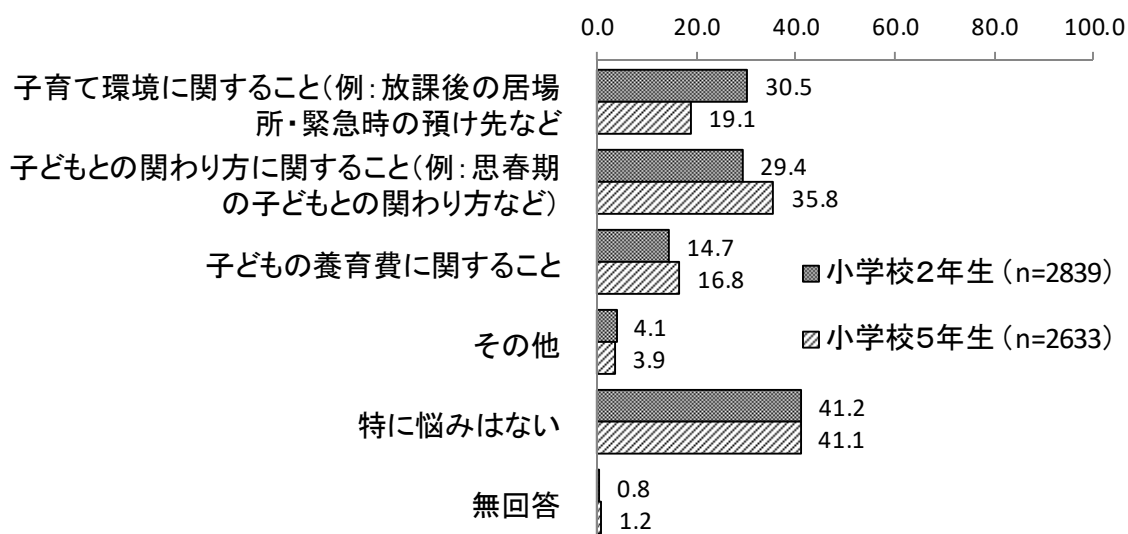
## ウ 子育てに関する悩み

### ① 子育てに関する悩み【小学・問21】(MA)

子育てに関する悩みを複数回答で聞いたところ、小学2年生、小学5年生のいる世帯の保護者ともに「特に悩みはない」(小学2年生：41.2%、小学5年生：41.1%)が最も高くなっている。

悩みの回答内容では、小学2年生のいる世帯の保護者では「子育て環境に関すること(例：放課後の居場所・緊急時の預け先など)」が30.5%で、小学5年生のいる世帯の保護者では「子どもとの関わり方に関すること(例：思春期の子どもとの関わり方など)」が35.8%でそれぞれ最も高くなっている。

【図表 3-191】子育てに関する悩み(複数回答)

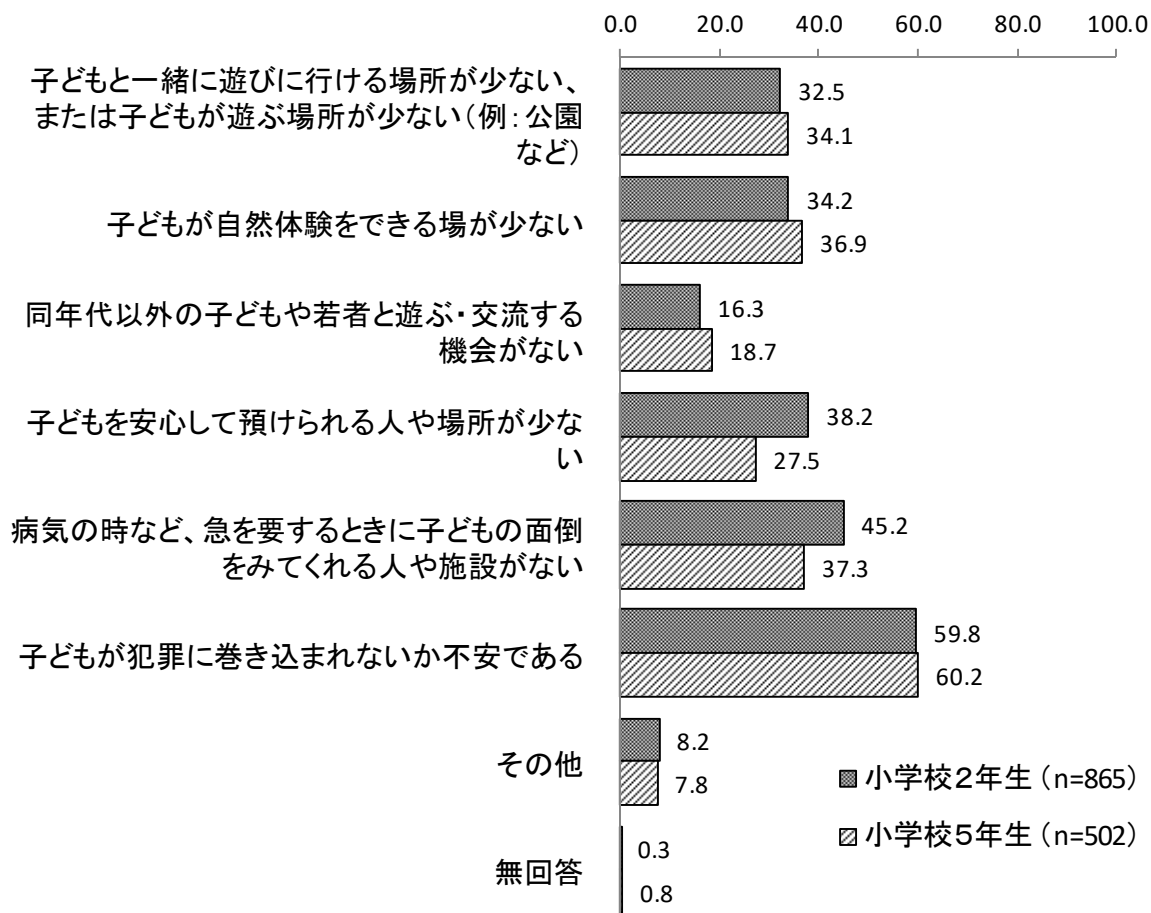




② 子育て環境に関する心配ごと・悩み【小学・問 21-2】(MA)

子育てに関する悩みについて、「子育て環境に関すること（例：放課後の居場所・緊急時の預け先など）」と回答した方に、心配ごと・悩みの内容を複数回答で聞いたところ、小学2年生、小学5年生のいる世帯の保護者ともに「子どもが犯罪に巻き込まれないか不安である」（小学2年生：59.8%、小学5年生：60.2%）が最も高く、次いで「病気の時など、急を要するときに子どもの面倒をみってくれる人や施設がない」（小学2年生：45.2%、小学5年生：37.3%）となっている。

【図表 3-192】子育て環境に関する心配ごと・悩み（複数回答）

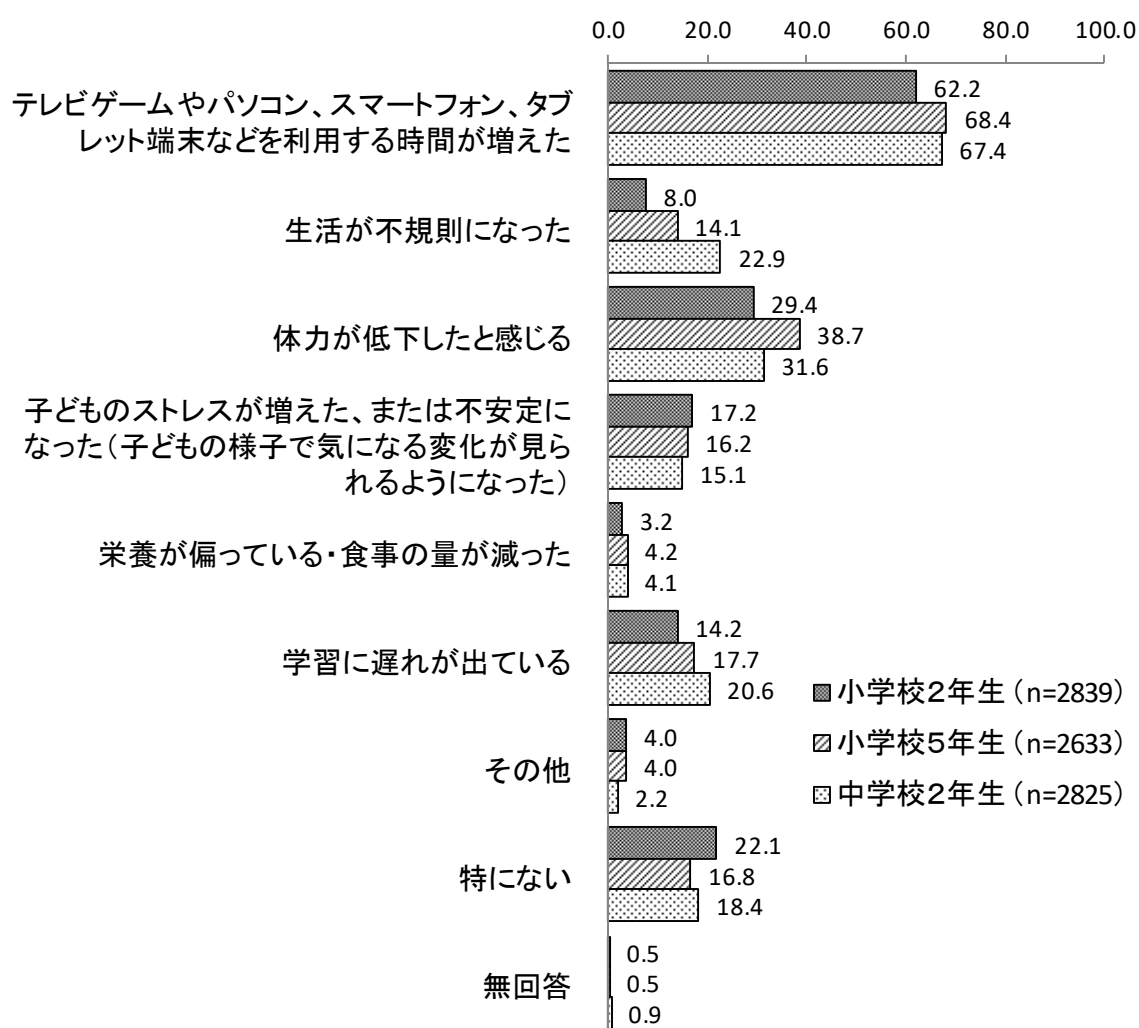


## エ コロナ禍による影響

### ① 外出自粛等の影響による子どもの変化【小学・問22、中学・問20】(MA)

新型コロナウイルス感染拡大前と比べて、子どもの生活面で心配なことがあるか複数回答で聞いたところ、いずれの学年でも「テレビゲームやパソコン、スマートフォン、タブレット端末などを利用する時間が増えた」(小学2年生：62.2%、小学5年生：68.4%、中学2年生：67.4%)が最も高く、次いで「体力が低下したと感じる」(小学2年生：29.4%、小学5年生：38.7%、中学2年生：31.6%)となっている。

【図表 3-193】外出自粛等の影響による子どもの変化(複数回答)

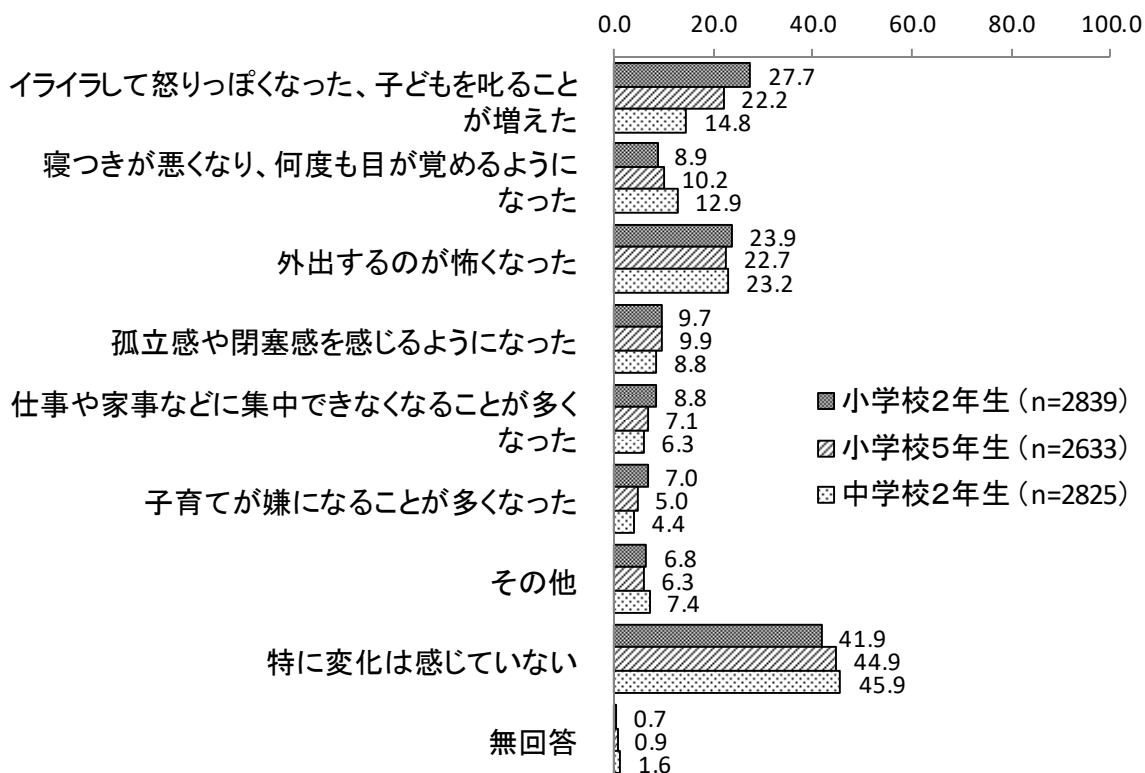


② 外出自粛等の影響による保護者自身の変化【小学・問23、中学・問21】(MA)

新型コロナウイルス感染拡大前と比べて、保護者自身の生活面での変化を複数回答で聞いたところ、いずれの学年でも「特に変化は感じていない」(小学2年生：41.9%、小学5年生：44.9%、中学2年生：45.9%)が最も高くなっている。

感じている変化は、小学2年生のいる世帯の保護者では「イライラして怒りっぽくなった、子どもを叱ることが増えた」が27.7%、小学5年生、中学2年生のいる世帯の保護者では「外出するのが怖くなった」(小学5年生：22.7%、中学2年生：23.2%)が高くなっている。

【図表 3-194】外出自粛等の影響による保護者自身の変化(複数回答)

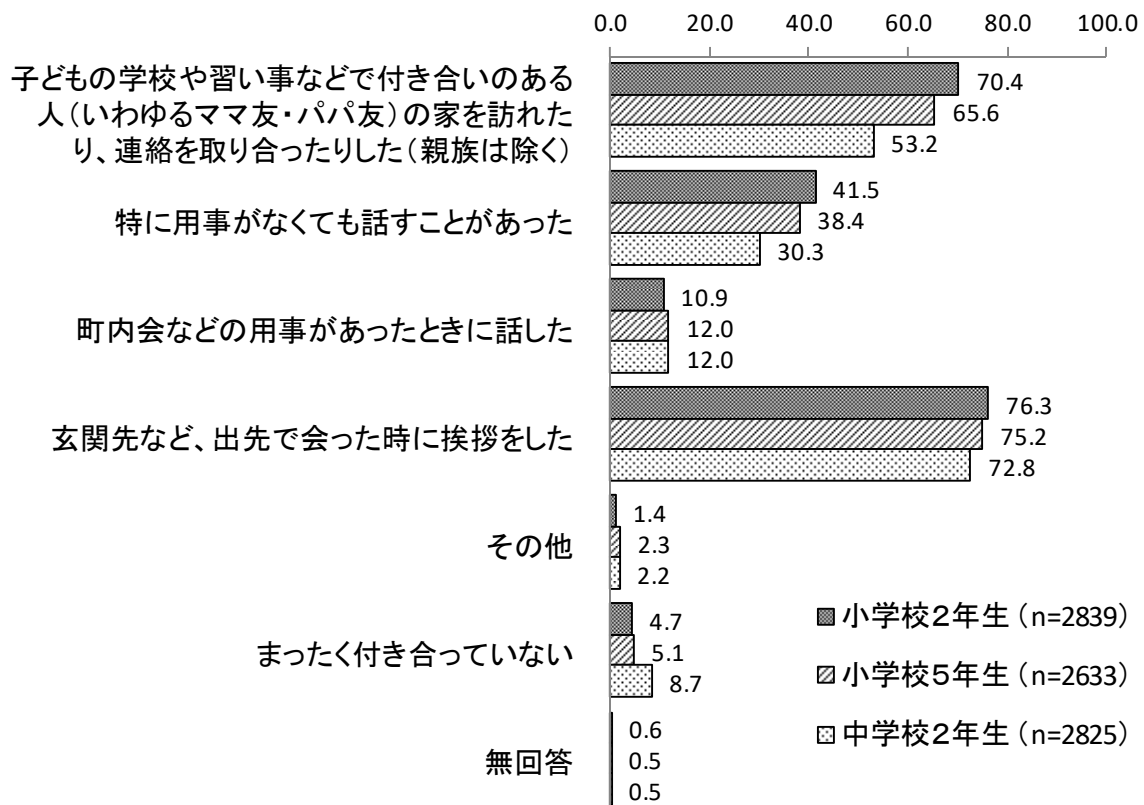


(3) 保護者の相談相手の有無等

ア 近所付き合いの程度【小学・問16、中学・問15】(MA)

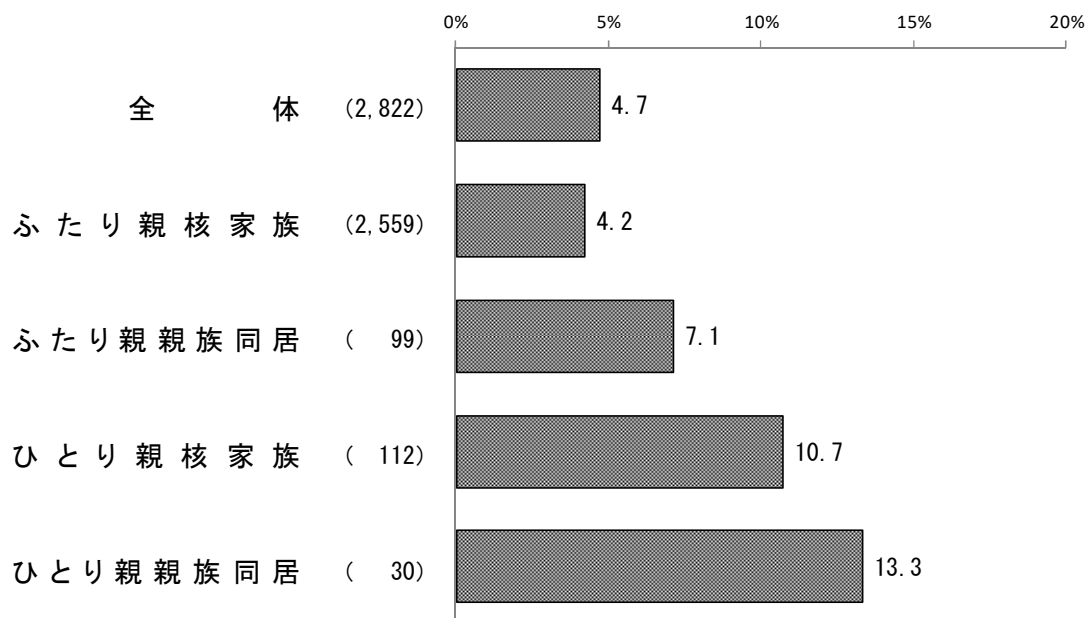
直近1か月間の近所付き合いの程度を複数回答で聞いたところ、いずれの学年でも「玄関先など、出先で会ったときに挨拶をした」(小学2年生:76.3%、小学5年生:75.2%、中学2年生:72.8%)が最も高く、次いで「子どもの学校や習い事などで付き合いのある人(いわゆるママ友・パパ友)の家を訪れたり、連絡を取り合ったりした(親族は除く)」(小学2年生:70.4%、小学5年生:65.6%、中学2年生:53.2%)となっている。

【図表 3-195】近所付き合いの程度(複数回答)



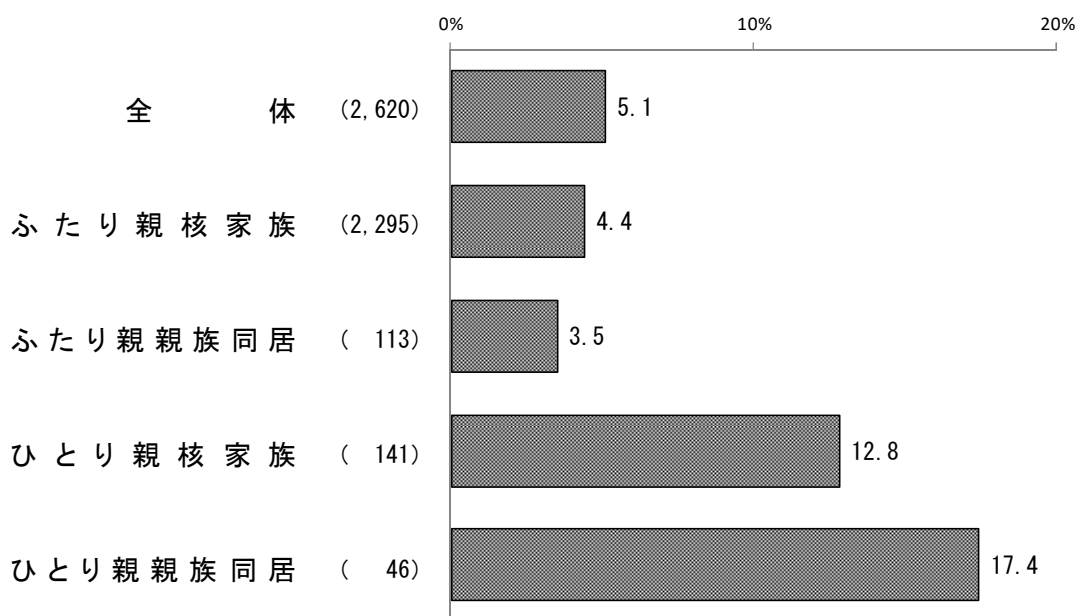
小学2年生のいる世帯の保護者の近所付き合いの程度のうち『まったく付き合いがない』と回答した人を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-196】 近所付き合いの程度『まったく付き合いがない』  
 (小学2年生・世帯構成別)



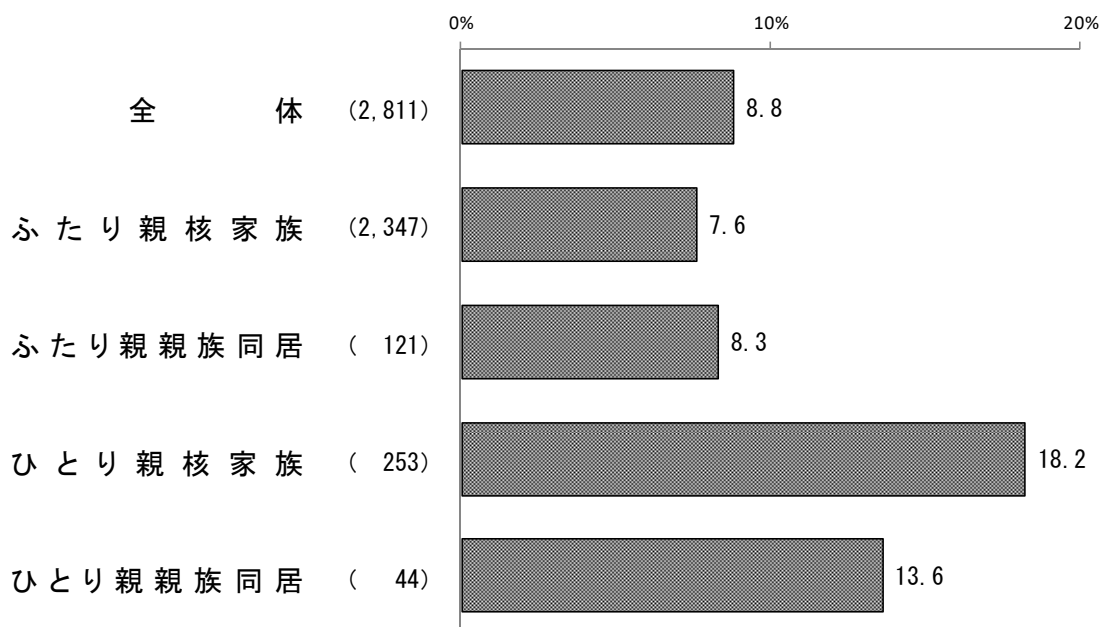
小学5年生のいる世帯の保護者の近所付き合いの程度のうち『まったく付き合いがない』と回答した人を世帯構成別にみると、『ひとり親親族同居』は17.4%と全体に比べて高くなっている。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-197】 近所付き合いの程度『まったく付き合いがない』  
 (小学5年生・世帯構成別)



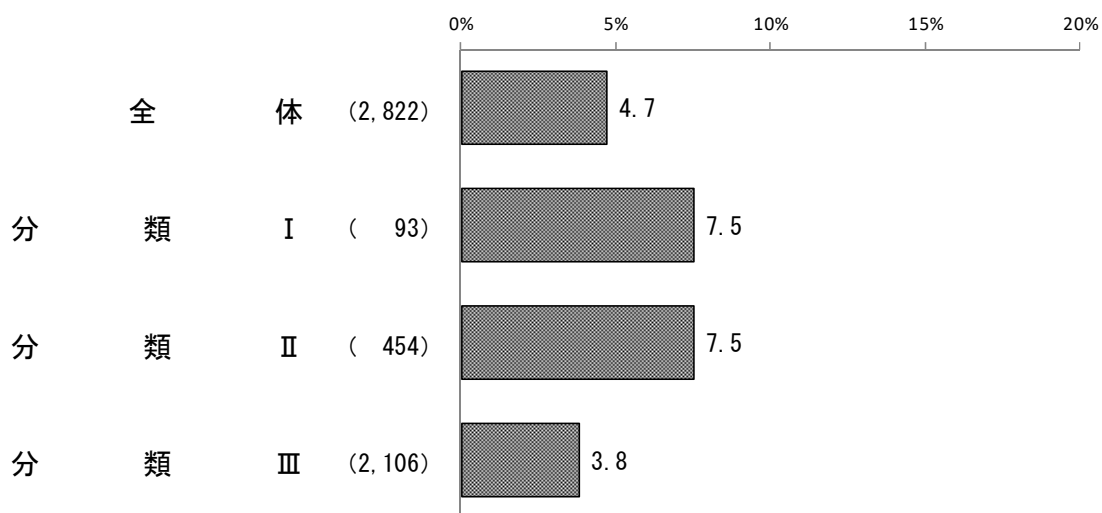
中学2年生のいる世帯の保護者の近所付き合いの程度のうち『まったく付き合いがない』と回答した人を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。  
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-198】近所付き合いの程度『まったく付き合いがない』  
(中学2年生・世帯構成別)



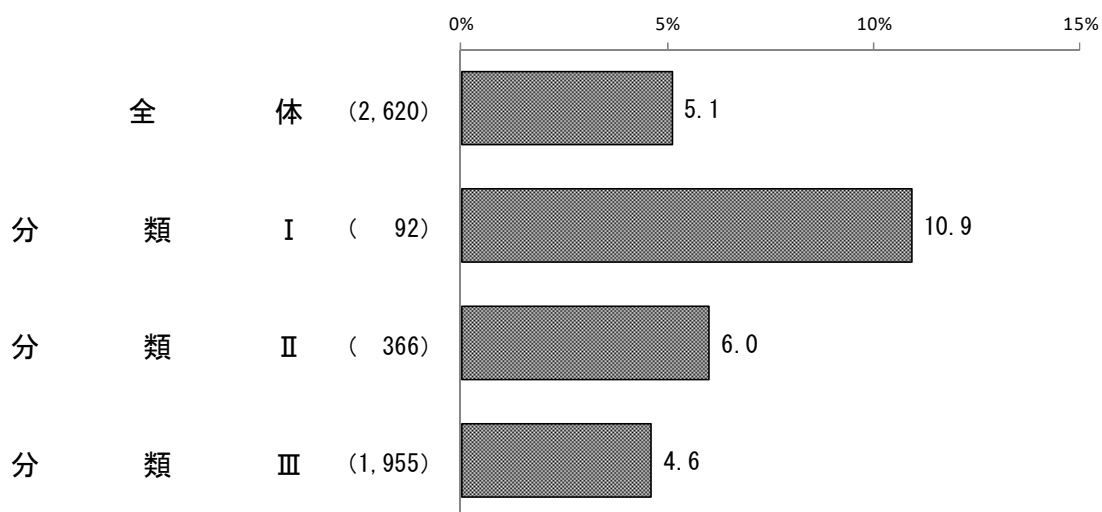
小学2年生のいる世帯の保護者の近所付き合いの程度のうち『まったく付き合いがない』と回答した人を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

【図表 3-199】近所付き合いの程度『まったく付き合いがない』  
(小学2年生・所得分類別)



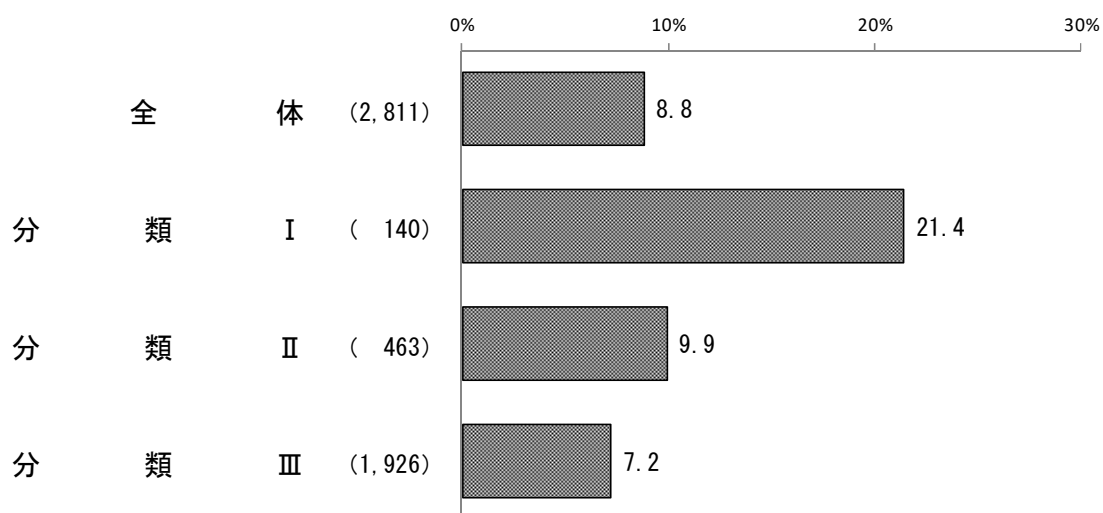
小学5年生のいる世帯の保護者の近所付き合いの程度のうち『まったく付き合いがない』と回答した人を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

【図表 3-200】近所付き合いの程度『まったく付き合いがない』  
(小学5年生・所得分類別)



中学2年生のいる世帯の保護者の近所付き合いの程度のうち『まったく付き合いがない』と回答した人を所得分類別にみると、「まったく付き合いがない」は『分類Ⅰ』で21.4%と、全体に比べて高くなっている。

【図表 3-201】近所付き合いの程度『まったく付き合いがない』  
(中学2年生・所得分類別)



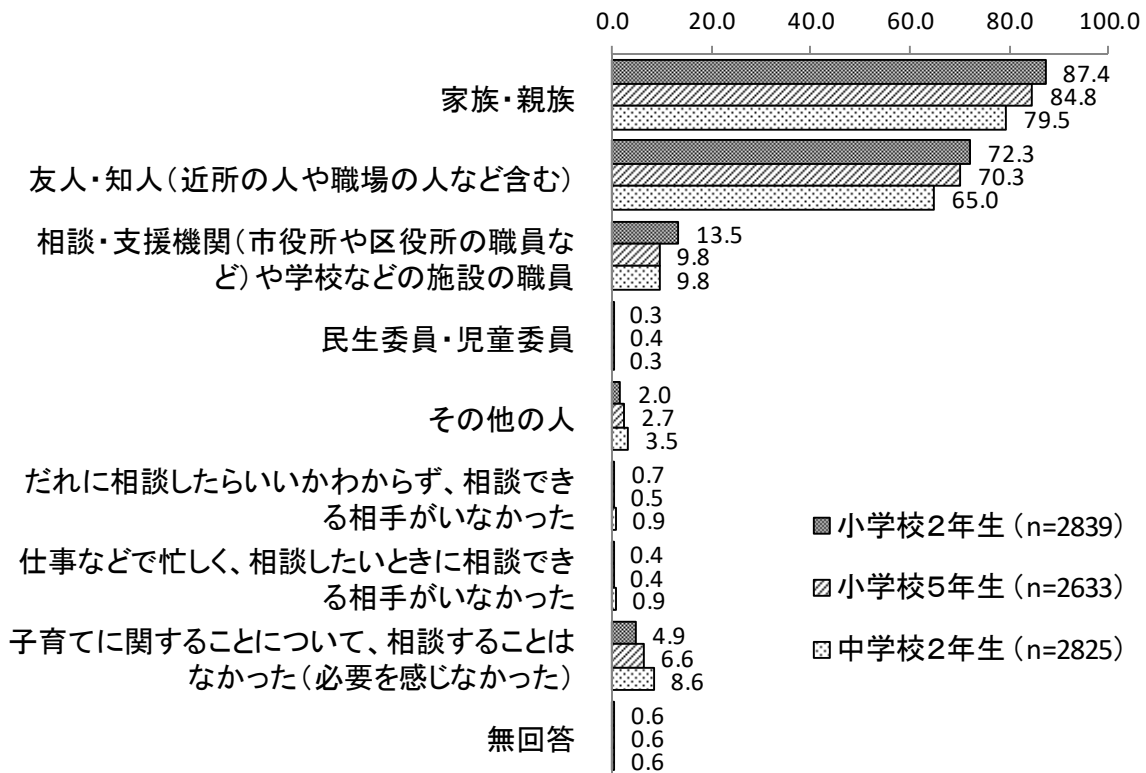


イ 相談相手の有無

① 子育てに関する相談先【小学・問17a、中学・問16a】(MA)

子育てに関する相談先を複数回答で聞いたところ、いずれの学年でも「家族・親族」(小学2年生：87.4%、小学5年生：84.8%、中学2年生：79.5%)が最も高く、次いで「友人・知人(近所の人や職場の人など含む)」(小学2年生：72.3%、小学5年生：70.3%、中学2年生：65.0%)となっている。

【図表 3-202】子育てに関する相談先(複数回答)



小学2年生のいる世帯の保護者の子育てに関する相談先について「だれに相談したらいいかわからず、相談できる相手がいなかった」「仕事などで忙しく、相談したいときに相談できる相手がいなかった」「子育てに関することについて、相談することはなかった（必要を感じなかった）」、と回答した保護者を世帯構成別、所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-203】子育てに関する相談先（複数回答）  
（小学2年生・世帯構成別、所得分類別）

		n	るか 相 わ れ が ら い ず な か つ た で い き	き 談 し な い ど で い き な し か つ た で 相	じ は な か つ た （ 必 要 を 感	つ な い た 相 関 す る こ と に
全 体		2,823	0.7	0.4	4.9	
世 帯 構 成	ふたり親核家族	2,560	0.6	0.2	4.7	
	ふたり親親族同居	99	0.0	1.0	4.0	
	ひとり親核家族	113	1.8	1.8	8.8	
	ひとり親親族同居	29	6.9	3.4	6.9	
所 得 分 類	分類Ⅰ	94	0.0	0.0	7.4	
	分類Ⅱ	454	1.1	0.4	4.8	
	分類Ⅲ	2,106	0.7	0.3	4.8	

小学5年生のいる世帯の保護者の子育てに関する相談先について「だれに相談したらいいかわからず、相談できる相手がいなかった」「仕事などで忙しく、相談したいときに相談できる相手がいなかった」「子育てに関することについて、相談することはなかった（必要を感じなかった）」、と回答した保護者を世帯構成別、所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-204】子育てに関する相談先（複数回答）  
（小学5年生・世帯構成別、所得分類別）

		n	るか 相 わ れ が ら い ず な か つ た で い き	き 談 仕 事 な ど で い き な し く 、 相 談 す る こ と に 関 心 を 感 ず く	じ は つ 子 育 て に 関 心 を 感 ず く こ と に 関 心 を 感 ず く
全 体		2,617	0.5	0.4	6.7
世 帯 構 成	ふたり親核家族	2,293	0.5	0.3	6.6
	ふたり親親族同居	113	0.0	0.0	5.3
	ひとり親核家族	141	1.4	1.4	9.2
	ひとり親親族同居	46	0.0	2.2	2.2
所 得 分 類	分類Ⅰ	93	2.2	2.2	7.5
	分類Ⅱ	365	0.8	1.4	6.6
	分類Ⅲ	1,954	0.4	0.2	6.5

中学2年生のいる世帯の保護者の子育てに関する相談先について「だれに相談したらいいかわからず、相談できる相手がいなかった」「仕事などで忙しく、相談したいときに相談できる相手がいなかった」「子育てに関することについて、相談することはなかった（必要を感じなかった）」、と回答した保護者を世帯構成別、所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-205】子育てに関する相談先（複数回答）  
（中学2年生・世帯構成別、所得分類別）

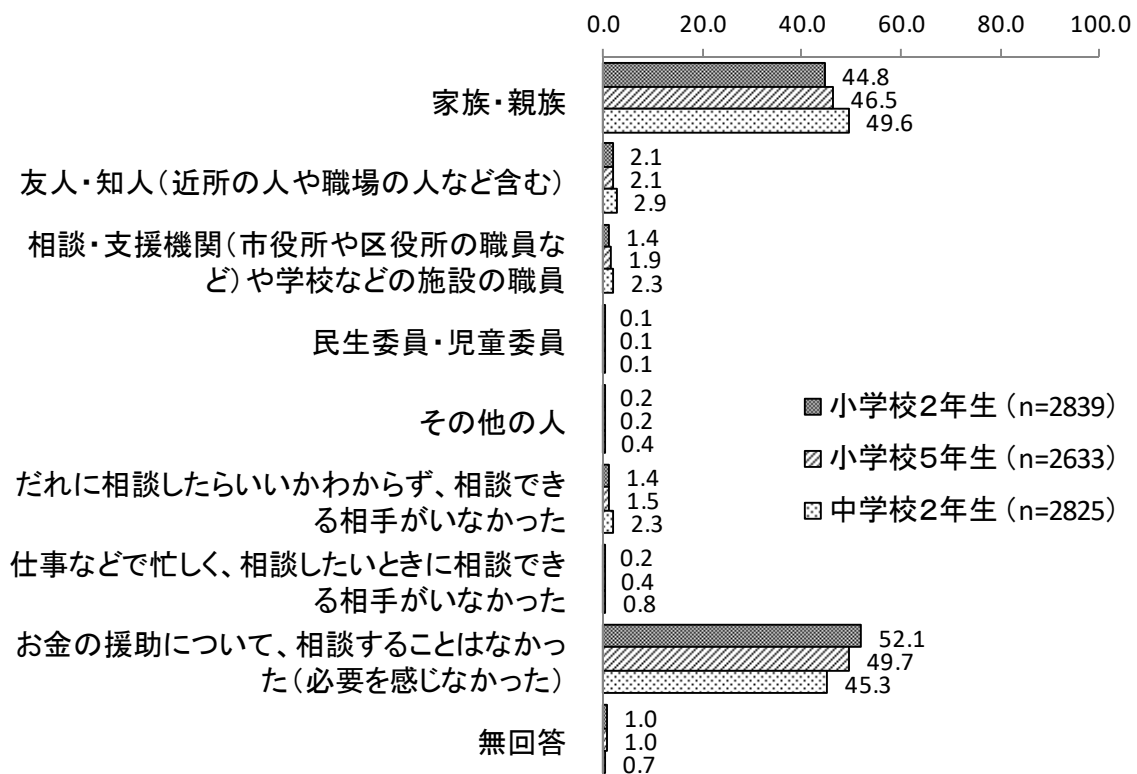
		n	るか 相 わ れ に 相 談 し た ら い い か わ か ら ず 、 相 談 で き る 相 手 が い な か っ た	き 談 仕 事 な ど で 忙 し く 、 相 談 し た い と き に 相 談 で き る 相 手 が い な か っ た	じ は つ 子 育 て に 関 連 す る こ と に 必 ず し く 必 要 を 感 じ た
全 体		2,808	0.9	0.9	8.7
世 帯 構 成	ふたり親核家族	2,345	0.5	0.8	8.1
	ふたり親親族同居	121	0.0	0.0	6.6
	ひとり親核家族	253	4.3	2.0	13.8
	ひとり親親族同居	44	2.3	0.0	4.5
所 得 分 類	分類Ⅰ	140	2.9	1.4	12.9
	分類Ⅱ	462	1.5	1.7	10.6
	分類Ⅲ	1,925	0.6	0.7	8.0

② いざという時のお金の援助相談先【小学・問17b、中学・問16b】(MA)

いざという時のお金の援助相談先を複数回答で聞いたところ、いずれの学年でも「家族・親族」(小学2年生：44.8%、小学5年生：46.5%、中学2年生：49.6%)が最も高くなっている。

一方、「お金の援助について、相談することはなかった(必要を感じなかった)」は小学2年生のいる世帯の保護者で52.1%、小学5年生のいる世帯の保護者で49.7%、中学2年生のいる世帯の保護者で45.3%となっている。

【図表 3-206】いざという時のお金の援助相談先(複数回答)



小学2年生のいる世帯の保護者のいざという時のお金の援助相談先について「だれに相談したらいいかわからず、相談できる相手がいなかった」「仕事などで忙しく、相談したいときに相談できる相手がいなかった」「お金の援助について、相談することはなかった（必要を感じなかった）」と回答した保護者を世帯構成別にみると、「お金の援助について、相談することはなかった（必要を感じなかった）」は『ひとり親核家族』で31.3%と、全体に比べて低くなっている。

所得分類別にみると、「お金の援助について、相談することはなかった（必要を感じなかった）」は『分類Ⅰ』で17.0%と、『分類Ⅱ』で39.9%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-207】いざという時のお金の援助相談先（複数回答）  
（小学2年生・世帯構成別、所得分類別）

		n	るか 相わ 手が がら いず な か つ た で い き	き 談 し 相 手 が と い き な か つ た	た た 相 お 金 の 援 助 に つ い て 必 要 を 感 じ な か つ た
全 体		2,812	1.4	0.2	52.6
世帯 構 成	ふたり親核家族	2,550	1.4	0.3	54.5
	ふたり親親族同居	99	1.0	0.0	43.4
	ひとり親核家族	112	1.8	0.0	31.3
	ひとり親親族同居	29	0.0	0.0	20.7
所得 分 類	分類Ⅰ	94	2.1	1.1	17.0
	分類Ⅱ	454	3.1	0.2	39.9
	分類Ⅲ	2,098	1.0	0.2	57.1

小学5年生のいる世帯の保護者のいざという時のお金の援助相談先について「だれに相談したらいいかわからず、相談できる相手がいなかった」「仕事などで忙しく、相談したいときに相談できる相手がいなかった」「お金の援助について、相談することはなかった（必要を感じなかった）」と回答した保護者を世帯構成別にみると、「お金の援助について、相談することはなかった（必要を感じなかった）」は『ひとり親核家族』で 33.3%と、『ひとり親親族同居』で 24.4%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

所得分類別にみると、「お金の援助について、相談することはなかった（必要を感じなかった）」は『分類Ⅰ』で 20.7%と、『分類Ⅱ』で 35.6%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

【図表 3-208】いざという時のお金の援助相談先（複数回答）  
（小学5年生・世帯構成別、所得分類別）

		n	るか 相わ 手か がら いず な、 か相 つ談 たで きい	き談 るし 相た 手い がと いき なに か相 つ談 たで	仕事 たな どで いき 忙し なく 相談 た相	た た 相 お	金 の 援 助 に つ い て は な い か か つ
全 体		2,607	1.5	0.4	50.2		
世帯 構 成	ふたり親核家族	2,284	1.4	0.3	52.4		
	ふたり親親族同居	113	0.9	0.0	42.5		
	ひとり親核家族	141	2.1	1.4	33.3		
	ひとり親親族同居	45	4.4	4.4	24.4		
所得 分 類	分類Ⅰ	92	4.3	4.3	20.7		
	分類Ⅱ	365	4.1	0.8	35.6		
	分類Ⅲ	1,946	0.9	0.1	55.5		

中学2年生のいる世帯の保護者のいざという時のお金の援助相談先について「だれに相談したらいいかわからず、相談できる相手がいなかった」「仕事などで忙しく、相談したいときに相談できる相手がいなかった」「お金の援助について、相談することはなかった（必要を感じなかった）」と回答した保護者を世帯構成別にみると、「お金の援助について、相談することはなかった（必要を感じなかった）」は『ひとり親核家族』で33.3%と、『ひとり親親族同居』で27.9%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

所得分類別にみると、「お金の援助について、相談することはなかった（必要を感じなかった）」は『分類Ⅰ』で27.5%と、『分類Ⅱ』で32.8%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-209】いざという時のお金の援助相談先（複数回答）  
（中学2年生・世帯構成別、所得分類別）

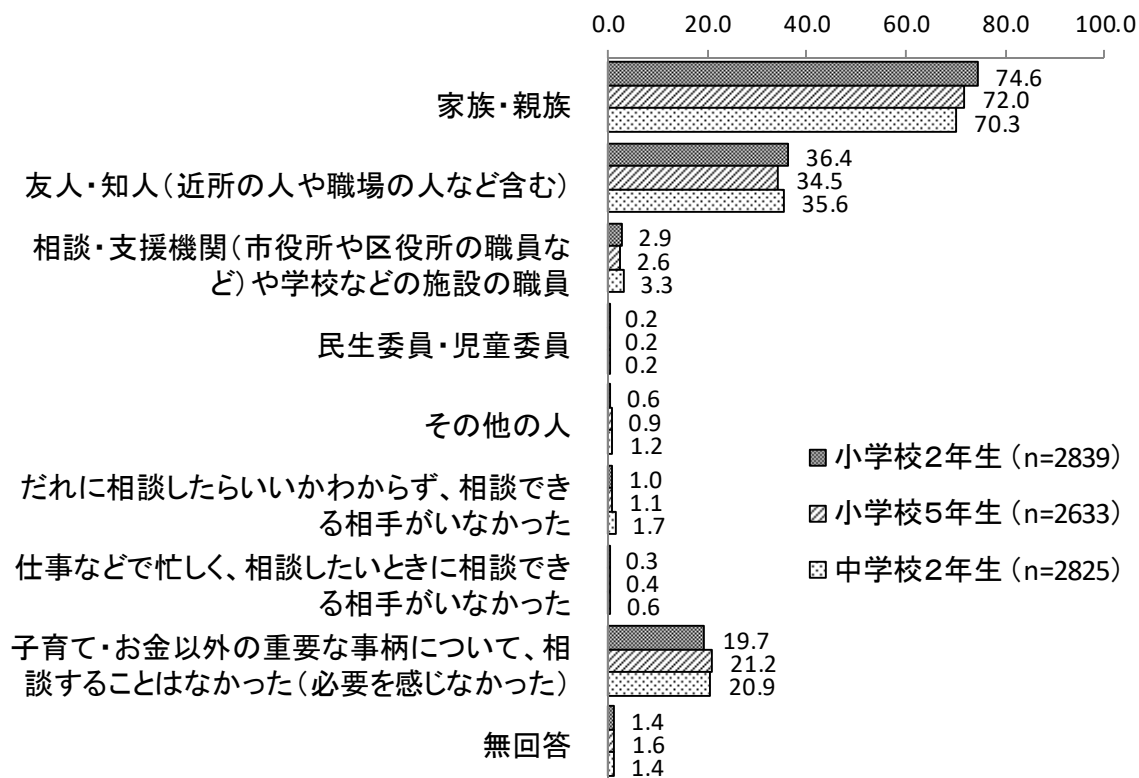
		n	るか 相 わ れ に 相 談 し た ら い い か わ ら ず 、 相 談 で き る 相 手 が い な か っ た	き 談 し な い と き に 相 談 で き る 相 手 が い な か っ た	た た か い と き に 相 談 で き る 相 手 が い な か っ た	お 金 の 援 助 に つ い て 、 相 談 す る こ と は な か っ た （ 必 要 を 感 じ な か っ た ）
全 体		2,804	2.4	0.9	45.6	
世 帯 構 成	ふたり親核家族	2,344	1.7	0.5	47.8	
	ふたり親親族同居	121	0.8	0.0	39.7	
	ひとり親核家族	252	7.1	4.0	33.3	
	ひとり親親族同居	43	7.0	0.0	27.9	
所 得 分 類	分類Ⅰ	138	7.2	2.9	27.5	
	分類Ⅱ	463	5.0	1.3	32.8	
	分類Ⅲ	1,923	1.0	0.6	50.8	



③ 子育て、お金の援助相談以外の重要な事柄の相談先【小学・問 17c、中学・問 16c】(MA)

子育て、お金の援助相談以外の重要な事柄の相談先を複数回答で聞いたところ、いずれの学年でも「家族・親族」(小学2年生：74.6%、小学5年生：72.0%、中学2年生：70.3%)が最も高く、次いで「友人・知人(近所の人や職場の人など含む)」(小学2年生：36.4%、小学5年生：34.5%、中学2年生：35.6%)となっている。

【図表 3-210】子育て、お金の援助相談以外の重要な事柄の相談先(複数回答)



小学2年生のいる世帯の保護者の子育て、お金の援助相談以外の重要な事柄の相談先について「だれに相談したらいいかわからず、相談できる相手がいなかった」「仕事などで忙しく、相談したいときに相談できる相手がいなかった」「子育て・お金以外の重要な事柄について、相談することはなかった（必要を感じなかった）」と回答した保護者を世帯構成別にみると、「子育て・お金以外の重要な事柄について、相談することはなかった（必要を感じなかった）」は『ひとり親核家族』で8.9%と、全体に比べて低くなっている。

所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-211】子育て、お金の援助相談以外の重要な事柄の相談先（複数回答）  
（小学2年生・世帯構成別、所得分類別）

		n	相談できない相手から相談した	相談したいが忙しい	仕事などで忙しく相談できなかった	子育て・お金以外の重要な事柄について相談した（必要を感じなかった）
全体		2,799	1.0	0.3	20.0	
世帯構成	ふたり親核家族	2,542	1.0	0.3	20.8	
	ふたり親親族同居	97	0.0	0.0	12.4	
	ひとり親核家族	112	2.7	1.8	8.9	
	ひとり親親族同居	29	0.0	0.0	17.2	
所得分類	分類Ⅰ	94	3.2	1.1	12.8	
	分類Ⅱ	449	0.9	0.7	16.3	
	分類Ⅲ	2,095	1.0	0.2	21.2	

小学5年生のいる世帯の保護者の子育て、お金の援助相談以外の重要な事柄の相談先について「だれに相談したらいいかわからず、相談できる相手がいなかった」「仕事などで忙しく、相談したいときに相談できる相手がいなかった」「子育て・お金以外の重要な事柄について、相談することはなかった（必要を感じなかった）」と回答した保護者を世帯構成別にみると、「子育て・お金以外の重要な事柄について、相談することはなかった（必要を感じなかった）」は『ひとり親親族同居』で8.9%と、全体に比べて低くなっている。

所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-212】子育て、お金の援助相談以外の重要な事柄の相談先（複数回答）  
（小学5年生・世帯構成別、所得分類別）

		n	相談できない相手から相談した	相談したいが忙しい	仕事などで忙しく相談できなかった	子育て・お金以外の重要な事柄について相談した（必要を感じなかった）
全体		2,592	1.1	0.4	21.5	
世帯構成	ふたり親核家族	2,272	1.0	0.3	22.6	
	ふたり親親族同居	113	0.0	0.9	16.8	
	ひとり親核家族	139	3.6	1.4	12.9	
	ひとり親親族同居	45	0.0	4.4	8.9	
所得分類	分類Ⅰ	90	3.3	1.1	15.6	
	分類Ⅱ	364	1.6	1.1	17.0	
	分類Ⅲ	1,937	0.8	0.3	22.8	

中学2年生のいる世帯の保護者の子育て、お金の援助相談以外の重要な事柄の相談先について「だれに相談したらいいかわからず、相談できる相手がいなかった」「仕事などで忙しく、相談したいときに相談できる相手がいなかった」「子育て・お金以外の重要な事柄について、相談することはなかった（必要を感じなかった）」と回答した保護者を世帯構成別にみると、「子育て・お金以外の重要な事柄について、相談することはなかった（必要を感じなかった）」は『ひとり親親族同居』で4.5%と、全体に比べて低くなっている。

所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-213】子育て、お金の援助相談以外の重要な事柄の相談先（複数回答）  
（中学2年生・世帯構成別、所得分類別）

		n	相談先がいない、相談できなかった	相談先がいない、相談できなかった	相談先がいない、相談できなかった
全体		2,785	1.7	0.6	21.2
世帯構成	ふたり親核家族	2,326	1.2	0.5	22.2
	ふたり親親族同居	119	1.7	0.0	18.5
	ひとり親核家族	252	6.7	1.6	16.7
	ひとり親親族同居	44	2.3	0.0	4.5
所得分類	分類Ⅰ	139	6.5	0.7	14.4
	分類Ⅱ	457	3.5	1.1	19.0
	分類Ⅲ	1,912	0.9	0.4	22.3

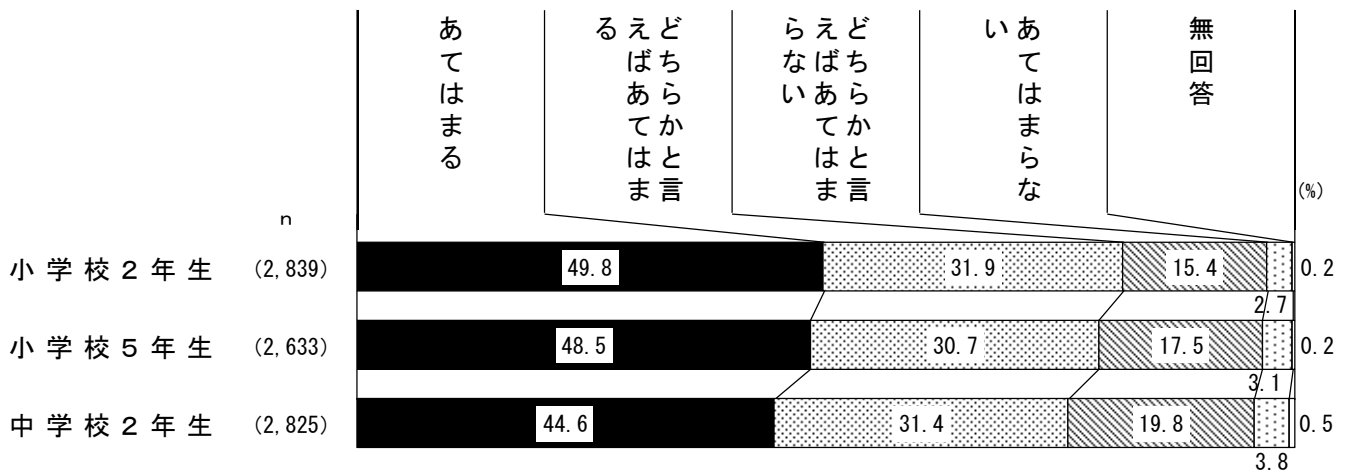
## 第4節 子育ての状況

### (1) 保護者と子どもとの関わり

#### ア これまでの子どもとの関わり方【小学・問7・中学・問6】(SA)

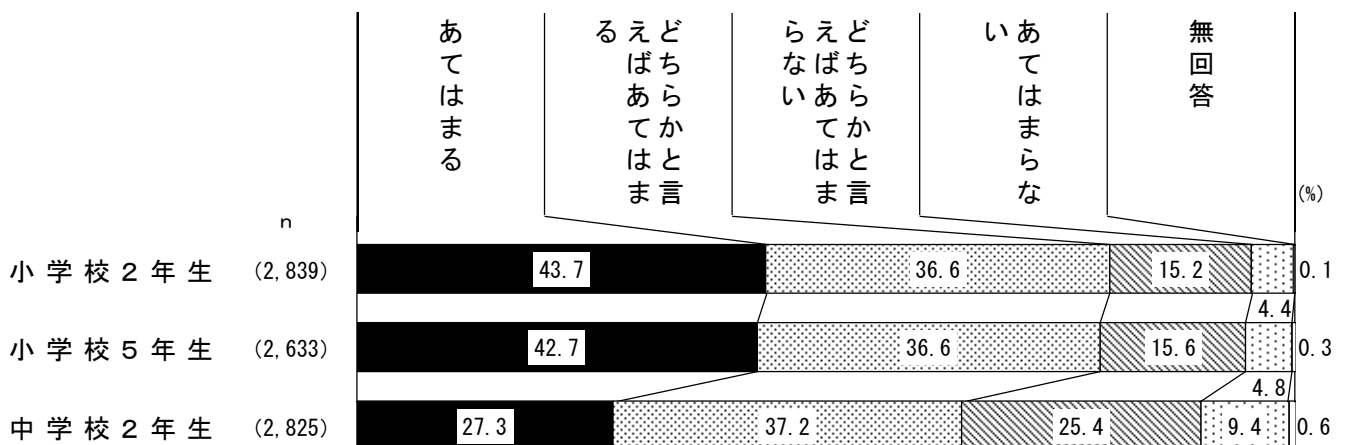
これまでの子どもとの関わり方を聞いたところ、『お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた』では「あてはまる」(小学2年生:49.8%、小学5年生:48.5%、中学2年生:44.6%)が最も高く、次いで、「どちらかと言えばあてはまる」(小学2年生:31.9%、小学5年生:30.7%、中学2年生:31.4%)、「どちらかと言えばあてはまらない」(小学2年生:15.4%、小学5年生:17.5%、中学2年生:19.8%)となっている。

【図表 3-214】『お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた』について



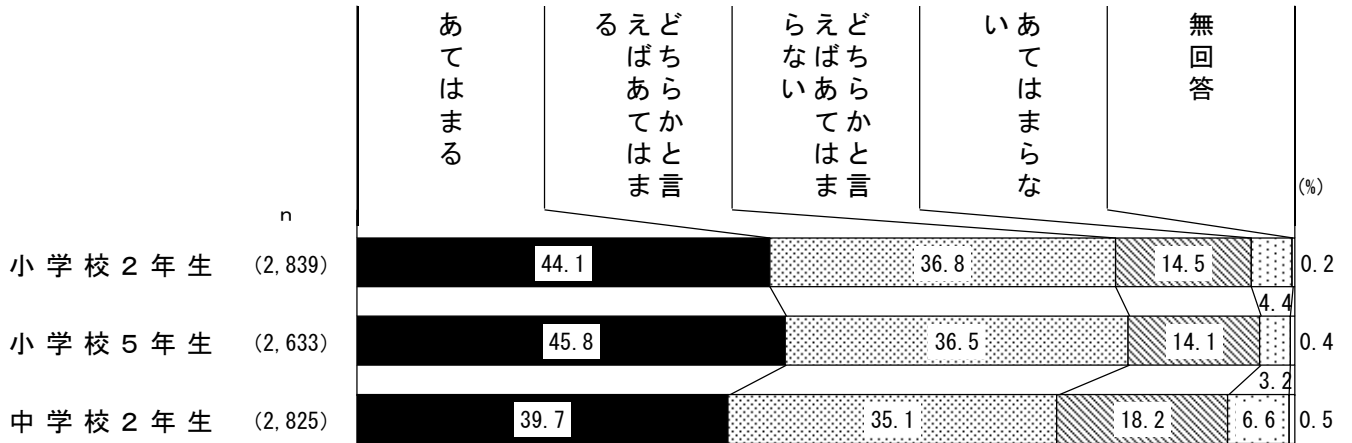
『テレビやゲーム、インターネットなどの視聴時間などのルールを決めている』では、小学2年生のいる世帯の保護者、小学5年生のいる世帯の保護者で「あてはまる」(小学2年生:43.7%、小学5年生:42.7%)が最も高く、次いで、「どちらかと言えばあてはまる」(小学2年生:36.6%、小学5年生:36.6%)、「どちらかと言えばあてはまらない」(小学2年生:15.2%、小学5年生:15.6%)となっている。中学2年生のいる世帯の保護者は、「どちらかと言えばあてはまる」が37.2%と最も高く、次いで、「あてはまる」(27.3%)、「どちらかと言えばあてはまらない」(25.4%)となっている。

【図表 3-215】『テレビやゲーム、インターネットなどの視聴時間などのルールを決めている』について



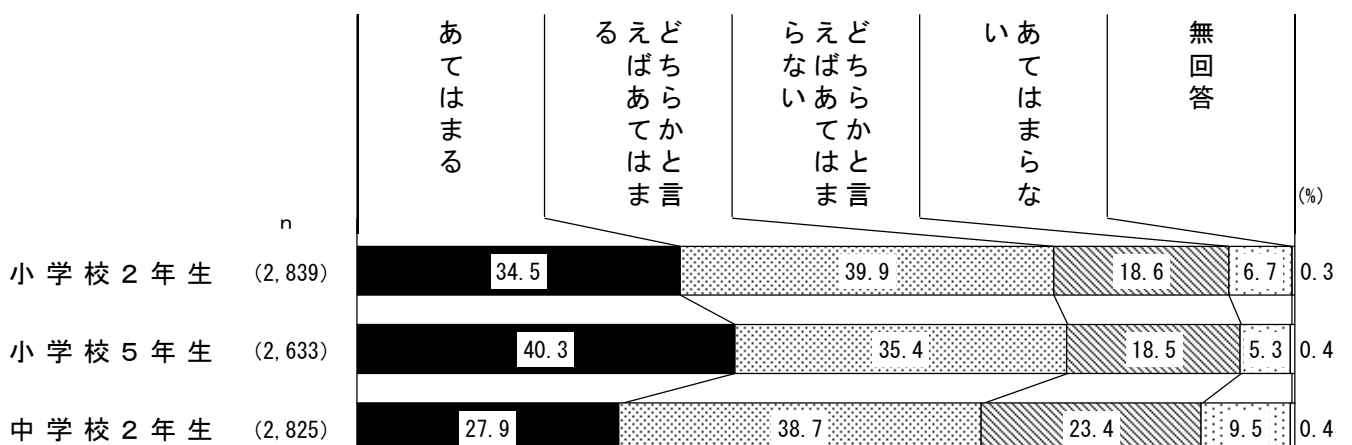
『お子さんから勉強や成績のことについて話をしてくれる』では「あてはまる」(小学2年生:44.1%、小学5年生:45.8%、中学2年生:39.7%)が最も高く、次いで、「どちらかと言えばあてはまる」(小学2年生:36.8%、小学5年生:36.5%、中学2年生:35.1%)、「どちらかと言えばあてはまらない」(小学2年生:14.5%、小学5年生:14.1%、中学2年生:18.2%)となっている。

【図表 3-216】『お子さんから勉強や成績のことについて話をしてくれる』について



『お子さんに本や新聞を読むように勧めている』では、小学2年生のいる世帯の保護者、中学2年生のいる世帯の保護者で、「どちらかと言えばあてはまる」(小学2年生:39.9%、中学2年生:38.7%)が最も高く、次いで、「あてはまる」(小学2年生:34.5%、中学2年生:27.9%)、「どちらかと言えばあてはまらない」(小学2年生:18.6%、中学2年生:23.4%)となっている。小学5年生のいる世帯の保護者は、「あてはまる」が40.3%と最も高く、次いで、「どちらかと言えばあてはまる」(35.4%)、「どちらかと言えばあてはまらない」(18.5%)となっている。

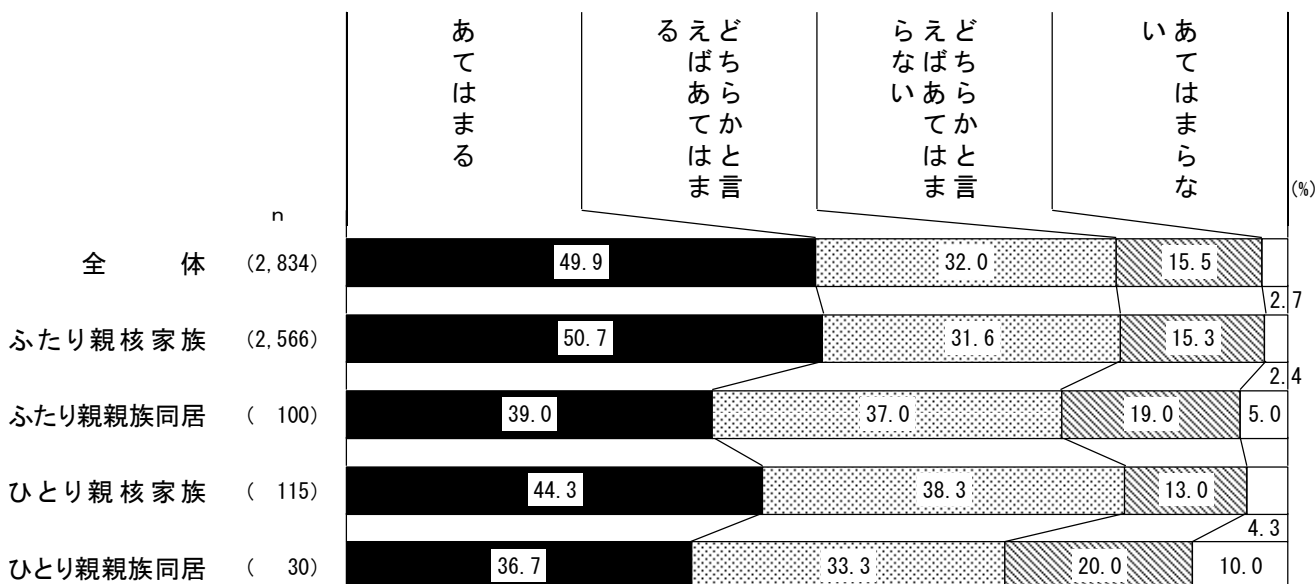
【図表 3-217】『お子さんに本や新聞を読むように勧めている』について



小学2年生のいる世帯の保護者の子どもとの関わり方について、『お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた』を世帯構成別にみると、「あてはまる」は『ふたり親親族同居』で39.0%と、全体に比べて低くなっている。

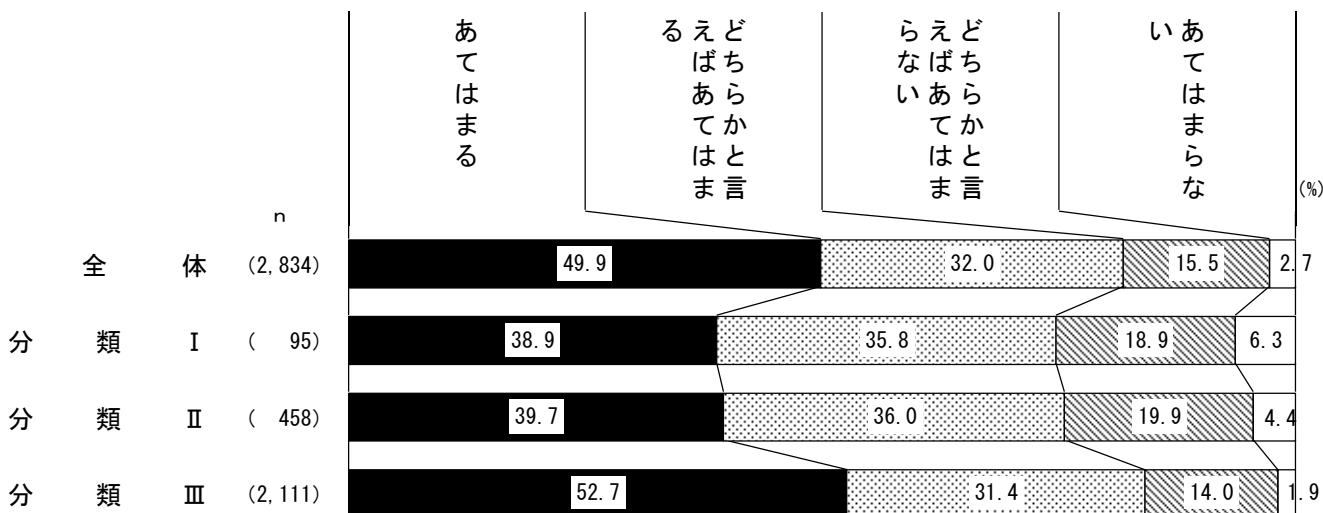
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-218】『お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた』について  
(小学2年生・世帯構成別)



小学2年生のいる世帯の保護者の子どもとの関わり方について、『お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた』を所得分類別にみると、「あてはまる」は『ふたり親親族同居』で38.9%と、全体に比べて低くなっている。

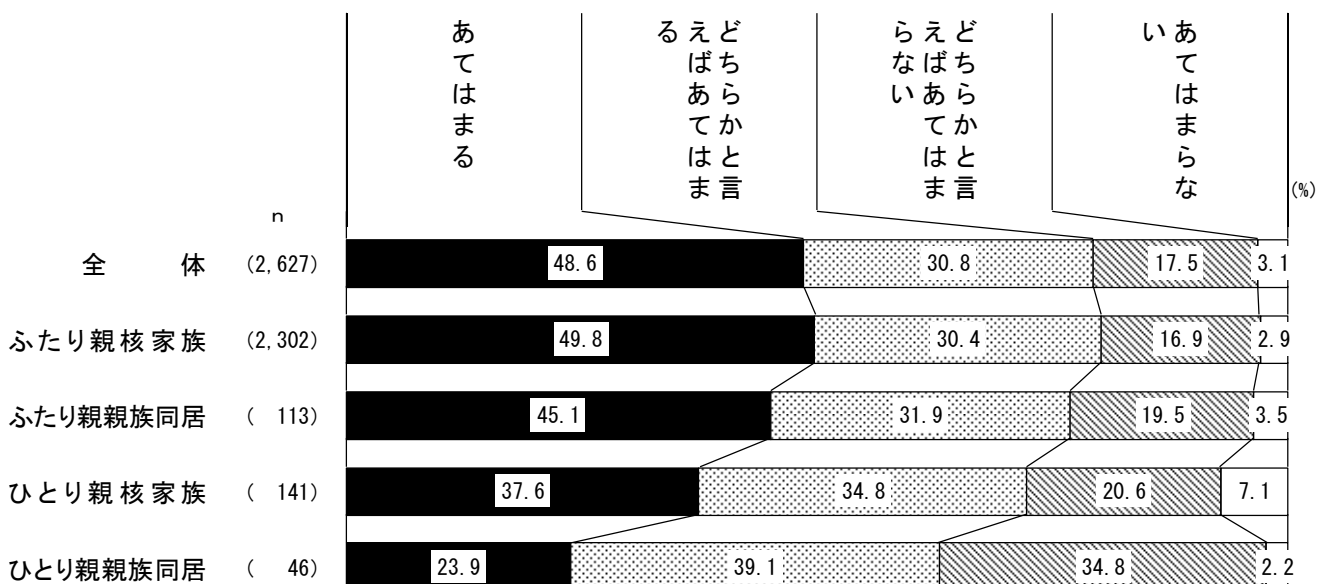
【図表 3-219】『お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた』について  
(小学2年生・所得分類別)



小学5年生のいる世帯の保護者の子どもとの関わり方について、『お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた』を世帯構成別にみると、『ひとり親親族同居』で「どちらかと言えばあてはまらない」が34.8%と全体に比べて高くなっている。一方、「あてはまる」は『ひとり親核家族』で37.6%、『ひとり親親族同居』で23.9%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

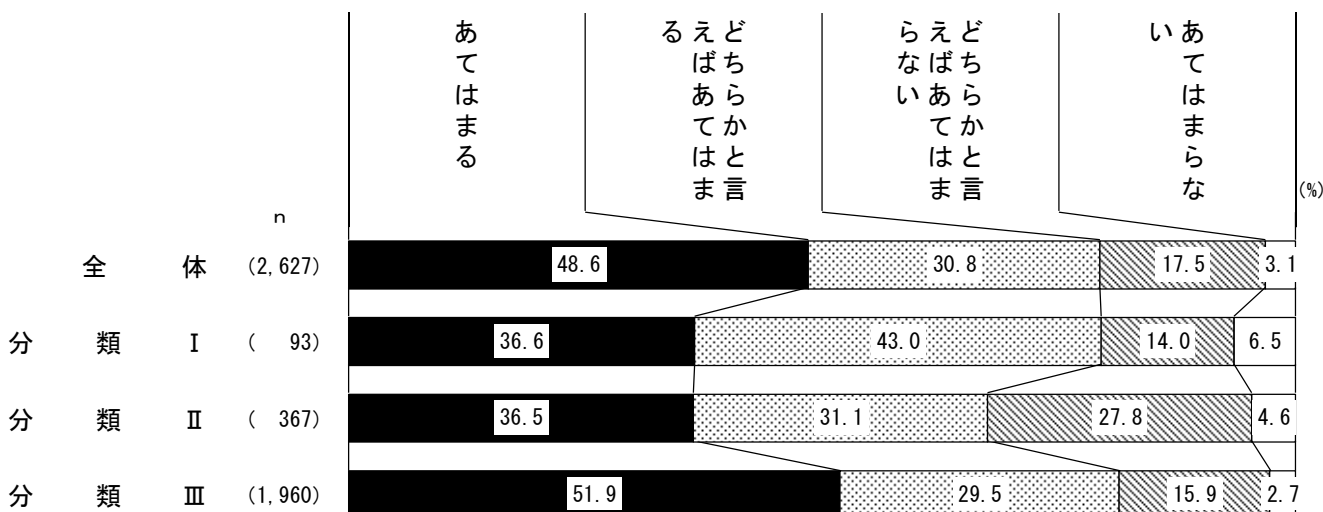
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-220】『お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた』について  
(小学5年生・世帯構成別)



小学5年生のいる世帯の保護者の子どもとの関わり方について、『お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた』を所得分類別にみると、『分類Ⅱ』で「どちらかと言えばあてはまらない」が27.8%と全体に比べて高くなっている。一方、「あてはまる」は『分類Ⅰ』で36.6%、『分類Ⅱ』で36.5%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

【図表 3-221】『お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた』について  
(小学5年生・所得分類別)

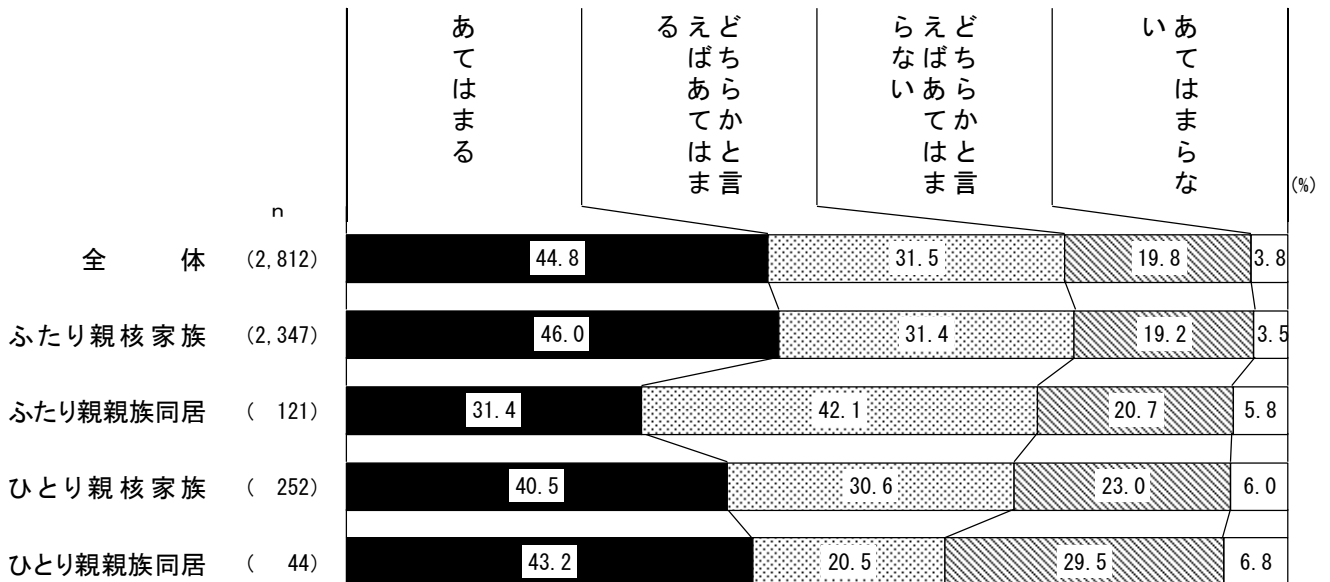




中学2年生のいる世帯の保護者の子どもとの関わり方について、『お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた』を世帯構成別にみると、『ふたり親親族同居』で「どちらかと言えばあてはまる」が42.1%と全体に比べて高くなっている。一方、「あてはまる」は『ふたり親親族同居』で31.4%と、全体に比べて低くなっている。

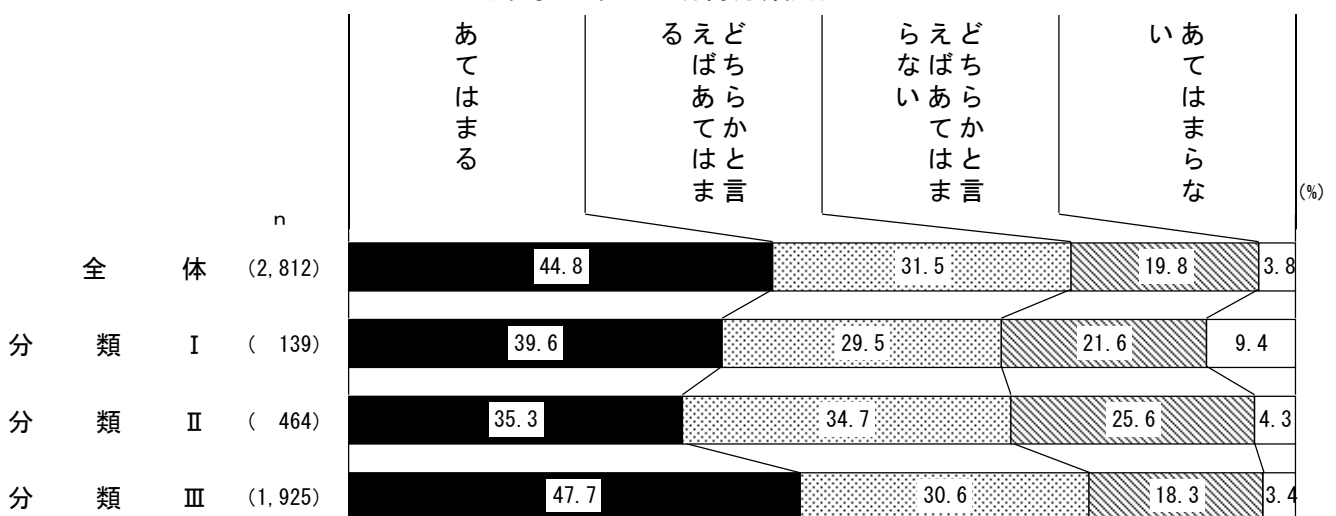
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-222】『お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた』について  
(中学2年生・世帯構成別)



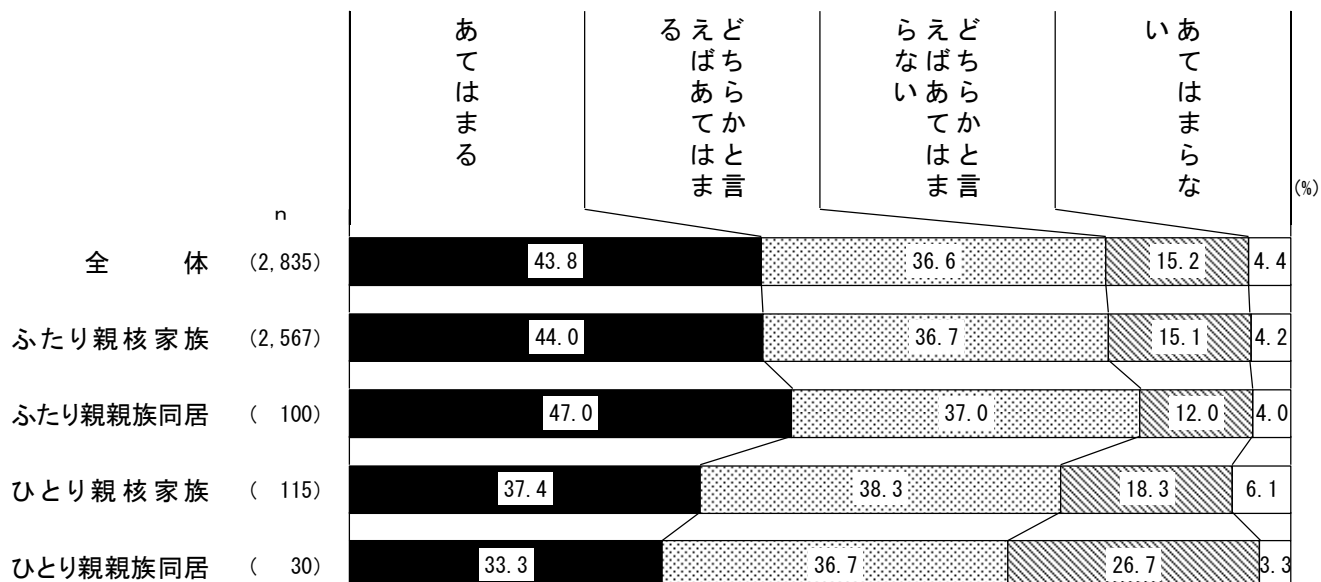
中学2年生のいる世帯の保護者の子どもとの関わり方について、『お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた』を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

【図表 3-223】『お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた』について  
(中学2年生・所得分類別)



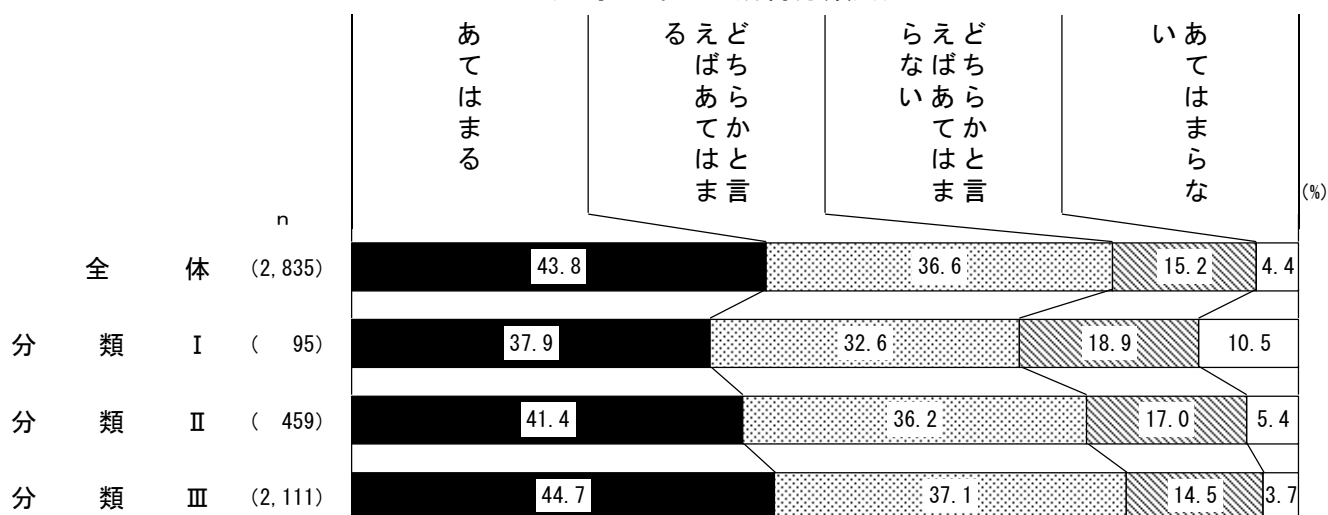
中学2年生のいる世帯の保護者の子どもとの関わり方について、『テレビやゲーム、インターネットなどの視聴時間などのルールを決めている』を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-224】『テレビやゲーム、インターネットなどの視聴時間などのルールを決めている』  
 について（小学2年生・世帯構成別）



小学2年生のいる世帯の保護者の子どもとの関わり方について、『テレビやゲーム、インターネットなどの視聴時間などのルールを決めている』を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

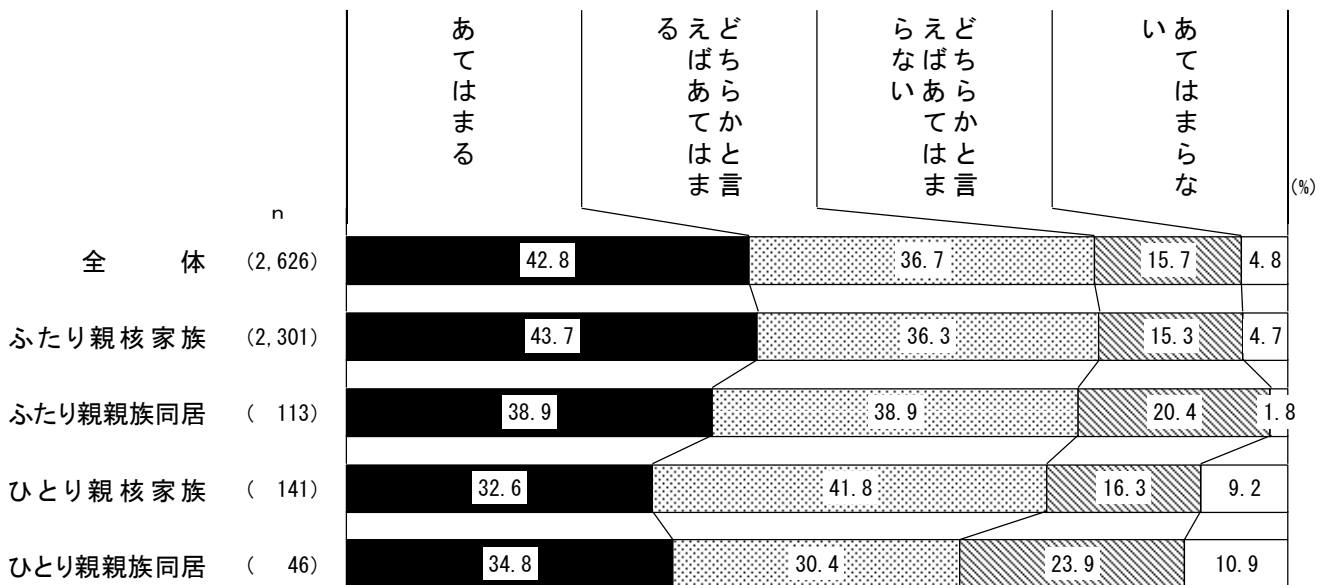
【図表 3-225】『テレビやゲーム、インターネットなどの視聴時間などのルールを決めている』  
 について（小学2年生・所得分類別）



小学5年生のいる世帯の保護者の子どもとの関わり方について、『テレビやゲーム、インターネットなどの視聴時間などのルールを決めている』を世帯構成別にみると、「あてはまる」は『ひとり親核家族』で32.6%と、全体に比べて低くなっている。

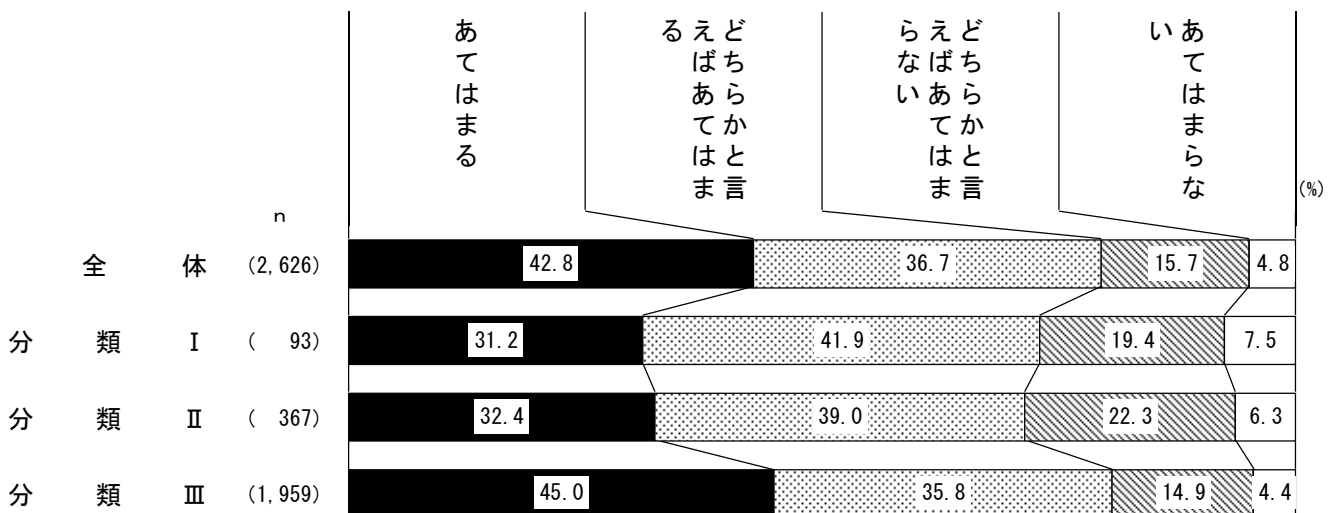
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-226】『テレビやゲーム、インターネットなどの視聴時間などのルールを決めている』について（小学5年生・世帯構成別）



小学5年生のいる世帯の保護者の子どもとの関わり方について、『テレビやゲーム、インターネットなどの視聴時間などのルールを決めている』を所得分類別にみると、「あてはまる」は『分類Ⅰ』で31.2%、『分類Ⅱ』で32.4%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

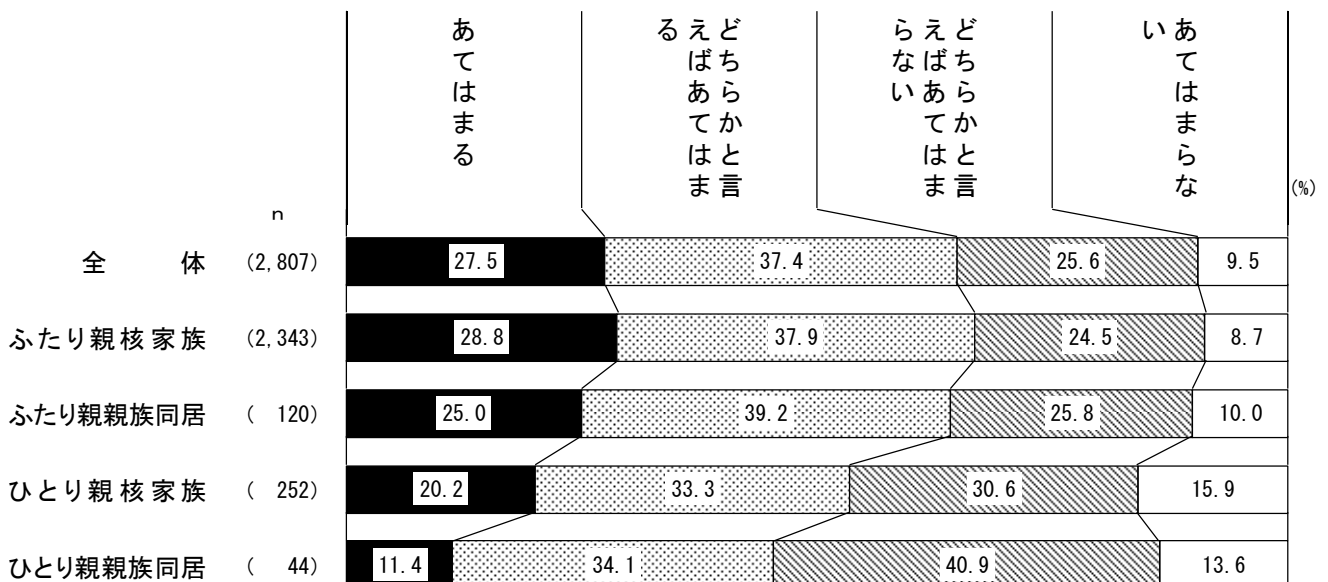
【図表 3-227】『テレビやゲーム、インターネットなどの視聴時間などのルールを決めている』について（小学5年生・所得分類別）



中学2年生のいる世帯の保護者の子どもとの関わり方について、『テレビやゲーム、インターネットなどの視聴時間などのルールを決めている』を世帯構成別にみると、『ひとり親親族同居』で「どちらかと言えばあてはまらない」が40.9%と全体に比べて高くなっている。一方、「あてはまる」は『ひとり親親族同居』で11.4%と、全体に比べて低くなっている。

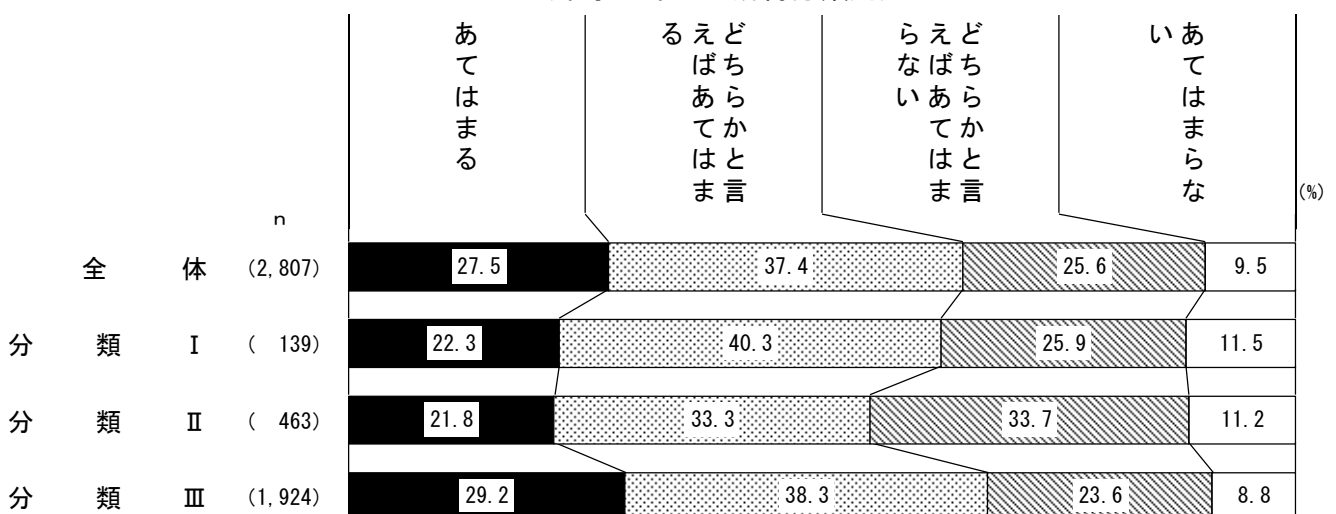
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-228】『テレビやゲーム、インターネットなどの視聴時間などのルールを決めている』について（中学2年生・世帯構成別）



中学2年生のいる世帯の保護者の子どもとの関わり方について、『テレビやゲーム、インターネットなどの視聴時間などのルールを決めている』を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

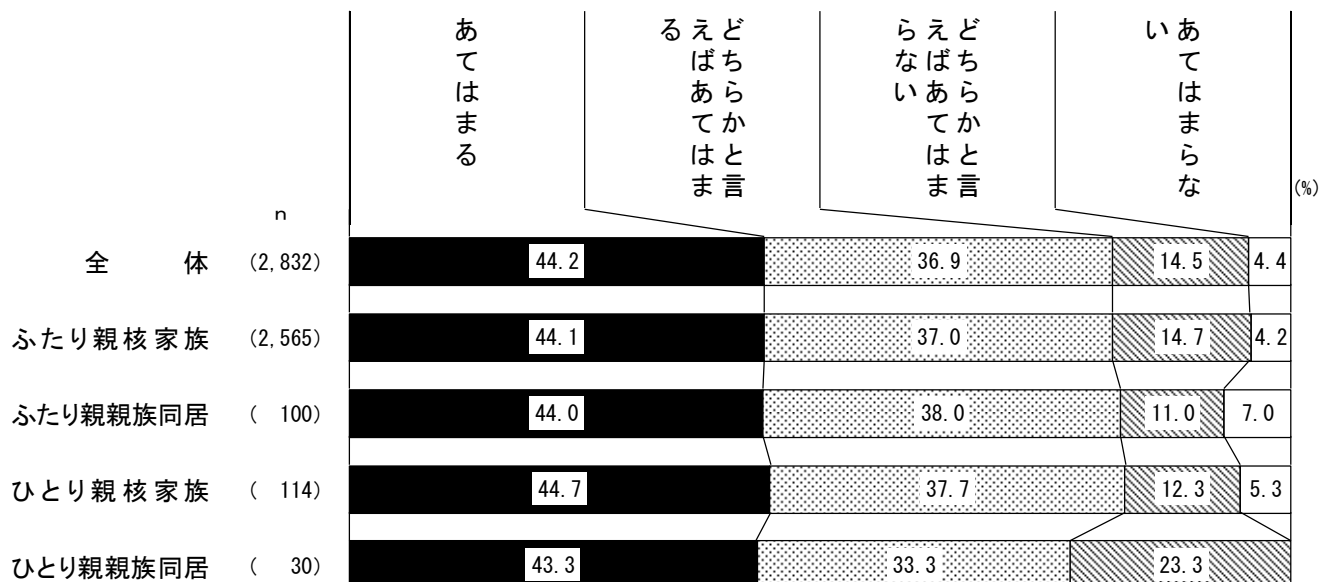
【図表 3-229】『テレビやゲーム、インターネットなどの視聴時間などのルールを決めている』について（中学2年生・所得分類別）



小学2年生のいる世帯の保護者の子どもとの関わり方について、『お子さんから勉強や成績のことについて話をしてくれる』を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

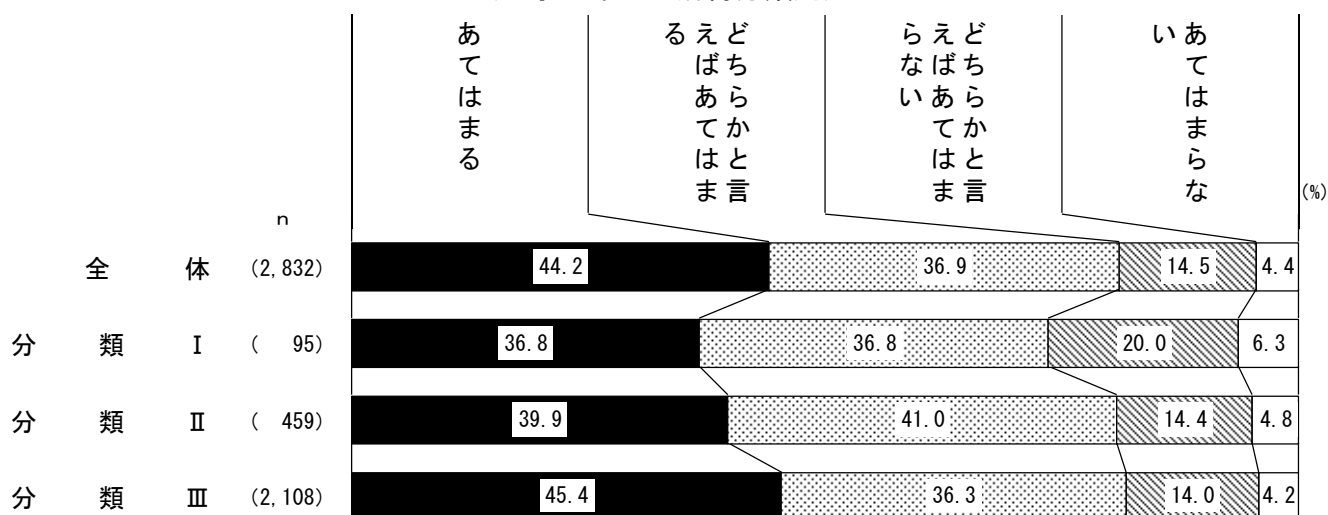
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-230】『お子さんから勉強や成績のことについて話をしてくれる』について  
(小学2年生・世帯構成別)



小学2年生のいる世帯の保護者の子どもとの関わり方について、『お子さんから勉強や成績のことについて話をしてくれる』を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

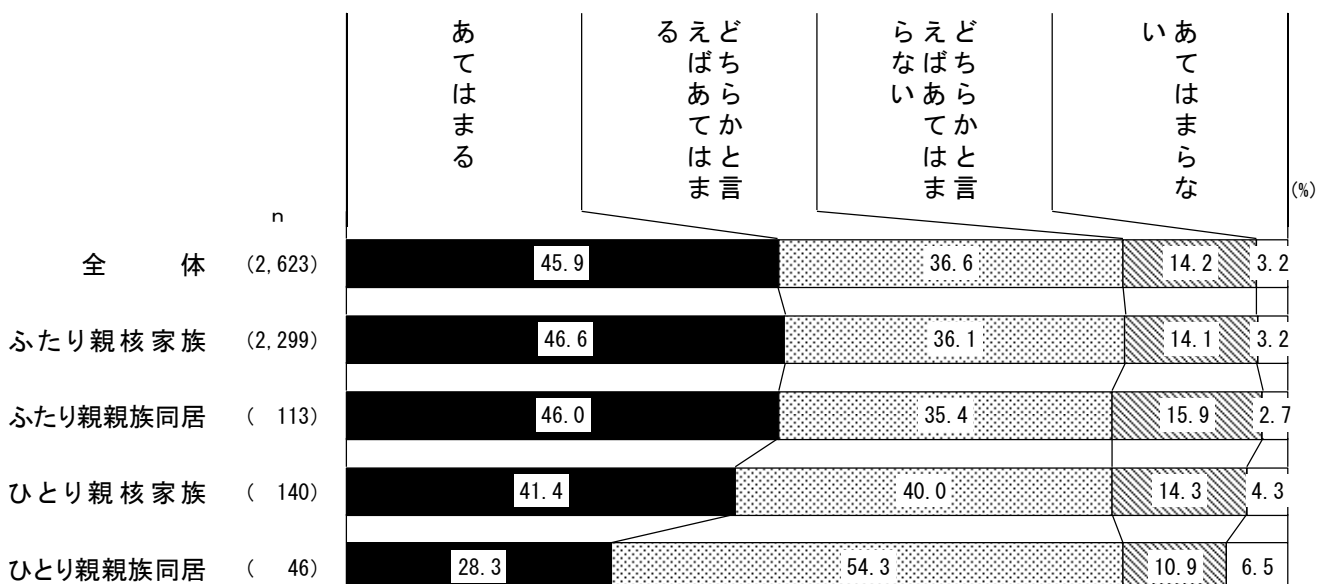
【図表 3-231】『お子さんから勉強や成績のことについて話をしてくれる』について  
(小学2年生・所得分類別)



小学5年生のいる世帯の保護者の子どもとの関わり方について、『お子さんから勉強や成績のことについて話をしてくれる』を世帯構成別にみると、『ひとり親親族同居』で「どちらかと言えばあてはまる」が54.3%と全体に比べて高くなっている。一方、「あてはまる」は『ひとり親親族同居』で28.3%と、全体に比べて低くなっている。

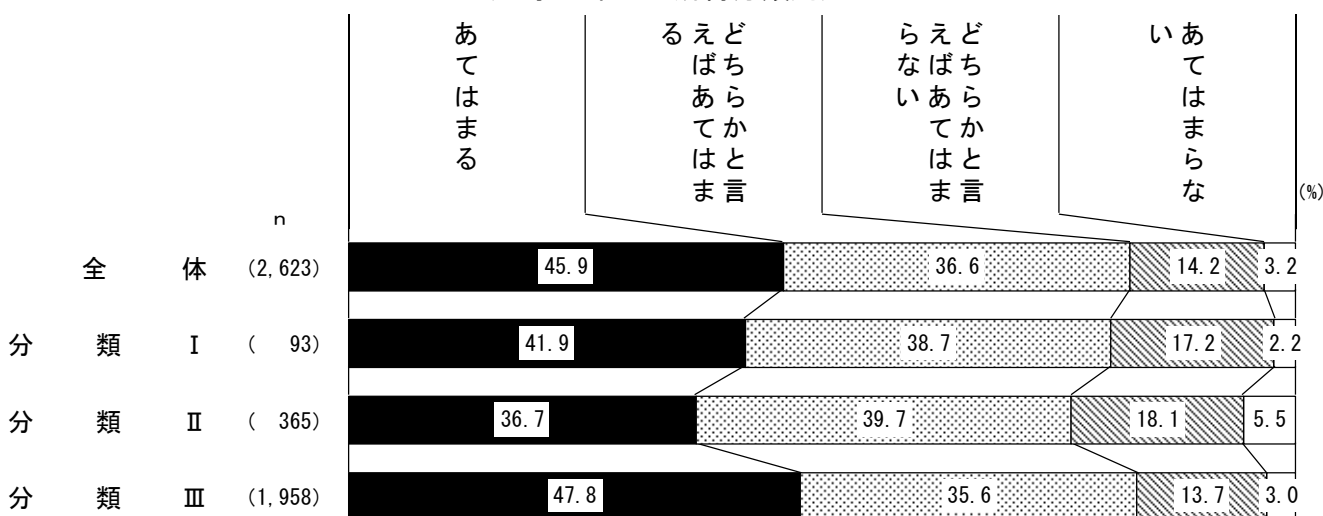
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-232】『お子さんから勉強や成績のことについて話をしてくれる』について  
(小学5年生・世帯構成別)



小学5年生のいる世帯の保護者の子どもとの関わり方について、『お子さんから勉強や成績のことについて話をしてくれる』を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

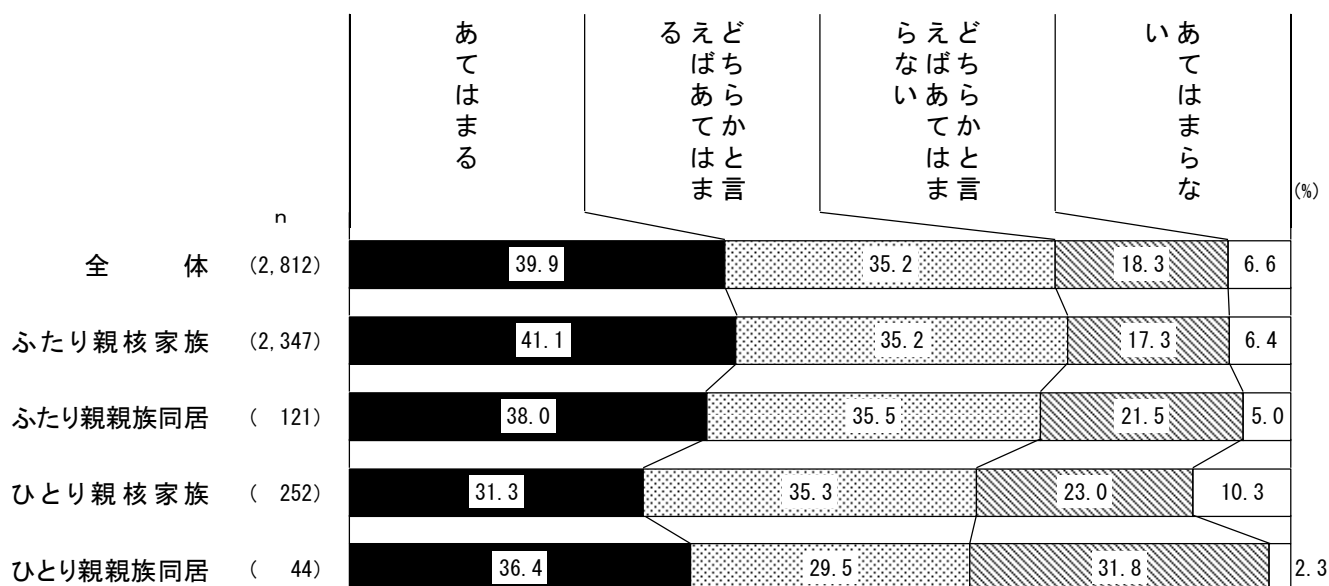
【図表 3-233】『お子さんから勉強や成績のことについて話をしてくれる』について  
(小学5年生・所得分類別)



中学2年生のいる世帯の保護者の子どもとの関わり方について、『お子さんから勉強や成績のことについて話をしてくれる』を世帯構成別にみると、『ひとり親親族同居』で「どちらかと言えばあてはまらない」が31.8%と全体に比べて高くなっている。

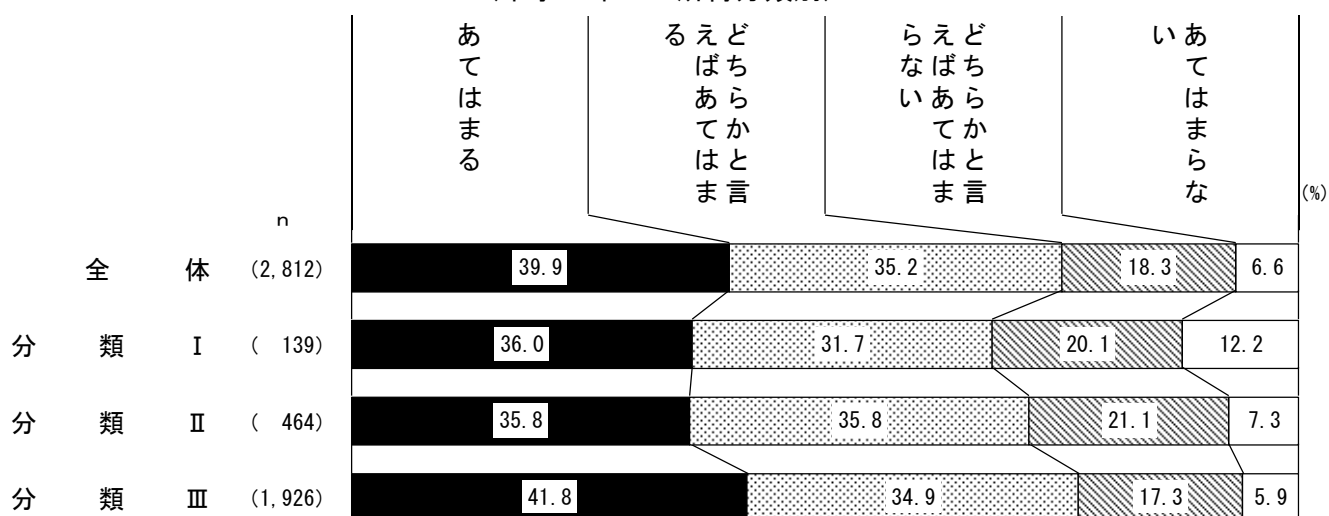
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-234】『お子さんから勉強や成績のことについて話をしてくれる』について  
(中学2年生・世帯構成別)



中学2年生のいる世帯の保護者の子どもとの関わり方について、「お子さんから勉強や成績のことについて話をしてくれる」を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

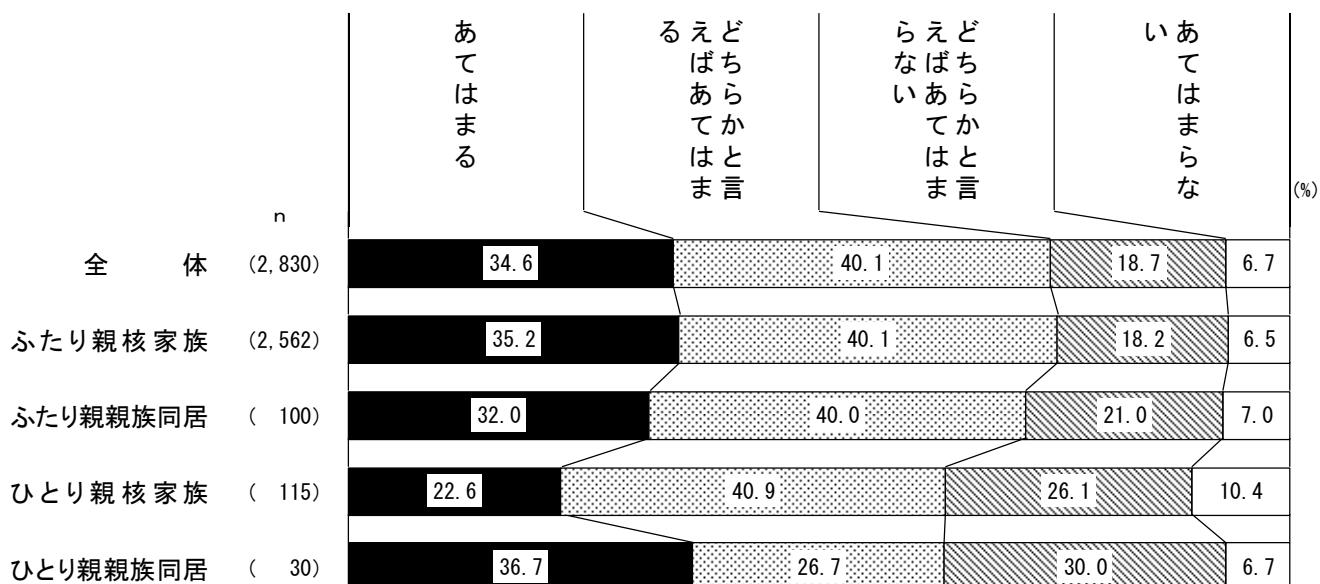
【図表 3-235】『お子さんから勉強や成績のことについて話をしてくれる』について  
(中学2年生・所得分類別)



小学2年生のいる世帯の保護者の子どもとの関わり方について、『お子さんに本や新聞を読むように勧めている』を世帯構成別にみると、『ひとり親親族同居』で「どちらかと言えばあてはまらない」が30.0%と全体に比べて高くなっている。一方、「あてはまる」は『ひとり親核家族』で22.6%と、全体に比べて低くなっている。

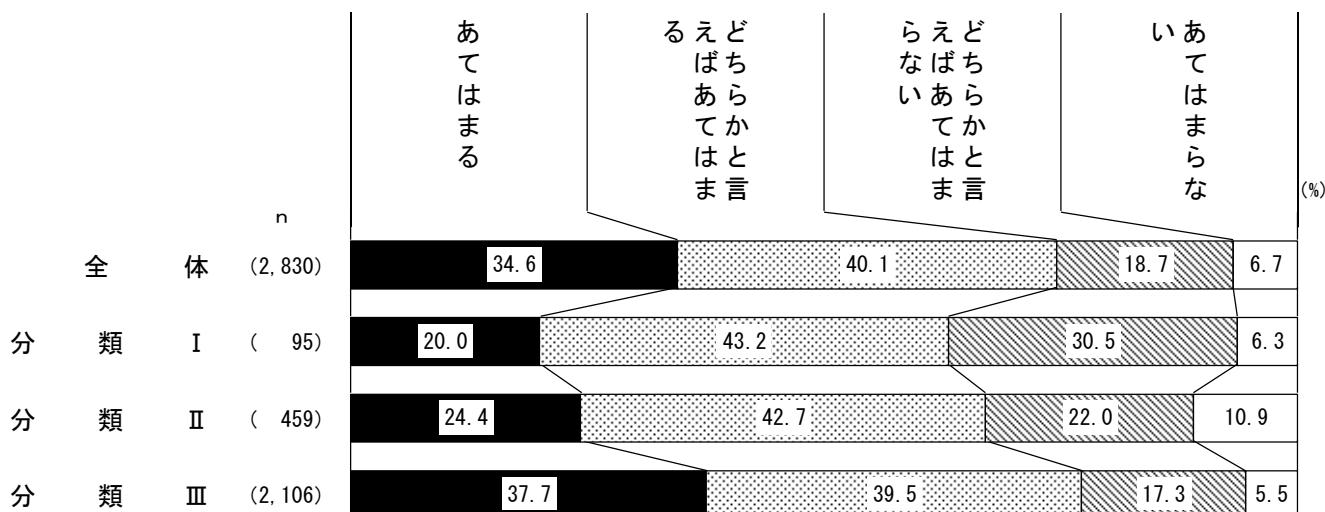
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-236】『お子さんに本や新聞を読むように勧めている』について  
(小学2年生・世帯構成別)



小学2年生のいる世帯の保護者の子どもとの関わり方について、『お子さんに本や新聞を読むように勧めている』を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』で「どちらかと言えばあてはまらない」が30.5%と全体に比べて高くなっている。一方、「あてはまる」は『分類Ⅰ』で20.0%、『分類Ⅱ』で24.4%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

【図表 3-237】『お子さんに本や新聞を読むように勧めている』について  
(小学2年生・所得分類別)

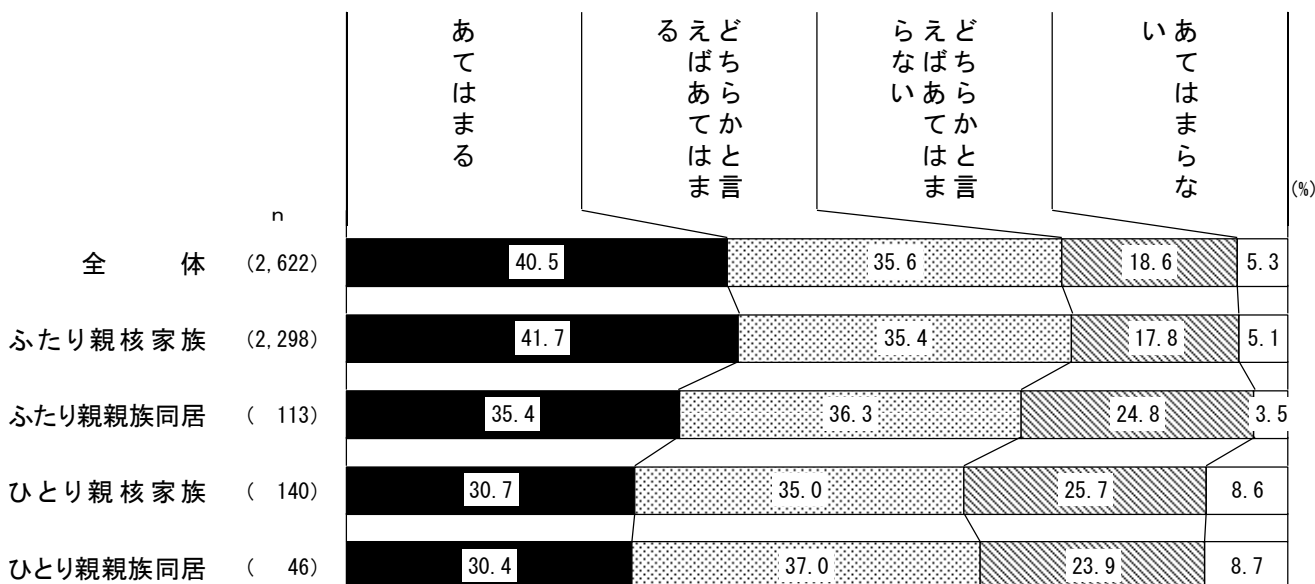




小学5年生のいる世帯の保護者の子どもとの関わり方について、『お子さんに本や新聞を読むように勧めている』を世帯構成別にみると、「あてはまる」は『ひとり親親族同居』で30.4%と、全体に比べて低くなっている。

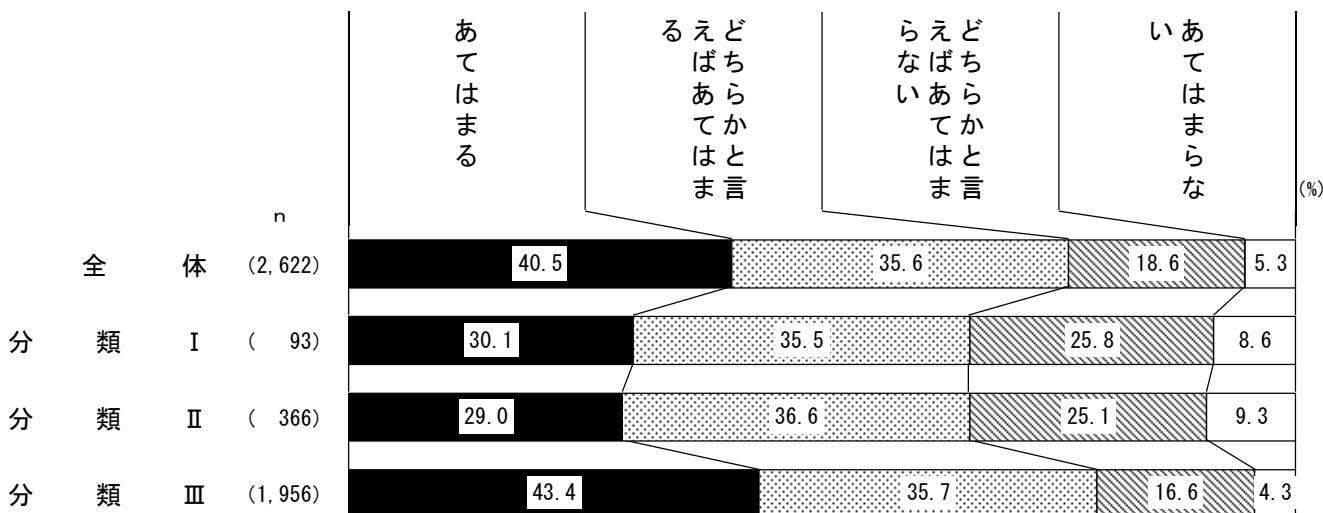
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-238】『お子さんに本や新聞を読むように勧めている』について  
(小学5年生・世帯構成別)



小学5年生のいる世帯の保護者の子どもとの関わり方について、『お子さんに本や新聞を読むように勧めている』を所得分類別にみると、「あてはまる」は『分類Ⅰ』で30.1%、『分類Ⅱ』で29.0%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

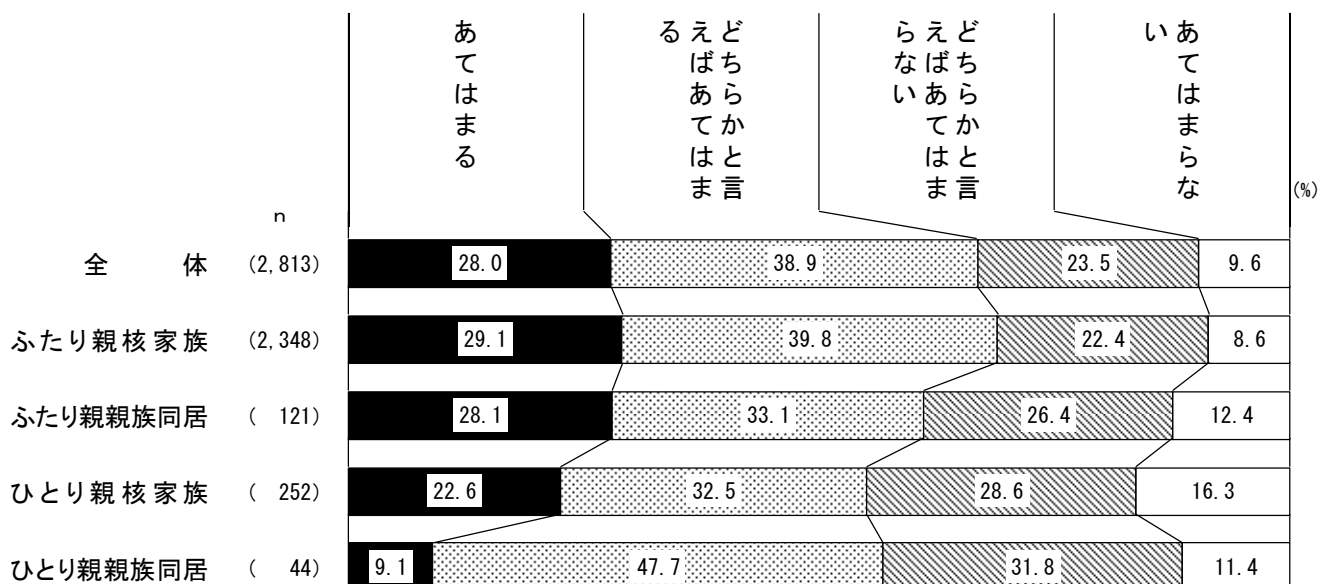
【図表 3-239】『お子さんに本や新聞を読むように勧めている』について  
(小学5年生・所得分類別)



中学2年生のいる世帯の保護者の子どもとの関わり方について、『お子さんに本や新聞を読むように勧めている』を世帯構成別にみると、「どちらかと言えばあてはまる」は『ひとり親親族同居』で47.7%と、全体に比べて高くなっている。一方、「あてはまる」は『ひとり親親族同居』で9.1%と、全体に比べて低くなっている。

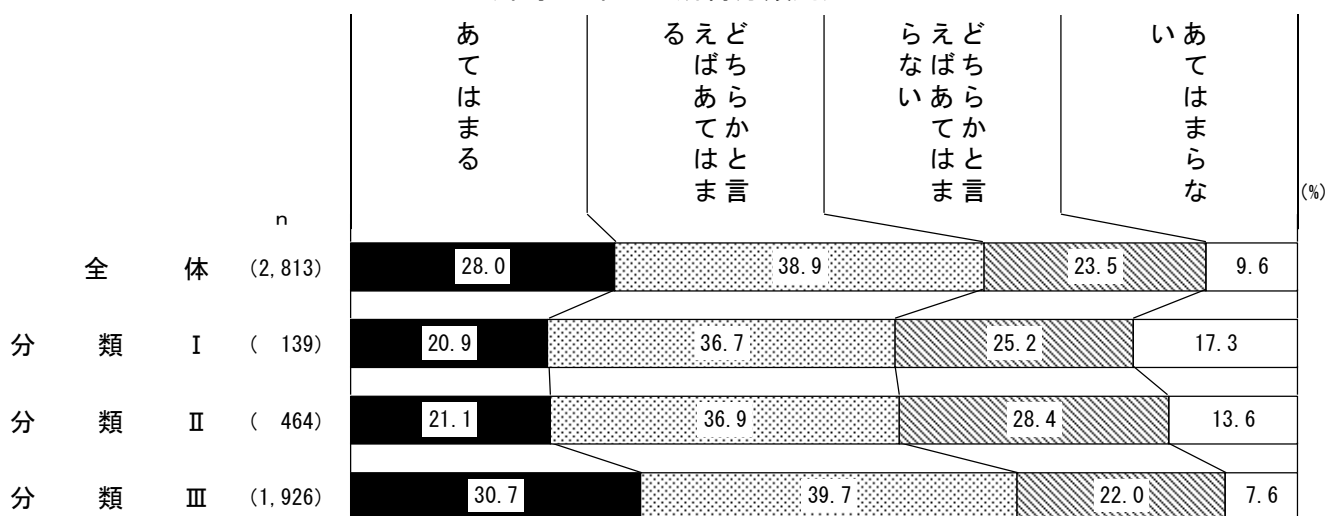
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-240】『お子さんに本や新聞を読むように勧めている』について  
(中学2年生・世帯構成別)



中学2年生のいる世帯の保護者の子どもとの関わり方について、『お子さんに本や新聞を読むように勧めている』を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

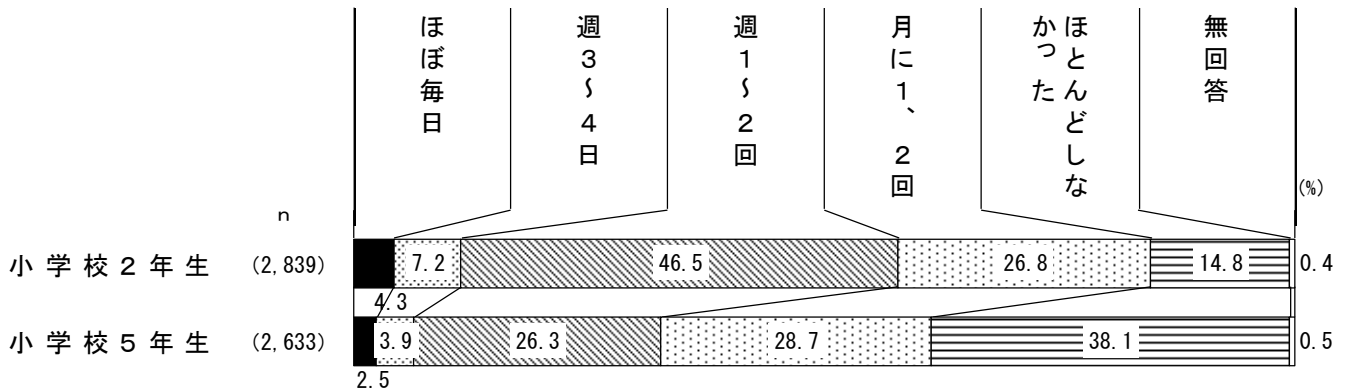
【図表 3-241】『お子さんに本や新聞を読むように勧めている』について  
(中学2年生・所得分類別)



イ 普段の子どもとの過ごし方【小学・問8・中学・問7】(SA)

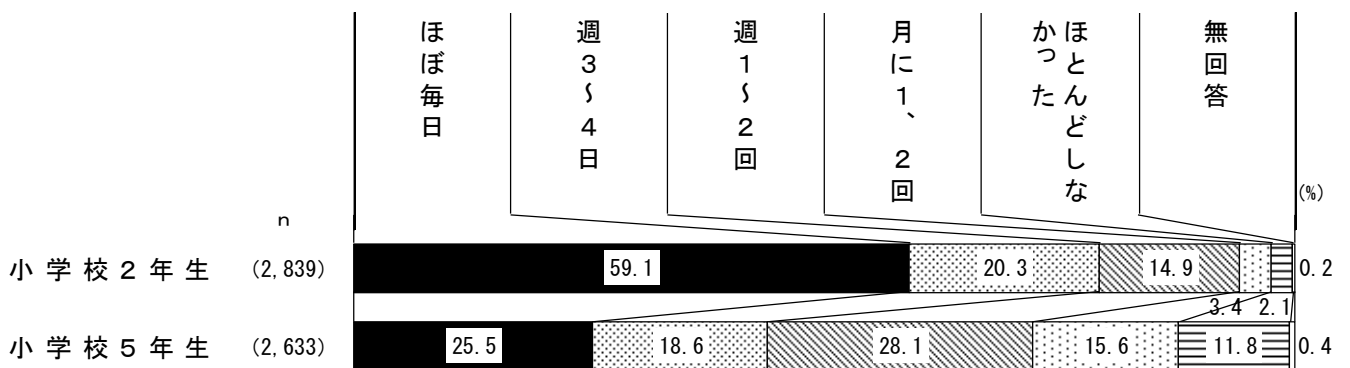
直近1か月の小学生の子どもとの過ごし方を聞いたところ、『子どもと一緒に、からだを動かして遊んだ』では小学2年生のいる世帯の保護者で「週1～2回」が46.5%と最も高く、次いで、「月に1、2回」(26.8%)、「ほとんどしなかった」(14.8%)となっている。小学5年生のいる世帯の保護者で「ほとんどしなかった」が38.1%と最も高く、次いで、「月に1、2回」(28.7%)、「週1～2回」(26.3%)となっている。

【図表 3-242】『子どもと一緒に、からだを動かして遊んだ』について



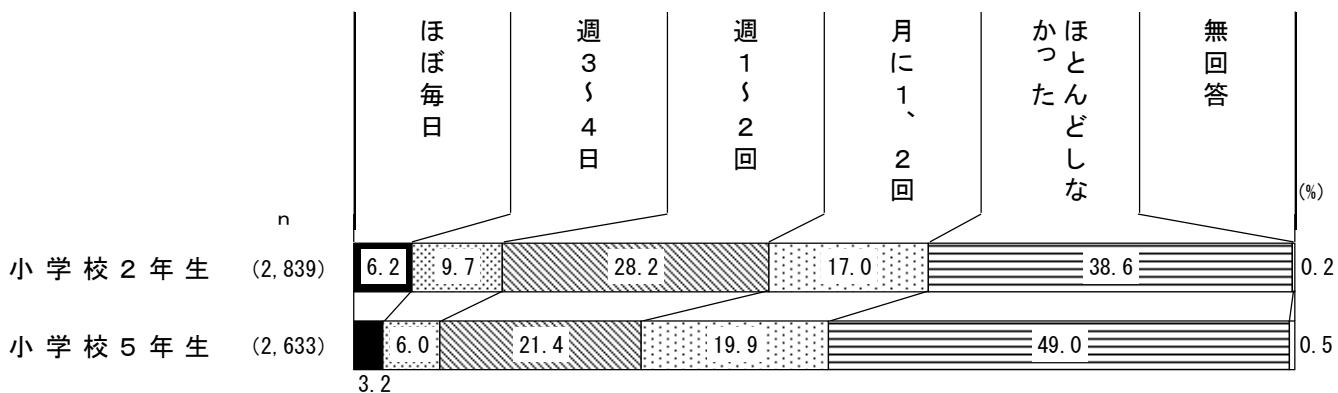
『宿題など、子どもの勉強を見た』では、小学2年生のいる世帯の保護者で「ほぼ毎日」が59.1%と最も高く、次いで、「週3～4回」(20.3%)、「週1～2回」(14.9%)となっている。小学5年生のいる世帯の保護者で「週1～2回」が28.1%と最も高く、次いで、「ほぼ毎日」(25.5%)、「週3～4回」(18.6%)となっている。

【図表 3-243】『宿題など、子どもの勉強を見た』について



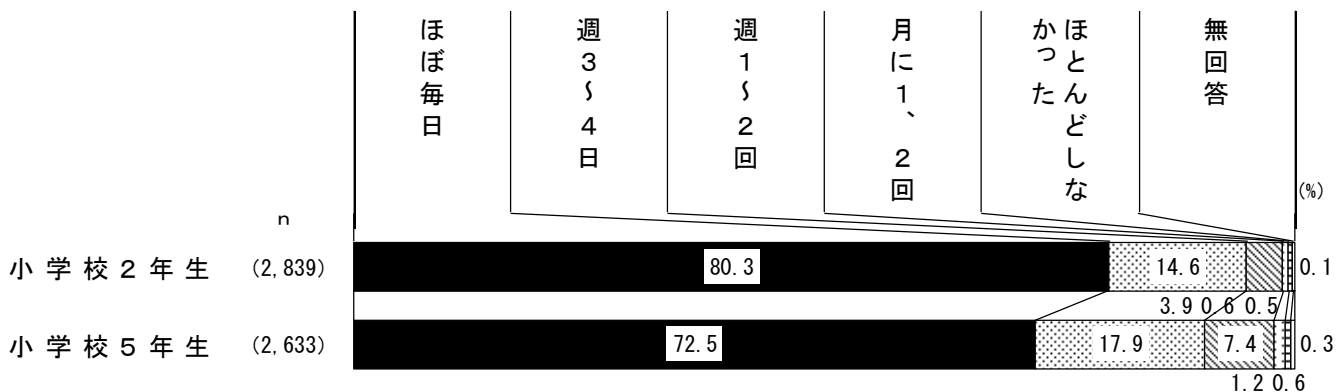
『子どもと一緒に、テレビゲームなどで遊んだ』では、「ほとんどしなかった」(小学2年生:38.6%、小学5年生:49.0%)が最も高く、次いで、「週1～2回」(小学2年生:28.2%、小学5年生:21.4%)、「月に1、2回」(小学2年生:17.0%、小学5年生:19.9%)となっている。

【図表 3-244】『子どもと一緒に、テレビゲームなどで遊んだ』について



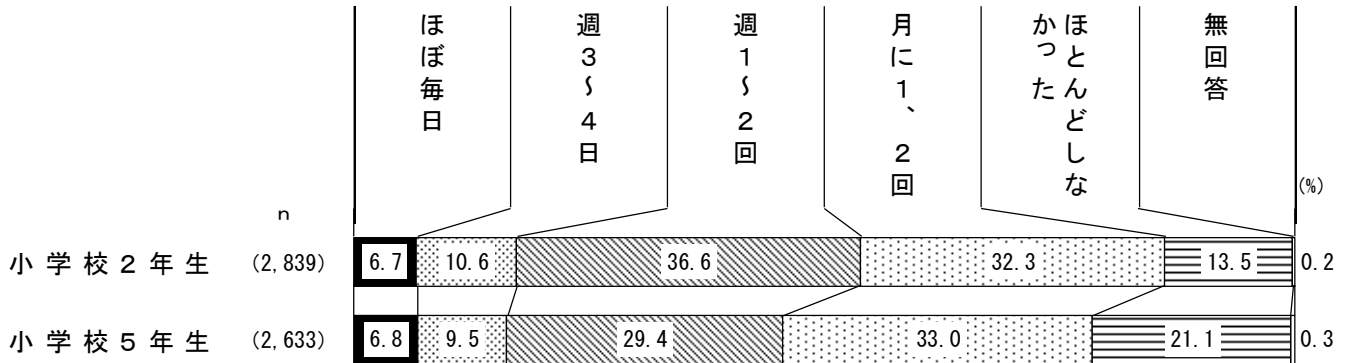
『子どもと、学校での様子やテレビなどの話をした』では、「ほぼ毎日」(小学2年生:80.3%、小学5年生:72.5%)が最も高く、次いで、「週3～4回」(小学2年生:14.6%、小学5年生:17.9%)、「週1～2回」(小学2年生:3.9%、小学5年生:7.4%)となっている。

【図表 3-245】『子どもと、学校での様子やテレビなどの話をした』について



『料理など、子どもと一緒に家事をした』では、小学2年生のいる世帯の保護者で「週1～2回」が36.6%と最も高く、次いで、「月に1、2回」(32.3%)、「ほとんどしなかった」(13.5%)となっている。小学5年生のいる世帯の保護者で「月に1、2回」が33.0%と最も高く、次いで、「週1～2回」(29.4%)、「ほとんどしなかった」(21.1%)となっている。

【図表 3-246】『料理など、子どもと一緒に家事をした』について

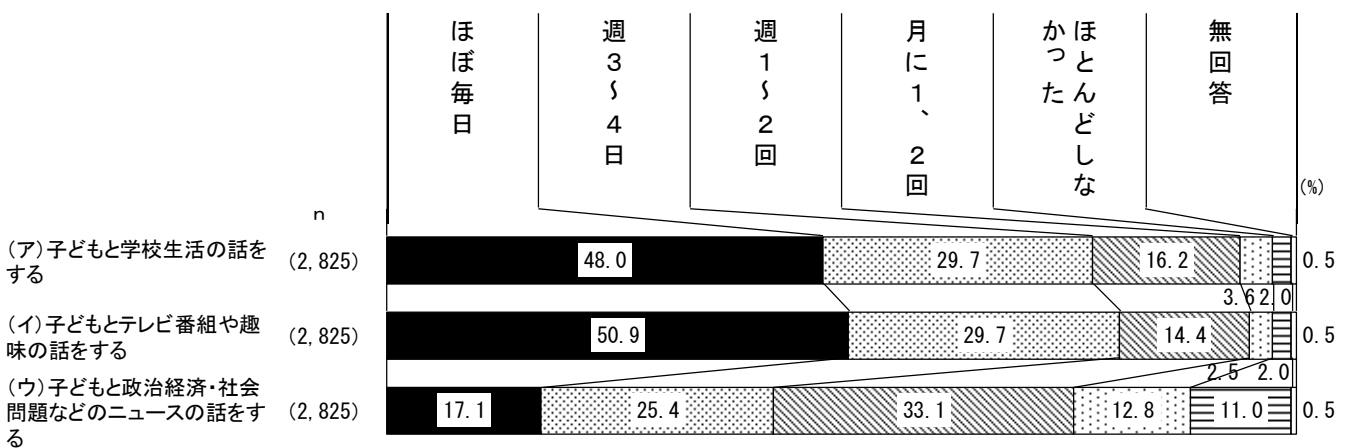


最近の中学生の子どもとの過ごし方を聞いたところ、『子どもと学校生活の話をする』では「ほぼ毎日」が48.0%と最も高く、次いで、「週3～4回」(29.7%)、「週1～2回」(16.2%)となっている。

『子どもとテレビ番組や趣味の話をする』では「ほぼ毎日」が50.9%と最も高く、次いで、「週3～4回」(29.7%)、「週1～2回」(14.4%)となっている。

『子どもと政治経済・社会問題などのニュースの話をする』では「週1～2回」が33.1%と最も高く、次いで、「週3～4回」(25.4%)、「ほぼ毎日」(17.1%)となっている。

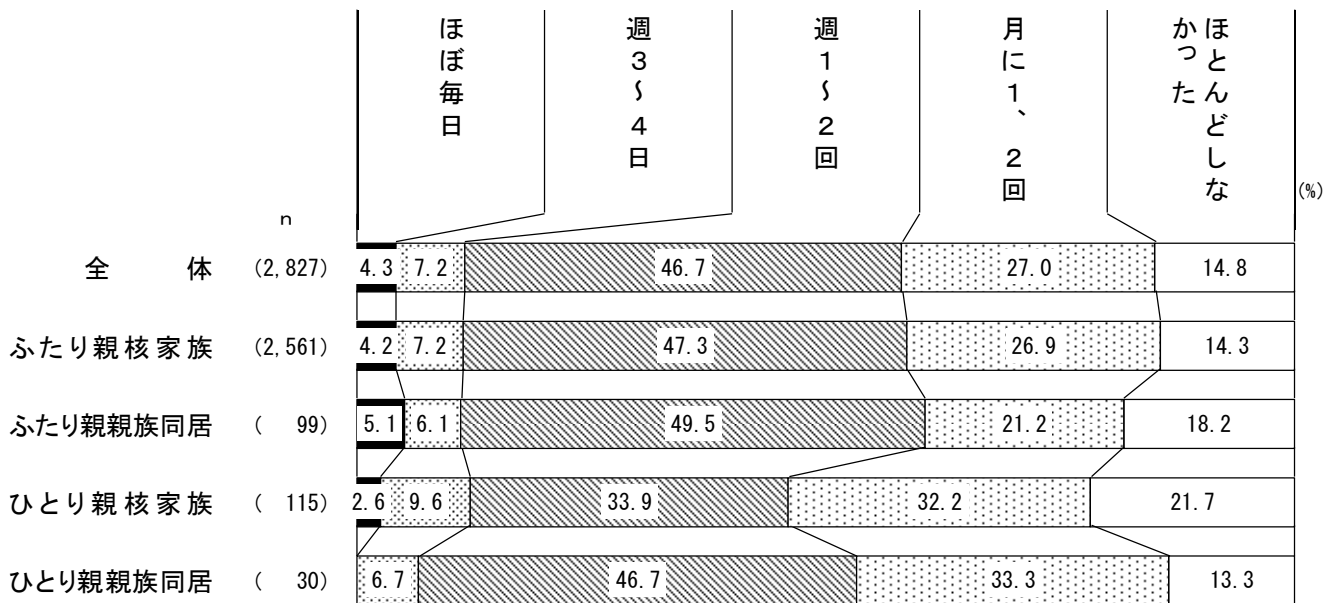
【図表 3-247】普段の子どもとの過ごし方 (中学2年生)



小学2年生のいる世帯の保護者の子どもとの過ごし方について、『子どもと一緒に、からだを動かして遊んだ』を世帯構成別にみると、「週1～2回」は『ひとり親核家族』で33.9%と、全体に比べて低くなっている。

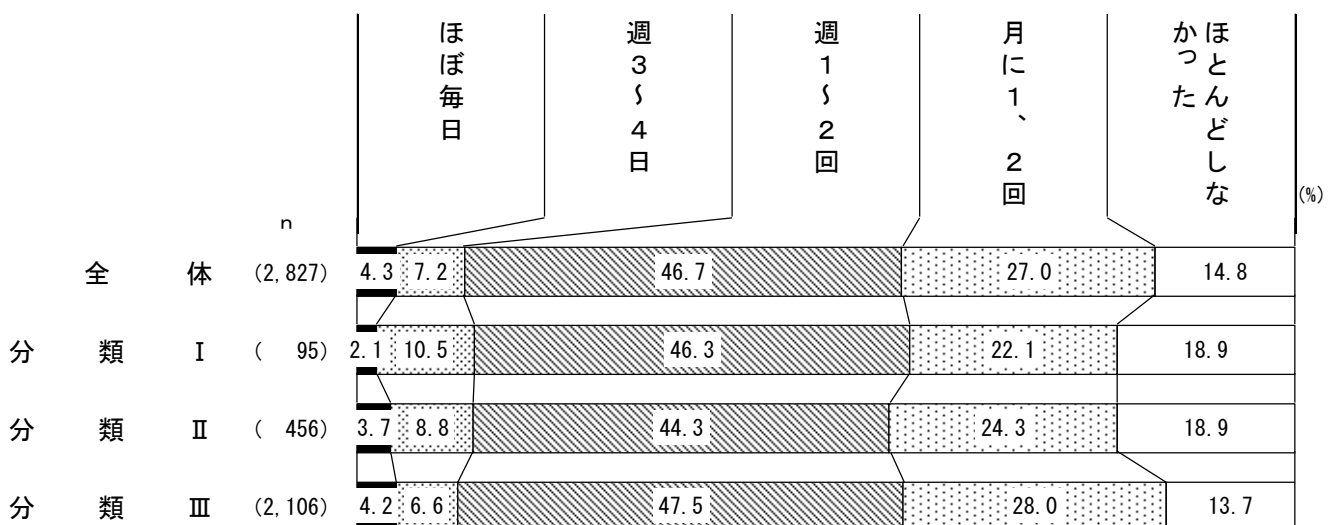
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-248】『子どもと一緒に、からだを動かして遊んだ』について  
(小学2年生・世帯構成別)



小学2年生のいる世帯の保護者の子どもとの過ごし方について、『子どもと一緒に、からだを動かして遊んだ』を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

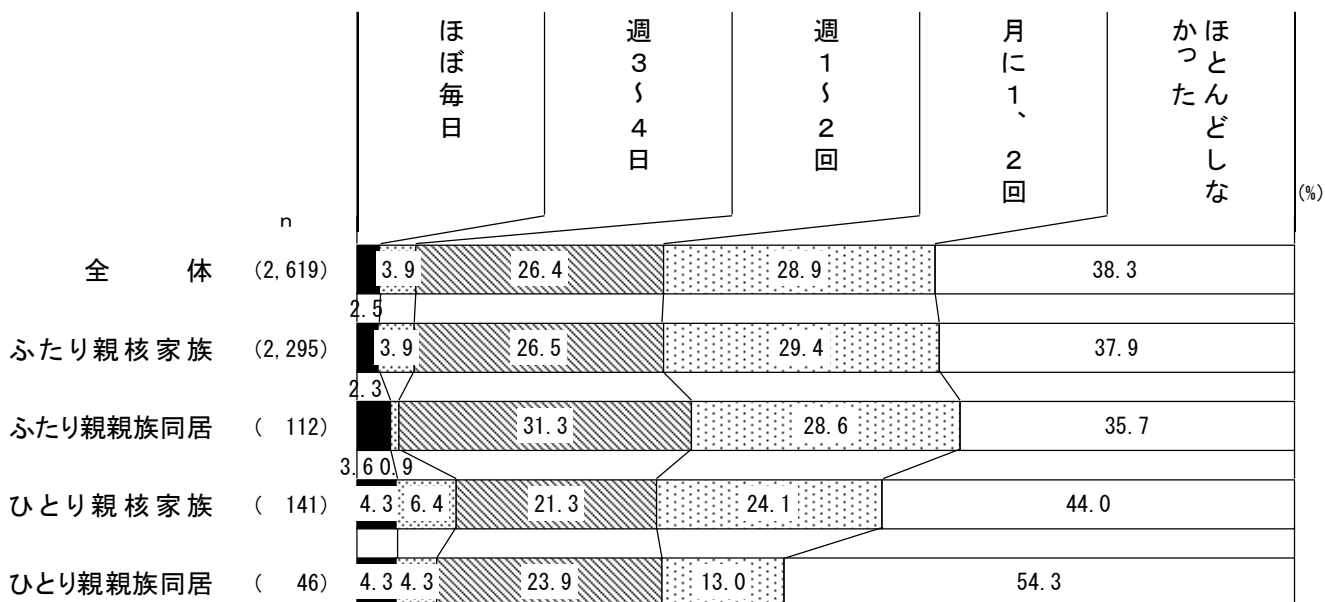
【図表 3-249】『子どもと一緒に、からだを動かして遊んだ』について  
(小学2年生・所得分類別)



小学5年生のいる世帯の保護者の子どもとの過ごし方について、『子どもと一緒に、からだを動かして遊んだ』を世帯構成別にみると、『ひとり親親族同居』で「ほとんどしなかった」が54.3%と全体に比べて高くなっている。

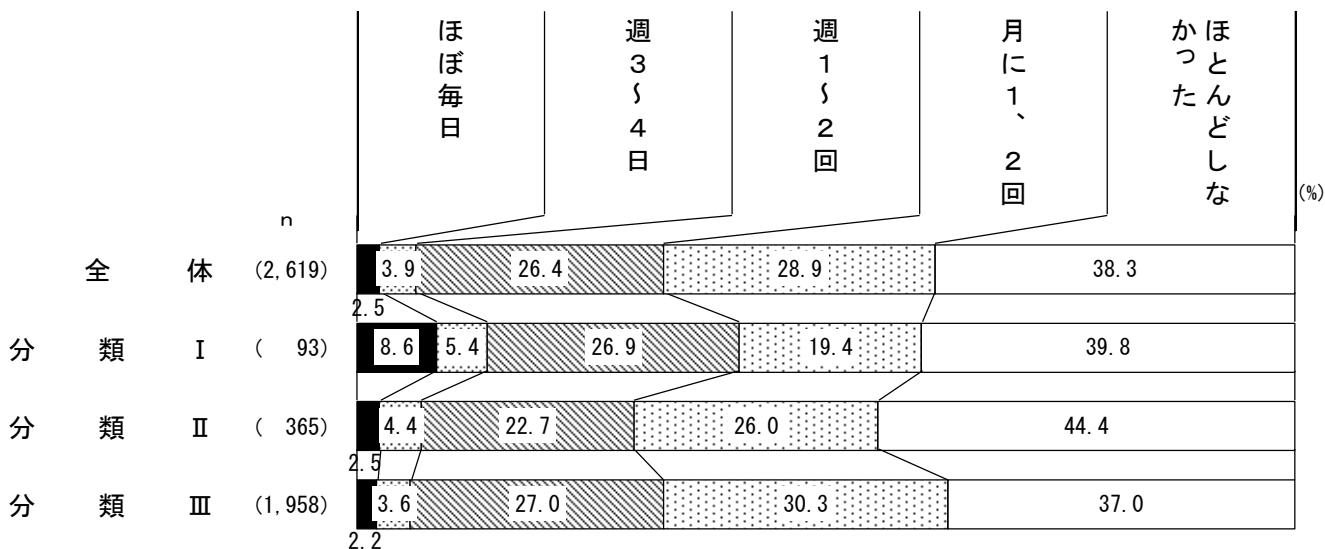
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-250】『子どもと一緒に、からだを動かして遊んだ』について  
(小学5年生・世帯構成別)



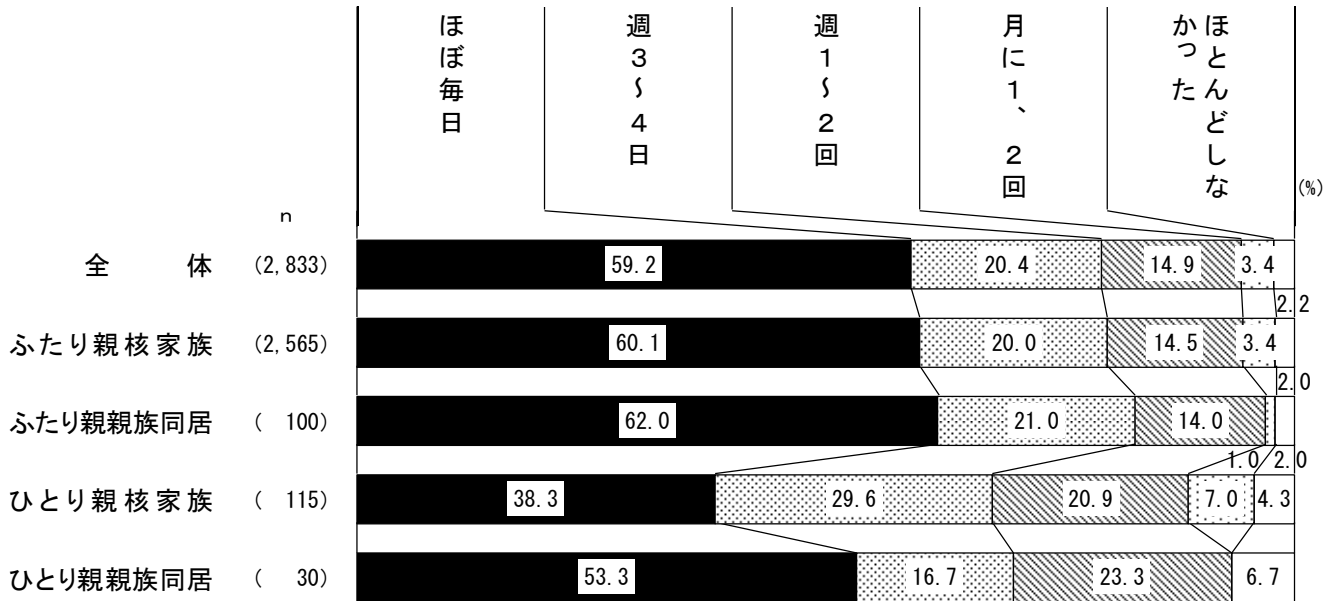
小学5年生のいる世帯の保護者の子どもとの過ごし方について、『子どもと一緒に、からだを動かして遊んだ』を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

【図表 3-251】『子どもと一緒に、からだを動かして遊んだ』について  
(小学5年生・所得分類別)



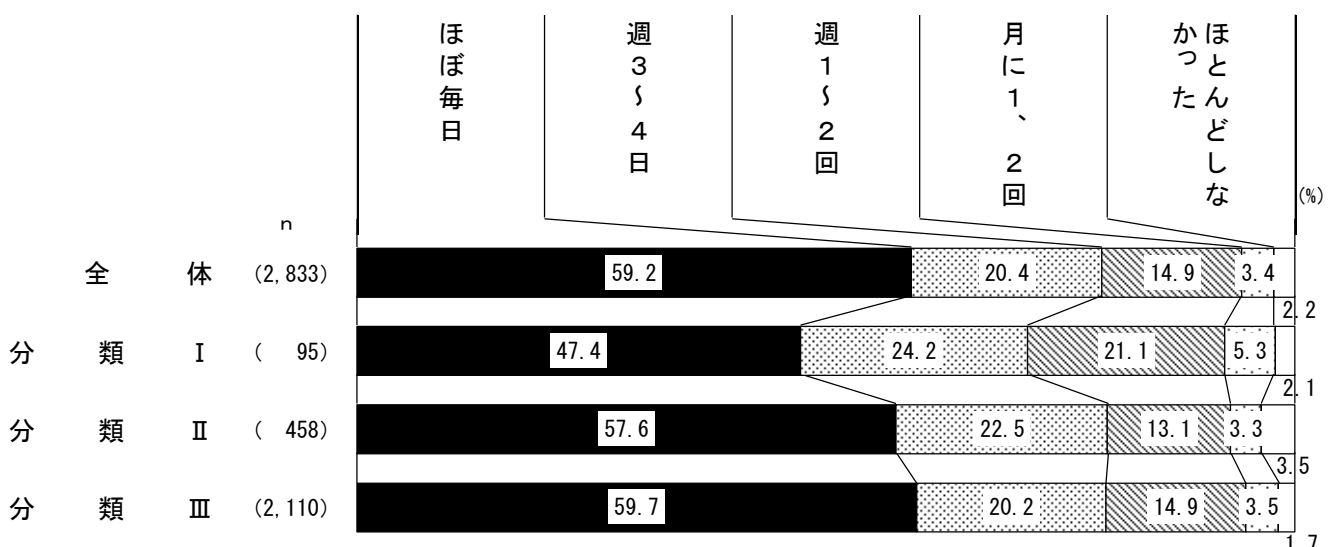
小学2年生のいる世帯の保護者の子どもとの過ごし方について、『宿題など、子どもの勉強を見た』を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』で「ほぼ毎日」が38.3%と全体に比べて低くなっている。なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-252】『宿題など、子どもの勉強を見た』について  
(小学2年生・世帯構成別)



小学2年生のいる世帯の保護者の子どもとの過ごし方について、『宿題など、子どもの勉強を見た』を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』で「ほぼ毎日」が47.4%と全体に比べて低くなっている。

【図表 3-253】『宿題など、子どもの勉強を見た』について  
(小学2年生・所得分類別)

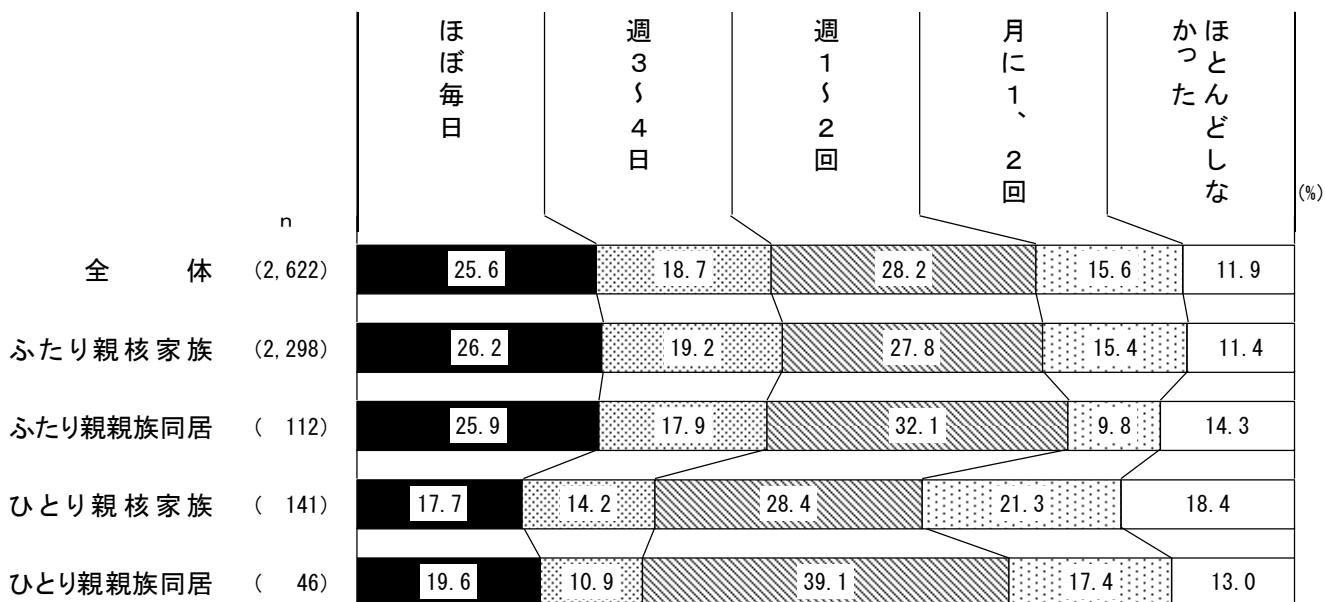




小学5年生のいる世帯の保護者の子どもとの過ごし方について、『宿題など、子どもの勉強を見た』を世帯構成別にみると、『ひとり親親族同居』で「週1～2回」が39.1%と全体に比べて高くなっている。

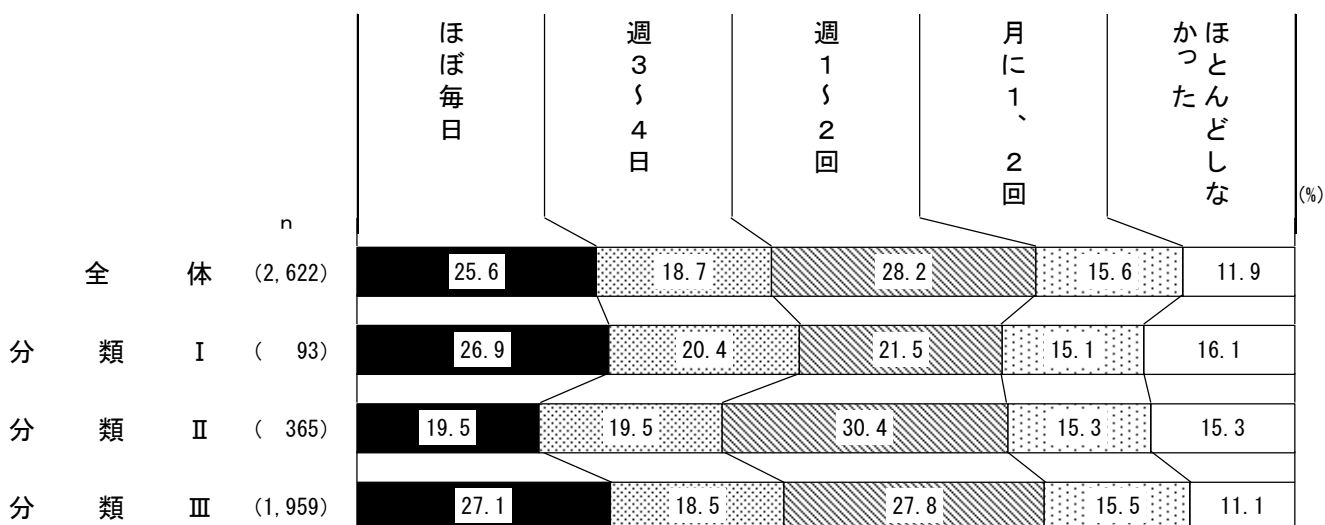
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-254】『宿題など、子どもの勉強を見た』について  
(小学5年生・世帯構成別)



小学5年生のいる世帯の保護者の子どもとの過ごし方について、『宿題など、子どもの勉強を見た』を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

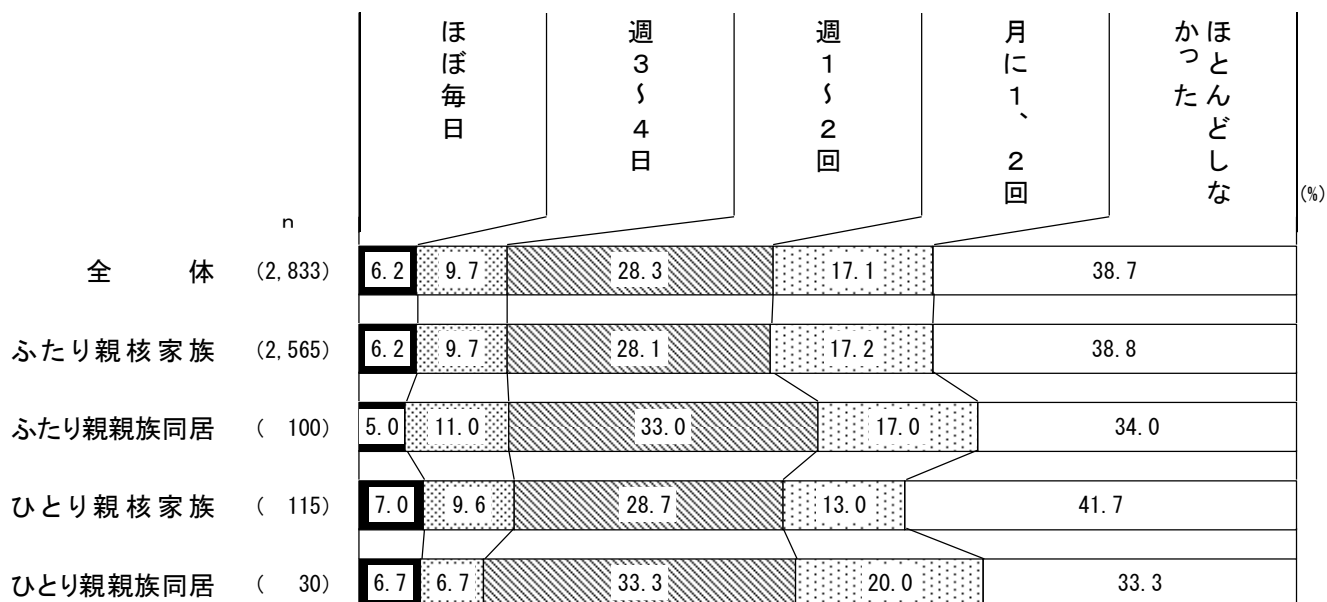
【図表 3-255】『宿題など、子どもの勉強を見た』について  
(小学5年生・所得分類別)



小学2年生のいる世帯の保護者の子どもとの過ごし方について、『子どもと一緒に、テレビゲームなどで遊んだ』を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

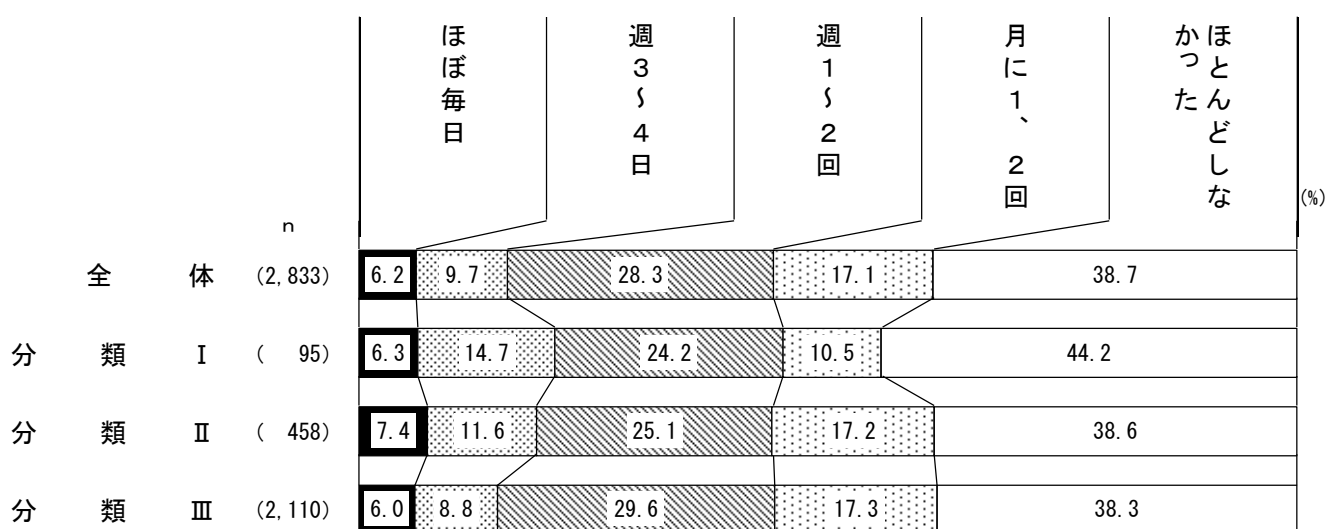
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-256】『子どもと一緒に、テレビゲームなどで遊んだ』について  
(小学2年生・世帯構成別)



小学2年生のいる世帯の保護者の子どもとの過ごし方について、『子どもと一緒に、テレビゲームなどで遊んだ』を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

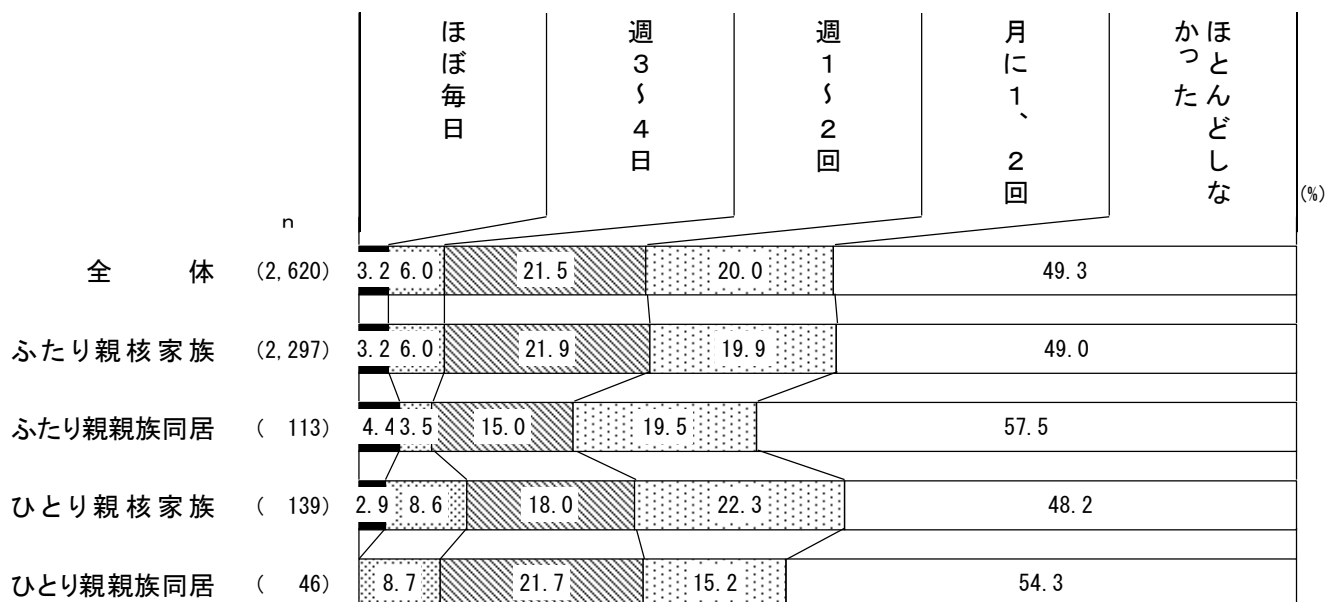
【図表 3-257】『子どもと一緒に、テレビゲームなどで遊んだ』について  
(小学2年生・所得分類別)



小学5年生のいる世帯の保護者の子どもとの過ごし方について、『子どもと一緒に、テレビゲームなどで遊んだ』を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

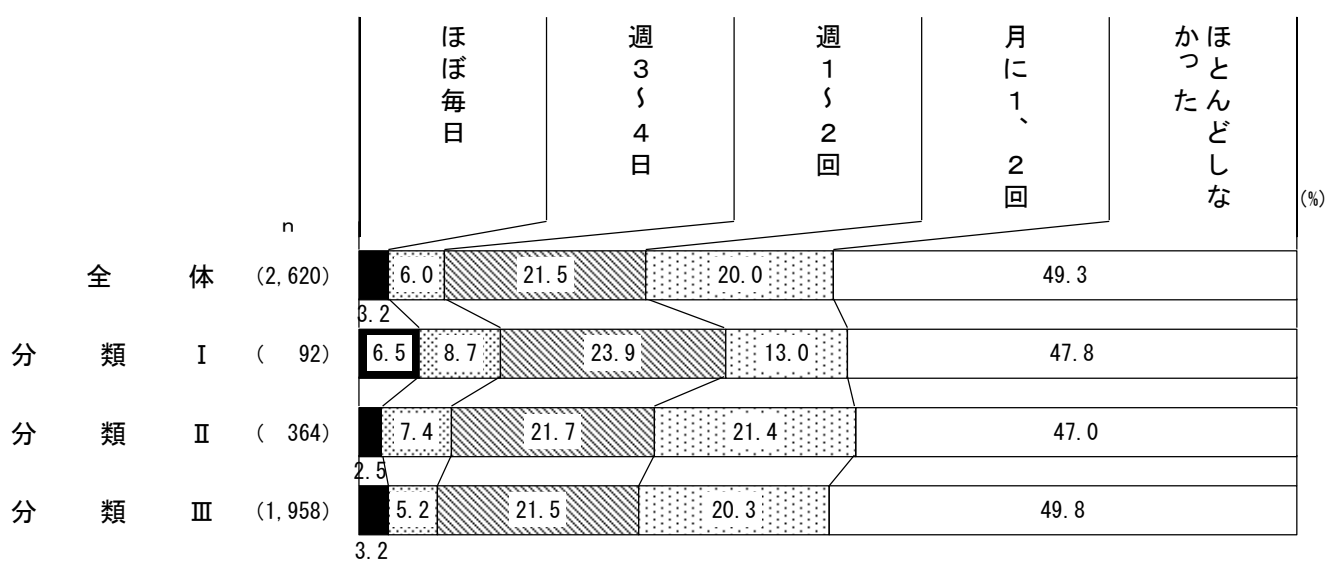
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-258】『子どもと一緒に、テレビゲームなどで遊んだ』について  
(小学5年生・世帯構成別)



小学5年生のいる世帯の保護者の子どもとの過ごし方について、『子どもと一緒に、テレビゲームなどで遊んだ』を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

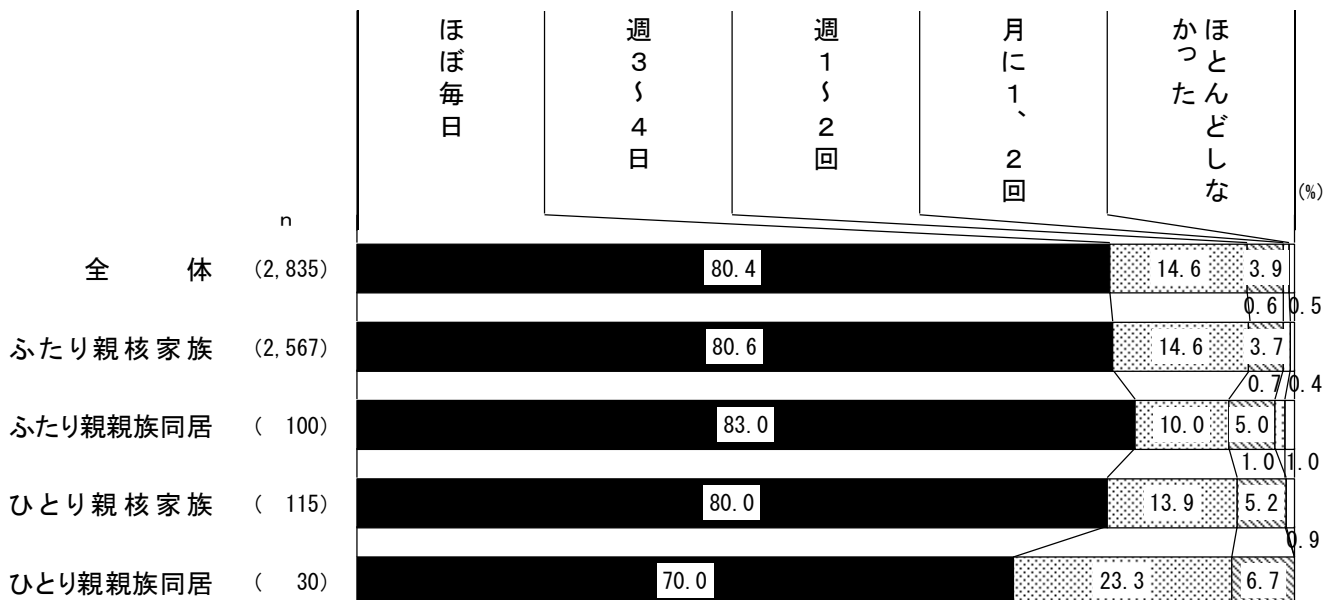
【図表 3-259】『子どもと一緒に、テレビゲームなどで遊んだ』について  
(小学5年生・所得分類別)



小学2年生のいる世帯の保護者の子どもとの過ごし方について、『子どもと、学校での様子やテレビなどの話をした』を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

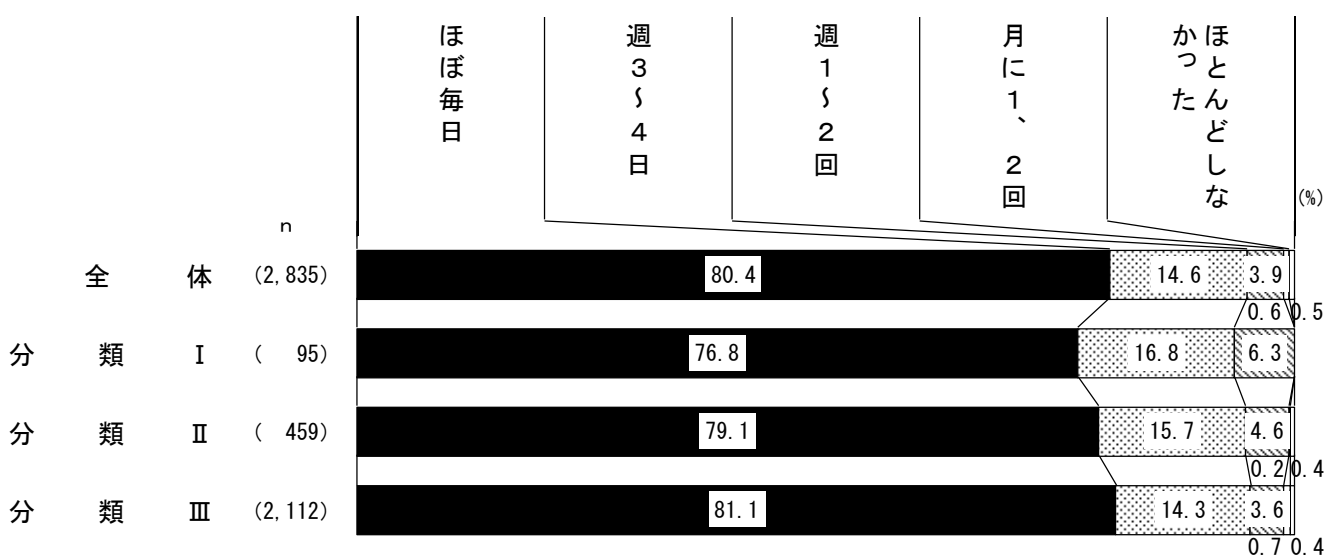
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-260】『子どもと、学校での様子やテレビなどの話をした』について  
(小学2年生・世帯構成別)



小学2年生のいる世帯の保護者の子どもとの過ごし方について、『子どもと、学校での様子やテレビなどの話をした』を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

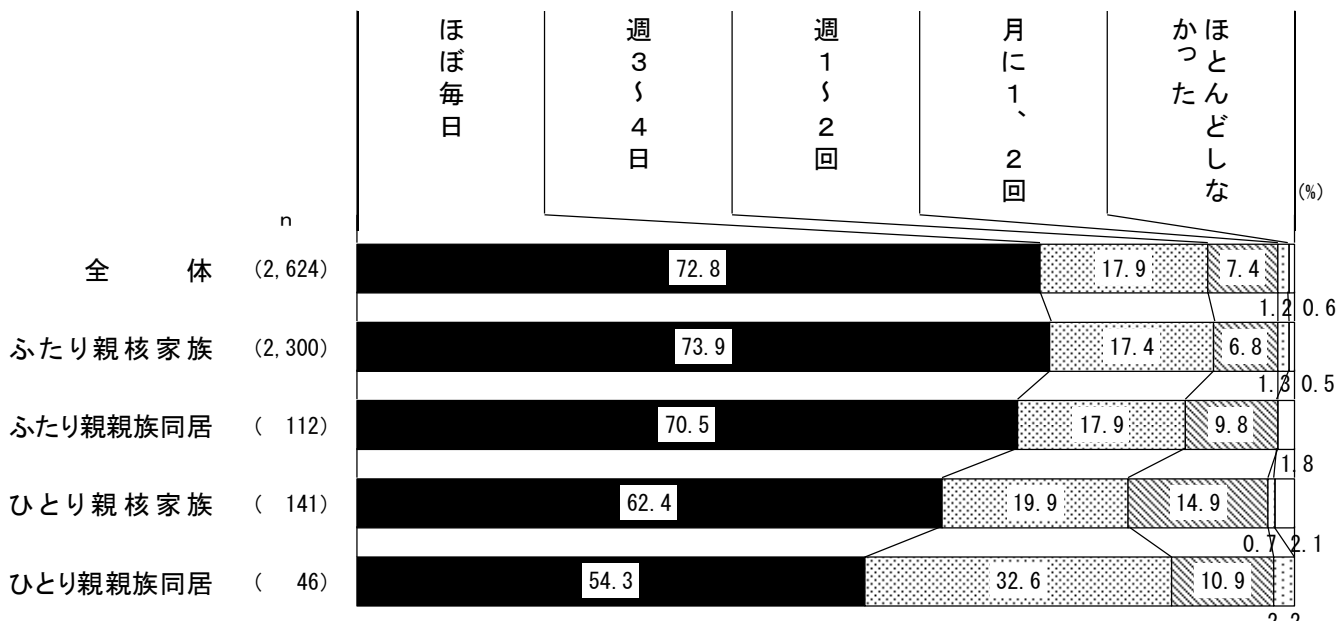
【図表 3-261】『子どもと、学校での様子やテレビなどの話をした』について  
(小学2年生・所得分類別)



小学5年生のいる世帯の保護者の子どもとの過ごし方について、『子どもと、学校での様子やテレビなどの話をした』を世帯構成別にみると、『ひとり親親族同居』で「週3～4回」が32.6%と全体に比べて高くなっている。一方、「ほぼ毎日」は『ひとり親親族同居』で54.3%と、全体に比べて低くなっている。

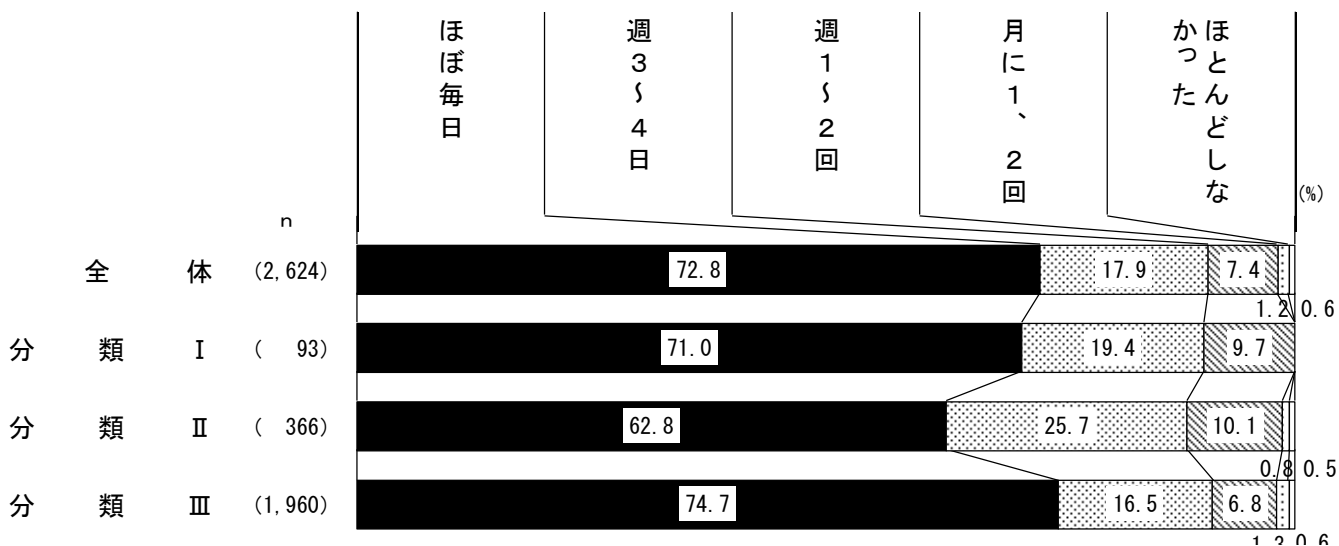
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-262】『子どもと、学校での様子やテレビなどの話をした』について  
(小学5年生・世帯構成別)



小学5年生のいる世帯の保護者の子どもとの過ごし方について、『子どもと、学校での様子やテレビなどの話をした』を所得分類別にみると、「ほぼ毎日」は『分類Ⅱ』で62.8%と、全体に比べて低くなっている。

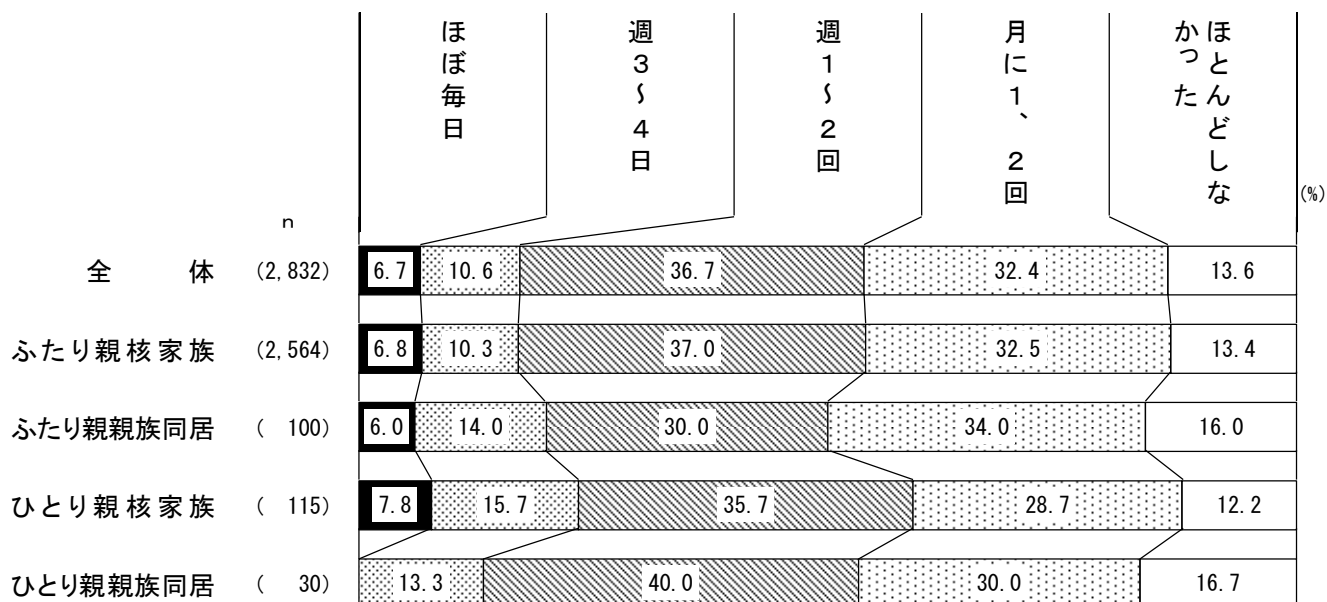
【図表 3-263】『子どもと、学校での様子やテレビなどの話をした』について  
(小学5年生・所得分類別)



小学2年生のいる世帯の保護者の子どもとの過ごし方について、『料理など、子どもと一緒に家事をした』を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

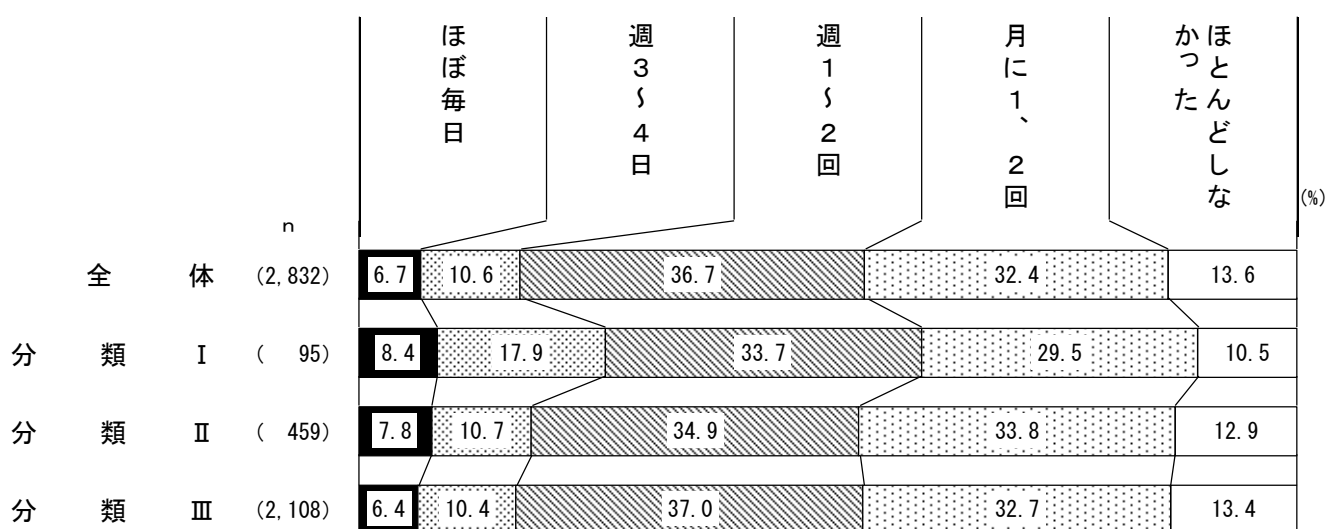
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-264】『料理など、子どもと一緒に家事をした』について  
(小学2年生・世帯構成別)



小学2年生のいる世帯の保護者の子どもとの過ごし方について、『料理など、子どもと一緒に家事をした』を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

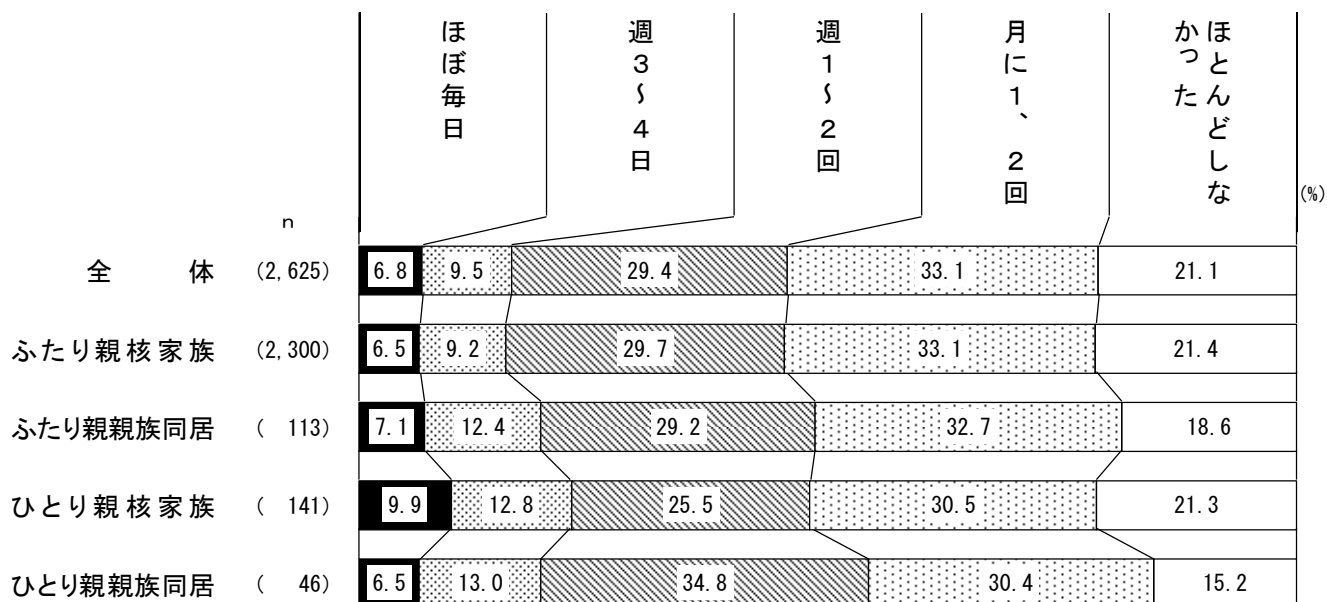
【図表 3-265】『料理など、子どもと一緒に家事をした』について  
(小学2年生・所得分類別)



小学5年生のいる世帯の保護者の子どもとの過ごし方について、『料理など、子どもと一緒に家事をした』を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

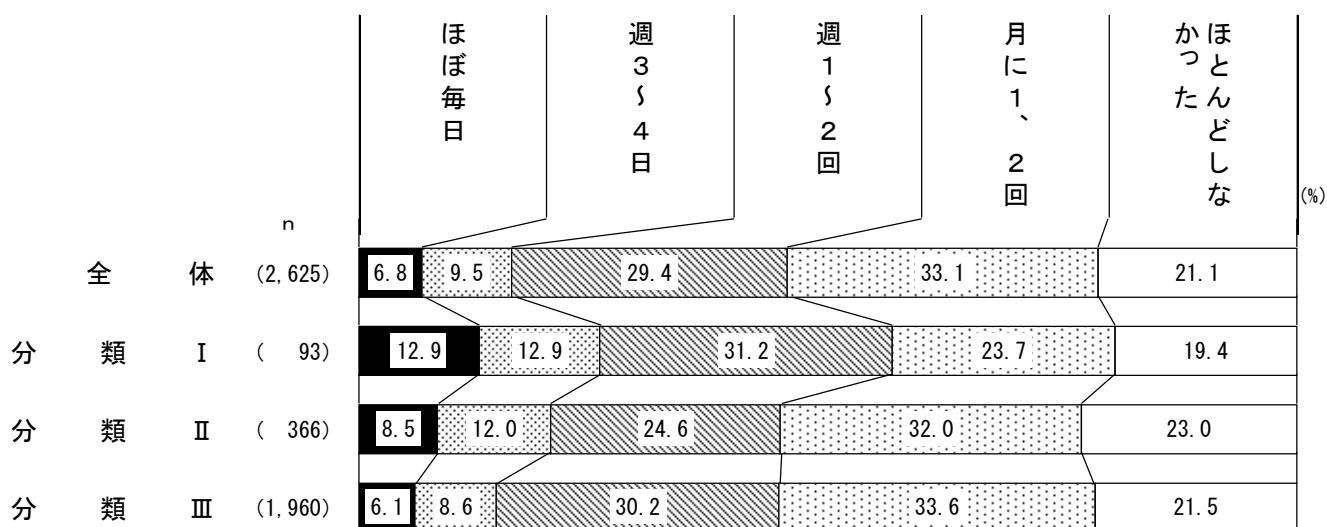
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-266】『料理など、子どもと一緒に家事をした』について  
(小学5年生・世帯構成別)



小学5年生のいる世帯の保護者の子どもとの過ごし方について、『料理など、子どもと一緒に家事をした』を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

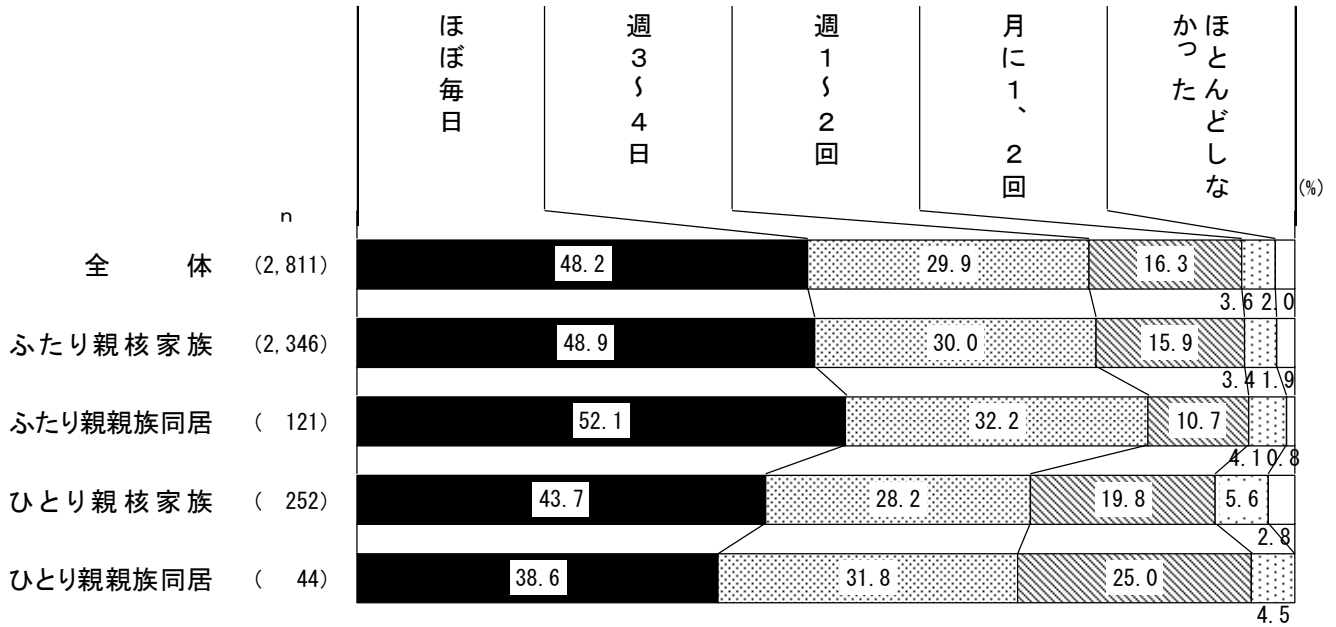
【図表 3-267】『料理など、子どもと一緒に家事をした』について  
(小学5年生・所得分類別)



中学2年生のいる世帯の保護者の子どもとの過ごし方について、『子どもと学校生活の話をする』を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

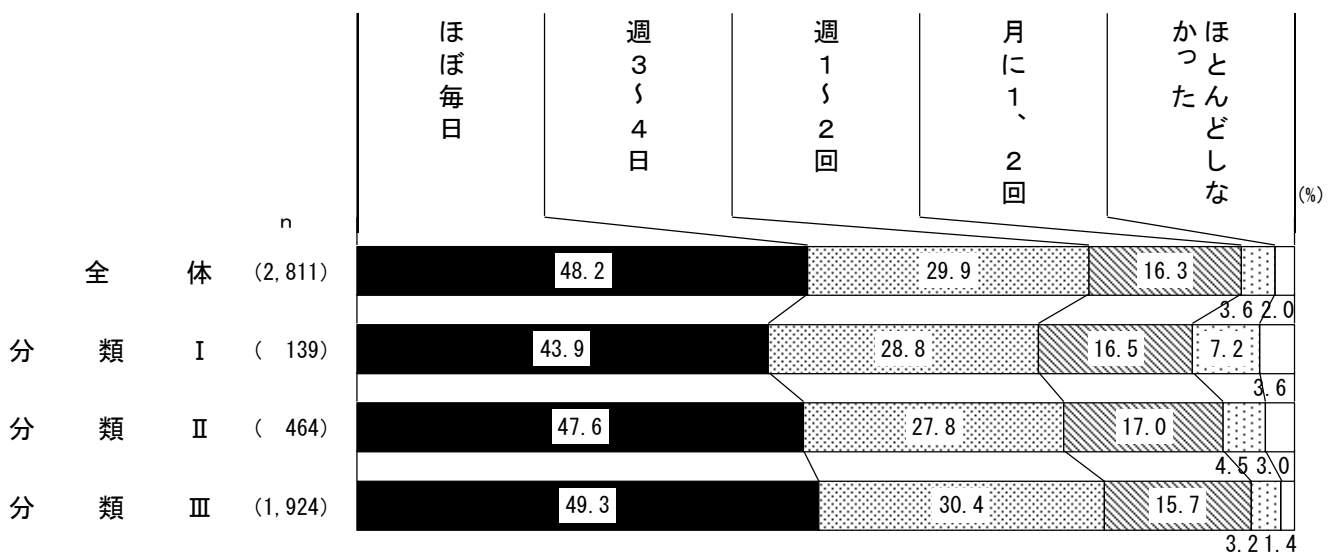
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-268】『子どもと学校生活の話をする』について  
(中学2年生・世帯構成別)



中学2年生のいる世帯の保護者の子どもとの過ごし方について、『子どもと学校生活の話をする』を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

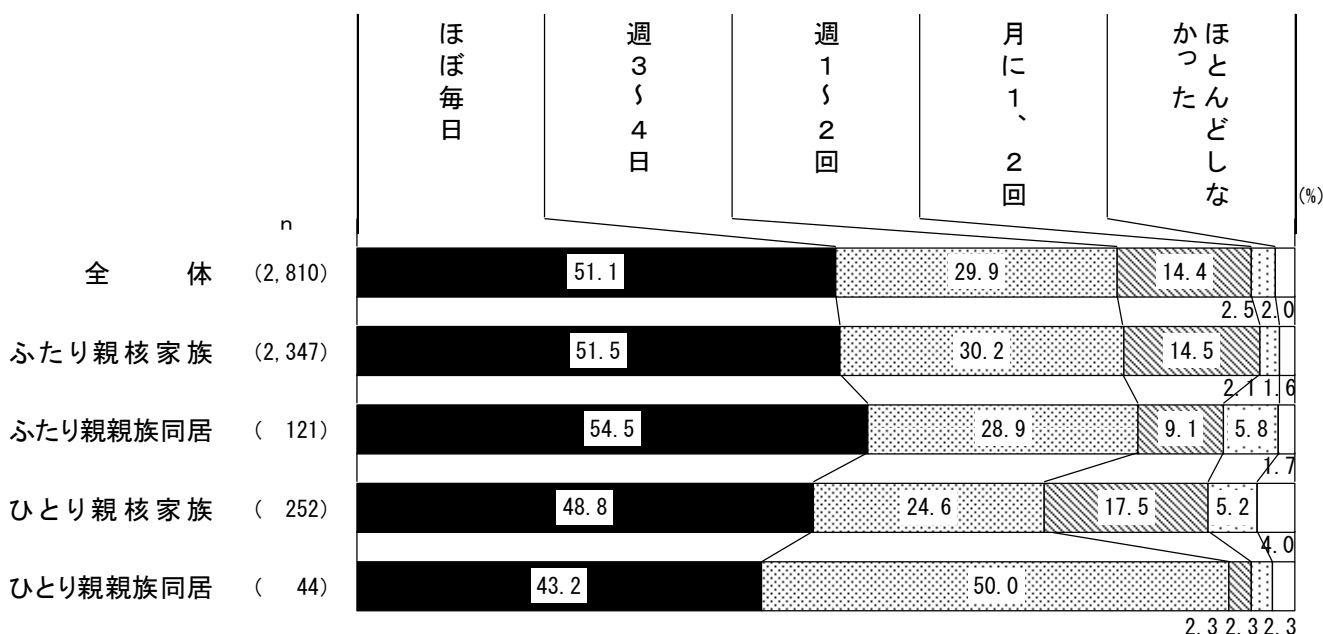
【図表 3-269】『子どもと学校生活の話をする』について  
(中学2年生・所得分類別)





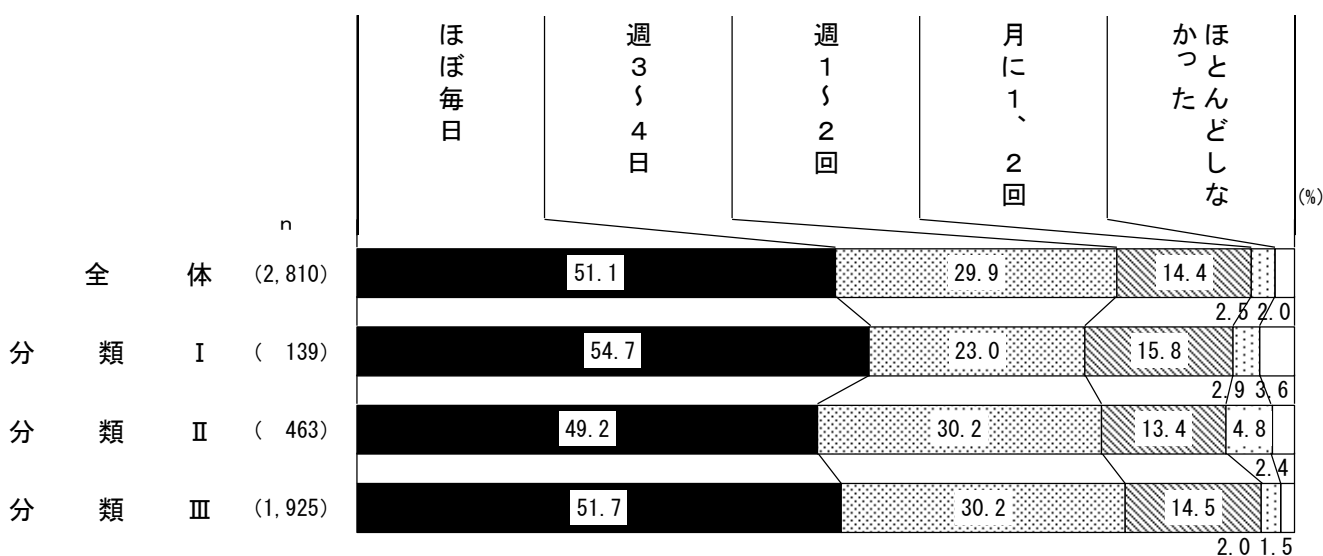
中学2年生のいる世帯の保護者の子どもとの過ごし方について、『子どもとテレビ番組や趣味の話をする』を世帯構成別にみると、『ひとり親親族同居』で「週3～4回」が50.0%と全体に比べて高くなっている。一方、「週1～2回」は『ひとり親親族同居』で2.3%と、全体に比べて低くなっている。なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-270】『子どもとテレビ番組や趣味の話をする』について  
(中学2年生・世帯構成別)



中学2年生のいる世帯の保護者の子どもとの過ごし方について、『子どもとテレビ番組や趣味の話をする』を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

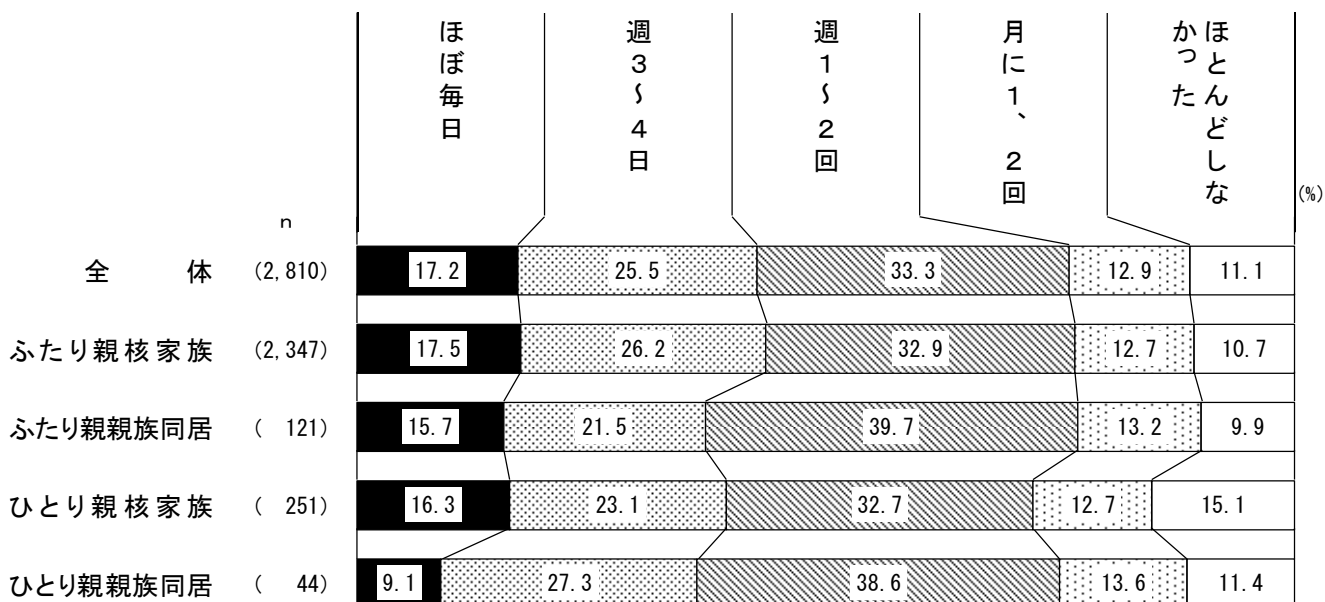
【図表 3-271】『子どもとテレビ番組や趣味の話をする』について  
(中学2年生・所得分類別)



中学2年生のいる世帯の保護者の子どもとの過ごし方について、『子どもと政治経済・社会問題などニュースの話をする』を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

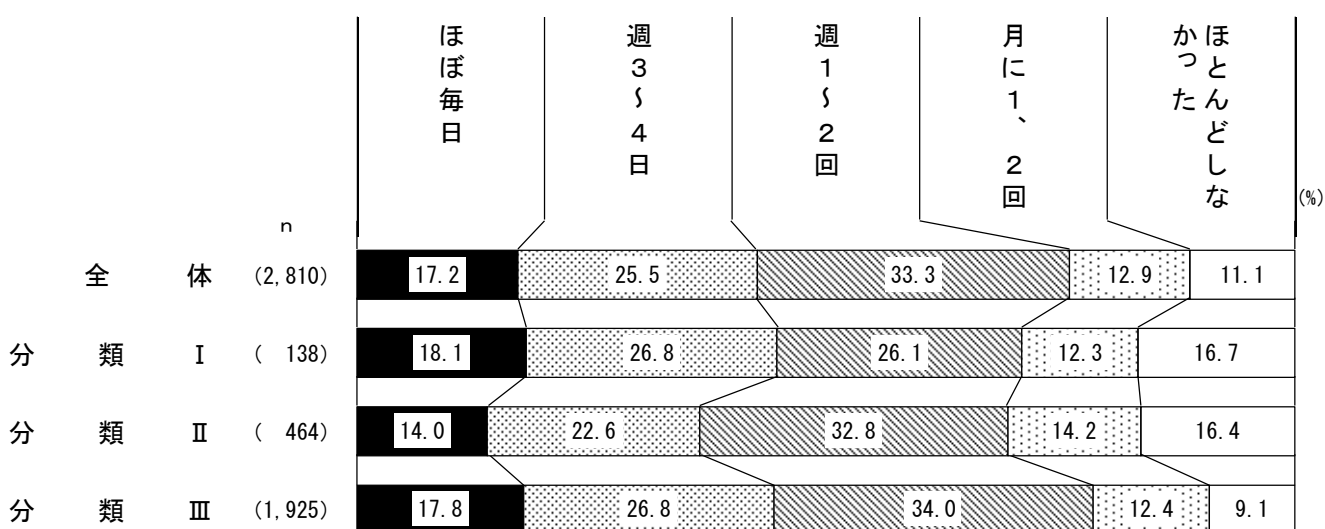
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-272】『子どもと政治経済・社会問題などニュースの話をする』について  
(中学2年生・世帯構成別)



中学2年生のいる世帯の保護者の子どもとの過ごし方について、『子どもと政治経済・社会問題などニュースの話をする』を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

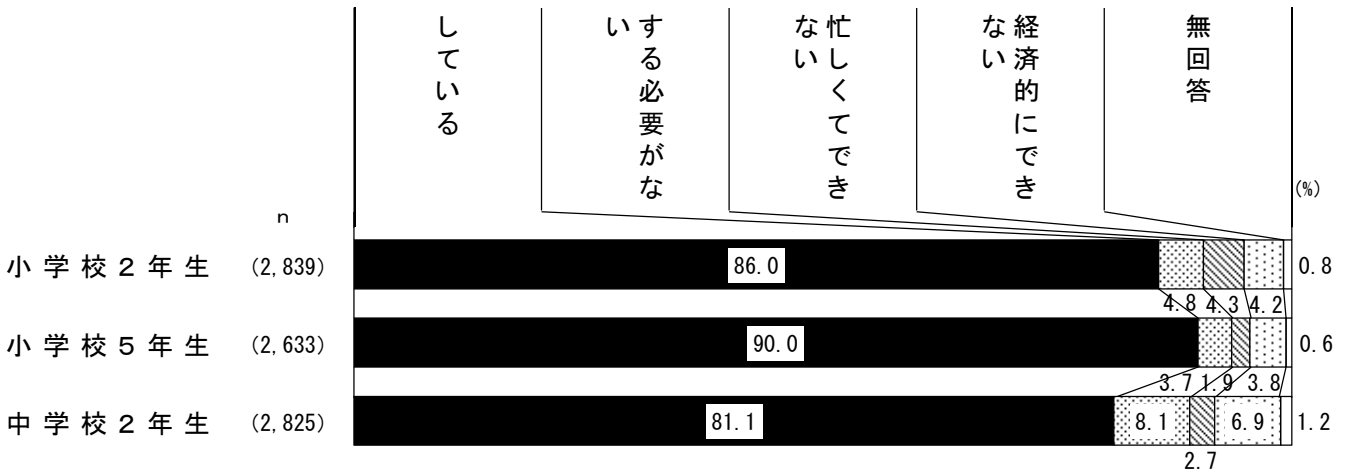
【図表 3-273】『子どもと政治経済・社会問題などニュースの話をする』について  
(中学2年生・所得分類別)



ウ 子どもに対する機会の提供の有無【小学・問9・中学・問8】(SA)

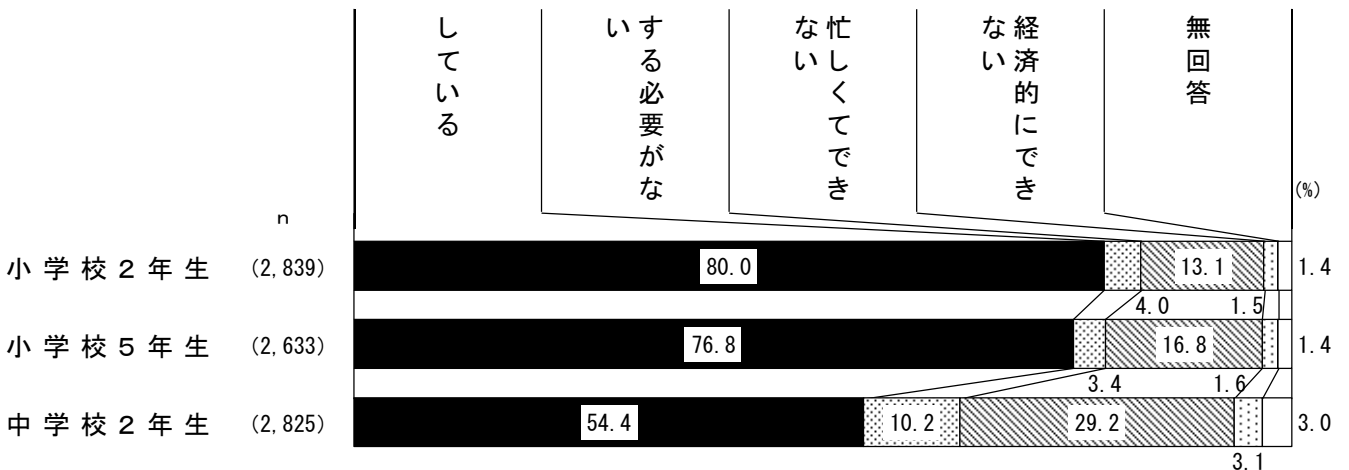
直近1年間で、子どもに対して体験等の機会を提供したか聞いたところ、小学2年生のいる世帯の保護者、中学2年生のいる世帯の保護者で『子どもを有料の学習塾や習い事（スポーツや音楽、英会話など）に通わせる』では「している」（小学2年生:86.0%、中学2年生:81.1%）が最も高く、次いで、「する必要がない」（小学2年生:4.8%、中学2年生:8.1%）、「経済的にできない」（小学2年生:4.2%、中学2年生:6.9%）となっている。小学5年生のいる世帯の保護者で「している」が90.0%と最も高く、次いで、「経済的にできない」（3.8%）、「する必要がない」（3.7%）となっている。

【図表 3-274】『子どもを有料の学習塾や習い事（スポーツや音楽、英会話など）に通わせる』について



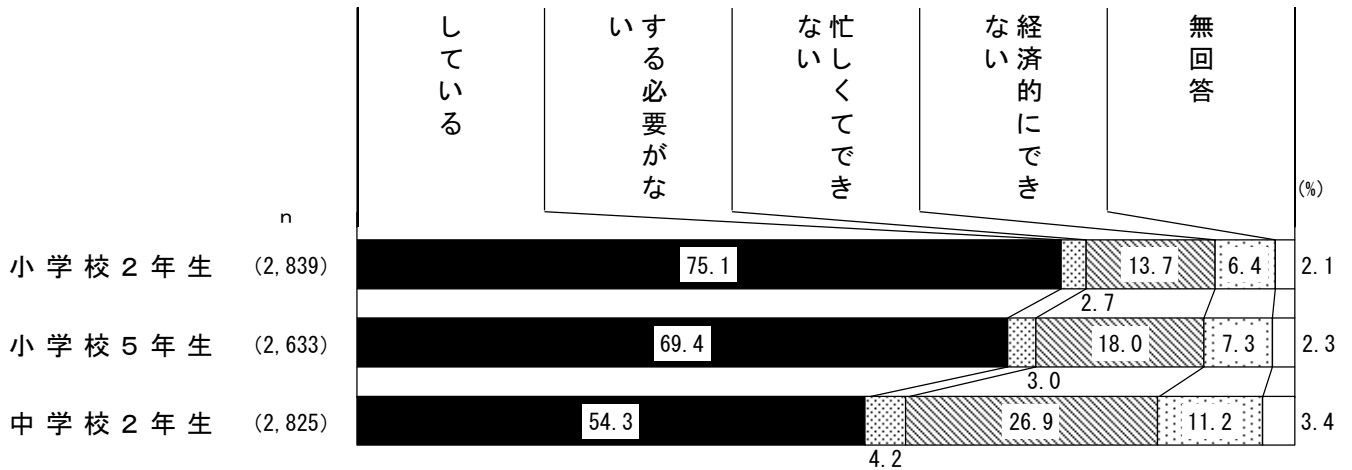
『子どもを博物館や科学館などに連れていく（映画館・美術館なども含む）』では「している」（小学2年生:80.0%、小学5年生:76.8%、中学2年生:54.4%）が最も高く、次いで、「経済的にできない」（小学2年生:13.1%、小学5年生:16.8%、中学2年生:29.2%）、「する必要がない」（小学2年生:4.0%、小学5年生:3.4%、中学2年生:10.2%）となっている。

【図表 3-275】『子どもを博物館や科学館などに連れていく（映画館・美術館なども含む）』について



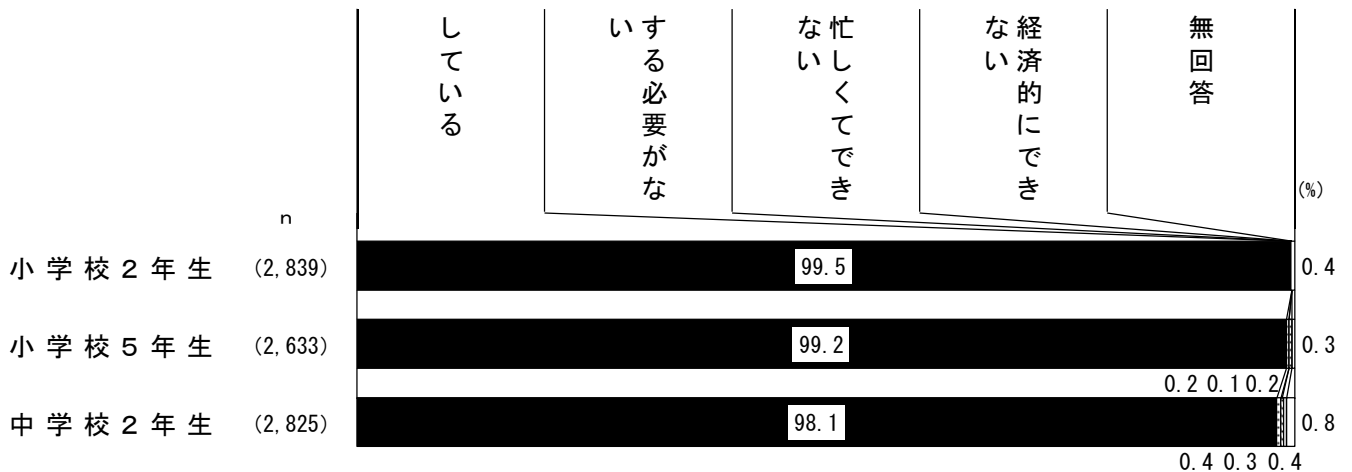
『家族旅行に行く』では「している」(小学2年生:75.1%、小学5年生:69.4%、中学2年生:54.3%)が最も高く、次いで、「忙しくてできない」(小学2年生:13.7%、小学5年生:18.0%、中学2年生:26.9%)、「経済的にできない」(小学2年生:6.4%、小学5年生:7.3%、中学2年生:11.2%)となっている。

【図表 3-276】『家族旅行に行く』について



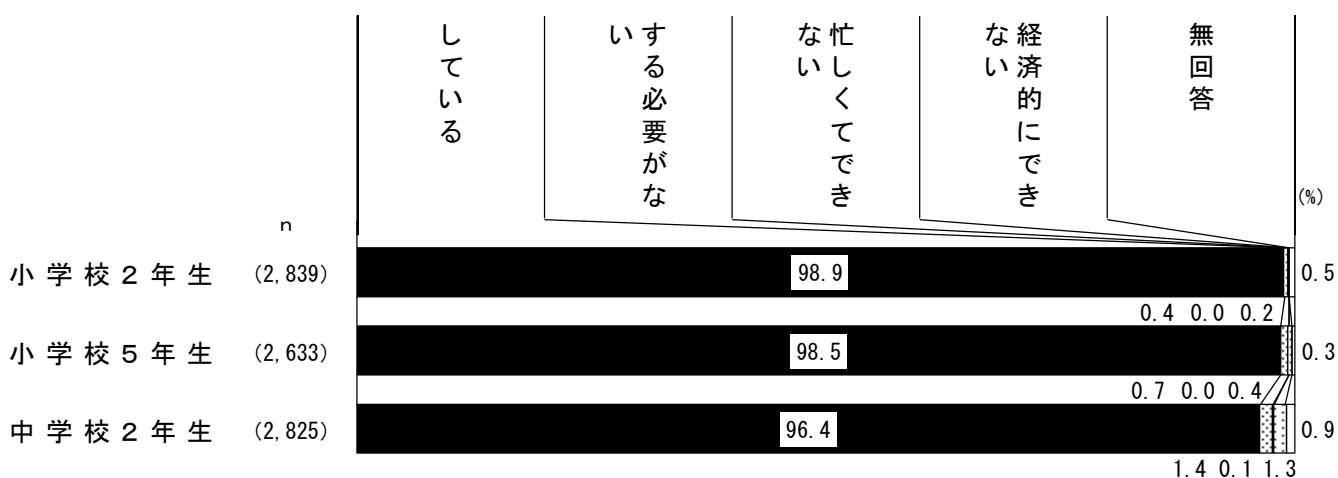
『子供の誕生日には、お祝いをする』では「している」(小学2年生:99.5%、小学5年生:99.2%、中学2年生:98.1%)が最も高くなっている。

【図表 3-277】『子どもの誕生日には、お祝いをする』について



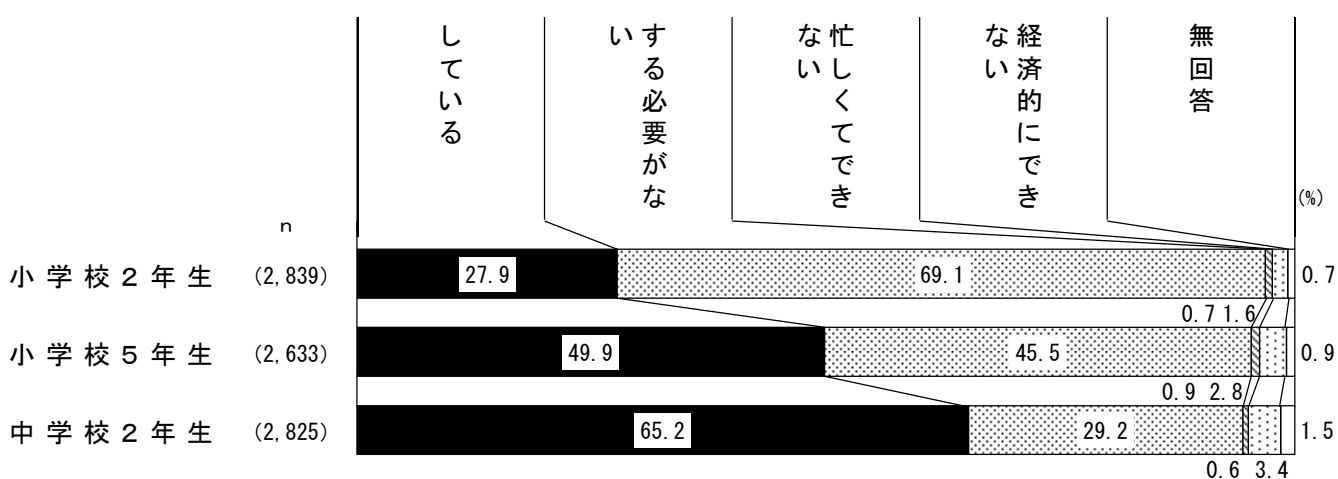
『クリスマスプレゼントやお年玉を渡す』では、「している」(小学2年生:98.9%、小学5年生:98.5%、中学2年生:96.4%)が最も高くなっている。

【図表 3-278】『クリスマスプレゼントやお年玉を渡す』について



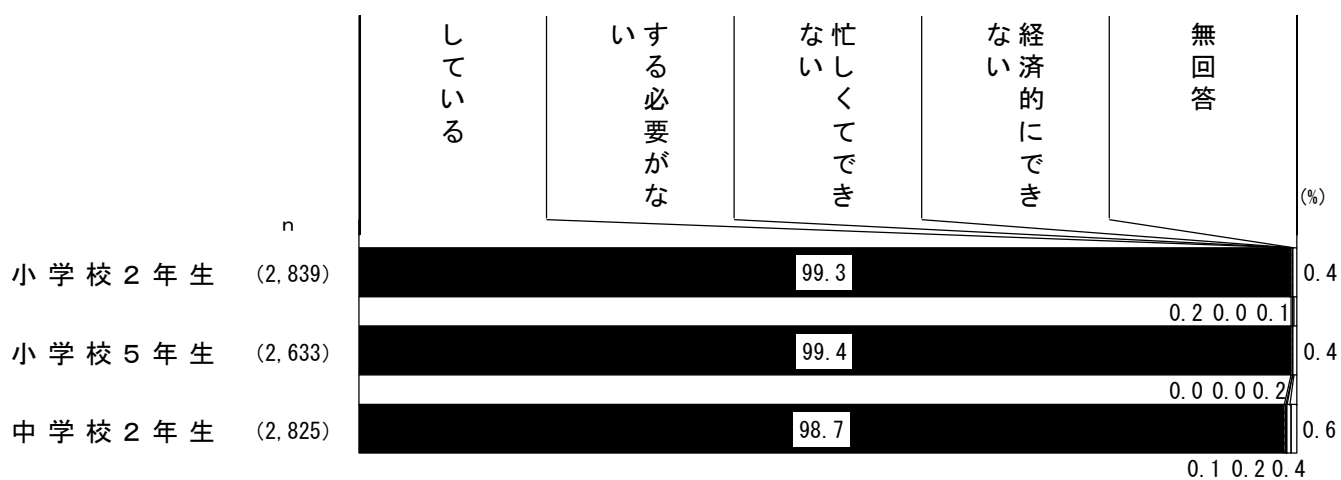
『子どもに毎月お小遣いを渡す』では小学2年生のいる世帯の保護者、中学2年生のいる世帯の保護者で「している」(小学5年生:49.9%、中学2年生:65.2%)が最も高く、次いで、「する必要がある」(小学5年生:45.5%、中学2年生:29.2%)、「経済的にできない」(小学5年生:2.8%、中学2年生:3.4%)となっている。小学2年生のいる世帯の保護者では「する必要がある」が69.1%と最も高く、次いで、「している」(27.9%)、「経済的にできない」(1.6%)となっている。

【図表 3-279】『子どもに毎月お小遣いを渡す』について



『子どもの成長に合わせ、衣服や靴をそろえる』では、「している」(小学2年生:99.3%、小学5年生:99.4%、中学2年生:98.7%)が最も高くなっている。

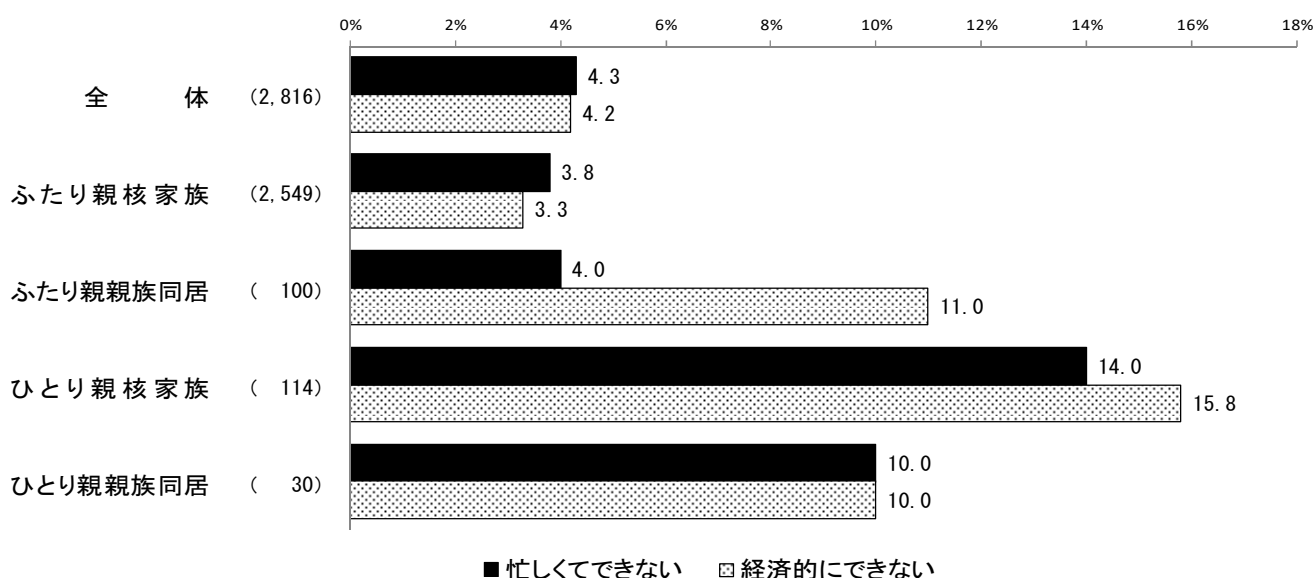
【図表 3-280】『子どもの成長に合わせ、衣服や靴をそろえる』について



小学2年生のいる世帯の保護者の子どもに対する機会の提供の有無について、『子どもを有料の学習塾や習い事（スポーツや音楽、英会話など）に通わせる』で「忙しくてできない」、「経済的にできない」と答えた人を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』では「経済的にできない」が15.8%と全体に比べて高くなっている。

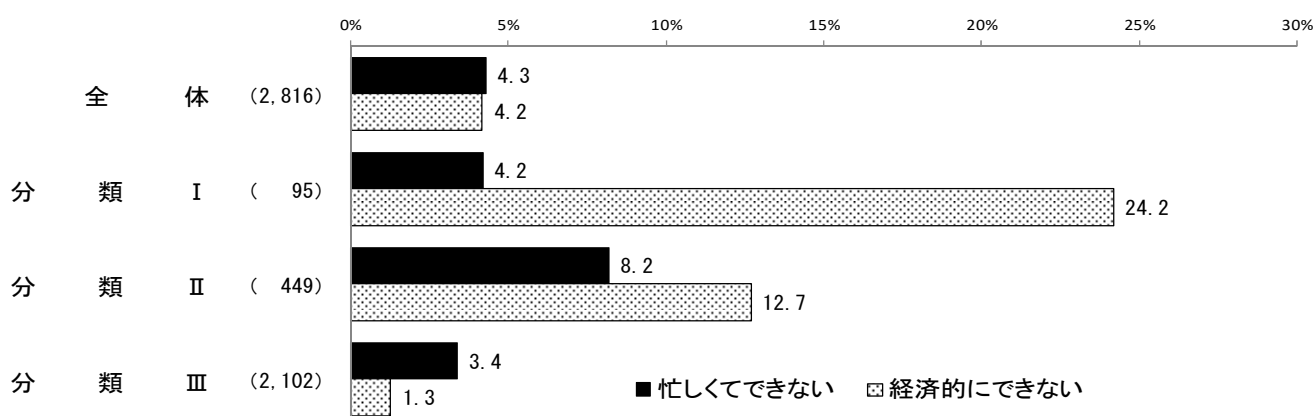
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-281】『子どもを有料の学習塾や習い事（スポーツや音楽、英会話など）に通わせる』について（小学2年生・世帯構成別）



小学2年生のいる世帯の保護者の子どもに対する機会の提供の有無について、『子どもを有料の学習塾や習い事（スポーツや音楽、英会話など）に通わせる』で「忙しくてできない」、「経済的にできない」と答えた人を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』で「経済的にできない」が24.2%と全体に比べて高くなっている。

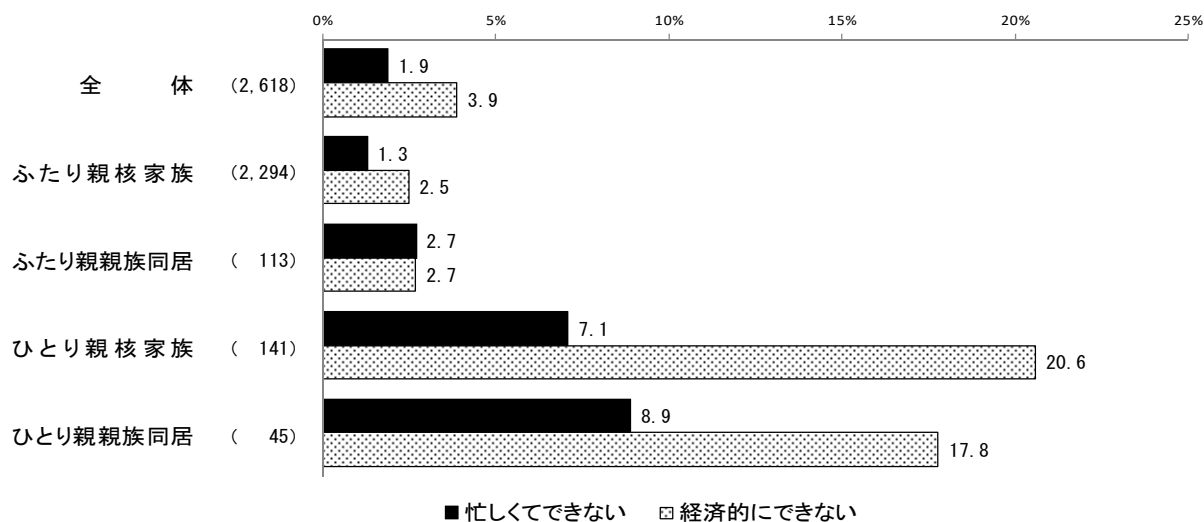
【図表 3-282】『子どもを有料の学習塾や習い事（スポーツや音楽、英会話など）に通わせる』について（小学2年生・所得分類別）



小学5年生のいる世帯の保護者の子どもに対する機会の提供の有無について、『子どもを有料の学習塾や習い事（スポーツや音楽、英会話など）に通わせる』で「忙しくてできない」、「経済的にできない」と答えた人を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』が20.6%と、『ひとり親親族同居』が17.8%と「経済的にできない」でそれぞれ全体に比べて高くなっている。

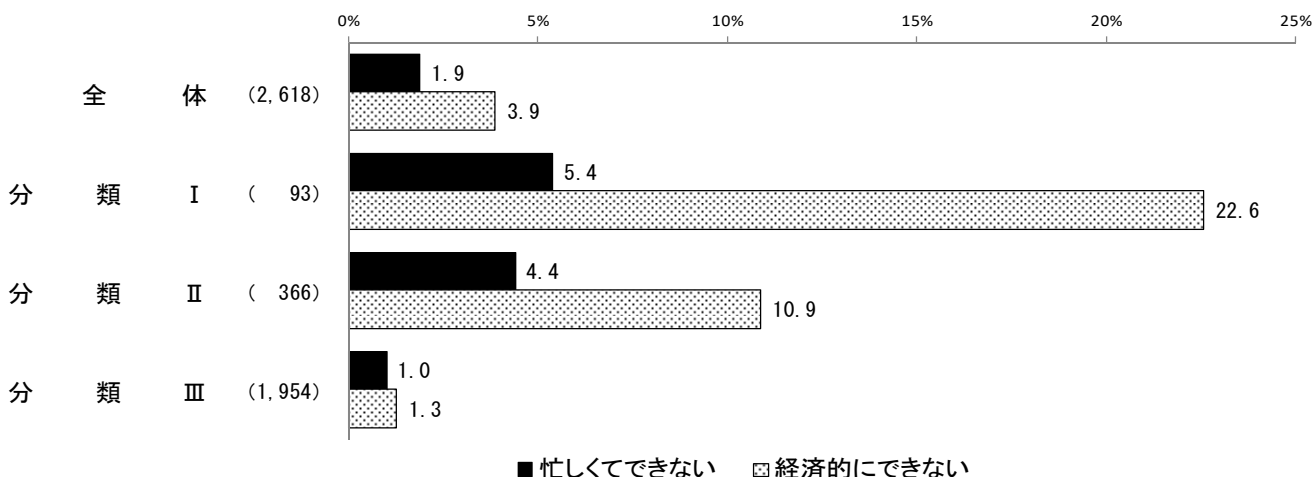
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-283】『子どもを有料の学習塾や習い事（スポーツや音楽、英会話など）に通わせる』について（小学5年生・世帯構成別）



小学5年生のいる世帯の保護者の子どもに対する機会の提供の有無について、『子どもを有料の学習塾や習い事（スポーツや音楽、英会話など）に通わせる』で「忙しくてできない」、「経済的にできない」と答えた人を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』で「経済的にできない」が22.6%と全体に比べて高くなっている。

【図表 3-284】『子どもを有料の学習塾や習い事（スポーツや音楽、英会話など）に通わせる』について（小学5年生・所得分類別）

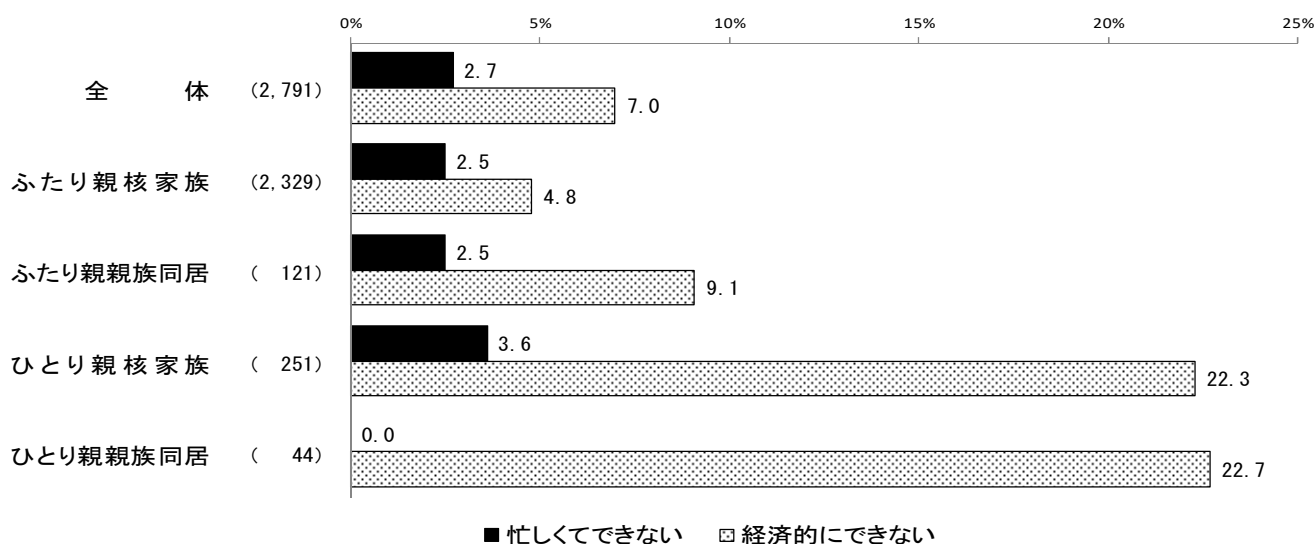




中学2年生のいる世帯の保護者の子どもに対する機会の提供の有無について、『子どもを有料の学習塾や習い事（スポーツや音楽、英会話など）に通わせる』で「忙しくてできない」、「経済的にできない」と答えた人を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』で22.3%と、『ひとり親親族同居』で22.7%と「経済的にできない」が、それぞれ全体に比べて高くなっている。

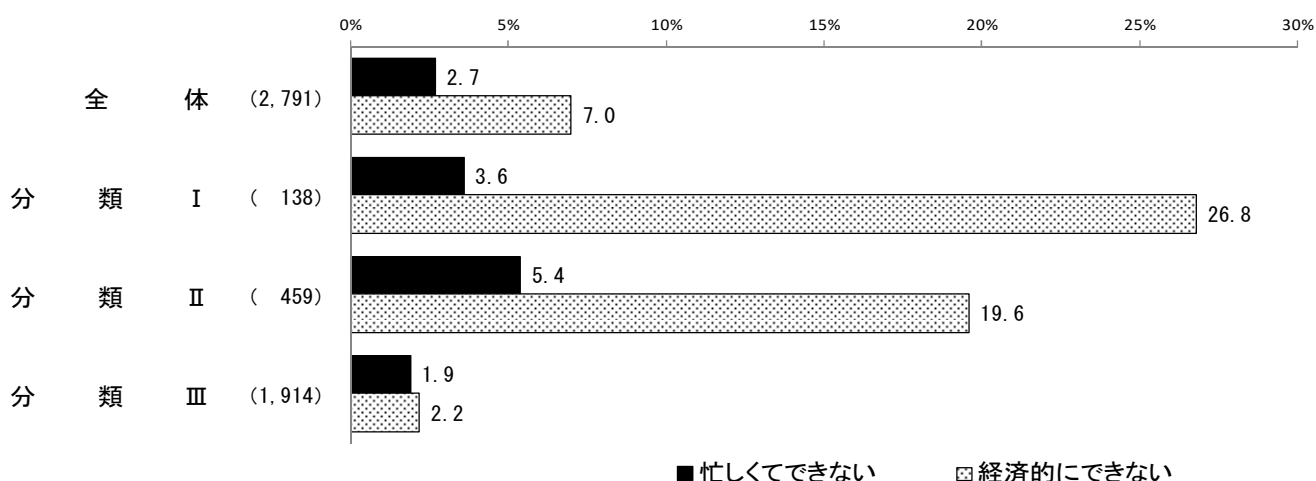
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-285】『子どもを有料の学習塾や習い事（スポーツや音楽、英会話など）に通わせる』について（中学2年生・世帯構成別）



中学2年生のいる世帯の保護者の子どもに対する機会の提供の有無について、『子どもを有料の学習塾や習い事（スポーツや音楽、英会話など）に通わせる』で「忙しくてできない」、「経済的にできない」と答えた人を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』で26.8%と、『分類Ⅱ』で19.6%と「経済的にできない」が、それぞれ全体に比べて高くなっている。

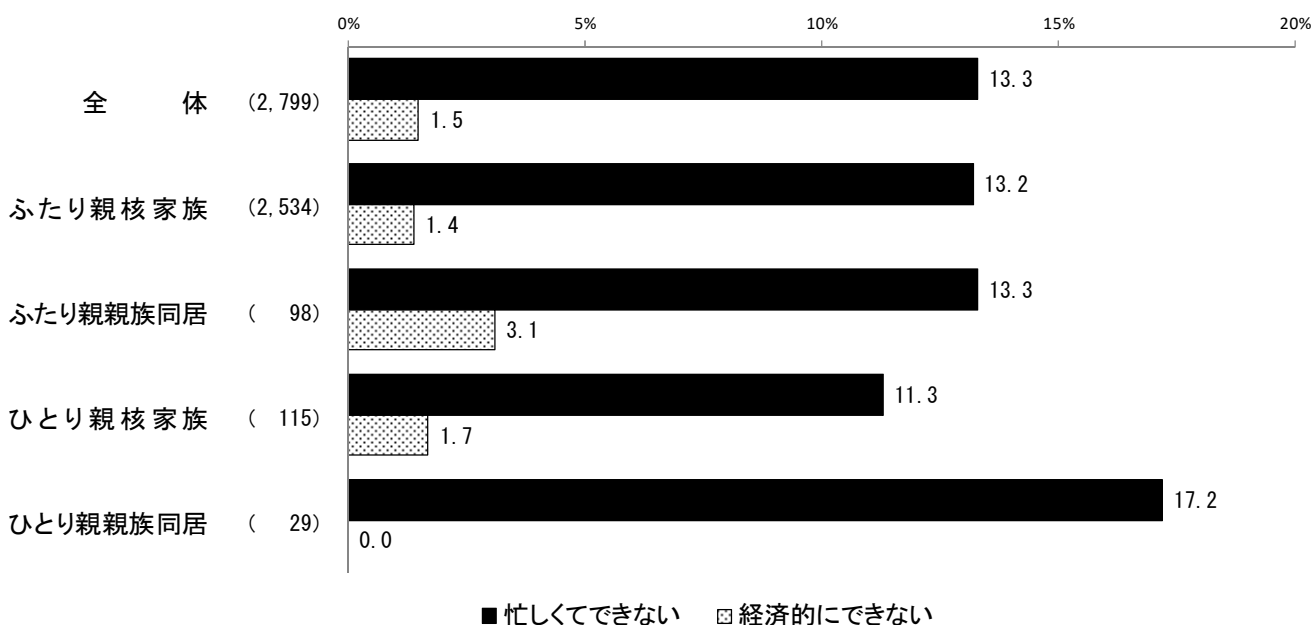
【図表 3-286】『子どもを有料の学習塾や習い事（スポーツや音楽、英会話など）に通わせる』について（中学2年生・所得分類別）



小学2年生のいる世帯の保護者の子どもに対する機会の提供の有無について、『子どもを博物館や科学館などに連れていく（映画館・美術館なども含む）』で「忙しくてできない」、「経済的にできない」と答えた人を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

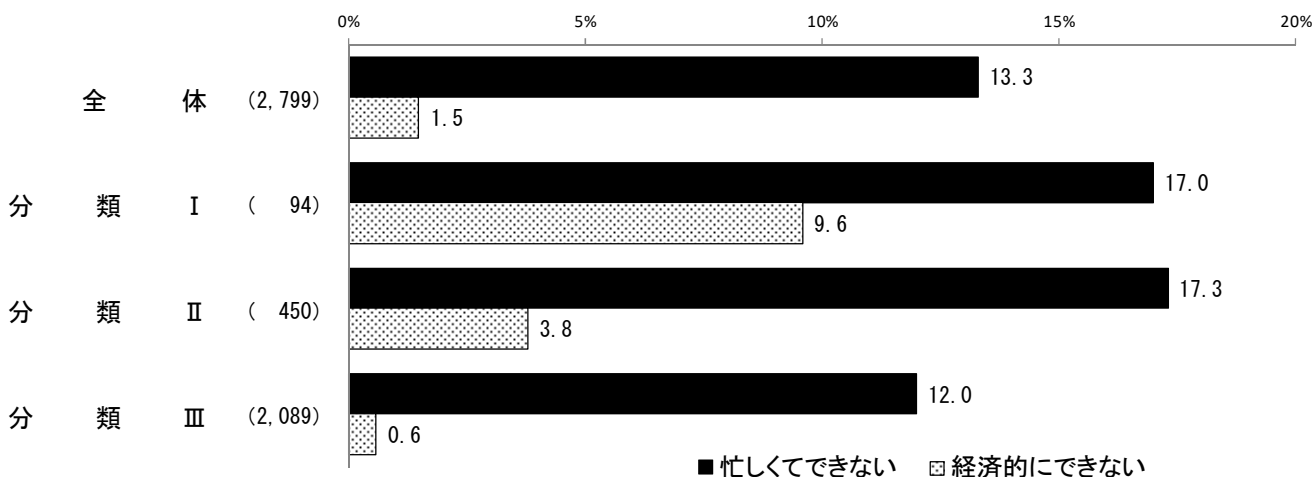
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-287】『子どもを博物館や科学館などに連れていく（映画館・美術館なども含む）』について（小学2年生・世帯構成別）



小学2年生のいる世帯の保護者の子どもに対する機会の提供の有無について、『子どもを博物館や科学館などに連れていく（映画館・美術館なども含む）』で「忙しくてできない」、「経済的にできない」と答えた人を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

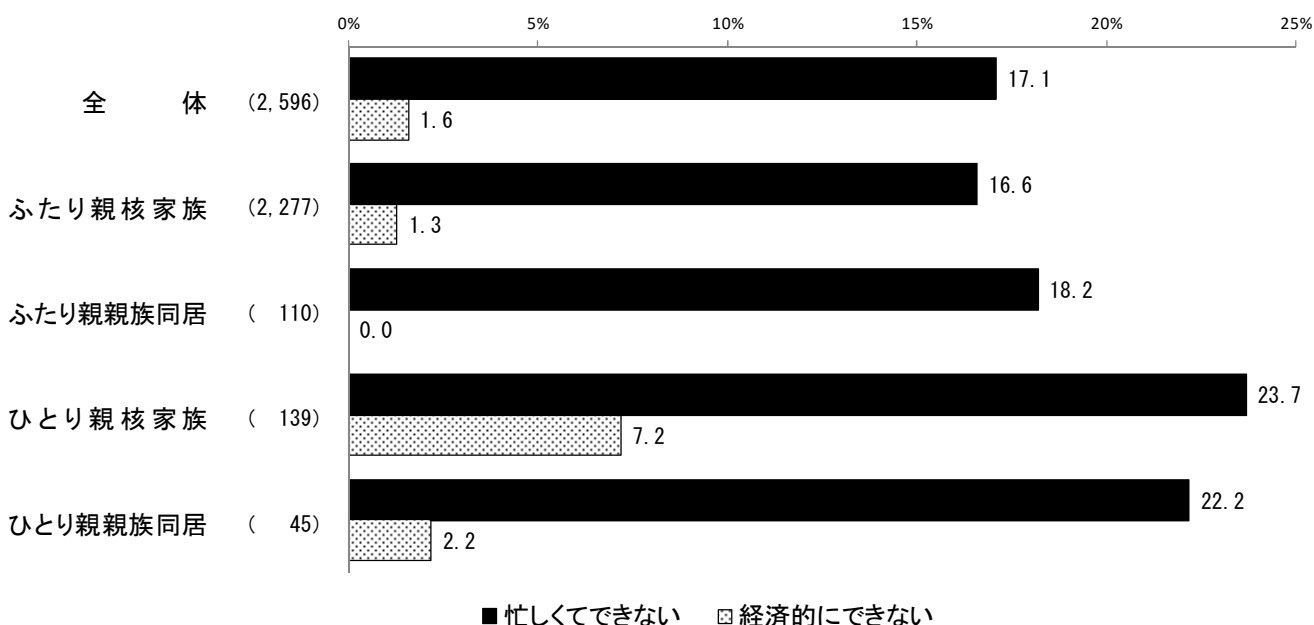
【図表 3-288】『子どもを博物館や科学館などに連れていく（映画館・美術館なども含む）』について（小学2年生・所得分類別）



小学5年生のいる世帯の保護者の子どもに対する機会の提供の有無について、『子どもを博物館や科学館などに連れていく（映画館・美術館なども含む）』で「忙しくてできない」、「経済的にできない」と答えた人を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

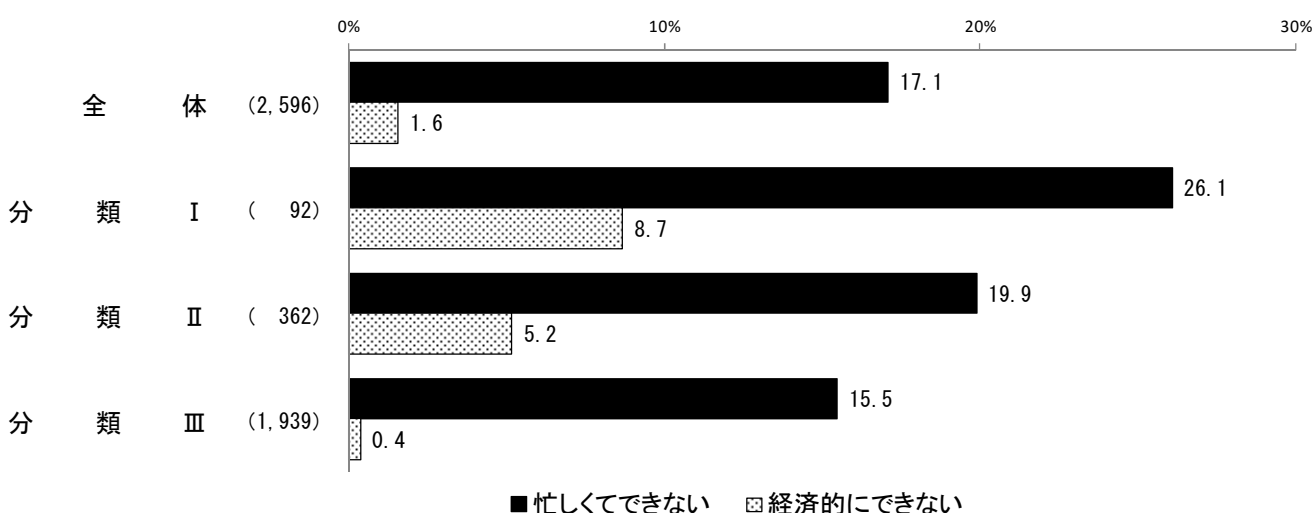
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-289】『子どもを博物館や科学館などに連れていく（映画館・美術館なども含む）』について（小学5年生・世帯構成別）



小学5年生のいる世帯の保護者の子どもに対する機会の提供の有無について、『子どもを博物館や科学館などに連れていく（映画館・美術館なども含む）』で「忙しくてできない」、「経済的にできない」と答えた人を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

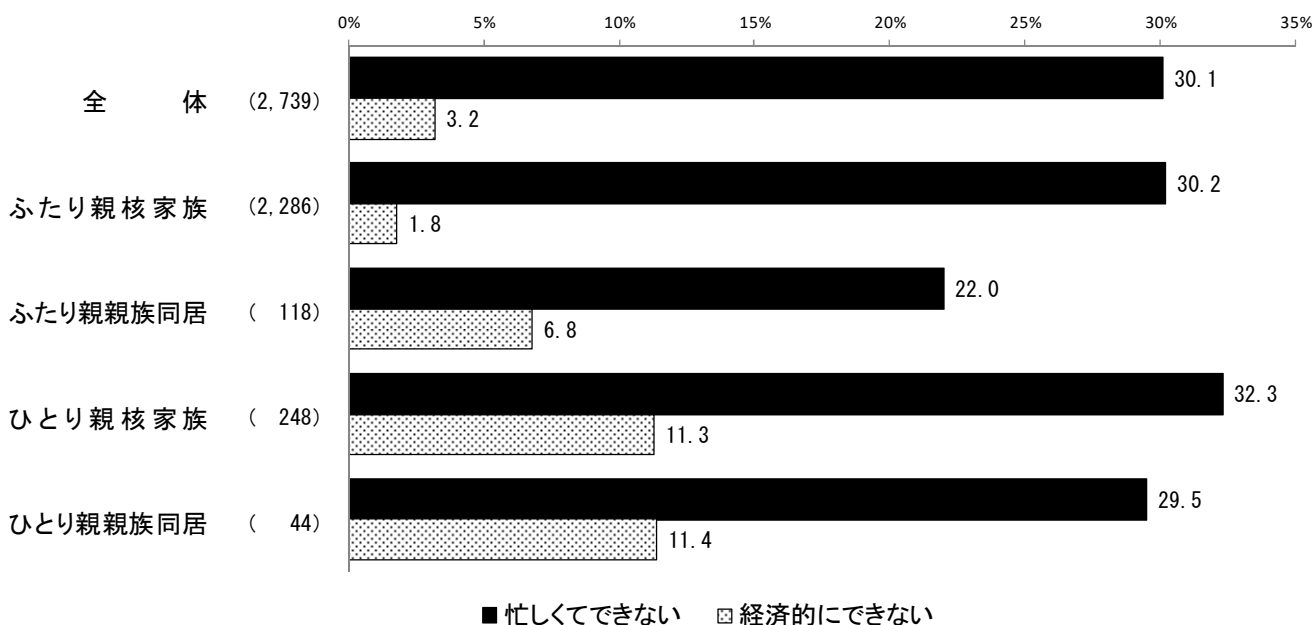
【図表 3-290】『子どもを博物館や科学館などに連れていく（映画館・美術館なども含む）』について（小学5年生・所得分類別）



中学2年生のいる世帯の保護者の子どもに対する機会の提供の有無について、『子どもを博物館や科学館などに連れていく（映画館・美術館なども含む）』で「忙しくてできない」、「経済的にできない」と答えた人を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

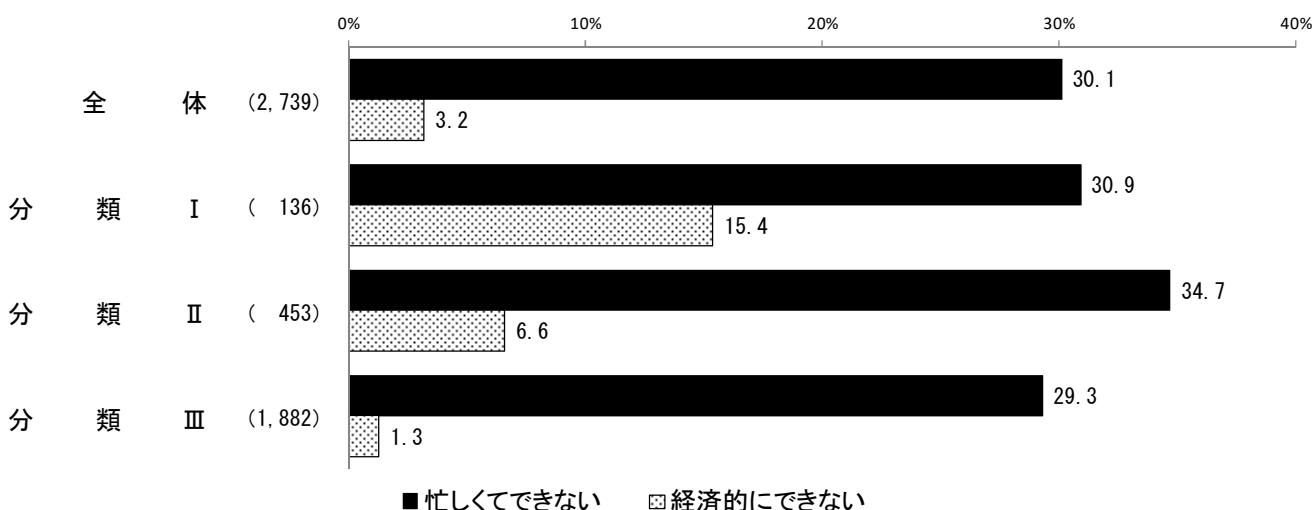
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-291】『子どもを博物館や科学館などに連れていく（映画館・美術館なども含む）』について（中学2年生・世帯構成別）



中学2年生のいる世帯の保護者の子どもに対する機会の提供の有無について、『子どもを博物館や科学館などに連れていく（映画館・美術館なども含む）』で「忙しくてできない」、「経済的にできない」と答えた人を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』で「経済的にできない」が15.4%と全体に比べて高くなっている。

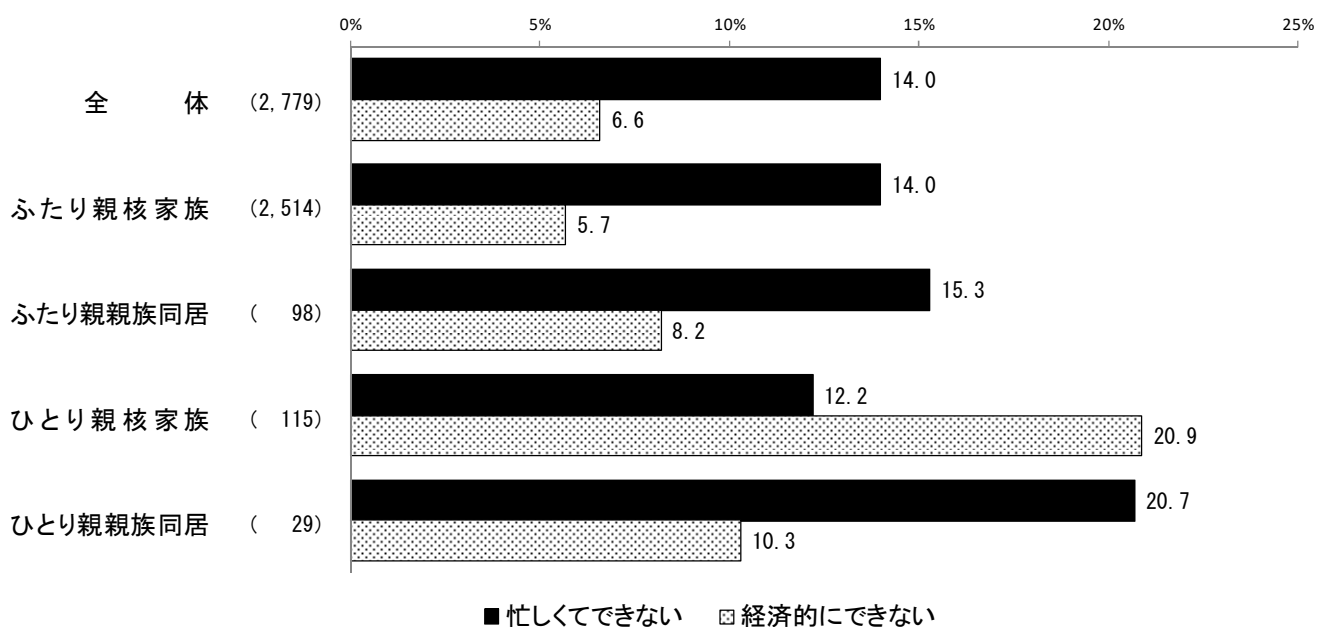
【図表 3-292】『子どもを博物館や科学館などに連れていく（映画館・美術館なども含む）』について（中学2年生・所得分類別）



小学2年生のいる世帯の保護者の子どもに対する機会の提供の有無について、『家族旅行に行く』で「忙しくてできない」、「経済的にできない」と答えた人を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』で「経済的にできない」が20.9%と全体に比べて高くなっている。

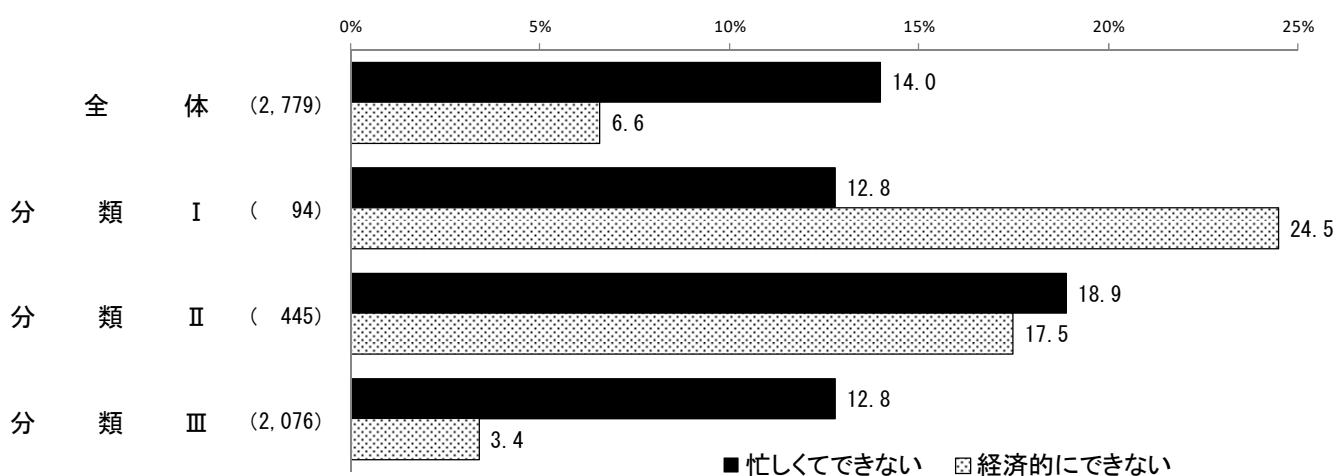
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-293】『家族旅行に行く』について（小学2年生・世帯構成別）



小学校2年生の保護者の子どもに対する機会の提供の有無について、『家族旅行に行く』で「忙しくてできない」、「経済的にできない」と答えた人を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』で24.5%、『分類Ⅱ』で17.5%と「経済的にできない」がそれぞれ全体に比べて高くなっている。

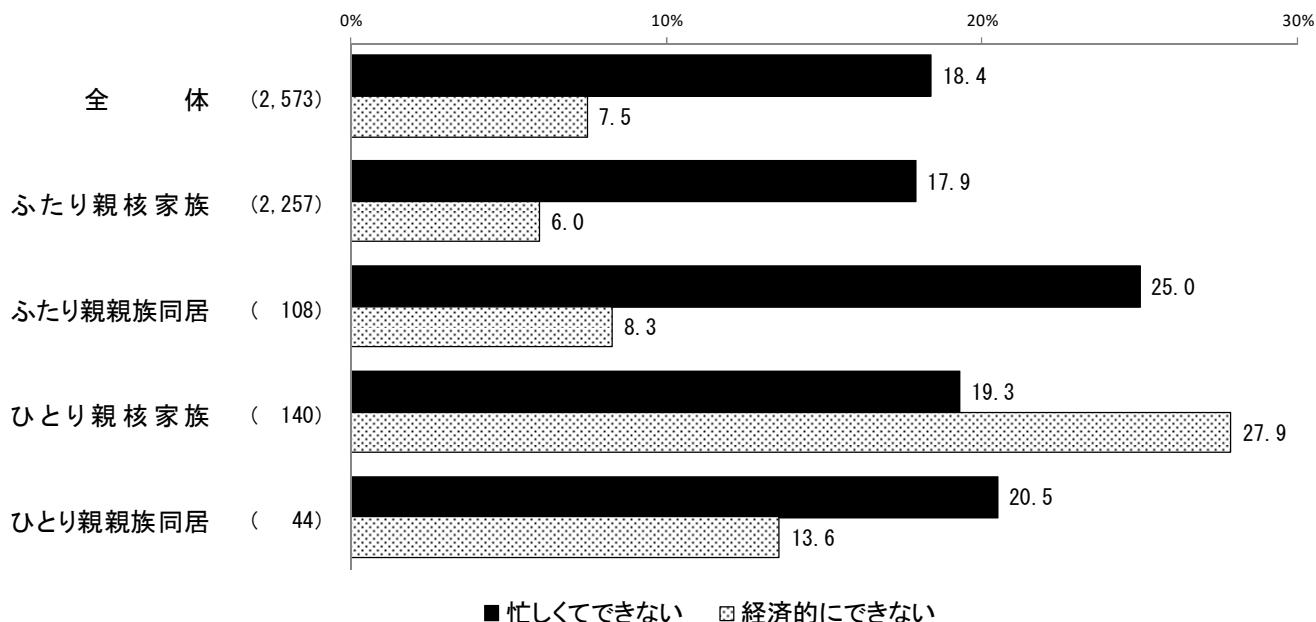
【図表 3-294】『家族旅行に行く』について（小学2年生・所得分類別）



小学5年生のいる世帯の保護者の子どもに対する機会の提供の有無について、『家族旅行に行く』で「忙しくてできない」、「経済的にできない」と答えた人を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』で「経済的にできない」が27.9%と全体に比べて高くなっている。

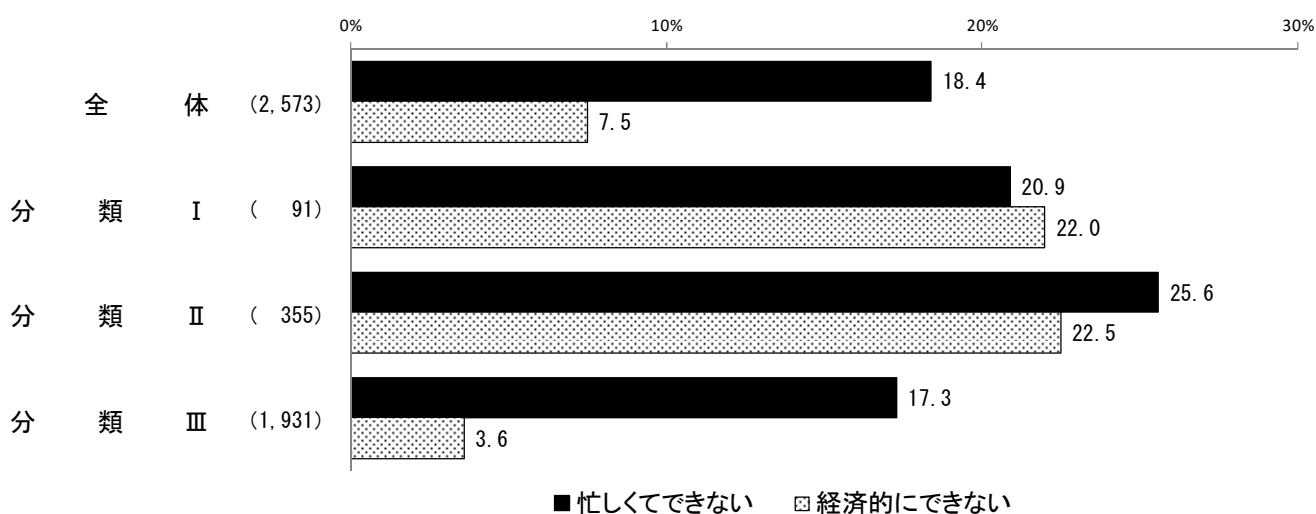
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-295】『家族旅行に行く』について（小学5年生・世帯構成別）



小学5年生のいる世帯の保護者の子どもに対する機会の提供の有無について、『家族旅行に行く』で「忙しくてできない」、「経済的にできない」と答えた人を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』で22.0%、『分類Ⅱ』で22.5%と、「経済的にできない」がそれぞれ全体に比べて高くなっている。

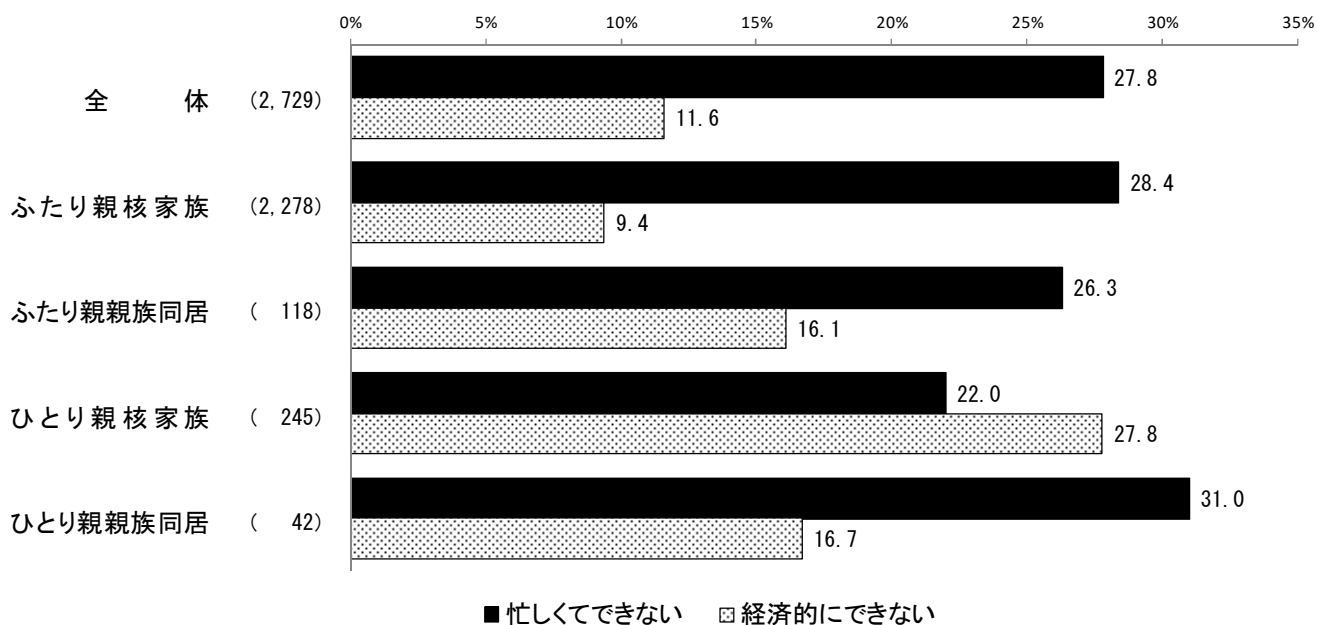
【図表 3-296】『家族旅行に行く』について（小学5年生・所得分類別）



中学2年生のいる世帯の保護者の子どもに対する機会の提供の有無について、『家族旅行に行く』で「忙しくてできない」、「経済的にできない」と答えた人を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』で「経済的にできない」が27.8%と全体に比べて高くなっている。

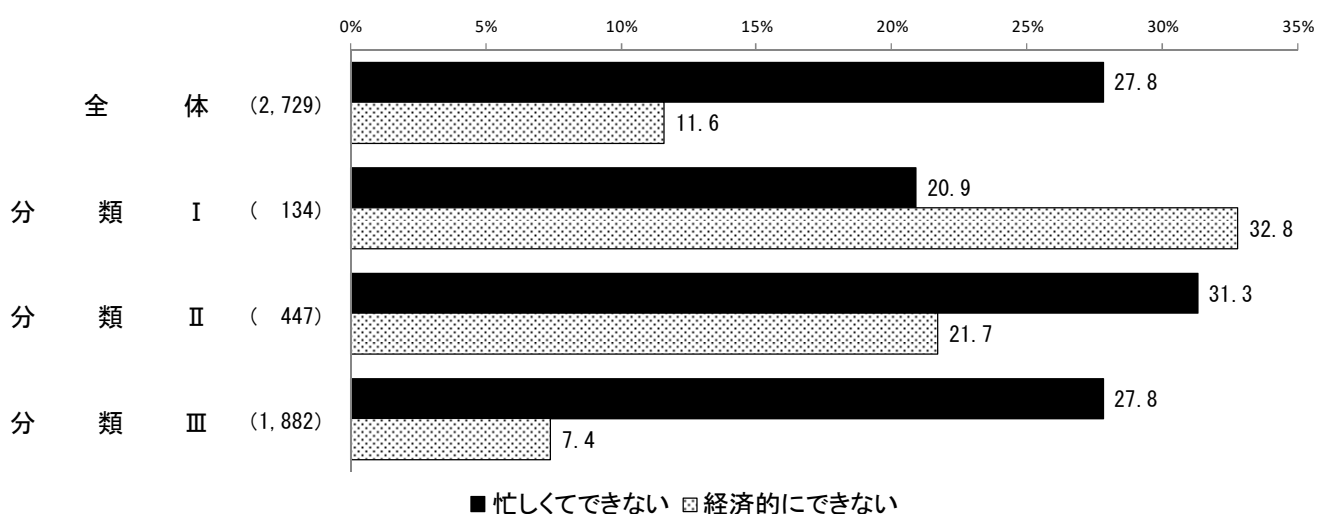
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-297】『家族旅行に行く』について（中学2年生・世帯構成別）



中学2年生のいる世帯の保護者の子どもに対する機会の提供の有無について、『家族旅行に行く』で「忙しくてできない」、「経済的にできない」と答えた人を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』で32.8%、『分類Ⅱ』で21.7%と、「忙しくてできない」がそれぞれ全体に比べて高くなっている。

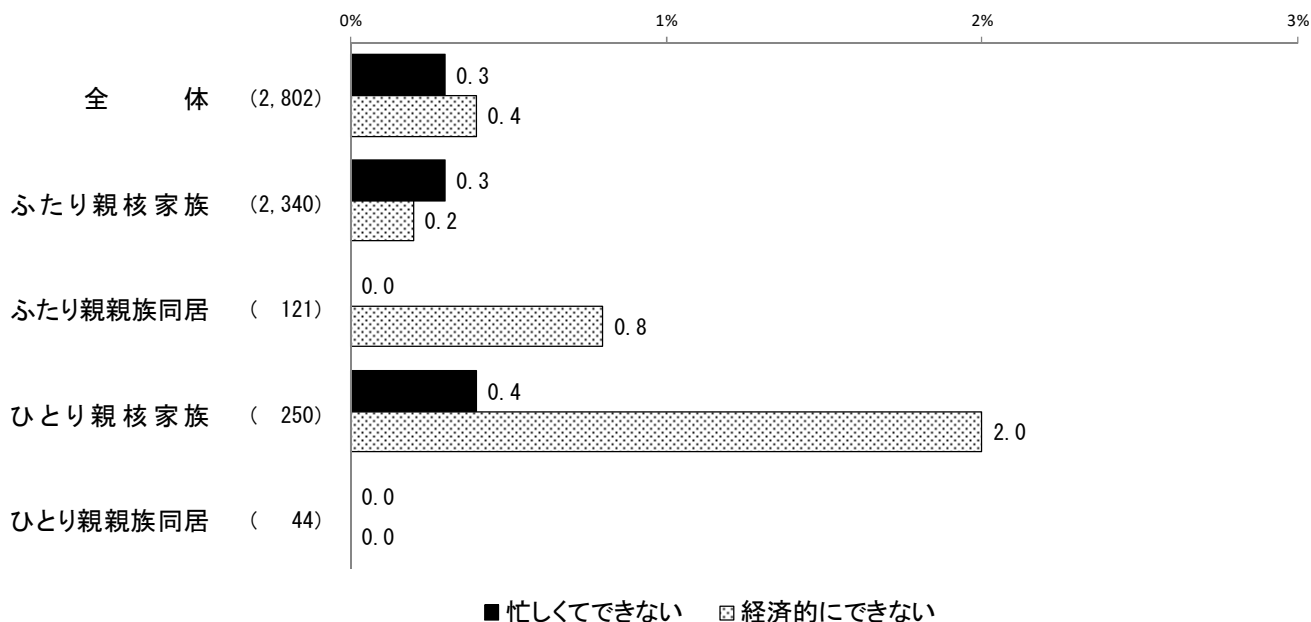
【図表 3-298】『家族旅行に行く』について（中学2年生・所得分類別）



中学2年生のいる世帯の保護者の子どもに対する機会の提供の有無について、『子どもの誕生日には、お祝いをする』で「忙しくてできない」、「経済的にできない」と答えた人を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

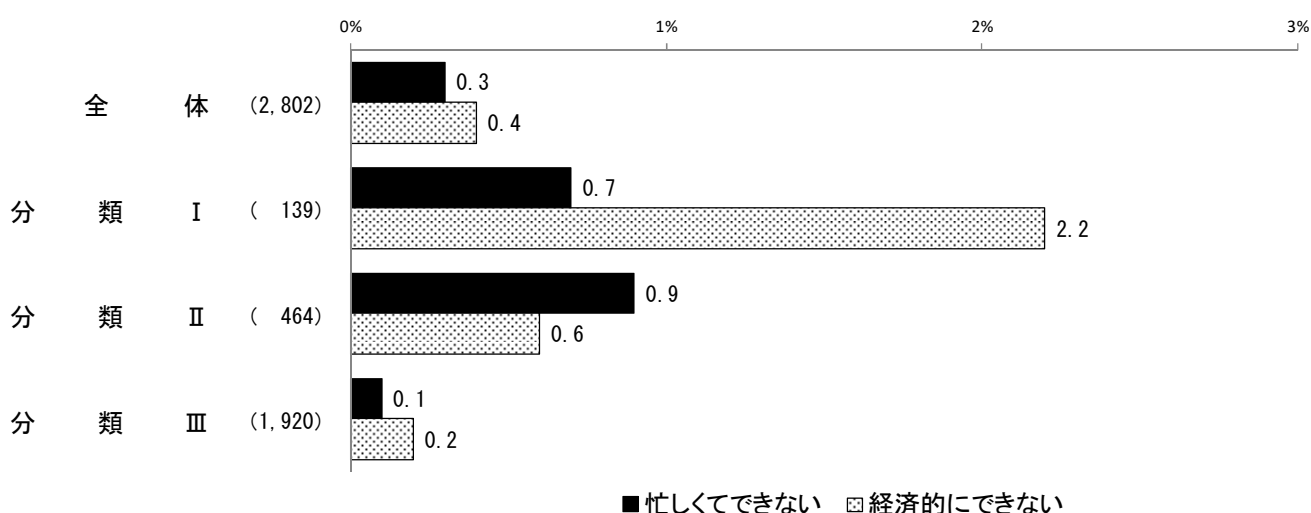
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-299】『子どもの誕生日には、お祝いをする』について  
(中学2年生・世帯構成別)



中学2年生のいる世帯の保護者の子どもに対する機会の提供の有無について、『子どもの誕生日には、お祝いをする』で「忙しくてできない」、「経済的にできない」と答えた人を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

【図表 3-300】『子どもの誕生日には、お祝いをする』について  
(中学2年生・所得分類別)

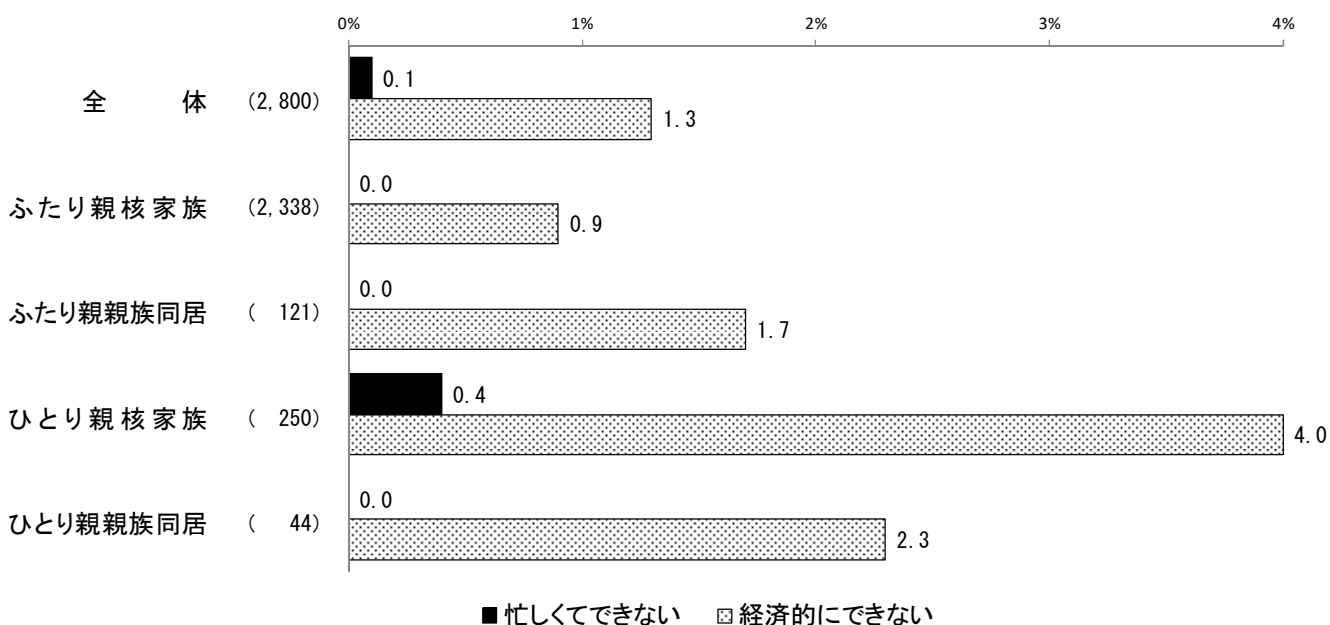




中学2年生のいる世帯の保護者の子どもに対する機会の提供の有無について、『クリスマスプレゼントやお年玉を渡す』で「忙しくてできない」、「経済的にできない」と答えた人を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

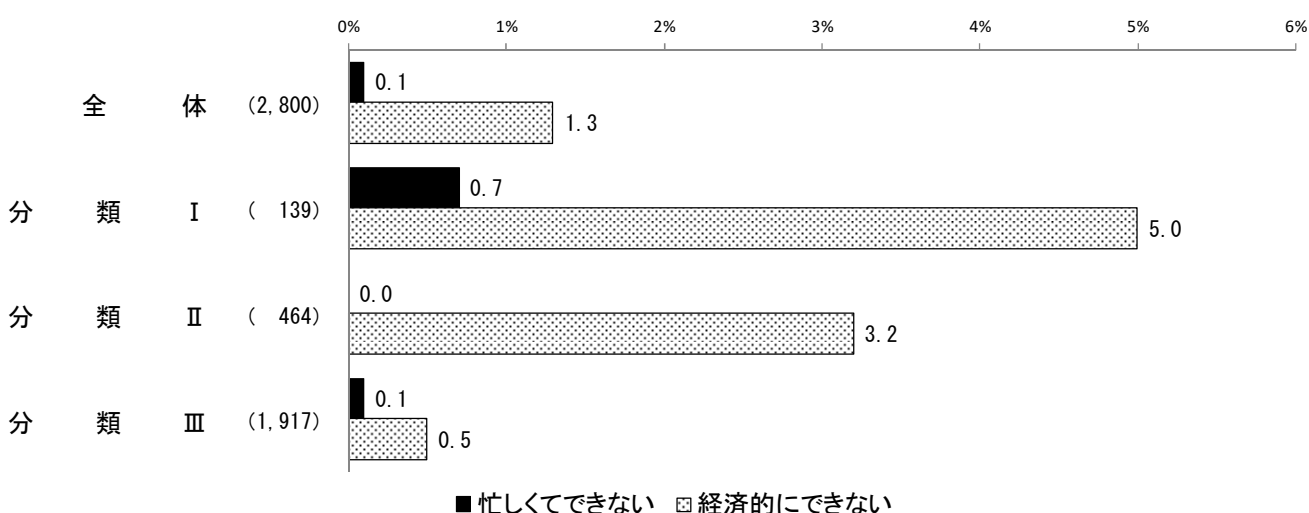
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-301】『クリスマスプレゼントやお年玉を渡す』について  
(中学2年生・世帯構成別)



中学2年生のいる世帯の保護者の子どもに対する機会の提供の有無について、『クリスマスプレゼントやお年玉を渡す』で「忙しくてできない」、「経済的にできない」と答えた人を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

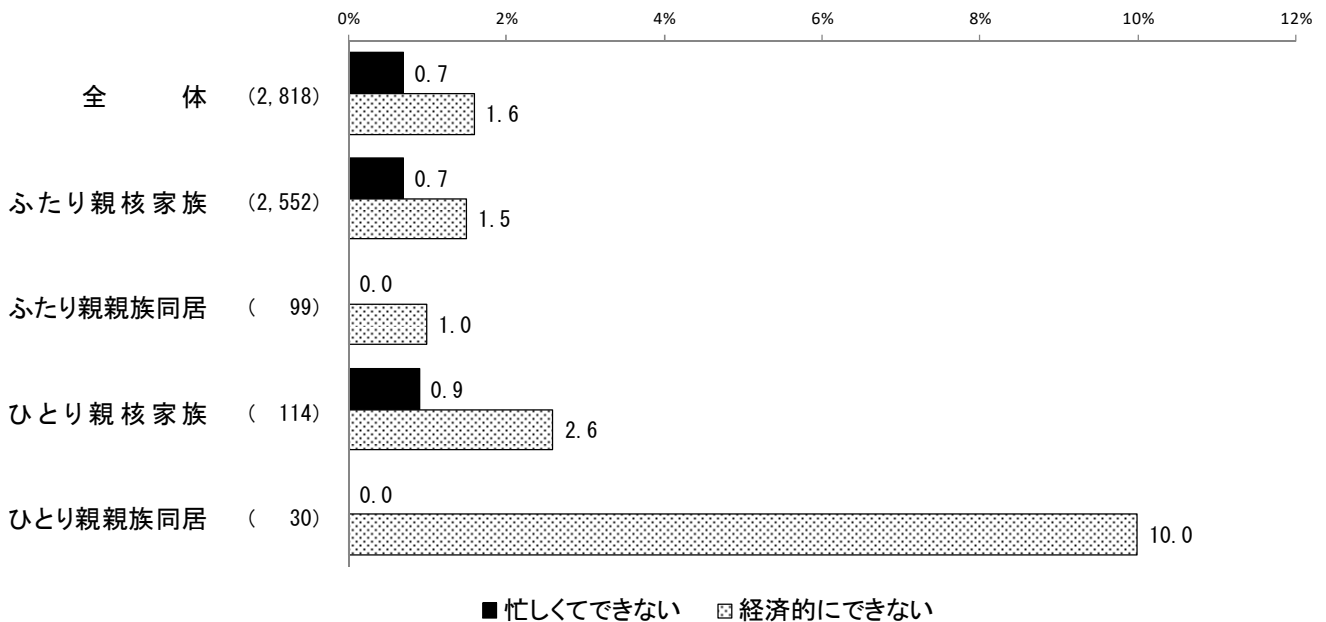
【図表 3-302】『クリスマスプレゼントやお年玉を渡す』について  
(中学2年生・所得分類別)



小学2年生のいる世帯の保護者の子どもに対する機会の提供の有無について、『子どもに毎月お小遣いを渡す』で「忙しくてできない」、「経済的にできない」と答えた人を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

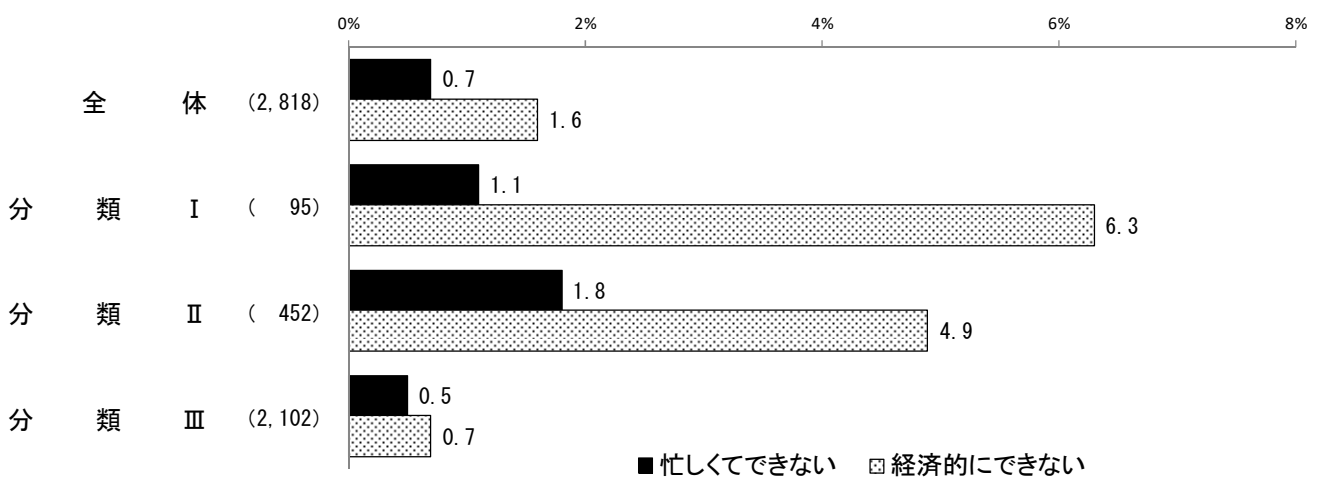
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-303】『子どもに毎月お小遣いを渡す』について  
(小学2年生・世帯構成別)



小学2年生のいる世帯の保護者の子どもに対する機会の提供の有無について、『子どもに毎月お小遣いを渡す』で「忙しくてできない」、「経済的にできない」と答えた人を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

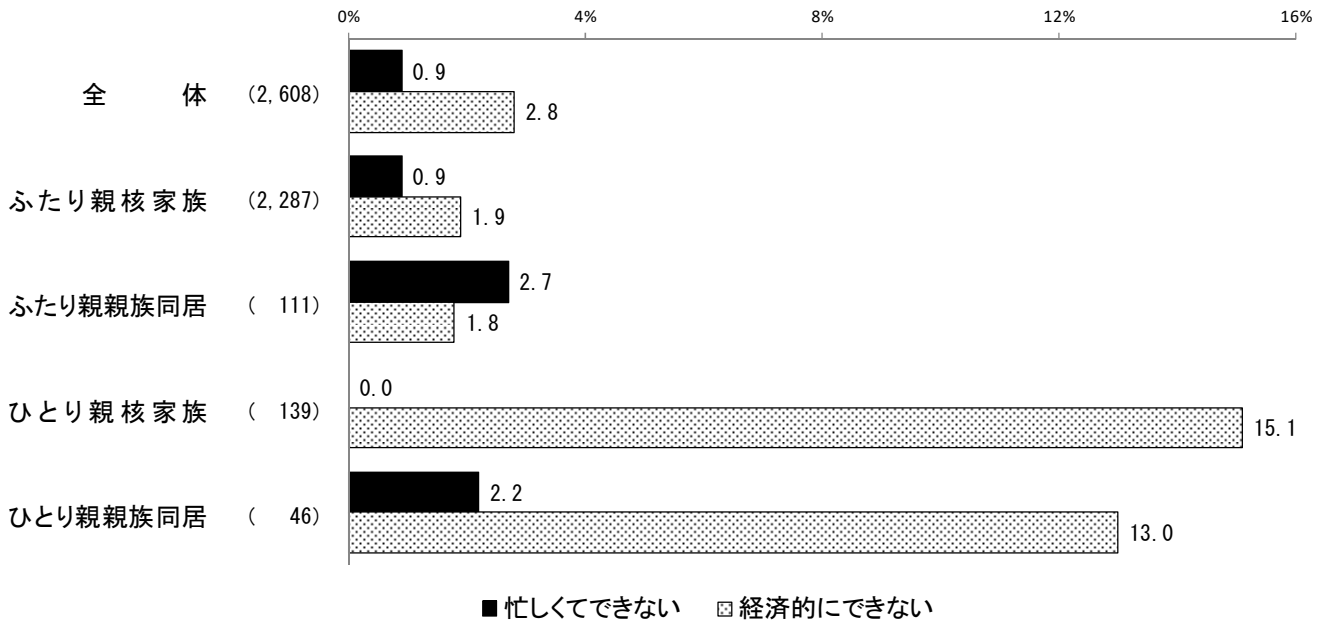
【図表 3-304】『子どもに毎月お小遣いを渡す』について  
(小学2年生・所得分類別)



小学5年生のいる世帯の保護者の子どもに対する機会の提供の有無について、『子どもに毎月お小遣いを渡す』で「忙しくてできない」、「経済的にできない」と答えた人を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』で15.1%、『ひとり親親族同居』で13.0%と、「経済的にできない」がそれぞれ全体に比べて高くなっている。

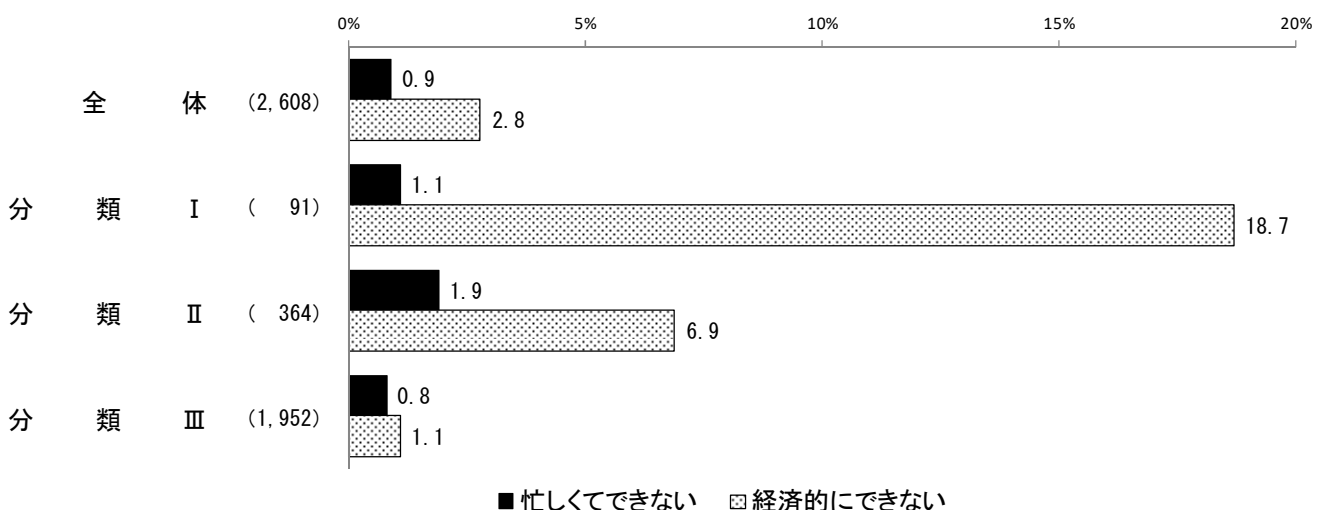
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-305】『子どもに毎月お小遣いを渡す』について（小学5年生・世帯構成別）



小学5年生のいる世帯の保護者の子どもに対する機会の提供の有無について、『子どもに毎月お小遣いを渡す』で「忙しくてできない」、「経済的にできない」と答えた人を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』で「経済的にできない」が18.7%と全体に比べて高くなっている。

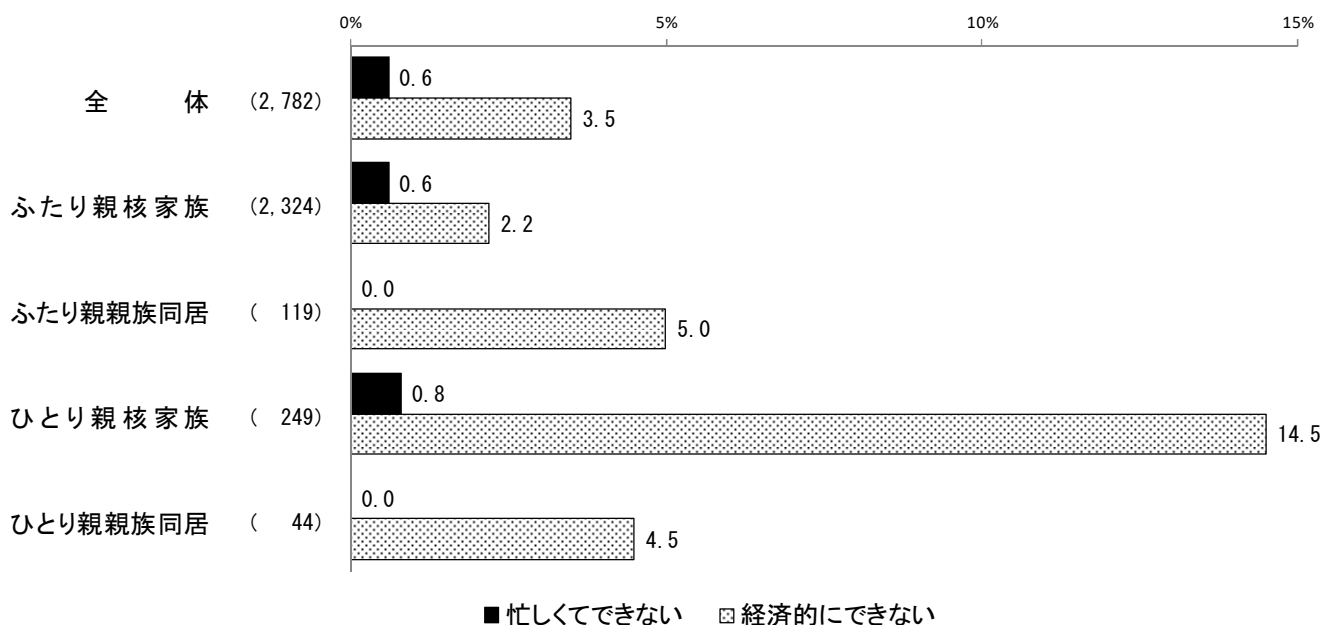
【図表 3-306】『子どもに毎月お小遣いを渡す』について（小学5年生・所得分類別）



中学2年生のいる世帯の保護者の子どもに対する機会の提供の有無について、『子どもに毎月お小遣いを渡す』で「忙しくてできない」、「経済的にできない」と答えた人を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』で「経済的にできない」が14.5%と全体に比べて高くなっている。

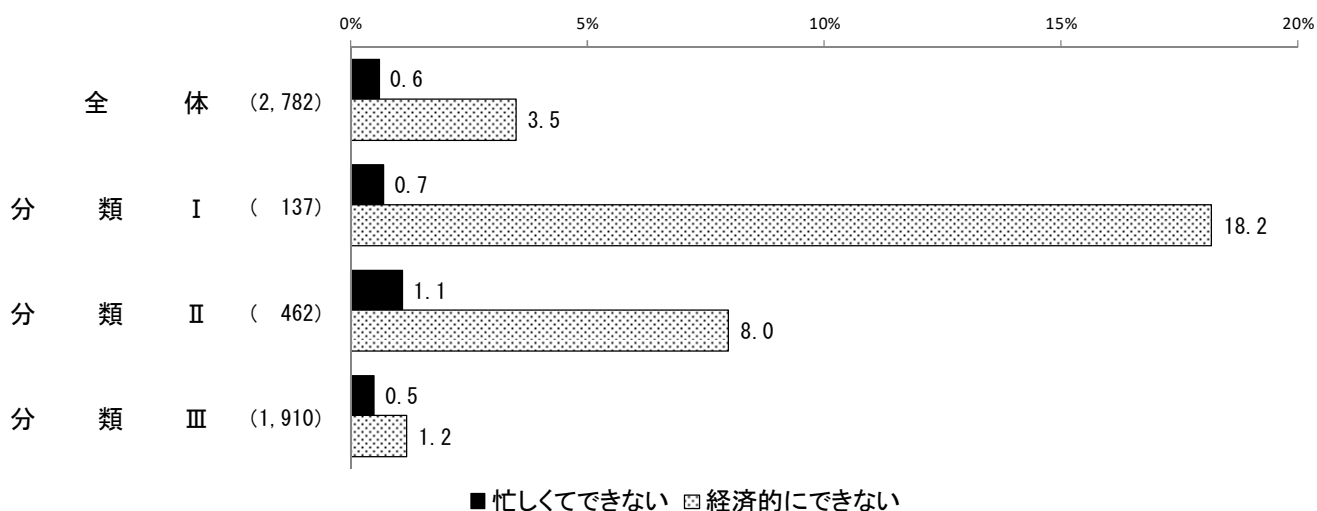
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-307】『子どもに毎月お小遣いを渡す』について（中学2年生・世帯構成別）



中学2年生のいる世帯の保護者の子どもに対する機会の提供の有無について、『子どもに毎月お小遣いを渡す』で「忙しくてできない」、「経済的にできない」と答えた人を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』で「経済的にできない」が18.2%と全体に比べて高くなっている。

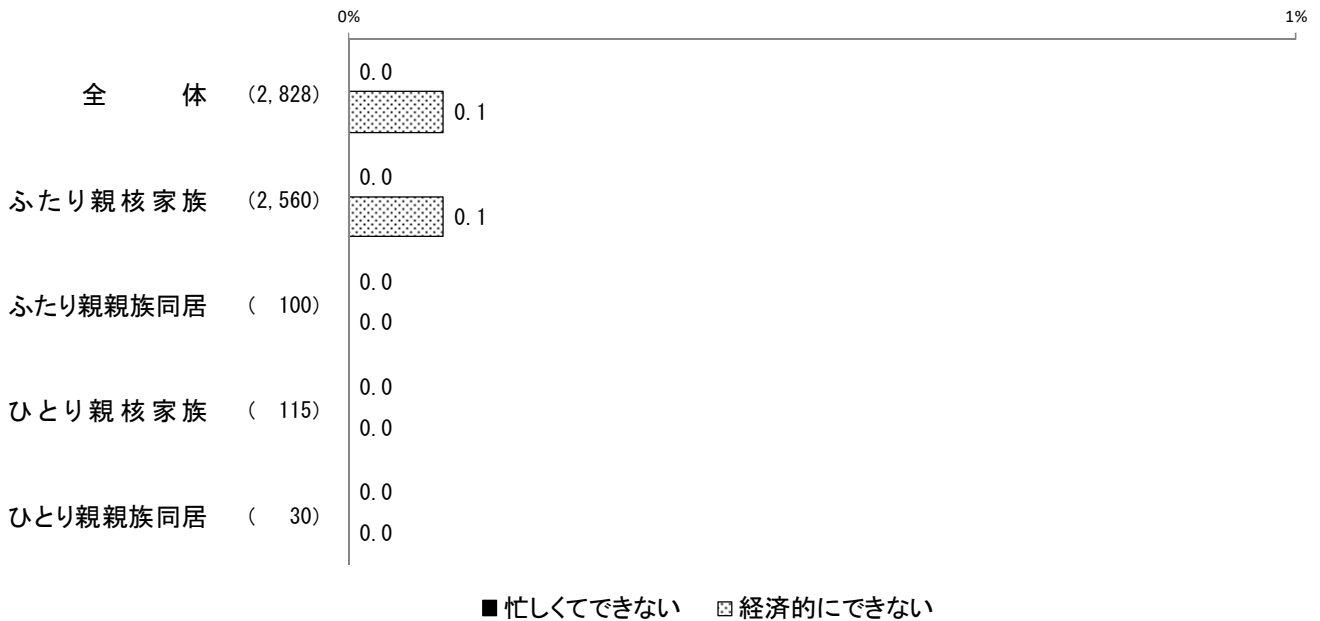
【図表 3-308】『子どもに毎月お小遣いを渡す』について（中学2年生・所得分類別）



小学2年生のいる世帯の保護者の子どもに対する機会の提供の有無について、『子どもの成長に合わせ、衣服や靴をそろえる』で「忙しくてできない」、「経済的にできない」と答えた人を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

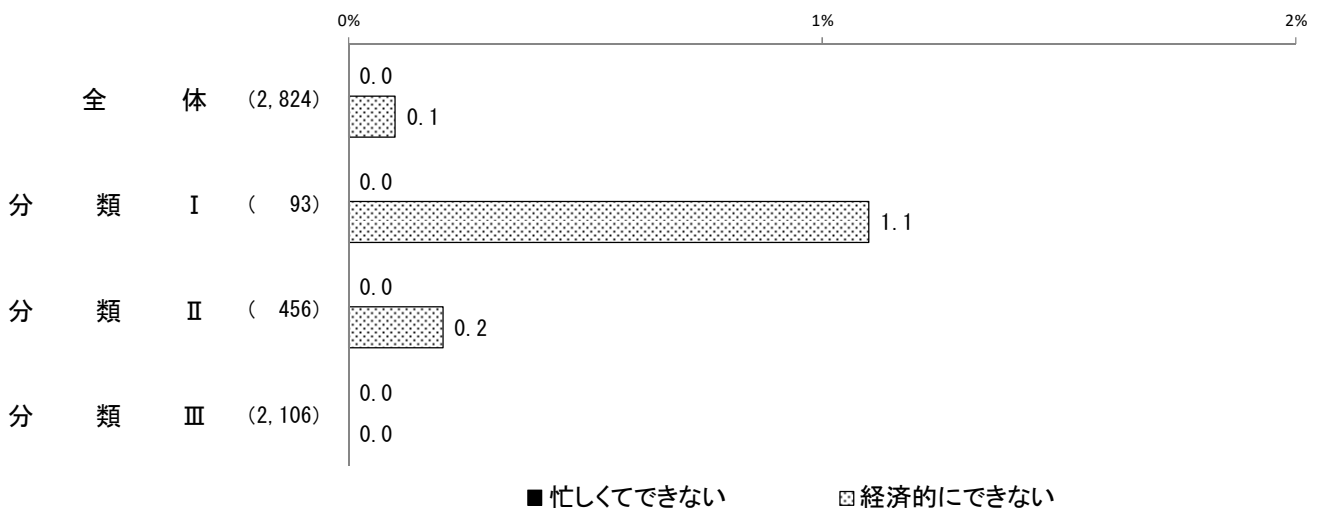
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-309】『子どもの成長に合わせ、衣服や靴をそろえる』について  
(小学2年生・世帯構成別)



小学2年生のいる世帯の保護者の子どもに対する機会の提供の有無について、『子どもの成長に合わせ、衣服や靴をそろえる』で「忙しくてできない」、「経済的にできない」と答えた人を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

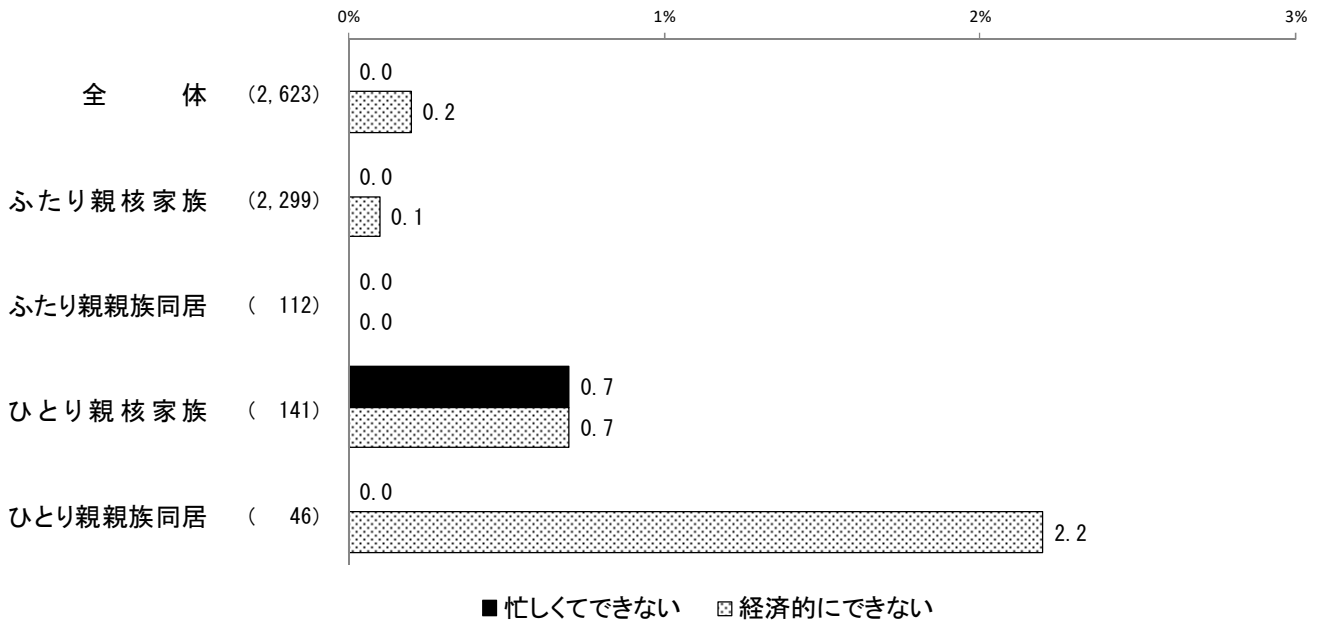
【図表 3-310】『子どもの成長に合わせ、衣服や靴をそろえる』について  
(小学2年生・所得分類別)



小学5年生のいる世帯の保護者の子どもに対する機会の提供の有無について、『子どもの成長に合わせて、衣服や靴をそろえる』で「忙しくてできない」、「経済的にできない」と答えた人を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

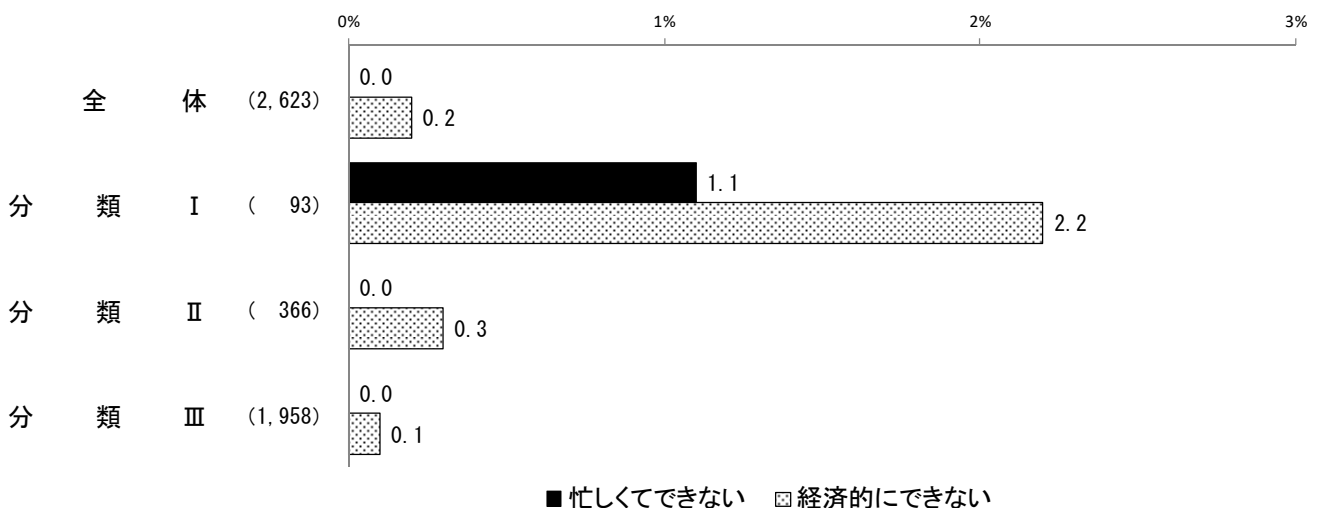
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-311】『子どもの成長に合わせて、衣服や靴をそろえる』について  
(小学5年生・世帯構成別)



小学5年生のいる世帯の保護者の子どもに対する機会の提供の有無について、『子どもの成長に合わせて、衣服や靴をそろえる』で「忙しくてできない」、「経済的にできない」と答えた人を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

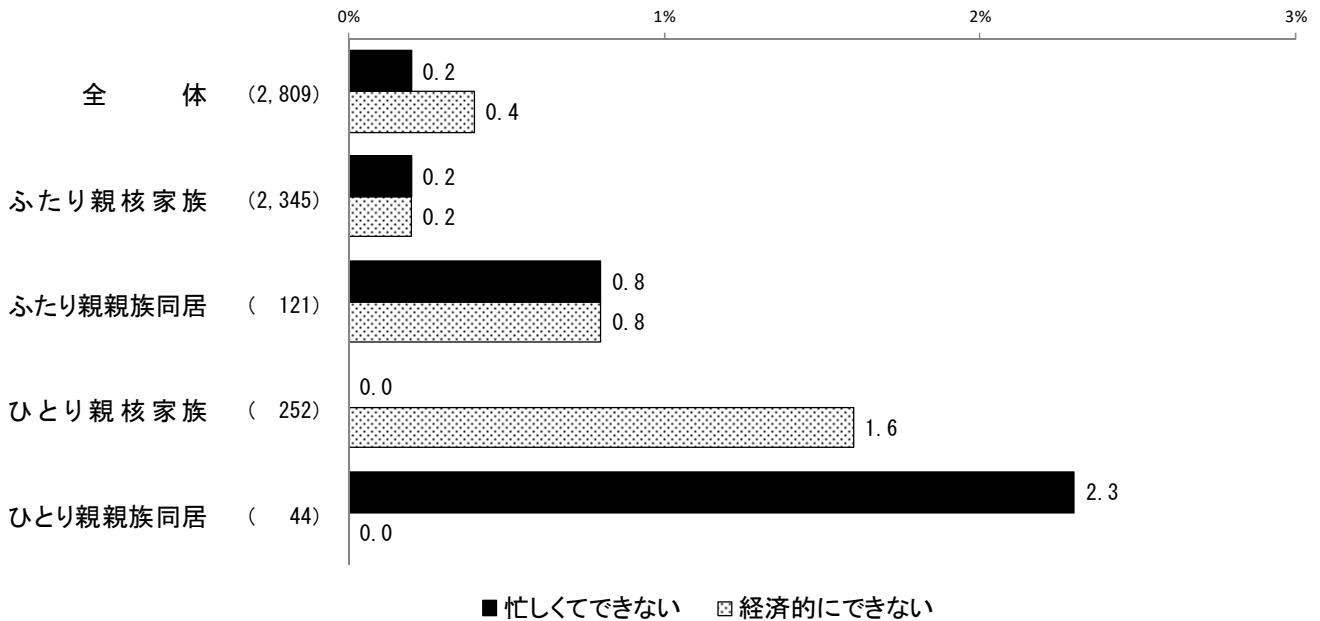
【図表 3-312】『子どもの成長に合わせて、衣服や靴をそろえる』について  
(小学5年生・所得分類別)



中学2年生のいる世帯の保護者の子どもに対する機会の提供の有無について、『子どもの成長に合わせ、衣服や靴をそろえる』で「忙しくてできない」、「経済的にできない」と答えた人を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

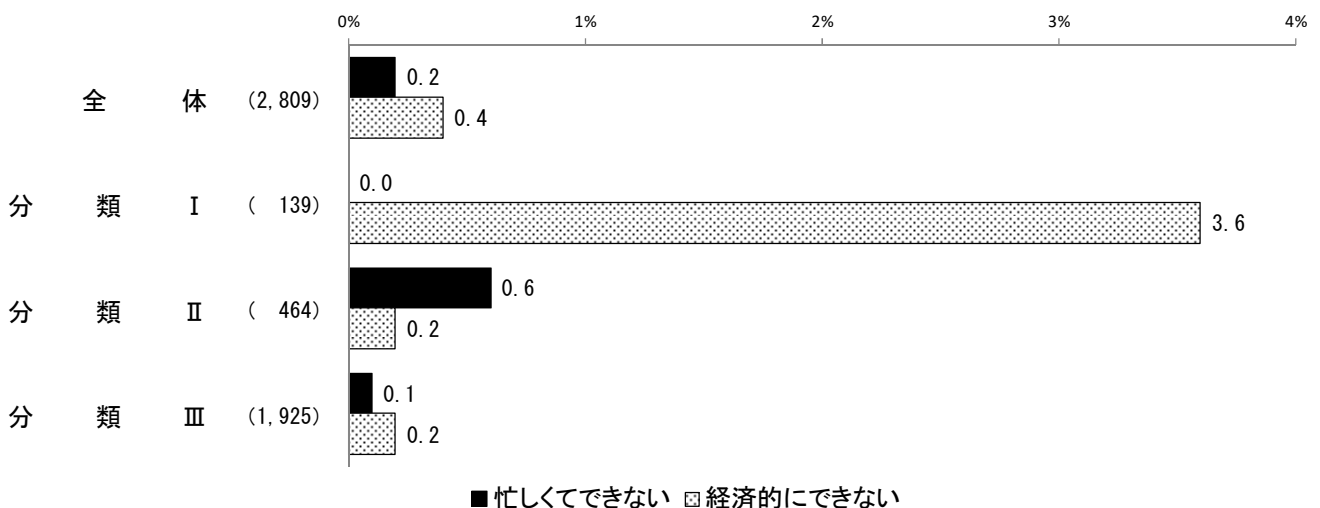
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-313】『子どもの成長に合わせ、衣服や靴をそろえる』について  
(中学2年生・世帯構成別)



中学2年生のいる世帯の保護者の子どもに対する機会の提供の有無について、『子どもの成長に合わせ、衣服や靴をそろえる』で「忙しくてできない」、「経済的にできない」と答えた人を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

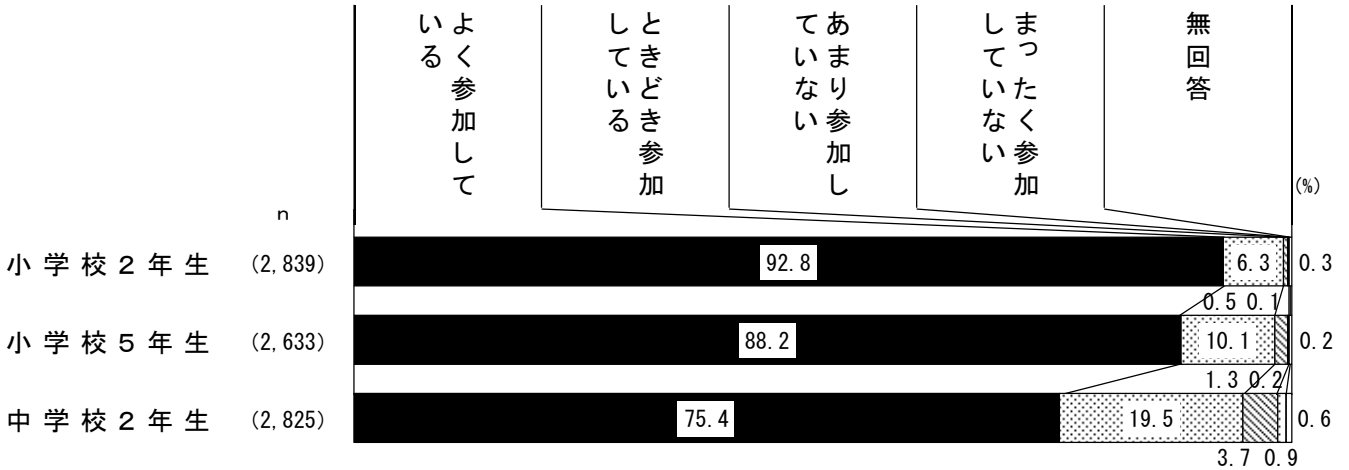
【図表 3-314】『子どもの成長に合わせ、衣服や靴をそろえる』について  
(中学2年生・所得分類別)



エ 学校行事等への参加程度【小学・問10・中学・問9】(SA)

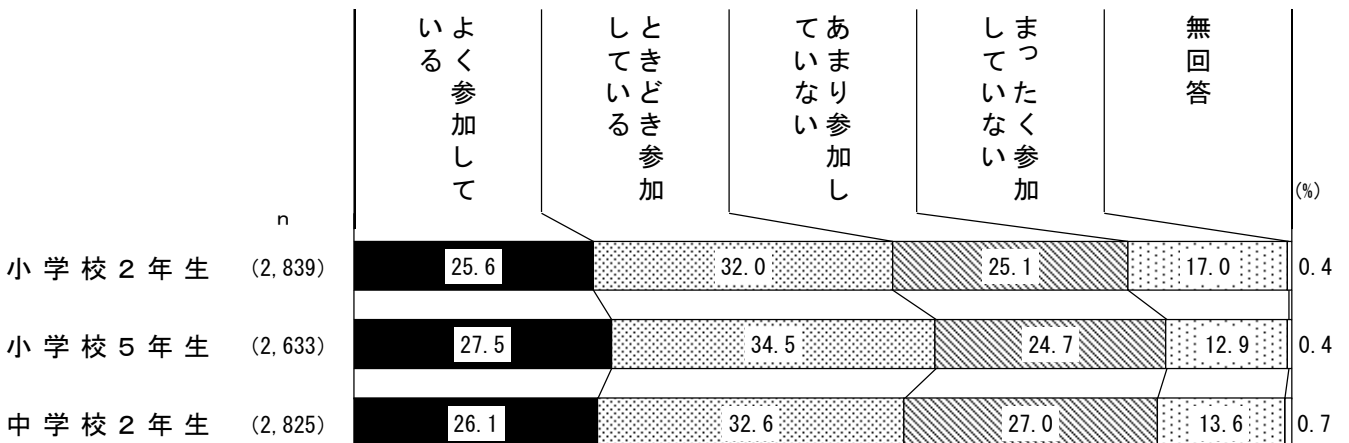
学校行事等への参加状況を聞いたところ、『授業参観や運動会などの学校行事への参加』では「よく参加している」(小学2年生:92.8%、小学5年生:88.2%、中学2年生:75.4%)が最も高く、次いで、「ときどき参加している」(小学2年生:6.3%、小学5年生:10.1%、中学2年生:19.5%)、「あまり参加していない」(小学2年生:0.5%、小学5年生:1.3%、中学2年生:3.7%)となっている。

【図表 3-315】『授業参観や運動会などの学校行事への参加』について



『PTA活動や保護者会、放課後学習支援などのボランティアなどへの参加』では、小学2年生のいる世帯の保護者、小学5年生のいる世帯の保護者で「ときどき参加している」(小学2年生:32.0%、小学5年生:34.5%)が最も高く、次いで、「よく参加している」(小学2年生:25.6%、小学5年生:27.5%)、「あまり参加していない」(小学2年生:25.1%、小学5年生:24.7%)となっている。中学2年生のいる世帯の保護者で「ときどき参加している」が32.6%と最も高く、次いで、「あまり参加していない」(27.0%)、「よく参加している」(26.1%)となっている。

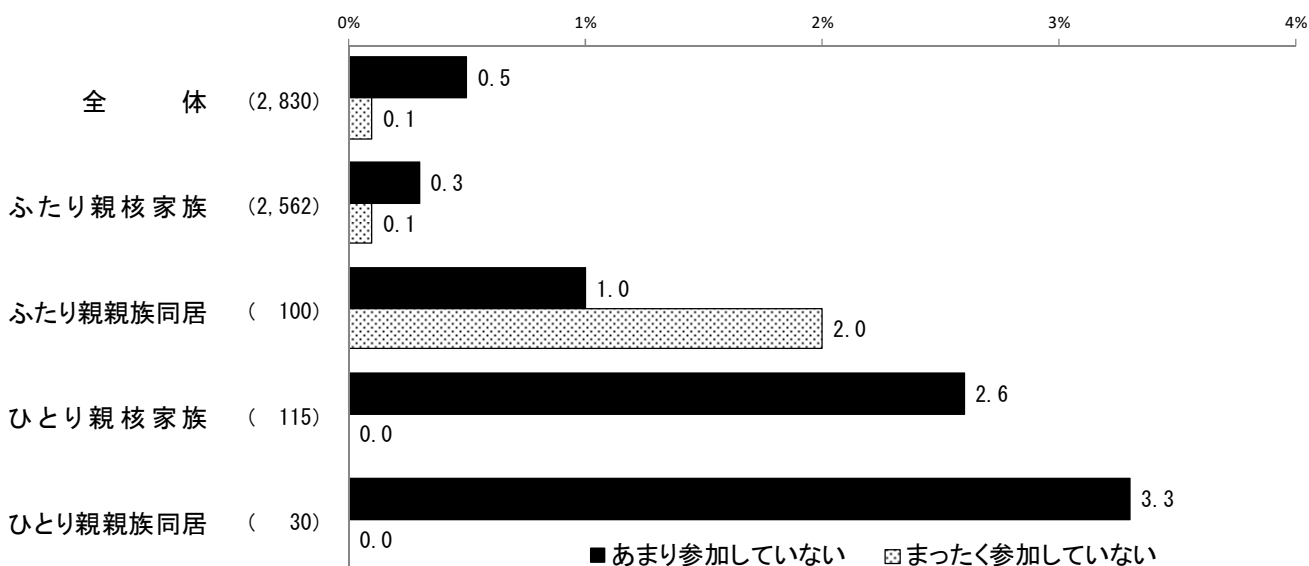
【図表 3-316】『PTA活動や保護者会、放課後学習支援などのボランティアなどへの参加』について





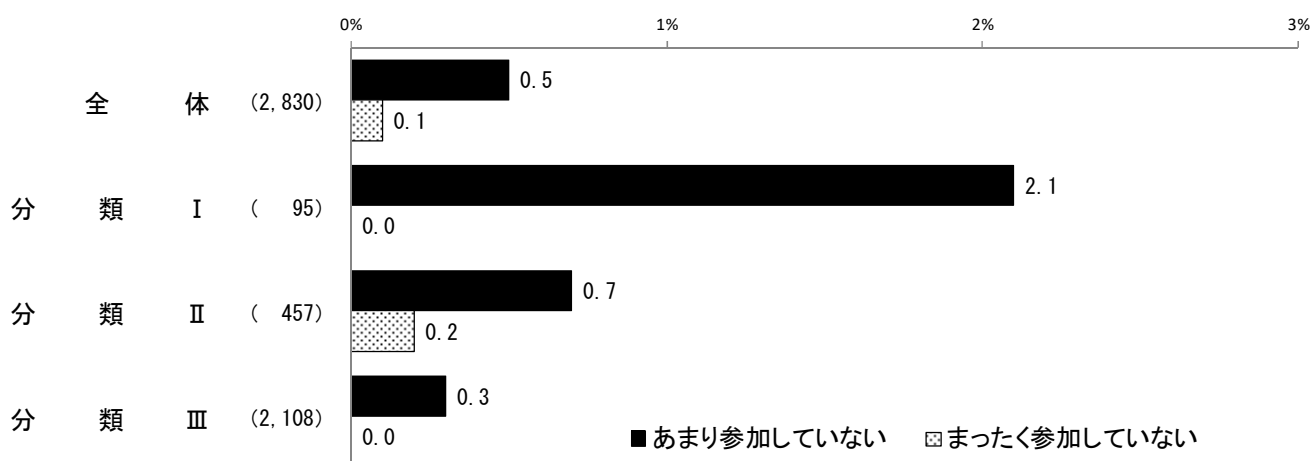
小学2年生のいる世帯の保護者の『授業参観や運動会などの学校行事への参加』で「あまり参加していない」、「まったく参加していない」と答えた人を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-317】『授業参観や運動会などの学校行事への参加』について  
(小学2年生・世帯構成別)



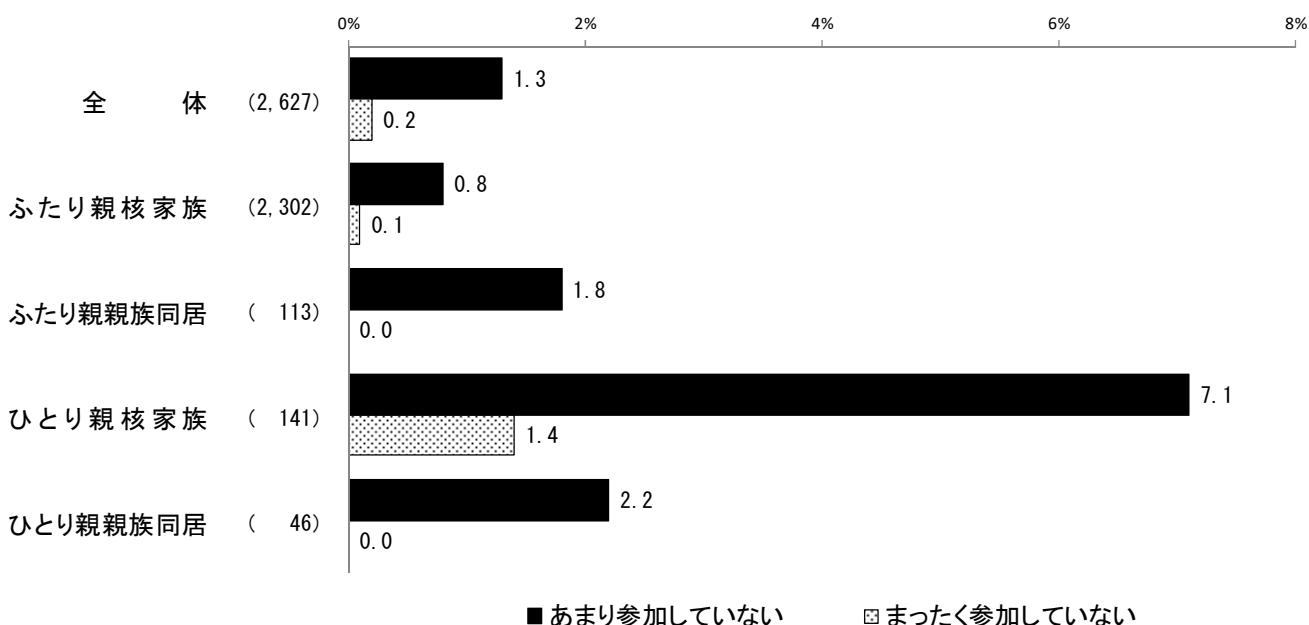
小学2年生のいる世帯の保護者の『授業参観や運動会などの学校行事への参加』で「あまり参加していない」、「まったく参加していない」と答えた人を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

【図表 3-318】『授業参観や運動会などの学校行事への参加』について  
(小学2年生・所得分類別)



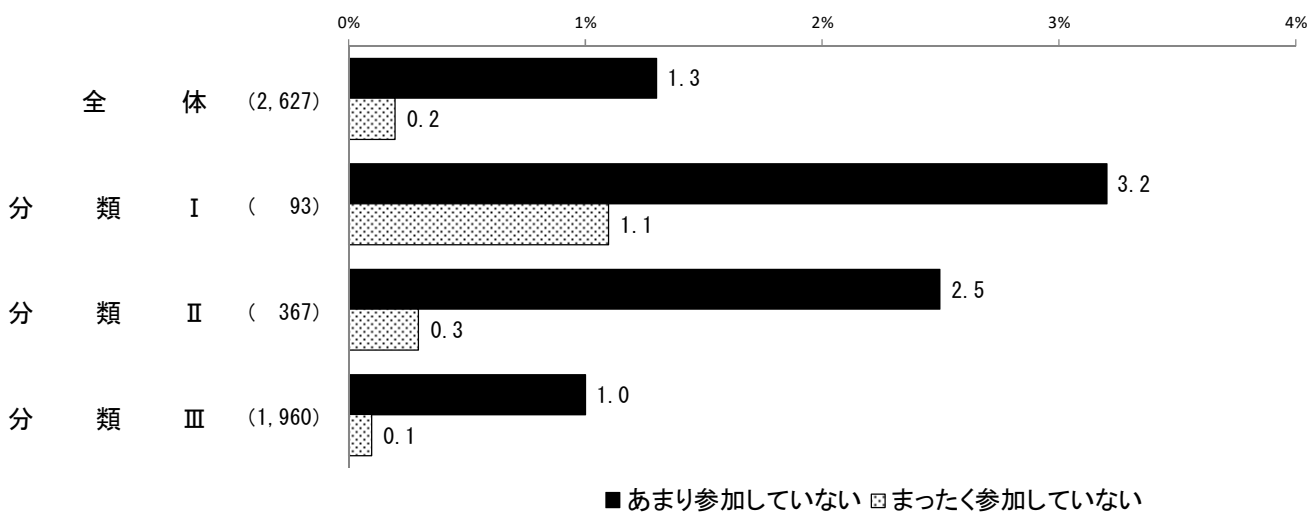
小学5年生のいる世帯の保護者の『授業参観や運動会などの学校行事への参加』で「あまり参加していない」、「まったく参加していない」と答えた人を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-319】『授業参観や運動会などの学校行事への参加』について  
(小学5年生・世帯構成別)



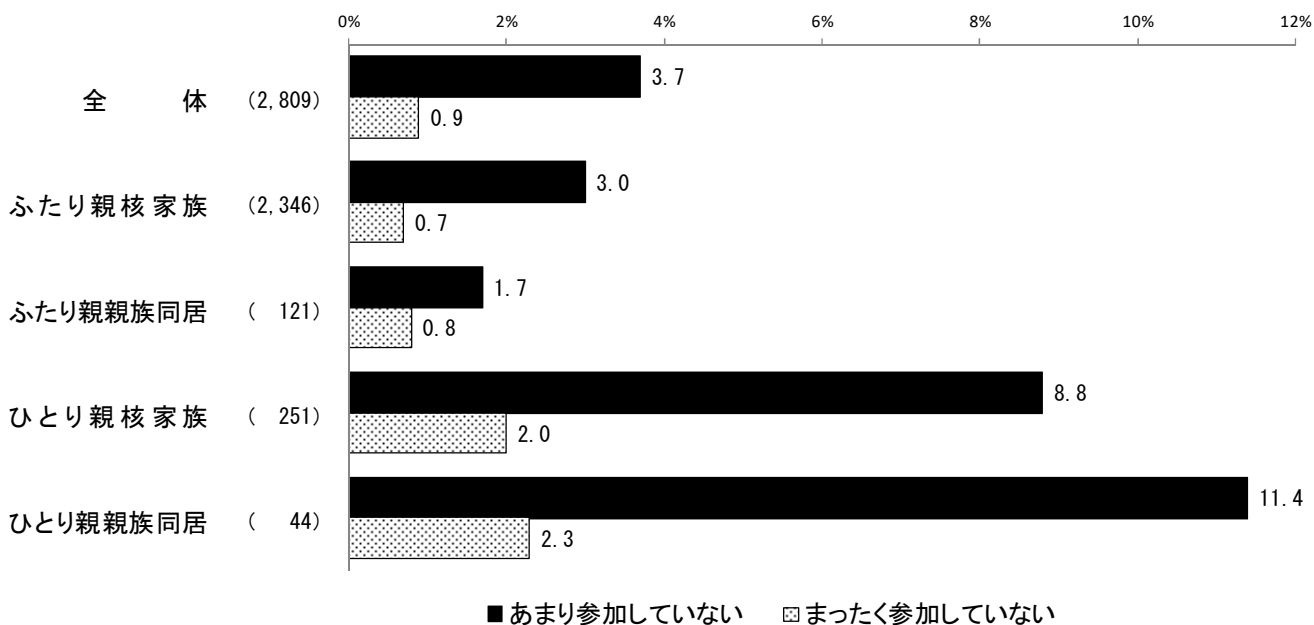
小学5年生のいる世帯の保護者の『授業参観や運動会などの学校行事への参加』で「あまり参加していない」、「まったく参加していない」と答えた人を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

【図表 3-320】『授業参観や運動会などの学校行事への参加』について  
(小学5年生・所得分類別)



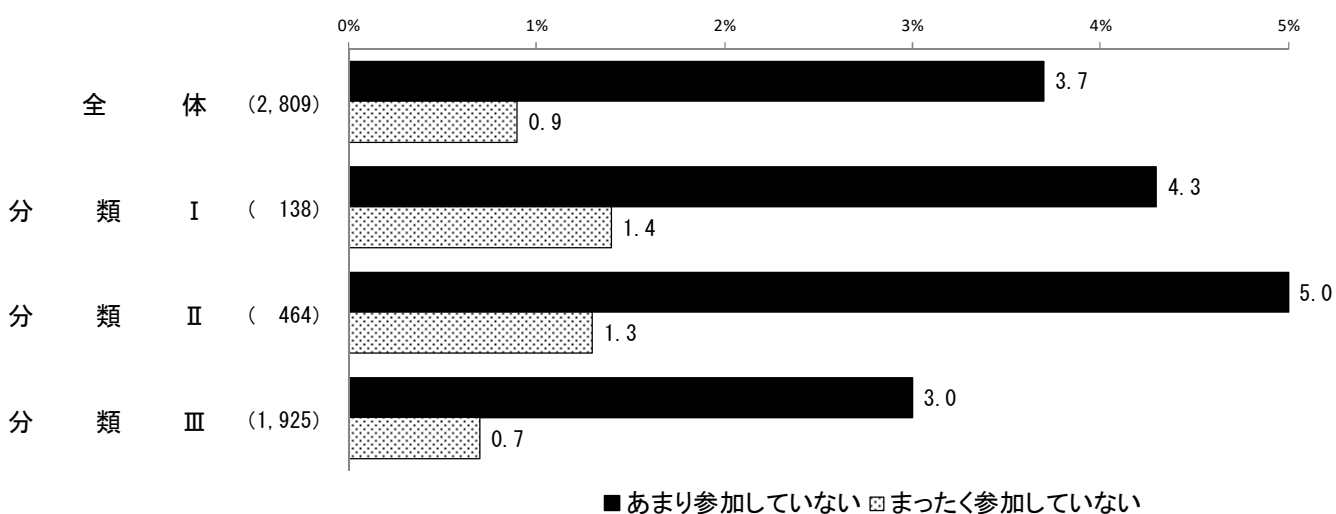
中学2年生のいる世帯の保護者の『授業参観や運動会などの学校行事への参加』で「あまり参加していない」、「まったく参加していない」と答えた人を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-321】『授業参観や運動会などの学校行事への参加』について  
(中学2年生・世帯構成別)



中学2年生のいる世帯の保護者の『授業参観や運動会などの学校行事への参加』で「あまり参加していない」、「まったく参加していない」と答えた人を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

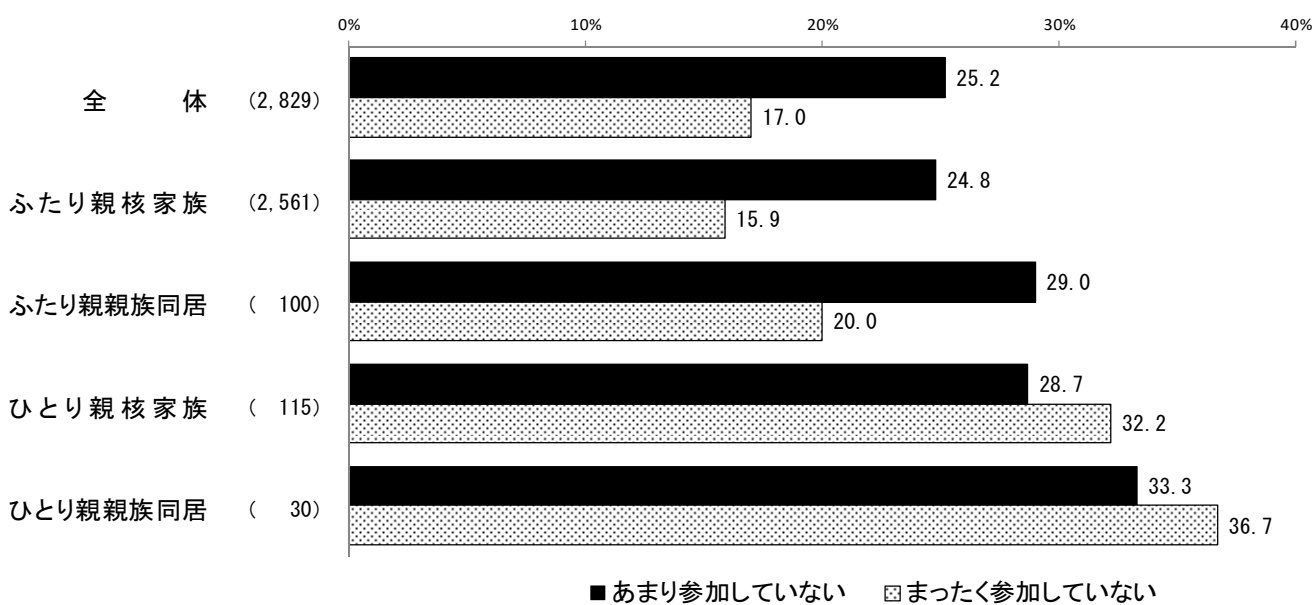
【図表 3-322】『授業参観や運動会などの学校行事への参加』について  
(中学2年生・所得分類別)



小学2年生のいる世帯の保護者の『PTA活動や保護者会、放課後学習支援などのボランティアなどへの参加』で「あまり参加していない」、「まったく参加していない」と答えた人を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』で32.2%、『ひとり親親族同居』で36.7%と、「まったく参加していない」がそれぞれ全体に比べて高くなっている。

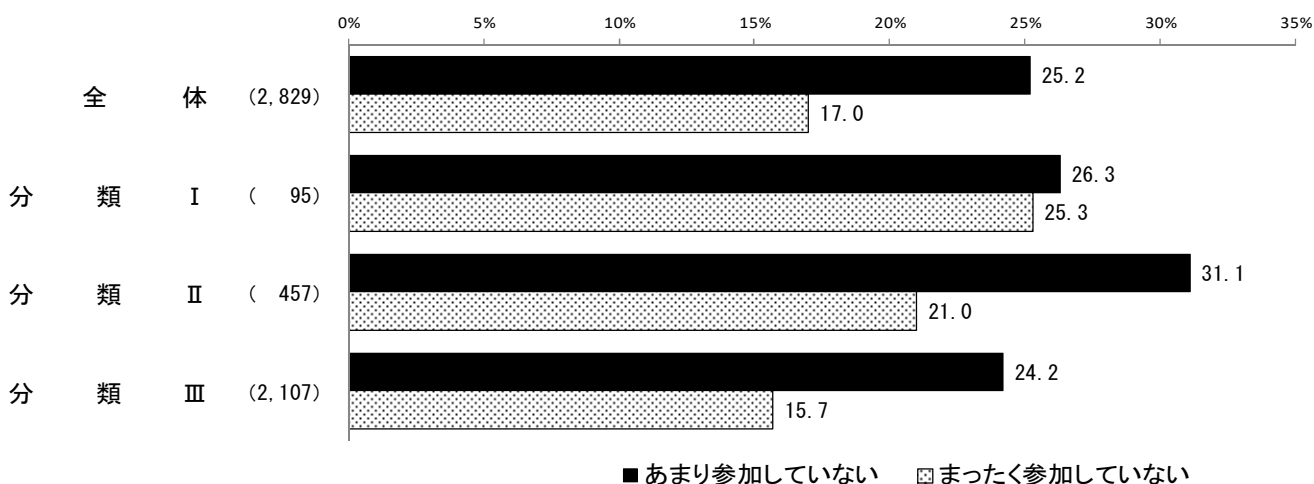
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-323】『PTA活動や保護者会、放課後学習支援などのボランティアなどへの参加』について  
(小学2年生・世帯構成別)



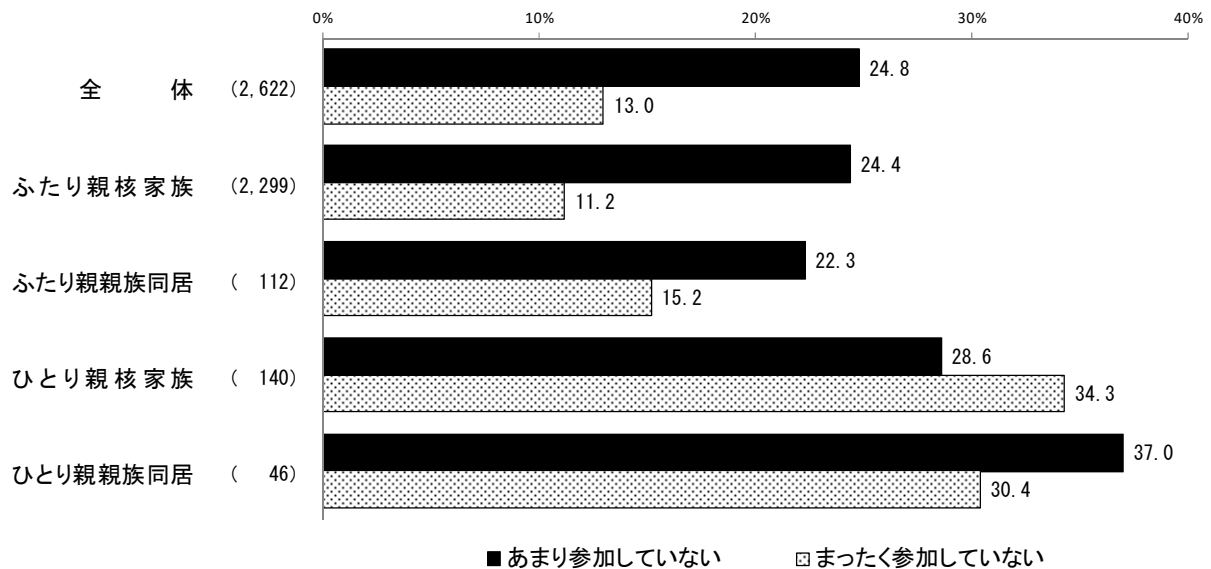
小学2年生のいる世帯の保護者の『PTA活動や保護者会、放課後学習支援などのボランティアなどへの参加』で「あまり参加していない」、「まったく参加していない」と答えた人を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

【図表 3-324】『PTA活動や保護者会、放課後学習支援などのボランティアなどへの参加』について  
(小学2年生・所得分類別)



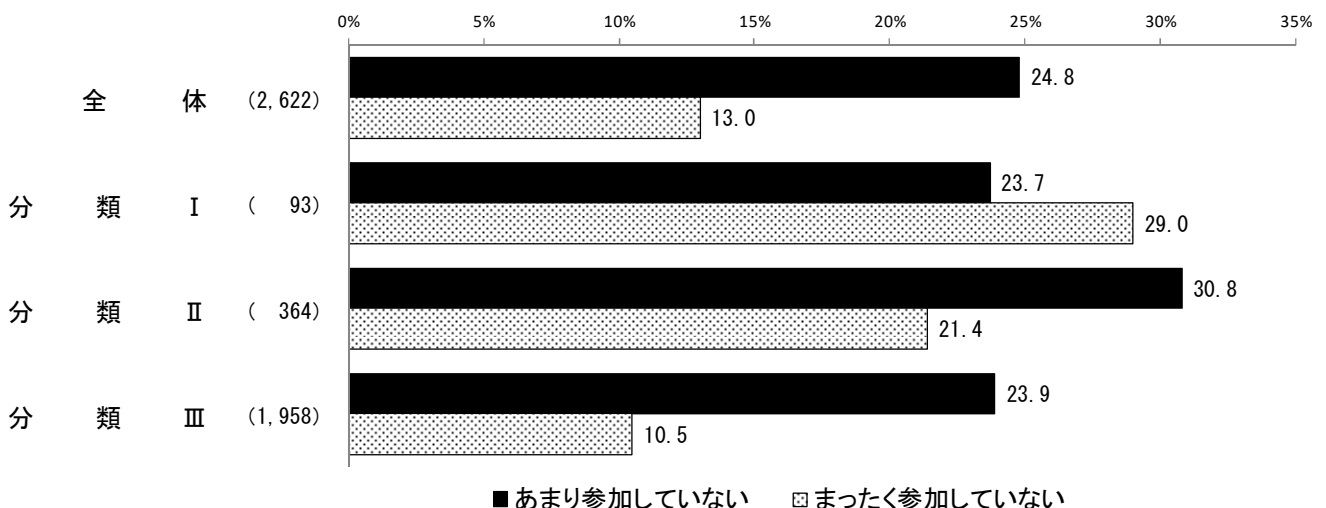
小学5年生のいる世帯の保護者の『PTA活動や保護者会、放課後学習支援などのボランティアなどへの参加』で「あまり参加していない」、「まったく参加していない」と答えた人を世帯構成別にみると、「あまり参加していない」が『ひとり親親族同居』で37.0%、「まったく参加していない」が『ひとり親核家族』で34.3%、『ひとり親親族同居』で30.4%とそれぞれ全体に比べて高くなっている。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-325】『PTA活動や保護者会、放課後学習支援などのボランティアなどへの参加』について  
 (小学5年生・世帯構成別)



小学5年生のいる世帯の保護者の『PTA活動や保護者会、放課後学習支援などのボランティアなどへの参加』で「あまり参加していない」、「まったく参加していない」と答えた人を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』で「まったく参加していない」が29.0%と全体に比べて高くなっている。

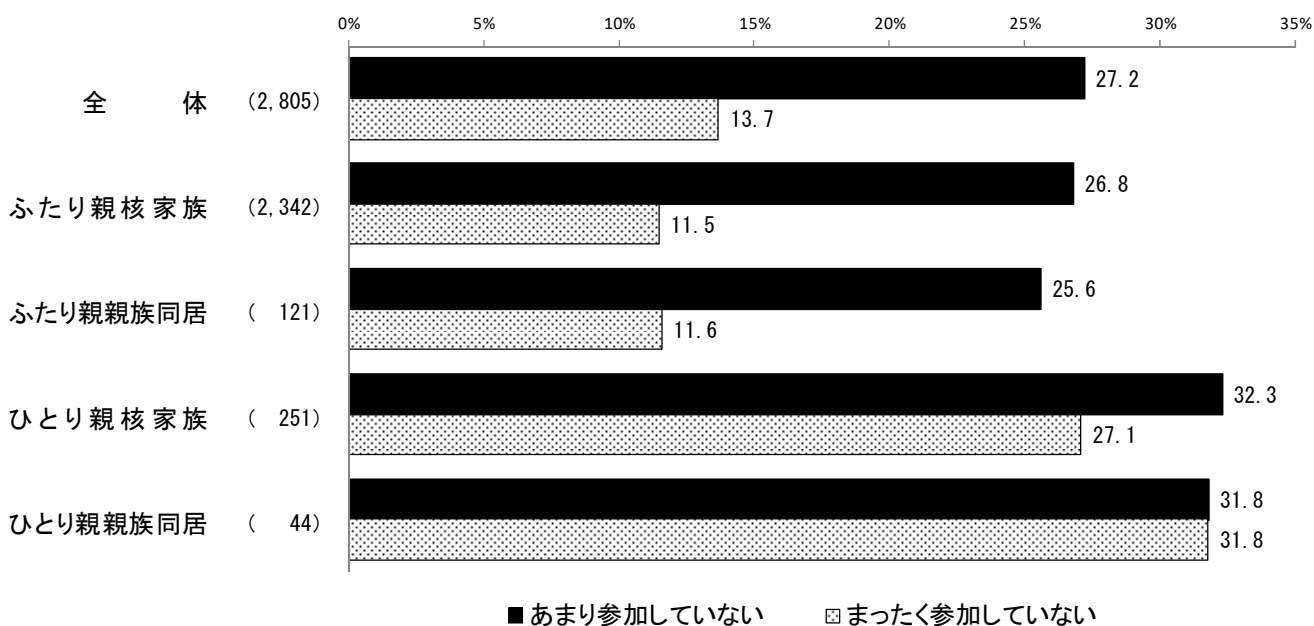
【図表 3-326】『PTA活動や保護者会、放課後学習支援などのボランティアなどへの参加』について  
 (小学5年生・所得分類別)



中学2年生のいる世帯の保護者の『PTA活動や保護者会、放課後学習支援などのボランティアなどへの参加』で「あまり参加していない」、「まったく参加していない」と答えた人を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』で27.1%、『ひとり親親族同居』で31.8%と、「まったく参加していない」がそれぞれ全体に比べて高くなっている。

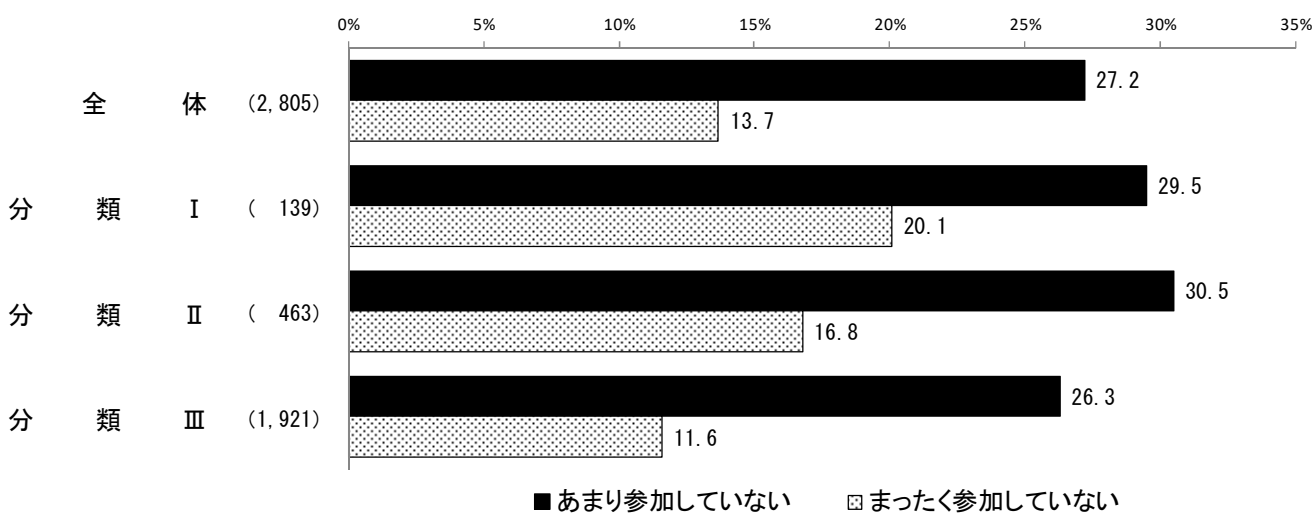
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-327】『PTA活動や保護者会、放課後学習支援などのボランティアなどへの参加』について  
(中学2年生・世帯構成別)



中学2年生のいる世帯の保護者の『PTA活動や保護者会、放課後学習支援などのボランティアなどへの参加』で「あまり参加していない」、「まったく参加していない」と答えた人を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

【図表 3-328】『PTA活動や保護者会、放課後学習支援などのボランティアなどへの参加』について  
(中学2年生・所得分類別)

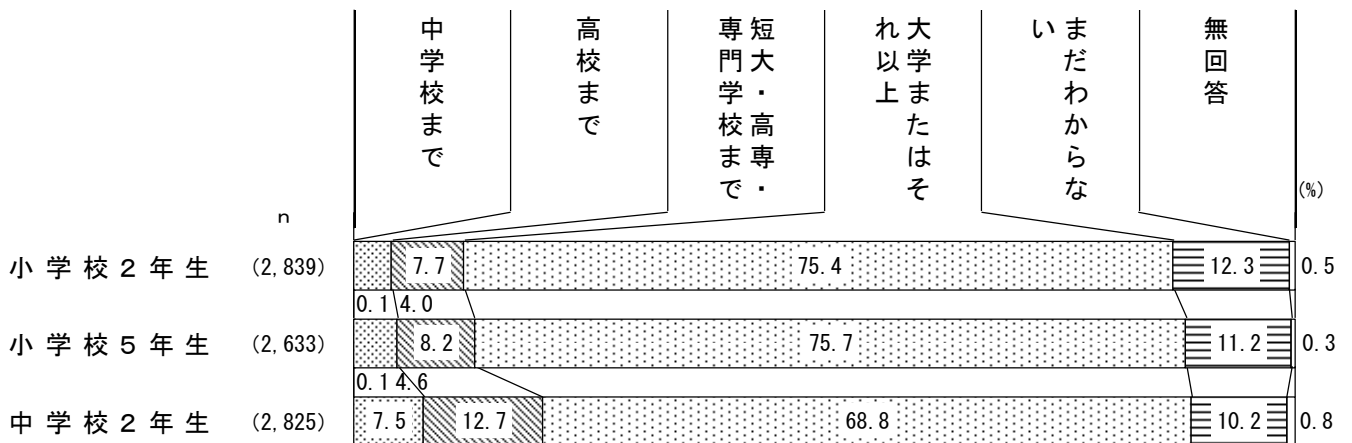


(2) 子どもに対する将来展望

ア 子どもに望む最終学歴【小学・問11・中学・問11】(SA)

保護者から見た子どもに望む最終学歴を聞いたところ、小学2年生のいる世帯の保護者、小学5年生のいる世帯の保護者で「大学またはそれ以上」(小学2年生:75.4%、小学5年生:75.7%)が最も高く、次いで、「まだわからない」(小学2年生:12.3%、小学5年生:11.2%)、「短大・高専・専門学校まで」(小学2年生:7.7%、小学5年生:8.2%)となっている。中学2年生のいる世帯の保護者で「大学またはそれ以上」が68.8%と最も高く、次いで、「短大・高専・専門学校まで」(12.7%)、「まだわからない」(10.2%)となっている。

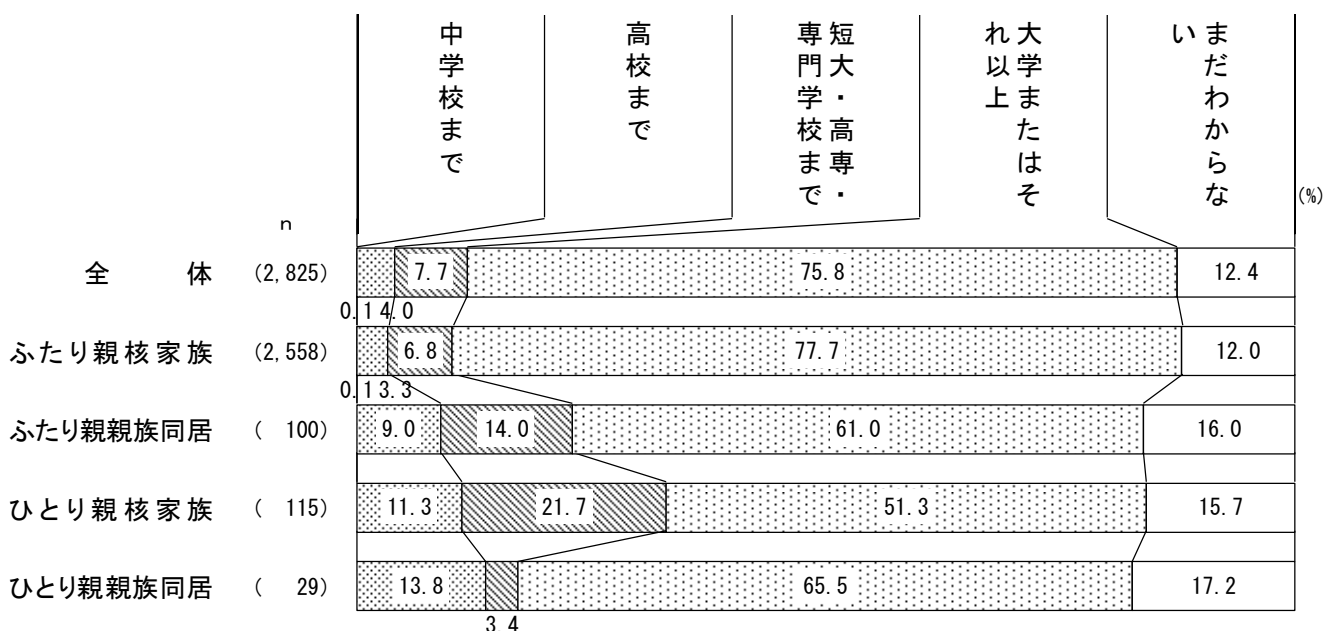
【図表 3-329】子どもに望む最終学歴



小学2年生のいる世帯の保護者の子どもに望む最終学歴を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』で「短大・高専・専門学校まで」が21.7%と全体に比べて高くなっている。一方、「大学またはそれ以上」は『ふたり親親族同居』で61.0%、『ひとり親核家族』で51.3%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

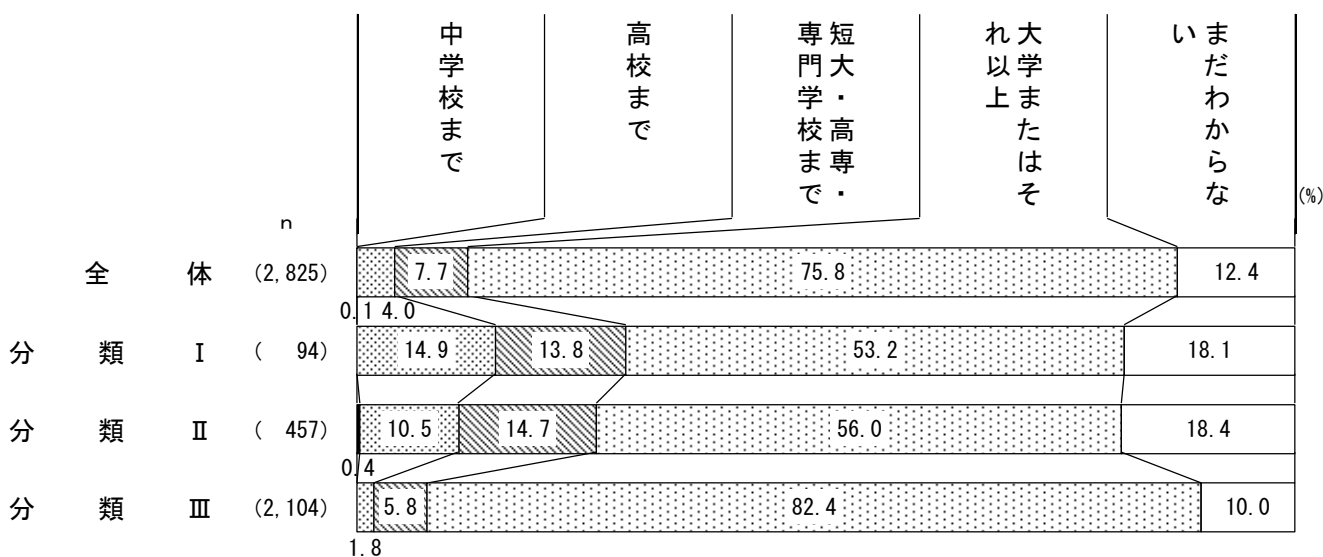
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-330】子どもに望む最終学歴（小学2年生・世帯構成別）



小学2年生のいる世帯の保護者の子どもに望む最終学歴を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』で「高校まで」が14.9%と、全体に比べて高くなっている。一方、「大学またはそれ以上」は『分類Ⅰ』で53.2%、『分類Ⅱ』で56.0%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

【図表 3-331】子どもに望む最終学歴（小学2年生・所得分類別）

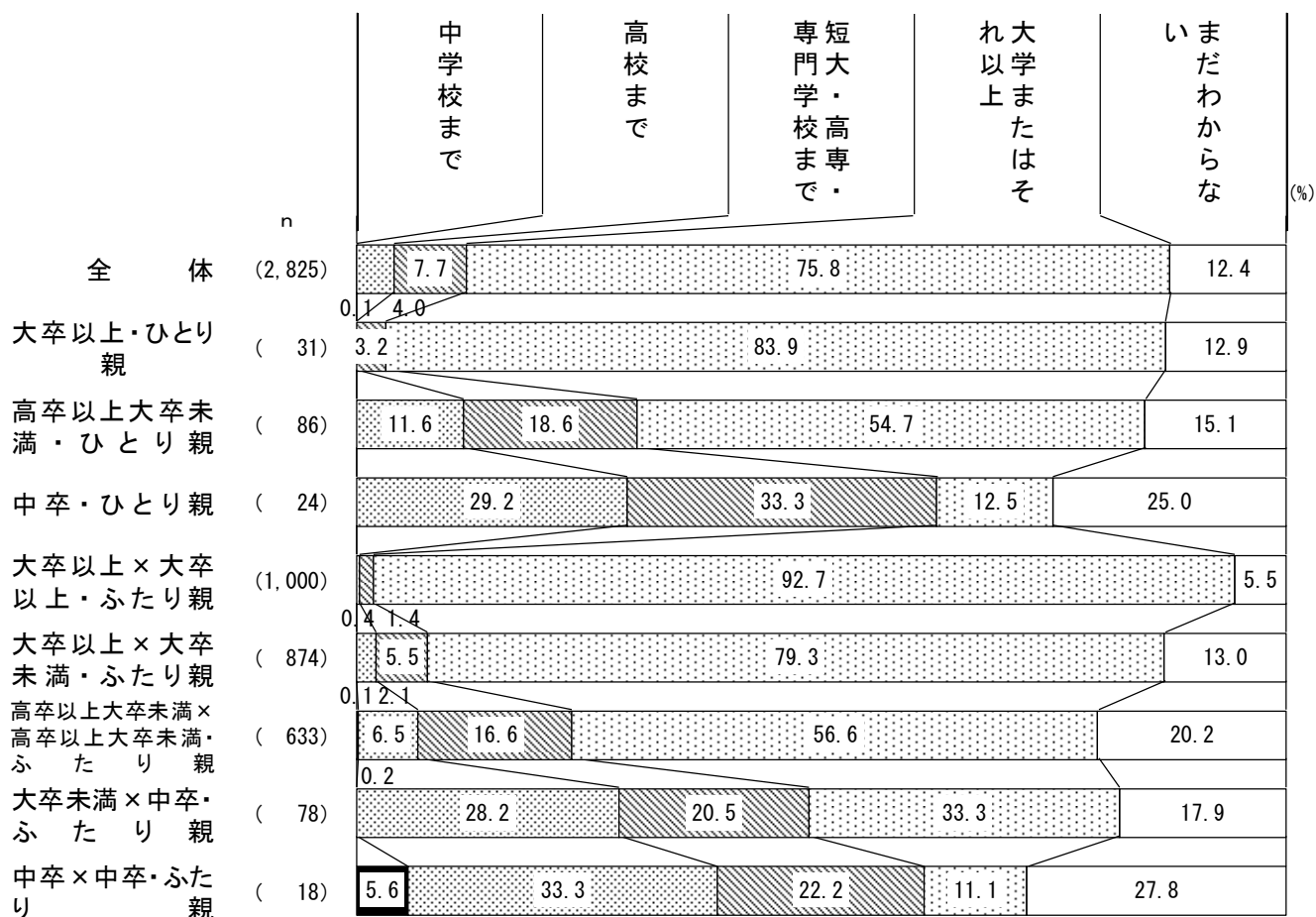




小学2年生のいる世帯の保護者の子どもに望む最終学歴を保護者の最終学歴別にみると、『大卒以上×大卒以上・ふたり親』で「大学またはそれ以上」が92.7%、『中卒・ひとり親』で「短大・高専・専門学校まで」が33.3%、『大卒未満×中卒・ふたり親』で「高校まで」が28.2%とそれぞれ全体に比べて高くなっている。一方、「大学またはそれ以上」は『高卒以上大卒未満・ひとり親』で54.7%、『高卒以上大卒未満×高卒以上大卒未満・ふたり親』で56.6%と、『大卒未満×中卒・ふたり親』で33.3%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

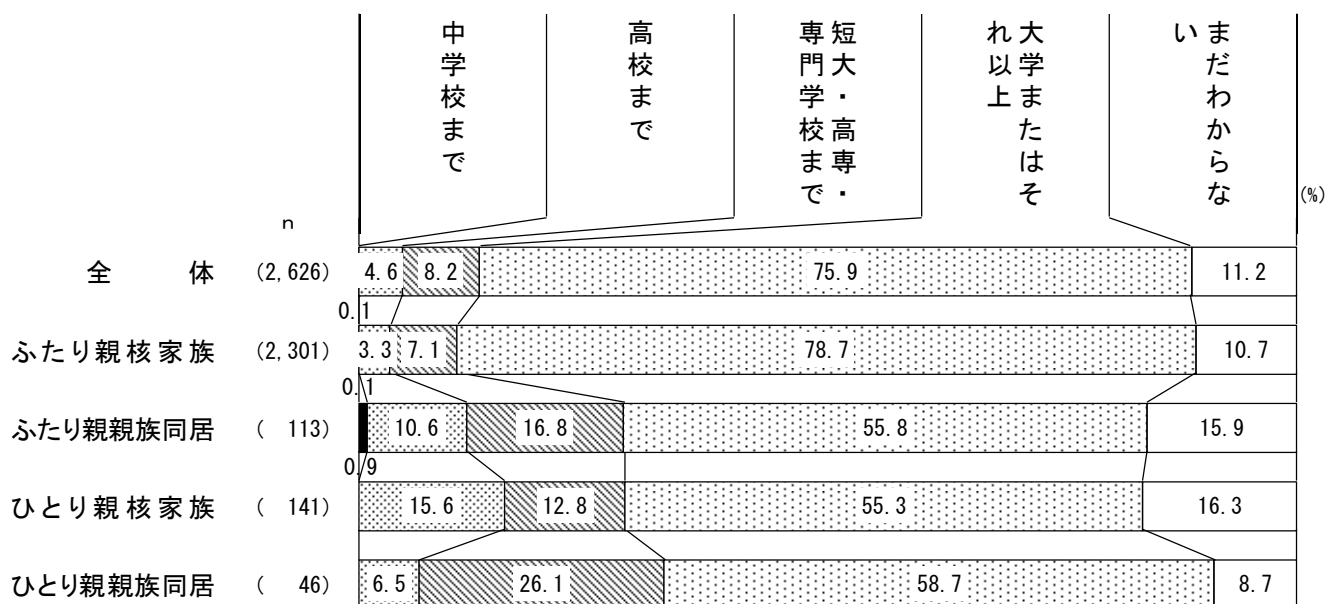
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-332】 子どもに望む最終学歴（小学2年生・保護者の最終学歴別）



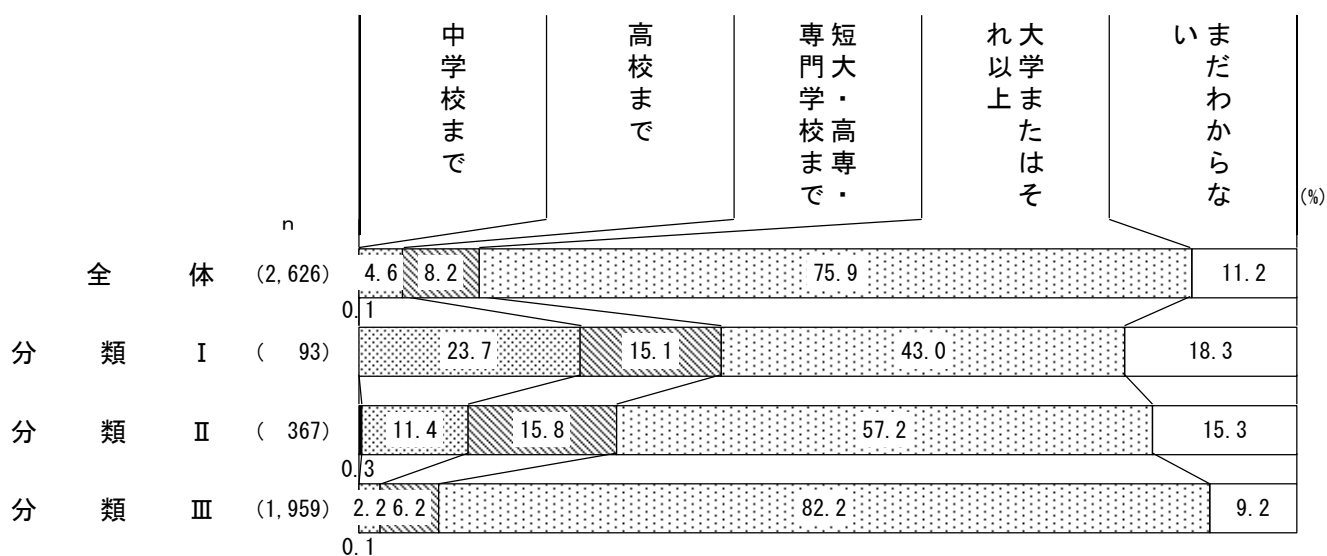
小学5年生のいる世帯の保護者の子どもに望む最終学歴を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』が「高校まで」で15.6%、『ひとり親親族同居』で「短大・高専・専門学校まで」が26.1%とそれぞれ全体に比べて高くなっている。一方、「大学またはそれ以上」は『ふたり親親族同居』で55.8%、『ひとり親核家族』で55.3%、『ひとり親親族同居』で58.7%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-333】子どもに望む最終学歴（小学5年生・世帯構成別）



小学5年生のいる世帯の保護者の子どもに望む最終学歴を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』で「高校まで」が23.7%と全体に比べて高くなっている。一方、「大学またはそれ以上」は『分類Ⅰ』で43.0%、『分類Ⅱ』で57.2%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

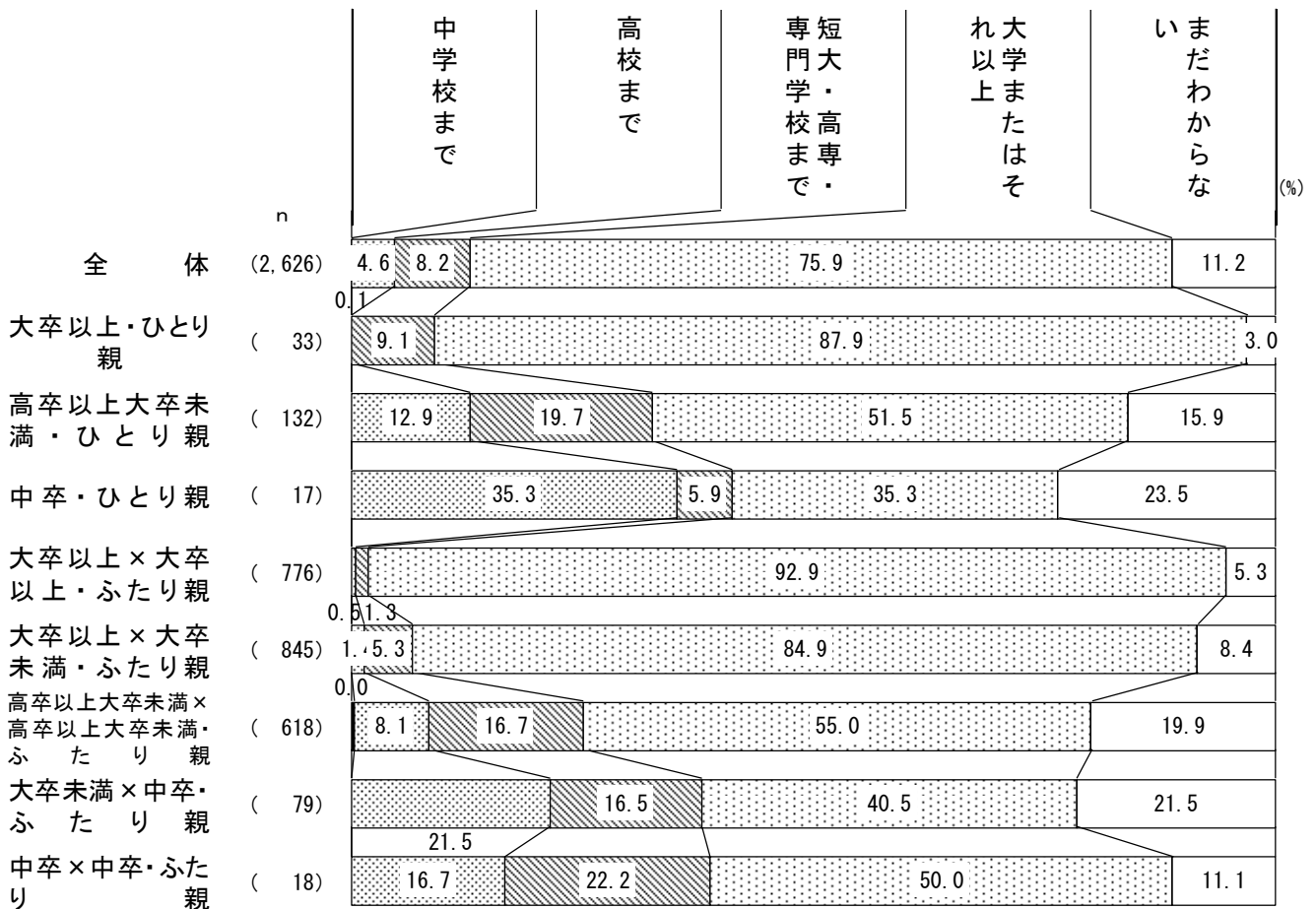
【図表 3-334】子どもに望む最終学歴（小学5年生・所得分類別）



小学5年生のいる世帯の保護者の子どもに望む最終学歴を保護者の最終学歴別にみると、『大卒未満×中卒・ふたり親』で「高校まで」が21.5%、『高卒以上大卒未満・ひとり親』で「短大・高専・専門学校まで」が19.7%、『大卒以上×大卒以上・ふたり親』で「大学またはそれ以上」が92.9%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。一方、「大学またはそれ以上」は『高卒以上大卒未満・ひとり親』で51.5%、『中卒・ひとり親』で35.3%、『高卒以上大卒未満×高卒以上大卒未満・ふたり親』で55.0%、『大卒未満×中卒・ふたり親』で40.5%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

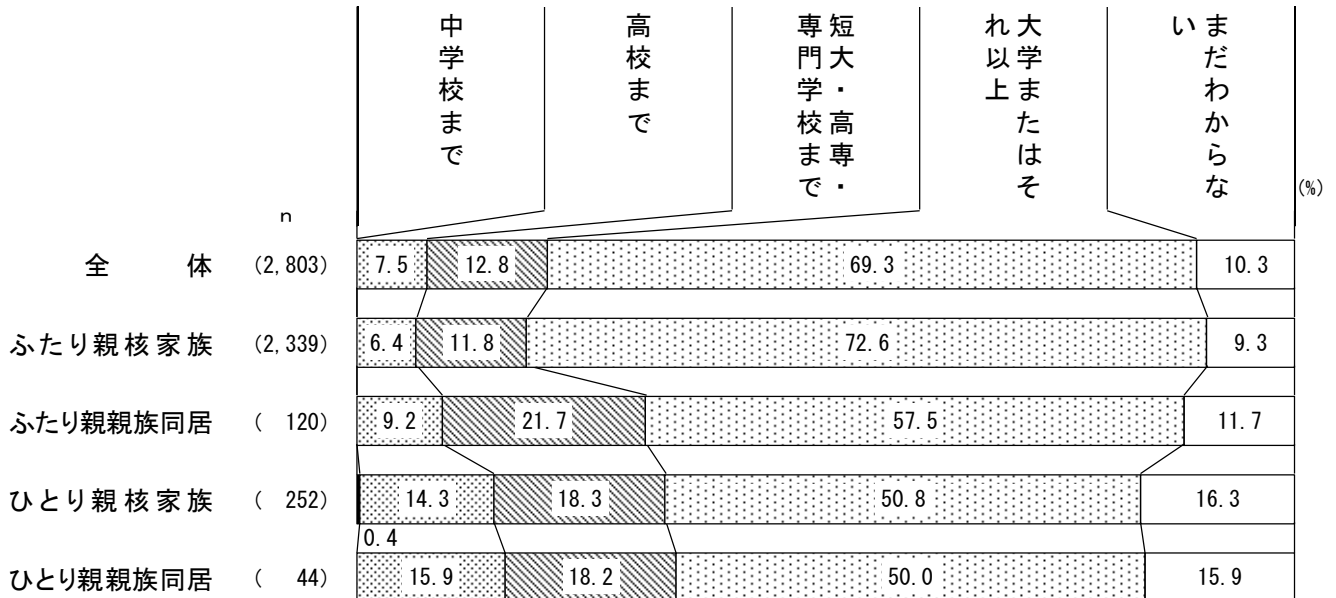
【図表 3-335】子どもに望む最終学歴（小学5年生・保護者の最終学歴別）



中学2年生のいる世帯の保護者の子どもに望む最終学歴を世帯構成別にみると、「大学またはそれ以上」は『ふたり親親族同居』で57.5%、『ひとり親核家族』で50.8%、『ひとり親親族同居』で50.0%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

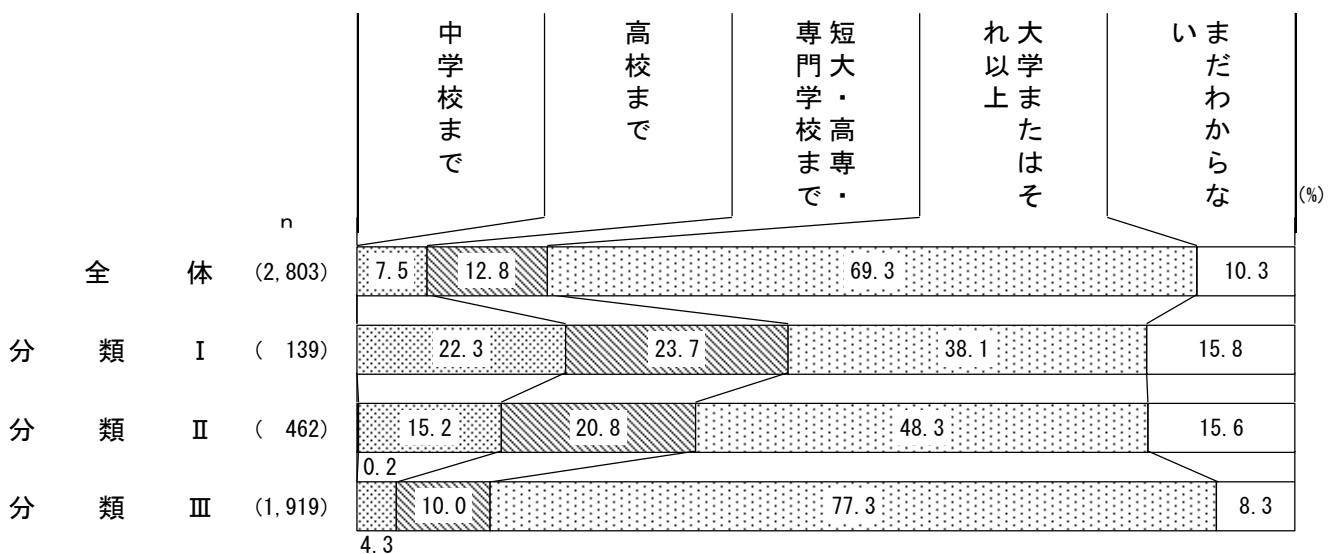
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-336】子どもに望む最終学歴（中学2年生・世帯構成別）



中学2年生のいる世帯の保護者の子どもに望む最終学歴を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』で「短大・高専・専門学校まで」が23.7%、「高校まで」が22.3%とそれぞれ全体に比べて高くなっている。一方、「大学またはそれ以上」は『分類Ⅰ』で38.1%、『分類Ⅱ』で48.3%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

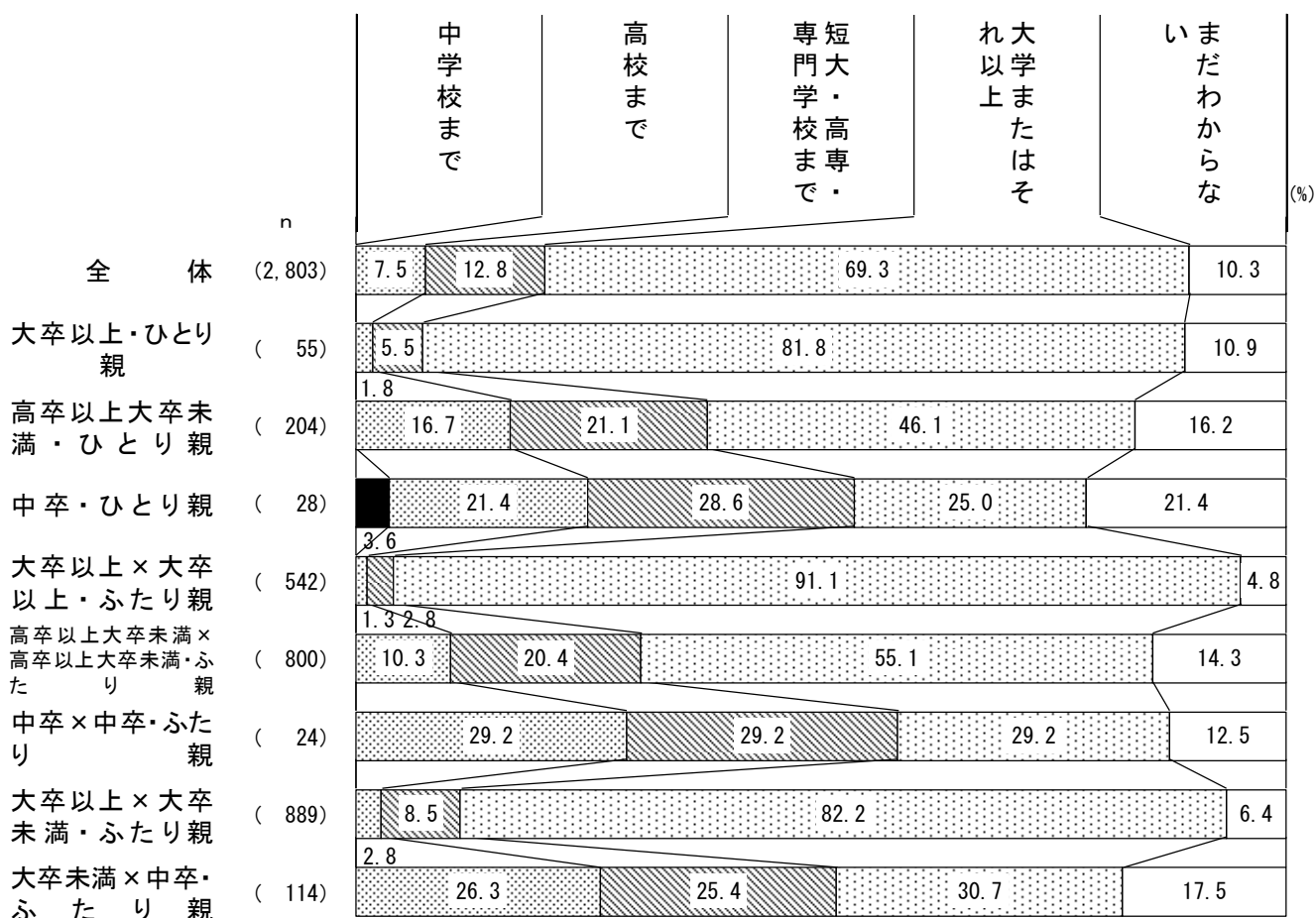
【図表 3-337】子どもに望む最終学歴（中学2年生・所得分類別）



中学2年生のいる世帯の保護者の子どもに望む最終学歴を保護者の最終学歴別にみると、『大卒未満×中卒・ふたり親』で「高校まで」が26.3%、「短大・高専・専門学校まで」が25.4%、『大卒以上×大卒未満・ひとり親』で「大学またはそれ以上」が81.8%、『大卒以上×大卒未満・ふたり親』で「大学またはそれ以上」が82.2%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。一方、「大学またはそれ以上」は『高卒以上大卒未満・ひとり親』で46.1%、『高卒以上大卒未満×高卒以上大卒未満・ふたり親』で55.1%、『大卒未満×中卒・ふたり親』で30.7%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-338】子どもに望む最終学歴（中学2年生・保護者の最終学歴別）

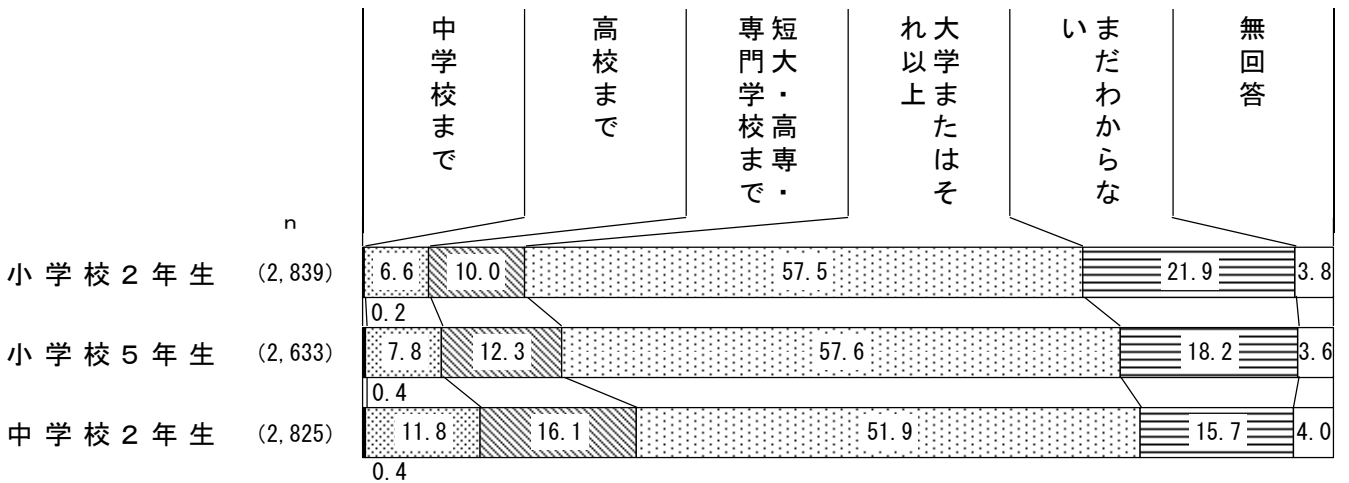


イ 子どもの最終学歴（現実的に見た進路）

① 子どもの最終学歴（現実的に見た進路）【小学・問12・中学・問10】（SA）

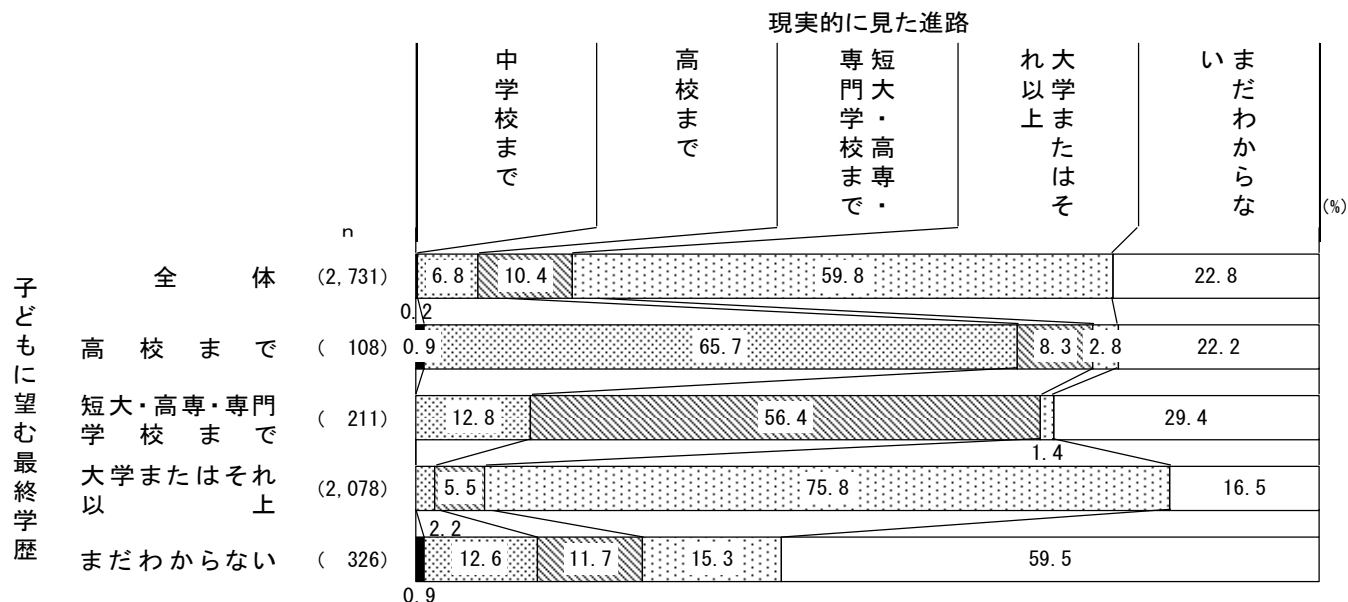
保護者から見た子どもの最終学歴（現実的に見た進路）を聞いたところ、小学2年生のいる世帯の保護者、小学5年生のいる世帯の保護者で「大学またはそれ以上」（小学2年生:57.5%、小学5年生:57.6%）が最も高く、次いで、「まだわからない」（小学2年生:21.9%、小学5年生:18.2%）、「短大・高専・専門学校まで」（小学2年生:10.0%、小学5年生:12.3%）となっている。中学2年生のいる世帯の保護者で「大学またはそれ以上」が51.9%と最も高く、次いで、「短大・高専・専門学校まで」（16.1%）、「まだわからない」（15.7%）となっている。

【図表 3-339】子どもの最終学歴（現実的に見た進路）



小学2年生のいる世帯の保護者から見た子どもの最終学歴（現実的に見た進路）を子どもに望む最終学歴別にみると、『大学またはそれ以上』で「大学またはそれ以上」が75.8%、『短大・高専・専門学校まで』で「短大・高専・専門学校まで」が56.4%、『高校まで』で「高校まで」が65.7%とそれぞれ全体に比べて高くなっている。（クロス軸が「子どもに望む最終学歴」を表す。）

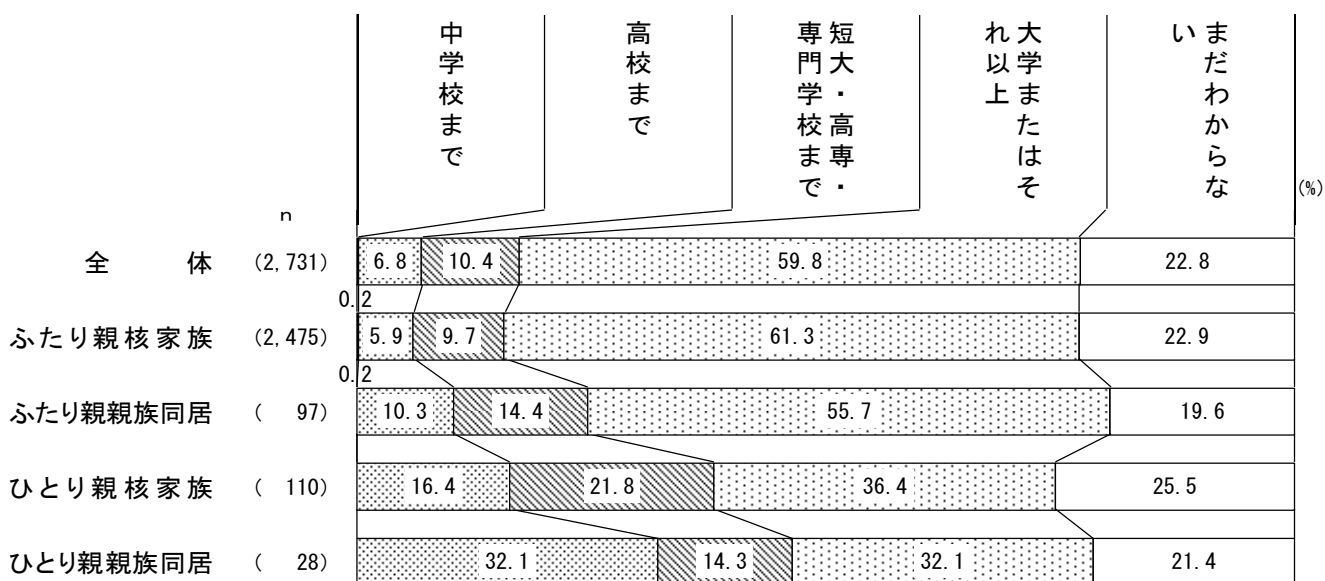
【図表 3-340】子どもの最終学歴（現実的に見た進路）（小学2年生・子どもに望む最終学歴別）



小学2年生のいる世帯の保護者から見た子どもの最終学歴（現実的に見た進路）を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』で「短大・高専・専門学校まで」が21.8%、『ひとり親族同居』で「高校まで」が32.1%と全体に比べて高くなっている。一方、『ひとり親核家族』で「大学またはそれ以上」が36.4%と、全体に比べて低くなっている。

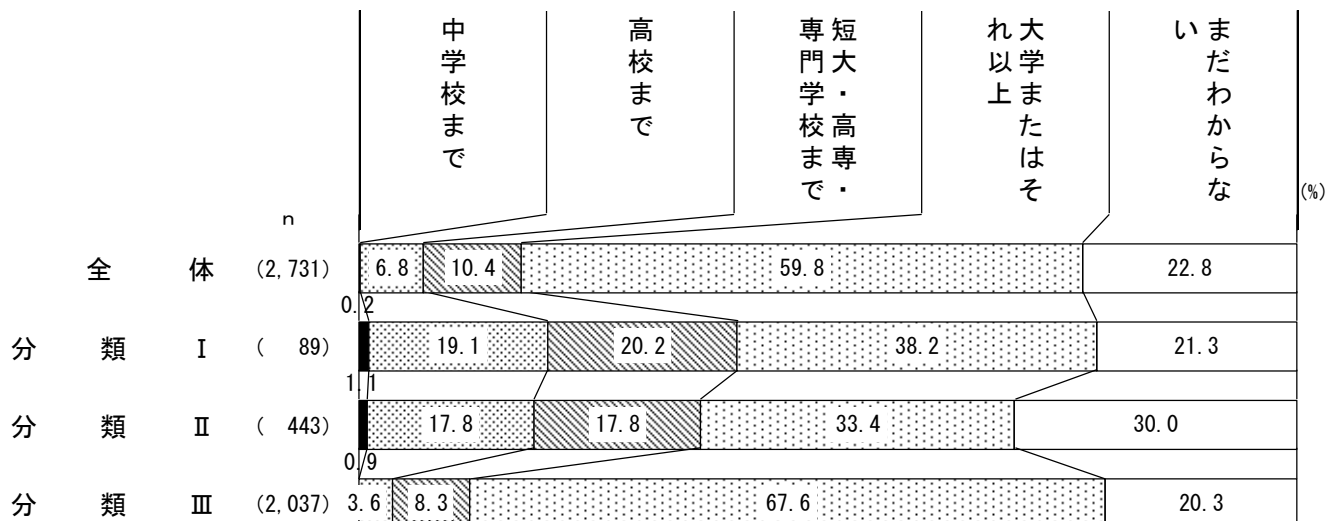
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-341】子どもの最終学歴（現実的に見た進路）（小学2年生・世帯構成別）



小学2年生のいる世帯の保護者から見た子どもの最終学歴（現実的に見た進路）を所得分類別にみると、「高校まで」が『分類Ⅰ』で19.1%、『分類Ⅱ』で17.8%、「短大・高専・専門学校まで」が『分類Ⅰ』で20.2%、『分類Ⅱ』で17.8%とそれぞれ全体に比べて高くなっている。一方、「大学またはそれ以上」が『分類Ⅰ』で38.2%、『分類Ⅱ』で33.4%とそれぞれ全体に比べて低くなっている。

【図表 3-342】子どもの最終学歴（現実的に見た進路）（小学2年生・所得分類別）

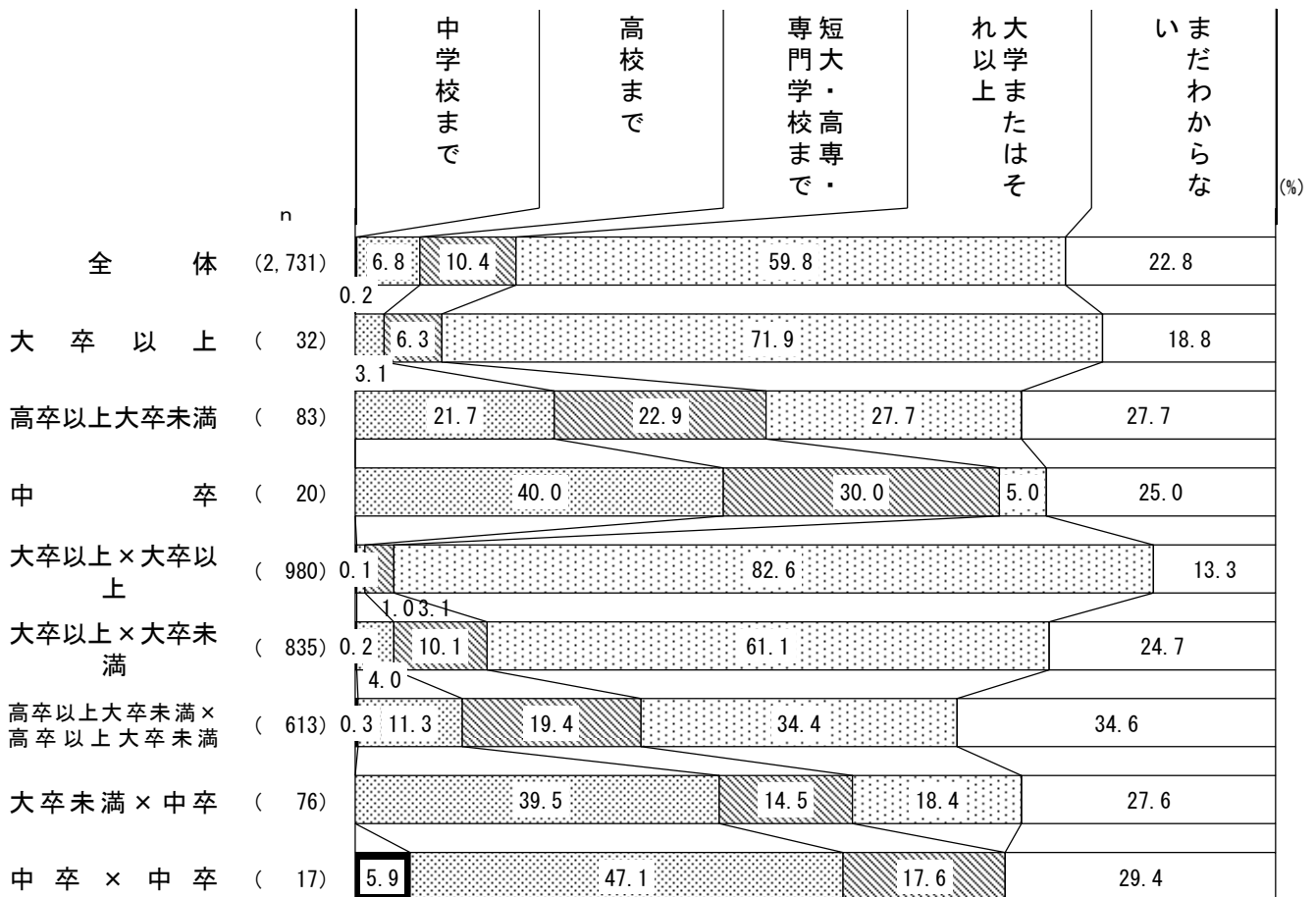




小学2年生のいる世帯の保護者から見た子どもの最終学歴（現実的に見た進路）を保護者の最終学歴別にみると、『高卒以上大卒未満・ひとり親』で「短大・高専・専門学校まで」が22.9%、『大卒以上×大卒以上・ふたり親』で「大学またはそれ以上」が82.6%、『大卒未満×中卒・ふたり親』で「高校まで」が39.5%とそれぞれ全体に比べて高くなっている。一方、「大学またはそれ以上」は『高卒以上大卒未満』で27.7%、『高卒以上大卒未満×高卒以上大卒未満』で34.4%、『大卒未満×中卒』で18.4%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。（クロス軸が「子どもに望む最終学歴」を表す。）

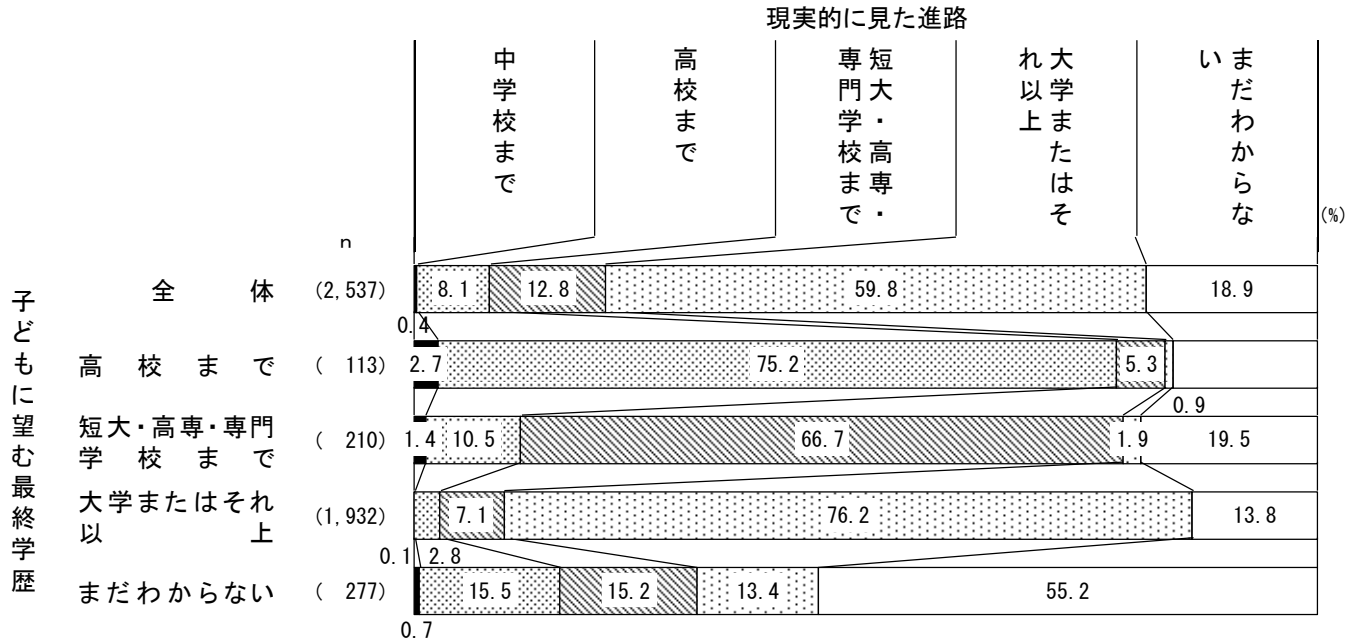
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-343】子どもの最終学歴（現実的に見た進路）（小学2年生・保護者の最終学歴別）



小学5年生のいる世帯の保護者から見た子どもの最終学歴（現実的に見た進路）を子どもに望む最終学歴別にみると、『大学またはそれ以上』で「大学またはそれ以上」が76.2%、『短大・高専・専門学校まで』で「短大・高専・専門学校まで」が66.7%、『高校まで』で「高校まで」が75.2%と全体に比べて高くなっている。（クロス軸が「子どもに望む最終学歴」を表す。）

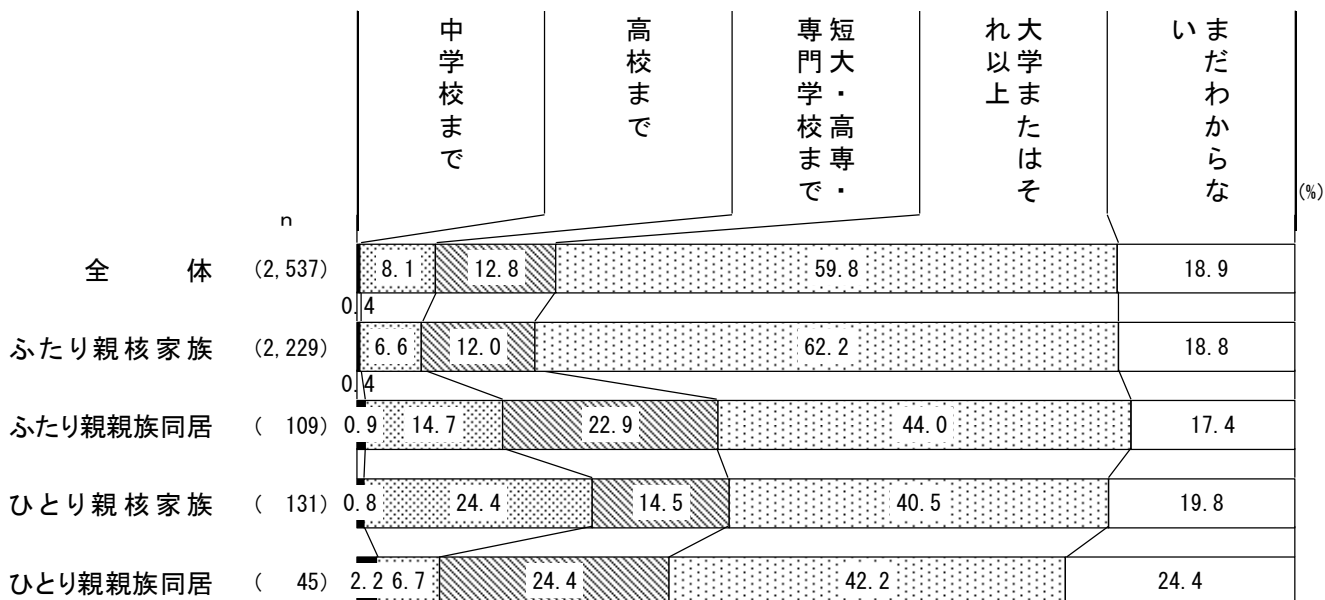
【図表 3-344】子どもの最終学歴（現実的に見た進路）（小学5年生・子どもに望む最終学歴別）



小学5年生のいる世帯の保護者から見た子どもの最終学歴（現実的に見た進路）を世帯構成別にみると、『ひとり親親族同居』で24.4%、『ふたり親親族同居』で22.9%と「短大・高専・専門学校まで」が、『ひとり親核家族』で「高校まで」が24.4%とそれぞれ全体に比べて高くなっている。一方、「大学またはそれ以上」は『ふたり親親族同居』で44.0%、『ひとり親核家族』で40.5%、『ひとり親親族同居』で42.2%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

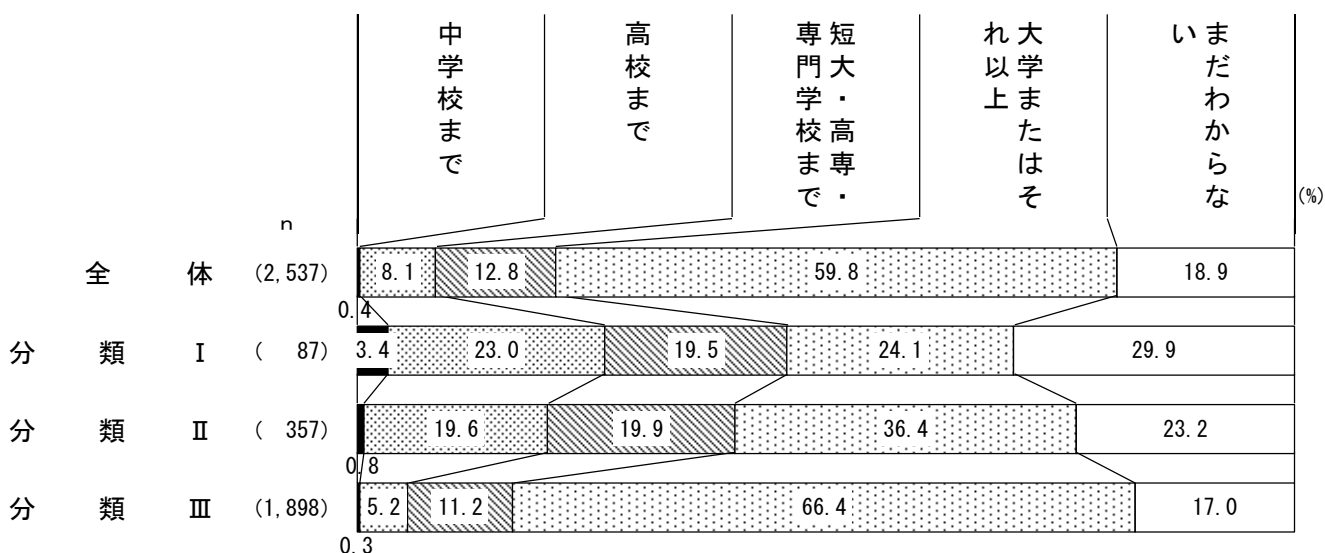
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-345】子どもの最終学歴（現実的に見た進路）（小学5年生・世帯構成別）



小学5年生のいる世帯の保護者から見た子どもの最終学歴（現実的に見た進路）を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』で23.0%、『分類Ⅱ』で19.6%と「高校まで」がそれぞれ全体に比べて高くなっている。一方、「大学またはそれ以上」は『分類Ⅰ』で24.1%、『分類Ⅱ』で36.4%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

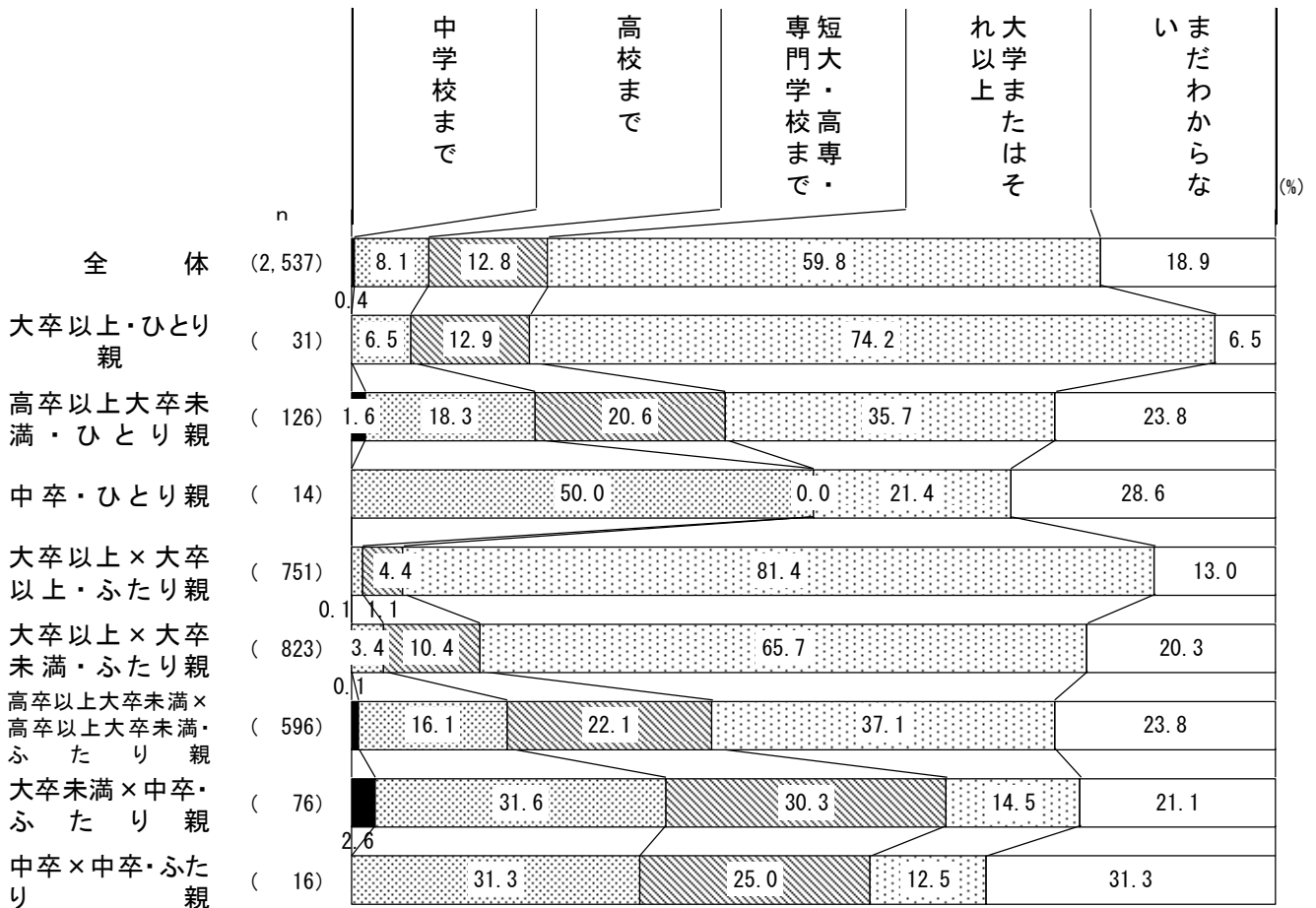
【図表 3-346】子どもの最終学歴（現実的に見た進路）（小学5年生・所得分類別）



小学5年生のいる世帯の保護者から見た子どもの最終学歴（現実的に見た進路）を保護者の最終学歴別にみると、『大卒以上×大卒以上・ふたり親』で81.4%、『大卒以上・ひとり親』で74.2%と「大学またはそれ以上」が、『大卒未満×中卒・ふたり親』で「短大・高専・専門学校まで」が30.3%、「高校まで」が31.6%と、『高卒以上大卒未満・ひとり親』で「高校まで」が18.3%とそれぞれ全体に比べて高くなっている。一方、「大学またはそれ以上」は『高卒以上大卒未満・ひとり親』で35.7%、『高卒以上大卒未満×高卒以上大卒未満・ふたり親』で37.1%、『大卒未満×中卒・ふたり親』で14.5%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

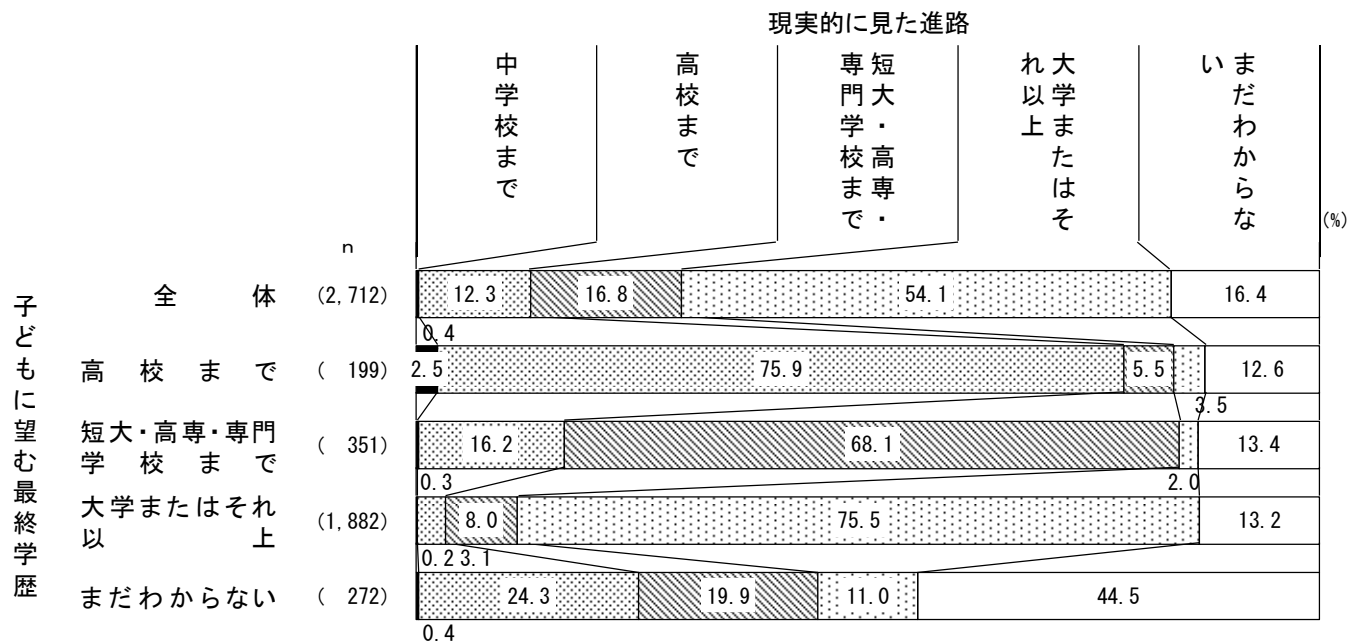
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-347】子どもの最終学歴（現実的に見た進路）（小学5年生・保護者の最終学歴別）



中学2年生のいる世帯の保護者から見た子どもの最終学歴（現実的に見た進路）を子どもに望む最終学歴別にみると『大学またはそれ以上』で「大学またはそれ以上」が75.5%、『短大・高専・専門学校まで』で「短大・高専・専門学校まで」が68.1%、『高校まで』で「高校まで」が75.9%とそれぞれ全体に比べて高くなっている。（クロス軸が「子どもに望む最終学歴」を表す。）

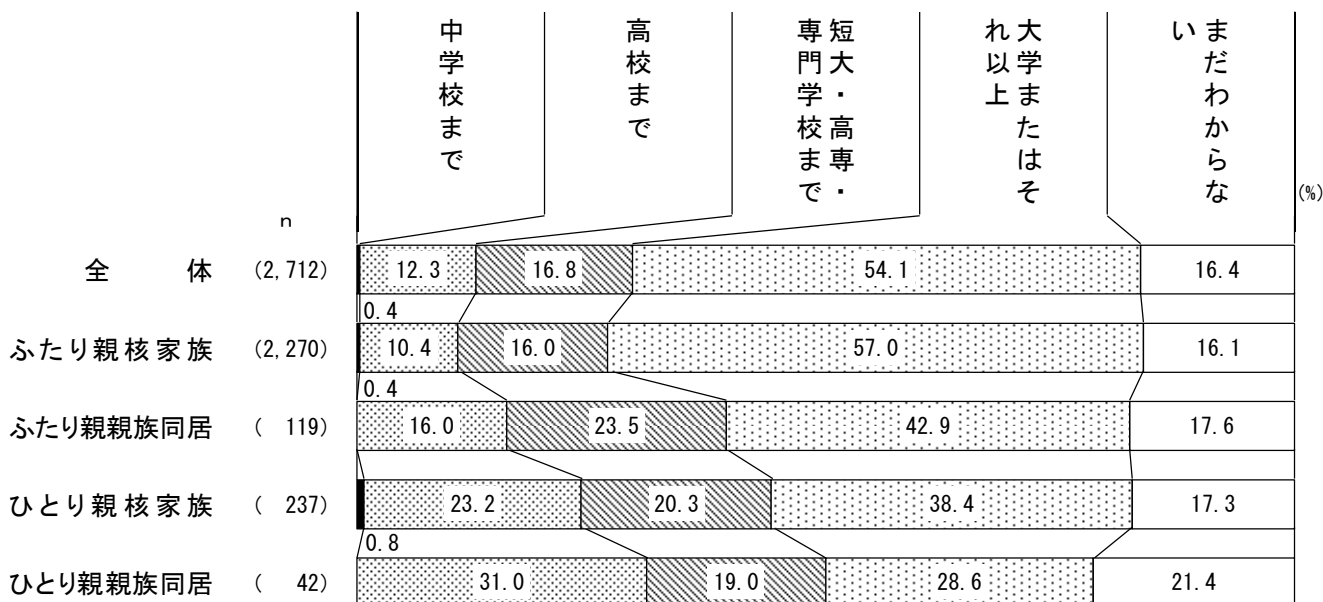
【図表 3-348】子どもの最終学歴（現実的に見た進路）（中学2年生・子どもに望む最終学歴別）



中学2年生のいる世帯の保護者から見た子どもの最終学歴（現実的に見た進路）を世帯構成別にみると、『ひとり親親族同居』で31.0%、『ひとり親核家族』で23.2%と、「高校まで」がそれぞれ全体に比べて高くなっている。一方、「大学またはそれ以上」は『ふたり親親族同居』で42.9%、『ひとり親核家族』で38.4%、『ひとり親親族同居』で28.6%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

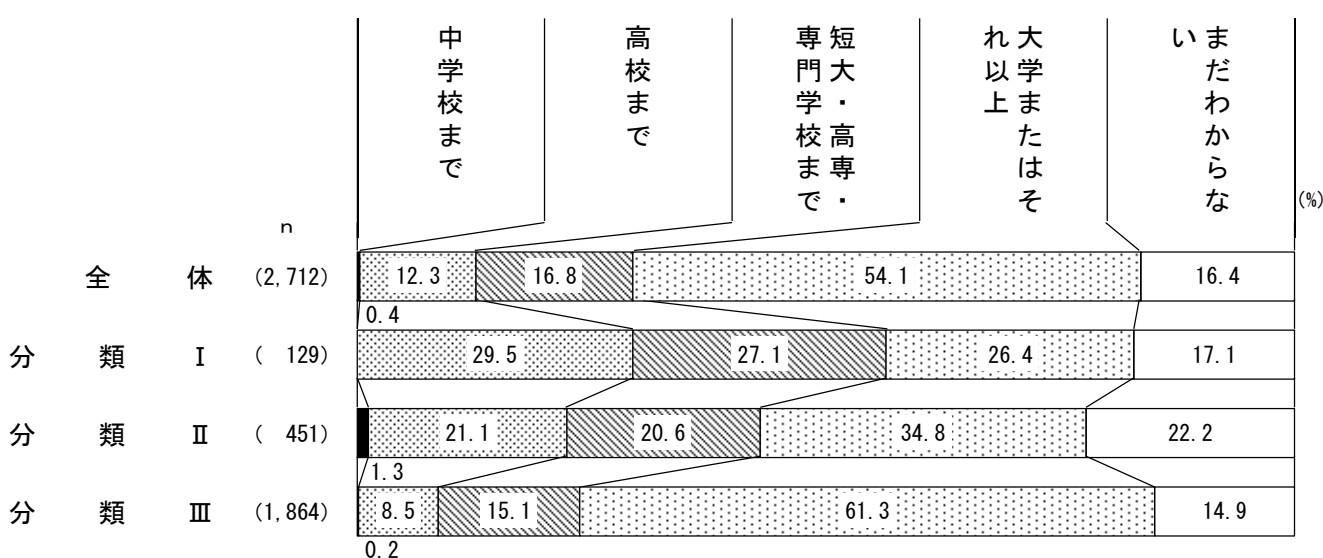
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-349】子どもの最終学歴（現実的に見た進路）（中学2年生・世帯構成別）



中学2年生のいる世帯の保護者から見た子どもの最終学歴（現実的に見た進路）を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』で「高校まで」が29.5%と、「短大・高専・専門学校まで」が27.1%とそれぞれ全体に比べて高くなっている。一方、「大学またはそれ以上」は『分類Ⅰ』で26.4%、『分類Ⅱ』で34.8%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

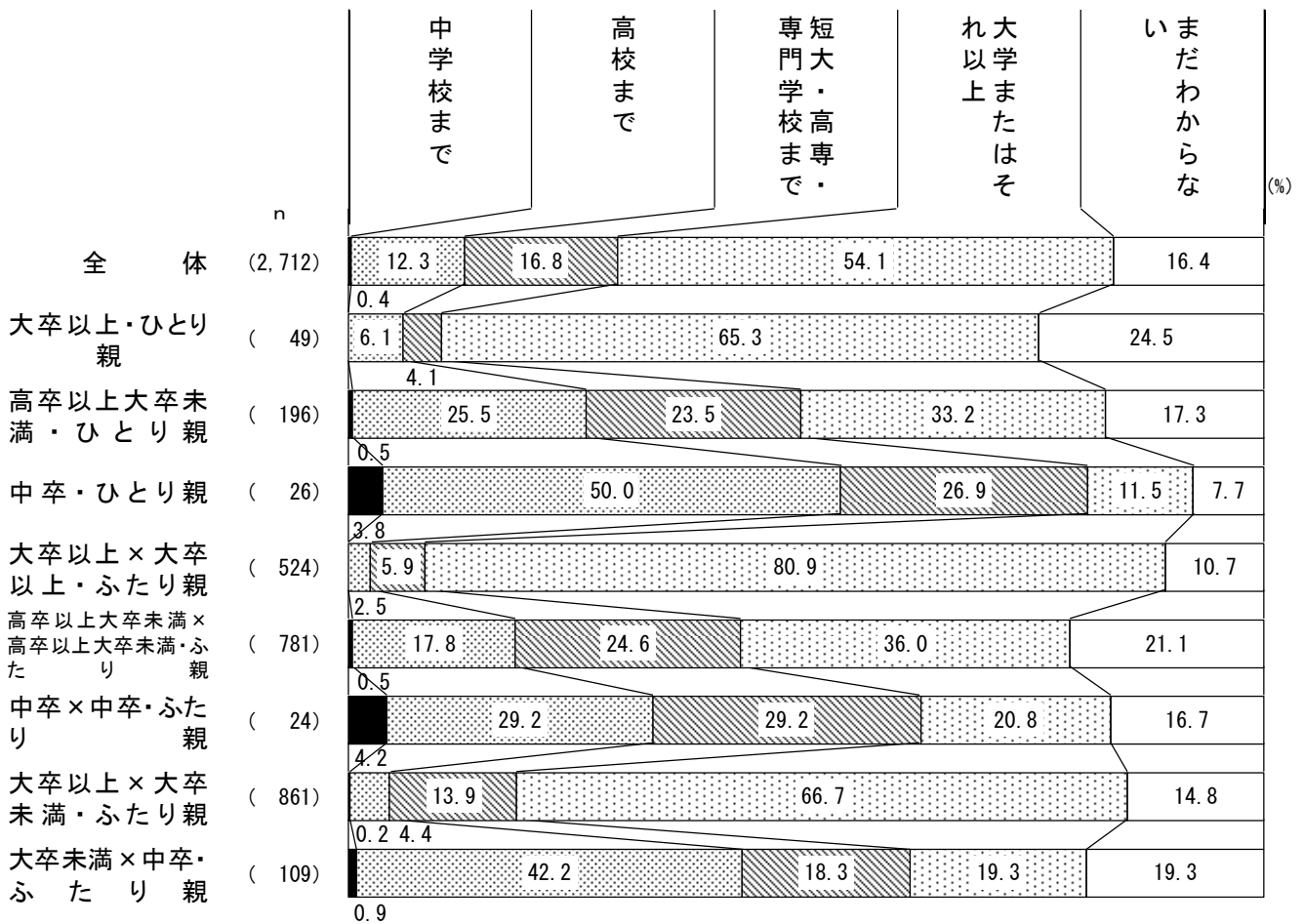
【図表 3-350】子どもの最終学歴（現実的に見た進路）（中学2年生・所得分類別）



中学2年生のいる世帯の保護者から見た子どもの最終学歴（現実的に見た進路）を保護者の最終学歴別にみると、「大学またはそれ以上」が『大卒以上×大卒以上・ふたり親』で80.9%、『大卒以上×大卒未満・ふたり親』で66.7%、『大卒以上・ひとり親』で65.3%、「高校まで」が『大卒未満×中卒・ふたり親』で42.2%、『高卒以上大卒未満・ひとり親』で25.5%と、それぞれと全体に比べて高くなっている。一方、「短大・高専・専門学校まで」は『大卒以上・ひとり親』で4.1%、『大卒以上×大卒以上・ふたり親』で5.9%、「大学またはそれ以上」は『高卒以上大卒未満・ひとり親』で33.2%、『高卒以上大卒未満×高卒以上大卒未満・ふたり親』で36.0%と、『大卒未満×中卒・ふたり親』で19.3%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

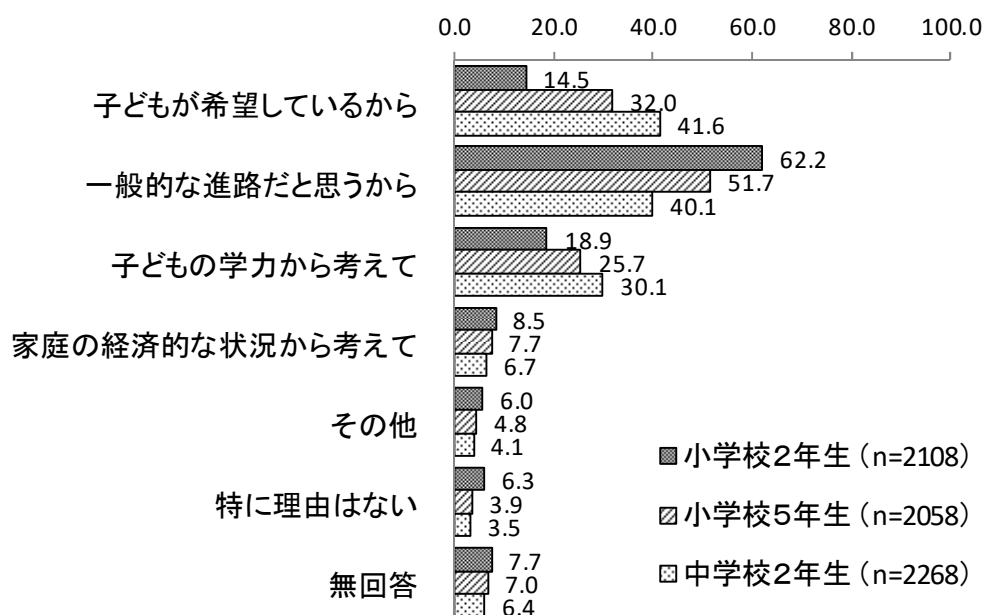
【図表 3-351】子どもの最終学歴（現実的に見た進路）（中学2年生・保護者の最終学歴別）



② 子どもの最終学歴（現実的に見た進路）の理由【小学・問13・中学・問12】(MA)

保護者から見た子どもの最終学歴（現実的に見た進路）の理由を複数回答で聞いたところ、小学2年生のいる世帯の保護者で「一般的な進路だと思うから」が62.2%と最も高く、次いで、「子どもの学力から考えて」(18.9%)、「子どもが希望しているから」(14.5%)となっている。小学5年生のいる世帯の保護者で、「一般的な進路だと思うから」が51.7%と最も高く、次いで、「子どもが希望しているから」(32.0%)、「子どもの学力から考えて」(25.7%)となっている。中学2年生のいる世帯の保護者で「子どもが希望しているから」が41.6%と最も高く、「一般的な進路だと思うから」(40.1%)、「子どもの学力から考えて」(30.1%)となっている。

【図表 3-352】子どもの最終学歴（現実的に見た進路）の理由（複数回答）





小学2年生のいる世帯の保護者から見た子どもの最終学歴（現実的に見た進路）の理由を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』で「一般的な進路だと思うから」が52.3%と全体に比べて低くなっている。

所得分類別にみると、『分類Ⅰ』で54.5%、『分類Ⅱ』で53.3%と「一般的な進路だと思うから」が、それぞれ全体に比べて低くなっている。

最終学歴の予想別にみると、『短大・高専・専門学校まで』で「家庭の経済的な状況から考えて」が19.2%と全体に比べて高くなっている。一方、『高校まで』で「子どもが希望しているから」が2.5%、『高校まで』で50.0%、『短大・高専・専門学校まで』で46.2%と「一般的な進路だと思うから」が、それぞれ全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-353】子どもの最終学歴（現実的に見た進路）の理由（複数回答）  
（小学2年生・世帯構成別、所得分類別、最終学歴の予想別）

		n	子どもが希望している	一般的な進路だと思うから	子どもの学力から考えて	家庭の経済的な状況から考えて	その他	特に理由はない
全 体		1,945	15.7	67.4	20.5	9.2	6.5	6.8
世帯構成	ふたり親核家族	1,762	15.9	68.3	20.7	8.9	6.8	6.5
	ふたり親親族同居	71	9.9	70.4	23.9	8.5	5.6	4.2
	ひとり親核家族	75	18.7	53.3	12.0	12.0	4.0	13.3
	ひとり親親族同居	21	19.0	42.9	23.8	33.3	4.8	4.8
所得分類	分類Ⅰ	66	15.2	54.5	19.7	13.6	3.0	15.2
	分類Ⅱ	291	14.1	53.3	21.0	13.7	7.2	7.2
	分類Ⅲ	1,492	16.2	70.7	20.6	8.2	6.6	6.2
最終学歴の予想	中学校まで	2	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	高校まで	80	2.5	50.0	23.8	16.3	6.3	15.0
	短大・高専・専門学校まで	130	23.1	46.2	17.7	19.2	6.9	13.8
	大学またはそれ以上	1,606	16.1	71.4	20.6	8.2	6.5	5.2
	まだわからない	123	11.4	50.4	18.7	7.3	7.3	14.6

小学5年生のいる世帯の保護者から見た子どもの最終学歴（現実的に見た進路）の理由を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』で22.2%、『ひとり親親族同居』で18.8%と、「家庭の経済的な状況から考えて」がそれぞれ全体に比べて高くなっている。一方、『ふたり親親族同居』で44.3%、『ひとり親核家族』で44.4%と「一般的な進路だと思うから」が、それぞれ全体に比べて低くなっている。

所得分類別にみると、『分類Ⅰ』で「家庭の経済的な状況から考えて」が24.6%と全体に比べて高くなっている。一方、『分類Ⅰ』で42.1%、『分類Ⅱ』で43.0%と「一般的な進路だと思うから」が、『分類Ⅰ』で17.5%と「子どもの学力から考えて」が、それぞれ全体に比べて低くなっている。

最終学歴の予想別にみると、『まだわからない』で「子どもの学力から考えて」が38.9%、『高校まで』で「家庭の経済的な状況から考えて」が25.6%と全体に比べて高くなっている。一方、『高校まで』で「子どもが希望しているから」が14.4%、『高校まで』で43.3%、『短大・高専・専門学校まで』で28.4%と「一般的な進路だと思うから」が、それぞれ全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-354】子どもの最終学歴（現実的に見た進路）の理由（複数回答）  
（小学5年生・世帯構成別、所得分類別、最終学歴の予想別）

		n	子どもが希望している	から一般的な進路だと思う	子どもの学力から考	家庭の経済的な状況から考えて	その他	特に理由はない
全 体		1,913	34.4	55.6	27.7	8.3	5.1	4.2
世帯構成	ふたり親核家族	1,683	34.1	57.0	28.3	7.5	5.1	4.2
	ふたり親親族同居	79	44.3	44.3	24.1	5.1	6.3	5.1
	ひとり親核家族	99	31.3	44.4	24.2	22.2	3.0	3.0
	ひとり親親族同居	32	31.3	46.9	21.9	18.8	12.5	6.3
所得分類	分類Ⅰ	57	26.3	42.1	17.5	24.6	1.8	3.5
	分類Ⅱ	256	26.6	43.0	28.5	17.2	7.4	6.6
	分類Ⅲ	1,463	35.4	58.6	28.4	6.4	5.0	3.7
最終学歴の予想	中学校まで	3	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0
	高校まで	90	14.4	43.3	31.1	25.6	5.6	7.8
	短大・高専・専門学校まで	155	34.8	28.4	33.5	16.1	4.5	6.5
	大学またはそれ以上	1,551	35.8	61.4	26.0	6.2	4.8	3.4
	まだわからない	113	28.3	23.9	38.9	11.5	8.8	8.8

中学2年生のいる世帯の保護者から見た子どもの最終学歴（現実的に見た進路）の理由を世帯構成別にみると、『ひとり親親族同居』で「子どもの学力から考えて」が42.4%と全体に比べて高くなっている。一方、『ふたり親親族同居』で32.3%と「一般的な進路だと思うから」が、『ひとり親親族同居』で27.3%と「子どもが希望しているから」が、それぞれ全体に比べて低くなっている。

所得分類別にみると、『分類Ⅰ』で「家庭の経済的な状況から考えて」が20.8%と全体に比べて高くなっている。

最終学歴の予想別にみると、『まだわからない』で「子どもの学力から考えて」が45.3%、『高校まで』で「子どもの学力から考えて」が44.1%、「家庭の経済的な状況から考えて」が21.7%とそれぞれ全体に比べて高くなっている。一方、『高校まで』で「子どもが希望しているから」が26.7%、『短大・高専・専門学校まで』で「一般的な進路だと思うから」20.5%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

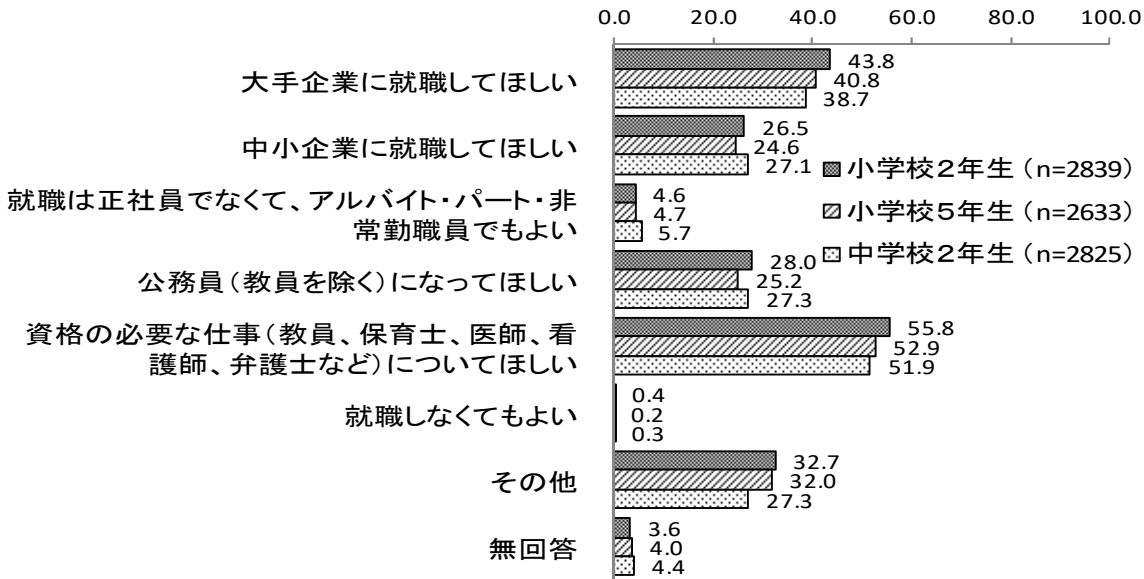
【図表 3-355】子どもの最終学歴（現実的に見た進路）の理由（複数回答）  
（中学2年生・世帯構成別、所得分類別、最終学歴の予想別）

		n	子どもが希望している	から一般的な進路だと思う	子どもの学力から考えて	家庭の経済的な状況から考えて	その他	特に理由はない
全 体		2,122	44.5	42.8	32.1	7.2	4.4	3.7
世帯構成	ふたり親核家族	1,780	45.1	43.9	32.5	6.1	4.3	3.6
	ふたり親親族同居	96	54.2	32.3	31.3	9.4	4.2	2.1
	ひとり親核家族	179	38.5	38.0	29.1	15.1	6.1	3.4
	ひとり親親族同居	33	27.3	42.4	42.4	15.2	6.1	9.1
所得分類	分類Ⅰ	96	37.5	33.3	30.2	20.8	6.3	4.2
	分類Ⅱ	328	40.5	36.0	32.3	12.2	4.0	5.5
	分類Ⅲ	1,496	46.1	44.9	32.3	5.3	4.2	3.1
最終学歴の予想	中学校まで	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	高校まで	161	26.7	34.8	44.1	21.7	4.3	5.6
	短大・高専・専門学校まで	288	44.4	20.5	40.3	15.6	3.8	4.2
	大学またはそれ以上	1,521	47.7	50.8	28.0	3.4	4.3	2.8
	まだわからない	148	30.4	14.2	45.3	13.5	7.4	10.1

ウ 子どもに望む就職先【小学・問14・中学・問13】(MA)

子どもに望む就職先を複数回答で聞いたところ、「資格の必要な仕事(教員、保育士、医師、看護師、弁護士など)についてほしい」(小学2年生:55.8%、小学5年生:52.9%、中学2年生:51.9%)が最も高く、次いで、「大手企業に就職してほしい」(小学2年生:43.8%、小学5年生:40.8%、中学2年生:38.7%)、「公務員(教員を除く)になってほしい」(小学2年生:28.0%、小学5年生:25.2%、中学2年生:27.3%)となっている。

【図表 3-356】子どもに望む就職先(複数回答)



小学2年生のいる世帯の保護者が子どもに望む就職先を世帯構成別、所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-357】子どもに望む就職先(複数回答)(小学2年生・世帯構成別、所得分類別)

		n	大手企業に就職してほしい	中小企業に就職してほしい	アルバイト・パート・非常勤職員でもよい	公務員(教員を除く)になってほしい	資格の必要な仕事(教員、保育士、医師、看護師、弁護士など)についてほしい	就職しなくてもよい	その他
全体		2,736	45.5	27.4	4.8	29.0	57.9	0.4	34.0
世帯構成	ふたり親核家族	2,476	46.1	27.5	4.7	29.3	58.0	0.3	34.2
	ふたり親親族同居	97	47.4	28.9	5.2	28.9	56.7	1.0	33.0
	ひとり親核家族	113	37.2	25.7	5.3	25.7	58.4	0.0	34.5
	ひとり親親族同居	29	27.6	34.5	13.8	34.5	58.6	0.0	24.1
所得分類	分類Ⅰ	92	35.9	26.1	7.6	27.2	53.3	2.2	20.7
	分類Ⅱ	442	37.3	32.1	7.0	29.4	55.4	0.9	33.0
	分類Ⅲ	2,043	48.0	26.3	4.0	29.0	59.1	0.1	34.7

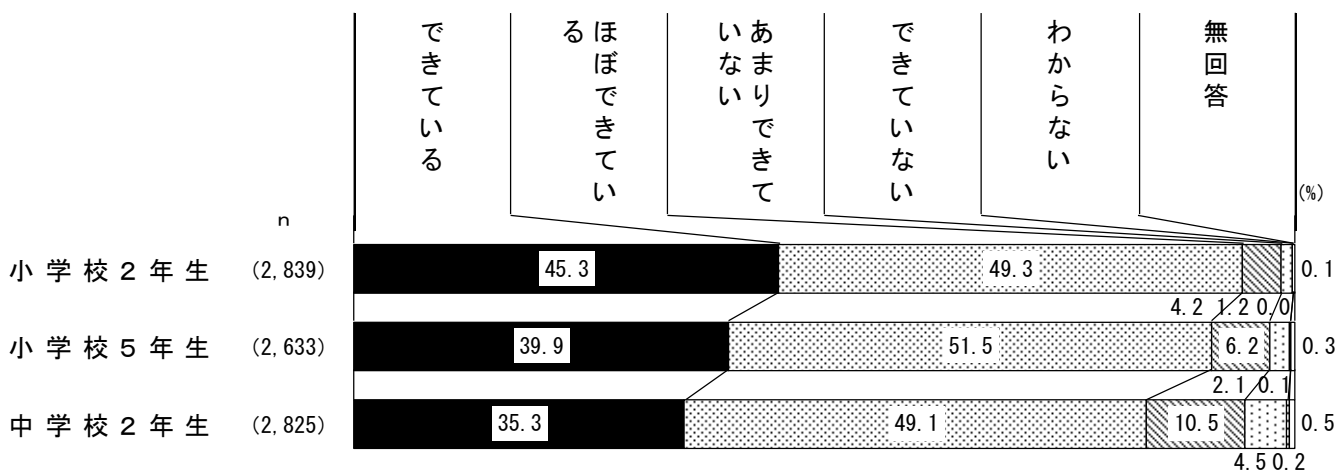


(3) 保護者から見た子どもの状況

ア 子どもの基本生活習慣【小学・問2・中学・問1】(SA)

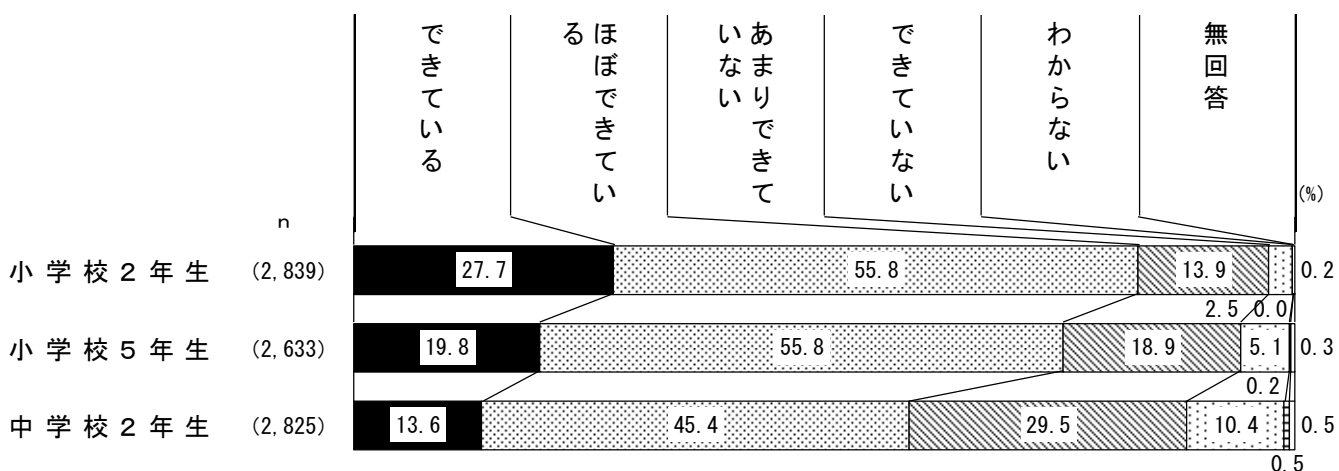
子どもの生活習慣を聞いたところ、『決まった時間に起きる』では、「ほぼできている」(小学2年生:49.3%、小学5年生:51.5%、中学2年生:49.1%)が最も高く、次いで、「できている」(小学2年生:45.3%、小学5年生:39.9%、中学2年生:35.3%)、「あまりできていない」(小学2年生:4.2%、小学5年生:6.2%、中学2年生:10.5%)となっている。

【図表 3-360】『決まった時間に起きる』について



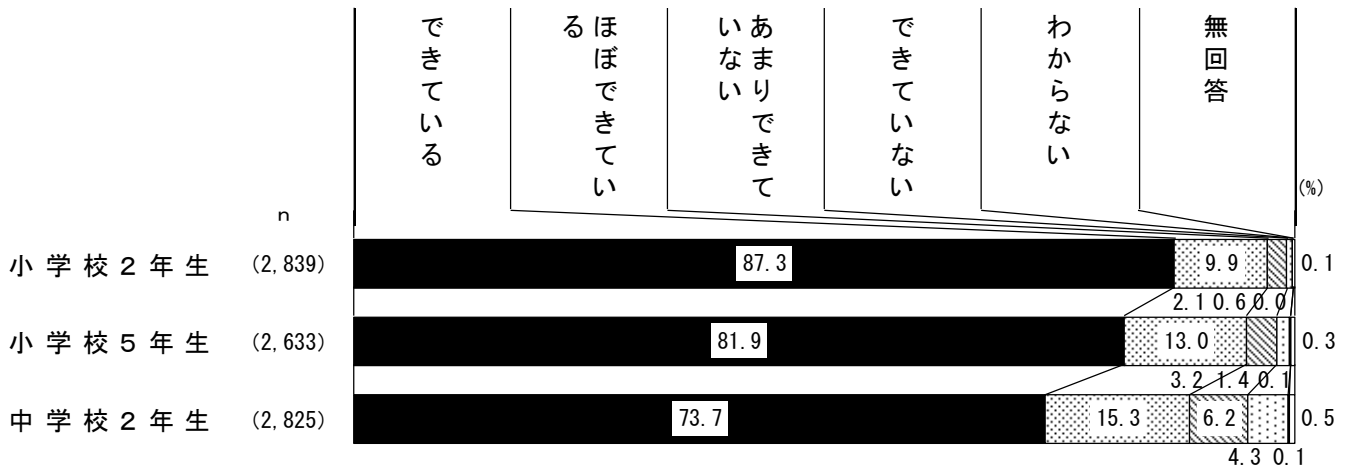
『決まった時間に寝る』では、小学2年生のいる世帯の保護者、小学5年生のいる世帯の保護者で「ほぼできている」(小学2年生:55.8%、小学5年生:55.8%)が最も高く、次いで、「できている」(小学2年生:27.7%、小学5年生:19.8%)、「あまりできていない」(小学2年生:13.9%、小学5年生:18.9%)となっている。中学2年生のいる世帯の保護者で「ほぼできている」が45.4%と最も高く、次いで、「あまりできていない」(29.5%)、「できている」(13.6%)となっている。

【図表 3-361】『決まった時間に寝る』について



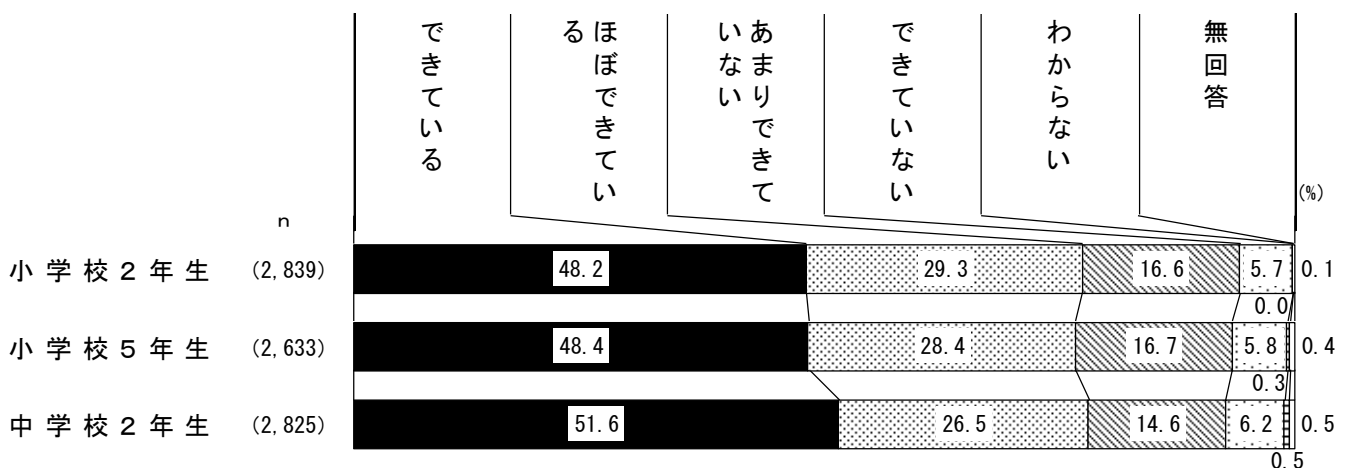
『毎日、朝ごはんを食べる』では、「できている」(小学2年生:87.3%、小学5年生:81.9%、中学2年生:73.7%)が最も高く、次いで、「ほぼできている」(小学2年生:9.9%、小学5年生:13.0%、中学2年生:15.3%)、「あまりできていない」(小学2年生:2.1%、小学5年生:3.2%、中学2年生:6.2%)となっている。

【図表 3-362】『毎日、朝ごはんを食べる』について



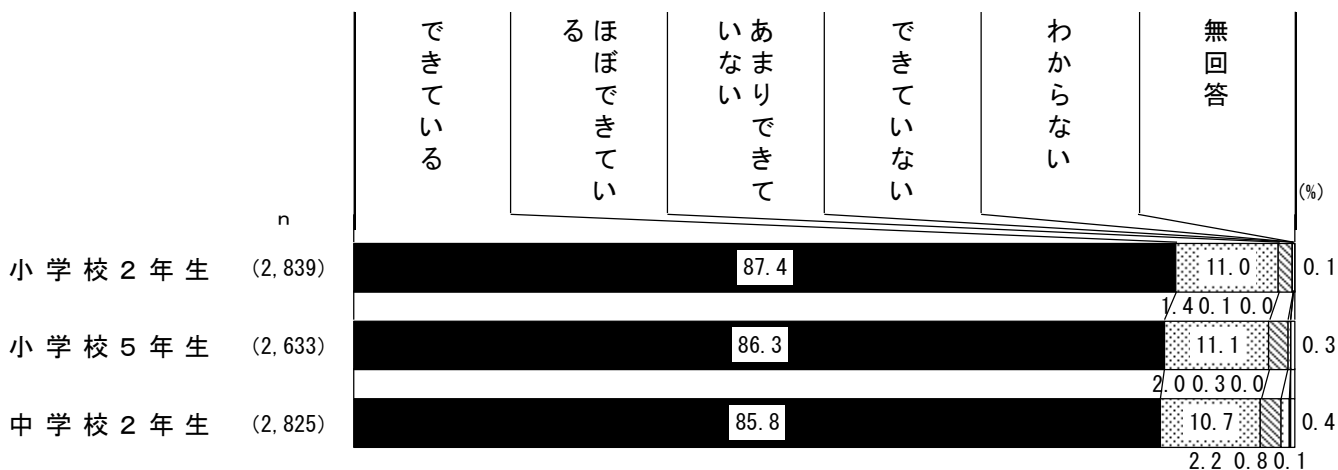
『毎日、食後に歯を磨く』では、「できている」(小学2年生:48.2%、小学5年生:48.4%、中学2年生:51.6%)が最も高く、次いで、「ほぼできている」(小学2年生:29.3%、小学5年生:28.4%、中学2年生:26.5%)、「あまりできていない」(小学2年生:16.6%、小学5年生:16.7%、中学2年生:14.6%)となっている。

【図表 3-363】『毎日、食後に歯を磨く』について



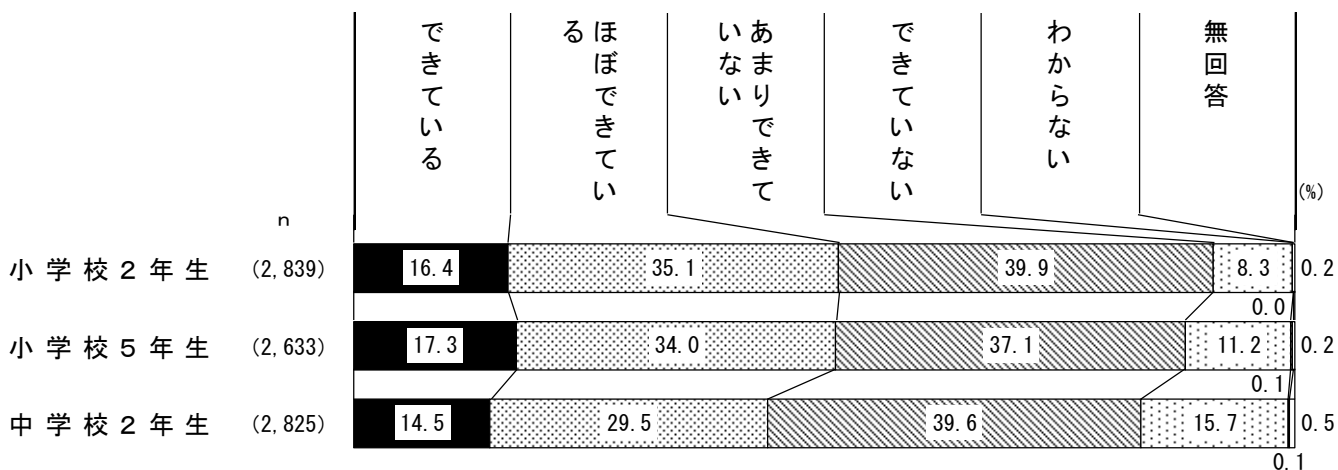
『毎日、お風呂に入る』では、「できている」（小学2年生:87.4%、小学5年生:86.3%、中学2年生:85.8%）が最も高く、次いで、「ほぼできている」（小学2年生:11.0%、小学5年生:11.1%、中学2年生:10.7%）、「あまりできていない」（小学2年生:1.4%、小学5年生:2.0%、中学2年生:2.2%）となっている。

【図表 3-364】『毎日、お風呂に入る』について



『身の回りを整理整頓する』では、小学2年生のいる世帯の保護者、小学5年生のいる世帯の保護者で「あまりできていない」（小学2年生:39.9%、小学5年生:37.1%）が最も高く、次いで、「ほぼできている」（小学2年生:35.1%、小学5年生:34.0%）、「できている」（小学2年生:16.4%、小学5年生:17.3%）となっている。中学2年生のいる世帯の保護者で「あまりできていない」が39.6%と最も高く、次いで、「ほぼできている」（29.5%）、「できていない」（15.7%）となっている。

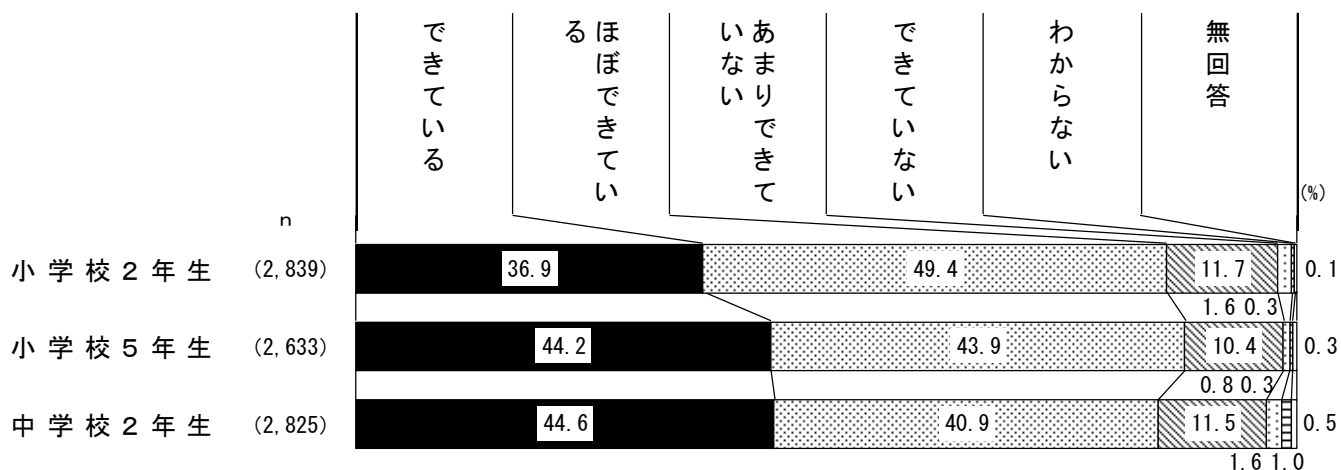
【図表 3-365】『身の回りを整理整頓する』について





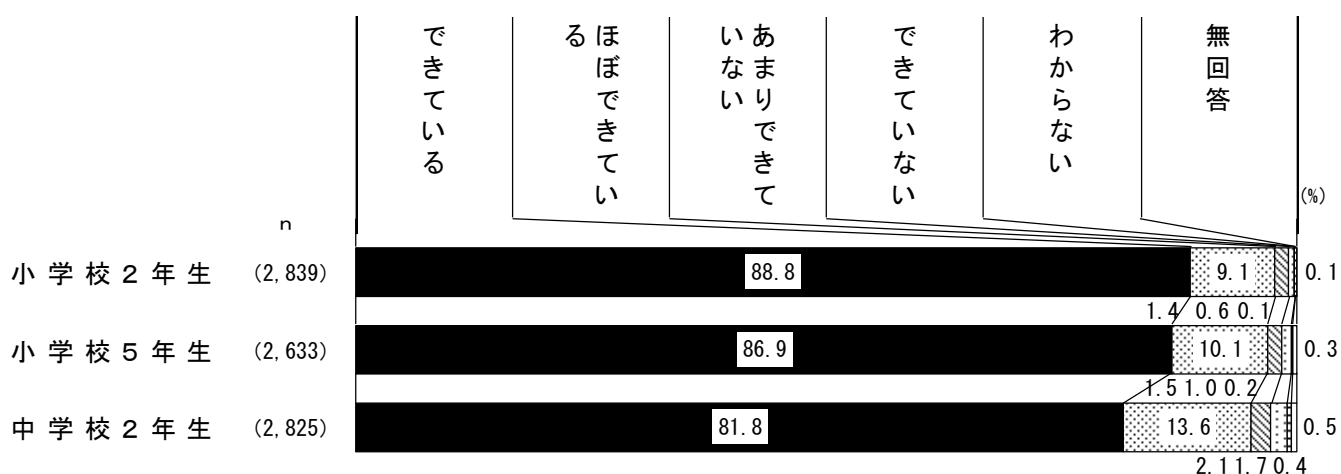
『あいさつをきちんとする』では、小学5年生のいる世帯の保護者、中学2年生のいる世帯の保護者で「できている」（小学5年生:44.2%、中学2年生:44.6%）が最も高く、次いで、「ほぼできている」（小学5年生:43.9%、中学2年生:40.9%）、「あまりできていない」（小学5年生:10.4%、中学2年生:11.5%）となっている。小学2年生のいる世帯の保護者で「ほぼできている」が49.4%と最も高く、次いで、「できている」（36.9%）、「あまりできていない」（11.7%）となっている。

【図表 3-366】『あいさつをきちんとする』について



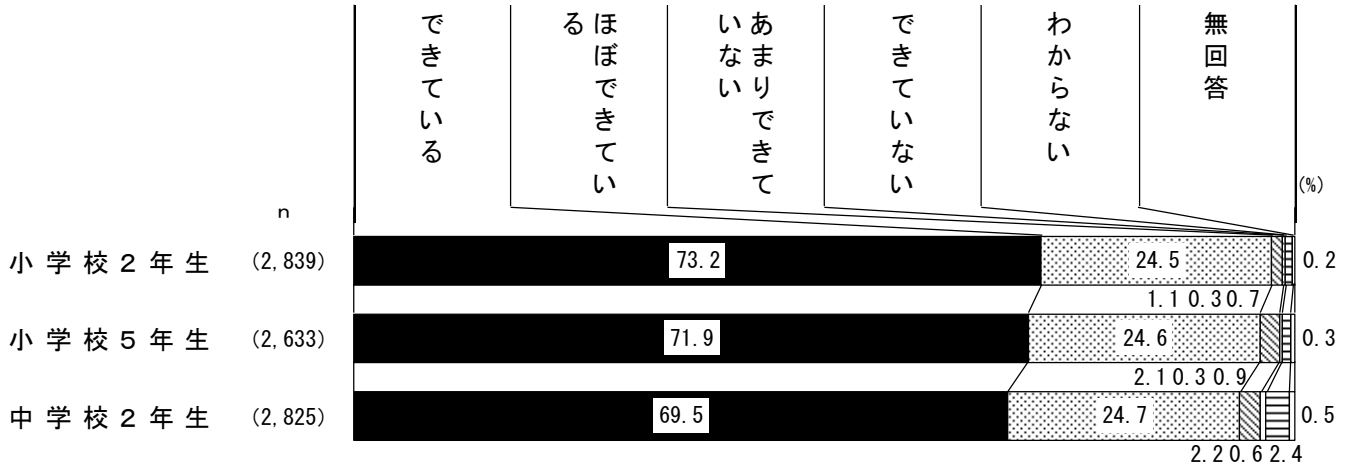
『遅刻をしないで学校に行く』では、「できている」（小学2年生:88.8%、小学5年生:86.9%、中学2年生:81.8%）が最も高く、次いで、「ほぼできている」（小学2年生:9.1%、小学5年生:10.1%、中学2年生:13.6%）、「あまりできていない」（小学2年生:1.4%、小学5年生:1.5%、中学2年生:2.1%）となっている。

【図表 3-367】『遅刻をしないで学校に行く』について



『友達と仲良くする』では、「できている」(小学2年生:73.2%、小学5年生:71.9%、中学2年生:69.5%)が最も高く、次いで、「ほぼできている」(小学2年生:24.5%、小学5年生:24.6%、中学2年生:24.7%)、「あまりできていない」(小学2年生:1.1%、小学5年生:2.1%、中学2年生:2.2%)となっている。

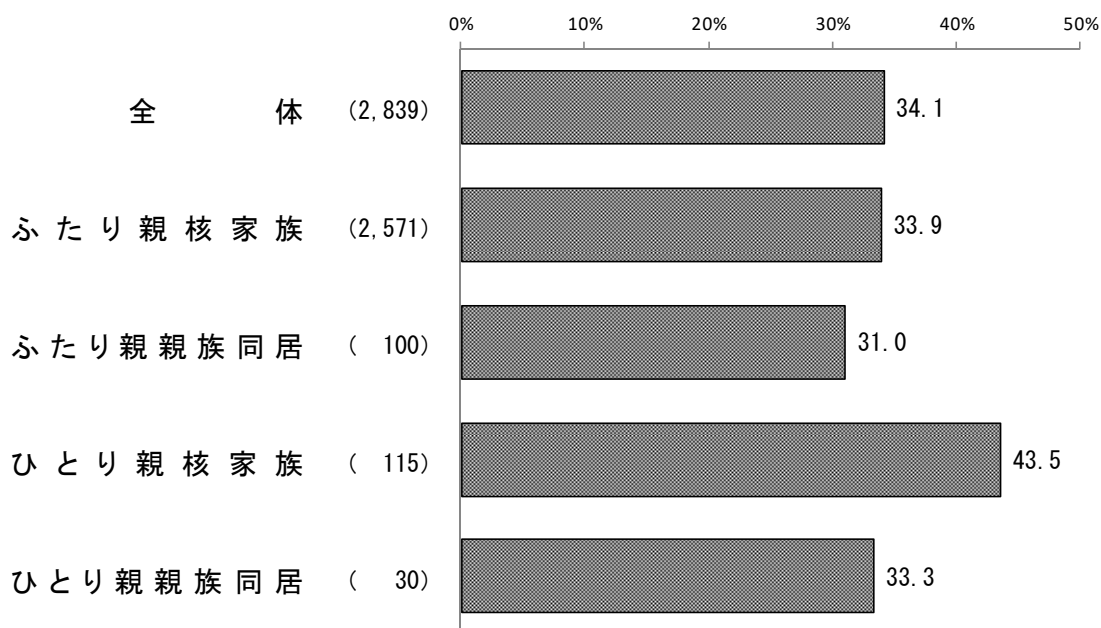
【図表 3-368】『友達と仲良くする』について



小学2年生のいる世帯の保護者から見た子どもの基本生活習慣の項目（「決まった時間に起きる」、「決まった時間に寝る」、「毎日、朝ごはんを食べる」、「毎日、食後に歯を磨く」、「毎日、お風呂に入る」）で1つ以上「あまりできない」または「できない」と回答した人を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

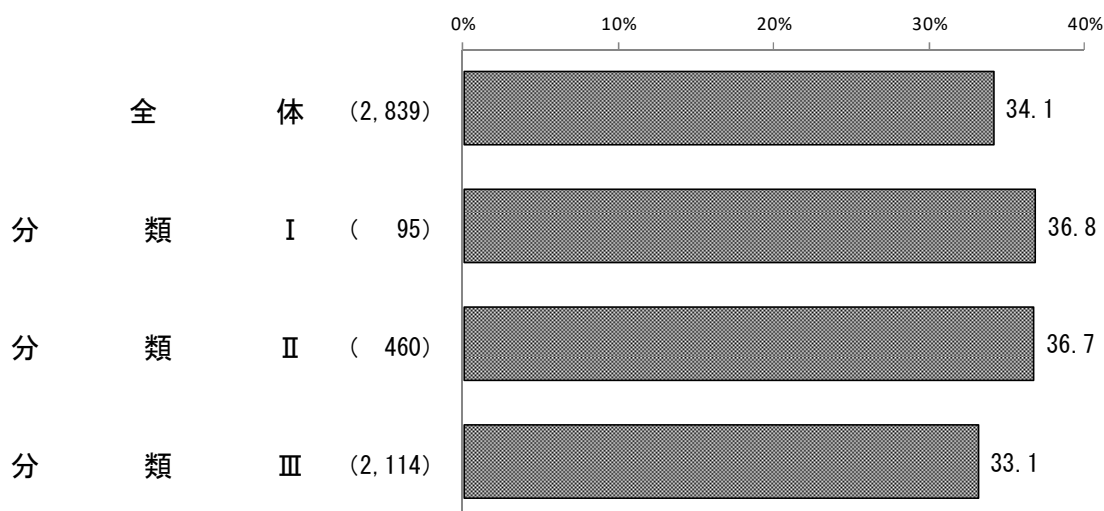
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-369】『子どもの基本生活習慣の項目で1つ以上「あまりできない」または「できない」と回答した人』について(小学2年生・世帯構成別)



小学2年生のいる世帯の保護者から見た子どもの基本生活習慣の項目で1つ以上「あまりできない」または「できない」と回答した人を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

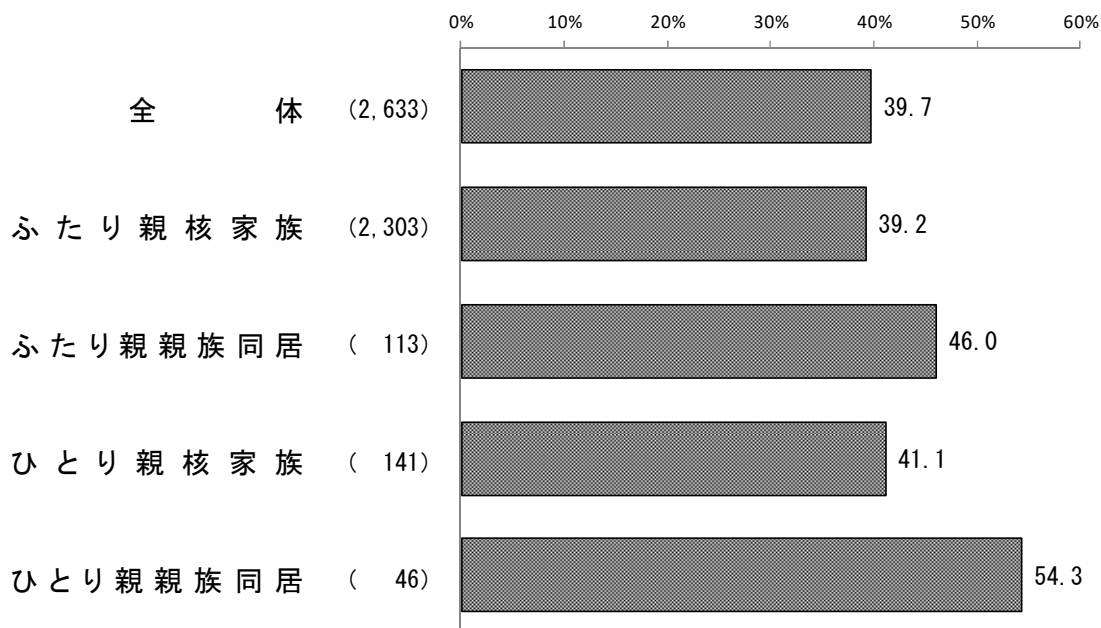
【図表 3-370】『子どもの基本生活習慣の項目で1つ以上「あまりできない」または「できない」と回答した人』について(小学2年生・所得分類別)



小学5年生のいる世帯の保護者から見た子どもの基本生活習慣の項目で1つ以上「あまりできない」または「できない」と回答した人を世帯構成別にみると、『ひとり親親族同居』で54.3%と全体に比べて高くなっている。

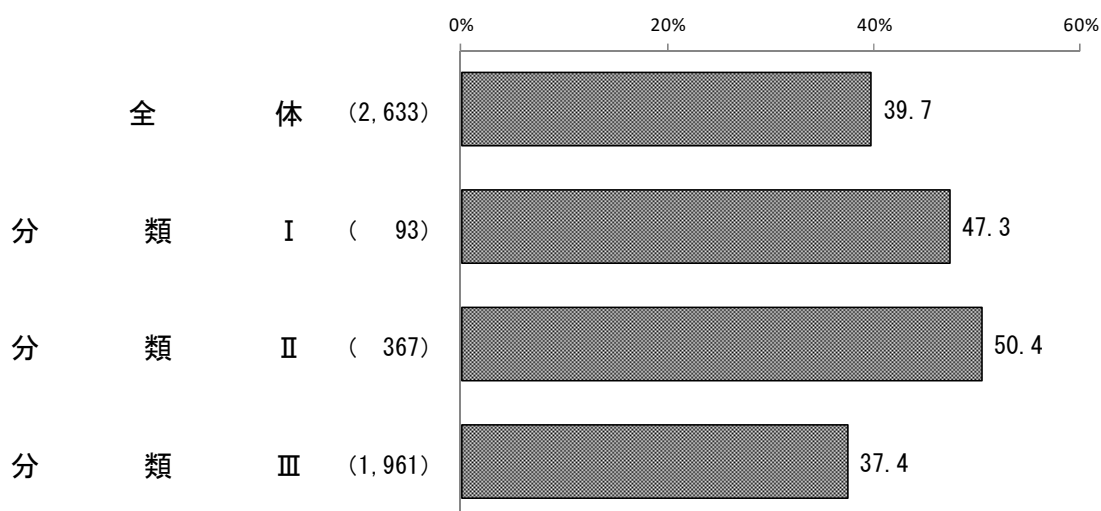
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-371】『子どもの基本生活習慣の項目で1つ以上「あまりできない」または「できない」と回答した人』について(小学5年生・世帯構成別)



小学5年生のいる世帯の保護者から見た子どもの基本生活習慣の項目で1つ以上「あまりできない」または「できない」と回答した人を所得分類別にみると、『分類Ⅱ』で50.4%と全体に比べて高くなっている。

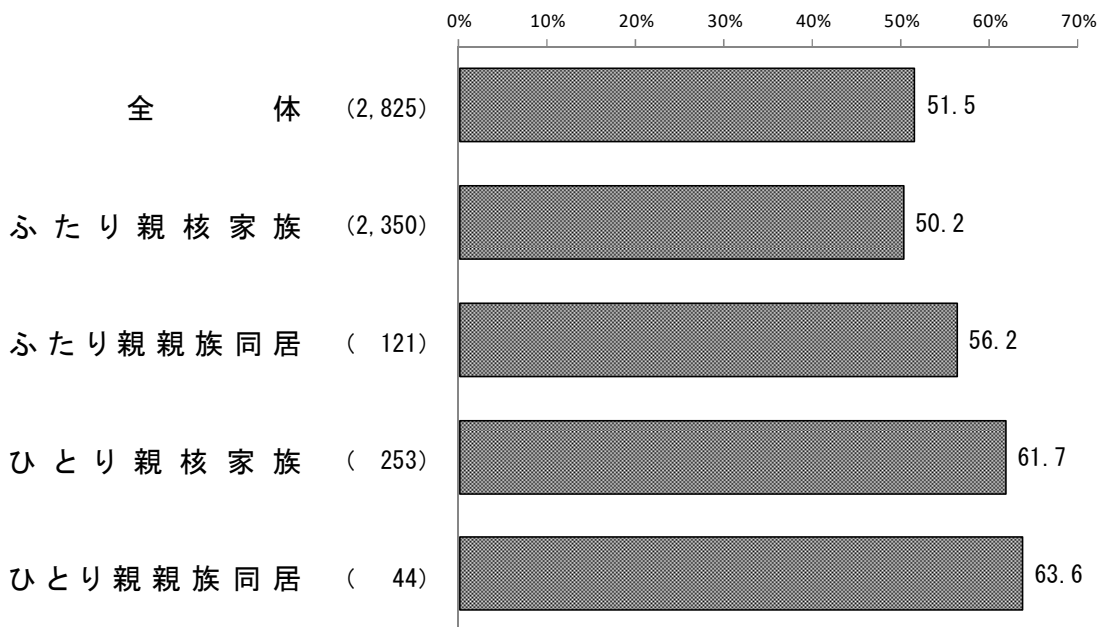
【図表 3-372】『子どもの基本生活習慣の項目で1つ以上「あまりできない」または「できない」と回答した人』について(小学5年生・所得分類別)



中学2年生のいる世帯の保護者から見た子どもの基本生活習慣の項目で1つ以上「あまりできない」または「できない」と回答した人を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』で61.7%、『ひとり親親族同居』で63.6%とそれぞれ全体に比べて高くなっている。

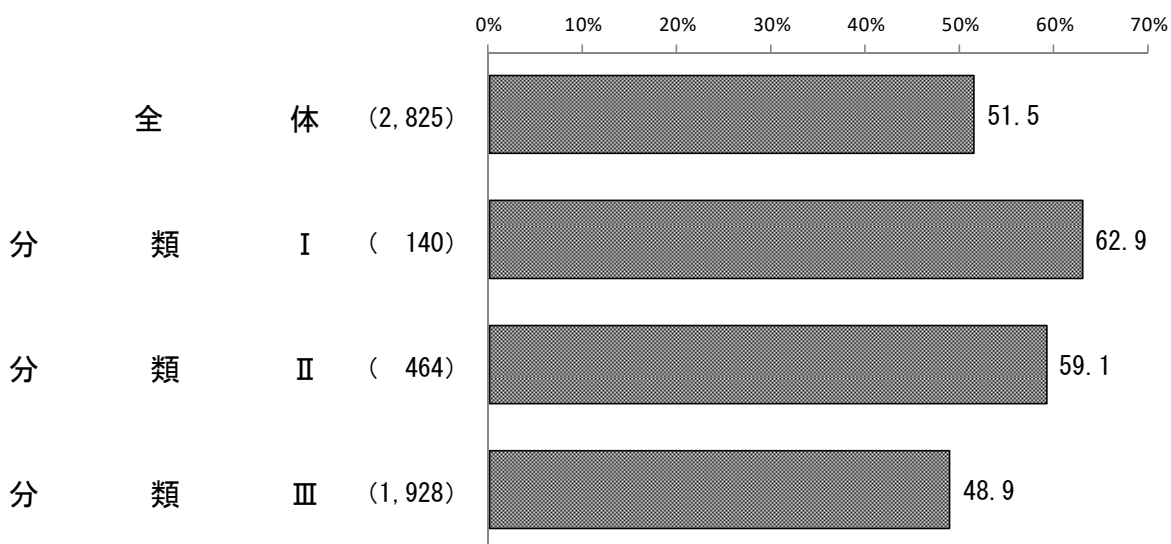
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-373】『子どもの基本生活習慣の項目で1つ以上「あまりできない」または「できない」と回答した人』について(中学2年生・世帯構成別)



中学2年生のいる世帯の保護者から見た子どもの基本生活習慣の項目で1つ以上「あまりできない」または「できない」と回答した人を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』で62.9%と全体に比べて高くなっている。

【図表 3-374】『子どもの基本生活習慣の項目で1つ以上「あまりできない」または「できない」と回答した人』について(中学2年生・所得分類別)



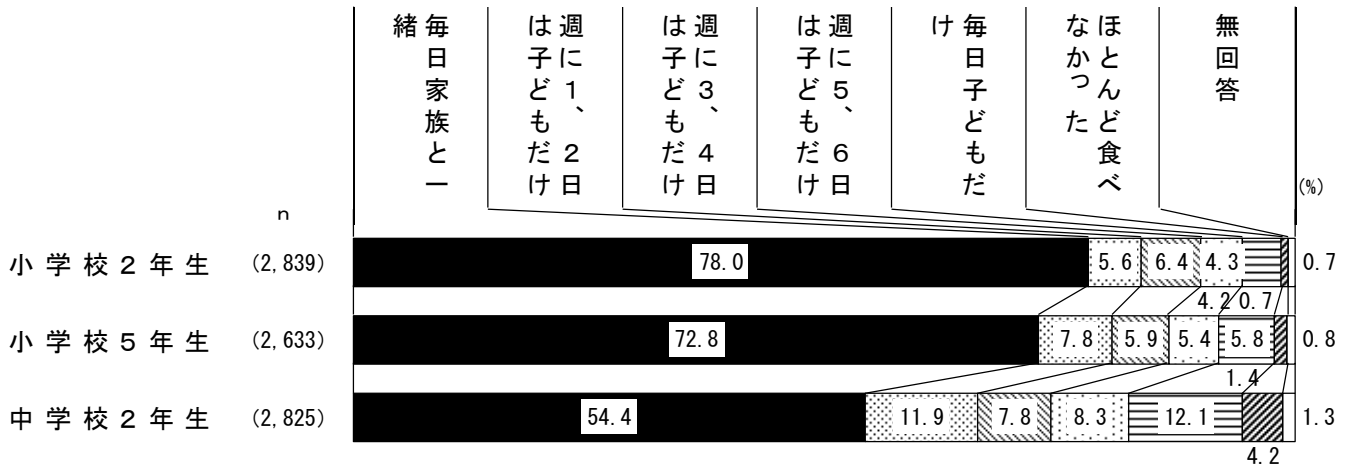
イ 子どもの食事状況

① 子どもの食事の頻度【小学・問3・中学・問2】(SA)

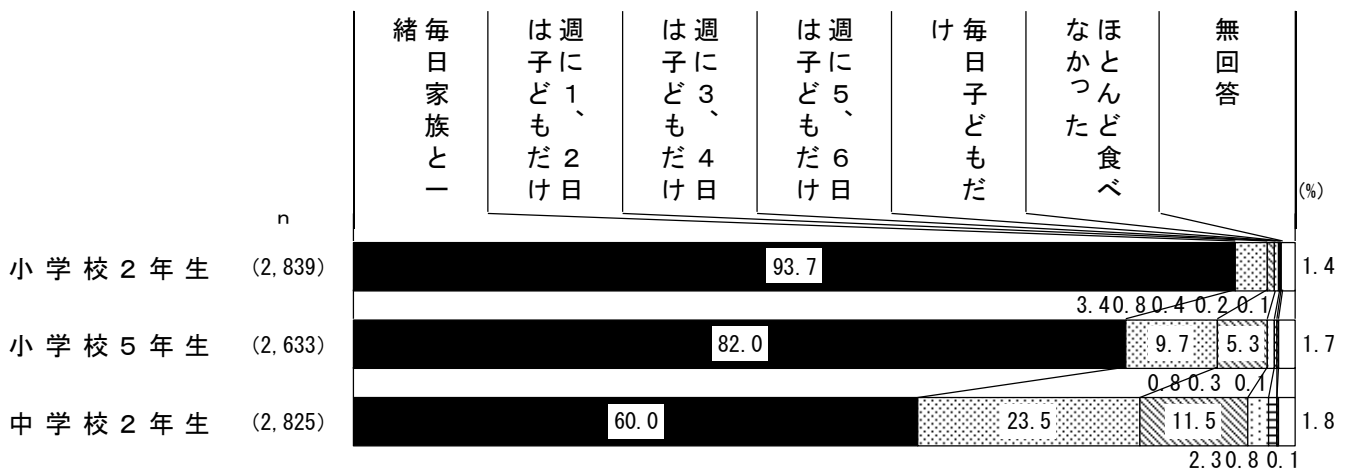
子どもの食事の頻度を聞いたところ、『朝食』では、小学2年生のいる世帯の保護者で「毎日家族と一緒に」が78.0%と最も高く、次いで、「週に3、4日は子どもだけ」(6.4%)、「週に1、2日は子どもだけ」(5.6%)となっている。小学5年生のいる世帯の保護者で「毎日家族と一緒に」が72.8%と最も高く、次いで、「週に1、2日は子どもだけ」(7.8%)、「週に3、4日は子どもだけ」(5.9%)となっている。中学2年生のいる世帯の保護者で「毎日家族と一緒に」が54.4%と最も高く、次いで、「毎日子どもだけ」(12.1%)、「週に1、2日は子どもだけ」(11.9%)となっている。

『夕食』では、「毎日家族と一緒に」(小学2年生:93.7%、小学5年生:82.0%、中学2年生:60.0%)が最も高く。次いで、「週に1、2日は子どもだけ」(小学2年生:3.4%、小学5年生:9.7%、中学2年生:23.5%)、「週に3、4日は子どもだけ」(小学2年生:0.8%、小学5年生:5.3%、中学2年生:11.5%)となっている。

【図表 3-375】 食事の頻度 (朝食)



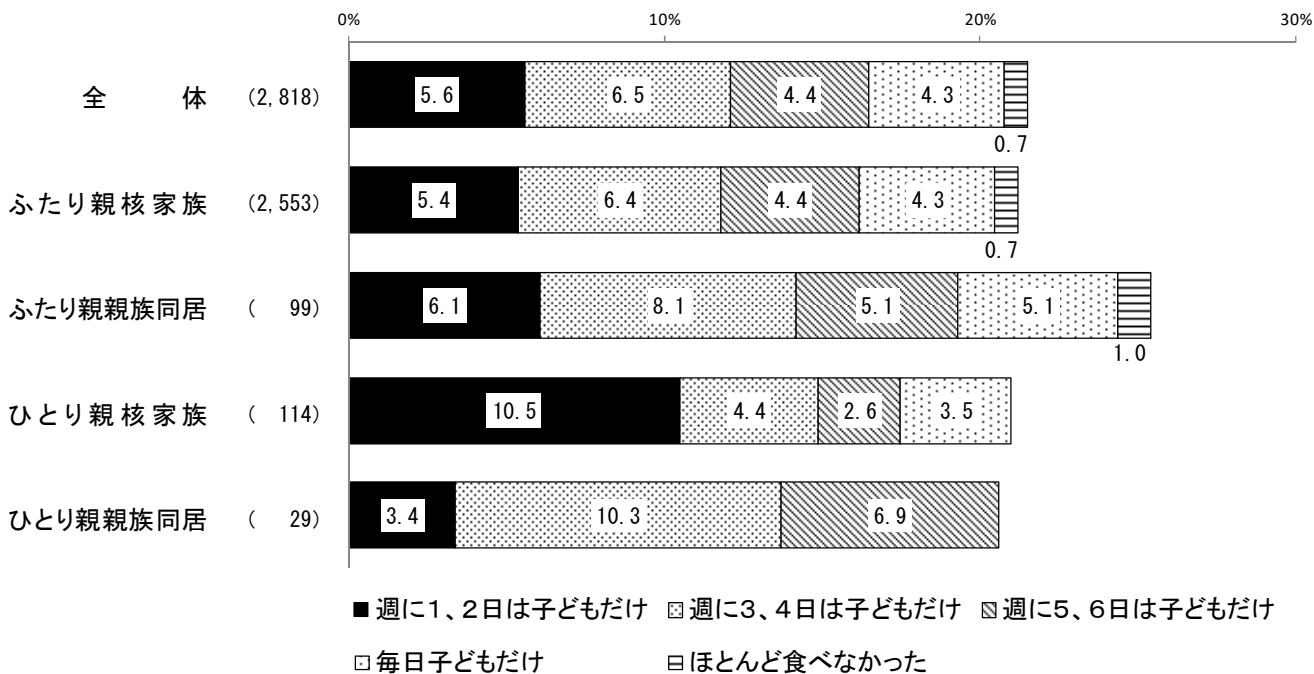
【図表 3-376】 食事の頻度 (夕食)



小学2年生のいる世帯の保護者のうち、「週に1、2日は子どもだけ」、「週に3、4日は子どもだけ」、「週に5、6日は子どもだけ」、「毎日子どもだけ」、「ほとんど食べなかった」のいずれかの回答をした人の食事の頻度（朝食）を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

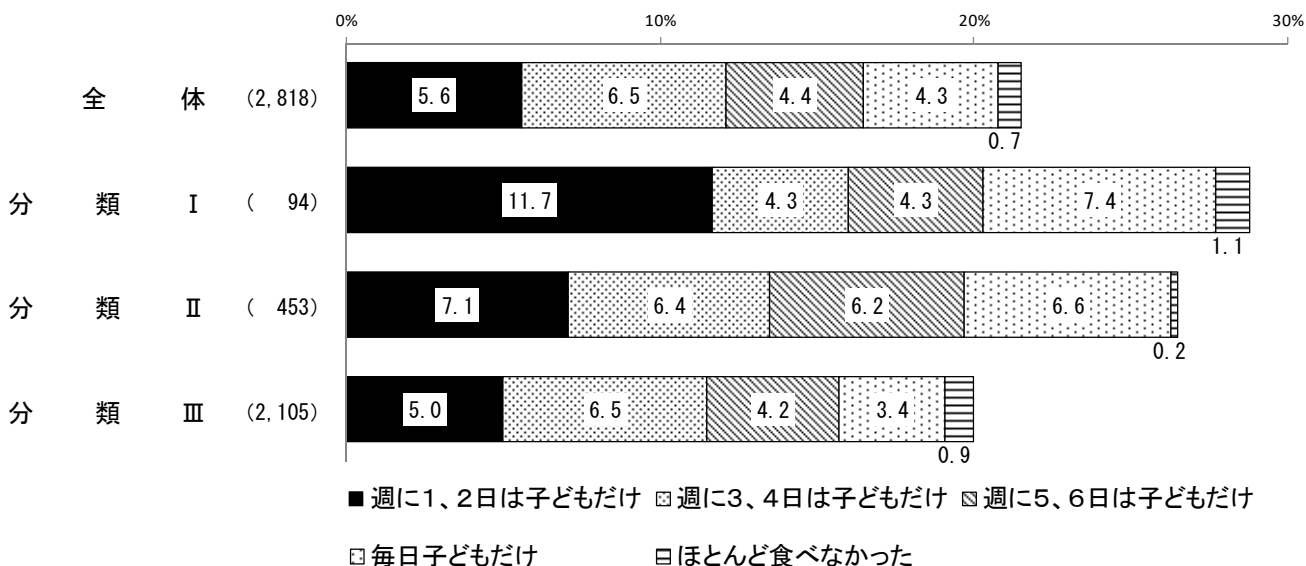
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-377】 食事の頻度（朝食）（小学2年生・世帯構成別）



小学2年生のいる世帯の保護者のうち、「週に1、2日は子どもだけ」、「週に3、4日は子どもだけ」、「週に5、6日は子どもだけ」、「毎日子どもだけ」、「ほとんど食べなかった」のいずれかの回答をした人の食事の頻度（朝食）を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

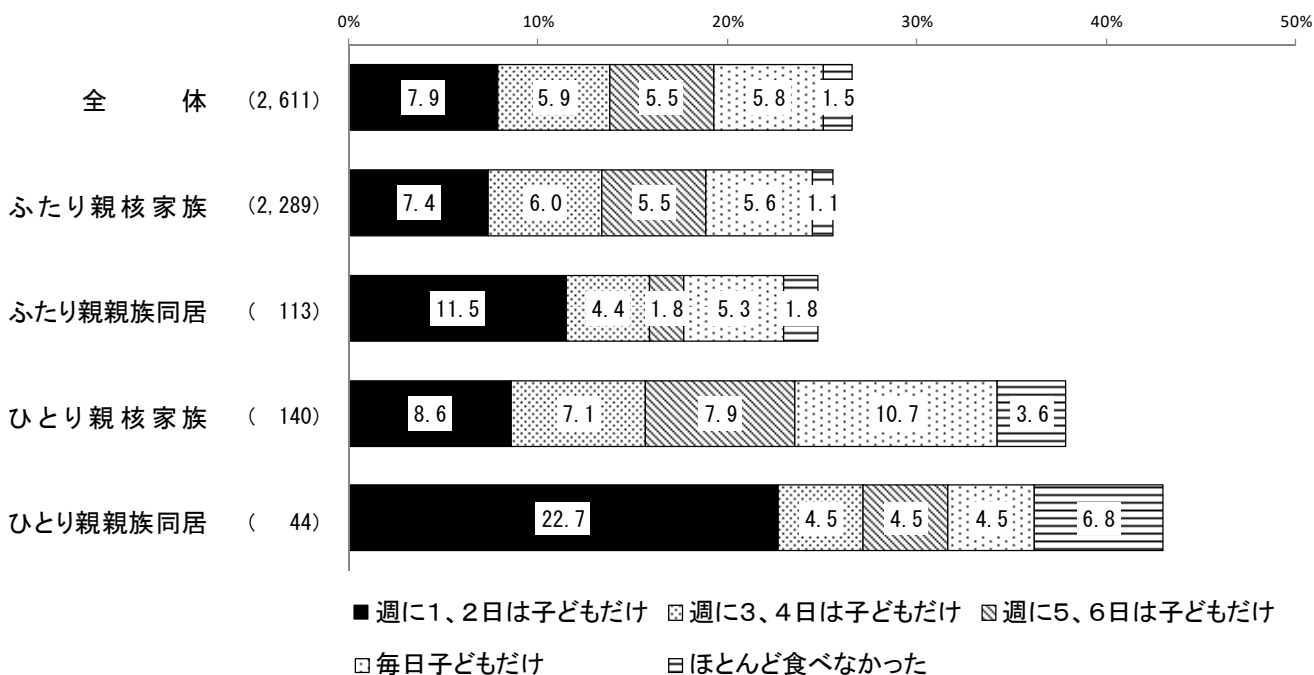
【図表 3-378】 食事の頻度（朝食）（小学2年生・所得分類別）



小学5年生のいる世帯の保護者のうち、「週に1、2日は子どもだけ」、「週に3、4日は子どもだけ」、「週に5、6日は子どもだけ」、「毎日子どもだけ」、「ほとんど食べなかった」のいずれかの回答をした人の食事の頻度（朝食）を世帯構成別にみると、『ひとり親親族同居』で「週に1、2日は子どもだけ」が22.7%と全体に比べて高くなっている。

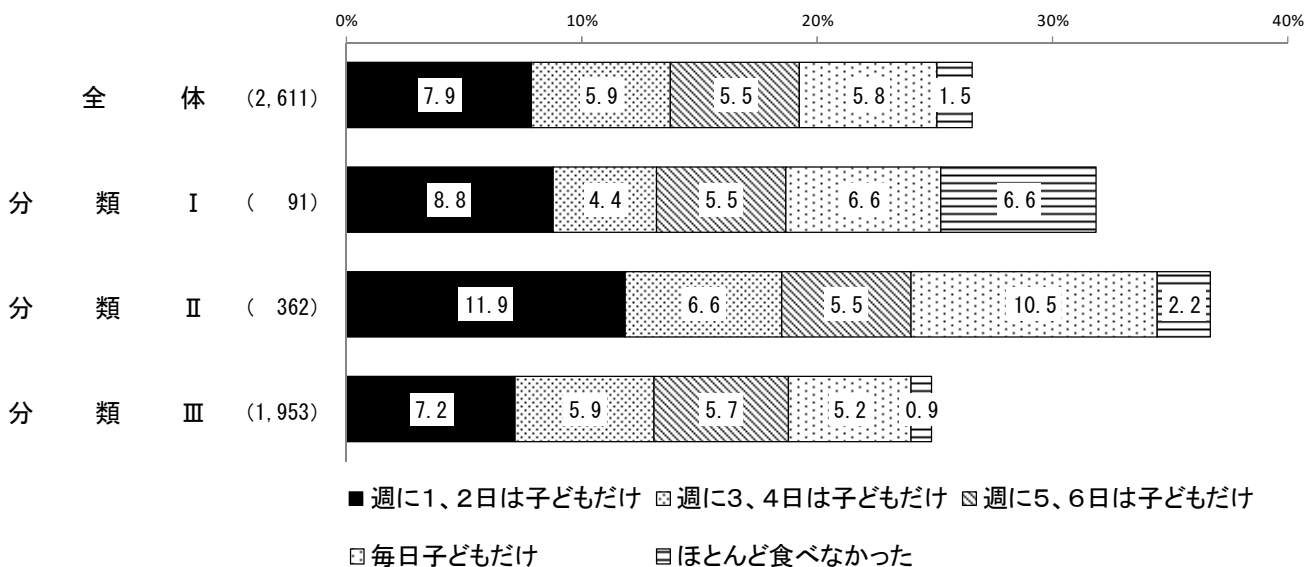
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-379】 食事の頻度（朝食）（小学5年生・世帯構成別）



小学5年生のいる世帯の保護者のうち、「週に1、2日は子どもだけ」、「週に3、4日は子どもだけ」、「週に5、6日は子どもだけ」、「毎日子どもだけ」、「ほとんど食べなかった」のいずれかの回答をした人の食事の頻度（朝食）を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

【図表 3-380】 食事の頻度（朝食）（小学5年生・所得分類別）

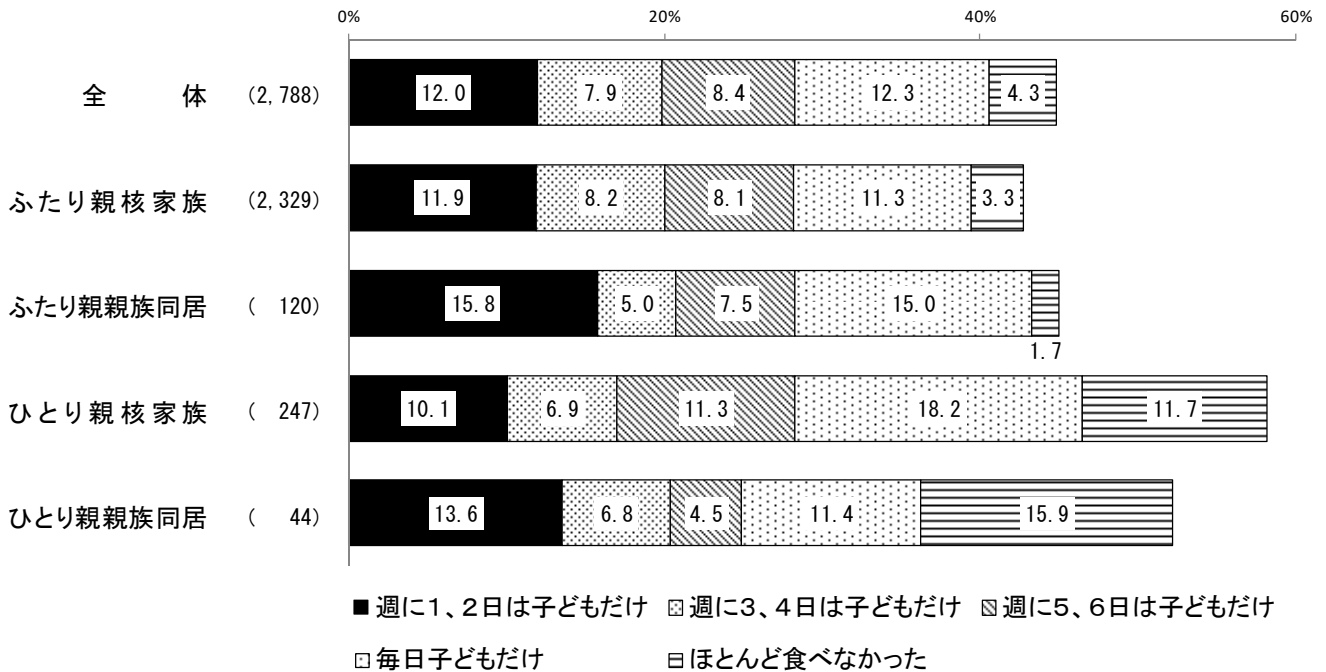




中学2年生のいる世帯の保護者のうち、「週に1、2日は子どもだけ」、「週に3、4日は子どもだけ」、「週に5、6日は子どもだけ」、「毎日子どもだけ」、「ほとんど食べなかった」のいずれかの回答をした人の食事の頻度（朝食）を世帯構成別にみると、『ひとり親親族同居』で「ほとんど食べなかった」が15.9%と全体に比べて高くなっている。

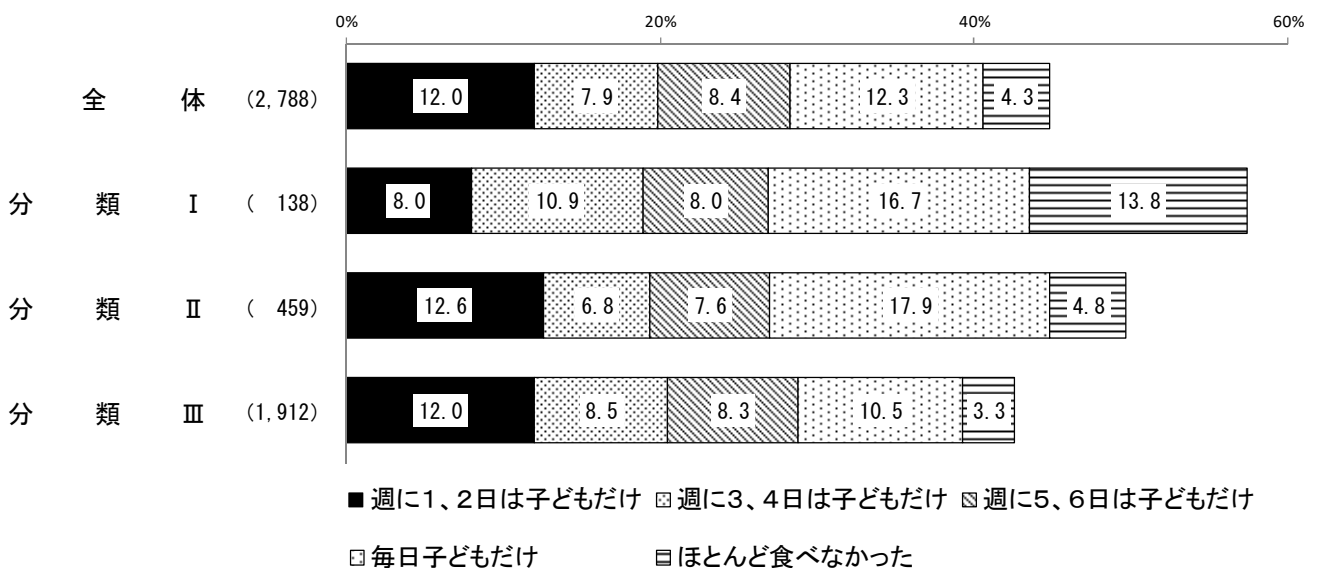
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-381】 食事の頻度（朝食）（中学2年生・世帯構成別）



中学2年生のいる世帯の保護者のうち、「週に1、2日は子どもだけ」、「週に3、4日は子どもだけ」、「週に5、6日は子どもだけ」、「毎日子どもだけ」、「ほとんど食べなかった」のいずれかの回答をした人の食事の頻度（朝食）を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

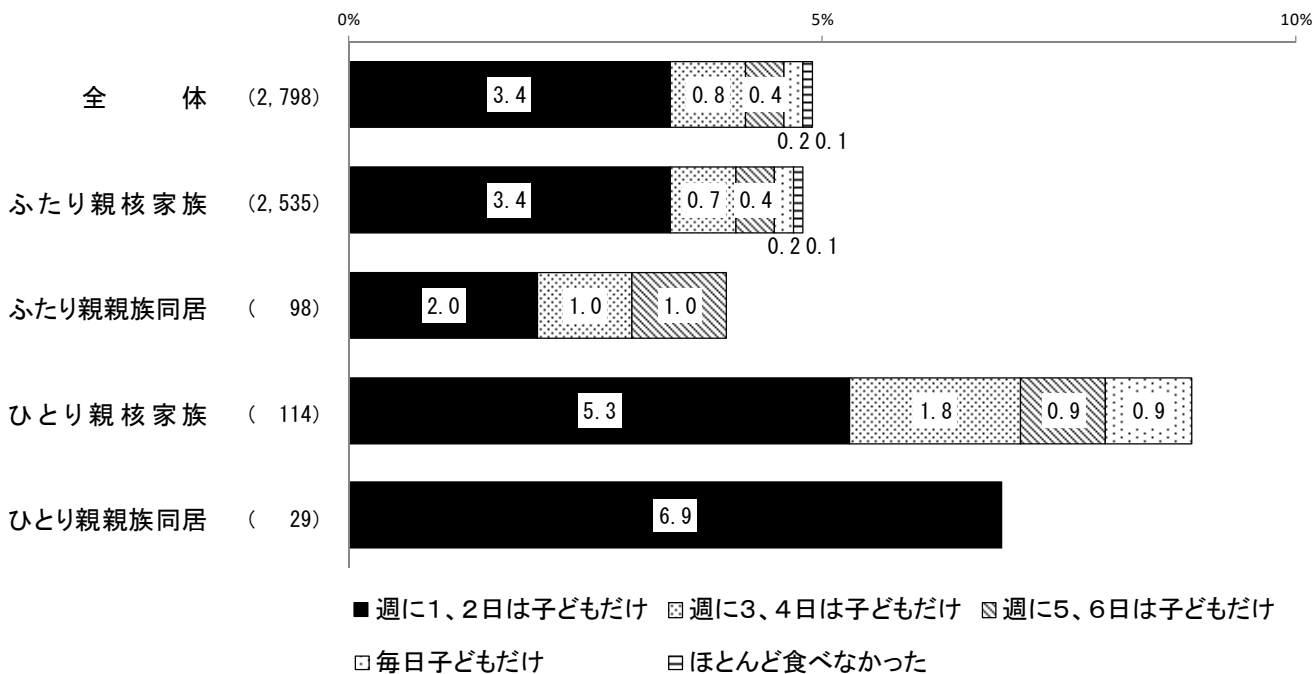
【図表 3-382】 食事の頻度（朝食）（中学2年生・所得分類別）



小学2年生のいる世帯の保護者のうち、「週に1、2日は子どもだけ」、「週に3、4日は子どもだけ」、「週に5、6日は子どもだけ」、「毎日子どもだけ」、「ほとんど食べなかった」のいずれかの回答をした人の食事の頻度（夕食）を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

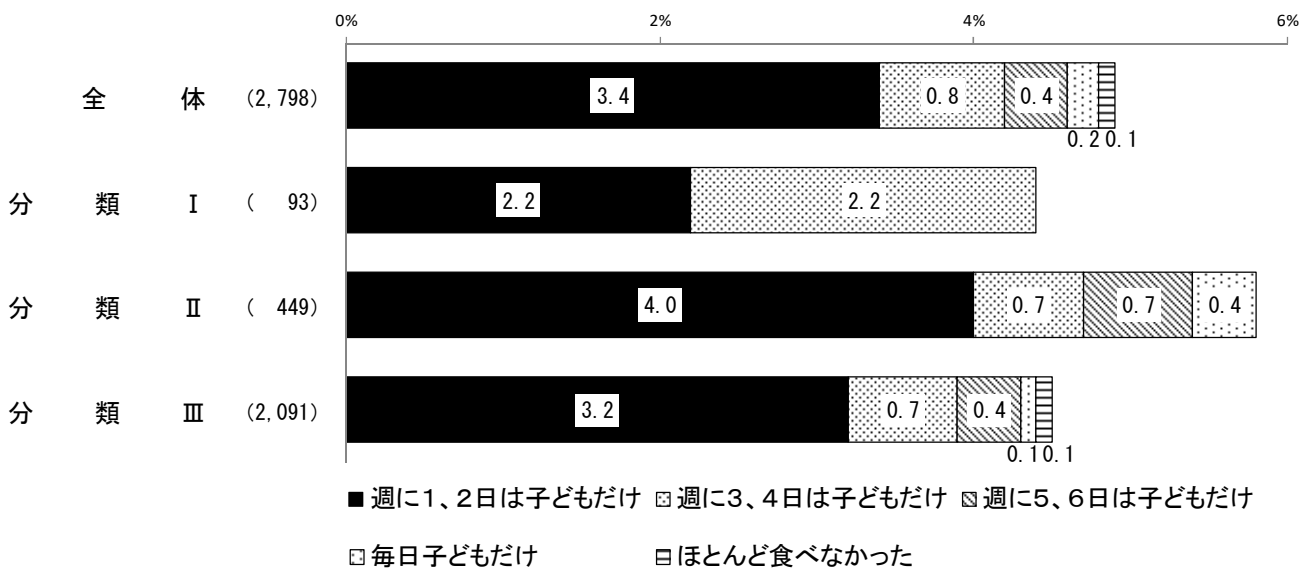
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-383】 食事の頻度（夕食）（小学2年生・世帯構成別）



小学2年生のいる世帯の保護者のうち、「週に1、2日は子どもだけ」、「週に3、4日は子どもだけ」、「週に5、6日は子どもだけ」、「毎日子どもだけ」、「ほとんど食べなかった」のいずれかの回答をした人の食事の頻度（夕食）を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

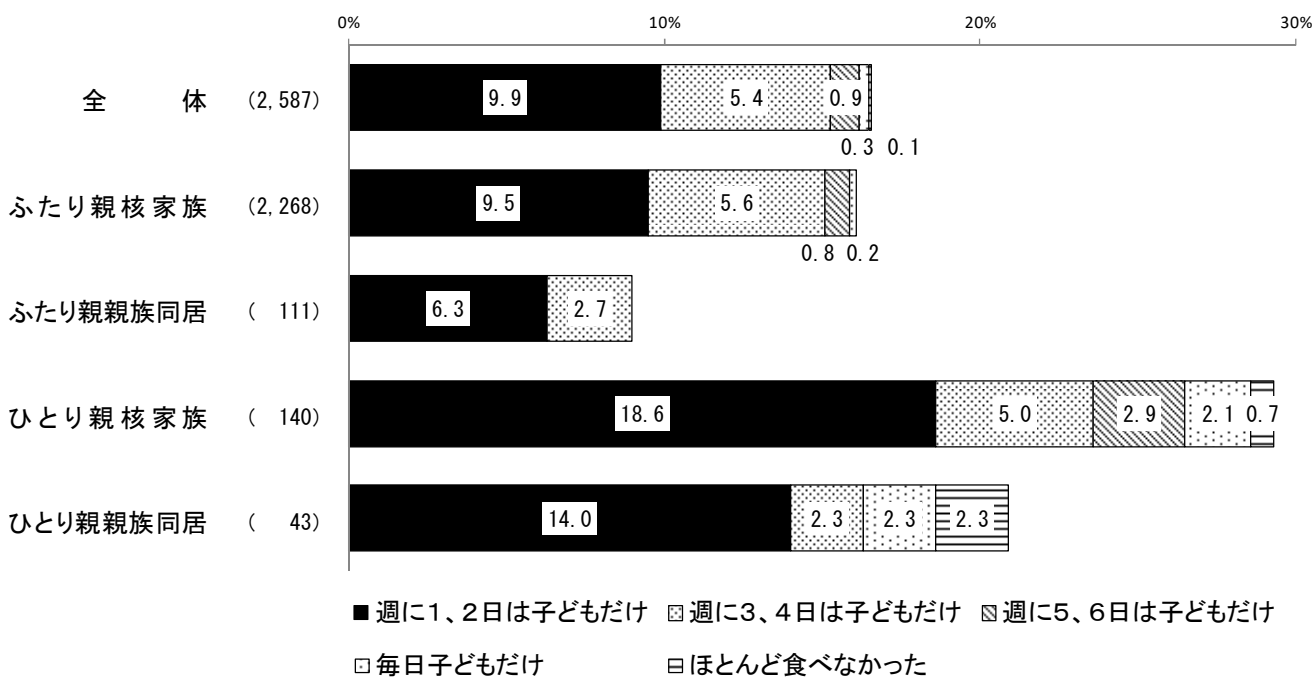
【図表 3-384】 食事の頻度（夕食）について(小学2年生・所得分類別)



小学5年生のいる世帯の保護者のうち、「週に1、2日は子どもだけ」、「週に3、4日は子どもだけ」、「週に5、6日は子どもだけ」、「毎日子どもだけ」、「ほとんど食べなかった」のいずれかの回答をした人の食事の頻度（夕食）を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

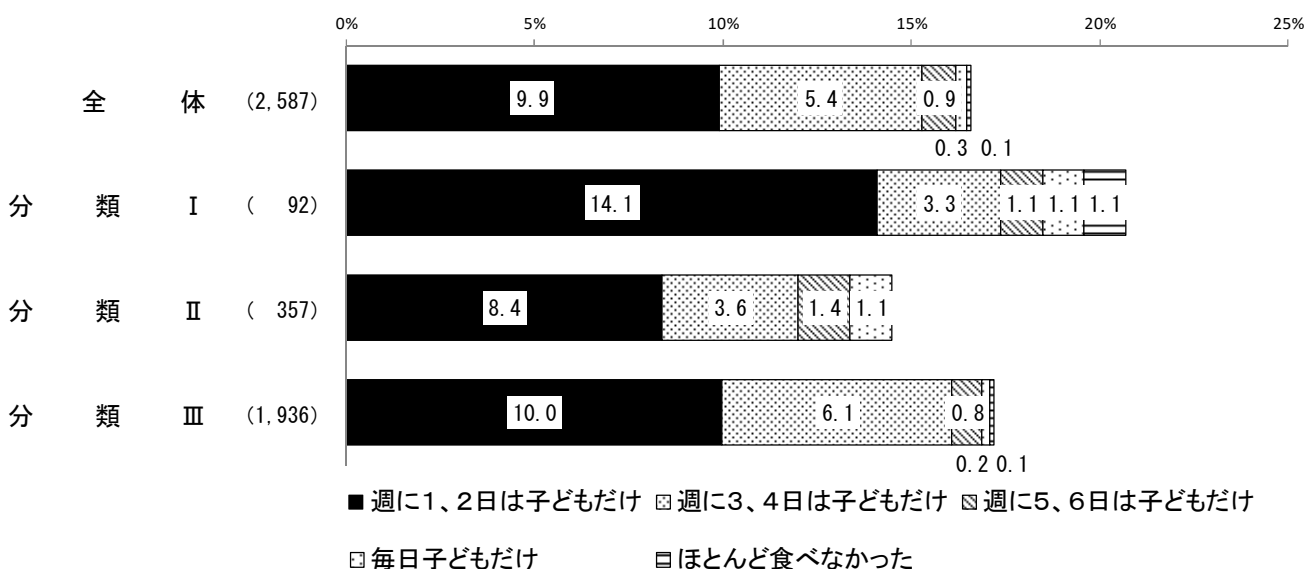
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-385】 食事の頻度（夕食）（小学5年生・世帯構成別）



小学5年生のいる世帯の保護者のうち、「週に1、2日は子どもだけ」、「週に3、4日は子どもだけ」、「週に5、6日は子どもだけ」、「毎日子どもだけ」、「ほとんど食べなかった」のいずれかの回答をした人の食事の頻度（夕食）を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

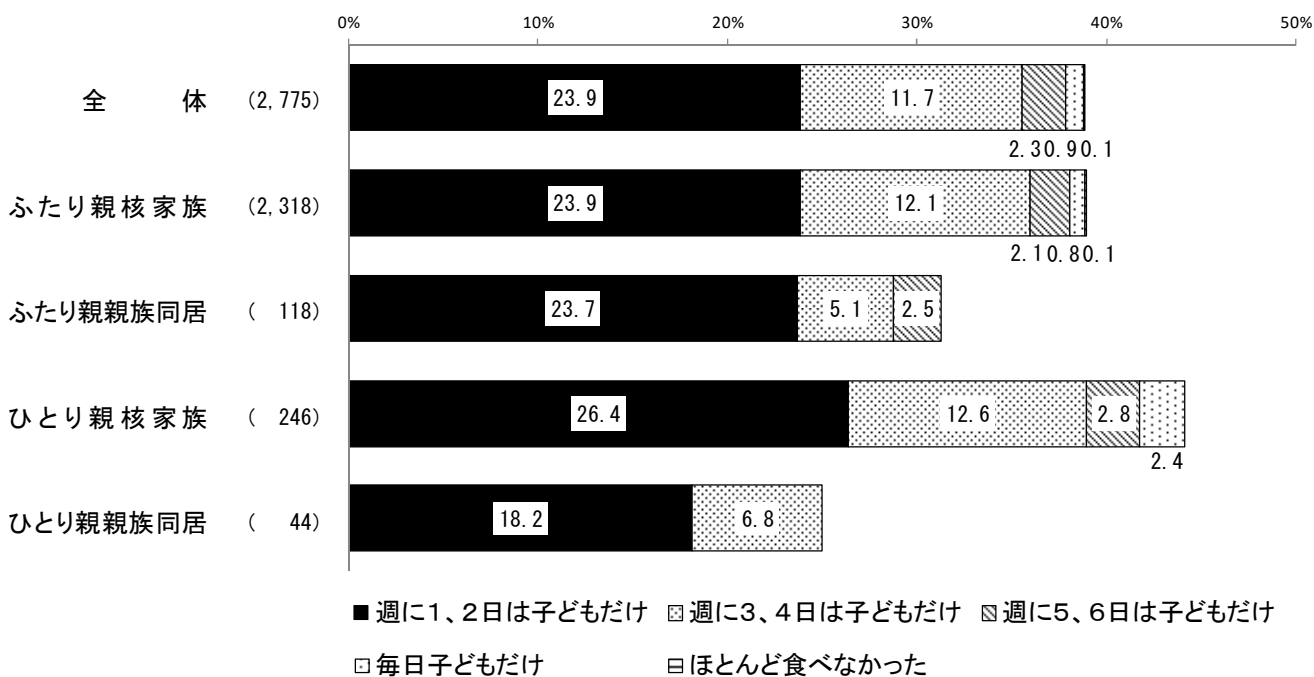
【図表 3-386】 食事の頻度（夕食）（小学5年生・所得分類別）



中学2年生のいる世帯の保護者のうち、「週に1、2日は子どもだけ」、「週に3、4日は子どもだけ」、「週に5、6日は子どもだけ」、「毎日子どもだけ」、「ほとんど食べなかった」のいずれかの回答をした人の食事の頻度（夕食）を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

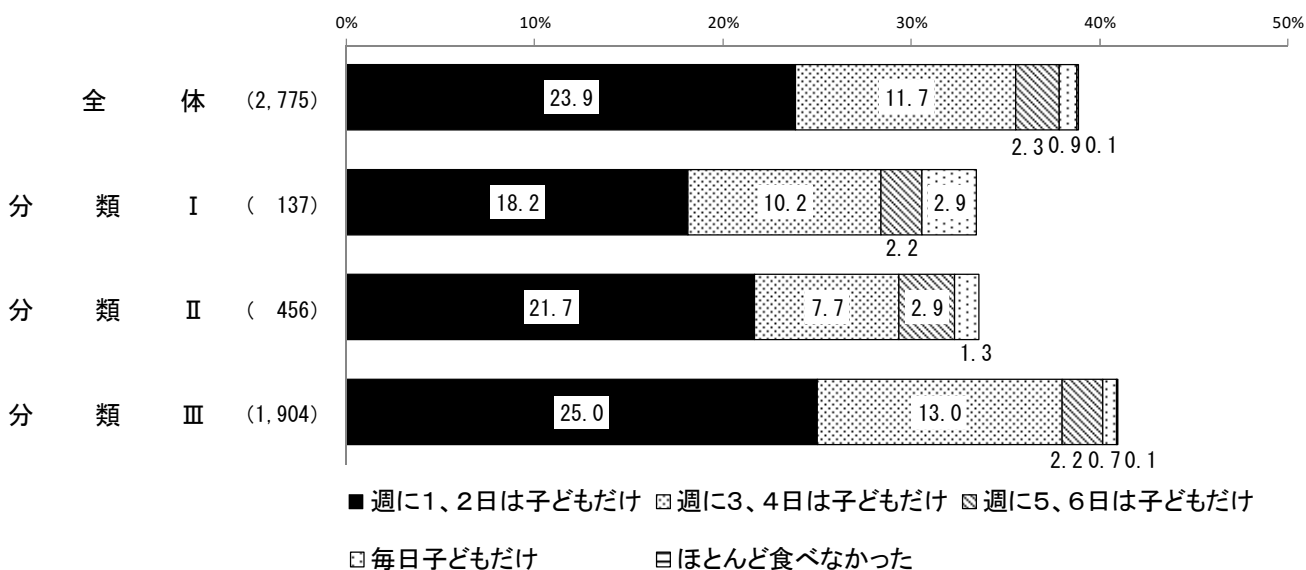
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-387】 食事の頻度（夕食）（中学2年生・世帯構成別）



中学2年生のいる世帯の保護者のうち、「週に1、2日は子どもだけ」、「週に3、4日は子どもだけ」、「週に5、6日は子どもだけ」、「毎日子どもだけ」、「ほとんど食べなかった」のいずれかの回答をした人の食事の頻度（夕食）を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

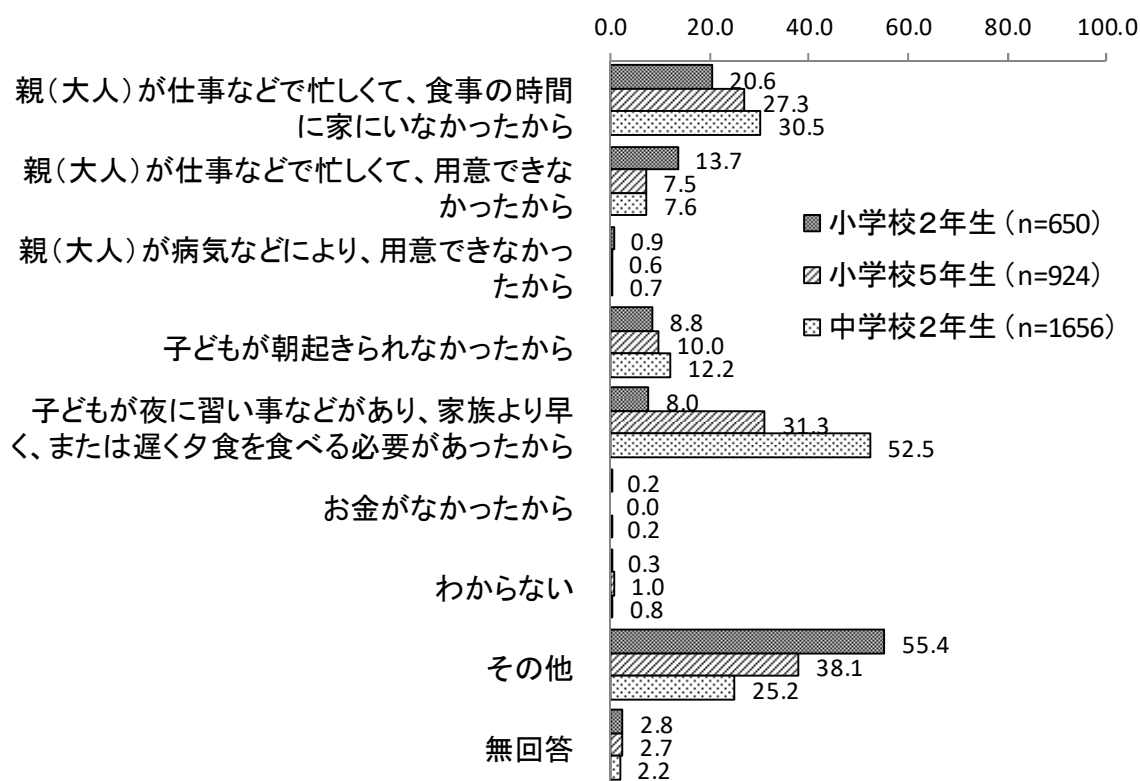
【図表 3-388】 食事の頻度（夕食）（中学2年生・所得分類別）



② 子どもの食事状況の理由【小学・問3-2・中学・問2-2】(MA)

週に1日以上お子さんだけで食事をすることがあると回答した方に、その理由を複数回答で聞いたところ、小学2年生のいる世帯の保護者は「親(大人)が仕事などで忙しくて、食事の時間に家にいなかったから」が20.6%と最も高く、次いで、「親(大人)が仕事などで忙しくて、用意できなかったから」(13.7%)、「子どもが朝起きられなかったから」(8.8%)となっている。小学5年生のいる世帯の保護者で「子どもが夜に習い事などがあり、家族より早く、または遅く夕食を食べる必要があるから」が31.3%と最も高く、次いで、「親(大人)が仕事などで忙しくて、食事の時間に家にいなかったから」(27.3%)、「子どもが朝起きられなかったから」(10.0%)となっている。中学2年生のいる世帯の保護者で「子どもが夜に習い事などがあり、家族より早く、または遅く夕食を食べる必要があるから」が52.5%と最も高く、次いで、「親(大人)が仕事などで忙しくて、食事の時間に家にいなかったから」(30.5%)、「子どもが朝起きられなかったから」(12.2%)となっている。

【図表 3-389】子どもだけで食事をする理由(複数回答)

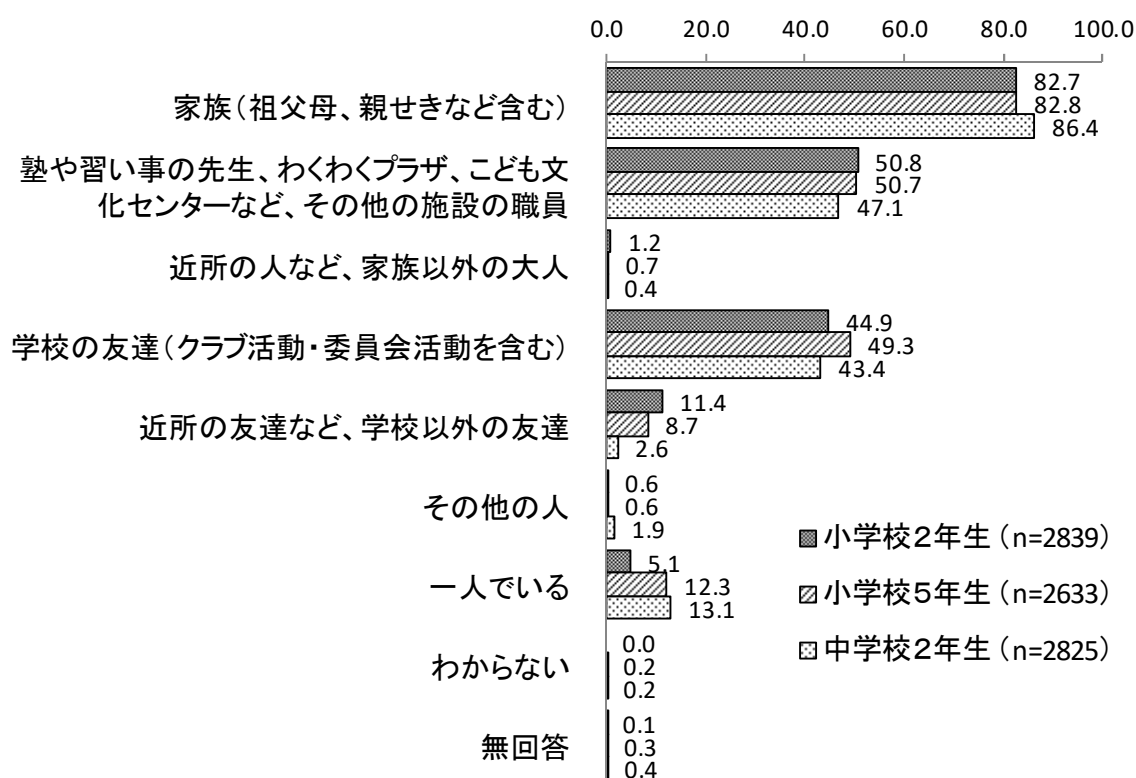


## ウ 子どもの平日放課後の過ごし方

### ① 子どもが放課後一緒に過ごす人【小学・問4a・中学・問3a】(MA)

子どもが放課後一緒に過ごす人を複数回答で聞いたところ、「家族(祖父母、親せきなどを含む)」(小学2年生:82.7%、小学5年生:82.8%、中学2年生:86.4%)が最も高く、次いで、「塾や習い事の先生、わくわくプラザ、子ども文化センターなど、その他の施設の職員」(小学2年生:50.8%、小学5年生:50.7%、中学2年生:47.1%)、「学校の友達(クラブ活動、委員会活動を含む)」(小学2年生:44.9%、小学5年生:49.3%、中学2年生:43.4%)となっている。

【図表 3-390】子どもが放課後一緒に過ごす人(複数回答)



小学2年生の子どもが放課後一緒に過ごす人を世帯構成別にみると、『ふたり親親族同居』で「家族（祖父母、親せきなどを含む）」が96.0%、『ひとり親親族同居』で「家族（祖父母、親せきなどを含む）」が93.3%「近所の友達など学校以外の友達」が26.7%とそれぞれ全体に比べて高くなっている。一方、『ふたり親親族同居』で「塾や習い事の先生、わくわくプラザ、こども文化センターなど、その他の施設の職員」が33.0%、『ひとり親核家族』で「家族（祖父母、親せきなどを含む）」が65.2%とそれぞれ全体に比べて低くなっている。

ふたり親核家族の就労状況別にみると、『専業主婦（夫）』で「家族（祖父母、親せきなどを含む）」が93.7%と全体に比べて高くなっている。一方、『専業主婦（夫）』で「塾や習い事の先生、わくわくプラザ、こども文化センターなど、その他の施設の職員」が39.0%と全体に比べて低くなっている。

ふたり親親族同居の就労状況別にみると、『共働き』で「家族（祖父母、親せきなどを含む）」が95.6%、『専業主婦（夫）』で「家族（祖父母、親せきなどを含む）」が96.9%、「近所の友達など学校以外の友達」が62.5%とそれぞれ全体に比べて高くなっている。一方、『共働き』で「塾や習い事の先生、わくわくプラザ、こども文化センターなど、その他の施設の職員」が35.3%、『専業主婦（夫）』で「塾や習い事の先生、わくわくプラザ、こども文化センターなど、その他の施設の職員」が28.1%とそれぞれ全体に比べて低くなっている。

所得分類別にみると、『分類Ⅱ』で「塾や習い事の先生、わくわくプラザ、こども文化センターなど、その他の施設の職員」が36.7%と全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-391】子どもが放課後一緒に過ごす人（複数回答）

（小学2年生・世帯構成別、ふたり親（核家族）の就労状況別、ふたり親（親族同居）の就労状況別、所得分類別）

		n	家族（祖父母、親せきなどを含む）	塾や習い事の先生、わくわくプラザ、こども文化センターなど、その他の施設の職員	近所の大人など、家族	学校の友達へクラブ活動・委員会活動を	近所の友達など、学校以外の友達	その他の人	一人である	わからない
全体		2,836	82.8	50.8	1.2	45.0	11.4	0.6	5.1	0.0
世帯構成	ふたり親核家族	2,569	83.0	51.8	1.3	45.2	11.4	0.6	5.1	0.0
	ふたり親親族同居	100	96.0	33.0	0.0	52.0	9.0	0.0	3.0	0.0
	ひとり親核家族	115	65.2	50.4	0.9	38.3	7.8	0.0	8.7	0.0
	ひとり親親族同居	30	93.3	46.7	0.0	40.0	26.7	3.3	3.3	0.0
核家族	ふたり親	1,786	78.4	57.3	1.3	43.2	10.4	0.7	7.0	0.0
	専業主婦（夫）	756	93.7	39.0	1.3	50.0	13.9	0.4	0.7	0.0
	その他（両方無職含む）	3	100.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
親族同居	ふたり親	68	95.6	35.3	0.0	47.1	7.4	0.0	4.4	0.0
	専業主婦（夫）	32	96.9	28.1	0.0	62.5	12.5	0.0	0.0	0.0
	その他（両方無職含む）	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
所得分類	分類Ⅰ	95	74.7	47.4	0.0	40.0	11.6	0.0	9.5	0.0
	分類Ⅱ	460	85.2	36.7	1.1	48.3	11.3	0.4	3.3	0.0
	分類Ⅲ	2,112	83.0	54.5	1.3	43.8	11.5	0.6	5.2	0.0

小学5年生の子どもが放課後一緒に過ごす人を世帯構成別にみると、『ふたり親親族同居』で「塾や習い事の先生、わくわくプラザ、こども文化センターなど、その他の施設の職員」が39.8%、『ひとり親核家族』で「家族（祖父母、親せきなどを含む）」が70.2%、「塾や習い事の先生、わくわくプラザ、こども文化センターなど、その他の施設の職員」が31.9%とそれぞれ全体に比べて低くなっている。

ふたり親核家族の就労状況別にみると、『専業主婦（夫）』で「家族（祖父母、親せきなどを含む）」が94.3%と全体に比べて高くなっている。

ふたり親親族同居の就労状況別にみると、『共働き』で「塾や習い事の先生、わくわくプラザ、こども文化センターなど、その他の施設の職員」が39.8%と全体に比べて低くなっている。

所得分類別にみると、『分類Ⅰ』で「塾や習い事の先生、わくわくプラザ、こども文化センターなど、その他の施設の職員」が19.4%、『分類Ⅱ』で「塾や習い事の先生、わくわくプラザ、こども文化センターなど、その他の施設の職員」が36.8%とそれぞれ全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-392】子どもが放課後一緒に過ごす人（複数回答）

（小学5年生・世帯構成別、ふたり親（核家族）の就労状況別、ふたり親（親族同居）の就労状況別、所得分類別）

		n	家族（祖父母、親せきなど含む）	塾や習い事の先生、わくわくプラザ、こども文化センターなど、その他の施設の職員	近所の大人など、家族	学校の友達へクラブ活動・委員会活動を	近所の友達など、学校以外の友達	その他の人	一人である	わからない
全 体		2,625	83.0	50.8	0.7	49.4	8.8	0.6	12.3	0.2
世帯構成	ふたり親核家族	2,300	83.3	52.9	0.7	49.5	8.7	0.7	12.1	0.2
	ふたり親親族同居	113	90.3	39.8	0.0	53.1	11.5	0.9	8.0	0.0
	ひとり親核家族	141	70.2	31.9	1.4	49.6	5.0	0.0	21.3	0.7
	ひとり親親族同居	46	87.0	45.7	0.0	39.1	15.2	0.0	6.5	0.0
核家族	ふたり親	1,727	80.0	53.6	0.6	50.1	8.7	0.6	15.1	0.2
	専業主婦（夫）	546	94.3	51.3	1.1	48.0	9.2	0.7	2.6	0.2
	その他（両方無職含む）	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
親族同居	ふたり親	83	90.4	39.8	0.0	51.8	12.0	1.2	8.4	0.0
	専業主婦（夫）	27	92.6	40.7	0.0	55.6	11.1	0.0	7.4	0.0
	その他（両方無職含む）	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
所得分類	分類Ⅰ	93	83.9	19.4	1.1	49.5	11.8	1.1	11.8	0.0
	分類Ⅱ	367	81.7	36.8	0.8	56.7	7.6	0.5	11.2	0.0
	分類Ⅲ	1,959	83.0	55.3	0.6	48.6	8.5	0.7	12.6	0.2



中学2年生の子どもが放課後一緒に過ごす人を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』で「家族(祖父母、親せきなどを含む)」が76.2%、「塾や習い事の先生、わくわくプラザ、こども文化センターなど、その他の施設の職員」が36.9%、『ひとり親親族同居』で「塾や習い事の先生、わくわくプラザ、こども文化センターなど、その他の施設の職員」が36.4%とそれぞれ全体に比べて低くなっている。

就労状況別にみると、大きな差はみられない。

所得分類別にみると、『分類Ⅰ』で「塾や習い事の先生、わくわくプラザ、こども文化センターなど、その他の施設の職員」が33.6%、『分類Ⅱ』で「塾や習い事の先生、わくわくプラザ、こども文化センターなど、その他の施設の職員」が34.9%とそれぞれ全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-393】子どもが放課後一緒に過ごす人(複数回答)

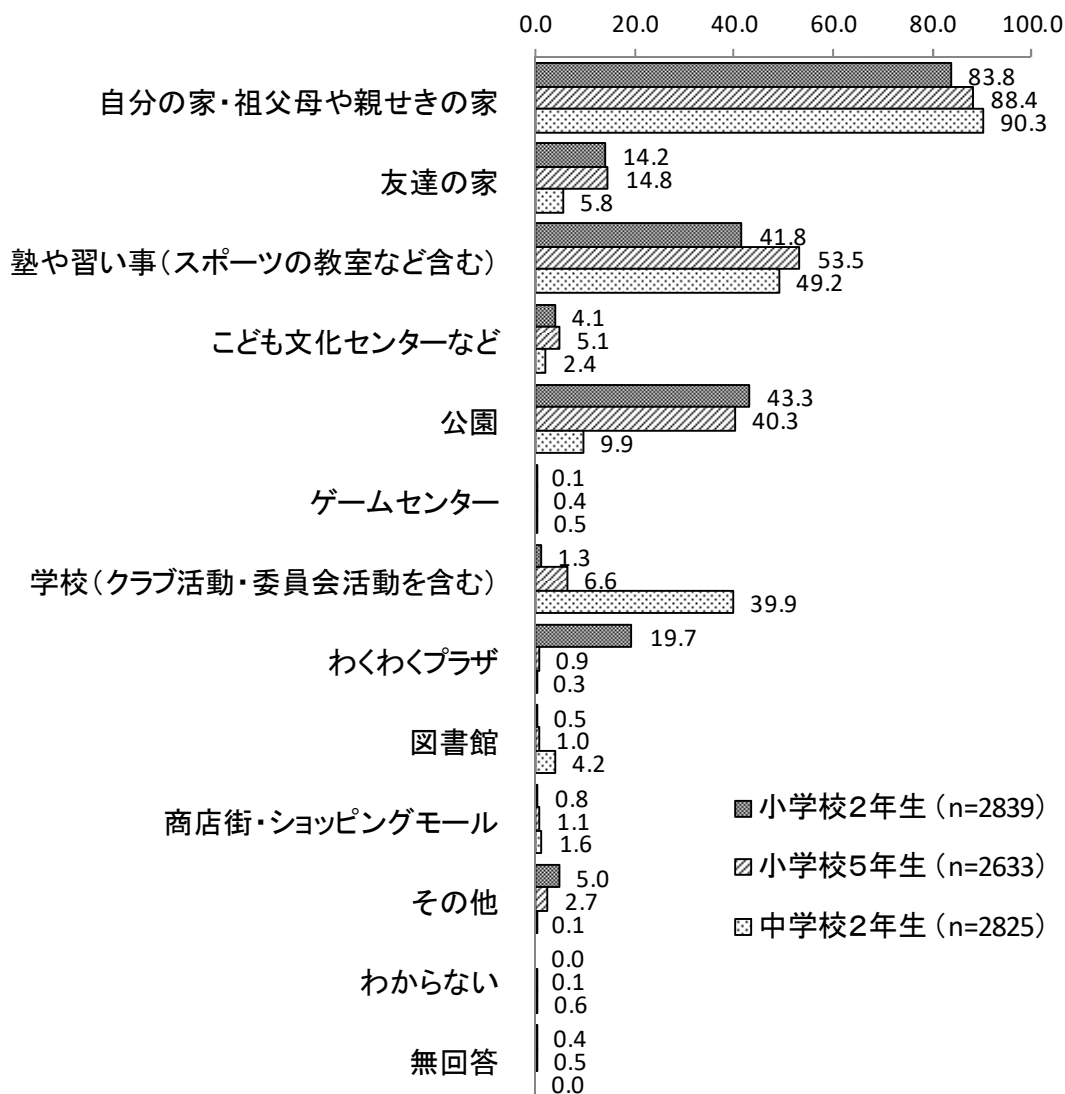
(中学2年生・世帯構成別、ふたり親(核家族)の就労状況別、ふたり親(親族同居)の就労状況別、所得分類別)

		n	家族(祖父母、親せきなどを含む)	塾や習い事の先生、その他施設の職員	近所の大人など、家族以外	学校の友達・先輩・後輩	近所の友達など、学校以外の友達	その他の人	一人である	わからない
全体		2,813	86.8	47.3	0.4	43.5	2.6	1.9	13.2	0.2
世帯構成	ふたり親核家族	2,347	87.7	48.7	0.4	43.8	2.6	1.8	12.4	0.2
	ふたり親親族同居	121	92.6	49.6	0.0	46.3	1.7	1.7	10.7	0.0
	ひとり親核家族	252	76.2	36.9	0.4	41.3	2.8	2.4	20.2	0.4
	ひとり親親族同居	44	90.9	36.4	0.0	40.9	4.5	0.0	15.9	0.0
核家族	ふたり親	1,890	86.6	48.6	0.3	44.7	2.9	1.9	14.1	0.1
	専業主婦(夫)	428	93.5	49.3	0.7	41.1	1.6	1.9	4.9	0.7
	その他(両方無職含む)	1	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
親族同居	ふたり親	103	91.3	53.4	0.0	48.5	1.9	1.9	10.7	0.0
	専業主婦(夫)	15	100.0	33.3	0.0	40.0	0.0	0.0	13.3	0.0
	その他(両方無職含む)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
所得分類	分類Ⅰ	140	84.3	33.6	1.4	40.7	3.6	2.9	9.3	1.4
	分類Ⅱ	464	85.6	34.9	0.9	40.7	2.2	1.9	12.9	0.2
	分類Ⅲ	1,926	87.1	51.8	0.2	45.4	2.8	1.8	13.6	0.1

② 子どもが放課後過ごす場所【小学・問4b・中学・問3b】(MA)

子どもが放課後過ごす場所を複数回答で聞いたところ、小学2年生のいる世帯の保護者で「自分の家・祖父母や親戚の家」が83.8%と最も高く、次いで、「公園」(43.3%)、「塾や習い事(スポーツの教室など含む)」(41.8%)となっている。小学5年生のいる世帯の保護者で「自分の家・祖父母や親せきの家」が88.4%と最も高く、次いで、「塾や習い事(スポーツの教室など含む)」(53.5%)、「公園」(40.3%)となっている。中学2年生のいる世帯の保護者で「自分の家・祖父母や親せきの家」が90.3%と最も高く、次いで、「塾や習い事(スポーツの教室など含む)」(49.2%)、「学校(クラブ活動・委員会活動を含む)」(39.9%)となっている。

【図表 3-394】子どもが放課後過ごす場所(複数回答)



小学2年生の子どもが放課後過ごす場所を世帯構成別にみると、『ふたり親親族同居』で「自分の家・祖父母や親せきの家」が96.0%、『ひとり親核家族』で「わくわくプラザ」が34.2%と全体に比べて高くなっている。一方、『ふたり親親族同居』で「塾や習い事（スポーツの教室など含む）」が31.3%、『ひとり親核家族』で「自分の家・祖父母や親せきの家」が67.5%、「塾や習い事（スポーツの教室など含む）」が24.6%とそれぞれ全体に比べて低くなっている。

ふたり親核家族の就労状況別にみると、『専業主婦（夫）』で「わくわくプラザ」が1.5%と全体に比べて低くなっている。

ふたり親親族同居の就労状況別にみると、『共働き』で「自分の家・祖父母や親せきの家」が97.0%、『専業主婦（夫）』で「公園」が62.5%とそれぞれ全体に比べて高くなっている。一方、『共働き』で「塾や習い事（スポーツの教室など含む）」が29.9%と全体に比べて低くなっている。

所得分類別にみると、『分類Ⅰ』で「塾や習い事（スポーツの教室など含む）」が29.5%、『分類Ⅱ』で「塾や習い事（スポーツの教室など含む）」が27.0%とそれぞれ全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-395】子どもが放課後過ごす場所（複数回答）

（小学2年生・世帯構成別、ふたり親（核家族）の就労状況別、ふたり親（親族同居）の就労状況別、所得分類別）

	n	親自 せきの 家の家 ・祖父 母や	友 達の 家	塾 や習 い事 （スポ ー ツの 教室 など 含む）	こ ども 文化 セン ター	公 園	ゲ ー ム セン ター	学 校 （ク ラ ブ 活 動・ 委 員 会 活 動 を 含 む）	わ く わ く プ ラ ザ	図 書 館	グ ラ ス モ ー ル ・ シ ョ ッ ピ ン	そ の 他	わ か ら な い	
全 体	2,827	84.2	14.2	42.0	4.1	43.4	0.1	1.3	19.8	0.5	0.8	5.0	0.0	
世帯 構成	ふたり親核家族	2,562	84.5	13.9	43.5	4.1	43.5	0.1	1.2	19.5	0.5	0.8	5.3	0.0
	ふたり親親族同居	99	96.0	21.2	31.3	6.1	49.5	0.0	4.0	10.1	0.0	1.0	1.0	0.0
	ひとり親核家族	114	67.5	14.0	24.6	2.6	39.5	0.0	0.9	34.2	0.0	0.0	1.8	0.0
	ひとり親親族同居	30	90.0	23.3	40.0	3.3	40.0	0.0	0.0	26.7	0.0	3.3	0.0	0.0
核家 族 ふた り親	共働き	1,782	80.5	14.3	43.4	4.2	40.5	0.2	1.4	27.1	0.4	0.7	6.3	0.0
	専業主婦（夫）	753	93.9	12.9	43.7	3.9	50.5	0.0	0.7	1.5	0.8	1.1	3.1	0.0
	その他（両方無職含む）	3	100.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
親 族 ふた り 同 居	共働き	67	97.0	20.9	29.9	7.5	43.3	0.0	3.0	14.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	専業主婦（夫）	32	93.8	21.9	34.4	3.1	62.5	0.0	6.3	0.0	0.0	3.1	3.1	0.0
	その他（両方無職含む）	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
所 得 分 類	分類Ⅰ	95	76.8	14.7	29.5	4.2	47.4	0.0	4.2	25.3	1.1	0.0	1.1	0.0
	分類Ⅱ	456	85.5	15.8	27.0	3.9	48.2	0.2	2.0	17.8	0.0	1.5	2.9	0.0
	分類Ⅲ	2,107	84.4	13.8	46.0	3.9	41.4	0.1	1.0	20.4	0.6	0.7	5.6	0.0

小学5年生の子どもが放課後過ごす場所を世帯構成別にみると、『ふたり親親族同居』で「塾や習い事（スポーツの教室など含む）」が40.7%、『ひとり親核家族』で「塾や習い事（スポーツの教室など含む）」が31.7%、『ひとり親親族同居』で「塾や習い事（スポーツの教室など含む）」が43.5%とそれぞれ全体に比べて低くなっている。

ふたり親核家族の就労状況別にみると、大きな差はみられない。

ふたり親親族同居の就労状況別にみると、『共働き』で「塾や習い事（スポーツの教室など含む）」が39.8%と全体に比べて低くなっている。

所得分類別にみると、『分類Ⅰ』で「塾や習い事（スポーツの教室など含む）」が24.7%、『分類Ⅱ』で「塾や習い事（スポーツの教室など含む）」が39.5%とそれぞれ全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-396】子どもが放課後過ごす場所（複数回答）

（小学5年生・世帯構成別ふたり親（核家族）の就労状況別、ふたり親（親族同居）の就労状況別、所得分類別）

		n	親 自 分 の 家 ・ 祖 父 母 や	友 達 の 家	塾 や 習 い 事 （ ス ポ ー ツ の 教 室 な ど 含 む ）	こ ど も 文 化 セ ン タ ー	公 園	ゲ ー ム セ ン タ ー	学 校 （ ク ラ ブ 活 動 ・ 委 員 会 活 動 を 含 む ）	わ く わ く プ ラ ザ	図 書 館	グ ラ ス モ ー ル ・ シ ョ ッ ピ ン	そ の 他	わ か ら な い
全	体	2,621	88.8	14.8	53.8	5.1	40.5	0.4	6.6	0.9	1.0	1.1	2.7	0.1
世 帯 構 成	ふたり親核家族	2,298	89.2	15.1	56.3	5.1	40.0	0.3	6.7	0.7	1.0	1.1	2.7	0.0
	ふたり親親族同居	113	91.2	18.6	40.7	3.5	43.4	1.8	9.7	1.8	0.9	0.0	5.3	0.0
	ひとり親核家族	139	81.3	10.1	31.7	7.2	43.9	0.7	3.6	0.7	1.4	1.4	1.4	0.7
	ひとり親親族同居	46	89.1	13.0	43.5	2.2	45.7	2.2	6.5	8.7	0.0	2.2	2.2	0.0
核 家 族	共働き	1,726	87.4	16.0	56.7	5.0	40.4	0.2	6.8	0.9	0.8	1.0	2.8	0.1
	専業主婦（夫）	545	95.0	12.8	55.6	5.9	38.7	0.6	6.6	0.0	1.7	1.5	2.6	0.0
	その他（両方無職含む）	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
親 族 同 居	共働き	83	91.6	16.9	39.8	2.4	43.4	2.4	7.2	2.4	1.2	0.0	6.0	0.0
	専業主婦（夫）	27	92.6	22.2	44.4	7.4	44.4	0.0	18.5	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0
	その他（両方無職含む）	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
所 得 分 類	分類Ⅰ	93	87.1	16.1	24.7	1.1	48.4	2.2	9.7	2.2	2.2	4.3	1.1	0.0
	分類Ⅱ	367	89.4	18.8	39.5	7.9	48.2	0.5	5.7	2.5	0.0	1.4	1.9	0.0
	分類Ⅲ	1,957	88.7	14.1	58.5	4.6	38.8	0.3	6.7	0.6	1.0	0.8	2.9	0.1

中学2年生の子どもが放課後過ごす場所を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』で「塾や習い事（スポーツの教室など含む）」が38.5%、「学校（部活動を含む）」が28.2%、『ひとり親親族同居』で「塾や習い事（スポーツの教室など含む）」が34.1%、「学校（部活動を含む）」が27.3%とそれぞれ全体に比べて低くなっている。

就労状況別にみると、大きな差はみられない。

所得分類別にみると、『分類Ⅰ』で「塾や習い事（スポーツの教室など含む）」が34.5%、『分類Ⅱ』で「塾や習い事（スポーツの教室など含む）」が35.6%とそれぞれ全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-397】子どもが放課後過ごす場所（複数回答）

（中学2年生・世帯構成別、ふたり親（核家族）の就労状況別、ふたり親（親族同居）の就労状況別、所得分類別）

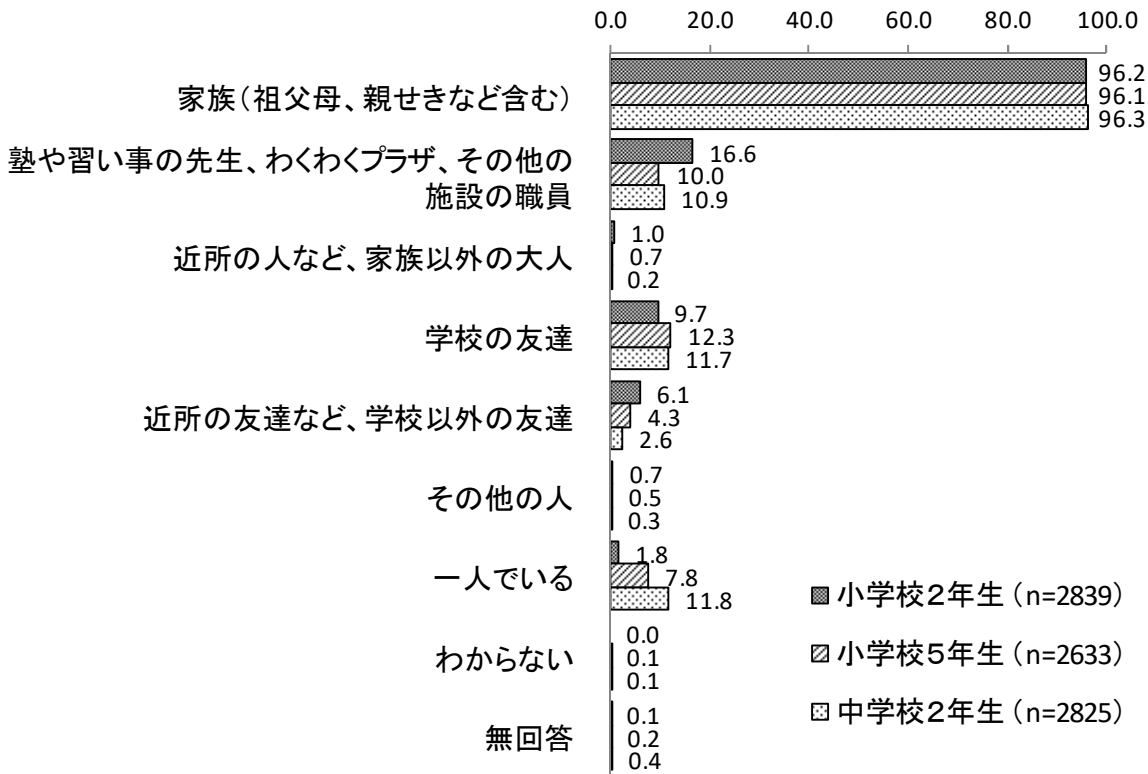
		n	親自 せきの 家・祖 父母 や	友 達の 家	塾 や 習 い 事 （ ス ポ ー ツ の 教 室 な ど 含 む ）	こ ど も も 文 化 セ ン タ ー	公 園	ゲ ー ム セ ン タ ー	学 校 （ 部 活 動 を 含 む ）	図 書 館	商 店 街 ・ シ ョ ッ ピ ン	そ の 他	わ か ら な い
全	体	2,808	90.9	5.8	49.5	2.4	10.0	0.5	40.1	0.3	4.2	1.6	0.1
世 帯 構 成	ふたり親核家族	2,343	91.3	5.4	51.0	2.2	9.5	0.5	41.6	0.3	3.9	1.6	0.1
	ふたり親親族同居	121	94.2	5.0	52.1	1.7	14.0	0.8	44.6	0.0	7.4	2.5	0.0
	ひとり親核家族	252	84.9	9.5	38.5	4.8	12.7	0.4	28.2	0.0	5.2	1.6	0.4
	ひとり親親族同居	44	95.5	11.4	34.1	0.0	6.8	0.0	27.3	0.0	6.8	2.3	0.0
核 家 族	ふたり親 共働き	1,887	90.6	5.6	51.0	2.4	9.5	0.5	42.0	0.2	4.0	1.6	0.1
	専業主婦（夫）	428	94.6	4.2	51.2	1.4	9.6	0.2	40.7	0.7	4.0	1.6	0.5
	その他（両方無職含む）	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
親 族 同 居	ふたり親 共働き	103	94.2	5.8	56.3	1.9	13.6	1.0	47.6	0.0	5.8	2.9	0.0
	専業主婦（夫）	15	93.3	0.0	33.3	0.0	20.0	0.0	26.7	0.0	20.0	0.0	0.0
	その他（両方無職含む）	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
所 得 分 類	分類Ⅰ	139	88.5	7.2	34.5	2.2	11.5	0.7	30.9	0.0	5.0	0.0	1.4
	分類Ⅱ	464	90.3	7.5	35.6	1.9	10.8	0.4	36.0	0.2	5.4	1.1	0.2
	分類Ⅲ	1,924	90.7	5.4	54.8	2.3	9.8	0.5	43.2	0.3	4.2	1.9	0.0

エ 子どものコロナ禍に伴う学校休校時の過ごし方

① コロナ禍で子どもと一緒に過ごした人【小学・問5a・中学・問4a】(MA)

コロナ禍で子どもと一緒に過ごした人を複数回答で聞いたところ、小学2年生のいる世帯の保護者で「家族(祖父母、親せきなどを含む)」が96.2%と最も高く、次いで、「塾や習い事の先生、わくわくプラザ、子ども文化センターなど、その他の施設の職員」(16.6%)、「学校の友達」(9.7%)となっている。小学5年生のいる世帯の保護者で「家族(祖父母、親せきなどを含む)」が96.1%と最も高く、次いで、「学校の友達」(12.3%)、「塾や習い事の先生、わくわくプラザ、子ども文化センターなど、その他の施設の職員」(10.0%)となっている。中学2年生のいる世帯の保護者で「家族(祖父母、親せきなどを含む)」が96.3%と最も高く、次いで、「一人である」(11.8%)、「学校の友達」(11.7%)となっている。

【図表 3-398】 コロナ禍で子どもと一緒に過ごした人(複数回答)



コロナ禍で小学校2年生の子どもと一緒に過ごした人を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

ふたり親核家族の就労状況別にみると、『専業主婦（夫）』で「塾や習い事の先生、わくわくプラザ、その他の施設の職員」が5.7%と全体に比べて低くなっている。

ふたり親親族同居の就労状況別にみると、『専業主婦（夫）』で「塾や習い事の先生、わくわくプラザ、その他の施設の職員」が3.1%と全体に比べて低くなっている。

所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-399】コロナ禍で子どもと一緒に過ごした人（複数回答）

（小学2年生・世帯構成別、ふたり親（核家族）の就労状況別、ふたり親（親族同居）の就労状況別、所得分類別）

		n	家族（祖父母、親せきなど含む）	塾や習い事の先生、その他の施設の職員	近所の大人など、家族	学校の友達	近所の友達など、学校以外の友達	その他の人	一人である	わからない	
全体		2,835	96.4	16.6	1.0	9.7	6.1	0.7	1.8	0.0	
世帯構成	ふたり親核家族	2,568	96.6	16.6	0.9	9.8	6.3	0.8	1.7	0.0	
	ふたり親親族同居	100	100.0	10.0	0.0	9.0	7.0	0.0	1.0	0.0	
	ひとり親核家族	115	87.8	26.1	0.9	9.6	0.9	0.0	2.6	0.0	
	ひとり親親族同居	30	96.7	16.7	6.7	10.0	6.7	0.0	3.3	0.0	
核家族	ふたり親	共働き	1,784	95.2	21.3	1.1	10.3	6.3	1.0	2.4	0.0
	専業主婦（夫）	757	99.9	5.7	0.7	8.6	6.5	0.3	0.1	0.0	
	その他（両方無職含む）	3	100.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
親族同居	ふたり親	共働き	68	100.0	13.2	0.0	10.3	5.9	0.0	1.5	0.0
	専業主婦（夫）	32	100.0	3.1	0.0	6.3	9.4	0.0	0.0	0.0	
	その他（両方無職含む）	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
所得分類	分類Ⅰ	95	88.4	18.9	2.1	5.3	4.2	0.0	4.2	0.0	
	分類Ⅱ	459	97.8	12.0	0.4	9.4	7.2	0.9	1.5	0.0	
	分類Ⅲ	2,111	96.4	17.6	1.0	10.0	6.0	0.7	1.7	0.0	

コロナ禍で小学校5年生の子どもと一緒に過ごした人を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』で「一人である」が18.4%と全体に比べて高くなっている。一方、『ひとり親核家族』で「家族（祖父母、親せきなどを含む）」が85.1%と全体に比べて低くなっている。

就労状況別、所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-400】コロナ禍で子どもと一緒に過ごした人（複数回答）

（小学5年生・世帯構成別、ふたり親（核家族）の就労状況別、ふたり親（親族同居）の就労状況別、所得分類別）

		n	家族（祖父母、親せきなどを含む）	塾や習い事の先生、その他のお施すの職員、その他	近所の大人など、家族	学校の友達	近所の友達など、学校以外の友達	その他の人	一人である	わからない
全 体		2,627	96.3	10.0	0.7	12.3	4.3	0.5	7.8	0.1
世帯構成	ふたり親核家族	2,302	96.9	10.4	0.7	12.4	4.5	0.5	7.3	0.0
	ふたり親親族同居	113	98.2	8.0	0.9	9.7	4.4	0.9	7.1	0.0
	ひとり親核家族	141	85.1	6.4	0.7	13.5	1.4	1.4	18.4	1.4
	ひとり親親族同居	46	95.7	13.0	0.0	13.0	2.2	0.0	6.5	0.0
核家族	ふたり親	1,728	96.0	11.1	0.6	12.7	4.3	0.6	9.4	0.0
	親	546	99.6	7.9	0.9	11.5	5.1	0.0	0.9	0.0
	同居親	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
親族同居	ふたり親	83	97.6	8.4	1.2	12.0	6.0	1.2	7.2	0.0
	親	27	100.0	7.4	0.0	3.7	0.0	0.0	7.4	0.0
	同居親	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
所得分類	分類Ⅰ	93	96.8	4.3	2.2	8.6	4.3	0.0	6.5	0.0
	分類Ⅱ	367	94.6	7.6	0.8	12.0	3.5	0.8	8.7	0.0
	分類Ⅲ	1,960	96.5	10.8	0.6	12.6	4.3	0.5	8.0	0.1



コロナ禍で中学校2年生の子どもと一緒に過ごした人を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』で「一人である」が23.8%と全体に比べて高くなっている。

就労状況別、所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-401】コロナ禍で子どもと一緒に過ごした人（複数回答）

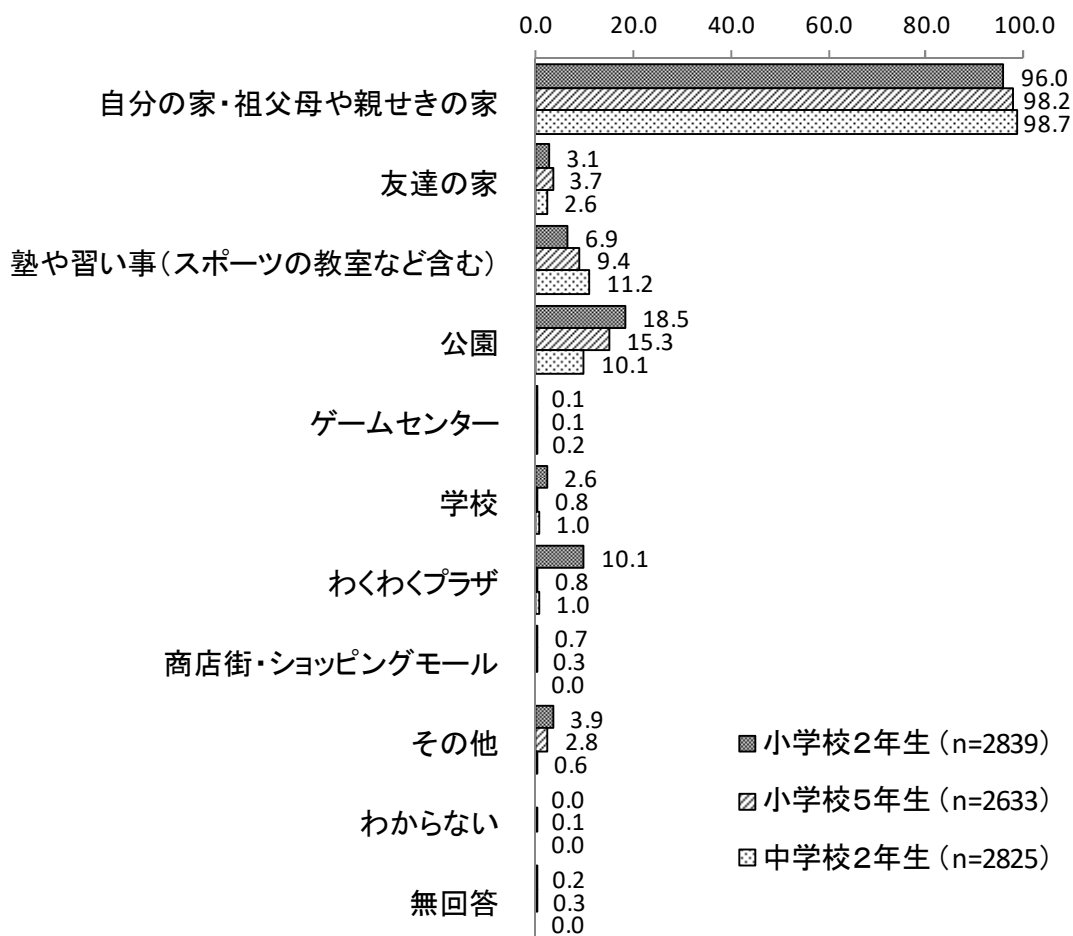
（中学2年生・世帯構成別、ふたり親（核家族）の就労状況別、ふたり親（親族同居）の就労状況別、所得分類別）

		n	家族（祖父母、親せきなど含む）	塾や習い事の先生、その他の施設職員	近所の大人など、家族以外の人	学校の友達・先輩・後輩	近所の友達など、学校以外の友達	その他の人	一人である	わからない
全 体		2,813	96.7	10.9	0.2	11.7	2.6	0.3	11.9	0.1
世帯構成	ふたり親核家族	2,347	97.7	11.1	0.2	11.9	2.7	0.3	10.4	0.1
	ふたり親親族同居	121	99.2	10.7	0.0	9.9	2.5	0.0	9.1	0.0
	ひとり親核家族	252	86.9	9.1	0.0	12.7	2.8	0.0	23.8	0.0
	ひとり親親族同居	44	97.7	15.9	0.0	6.8	0.0	0.0	11.4	0.0
核家族	ふたり親	1,891	97.3	11.3	0.2	12.5	2.7	0.3	12.0	0.1
	共働き	428	99.5	10.7	0.2	9.8	3.0	0.2	3.3	0.2
	専業主婦（夫）	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
親族同居	ふたり親	103	99.0	12.6	0.0	10.7	2.9	0.0	8.7	0.0
	共働き	15	100.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	13.3	0.0
	専業主婦（夫）	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
所得分類	分類Ⅰ	139	92.8	10.1	0.7	10.8	2.9	0.0	11.5	0.7
	分類Ⅱ	464	95.7	8.2	0.0	10.3	1.7	0.0	13.4	0.2
	分類Ⅲ	1,926	97.3	11.8	0.2	12.4	2.8	0.4	11.6	0.1

② コロナ禍に子どもが過ごした場所【小学・問5b・中学・問4b】(MA)

コロナ禍に子どもが過ごした場所を複数回答で聞いたところ、小学2年生のいる世帯の保護者で「自分の家・祖父母や親せきの家」が96.0%と最も高く、次いで、「公園」(18.5%)、「わくわくプラザ」(10.1%)となっている。小学5年生のいる世帯の保護者で「自分の家・祖父母や親せきの家」が98.2%と最も高く、次いで、「公園」(15.3%)、「塾や習い事(スポーツの教室など含む)」(9.4%)となっている。中学2年生のいる世帯の保護者で「自分の家・祖父母や親せきの家」が98.7%と最も高く、次いで、「塾や習い事(スポーツの教室など含む)」(11.2%)、「公園」(10.1%)となっている。

【図表 3-402】 コロナ禍に子どもが過ごした場所



コロナ禍に小学2年生の子どもが過ごした場所を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』で「自分の家・祖父母や親せきの家」が85.2%と全体に比べて低くなっている。

就労状況別、所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-403】コロナ禍に子どもが過ごした場所（複数回答）

（小学2年生・世帯構成別、ふたり親（核家族）の就労状況別、ふたり親（親族同居）の就労状況別、所得分類別）

		n	親自 せきの 家・ 祖父 母や	友 達の 家	塾や 習い 事（ スポ ー ツの 教室 など 含む）	公 園	ゲ ー ム セ ン タ ー	学 校	わ く わ く プ ラ ザ	グ ラ ス モ ー ル ・ シ ョ ッ ピ ン
全 体		2,833	96.2	3.1	6.9	18.6	0.1	2.6	10.2	0.7
世 帯 構 成	ふたり親核家族	2,567	96.5	3.1	6.9	19.0	0.1	2.7	10.0	0.7
	ふたり親親族同居	99	100.0	4.0	7.1	19.2	0.0	0.0	4.0	2.0
	ひとり親核家族	115	85.2	2.6	6.1	12.2	0.0	3.5	19.1	0.0
	ひとり親親族同居	30	100.0	6.7	10.0	16.7	0.0	6.7	13.3	0.0
核 家 族	ふたり親 共働き	1,784	95.4	3.5	7.7	17.8	0.0	3.8	14.2	0.5
	専業主婦（夫）	756	99.1	2.2	5.3	22.0	0.4	0.1	0.3	1.1
	その他（両方無職含む）	3	100.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
親 族 同 居	ふたり親 共働き	67	100.0	3.0	9.0	20.9	0.0	0.0	6.0	1.5
	専業主婦（夫）	32	100.0	6.3	3.1	15.6	0.0	0.0	0.0	3.1
	その他（両方無職含む）	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
所 得 分 類	分類Ⅰ	95	91.6	1.1	5.3	15.8	0.0	2.1	15.8	0.0
	分類Ⅱ	458	96.9	4.4	4.6	17.2	0.0	2.0	8.5	1.5
	分類Ⅲ	2,111	96.3	2.9	7.4	19.1	0.1	2.9	10.3	0.5

コロナ禍に小学5年生の子どもが過ごした場所を世帯構成別、就労状況別、所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-404】コロナ禍に子どもが過ごした場所（複数回答）

（小学5年生・世帯構成別、ふたり親（核家族）の就労状況別、ふたり親（親族同居）の就労状況別、所得分類別）

		n	親 自 分 の 家 ・ 祖 父 母 や	友 達 の 家	塾 や 習 い 事 （ ス ポ ー ツ の 教 室 な ど 含 む）	公 園	ゲ ー ム セ ン タ ー	学 校	わ く わ く プ ラ ザ	グ モ ー ル ・ シ ョ ッ ピ ン	そ の 他	わ か ら な い
全 体		2,624	98.5	3.7	9.5	15.3	0.1	0.8	0.8	0.3	2.8	0.1
世 帯 構 成	ふたり親核家族	2,300	98.7	3.7	9.6	15.9	0.0	0.7	0.8	0.2	2.7	0.0
	ふたり親親族同居	113	96.5	1.8	8.8	11.5	0.0	1.8	1.8	0.0	5.3	0.0
	ひとり親核家族	140	97.1	4.3	7.1	11.4	0.7	0.7	0.7	0.7	3.6	1.4
	ひとり親親族同居	46	95.7	6.5	13.0	10.9	4.3	4.3	0.0	4.3	2.2	0.0
核 家 族	ふたり親 共働き	1,728	98.4	3.8	10.1	15.7	0.0	0.8	1.0	0.2	2.8	0.0
	ふたり親 専業主婦（夫）	545	99.6	3.9	7.7	16.3	0.0	0.4	0.2	0.0	2.4	0.0
	ふたり親 その他（両方無職含む）	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
親 族 同 居	ふたり親 共働き	83	95.2	2.4	8.4	14.5	0.0	2.4	2.4	0.0	7.2	0.0
	ふたり親 専業主婦（夫）	27	100.0	0.0	11.1	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ふたり親 その他（両方無職含む）	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
所 得 分 類	分類Ⅰ	93	98.9	4.3	3.2	11.8	1.1	0.0	1.1	1.1	3.2	0.0
	分類Ⅱ	367	98.4	4.1	6.8	16.6	0.5	1.1	2.2	0.8	2.2	0.0
	分類Ⅲ	1,959	98.5	3.5	10.3	15.3	0.0	0.8	0.6	0.1	2.9	0.1

コロナ禍に中学2年生の子どもが過ごした場所を世帯構成別、就労状況別、所得分類別にみると、大きな差はみられない

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 3-405】コロナ禍に子どもが過ごした場所（複数回答）

（中学2年生・世帯構成別、ふたり親（核家族）の就労状況別、ふたり親（親族同居）の就労状況別、所得分類別）

		n	親自 せきの の家 ・ 祖父 母や	友 達の 家	ツ 塾 や 習 い 事 （ スポ ー ）	公 園	ゲ ー ム セ ン タ ー	グ モ ー ル ・ シ ョ ッ ピ ン	そ の 他	わ か ら な い
全	体	2,809	99.2	2.6	11.3	10.1	0.2	1.0	1.0	0.0
世 帯 構 成	ふたり親核家族	2,344	99.3	2.7	11.6	10.5	0.3	0.9	1.0	0.0
	ふたり親親族同居	121	99.2	1.7	9.9	8.3	0.0	1.7	1.7	0.0
	ひとり親核家族	251	98.4	3.2	9.6	9.2	0.0	1.6	0.8	0.0
	ひとり親親族同居	44	100.0	2.3	11.4	0.0	0.0	2.3	2.3	0.0
核 家 族	ふたり親 共働き	1,890	99.2	2.8	11.7	11.0	0.3	0.9	1.0	0.0
	ふたり親 専業主婦（夫）	426	99.5	2.1	11.5	9.2	0.0	0.7	0.9	0.2
	ふたり親 その他（両方無職含む）	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
親 族 同 居	ふたり親 共働き	103	99.0	1.9	11.7	8.7	0.0	1.0	1.9	0.0
	ふたり親 専業主婦（夫）	15	100.0	0.0	0.0	6.7	0.0	6.7	0.0	0.0
	ふたり親 その他（両方無職含む）	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
所 得 分 類	分類Ⅰ	138	97.8	2.2	10.1	8.0	0.0	0.0	0.7	0.7
	分類Ⅱ	464	99.6	2.6	9.3	8.6	0.2	1.3	1.1	0.0
	分類Ⅲ	1,923	99.3	2.7	12.1	10.6	0.2	0.8	0.9	0.0



## 第4章 小学生・中学生に関する調査結果





## 第4章 小学生・中学生に関する調査結果

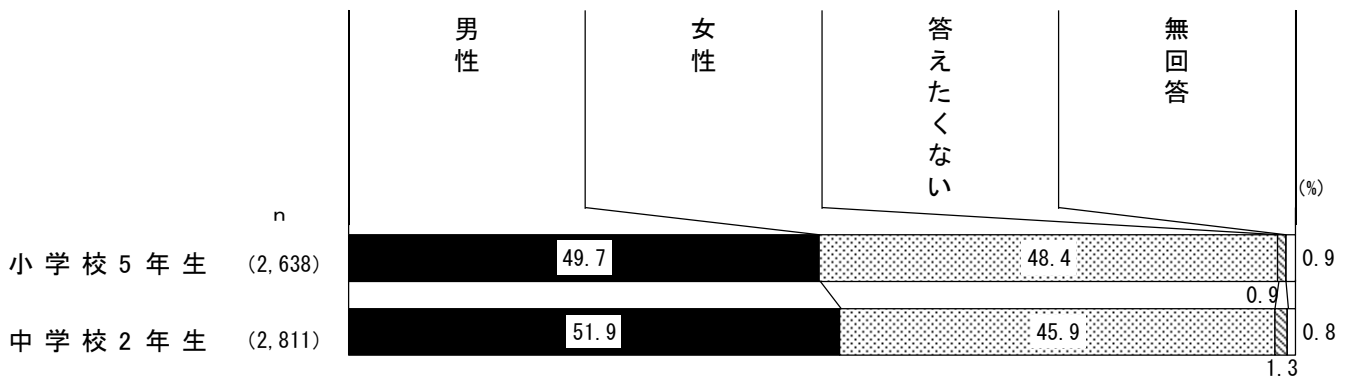
### 第1節 子どもの属性

#### (1) 子どもの属性

##### ア 性別【小学・問1・中学・問1】(SA)

性別を聞いたところ、小学5年生では「男性」が49.7%、「女性」が48.4%となっている。  
 中学2年生では「男性」が51.9%、「女性」が45.9%となっている。

【図表 4-1】性別

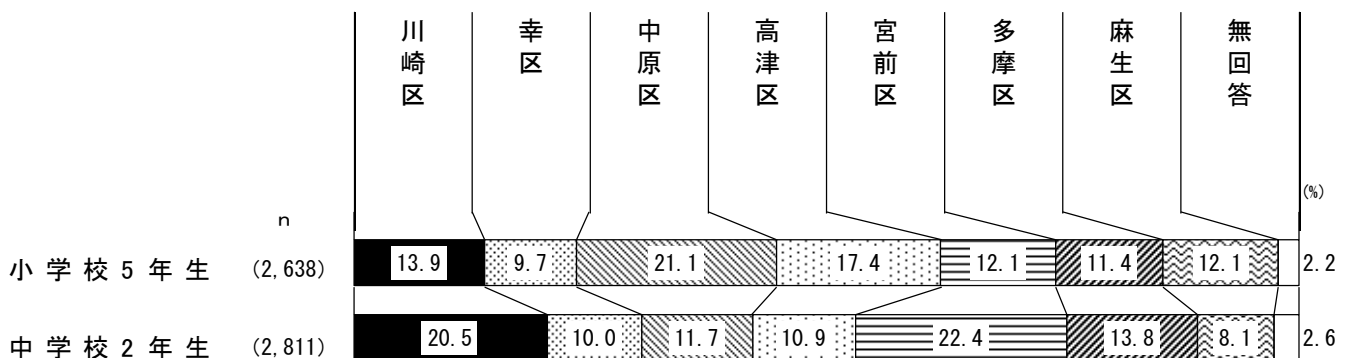


##### イ 居住地区【小学・問1・中学・問1】(SA)

居住地区を聞いたところ、小学5年生では「中原区」が21.1%で最も高く、次いで「高津区」が17.4%、「川崎区」が13.9%となっている。

中学2年生では「宮前区」が22.4%で最も高く、次いで「川崎区」が20.5%、「多摩区」が13.8%となっている。

【図表 4-2】居住地区



## 第2節 子どもの日常生活

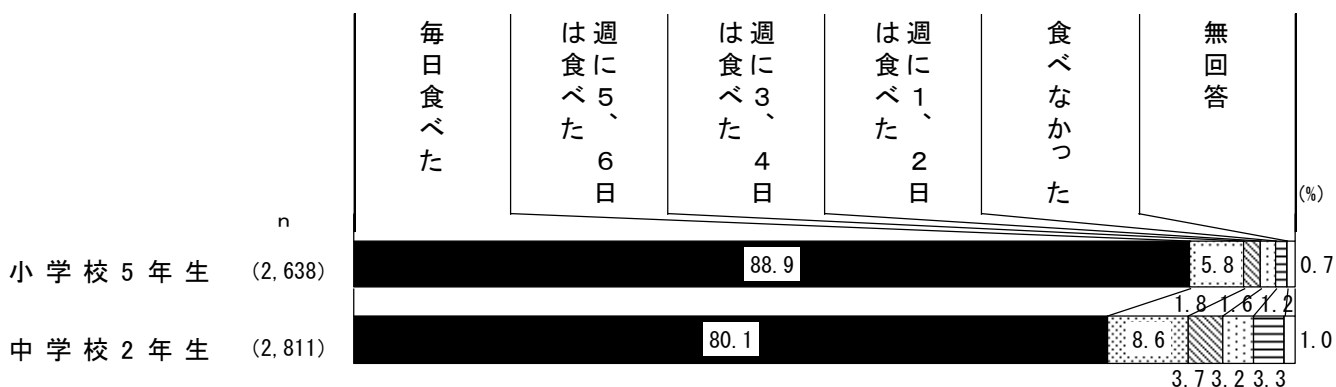
### (1) 基本的生活習慣

#### ア 食事状況

#### ① 食事の頻度【小学・問11・中学・問11】(SA)と食事をとっていない理由【小学・問12・中学・問12】(MA)

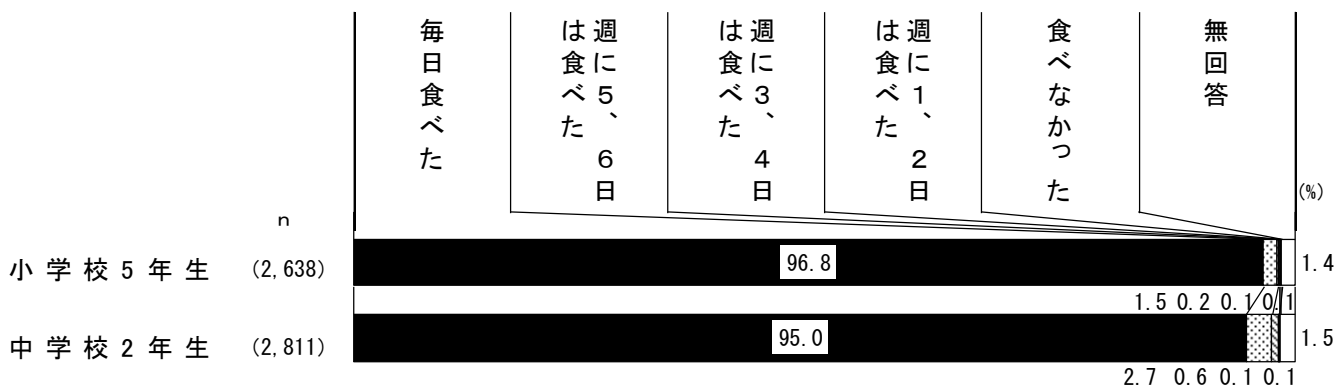
食事の頻度を聞いたところ、『朝ごはん』では「毎日食べた」(小学5年生:88.9%、中学2年生:80.1%)が最も高く、次いで、「週に5、6日は食べた」(小学5年生:5.8%、中学2年生:8.6%)、「週に3、4日食べた」(小学5年生:1.8%、中学2年生:3.7%)となっている。

【図表 4-3】食事の頻度 (朝ごはん)



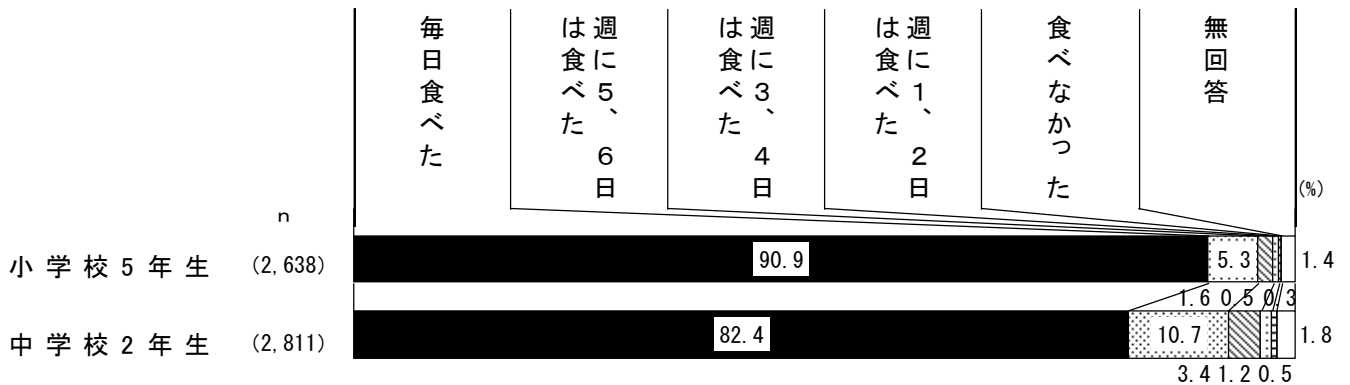
『夕ごはん』では「毎日食べた」(小学5年生:96.8%、中学2年生:95.0%)が最も高く、次いで、「週に5、6日は食べた」(小学5年生:1.5%、中学2年生:2.7%)、「週に3、4日食べた」(小学5年生:0.2%、中学2年生:0.6%)となっている。

【図表 4-4】食事の頻度 (夕ごはん)



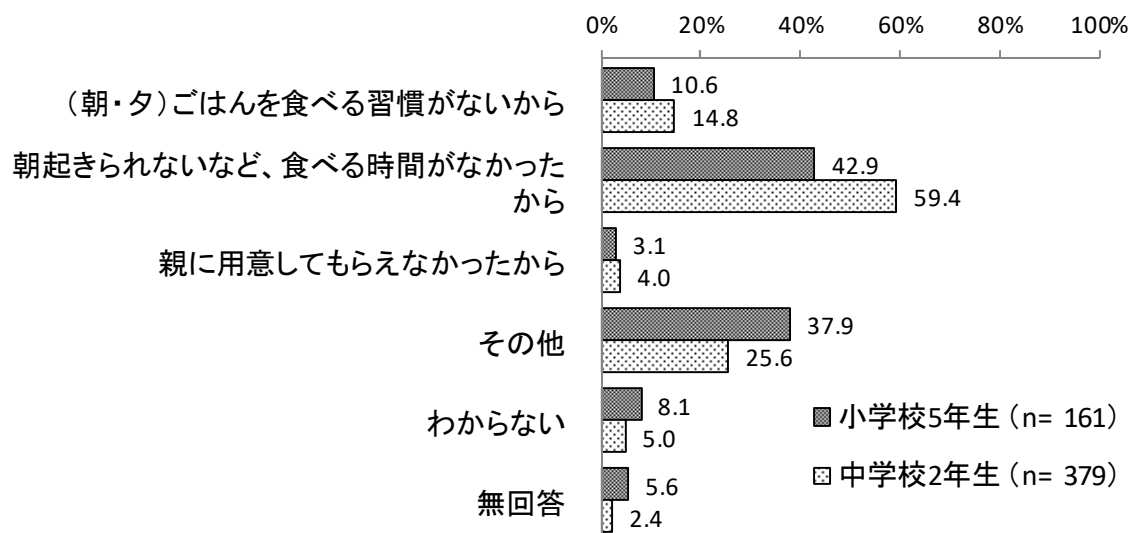
『夏休みのお昼ごはん』では「毎日食べた」（小学5年生:90.9%、中学2年生:82.4%）が最も高く、次いで、「週に5、6日は食べた」（小学5年生:5.3%、中学2年生:10.7%）、「週に3、4日食べた」（小学5年生:1.6%、中学2年生:3.4%）となっている。

【図表 4-5】 食事の頻度（夏休みのお昼ごはん）



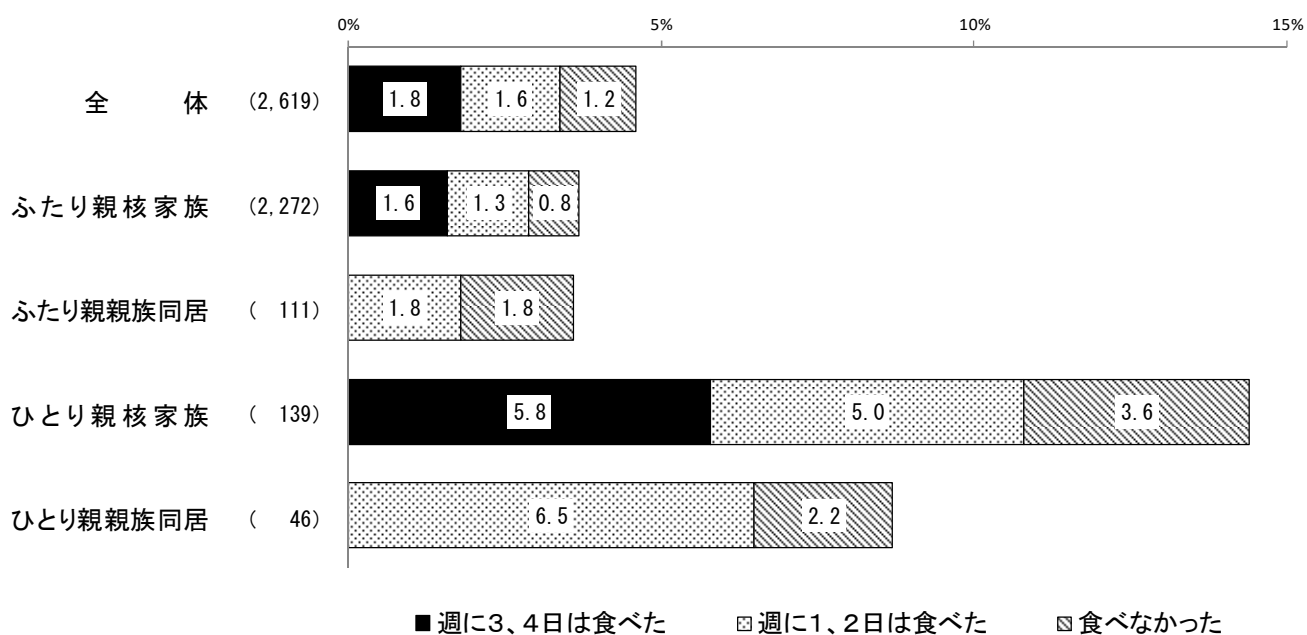
朝食、夕食、夏休みの昼食を一つでも「週に3、4日は食べた」、「週に1、2日は食べた」、「食べなかった」と回答した方に、食事をとっていない理由を複数回答で聞いたところ、「朝起きられないなど、食べる時間がなかったから」（小学5年生:42.9%、中学2年生:59.4%）が最も高く、次いで、「（朝・夕）ごはんを食べる習慣がないから」（小学5年生:10.6%、中学2年生:14.8%）、「親に用意してもらえなかったから」（小学5年生:3.1%、中学2年生:4.0%）となっている。

【図表 4-6】 食事をとっていない理由（複数回答）



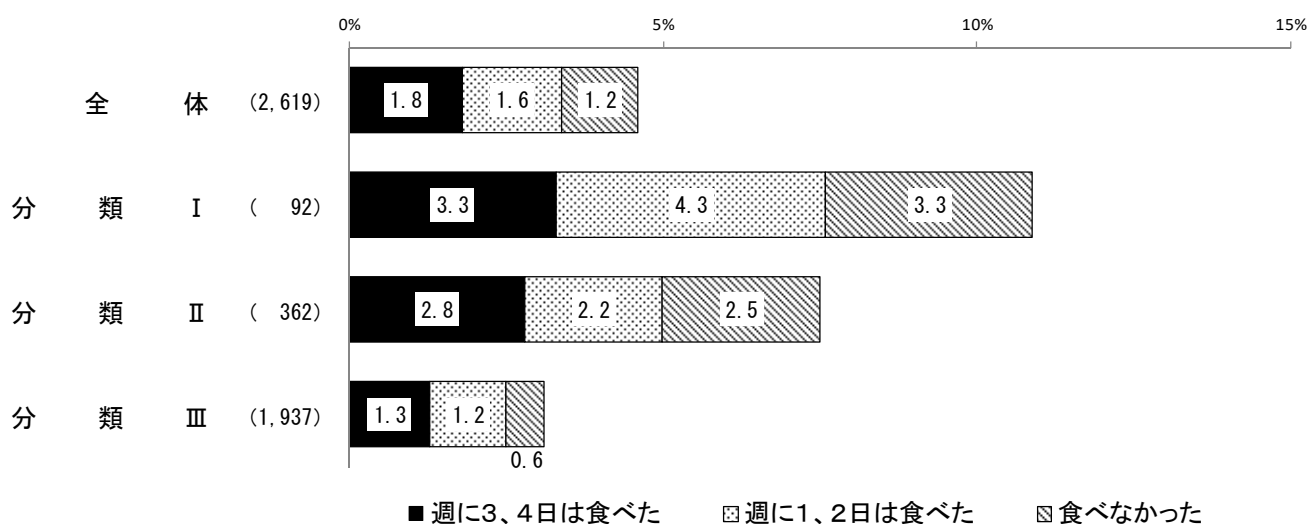
小学5年生の「朝ごはん」の食事頻度を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-7】朝ごはんの食事頻度（小学5年生・世帯構成別）



小学5年生の「朝ごはん」の食事頻度を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

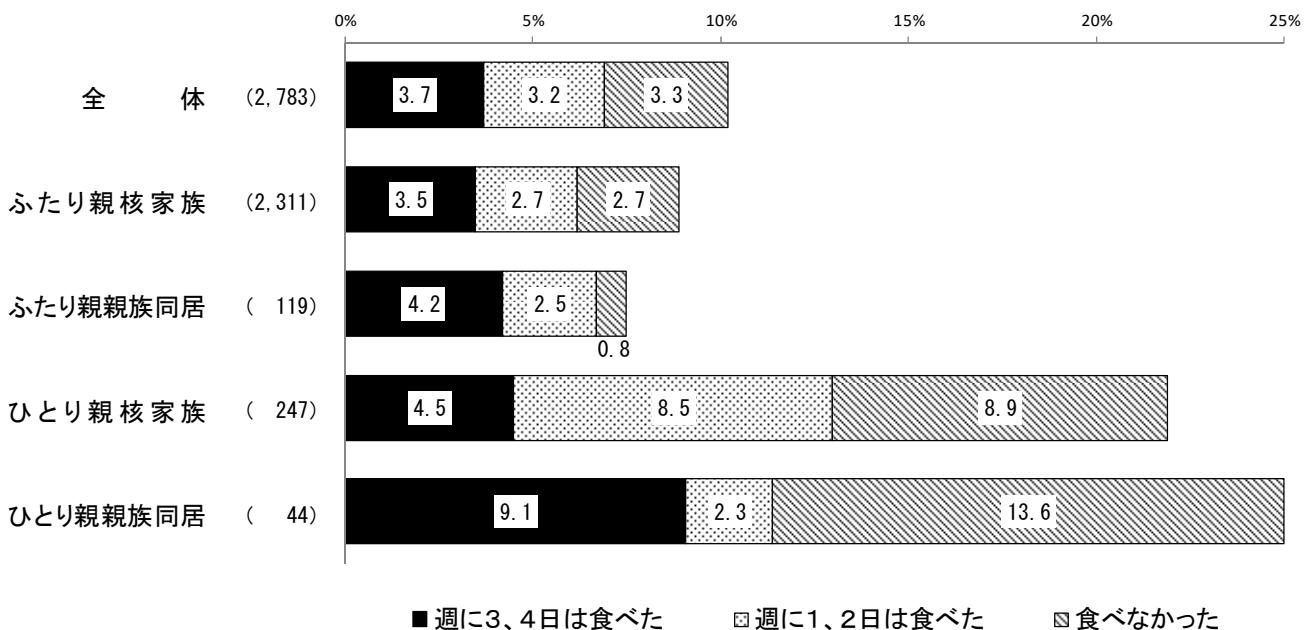
【図表 4-8】朝ごはんの食事頻度（小学5年生・所得分類別）



中学2年生の「朝ごはん」の食事頻度を世帯構成別にみると、『ひとり親親族同居』で「食べなかった」が13.6%と全体に比べて高くなっている。

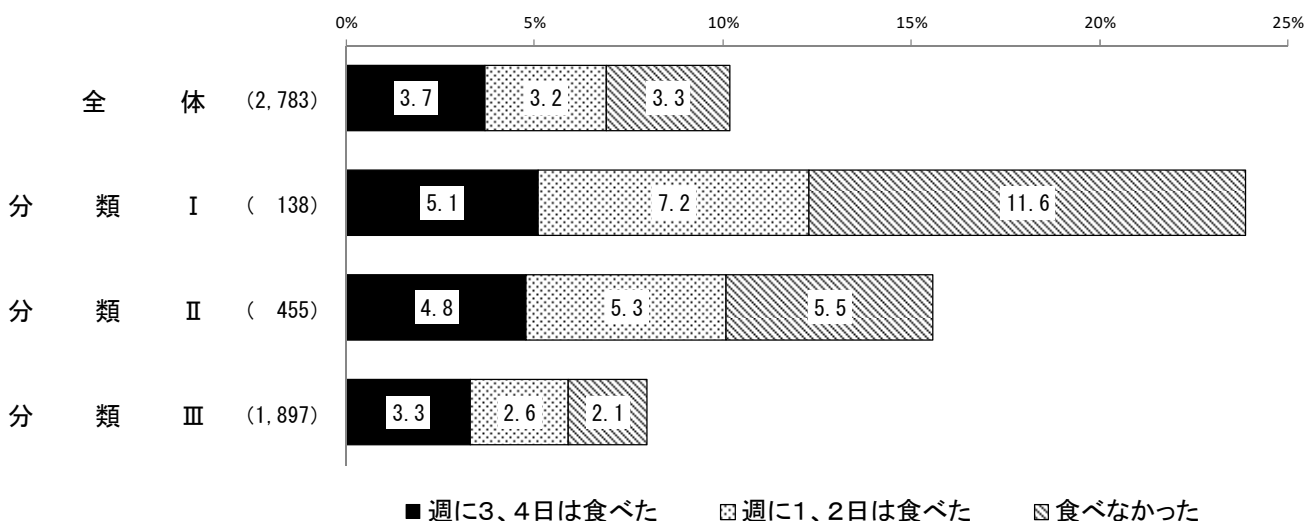
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-9】朝ごはんの食事頻度（中学2年生・世帯構成別）



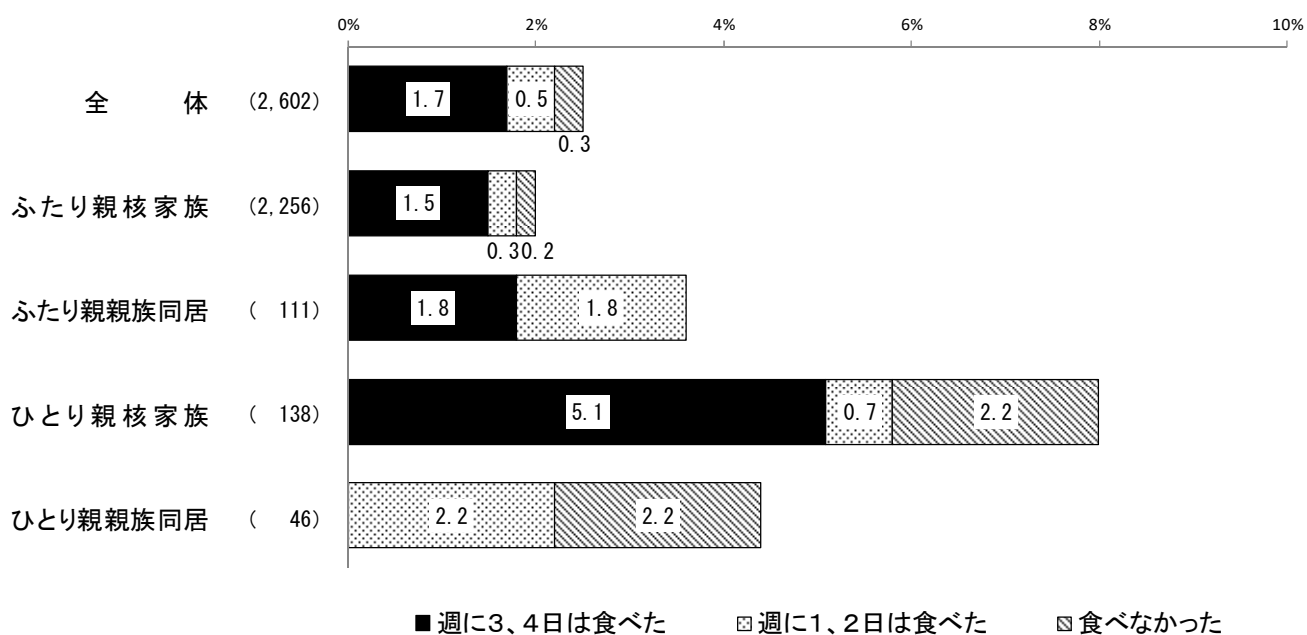
中学2年生の「朝ごはん」の食事頻度を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

【図表 4-10】朝ごはんの食事頻度（中学2年生・所得分類別）



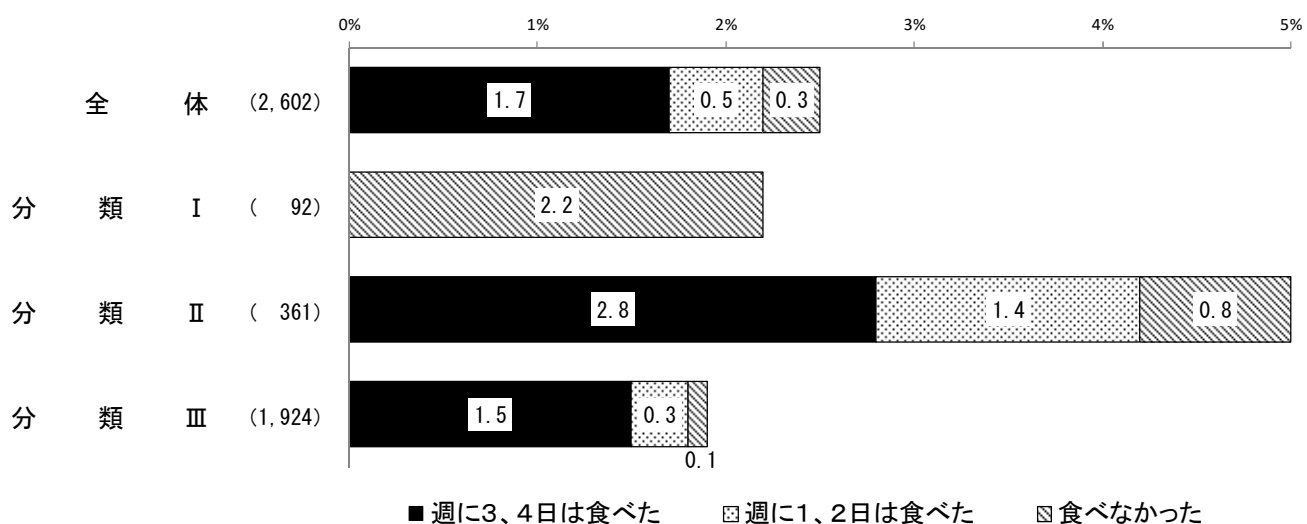
小学5年生の「夏休みのお昼ごはん」の食事頻度を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-11】夏休みのお昼ごはんの食事頻度（小学5年生・世帯構成別）



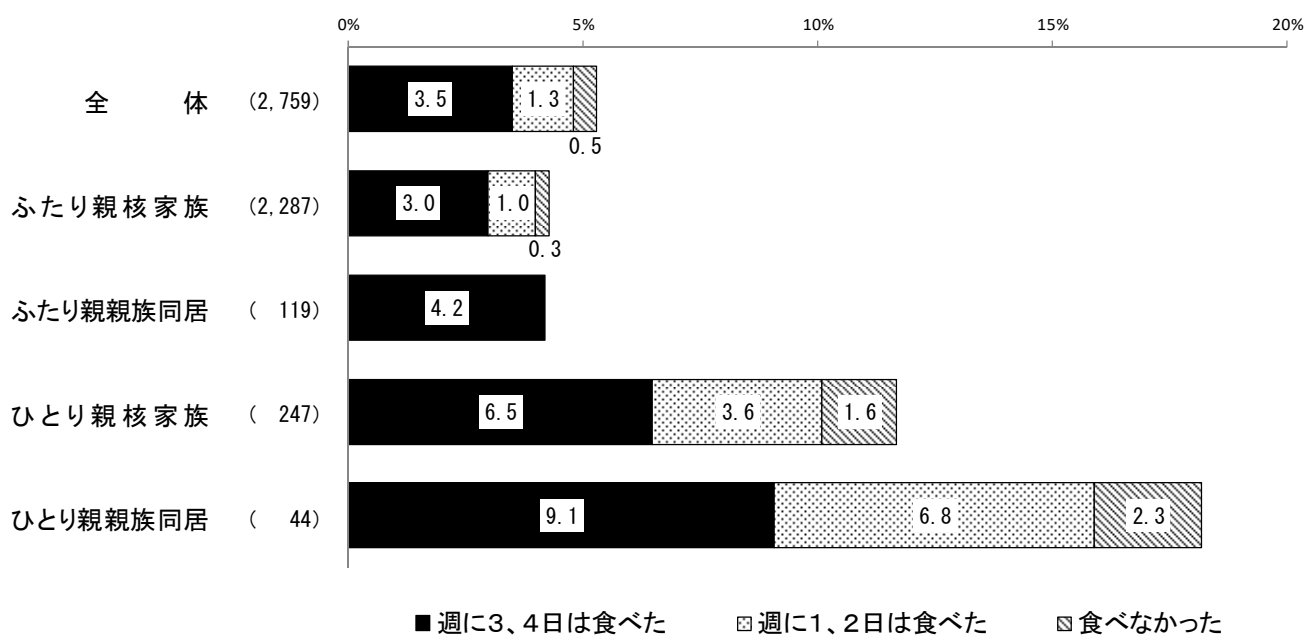
小学5年生の「夏休みのお昼ごはん」の食事頻度を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

【図表 4-12】夏休みのお昼ごはんの食事頻度（小学5年生・所得分類別）



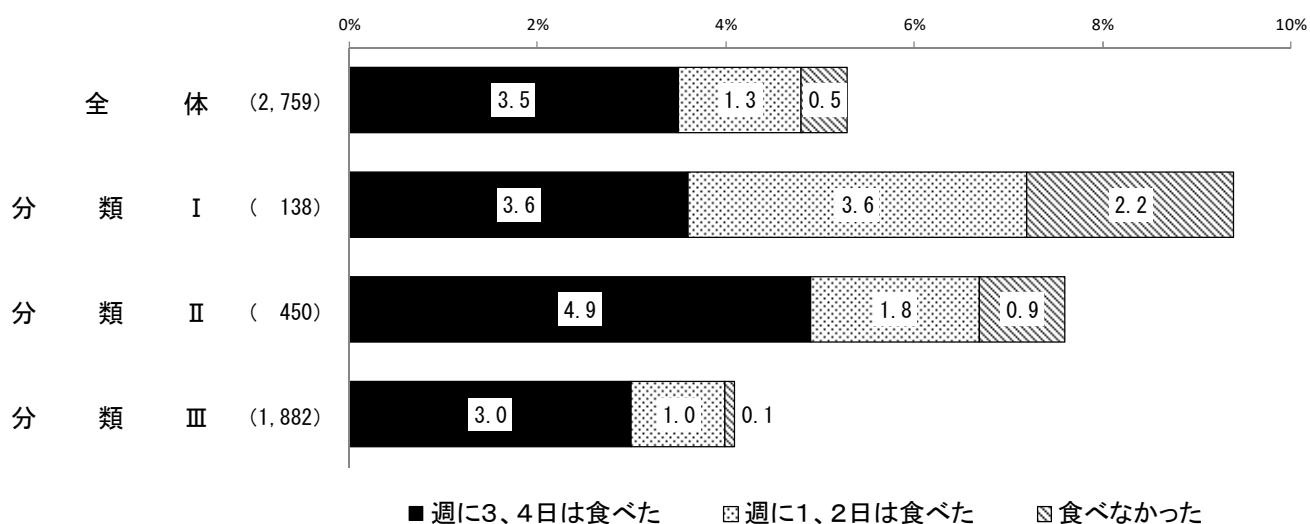
中学2年生の「夏休みのお昼ごはん」の食事頻度を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-13】夏休みのお昼ごはんの食事頻度（中学2年生・世帯構成別）



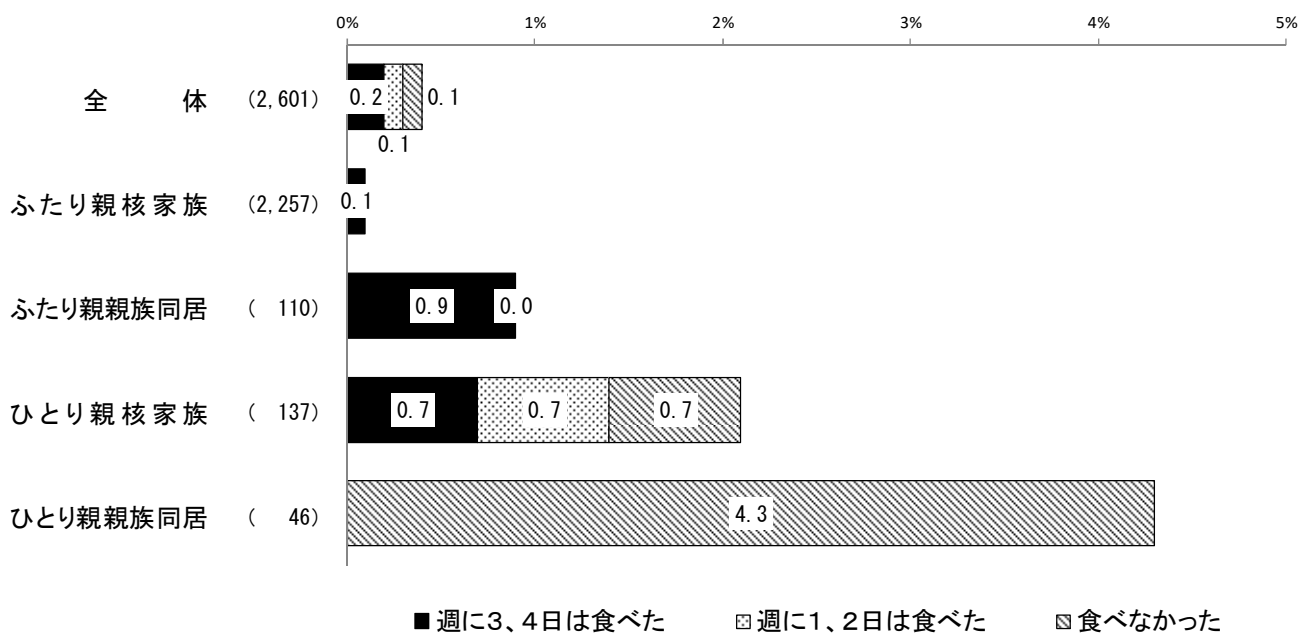
中学2年生の「夏休みのお昼ごはん」の食事頻度を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

【図表 4-14】夏休みのお昼ごはんの食事頻度（中学2年生・所得分類別）



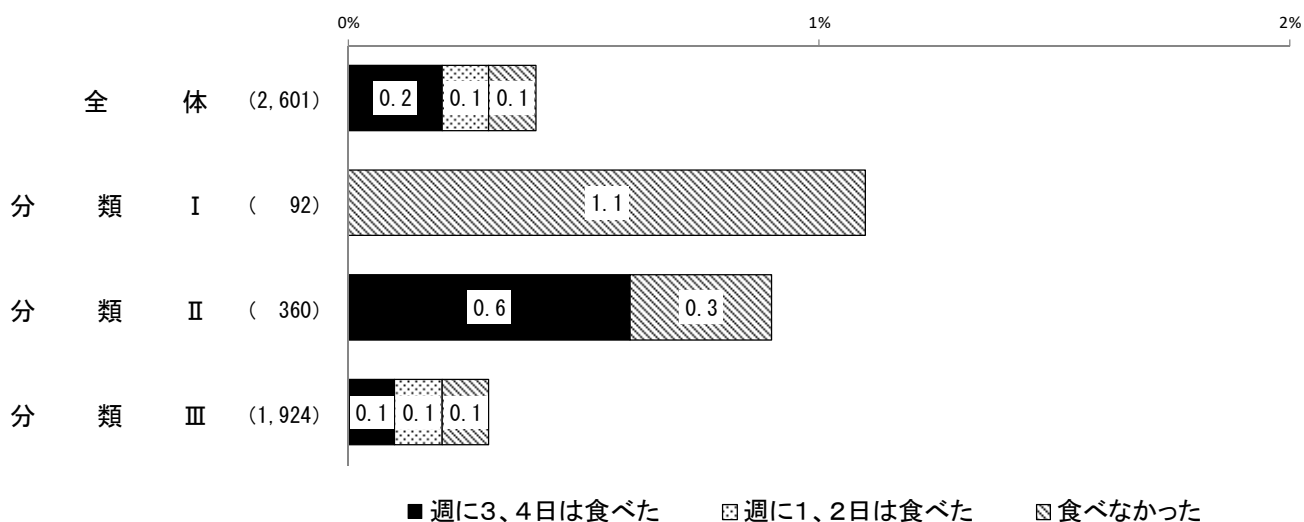
小学5年生の「夕ごはん」の食事頻度を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-15】夕ごはんの食事頻度（小学5年生・世帯構成別）



小学5年生の「夕ごはん」の食事頻度を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

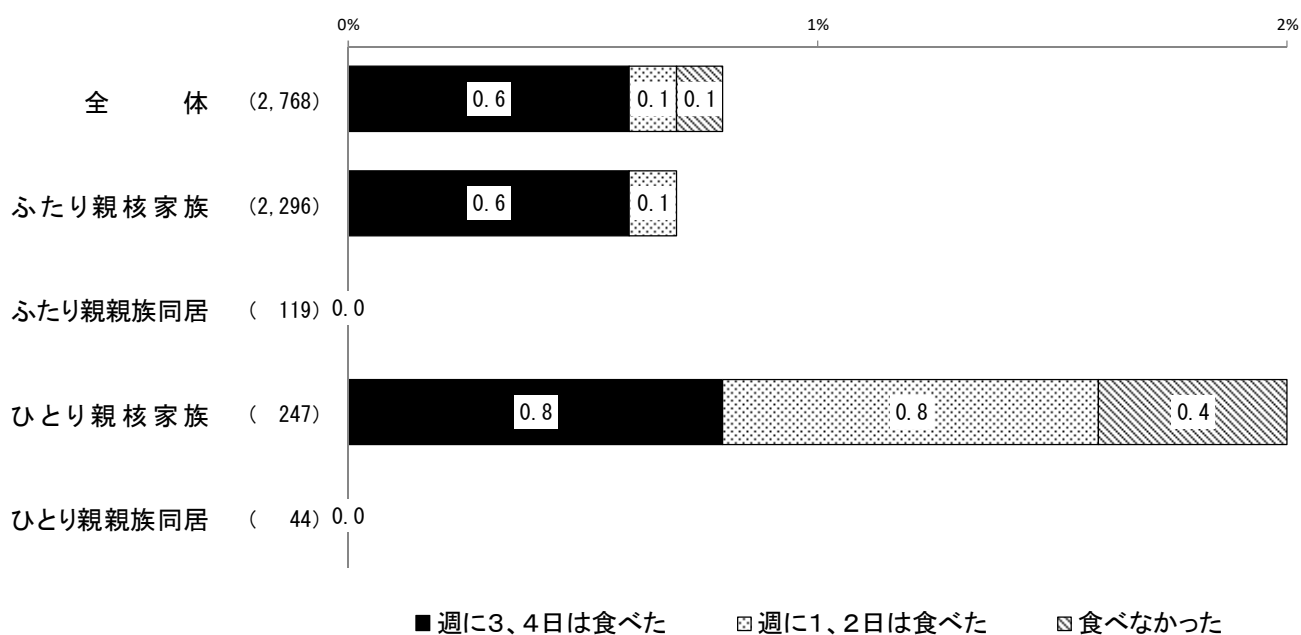
【図表 4-16】夕ごはんの食事頻度（小学5年生・所得分類別）





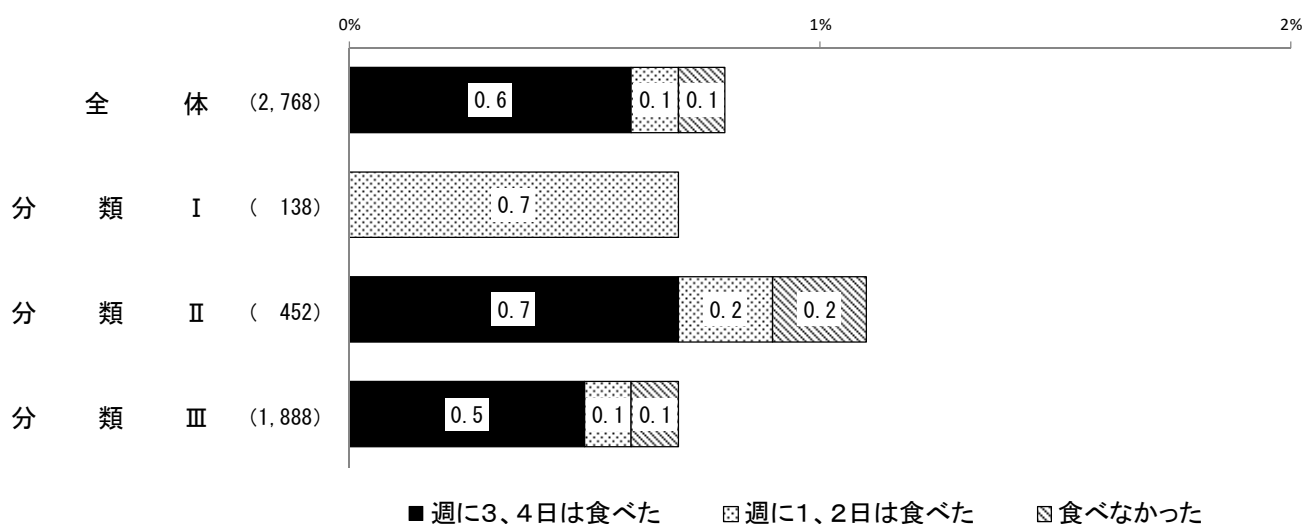
中学2年生の「夕ごはん」の食事頻度を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-17】夕ごはんの食事頻度（中学2年生・世帯構成別）



中学2年生の「夕ごはん」の食事頻度を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

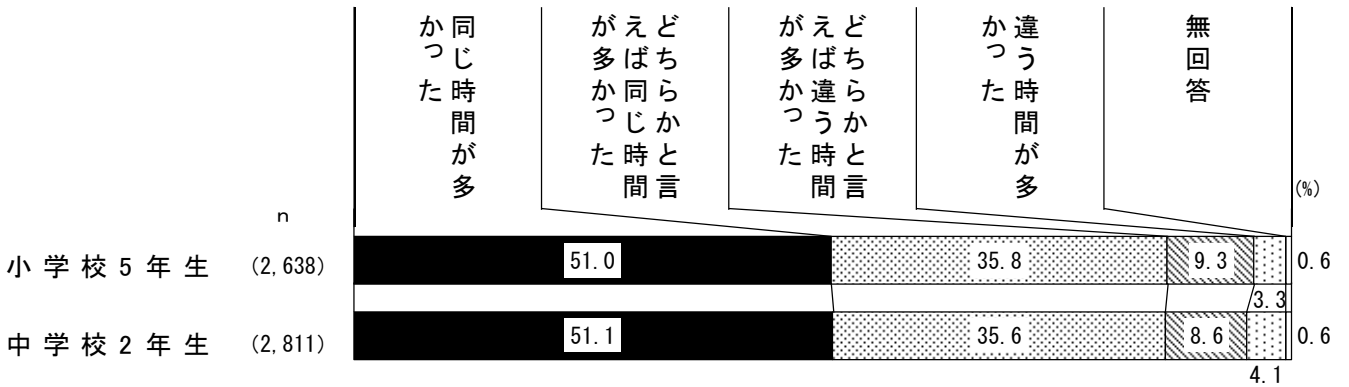
【図表 4-18】夕ごはんの食事頻度（中学2年生・所得分類別）



イ 起床・就寝時間【小学・問13・中学・問13】(SA)

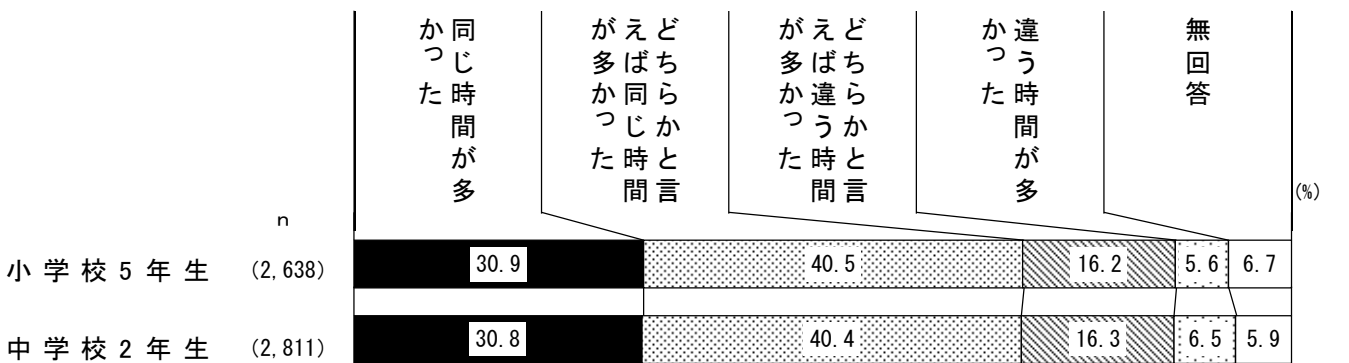
就寝時間・起床時間について聞いたところ、『起床時間』では「同じ時間が多かった」(小学5年生:51.0%、中学2年生:51.1%)が最も高く、次いで、「どちらかと言えば同じ時間が多かった」(小学5年生:35.8%、中学2年生:35.6%)、「どちらかと言えば違う時間が多かった」(小学5年生:9.3%、中学2年生:8.6%)となっている。

【図表 4-19】起床時間



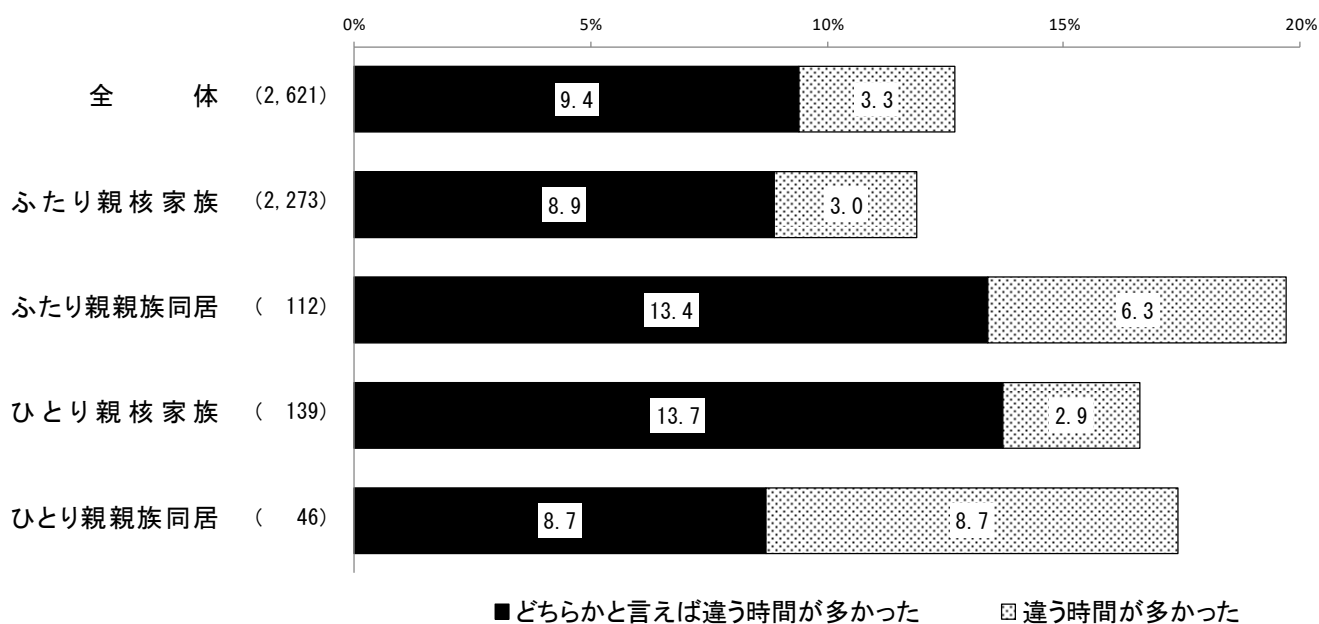
『就寝時間』では「どちらかといえば同じ時間が多かった」(小学5年生:40.5%、中学2年生:40.4%)が最も高く、次いで、「同じ時間が多かった」(小学5年生:30.9%、中学2年生:30.8%)、「どちらかと言えば違う時間が多かった」(小学5年生:16.2%、中学2年生:16.3%)となっている。

【図表 4-20】就寝時間



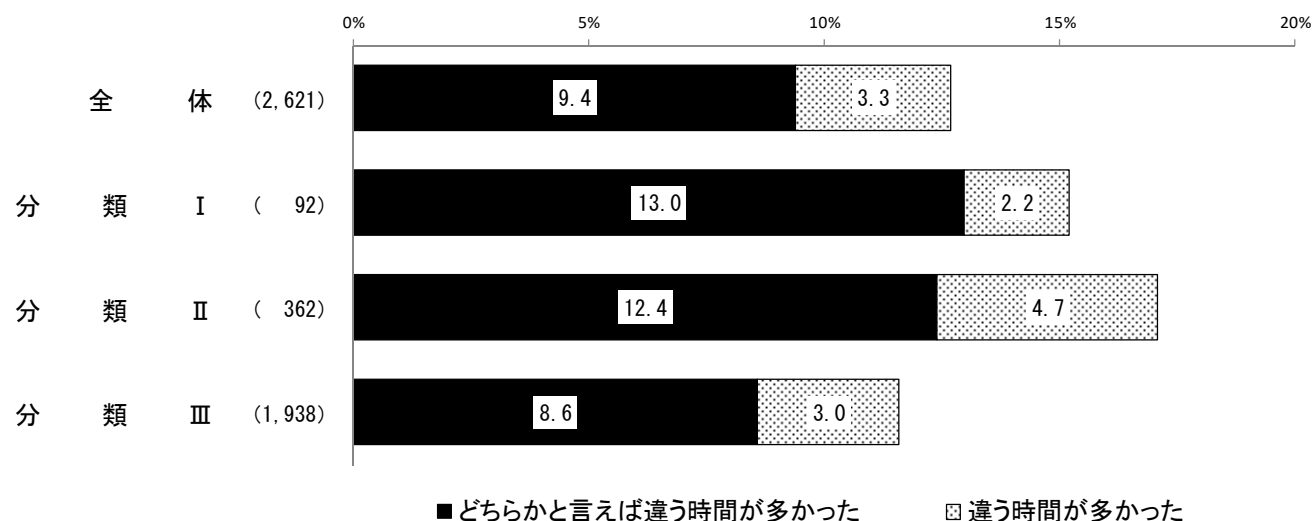
小学5年生の起床時間を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-21】起床時間（小学5年生・世帯構成別）



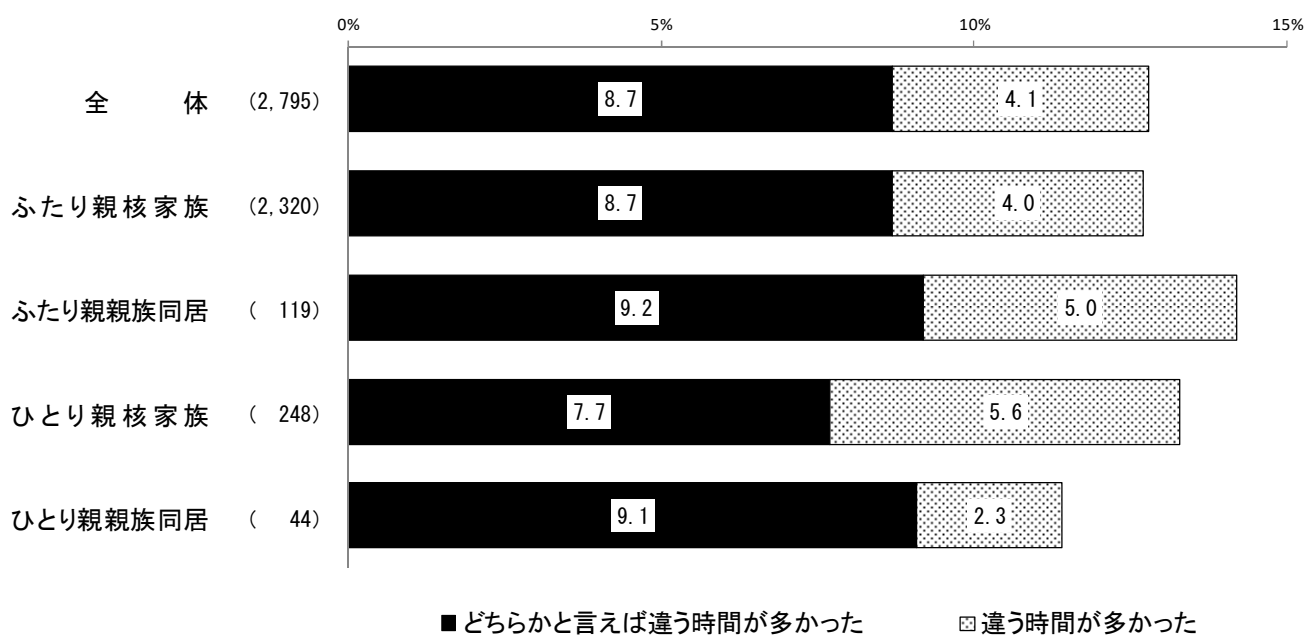
小学5年生の起床時間を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

【図表 4-22】起床時間（小学5年生・所得分類別）



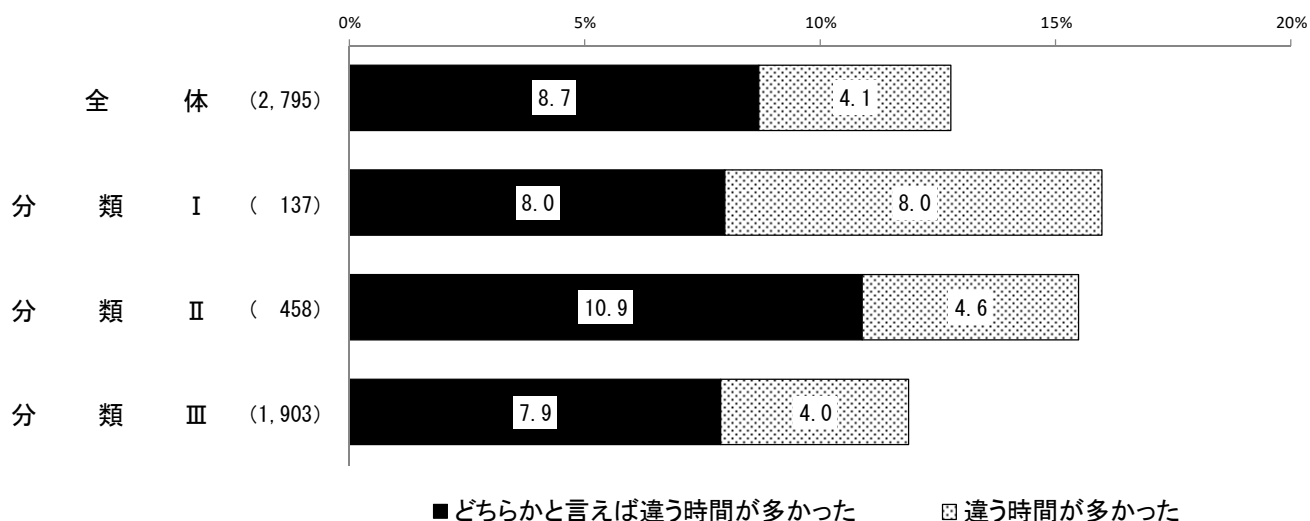
中学2年生の起床時間を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-23】起床時間（中学2年生・世帯構成別）



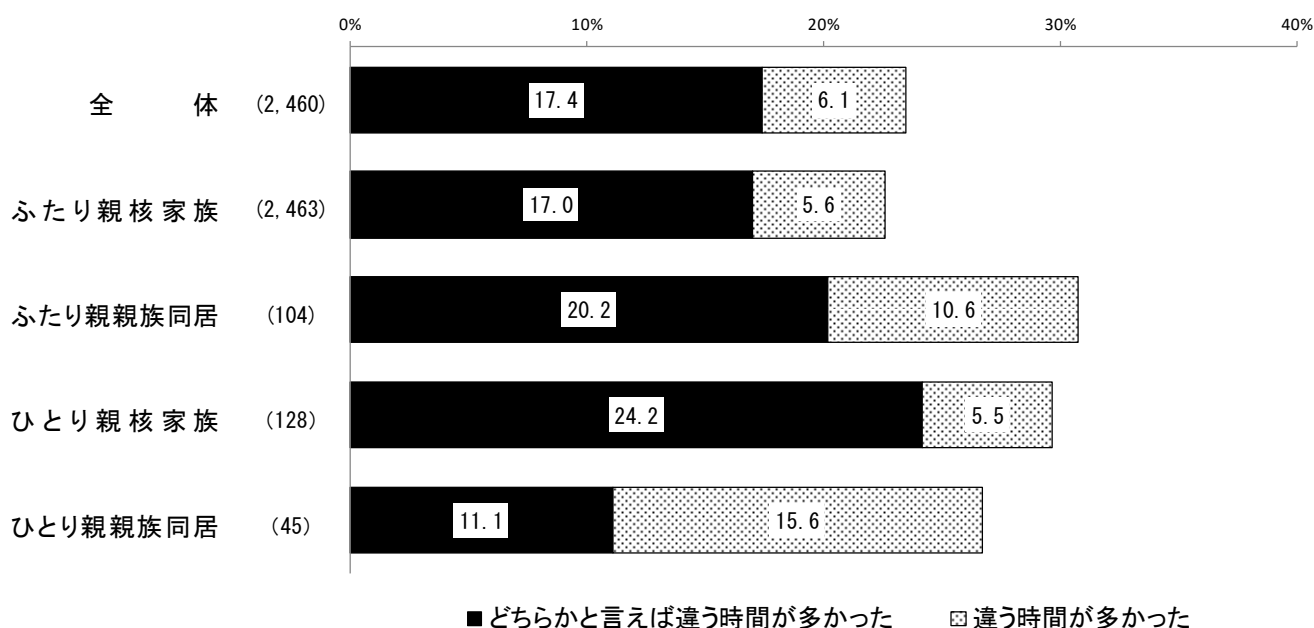
中学2年生の起床時間を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

【図表 4-24】起床時間（中学2年生・所得分類別）



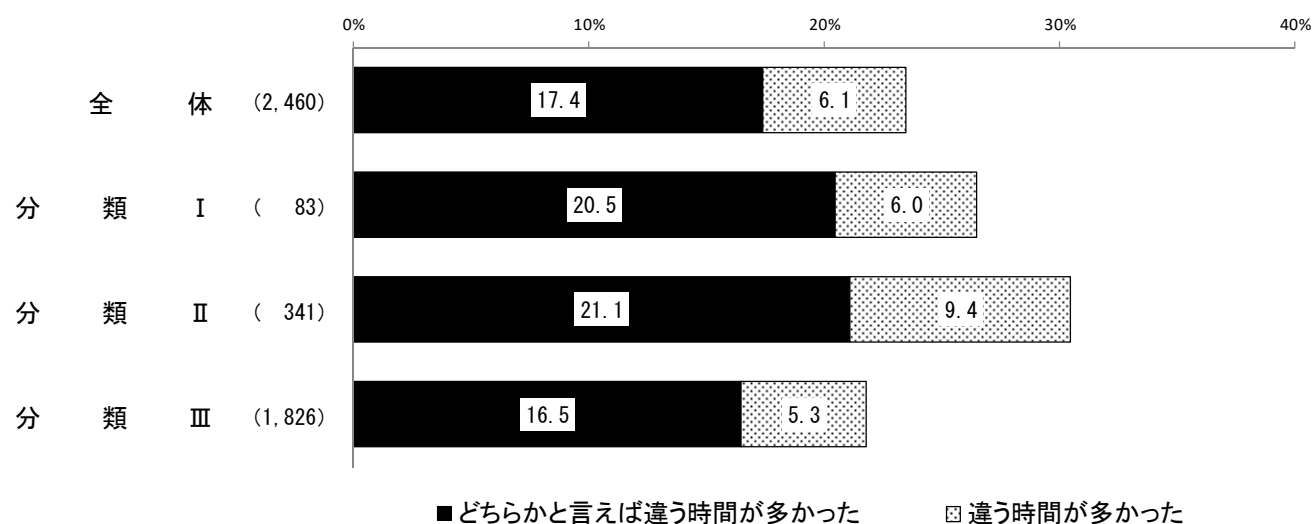
小学5年生の就寝時間を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-25】 就寝時間（小学5年生・世帯構成別）



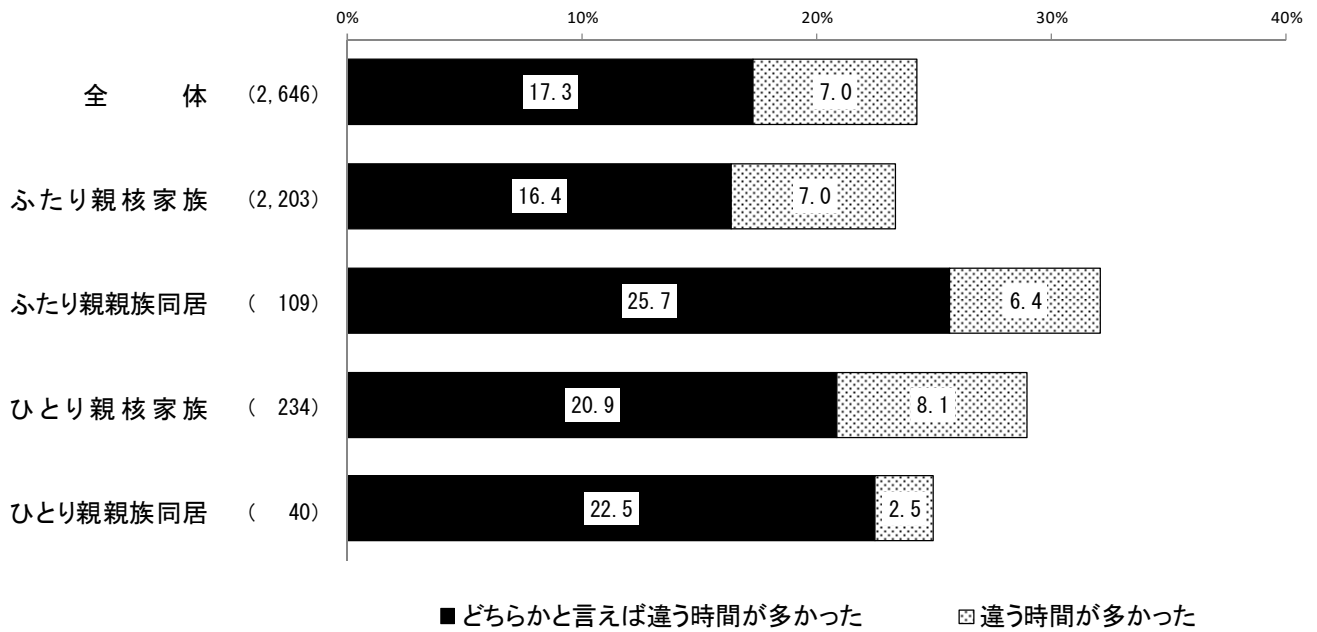
小学5年生の就寝時間を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

【図表 4-26】 就寝時間（小学5年生・所得分類別）



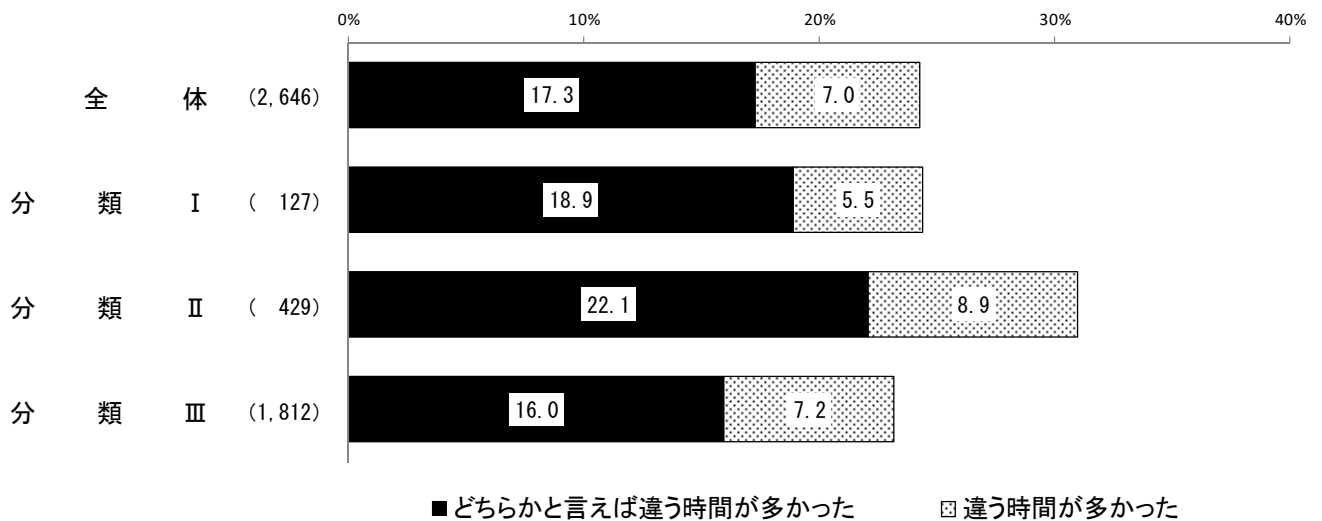
中学2年生の就寝時間を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-27】 就寝時間（中学2年生・世帯構成別）



中学2年生の就寝時間を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

【図表 4-28】 就寝時間（中学2年生・所得分類別）



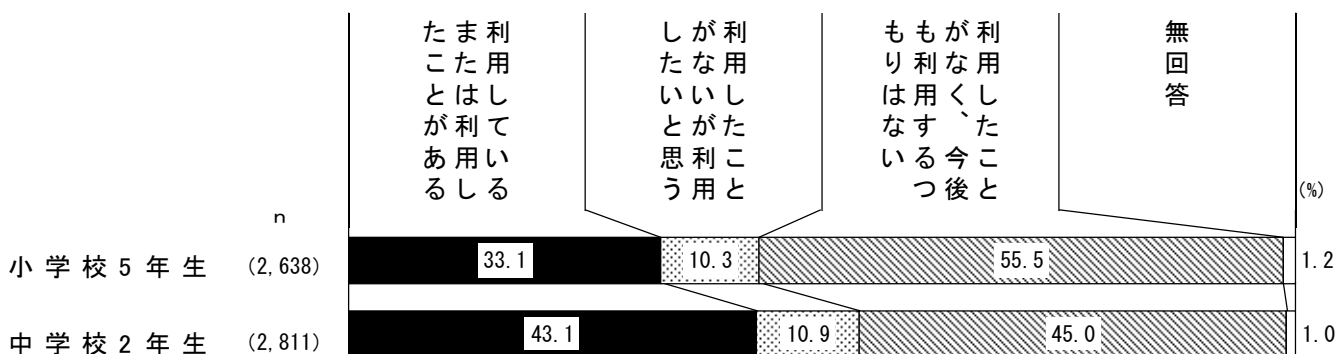
(2) 子どもの居場所

ア 自宅や学校以外の居場所の利用状況

- ① 学習支援の利用状況【小学・問14・中学・問14】(SA) と  
 利用した場所【小学・問15・中学・問15】(FA) と  
 学習支援を利用したことでの変化【小学・問16・中学・問16】(MA)

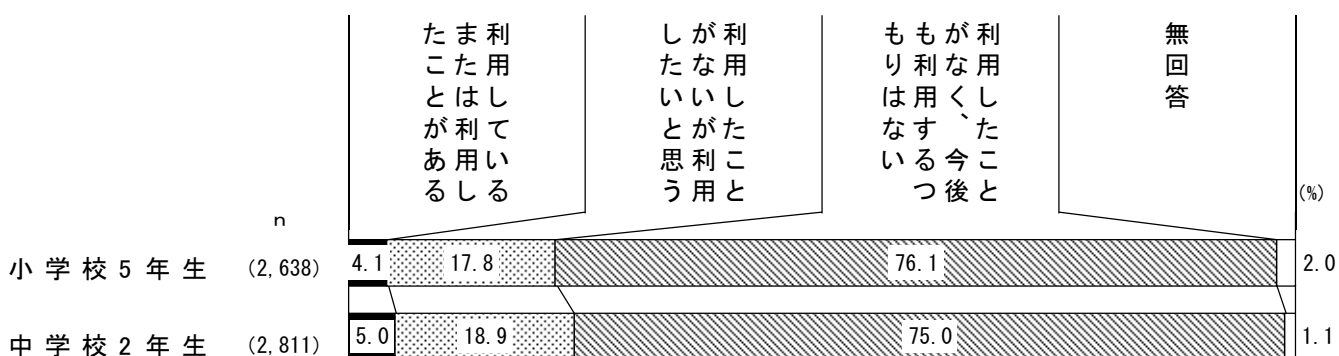
学習支援の利用状況を聞いたところ、『自分や友達の家以外で、平日の昼や休日が過ごすことができる場所』では「利用したことがなく、今後利用するつもりはない」(小学5年生:55.5%、中学2年生:45.0%)が最も高く、次いで、「利用しているまたは利用したことがある」(小学5年生:33.1%、中学2年生:43.1%)、「利用したことがないが利用したいと思う」(小学5年生:10.3%、中学2年生:10.9%)となっている。

【図表 4-29】自分や友達の家以外で、平日の夜や休日を過ごすことができる場所  
 (こども文化センターなど)



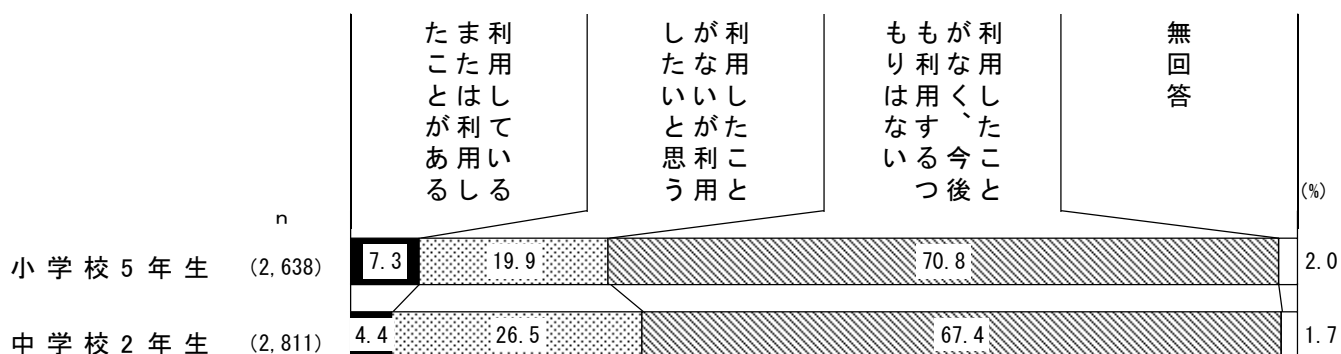
『自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所』では「利用したことがなく、今後利用するつもりはない」(小学5年生:76.1%、中学2年生:75.0%)が最も高く、次いで、「利用したことがないが利用したいと思う」(小学5年生:17.8%、中学2年生:18.9%)、「利用しているまたは利用したことがある」(小学5年生:4.1%、中学2年生:5.0%)となっている。

【図表 4-30】自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所  
 (子ども食堂など)



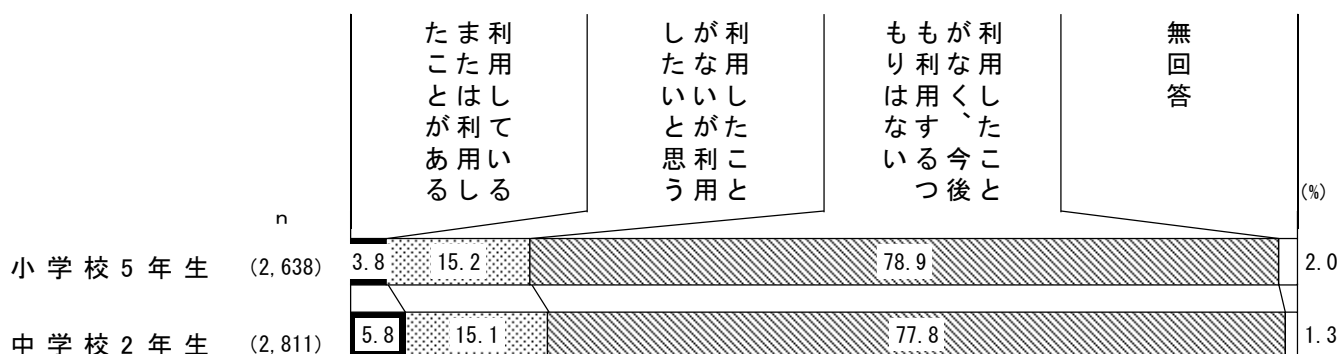
『学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所』では「利用したことがなく、今後利用するつもりはない」(小学5年生:70.8%、中学2年生:67.4%)が最も高く、次いで、「利用したことがないが利用したいと思う」(小学5年生:19.9%、中学2年生:26.5%)、「利用しているまたは利用したことがある」(小学5年生:7.3%、中学2年生:4.4%)となっている。

【図表 4-31】 学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所



『自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所』では「利用したことがなく、今後利用するつもりはない」(小学5年生:78.9%、中学2年生:77.8%)が最も高く、次いで、「利用したことがないが利用したいと思う」(小学5年生:15.2%、中学2年生:15.1%)、「利用しているまたは利用したことがある」(小学5年生:3.8%、中学2年生:5.8%)となっている。

【図表 4-32】 自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所  
(電話やネット、SNS相談をふくむ)





小学5年生で「自宅や学校以外の居場所」を利用したことがある方に、利用した場所を具体的に聞いたところ、『自分や友達の家以外で、平日の夜や休日を過ごすことができる場所』は874件、『自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）』は96件、『学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所』は184件、『自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所（電話やネット、SNS相談をふくむ）』は79件の回答が得られた。具体的な場所と件数は以下の図表のとおりである。

【図表 4-33】自宅や学校以外の居場所（具体的に利用した場所）（小学5年生）

<b>ア 自分や友達の家以外で、平日の夜や休日を過ごすことができる場所</b>	<b>874件</b>
・こども文化センター	589件
・わくわくプラザ	84件
・公園	39件
・親戚の家	31件
・学童（ベースキャンプ）	26件
・商業施設	22件
・塾	12件
・宿泊施設	12件
・スポーツクラブ等	9件
・図書館	7件
・iプラザ	6件
・保育園等	4件
・生涯学習センター	4件
・国際交流センター	4件
・その他	25件
<b>イ 自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所</b>	<b>96件</b>
・子ども食堂	41件
・親戚の家	15件
・飲食店	10件
・保育園	6件
・スーパーマーケット	4件
・コンビニ	4件
・こども文化センター	2件
・わくわくプラザ	2件
・ふれあい食堂	1件
・その他	11件
<b>ウ 学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所</b>	<b>184件</b>
・塾	97件
・自宅、友達・親戚の家	32件
・わくわくプラザ	20件
・学童	7件
・オンライン授業等	5件
・こども文化センター	4件
・習い事	4件
・その他	15件
<b>エ 自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所（電話やネット、SNS相談をふくむ）</b>	<b>79件</b>
・オンライン、電話	36件
・友達、親戚の家	13件
・市役所、市の相談所	13件
・学童	4件
・塾	2件
・その他	11件

中学2年生で「自宅や学校以外の居場所」を利用したことがある方に、利用した場所を具体的に聞いたところ、『自分や友達の家以外で、平日の夜や休日を過ごすことができる場所』は1,106件、『自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）』は110件、『学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所』は103件、『自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所（電話やネット、SNS相談をふくむ）』は131件の回答が得られた。具体的な場所と件数は以下の図表のとおりである。

【図表 4-34】自宅や学校以外の居場所（具体的に利用した場所）（中学2年生）

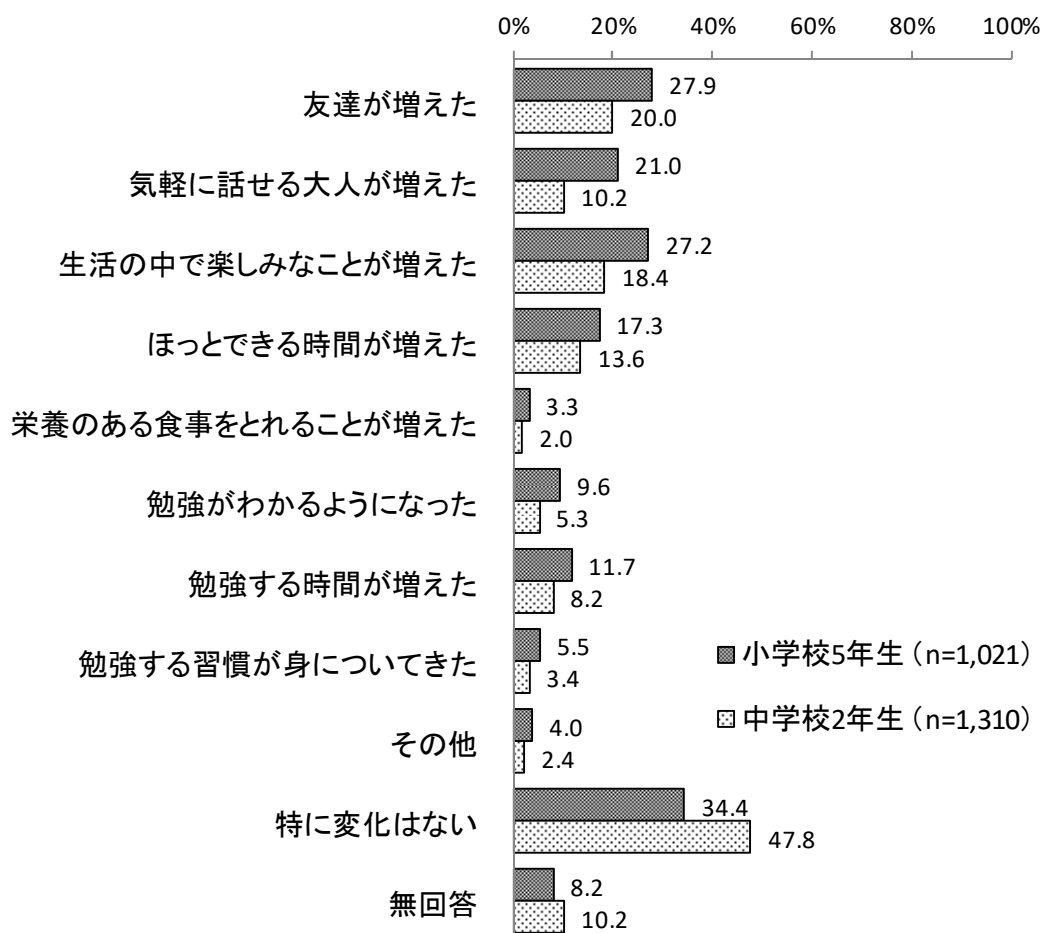
<b>ア 自分や友達の家以外で、平日の夜や休日を過ごすことができる場所</b>	<b>1,106件</b>
・こども文化センター	872件
・商業施設	75件
・公園	30件
・図書館	30件
・塾	24件
・親戚の家	14件
・スポーツクラブ等	14件
・わくわくプラザ	11件
・学童（ベースキャンプ）	6件
・国際交流センター	4件
・宿泊施設	3件
・その他	23件
<b>イ 自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所</b>	<b>110件</b>
・飲食店	71件
・子ども食堂親	21件
・戚の家	6件
・コンビニ	3件
・スーパーマーケット	1件
・その他	8件
<b>ウ 学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所</b>	<b>103件</b>
・塾	69件
・こども文化センター	9件
・自宅、友達・親戚の家	6件
・わくわくプラザ	5件
・学童	2件
・オンライン授業等	2件
・習い事	1件
・その他	9件
<b>エ 自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所（電話やネット、SNS相談をふくむ）</b>	<b>131件</b>
・オンライン、電話	99件
・友達、親戚の家	13件
・塾	5件
・市役所、市の相談所	3件
・学童	1件
・その他	10件

「自宅や学校以外の居場所」を利用したことがある方に、利用したことでの変化を複数回答で聞いたところ、小学5年生では「友達が増えた」が27.9%と最も高く、次いで、「生活の中で楽しみが増えた」が27.2%、「気軽に話せる大人が増えた」が21.0%となっている。

中学2年生では「友達が増えた」が20.0%と最も高く、次いで、「生活の中で楽しみが増えた」が18.4%、「ほっとできる時間が増えた」が13.6%となっている。

一方、「特に変化はない」は、小学5年生が34.4%、中学2年生が47.8%となっている。

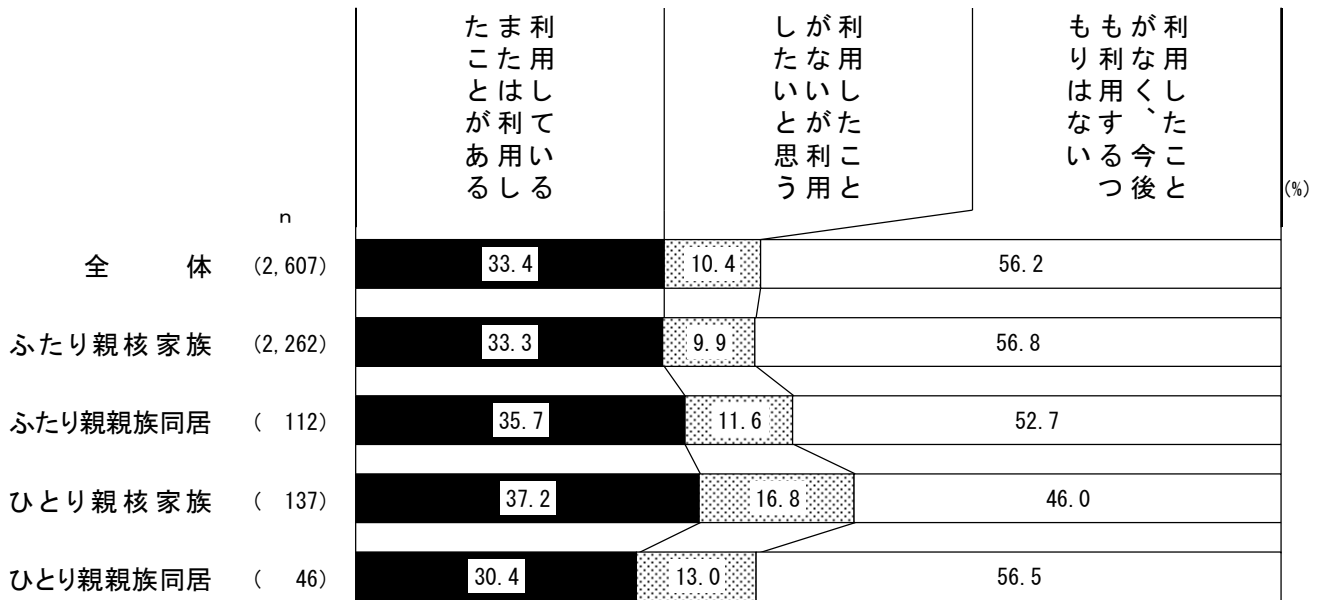
【図表 4-35】 利用後の変化（複数回答）（小学5年生・中学2年生）



小学5年生の「自分や友達の家以外で、平日の夜や休日を過ごすことができる場所（こども文化センターなど）」の利用状況を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』で「利用したことがなく、今後とも利用するつもりはない」が46.0%で、全体に比べて低くなっている。

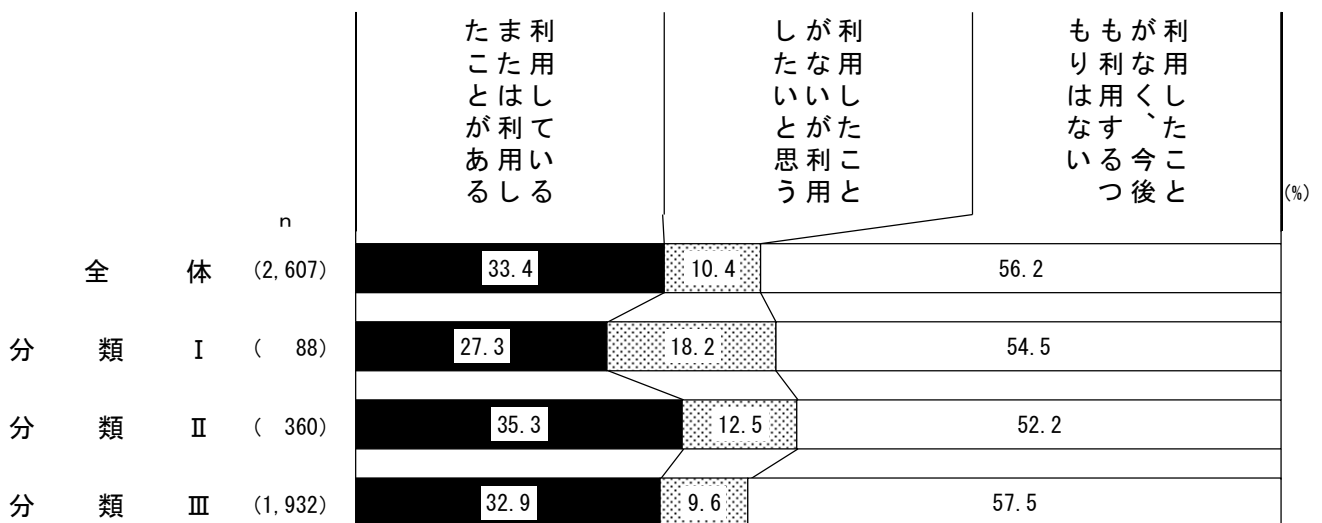
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-36】「自分や友達の家以外で、平日の夜や休日を過ごすことができる場所（こども文化センターなど）」の利用状況（小学5年生・世帯構成別）



小学5年生の「自分や友達の家以外で、平日の夜や休日を過ごすことができる場所（こども文化センターなど）」の利用状況を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

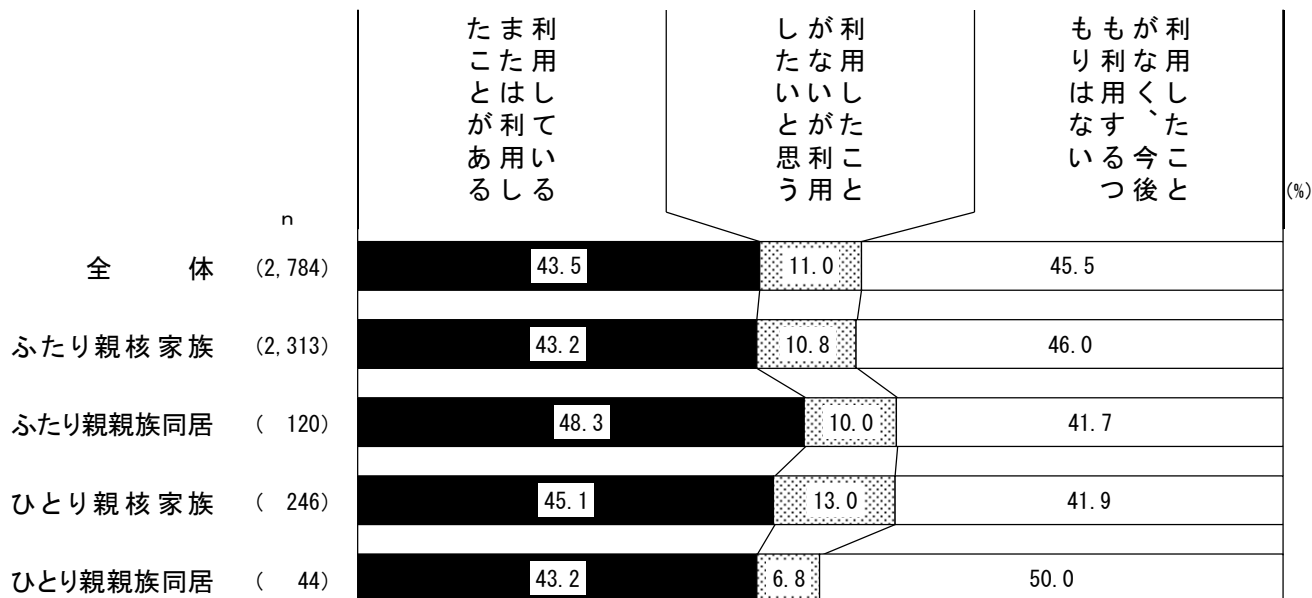
【図表 4-37】「自分や友達の家以外で、平日の夜や休日を過ごすことができる場所（こども文化センターなど）」の利用状況（小学5年生・所得分類別）



中学2年生の「自分や友達の家以外で、平日の夜や休日を過ごすことができる場所（こども文化センターなど）」の利用状況を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

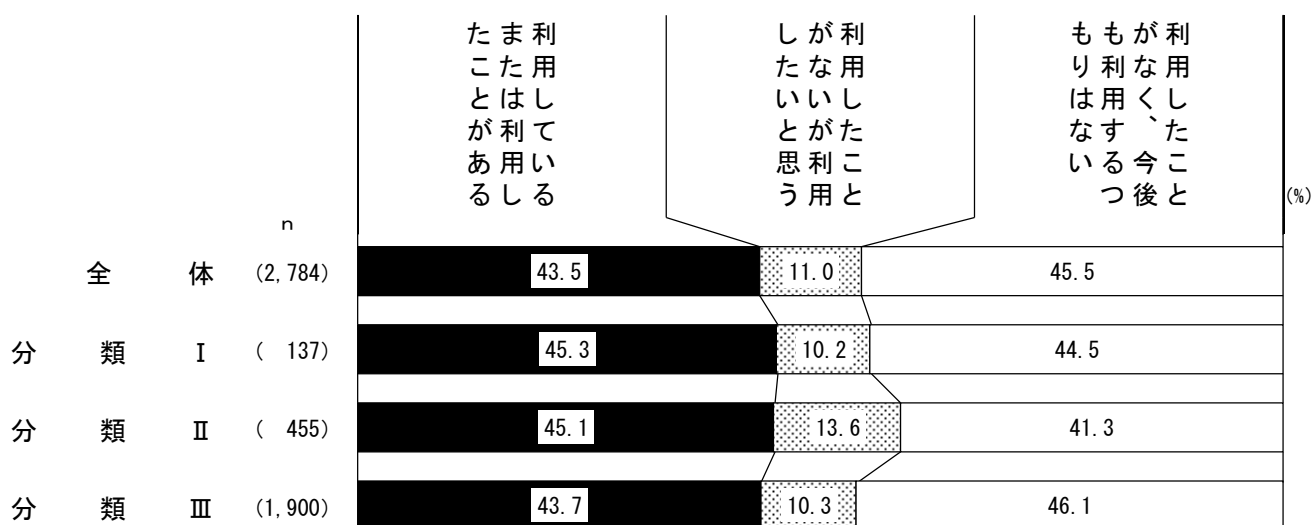
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-38】「自分や友達の家以外で、平日の夜や休日を過ごすことができる場所（こども文化センターなど）」の利用状況（中学2年生・世帯構成別）



中学2年生の「自分や友達の家以外で、平日の夜や休日を過ごすことができる場所（こども文化センターなど）」の利用状況を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

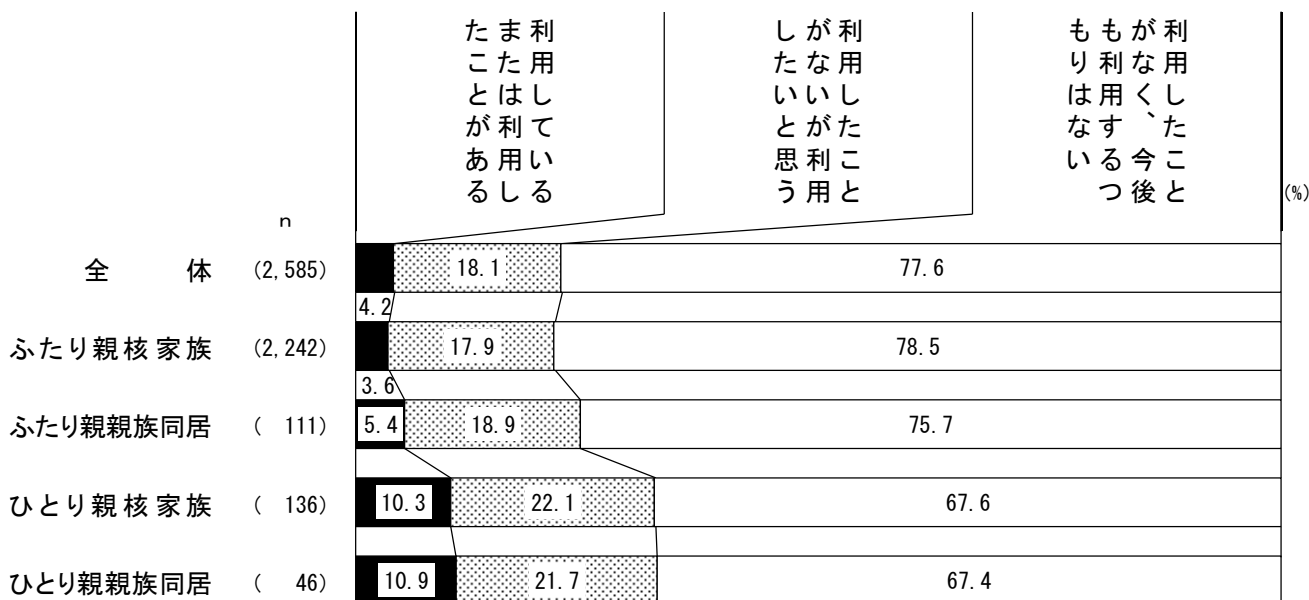
【図表 4-39】「自分や友達の家以外で、平日の夜や休日を過ごすことができる場所（こども文化センターなど）」の利用状況（中学2年生・所得分類別）



小学5年生の「自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）」の利用状況を世帯構成別にみると、「利用したことがなく、今後も利用するつもりはない」が『ひとり親核家族』で 67.6%、『ひとり親親族同居』で 67.4%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

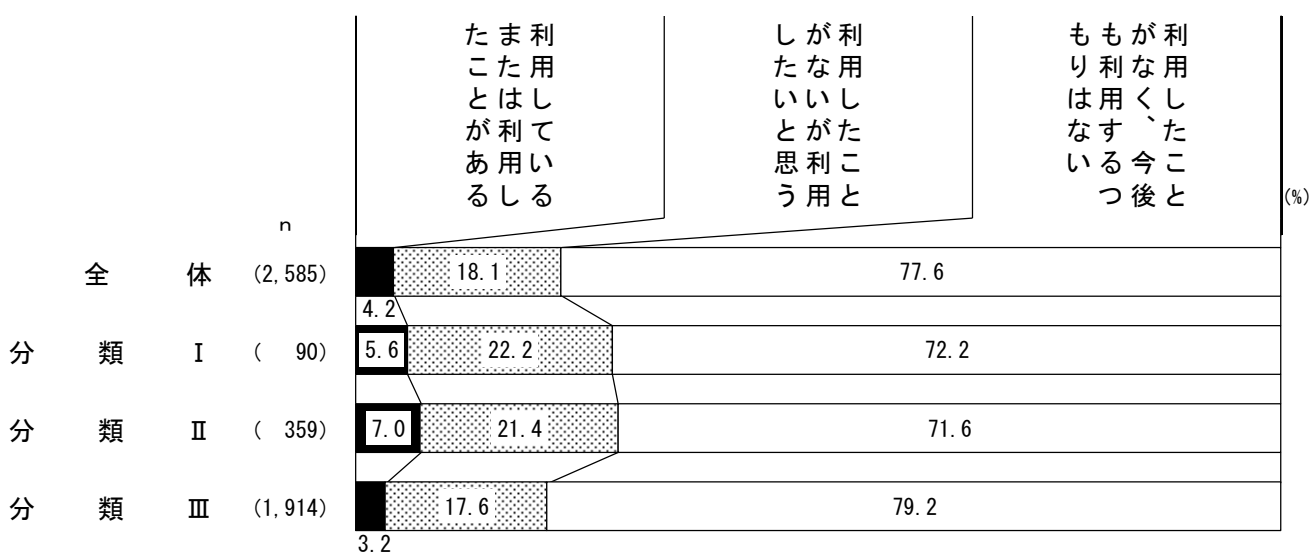
なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

【図表 4-40】「自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）」の利用状況（小学5年生・世帯構成別）



小学5年生の「自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）」の利用状況を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

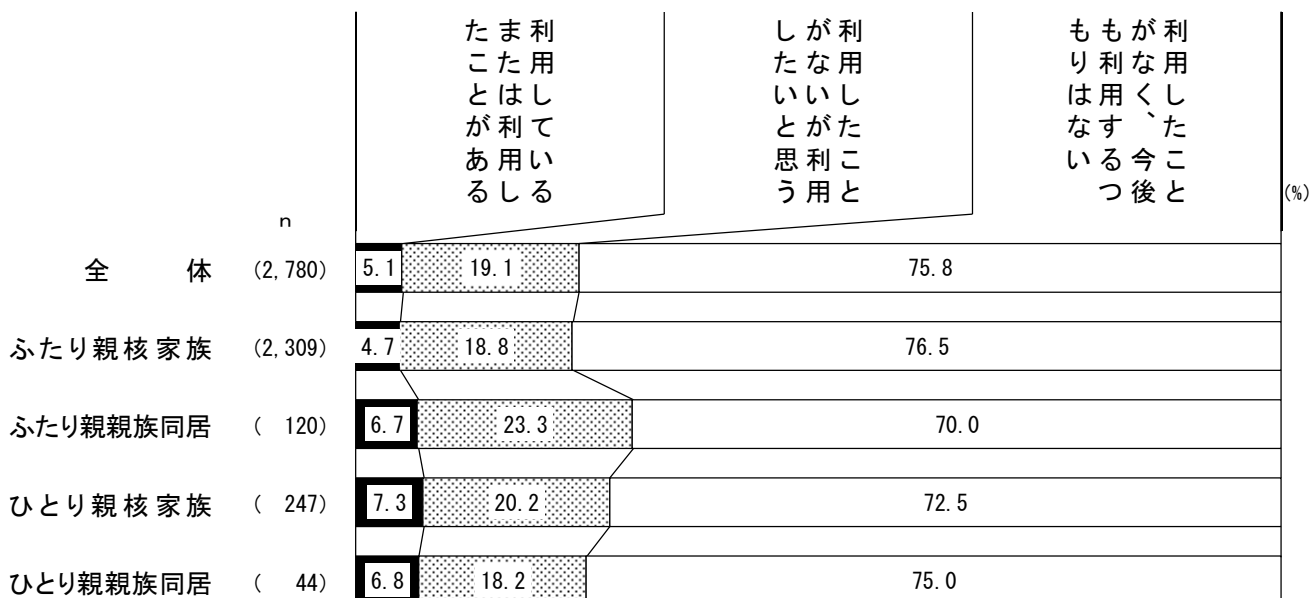
【図表 4-41】「自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）」の利用状況（小学5年生・所得分類別）



中学2年生の「自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）」の利用状況を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

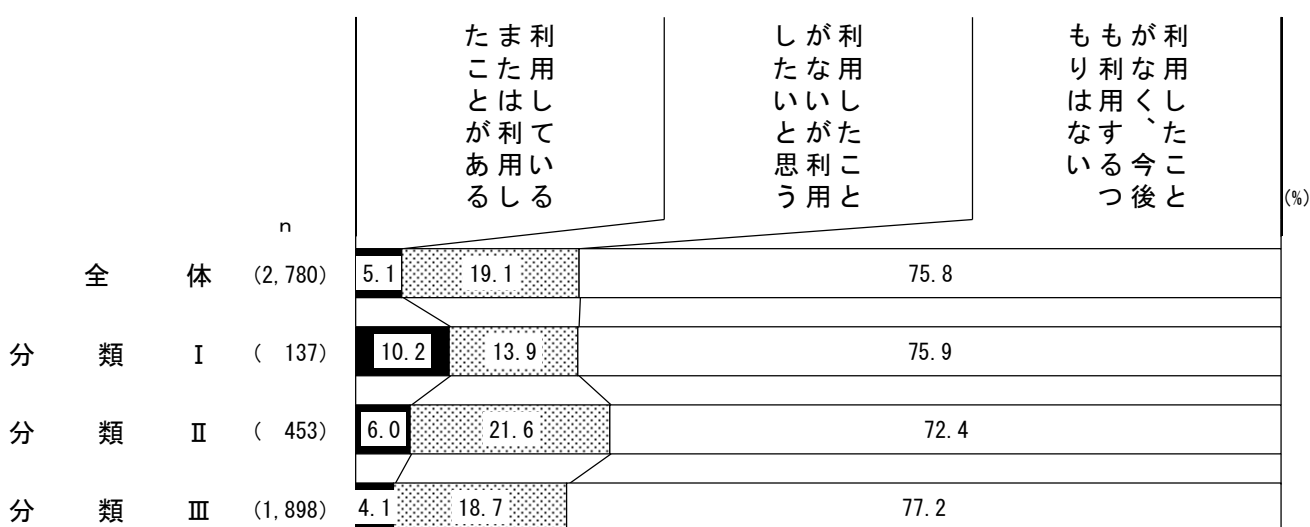
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-42】「自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）」の利用状況（中学2年生・世帯構成別）



中学2年生の「自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）」の利用状況を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

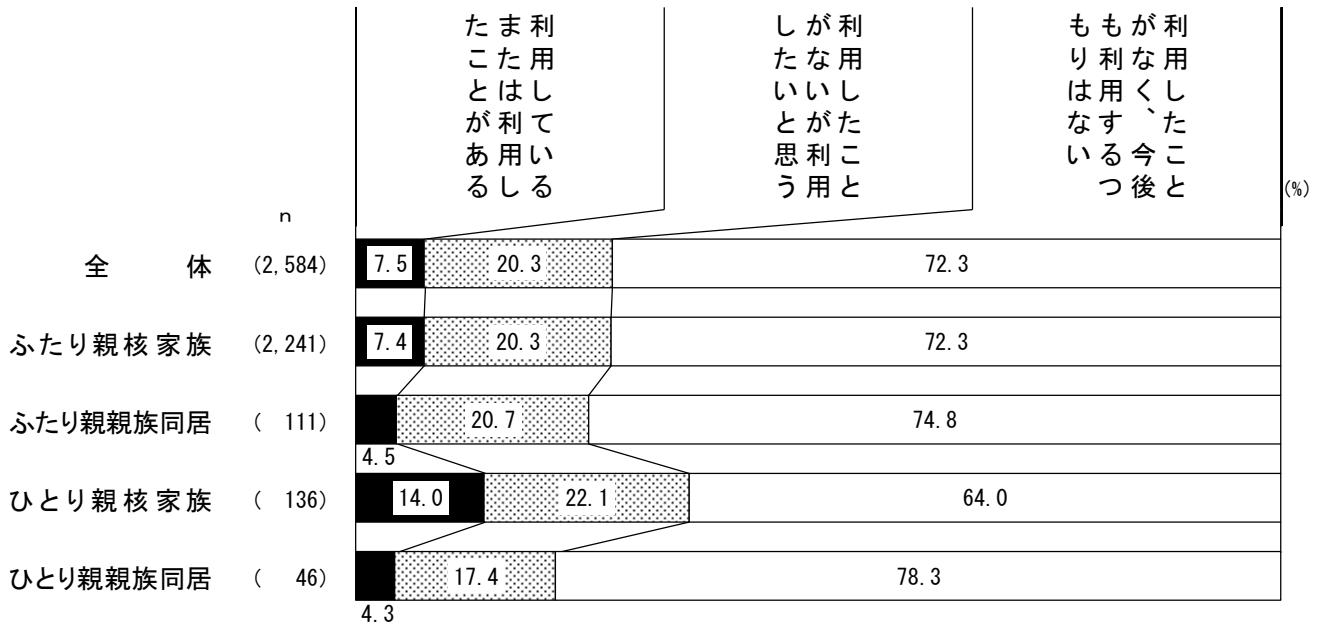
【図表 4-43】「自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）」の利用状況（中学2年生・所得分類別）



小学5年生の「学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所」の利用状況を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

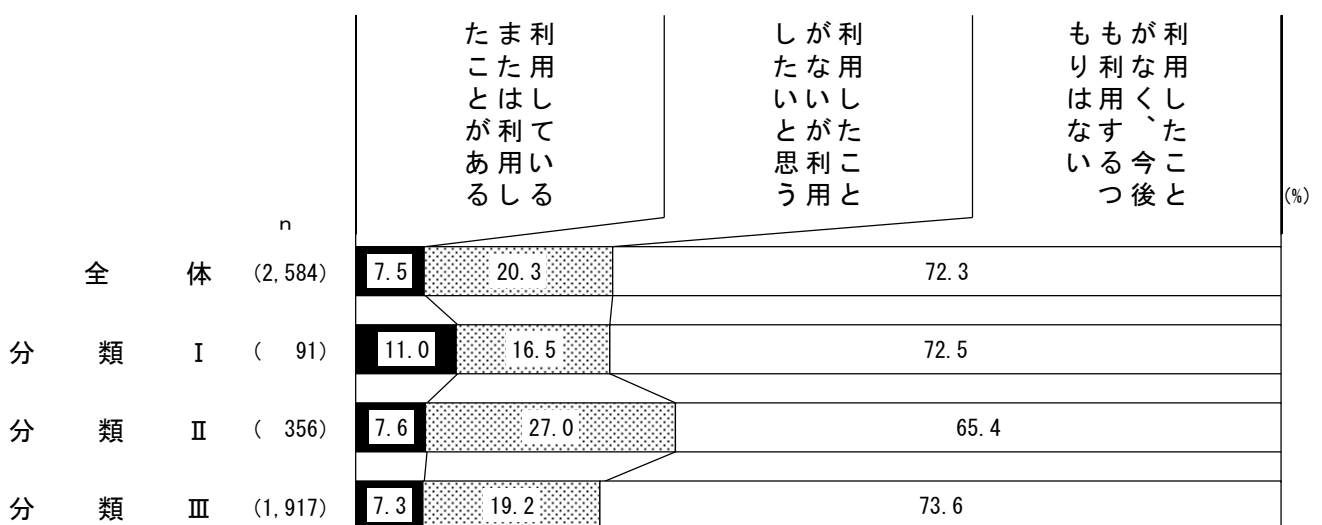
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-44】「学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所」の利用状況  
(小学5年生・世帯構成別)



小学5年生の「学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所」の利用状況を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

【図表 4-45】「学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所」の利用状況  
(小学5年生・所得分類別)

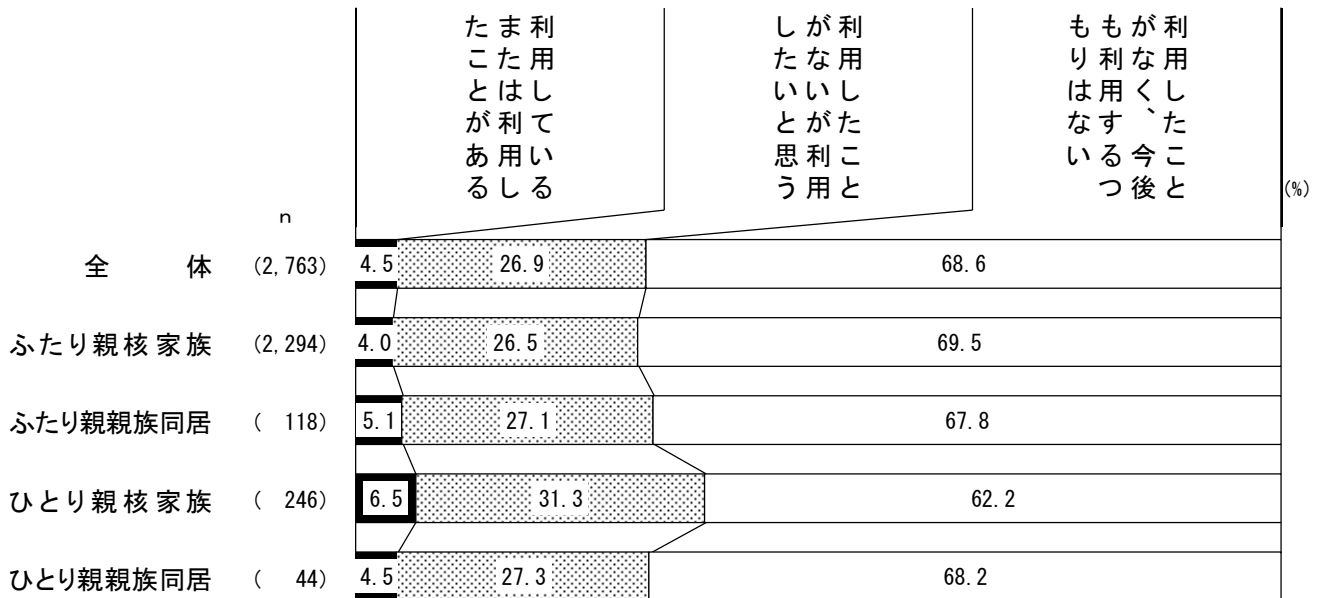




中学2年生の「学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所」の利用状況を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

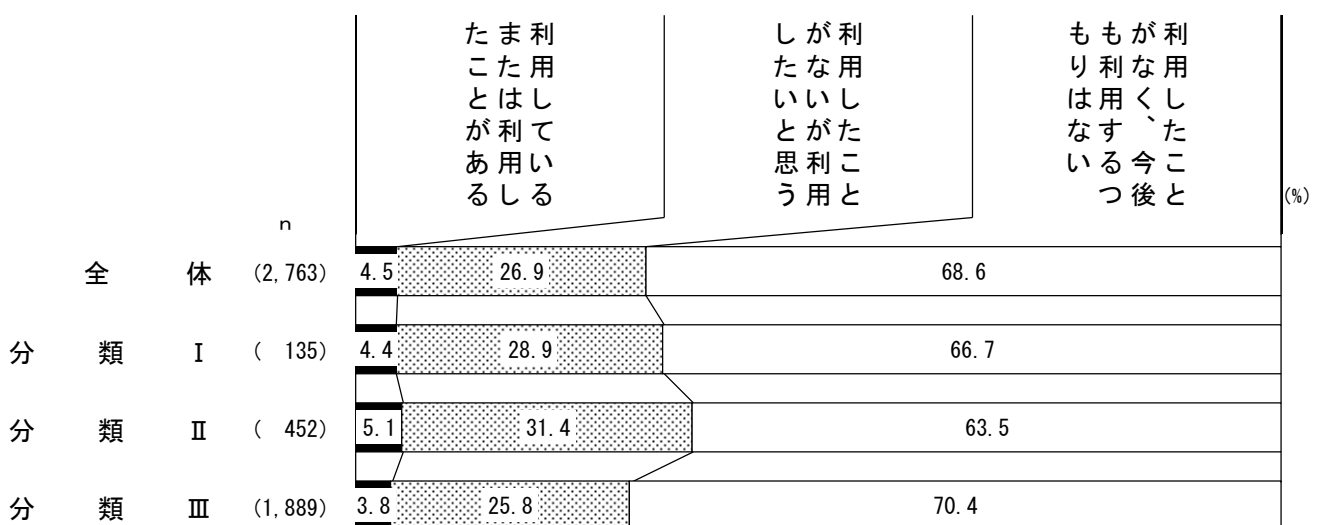
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-46】「学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所」の利用状況  
(中学2年生・世帯構成別)



中学2年生の「学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所」の利用状況を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

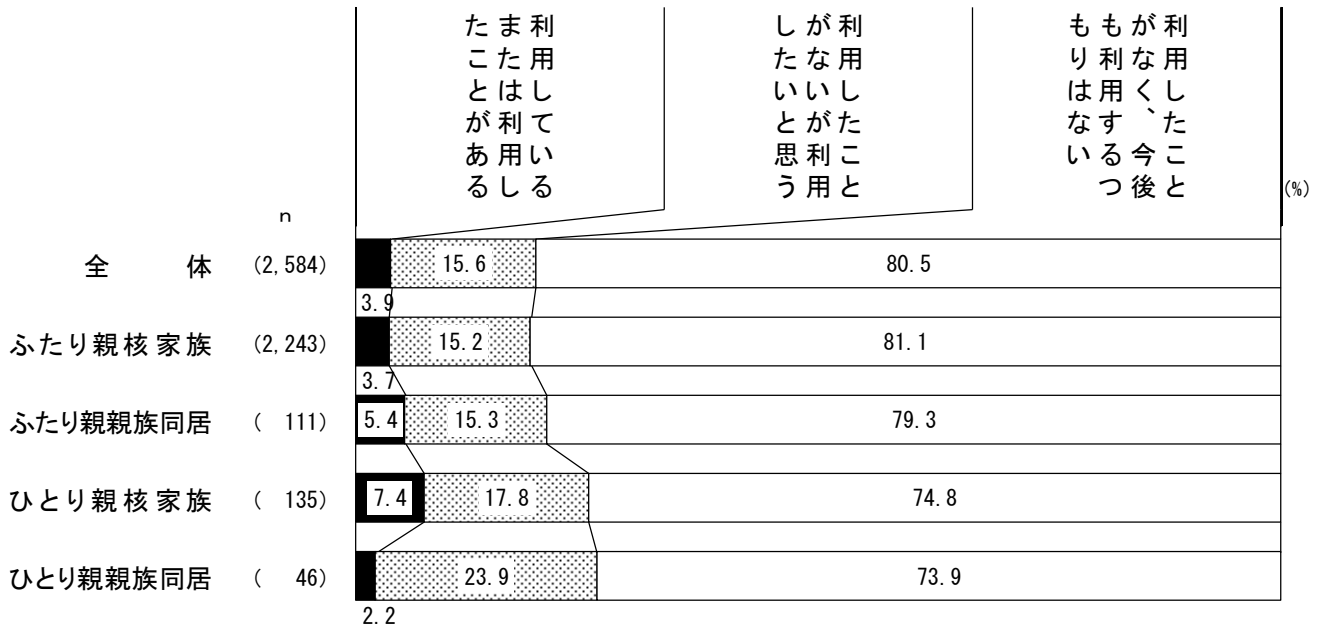
【図表 4-47】「学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所」  
の利用状況 (中学2年生・所得分類別)



小学5年生の「自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所（電話やネット、SNS相談をふくむ）」の利用状況を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

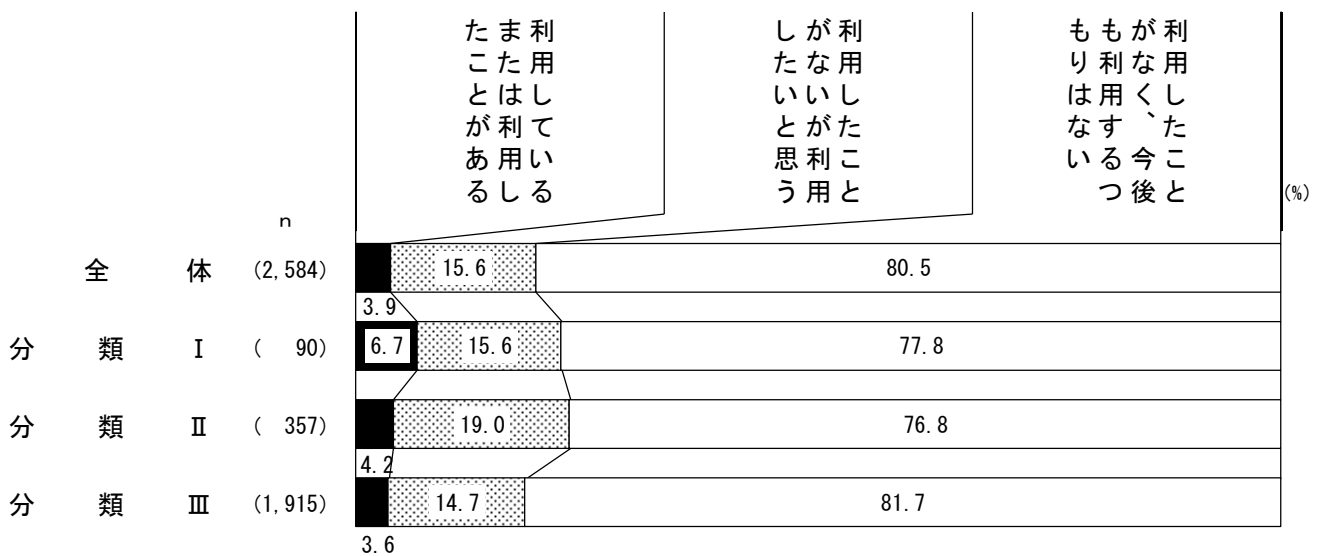
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-48】「自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所（電話やネット、SNS相談をふくむ）」の利用状況（小学5年生・世帯構成別）



小学5年生の「自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所（電話やネット、SNS相談をふくむ）」の利用状況を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

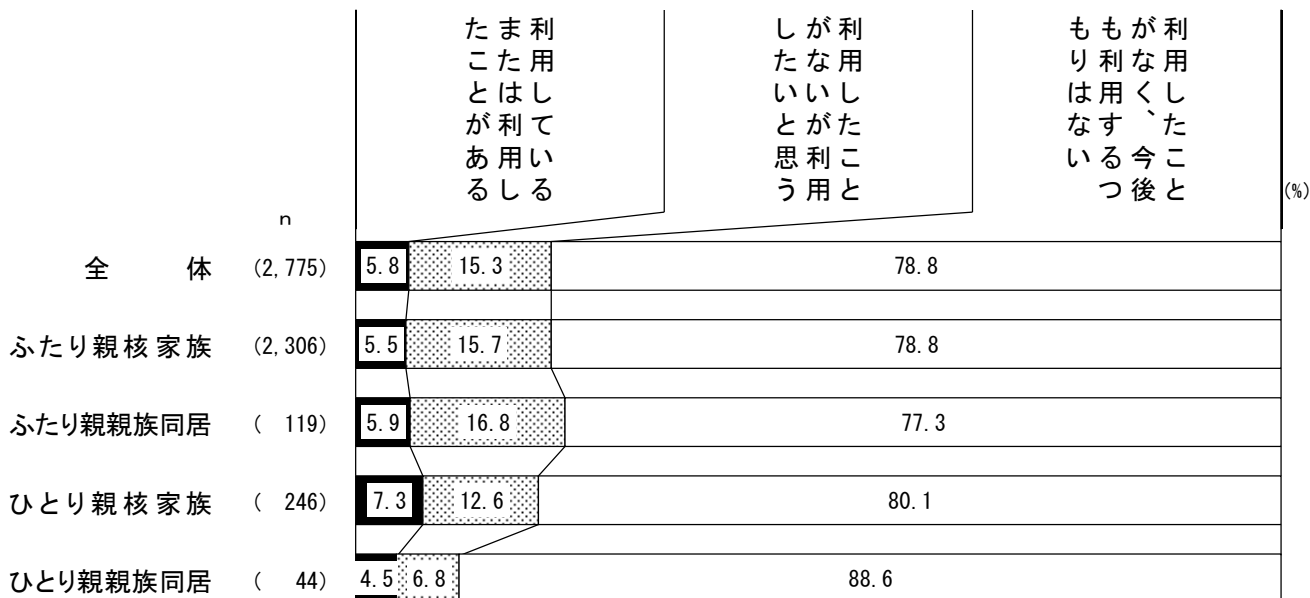
【図表 4-49】「自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所（電話やネット、SNS相談をふくむ）」の利用状況（小学5年生・所得分類別）



中学2年生の「自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所（電話やネット、SNS相談をふくむ）」の利用状況を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

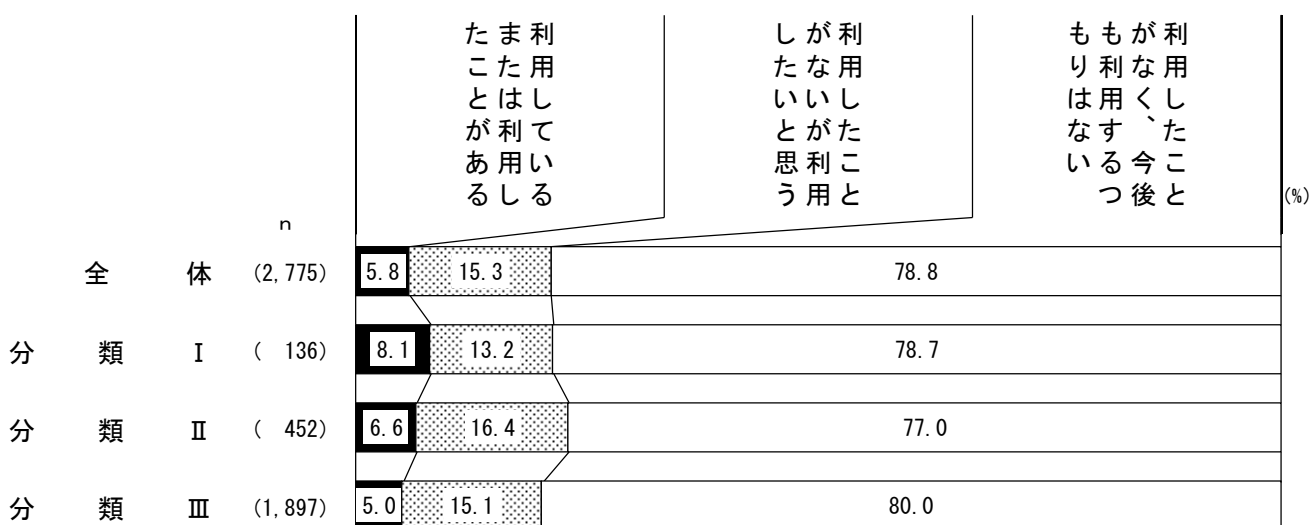
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-50】「自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所（電話やネット、SNS相談をふくむ）」の利用状況（中学2年生・世帯構成別）



中学2年生の「自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所（電話やネット、SNS相談をふくむ）」の利用状況を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

【図表 4-51】「自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所（電話やネット、SNS相談をふくむ）」の利用状況（中学2年生・所得分類別）



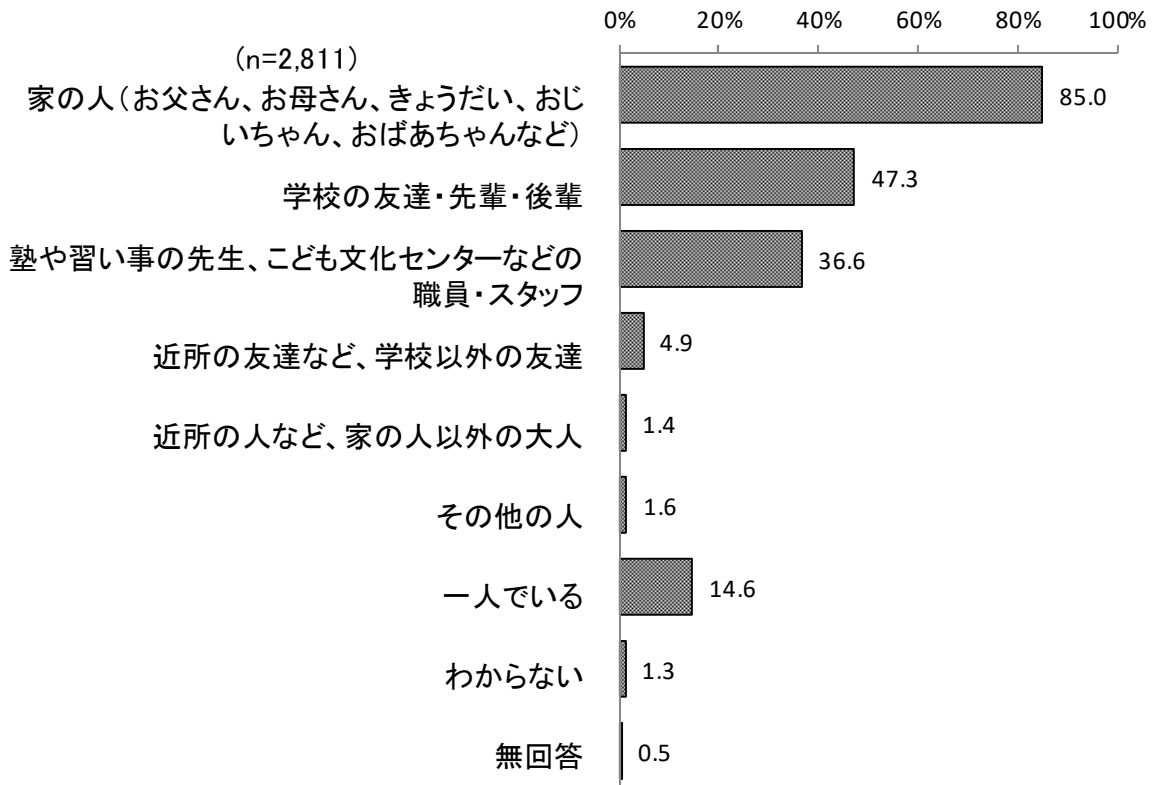
## イ 子どもの平日放課後の過ごし方

### ① 放課後一緒に過ごす人【中学・問 18a】(MA)

中学2年生に放課後一緒に過ごす人を複数回答で聞いたところ、「家の人（お父さん、お母さん、きょうだい、おじいちゃん、おばあちゃんなど）」が 85.0%で最も高く、次いで「学校の友達・先輩・後輩」が 47.3%、「塾や習い事の先生、こども文化センターなどの職員・スタッフ」が 36.6%と続いている。

一方、「一人でのいる」は 14.6%となっている。

【図表 4-52】放課後一緒に過ごす人（複数回答）



中学2年生の放課後一緒に過ごす人を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』、『ひとり親親族同居』で「塾や習い事の先生、こども文化センターなどの職員・スタッフ」が25.0%で全体に比べて低くなっている。

所得分類別にみると、『分類Ⅰ』『分類Ⅱ』で「塾や習い事の先生、こども文化センターなどの職員・スタッフ」が、それぞれ22.5%、24.6%で全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-53】放課後一緒に過ごす人（複数回答）

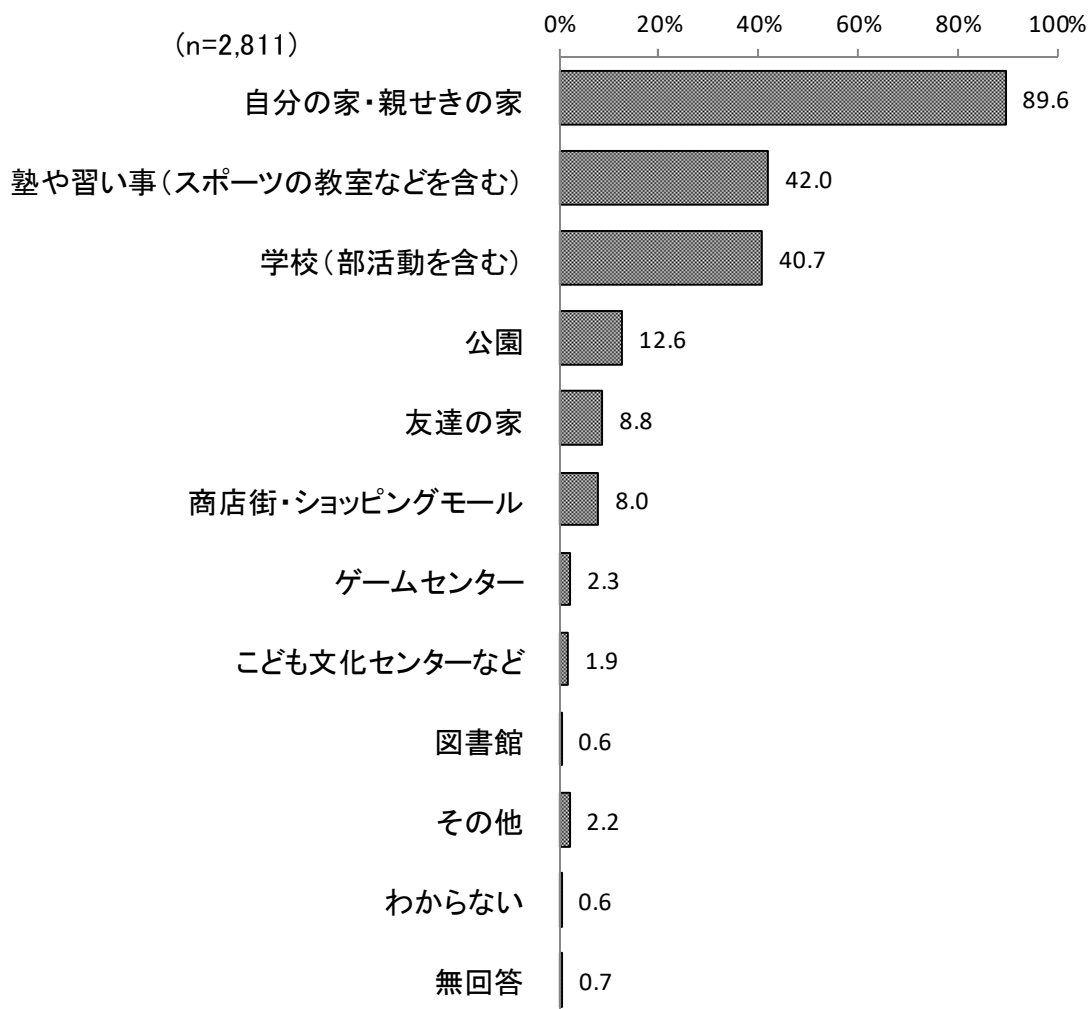
（中学2年生・世帯構成別、所得分類別）

		n	うだの さんなど （おじい ちゃん、 おばあ ちゃん、 あちや きよ）	家の人 （お父 さん、 お母 さん、 おば あちや きよ）	塾や習 い事の 先生、 こども 文化セ ンター などの 職員・ スタッ フ	近所の 人など、 家の人 以外の 大人	学校 の友達 ・先輩 ・後輩	近所 の友達 など、 学校 以外の 友達	その 他の 人	一 人 で い る	わ か ら な い
全	体	2,796	85.4	36.8	1.4	47.6	5.0	1.6	14.7	1.3	
世 帯 構 成	ふたり親核家族	2,320	86.2	38.4	1.4	47.7	5.1	1.7	14.2	1.3	
	ふたり親親族同居	121	80.2	38.8	1.7	48.8	5.8	1.7	14.9	1.7	
	ひとり親核家族	248	79.8	25.0	2.0	46.8	5.2	2.0	19.0	1.6	
	ひとり親親族同居	44	88.6	25.0	0.0	47.7	2.3	0.0	13.6	0.0	
所 得 分 類	分類Ⅰ	138	84.1	22.5	2.9	47.1	5.8	0.7	13.8	1.4	
	分類Ⅱ	459	86.9	24.6	0.7	47.7	5.7	2.4	17.4	2.0	
	分類Ⅲ	1,903	85.2	41.3	1.6	47.4	4.9	1.7	14.2	1.2	

② 放課後過ごす場所【中学・問 18b】(MA)

中学2年生に放課後過ごす場所を複数回答で聞いたところ、「自分の家・親せきの家」が89.6%で最も高く、次いで「塾や習い事(スポーツの教室などを含む)」が42.0%、「学校(部活動を含む)」が40.7%と続いている。

【図表 4-54】放課後過ごす場所(複数回答)



中学2年生の放課後過ごす場所を世帯構成別にみると、『ひとり親親族同居』で「塾や習い事（スポーツの教室などを含む）」が31.8%で全体に比べて低くなっている。

所得分類別にみると、『分類Ⅰ』『分類Ⅱ』で「塾や習い事（スポーツの教室などを含む）」が、それぞれ27.5%、28.7%で全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-55】放課後過ごす場所（複数回答）  
（中学2年生・世帯構成別、所得分類別）

	n	自分の家・親せきの家	友達の家	塾や習い事（スポーツの教室などを含む）	子ども文化センターなど	公園	ゲームセンター	学校（部活動を含む）	図書館	商店街・ショッピングモール	その他	わからない	
全体	2,792	90.3	8.8	42.3	1.9	12.7	2.4	40.9	0.6	8.1	2.2	0.6	
世帯構成	ふたり親核家族	2,317	90.6	8.6	43.6	1.9	12.0	2.2	41.5	0.6	7.4	2.2	0.6
	ふたり親親族同居	121	89.3	8.3	46.3	0.8	14.9	4.1	44.6	0.8	10.7	2.5	0.0
	ひとり親核家族	247	85.8	11.3	32.4	2.4	20.6	4.0	33.6	0.4	13.8	2.8	0.8
	ひとり親親族同居	44	93.2	11.4	31.8	2.3	4.5	2.3	38.6	0.0	6.8	4.5	0.0
所得分類	分類Ⅰ	138	86.2	10.1	27.5	2.2	19.6	3.6	37.7	1.4	13.0	1.4	2.2
	分類Ⅱ	457	91.0	9.6	28.7	2.6	15.5	4.2	40.9	0.7	10.5	1.1	0.9
	分類Ⅲ	1,903	90.2	8.7	46.8	1.9	11.6	2.0	41.7	0.6	7.4	2.5	0.4

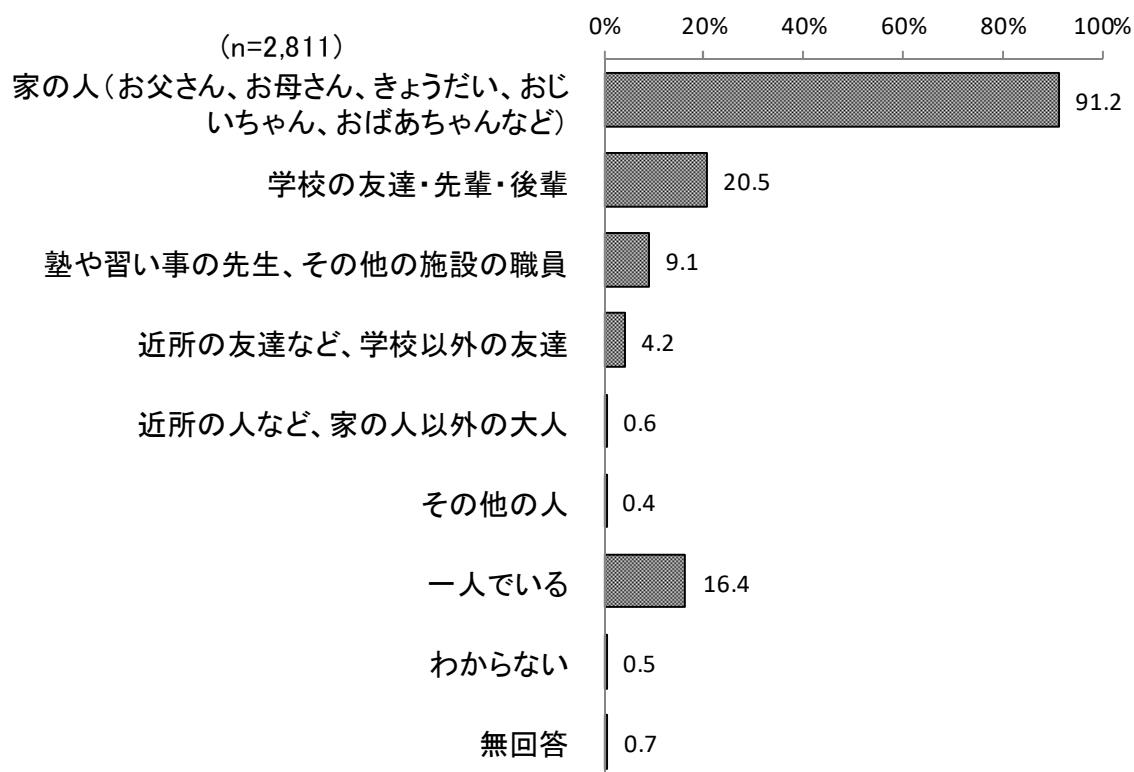
## ウ 子どものコロナ禍に伴う学校休校時の過ごし方

### ① コロナ禍と一緒に過ごした人【中学・問 19a】(MA)

中学2年生にコロナ禍と一緒に過ごした人を複数回答で聞いたところ、「家の人（お父さん、お母さん、きょうだい、おじいちゃん、おばあちゃんなど）」が91.2%で最も高く、次いで「学校の友達・先輩・後輩」が20.5%、「塾や習い事の先生、その他の施設の職員」が9.1%と続いている。

一方、「一人でのいる」は16.4%となっている。

【図表 4-56】 コロナ禍と一緒に過ごした人（複数回答）





中学2年生のコロナ禍と一緒に過ごした人を世帯構成別、所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

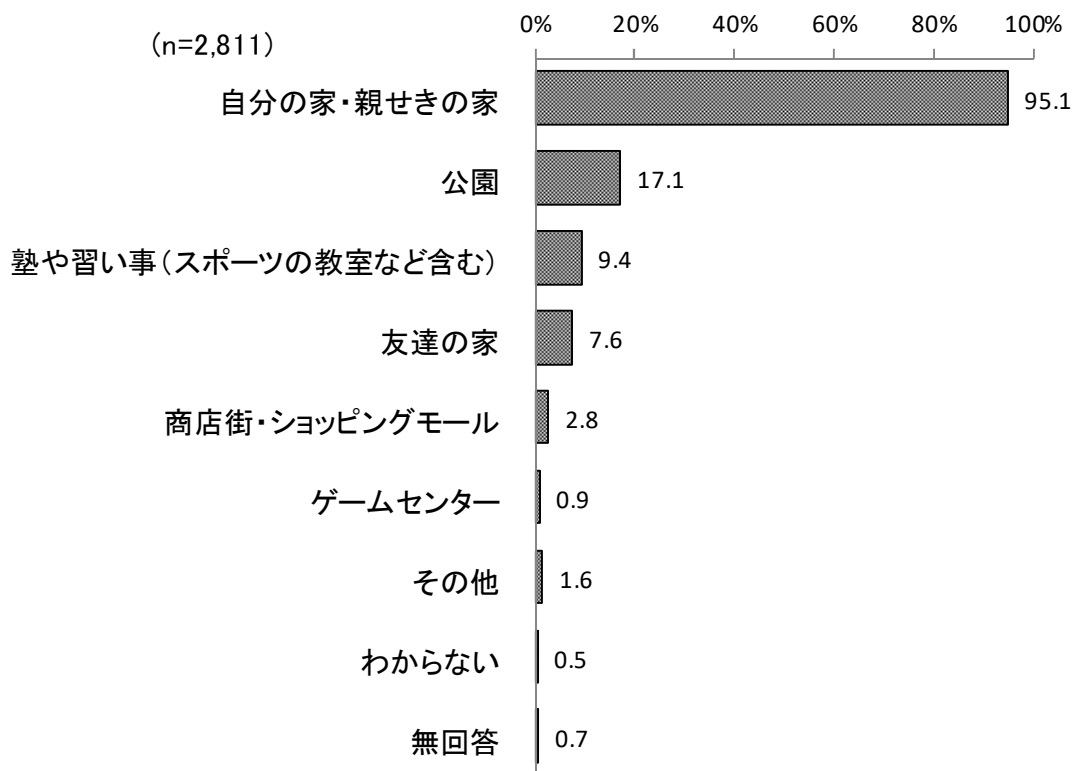
【図表 4-57】 コロナ禍と一緒に過ごした人（複数回答）  
（中学2年生・世帯構成別、所得分類別）

		n	うな だの 人（ お父 さん、 お母 さん、 おば あち きよ ちゃん など）	職 員 塾 や 習 い 事 の 先 生、 そ の 他 の 施 設 の	近 所 の 人 な ど、 家 の 人 以 外 の 大 人	学 校 の 友 達 ・ 先 輩 ・ 後 輩	近 所 の 友 達 な ど、 学 校 以 外 の 友 達	そ の 他 の 人	一 人 で い る	わ か ら な い
全	体	2,791	91.9	9.2	0.6	20.7	4.3	0.4	16.6	0.5
世 帯 構 成	ふたり親核家族	2,317	92.4	9.8	0.7	20.5	4.4	0.4	15.7	0.6
	ふたり親親族同居	121	93.4	6.6	0.0	14.9	5.8	0.8	19.0	0.0
	ひとり親核家族	247	86.2	6.9	0.0	24.7	2.0	0.4	23.5	0.0
	ひとり親親族同居	44	86.4	4.5	0.0	27.3	2.3	0.0	20.5	0.0
所 得 分 類	分類Ⅰ	137	91.2	5.8	0.7	19.7	4.4	0.0	17.5	0.7
	分類Ⅱ	456	91.0	5.5	0.4	19.5	4.6	0.2	17.8	0.9
	分類Ⅲ	1,903	92.0	10.6	0.7	21.2	4.4	0.6	16.3	0.4

② コロナ禍に過ごした場所【中学・問19b】(MA)

中学2年生にコロナ禍に過ごした場所を複数回答で聞いたところ、「自分の家・親せきの家」が95.1%で最も高く、次いで「公園」が17.1%、「塾や習い事(スポーツの教室など含む)」が9.4%と続いている。

【図表 4-58】 コロナ禍に過ごした場所(複数回答)



中学2年生のコロナ禍に過ごした場所を世帯構成別、所得分類別にみると、大きな差はみられない。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-59】 コロナ禍に過ごした場所（複数回答）  
 （中学2年生・世帯構成別、所得分類別）

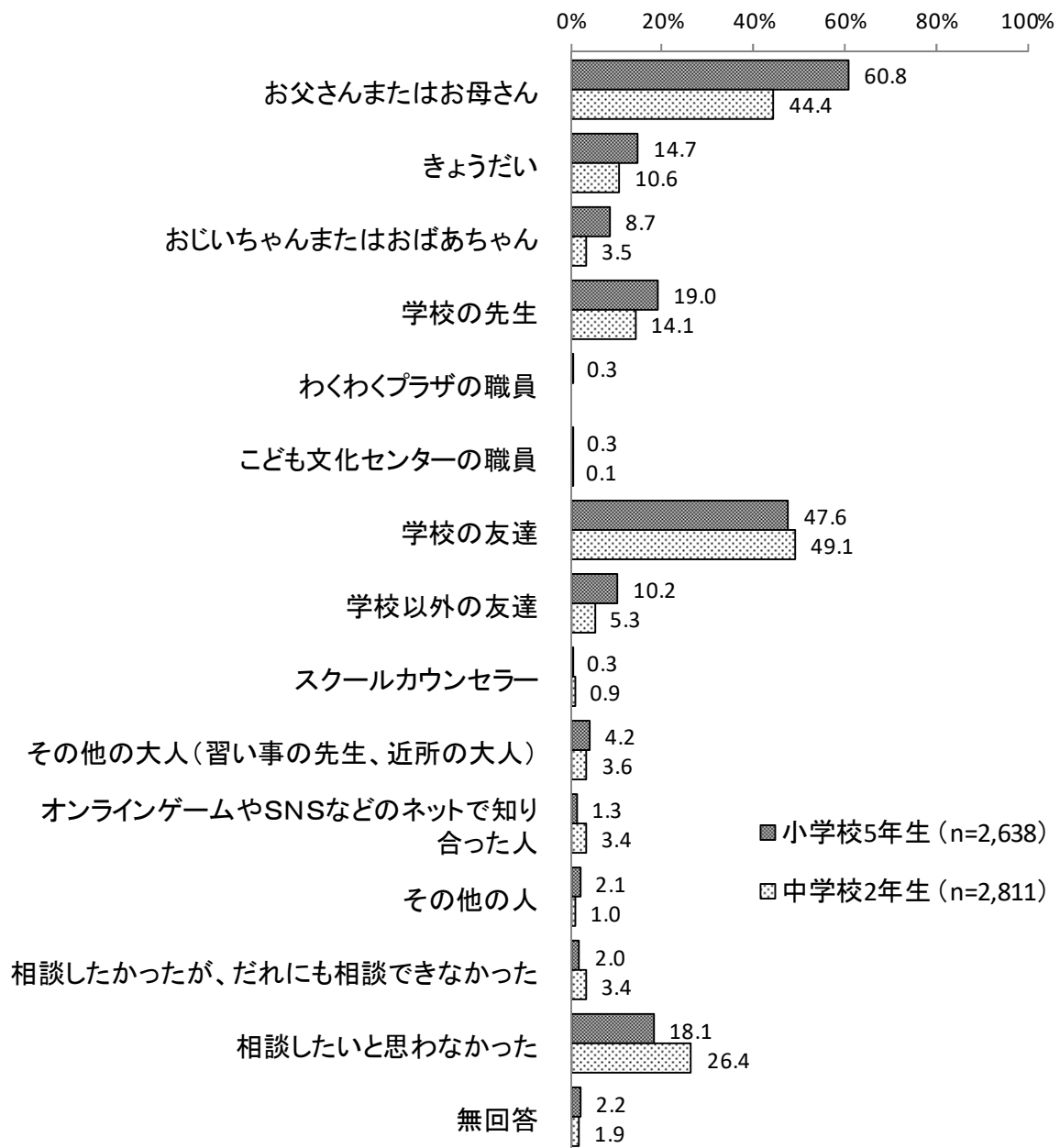
		n	自分の家・親せきの家	友達の家	塾や習い事（スポーツの教室など含む）	公園	ゲームセンター	商店街・ショッピングモール	その他	わからない
全体		2,790	95.8	7.7	9.5	17.2	0.9	2.9	1.6	0.5
世帯構成	ふたり親核家族	2,316	95.7	7.7	9.8	17.4	0.8	2.8	1.6	0.6
	ふたり親親族同居	121	98.3	7.4	9.9	13.2	2.5	2.5	3.3	0.0
	ひとり親核家族	247	94.3	8.9	7.7	17.0	1.6	3.6	0.8	0.0
	ひとり親親族同居	44	95.5	6.8	4.5	18.2	0.0	4.5	4.5	0.0
所得分類	分類Ⅰ	137	97.1	5.8	5.1	16.1	2.9	5.1	0.7	0.7
	分類Ⅱ	457	96.1	8.8	7.2	16.6	1.3	4.2	2.2	0.4
	分類Ⅲ	1,901	95.5	7.8	10.5	17.6	0.7	2.4	1.7	0.5

(3) 相談相手の有無【小学・問17・中学・問22】(MA)

困りごとや悩みの相談相手を複数回答で聞いたところ、小学5年生では「お父さんまたはお母さん」が60.8%で最も高く、次いで「学校の友達」が47.6%、「学校の先生」が19.0%となっている。

中学2年生では「学校の友達」が49.1%で最も高く、次いで「お父さんまたはお母さん」が44.4%、「学校の先生」が14.1%となっている。

【図表 4-60】相談相手の有無（複数回答）



※選択肢「わくわくプラザの職員」は小学5年生のみ

小学5年生の相談相手の有無を世帯構成別にみると、「おじいちゃんまたはおばあちゃん」は『ふたり親親族同居』が24.3%、『ひとり親親族同居』が26.7%とそれぞれ全体に比べて高くなっている。一方、「お父さんまたはお母さん」は『ひとり親親族同居』が40.0%、「学校の友達」は『ひとり親親族同居』が35.6%でそれぞれ全体に比べて低くなっている。

ひとり親の就労状況別にみると、「お父さんまたはお母さん」は『正規』が49.4%で全体に比べて低くなっている。

ふたり親世帯（親族同居）の就労状況別にみると、「おじいちゃんまたはおばあちゃん」は『共働き』が24.4%で全体に比べて高くなっている。

所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-61】相談相手の有無（複数回答）

（小学5年生・世帯構成別、ひとり親世帯の就労状況別、ふたり親世帯の就労状況別、所得分類別）

	n	お父さんまたはお母さん	きょうだい	おじいちゃんまたはおばあちゃん	学校の先生	わくわくプラザの職員	こども文化センターの職員	学校の友達	学校以外の友達	スクールカウンセラー	人 事 の 先 生 、 近 所 の 大 人 所 へ 習 い 	そ の 他 の 知 り 合 つ た 人 の ネ ッ ト や ゲ ー ム 	そ の 他 の 人	か つ た に も 相 談 で き な 	相 談 し た か つ た が 、 	か つ た い と 思 わ な 
全 体	2,579	62.2	15.0	8.9	19.5	0.3	0.3	48.7	10.5	0.3	4.3	1.3	2.2	2.1	18.5	
世帯構成	ふたり親核家族	2,237	62.9	14.8	7.4	19.5	0.4	0.3	49.0	10.5	0.3	4.3	1.3	2.0	2.1	18.6
	ふたり親親族同居	111	65.8	14.4	<b>24.3</b>	<b>27.9</b>	0.0	0.0	<b>54.1</b>	9.0	0.0	4.5	1.8	1.8	0.9	17.1
	ひとり親核家族	137	59.9	18.2	11.7	16.1	0.0	0.7	44.5	9.5	0.0	5.8	0.7	3.6	2.2	16.8
	ひとり親親族同居	45	40.0	17.8	<b>26.7</b>	13.3	0.0	0.0	<b>35.6</b>	13.3	0.0	2.2	0.0	4.4	4.4	15.6
ひとり親	正規	83	49.4	15.7	<b>14.5</b>	13.3	0.0	0.0	47.0	12.0	0.0	6.0	0.0	3.6	4.8	18.1
	非正規	69	59.4	<b>23.2</b>	<b>15.9</b>	18.8	0.0	0.0	<b>39.1</b>	7.2	0.0	2.9	0.0	4.3	1.4	14.5
	自営業	14	50.0	14.3	14.3	7.1	0.0	0.0	42.9	21.4	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	14.3
	無職	15	66.7	13.3	20.0	13.3	0.0	6.7	33.3	6.7	0.0	13.3	6.7	0.0	0.0	20.0
核家族	ふたり親	1,683	60.9	14.7	7.3	19.8	0.4	0.4	48.5	10.7	0.3	4.1	1.1	2.1	2.4	19.5
	専業主婦（夫）	526	<b>68.8</b>	15.0	7.4	18.6	0.0	0.0	50.8	10.3	0.2	4.9	2.3	1.7	1.0	16.0
	その他（両方無職含む）	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
親族同居	ふたり親	82	67.1	12.2	<b>24.4</b>	<b>26.8</b>	0.0	0.0	<b>56.1</b>	8.5	0.0	4.9	1.2	1.2	1.2	18.3
	専業主婦（夫）	26	65.4	19.2	23.1	30.8	0.0	0.0	46.2	11.5	0.0	3.8	3.8	3.8	0.0	11.5
	その他（両方無職含む）	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
所得分類	分類Ⅰ	92	66.3	<b>20.7</b>	<b>14.1</b>	21.7	0.0	0.0	46.7	7.6	0.0	6.5	1.1	1.1	1.1	13.0
	分類Ⅱ	356	58.7	15.7	11.5	21.3	1.1	0.6	<b>54.5</b>	9.6	0.0	3.1	2.5	3.7	2.8	15.2
	分類Ⅲ	1,908	62.9	14.8	8.1	19.4	0.1	0.3	48.1	11.0	0.3	4.5	1.2	1.8	1.9	19.3

中学2年生の相談相手の有無を世帯構成別、就労状況別、所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-62】相談相手の有無（複数回答）

（中学2年生・世帯構成別、ひとり親世帯の就労状況別、ふたり親世帯の就労状況別、所得分類別）

	n	お父さんまたはお母さん	きょうだい	おばあちゃんまたはおじいちゃん	学校の先生	職員 子ども文化センターの	後輩 学校の友達・先輩・	学校以外の友達	スクール カウンセラー	人 事 の 先生、 近所の 大人（習 大い	その 他の 大人 （習大 の先生、 近所の 大人）	で知 り合 った 人	S N S な ど の ネ ッ ト	オ ン ラ イ ン の ゲ ー ム や	そ の 他 の 人	か た れ に も 相 談 で き な か つ た	相 談 し た か つ た が、 だ れ に も 相 談 で き な か つ た	相 談 し た い と 思 わ な か つ た
全 体	2,758	45.3	10.8	3.5	14.4	0.1	50.0	5.4	0.9	3.6	3.5	1.0	3.4	26.9				
世帯 構成	ふたり親核家族	2,290	45.7	10.5	2.5	14.1	0.1	50.2	5.5	1.0	3.6	3.2	1.0	3.4	26.9			
	ふたり親親族同居	120	55.0	13.3	10.0	16.7	0.0	52.5	3.3	0.0	8.3	2.5	0.8	3.3	20.0			
	ひとり親核家族	243	36.6	10.7	5.8	15.6	0.4	48.1	7.0	0.8	2.9	5.3	0.8	3.7	30.9			
	ひとり親親族同居	44	45.5	9.1	15.9	15.9	0.0	47.7	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	6.8	27.3			
ひ と り 親	正規	119	38.7	10.9	7.6	15.1	0.0	48.7	5.9	0.8	2.5	4.2	0.8	3.4	28.6			
	非正規	118	37.3	12.7	7.6	15.3	0.8	50.0	5.1	1.7	4.2	7.6	1.7	4.2	32.2			
	自営業	19	36.8	10.5	15.8	26.3	0.0	42.1	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5	15.8			
	無職	26	38.5	0.0	0.0	15.4	0.0	38.5	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	38.5			
核 家 族 ふ た り 親	共働き	1,841	45.2	10.9	2.6	14.0	0.1	51.1	5.4	1.1	3.6	3.1	1.1	3.9	25.9			
	専業主婦（夫）	421	47.5	9.0	2.4	14.5	0.2	47.3	6.2	0.5	3.6	4.0	1.0	1.9	30.9			
	その他（両方無職含む）	1	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
親 族 ふ た り 同 居 親	共働き	102	52.0	14.7	10.8	16.7	0.0	51.0	2.9	0.0	8.8	2.0	1.0	2.0	22.5			
	専業主婦（夫）	15	66.7	6.7	6.7	6.7	0.0	60.0	6.7	0.0	6.7	6.7	0.0	13.3	6.7			
	その他（両方無職含む）	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
所 得 分 類	分類Ⅰ	135	41.5	11.1	5.9	17.0	0.0	54.8	5.9	0.7	0.7	3.7	0.0	3.0	25.9			
	分類Ⅱ	454	40.5	10.1	4.6	17.6	0.0	50.4	8.4	1.5	4.8	4.6	1.1	3.7	28.0			
	分類Ⅲ	1,883	47.1	10.7	2.7	13.9	0.2	50.6	4.8	0.8	3.7	2.9	1.1	3.6	26.2			

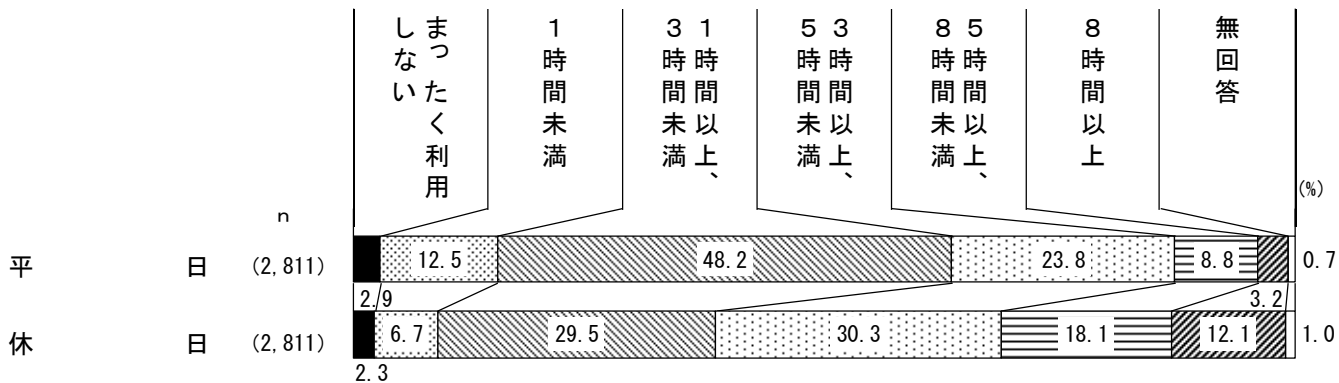
(3) スマートフォン等情報機器の利用状況等

ア 情報機器の利用状況

① 平日・休日の情報機器の利用状況【中学・問17a】(SA)

中学2年生にスマートフォン(携帯電話)、パソコン、タブレット端末等の情報機器の利用状況を聞いたところ、平日は「1時間以上、3時間未満」が48.2%で最も高く、次いで「3時間以上、5時間未満」が23.8%、休日は「3時間以上、5時間未満」が30.3%で最も高く、次いで「1時間以上、3時間未満」が29.5%となっている。

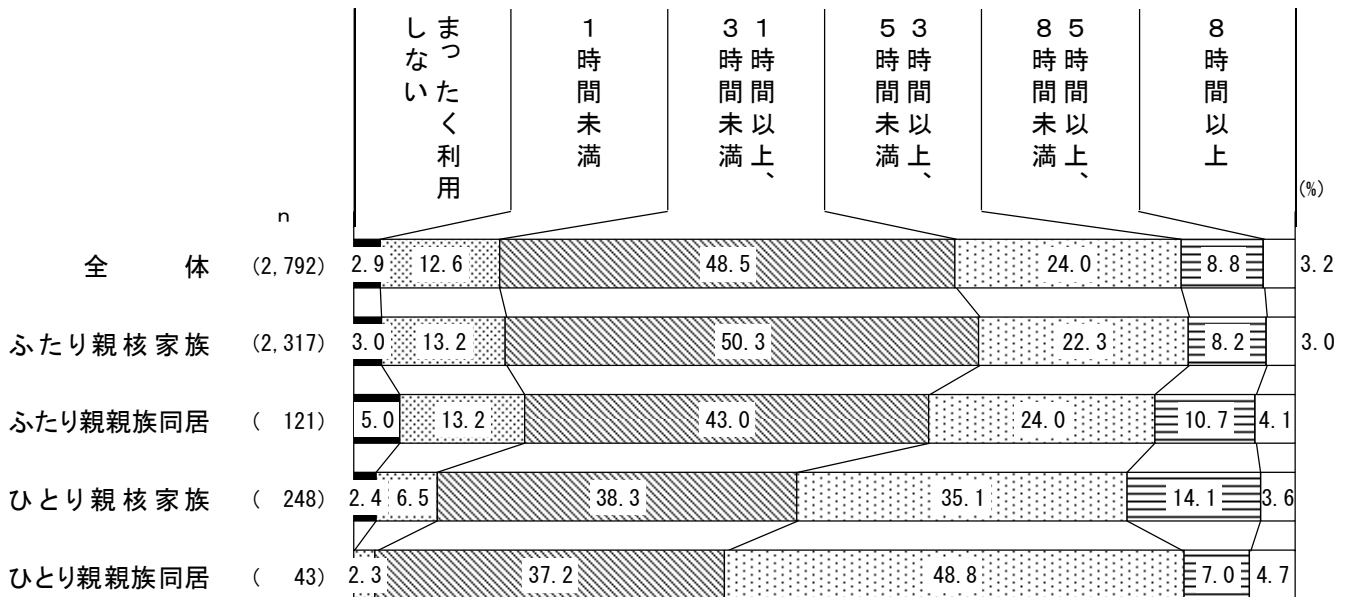
【図表 4-63】 平日・休日の情報機器の利用状況(中学2年生)



中学2年生の平日の情報機器の利用状況を世帯構成別にみると、『ひとり親親族同居』で「3時間以上5時間未満」が48.8%と全体に比べて高くなっている。一方、『ひとり親親族同居』で「1時間以上3時間未満」が37.2%と全体に比べて低くなっている。

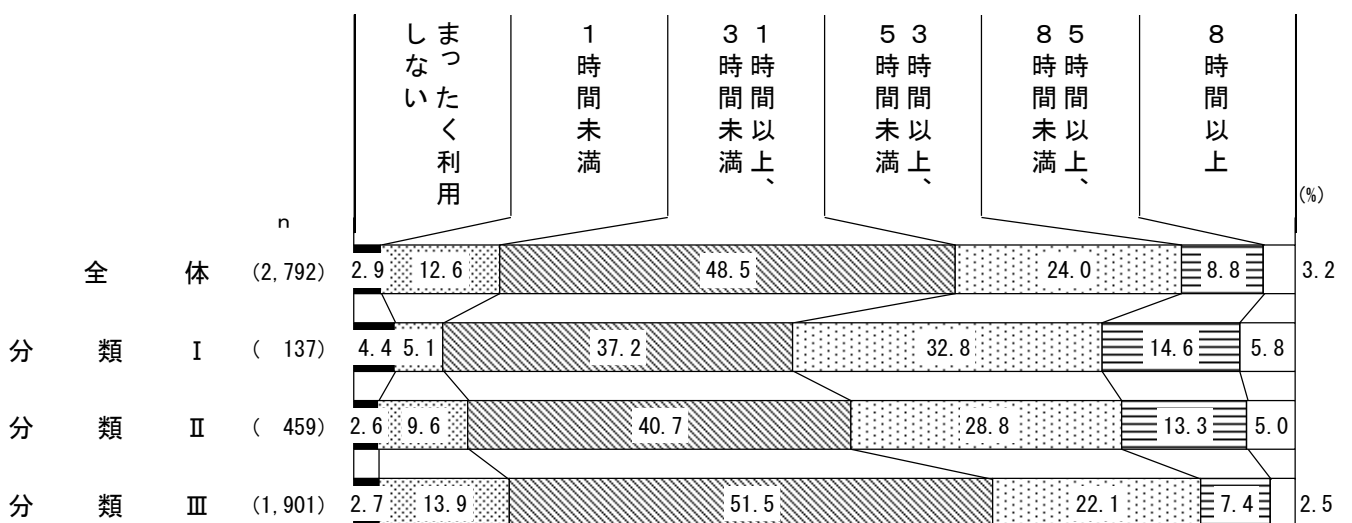
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-64】 平日の情報機器の利用状況（中学2年生・世帯構成別）



中学2年生の平日の情報機器の利用状況を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

【図表 4-65】 平日の情報機器の利用状況（中学2年生・所得分類別）

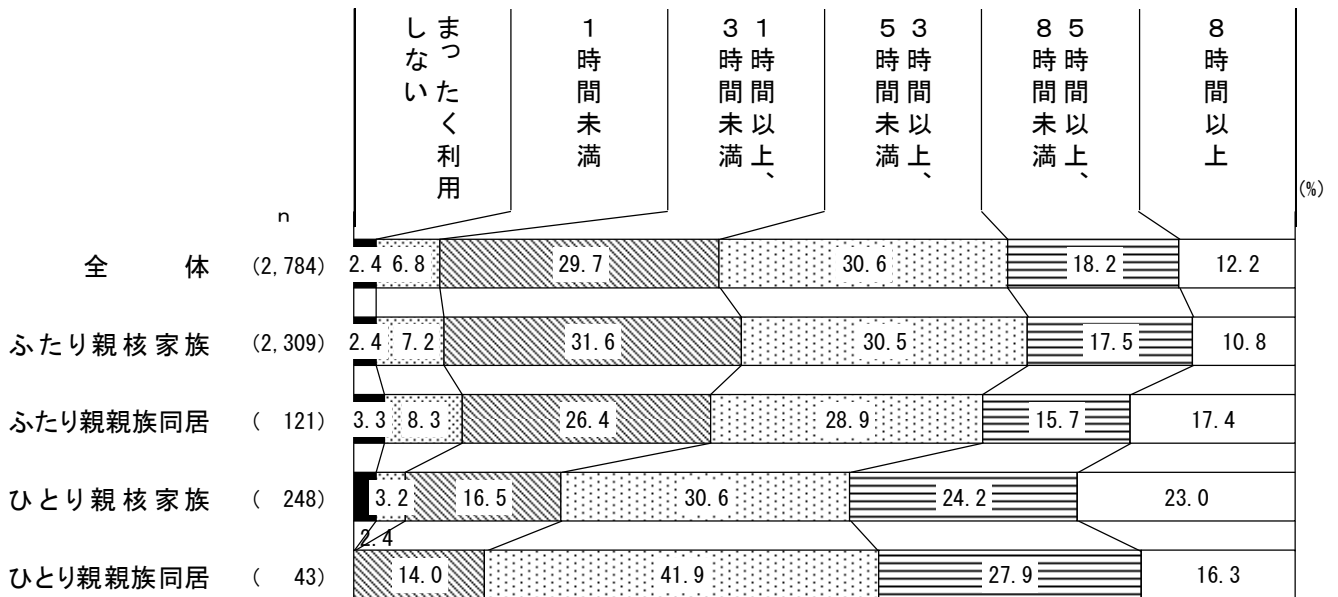




中学2年生の休日の情報機器の利用状況を世帯構成別にみると、『ひとり親親族同居』で「3時間以上5時間未満」が41.9%と全体に比べて高くなっている。一方、『ひとり親核家族』（16.5%）、『ひとり親親族同居』（14.0%）で「1時間以上3時間未満」がそれぞれ全体に比べて低くなっている。

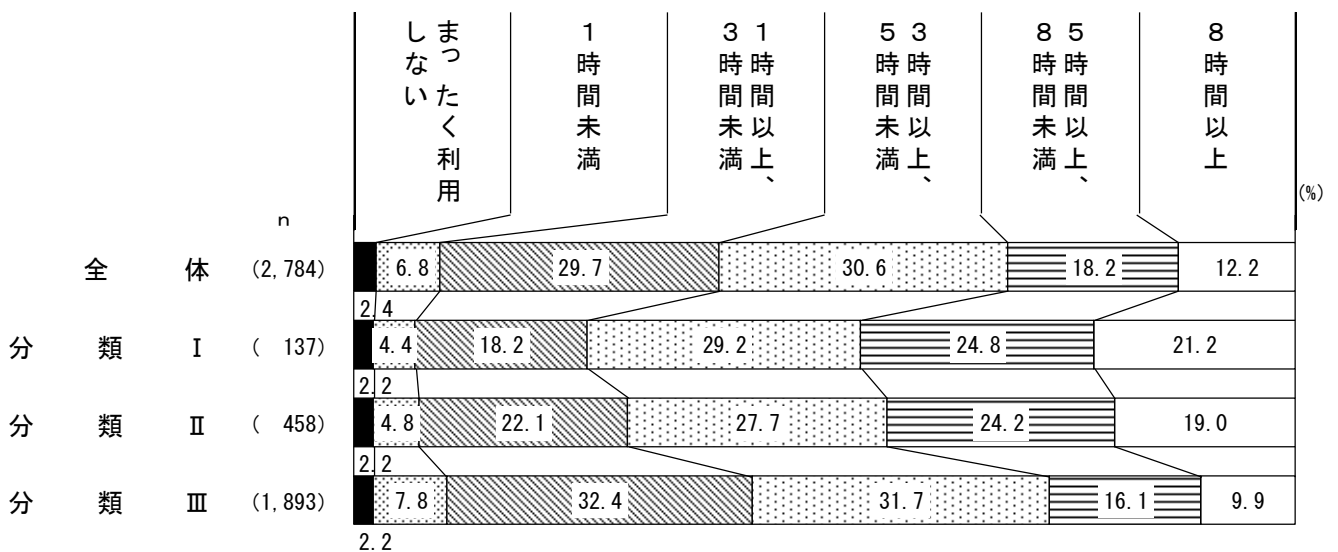
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-66】 休日の情報機器の利用状況（中学2年生・世帯構成別）



中学2年生の休日の情報機器の利用状況を所得分類別にみると、『分類Ⅰ』で「1時間以上3時間未満」が18.2%と全体に比べて低くなっている。

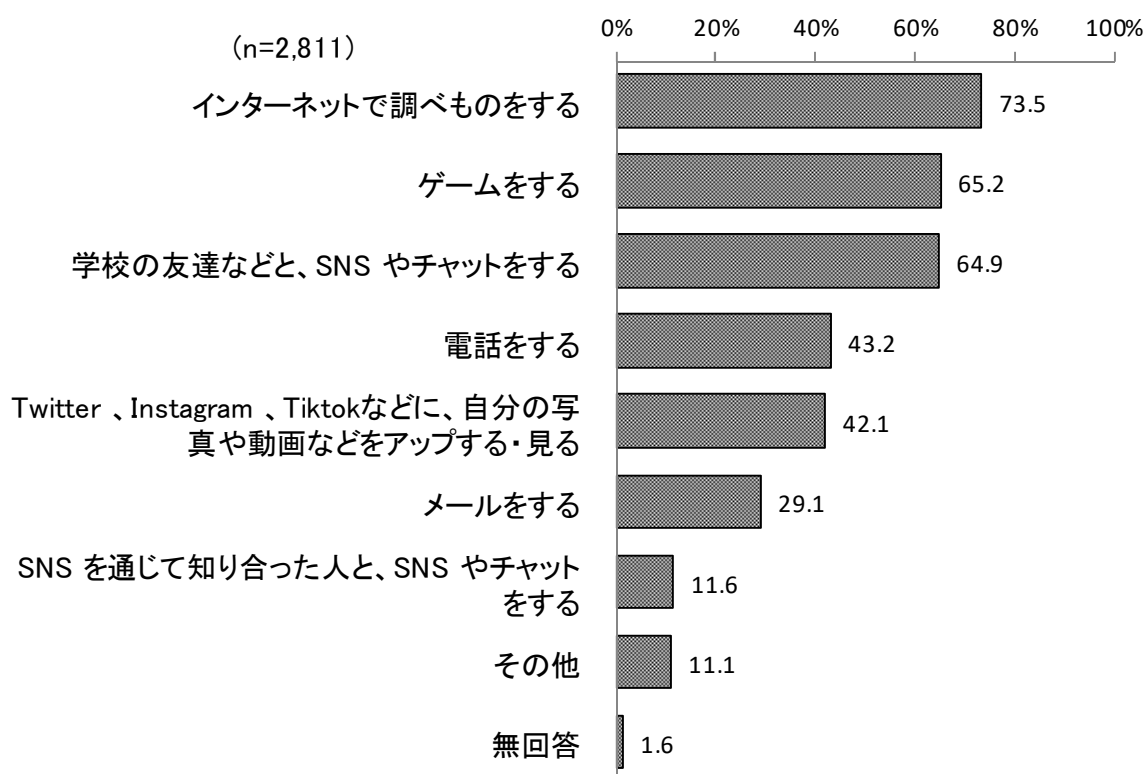
【図表 4-67】 休日の情報機器の利用状況（中学2年生・所得分類別）



## ② 情報機器の利用目的【中学・問17b】(MA)

中学2年生でスマートフォン（携帯電話）、パソコン、タブレット端末等の情報機器の利用している人に、利用目的を複数回答で聞いたところ、「インターネットで調べものをする」が73.5%で最も高く、次いで「ゲームをする」が65.2%、「学校の友達などと、SNS やチャットをする」が64.9%と続いている。

【図表 4-68】情報機器の利用目的（複数回答）（中学2年生）



中学2年生の情報機器の利用目的を世帯構成別、所得分類別にみると、大きな差はみられない。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-69】情報機器の利用目的（複数回答）  
 （中学2年生・世帯構成別、所得分類別）

		n	学校の友達などと、SNSやチャットをする	電話をする	SNSを通じて知り合った人と、SNSやチャットをする	Twitter、Facebookなどに、自分の写真や動画をアップする・見る	ゲームをする	メールをする	インターネットで調べものをする	その他
全体		2,766	65.9	43.9	11.8	42.8	66.3	29.5	74.7	11.3
世帯構成	ふたり親核家族	2,297	67.0	42.5	11.3	42.4	65.7	29.1	74.8	11.6
	ふたり親親族同居	119	57.1	52.1	9.2	37.8	71.4	35.3	72.3	12.6
	ひとり親核家族	245	64.9	52.7	16.7	50.6	67.3	30.2	75.9	10.2
	ひとり親親族同居	44	59.1	40.9	11.4	40.9	75.0	25.0	70.5	6.8
所得分類	分類Ⅰ	135	58.5	50.4	14.1	48.1	71.1	30.4	74.8	7.4
	分類Ⅱ	456	64.3	48.5	15.4	43.4	72.6	33.6	74.3	12.3
	分類Ⅲ	1,887	67.3	41.5	10.3	42.7	64.7	28.5	75.7	11.6

### 第3節 子どもの学校生活

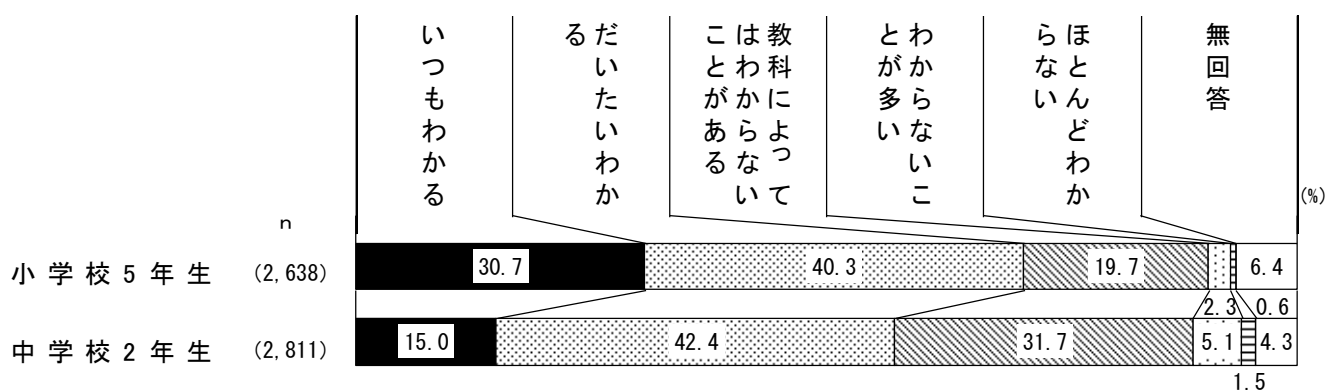
#### (1) 学習状況

##### ア 授業の理解度

##### ① 授業の理解度【小学・問2・中学・問2】(SA)

授業の理解度を聞いたところ、小学5年生では「だいたいわかる」が40.3%で最も高く、次いで「いつもわかる」が30.7%、「教科によってはわからないことがある」が19.7%となっている。中学2年生では「だいたいわかる」が42.4%で最も高く、次いで「教科によってはわからないことがある」が31.7%、「いつもわかる」が15.0%となっている。

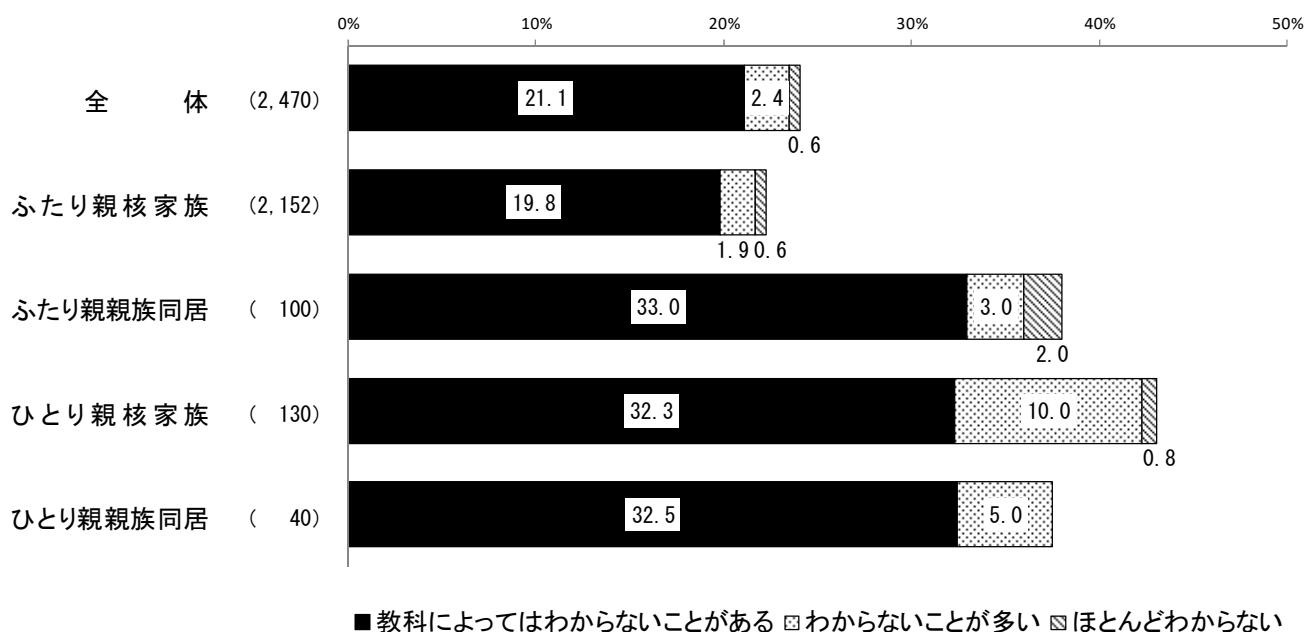
【図表 4-70】 授業の理解度



小学5年生の授業の理解度を世帯構成別にみると、「教科によってはわからないことがある」は『ふたり親親族同居』が33.0%、『ひとり親核家族』が32.3%、『ひとり親親族同居』が32.5%で全体に比べて高くなっている。

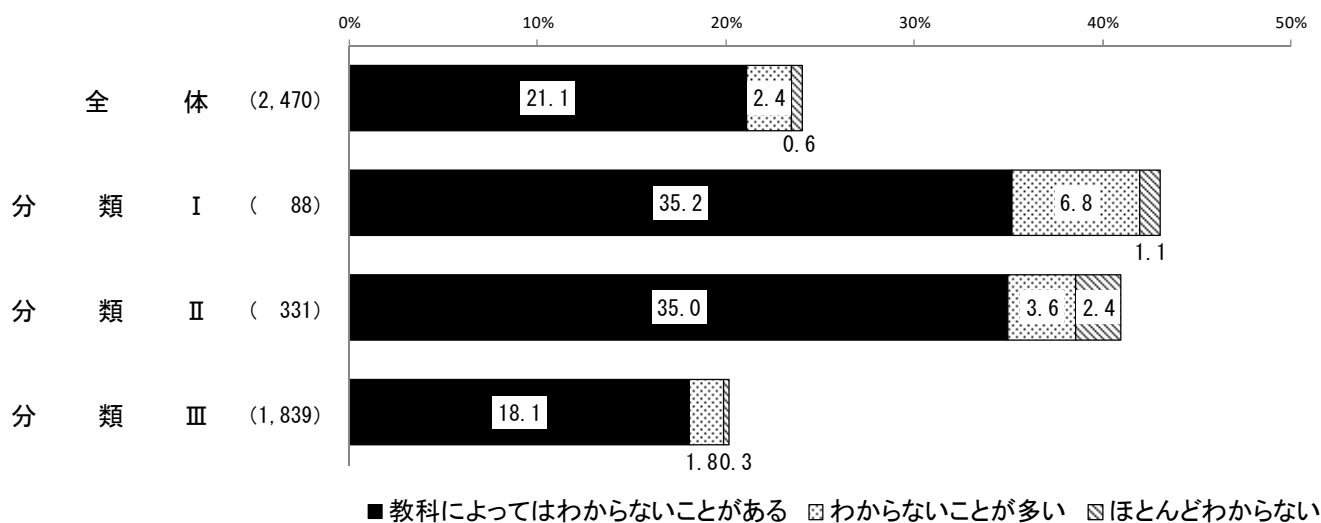
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-71】授業の理解度（小学5年生・世帯構成別）



小学5年生の授業の理解度を所得分類別にみると、「教科によってはわからないことがある」は『分類Ⅰ』(35.2%)と『分類Ⅱ』(35.0%)が全体に比べて高くなっている。

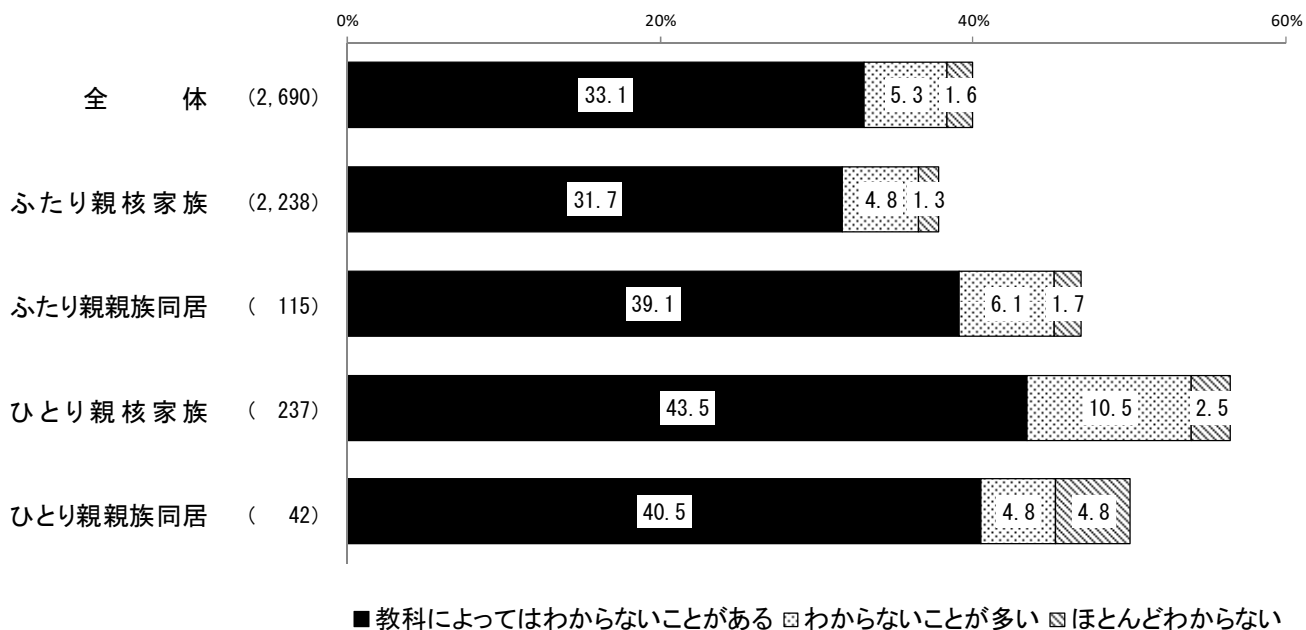
【図表 4-72】授業の理解度（小学5年生・所得分類別）



中学2年生の授業の理解度を世帯構成別にみると、「教科によってはわからないことがある」は『ひとり親核家族』が43.5%で全体に比べて高くなっている。

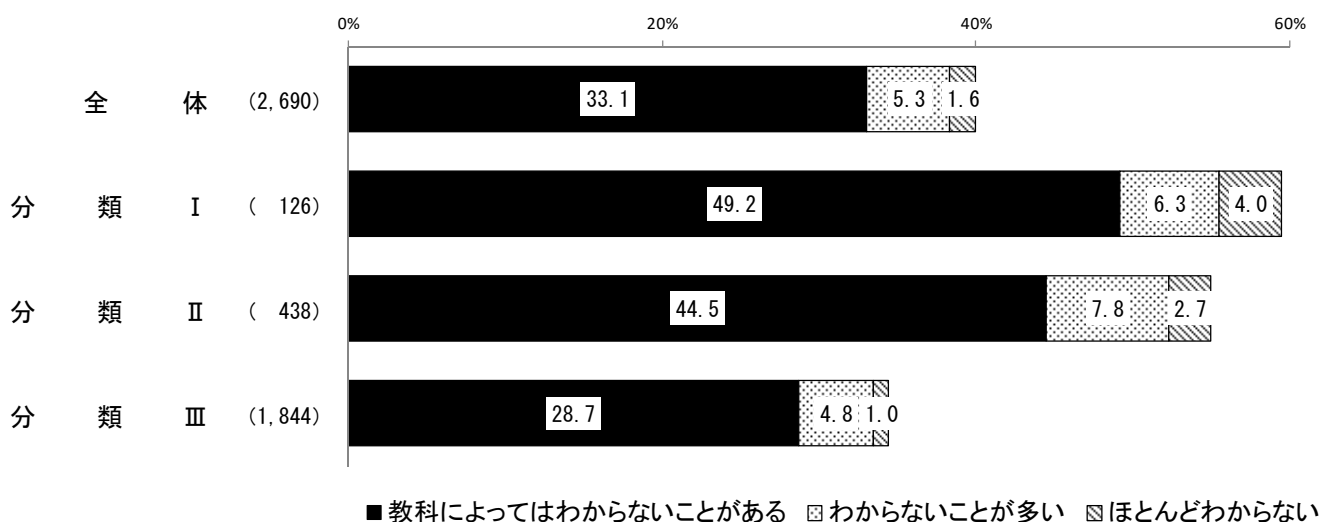
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-73】授業の理解度（中学2年生・世帯構成別）



中学2年生の授業の理解度を所得分類別にみると、「教科によってはわからないことがある」は『分類Ⅰ』で49.2%、『分類Ⅱ』が44.5%と全体に比べて高くなっている。

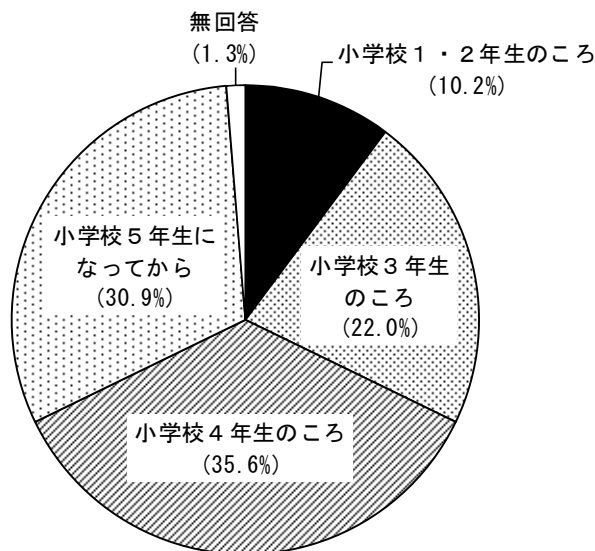
【図表 4-74】授業の理解度（中学2年生・所得分類別）



② 授業がわからなくなった学年【小学・問3・中学・問3】(SA)

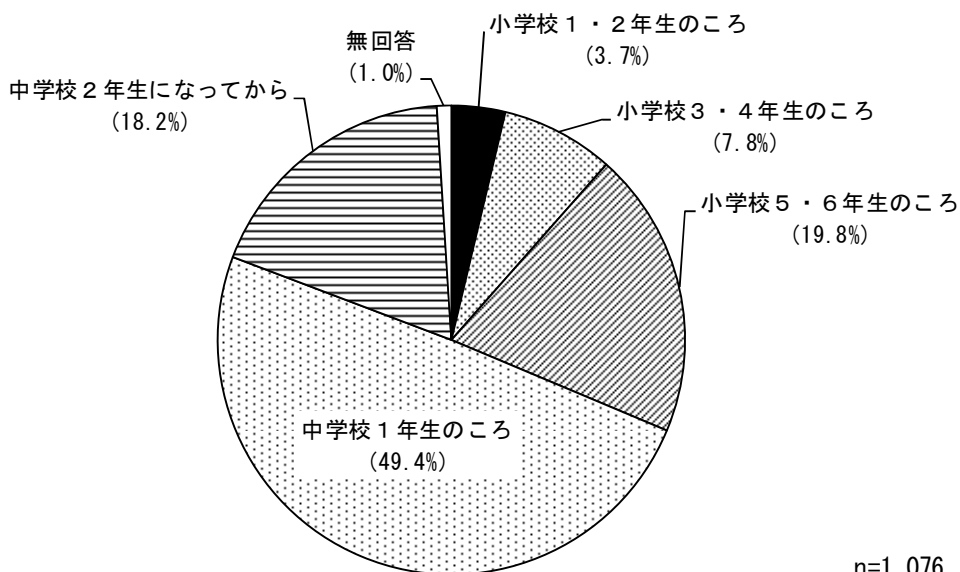
「教科によってはわからないことがある」「ほとんどわからないことが多い」「ほとんどわからない」のいずれかを回答した方に、授業がわからなくなった学年を聞いたところ、小学5年生では「小学校4年生のころ」が35.6%で最も高く、次いで「小学校5年生になってから」が30.9%、「小学校3年生のころ」が22.0%となっている。中学2年生では「中学校1年生のころ」が49.4%で最も高く、次いで「小学校5・6年生のころ」が19.8%、「中学校2年生になってから」が18.2%となっている。

【図表 4-75】 授業がわからなくなった学年（小学5年生）



n= 596

【図表 4-76】 授業がわからなくなった学年（中学2年生）

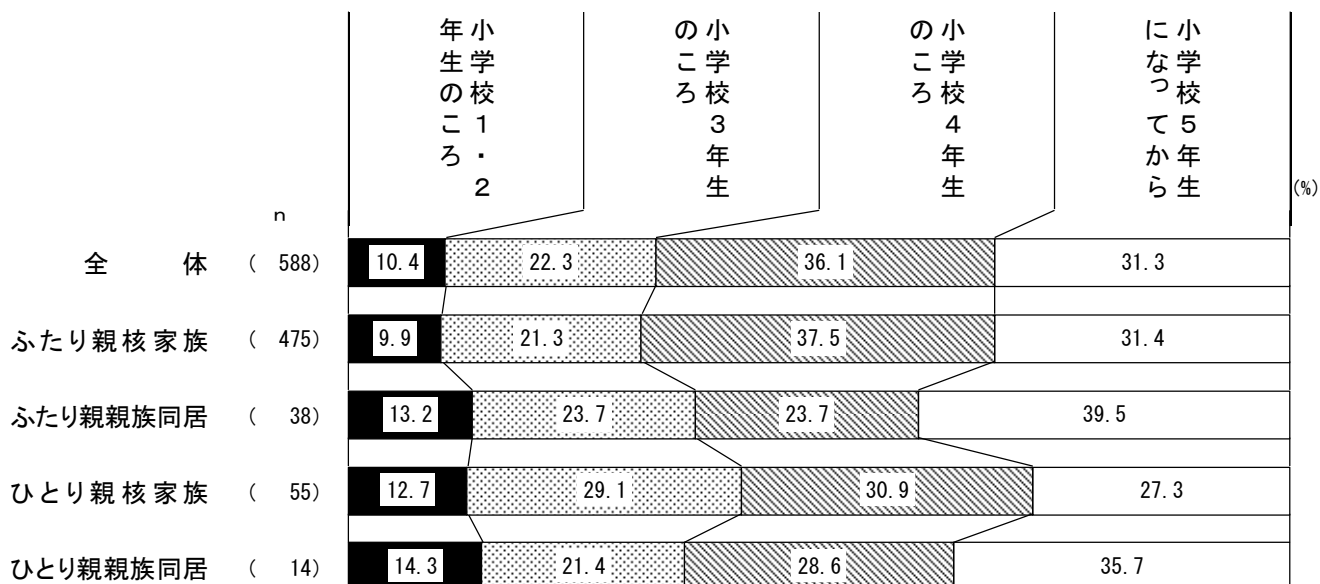


n=1,076

小学5年生の授業が分からなくなった学年を世帯構成別にみると、「小学校4年生のころ」は『ふたり親親族同居』が23.7%で全体に比べて低くなっている。

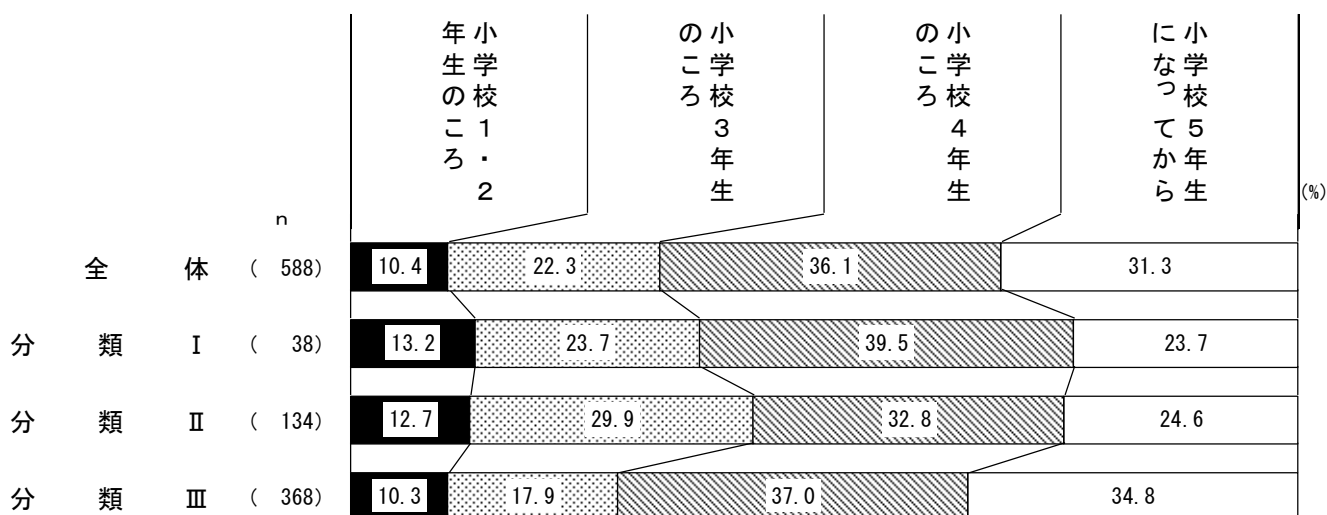
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-77】授業がわからなくなった学年（小学5年生・世帯構成別）



小学5年生の授業が分からなくなった学年を所得分類別にみると、大きな差はみられない。なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

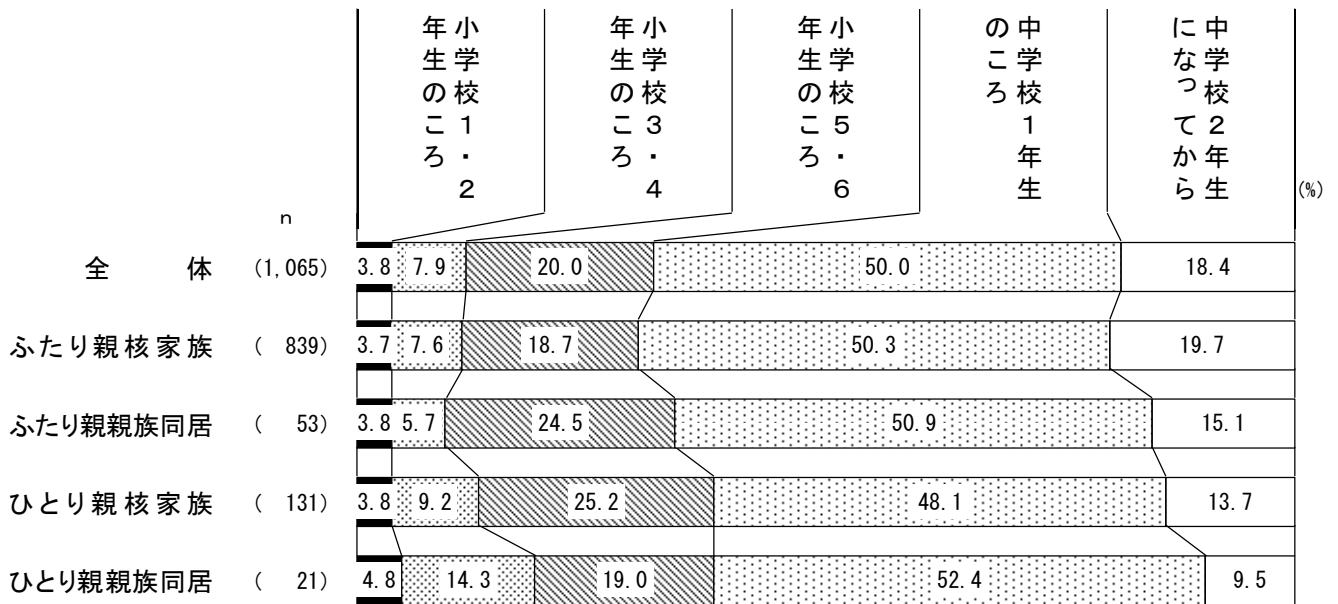
【図表 4-78】授業がわからなくなった学年（小学5年生・所得分類別）





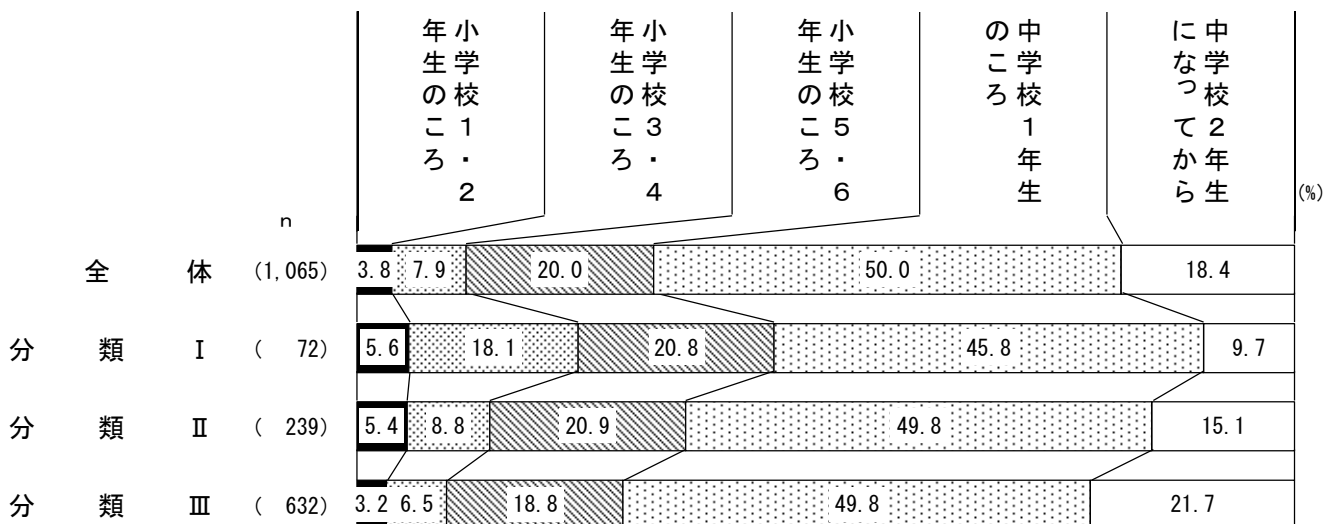
中学2年生の授業が分からなくなった学年を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-79】授業がわからなくなった学年（中学2年生・世帯構成別）



中学2年生の授業が分からなくなった学年を所得分類別にみると、「小学校3・4年生のころ」は『分類Ⅰ』が18.1%で全体に比べて高くなっている。

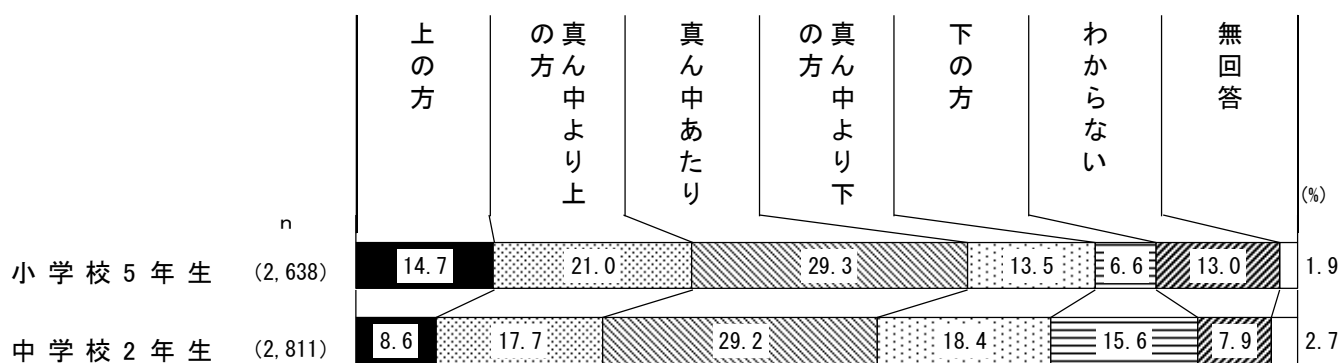
【図表 4-80】授業がわからなくなった学年（中学2年生・所得分類別）



## イ 成績【小学・問4・中学・問4】(SA)

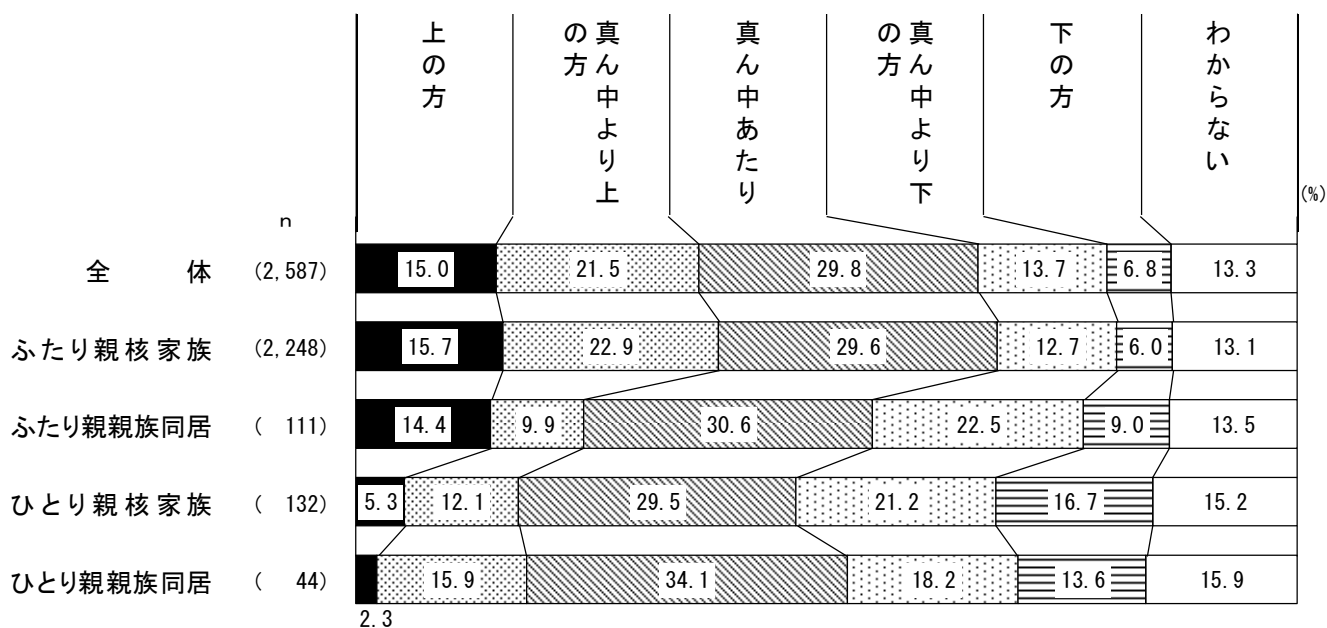
クラス内での成績を聞いたところ、小学5年生では「真ん中あたり」が29.3%で最も高く、次いで「真ん中より上の方」が21.0%、「上の方」が14.7%となっている。中学2年生では「真ん中あたり」が29.2%で最も高く、次いで「真ん中より下の方」が18.4%、「真ん中より上の方」が17.7%となっている。

【図表 4-81】クラス内での成績



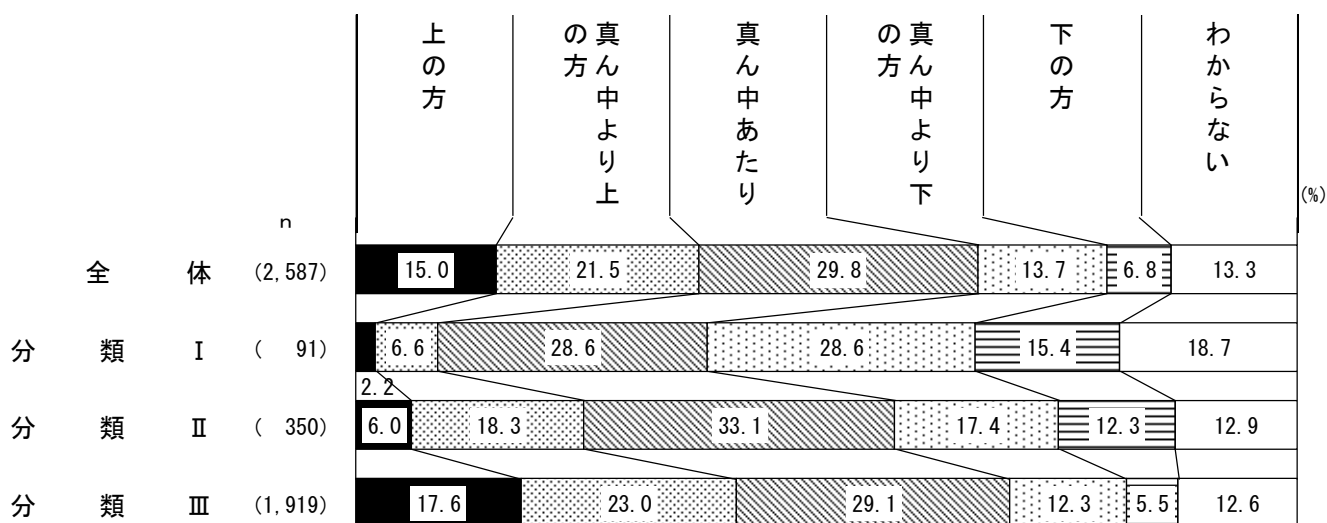
小学5年生のクラス内での成績を世帯構成別にみると、「上の方」は『ひとり親親族同居』が2.3%、「真ん中より上の方」は『ふたり親親族同居』が9.9%と全体に比べて低くなっている。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-82】 クラス内での成績（小学5年生・世帯構成別）



小学5年生のクラス内での成績を所得分類別にみると、「真ん中より下の方」は『分類Ⅰ』が28.6%と全体に比べて高くなっている。また、「上の方」は『分類Ⅰ』が2.2%、「真ん中より上の方」は『分類Ⅰ』が6.6%と全体に比べて低くなっている。

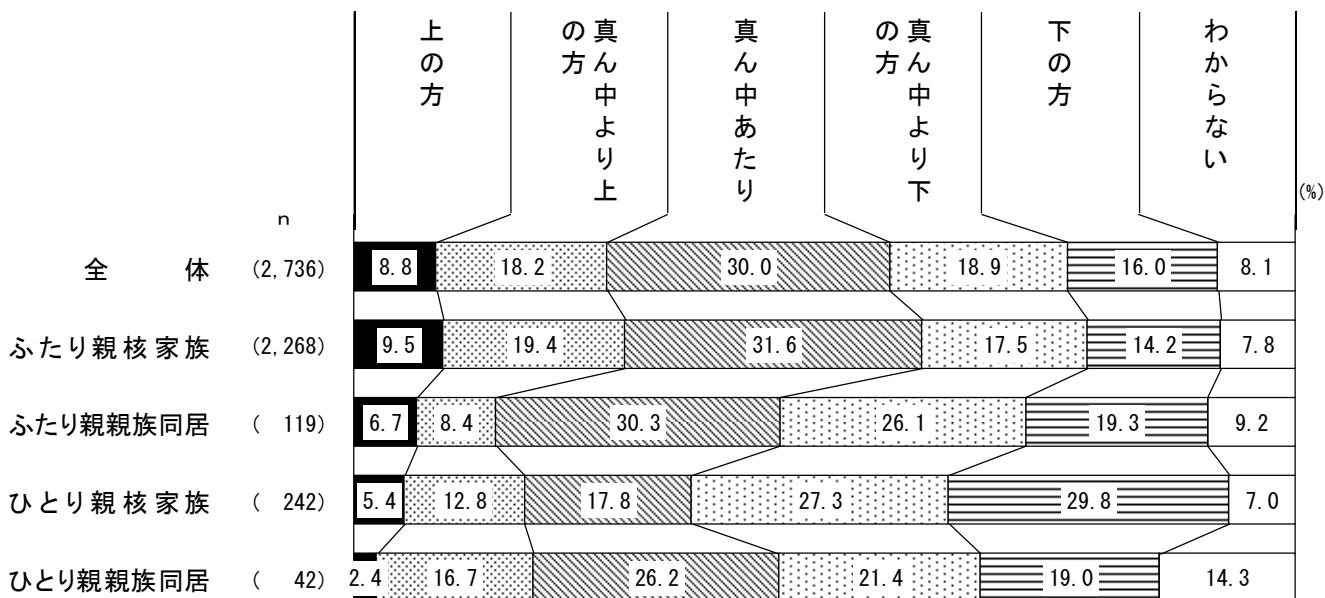
【図表 4-83】 クラス内での成績（小学5年生・所得分類別）



中学2年生のクラス内での成績を世帯構成別にみると、「下の方」は『ひとり親核家族』が29.8%と全体に比べて高くなっている。また、「真ん中あたり」は『ひとり親核家族』が17.8%と全体に比べて低くなっている。

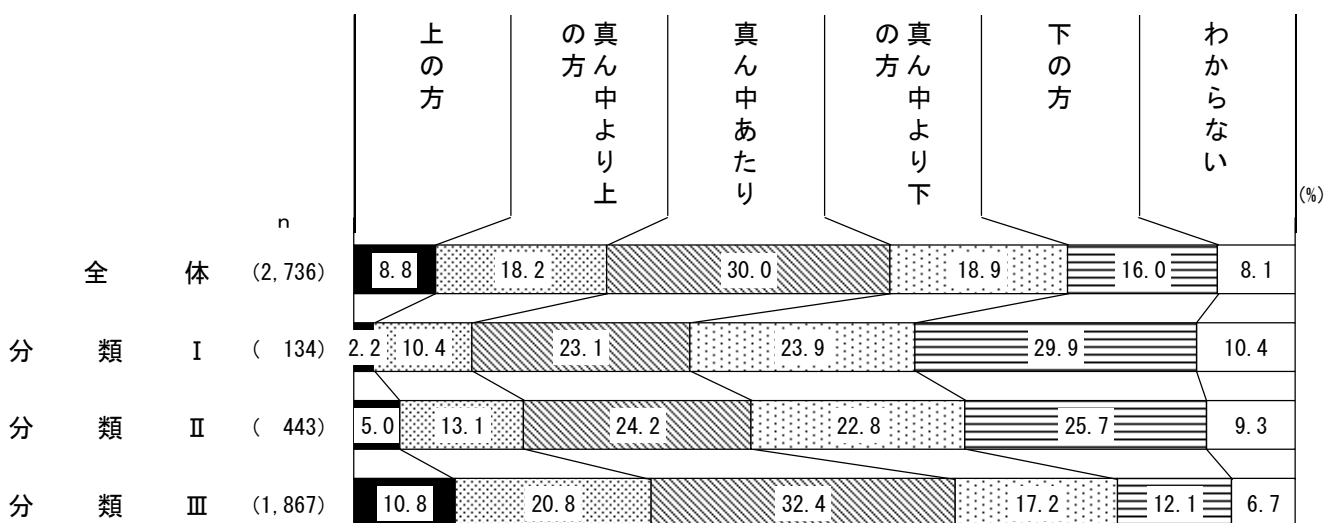
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-84】クラス内での成績（中学2年生・世帯構成別）



中学2年生のクラス内での成績を所得分類別にみると、「下の方」は『分類Ⅰ』が29.9%と全体に比べて高くなっている。

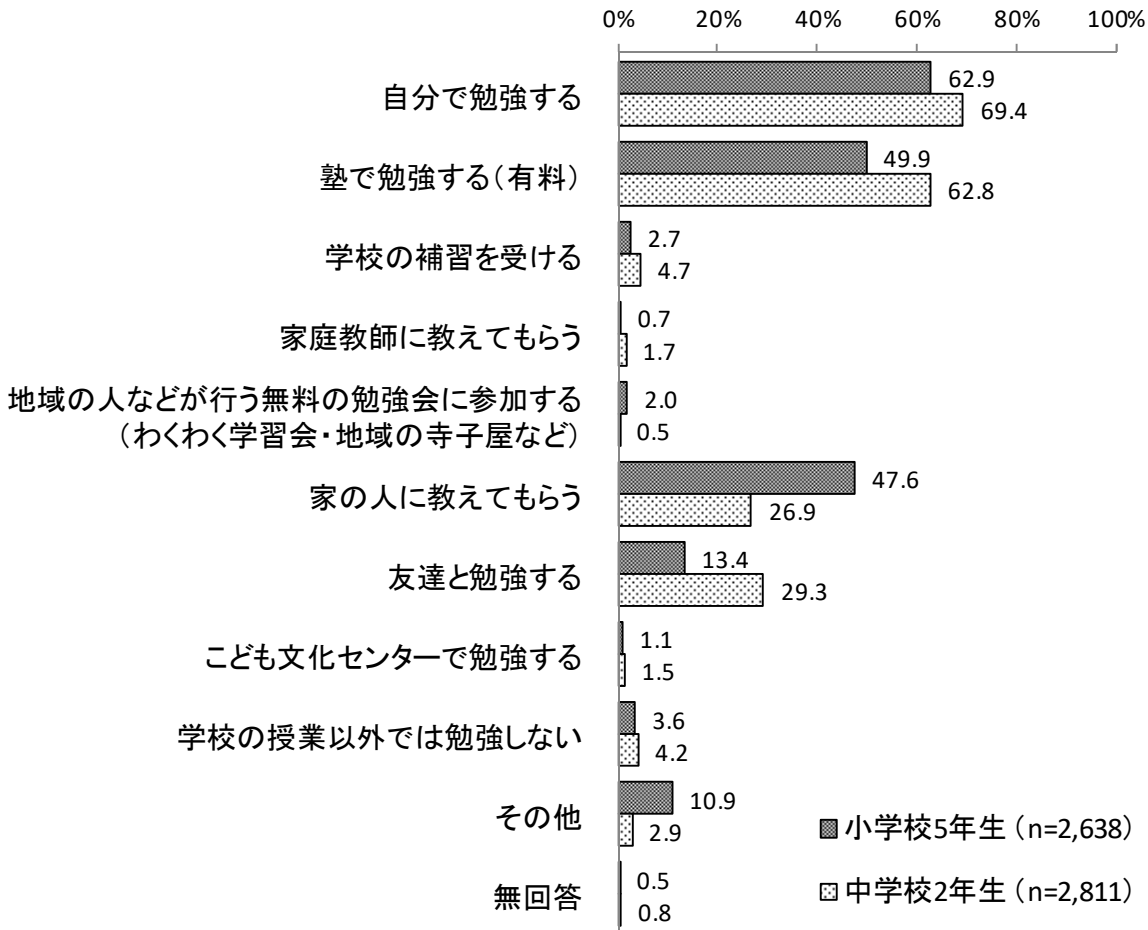
【図表 4-85】クラス内での成績（中学2年生・所得分類別）



ウ 学習環境【小学・問5・中学・問5】(MA)

学校の授業外での学習環境を聞いたところ、小学5年生では「自分で勉強する」が62.9%で最も高く、次いで「塾で勉強する(有料)」が49.9%、「家の人に教えてもらう」が47.6%となっている。中学2年生では69.4%が最も高く、次いで「塾で勉強する(有料)」が62.8%、「友達と勉強する」が29.3%となっている。

【図表 4-86】学校の授業外での学習環境(複数回答)



小学5年生の学校の授業外での学習環境を世帯構成別にみると、「塾で勉強する（有料）」は『ひとり親核家族』が33.8%と全体に比べて低くなっている。

所得分類別にみると、「自分で勉強する」は『分類Ⅰ』が46.2%、「塾で勉強する（有料）」は『分類Ⅰ』が30.8%、『分類Ⅱ』が30.7%と全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-87】学校の授業外での学習環境（複数回答）  
（小学5年生・世帯構成別、所得分類別）

	n	自分で勉強する	塾で勉強する（有料）	学校の補習を受ける	家庭教師に教えてもらう	地域の勉強会に参加する（わくわく学習会・地域の寺子屋など）	家の人に教えてもらう	友達と勉強する	子ども文化センターで勉強する	学校の授業以外では勉強しない	その他	
全体	2,625	63.2	50.1	2.7	0.7	2.1	47.8	13.5	1.1	3.6	11.0	
世帯構成	ふたり親核家族	2,277	64.4	51.6	2.4	0.6	2.0	48.1	13.4	1.1	3.1	10.8
	ふたり親親族同居	113	54.9	44.2	4.4	0.0	3.5	49.6	15.0	0.0	8.0	8.8
	ひとり親核家族	139	56.1	33.8	5.0	1.4	3.6	42.4	15.1	1.4	7.2	12.2
	ひとり親親族同居	45	53.3	46.7	4.4	2.2	0.0	40.0	6.7	0.0	8.9	8.9
所得分類	分類Ⅰ	91	46.2	30.8	6.6	2.2	3.3	48.4	22.0	1.1	6.6	6.6
	分類Ⅱ	361	58.4	30.7	4.7	0.3	2.8	43.8	13.3	1.4	7.2	11.6
	分類Ⅲ	1,943	65.5	54.8	2.2	0.6	2.0	48.6	13.0	0.9	2.8	10.9

中学2年生の学校の授業外での学習環境を世帯構成別にみると、「塾で勉強する（有料）」は『ひとり親核家族』が50.6%、『ひとり親親族同居』が44.2%、「家の人に教えてもらう」は『ひとり親親族同居』が4.7%とそれぞれ全体に比べて低くなっている。

所得分類別にみると、「自分で勉強する」は『分類Ⅰ』が59.1%、「塾で勉強する（有料）」は『分類Ⅰ』が42.3%、『分類Ⅱ』が45.6%と全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

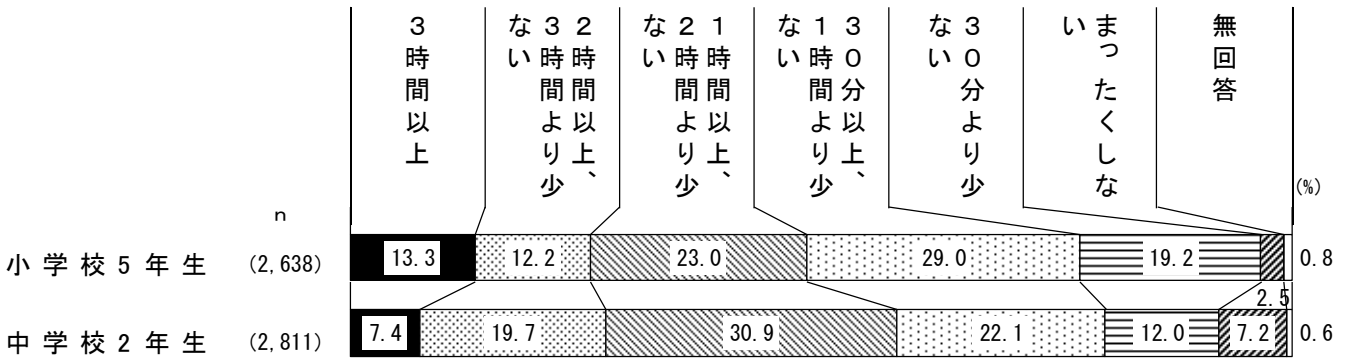
【図表 4-88】学校の授業外での学習環境（複数回答）  
（中学2年生・世帯構成別、所得分類別）

	n	自分で勉強する	塾で勉強する（有料）	学校の補習を受ける	家庭教師に教えてもらう	地域の勉強会に参加する（わくわく学習会・地域の寺子屋など）	家の人に教えてもらう	友達と勉強する	子ども文化センターで勉強する	学校の授業以外では勉強しない	その他	
全体	2,788	69.9	63.3	4.8	1.8	0.5	27.1	29.6	1.5	4.3	2.9	
世帯構成	ふたり親核家族	2,315	70.8	65.9	4.9	1.9	0.3	28.3	29.2	1.4	3.7	2.9
	ふたり親親族同居	120	72.5	56.7	2.5	1.7	0.8	30.8	33.3	0.8	6.7	2.5
	ひとり親核家族	247	62.3	50.6	5.7	0.0	2.4	19.4	30.4	3.2	6.1	2.8
	ひとり親親族同居	43	69.8	44.2	4.7	2.3	0.0	4.7	34.9	0.0	14.0	2.3
所得分類	分類Ⅰ	137	59.1	42.3	5.8	0.0	0.7	17.5	27.7	2.2	10.9	5.1
	分類Ⅱ	452	69.5	45.6	6.2	2.0	0.4	27.0	30.3	1.8	6.9	3.3
	分類Ⅲ	1,903	71.4	69.6	4.1	1.7	0.4	28.6	29.2	1.3	3.1	2.5

エ 家庭での学習時間【小学・問6・中学・問6】(SA)

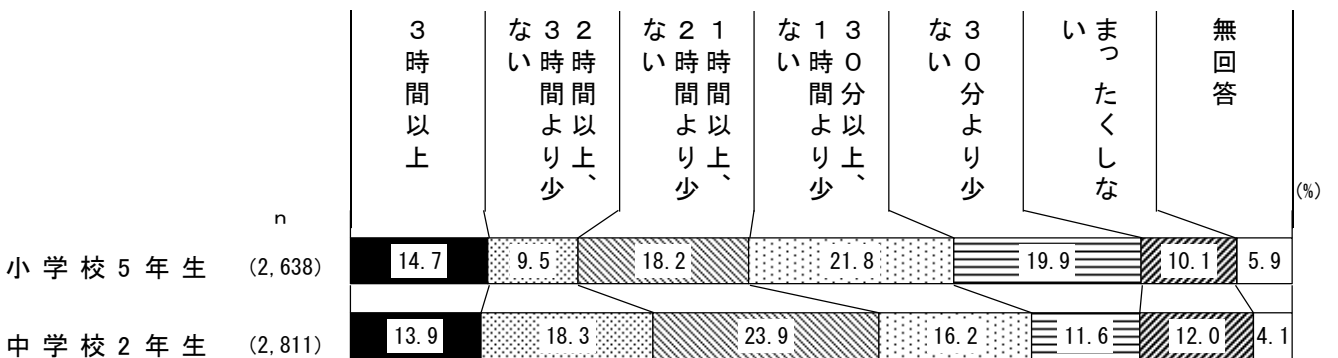
学校がある日（月～金）の家庭での学習時間を聞いたところ、小学5年生では「30分以上、1時間より少ない」が29.0%で最も高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が23.0%、「30分より少ない」が19.2%となっている。中学2年生では「1時間以上、2時間より少ない」が30.9%で最も高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」が22.1%、「2時間以上、3時間より少ない」が19.7%となっている。

【図表 4-89】学校がある日（月～金）の家庭での学習時間



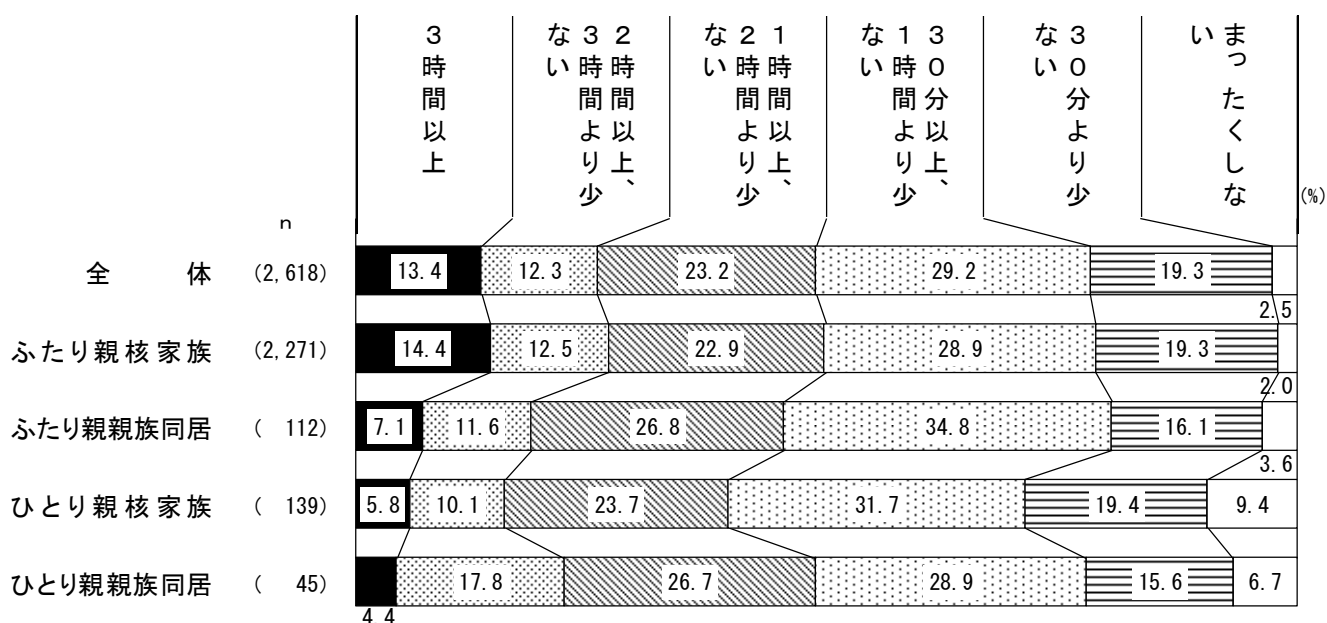
学校がない日（土・日・祝日）の家庭での学習時間を聞いたところ、小学5年生では「30分以上、1時間より少ない」が21.8%で最も高く、次いで「30分より少ない」が19.9%、「1時間以上、2時間より少ない」が18.2%となっている。中学2年生では「1時間以上、2時間より少ない」が23.9%で最も高く、次いで「2時間以上、3時間より少ない」が18.3%、「30分以上、1時間より少ない」が16.2%となっている。

【図表 4-90】学校がない日（土・日・祝日）の家庭での学習時間



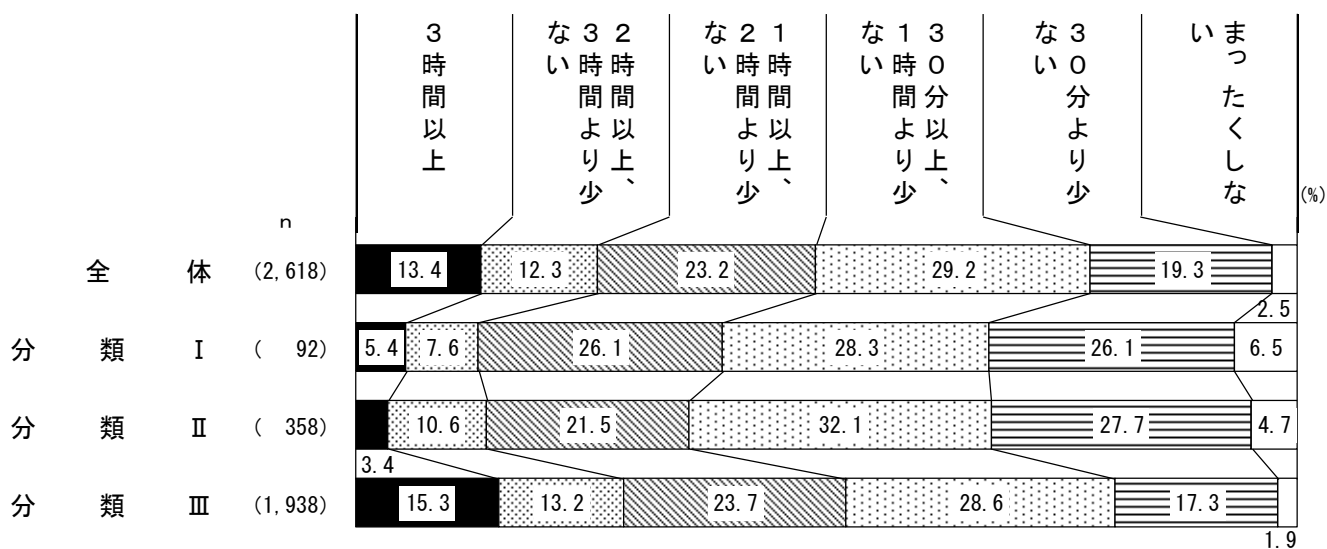
小学5年生の学校がある日（月～金）の家庭での学習時間をみると、大きな差はみられない。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-91】 学校がある日（月～金）の家庭での学習時間  
 （小学5年生・世帯構成別）



小学5年生の学校がある日（月～金）の家庭での学習時間を所得分類別にみると、「3時間以上」は『分類Ⅱ』が3.4%と全体に比べて低くなっている。

【図表 4-92】 学校がある日（月～金）の家庭での学習時間  
 （小学5年生・所得分類別）

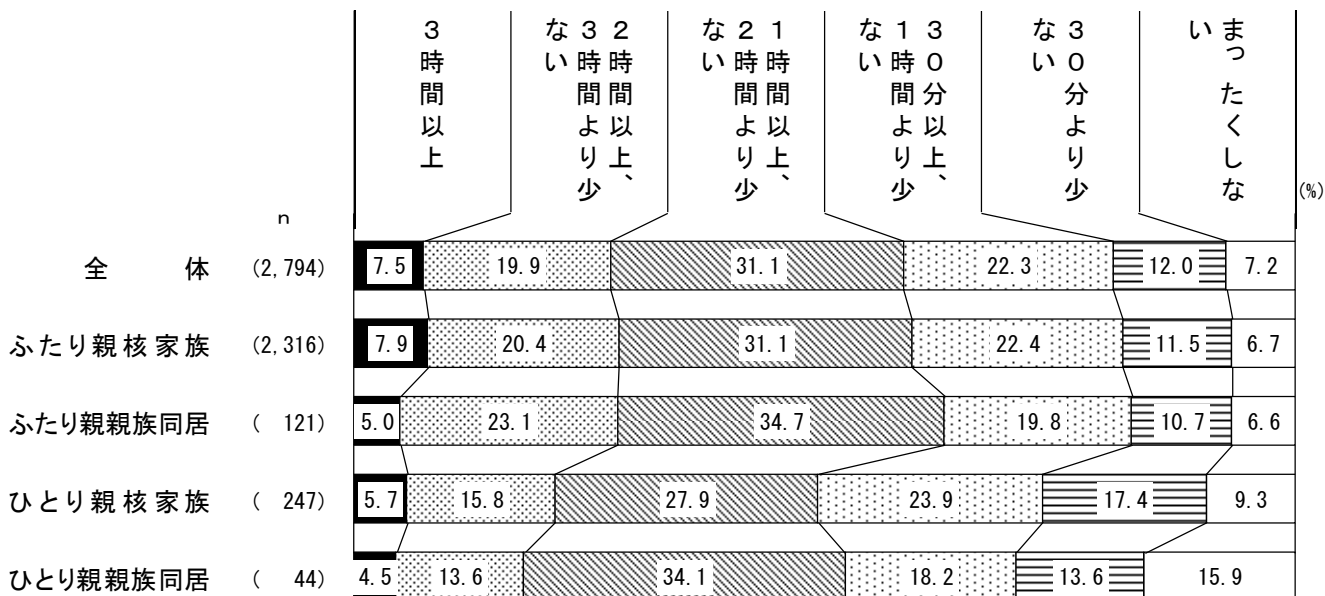




中学2年生の学校がある日（月～金）の家庭学習時間を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

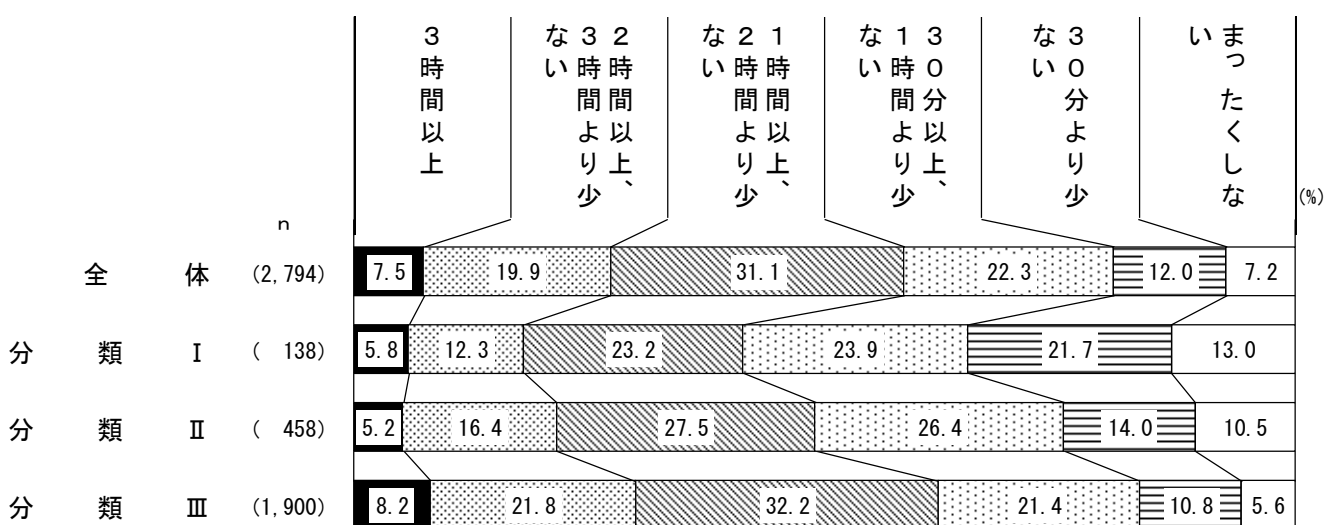
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-93】 学校がある日（月～金）の家庭での学習時間  
（中学2年生・世帯構成別）



中学2年生の学校がある日（月～金）の家庭での学習時間を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

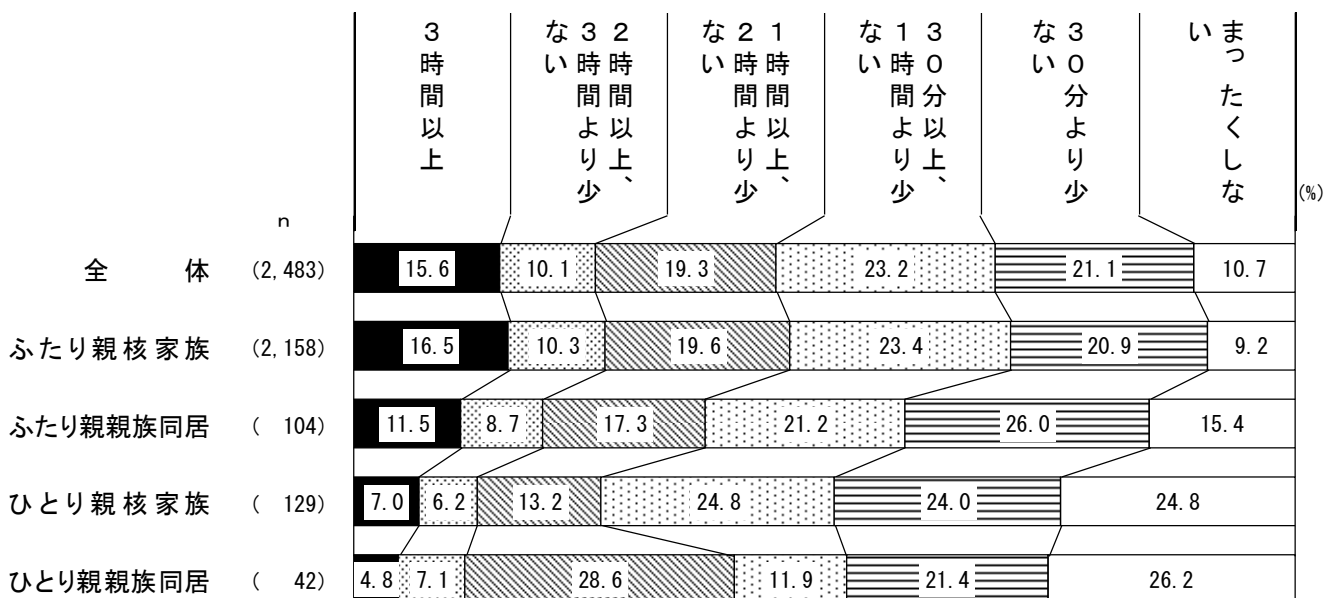
【図表 4-94】 学校がある日（月～金）の家庭での学習時間  
（中学2年生・所得分類別）



小学5年生の学校がない日（土・日・祝日）の家庭での学習時間を世帯構成別にみると、「まったくしない」は『ひとり親核家族』が24.8%、『ひとり親親族同居』が26.2%と全体に比べて高くなっている。また、「3時間以上」は『ひとり親親族同居』が4.8%、「30分以上、1時間より少ない」は『ひとり親親族同居』が11.9%と全体に比べて低くなっている。

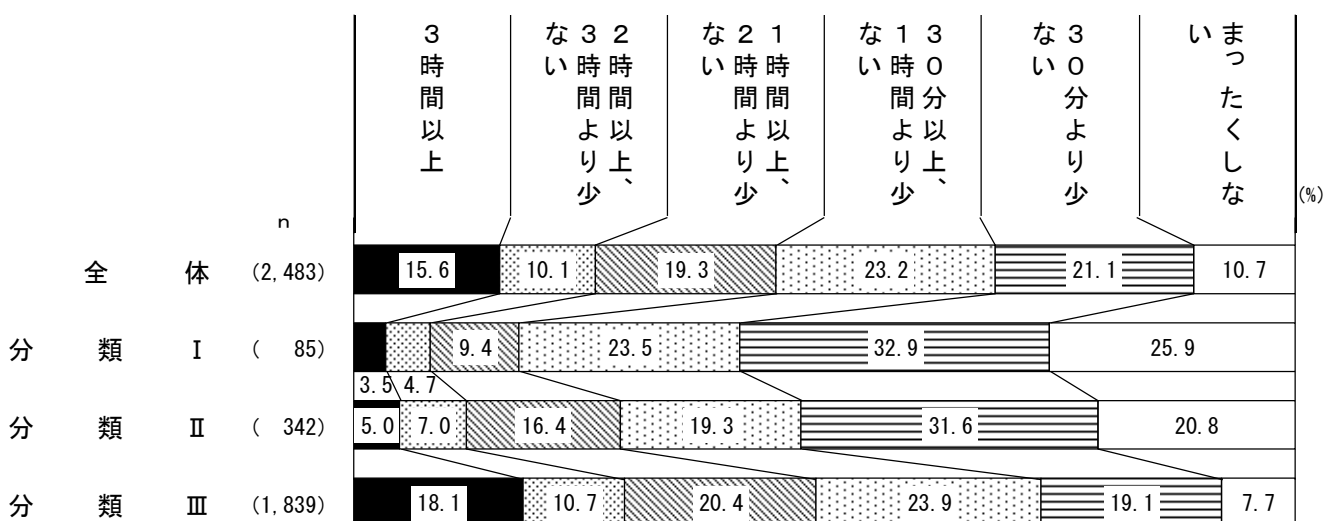
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-95】学校がない日（土・日・祝日）の家庭での学習時間  
（小学5年生・世帯構成別）



小学5年生の学校がない日（土・日・祝日）の家庭での学習時間を所得分類別にみると、「30分より少ない」は『分類Ⅰ』が32.9%、『分類Ⅱ』が31.6%、「まったくしない」は『分類Ⅰ』が25.9%、『分類Ⅱ』が20.8%と全体に比べて高くなっている。また、「3時間以上」は『分類Ⅰ』が3.5%、『分類Ⅱ』が5.0%と全体に比べて低くなっている。

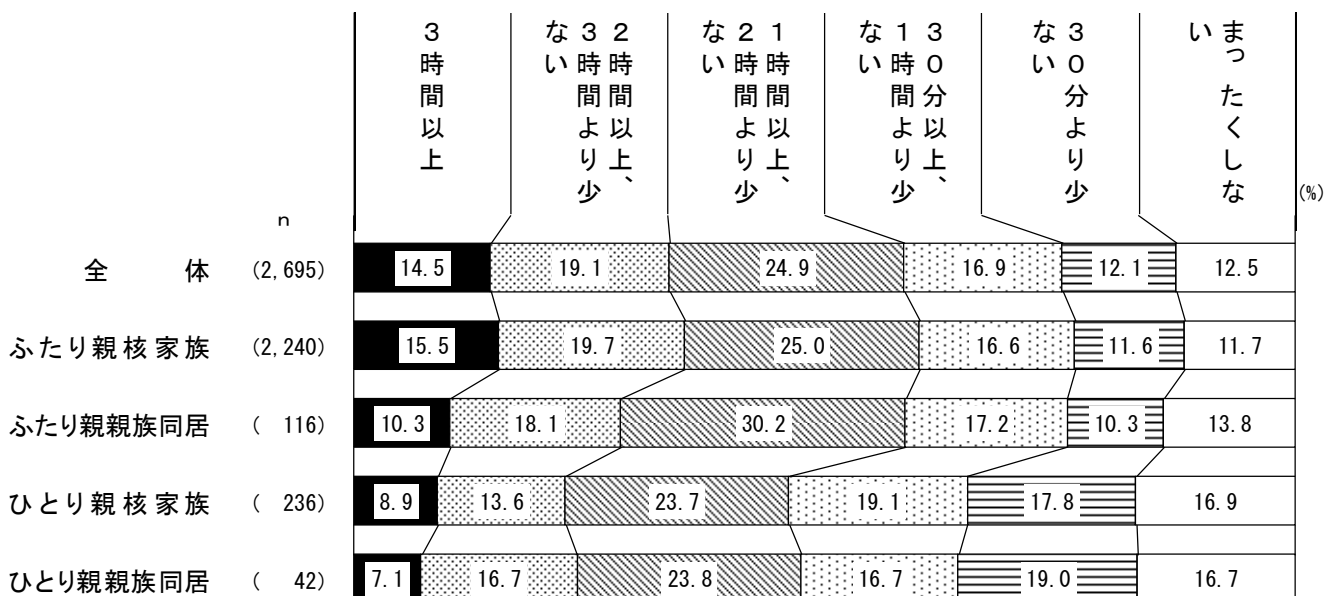
【図表 4-96】学校がない日（土・日・祝日）の家庭での学習時間  
（小学5年生・所得分類別）



中学2年生の学校がない日（土・日・祝日）の家庭での学習時間を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

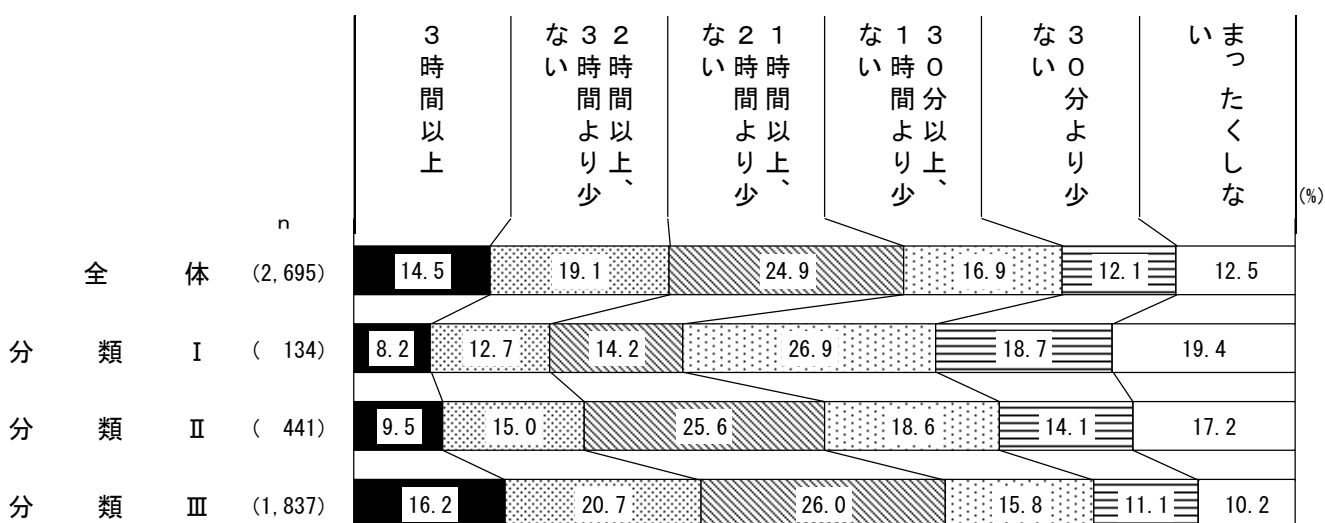
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-97】 学校がない日（土・日・祝日）の家庭での学習時間  
（中学2年生・世帯構成別）



中学2年生の学校がない日（土・日・祝日）の家庭での学習時間を所得分類別にみると、「30分以上、1時間より少ない」は『分類Ⅰ』が26.9%と全体に比べて高くなっている。また、「1時間以上2時間より少ない」は『分類Ⅰ』が14.2%と全体に比べて低くなっている。

【図表 4-98】 学校がない日（土・日・祝日）の家庭での学習時間  
（中学2年生・所得分類別）

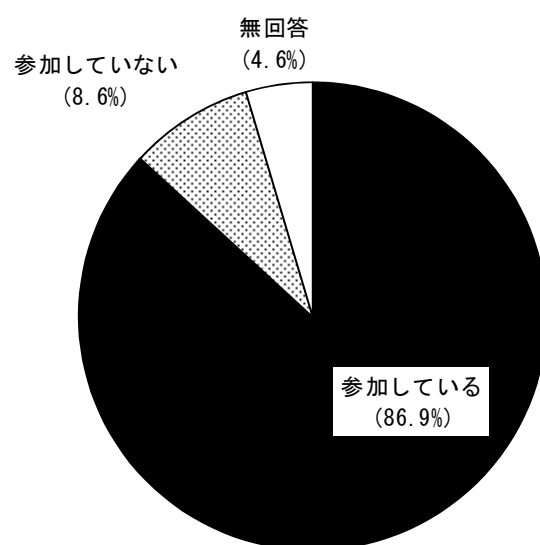


## (2) 課外活動の状況

### ① クラブ・部活動等への参加状況【中学・問20】(SA)

中学2年生にクラブ・部活動等への参加状況を聞いたところ、「参加している」が86.9%、「参加していない」が8.6%となっている。

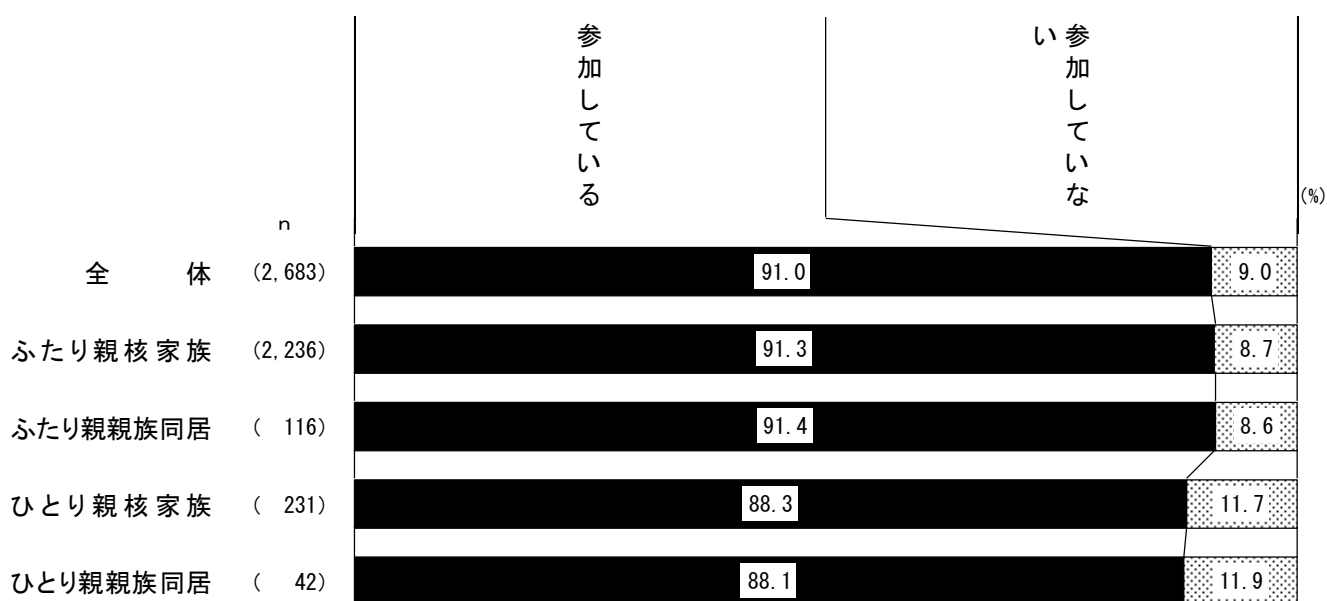
【図表 4-99】クラブ・部活動等への参加状況（中学2年生）



n=2,811

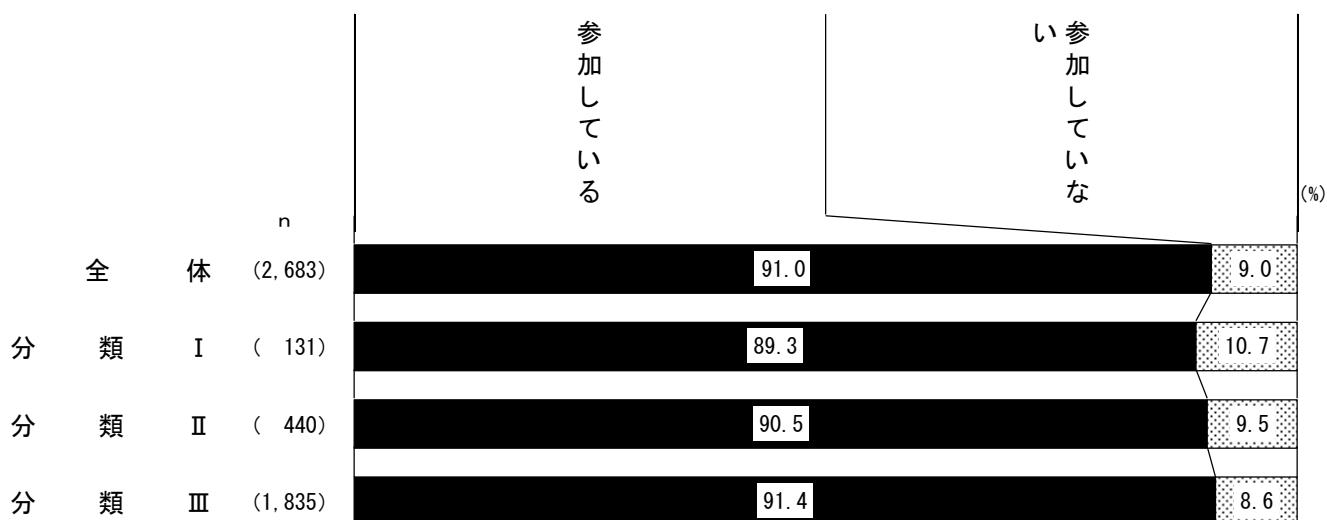
中学2年生のクラブ・部活動等への参加状況を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-100】 クラブ・部活動等への参加状況（中学2年生・世帯構成別）



中学2年生のクラブ・部活動等への参加状況を所得状況別にみると、大きな差はみられない。

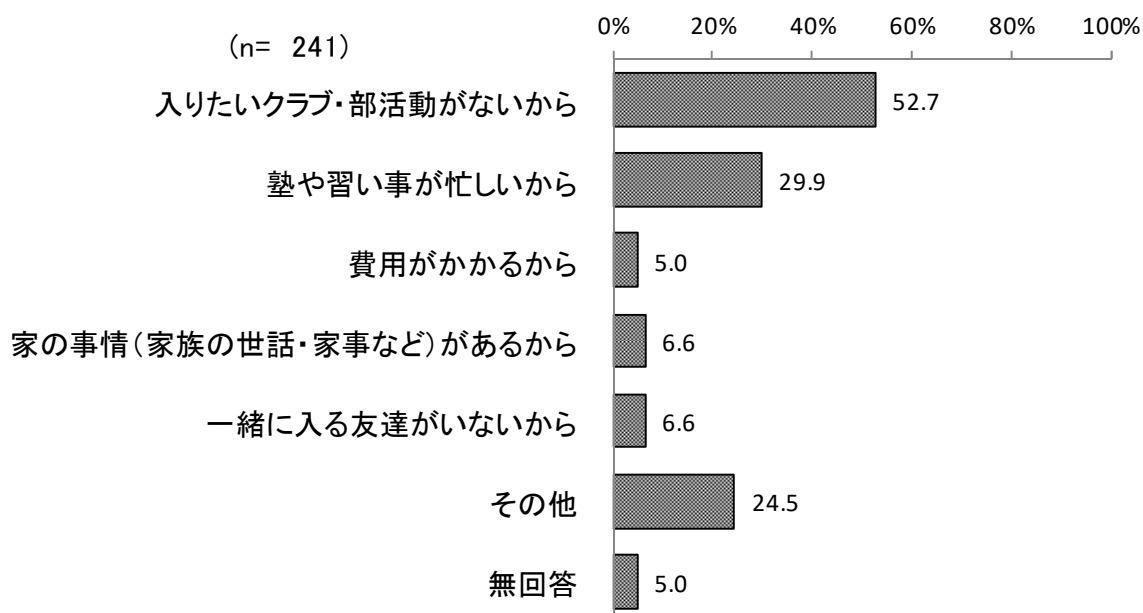
【図表 4-101】 クラブ・部活動等への参加状況（中学2年生・所得分類別）



## ② クラブ・部活動等へ参加しない理由【中学・問 21】(MA)

クラブ・部活動等へ参加していない方に、その理由を複数回答で聞いたところ、「入りたいクラブ・部活動がないから」が52.7%で最も高く、次いで「塾や習い事が忙しいから」が29.9%となっている。

【図表 4-102】クラブ・部活動等へ参加しない理由（複数回答）（中学2年生）



中学2年生のクラブ・部活動等へ参加しない理由を世帯構成別、所得分類別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-103】クラブ・部活動等へ参加しない理由（複数回答）  
（中学2年生・世帯構成別、所得分類別）

		n	活入 動りが ないク ラブ・ 部	か塾 らや 習い 事が 忙しい	費用 がか かる から	る話家 か・の ら家事情 事など （家族 がの あ世	ない一 緒に 入る 友 達 が い	そ の 他
全 体		229	55.5	31.4	5.2	7.0	7.0	25.8
世帯 構成	ふたり親核家族	183	57.4	31.1	6.0	6.0	8.2	25.7
	ふたり親親族同居	9	44.4	55.6	0.0	0.0	11.1	11.1
	ひとり親核家族	27	48.1	29.6	0.0	11.1	0.0	25.9
	ひとり親親族同居	5	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0
所得 分類	分類Ⅰ	14	64.3	42.9	7.1	0.0	7.1	14.3
	分類Ⅱ	41	63.4	26.8	9.8	7.3	2.4	22.0
	分類Ⅲ	149	54.4	30.9	4.0	6.7	9.4	27.5

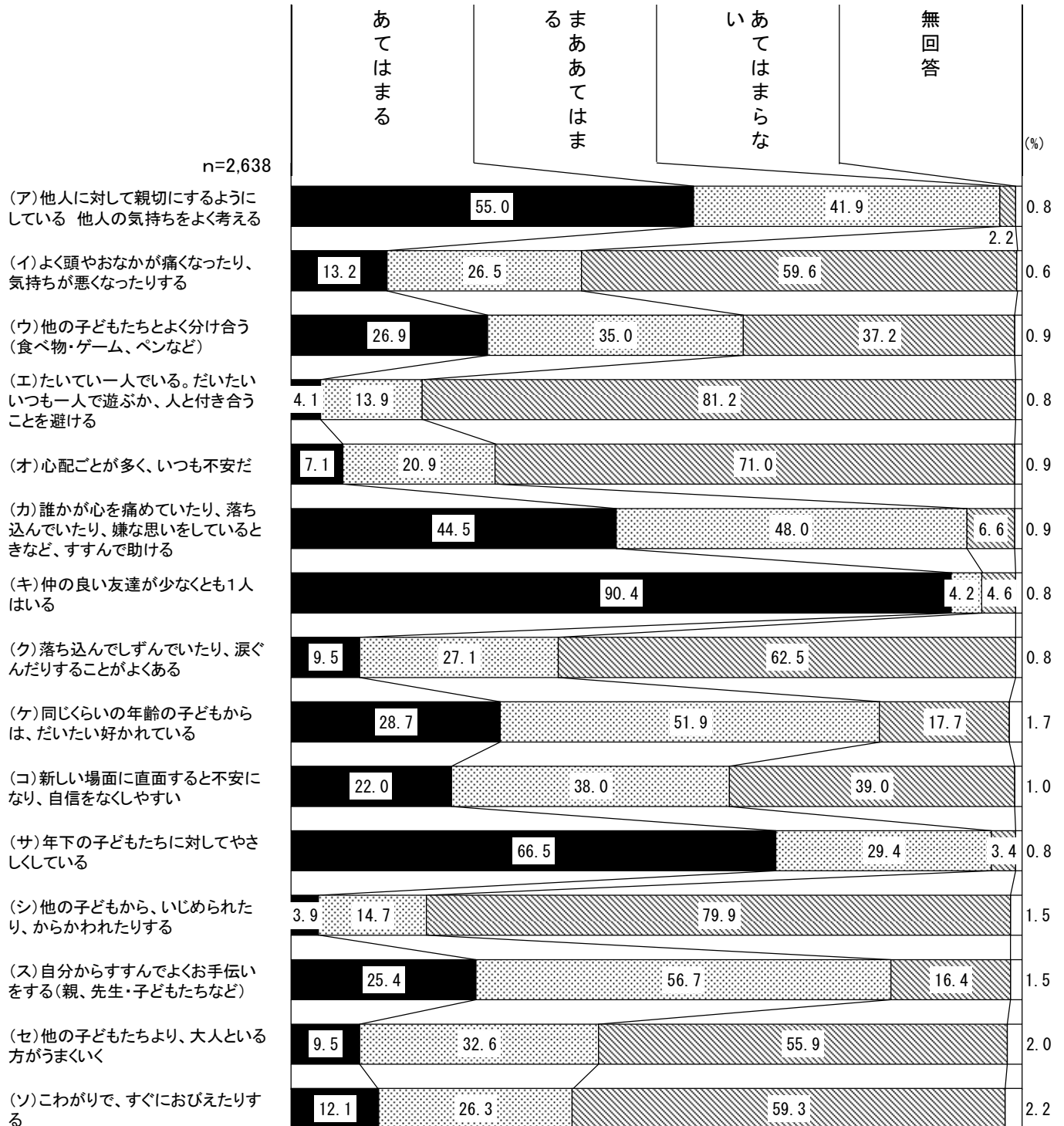
## 第4節 子どもの状況

### (1) 子どもの精神状態や考え方

#### ア 子どもの精神状態【小学・問19・中学・問24】(SA)

ここ半年間の精神状態を聞いたところ、小学5年生では「あてはまる」と「まああてはまる」を足し合わせた割合が『他人に対して親切にするようにしている 他人の気持ちをよく考える』で96.9%と最も高く、次いで『年下の子どもたちに対してやさしくしている』が95.9%、『仲の良い友達が少なくとも1人はいる』が94.6%となっている。

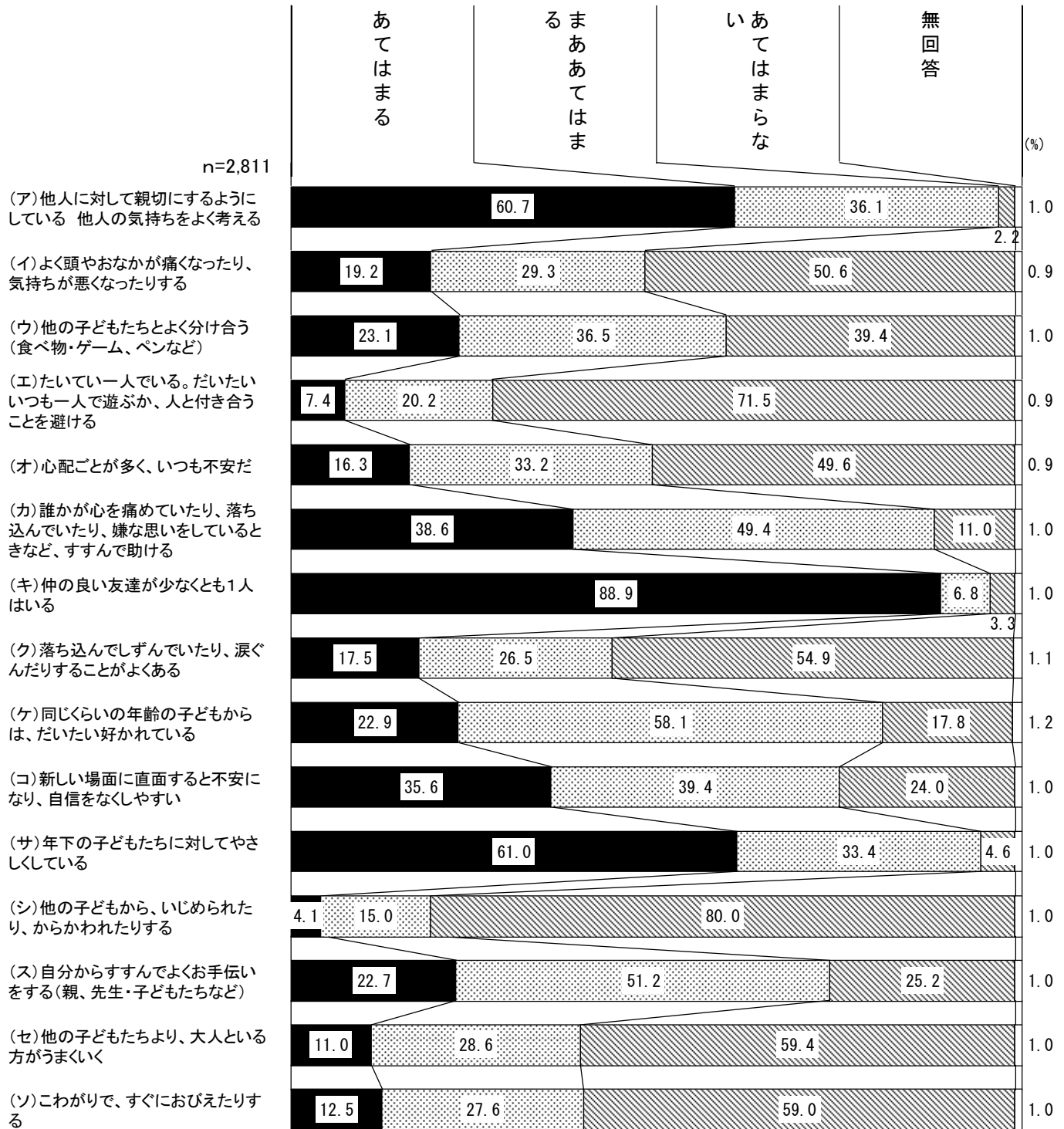
【図表 4-104】子どもの精神状態（小学5年生）





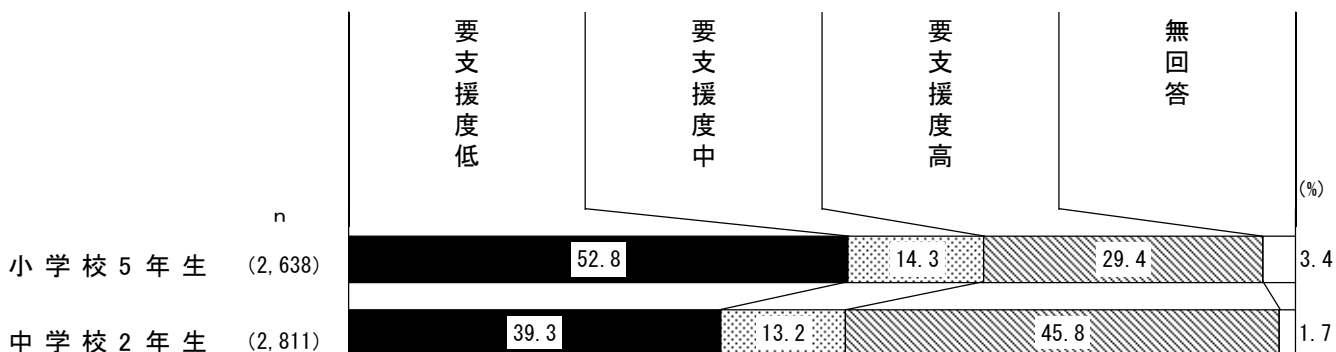
中学2年生では「あてはまる」と「まああてはまる」を足し合わせた割合が『他人に対して親切にするようにしている 他人の気持ちをよく考える』が96.8%と最も高く、次いで『仲の良い友達が少なくとも1人はいる』が95.7%、『年下の子どもたちに対してやさしくしている』が94.4%となっている。

【図表 4-105】子どもの精神状態（中学2年生）



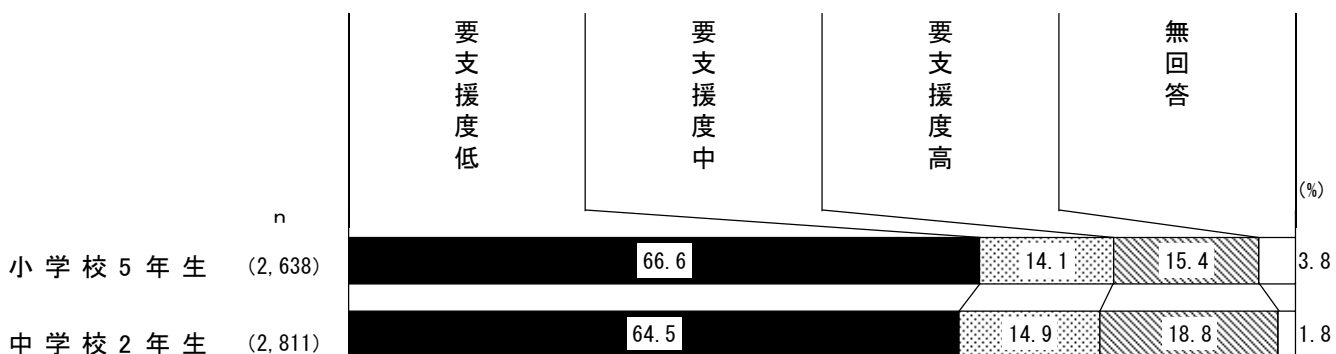
SDQ<sup>1</sup>に基づく分類分け<sup>2</sup>のうち、『情緒』についてみると、小学5年生では「要支援度低」が52.8%と最も高く、次いで「要支援度高」が29.4%、「要支援度中」が14.3%となっている。中学2年生では「要支援度高」が45.8%で最も高く、次いで「要支援度低」が39.3%、「要支援度中」が13.2%となっている。

【図表 4-106】SDQに基づく分類分け『情緒』



SDQに基づく分類分けのうち、『仲間関係』についてみると、小学5年生、中学2年生ともに「要支援度低」(小学5年生：66.6%、中学2年生：64.5%)が最も高く、次いで「要支援度高」(小学5年生：15.4%、中学2年生：18.8%)、「要支援度中」(小学5年生：14.1%、中学2年生：14.9%)となっている。

【図表 4-107】SDQに基づく分類分け『仲間関係』

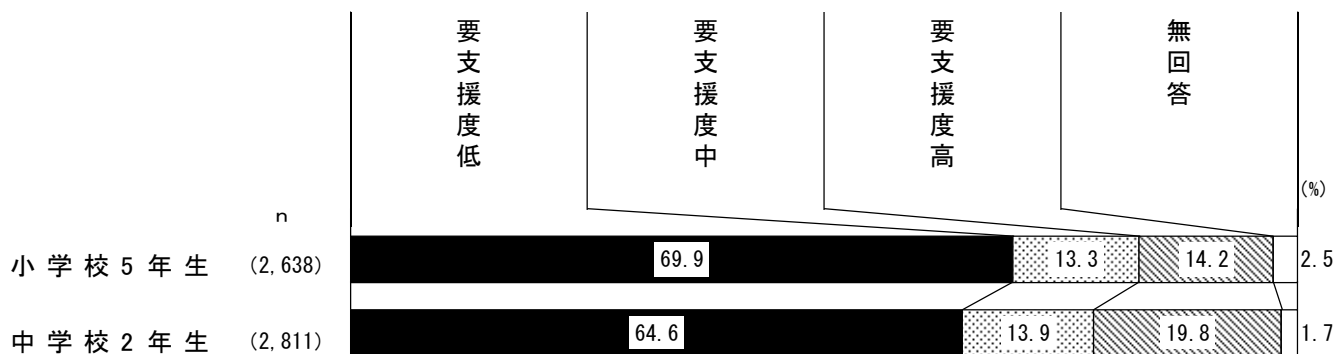


<sup>1</sup> SDQ (Strengths and Difficulties Questionnaire: 子どもの強さと困難さアンケート) は、子どもの情緒や行動についての25の質問項目を回答する形式の短いアンケートのこと。今回の調査では、25の項目のうち、「情緒」「仲間関係」「向社会性」の3観点に関する15項目を設定している。なお、本調査では、子ども本人に対して実施したが、本来は親が子どもを評価する際のものであることに留意すること。

<sup>2</sup> 採点方法としては、「1 あてはまらない」を0点、「2 まああてはまる」を1点、「3 あてはまる」を2点とし、次の3つの観点ごとに点数を合計した。ただし、キとケは「1 あてはまらない」が2点、「3 あてはまる」が0点となる。「情緒：イ、オ、ク、コ、ソ」⇒要支援度低：～2点、中：3点、高：4点～、「仲間関係：エ、キ、ケ、シ、セ」⇒要支援度低：～2点、中：3点、高：4点～、「向社会性：ア、ウ、カ、サ、ス」⇒要支援度低：6点～、中：5点、高：～4点

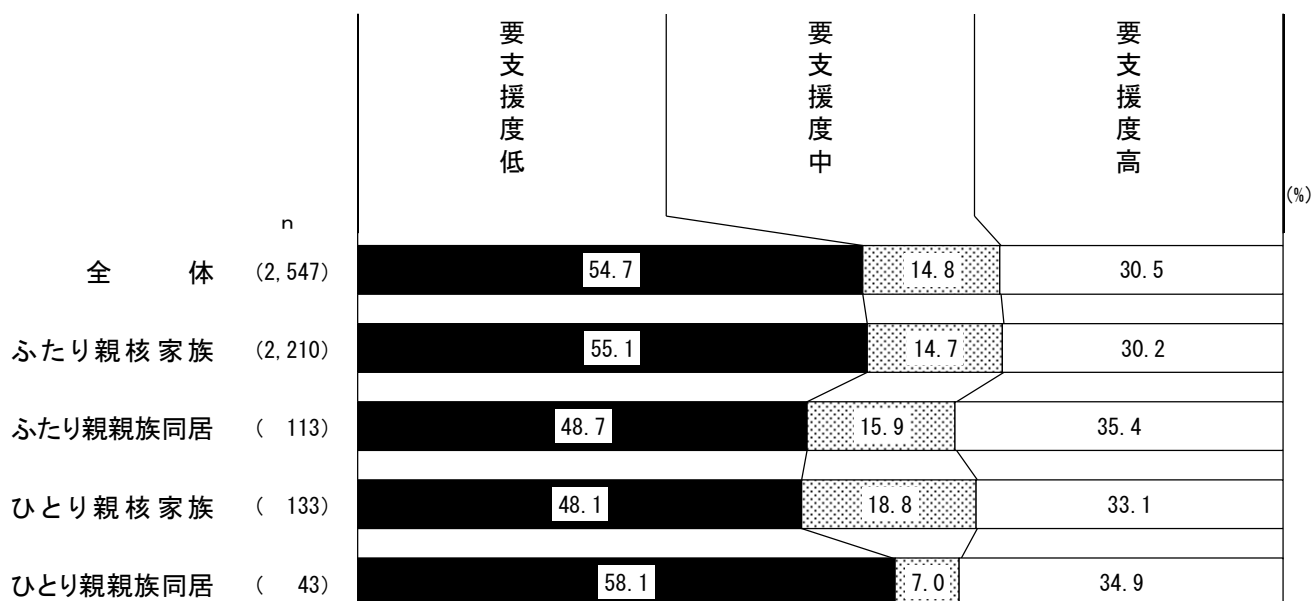
SDQに基づく分類分けのうち、『向社会性』についてみると、小学5年生、中学2年生ともに「要支援度低」（小学5年生：69.9%、中学2年生：64.6%）が最も高く、次いで「要支援度高」（小学5年生：14.2%、中学2年生：19.8%）、「要支援度中」（小学5年生：13.3%、中学2年生：13.9%）となっている。

【図表 4-108】SDQに基づく分類分け『向社会性』



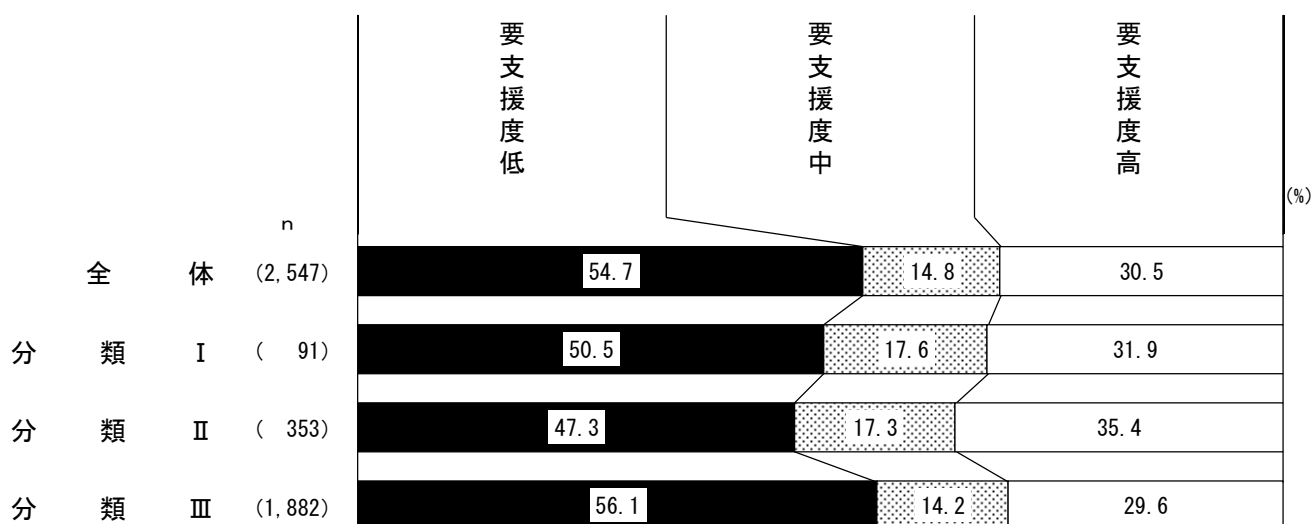
小学5年生の『情緒』を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-109】SDQに基づく分類分け『情緒』（小学5年生・世帯構成別）



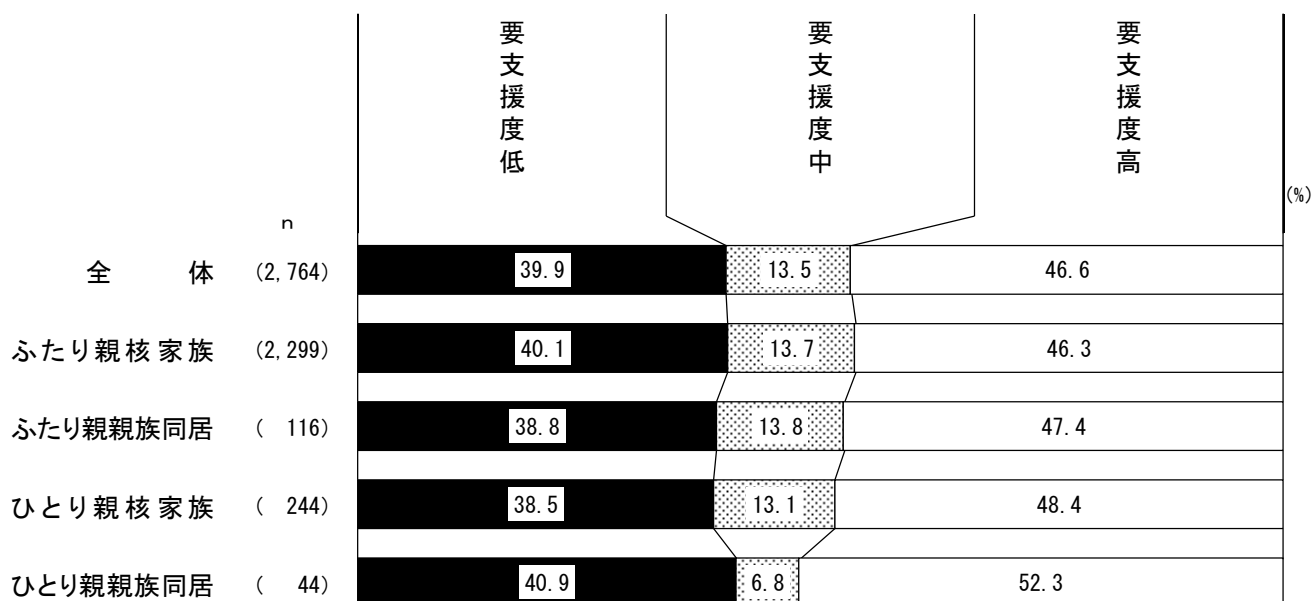
小学5年生の『情緒』を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

【図表 4-110】SDQに基づく分類分け『情緒』（小学5年生・所得分類別）



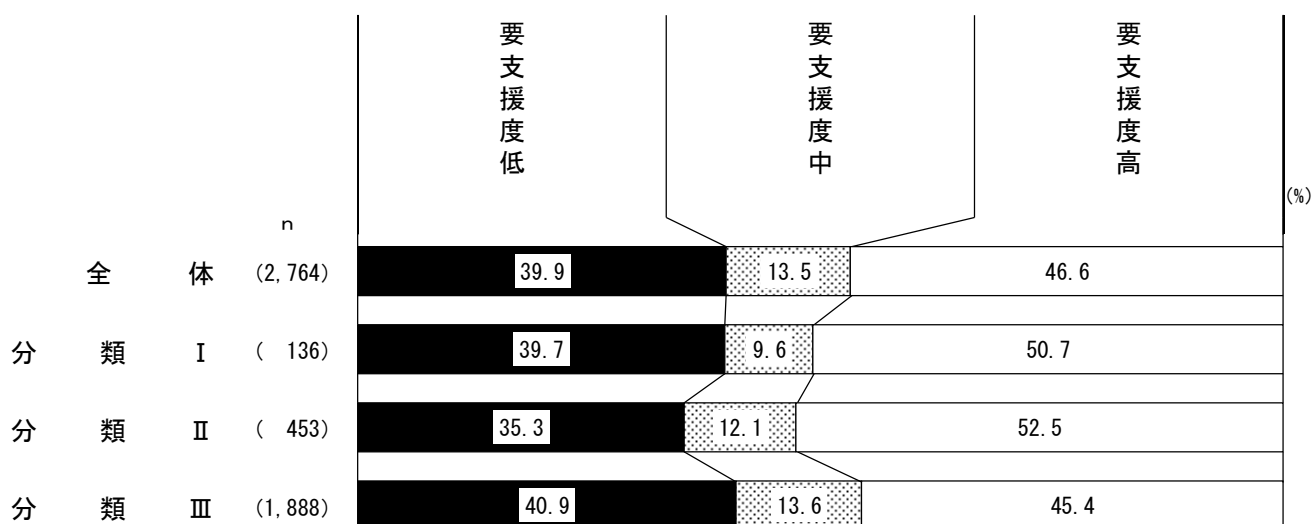
中学2年生の『情緒』を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-111】SDQに基づく分類分け『情緒』（中学2年生・世帯構成別）



中学2年生の『情緒』を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

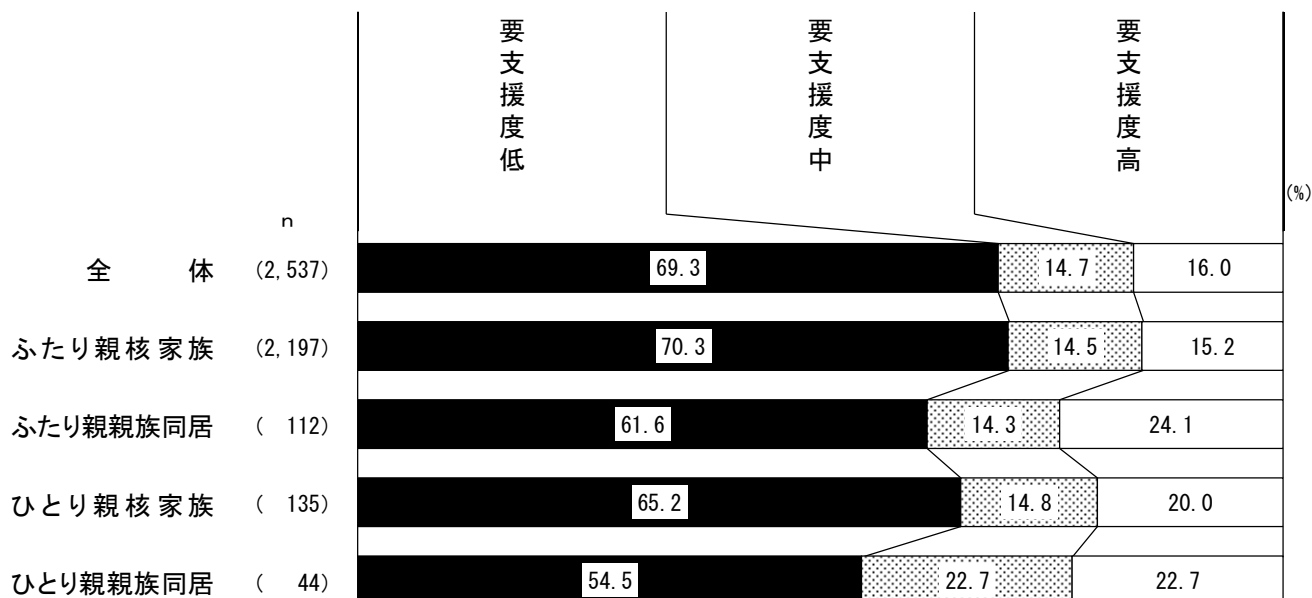
【図表 4-112】SDQに基づく分類分け『情緒』（中学2年生・所得分類別）



小学5年生の『仲間関係』を世帯構成別にみると、「要支援度低」は『ひとり親親族同居』が54.5%と全体に比べて低くなっている。

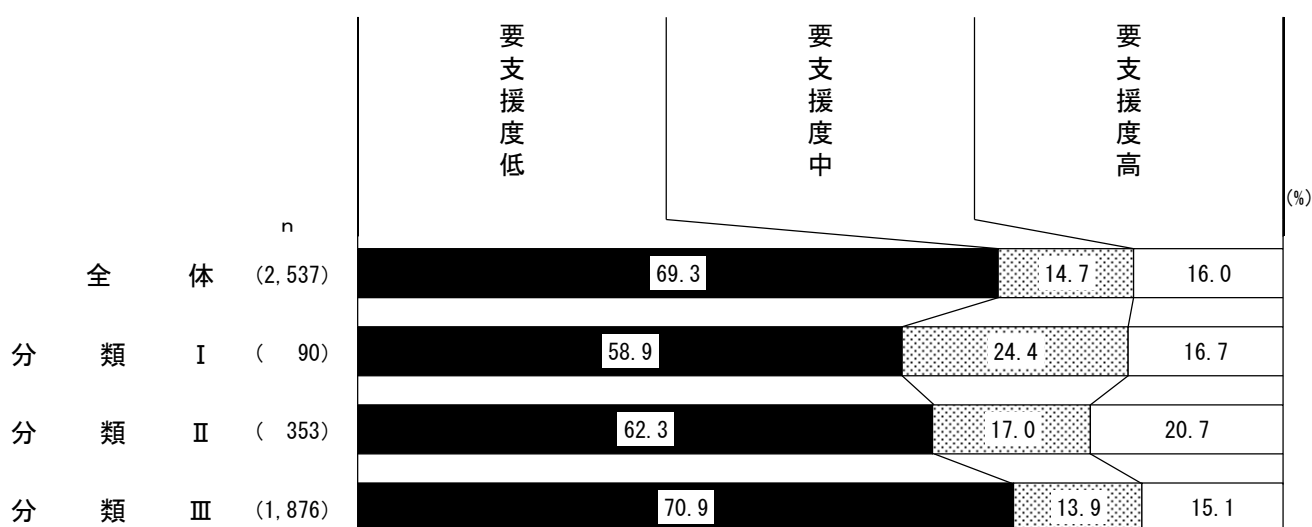
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-113】SDQに基づく分類分け『仲間関係』（小学5年生・世帯構成別）



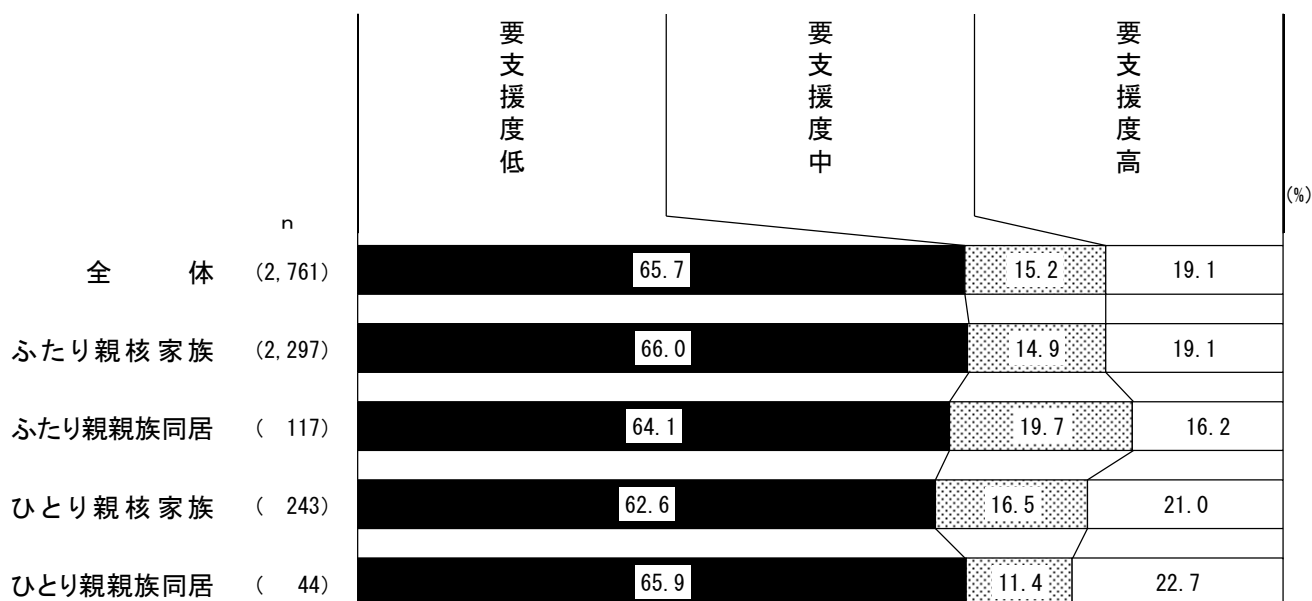
小学5年生の『仲間関係』を所得分類別にみると、「要支援度低」は『分類Ⅰ』が58.9%と全体に比べて低くなっている。

【図表 4-114】SDQに基づく分類分け『仲間関係』（小学5年生・所得分類別）



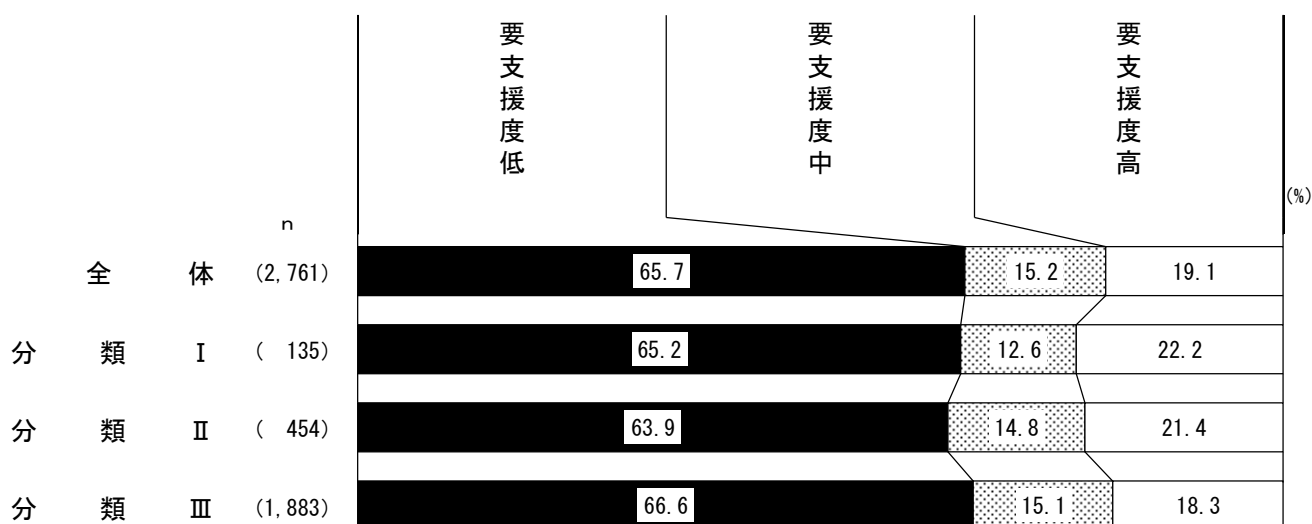
中学2年生の『仲間関係』を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-115】SDQに基づく分類分け『仲間関係』（中学2年生・世帯構成別）



中学2年生の『仲間関係』を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

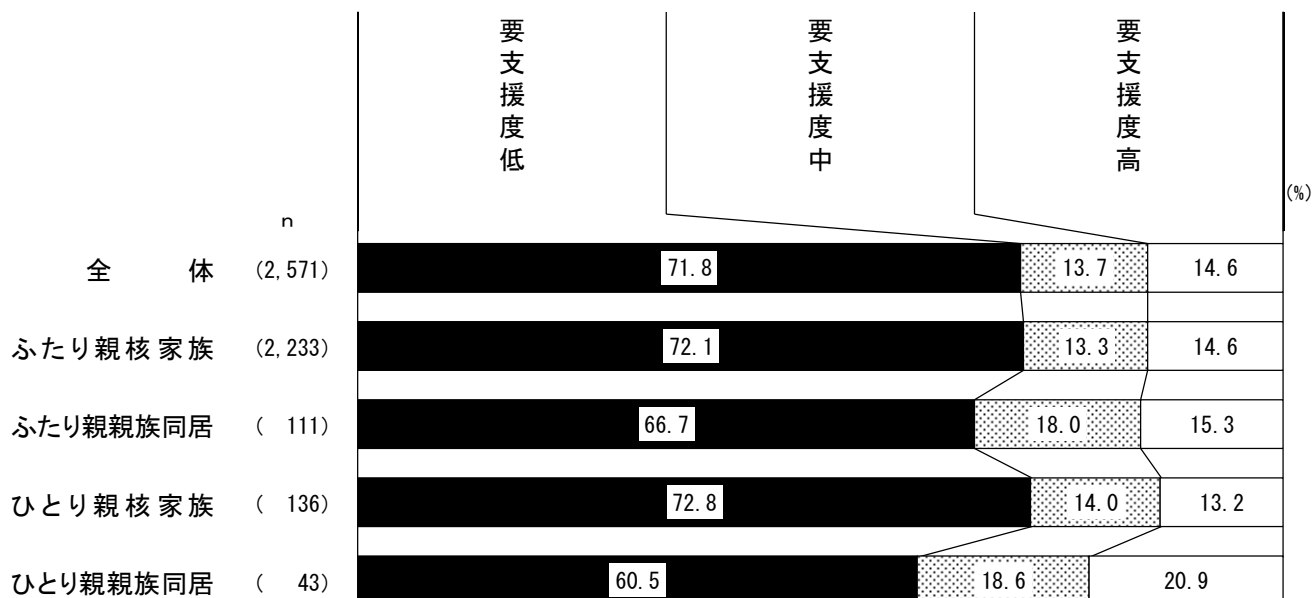
【図表 4-116】SDQに基づく分類分け『仲間関係』（中学2年生・所得分類別）



小学5年生の『向社会性』を世帯構成別にみると、「要支援度低」は『ひとり親親族同居』が60.5%と全体に比べて低くなっている。

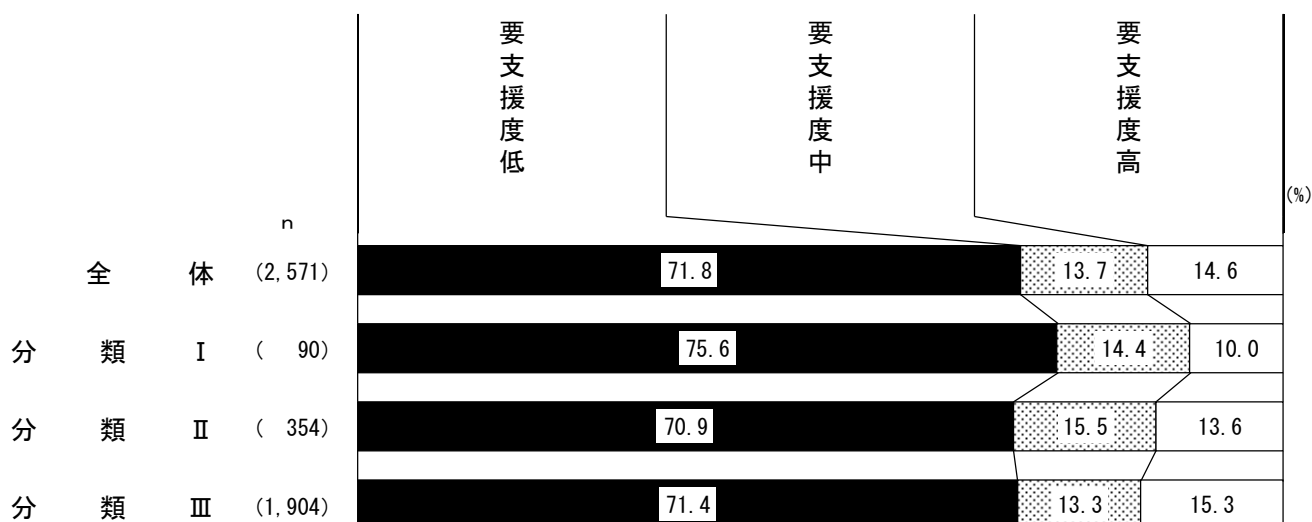
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-117】SDQに基づく分類分け『向社会性』（小学5年生・世帯構成別）



小学5年生の『向社会性』を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

【図表 4-118】SDQに基づく分類分け『向社会性』（小学5年生・所得分類別）

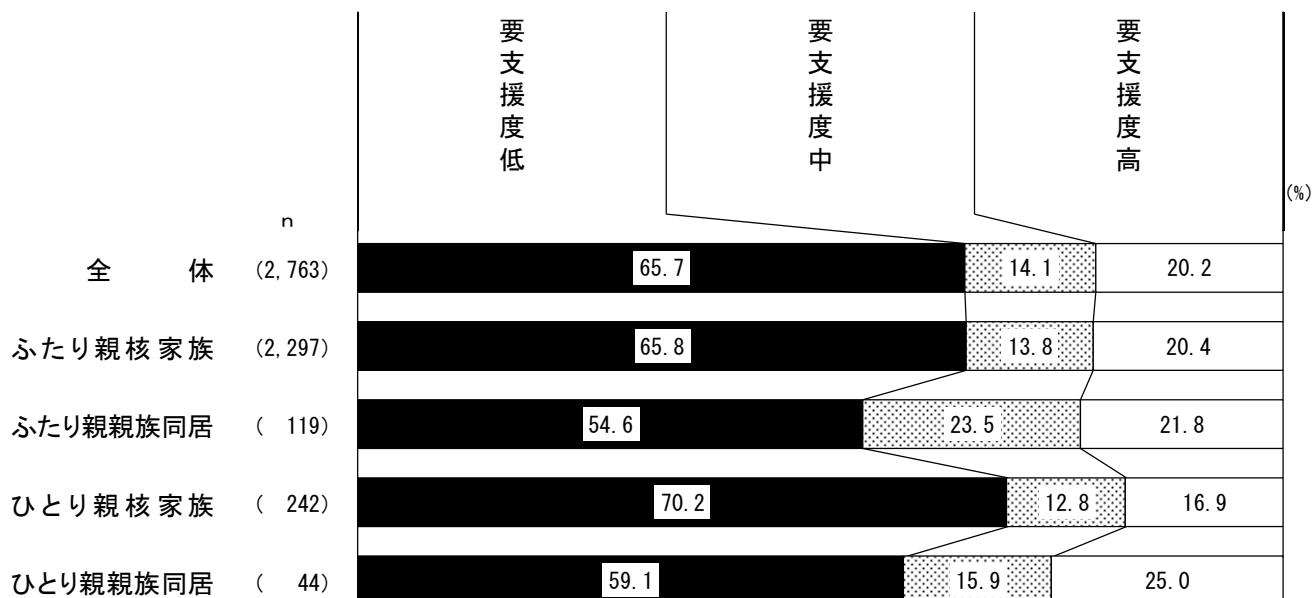




中学2年生の『向社会性』を世帯構成別にみると、「要支援度低」は『ふたり親親族同居』が54.6%と全体に比べて低くなっている。

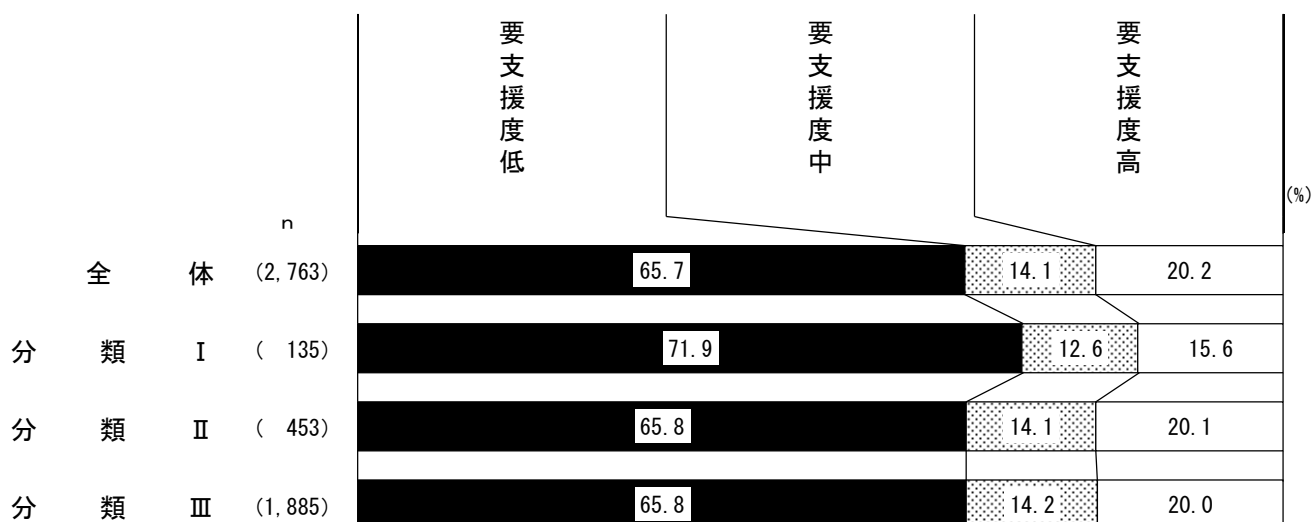
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-119】SDQに基づく分類分け『向社会性』（中学2年生・世帯構成別）



中学2年生の『向社会性』を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

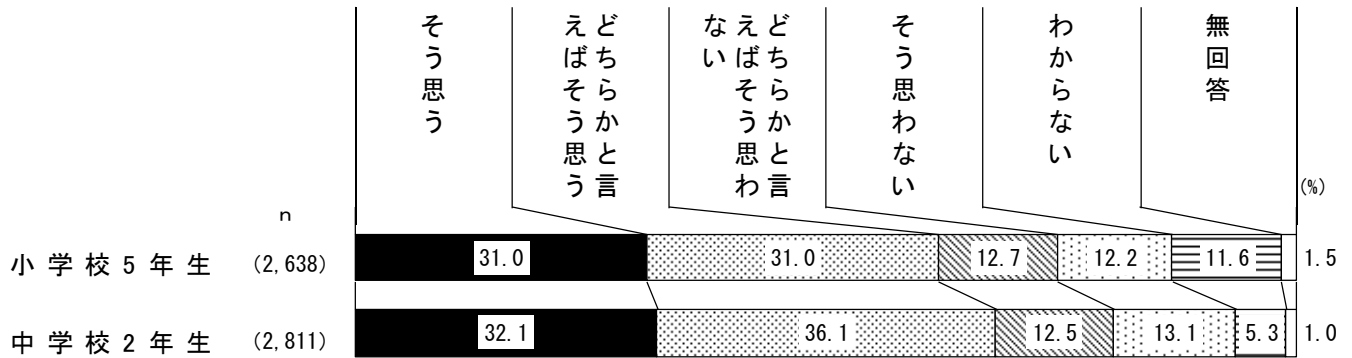
【図表 4-120】SDQに基づく分類分け『向社会性』（中学2年生・所得分類別）



イ 将来に対する考え方や自己肯定感など【小学・問20・中学・問25】(SA)

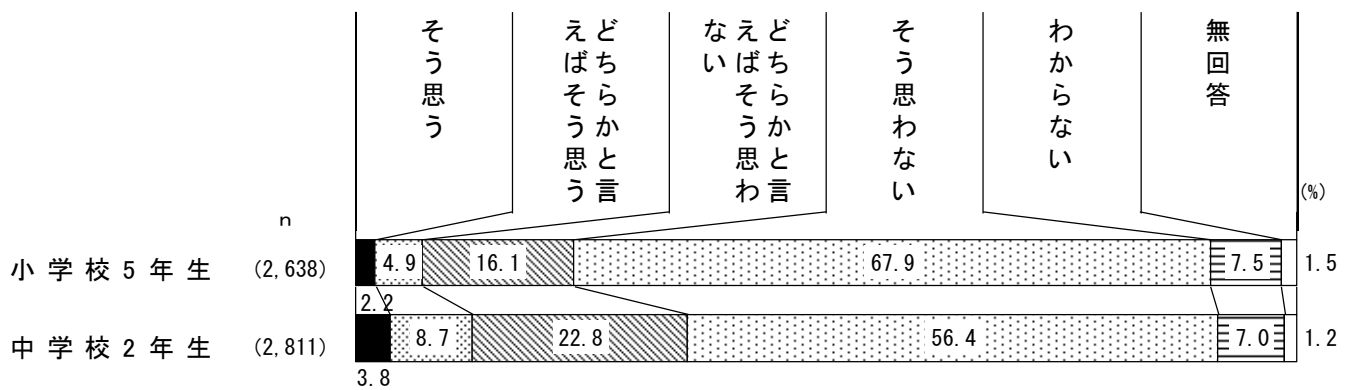
『大学を出ないとよい仕事につけないと思う』についてどう思うか聞いたところ、小学5年生、中学2年生ともに「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を足し合わせた割合が「どちらかと言えばそう思わない」と「そう思わない」を足し合わせた割合を上回っている。

【図表 4-121】『大学を出ないとよい仕事につけないと思う』について



『がんばって働かなくても生活していけると思う』についてどう思うか聞いたところ、小学5年生、中学2年生ともに「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」を足し合わせた割合が「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を足し合わせた割合を上回っている。

【図表 4-122】『がんばって働かなくても生活していけると思う』について



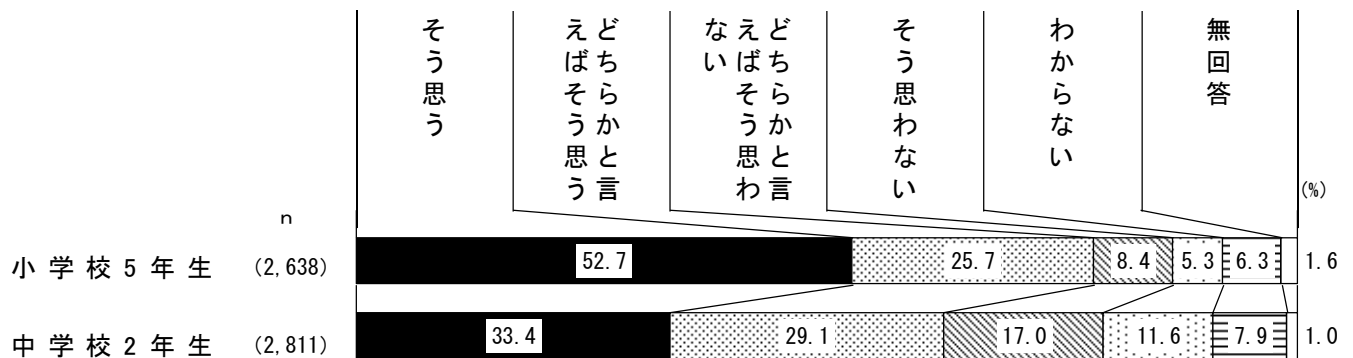
『希望する学校や会社に入れるか不安だ』についてどう思うか聞いたところ、小学5年生、中学2年生ともに「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を足し合わせた割合が「どちらかと言えばそう思わない」と「そう思わない」を足し合わせた割合を上回っている。

【図表 4-123】『希望する学校や会社に入れるか不安だ』について



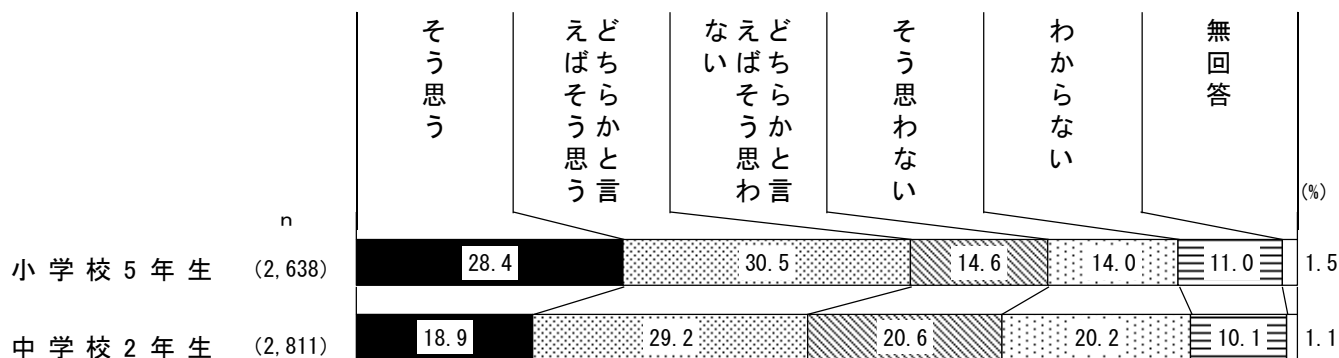
『自分の将来が楽しみだ』についてどう思うか聞いたところ、小学5年生、中学2年生ともに「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を足し合わせた割合が「どちらかと言えばそう思わない」と「そう思わない」を足し合わせた割合を上回っている。

【図表 4-124】『自分の将来が楽しみだ』について



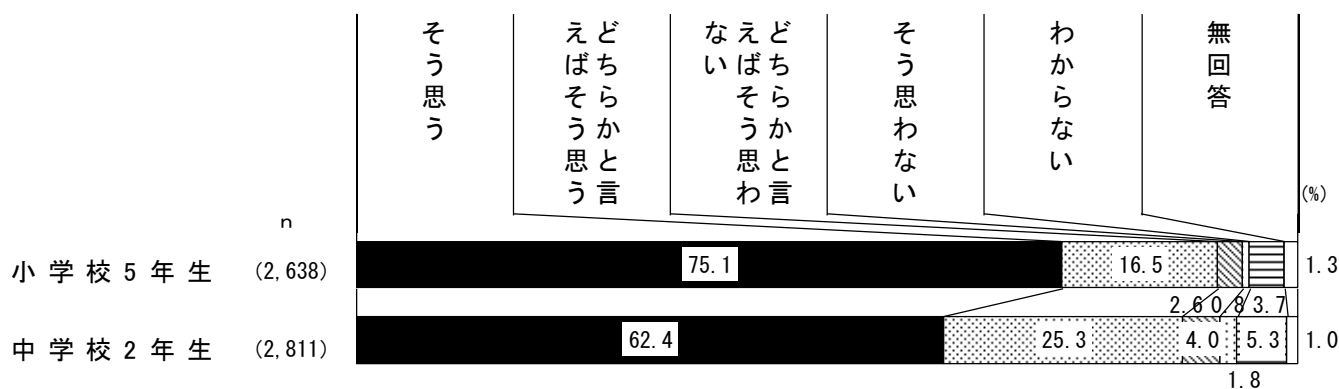
『自分のことが好きだ』についてどう思うか聞いたところ、小学5年生、中学2年生ともに「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を足し合わせた割合が「どちらかと言えばそう思わない」と「そう思わない」を足し合わせた割合を上回っている。

【図表 4-125】『自分のことが好きだ』について



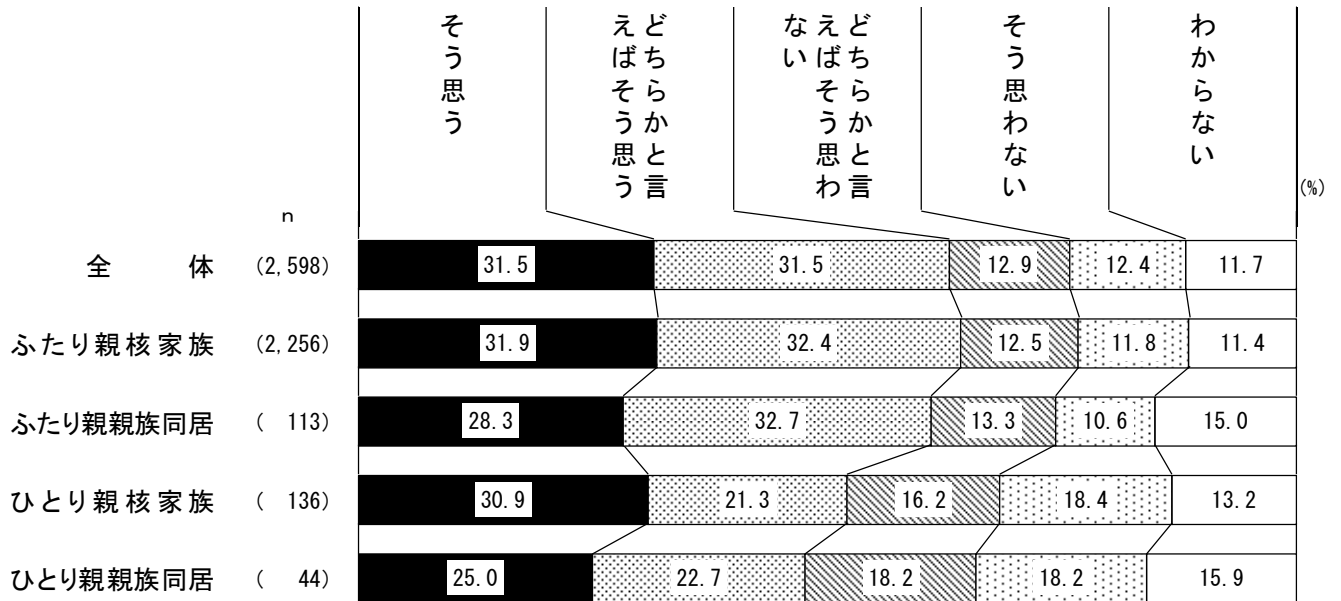
『自分は家族に大切にされていると思う』についてどう思うか聞いたところ、小学5年生、中学2年生ともに「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を足し合わせた割合が「どちらかと言えばそう思わない」と「そう思わない」を足し合わせた割合を上回っている。

【図表 4-126】『自分は家族に大切にされていると思う』について



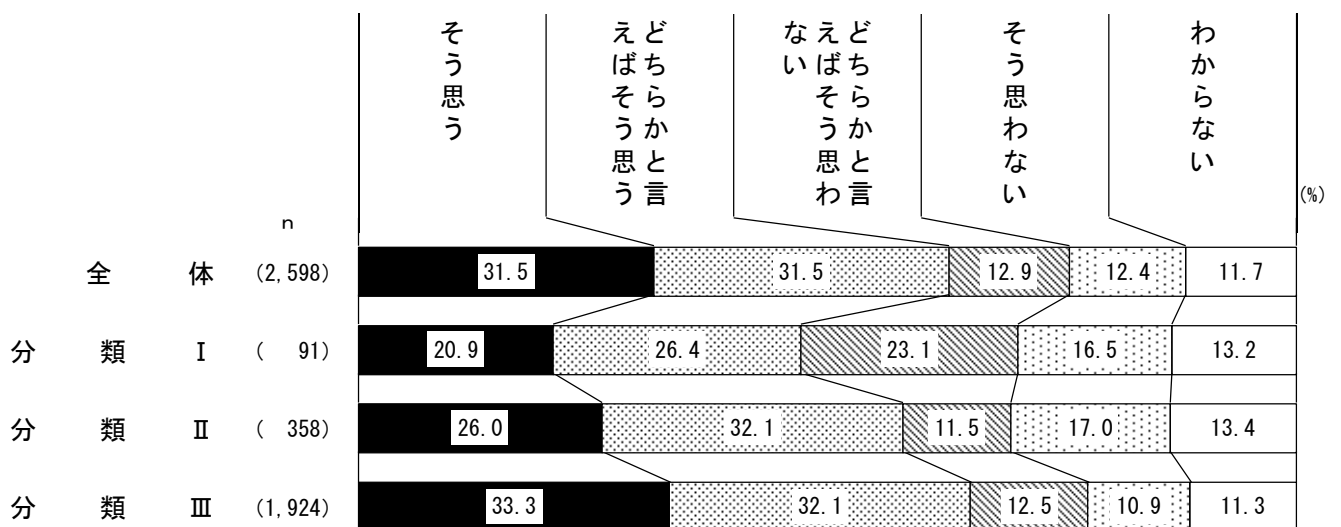
小学5年生の『大学を出ないとよい仕事につけないと思う』という考えを世帯構成別にみると、「どちらかと言えばそう思う」は『ひとり親核家族』が21.3%と全体に比べて低くなっている。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-127】『大学を出ないとよい仕事につけないと思う』について  
 (小学5年生・世帯構成別)



小学5年生の『大学を出ないとよい仕事につけないと思う』という考えを所得分類別にみると、「そう思う」は『分類Ⅰ』が20.9%と全体に比べて低く、「どちらかと言えばそう思わない」は『分類Ⅰ』が23.1%と全体に比べて高くなっている。

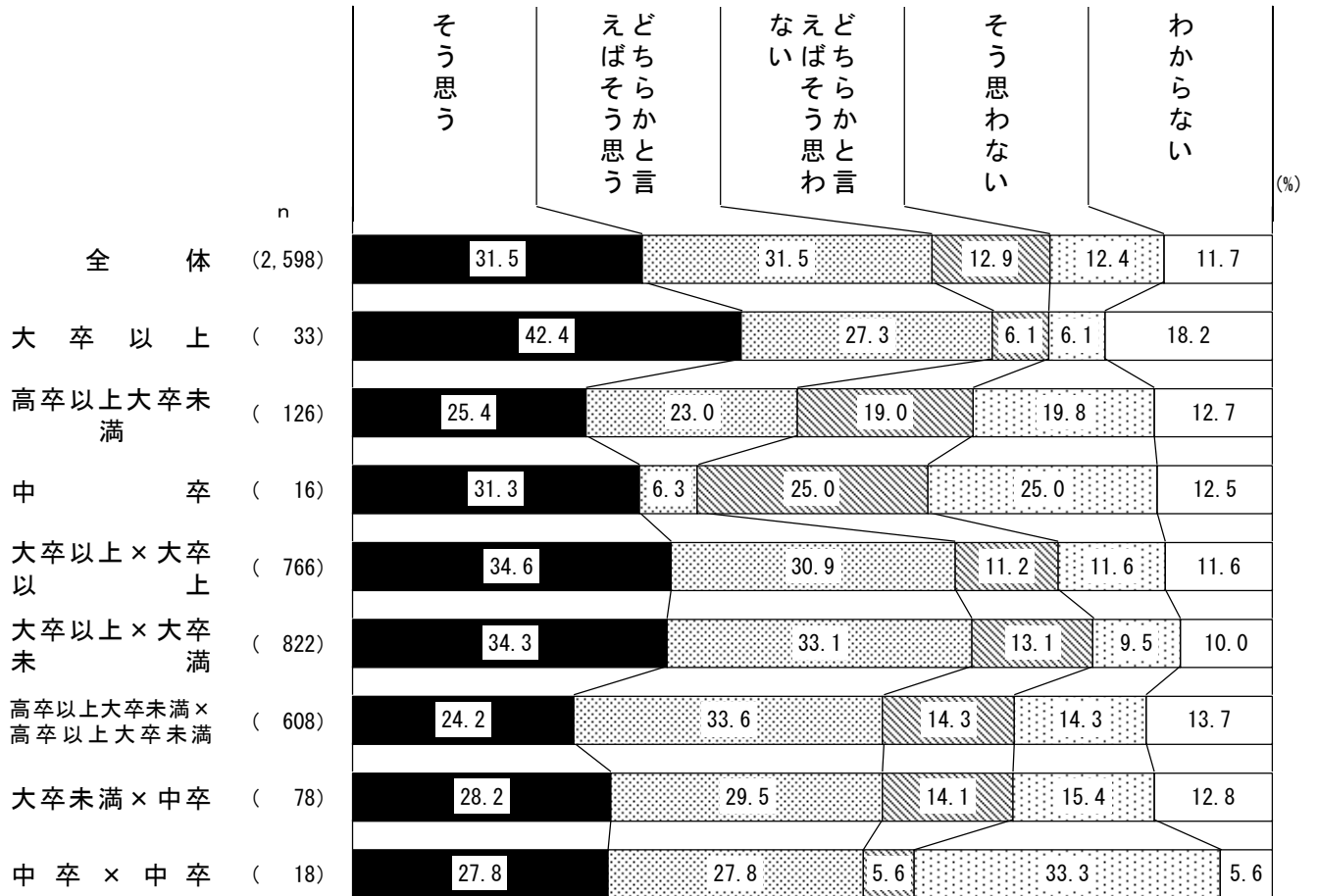
【図表 4-128】『大学を出ないとよい仕事につけないと思う』について  
 (小学5年生・所得分類別)



小学5年生の『大学を出ないとよい仕事につけないと思う』という考えを保護者の最終学歴別にみると、「そう思う」は『大卒以上』が42.4%と全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

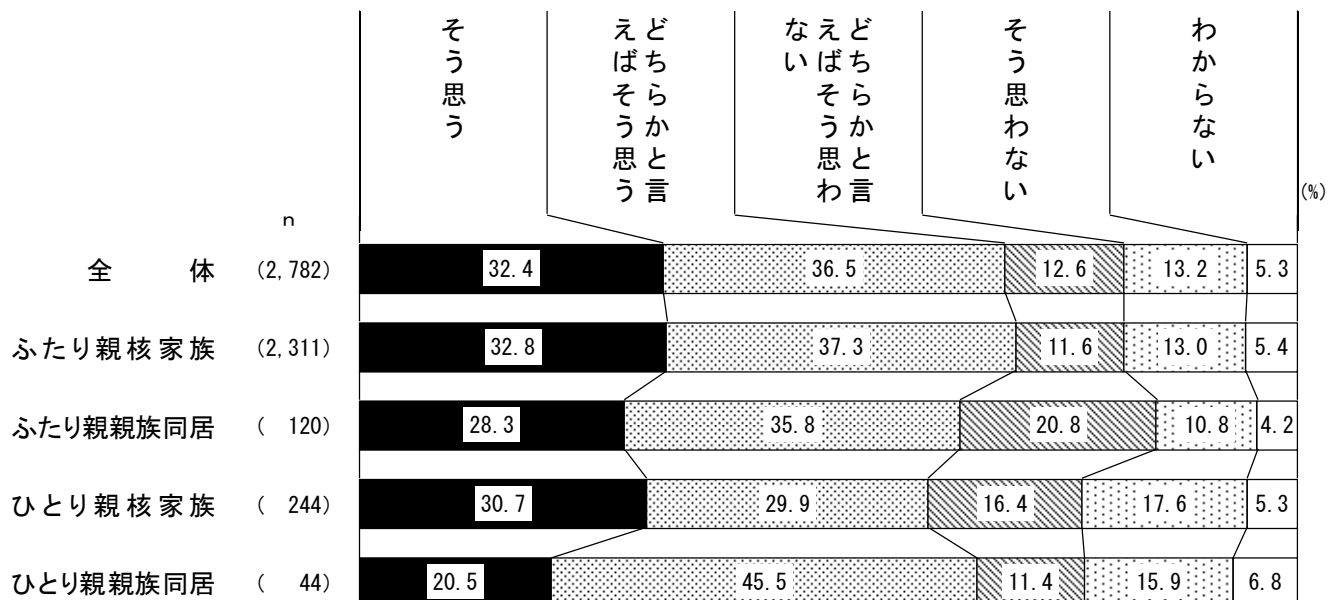
【図表 4-129】『大学を出ないとよい仕事につけないと思う』について  
(小学5年生・保護者の最終学歴別)



中学2年生の『大学を出ないとよい仕事につけないと思う』という考えを世帯構成別にみると、「そう思う」が『ひとり親親族同居』が20.5%と全体に比べて低くなっている。

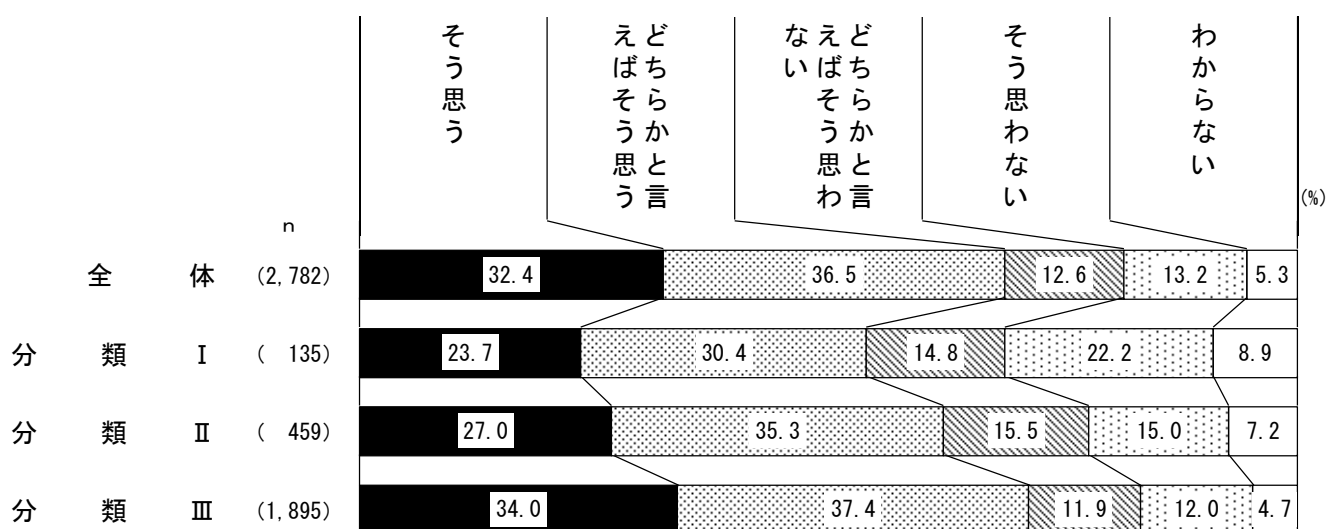
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-130】『大学を出ないとよい仕事につけないと思う』について  
(中学2年生・世帯構成別)



中学2年生の『大学を出ないとよい仕事につけないと思う』という考えを所得分類別にみると、大きな差はみられない。

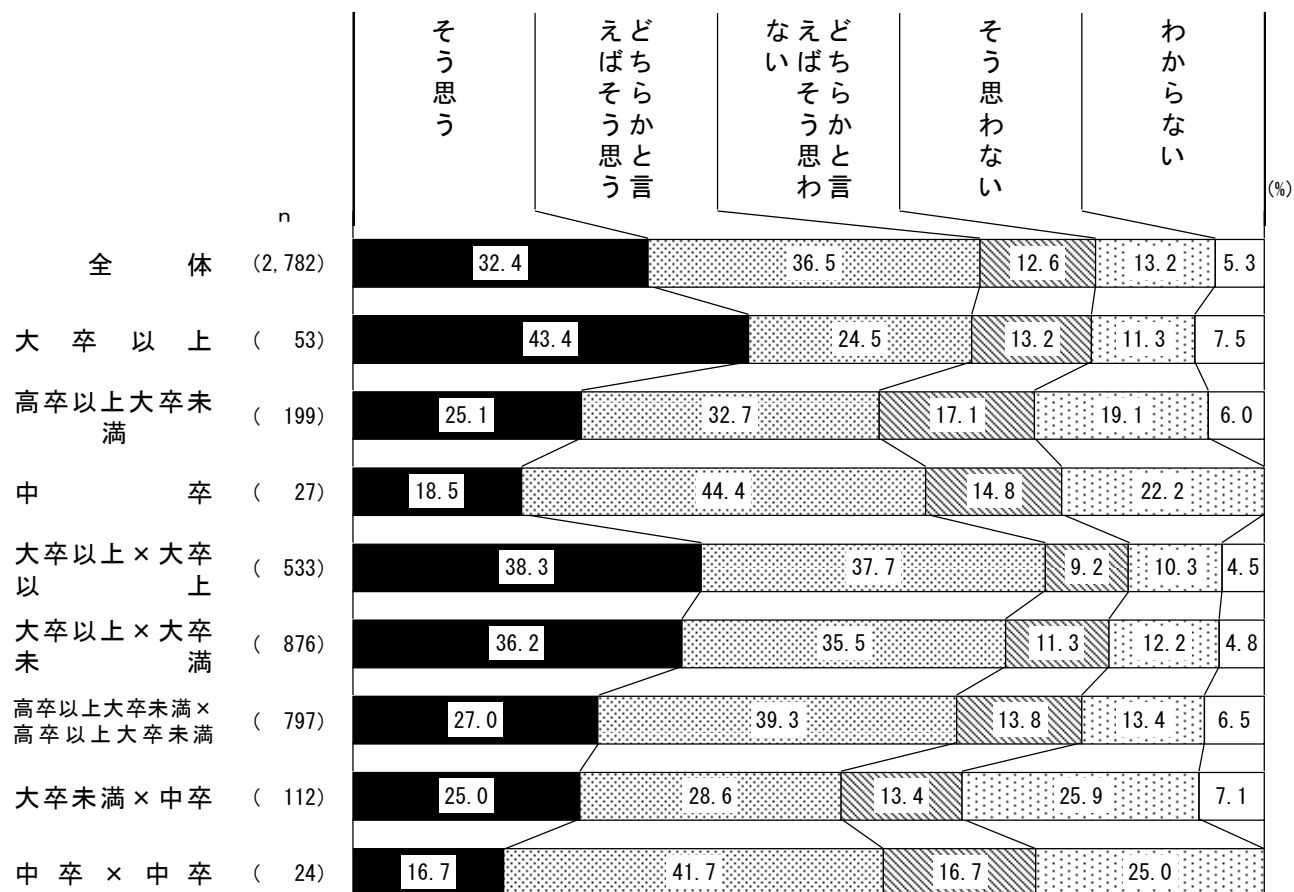
【図表 4-131】『大学を出ないとよい仕事につけないと思う』について  
(中学2年生・所得分類別)



中学2年生の『大学を出ないとよい仕事につけないと思う』という考えを保護者の最終学歴別にみると、「そう思う」は『大卒以上』が43.4%、「そう思わない」は『大卒未満×中卒』が25.9%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-132】『大学を出ないとよい仕事につけないと思う』について  
(中学2年生・保護者の最終学歴別)

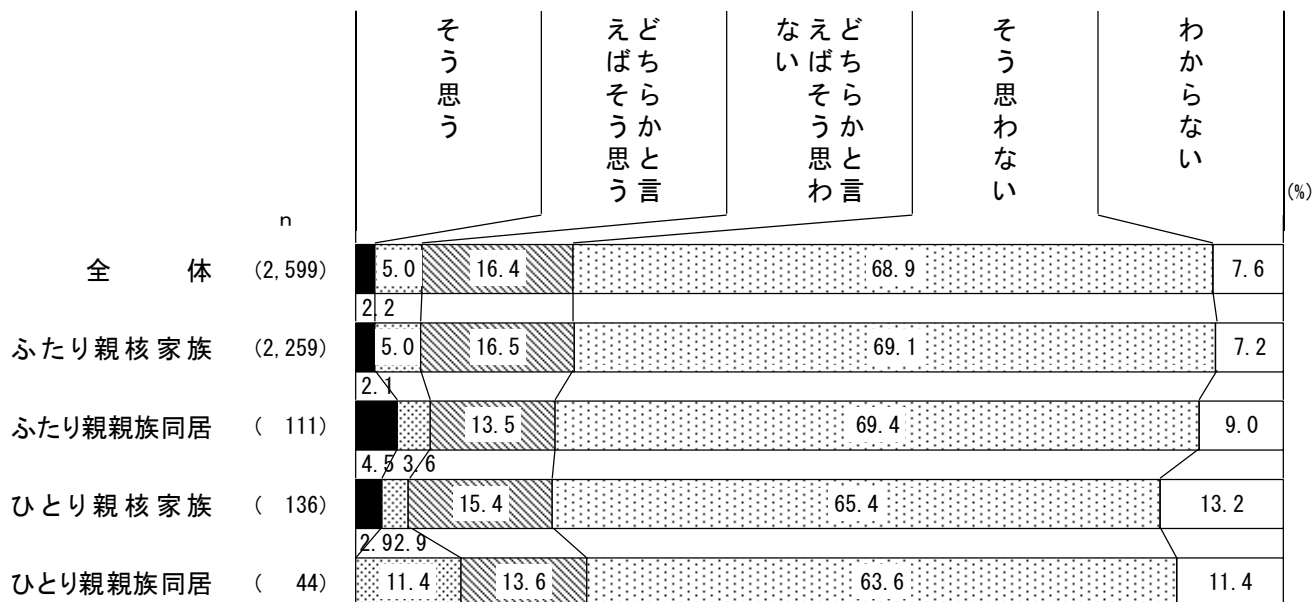




小学5年生の『がんばって働かなくても生活していけると思う』という考えを世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

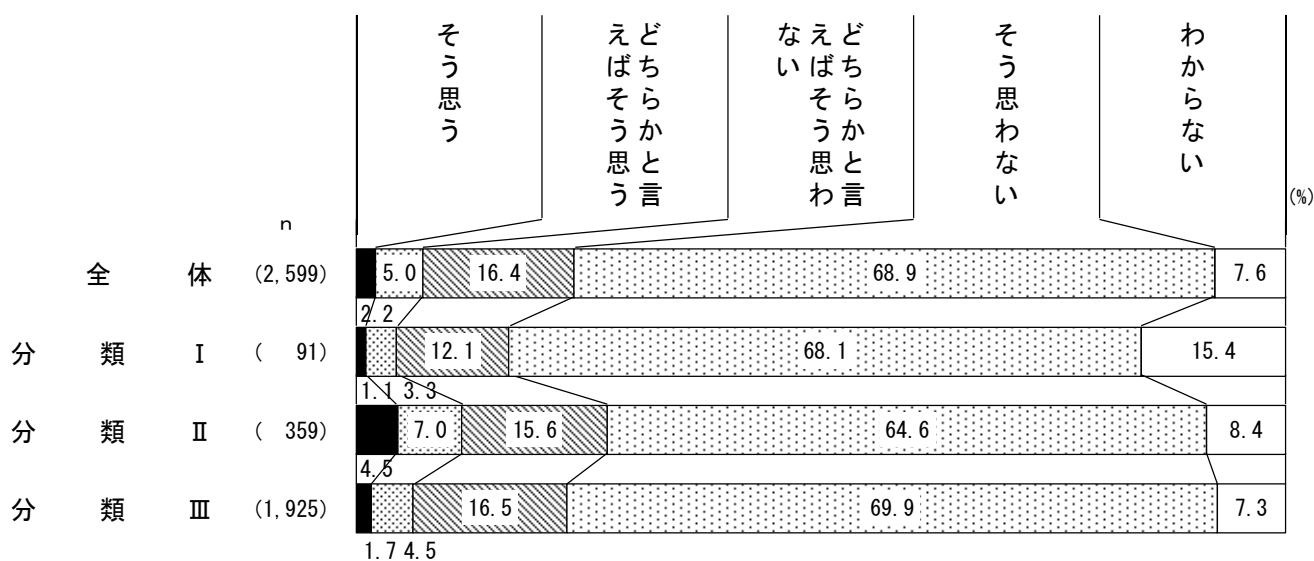
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-133】 『がんばって働かなくても生活していけると思う』について  
(小学5年生・世帯構成別)



小学5年生の『がんばって働かなくても生活していけると思う』という考えを所得分類別にみると、大きな差はみられない。

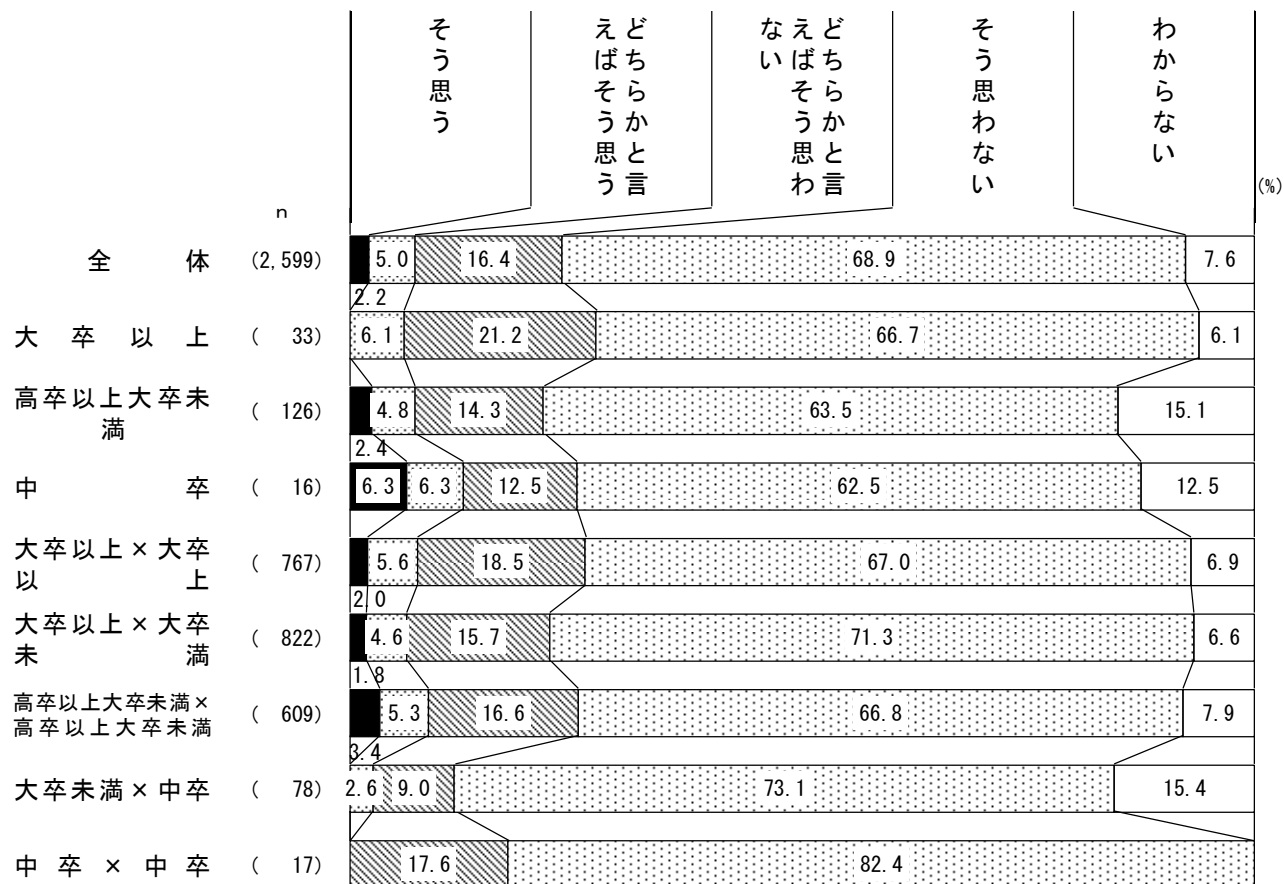
【図表 4-134】 『がんばって働かなくても生活していけると思う』について  
(小学5年生・所得分類別)



小学5年生の『がんばって働かなくても生活していけると思う』という考えを保護者の最終学歴別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

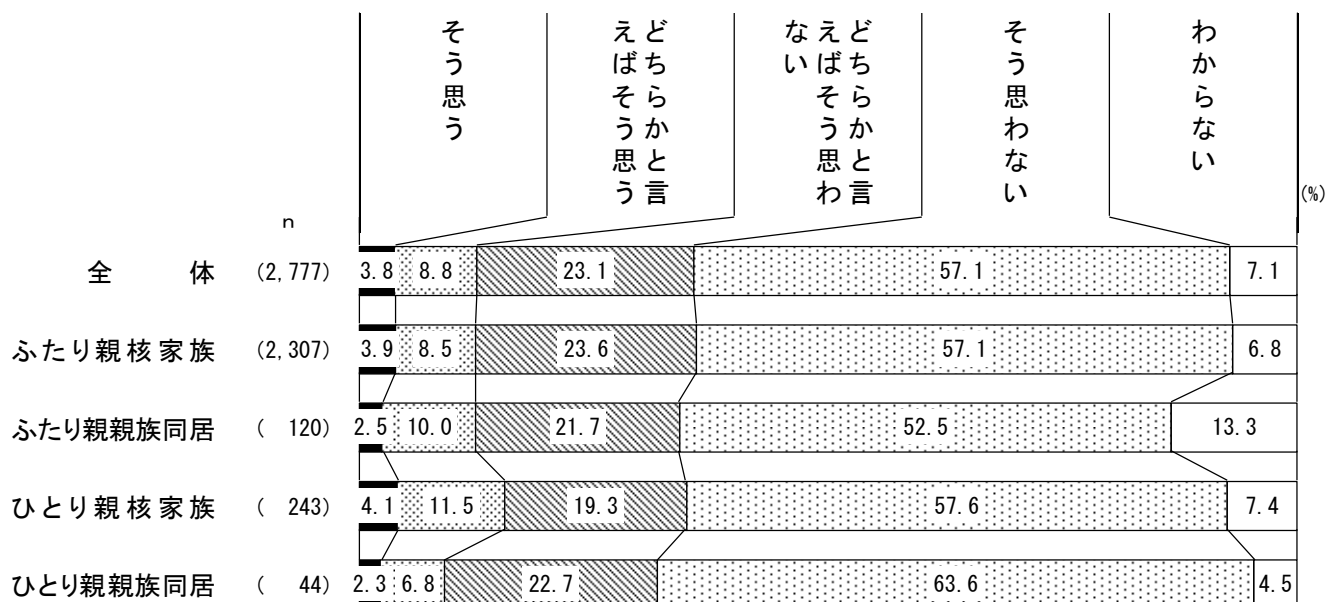
【図表 4-135】 『がんばって働かなくても生活していけると思う』について  
(小学5年生・保護者の最終学歴別)



中学2年生の『がんばって働かなくても生活していけると思う』という考えを世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

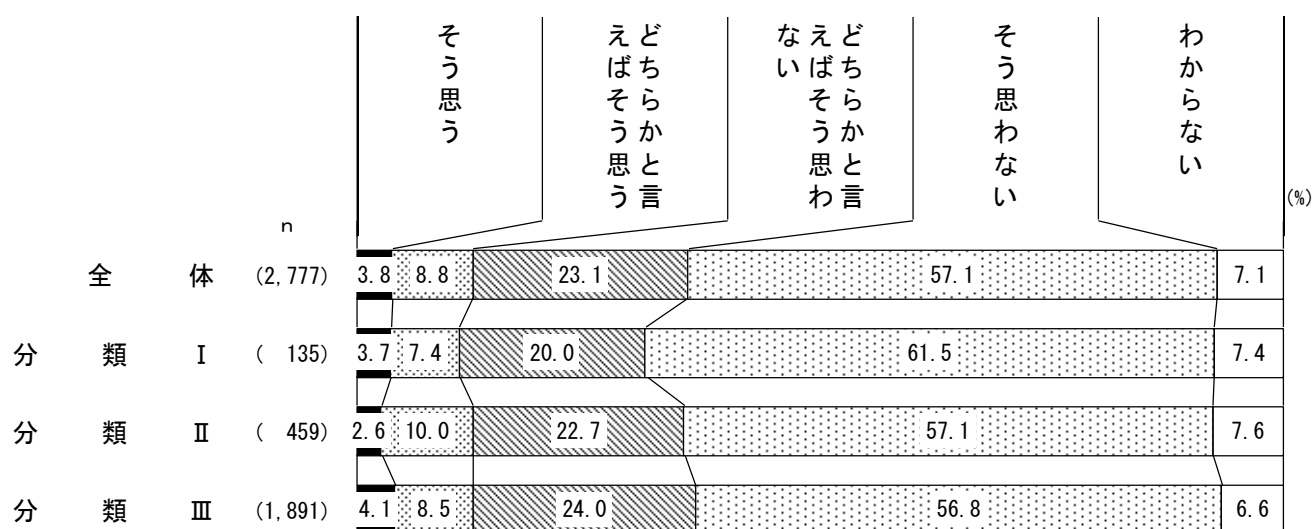
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-136】 『がんばって働かなくても生活していけると思う』について  
(中学2年生・世帯構成別)



中学2年生の『がんばって働かなくても生活していけると思う』という考えを所得分類別にみると、大きな差はみられない。

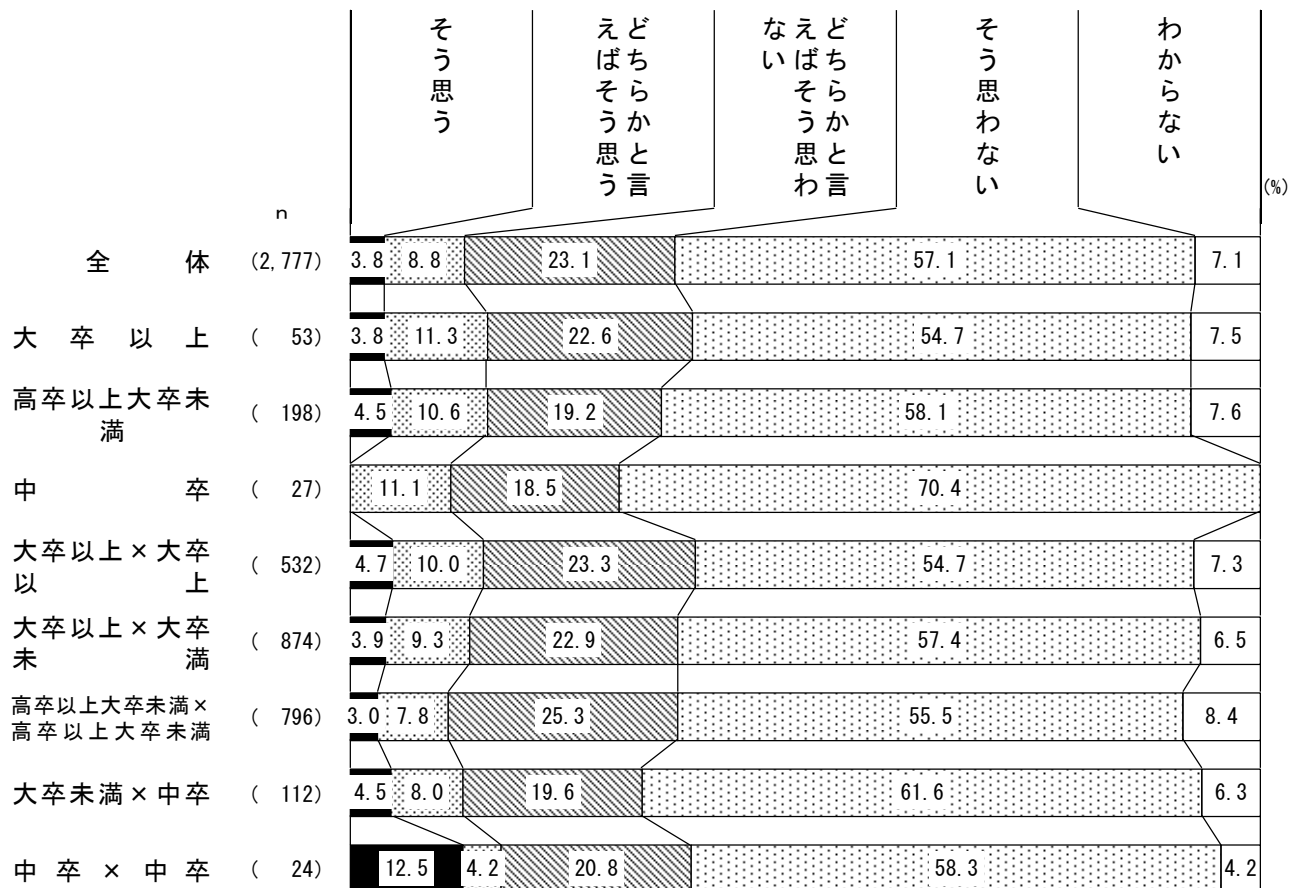
【図表 4-137】 『がんばって働かなくても生活していけると思う』について  
(中学2年生・所得分類別)



中学2年生の『がんばって働かなくても生活していけると思う』という考えを保護者の最終学歴別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

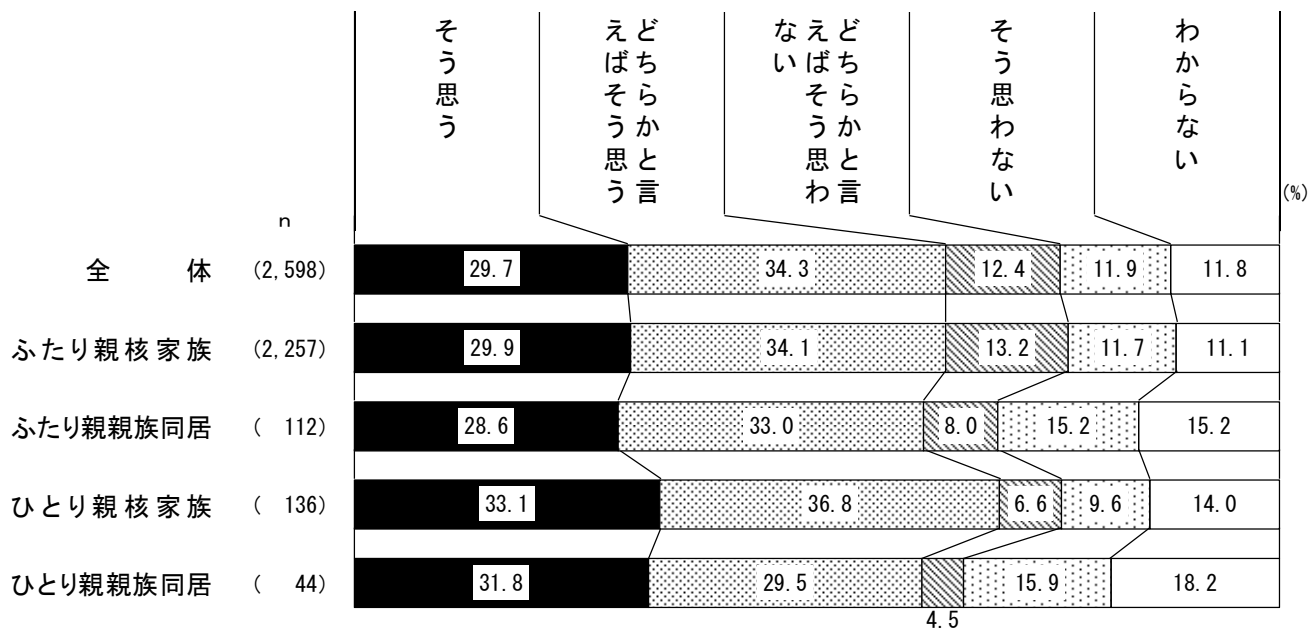
【図表 4-138】『がんばって働かなくても生活していけると思う』について  
(中学2年生・保護者の最終学歴別)



小学5年生の『希望する学校や会社に入れるか不安だ』という考えを世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

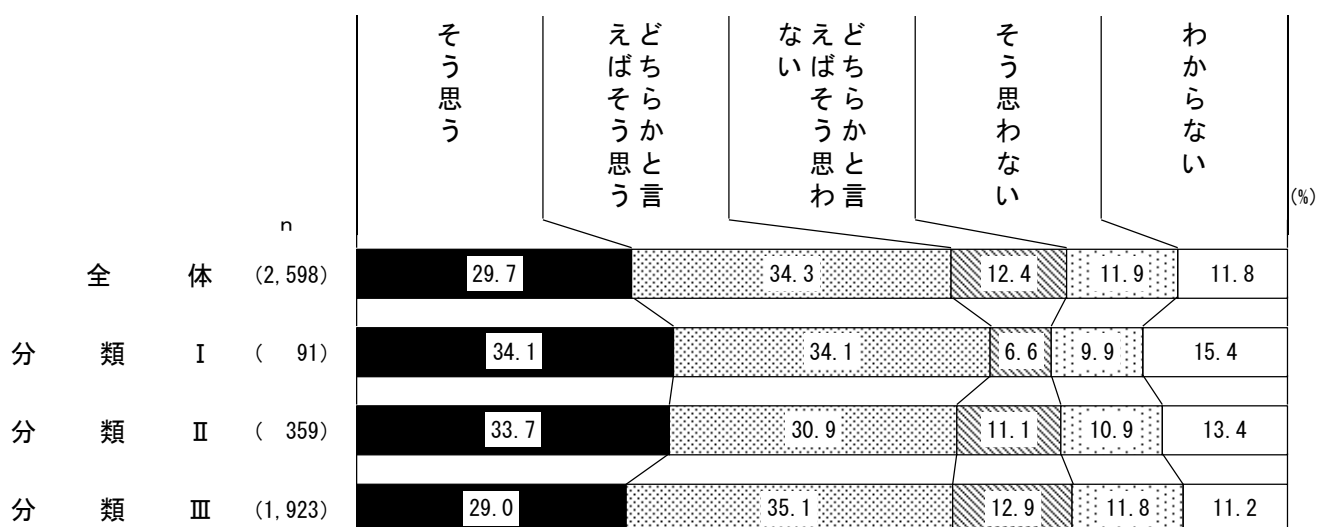
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-139】『希望する学校や会社に入れるか不安だ』について  
(小学5年生・世帯構成別)



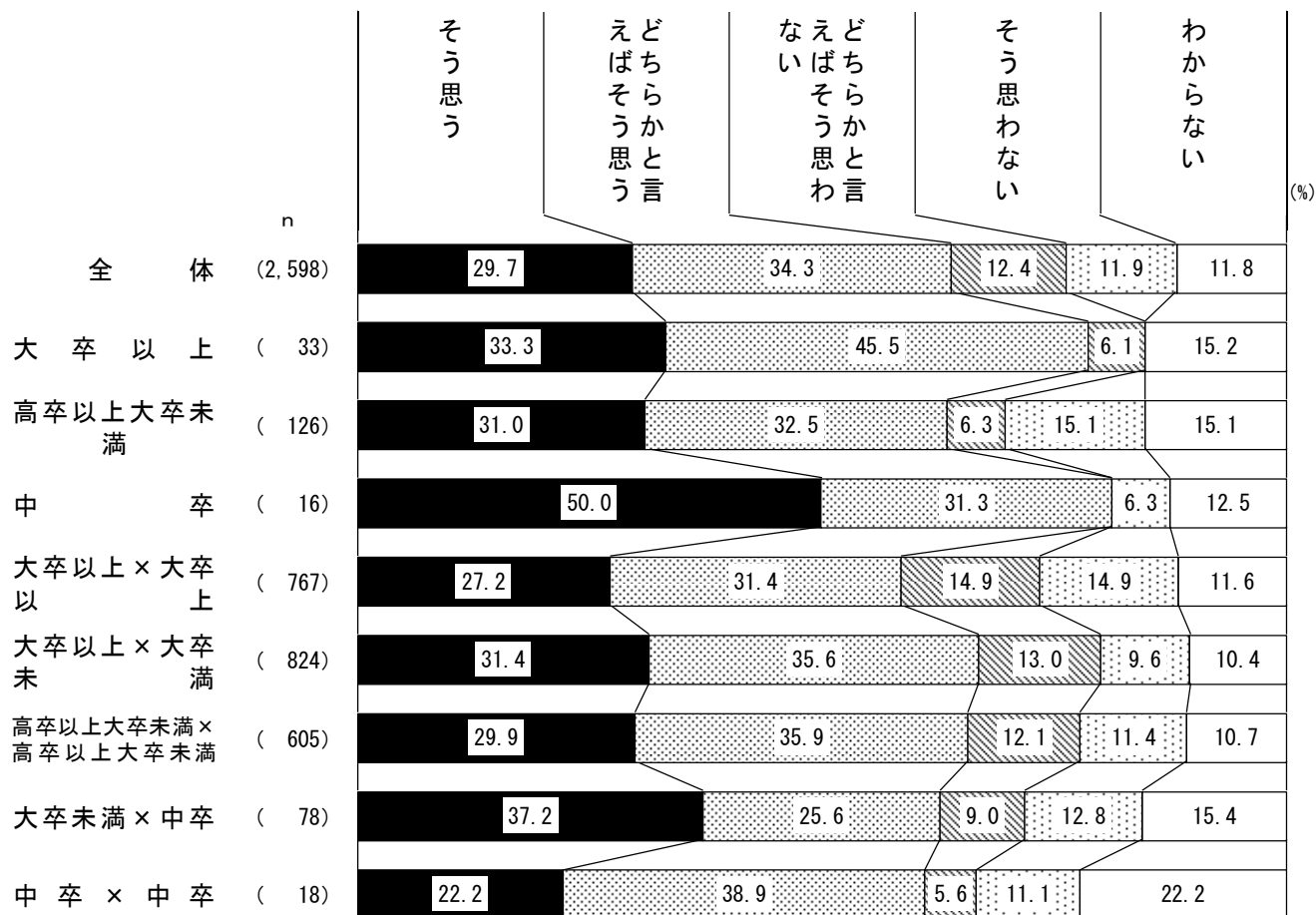
小学5年生の『希望する学校や会社に入れるか不安だ』という考えを所得分類別にみると、大きな差はみられない。

【図表 4-140】『希望する学校や会社に入れるか不安だ』について  
(小学5年生・所得分類別)



小学5年生の『希望する学校や会社に入れるか不安だ』という考えを保護者の最終学歴別にみると、「どちらかと言えばそう思う」は『大卒以上』が45.5%と全体に比べて高くなっている。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

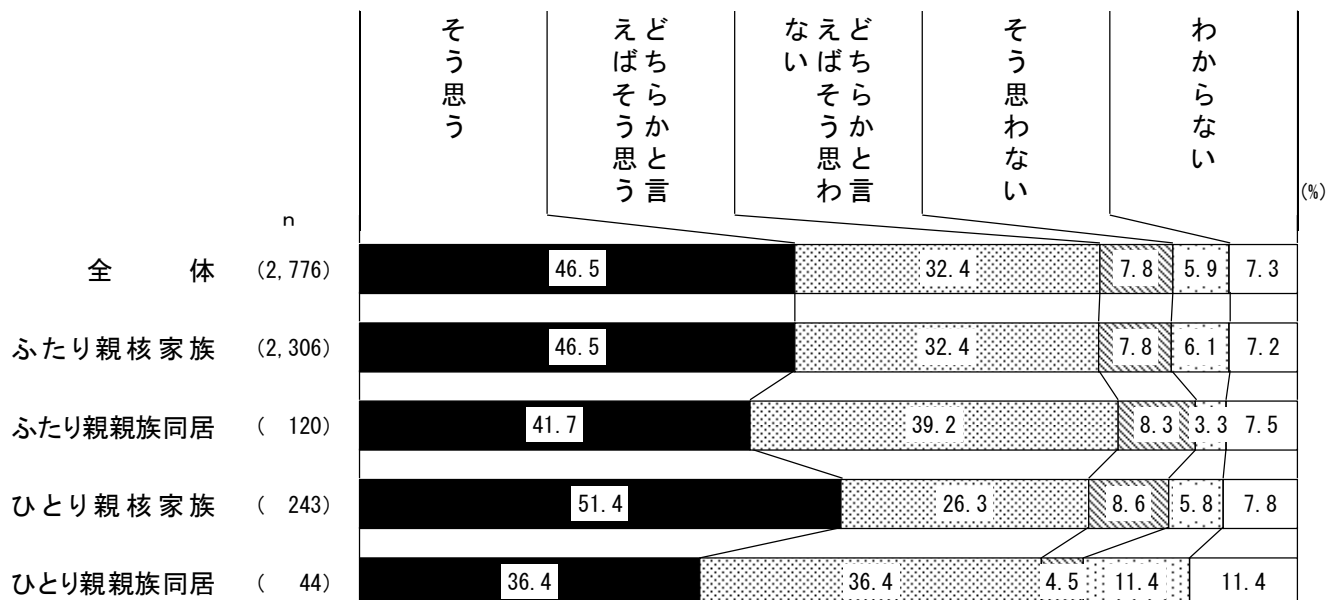
【図表 4-141】『希望する学校や会社に入れるか不安だ』について  
 (小学5年生・保護者の最終学歴別)



中学2年生の『希望する学校や会社に入れるか不安だ』という考えを世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

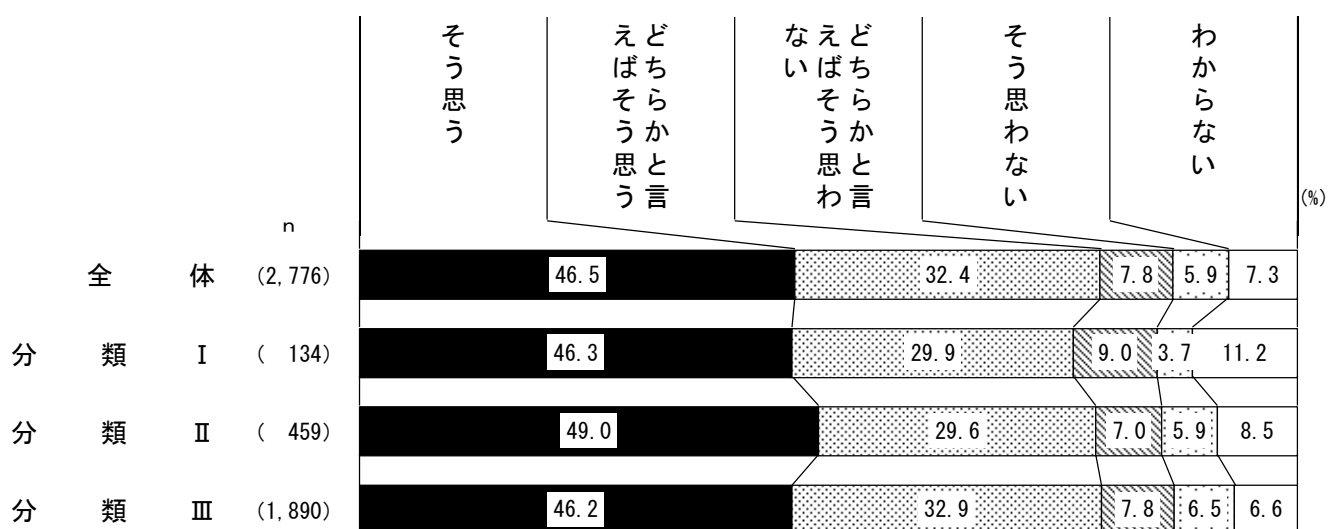
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-142】『希望する学校や会社に入れるか不安だ』について  
(中学2年生・世帯構成別)



中学2年生の『希望する学校や会社に入れるか不安だ』という考えを所得分類別にみると、大きな差はみられない。

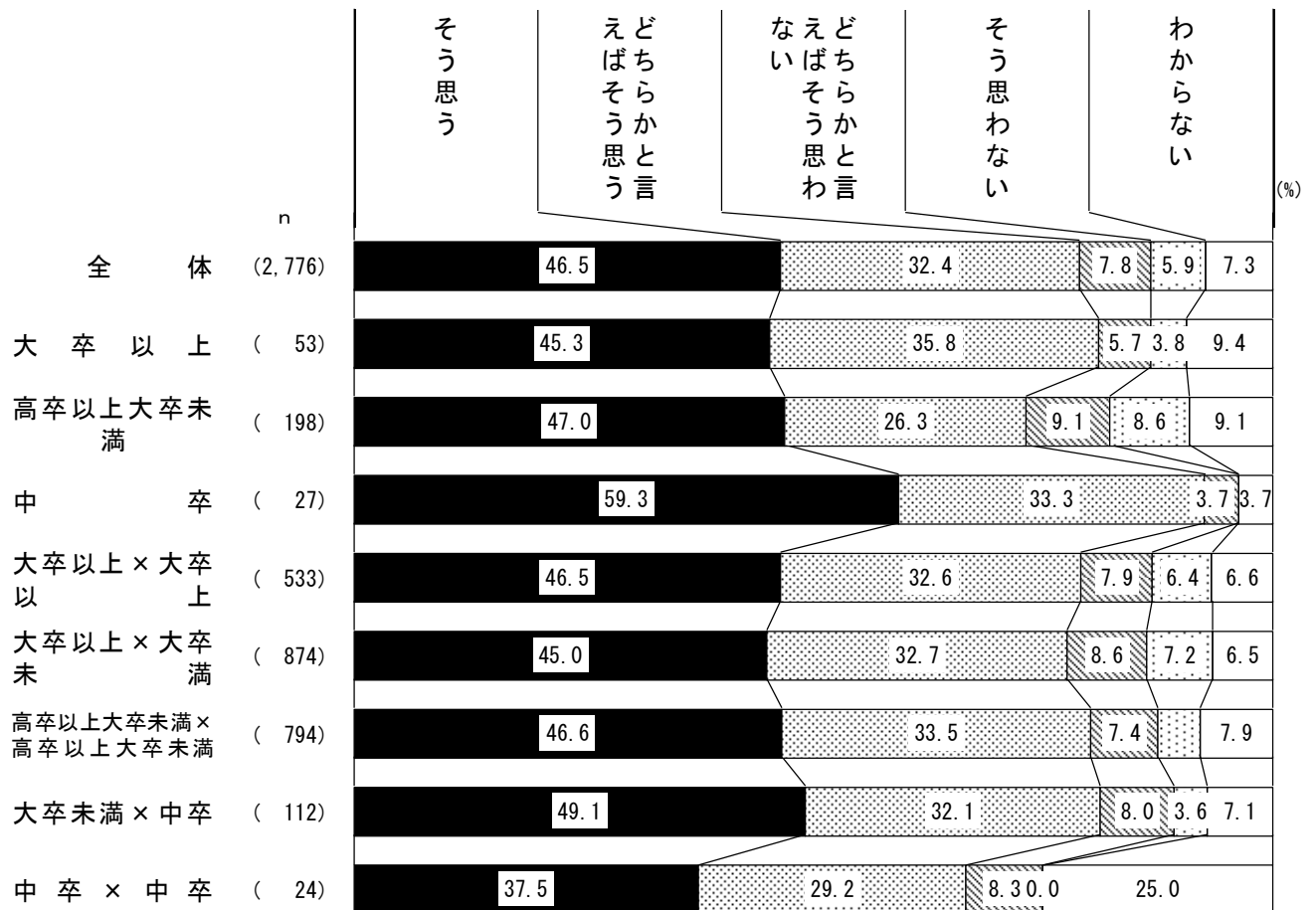
【図表 4-143】『希望する学校や会社に入れるか不安だ』について  
(中学2年生・所得分類別)



中学2年生の『希望する学校や会社に入れるか不安だ』という考えを保護者の最終学歴別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-144】『希望する学校や会社に入れるか不安だ』について  
(中学2年生・保護者の最終学歴別)

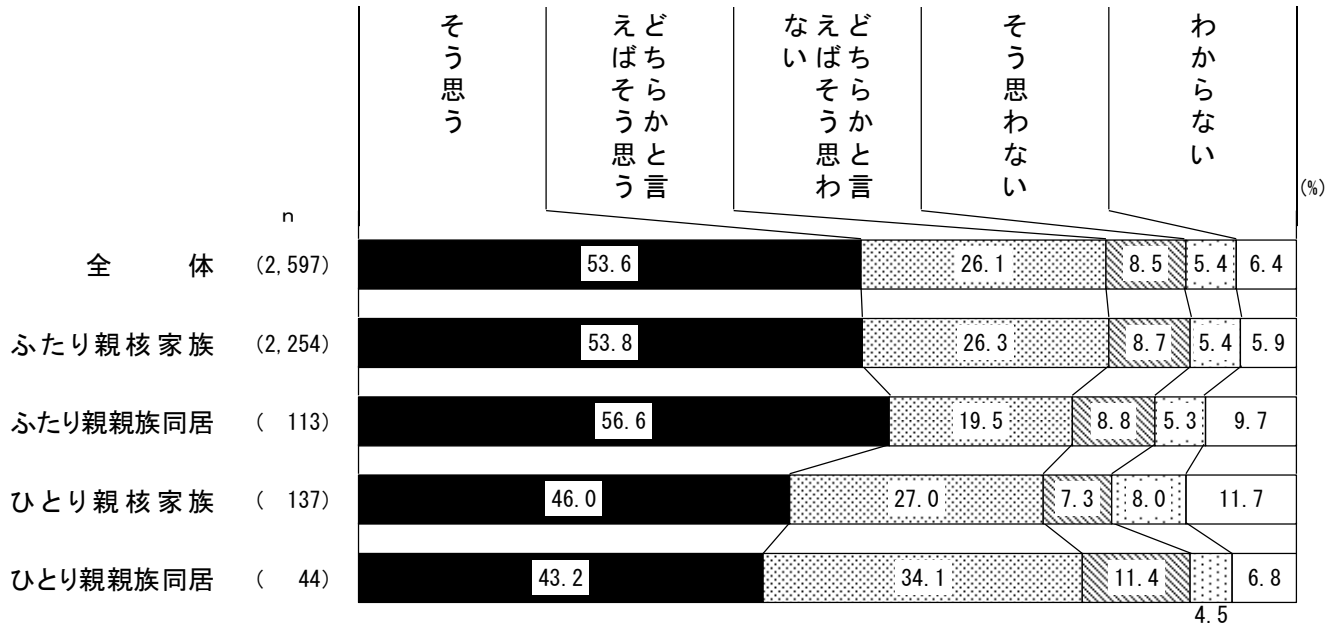




小学5年生の『自分の将来が楽しみだ』という考えを世帯構成別にみると、「そう思う」は『ひとり親親族同居』が43.2%と全体に比べて低くなっている。

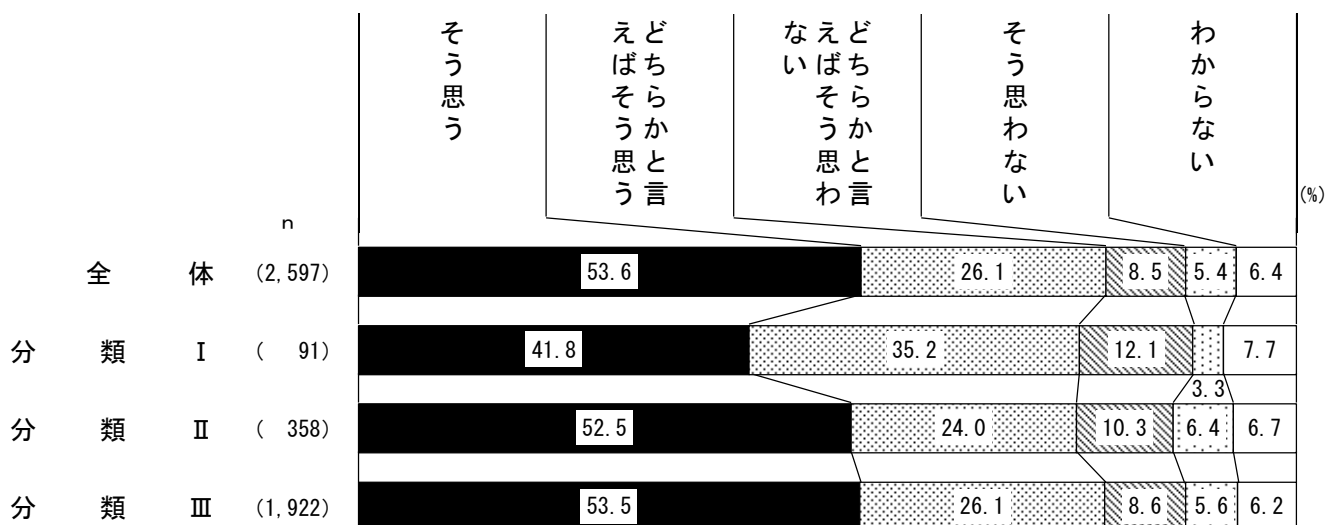
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-145】『自分の将来が楽しみだ』について  
(小学5年生・世帯構成別)



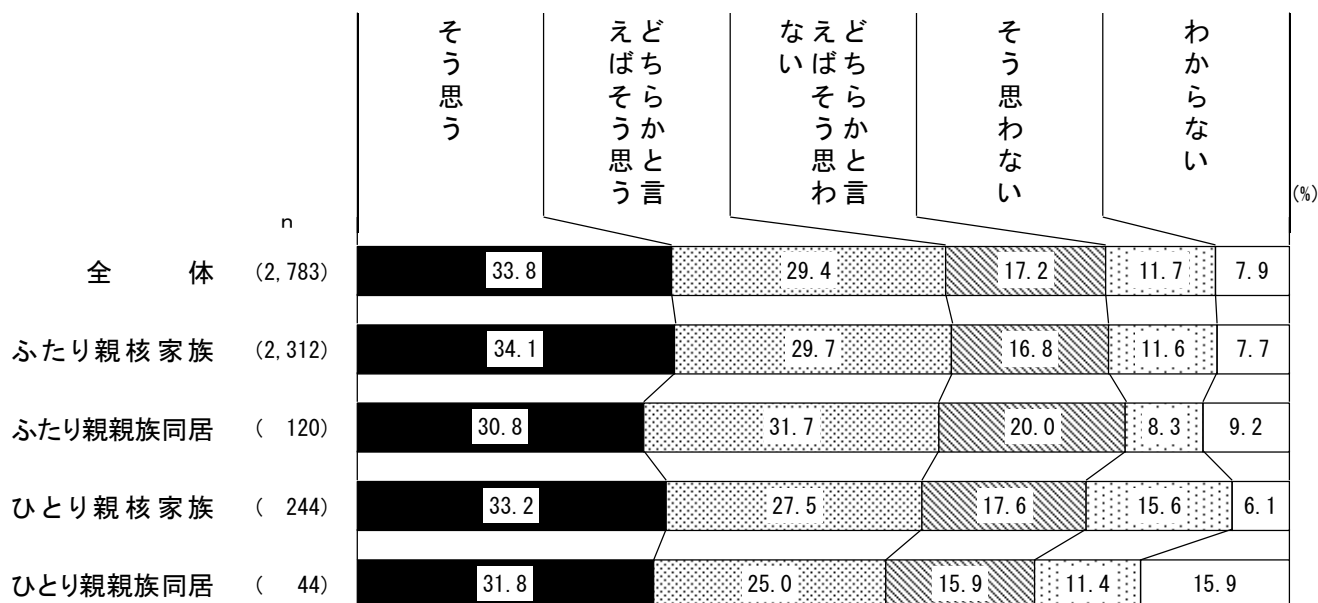
小学5年生の『自分の将来が楽しみだ』という考えを所得分類別にみると、「そう思う」は『分類Ⅰ』が41.8%と全体に比べて低くなっている。

【図表 4-146】『自分の将来が楽しみだ』について  
(小学5年生・所得分類別)



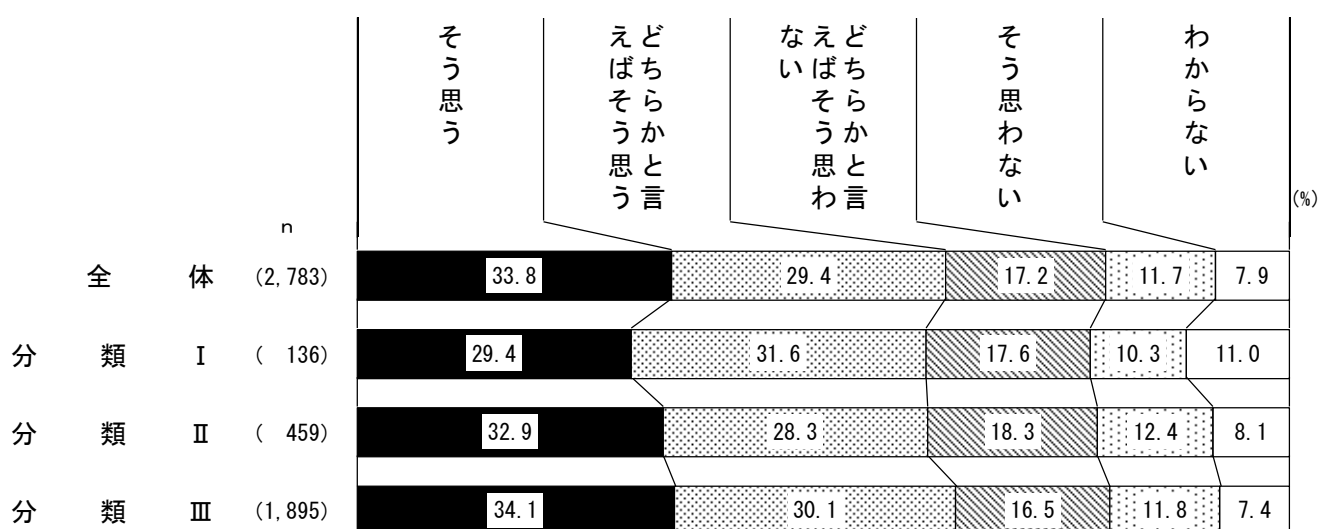
中学2年生の『自分の将来が楽しみだ』という考えを世帯構成別にみると、大きな差はみられない。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-147】『自分の将来が楽しみだ』について  
 (中学2年生・世帯構成別)



中学2年生の『自分の将来が楽しみだ』という考えを所得分類別にみると、大きな差はみられない。

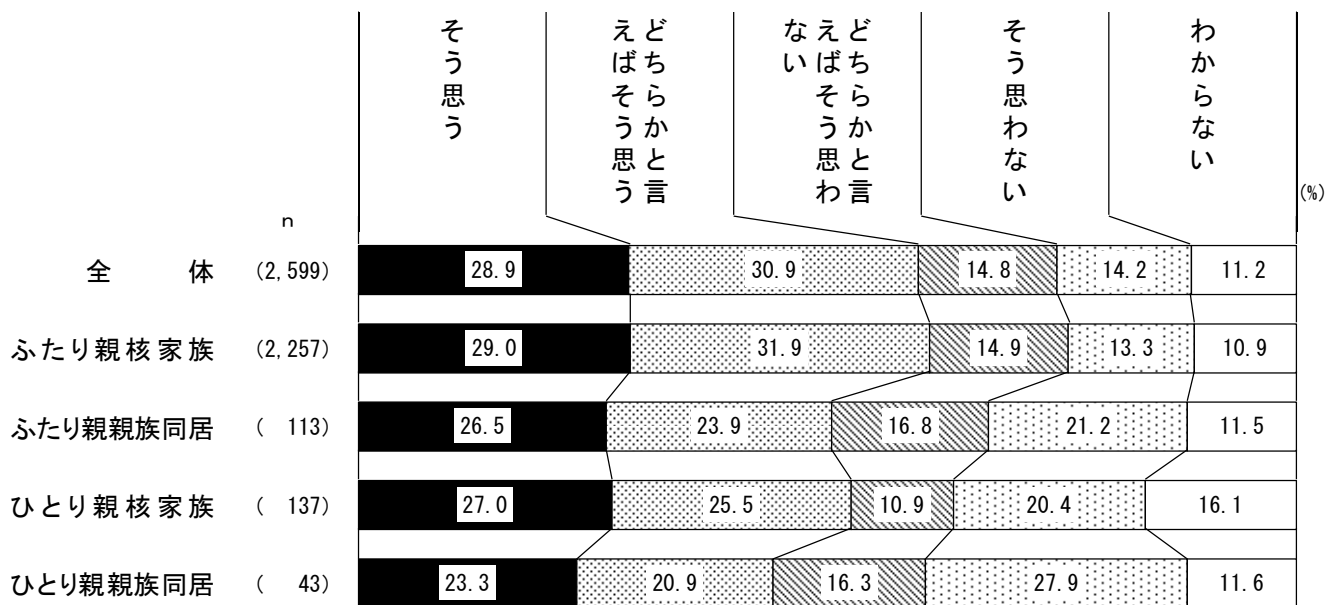
【図表 4-148】『自分の将来が楽しみだ』について  
 (中学2年生・所得分類別)



小学5年生の『自分のことが好きだ』という考えを世帯構成別にみると、「そう思わない」は『ひとり親親族同居』が27.9%と全体に比べて高くなっている。「どちらかと言えばそう思う」は『ひとり親親族同居』が20.9%と全体に比べて低くなっている。

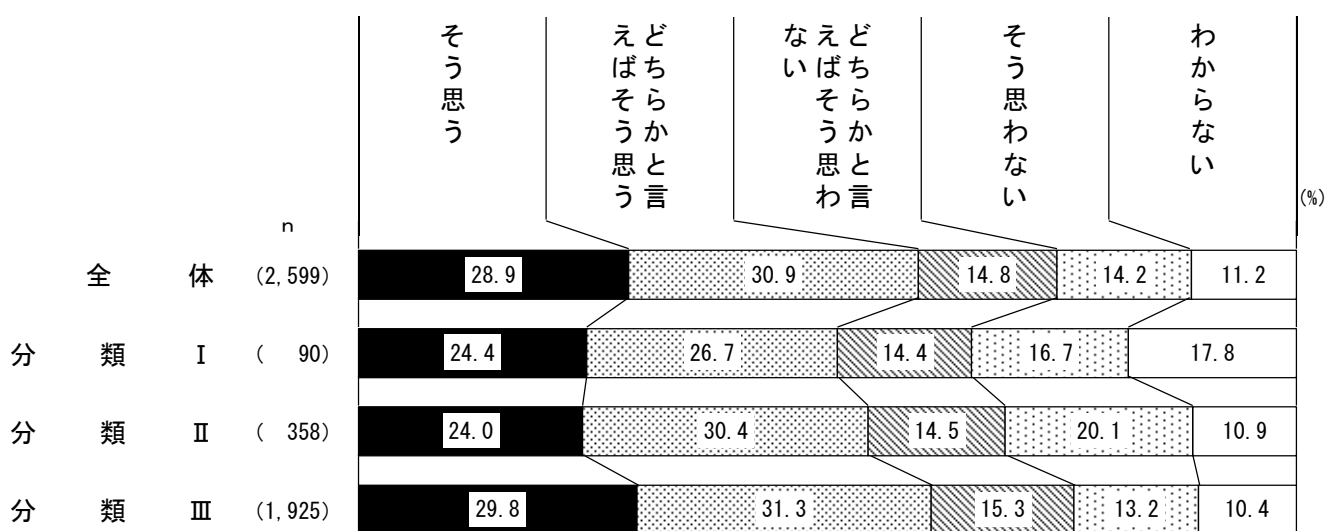
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-149】『自分のことが好きだ』について  
(小学5年生・世帯構成別)



小学5年生の『自分のことが好きだ』という考えを所得分類別にみると、大きな差はみられない。

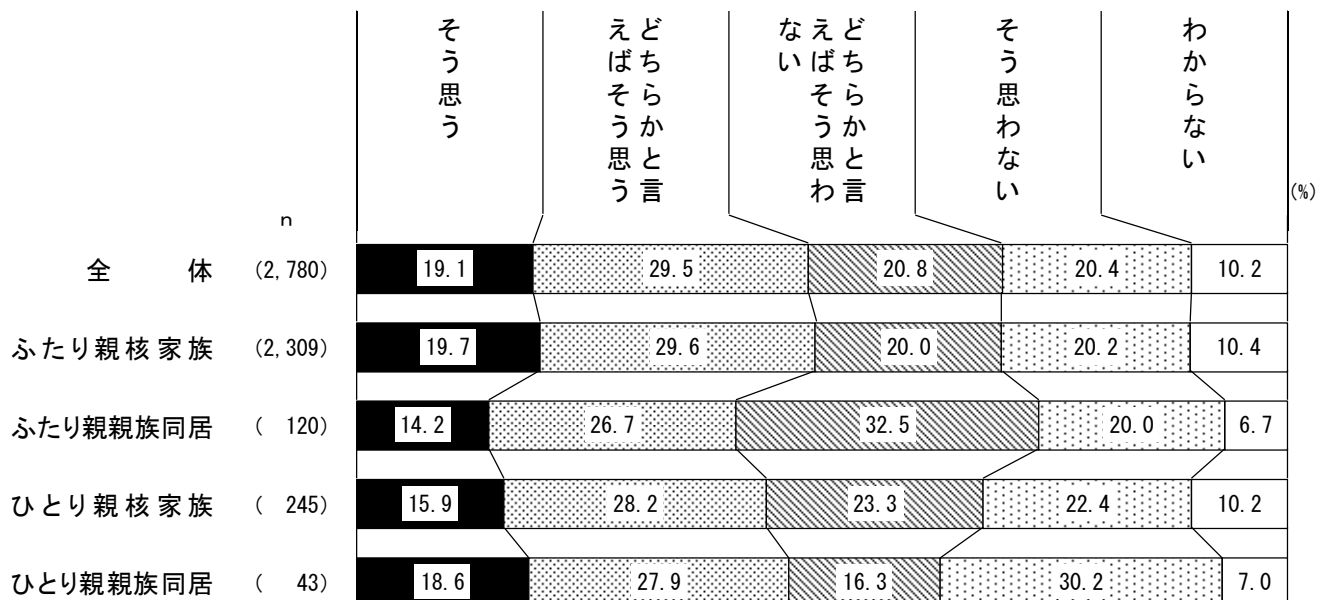
【図表 4-150】『自分のことが好きだ』について  
(小学5年生・所得分類別)



中学2年生の『自分のことが好きだ』という考えを世帯構成別にみると、「どちらかと言えばそう思う」は『ふたり親親族同居』が32.5%と全体に比べて高くなっている。

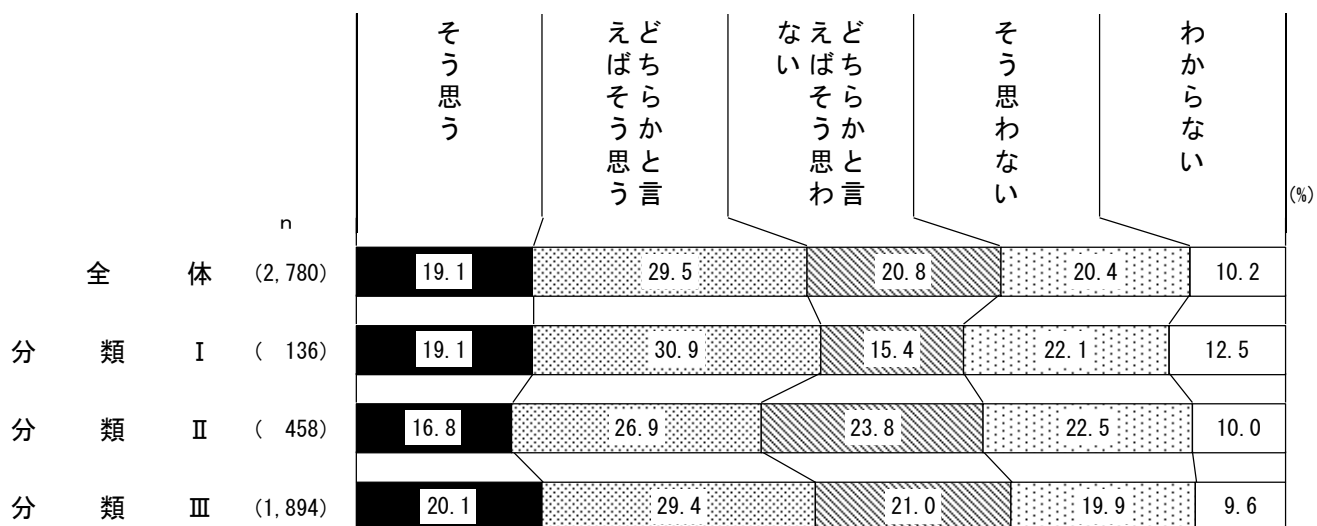
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-151】『自分のことが好きだ』について  
(中学2年生・世帯構成別)



中学2年生の『自分のことが好きだ』という考えを所得分類別にみると、大きな差はみられない。

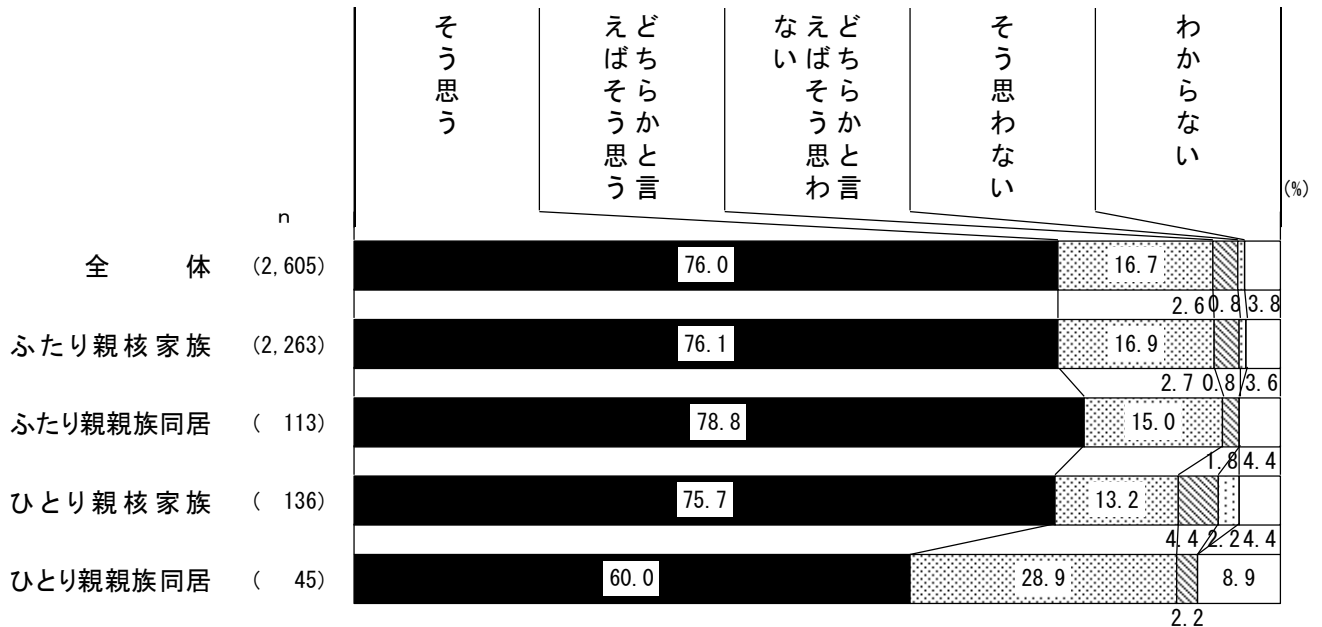
【図表 4-152】『自分のことが好きだ』について  
(中学2年生・所得分類別)



小学5年生の『自分は家族に大事にされていると思う』という考えを世帯構成別にみると、「どちらかと言えばそう思う」は『ひとり親親族同居』が28.9%と全体に比べて高くなっている。「そう思う」は『ひとり親親族同居』が60.0%と全体に比べて低くなっている。

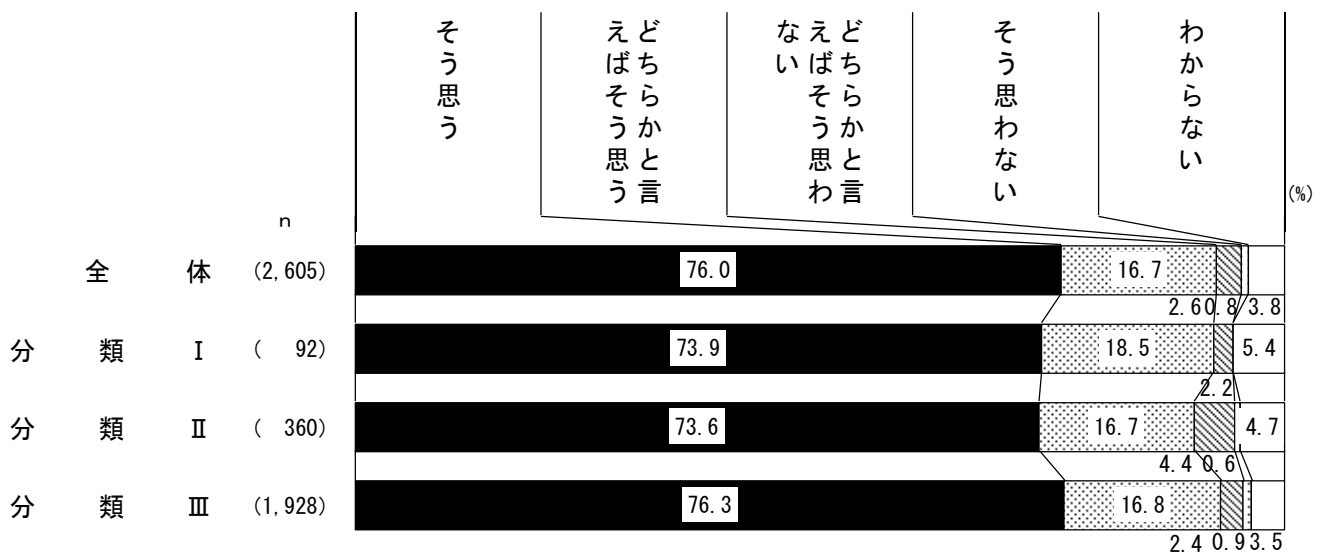
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-153】『自分は家族に大事にされていると思う』について  
(小学5年生・世帯構成別)



小学5年生の『自分は家族に大事にされていると思う』という考えを所得分類別にみると、大きな差はみられない。

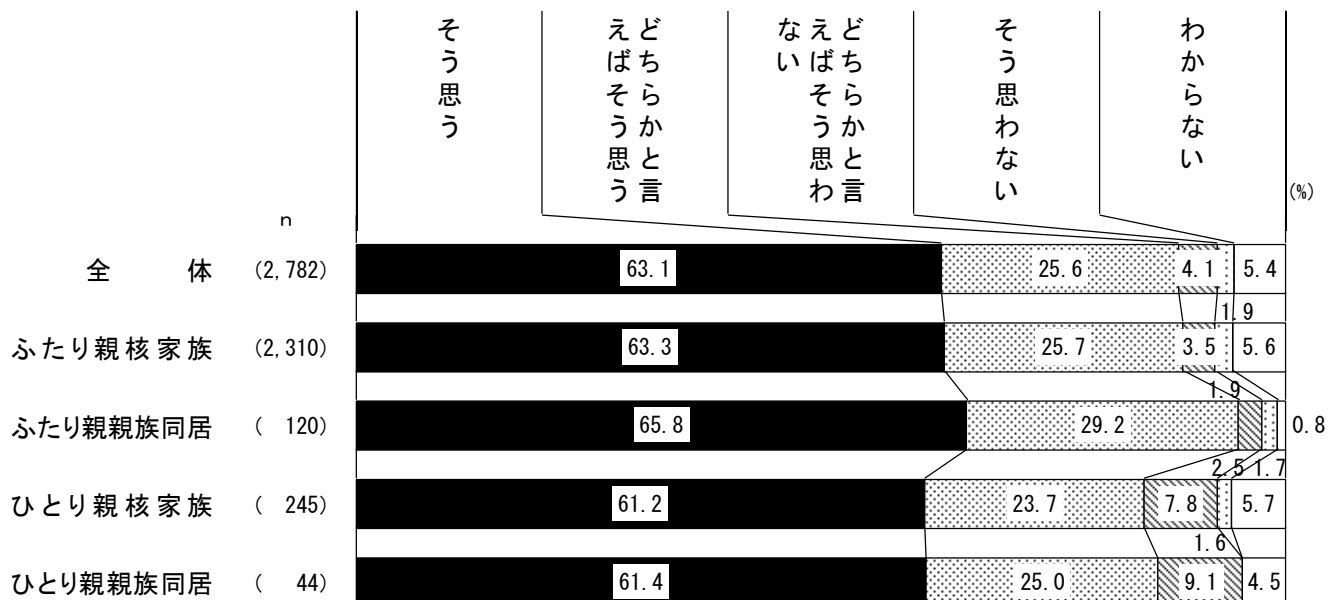
【図表 4-154】『自分は家族に大事にされていると思う』について  
(小学5年生・所得分類別)



中学2年生の『自分は家族に大切にされていると思う』という考えを世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

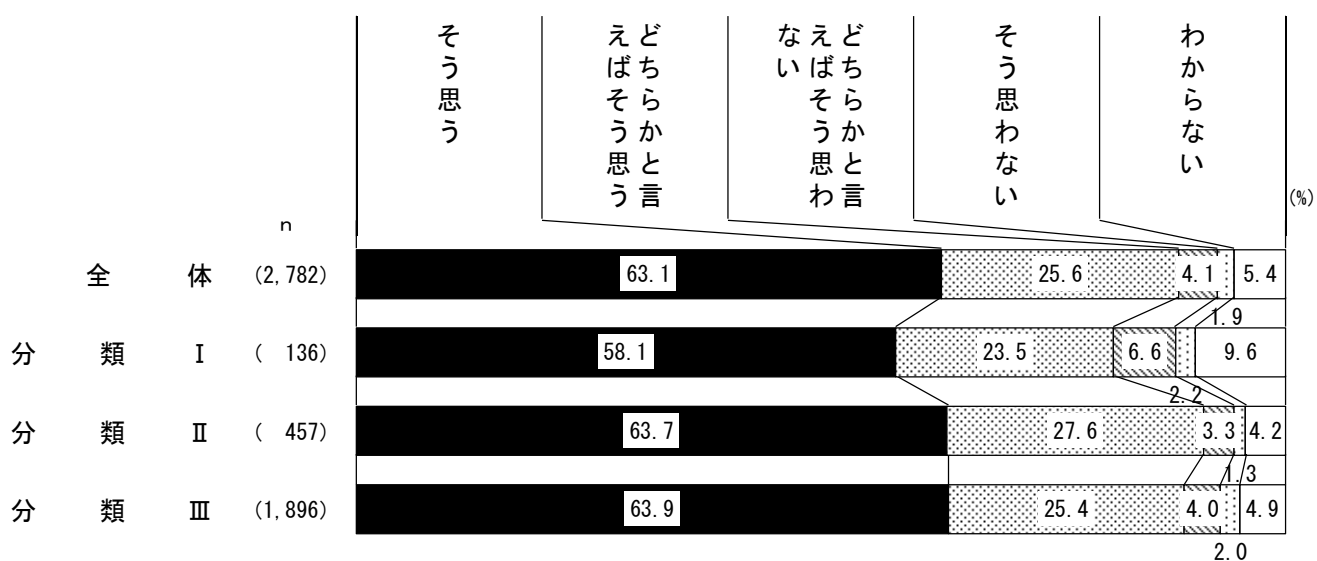
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-155】『自分は家族に大切にされていると思う』について  
(中学2年生・世帯構成別)



中学2年生の『自分は家族に大切にされていると思う』という考えを所得分類別にみると、大きな差はみられない。

【図表 4-156】『自分は家族に大切にされていると思う』について  
(中学2年生・所得分類別)

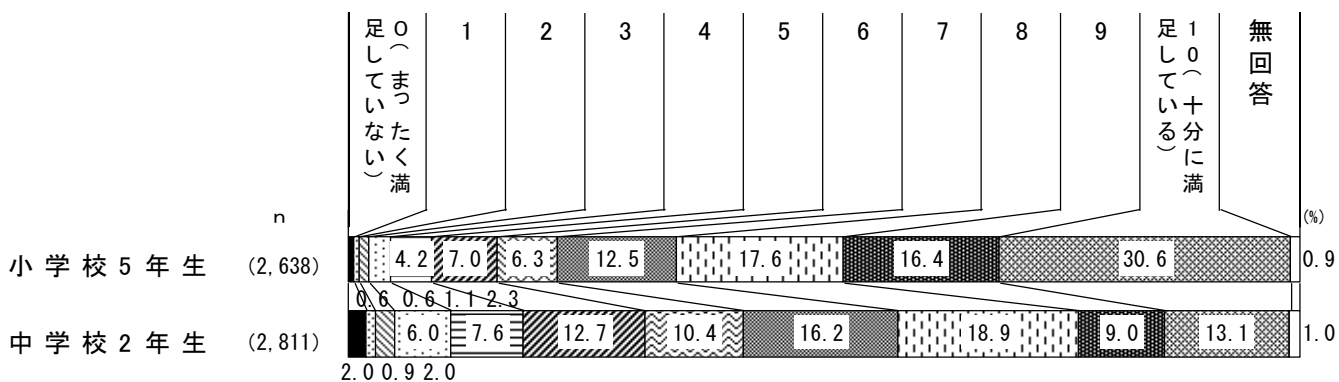


ウ 現状への満足度【小学・問18・中学・問23】(SA)

最近の生活に対する満足度を聞いたところ、小学5年生では「10(十分に満足している)」が30.6%と最も高く、次いで「8」が17.6%、「9」が16.4%となっている。

中学2年生では「8」が18.9%と最も高く、次いで「7」が16.2%、「10(十分に満足している)」が13.1%となっている。

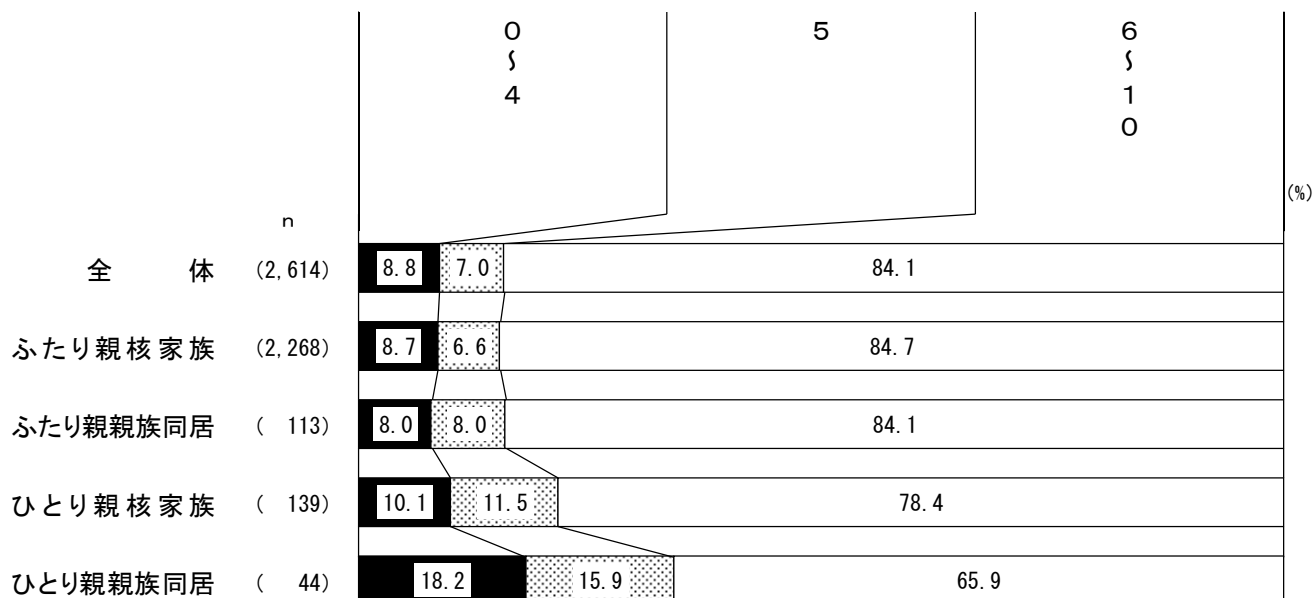
【図表 4-157】生活の満足度



小学5年生の生活に対する満足度を世帯構成別にみると、「6～10」は『ひとり親親族同居』が65.9%と全体に比べて低くなっている。

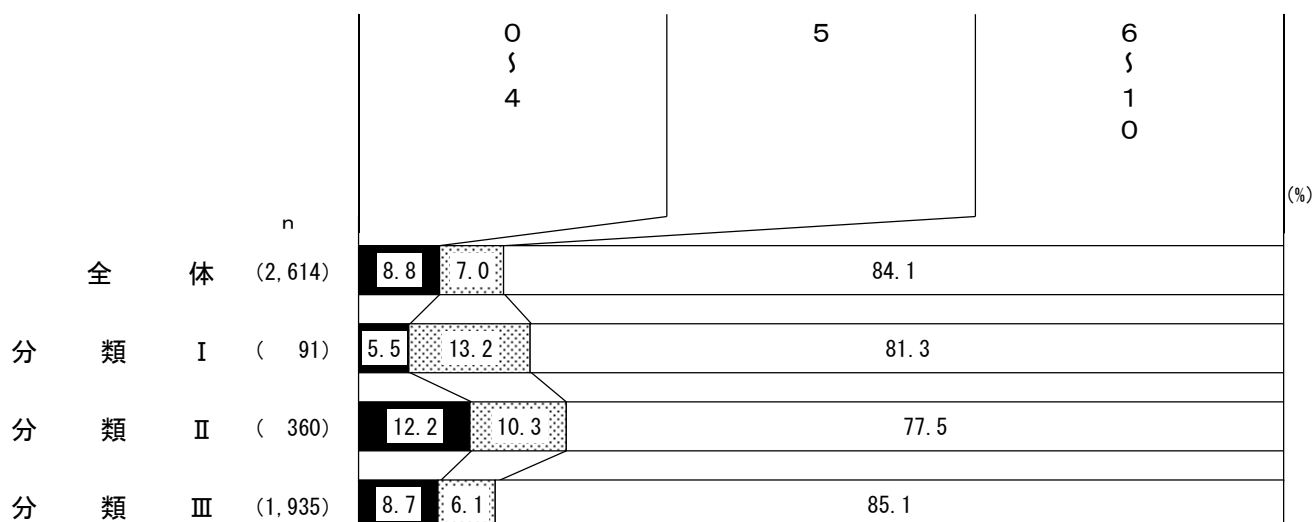
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-158】生活の満足度（小学5年生・世帯構成別）



小学5年生の生活に対する満足度を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

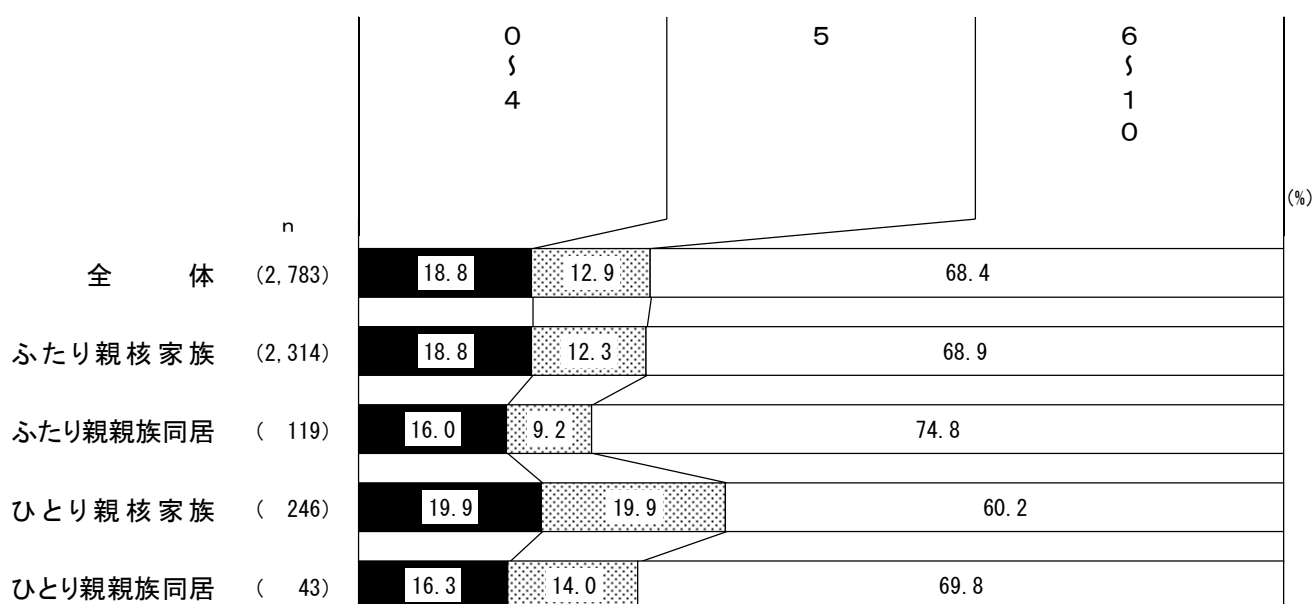
【図表 4-159】生活の満足度（小学5年生・所得分類別）





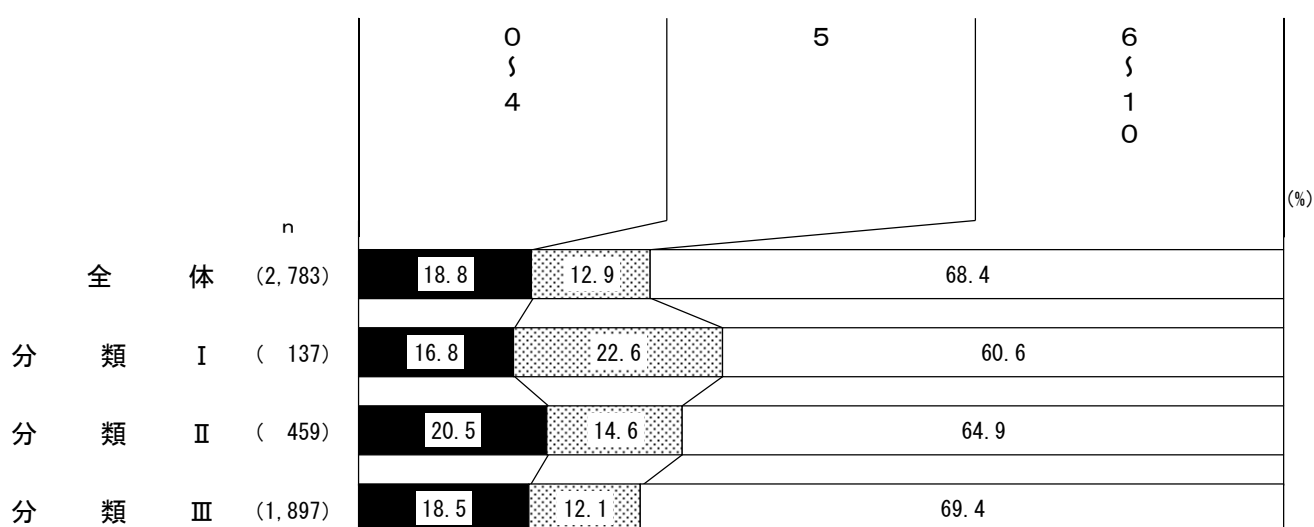
中学2年生の生活に対する満足度を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-160】生活の満足度（中学2年生・世帯構成別）



中学2年生の生活に対する満足度を所得分類別にみると、大きな差はみられない。

【図表 4-161】生活の満足度（中学2年生・所得分類別）



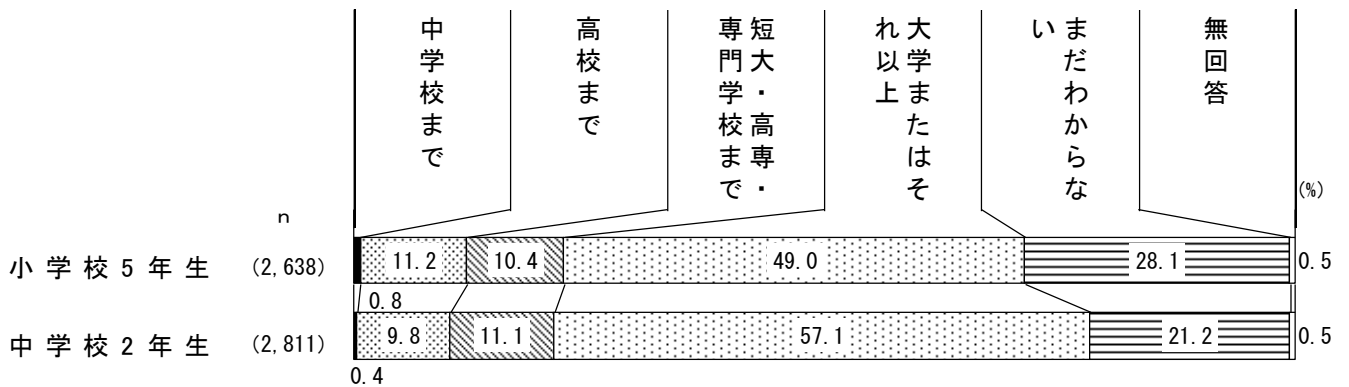
(2) 将来展望

ア 希望する最終学歴

① 希望する最終学歴【小学・問7・中学・問7】(SA)

希望する最終学歴を聞いたところ、小学5年生では「大学またはそれ以上」が49.0%と最も高く、次いで「まだわからない」が28.1%、「高校まで」が11.2%となっている。中学2年生では「大学またはそれ以上」が57.1%と最も高く、次いで「まだわからない」が21.2%、「短大・高専・専門学校まで」が11.1%となっている。

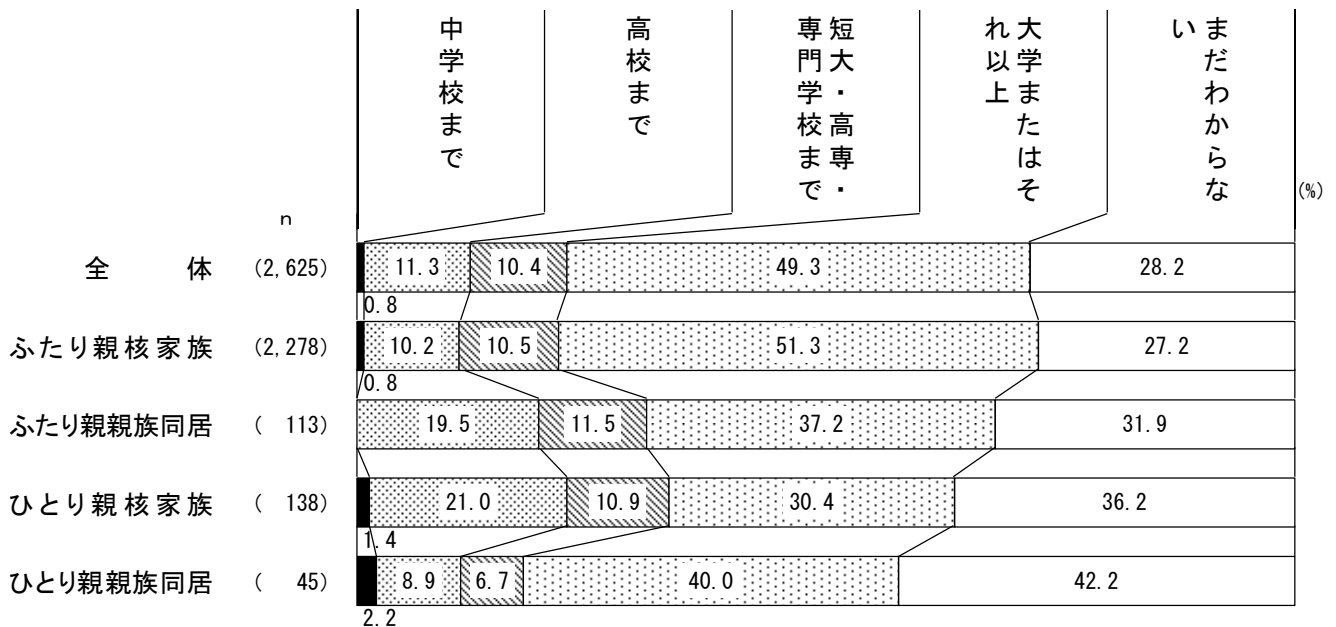
【図表 4-162】希望する最終学歴



小学5年生の希望する最終学歴を世帯構成別にみると、「大学またはそれ以上」は『ふたり親親族同居』が37.2%、『ひとり親核家族』が30.4%と全体に比べて低くなっている。

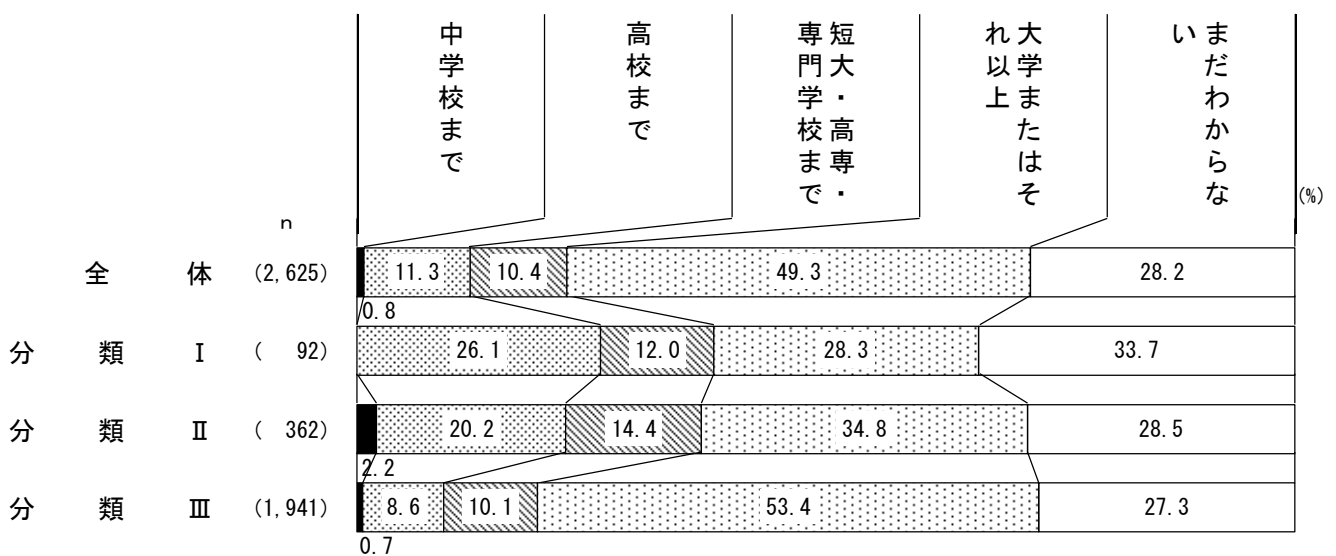
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-163】希望する最終学歴（小学5年生・世帯構成別）



小学5年生の希望する最終学歴を所得分類別にみると、「高校まで」は『分類Ⅰ』が26.1%、『分類Ⅱ』が20.2%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。一方、「大学またはそれ以上」は『分類Ⅰ』が28.3%、『分類Ⅱ』が34.8%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

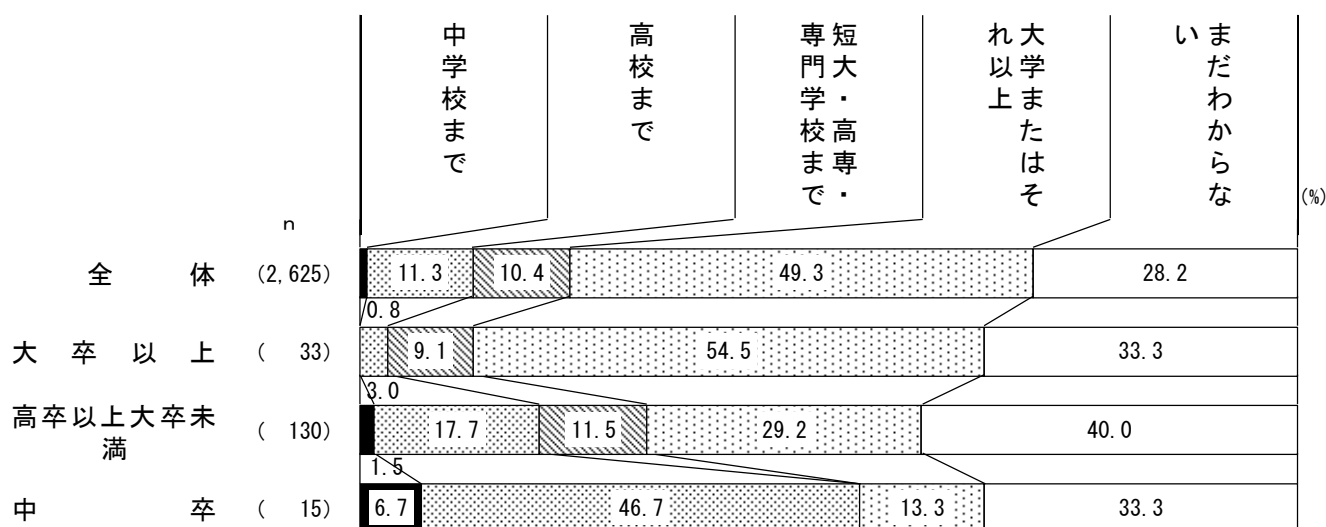
【図表 4-164】希望する最終学歴（小学5年生・所得分類別）



小学5年生の希望する最終学歴を保護者（ひとり親）の最終学歴別にみると、「大学またはそれ以上」は『高卒以上大卒未満』が29.2%と全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

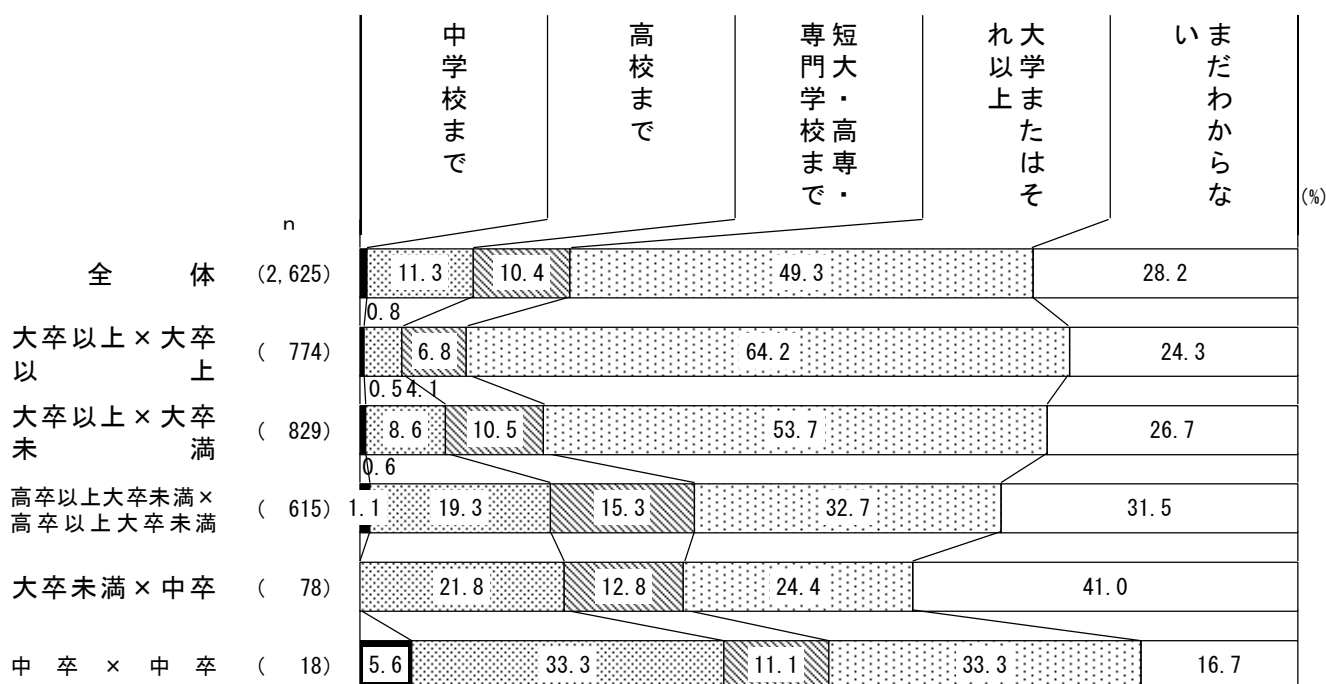
【図表 4-165】希望する最終学歴（小学5年生・保護者（ひとり親）の最終学歴別）



小学5年生の希望する最終学歴を保護者（ふたり親）の最終学歴別にみると、「高校まで」は『大卒未満×中卒』が21.8%、「大学またはそれ以上」は『大卒以上×大卒以上』が64.2%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。一方、「大学まではそれ以上」は『高卒以上大卒未満×高卒以上大卒未満』が32.7%、『大卒未満×中卒』が24.4%と全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

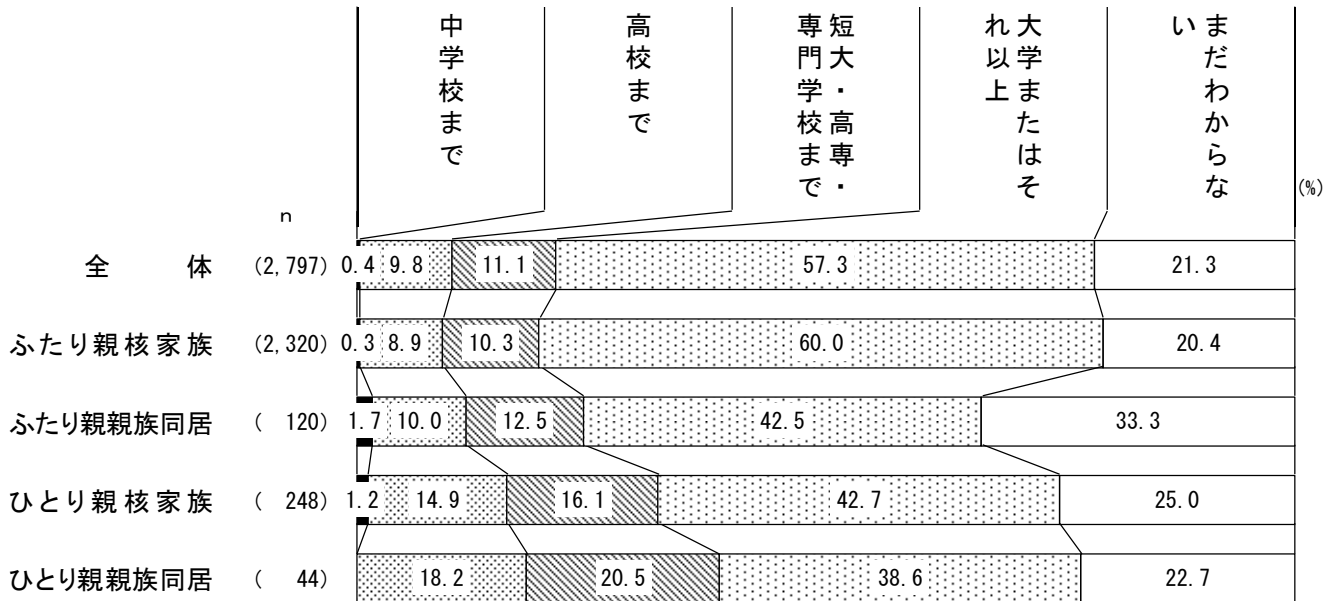
【図表 4-166】希望する最終学歴（小学5年生・保護者（ふたり親）の最終学歴別）



中学2年生の希望する最終学歴を世帯構成別にみると、「大学またはそれ以上」は『ふたり親親族同居』が42.5%、『ひとり親核家族』が42.7%、『ひとり親親族同居』が38.6%と全体に比べて低くなっている。

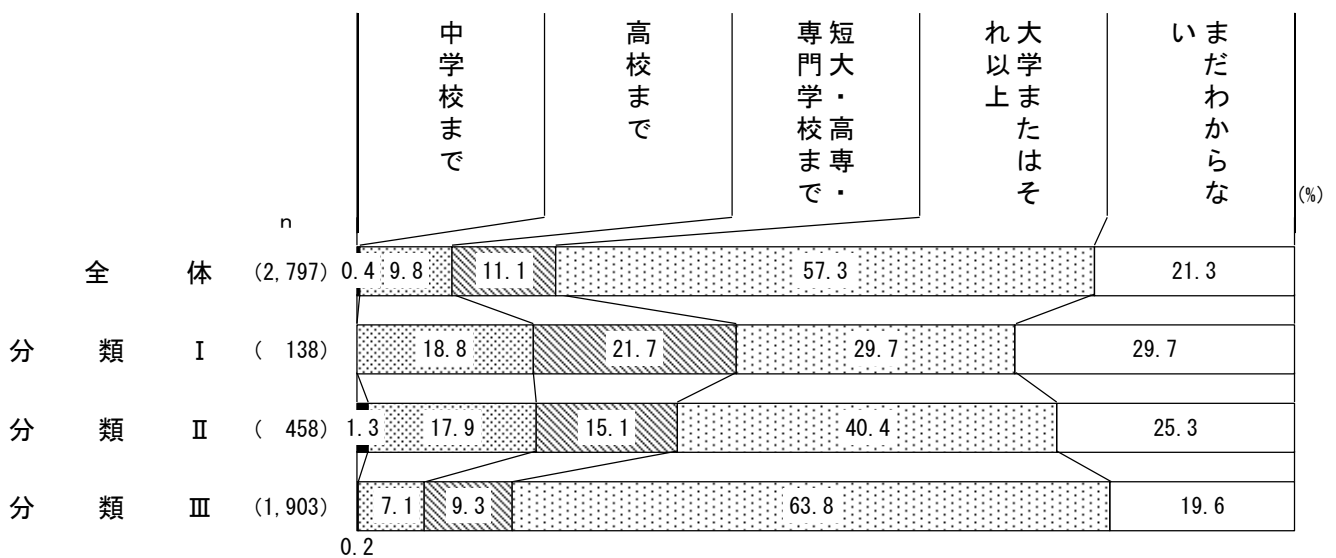
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-167】希望する最終学歴（中学2年生・世帯構成別）



中学2年生の希望する最終学歴を所得分類別にみると、「短大・高専・専門学校まで」は『分類Ⅰ』が21.7%、「大学またはそれ以上」は『分類Ⅰ』が29.7%、『分類Ⅱ』が40.4%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

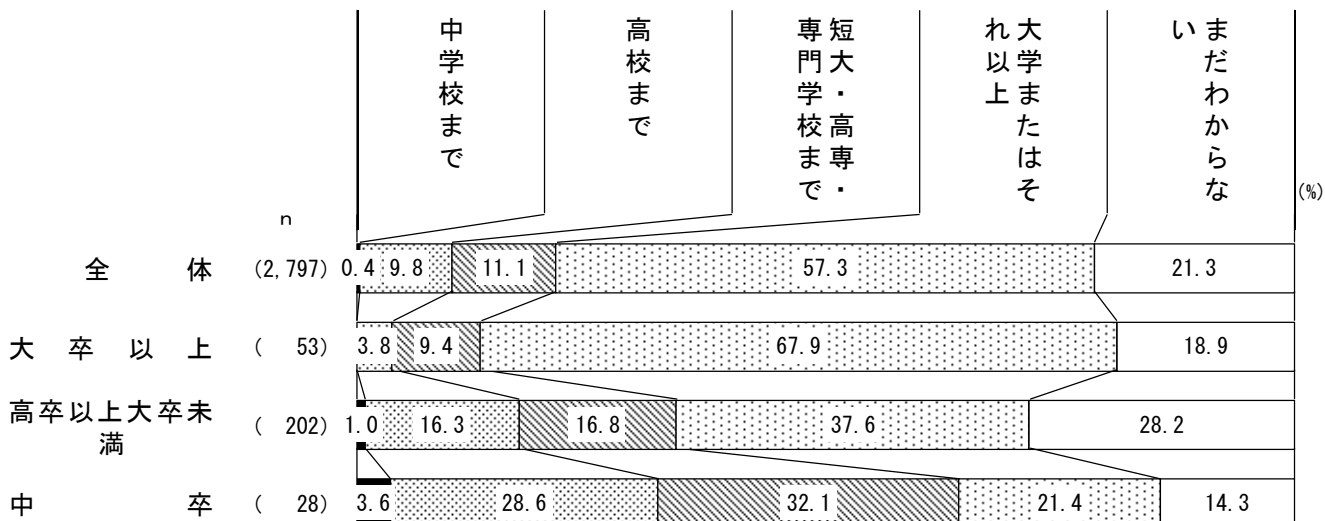
【図表 4-168】希望する最終学歴（中学2年生・所得分類別）



中学2年生の希望する最終学歴を保護者（ひとり親）の最終学歴別にみると、「大学またはそれ以上」は『大卒以上』が67.9%と全体に比べて高くなっている。一方、「大学またはそれ以上」は『高卒以上大卒未満』が37.6%と全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

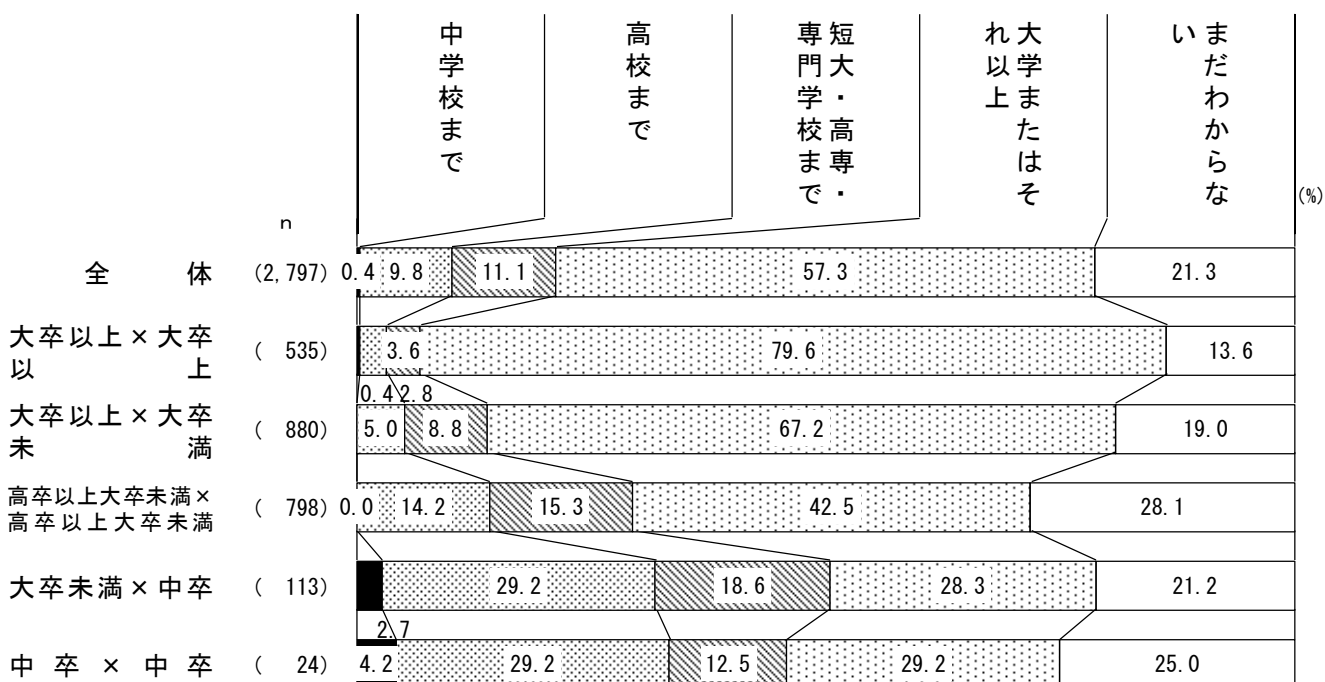
【図表 4-169】希望する最終学歴（中学2年生・保護者（ひとり親）の最終学歴別）



中学2年生の希望する最終学歴を保護者（ふたり親）の最終学歴別にみると、「高校まで」は『大卒未満×中卒』が29.2%、「大学またはそれ以上」は『大卒以上×大卒以上』が79.6%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。一方、「大学またはそれ以上」は『高卒以上大卒未満×高卒以上大卒未満』が42.5%、『大卒未満×中卒』が28.3%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

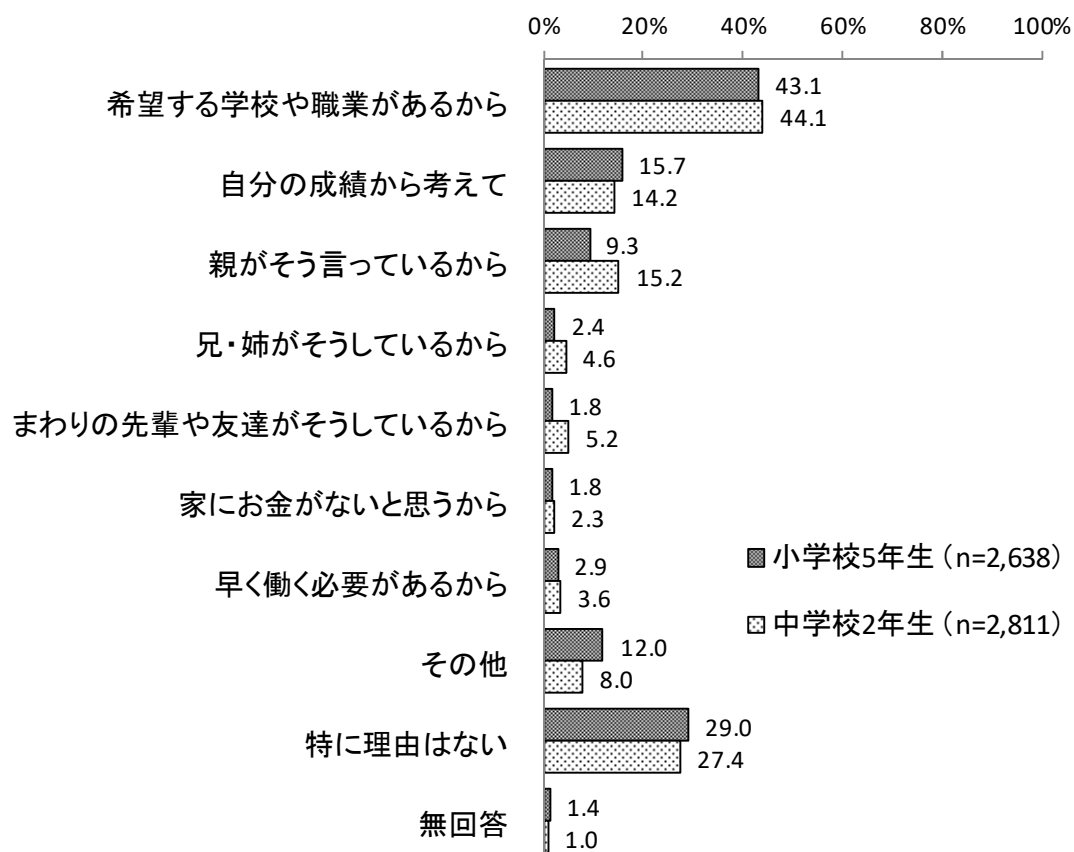
【図表 4-170】希望する最終学歴（中学2年生・保護者（ふたり親）の最終学歴別）



② 希望する最終学歴の理由【小学・問8・中学・問8】(MA)

希望する最終学歴の理由を複数回答で聞いたところ、小学5年生では「希望する学校や職業があるから」が43.1%で最も高く、次いで「自分の成績から考えて」が15.7%、「親がそう言っているから」が9.3%となっている。中学2年生では「希望する学校や職業あるから」が44.1%と最も高く、次いで「親がそう言っているから」が15.2%、「自分の成績から考えて」が14.2%となっている。

【図表 4-171】希望する最終学歴の理由（複数回答）



小学5年生の希望する最終学歴の理由を世帯構成別にみると、「希望する学校や職業があるから」は『ひとり親核家族』が33.3%と全体に比べて低くなっている。

所得分類別にみると、「希望する学校や職業があるから」は『分類Ⅰ』が27.0%と全体に比べて低くなっている。

希望する学歴別にみると、「希望する学校や職業があるから」は『短大・高専・専門学校まで』が78.4%、『大学またはそれ以上』が59.7%と全体に比べて高くなっている。一方、「希望する学校や職業があるから」は『高校まで』が27.9%と全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-172】希望する最終学歴の理由（複数回答）  
（小学5年生・世帯構成別、所得分類別、希望する学歴別）

		n	が希望するから学校や職業	て自分の成績から考え	か親がそう言っている	る兄から姉がそうしている	そまわりの先輩や友達から	う家にお金がないと思	から早く働く必要がある	その他	特に理由はない
全 体		2,602	43.7	15.9	9.5	2.4	1.8	1.8	2.9	12.1	29.4
世帯構成	ふたり親核家族	2,262	44.8	16.0	9.6	2.5	1.9	1.5	2.7	12.0	28.7
	ふたり親親族同居	112	37.5	14.3	8.9	0.0	1.8	0.9	5.4	17.9	34.8
	ひとり親核家族	138	33.3	13.8	5.8	5.1	1.4	5.8	5.8	10.9	34.1
	ひとり親親族同居	41	36.6	17.1	14.6	0.0	2.4	4.9	2.4	4.9	41.5
所得分類	分類Ⅰ	89	27.0	14.6	5.6	7.9	2.2	3.4	9.0	2.2	44.9
	分類Ⅱ	359	39.6	16.7	9.7	2.5	2.2	2.8	3.3	11.4	29.8
	分類Ⅲ	1,927	45.3	15.5	9.8	2.0	1.7	1.3	2.5	12.5	28.8
希望する学歴	中学校まで	21	19.0	28.6	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	14.3	42.9
	高校まで	294	27.9	20.1	8.2	3.4	2.7	5.8	6.8	10.9	31.6
	短大・高専・専門学校まで	273	78.4	14.3	5.9	2.6	1.5	2.6	3.7	3.7	8.8
	大学またはそれ以上	1,291	59.7	14.9	15.1	3.5	2.5	1.1	2.9	13.2	15.3
	まだわからない	720	9.2	16.3	1.5	0.0	0.4	1.3	1.3	13.9	61.1



中学2年生の希望する最終学歴の理由を世帯構成別、就労状況別、所得分類別、最終学歴別にみると、大きな差はみられない。

希望する学歴別にみると、「希望する学校や職業があるから」は『短大・高専・専門学校まで』が76.5%、「自分の成績から考えて」は『高校まで』が28.1%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。一方、「希望する学校や職業があるから」は『高校まで』が29.6%と、全体に比べて低くなっている。なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-173】希望する最終学歴の理由（複数回答）  
（中学2年生・世帯構成別、所得分類別、希望する学歴別）

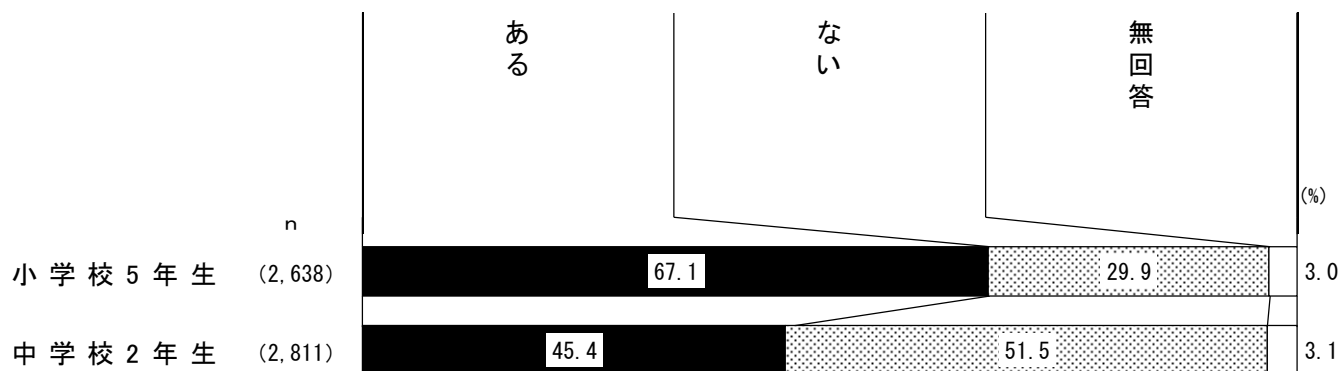
		n	が希望するから学校や職業	て自分の成績から考え	か親がそう言っている	る兄・姉がそうしている	そまわりの先輩や友達から	う家からお金がないと思	か早く働く必要がある	その他	特に理由はない
全 体		2,784	44.5	14.3	15.3	4.6	5.2	2.4	3.7	8.1	27.7
世帯構成	ふたり親核家族	2,309	45.1	14.2	15.7	4.9	5.3	1.9	3.5	8.4	27.5
	ふたり親親族同居	119	39.5	16.0	8.4	2.5	7.6	1.7	5.0	5.0	35.3
	ひとり親核家族	247	43.3	15.0	15.0	4.9	3.2	7.3	4.5	8.9	24.3
	ひとり親親族同居	44	38.6	13.6	15.9	0.0	6.8	0.0	4.5	0.0	31.8
所得分類	分類Ⅰ	138	41.3	16.7	7.2	2.9	1.4	4.3	6.5	3.6	33.3
	分類Ⅱ	455	42.2	18.5	17.6	4.4	6.8	5.7	3.5	9.2	25.3
	分類Ⅲ	1,893	45.6	13.5	15.7	4.6	5.3	1.5	3.1	8.3	27.7
希望する学歴	中学校まで	11	27.3	27.3	0.0	0.0	0.0	9.1	18.2	36.4	9.1
	高校まで	274	29.6	28.1	15.7	3.3	7.3	6.2	6.6	5.5	28.1
	短大・高専・専門学校まで	311	76.5	10.6	7.7	2.3	2.6	2.3	5.1	3.9	9.0
	大学またはそれ以上	1,601	52.8	8.3	21.4	6.9	6.9	1.1	3.7	8.5	22.1
	まだわからない	587	12.3	25.9	2.9	0.3	1.0	3.9	1.0	9.9	53.0

## イ 将来の夢

### ① 将来の夢の有無【小学・問9・中学・問9】(SA)

将来の夢の有無を聞いたところ、「ある」は『小学5年生』が67.1%、『中学2年生』が45.4%、「ない」は『小学5年生』が29.9%、『中学2年生』が51.5%となっている。

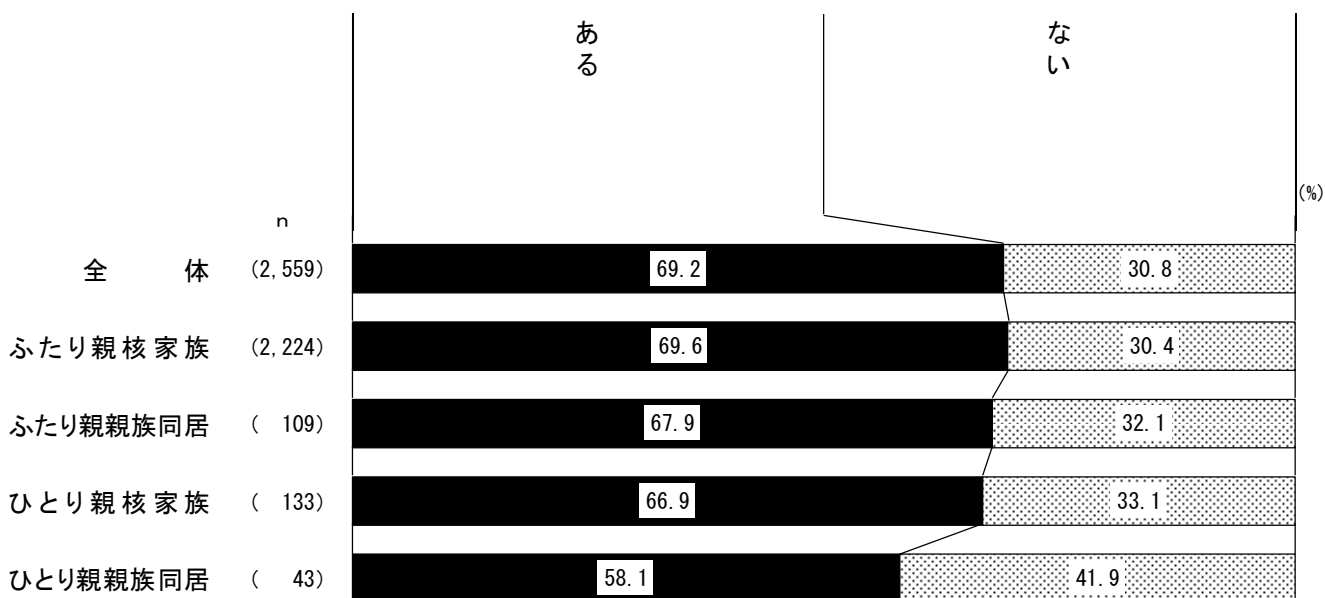
【図表 4-174】将来の夢の有無



小学5年生の将来の夢の有無を世帯構成別にみると、「ない」は『ひとり親親族同居』が41.9%と全体に比べて高くなっている。一方、「ある」は『ひとり親親族同居』が58.1%と全体に比べて低くなっている。

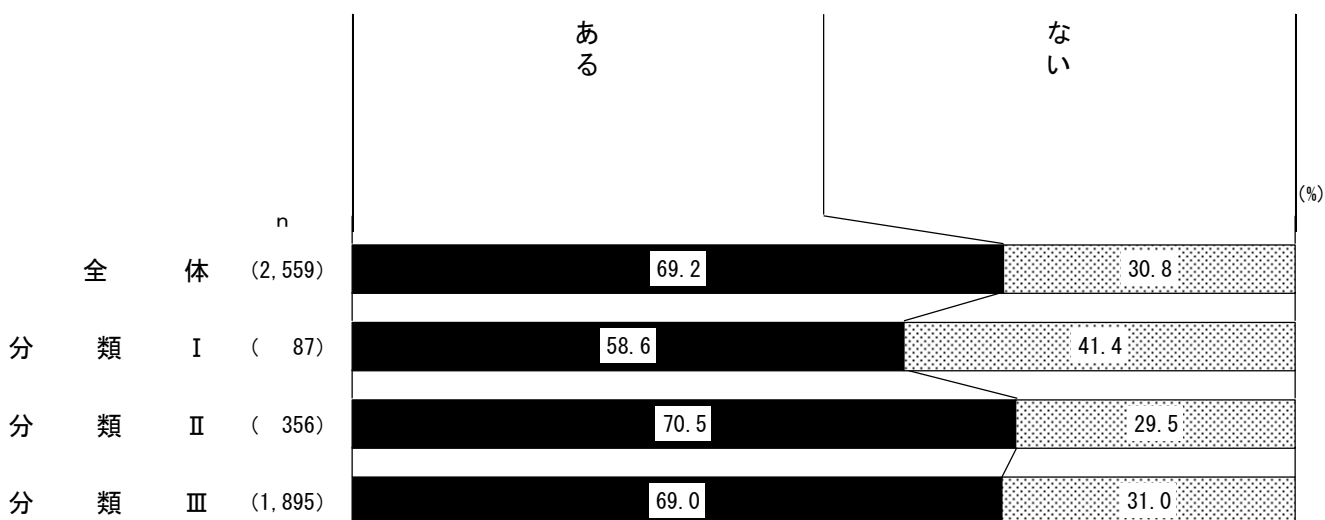
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-175】 将来の夢の有無（小学5年生・世帯構成別）



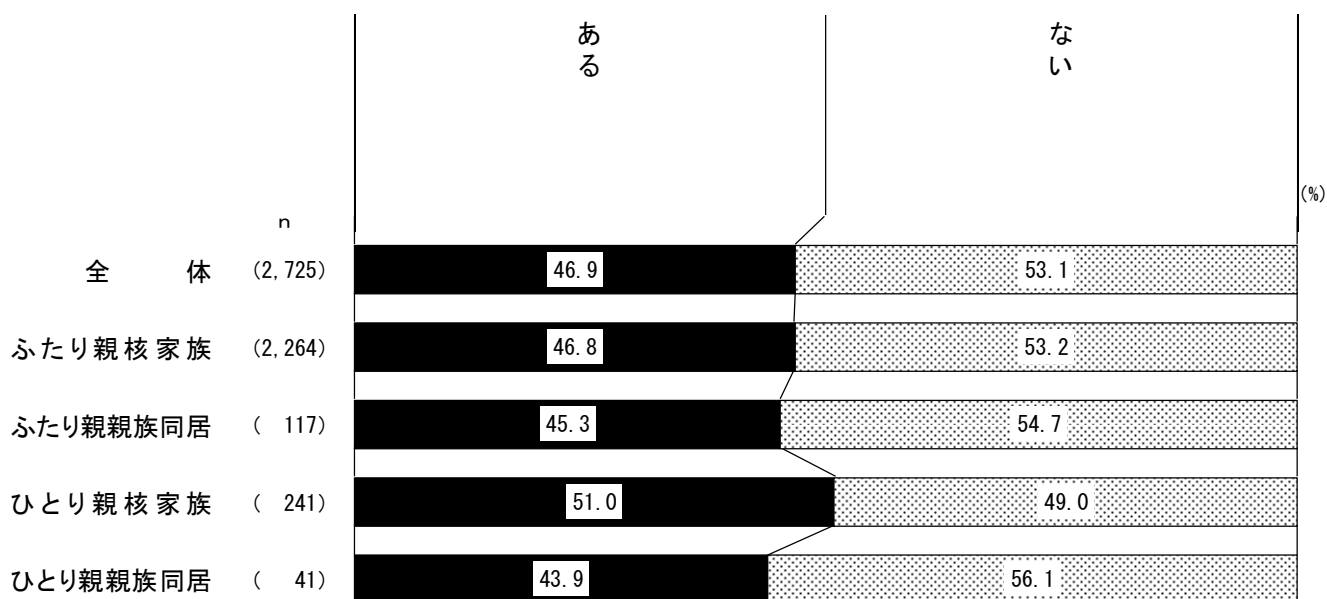
小学5年生の将来の夢の有無を所得分類別にみると、「ない」は『分類Ⅰ』が41.4%と全体に比べて高くなっている。

【図表 4-176】 将来の夢の有無（小学5年生・所得分類別）



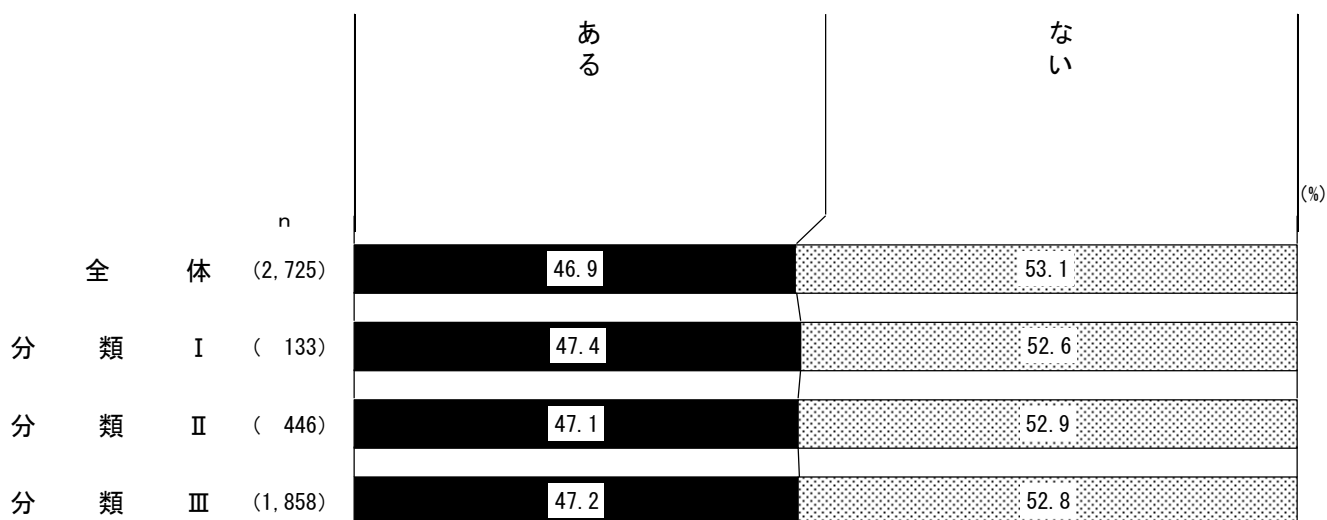
中学2年生の将来の夢の有無を世帯構成別にみると、大きな差はみられない。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 4-177】 将来の夢の有無（中学2年生・世帯構成別）



中学2年生の将来の夢の有無を所得分類別にみると、大きな差はみられない

【図表 4-178】 将来の夢の有無（中学2年生・所得分類別）



① 具体的な将来の夢【小学・問10・中学・問10】(FA)

将来の夢が「ある」と回答した方に、具体的な職業等を聞いたところ、『小学5年生』、『中学2年生』ともに「スポーツ選手等」が最も多く、次いで、『小学5年生』は「画家・漫画家・クリエイター」、『中学2年生』は「芸能人（歌手・声優・アイドル等）」が多かった。

【図表 4-179】具体的な将来の夢（自由回答）

小学5年生 (n=2,191)

	将来の夢	人
1	スポーツ選手等	374
2	画家・漫画家・イラストレーター	170
3	芸能人（歌手・声優・アイドル等）	125
4	ゲームクリエイター	96
5	研究者・博士	83
6	教師・塾講師	82
7	看護師	76
8	医師	76
9	料理人・パティシエ	74
10	保育士・幼稚園教諭	72
11	ユーチューバー	68
12	ファッションデザイナー	63
13	大工・建築家等	60
14	接客・販売業	60
15	飼育員	56
16	その他動物関係	52
17	美容師・ヘアメイク等	50
18	作家・小説家	45
19	獣医	44
20	会社員	43
21	運転士・車掌等	42
22	宇宙飛行士・パイロット	37
23	薬剤師	30
24	警察官	30
25	キャビンアテンダント	21
26	作曲家、音楽家等	20
27	弁護士・裁判官	19
28	整備士等	19
29	報道・マスコミ	17
30	消防士・自衛隊	9
31	その他	178

中学2年生 (n=1,420)

	将来の夢	人
1	スポーツ選手等	191
2	芸能人（歌手・声優・アイドル等）	118
3	画家・漫画家・イラストレーター	81
4	教師・塾講師	80
5	保育士・幼稚園教諭	75
6	ゲームクリエイター	63
7	美容師・ヘアメイク等	58
8	看護師	54
9	料理人・パティシエ	48
10	接客・販売業	47
11	その他動物関係	38
12	大工・建築家等	30
13	医師	29
14	研究者・博士	26
15	薬剤師	26
16	会社員	24
17	その他医療関係	21
18	整備士等	20
19	運転士・車掌等	17
20	作家・小説家	17
21	警察官	16
22	獣医	15
23	飼育員	15
24	公務員	15
25	キャビンアテンダント	14
26	ファッションデザイナー	12
27	消防士・自衛隊	11
28	宇宙飛行士・パイロット	11
29	ユーチューバー	10
30	報道・マスコミ	8
31	弁護士・裁判官	6
32	その他	224



## 第5章 若者向けアンケートの結果





## 第5章 若者向けアンケートの結果

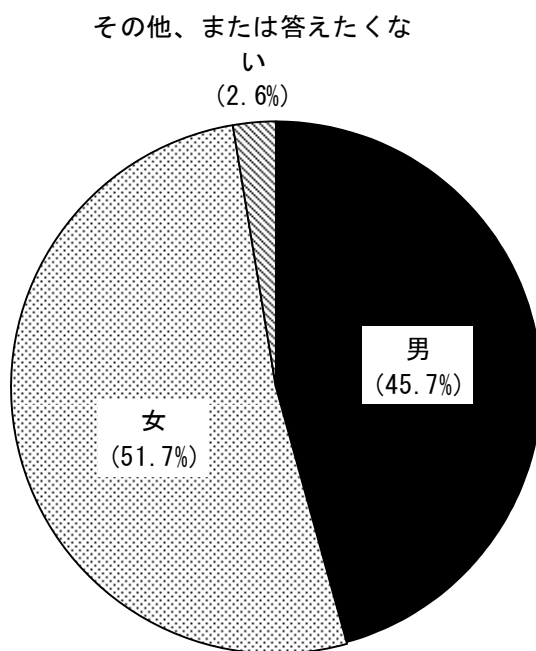
### 第1節 若者の属性

#### (1) 若者の属性

##### ア 性別【問23】(SA)

性別を聞いたところ、「男」が45.7%、「女」が51.7%、「その他、または答えたくない」が2.6%となっている。

【図表 5-1】性別

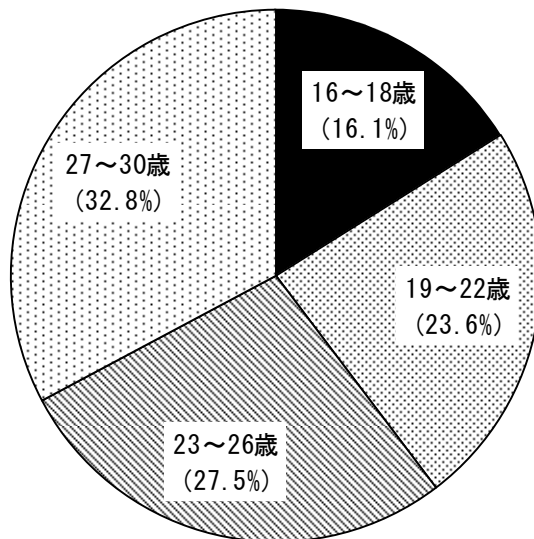


n=1,184

イ 年齢【問 23】(SA)

年齢を聞いたところ、「27～30 歳」が 32.8%で最も高く、次いで「23～26 歳」が 27.5%、「19～22 歳」が 23.6%となっている。

【図表 5-2】年齢

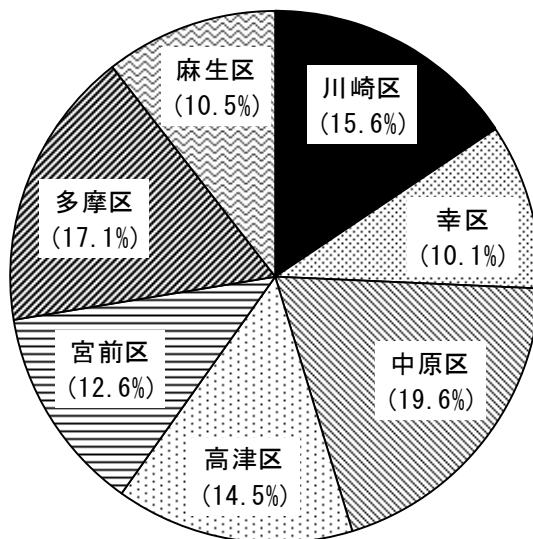


n=1, 184

ウ 在住区【問 24】(SA)

在住区を聞いたところ、「中原区」が 19.6%で最も高く、次いで「多摩区」が 17.1%、「川崎区」が 15.6%となっている。

【図表 5-3】 在住区

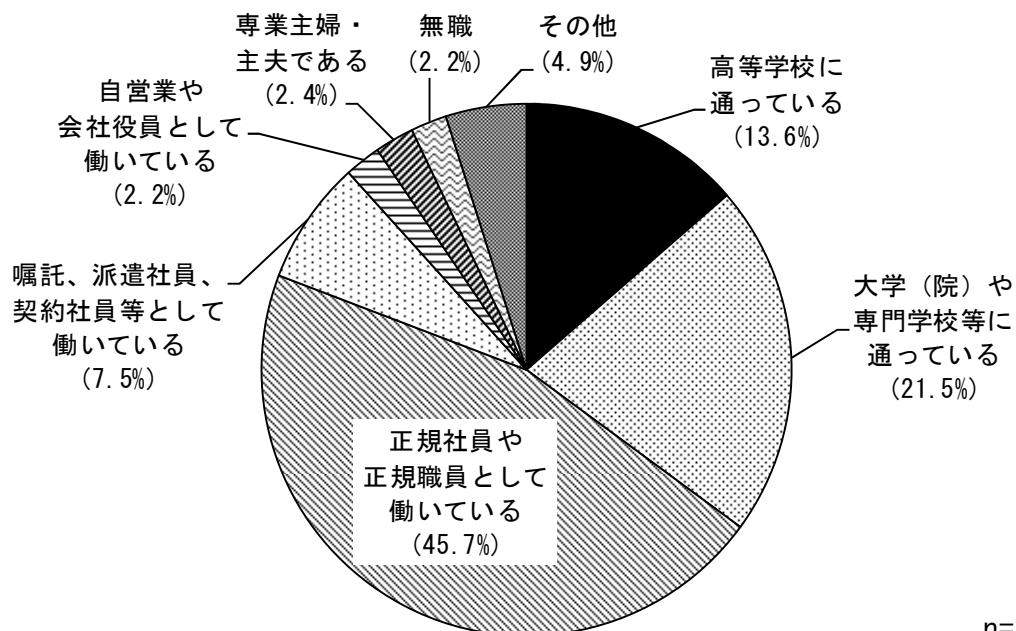


n=1, 184

## エ 所属等【問10】(SA)

所属を聞いたところ、「正規社員や正規職員として働いている」が45.7%で最も高く、次いで「大学(院)や専門学校等に通っている」が21.5%、「高等学校に通っている」が13.6%となっている。

【図表 5-4】所属等

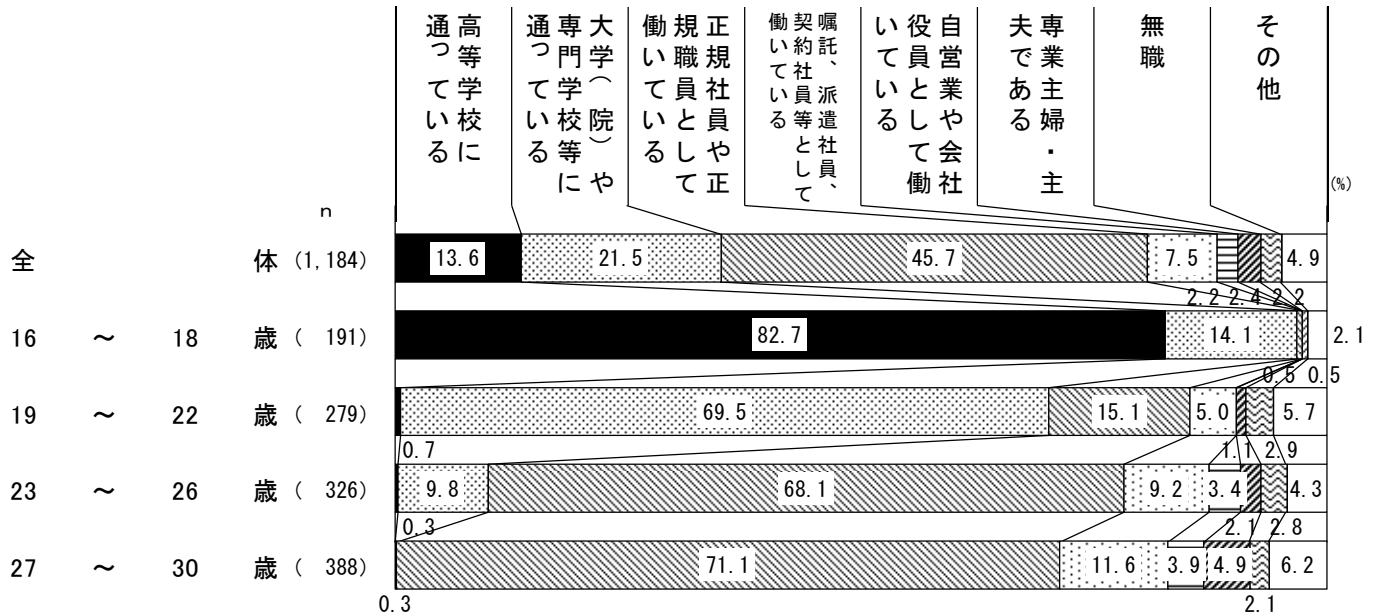


n=1,184

年齢を所属等別にみると、「16～18歳」は『高等学校に通っている』が82.7%、「19～22歳」は『大学（院）や専門学校等に通っている』が69.5%で全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

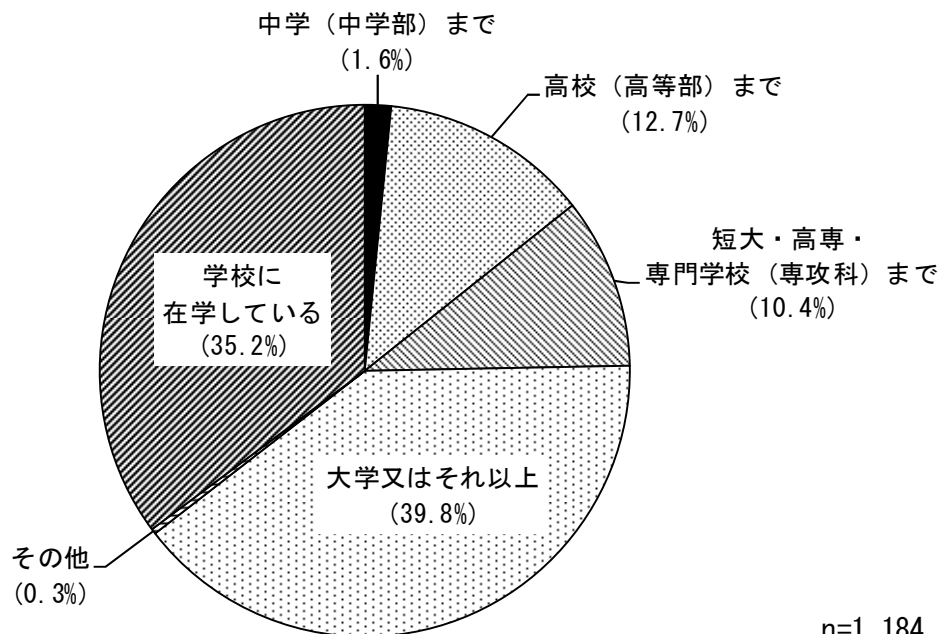
【図表 5-5】年齢（所属等別）



## オ 最終学歴【問 25】(SA)

最終学歴を聞いたところ、「学校に在学している」の35.2%を除くと、「大学又はそれ以上」が39.8%で最も高く、次いで「高校（高等部）まで」が12.7%、「短大、高専、専門学校（専攻科）まで」が10.4%となっている。

【図表 5-6】最終学歴



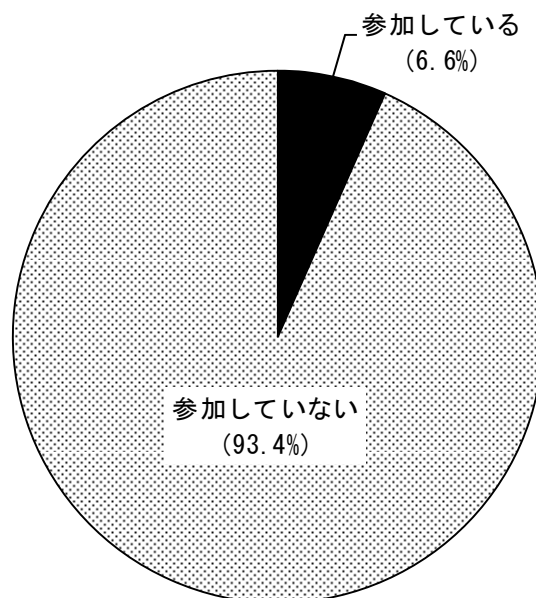
## 第2節 若者の生活

(1) 直近1年間の学校や職場以外での地域活動やボランティア活動等

ア 直近1年間の地域活動やボランティア活動等への参加の有無【問1】(SA)

直近1年間のボランティア活動等への参加状況を聞いたところ、「参加している」が6.6%、「参加していない」が93.4%となっている。

【図表 5-7】 地域活動やボランティア活動等への参加の有無

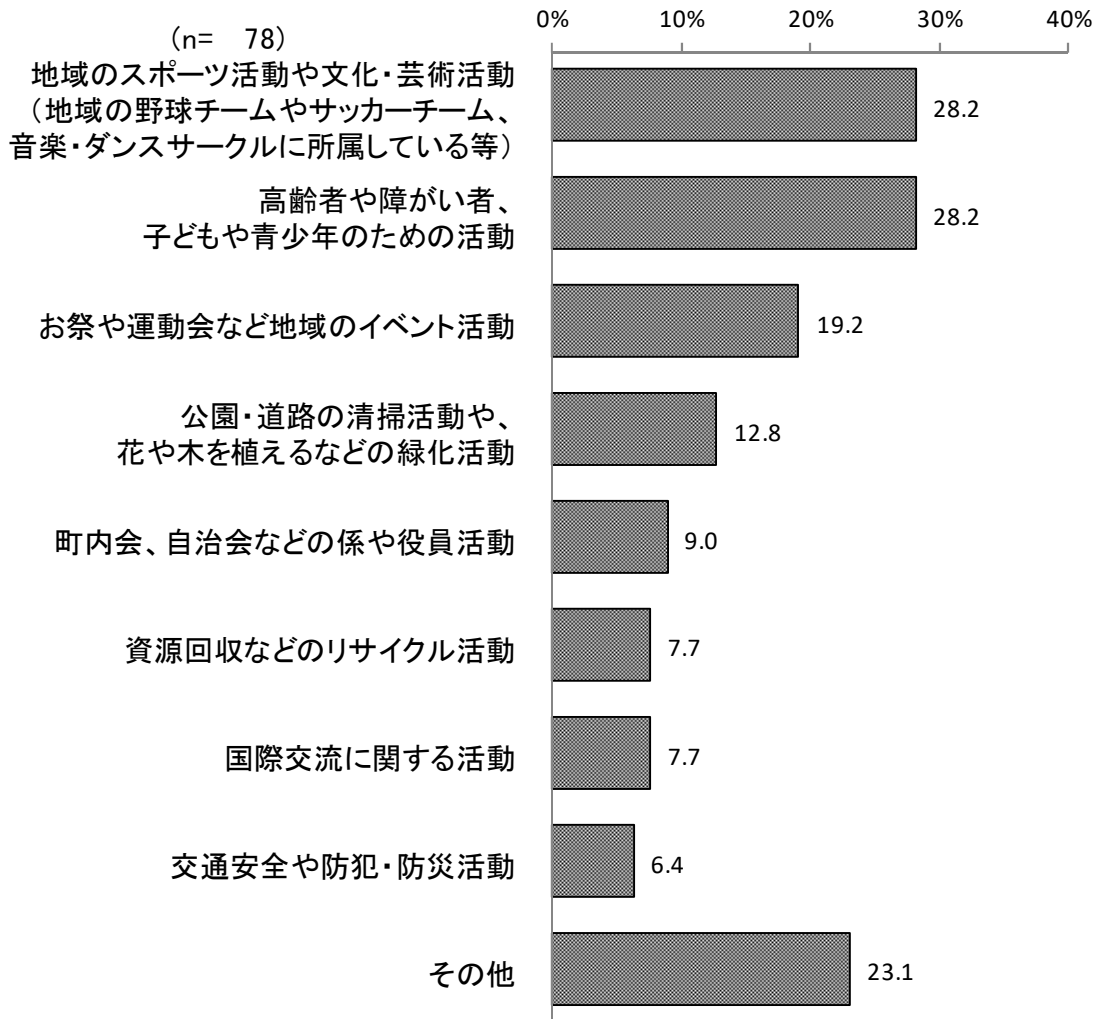


n=1, 184

イ 参加している活動の内容【問1-1】(MA)

ボランティア活動等に「参加している」と回答した方に、参加している活動の内容を複数回答で聞いたところ、「地域のスポーツ活動や文化・芸術活動（地域の野球チームやサッカーチーム、音楽・ダンスサークルに所属している等）」「高齢者や障がい者、子どもや青少年のための活動」がともに28.2%で最も高く、次いで「その他」が23.1%、「お祭や運動会など地域のイベント活動」が19.2%となっている。

【図表 5-8】参加している活動の内容（複数回答）

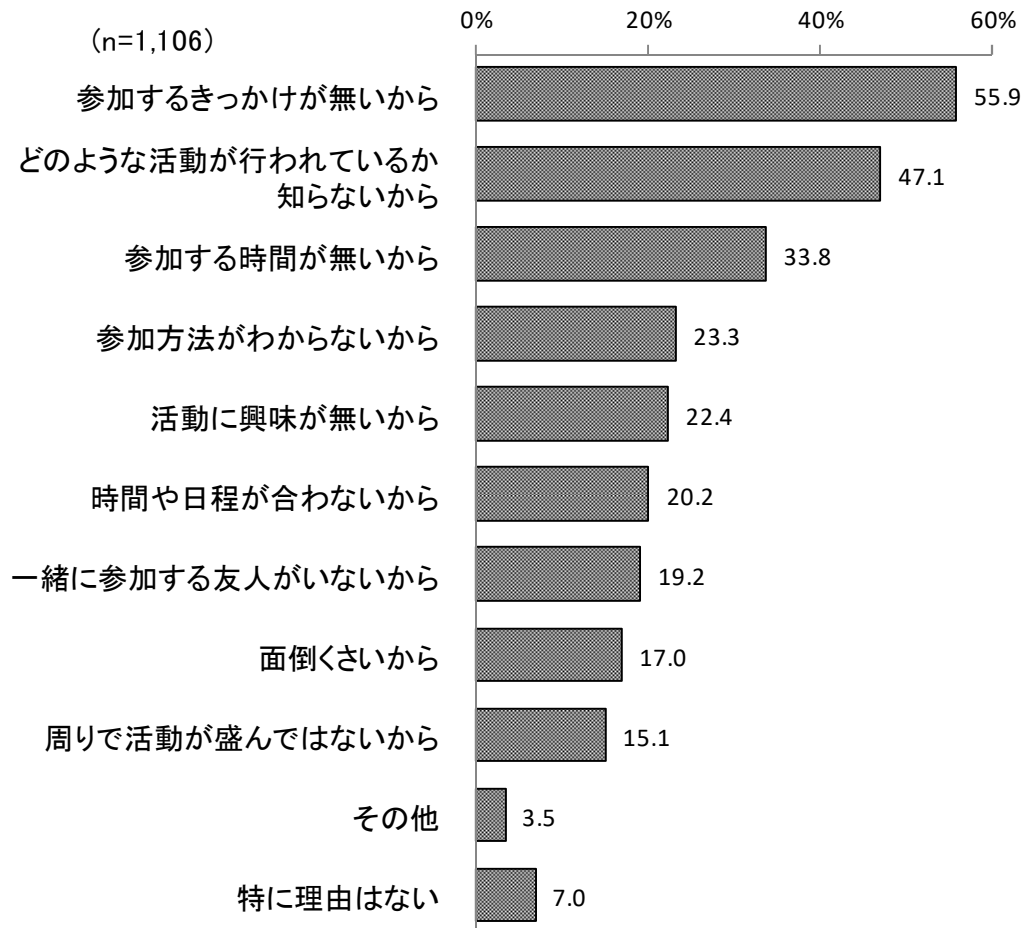




## ウ 参加していない理由【問1-2】(MA)

ボランティア活動等に「参加していない」と回答した方に、その理由を複数回答で聞いたところ、「参加するきっかけが無いから」が55.9%と最も高く、次いで「どのような活動が行われているか知らないから」が47.1%、「参加する時間が無いから」が33.8%となっている。

【図表 5-9】参加していない理由（複数回答）

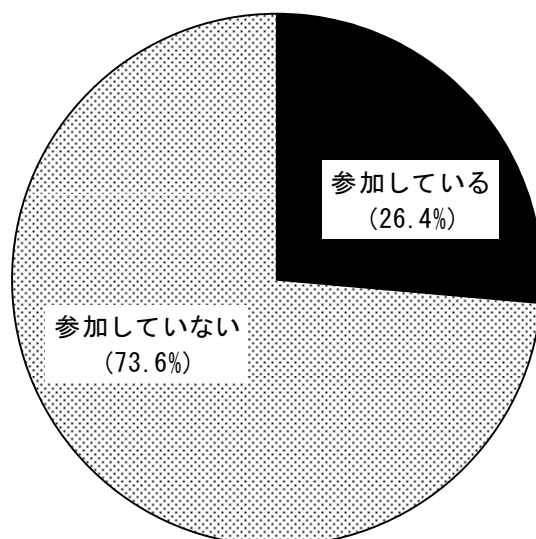


(2) 学校や職場などでの部活動やグループ・団体活動等

ア 部活動やグループ・団体活動への参加状況【問2】(SA)

学校や職場などでの部活動やグループ・団体活動への参加状況を聞いたところ、「参加している」が26.4%、「参加していない」が73.6%となっている。

【図表 5-10】部活動やグループ・団体活動への参加状況

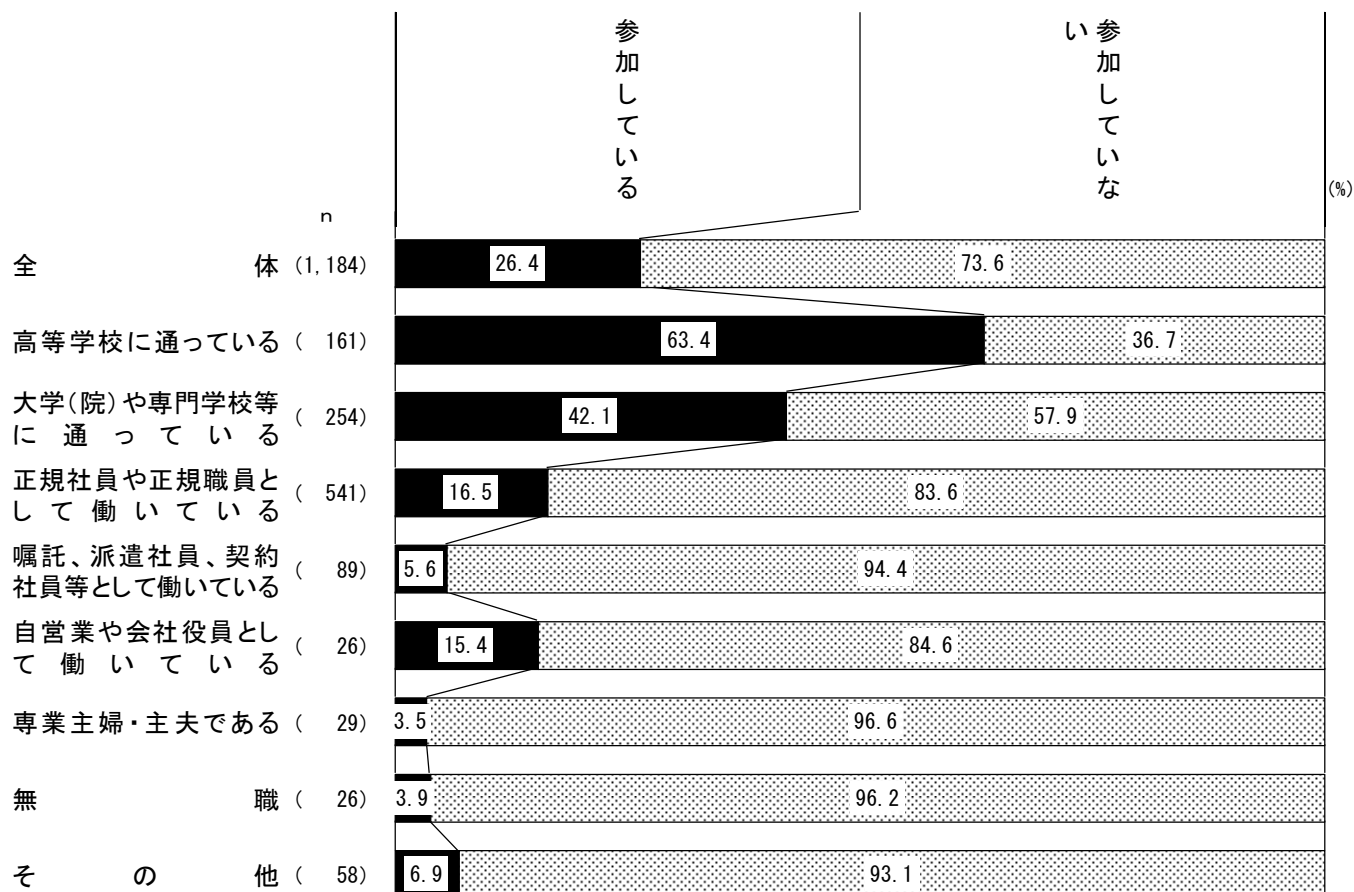


n=1,184

学校や職場などでの部活動やグループ・団体活動への参加状況を所属等別にみると、「参加している」は『高等学校に通っている』が63.4%、『大学（院）や専門学校等に通っている』が42.1%、「参加していない」は『正規社員や正規職員として働いている』が83.6%、『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が94.4%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

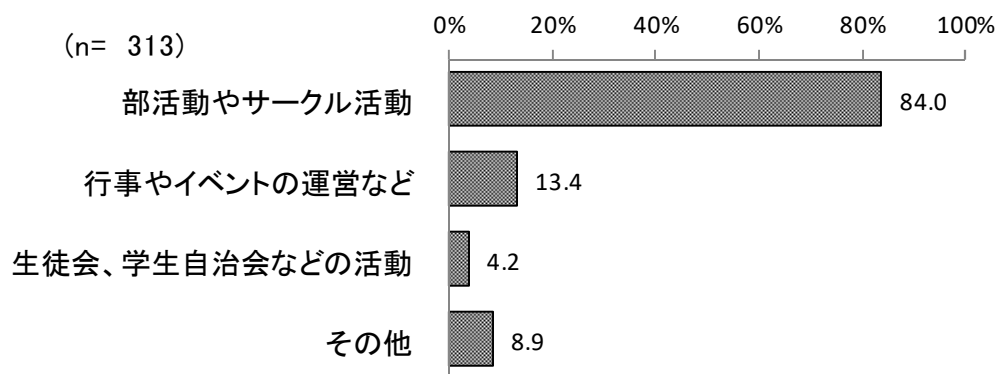
【図表 5-11】部活動やグループ・団体活動への参加状況（所属等別）



## イ 参加している活動の内容【問2-1】(MA)

部活動やグループ・団体活動に「参加している」と回答した方に、参加している活動内容を複数回答で聞いたところ、「部活動やサークル活動」が84.0%で最も高く、次いで「行事やイベントの運営など」が13.4%、「その他」が8.9%となっている。

【図表 5-12】参加している活動の内容（複数回答）

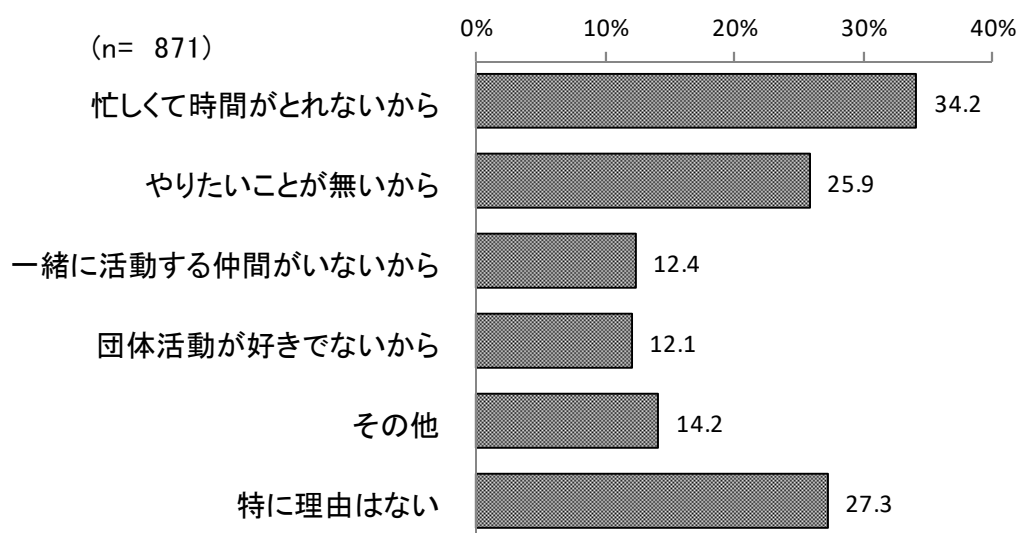


## ウ 参加していない理由【問2-2】(MA)

部活動やグループ・団体活動に「参加していない」と回答した方に、その理由を複数回答で聞いたところ、「忙しくて時間がとれないから」が34.2%で最も高く、次いで「やりたいことが無いから」が25.9%、「その他」が14.2%となっている。

一方、「特に理由はない」は27.3%となっている。

【図表 5-13】参加していない理由（複数回答）



参加していない理由を所属等別にみると、「忙しくて時間がとれないから」は『高等学校に通っている』が18.6%と全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 5-14】参加していない理由（複数回答）（所属等別）

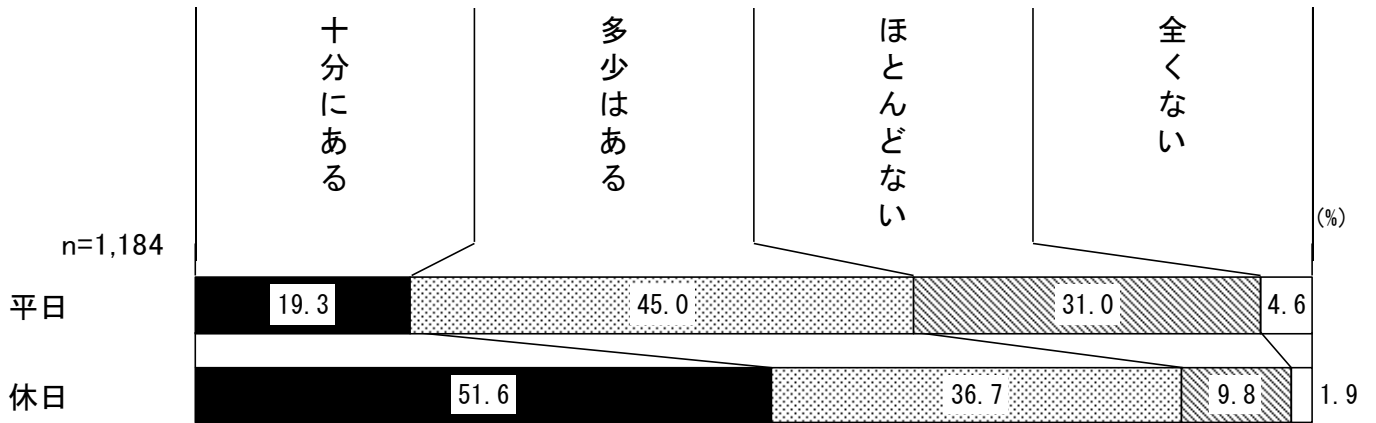
		n	か や ら た い こ と が 無 い	い 団 体 か ら 活 動 が 好 き で な い	が 一 緒 に 活 動 す る 仲 間 が い な い か ら	忙 し く て 時 間 が と れ な い か ら	そ の 他	特 に 理 由 は な い
全 体		871	25.9	12.1	12.4	34.2	14.2	27.3
所 属 等 別	高等学校に通っている	59	32.2	5.1	6.8	18.6	25.4	27.1
	大学（院）や専門学校等に通っている	147	25.9	9.5	9.5	25.9	23.8	23.8
	正規社員や正規職員として働いている	452	26.5	11.5	13.1	39.4	10.4	27.7
	嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	84	27.4	19.0	19.0	28.6	3.6	34.5
	自営業や会社役員として働いている	22	22.7	4.5	13.6	40.9	18.2	27.3
	専業主婦・主夫である	28	17.9	3.6	7.1	46.4	21.4	21.4
	無職	25	16.0	20.0	20.0	16.0	12.0	40.0
	その他	54	22.2	24.1	9.3	38.9	20.4	20.4

(3) 自由な時間

ア 自由な時間の有無（平日・休日）【問3-1】(SA)

自由な時間の有無を聞いたところ、平日では「多少はある」と「十分にある」を足し合わせた割合が64.3%となっており、休日では88.3%となっている。

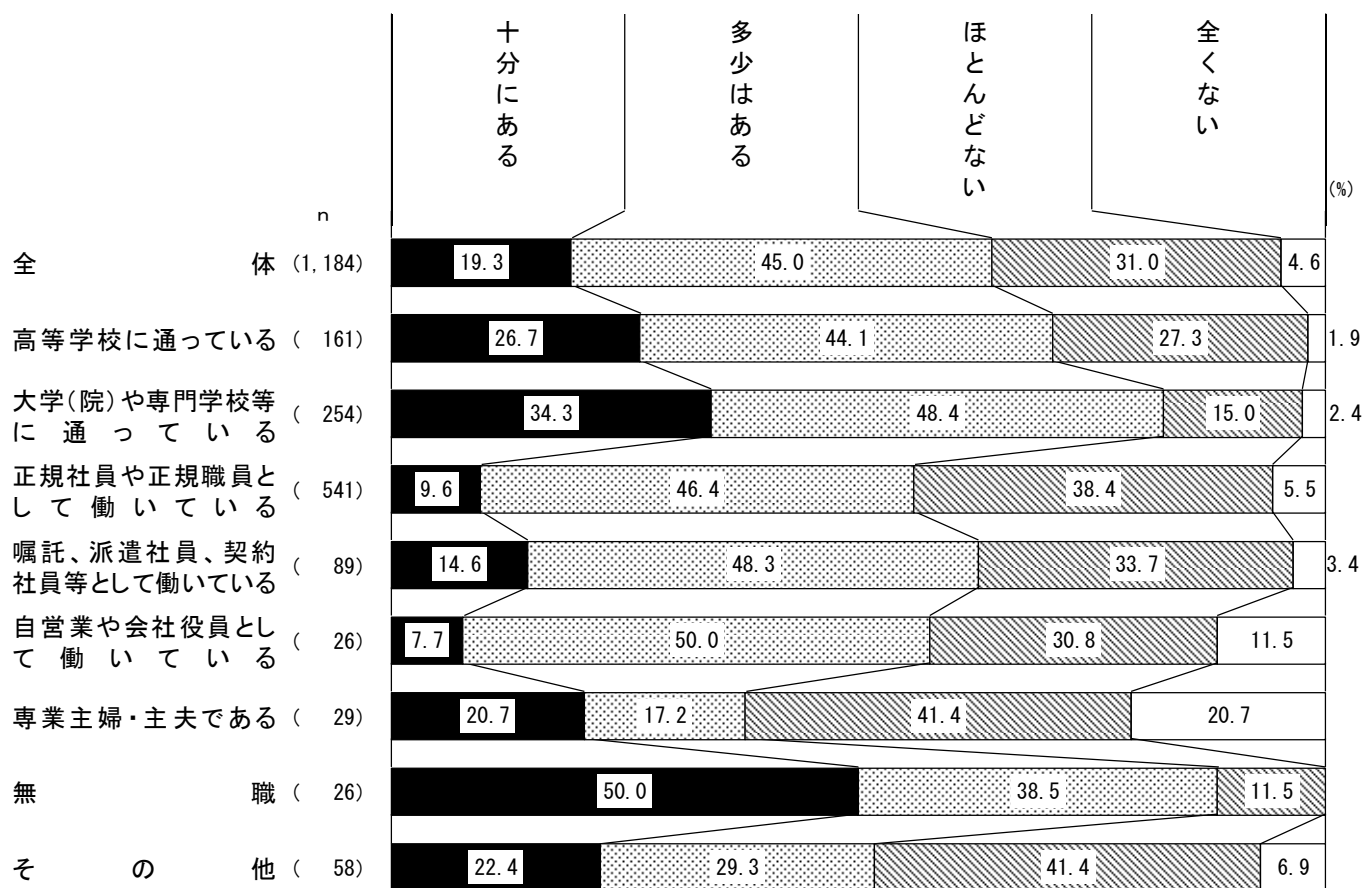
【図表 5-15】 自由な時間の有無



平日における自由な時間の有無を所属等別にみると、「十分にある」は『大学（院）や専門学校等に通っている』が 34.3%と全体に比べて高くなっている。一方、「ほとんどない」は『大学（院）や専門学校等に通っている』が 15.0%と全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

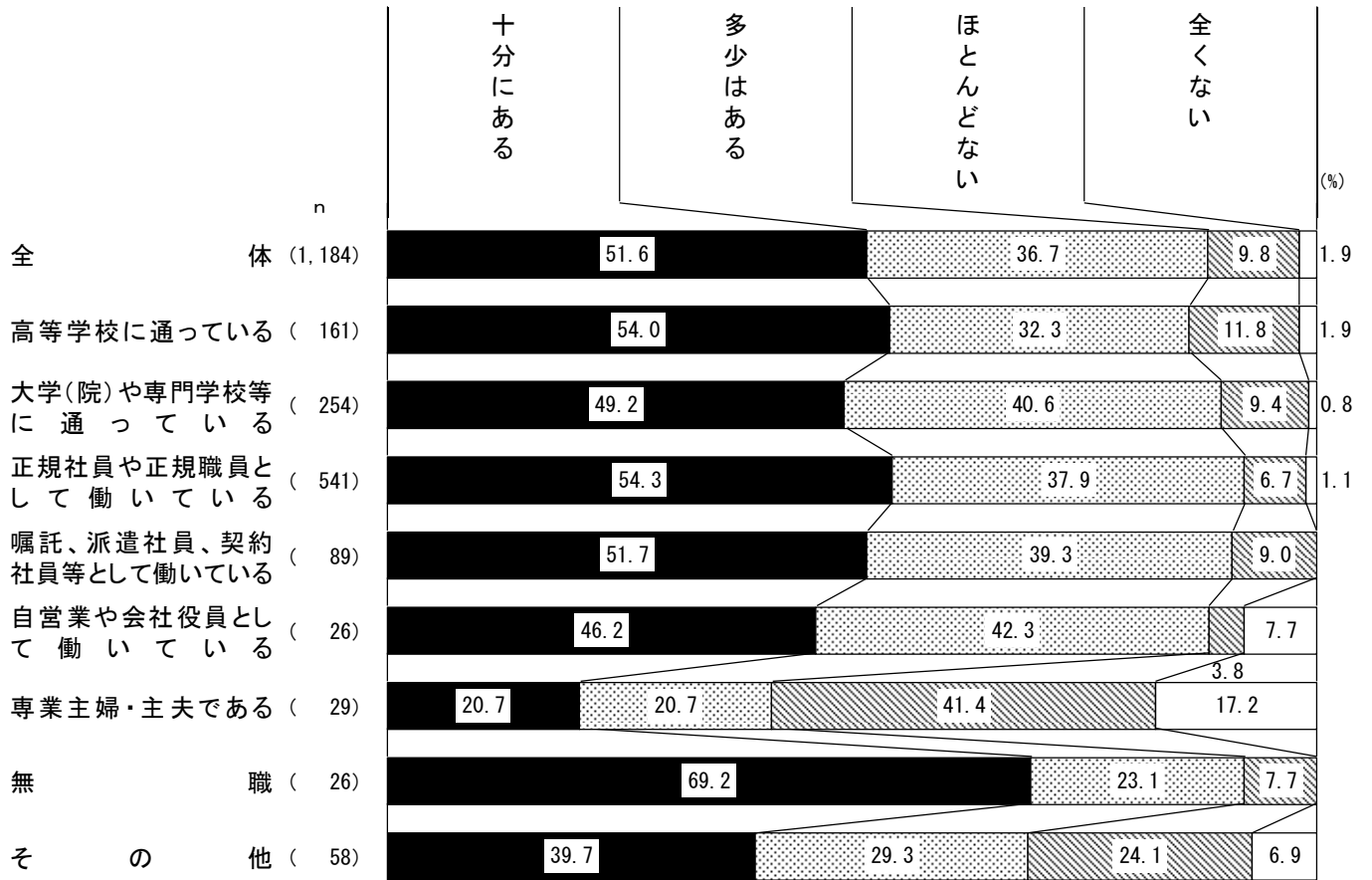
【図表 5-16】 平日における自由な時間の有無（所属等別）





休日における自由な時間の有無を所属等別にみると、大きな差はみられない。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 5-17】 休日における自由な時間の有無（所属等別）

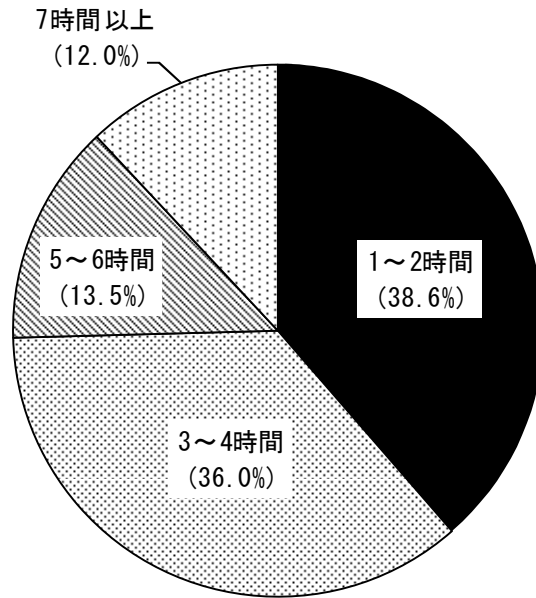


イ 自由な時間の長さ（平日・休日）【問3-2】（FA）

平日・休日における自由な時間の長さを自由回答で聞いたところ、平日では「1～2時間」が38.6%で最も高く、次いで「3～4時間」が36.0%、「5～6時間」が13.5%となっている。

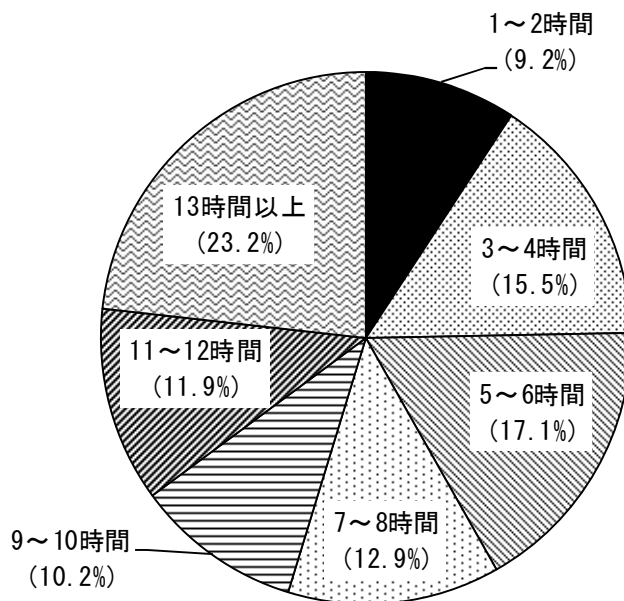
休日では「13時間以上」が23.2%と最も高く、次いで「5～6時間」が17.1%、「3～4時間」が15.5%となっている。

【図表 5-18】 平日における自由な時間の長さ（自由回答）



n=1, 129

【図表 5-19】 休日における自由な時間の長さ

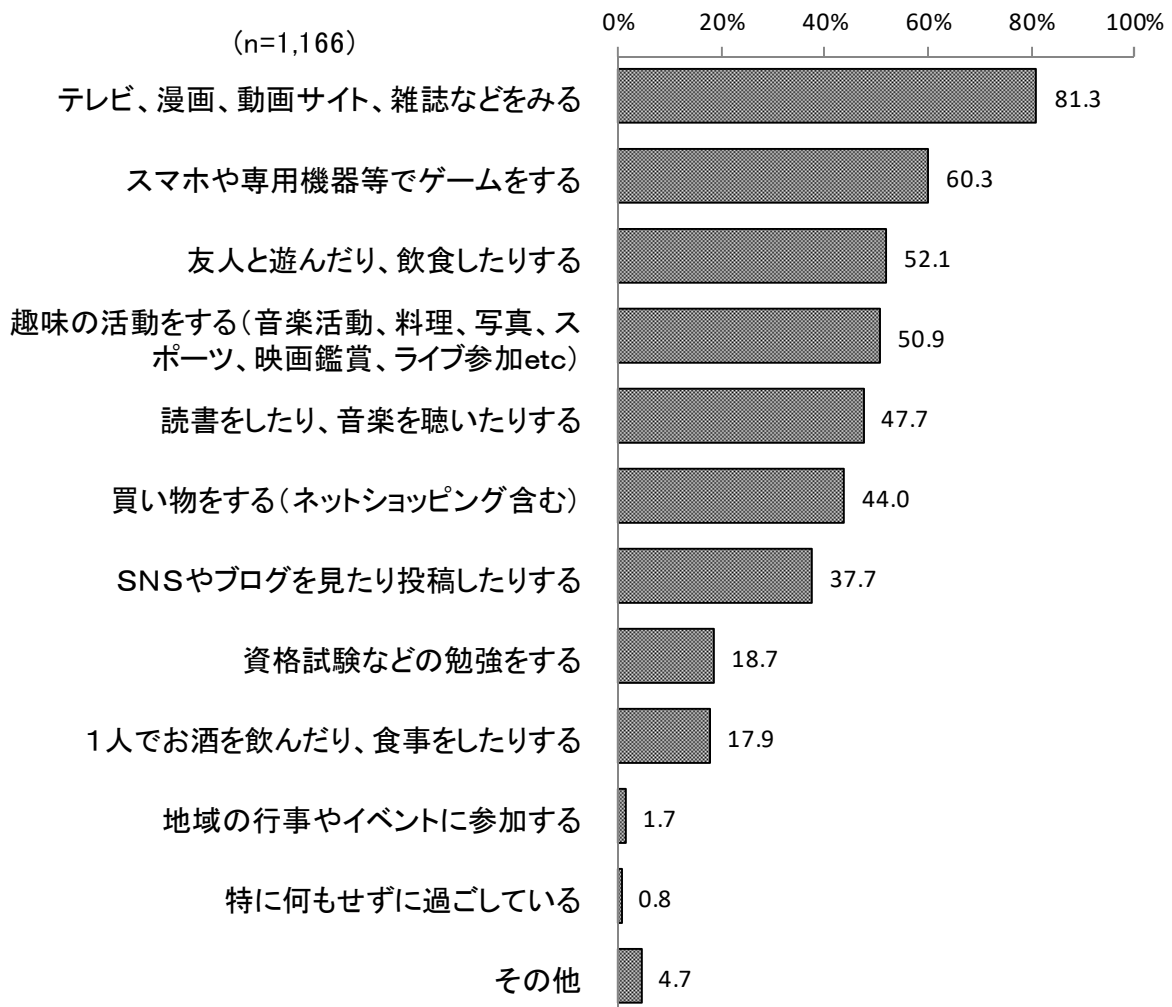


n=1, 162

## ウ 自由な時間の過ごし方【問4-1】(MA)

自由な時間の過ごし方を複数回答で聞いたところ、「テレビ、漫画、動画サイト、雑誌などをみる」が81.3%で最も高く、次いで「スマホや専用機器等でゲームをする」が60.3%、「友人と遊んだり、飲食したりする」が52.1%となっている。

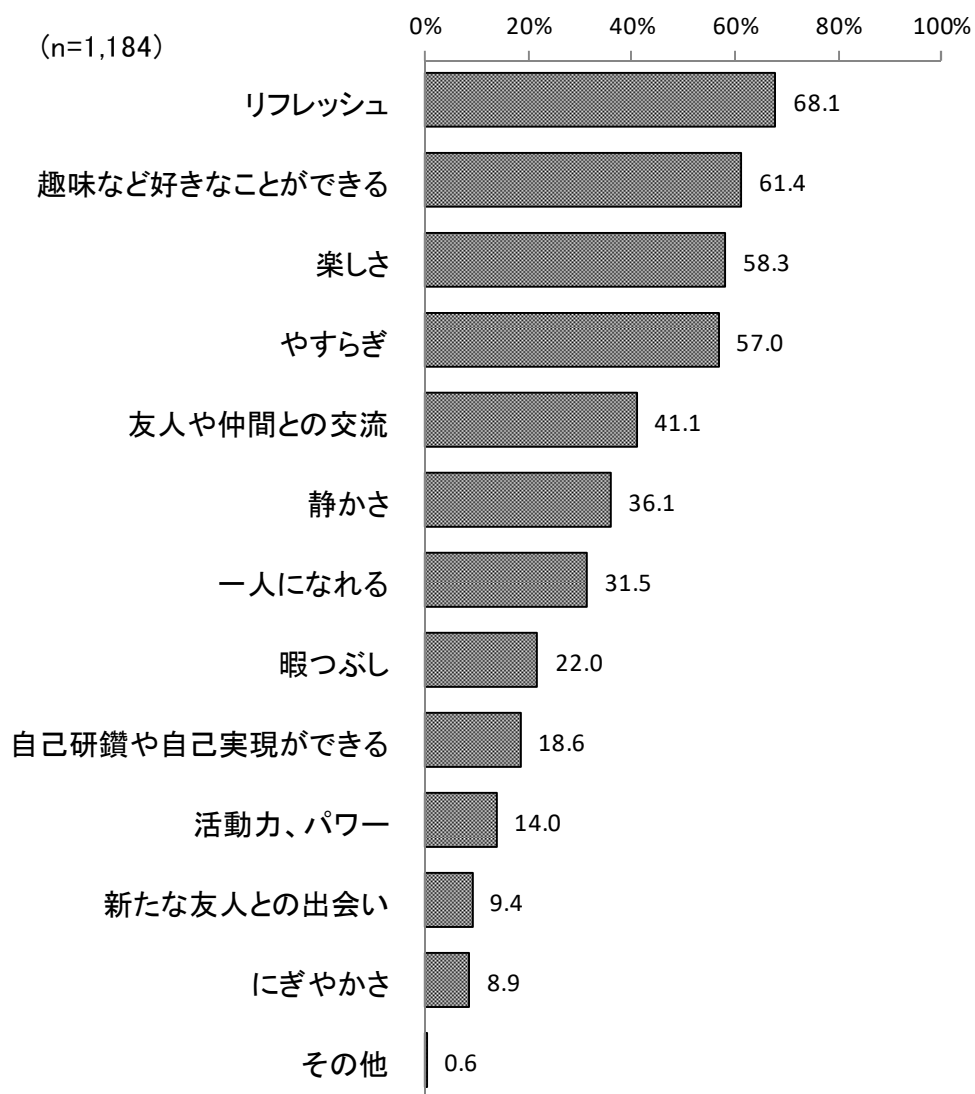
【図表 5-20】自由な時間の過ごし方（複数回答）



## エ 自由な時間に求めているもの【問4-2】(MA)

自由な時間に求めているものを複数回答で聞いたところ、「リフレッシュ」が68.1%と最も高く、次いで「趣味など好きなことができる」が61.4%、「楽しさ」が58.3%となっている。

【図表 5-21】自由な時間に求めているもの（複数回答）

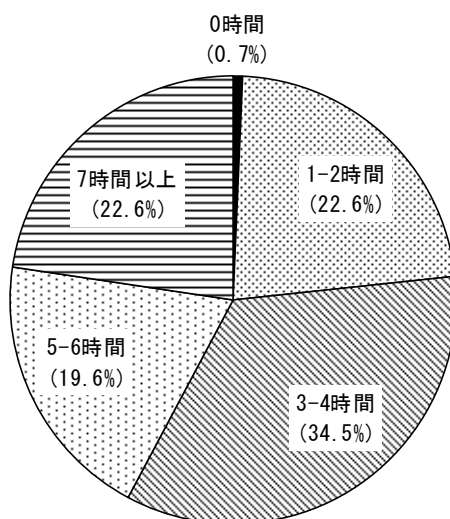


#### (4) スマートフォン等情報機器の利用状況等

##### ア 情報機器の利用状況【問5-1】(SA)

スマートフォン（携帯電話）、パソコン、タブレット端末等の情報機器の1日あたりの利用状況を聞いたところ、「3～4時間」が34.5%と最も高く、次いで「1～2時間」、「7時間以上」がともに22.6%となっている。

【図表 5-22】情報機器の1日あたりの利用状況

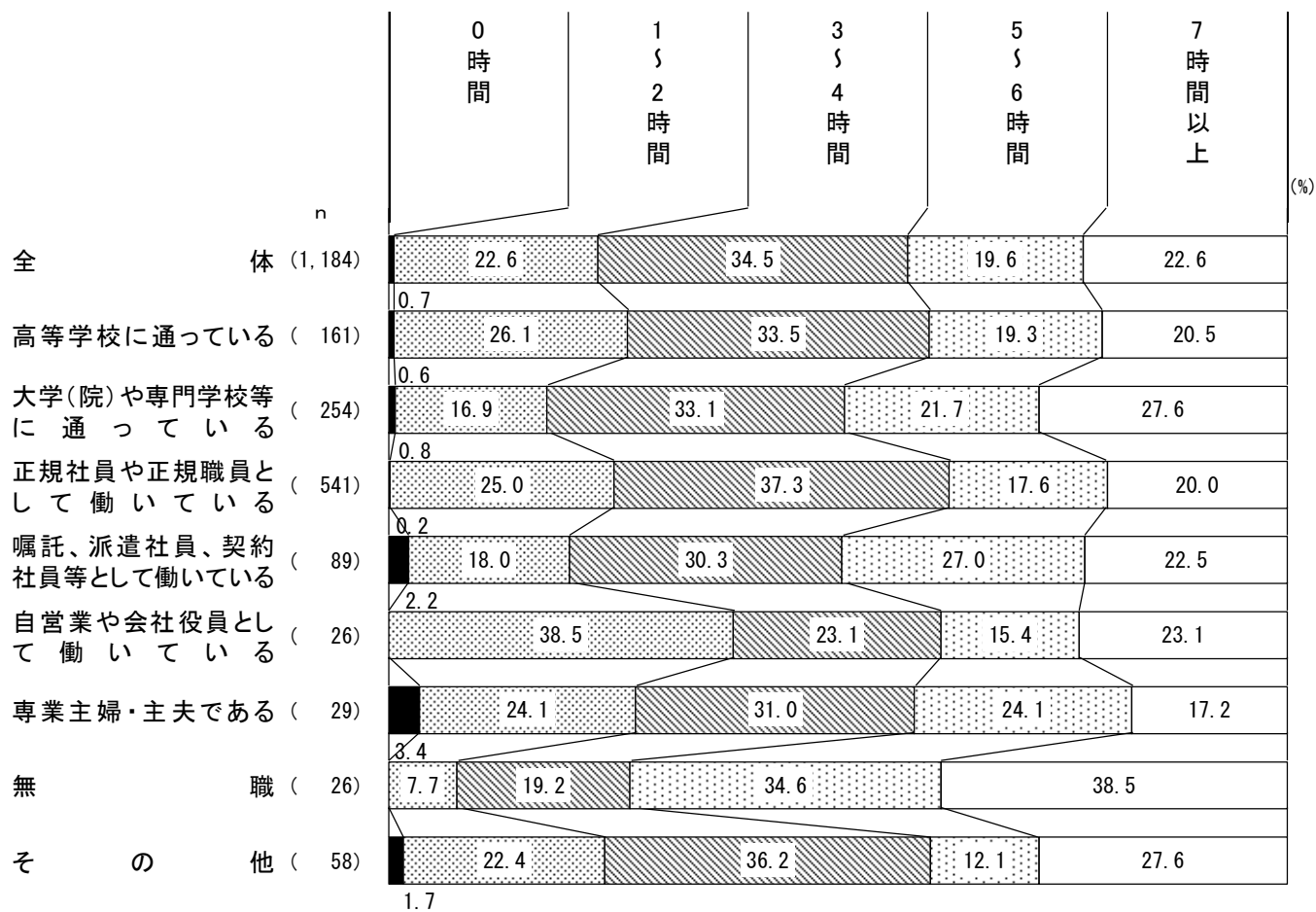


n=1, 184

スマートフォン（携帯電話）、パソコン、タブレット端末等の情報機器の1日あたりの利用状況を所属等別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

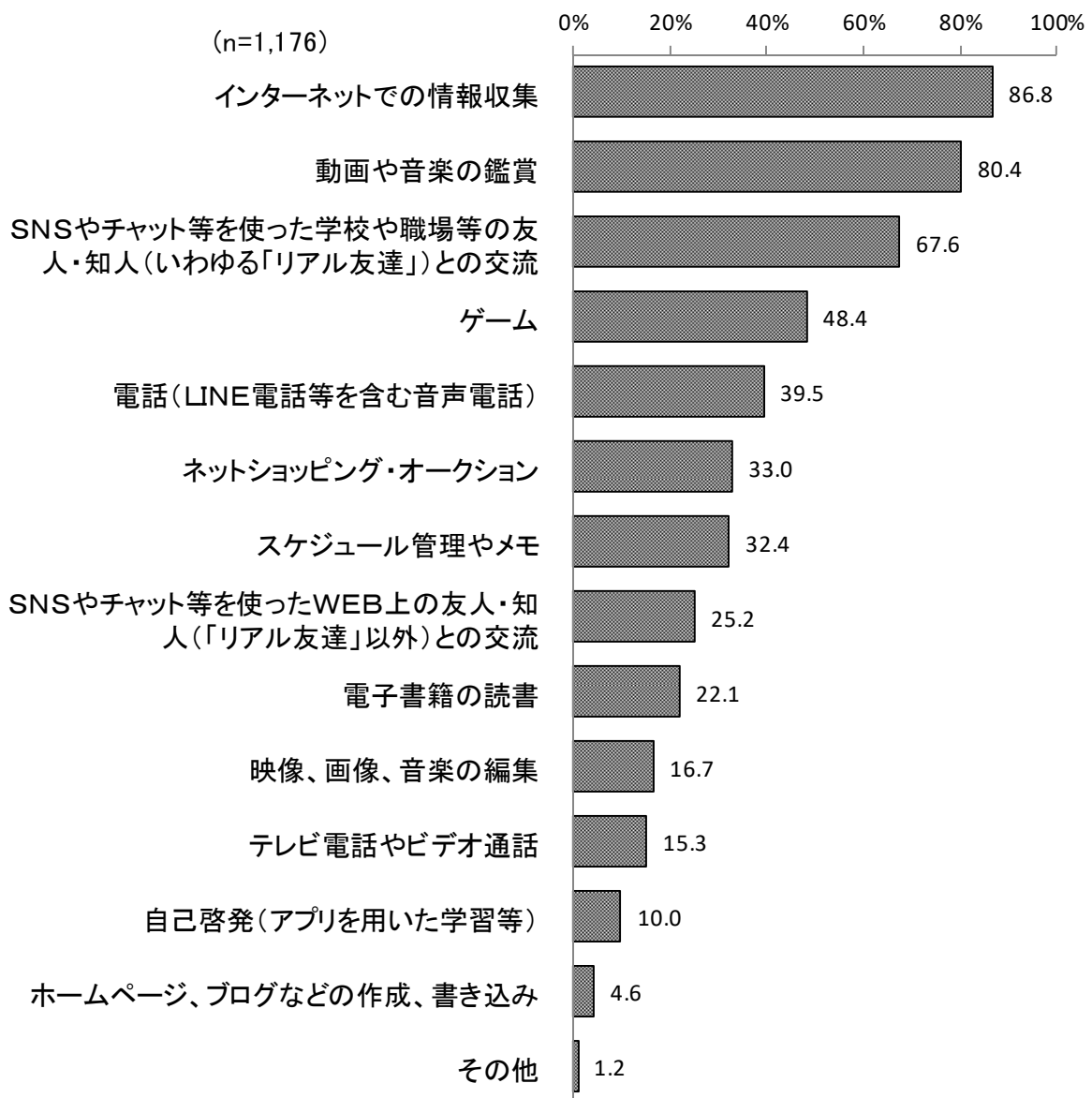
【図表 5-23】 情報機器の1日あたりの利用状況（所属等別）



## イ 情報機器の利用目的【問5-2】(MA)

スマートフォン（携帯電話）、パソコン、タブレット端末等の情報機器の利用目的を複数回答で聞いたところ、「インターネットでの情報収集」が86.8%と最も高く、次いで「動画や音楽の鑑賞」が80.4%、「SNSやチャット等を使った学校や職場等の友人・知人（いわゆる「リアル友達」）との交流」が67.6%となっている。

【図表 5-24】情報機器の利用目的（複数回答）



スマートフォン（携帯電話）、パソコン、タブレット端末等の情報機器の利用目的を所属等別にみると、「SNSやチャット等を使った学校や職場等の友人・知人（いわゆる「リアル友達」）との交流」は『大学（院）や専門学校等に通っている』が79.4%、「ゲーム」は『高等学校に通っている』が59.4%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。

一方、「SNSやチャット等を使った学校や職場等の友人・知人（いわゆる「リアル友達」）との交流」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が51.7%、「ネットショッピング・オークション」は『高等学校に通っている』が9.4%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 5-25】情報機器の利用目的（複数回答）（所属等別）

	n	インターネットでの	友人・知人（いわゆる「リアル友達」）との交流	SNSやチャット等を使った友人（リアル友達以外）との交流	SNSやチャット等を使った友人（リアル友達以外）との交流	ゲームなどの作成、書き込み	動画や音楽の鑑賞	電子書籍の読書	編集、画像、音楽の	ネット・オークション	ゲーム	電話（LINE電話を含む音声電話）	テレビ電話やビデオ	スケジュール管理や	自己啓発（アプリ等）	その他
全体	1,176	86.8	67.6	25.2	4.6	80.4	22.1	16.7	33.0	48.4	39.5	15.3	32.4	10.0	1.2	
所属等別	高等学校に通っている	160	82.5	74.4	19.4	5.0	86.9	15.6	18.1	9.4	59.4	41.3	14.4	22.5	19.4	1.9
	大学（院）や専門学校等に通っている	252	88.1	79.4	24.6	3.2	86.9	17.1	19.8	27.8	54.0	40.9	18.3	34.5	7.5	2.0
	正規社員や正規職員として働いている	540	88.9	64.4	24.6	3.5	77.6	26.3	14.3	41.3	43.9	37.4	13.1	34.4	9.4	0.7
	嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	87	87.4	51.7	23.0	3.4	79.3	24.1	18.4	40.2	43.7	36.8	17.2	28.7	8.0	0.0
	自営業や会社役員として働いている	26	96.2	73.1	38.5	19.2	57.7	19.2	11.5	26.9	38.5	42.3	7.7	34.6	11.5	3.8
	専業主婦・主夫である	28	78.6	60.7	25.0	10.7	64.3	14.3	21.4	28.6	42.9	39.3	25.0	35.7	3.6	0.0
	無職	26	69.2	46.2	30.8	7.7	80.8	23.1	15.4	23.1	61.5	34.6	11.5	15.4	7.7	0.0
	その他	57	80.7	61.4	43.9	10.5	78.9	24.6	19.3	42.1	43.9	54.4	22.8	42.1	7.0	1.8

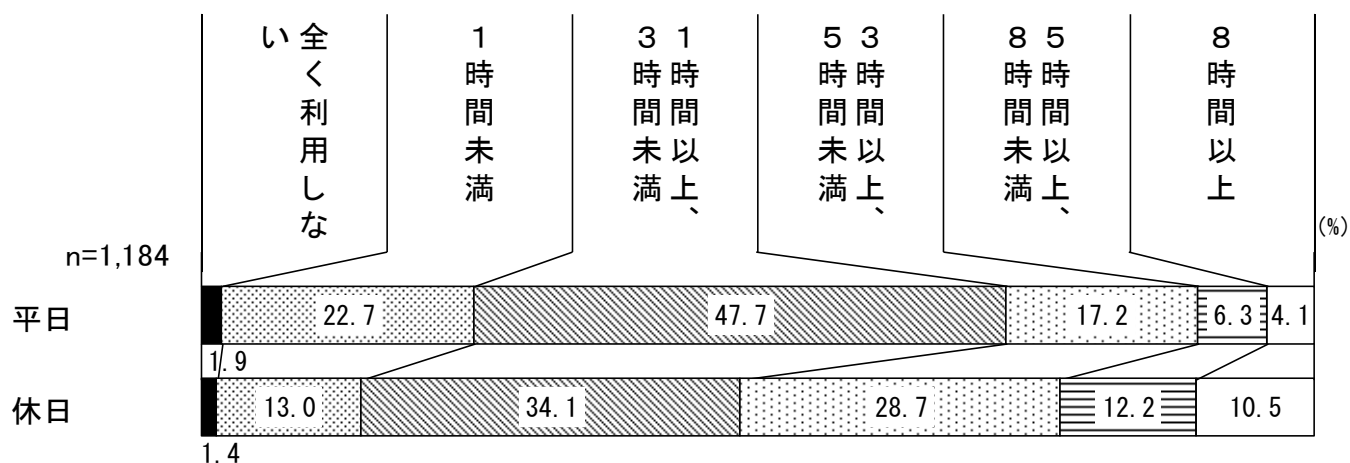


ウ SNSの1日あたりの利用時間（平日・休日）【問6】（SA）

SNSの1日あたりの利用時間を聞いたところ、平日では「1時間以上、3時間未満」が47.7%で最も高く、次いで「1時間未満」が22.7%、「3時間以上、5時間未満」が17.2%となっている。

休日では「1時間以上、3時間未満」が34.1%で最も高く、次いで「3時間以上、5時間未満」が28.7%、「1時間未満」が13.0%となっている。

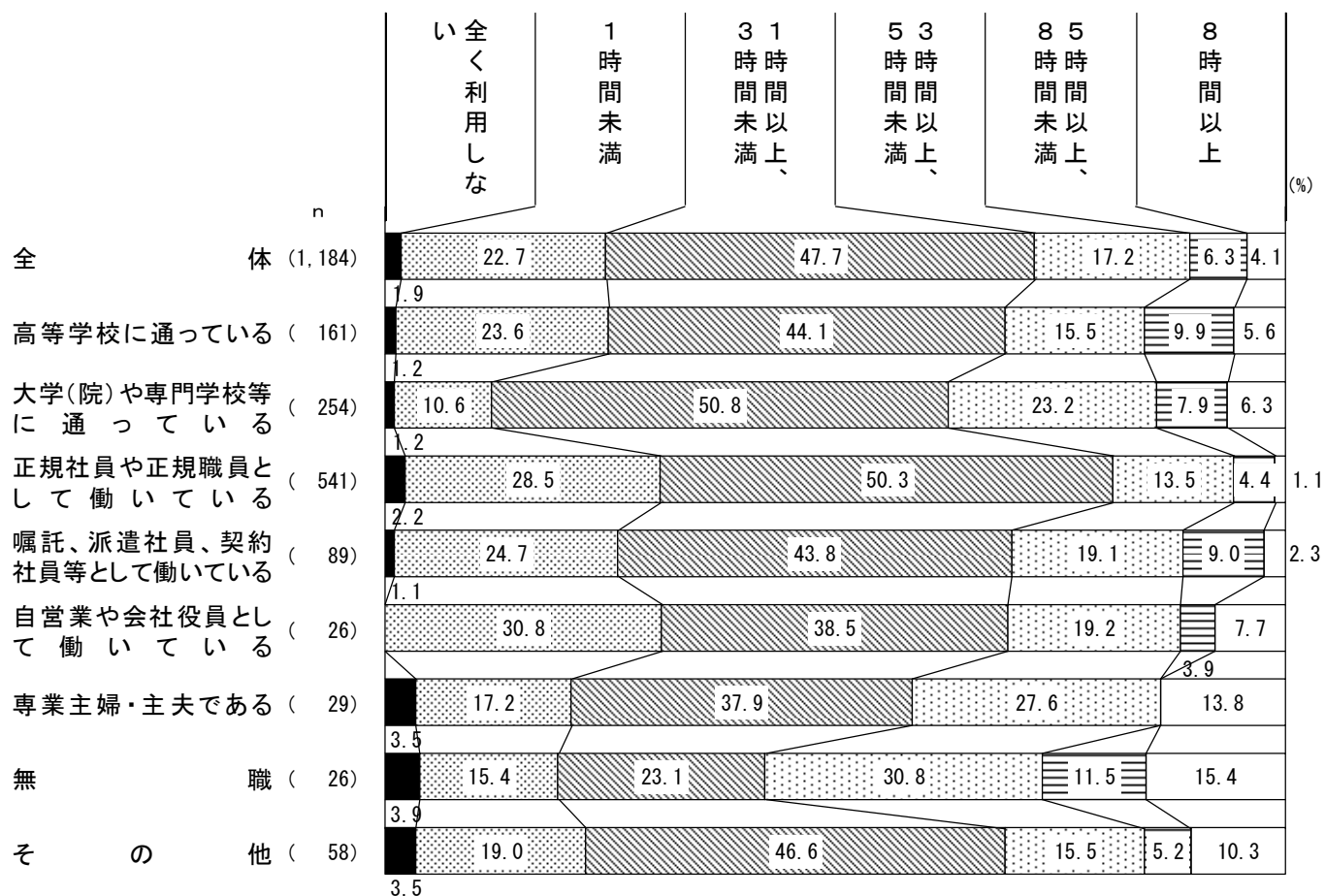
【図表 5-26】 SNSの1日あたりの利用時間



平日におけるSNSの1日あたりの利用時間を所属等別にみると、「1時間未満」は『大学（院）や専門学校等に通っている』が10.6%と全体に比べて低くなっている。

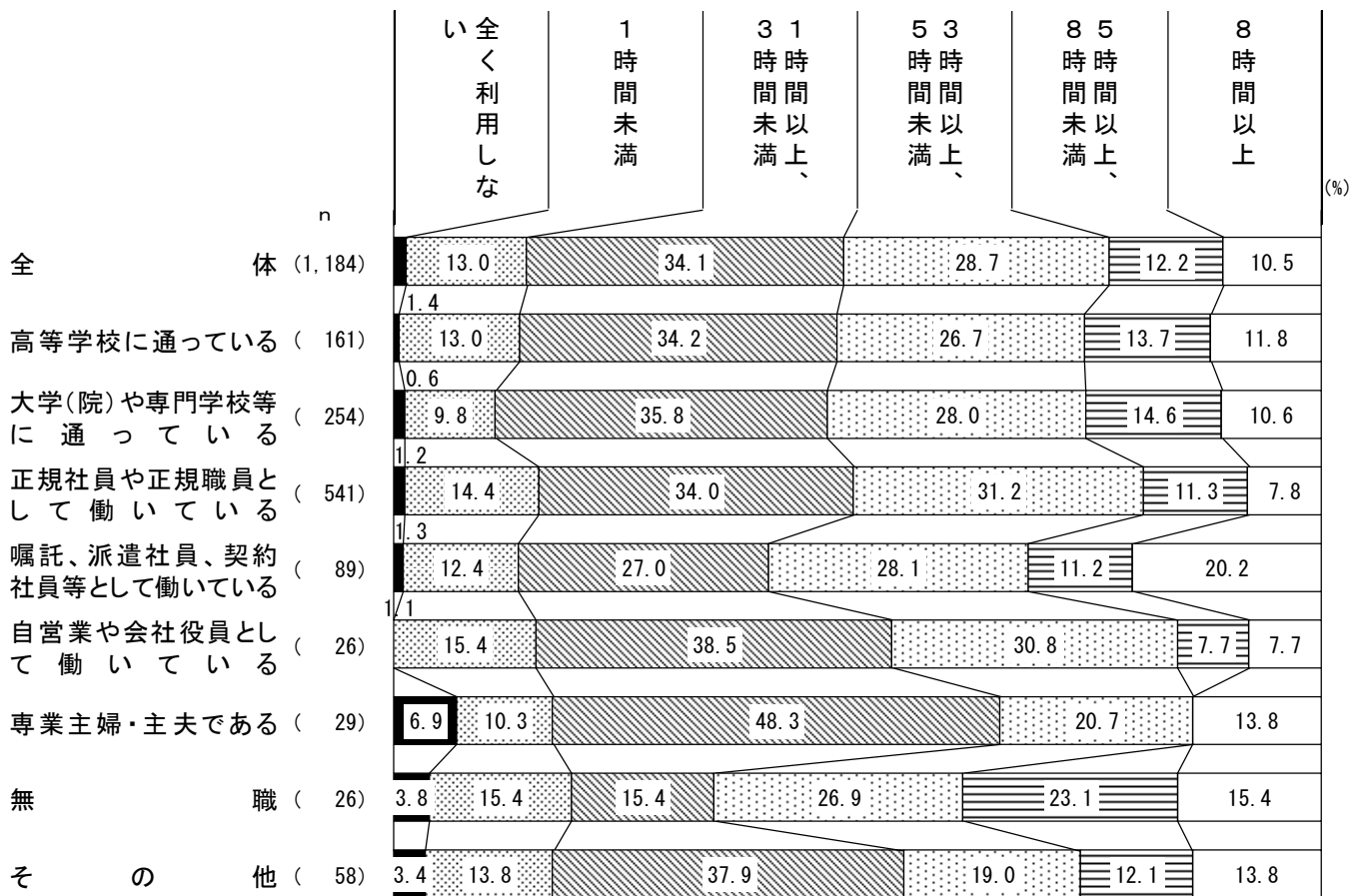
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 5-27】平日におけるSNSの1日あたりの利用時間（所属等別）



休日におけるSNSの1日あたりの利用時間を所属等別にみると、大きな差はみられない。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 5-28】 休日におけるSNSの1日あたりの利用時間（所属等別）

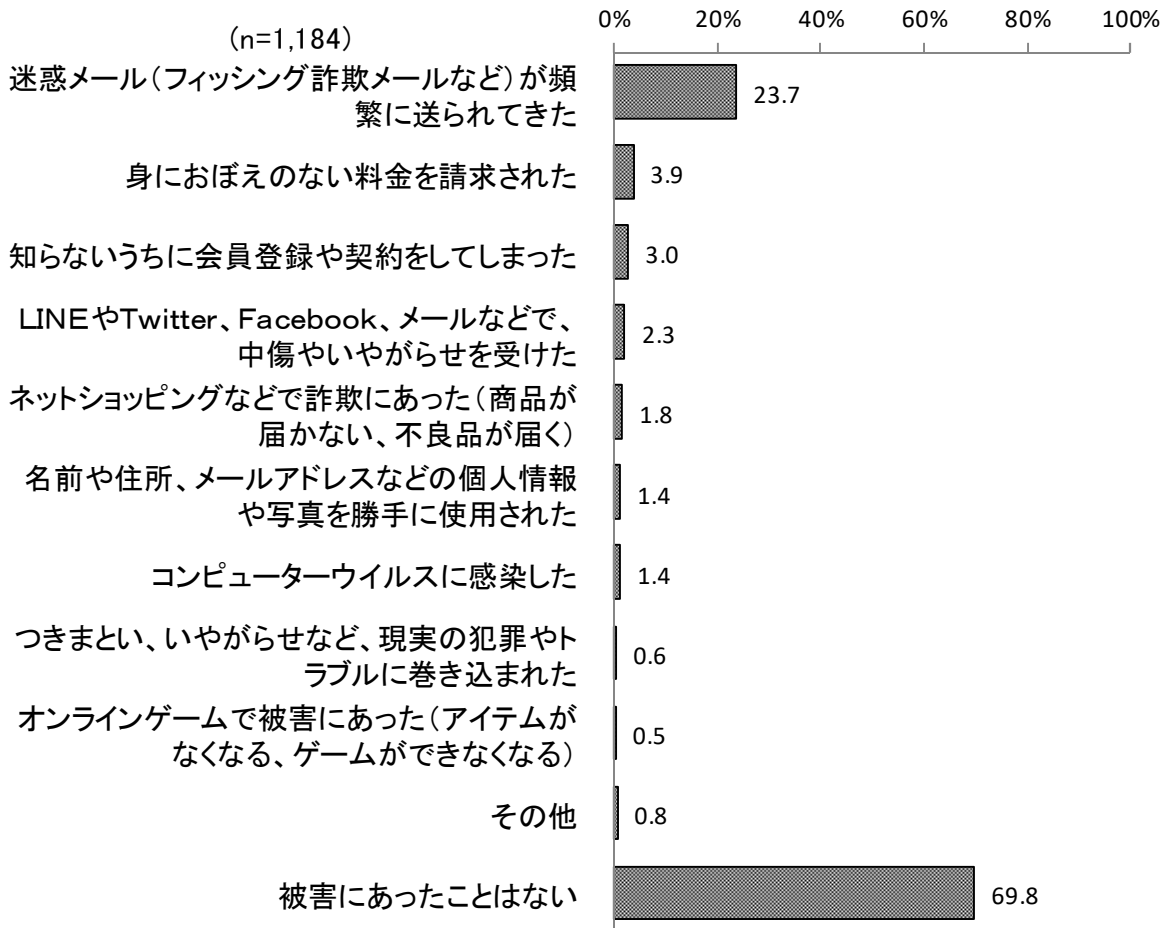


エ 直近1年間のインターネットトラブルの内容【問7-1】(MA)

直近1年間のインターネットトラブルの内容を複数回答で聞いたところ、「被害にあったことはない」が69.8%と最も高くなっている。

被害にあったトラブルの内容では、「迷惑メール（フィッシング詐欺メールなど）が頻繁に送られてきた」が23.7%と最も高く、次いで「身におぼえのない料金を請求された」が3.9%、「知らないうちに会員登録や契約をしてしまった」が3.0%となっている。

【図表 5-29】インターネットトラブルの内容（複数回答）

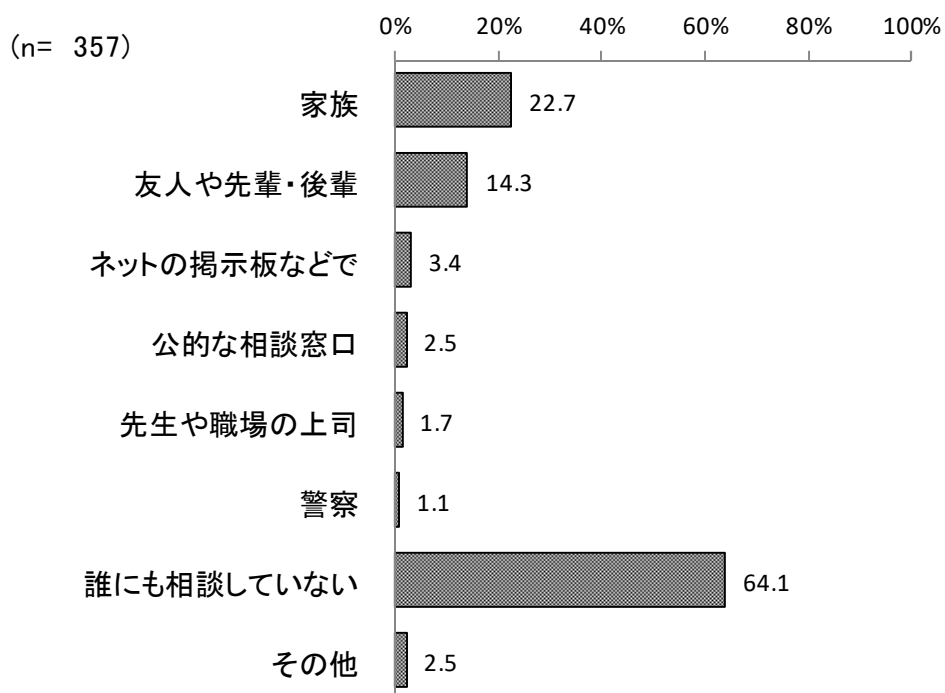


## オ 直近1年間のインターネットトラブル時の相談相手【問7-2】(MA)

直近1年間でインターネットトラブル経験のある方に、インターネットトラブル時の相談相手を複数回答で聞いたところ、「誰にも相談していない」が64.1%と最も高くなっている。

相談した相手では、「家族」が22.7%で最も高く、次いで「友人や先輩・後輩」が14.3%、「ネットの掲示板などで」が3.4%となっている。

【図表 5-30】インターネットトラブル時の相談相手（複数回答）



直近1年間のインターネットトラブル時の相談相手を所属等別にみると、「家族」は『高等学校に通っている』が40.5%、「誰にも相談していない」は『正規社員や正規職員として働いている』が74.9%とそれぞれ全体に比べて高くなっている。一方、「誰にも相談していない」は『高等学校に通っている』が45.9%と全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 5-31】インターネットトラブル時の相談相手（複数回答）（所属等別）

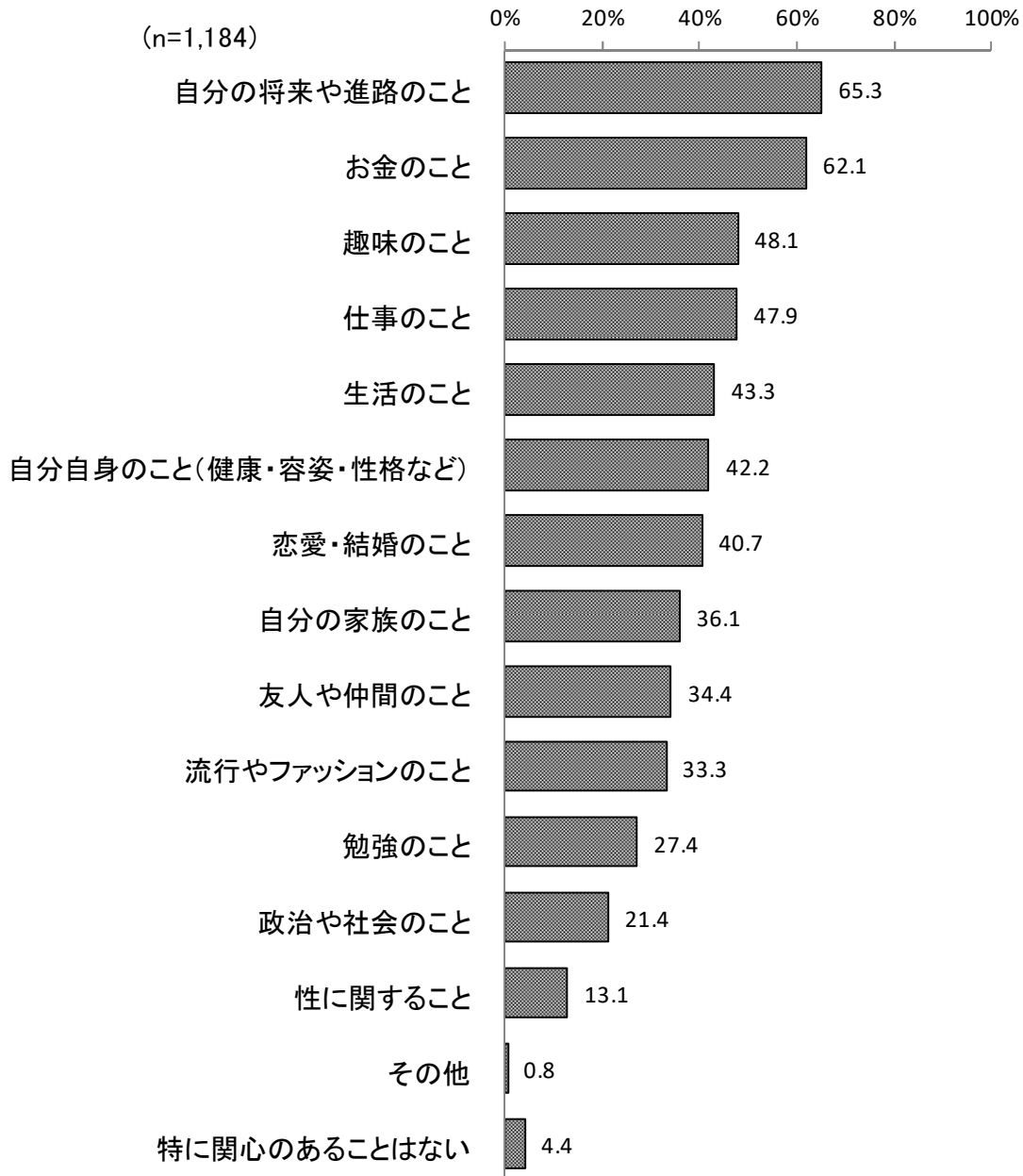
		n	家族	先生 や 職場 の 上司	友人 や 先輩 ・ 後輩	公 的 な 相 談 窓 口	警 察	で ネ ッ ト の 掲 示 板 な ど	い 誰 に も 相 談 し て い な	そ の 他
全	体	357	22.7	1.7	14.3	2.5	1.1	3.4	64.1	2.5
所 属 等 別	高等学校に通っている	37	40.5	2.7	16.2	8.1	0.0	8.1	45.9	2.7
	大学（院）や専門学校等に通っている	72	25.0	0.0	20.8	0.0	0.0	1.4	61.1	2.8
	正規社員や正規職員として働いている	171	14.0	2.3	11.1	1.8	2.3	1.8	74.9	2.3
	嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	30	23.3	0.0	13.3	3.3	0.0	3.3	60.0	3.3
	自営業や会社役員として働いている	9	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	66.7	0.0
	専業主婦・主夫である	11	45.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	54.5	0.0
	無職	8	37.5	12.5	37.5	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0
	その他	19	42.1	0.0	15.8	10.5	0.0	15.8	36.8	5.3

### 第3節 若者の意識等

#### (1) 現在の関心ごと【問8】(MA)

現在の関心ごとを複数回答で聞いたところ、「自分の将来や進路のこと」が65.3%と最も高く、次いで「お金のこと」が62.1%、「趣味のこと」が48.1%となっている。

【図表 5-32】現在の関心ごと（複数回答）



現在の関心ごとを性別にみると、大きな差はみられない。

所属等別にみると、「自分の将来や進路のこと」は『大学（院）や専門学校に通っている』が82.3%、「勉強のこと」は『高等学校に通っている』が47.8%、『大学（院）や専門学校に通っている』が39.8%、「生活のこと」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が55.1%、「仕事のこと」は『正規社員や正規職員として働いている』が60.4%とそれぞれ全体に比べて高くなっている。

一方、「友人や仲間のこと」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が23.6%、「自分の家族のこと」は『高等学校に通っている』が23.0%、『大学（院）や専門学校に通っている』が26.0%、「恋愛・結婚のこと」は『高等学校に通っている』が28.0%、「お金のこと」は『高等学校に通っている』が36.0%、「生活のこと」は『高等学校に通っている』が19.3%、『大学（院）や専門学校に通っている』が31.9%、「仕事のこと」は『高等学校に通っている』が18.6%、『大学（院）や専門学校に通っている』が32.7%、とそれぞれ全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 5-33】現在の関心ごと（複数回答）（性別、所属等別）

	n	こ 自 分 の 将 来 や 進 路 の こ と	の 流 行 や フ ァ ッ シ ヨ ン の こ と	友 人 や 仲 間 の こ と	自 分 の 家 族 の こ と	勉 強 の こ と	恋 愛 ・ 結 婚 の こ と	性 に 関 す る こ と	お 金 の こ と	生 活 の こ と	仕 事 の こ と	趣 味 の こ と	政 治 や 社 会 の こ と	ど 自 分 自 身 の こ と 格 納 な 健 康 ・ 容 姿 ・ 性 格 な ど	そ の 他	は 特 に 関 心 の あ る こ と	
全 体	1,184	65.3	33.3	34.4	36.1	27.4	40.7	13.1	62.1	43.3	47.9	48.1	21.4	42.2	0.8	4.4	
性 別	男性	541	66.0	24.2	32.9	29.2	30.5	37.2	16.6	61.2	38.3	48.6	48.8	23.1	33.3	0.6	5.4
	女性	612	64.1	40.8	35.9	42.5	24.5	44.6	9.6	63.2	47.4	47.5	47.4	19.6	50.5	1.0	3.3
	その他または、答えたくない	31	77.4	41.9	29.0	29.0	32.3	25.8	19.4	54.8	51.6	41.9	51.6	25.8	35.5	0.0	9.7
所 属 等 別	高等学校に通っている	161	73.3	38.5	43.5	23.0	47.8	28.0	8.7	36.0	19.3	18.6	48.4	14.9	36.6	1.9	7.5
	大学（院）や専門学校等に通っている	254	82.3	39.4	41.3	26.0	39.8	39.0	16.5	59.4	31.9	32.7	49.6	18.9	45.7	0.4	3.5
	正規社員や正規職員として働いている	541	56.6	29.9	31.6	40.9	19.8	48.1	13.9	68.0	50.3	60.4	49.9	24.0	41.0	0.6	3.7
	嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	89	62.9	25.8	23.6	42.7	18.0	43.8	13.5	69.7	55.1	57.3	51.7	28.1	43.8	1.1	5.6
	自営業や会社役員として働いている	26	76.9	38.5	30.8	34.6	19.2	30.8	11.5	65.4	53.8	53.8	38.5	30.8	42.3	0.0	0.0
	専業主婦・主夫である	29	41.4	31.0	27.6	65.5	3.4	10.3	0.0	69.0	69.0	44.8	17.2	20.7	48.3	0.0	6.9
	無職	26	73.1	26.9	19.2	15.4	34.6	34.6	7.7	73.1	53.8	69.2	46.2	19.2	34.6	0.0	3.8
	その他	58	56.9	36.2	32.8	56.9	15.5	32.8	12.1	69.0	55.2	53.4	39.7	12.1	51.7	1.7	5.2

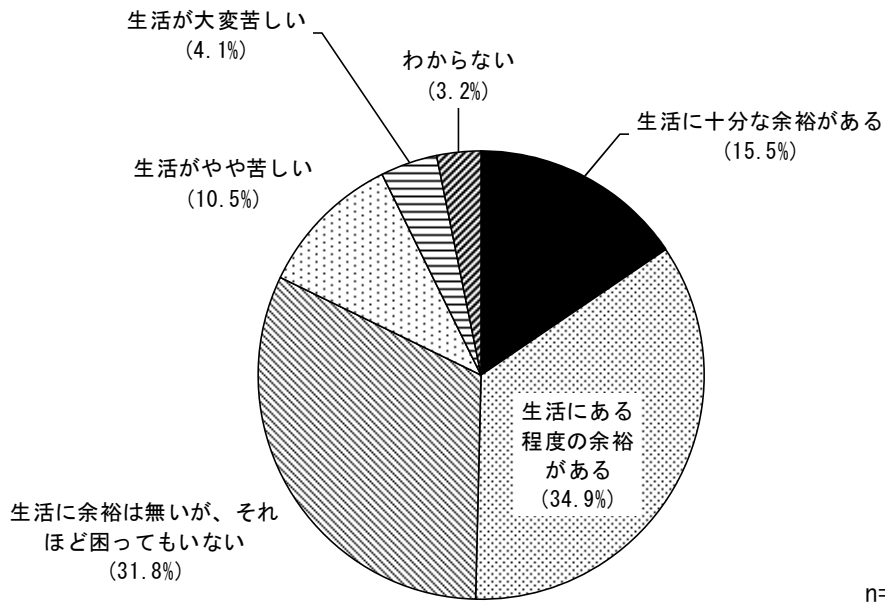


(2) 経済的な生活状況

ア 現在の経済的な生活状況をどのように感じているか【問9-1】(SA)

現在の経済的な生活状況をどのように感じているかを聞いたところ、「生活に十分な余裕がある」(15.5%)と「生活にある程度の余裕がある」(34.9%)を足し合わせた割合が50.4%、「生活に余裕はないが、それほど困ってはいもない」が31.8%、「生活がやや苦しい」(10.5%)と「生活が大変苦しい」(4.1%)を足し合わせた割合が14.6%となっている。

【図表 5-34】現在の経済的な生活状況をどのように感じているか

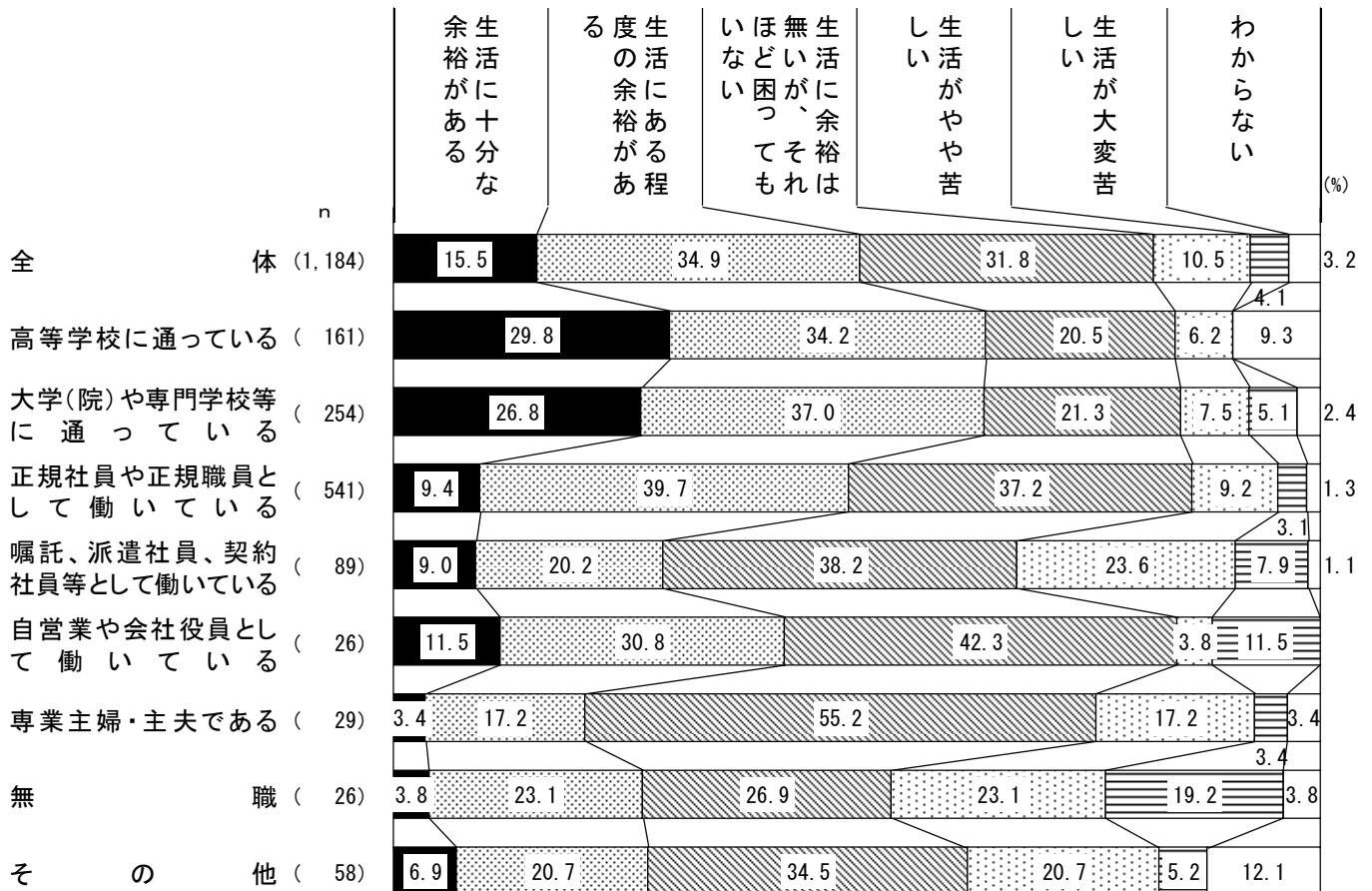


現在の経済的な生活状況をどのように感じているかを所属等別にみると、「生活に十分な余裕がある」は『高等学校に通っている』が29.8%、『大学（院）や専門学校等に通っている』が26.8%、「生活が大変苦しい」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が23.6%とそれぞれ全体に比べて高くなっている。

一方、「生活にある程度の余裕がある」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が20.2%と全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

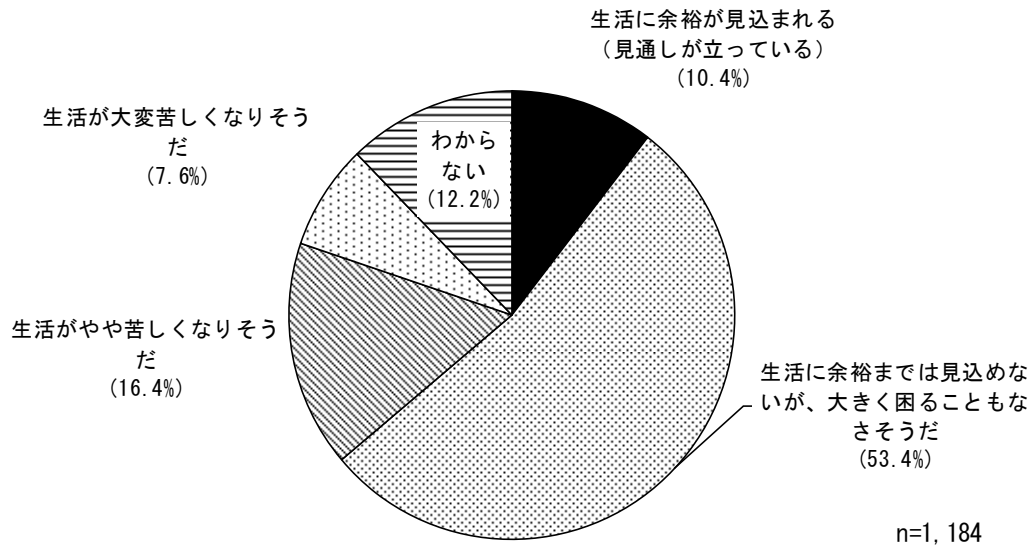
【図表 5-35】現在の経済的な生活状況をどのように感じているか（所属等別）



イ 将来（5～10年後）の経済的な生活状況をどのように感じるか【問9-2】（SA）

将来（5～10年後）の経済的な生活状況をどのように感じるかを聞いたところ、「生活に余裕が見込まれる（見通しが立っている）」が10.4%、「生活に余裕までは見込めないが、大きく困ることもなさそう」が53.4%、「生活がやや苦しくなりそう」が16.4%と「生活が大変苦しくなりそう」を合わせた割合が24.0%となっている。

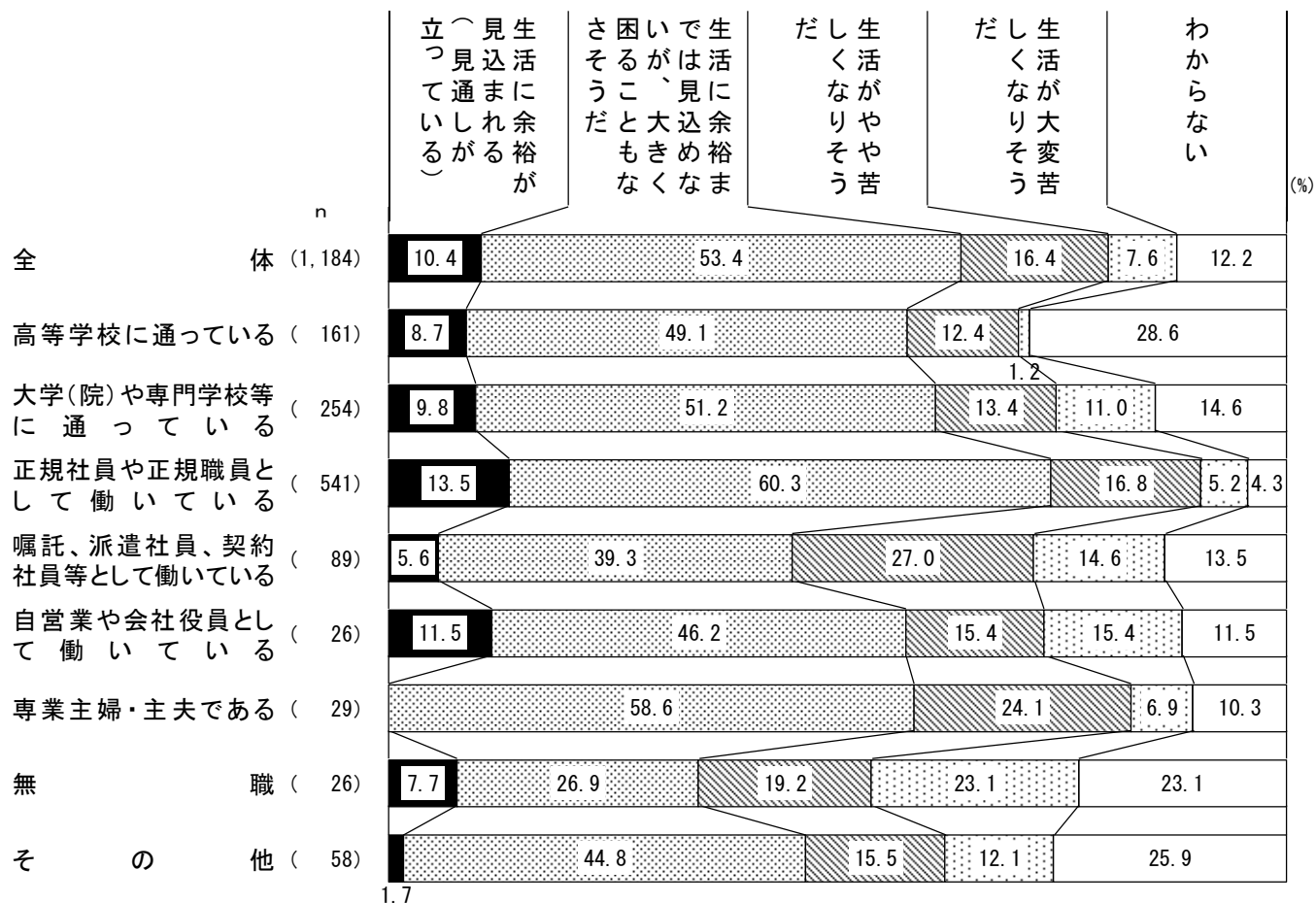
【図表 5-36】 将来（5～10年後）の経済的な生活状況をどのように感じるか



将来（5～10年後）の経済的な生活状況をどのように感じるかを所属等別にみると、「生活に余裕までは見込めないが、大きく困ることもなさそうだ」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が39.3%と、全体に比べて低くなっている。「生活がやや苦しくなりそうだ」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が27.0%と全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 5-37】 将来（5～10年後）の経済的な生活状況をどのように感じるか（所属等別）

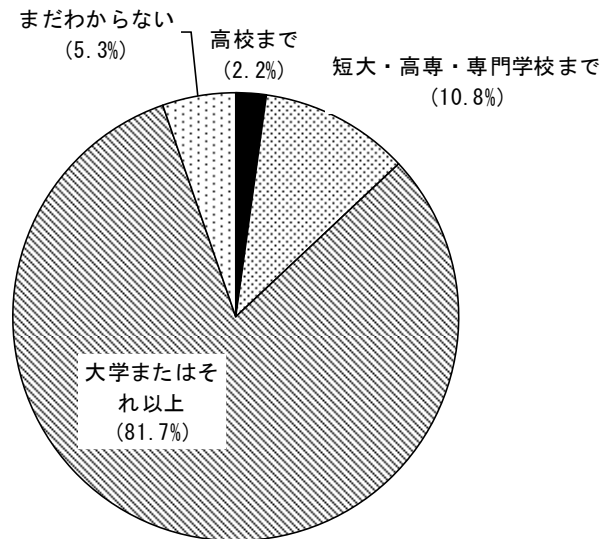


(3) 進学に関する希望

ア 将来どの学校まで行きたい（卒業したい）か【問10-2】(SA)

「高等学校に通っている」または「大学（院）や専門学校等に通っている」と回答した方に、将来どの学校まで行きたい（卒業したい）かを聞いたところ、「大学またはそれ以上」が81.7%で最も高く、次いで「短大・高専・専門学校まで」が10.8%、「まだわからない」が5.3%となっている。

【図表 5-38】 将来どの学校まで行きたい（卒業したい）か

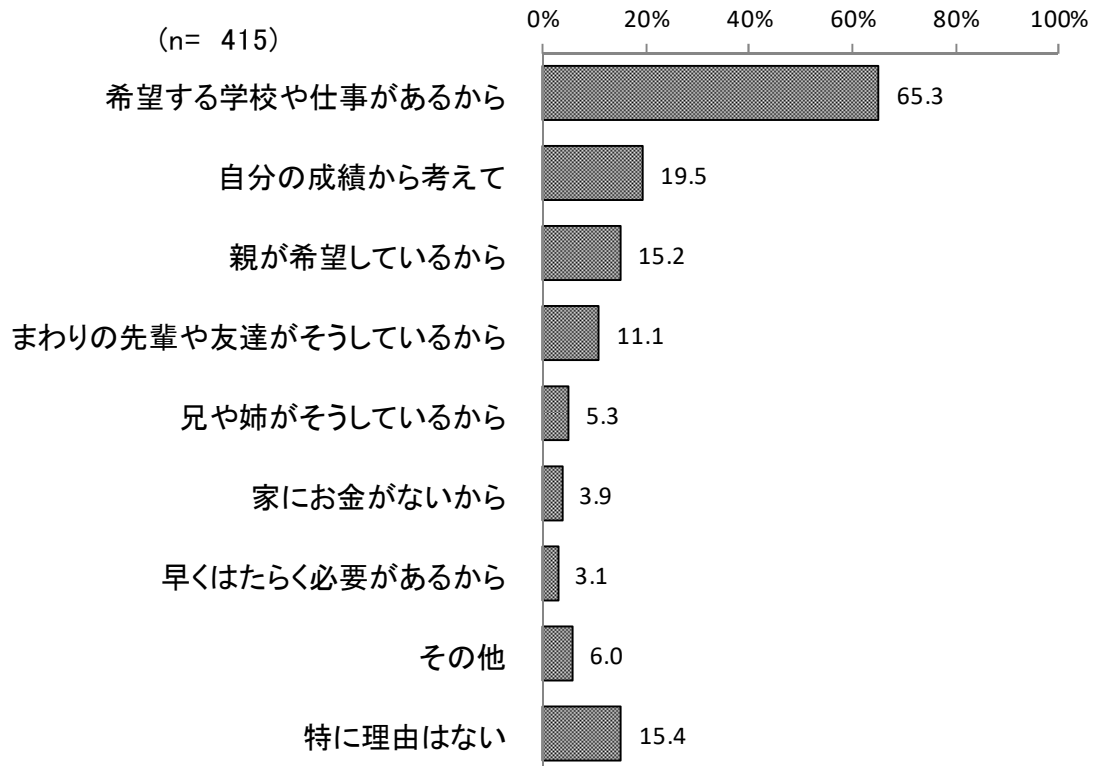


n= 415

イ 進学を希望する理由等【問 10-3】(MA)

「高等学校に通っている」または「大学(院)や専門学校等に通っている」と回答した方に、進学を希望する理由等を聞いたところ、「希望する学校や仕事があるから」が65.3%で最も高く、次いで「自分の成績から考えて」が19.5%、「特に理由はない」が15.4%となっている。

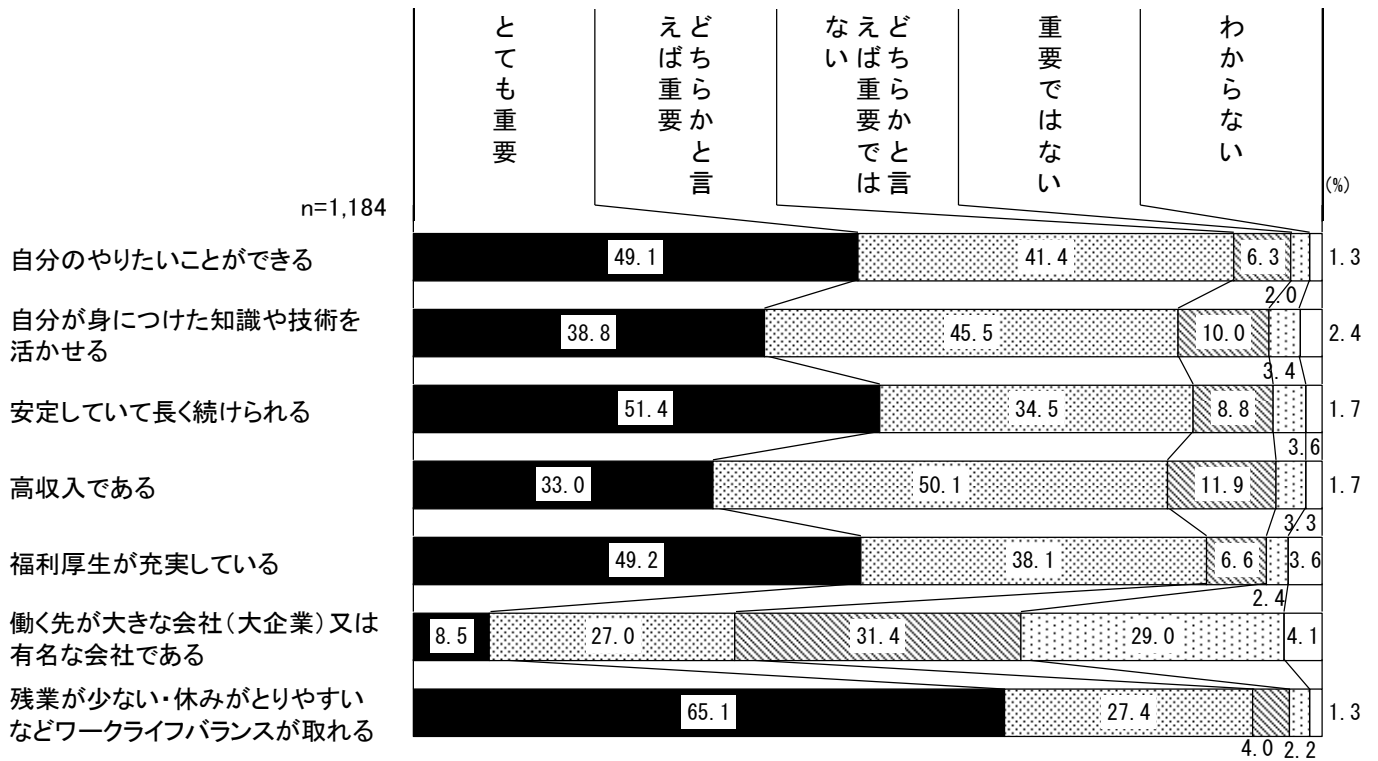
【図表 5-39】進学を希望する理由等(複数回答)



(4) 仕事を選ぶ際に重要だと思うこと【問11】(SA)

仕事を選ぶ際に重要だと思うことを聞いたところ、「とても重要」と「どちらかと言えば重要」を足し合わせた割合は『残業が少ない・休みがとりやすいなどワークライフバランスが取れる』が92.5%で最も高く、「どちらかと言えば重要ではない」と「重要ではない」を足し合わせた割合は『働く先が大きな会社(大企業)又は有名な会社である』が60.4%で最も高くなっている。

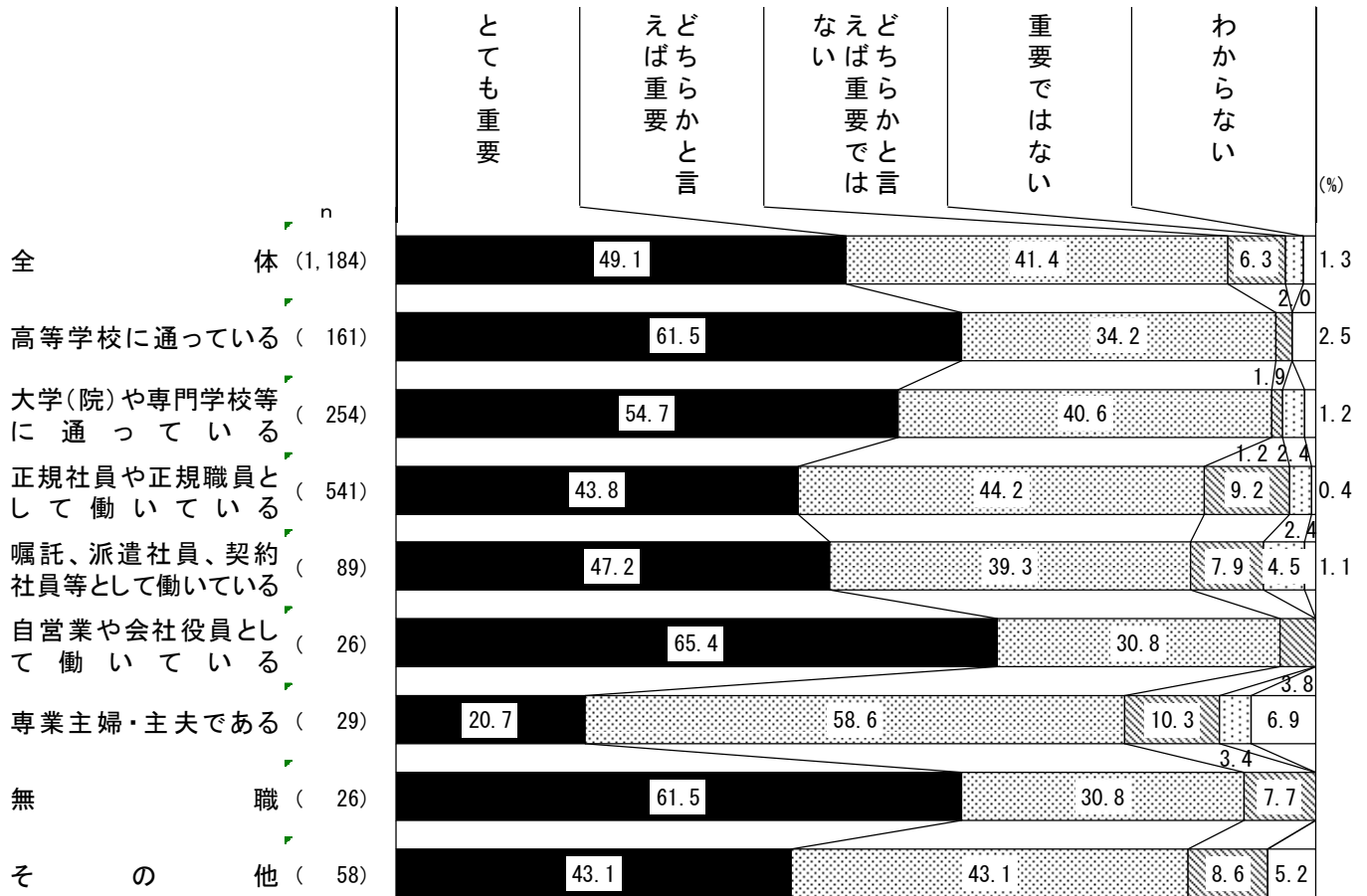
【図表 5-40】仕事を選ぶ際に重要だと思うこと



『自分のやりたいことができる』について所属等別にみると、「とても重要」は『高等学校に通っている』で61.5%と、全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 5-41】『自分のやりたいことができる』について（所属等別）

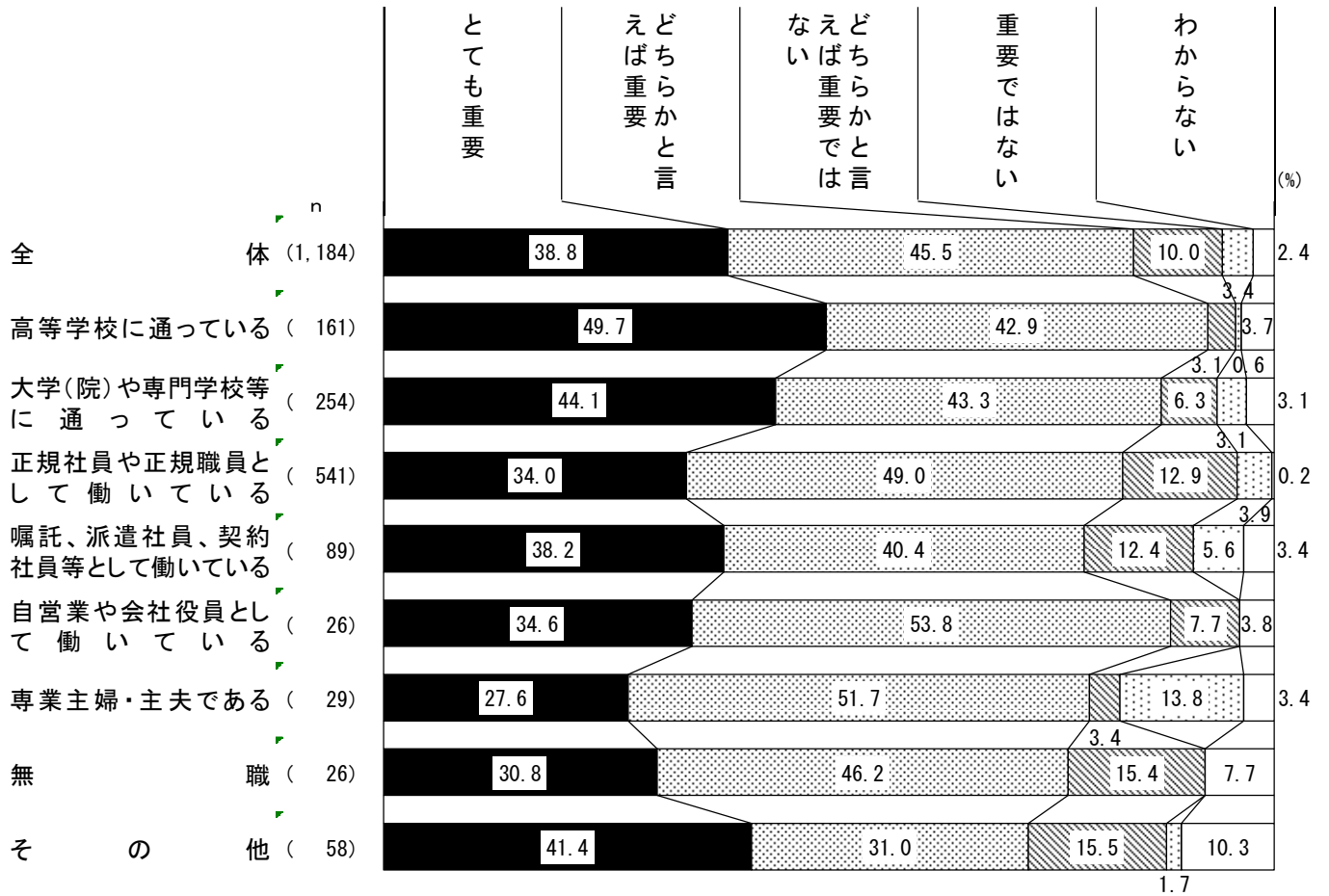




『自分が身につけた知識や技術を活かせる』について所属等別にみると、「とても重要」は『高等学校に通っている』で49.7%と、全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

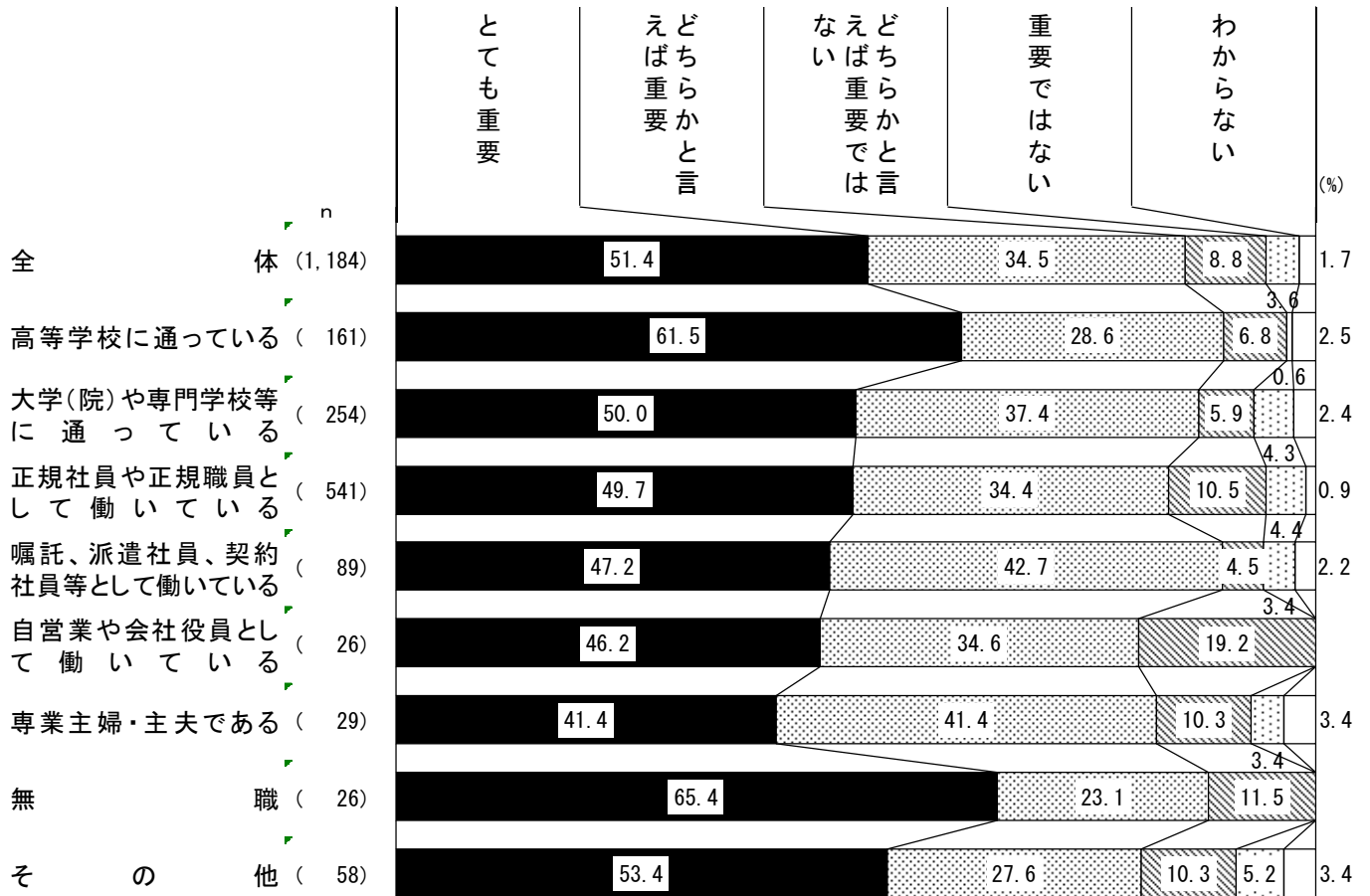
【図表 5-42】『自分が身につけた知識や技術を活かせる』について（所属等別）



『安定していて長く続けられる』について所属等別にみると、「とても重要」は『高等学校に通っている』で61.5%と、全体に比べて高くなっている。

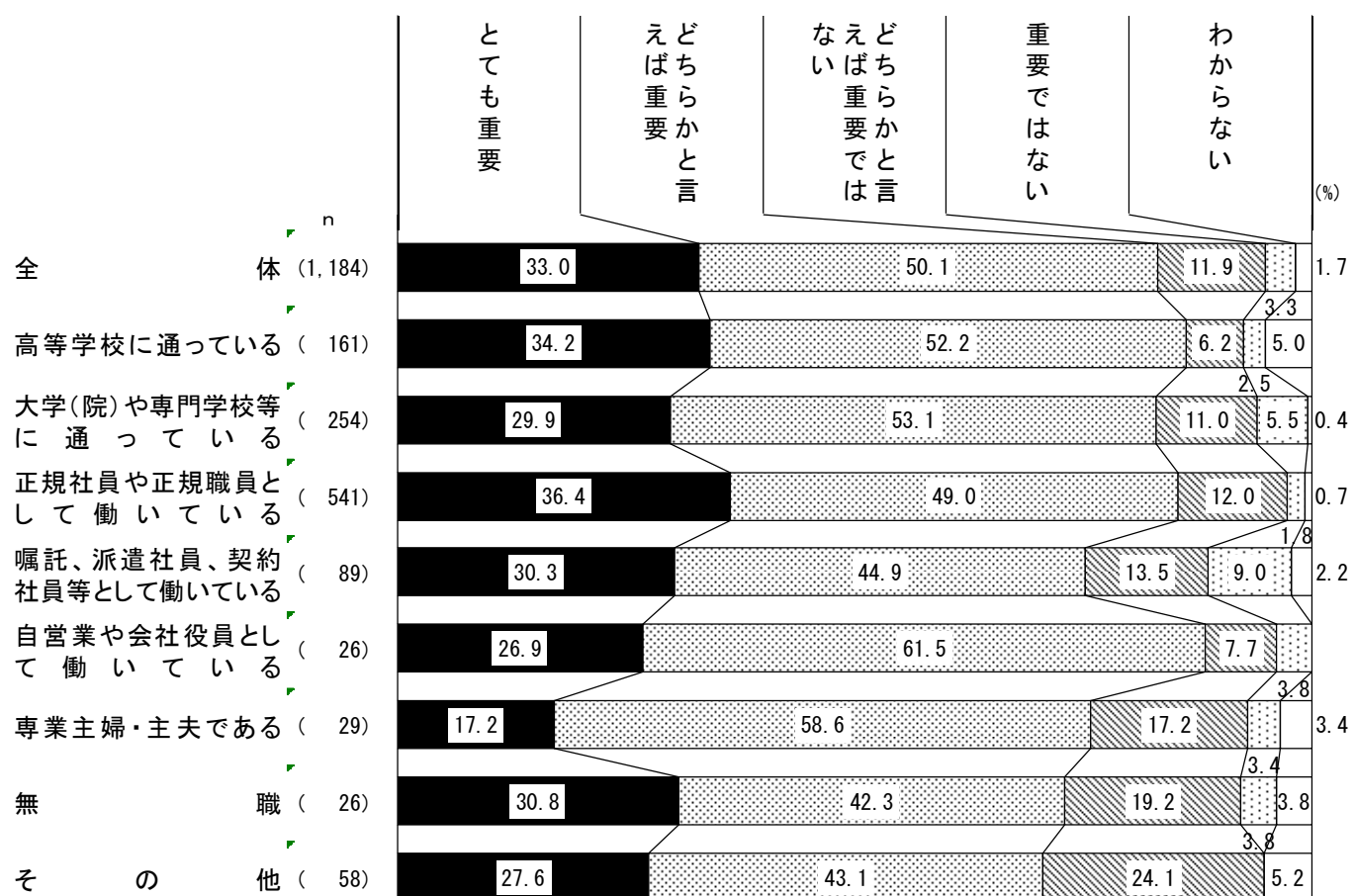
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 5-43】『安定していて長く続けられる』について（所属等別）



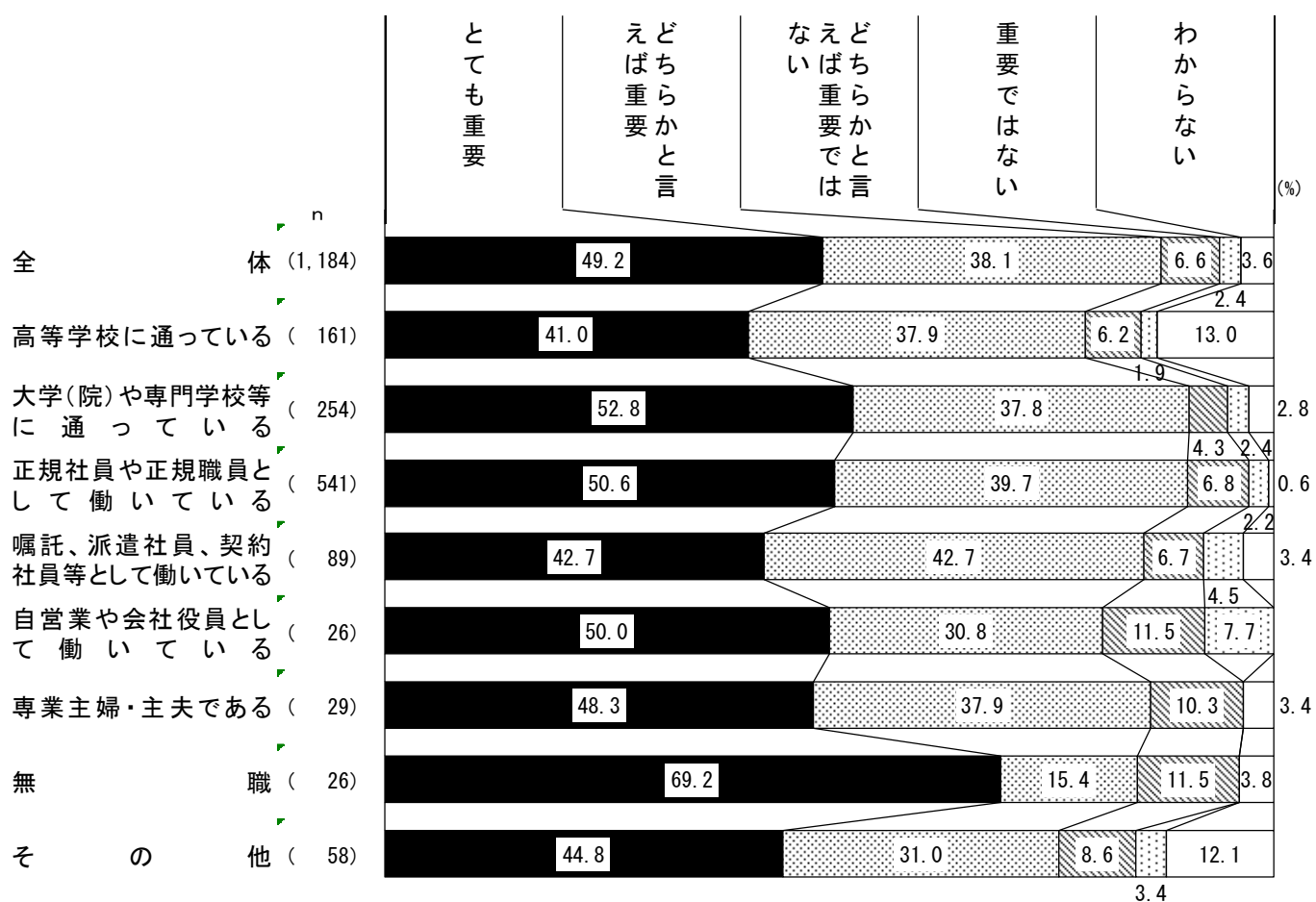
『高収入である』について所属等別にみると、大きな差はみられない。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 5-44】『高収入である』について（所属等別）



『福利厚生が充実している』について所属等別にみると、大きな差はみられない。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

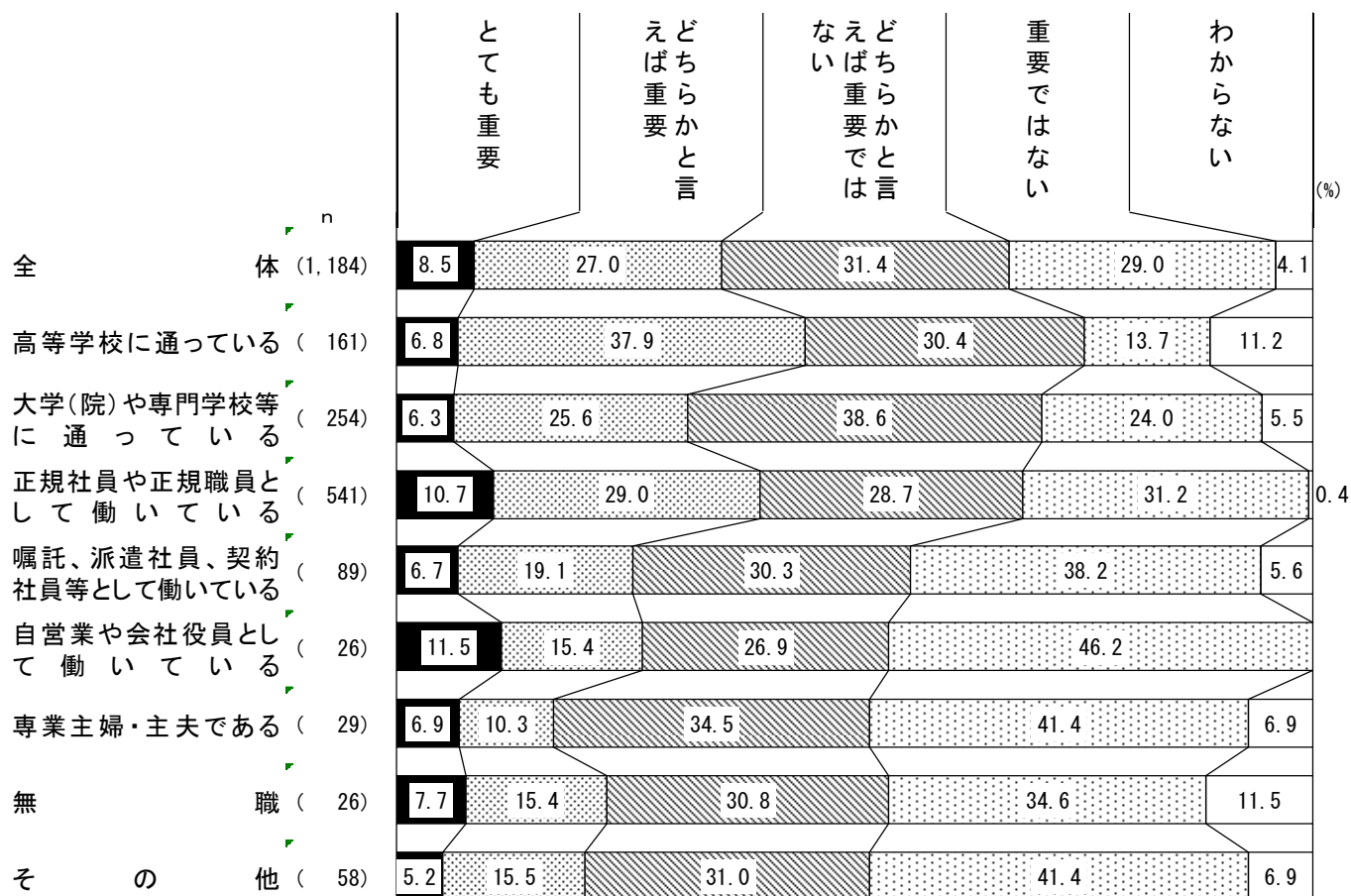
【図表 5-45】『福利厚生が充実している』について（所属等別）



『働く先が大きな会社（大企業）又は有名な会社である』について所属等別にみると、「どちらかと言えば重要」が『高等学校に通っている』で 37.9%と、全体に比べて高くなっている一方、「重要ではない」が『高等学校に通っている』で 13.7%と、全体に比べて低くなっており、二極化している。

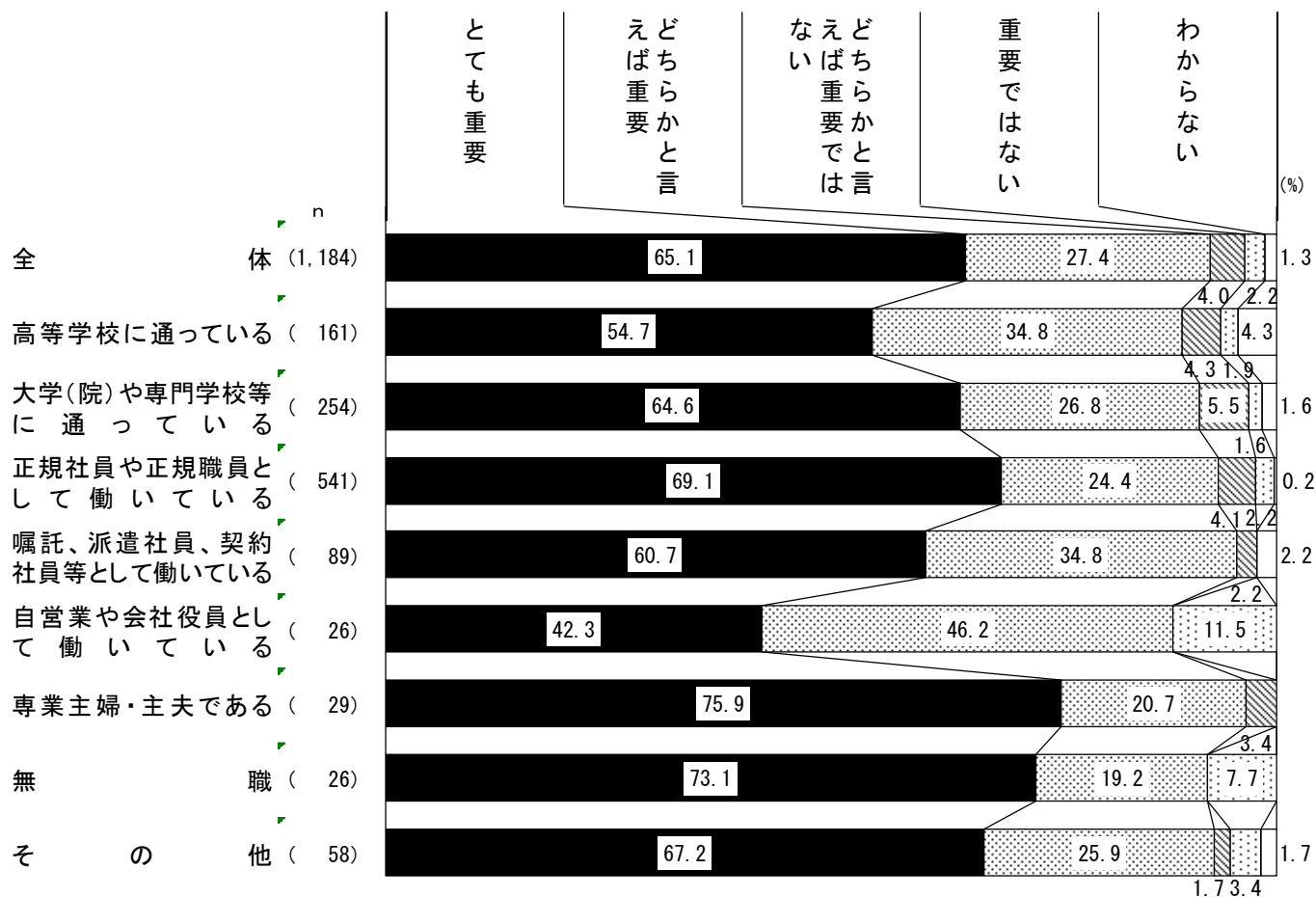
なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

【図表 5-46】『働く先が大きな会社（大企業）又は有名な会社である』について（所属等別）



『残業が少ない・休みがとりやすいなどワークライフバランスが取れる』について所属等別にみると、「とても重要」は『高等学校に通っている』で54.7%と、全体に比べて低くなっている。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

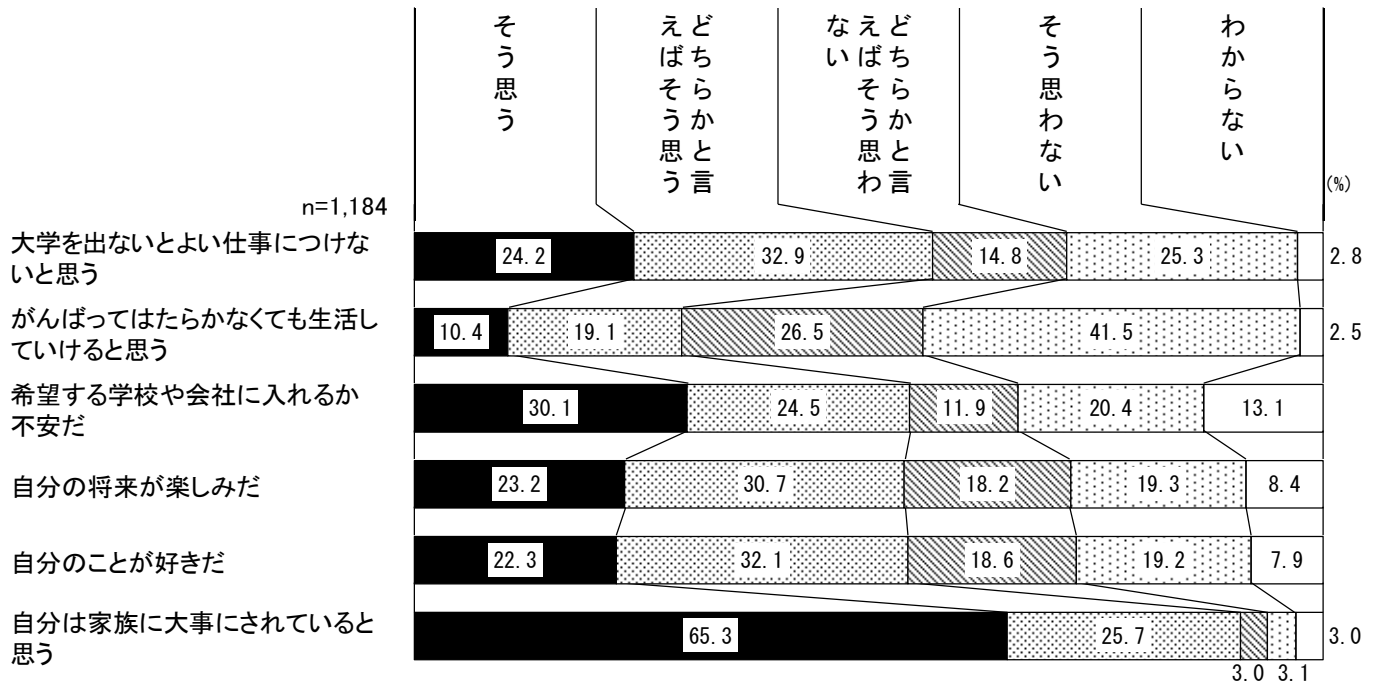
【図表 5-47】『残業が少ない・休みがとりやすいなどワークライフバランスが取れる』について  
 (所属等別)



(5) 将来に対する考え方や自己肯定感など【問12】(SA)

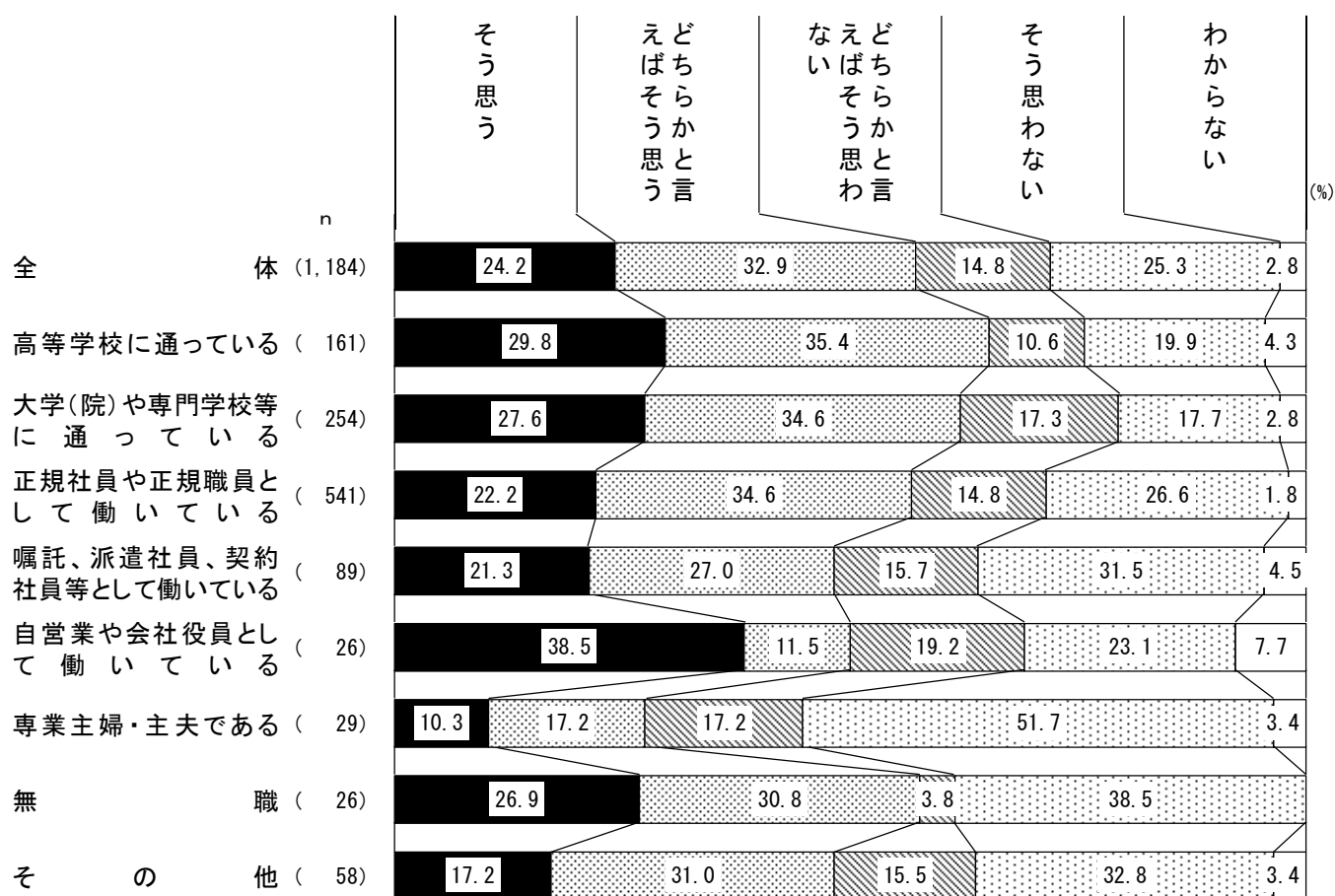
将来に対する考え方や自己肯定感等について聞いたところ、「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を足し合わせた割合は『自分は家族に大事にされていると思う』が91.0%で最も高く、「どちらかと言えばそう思わない」と「そう思わない」を足し合わせた割合は『がんばってはたらかなくても生活していけると思う』が68.0%で最も高くなっている。

【図表 5-48】 将来に対する考え方や自己肯定感など



『大学を出ないとよい仕事につけないと思う』について所属等別にみると、大きな差はみられない。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 5-49】『大学を出ないとよい仕事につけないと思う』について（所属等別）

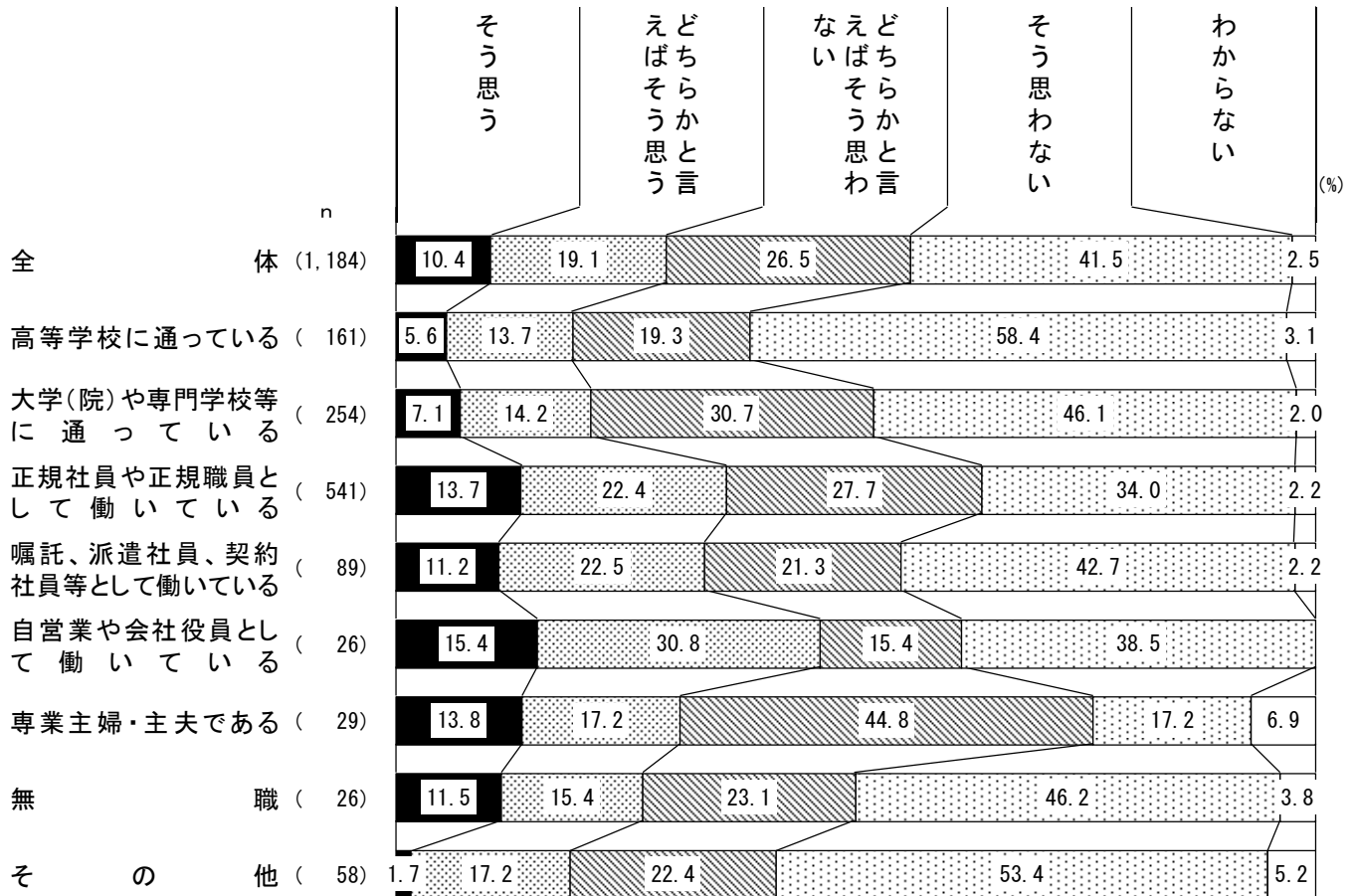




『がんばってはたらかなくても生活していけると思う』について所属等別にみると、「そう思わない」は『高等学校に通っている』で58.4%と、全体に比べて高くなっている。

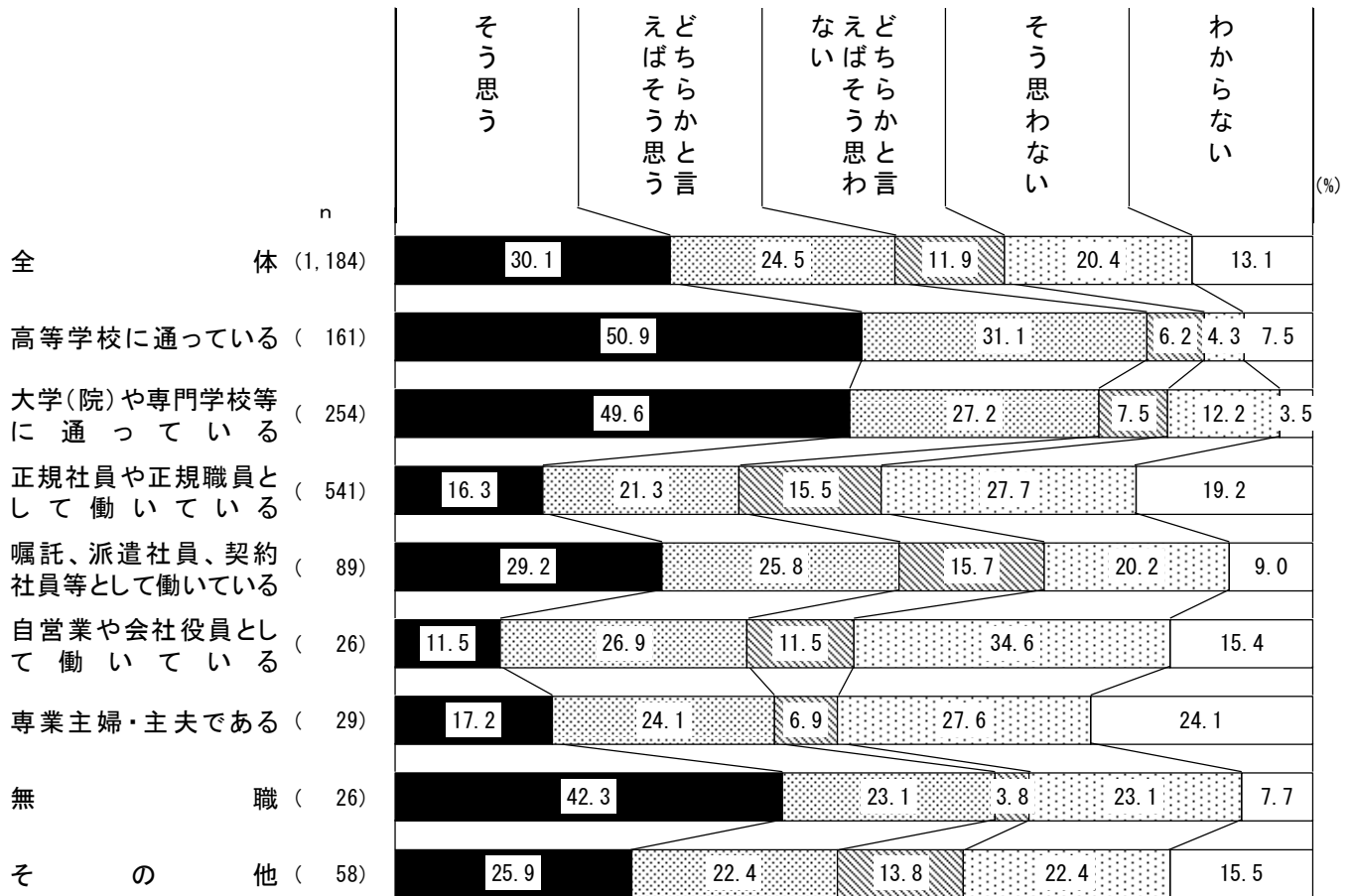
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 5-50】『がんばってはたらかなくても生活していけると思う』について（所属等別）



『希望する学校や会社に入れるか不安だ』について所属等別にみると、「そう思う」は『高等学校に通っている』で50.9%、『大学(院)や専門学校等に通っている』で49.6%と、それぞれ全体に比べて高く、『正規社員や正規職員として働いている』で16.3%と、全体に比べて低くなっている。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

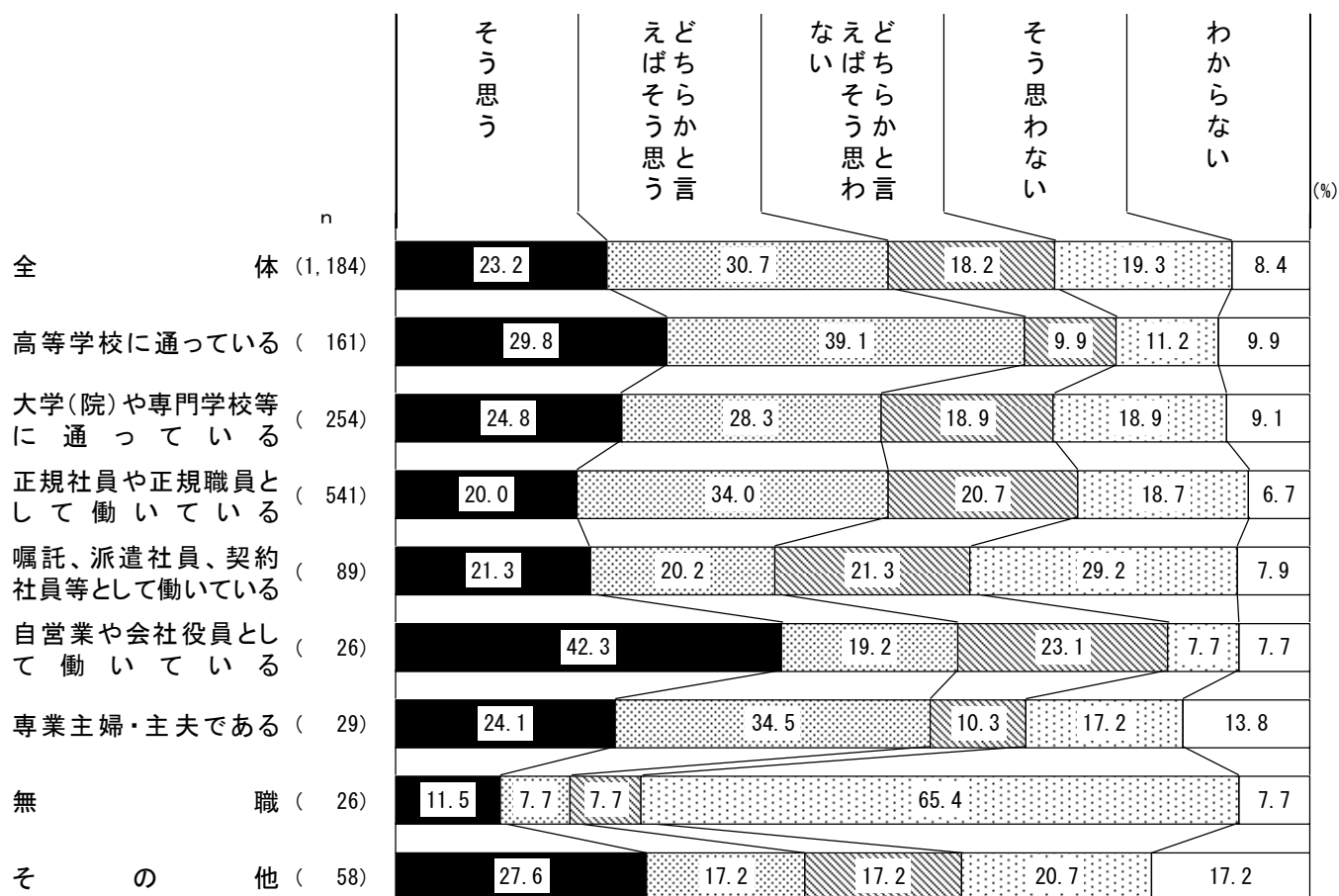
【図表 5-51】『希望する学校や会社に入れるか不安だ』について（所属等別）



『自分の将来が楽しみだ』について所属等別にみると、「どちらかと言えばそう思う」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』で20.2%と、全体に比べて低くなっている。

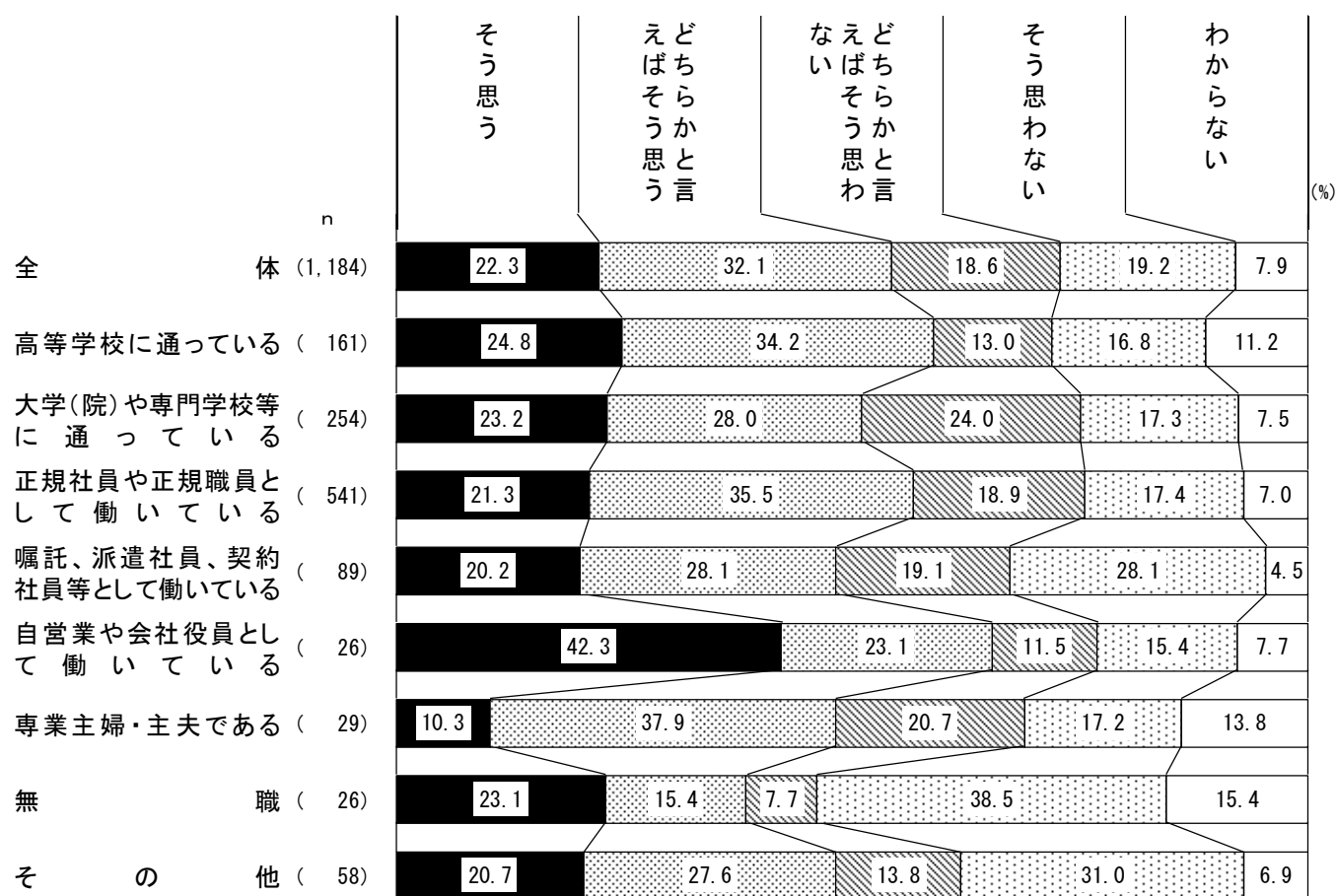
なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 5-52】『自分の将来が楽しみだ』について（所属等別）



『自分のことが好きだ』について所属等別にみると、大きな差はみられない  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

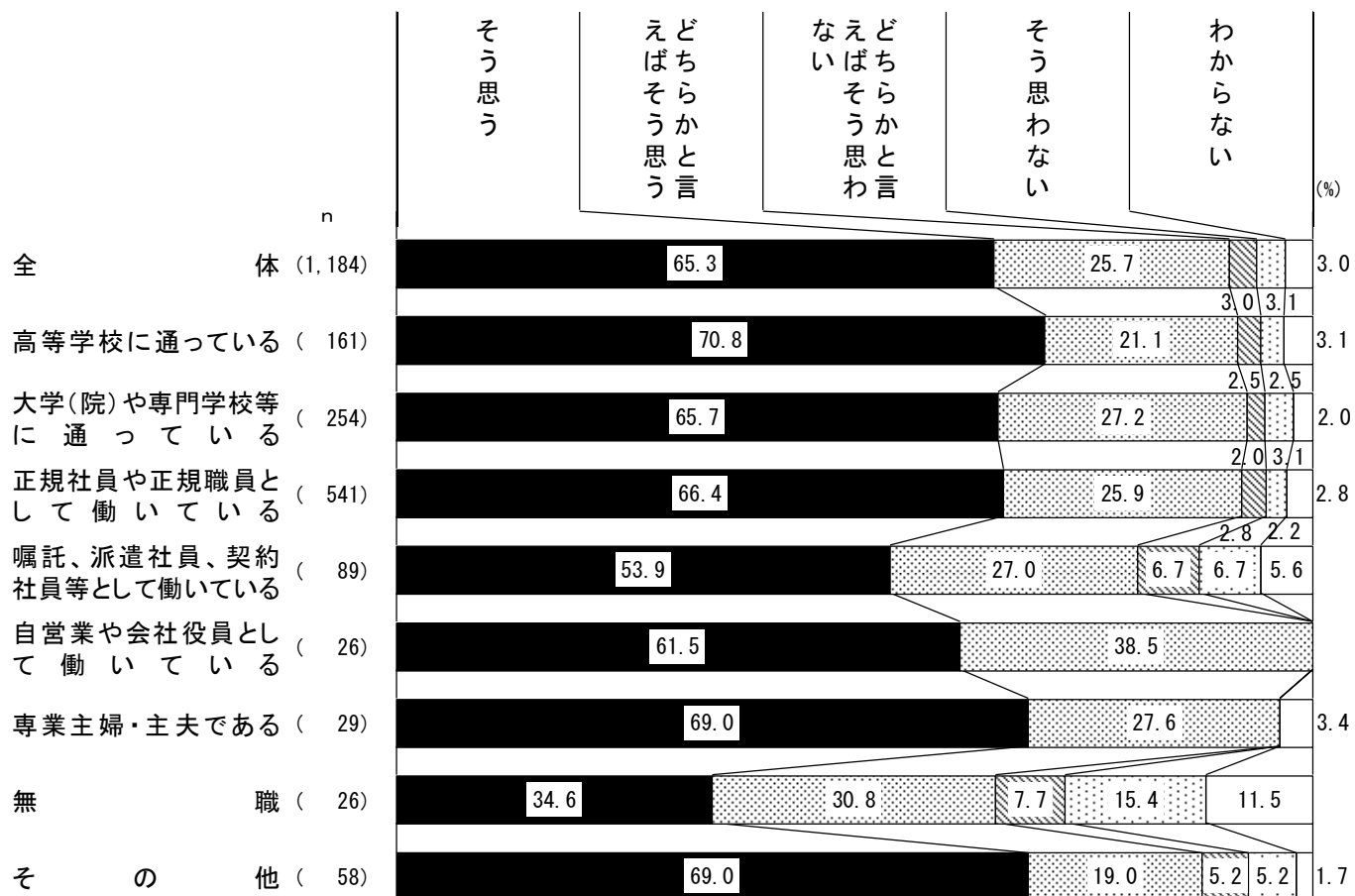
【図表 5-53】『自分のことが好きだ』について（所属等別）



『自分は家族に大事にされていると思う』について所属等別にみると、「そう思う」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』で53.9%と、全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

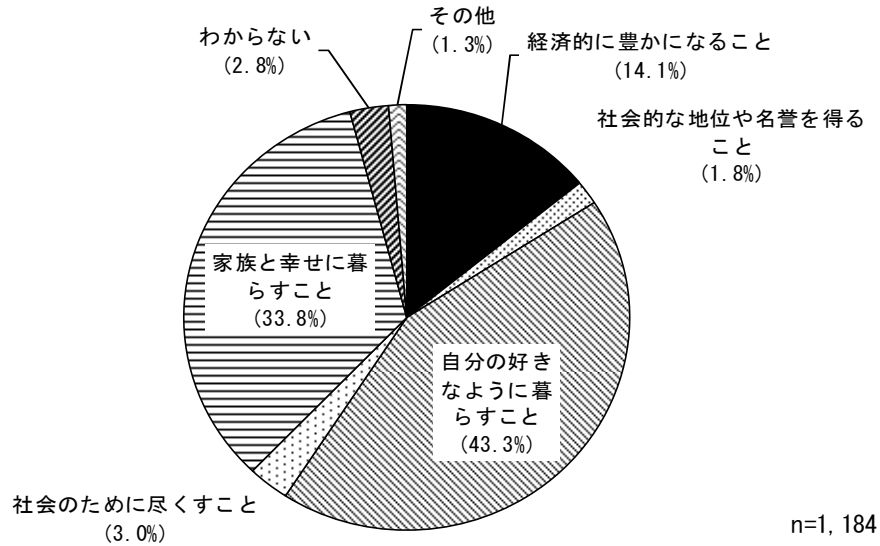
【図表 5-54】『自分は家族に大事にされていると思う』について（所属等別）



(6) 理想とする生き方【問13】(SA)

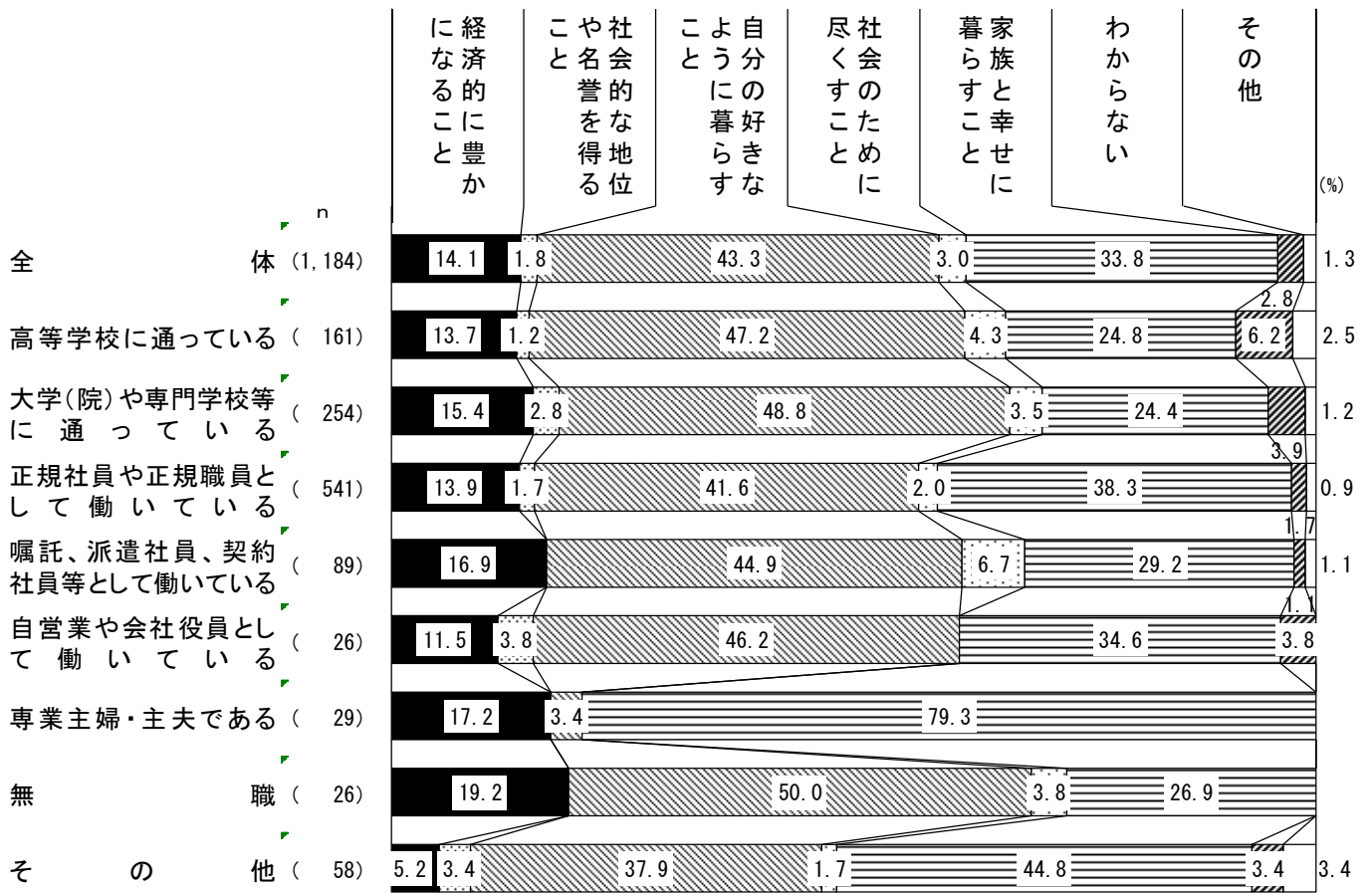
理想とする生き方を聞いたところ、「自分の好きなように暮らすこと」が43.3%で最も高く、次いで「家族と幸せに暮らすこと」が33.8%、「経済的に豊かになること」が14.1%となっている。

【図表 5-55】理想とする生き方



理想とする生き方について所属等別にみると、大きな差はみられない。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 5-56】理想とする生き方（所属等別）



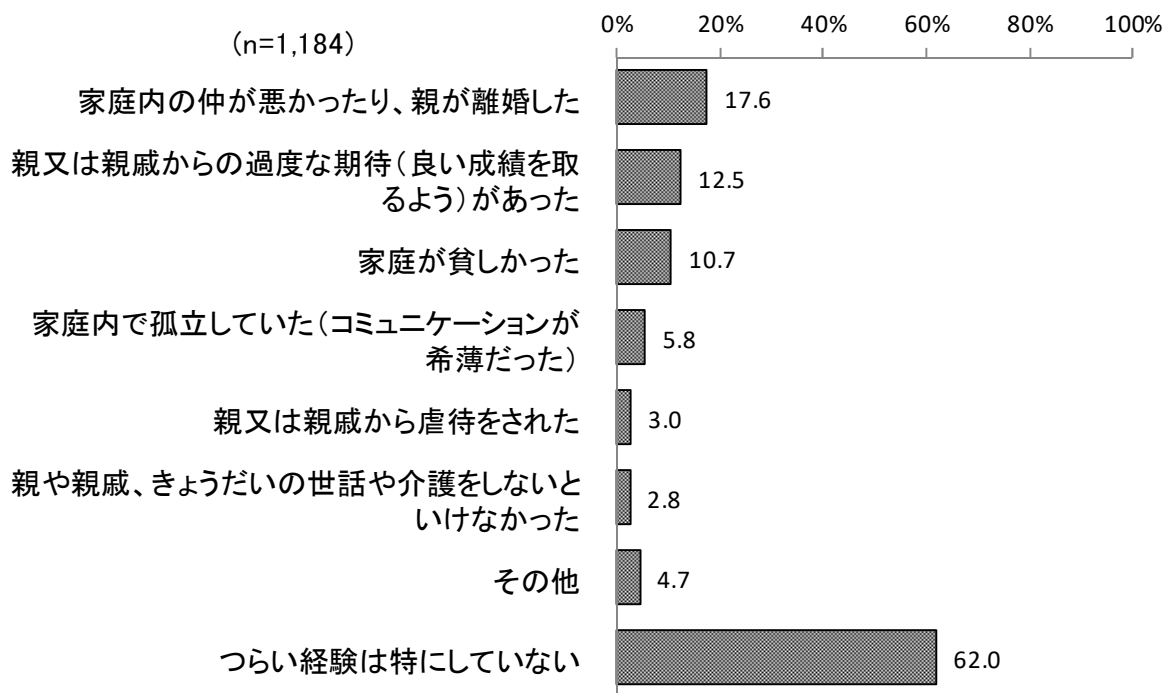
(7) つらい経験

ア 家族間・家庭でのつらい経験【問 14-1】(MA)

家族間・家庭でのつらい経験を複数回答で聞いたところ、「つらい経験は特にしていない」が62.0%で最も高くなっている。

つらい経験の内容としては「家庭内の仲が悪かったり、親が離婚した」が17.6%で最も高く、次いで「親又は親戚からの過度な期待(よい成績を取るよう)があった」が12.5%、「家庭が貧しかった」が10.7%となっている。

【図表 5-57】 家族間・家庭でのつらい経験(複数回答)





家族間・家庭でのつらい経験を所属等別にみると、「家庭が貧しかった」と「家庭内の仲が悪かったり、親が離婚した」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』で 27.0%、28.1%とそれぞれ全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

【図表 5-58】家族間・家庭でのつらい経験（複数回答）（所属等別）

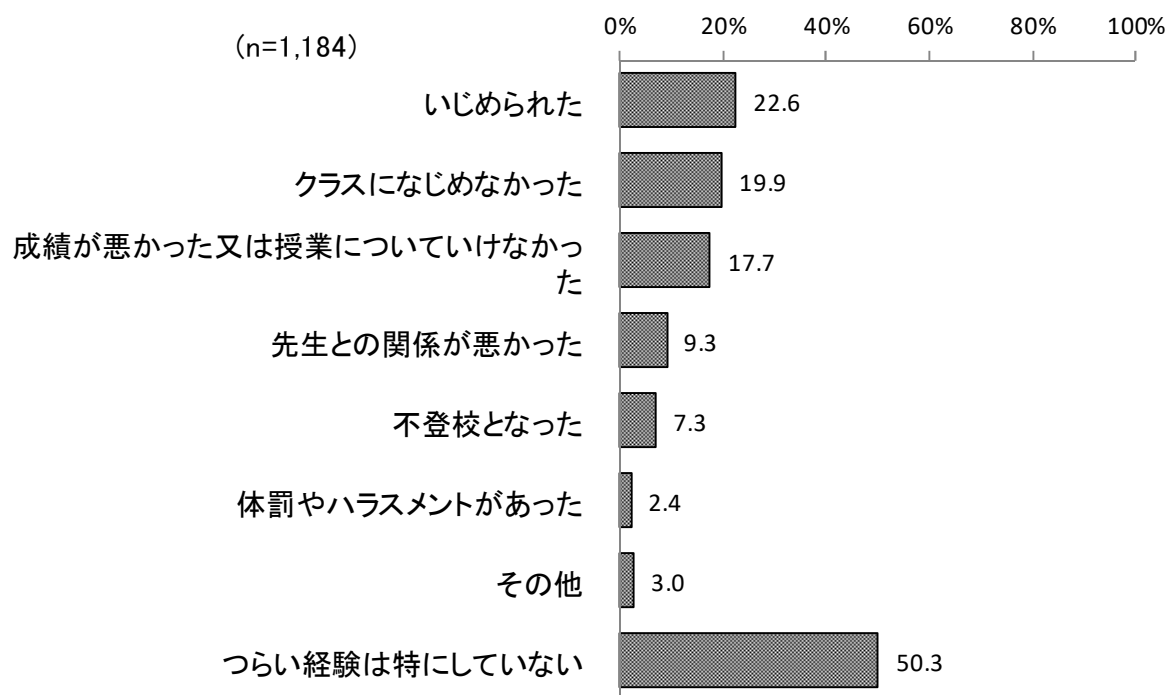
		n	家庭が貧しかった	るな親 よ期又 う待は ）親 が良戚 あいか つたら たの 成績過 を取度	を親 さは れた た	たり、 家庭 内の 親が 離婚 した	が希 薄ミ だユ ったニ ケケ ー シ ョ ン	ない の世 いと い話 けや な介 か護 つを たし	そ の 他	てつ らい ない 経験 は特 にし
全	体	1,184	10.7	12.5	3.0	17.6	5.8	2.8	4.7	62.0
所 属 等 別	高等学校に通っている	161	5.6	12.4	2.5	10.6	4.3	0.6	3.1	70.8
	大学（院）や専門学校等に通っている	254	6.7	15.7	2.4	14.6	4.7	1.6	3.9	66.5
	正規社員や正規職員として働いている	541	10.9	11.1	1.8	16.5	4.3	3.1	4.1	64.1
	嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	89	27.0	13.5	3.4	28.1	15.7	4.5	5.6	42.7
	自営業や会社役員として働いている	26	11.5	11.5	3.8	15.4	11.5	0.0	11.5	53.8
	専業主婦・主夫である	29	6.9	6.9	3.4	37.9	6.9	3.4	6.9	55.2
	無職	26	11.5	15.4	15.4	46.2	15.4	7.7	7.7	26.9
	その他	58	17.2	12.1	12.1	22.4	6.9	6.9	12.1	50.0

## イ 学校でのつらい経験【問 14-2】(MA)

学校でのつらい経験を複数回答で聞いたところ、「つらい経験は特にしていない」が50.3%で最も高くなっている。

つらい経験の内容では「いじめられた」が22.6%で最も高く、次いで「クラスになじめなかった」が19.9%、「成績が悪かった又は授業についていけなかった」が17.7%となっている。

【図表 5-59】学校でのつらい経験（複数回答）



学校でのつらい経験を所属等別にみると、「いじめられた」は『高等学校に通っている』で 11.2%、「つらい経験は特にしていない」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』で 39.3%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

【図表 5-60】学校でのつらい経験（複数回答）（所属等別）

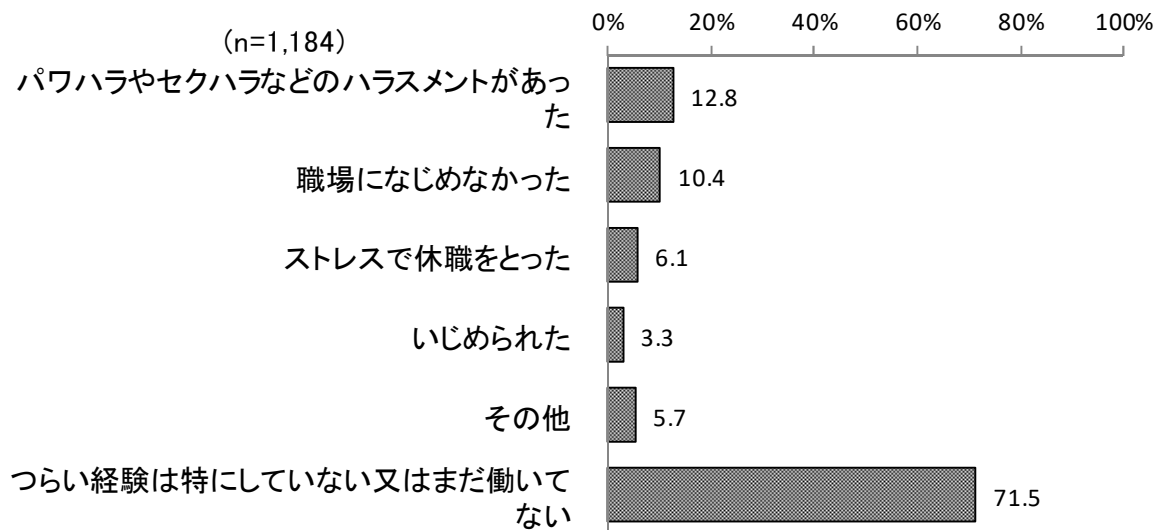
		n	か授成 つ業績 たにが つ悪 いか つた け又 はな	かク つラ たス にな じめ な	か先 つ生 たの 関係 が悪	が体 あ罰 つや たハ ラス メン ト	い じ め ら れ た	不 登 校 と な っ た	そ の 他	てつ いら ない 経 験 は 特 に し
全 体		1,184	17.7	19.9	9.3	2.4	22.6	7.3	3.0	50.3
所 属 等 別	高等学校に通っている	161	24.2	14.9	7.5	1.9	11.2	8.7	4.3	55.9
	大学（院）や専門学校等に通っている	254	20.5	24.8	8.7	0.8	16.1	7.5	3.9	49.6
	正規社員や正規職員として働いている	541	12.0	16.3	7.8	3.0	25.9	4.4	2.0	54.2
	嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	89	25.8	25.8	9.0	2.2	25.8	10.1	2.2	39.3
	自営業や会社役員として働いている	26	23.1	30.8	19.2	0.0	30.8	3.8	3.8	42.3
	専業主婦・主夫である	29	17.2	24.1	17.2	3.4	24.1	6.9	6.9	41.4
	無職	26	34.6	38.5	23.1	3.8	34.6	26.9	3.8	26.9
	その他	58	19.0	22.4	17.2	5.2	37.9	19.0	1.7	37.9

## ウ 職場でのつらい経験【問 14-3】(MA)

職場でのつらい経験を複数回答で聞いたところ、「つらい経験は特にしていない又はまだ働いていない」が71.5%で最も高くなっている。

つらい経験の内容では「パワハラやセクハラなどのハラスメントがあった」が12.8%で最も高く、次いで「職場になじめなかった」が10.4%、「ストレスで休職をとった」が6.1%となっている。

【図表 5-61】職場でのつらい経験（複数回答）



職場でのつらい経験を所属等別にみると、「パワハラやセクハラなどのハラスメントがあった」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』で23.6%と、全体に比べて高く、『高等学校に通っている』で2.5%、『大学（院）や専門学校等に通っている』で2.4%と、全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

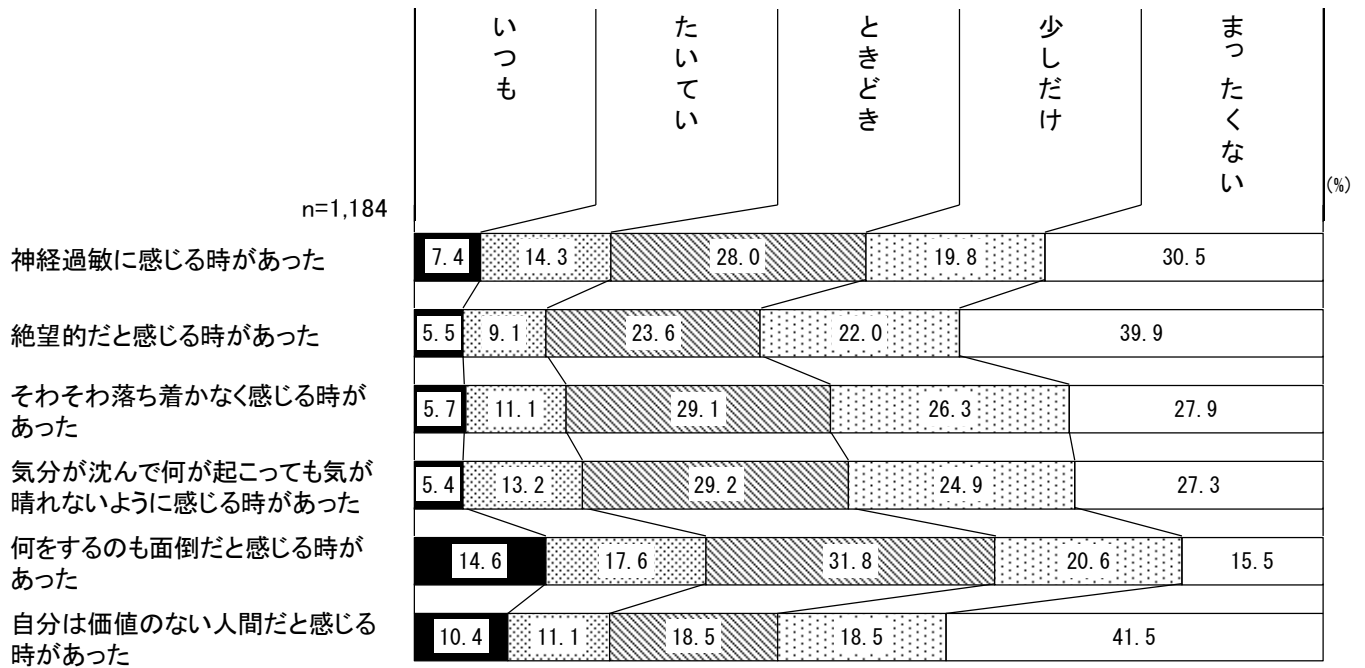
【図表 5-62】職場でのつらい経験（複数回答）（所属等別）

		n	た職場になじめなかつ	がなパ あどワ つのは たハラ ラや スセ メク ンハ トラ	い じ め ら れ た	とス つトレ たス レス で休 職を	そ の 他	いてつ ていら ない経 験は また に働 し
全 体		1,184	10.4	12.8	3.3	6.1	5.7	71.5
所 属 等 別	高等学校に通っている	161	0.6	2.5	0.0	1.2	1.9	94.4
	大学（院）や専門学校等に通っている	254	4.7	2.4	2.0	0.8	1.6	89.8
	正規社員や正規職員として働いている	541	12.4	15.3	3.0	7.0	8.1	64.7
	嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	89	20.2	23.6	6.7	14.6	9.0	49.4
	自営業や会社役員として働いている	26	19.2	38.5	11.5	3.8	3.8	50.0
	専業主婦・主夫である	29	17.2	20.7	10.3	13.8	6.9	48.3
	無職	26	26.9	19.2	3.8	11.5	3.8	53.8
	その他	58	13.8	27.6	8.6	15.5	8.6	55.2

(8) 精神状態【問 15】(SA)

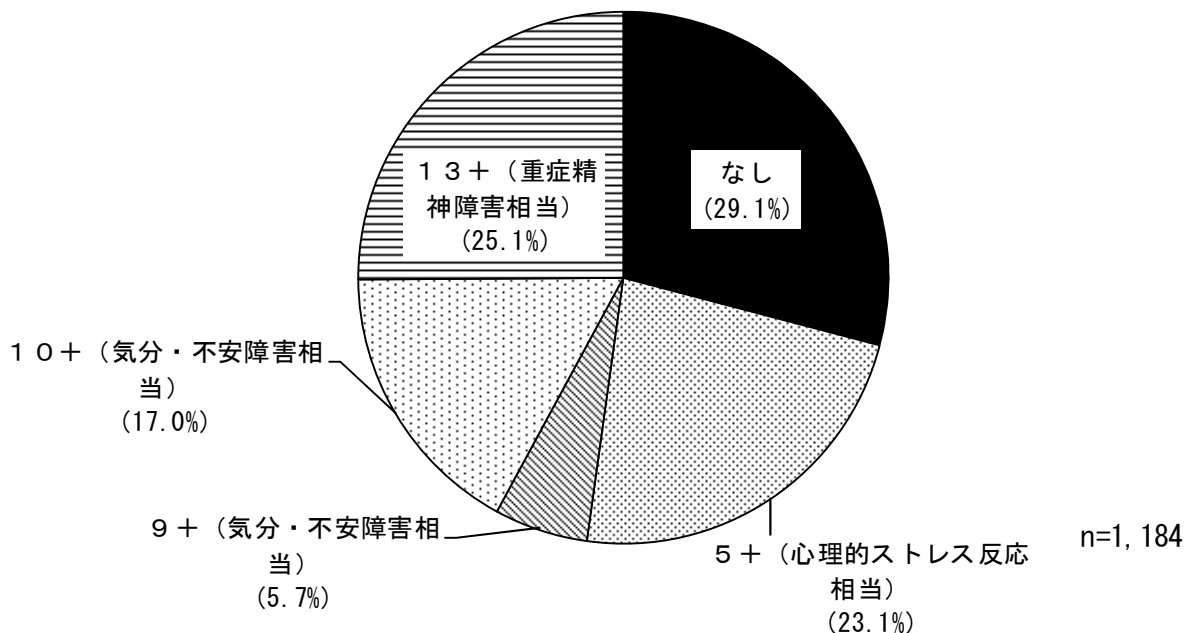
直近 1 か月間の精神状態や考え方を聞いたところ、「いつも」は『何をするのも面倒だと感じる時があった』が 14.6%で最も高く、「まったくない」では『自分は価値のない人間だと感じる時があった』が 41.5%で最も高くなっている。

【図表 5-63】直近 1 か月間の精神状態



精神状態をうつ傾向を測る指標として普及されているK 6指標<sup>1</sup>に基づく分類で分けると、「なし」が29.1%で最も高く、次いで「13+（重症精神障害相当）」が25.1%、「5+（心理的ストレス反応相当）」が23.1%となっている。

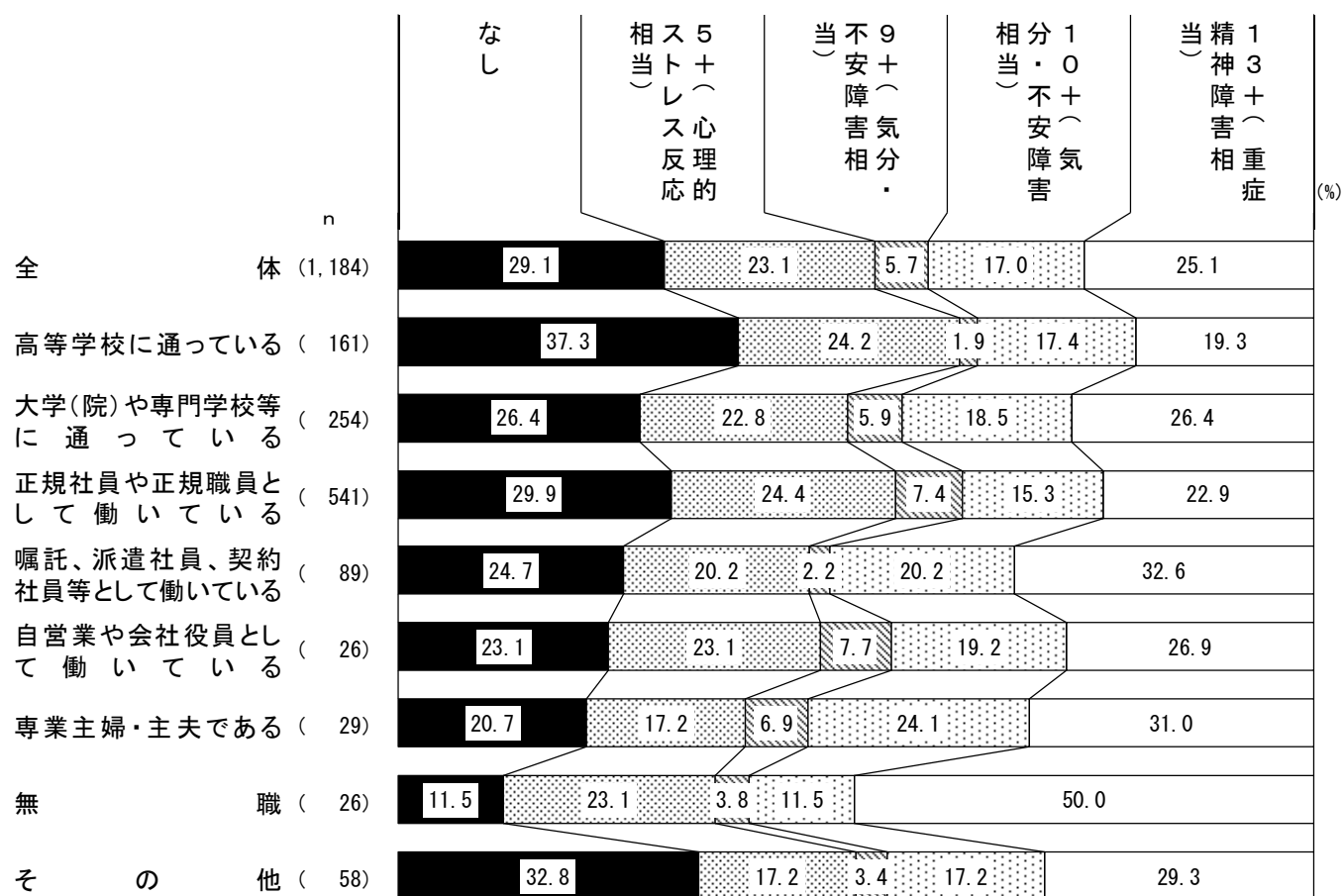
【図表 5-64】 K 6 指標に基づく抑うつ傾向



<sup>1</sup> K 6 指標は、米国の Kessler らによって、うつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、一般住民を対象とした調査で心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として広く利用されており、厚生労働省が実施する国民生活基礎調査においても用いられているものである。6つの質問について、5段階（「まったくない」(0点)、「少しだけ」(1点)、「ときどき」(2点)、「たいてい」(3点)、「いつも」(4点)）で点数化を行い、その得点によって「重症精神障害相当」(13点以上)、「気分・不安障害相当」(9点以上及び10点以上)、「心理的ストレス反応相当」(5点以上)に分類され、合計点数が高いほど精神的な問題がより重い可能性があるとしてされている。

K 6 指標に基づく抑うつ傾向を所属等別にみると、大きな差はみられない。  
 なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

【図表 5-65】 K 6 指標に基づく抑うつ傾向（所属等別）

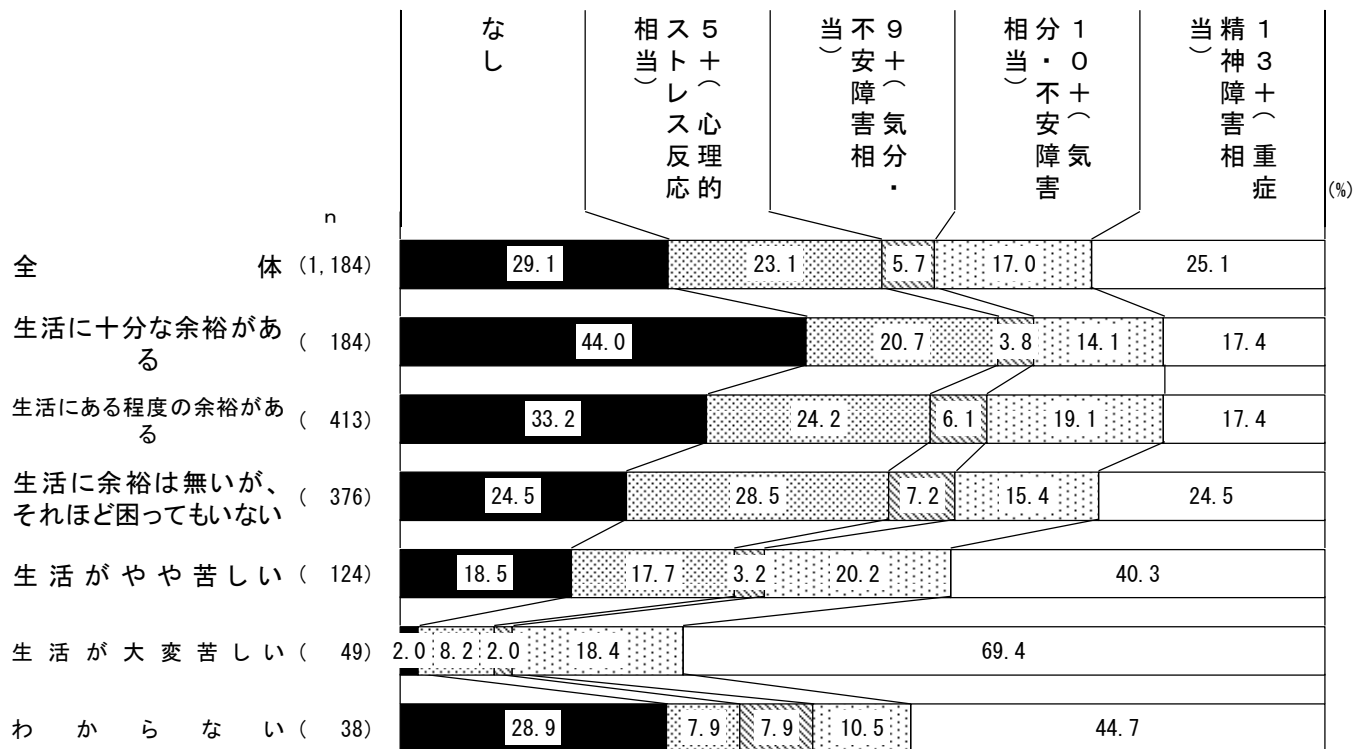




K6 指標に基づく抑うつ傾向を現在の経済的な生活状況別にみると、「なし」は『生活に十分な余裕がある』で 44.0%、「13+（重症精神障害相当）」は『生活がやや苦しい』で 40.3%、『生活が大変苦しい』で 69.4%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が 50 に満たないものは参考値とする。

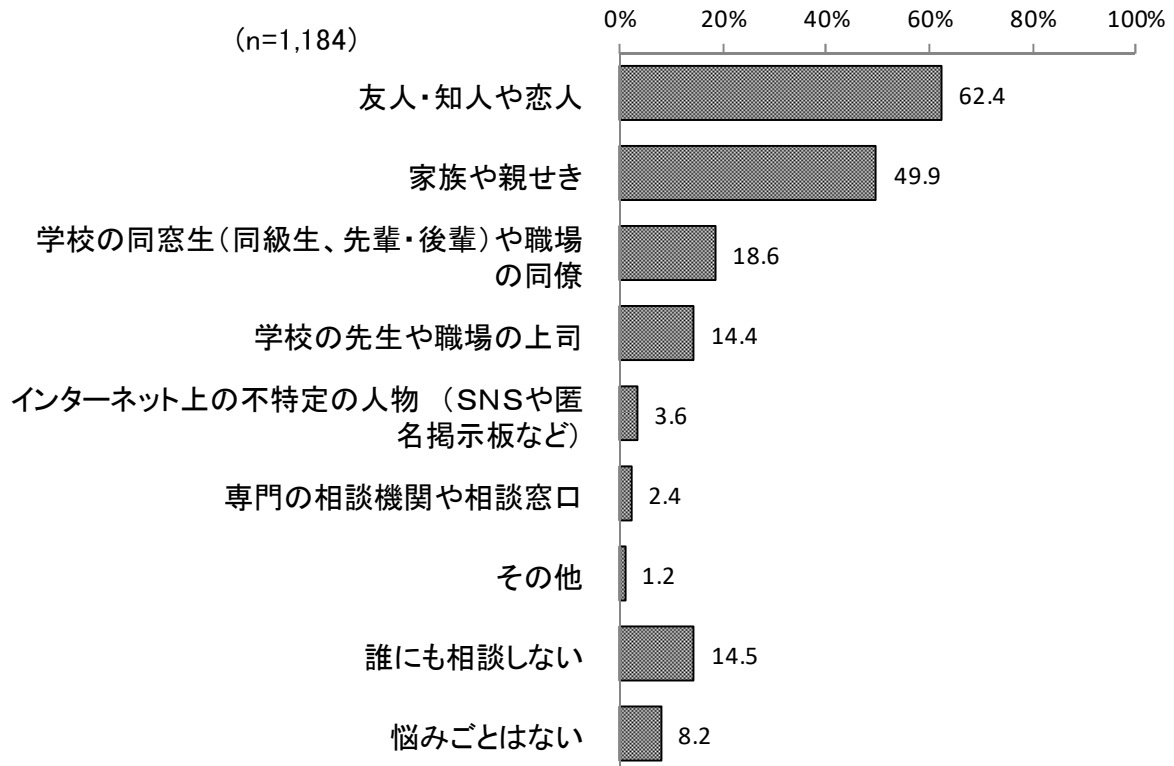
【図表 5-66】 K6 指標に基づく抑うつ傾向（現在の経済的な生活状況別）



(9) 相談相手の有無【問16】(MA)

過去1年間の悩みごとの相談相手を複数回答で聞いたところ、「友人・知人や恋人」が62.4%で最も高く、次いで「家族や親せき」が49.9%、「学校の同窓生(同級生、先輩・後輩)や職場の同僚」が18.6%となっている。

【図表 5-67】 悩みごとの相談相手の有無(複数回答)



過去1年間の悩みごとの相談相手を所属等別にみると、大きな差はみられない。  
 なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 5-68】過去1年間の悩みごとの相談相手（複数回答）（所属等別）

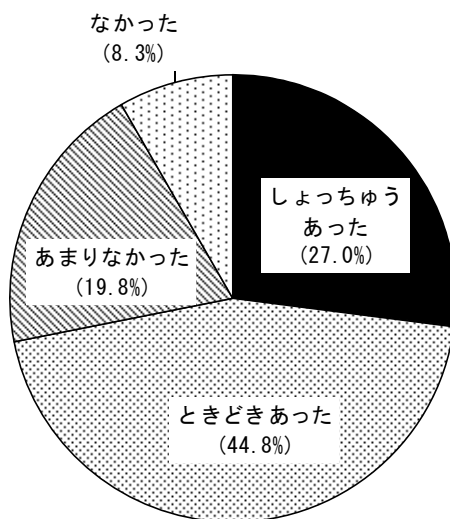
		n	家族 や親せき	友人・知 人や恋人	職生、学 場の校の の先同 の輩窓 ・生 後（同 輩）級 や	上学校 司の先 生や 職 場 の	談専 窓門 口の相 談機 関や 相	どN不 S特定 や匿の 名人 掲物 示ト 板（上 なSの	そ 他	誰 にも 相 談し ない	悩 み ご とは ない
全 体		1,184	49.9	62.4	18.6	14.4	2.4	3.6	1.2	14.5	8.2
所 属 等 別	高等学校に通っている	161	49.1	54.0	19.3	17.4	1.2	3.7	1.2	12.4	14.9
	大学（院）や専門学校等に通っている	254	48.8	65.7	16.5	9.1	2.4	3.9	2.0	15.4	7.1
	正規社員や正規職員として働いている	541	50.6	64.1	21.1	17.4	1.7	2.6	1.3	14.4	7.2
	嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	89	44.9	56.2	15.7	16.9	2.2	5.6	0.0	20.2	9.0
	自営業や会社役員として働いている	26	57.7	76.9	30.8	15.4	0.0	0.0	0.0	3.8	3.8
	専業主婦・主夫である	29	62.1	69.0	6.9	0.0	3.4	3.4	0.0	6.9	3.4
	無職	26	34.6	38.5	3.8	0.0	11.5	11.5	0.0	26.9	11.5
	その他	58	55.2	65.5	13.8	10.3	8.6	6.9	0.0	12.1	5.2

(10) 「いらいらする」「むかつく」こと

ア 直近1か月での「いらいらする」「むかつく」ことの有無【問17-1】(SA)

直近1か月での「いらいらする」「むかつく」ことの有無を聞いたところ、「しょっちゅうあった」(27.0%)と「ときどきあった」(44.8%)の合計が71.8%となっている。

【図表 5-69】直近1か月での「いらいらする」「むかつく」ことの有無

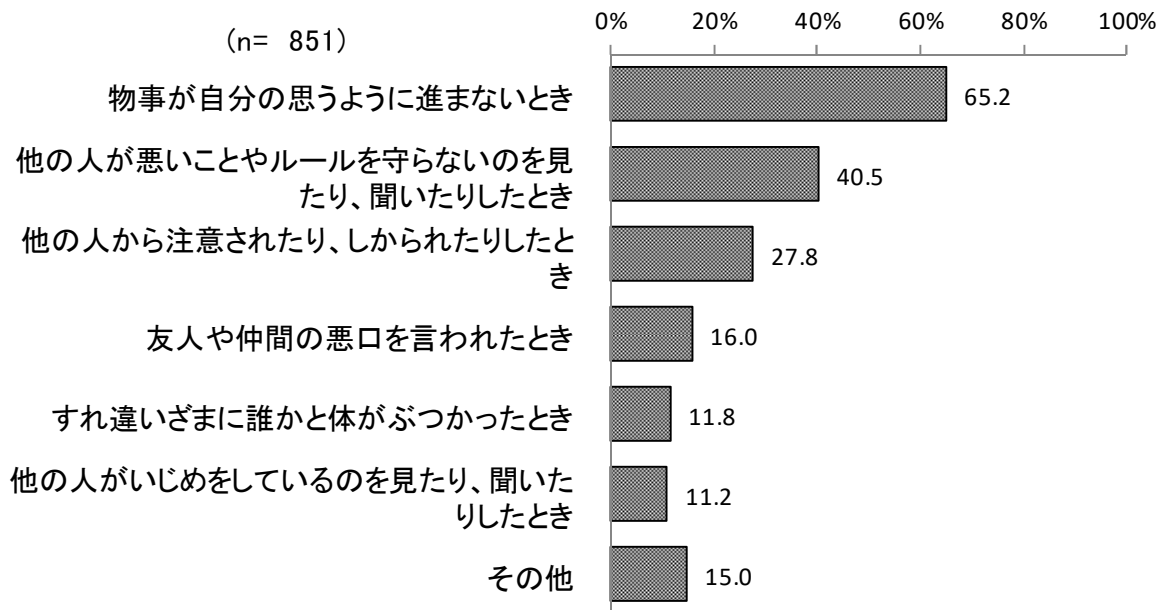


n=1,184

イ どのようなときに「いらいらする」「むかつく」状態になるか【問17-2】(MA)

どのようなときに「いらいらする」「むかつく」状態になるかを複数回答で聞いたところ、「物事が自分の思うように進まないとき」が65.2%で最も高く、次いで「他の人が悪いことやルールを守らないのを見たり、聞いたりしたとき」が40.5%、「他の人から注意されたり、しかられたりしたとき」が27.8%となっている。

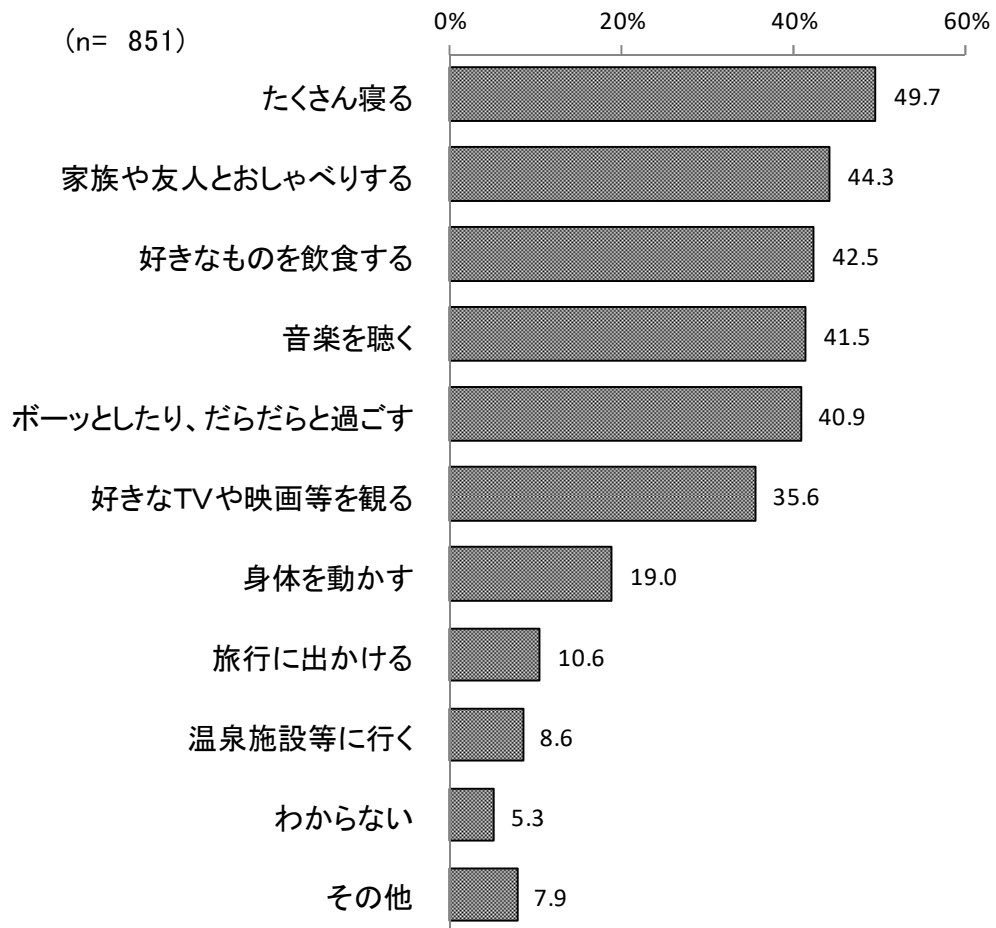
【図表 5-70】 どのようなときに「いらいらする」「むかつく」状態になるか  
(複数回答)



ウ 「いらいらする」「むかつく」状態をどのように解消したか【問 17-3】(MA)

「いらいらする」「むかつく」状態をどのように解消したかを複数回答で聞いたところ、「たくさん寝る」が 49.7%で最も高く、次いで「家族や友人とおしゃべりする」が 44.3%、「好きなものを飲食する」が 42.5%となっている。

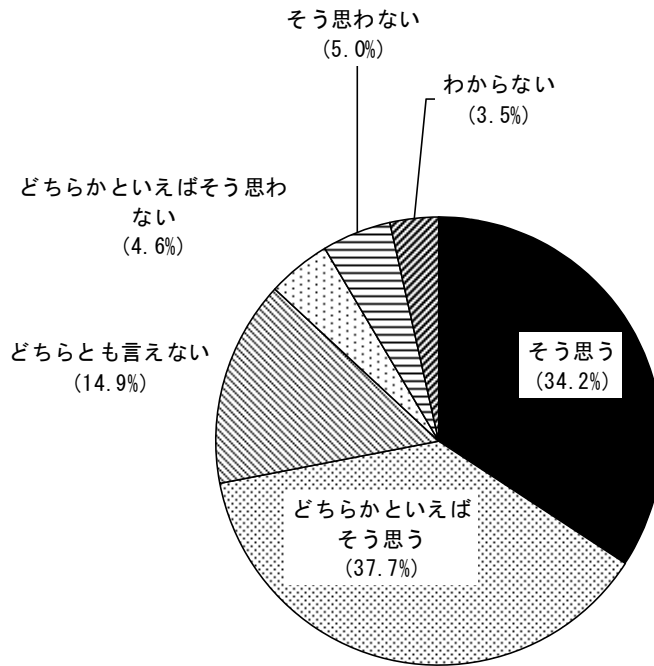
【図表 5-71】「いらいらする」「むかつく」状態をどのように解消したか  
(複数回答)



(11) 現在の幸福感【問 18】 (SA)

現在の幸福感を聞いたところ、「そう思う」(34.2%)と「どちらかといえばそう思う」(37.7%)を足し合わせた割合が71.9%、「どちらとも言えない」が14.9%、「どちらかといえばそう思わない」(4.6%)と「そう思わない」(5.0%)を足し合わせた割合が9.6%となっている。

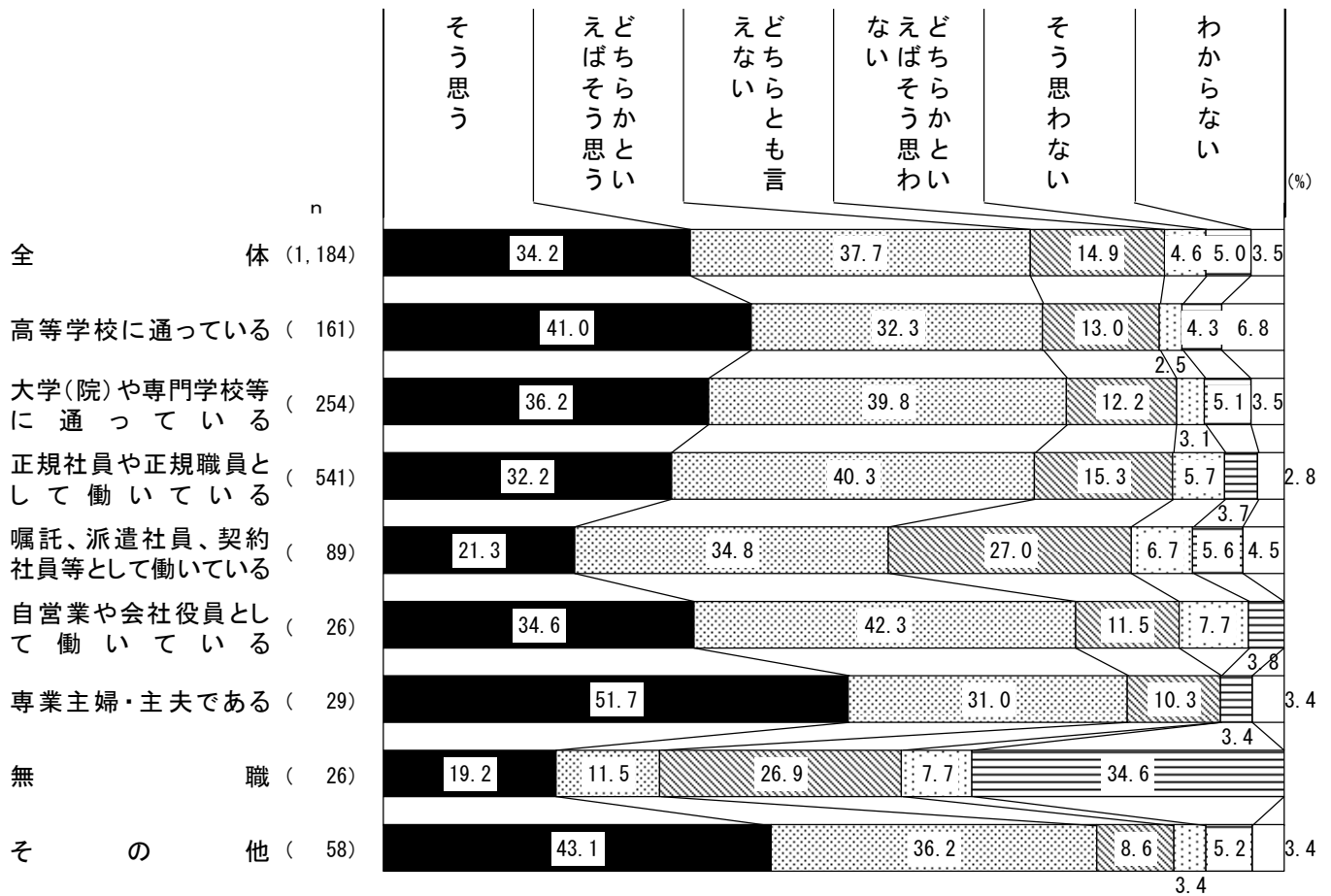
【図表 5-72】現在の幸福感



n=1, 184

現在の幸福感を所属等別にみると、『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』で「そう思う」は21.3%と、全体と比べて低く、「どちらとも言えない」は27.0%と、全体に比べて高くなっている。なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 5-73】現在の幸福感（所属等別）

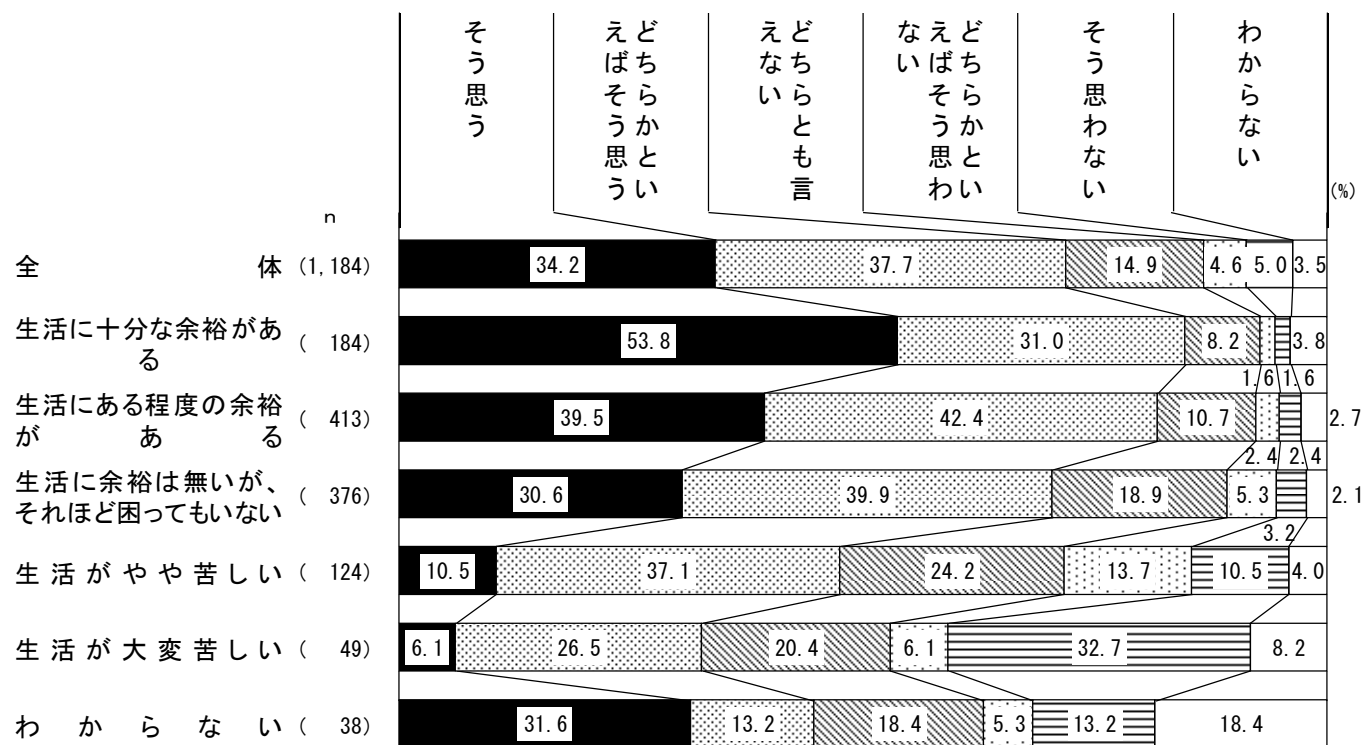




現在の幸福感を現在の経済的な生活状況別にみると、「そう思う」は『生活に十分な余裕がある』で53.8%、「そう思わない」は『生活が大変苦しい』で32.7%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。一方、「そう思う」は『生活がやや苦しい』で10.5%、『生活が大変苦しい』で6.1%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 5-74】現在の幸福感（現在の経済的な生活状況別）



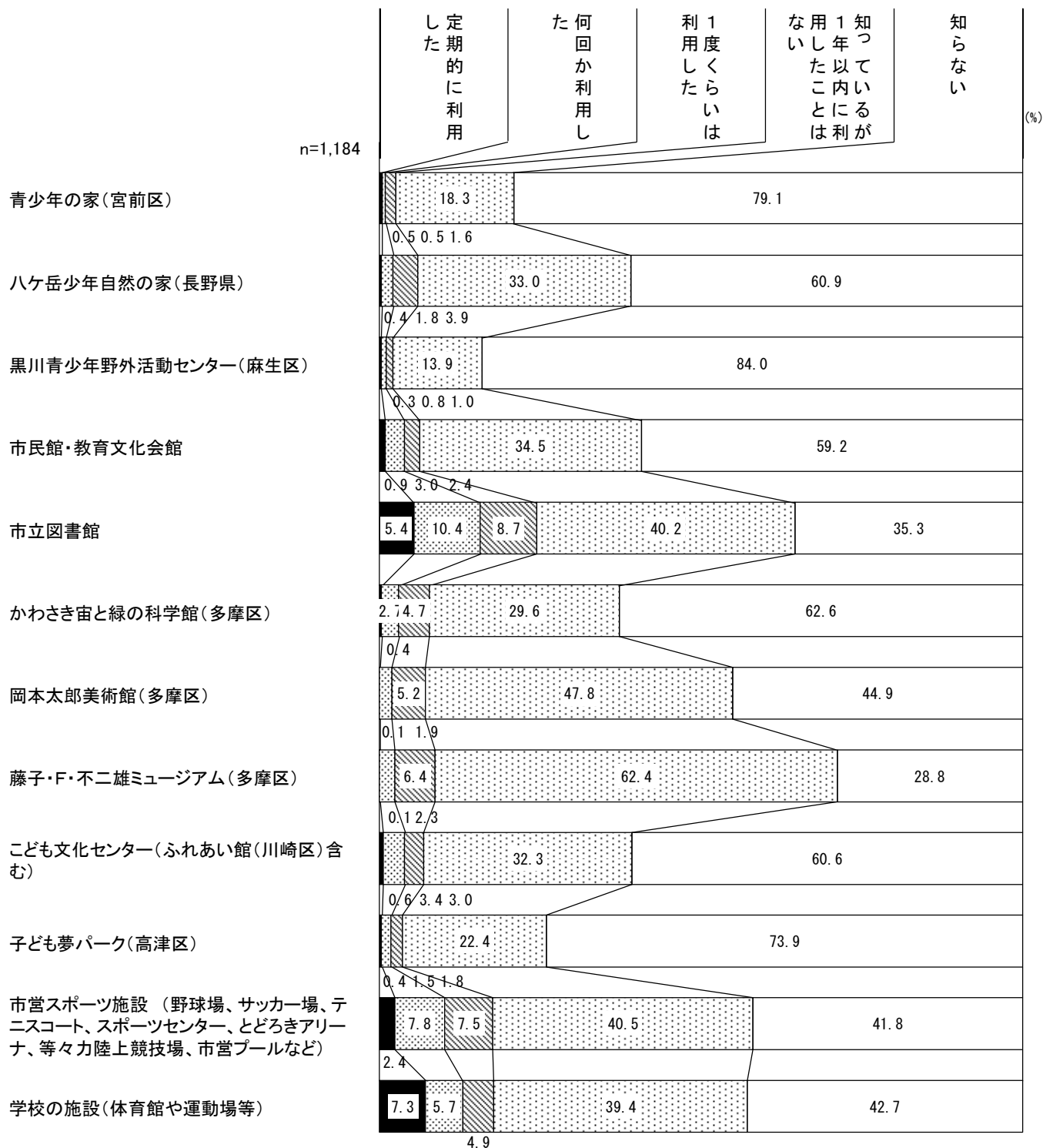
## 第4節 青少年関連施設等

### (1) 青少年関連施設

#### ア 青少年関連施設の利用状況【問19-1】(SA)

青少年関連施設の過去1年間の利用状況を聞いたところ、「定期的に利用した」と「何回か利用した」、「1度くらいは利用した」を足し合わせた割合は『市立図書館』が24.5%で最も高く、次いで『学校の施設（体育館や運動場等）』が17.9%、『市営スポーツ施設（野球場、サッカー場、テニスコート、スポーツセンター、とどろきアリーナ、等々力陸上競技場、市営プールなど）』が17.7%となっている。

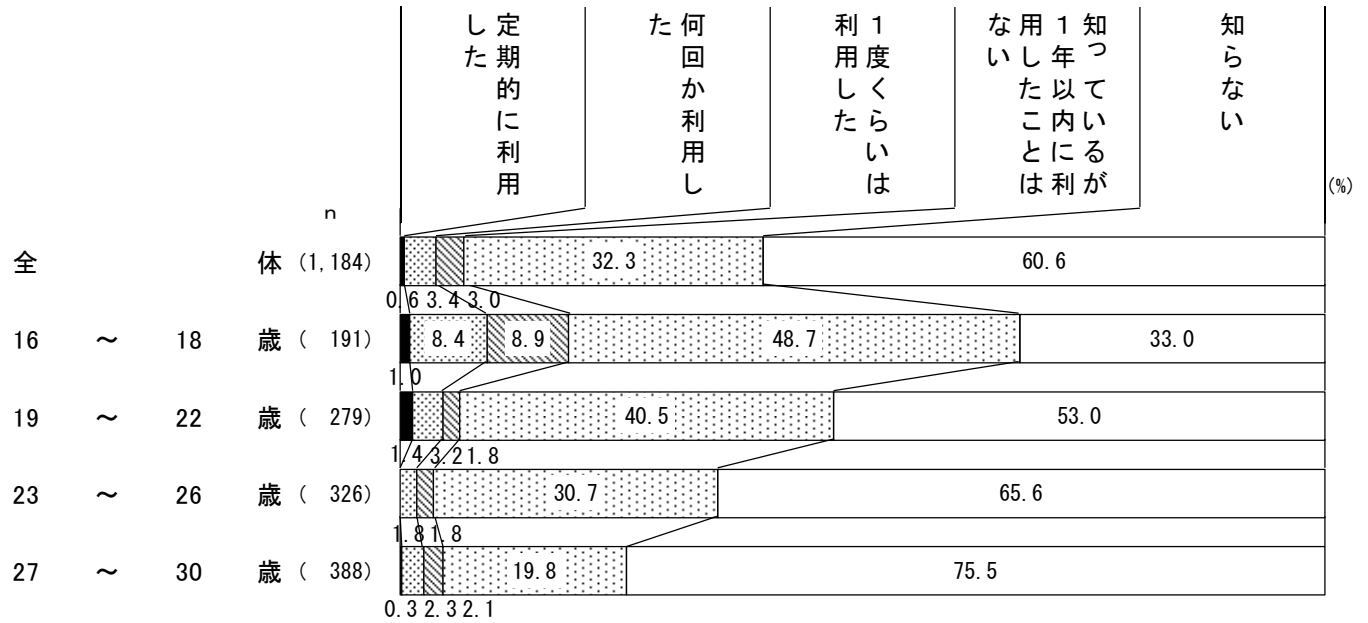
【図表 5-75】 青少年関連施設の利用状況



こども文化センター（ふれあい館含む）の利用状況を年齢別にみると、「知っているが1年以内に利用したことはない」は『16～18歳』で48.7%、「知らない」は『27～30歳』で75.5%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。

一方、「知らない」は『16～18歳』で33.0%と、全体に比べて低くなっている。

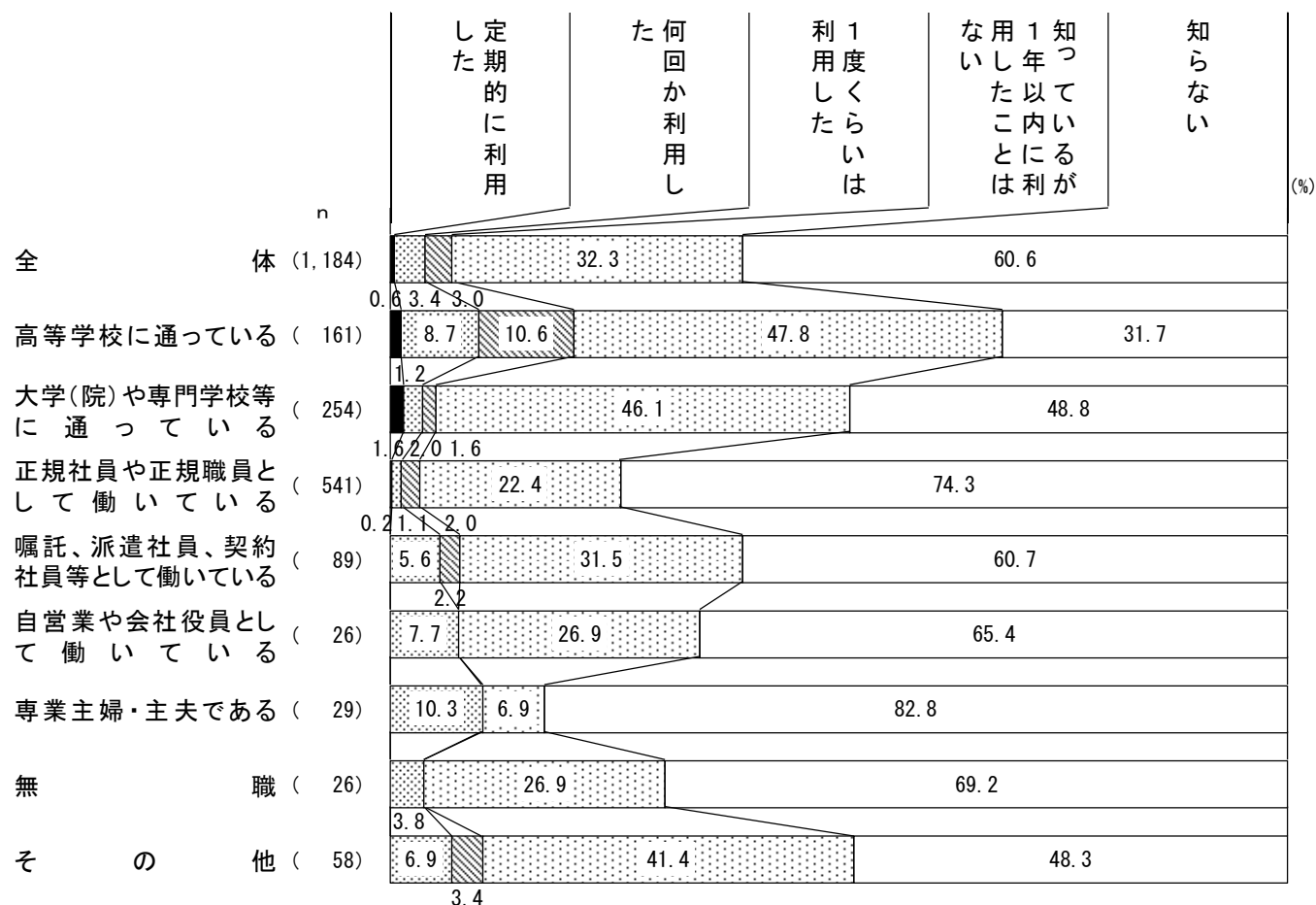
【図表 5-76】 こども文化センター（ふれあい館含む）の利用状況（年齢別）



こども文化センター（ふれあい館含む）の利用状況を所属等別にみると、「知っているが1年以内に利用したことはない」は『高等学校に通っている』で47.8%、『大学（院）や専門学校等に通っている』で46.1%、「知らない」は『正規社員や正規職員として働いている』で74.3%と、それぞれ全体に比べて高くなっている。一方、「知らない」は『高等学校に通っている』で31.7%、『大学（院）や専門学校等に通っている』で48.8%と、それぞれ全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

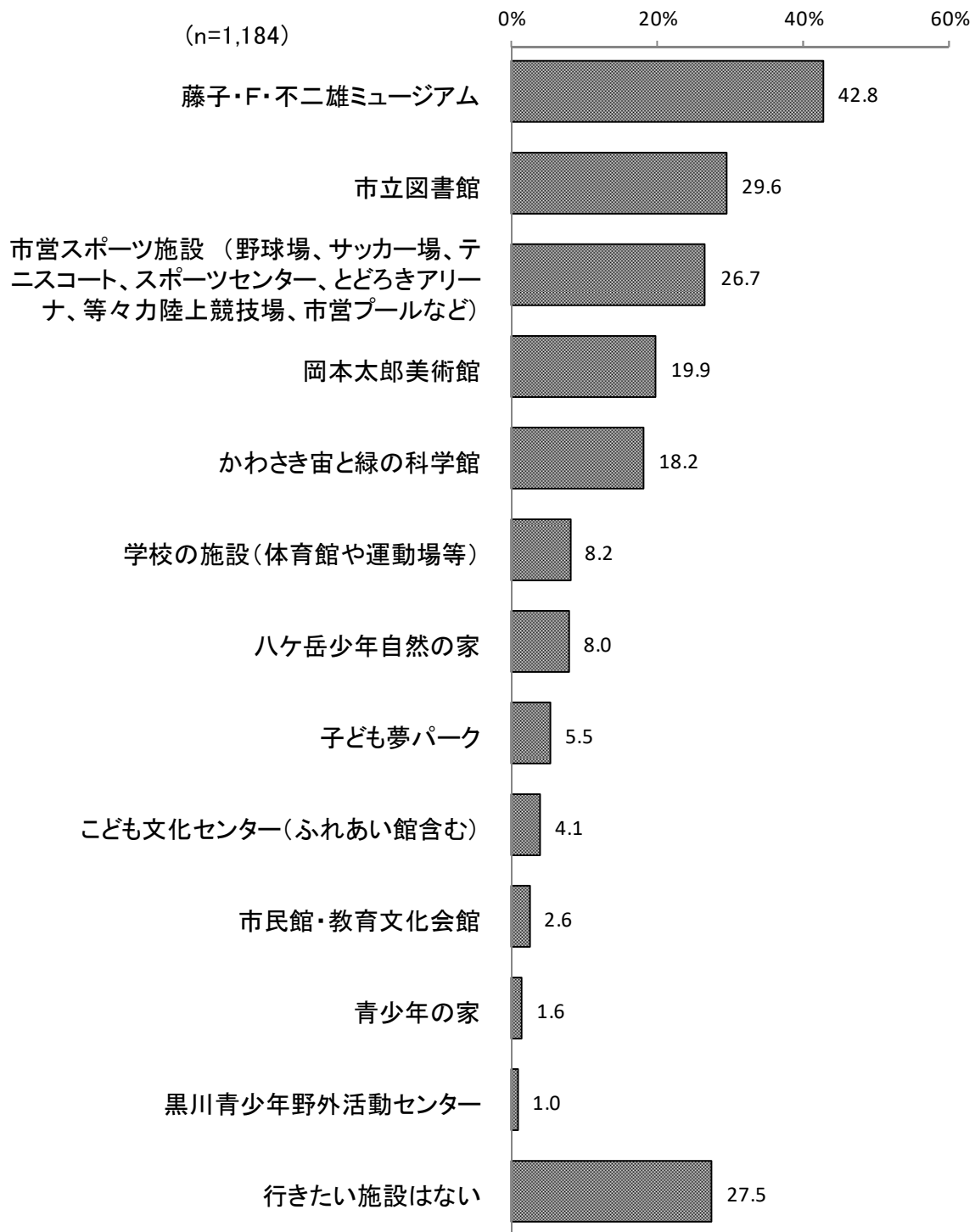
【図表 5-77】 こども文化センター（ふれあい館含む）の利用状況（所属等別）



イ 今後も行きたいと思う施設【問 19-2】(MA)

今後も行きたいと思う施設を複数回答で聞いたところ、「藤子・F・不二雄ミュージアム」が42.8%で最も高く、次いで「市立図書館」が29.6%、「市営スポーツ施設（野球場、サッカー場、テニスコート、スポーツセンター、とどろきアリーナ、等々カ陸上競技場、市営プールなど）」が26.7%となっている。

【図表 5-78】今後も行きたいと思う施設（複数回答）

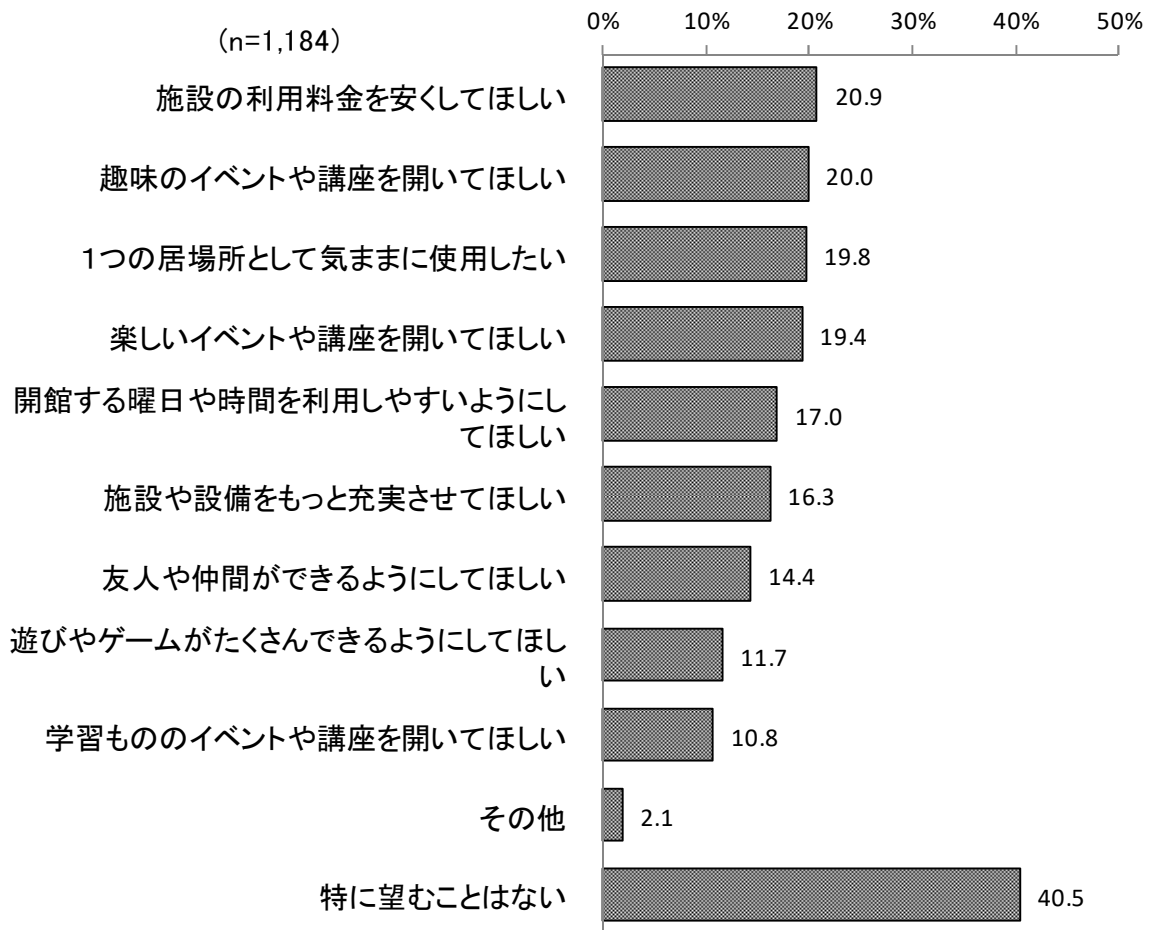


ウ 青少年関連施設に望むこと【問 20】(MA)

青少年関連施設に望むことを複数回答で聞いたところ、「施設の利用料金を安くしてほしい」が20.9%で最も高く、次いで「趣味のイベントや講座を開いてほしい」が20.0%、「1つの居場所として気ままに使用したい」が19.8%となっている。

一方、「特に望むことはない」は40.5%と高くなっている。

【図表 5-79】青少年関連施設に望むこと（複数回答）

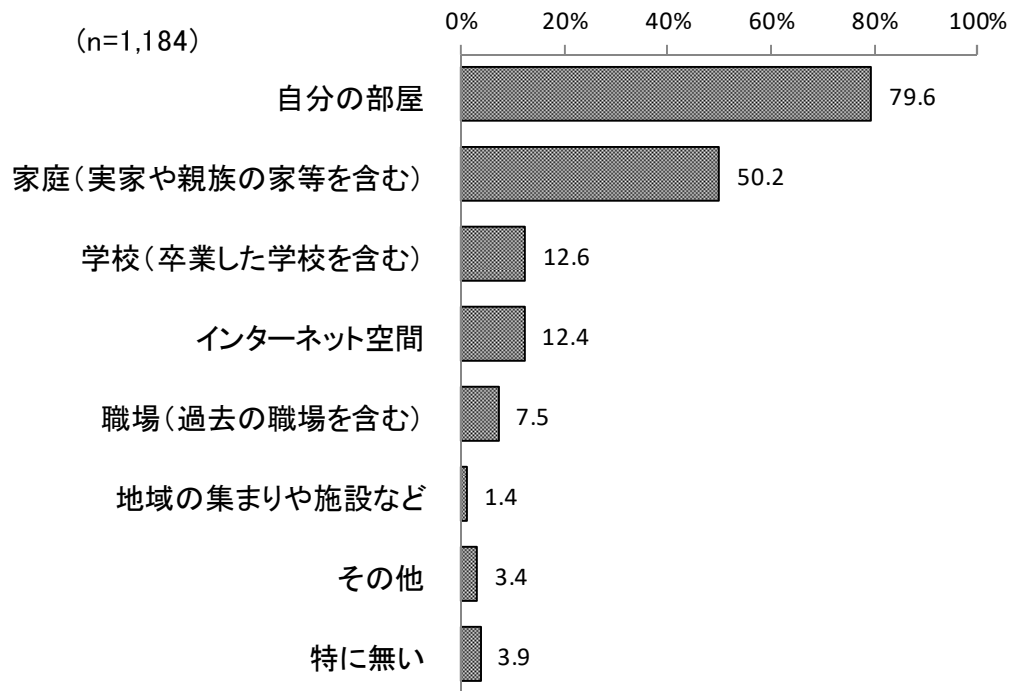


## (2) 居場所

### ア 落ち着ける、または自分らしくいられる居場所【問 21-1】(MA)

落ち着ける、または自分らしくいられる居場所を複数回答で聞いたところ、「自分の部屋」が79.6%で最も高く、次いで「家庭（実家や親族の家等を含む）」が50.2%、「学校（卒業した学校を含む）」が12.6%となっている。

【図表 5-80】 落ち着ける、または自分らしくいられる居場所（複数回答）



所属等別にみると、「学校（卒業した学校を含む）」は『高等学校に通っている』で27.3%と、全体に比べて高くなっている。一方、「家庭（実家や親族の家等を含む）」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』で37.1%と、全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 5-81】 落ち着ける、または自分らしくいられる居場所（複数回答）（所属等別）

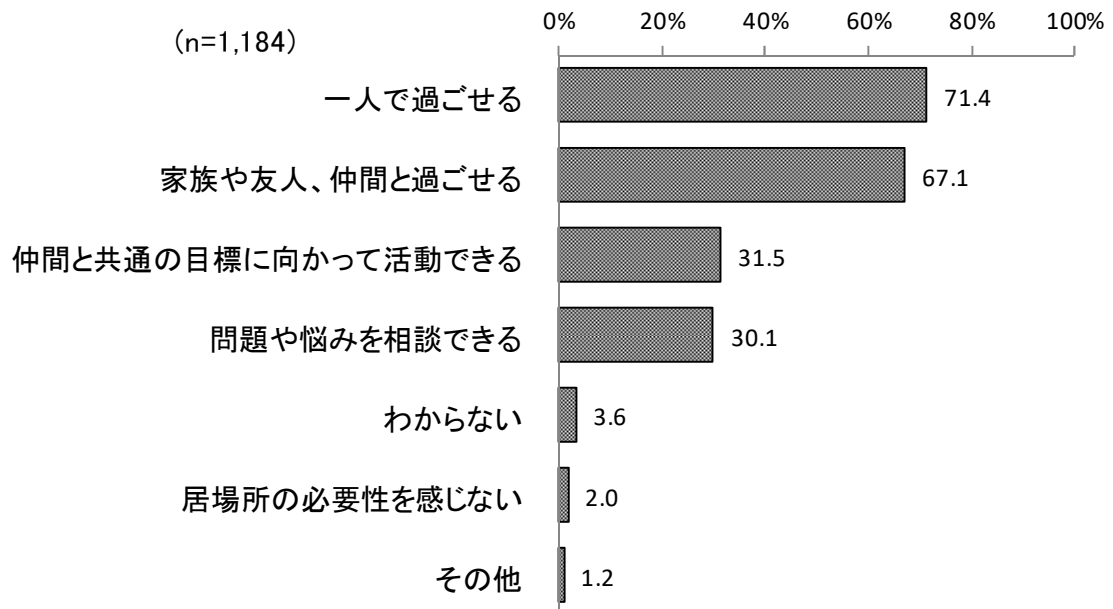
		n	自分の部屋	家庭（実家や親族の家等を含む）	学校（卒業した学校を含む）	職場（過去の職場を含む）	地域の集まりや施設など	インターネット空間	その他	特に無い
全体		1,184	79.6	50.2	12.6	7.5	1.4	12.4	3.4	3.9
所属等別	高等学校に通っている	161	82.0	49.7	27.3	0.6	1.2	14.9	3.1	2.5
	大学（院）や専門学校等に通っている	254	83.1	48.4	22.4	3.5	2.0	9.4	2.8	3.9
	正規社員や正規職員として働いている	541	80.4	51.8	7.0	11.1	1.3	11.5	3.1	3.7
	嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	89	84.3	37.1	3.4	5.6	2.2	15.7	5.6	4.5
	自営業や会社役員として働いている	26	84.6	50.0	0.0	19.2	3.8	7.7	0.0	3.8
	専業主婦・主夫である	29	41.4	65.5	3.4	3.4	0.0	10.3	6.9	10.3
	無職	26	80.8	23.1	3.8	0.0	0.0	30.8	0.0	7.7
	その他	58	60.3	69.0	8.6	13.8	0.0	17.2	6.9	3.4



## イ どのような居場所があればいいか【問 21-2】(MA)

どのような居場所があればいいかを複数回答で聞いたところ、「一人で過ごせる」が71.4%で最も高く、次いで「家族や友人、仲間と過ごせる」が67.1%、「仲間と共通の目標に向かって活動できる」が31.5%となっている。

【図表 5-82】 どのような居場所があればいいか（複数回答）



所属等別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 5-83】どのような居場所があればいいか（複数回答）（所属等別）

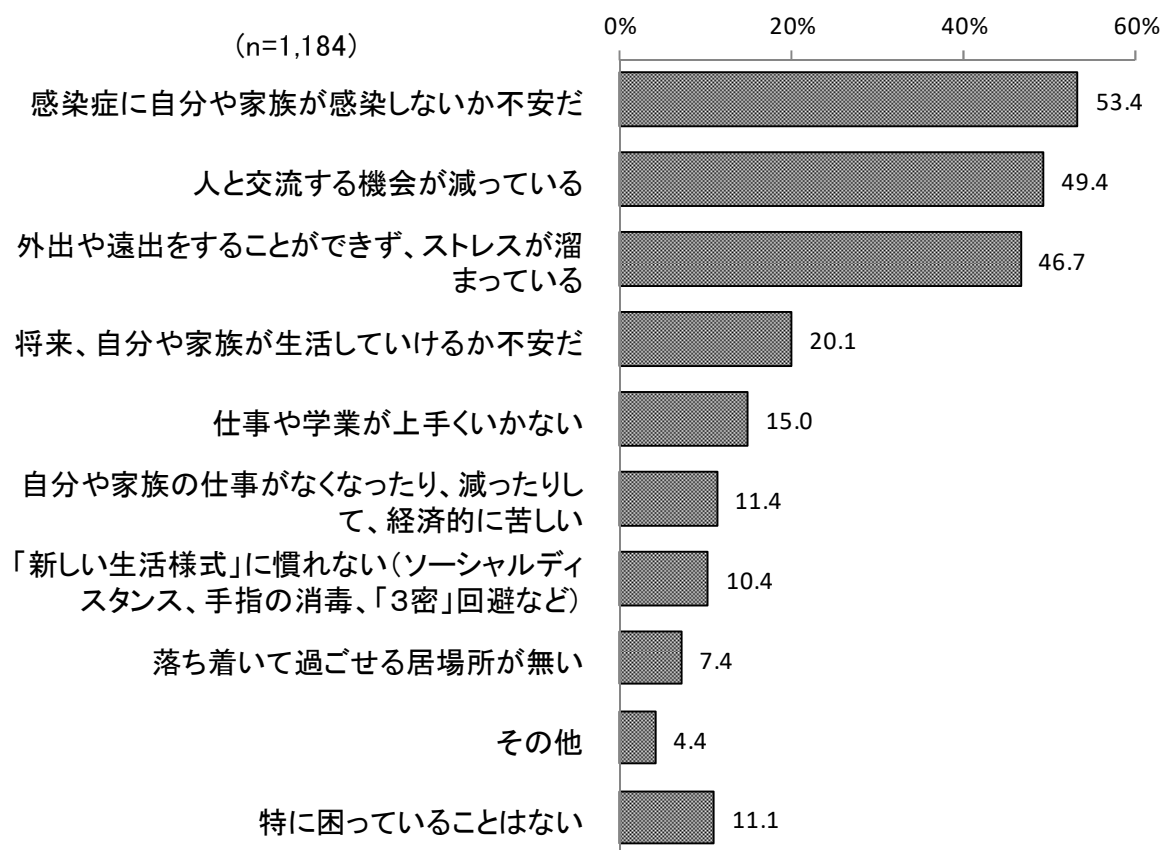
		n	一人で過ごせる	家族や友人、仲間と過ごせる	仲間と共通の目標に向かつて活動できる	問題や悩みを相談できる	わからない	居場所の必要性を感じない	その他
全体		1,184	71.4	67.1	31.5	30.1	3.6	2.0	1.2
所属等別	高等学校に通っている	161	71.4	69.6	34.2	28.6	5.0	0.6	0.6
	大学（院）や専門学校等に通っている	254	73.6	68.5	35.4	30.3	2.8	2.0	0.8
	正規社員や正規職員として働いている	541	71.5	68.9	31.1	28.1	4.3	2.2	1.1
	嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	89	71.9	58.4	31.5	37.1	1.1	2.2	2.2
	自営業や会社役員として働いている	26	57.7	69.2	42.3	42.3	0.0	0.0	0.0
	専業主婦・主夫である	29	62.1	58.6	6.9	17.2	6.9	6.9	3.4
	無職	26	76.9	30.8	15.4	30.8	3.8	3.8	0.0
	その他	58	67.2	69.0	25.9	41.4	1.7	1.7	3.4

## 第5節 その他

### (1) 新型コロナウイルス感染症で困っていること【問22】(MA)

新型コロナウイルス感染症で困っていることを複数回答で聞いたところ、「感染症に自分や家族が感染しないか不安だ」が53.4%で最も高く、次いで「人と交流する機会が減っている」が49.4%、「外出や遠出をすることができず、ストレスが溜まっている」が46.7%となっている。

【図表 5-84】新型コロナウイルス感染症で困っていること（複数回答）



新型コロナウイルス感染症で困っていることを所属別にみると、「人と交流する機会が減っている」は『大学(院)や専門学校等に通っている』が63.0%、「将来、自分や家族が生活していけるか不安だ」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が36.0%でそれぞれ全体に比べて高くなっている。一方、「人と交流する機会が減っている」は『高等学校に通っている』が34.2%、『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が36.0%で、それぞれ全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

【図表 5-85】新型コロナウイルス感染症で困っていること（複数回答）（所属等別）

		n	人と交流する機会が減っている	外出先で遠出を控えている	居場所がない	仕事や学業が上手くない	自分や家族の仕事がなくなったり、経済的に苦しい	将来、自分や家族が生活していけるか不安だ	「3密」回避など	「新しい生活様式」に慣れない	感染症に自分や家族が感染しないか不安だ	その他	特に困っていること
全体		1,184	49.4	46.7	7.4	15.0	11.4	20.1	10.4	53.4	4.4	11.1	
所属等別	高等学校に通っている	161	34.2	39.1	5.0	20.5	5.6	14.9	10.6	44.7	8.1	18.0	
	大学(院)や専門学校等に通っている	254	63.0	48.8	9.8	24.8	10.6	24.0	11.8	50.0	5.9	6.7	
	正規社員や正規職員として働いている	541	49.9	47.5	6.1	9.1	10.0	15.5	10.4	54.2	3.1	11.8	
	嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている	89	36.0	43.8	9.0	14.6	16.9	36.0	13.5	55.1	3.4	11.2	
	自営業や会社役員として働いている	26	53.8	42.3	19.2	19.2	15.4	30.8	7.7	65.4	7.7	3.8	
	専業主婦・主夫である	29	55.2	58.6	13.8	6.9	13.8	24.1	6.9	69.0	3.4	10.3	
	無職	26	38.5	46.2	3.8	23.1	26.9	42.3	3.8	53.8	3.8	7.7	
	その他	58	48.3	51.7	6.9	12.1	25.9	19.0	5.2	69.0	0.0	8.6	

(2) 自由回答【問26】(FA)

川崎市の青少年施策に関することなどについての意見・要望を聞いたところ、122人から回答があり、意見は述べ151件となった。

分類ごとの件数は以下の通りとなった。

【図表 5-86】川崎市の青少年に関すること（自由回答）

<b>生活環境の改善</b>	<b>26件</b>
・図書館など文化施設を拡充、改善してほしい	8件
・その他施設を拡充、改善してほしい	7件
・スポーツ施設を拡充、改善してほしい	5件
・道路を舗装、整備してほしい	3件
・公園や遊ぶ場所を拡充、改善してほしい	2件
・外国人へのサポートを充実させてほしい	1件
<b>魅力的なまちづくり</b>	<b>14件</b>
・魅力あるイベントを開催してほしい	4件
・安全・安心なまちにしてほしい	4件
・人と人がつながる場を設けてほしい	3件
・子どもや若者が学ぶ機会を提供してほしい	3件
<b>その他各種施策への要望</b>	<b>17件</b>
・若年層や低所得世帯への経済支援を充実させてほしい	4件
・就業支援や生活保障を充実させてほしい	4件
・各種相談窓口を充実させてほしい	3件
・子育て支援を充実させてほしい	3件
・施策などの広報を充実させてほしい	3件
<b>アンケートについて</b>	<b>75件</b>
・設問が多く、回答に手間がかかる	23件
・調査方法等についての意見	17件
・アンケート結果を知りたい、役立てて欲しい	13件
・設問内容等についての意見	7件
・良いアンケートだと思う	5件
・アンケートの目的や意義が疑問	4件
・その他	6件
<b>川崎市に対する応援・評価</b>	<b>12件</b>
<b>その他</b>	<b>7件</b>



資料 使用した調査票





(1) 0～6歳の子を持つ親

## かわさきしこ わかものちようさ ねが 川崎市子ども・若者調査のお願い

このアンケートは、川崎市における今後の子育て支援策を検討する際の基礎資料として活用するため、生活状況やお子さんの様子、子育ての悩みなどについて、お伺いするものです。

みなさまからのご意見が、子育てしやすいまちにつながりますので、ぜひアンケートにご協力くださいますよう、お願いいたします。

### 回答する前にお読みください

1. このアンケートは、令和2年10月15日現在で、0～6歳のお子さんのいるご家庭から、統計的な手法により無作為に選ばせていただきました。
2. このアンケートは、封筒に記載されている宛名のお子さんのことについて、保護者の方が回答してください。
3. このアンケートは無記名です。名前を書く必要はありません。
4. このアンケートは、調査の目的以外に使用しません。回答については、統計的に処理され、個人が特定されることはありません。
5. 答えにくい質問や、答えたくない質問には、無回答のまま、次の質問にお進みください。
6. ご記入いただいたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください。切手は不要です。
7. このアンケートについてのお問い合わせは、次の問合せ先にお願いします。

**11**月**30**日(月)までに、ポストに投函してください。



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

### このアンケートについてのお問い合わせは

川崎市こども未来局 総務部企画課

TEL : 044-200-3028 (平日8:30-17:00)

FAX : 044-200-3190

Mail : 45kikaku@city.kawasaki.jp

回答は、保護者の方お一人がご記入ください。

**お子さんの幼児教育・保育に関することについておたずねします。**

問1 宛名に記載されているお子さんが、平日の日に主に利用している施設などについて、お答えください。（あてはまる番号1つに○をつけてください。）

1. 認可保育所	2. 幼稚園
3. 認定こども園 (幼稚園機能のみ利用(短時間保育))	4. 幼稚園+預かり保育
5. 認定こども園 (保育所機能を利用(長時間保育))	6. 地域型保育 ※1
7. 認可外保育施設 ※2	8. その他の施設 ( )
9. 保育所や幼稚園に預けていない	

「1」～「8」と回答した方は問2へ

※1 地域型保育…小規模保育(0～2歳までの認可保育所)、家庭的保育、事業所内保育を指します。  
 ※2 認可外保育施設…川崎認定保育園、おなかも保育室、企業主導型保育を指します。

**【問1-2、問1-3は、問1で「9」と回答した方のみ】**

問1-2 どのようにして、日中、お子さんを育てていますか。  
 (あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 自宅などで、自分または家族が子どもの世話をしている	} ⇒問1-3へ
2. 保護者の職場で、子どもを見ている	
3. ベビーシッターを利用して、自宅などで見ている	
4. ふれあい子育てサポート事業を利用して、自宅などで見ている	
5. その他 ( )	

問1-3 施設などを利用していない理由についてお答えください。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

- |   |                           |
|---|---------------------------|
| 1. 育児休業中だから   | 2. 幼稚園に入るまでは自分で育てたいから     |
| 3. 小学校に入るまでは自分で育てたいから                               | 4. 利用を希望する施設の就労要件に該当しないから |
| 5. 利用を希望する施設の定員に空きがないから                             | 6. 利用を希望する施設が近くにないから      |
| 7. 受け入れ体制などの理由により、利用可能な施設が近くにないから (例: 医療的ケア児や障害児など) | 8. 保育所や幼稚園にかかる費用が高いから     |
| 9. 希望する利用時間と合わないから                                  | 10. 家族が子どもの面倒をみているから      |
| 11. その他 ( )   |                           |

➡ 回答した方は問6へ

【問2～問5は、問1で「1」～「8」と回答した方のみ】

問2 お子さんを施設などに預ける理由についてお答えください。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

- |  |
|--|
| 1. 保護者が就労や求職活動、病気、家族の介護などの理由により、子どもの世話ができないため        |
| 2. 幼稚園を利用したかったが、夏休みや教育時間前後などの預け先がなかったため (保育所を利用している) |
| 3. 保育所を利用したかったが、希望した園に入れなかったため (幼稚園を利用している)          |
| 4. 子どもに幼児教育を受けさせたいため                                 |
| 5. 子どもに基本的な生活習慣を身に付けさせたいため                           |
| 6. 子どもに集団生活を経験させたいため                                 |
| 7. 小学校に入る前に、子どもに地域の友達をつくらせたいため                       |
| 8. 幼児教育・保育の無償化が始まったため                                |
| 9. その他 ( )   |

問3 宛名のお子さんが利用している施設などを選ぶ際に、重視した点をお答えください。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

- |                                  |                                   |
|----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 立地が良い(家から近い、通勤経路の途中に園があるなど)   | 2. きょうだい・仲の良い友達が通っている             |
| 3. 通園バスなど送迎サービスを利用できる            | 4. 保育や教育の方針・理念                    |
| 5. 園庭があり、外でのびのびと遊べる              | 6. 施設や設備が充実している(広い・清潔など)          |
| 7. 施設の安全性や防犯・防災対策が十分に講じられている     | 8. 課外のプログラムが充実している(体操教室や英会話教室など)  |
| 9. 経験豊富な保育士などが勤務している             | 10. 食事面の対応が良い(給食の有無、食育、アレルギー対応など) |
| 11. 障害のある子どもや医療的ケアを必要とする子への対応が可能 | 12. 預けられる時間が長い                    |
| 13. 受け入れ人数が多い(入所しやすい)            | 14. 利用料等の費用が安いから                  |
| 15. その他( )                       | 16. 特にない                          |

問4 宛名のお子さんが利用している施設などを選ぶ際に調べた情報のうち、内容が不十分だと感じた、または得られなかった情報はありましたか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

- |                                 |                          |
|---------------------------------|--------------------------|
| 1. 園の保育方針や教育理念                  | 2. 園庭の有無や園の様々な設備の情報      |
| 3. 防犯・防災対策                      | 4. 保育・教育の内容・行事・課外プログラムなど |
| 5. 園の職員体制に関する事(職員の経験年数や職員の人数など) | 6. 給食や食育に関する事            |
| 7. 障害のある子や医療的ケアが必要な子への対応に関する事   | 8. 延長保育や幼稚園の預かり保育の実施状況   |
| 9. 年間で必要となる費用                   | 10. 入所基準や選考方法に関する事       |
| 11. その他( )                      | 12. 知りたい情報は知ることができた      |

問5 あなたがその施設などを選ぶ際、(ア)～(カ)の方法により情報を得ましたか。また、活用した方法のそれぞれの情報量についてお答えください。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	情報量				活用していない
	十分だった	まあまあ十分だった	やや不十分だった	不十分だった	
(ア) 市・区役所の窓口・電話	1	2	3	4	5
(イ) 保育所・幼稚園など施設の窓口・電話	1	2	3	4	5
(ウ) 市・区役所のホームページ	1	2	3	4	5
(エ) 施設または運営団体のホームページ	1	2	3	4	5
(オ) 市・区役所発行のガイドブックやリーフレット	1	2	3	4	5
(カ) 施設または運営団体が作成している案内やリーフレットなど	1	2	3	4	5

【ここからは全員の方が答えてください。】

お子さんの日常生活についておたずねします。

問6 あなたと宛名のお子さんの関わり方について、お答えください。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
(ア) 絵本の読み聞かせをしている	1	2	3	4
(イ) テレビやゲーム、インターネットなどの視聴時間などのルールを決めている	1	2	3	4
(ウ) 家や公園などで30分以上、子どもと遊んだり、体を動かしたりする	1	2	3	4

**お子さんの将来に関することについておたずねします。**

問7 あなたは、宛名のお子さんの小学校の入学に向けて、不安なことはありますか。  
 (あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 子どもが新しい生活にスムーズに移行できるか
2. 子どもが授業についていけるか
3. 子どもが集団生活に馴染めるか、いじめに合わないか
4. 通学路の安全対策
5. 子どもの放課後の居場所
6. 子どもの長期休み期間中の居場所
7. 病気の時など、急を要するときの子どもの預かり場所
8. 子育てと仕事の両立ができるか
9. 学費や教材費などが払えるか
10. その他 ( )
11. 特にない

問8 あなたは、(ア)～(ウ)のような考えに対して、どう思いますか。  
 (それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	そう思う	まあそう思う	あまりそう 思わない	そう思わない
(ア) 大学を出ないとよい仕事 につけないと思う	1	2	3	4
(イ) がんばって働かなくても 生活していけると思う	1	2	3	4
(ウ) 努力すれば夢や希望は かなえられると思う	1	2	3	4

あなたの日常生活に関することについておたずねします。

問9 あなたは、宛名のお子さんの子育てにおいて、ふだん協力してくれる方はいますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

※ ここでは、ふだん、お子さんのお世話や困ったときに預かってくれるなど、あなた以外の方で育児に協力してくれる方をお答えください。

- |                          |                                   |
|--------------------------|-----------------------------------|
| 1. お子さんの親 (あなたの配偶者)      | 2. お子さんの祖父母                       |
| 3. 宛名のお子さんの兄弟姉妹          | 4. 1、2、3以外の親戚                     |
| 5. 友人・知人 (近所の人や職場の人など含む) | 6. いない (配偶者が忙しくて1人で育児をしている場合など含む) |
| 7. その他 ( )               |                                   |

問10 あなたは、この1か月間で、近所の人との交流をどの程度しましたか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

※ 近所は「自宅から歩いて5分程度の範囲に住んでいる」で、お考えください。

※ 2～5の選択肢については、「1以外の近所に住む人」で、お考えください。

- |   |
|---|
| 1. 子どもの保育所や幼稚園、習い事などで付き合いのある人 (いわゆるママ友・パパ友) の家を訪れたり、連絡を取り合ったりした (親族は除く) |
| 2. 特に用事がなくても話すことがあった  |
| 3. 町内会などの用事があったときに話した   |
| 4. 玄関先など、出先で会った時に挨拶をした  |
| 5. その他 ( )  |
| 6. まったく付き合いがない  |

次のページに続きます。

問 1 1 あなたは、この1年間において、a～cのことについて、だれに相談しましたか。

(それぞれ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

a 子育てに関する相談

※ 宛名のお子さんの発育・発達や食事に関すること、制度の内容など、子育て全般について、相談した先をお答えください。

1. 家族・親族
2. 友人・知人 (近所の人や職場の人など含む)
3. 相談・支援機関 (市役所や区役所の職員など) や保育所・幼稚園などの施設の職員
4. 民生委員・児童委員
5. その他の人 ( )
6. だれに相談したらいいかわからず、相談できる相手がいなかった
7. 仕事などで忙しく、相談したいときに相談できる相手がいなかった
8. 子育てに関することについて、相談することはなかった (必要を感じなかった)

b いざという時のお金の援助相談

1. 家族・親族
2. 友人・知人 (近所の人や職場の人など含む)
3. 相談・支援機関 (市役所や区役所の職員など) や保育所・幼稚園などの施設の職員
4. 民生委員・児童委員
5. その他の人 ( )
6. だれに相談したらいいかわからず、相談できる相手がいなかった
7. 仕事などで忙しく、相談したいときに相談できる相手がいなかった
8. お金の援助について、相談することはなかった (必要を感じなかった)

c 「a」、「b」以外の重要な事柄の相談

1. 家族・親族
2. 友人・知人 (近所の人や職場の人など含む)
3. 相談・支援機関 (市役所や区役所の職員など) や保育所・幼稚園などの施設の職員
4. 民生委員・児童委員
5. その他の人 ( )
6. だれに相談したらいいかわからず、相談できる相手がいなかった
7. 仕事などで忙しく、相談したいときに相談できる相手がいなかった



8. 子育て・お金以外の重要な事柄について、相談することはなかった（必要を感じなかった）

あなたの気持ちについておたずねします。

問12 この1か月間、あなたは、どのような気持ちでしたか。

（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

	いつも	たいてい	ときどき	すこ 少しだけ	まったく ない
(ア) 子どもを育てるのは楽しくて 幸せなことだと感じた	1	2	3	4	5
(イ) 子どもと遊ぶのはおもしろいと 感じた	1	2	3	4	5
(ウ) 子どもが自分の言うことを聞か なくてイライラした	1	2	3	4	5
(エ) 孤立感を感じた	1	2	3	4	5
(オ) 神経過敏に感じた	1	2	3	4	5
(カ) 絶望的だと感じた	1	2	3	4	5
(キ) そわそわ落ち着かなく感じた	1	2	3	4	5
(ク) 気分が沈み込んで、何が起こつて も気が晴れないように感じた	1	2	3	4	5
(ケ) 何をするのも面倒だと感じた	1	2	3	4	5
(コ) 自分は価値のない人間だと感じた	1	2	3	4	5

**子育ての悩みについておたずねします。**

問13 あなたは、現在、ご自身の生活に関する事で、次のような心配ごとや悩みごとはありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 生活費に関する事 ⇒問13-2へ
2. 自分または配偶者の仕事に関する事
3. 自分の体調(病気や障害など)に関する事
4. 子ども以外の家族の体調や介護に関する事
5. 対人関係に関する事(相談相手がいないなど)
6. その他( )
7. 特に悩みはない

⇒「2」～「7」のみを回答した方は問14へ

【問13で、「1」と回答した方のみ】

問13-2 あなたは、生活費に関して、次のような心配ごとや悩みごとはありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 就労収入が少ない、または減った
2. 貯金ができない
3. 家賃や住宅ローン、光熱費などの各種支払いができない
4. 食料が買えない
5. 生活に最低限必要な衣服が買えない
6. その他( )

【ここからは全員の方が答えてください。】

問14 あなたは、現在、宛名のお子さんのことや子育てに関することで、次のような心配ごとや悩みごとはありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

- |   |         |
|---|---------|
| 1. <u>生活習慣</u> や <u>発達</u> 、 <u>体調</u> に関する <u>こと</u>                   | ⇒問14-2へ |
| 2. <u>子育て環境</u> に関する <u>こと</u> (例： <u>遊ぶ場所</u> など)                      | ⇒問14-3へ |
| 3. <u>子どもの友人関係</u> に関する <u>こと</u>                                       |         |
| 4. <u>子どもの障害</u> に関する <u>こと</u>   |         |
| 5. <u>子どもの養育費</u> に関する <u>こと</u>  |         |
| 6. <u>子どもとの関わり方</u> に関する <u>こと</u> (例： <u>子どもにどのように接したらいいかわからない</u> など) |         |
| 7. その他 ( )  |         |
| 8. <u>特に悩み</u> はない  |         |
- ⇒「3」～「8」のみを回答した方は問15へ

【問14で、「1」と回答した方のみ】

問14-2 あなたは、宛名のお子さんの生活習慣や発達、体調について、次のような心配ごとや悩みごとはありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

- |   |
|---|
| 1. <u>子どもに基本的な生活習慣</u> (あいさつ、 <u>規則正しい食生活</u> 、 <u>整理・整頓</u> など)が身に <u>ついていない</u>   |
| 2. <u>子どもに与える食事</u> の <u>こと</u> で <u>悩んでいる</u> 。(例： <u>子どもがご飯や離乳食を食べない</u> 、 <u>母乳やミルクを飲まない</u> 、 <u>栄養バランスが偏っている</u> など) |
| 3. <u>子どもの発育</u> が遅い (例： <u>体の大きさが小さい</u> 、 <u>体重が増えない</u> など)  |
| 4. <u>きちんと発達しているのかがわからない</u> (例： <u>歩かない</u> 、 <u>しゃべらない</u> など)  |
| 5. <u>子どもの問題行動</u> が <u>心配</u> である (例： <u>暴力を振るう</u> ・ <u>すぐに暴れる</u> など)  |
| 6. <u>子どもが何事</u> に対しても <u>消極的</u> に見える  |
| 7. <u>子どもが病気がち</u> である (例： <u>体調がすぐれない</u> )  |
| 8. <u>発達が遅れていると指摘</u> をされ、 <u>心配</u> になった   |
| 9. <u>子どもが集団生活</u> になじめない   |
| 10. その他 ( )   |

【問14で、「2」と回答した方のみ】

問14-3 あなたは、宛名のお子さんの子育て環境について、次のような心配ごとや悩みごとはありますか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

1. 子どもと一緒に遊びに行ける場所が少ないまたは子どもが遊ぶ場所が少ない  
(例：公園など)
2. 子どもが自然体験をできる場が少ない
3. 子どもを同年代の子どもと遊ばせるきっかけがない
4. 子どもを安心して預けられる人や場所が少ない
5. 病気の時など、急を要するときに子どもの面倒をみってくれる人や施設がない
6. 子どもが犯罪に巻き込まれないか不安である
7. その他 ( )

【ここからは全員の方が答えてください。】

**本市の子育て支援に関する情報についておたずねします。**

問15 あなたは、この1年間において、本市の子育て支援に関する情報を、どのような方法で得ましたか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

- |   |                                      |
|---|--------------------------------------|
| 1. 家族・親戚                                      | 2. 友人・知人                             |
| 3. 市政だより                                      | 4. 市・区が発行しているガイドブック                  |
| 5. 市や区のホームページ<br>(子育て応援ナビなど)                  | 6. かわさき子育てアプリ                        |
| 7. 市が発信するメールマガジン、SNS<br>(Twitter、Facebook) など | 8. 保育所・幼稚園など                         |
| 9. 区役所の窓口や電話での相談・問合せ                          | 10. 民間団体(施設)のホームページ、<br>個人のブログやSNSなど |
| 11. 保育所・幼稚園などを除く施設(地域子育て支援センター、こども文化センターなど)   | 12. その他 ( )                          |
- ⇒「1」～「12」と回答した方は問16へ

13. 特に得ていない! ⇒問17へ

【問15で「1」～「12」と回答した方のみ】

問16 その方法で、本市の子育て支援に関する情報は十分に得られましたか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 十分得られた
2. まあまあ得られた
3. 少し不足していた
4. 不足していた

【ここからは全員の方が答えてください。】

**新型コロナウイルスに関することについておたずねします。**

問17 新型コロナウイルス感染拡大前と比べて、4月以降の宛名のお子さんの生活面で、次のような心配ごとや困っていることはありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. テレビゲームやパソコン、スマートフォン、タブレット端末などを利用する時間が増えた
2. 生活が不規則になった
3. 体力が低下したと感じる
4. 子どものストレスが増えた、または不安定になった(突然大きな声を出したり、泣き始めたりするなど、子どもの様子で気になる変化が見られるようになった)
5. 栄養が偏っている・食事の量が減った
6. その他( )
7. 特にない

問18 新型コロナウイルス感染拡大前と比べて、4月以降のあなたの生活面で、次のような心配ごとや困っていることはありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. イライラして怒りっぽくなった、子どもを叱ることが増えた
2. 寝つきが悪くなり、何度も目が覚めるようになった
3. 外出するのが怖くなった
4. 孤立感や閉塞感を感じるようになった
5. 仕事や家事などに集中できなくなることが多くなった
6. 子育てが嫌になることが多くなった
7. その他( )
8. 特に変化は感じていない

**宛名のお子さんのことについておたずねします。**

問19 宛名のお子さんの生年月・性別をお答えください。

(ア) 生年月	西暦	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	が月
(イ) 性別	1. 男性		2. 女性		

問20 宛名のお子さんは、障害などがありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

※「身体障害」とは、視覚障害、聴覚障害・平衡機能障害、音声・言語障害（咀嚼障害を含む）、  
肢体不自由、心臓・腎臓などの内部障害の5種類に関する障害（身体障害者手帳を所有している方）  
が該当します。

※「発達障害」とは、自閉症、アスペルガー症候群、学習障害、注意欠陥多動性障害、その他の広汎性  
発達障害などが該当します。

※「その他」（難病など）とは、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律  
（障害者総合支援法）」に定める難病などが該当します。

1. 特にない	2. 身体障害
3. 知的障害	4. 発達障害
5. 精神障害	6. その他（難病など）
7. わからない	

**あなたとご家族に関することについておたずねします。**

問21 宛名のお子さんとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんから見た続柄  
で、お答えください。（あてはまる番号1つに○をつけてください。）

1. 母親（継母を含む）	2. 父親（継父を含む）
3. 祖父母	4. その他

問22 あなたの現在の住まいの地区について、教えてください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 川崎区	2. 幸区	3. 中原区	4. 高津区
5. 宮前区	6. 多摩区	7. 麻生区	

問23 あなたは、どのくらい川崎市に住んでいますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1. 1年未満  | 2. 3年未満  | 3. 5年未満  |
| 4. 10年未満 | 5. 20年未満 | 6. 20年以上 |

問24 宛名のお子さんと同居し、生計を同一にしている親の現在の婚姻状況を教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

- |                  |       |              |
|------------------|-------|--------------|
| 1. 結婚している(事実婚含む) | 2. 離婚 | 3. 別居中       |
| 4. 死別            | 5. 未婚 | 6. いない・わからない |

⇒「1」、「3」～「6」と回答した方は問25へ

【問24で、「2」と回答した方のみ】

問24-2 離婚相手と、宛名のお子さんの養育費の取り決めをしていますか。また、養育費を現在受け取っていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

- |  |
|--|
| 1. 取り決めをしており、養育費を受け取っている                       |
| 2. 特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている                   |
| 3. 養育費の取り決めをしているが、今は受け取っていない(過去に一度は受け取ったことがある) |
| 4. 養育費の取り決めをしているが、一度も受け取っていない                  |
| 5. 養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない                     |
| 6. その他 ( )                                     |

【ここからは全員の方が答えてください。】

問25 宛名のお子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の人数(あなたを含む)を教えてください。そのうち、子どもの人数(宛名のお子さん含む)を教えてください。

※ 単身赴任中や長期にわたって入院中の方などは、含めないでください。

かぞく にんずう 家族の人数 (あなたを含む)	うち	0～5歳のお子さん (宛名のお子さん 含む)	6歳以上のお子さん
<input type="text"/>	⇒	<input type="text"/>	<input type="text"/>





問29 宛名のお子さんの親の最終学歴（卒業した学校）は、次のうちどれですか。

（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

※ 例えば、高校卒業後、大学を中退した場合は「2」と回答してください。

(ア) 母親	(イ) 父親
1. 中学（中学部）まで	1. 中学（中学部）まで
2. 高校（高等部）まで	2. 高校（高等部）まで
3. 短大・高専・専門学校（専攻科）まで	3. 短大・高専・専門学校（専攻科）まで
4. 大学またはそれ以上	4. 大学またはそれ以上
5. いない、わからない	5. いない、わからない

問30 宛名のお子さんの親の就労状況をお答えください。

（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

※ 産休・育休を取得している場合は、取得前の状況をお答えください。

(ア) 母親	(イ) 父親
1. 正規社員・正規職員・会社役員	1. 正規社員・正規職員・会社役員
2. 嘱託・契約社員・派遣職員	2. 嘱託・契約社員・派遣職員
3. パート・アルバイト・日雇い・非常勤	3. パート・アルバイト・日雇い・非常勤
4. 自営業（家族従事者、内職、自由業、フリーランス含む）	4. 自営業（家族従事者、内職、自由業、フリーランス含む）
5. 働いていない（専業主婦）	5. 働いていない（専業主夫）
6. いない、わからない	6. いない、わからない
⇒「1」～「4」、「6」と回答した方は問31へ	⇒「1」～「4」、「6」と回答した方は問31へ

⇒ 問30-2へ

【問30で「5」と回答した方のみ】

問30-2 働いていない理由について、お答えください。

(それぞれ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

(ア) 母親	(イ) 父親
1. 働きたいが、希望する条件の仕事がないため	1. 働きたいが、希望する条件の仕事がないため
2. 子育てを優先したいため	2. 子育てを優先したいため
3. 家族の介護・介助のため	3. 家族の介護・介助のため
4. 自分の病気や障害のため	4. 自分の病気や障害のため
5. 通学しているため	5. 通学しているため
6. 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で失業したため	6. 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で失業したため
7. その他の理由	7. その他の理由
( )	( )

【ここからは全員の方が答えてください。】

問31 前年（平成31年1月～令和元年12月までの1年間）のあなたの世帯全体の手取り収入の合計額（税込み）は、おおよそいくらですか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

※ 手取り収入額は、就労所得（働いて得た所得）に、児童手当や児童扶養手当、生活保護などの公的扶助も含めた金額をお答えください。

1. 50万円未満	2. 50～100万円未満	3. 100～150万円未満
4. 150～200万円未満	5. 200～250万円未満	6. 250～300万円未満
7. 300～350万円未満	8. 350～400万円未満	9. 400～450万円未満
10. 450～500万円未満	11. 500～550万円未満	12. 550～600万円未満
13. 600～650万円未満	14. 650～700万円未満	15. 700～750万円未満
16. 750～800万円未満	17. 800～850万円未満	18. 850～900万円未満
19. 900～950万円未満	20. 950～1,000万円未満	21. 1,000万円以上

問32 あなたは、現在の暮らしの状況を、どのように感じていますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 大変ゆとりがある	2. ややゆとりがある	3. 普通
4. やや苦しい	5. 大変苦しい	

問33 あなたの世帯では、過去1年間に、経済的な理由で、(ア)～(カ)の料金が未払いになったことがありますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった
(ア) 家賃・住宅ローンの滞納	1	2	3	4
(イ) 電気料金の未払い	1	2	3	4
(ウ) ガス料金の未払い	1	2	3	4
(エ) 水道料金の未払い	1	2	3	4
(オ) 電話料金の未払い	1	2	3	4
(カ) その他の借金の滞納	1	2	3	4

問34 あなたの世帯では、過去1年間に、お金が足りなくて、(ア)～(ウ)のものが買えなかったことがありますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった
(ア) 1日に3食食べるために必要とする食料(嗜好品は含まない)	1	2	3	4
(イ) 季節の気温にあった生活に必要な衣服(高価な衣服、貴金属・宝飾品は含まない)	1	2	3	4
(ウ) 子どもが保育園や幼稚園などで使う文具や家庭学習のための教材	1	2	3	4

問35 あなたの世帯では、これまでに、(ア)～(エ)の支援制度を利用したことがありますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	げんざい 現在 りよう 利用して いる/ りよう 利用した ことがあ る	りよう 利用していない理由					わから ない
		せいど 制度の たいしょうがい 対象外	りよう 利用で きるが りよう 利用した おも いと思わ ない	りよう 利用し たいが ないよう 内容を し 知らな い	りよう 利用し たいが りよう 利用手続 し きを知ら ない	せつめい 説明 を受けた が、よく わからな かった	
(ア) せいかつほご 生活保護	1	2	3	4	5	6	7
(イ) だいJOBセンター (せいかつごんきゆうしゃ 生活困窮者の じりつしえんまどぐち 自立支援窓口)	1	2	3	4	5	6	7
(ウ) じどうふようてあて 児童扶養手当(ひと りおやがてい 親家庭などへの てあて じどうてあて 手当) ※児童手当で はありません。	1	2	3	4	5	6	7
(エ) かわさきほし ふし 川崎市母子・父子 ふくし 福祉センター(母子 かていとうしゆうぎよう 家庭等就業・ じりつしえん 自立支援センター)	1	2	3	4	5	6	7

※生活保護：せいかつほご びょうき しつぎよう せいかつひ こま ほか ほうほう いったい えんじょう 一定の援助が受けられる制度

児童扶養手当：じどうふようてあて しょとく いったいすいじゆんい か おやせたい せいかつしえん てあて 所得が一定水準以下のひとり親世帯の生活支援のための手当

**アンケートは以上になります。**

**ご協力ありがとうございました。**

(2) 小学2年生・小学5年生の子を持つ親

# 川崎市子ども・若者調査のお願い

このアンケートは、川崎市における今後の子育て支援策を検討する際の基礎資料として活用するため、生活状況やお子さんの様子、子育ての悩みなどについて、お伺いするものです。

みなさまからのご意見が、子育てしやすいまちにつながりますので、ぜひアンケートにご協力くださいますよう、お願いいたします。

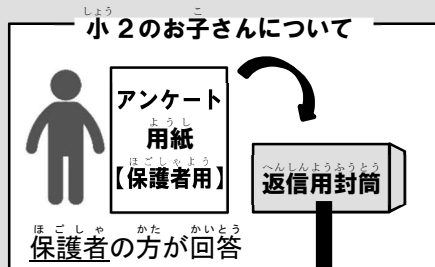
## 回答する前にお読みください



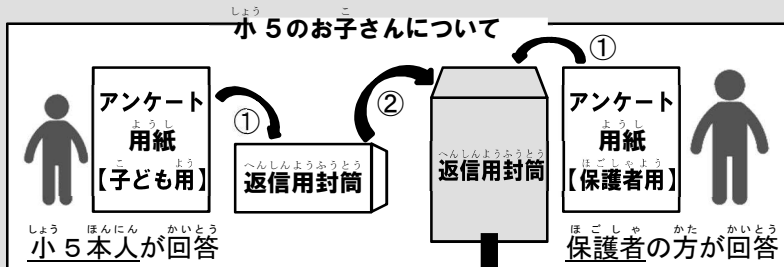
- このアンケートは、無作為に選んだ小学校に通う2年生または5年生のお子さんのいる世帯にお配りしています。
- このアンケートは、保護者の方が回答してください。
- このアンケートは無記名です。名前を書く必要はありません。
- このアンケートは、調査の目的以外に使用しません。回答については、統計的に処理され、個人が特定されることはありません。
- 小2と小5のお子さんがある場合、それぞれのお子さんについて回答してください。

### 【A小学校に通う小2と小5のお子さんがある世帯】

- 小2と小5のお子さんについて、それぞれアンケート用紙を提出してください。
- 小5のお子さんについては、本人の回答と併せて提出してください。



小2のお子さんの担任の先生へ



小5のお子さんの担任の先生へ

6. ご記入いただいたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れ、他の人に見られないように、のりなどで封をして、お子さんを通じて担任の先生にお渡しください。

7. 学校が回答内容を見ることはありません。なお、このアンケートについてのお問い合わせは、学校ではなく、次の問合せ先をお願いします。

## このアンケートについてのお問い合わせは



Colors, Future!  
いろいろって、未来。

川崎市

川崎市子ども未来局 総務部企画課

TEL : 044-200-3028 (平日8:30-17:00)

FAX : 044-200-3190

Mail : 45kikaku@city.kawasaki.jp

この調査で「お子さん」とは、調査対象となる小学校2年生または小学校5年生のお子さんのことをいいます。「お子さん」と書かれた質問については、対象のお子さんについてのみお答えください。回答は、保護者の方お一人がご記入ください。

**対象のお子さんについておたずねします。**

問1 お子さんの学年を教えてください。（あてはまる番号1つに○をつけてください。）

1. 小学校2年生

2. 小学校5年生

**お子さんの日常生活・学校生活についておたずねします。**

問2 この1か月間の、お子さんの生活習慣について、お答えください。

（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

	できている	ほぼできている	あまりできていない	できていない	わからない
(ア) 決まった時間に起きる	1	2	3	4	5
(イ) 決まった時間に寝る	1	2	3	4	5
(ウ) 毎日、朝ごはんを食べる	1	2	3	4	5
(エ) 毎日、食後に歯を磨く	1	2	3	4	5
(オ) 毎日、お風呂に入る	1	2	3	4	5
(カ) 身の回りを整理整頓する	1	2	3	4	5
(キ) あいさつをきちんとする	1	2	3	4	5
(ク) 遅刻をしないで学校に行く	1	2	3	4	5
(ケ) 友達と仲良くする	1	2	3	4	5

問3 この1週間で、お子さんだけで食事をする事がどれくらいありましたか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	まいにちかぞくと 毎日家族と いっしょ	しゅう 週に1、2 日は子ども だけ	しゅう 週に3、4 日は子ども だけ	しゅう 週に5、6 日は子ども だけ	まいにちこども だけ	ほとんど食 べなかった
(ア) ちようしょく 朝食	1	2	3	4	5	6
(イ) ゆうしょく 夕食	1	2	3	4	5	6

【問3の(ア)、(イ)で、1つでも、2、3、4、5、6と回答した方のみ】

問3-2 その理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- |  |                                     |
|--|-------------------------------------|
| 1. おや おとな が仕事などで忙しくて、<br>食事の時間に家にいなかったから         | 2. おや おとな が仕事などで忙しくて、用意<br>できなかったから |
| 3. おや おとな が病気などにより、用意<br>できなかったから                | 4. こどもが朝起きられなかったから                  |
| 5. こどもが夜に習い事などがあり、家族より早く、<br>または遅く夕食を食べる必要があったから | 6. お金がなかったから                        |
| 7. わからない   | 8. その他( )                           |

【ここからは全員の方が答えてください。】

問4 お子さんは、この1か月間で、放課後（授業が終わった後）から夜にかけて、だれと、どこにすることが多かったですか。（それぞれ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

a だれと過ごしたか

- |   |
|---|
| 1. 家族（祖父母、親せきなど含む）                        |
| 2. 塾や習い事の先生、わくわくプラザ、こども文化センターなど、その他の施設の職員 |
| 3. 近所の人など、家族以外の大人                         |
| 4. 学校の友達（クラブ活動・委員会活動を含む）                  |
| 5. 近所の友達など、学校以外の友達                        |
| 6. その他の人 ( )                              |
| 7. 一人である                                  |
| 8. わからない                                  |





**お子さんとの関わり方についておたずねします。**

問7 これまでの、あなたとお子さんとの関わり方について、お答えください。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	あてはまる	どちらかと言え ばあてはまる	どちらかと言え ばあてはまらない	あてはまらない
(ア) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた	1	2	3	4
(イ) テレビやゲーム、インターネットなどの視聴時間などのルールを決めている	1	2	3	4
(ウ) お子さんから勉強や成績のことについて話をしてくれる	1	2	3	4
(エ) お子さんに本や新聞を読むように勧めている	1	2	3	4

問8 この1か月間、あなたのご家庭では、お子さんと一緒に(ア)～(オ)のようなことをしましたか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	ほぼ毎日	週3～4日	週1～2回	月に1、2回	ほとんどしなかった
(ア) 子どもと一緒に、からだを動かして遊んだ	1	2	3	4	5
(イ) 宿題など、子どもの勉強を見た	1	2	3	4	5
(ウ) 子どもと一緒に、テレビゲームなどで遊んだ	1	2	3	4	5
(エ) 子どもと、学校での様子やテレビなどの話をした	1	2	3	4	5
(オ) 料理など、子どもと一緒に家事をした	1	2	3	4	5

問9 あなたのご家庭では、この1年間でお子さんのために、(ア)～(キ)のようなことをしていますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	している	していない (2～4から1つ)		
		する必要がない	いそがしくてできない	経済的にできない
(ア) 子どもの <u>有料の学習塾</u> や <u>習い事</u> (スポーツや <u>音楽</u> 、 <u>英会話</u> など)に通わせる	1	2	3	4
(イ) 子どもの <u>博物館</u> や <u>科学館</u> などに連れていく (映画館・ <u>美術館</u> なども含む)	1	2	3	4
(ウ) <u>家族旅行</u> に行く	1	2	3	4
(エ) 子どもの <u>誕生日</u> には、 <u>お祝い</u> をする	1	2	3	4
(オ) <u>クリスマスプレゼント</u> や <u>お年玉</u> を渡す	1	2	3	4
(カ) 子どもの <u>毎月</u> お小遣いを渡す	1	2	3	4
(キ) 子どもの <u>成長</u> に合わせ、 <u>衣服</u> や <u>靴</u> をそろえる	1	2	3	4

問10 あなたは、お子さんの学校の行幸などに、これまでにどの程度参加しましたか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	よく参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	まったく参加していない
(ア) <u>授業参観</u> や <u>運動会</u> などの <u>学校行事</u> への参加	1	2	3	4
(イ) PTA活動や <u>保護者会</u> 、 <u>放課後学習支援</u> などの <u>ボランティア</u> などへの参加	1	2	3	4

**お子さんの将来についておたずねします。**

問11 お子さんについて、どの段階まで教育を受けさせたいと希望しますか。  
 (あてはまる番号1つに○をつけてください。)

- |                 |              |
|-----------------|--------------|
| 1. 中学校まで        | 2. 高校まで      |
| 3. 短大・高専・専門学校まで | 4. 大学またはそれ以上 |
| 5. まだわからない      |              |

問12 お子さんについて、現実的に見て、どの段階まで進学すると思いますか。  
 (あてはまる番号1つに○をつけてください。)

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| 1. 中学校まで          | 2. 高校まで              |
| 3. 短大・高専・専門学校まで   | 4. 大学またはそれ以上         |
| 5. まだわからない ⇒ 問14へ | ⇒ 「1」～「4」と回答した方は問13へ |

【問12で、1、2、3、4と回答した方のみ】

問13 その理由をお答えください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1. 子どもが希望しているから | 2. 一般的な進路だと思うから   |
| 3. 子どもの学力から考えて  | 4. 家庭の経済的な状況から考えて |
| 5. その他 ( )      | 6. 特に理由はない        |

【ここからは全員の方が答えてください。】

問14 お子さんの就職について、どのように考えていますか。  
 (あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

- |   |
|---|
| 1. 大手企業に就職してほしい                         |
| 2. 中小企業に就職してほしい                         |
| 3. 就職は正社員でなくて、アルバイト・パート・非常勤職員でもよい       |
| 4. 公務員(教員を除く)になってほしい                    |
| 5. 資格の必要な仕事(教員、保育士、医師、看護師、弁護士など)についてほしい |
| 6. 就職しなくてもよい                            |
| 7. その他 ( )                              |

問15 あなたは、(ア)～(オ)のような考えに対して、どう思いますか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	そう思う	まあそう思う	あまりそう おもう 思わない	そう思わない
(ア) 大学を出ないとよい仕事につけないと思う	1	2	3	4
(イ) がんばって働かなくても生活していけると思う	1	2	3	4
(ウ) 子どもが希望する学校や会社に入れるか不安だ	1	2	3	4
(エ) 努力すれば夢や希望はかなえられると思う	1	2	3	4
(オ) 子どもには少しでも早く働いて欲しいと思う	1	2	3	4

あなたの日常生活についておたずねします。

問16 あなたは、この1か月間で、近所の人との交流をどの程度しましたか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

※ 近所は「自宅から歩いて5分程度の範囲に住んでいる」で、お考えください。

※ 2～5の選択肢については、1以外の近所に住む人で、お考えください。

1. 子どもの学校や習い事などで付き合いのある人(いわゆるママ友・パパ友)の家を訪れたり、連絡を取り合ったりした(親族は除く)
2. 特に用事がなくても話すことがあった
3. 町内会などの用事があったときに話した
4. 玄関先など、出先で会った時に挨拶をした
5. その他( )
6. まったく付き合いがない

問17 あなたは、この1年間において、a～cのことについて、だれに相談しましたか。

(それぞれ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

a 子育てに関する相談

※ お子さんの発達や食事、教育に関する内容など、子育て全般について、相談した先をお答えください。

1. 家族・親族
2. 友人・知人 (近所の人や職場の人など含む)
3. 相談・支援機関 (市役所や区役所の職員など) や学校などの施設の職員
4. 民生委員・児童委員
5. その他の人 ( )
6. だれに相談したらいいかわからず、相談できる相手がいなかった
7. 仕事などで忙しく、相談したいときに相談できる相手がいなかった
8. 子育てに関することについて、相談することはなかった (必要を感じなかった)

b いざという時のお金の援助相談

1. 家族・親族
2. 友人・知人 (近所の人や職場の人など含む)
3. 相談・支援機関 (市役所や区役所の職員など) や学校などの施設の職員
4. 民生委員・児童委員
5. その他の人 ( )
6. だれに相談したらいいかわからず、相談できる相手がいなかった
7. 仕事などで忙しく、相談したいときに相談できる相手がいなかった
8. お金の援助について、相談することはなかった (必要を感じなかった)

c 「a」、「b」以外の重要な事柄の相談

1. 家族・親族
2. 友人・知人 (近所の人や職場の人など含む)
3. 相談・支援機関 (市役所や区役所の職員など) や学校などの施設の職員
4. 民生委員・児童委員
5. その他の人 ( )
6. だれに相談したらいいかわからず、相談できる相手がいなかった
7. 仕事などで忙しく、相談したいときに相談できる相手がいなかった
8. 子育て・お金以外の重要な事柄について、相談することはなかった (必要を感じなかった)

**あなたの気持ちについておたずねします。**

問18 この1か月間、あなたは、どのような気持ちでしたか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	いつも	たいてい	ときどき	すこ 少しだけ	まったく ない
(ア) 子どもを育てるのは楽しくて 幸せなことだと感じた	1	2	3	4	5
(イ) 子どもと遊ぶのはおもしろいと 感じた	1	2	3	4	5
(ウ) 子どもが自分の言うことを聞か なくてイライラした	1	2	3	4	5
(エ) 孤立感を感じた	1	2	3	4	5
(オ) 神経過敏を感じた	1	2	3	4	5
(カ) 絶望的だと感じた	1	2	3	4	5
(キ) そわそわ落ち着かなく感じた	1	2	3	4	5
(ク) 気分が沈み込んで、何が起 こっても気が晴れないように 感じた	1	2	3	4	5
(ケ) 何をするのも面倒だと感じた	1	2	3	4	5
(コ) 自分は価値のない人間だと 感じた	1	2	3	4	5

**子育ての悩みについておたずねします。**

問19 あなたは、現在、ご自身の生活に関する事で、次のような心配ごとや悩みごとはありますか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

1. 生活費に関する事 ⇒問19-2へ
2. 自分または配偶者の仕事に関する事
3. 自分の体調（病気や障害など）に関する事
4. 子ども以外の家族の体調や介護に関する事
5. 対人関係に関する事（相談相手がいないなど）
6. その他（ ）
7. 特に悩みはない ⇒「2」～「7」のみを回答した方は問20へ

**【問19で、「1」と回答した方のみ】**

問19-2 あなたは、生活費に関して、次のような心配ごとや悩みはありますか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

1. 就労収入が少ない、または減った
2. 貯金ができない
3. 家賃や住宅ローン、光熱費などの各種支払いができない
4. 食料が買えない
5. 生活に最低限必要な衣服が買えない
6. その他（ ）

**【ここからは全員の方が答えてください。】**

問20 あなたは、現在、お子さんに関する事で、次のような心配ごとや悩みごとはありますか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

1. 生活習慣や発達、体調に関する事 ⇒問20-2へ
2. 学習・進学・受験に関する事 ⇒問20-3へ
3. 友人関係に関する事
4. 障害に関する事
5. 塾や習い事など学校以外の活動に関する事
6. 異性関係に関する事
7. その他（ ）
8. 特に悩みはない ⇒「3」～「8」のみを回答した方は問21へ

【問20で、「1」と回答した方のみ】

問20-2 あなたは、お子さんの生活習慣や発達、体調に関して、次のような心配ごとや悩みはありますか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

1. 基本的な生活習慣（あいさつ、規則正しい食生活、整理・整頓など）が身につけていない
2. 反抗的な態度や問題行動が心配である
3. 何事に対しても消極的にみえる、やる気がない
4. 病気がちである（体調がすぐれない）
5. 自立した生活ができるか心配である
6. その他（ ）

【問20で、「2」と回答した方のみ】

問20-3 あなたは、お子さんの学習・進学・受験に関して、次のような心配ごとや悩みはありますか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

1. 勉強しない
2. 授業についていけない、またはついていけているか心配である
3. 進学や受験のことが心配である
4. 教育費のことが心配である
5. 不登校のことが心配である
6. 就職のことが心配である
7. その他（ ）

【ここからは全員の方が答えてください。】

問21 あなたは、現在、子育てに関することで、心配ごとや悩みごとはありますか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

1. 子育て環境に関すること（例：放課後の居場所・緊急時の預け先など）⇒問21-2へ
  2. 子どもとの関わり方に関すること（例：思春期の子どもとの関わり方など）
  3. 子どもの養育費に関すること
  4. その他（ ）
  5. 特に悩みはない
- ⇒「2」～「5」のみを回答した方は問22へ



## 【問21で、「1」と回答した方のみ】

問21-2 子育て環境に関することについて、次のような心配ごとや悩みはありますか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

1. 子どもと一緒に遊びに行ける場所が少ない、または子どもが遊ぶ場所が少ない  
(例：公園など)
2. 子どもが自然体験をできる場が少ない
3. 同年代以外の子どもや若者と遊ぶ・交流する機会がない
4. 子どもを安心して預けられる人や場所が少ない
5. 病気の時など、急を要するときに子どもの面倒をみってくれる人や施設がない
6. 子どもが犯罪に巻き込まれないか不安である
7. その他 ( )

【ここからは全員の方が答えてください。】

**新型コロナウイルスに関することについておたずねします。**

問22 新型コロナウイルス感染拡大前と比べて、4月以降のお子さんの生活面で、次のような心配ごとや困っていることはありますか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

1. テレビゲームやパソコン、スマートフォン、タブレット端末などを利用する時間が増えた
2. 生活が不規則になった
3. 体力が低下したと感じる
4. 子どものストレスが増えた、または不安定になった（子どもの様子で気になる変化が見られるようになった）
5. 栄養が偏っている・食事の量が減った
6. 学習に遅れが出ている
7. その他 ( )
8. 特にない

問23 新型コロナウイルス感染拡大前と比べて、4月以降のあなたの生活面で、次のような心配ごとや困っていることはありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. イライラして怒りっぽくなった、子どもを叱ることが増えた
2. 寝つきが悪くなり、何度も目が覚めるようになった
3. 外出するのが怖くなった
4. 孤立感や閉塞感を感じるようになった
5. 仕事や家事などに集中できなくなることが多くなった
6. 子育てが嫌になることが多くなった
7. その他 ( )
8. 特に変化は感じていない

お子さんのことについておたずねします。

問24 お子さんは、障害などがありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

※「身体障害」とは、視覚障害、聴覚障害・平衡機能障害、音声・言語障害(咀嚼障害を含む)、肢体不自由、心臓・腎臓などの内部障害の5種類に関する障害(身体障害者手帳を所有している方)が該当します。

※「発達障害」とは、自閉症、アスペルガー症候群、学習障害、注意欠陥多動性障害、その他の広汎性発達障害などが該当します。

※「その他」(難病など)とは、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」に定めるものなどが該当します。

- |          |              |
|----------|--------------|
| 1. 特にない  | 2. 身体障害      |
| 3. 知的障害  | 4. 発達障害      |
| 5. 精神障害  | 6. その他(難病など) |
| 7. わからない |              |

問25 お子さんが0～5歳の間に、最も長く通っていた施設などをお答えください。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

(ア) 0～2歳	(イ) 3～5歳
1. 認可保育所・認定こども園	1. 認可保育所・認定こども園
2. 1以外の教育・保育施設など (幼稚園、川崎認定保育園、おなかま保育室など)	2. 1以外の教育・保育施設など (幼稚園、川崎認定保育園、おなかま保育室など)
3. 親や親族以外の個人が面倒をみていた	3. 親や親族以外の個人が面倒をみていた
4. 主に親や親族が面倒をみていた	4. 主に親や親族が面倒をみていた

あなたと、ご家族に関することについておたずねします。

問26 お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄で、お答えください。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 母親(継母を含む)	2. 父親(継父を含む)
3. 祖父母	4. その他

問27 あなたが現在、お住まいの地区について教えてください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 川崎区	2. 幸区	3. 中原区	4. 高津区
5. 宮前区	6. 多摩区	7. 麻生区	

問28 あなたは、どのくらい川崎市に住んでいますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 1年未満	2. 3年未満	3. 5年未満
4. 10年未満	5. 20年未満	6. 20年以上

問29 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の現在の婚姻状況を教えてください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 結婚している(事実婚含む)	2. 離婚	⇒問29-2へ	3. 別居中
4. 死別	5. 未婚		6. いない・わからない

⇒「1」、「3」～「6」を回答した方は問30へ

【問29で、「2」と回答した方のみ】

問29-2 離婚相手と、お子さんの養育費の取り決めをしていますか。また、養育費を現在受け取っていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 取り決めをしており、養育費を受け取っている
2. 特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている
3. 養育費の取り決めをしているが、今は受け取っていない(過去に一度は受け取ったことがある)
4. 養育費の取り決めをしているが、一度も受け取っていない
5. 養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない
6. その他 ( )

【ここからは全員の方が答えてください。】

問30 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の人数(あなたを含む)を教えてください。そのうち、子ども的人数(対象のお子さん含む)を教えてください。

※ 単身赴任中や長期にわたって入院中の方などは、含めないでください。

かぞく にんずう 家族の人数 (あなたを含む)	うち	さいご さいご 0～5歳のお子さん		さいいじょう こ 6歳以上のお子さん (対象のお子さん含む)
<input style="width: 100px; height: 30px;" type="text"/> 人	⇒	<input style="width: 100px; height: 30px;" type="text"/> 人	⇒	<input style="width: 100px; height: 30px;" type="text"/> 人

問31 問30で回答した「ご家族」には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか(あなたを含む)。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1. 母親(継母含む) | 2. 父親(継父含む) |
| 3. 祖父母      | 4. 兄弟姉妹     |
| 5. その他 ( )  |             |

問32 お子さんのご家庭で、日本語以外の言語を使用していますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 日本語のみを使用している
2. 日本語以外の言語も使用しているが、日本語のほうが多い
3. 日本語以外の言語を使うことが多い

問33 お子さんの親の最終学歴（卒業した学校）は、次のうちどれですか。

（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

※ 例えば、高校卒業後、大学を中退した場合は「2」と回答してください。

(ア) 母親	(イ) 父親
1. 中学（中学部）まで	1. 中学（中学部）まで
2. 高校（高等部）まで	2. 高校（高等部）まで
3. 短大・高専・専門学校（専攻科）まで	3. 短大・高専・専門学校（専攻科）まで
4. 大学またはそれ以上	4. 大学またはそれ以上
5. いない、わからない	5. いない、わからない

問34 お子さんの親の就労状況をお答えください。

（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

※ 産休・育休を取得している場合は、取得前の状況をお答えください。

(ア) 母親	(イ) 父親
1. 正規社員・正規職員・会社役員	1. 正規社員・正規職員・会社役員
2. 嘱託・契約社員・派遣職員	2. 嘱託・契約社員・派遣職員
3. パート・アルバイト・日雇い・非常勤	3. パート・アルバイト・日雇い・非常勤
4. 自営業（家族従事者、内職、自由業、フリーランス含む）	4. 自営業（家族従事者、内職、自由業、フリーランス含む）
5. 働いていない（専業主婦）	5. 働いていない（専業主夫）
6. いない、わからない	6. いない、わからない
⇒ 「1」～「4」、「6」と回答した方は 問35へ	⇒ 「1」～「4」、「6」と回答した方は 問35へ

「5」と回答した方は問34-2へ

【問34で「5」と回答した方のみ】

問34-2 働いていない理由について、お答えください。

(それぞれ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

(ア) 母親	(イ) 父親
1. 働きたいが、希望する条件の仕事がないため	1. 働きたいが、希望する条件の仕事がないため
2. 子育てを優先したいため	2. 子育てを優先したいため
3. 家族の介護・介助のため	3. 家族の介護・介助のため
4. 自分の病気や障害のため	4. 自分の病気や障害のため
5. 通学しているため	5. 通学しているため
6. 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で失業したため	6. 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で失業したため
7. その他の理由	7. その他の理由
( )	( )

【ここからは全員の方が答えてください。】

問35 前年（平成31年1月～令和元年12月までの1年間）のあなたの世帯全体の手取り収入の合計額（税込み）は、おおよそいくらですか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

※ 手取り収入額は、就労所得（働いて得た所得）に、児童手当や児童扶養手当、生活保護などの公的扶助も含めた金額をお答えください。

1. 50万円未満	2. 50～100万円未満	3. 100～150万円未満
4. 150～200万円未満	5. 200～250万円未満	6. 250～300万円未満
7. 300～350万円未満	8. 350～400万円未満	9. 400～450万円未満
10. 450～500万円未満	11. 500～550万円未満	12. 550～600万円未満
13. 600～650万円未満	14. 650～700万円未満	15. 700～750万円未満
16. 750～800万円未満	17. 800～850万円未満	18. 850～900万円未満
19. 900～950万円未満	20. 950～1,000万円未満	21. 1,000万円以上

問36 あなたは、現在の暮らしの状況を、どのように感じていますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 大変ゆとりがある	2. ややゆとりがある	3. 普通
4. やや苦しい	5. 大変苦しい	

問37 あなたの世帯では、過去1年間に、経済的な理由で、(ア)～(カ)の料金が未払いになったことがありますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった
(ア) 家賃・住宅ローンの滞納	1	2	3	4
(イ) 電気料金の未払い	1	2	3	4
(ウ) ガス料金の未払い	1	2	3	4
(エ) 水道料金の未払い	1	2	3	4
(オ) 電話料金の未払い	1	2	3	4
(カ) その他の借金の滞納	1	2	3	4

問38 あなたの世帯では、過去1年間に、お金が足りなくて、(ア)～(ウ)のものが買えなかったことがありますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった
(ア) 1日に3食食べるために必要とする食料(嗜好品は含まない)	1	2	3	4
(イ) 季節の気温にあった生活に必要な衣服(高価な衣服、貴金属・宝飾品は含まない)	1	2	3	4
(ウ) 子どもが学校などで使う文具や家庭学習のための教材	1	2	3	4

問39 あなたの世帯では、これまでに、(ア)～(オ)の支援制度を利用したことがありますか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	現在利用している/利用したことがある	利用していない理由					わからない
		制度の対象外	利用できるが利用したと思わない	利用したいが内容を知らない	利用したいが利用手続きを知らない	説明を受けたいが、よくわからなかった	
(ア) 就学援助	1	2	3	4	5	6	7
(イ) 生活保護	1	2	3	4	5	6	7
(ウ) だいJOBセンター(生活困窮者の自立支援窓口)	1	2	3	4	5	6	7
(エ) 児童扶養手当(ひとり親家庭などへの手当) ※児童手当ではありません。	1	2	3	4	5	6	7
(オ) 川崎市母子・父子福祉センター(母子家庭等就業・自立支援センター)	1	2	3	4	5	6	7

※就学援助：経済的理由により子どもの就学が困難な場合に、学用品費などを補助する制度

生活保護：病気や失業などで生活費などに困り、他に方法がないときに一定の援助が受けられる制度

児童扶養手当：所得が一定水準以下のひとり親世帯の生活支援のための手当

**アンケートは以上になります。**

**ご協力ありがとうございました。**



(3) 小学5年生の子ども

## かわさきし こ わかものちょうさ ねが 川崎市子ども・若者調査のお願い

このアンケートは、川崎市内の小学校5年生のみなさんの、学校や家での生活の様子などについてたずねるものです。

ぜひアンケートにご協力ください。

かいとう まえ よ  
回答する前にお読みください

1. 回答は、自分で答えてください。保護者に見せる必要はありません。
2. 名前を書く必要はありません。あなた個人を特定するものではありませんので、安心して答えてください。
3. このアンケートは、成績には関係ありません。また、学校の先生があなたの回答内容を見ることは、絶対にありません。
4. 答えられない質問や、答えたくない質問には、答える必要はありません。
5. 回答が終わったら、このアンケート用紙は、返信用封筒（小5本人用）に入れ、他の人に見られないように、のりなどで封をして、保護者の方に渡してください。
6. 保護者の方から、「返信用封筒（小5本人&小5保護者用）」と書かれた大きな封筒を渡されるので、担任の先生に渡してください。
7. このアンケートについてのお問い合わせは、学校ではなく、次の問合せ先にお願いします。

11/26(木)  
ていしゅつきげん  
提出期限



Colors, Future!  
いろいろって、未来。

川崎市

このアンケートについてのお問い合わせは

かわさきし みらいきよくそうむぶきかくか  
川崎市子ども未来局 総務部企画課

TEL : 044-200-3028 (平日8:30-17:00)

FAX : 044-200-3190

Mail : 45kikaku@city.kawasaki.jp

**あなたのことについておたずねします。**

問1 あなたの性別と住んでいる場所を教えてください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

性別	1. 男性	2. 女性	3. 答えたくない
住んでいる場所	1. 川崎区	2. 幸区	3. 中原区
	5. 宮前区	6. 多摩区	7. 麻生区

**学校での生活や勉強のことについておたずねします。**

問2 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. いつもわかる	問4へ
2. だいたいわかる	
3. 教科によってはわからないことがある	問3へ
4. わからないことが多い	
5. ほとんどわからない	

→ 【問2で、3、4、5と回答した方のみ】

問3 いつごろから授業がわからないと思うようになりましたか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 小学校1・2年生のころ	2. 小学校3年生のころ
3. 小学校4年生のころ	4. 小学校5年生になってから

→ 【ここからは全員の方が答えてください。】

問4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 上のほう	2. 真ん中より上のほう
3. 真ん中あたり	4. 真ん中より下のほう
5. 下のほう	6. わからない

問5 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強していますか。

※勉強には学校の宿題もふくみます。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 自分で勉強する	2. 塾で勉強する(有料)
3. 学校の補習を受ける	4. 家庭教師に教えてもらう
5. 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する(わくわく学習会・地域の寺子屋など)	6. 家の人に教えてもらう
7. 友達と勉強する	8. こども文化センターで勉強する
9. 学校の授業以外では勉強しない	10. その他( )

問6 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどのくらいの時間勉強しますか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

※学校の宿題をする時間や塾などでの勉強時間もふくみます。

	3時間以上	2時間以上、 3時間より 少ない	1時間以上、 2時間より 少ない	30分以上、1 時間より 少ない	30分より 少ない	まったく しない
(ア) 学校がある日 (月～金)	1	2	3	4	5	6
(イ) 学校がない日 (土・日・ 祝日)	1	2	3	4	5	6

問7 あなたは、将来どの段階まで進学したいですか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 中学校まで	2. 高校まで
3. 短大・高専・専門学校まで	4. 大学またはそれ以上
5. まだわからない	

問8 問7の回答を選んだ理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 希望する学校や職業があるから	2. 自分の成績から考えて
3. 親がそう言っているから	4. 兄・姉がそうしているから
5. まわりの先輩や友達がそうしているから	6. 家にお金がないと思うから
7. 早く働く必要があるから	8. その他( )
9. 特に理由はない	

問9 あなたは、将来の夢や、つきたい職業がありますか。

1. ある ⇒問10へ	2. ない ⇒問11へ
-------------	-------------

【問9で、1と回答した方のみ】

問10 その夢や、つきたい職業は何ですか。具体的に答えてください。

【ここからは全員の方が答えてください。】

あなたのふだんの生活についておたずねします。

問11 この1週間を振り返って、あなたは、毎日、食事をしましたか。また、夏休みはお昼ごはんを毎日食べていましたか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	毎日食べた	週に5、6日は食べた	週に3、4日は食べた	週に1、2日は食べた	食べなかった
(ア) 朝ごはん	1	2	3	4	5
(イ) 夕ごはん	1	2	3	4	5
(ウ) 夏休みのお昼ごはん	1	2	3	4	5

問13へ

問12へ

【問11の(ア)～(ウ)で、1つでも、3、4、5と回答した方のみ】

問12 ご飯を食べなかった理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. (朝・夕) ご飯を食べる習慣がないから	2. 朝起きられないなど、食べる時間がなかったから
3. 親に用意してもらえなかったから	4. その他 ( )
5. わからない	

【ここからは全員の方が答えてください。】

問 1 3 この1週間を振り返って、あなたは、学校がある日に、起きた時間と寝る時間は、いつも同じ時間でしたか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください）

	おな じかん おお 同じ時間が多かつ た	どちらかといえば おな じかん おお 同じ時間が多かつ た	どちらかといえば ちが じかん おお 違う時間が多かつ た	ちが じかん おお 違う時間が多かつ た
(ア) お 起きた時間	1	2	3	4
(イ) ね 寝る時間	1	2	3	4

問 1 4 あなたは、今までに次の(ア)～(エ)のような場所を利用したことがありますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

	りよう 利用しているまたは 利用したことがある	りよう 利用したことがない が利用したいと思う	りよう 利用したことがな く、今後も利用する つもりはない
(ア) じぶん ともだち いえいがい へいじつ よる 自分や友達の家以外で、平日の夜 や休日や過ごすことができる場 所（子ども文化センターなど）	1	2	3
(イ) じぶん ともだち いえいがい ゆうごはん 自分や友達の家以外で、夕ごはん を無料か安く食べることができる 場所（子ども食堂など）	1	2	3
(ウ) がっこういがい べんきょう わりよう 学校以外で、勉強を無料でみて くれる場所	1	2	3
(エ) じぶん いえ がっこういがい なん 自分の家や学校以外で、何でも 相談できる場所（電話やネット、 SNS相談をふくむ）	1	2	3

問 1 5

問 1 7

【問14で、1つでも「1」と回答した方のみ】

問15 利用した場所はどこですか。(場所(会場)の名前をすべて記入してください。)

(ア) 自分や友達の家以外で、平日の夜や休日を過ごすことができる場所(子ども文化センターなど)
⇒ _____
(イ) 自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料が安く食べることができる場所(子ども食堂など)
⇒ _____
(ウ) 学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所
⇒ _____
(エ) 自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所(電話やネット、SNS相談をふくむ)
⇒ _____

問16 問15で回答した場所を利用したことで、次のような変化はありましたか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 友達が増えた	2. 気軽に話せる大人が増えた
3. 生活の中で楽しみなことが増えた	4. ほっとできる時間が増えた
5. 栄養のある食事をとれることが増えた	6. 勉強がわかるようになった
7. 勉強する時間が増えた	8. 勉強する習慣が身についてきた
9. その他 ( )	10. 特に変化はない

【ここからは全員の方が答えてください。】

問17 この1か月を振り返って、あなたが困ったことや悩みがあったときに、相談した人はだれですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. お父さんまたはお母さん	2. きょうだい
3. おじいちゃんまたはおばあちゃん	4. 学校の先生
5. わくわくプラザの職員	6. 子ども文化センターの職員
7. 学校の友達	8. 学校以外の友達
9. スクールカウンセラー	10. その他の大人(習い事の先生、近所の大人)
11. オンラインゲームやSNSなどのネットで知り合った人	12. その他の人( )
13. 相談したかったが、だれにも相談できなかった	14. 相談したいと思わなかった

**あなたがふだん感じていることなどについておたずねします。**

問18 あなたは、最近の生活にどのくらい満足していますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

0 ← まったく満足していない						じゅうぶん 十分に満足している → 10					
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	

問19 次の(ア)～(ソ)について、あなたのここ半年間くらいのことを考えて教えてください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	あてはまる	まああてはまる	あてはまらない
(ア) 他人に対して親切にしている 他人の気持ちをよく考える	1	2	3
(イ) よく頭やおなか痛くなったり、 気持ちが悪くなったりする	1	2	3
(ウ) 他の子どもたちとよく分け合う (食べ物・ゲーム、ペンなど)	1	2	3
(エ) たいてい一人でいる。だいたい いつも一人で遊ぶか、人と付き合う ことを避ける	1	2	3
(オ) 心配ごとが多く、いつも不安だ	1	2	3
(カ) 誰かが心を痛めていたり、 落ち込んでいたり、嫌な思 いをしているときなど、すす んで助ける	1	2	3
(キ) 仲の良い友達が少なくとも 1人はいる	1	2	3
(ク) 落ち込んでしずんでいたり、 涙ぐんだりすることがよくある	1	2	3
(ケ) 同じくらいの年齢の子ども からは、だいたい好かれて いる	1	2	3
(コ) 新しい場面に直面すると不安 になり、自信をなくしやすい	1	2	3

	あてはまる	まああてはまる	あてはまらない
(サ) 年下の子どもたちに対してやさしくしている	1	2	3
(シ) 他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりする	1	2	3
(ス) 自分からすすんでよくお手伝いをする(親、先生・子どもたちなど)	1	2	3
(セ) 他の子どもたちより、大人という方がうまくいく	1	2	3
(ソ) こわがりで、すぐにおびえたりする	1	2	3

問20 あなたは次の(ア)～(カ)について、どう思いますか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
(ア) 大学を出ないとよい仕事につけないと思う	1	2	3	4	5
(イ) がんばって働かなくても生活していけると思う	1	2	3	4	5
(ウ) 希望する学校や会社に入れるか不安だ	1	2	3	4	5
(エ) 自分の将来が楽しみだ	1	2	3	4	5
(オ) 自分のことが好きだ	1	2	3	4	5
(カ) 自分は家族に大事にされていると思う	1	2	3	4	5

これで、アンケートは終わりです。

ありがとうございました。



(4) 中学2年生の子を持つ親

# 川崎市子ども・若者調査のお願い

このアンケートは、川崎市における今後の子育て支援策を検討する際の基礎資料として活用するため、生活状況やお子さんの様子、子育ての悩みなどについて、お伺いするものです。

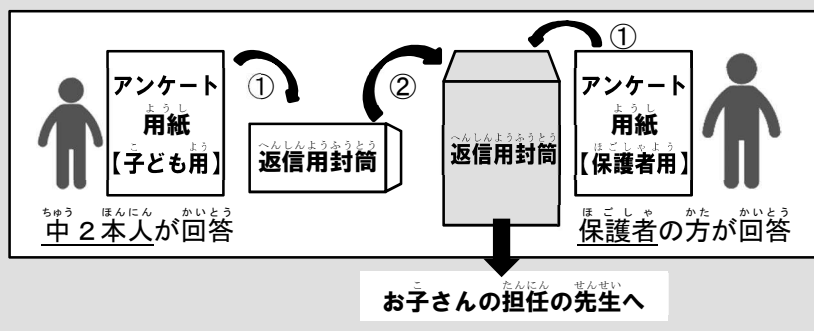
みなさまからのご意見が、子育てしやすいまちにつながりますので、ぜひアンケートにご協力くださいますよう、お願いいたします。

## 回答する前にお読みください

**11月26日(木)**  
提出期限

- このアンケートは、無作為に選んだ中学校に通う2年生のお子さんのいる世帯にお配りしています。
- このアンケートは、保護者の方が回答してください。
- このアンケートは無記名です。名前を書く必要はありません。
- このアンケートは、調査の目的以外に使用しません。回答については、統計的に処理され、個人が特定されることはありません。
- ご記入いただいたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れ、他の人に見られないように、のりなどで封をし、お子さんを通じて担任の先生にお渡しください。

・中2のお子さん本人の回答と併せて提出してください。



- 学校が回答内容を見ることはありません。なお、このアンケートについてのお問い合わせは、学校ではなく、次の問合せ先をお願いします。



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

## このアンケートについてのお問い合わせは

川崎市子ども未来局 総務部企画課

TEL : 044-200-3028 (平日8:30-17:00)

FAX : 044-200-3190

Mail : 45kikaku@city.kawasaki.jp

この調査で「お子さん」とは、調査対象となる中学校2年生のお子さんのことをいいます。「お子さん」と書かれた質問については、対象のお子さんについてのみお答えください。  
 回答は、保護者の方お一人がご記入ください。

**お子さんの日常生活・学校生活についておたずねします。**

問1 この1か月間の、お子さんの生活習慣について、お答えください。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	できている	ほぼできている	あまりできていない	できていない	わからない
(ア) 決まった時間に起きる	1	2	3	4	5
(イ) 決まった時間に寝る	1	2	3	4	5
(ウ) 毎日、朝ごはんを食べる	1	2	3	4	5
(エ) 毎日、食後に歯を磨く	1	2	3	4	5
(オ) 毎日、お風呂に入る	1	2	3	4	5
(カ) 身の回りを整理整頓する	1	2	3	4	5
(キ) あいさつをきちんとする	1	2	3	4	5
(ク) 遅刻をしないで学校に行く	1	2	3	4	5
(ケ) 友達と仲良くする	1	2	3	4	5

問2 この1週間で、お子さんだけで食事をする事がどれくらいありましたか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	まいにちかぞく 毎日家族と いっしょ 一緒	しゅう 週に1、2 にち 日は子ども だけ	しゅう 週に3、4 にち 日は子ども だけ	しゅう 週に5、6 にち 日は子ども だけ	まいにちこ 毎日子ども だけ	ほとんど ほとんど食 べなかった
(ア) ちようしよく 朝食	1	2	3	4	5	6
(イ) ゆうしよく 夕食	1	2	3	4	5	6

【問2の(ア)、(イ)で、1つでも、2、3、4、5、6と回答した方のみ】

問2-2 その理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- |   |   |
|---|---|
| 1. おや おとな がしごとなどでいそがしくて、<br>のじかんにいへなかったから             | 2. おや おとな がしごとなどでいそがしくて、<br>よういできなかったから |
| 3. おや おとな がびょうきなどにより、<br>よういできなかったから                  | 4. こどもがあさお<br>朝起きられなかったから               |
| 5. こどもがよるならごとなどがあり、<br>かぞくよりはや<br>または遅く夕食を食べる必要があったから | 6. お金がなかったから                            |
| 7. わからない  | 8. その他<br>( )                           |

【ここからは全員の方が答えてください。】

問3 お子さんは、この1か月間で、放課後（授業が終わった後）から夜にかけて、だれと、どこにすることが多かったですか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

a だれと過ごしたか

- |   |
|---|
| 1. かぞく（そふぼ、しんせきなど含む）                                    |
| 2. じゆく、ならごとせんせい、こどもぶんかセンターなど、<br>たしせつしよくいん<br>その他の施設の職員 |
| 3. きんじよひと、かぞくいがいおとな<br>近所の人など、家族以外の大人                   |
| 4. がっこうともだちせんぱいこうはい<br>学校の友達・先輩・後輩                      |
| 5. きんじよともだち、がっこういがいともだち<br>近所の友達など、学校以外の友達              |
| 6. たひと<br>その他の人 ( )                                     |
| 7. ひとり<br>一人でいる   |
| 8. わからない  |

b どこで過ごしたか

1. 自分 <sup>じぶん</sup> の家 <sup>いえ</sup> ・祖父 <sup>そふ</sup> 母 <sup>ぼ</sup> や親 <sup>しん</sup> せき <sup>せき</sup> の家 <sup>いえ</sup>	2. 友達 <sup>ともだち</sup> の家 <sup>いえ</sup>
3. 塾 <sup>じゅく</sup> や習 <sup>なら</sup> い事 <sup>ごと</sup> (スポーツ <sup>スポーツ</sup> の教室 <sup>きょうしつ</sup> など含む)	4. こども文化 <sup>ぶんか</sup> センターなど
5. 公園 <sup>こうえん</sup>	6. ゲームセンター
7. 学校 <sup>がっこう</sup> (部活動 <sup>ぶかつどう</sup> を含む)	8. 図書館 <sup>としよかん</sup>
9. 商店街 <sup>しょうてんがい</sup> ・ショッピングモール	10. その他 ( )
11. わからない	

問4 新型コロナウイルスに伴い、学校が休業していた時期に、お子さんは、だれと、どこに  
いることが多かったですか。(それぞれ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

a だれと過ごしたか

1. 家族 <sup>かぞく</sup> (祖父 <sup>そふ</sup> 母 <sup>ぼ</sup> 、親 <sup>しん</sup> せきなど含む)
2. 塾 <sup>じゅく</sup> や習 <sup>なら</sup> い事 <sup>ごと</sup> の先生 <sup>せんせい</sup> 、その他 <sup>た</sup> の施設 <sup>しせつ</sup> の職員 <sup>しよくいん</sup>
3. 近所 <sup>きんじよ</sup> の人 <sup>ひと</sup> など、家族 <sup>かぞく</sup> 以外 <sup>いがい</sup> の大人 <sup>おとな</sup>
4. 学校 <sup>がっこう</sup> の友達 <sup>ともだち</sup> ・先輩 <sup>せんぱい</sup> ・後輩 <sup>こうはい</sup>
5. 近所 <sup>きんじよ</sup> の友達 <sup>ともだち</sup> など、学校 <sup>がっこう</sup> 以外 <sup>いがい</sup> の友達 <sup>ともだち</sup>
6. その他 <sup>た</sup> の人 <sup>ひと</sup> ( )
7. 一人 <sup>ひとり</sup> でいる
8. わからない

b どこで過ごしたか

1. 自分 <sup>じぶん</sup> の家 <sup>いえ</sup> ・祖父 <sup>そふ</sup> 母 <sup>ぼ</sup> や親 <sup>しん</sup> せき <sup>せき</sup> の家 <sup>いえ</sup>	2. 友達 <sup>ともだち</sup> の家 <sup>いえ</sup>
3. 塾 <sup>じゅく</sup> や習 <sup>なら</sup> い事 <sup>ごと</sup> (スポーツ <sup>スポーツ</sup> の教室 <sup>きょうしつ</sup> など含む)	4. 公園 <sup>こうえん</sup>
5. ゲームセンター	6. 商店街 <sup>しょうてんがい</sup> ・ショッピングモール
7. その他 ( )	8. わからない

問5 お子さんは、不登校の経験がありますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 不登校 <sup>ふとうこう</sup> の経験 <sup>けいけん</sup> はない
2. 過去 <sup>かこ</sup> に不登校 <sup>ふとうこう</sup> の経験 <sup>けいけん</sup> がある
3. 現在 <sup>げんざい</sup> 、不登校 <sup>ふとうこう</sup> である

**お子さんとの関わり方についておたずねします。**

問6 これまでの、あなたとお子さんとの関わり方について、お答えください。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	あてはまる	どちらかと言え ばあてはまる	どちらかと言え ばあてはまらない	あてはまらない
(ア) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた	1	2	3	4
(イ) テレビやゲーム、インターネットなどの視聴時間などのルールを決めている	1	2	3	4
(ウ) お子さんから勉強や成績のことについて話をしてくれる	1	2	3	4
(エ) お子さんに本や新聞を読むように勧めている	1	2	3	4

問7 この1か月間、あなたのご家庭では、お子さんと一緒に(ア)～(ウ)のようなことをしましたか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	ほぼ毎日	週3～4日	週1～2回	月に1、2回	ほとんどしなかった
(ア) 子どもと学校生活の話をする	1	2	3	4	5
(イ) 子どもとテレビ番組や趣味の話をする	1	2	3	4	5
(ウ) 子どもと政治経済・社会問題などのニュースの話をする	1	2	3	4	5

問8 あなたのご家庭では、この1年間でお子さんのために、(ア)～(キ)のようなことをしていますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	している	していない (2～4から1つ)		
		する必要がない	いそがしくてできない	経済的にできない
(ア) 子どもを有料の学習塾や習い事(スポーツや音楽、英会話など)に通わせる	1	2	3	4
(イ) 子どもを博物館や科学館などに連れていく(映画館・美術館なども含む)	1	2	3	4
(ウ) 家族旅行に行く	1	2	3	4
(エ) 子どもの誕生日には、お祝いをする	1	2	3	4
(オ) クリスマスプレゼントやお年玉を渡す	1	2	3	4
(カ) 子どもに毎月お小遣いを渡す	1	2	3	4
(キ) 子どもの成長に合わせ、衣服や靴をそろえる	1	2	3	4

問9 あなたは、お子さんの学校の行事などに、これまでにどの程度参加しましたか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	よく参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	まったく参加していない
(ア) 授業参観や運動会などの学校行事への参加	1	2	3	4
(イ) PTA活動や保護者会、放課後学習支援などのボランティアなどへの参加	1	2	3	4

**お子さんの将来についておたずねします。**

問10 お子さんについて、どの段階まで教育を受けさせたいと希望しますか。  
 (あてはまる番号1つに○をつけてください。)

- |                 |              |
|-----------------|--------------|
| 1. 中学校まで        | 2. 高校まで      |
| 3. 短大・高専・専門学校まで | 4. 大学またはそれ以上 |
| 5. まだわからない      |              |

問11 お子さんについて、現実的に見て、どの段階まで進学すると思いますか。  
 (あてはまる番号1つに○をつけてください。)

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| 1. 中学校まで          | 2. 高校まで              |
| 3. 短大・高専・専門学校まで   | 4. 大学またはそれ以上         |
| 5. まだわからない ⇒ 問13へ | ⇒ 「1」～「4」と回答した方は問12へ |

**【問11で、1、2、3、4と回答した方のみ】**

問12 その理由をお答えください (あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1. 子どもが希望しているから | 2. 一般的な進路だと思うから   |
| 3. 子どもの学力から考えて  | 4. 家庭の経済的な状況から考えて |
| 5. その他 ( )      | 6. 特に理由はない        |

**【ここからは全員の方が答えてください。】**

問13 お子さんの就職について、どのように考えていますか。  
 (あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

- |   |
|---|
| 1. 大手企業に就職してほしい                         |
| 2. 中小企業に就職してほしい                         |
| 3. 就職は正社員でなくて、アルバイト・パート・非常勤職員でもよい       |
| 4. 公務員(教員を除く)になってほしい                    |
| 5. 資格の必要な仕事(教員、保育士、医師、看護師、弁護士など)についてほしい |
| 6. 就職しなくてもよい                            |
| 7. その他 ( )                              |

問14 あなたは、(ア)～(オ)のような考えに対して、どう思いますか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	そう思う	まあそう思う	あまりそう おもう 思わない	そう思わない
(ア) 大学を出ないとよい仕事につけないと思う	1	2	3	4
(イ) がんばって働かなくても生活していけると思う	1	2	3	4
(ウ) 子どもが希望する学校や会社に入れるか不安だ	1	2	3	4
(エ) 努力すれば夢や希望はかなえられると思う	1	2	3	4
(オ) 子どもには少しでも早く働いて欲しいと思う	1	2	3	4

あなたの日常生活についておたずねします。

問15 あなたは、この1か月間で、近所の人との交流をどの程度しましたか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

※ 近所は「自宅から歩いて5分程度の範囲に住んでいる」で、お考えください。

※ 2～5の選択肢については、1以外の近所に住む人で、お考えください。

1. 子どもの学校や習い事などで付き合いのある人(いわゆるママ友・パパ友)の家を訪れたり、連絡を取り合ったりした(親族は除く)
2. 特に用事がなくても話すことがあった
3. 町内会などの用事があったときに話した
4. 玄関先など、出先で会った時に挨拶をした
5. その他 ( )
6. まったく付き合いがない



問16 あなたは、この1年間において、a～cのことについて、だれに相談しましたか。

(それぞれ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

a 子育てに関する相談

※ お子さんの発達や食事に関する事など、子育て全般について、相談した先をお答えください。

1. 家族・親族
2. 友人・知人 (近所の人や職場の人など含む)
3. 相談・支援機関 (市役所や区役所の職員など) や学校などの施設の職員
4. 民生委員・児童委員
5. その他の人 ( )
6. だれに相談したらいいかわからず、相談できる相手がいなかった
7. 仕事などで忙しく、相談したいときに相談できる相手がいなかった
8. 子育てに関する事について、相談することはなかった (必要を感じなかった)

b いざという時のお金の援助相談

1. 家族・親族
2. 友人・知人 (近所の人や職場の人など含む)
3. 相談・支援機関 (市役所や区役所の職員など) や学校などの施設の職員
4. 民生委員・児童委員
5. その他の人 ( )
6. だれに相談したらいいかわからず、相談できる相手がいなかった
7. 仕事などで忙しく、相談したいときに相談できる相手がいなかった
8. お金の援助について、相談することはなかった (必要を感じなかった)

c 「a」、「b」以外の重要な事柄の相談

1. 家族・親族
2. 友人・知人 (近所の人や職場の人など含む)
3. 相談・支援機関 (市役所や区役所の職員など) や学校などの施設の職員
4. 民生委員・児童委員
5. その他の人 ( )
6. だれに相談したらいいかわからず、相談できる相手がいなかった
7. 仕事などで忙しく、相談したいときに相談できる相手がいなかった
8. 子育て・お金以外の重要な事柄について、相談することはなかった (必要を感じなかった)

**あなたの気持ちについておたずねします。**

問17 この1か月間、あなたは、どのような気持ちでしたか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	いつも	たいてい	ときどき	すこ 少しだけ	まったく ない
(ア) 神経過敏に感じた	1	2	3	4	5
(イ) 絶望的だと感じた	1	2	3	4	5
(ウ) そわそわ落ち着かなく感じた	1	2	3	4	5
(エ) 気分が沈み込んで、何が起つても気が晴れないように感じた	1	2	3	4	5
(オ) 何をするのも面倒だと感じた	1	2	3	4	5
(カ) 自分は価値のない人間だと感じた	1	2	3	4	5

**子育ての悩みについておたずねします。**

問18 あなたは、現在、ご自身の生活に関することで、次のような心配ごとや悩みごとはありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 生活費に関する事	⇒問18-2へ
2. 自分または配偶者の仕事に関する事	
3. 自分の体調(病気や障害など)に関する事	
4. 子ども以外の家族の体調や介護に関する事	
5. 対人関係に関する事(相談相手がいないなど)	
6. その他( )	
7. 特に悩みはない	

⇒「2」～「7」のみを回答した方は問19へ

【問18で、「1」と回答した方のみ】

問18-2 あなたは、生活費に関して、次のような心配ごとや悩みはありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 就労収入が少ない、または減った
2. 貯金ができない
3. 家賃や住宅ローン、光熱費などの各種支払いができない
4. 食料が買えない
5. 生活に最低限必要な衣服が買えない
6. その他 ( )

【ここからは全員の方が答えてください。】

問19 あなたは、現在、お子さんに関する事で、次のような心配ごとや悩みごとはありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

- |                        |         |
|------------------------|---------|
| 1. 生活習慣や発達、体調に関する事     | ⇒問19-2へ |
| 2. 学習・進学・受験に関する事       | ⇒問19-3へ |
| 3. 友人関係に関する事           |         |
| 4. 障害に関する事             |         |
| 5. 塾や習い事など学校以外の活動に関する事 |         |
| 6. 異性関係に関する事           |         |
| 7. その他 ( )             |         |
| 8. 特に悩みはない             |         |

⇒「3」～「8」のみを回答した方は問20へ

【問19で、「1」と回答した方のみ】

問19-2 あなたは、お子さんの生活習慣や発達、体調に関して、次のような心配ごとや悩みはありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 基本的な生活習慣(あいさつ、規則正しい食生活、整理・整頓など)が身につけていない
2. 反抗的な態度や問題行動が心配である
3. 何事に対しても消極的にみえる、やる気がない
4. 病気がちである(体調がすぐれない)
5. 自立した生活ができるか心配である
6. その他 ( )



問2 1 新型コロナウイルス感染拡大前と比べて、4月以降のあなたの生活面で、次のような心配ごとや困っていることはありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. イライラして怒りっぽくなった、子どもを叱ることが増えた
2. 寝つきが悪くなり、何度も目が覚めるようになった
3. 外出するのが怖くなった
4. 孤立感や閉塞感を感じるようになった
5. 仕事や家事などに集中できなくなることが多くなった
6. 子育てが嫌になることが多くなった
7. その他 ( )
8. 特に変化は感じていない

お子さんのことについておたずねします。

問2 2 お子さんは、障害などがありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

※「身体障害」とは、視覚障害、聴覚障害・平衡機能障害、音声・言語障害(咀嚼障害を含む)、肢体不自由、心臓・腎臓などの内部障害の5種類に関する障害(身体障害者手帳を所有している方が該当します)。

※「発達障害」とは、自閉症、アスペルガー症候群、学習障害、注意欠陥多動性障害、その他の広汎性発達障害などが該当します。

※「その他」(難病など)とは、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」に定めるものが該当します。

- |          |              |
|----------|--------------|
| 1. 特にない  | 2. 身体障害      |
| 3. 知的障害  | 4. 発達障害      |
| 5. 精神障害  | 6. その他(難病など) |
| 7. わからない |              |

問23 お子さんが0～5歳の間に、最も長く通っていた施設などをお答えください。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

(ア) 0～2歳	(イ) 3～5歳
1. 認可保育所・認定こども園	1. 認可保育所・認定こども園
2. 1以外の教育・保育施設など (幼稚園、川崎認定保育園、おなかま保育室など)	2. 1以外の教育・保育施設など (幼稚園、川崎認定保育園、おなかま保育室など)
3. 親や親族以外の個人が面倒をみていた	3. 親や親族以外の個人が面倒をみていた
4. 主に親や親族が面倒をみていた	4. 主に親や親族が面倒をみていた

あなたと、ご家族に関することについておたずねします。

問24 お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄で、お答えください。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 母親(継母を含む)	2. 父親(継父を含む)
3. 祖父母	4. その他

問25 あなたが現在、お住まいの地区について教えてください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 川崎区	2. 幸区	3. 中原区	4. 高津区
5. 宮前区	6. 多摩区	7. 麻生区	

問26 あなたは、どのくらい川崎市に住んでいますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 1年未満	2. 3年未満	3. 5年未満
4. 10年未満	5. 20年未満	6. 20年以上

問27 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の現在の婚姻状況を教えてください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 結婚している (事実婚含む)	2. 離婚 ⇒問27-2へ	3. 別居中
4. 死別	5. 未婚	6. いない・わからない

⇒「1」、「3」～「6」と回答した方は問28へ

【問27で、「2」と回答した方のみ】

問27-2 離婚相手と、お子さんの養育費の取り決めをしていますか。また、養育費を現在受け取っていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 取り決めをしており、養育費を受け取っている
2. 特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている
3. 養育費の取り決めをしているが、今は受け取っていない (過去に一度は受け取ったことがある)
4. 養育費の取り決めをしているが、一度も受け取っていない
5. 養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない
6. その他 ( )

【ここからは全員の方が答えてください。】

問28 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の人数 (あなたを含む) を教えてください。そのうち、子どもの人数 (対象のお子さん含む) を教えてください。

※ 単身赴任中や長期にわたって入院中の方などは、含めないでください。

家族の人数 (あなたを含む)	うち	0～5歳のお子さん	6歳以上のお子さん (対象のお子さん含む)
<input type="text"/>	⇒	<input type="text"/>	<input type="text"/>
人		人	人

問29 問28で回答した「ご家族」には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか (あなたを含む)。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 母親 (継母含む)	2. 父親 (継父含む)
3. 祖父母	4. 兄弟姉妹
5. その他 ( )	

問30 お子さんのご家庭で、日本語以外の言語を使用していますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>日本語のみを使用している</li> <li>日本語以外の言語も使用しているが、日本語のほうが多い</li> <li>日本語以外の言語を使うことが多い</li> </ol> |
|--|

問31 お子さんの親の最終学歴(卒業した学校)は、次のうちどれですか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

※ 例えば、高校卒業後、大学を中退した場合は「2」と回答してください。

(ア) 母親	(イ) 父親
1. 中学(中学部)まで	1. 中学(中学部)まで
2. 高校(高等部)まで	2. 高校(高等部)まで
3. 短大・高専・専門学校(専攻科)まで	3. 短大・高専・専門学校(専攻科)まで
4. 大学またはそれ以上	4. 大学またはそれ以上
5. いない、わからない	5. いない、わからない

問32 お子さんの親の就労状況をお答えください。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

※ 産休・育休を取得している場合は、取得前の状況をお答えください。

(ア) 母親	(イ) 父親
1. 正規社員・正規職員・会社役員	1. 正規社員・正規職員・会社役員
2. 嘱託・契約社員・派遣職員	2. 嘱託・契約社員・派遣職員
3. パート・アルバイト・日雇い・非常勤	3. パート・アルバイト・日雇い・非常勤
4. 自営業(家族従事者、内職、自由業、フリーランス含む)	4. 自営業(家族従事者、内職、自由業、フリーランス含む)
5. 働いていない(専業主婦)	5. 働いていない(専業主夫)
6. いない、わからない	6. いない、わからない

問32-2へ

⇒「1」～「4」、「6」と回答した方は問33へ



**【問32で「5」と回答した方のみ】**

問32-2 働いていない理由について、お答えください。

(それぞれ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

(ア) 母親	(イ) 父親
1. 働きたいが、希望する条件の仕事がないため	1. 働きたいが、希望する条件の仕事がないため
2. 子育てを優先したいため	2. 子育てを優先したいため
3. 家族の介護・介助のため	3. 家族の介護・介助のため
4. 自分の病気や障害のため	4. 自分の病気や障害のため
5. 通学しているため	5. 通学しているため
6. 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で失業したため	6. 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で失業したため
7. その他の理由	7. その他の理由
( )	( )

**【ここからは全員の方が答えてください。】**

問33 前年（平成31年1月～令和元年12月までの1年間）のあなたの世帯全体の手取り収入の合計額（税込み）は、おおよそいくらですか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

※ 手取り収入額は、就労所得（働いて得た所得）に、児童手当や児童扶養手当、生活保護などの公的扶助も含めた金額をお答えください。

1. 50万円未満	2. 50～100万円未満	3. 100～150万円未満
4. 150～200万円未満	5. 200～250万円未満	6. 250～300万円未満
7. 300～350万円未満	8. 350～400万円未満	9. 400～450万円未満
10. 450～500万円未満	11. 500～550万円未満	12. 550～600万円未満
13. 600～650万円未満	14. 650～700万円未満	15. 700～750万円未満
16. 750～800万円未満	17. 800～850万円未満	18. 850～900万円未満
19. 900～950万円未満	20. 950～1,000万円未満	21. 1,000万円以上

問34 あなたは、現在の暮らしの状況を、どのように感じていますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 大変ゆとりがある	2. ややゆとりがある	3. 普通
4. やや苦しい	5. 大変苦しい	

問35 あなたの世帯では、過去1年間に、経済的な理由で、(ア)～(カ)の料金が未払いになったことがありますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった
(ア) 家賃・住宅ローンの滞納	1	2	3	4
(イ) 電気料金の未払い	1	2	3	4
(ウ) ガス料金の未払い	1	2	3	4
(エ) 水道料金の未払い	1	2	3	4
(オ) 電話料金の未払い	1	2	3	4
(カ) その他の借金の滞納	1	2	3	4

問36 あなたの世帯では、過去1年間に、お金が足りなくて、(ア)～(ウ)のものが買えなかったことがありますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった
(ア) 1日に3食食べるために必要とする食料(嗜好品は含まない)	1	2	3	4
(イ) 季節の気温にあった生活に必要な衣服(高価な衣服、貴金属・宝飾品は含まない)	1	2	3	4
(ウ) 子どもが学校などで使う文具や家庭学習のための教材	1	2	3	4

問37 あなたの世帯では、これまでに、(ア)～(オ)の支援制度を利用したことがありますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	げんざいりよう 現在利用している/利用したことがある	りよう 利用していない理由					わからない
		せいど 制度の対象外	りよう 利用できるが利用した と思わない	りよう 利用したいが内容を 知らない	りよう 利用したいが利用手続 きを知らない	せつめい 説明を受け たが、よくわ からなかつた	
(ア) しゅうがくえんじょ 就学援助	1	2	3	4	5	6	7
(イ) せいかつほご 生活保護	1	2	3	4	5	6	7
(ウ) だいJOBセンター (せいかつごんきゆうしゃ 生活困窮者の じりつしえんまどぐち 自立支援窓口)	1	2	3	4	5	6	7
(エ) じどうふようてあて 児童扶養手当(ひとり おやがてい り親家庭などへの てあて じどうてあて 手当) ※児童手当で はありません。	1	2	3	4	5	6	7
(オ) かわさきほし ふし 川崎市母子・父子 ふくし 福祉センター(母子 かていとうしゅうぎょう 家庭等就業・ じりつしえん 自立支援センター)	1	2	3	4	5	6	7

※ 就学援助：経済的理由により子どもの就学が困難な場合に、学用品費などを補助する制度

生活保護：病気や失業などで生活費などに困り、他に方法がないときに一定の援助が受けられる制度

児童扶養手当：所得が一定水準以下のひとり親世帯の生活支援のための手当

**アンケートは以上になります。**

**ご協力ありがとうございました。**

(5) 中学2年生の子ども

## かわさきしこ わかものちょうさ ねが 川崎市子ども・若者調査のお願い

このアンケートは、川崎市内の中学校2年生のみなさんの、学校や家での生活の様子などについてたずねるものです。

ぜひアンケートにご協力ください。

かいとう まえ よ  
回答する前にお読みください

1. 回答は、自分で答えてください。保護者に見せる必要はありません。
2. 名前を書く必要はありません。あなた個人を特定するものではありませんので、安心して答えてください。
3. このアンケートは、成績には関係ありません。また、学校の先生があなたの回答内容を見ることは、絶対にありません。
4. 答えられない質問や、答えたくない質問には、答える必要はありません。
5. 回答が終わったら、このアンケート用紙は、返信用封筒（中2本人用）に入れ、他の人に見られないように、のりなどで封をして、保護者の方に渡してください。
6. 保護者の方から、「返信用封筒（中2本人&中2保護者用）」と書かれた大きな封筒を渡されるので、担任の先生に渡してください。
7. このアンケートについてのお問い合わせは、学校ではなく、次の問合せ先にお願いします。

11/26(木)  
ていしゅつきげん  
提出期限



Colors, Future!  
いろいろって、未来。

川崎市

このアンケートについてのお問い合わせは

かわさきし みらいきょくそうむぶきかくか  
川崎市子ども未来局 総務部企画課

TEL: 044-200-3028 (平日8:30-17:00)

FAX: 044-200-3190

Mail: 45kikaku@city.kawasaki.jp

**あなたのことについておたずねします。**

問1 あなたの性別と住んでいる場所を教えてください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

性別	1. 男性	2. 女性	3. 答えたくない	
住んでいる場所	1. 川崎区	2. 幸区	3. 中原区	4. 高津区
	5. 宮前区	6. 多摩区	7. 麻生区	

**学校での生活や勉強のことについておたずねします。**

問2 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. いつもわかる	} 問4へ
2. だいたいわかる	
3. 教科によってはわからないことがある	} 問3へ
4. わからないことが多い	
5. ほとんどわからない	

【問2で、3、4、5と回答した方のみ】

問3 いつごろから授業がわからないと思うようになりましたか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 小学校1・2年生のころ	2. 小学校3・4年生のころ
3. 小学校5・6年生のころ	4. 中学校1年生のころ
5. 中学校2年生になってから	

【ここからは全員の方が答えてください。】

問4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 上のほう	2. 真ん中より上のほう
3. 真ん中あたり	4. 真ん中より下のほう
5. 下のほう	6. わからない

問5 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強していますか。

※勉強には学校の宿題もふくみます。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

- |   |                   |
|---|-------------------|
| 1. 自分で勉強する                                | 2. 塾で勉強する(有料)     |
| 3. 学校の補習を受ける                              | 4. 家庭教師に教えてもらう    |
| 5. 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する(わくわく学習会・地域の寺子屋など) | 6. 家の人に教えてもらう     |
| 7. 友達と勉強する                                | 8. こども文化センターで勉強する |
| 9. 学校の授業以外では勉強しない                         | 10. その他( )        |

問6 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどのくらいの時間勉強しますか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

※学校の宿題をする時間や塾などでの勉強時間もふくみます。

	3時間以上	2時間以上、 3時間より 少ない	1時間以上、 2時間より 少ない	30分以上、 1時間より 少ない	30分より 少ない	まったく しない
(ア) 学校がある日 (月～金)	1	2	3	4	5	6
(イ) 学校がない日 (土・日・祝日)	1	2	3	4	5	6

問7 あなたは、将来どの段階まで進学したいですか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

- |                 |              |
|-----------------|--------------|
| 1. 中学校まで        | 2. 高校まで      |
| 3. 短大・高専・専門学校まで | 4. 大学またはそれ以上 |
| 5. まだわからない      |              |

問8 問7の回答を選んだ理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

- |                       |                 |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 希望する学校や職業があるから     | 2. 自分の成績から考えて   |
| 3. 親がそう言っているから        | 4. 兄・姉がそうしているから |
| 5. まわりの先輩や友達がそうしているから | 6. 家にお金がないと思うから |
| 7. 早く働く必要があるから        | 8. その他( )       |
| 9. 特に理由はない            |                 |

問9 あなたは将来の夢や、つきたい職業がありますか。

<div style="border: 1px dashed black; display: inline-block; padding: 2px;">1. ある</div> ⇒ 問10へ	2. ない ⇒ 問11へ
--	--------------

→【問9で、1と回答した方のみ】

問10 その夢や、つきたい職業は何ですか。具体的に答えてください。

【ここからは全員の方が答えてください。】

あなたのふだんの生活についておたずねします。

問11 この1週間を振り返って、あなたは、毎日、食事をしましたか。また、夏休みはお昼ごはんを毎日食べていましたか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	まいにち 毎日食べた	しゅう 週に5、6日は 食べた	しゅう 週に3、4日は 食べた	しゅう 週に1、2日は 食べた	た 食べなかった
(ア) 朝ごはん	1	2	3	4	5
(イ) 夕ごはん	1	2	3	4	5
(ウ) 夏休みのお昼 ごはん	1	2	3	4	5

問13へ

問12へ

【問11の(ア)～(ウ)で、1つでも、3、4、5と回答した方のみ】

問12 ご飯を食べなかった理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. (朝・夕) ご飯を食べる習慣がないから	2. 朝起きられないなど、食べる時間がなかったから
3. 親に用意してもらえなかったから	4. その他 ( )
5. わからない	

【ここからは全員の方が答えてください。】

問13 この1週間を振り返って、あなたは、学校がある日に、起きた時間と寝る時間は、いつも同じ時間でしたか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

	おな じかん 同じ時間が おお 多かった	どちらかといえば おな じかん 同じ時間が おお 多かった	どちらかといえば ちが じかん 違う時間が おお 多かった	ちが じかん 違う時間が おお 多かった
(ア) 起きた時間	1	2	3	4
(イ) 寝る時間	1	2	3	4

問14 あなたは、今までに次の(ア)～(エ)のような場所を利用したことがありますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

	りよう 利用しているまたは 利用したことがある	りよう 利用したことがない が利用したいと思う	りよう 利用したことがな く、今後も利用する つもりはない
(ア) 自分や友達の家以外で、平日の夜や休日過ごすことができる場所（こども文化センターなど）	1	2	3
(イ) 自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）	1	2	3
(ウ) 学校以外で、勉強を無料でみられる場所	1	2	3
(エ) 自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所（電話やネット、SNS相談をふくむ）	1	2	3

問15へ

問17へ



【問14で、1つでも「1」と回答した方のみ】

問15 利用した場所はどこですか。（場所（会場）の名前をすべて記入してください。）

(ア) 自分や友達の家以外で、平日の夜や休日を過ごすことができる場所（子ども文化センターなど）  
⇒ \_\_\_\_\_

(イ) 自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料で安く食べることができる場所（子ども食堂など）  
⇒ \_\_\_\_\_

(ウ) 学校以外で、勉強を無料でみしてくれる場所  
⇒ \_\_\_\_\_

(エ) 自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所（電話やネット、SNS相談をふくむ）  
⇒ \_\_\_\_\_

問16 問15で回答した場所を利用したことで、次のような変化はありましたか。

（あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

1. 友達が増えた	2. 気軽に話せる大人が増えた
3. 生活の中で楽しみなことが増えた	4. ほっとできる時間が増えた
5. 栄養のある食事をとれることが増えた	6. 勉強がわかるようになった
7. 勉強する時間が増えた	8. 勉強する習慣が身についてきた
9. その他（ ）	10. 特に変化はない

【ここからは全員の方が答えてください。】

問17 この1週間の学校や塾の授業以外での、スマートフォン（携帯電話）、パソコン、タブレット端末などの利用状況について、教えてください。

a 1日あたり何時間くらい利用しましたか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

平日	1. まったく利用しない	2. 1時間未満
	3. 1時間以上、3時間未満	4. 3時間以上、5時間未満
	5. 5時間以上、8時間未満	6. 8時間以上
休日	1. まったく利用しない	2. 1時間未満
	3. 1時間以上、3時間未満	4. 3時間以上、5時間未満
	5. 5時間以上、8時間未満	6. 8時間以上

b どのようなことに利用しましたか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

- |                                 |   |
|---------------------------------|---|
| 1. 学校の友達などと、SNS やチャットをする        | 2. 電話をする  |
| 3. SNS を通じて知り合った人と、SNS やチャットをする | 4. Twitter、Instagram、Tiktok などに、自分の写真や動画などをアップする・見る |
| 5. ゲームをする                       | 6. メールをする   |
| 7. インターネットで調べものをする              | 8. その他<br>(具体的に： )                                  |

問18 あなたは、この1か月間で、放課後(授業が終わった後)から夜にかけて、だれと、どこにすることが最も多かったですか。

(それぞれ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

a だれと過ごすか

- |   |
|---|
| 1. 家の人(お父さん、お母さん、きょうだい、おじいちゃん、おばあちゃんなど) |
| 2. 塾や習い事の先生、こども文化センターなどの職員・スタッフ         |
| 3. 近所の人など、家の人以外の大人                      |
| 4. 学校の友達・先輩・後輩                          |
| 5. 近所の友達など、学校以外の友達                      |
| 6. その他の人 ( )                            |
| 7. 一人にいる                                |
| 8. わからない                                |

b どこで過ごすか

- |                        |                |
|------------------------|----------------|
| 1. 自分の家・親せきの家          | 2. 友達の家        |
| 3. 塾や習い事(スポーツの教室などを含む) | 4. こども文化センターなど |
| 5. 公園                  | 6. ゲームセンター     |
| 7. 学校(部活動を含む)          | 8. 図書館         |
| 9. 商店街・ショッピングモール       | 10. その他 ( )    |
| 11. わからない              |                |

問19 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、学校が休校となっていた時期に、あなたは、だれと、どこにいたことが多かったですか。

(それぞれ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

a だれと過ごすか

1. 家の人 (お父さん、お母さん、きょうだい、おじいちゃん、おばあちゃんなど)
2. 塾や習い事の先生、その他の施設の職員
3. 近所の人など、家の人以外の大人
4. 学校の友達・先輩・後輩
5. 近所の友達など、学校以外の友達
6. その他の人 ( )
7. 一人である
8. わからない

b どこで過ごすか

- |                        |                  |
|------------------------|------------------|
| 1. 自分の家・親せきの家          | 2. 友達の家          |
| 3. 塾や習い事 (スポーツの教室など含む) | 4. 公園            |
| 5. ゲームセンター             | 6. 商店街・ショッピングモール |
| 7. その他 ( )             | 8. わからない         |

問20 あなたは、学校の部活動や生徒会活動、地域のスポーツクラブや文化クラブに参加していますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1. 参加している ⇒問22へ | 2. 参加していない ⇒問21へ |
|-----------------|------------------|

【問20で、「2」と回答した方のみ】

問21 学校の部活動や生徒会活動、地域のスポーツクラブや文化クラブに参加していない理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 入りたいクラブ・部活動がないから
2. 塾や習い事が忙しいから
3. 費用がかかるから
4. 家の事情 (家族の世話・家事など) があるから
5. 一緒に入る友達がいないから
6. その他 ( )

【ここからは全員の方が答えてください。】

問22 この1か月を振り返って、あなたが困ったことや悩みがあったときに、相談した人はだれですか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

1. お父さんまたはお母さん	2. きょうだい
3. おじいちゃんまたはおばあちゃん	4. 学校の先生
5. こども文化センターの職員	6. 学校の友達・先輩・後輩
7. 学校以外の友達	8. スクールカウンセラー
9. その他の大人（習い事の先生、近所の大人）	10. オンラインゲームやSNSなどのネットで知り合った人
11. その他の人（ ）	12. 相談したかったが、だれにも相談できなかった
13. 相談したいと思わなかった	た

あなたがふだん感じていることなどについておたずねします。

問23 あなたは、最近の生活にどのくらい満足していますか。

（あてはまる番号1つに○をつけてください。）

0 ← まったく満足していない						じゅうぶん 十分に満足している → 10					
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	

問24 次の（ア）～（ウ）について、あなたのここ半年間くらいのことを考えて答えてください。

（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

	あてはまる	まああてはまる	あてはまらない
（ア）他人に対して親切にしている 他人の気持ちをよく考える	1	2	3
（イ）よく頭やおなか痛くなったり、気持ちが悪くなったりする	1	2	3
（ウ）他の子どもたちとよく分け合う（食べ物・ゲーム、ペンなど）	1	2	3

	あてはまる	まああてはまる	あてはまらない
(エ) たいいてい一人 <small>ひとり</small> でいる。だいたいいつも一人 <small>ひとり</small> で遊ぶか、人と付き合うことを避ける	1	2	3
(オ) 心配 <small>しんぱい</small> ごとが多く、いつも不安 <small>ふあん</small> だ	1	2	3
(カ) 誰か <small>だれ</small> が心 <small>こころ</small> を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌 <small>いや</small> な思 <small>おも</small> いをしているときなど、すすんで助 <small>たす</small> ける	1	2	3
(キ) 仲 <small>なか</small> の良い友 <small>よ</small> 達が少 <small>すく</small> なくとも1人 <small>ひとり</small> はいる	1	2	3
(ク) 落ち込んでしずんでいたり、涙 <small>なみだ</small> ぐんだりすることがよくある	1	2	3
(ケ) 同じくらの年齢 <small>ねんれい</small> の子どもからは、だいたい好 <small>す</small> かれている	1	2	3
(コ) 新しい場 <small>あた</small> らに直 <small>まへ</small> 面 <small>めん</small> すると不安 <small>ふあん</small> になり、自信 <small>じしん</small> をなくしやすい	1	2	3
(サ) 年下 <small>としした</small> の子どもたち <small>こ</small> に対してやさしくしている	1	2	3
(シ) 他 <small>た</small> の子ども <small>こ</small> から、いじめられたり、からかわれたりする	1	2	3
(ス) 自分 <small>じぶん</small> からすすんでよくお手伝 <small>てつだ</small> いをする(親 <small>おや</small> 、先生 <small>せんせい</small> ・子どもたちなど)	1	2	3
(セ) 他 <small>た</small> の子どもたち <small>こ</small> より、大人 <small>おとな</small> といる方 <small>ほう</small> がうまい	1	2	3
(ソ) こわがりで、すぐにおびえたりする	1	2	3

問25 あなたは、次の（ア）～（カ）についてどう思いますか。

（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

	そう思う おも	どちらかと言え ばそう思う おも	どちらかと言え ばそう思わない おも	そう思わない い	わからない
(ア) 大学を出ないとよい仕事につけないと思う だいがく で しごと おも	1	2	3	4	5
(イ) がんばって働かなくても生活していけると思う はたら おも せいかつ おも	1	2	3	4	5
(ウ) 希望する学校や会社に入れるか不安だ きぼう がっこう かいしゃ おも はい ふあん	1	2	3	4	5
(エ) 自分の将来が楽しみだ じぶん しょうらい たの おも	1	2	3	4	5
(オ) 自分のことが好きだ じぶん おも す	1	2	3	4	5
(カ) 自分は家族に大事にされていると思う じぶん かぞく だいじ おも	1	2	3	4	5

これで、アンケートは終わりです。

ありがとうございました。

(6) 16～30 歳子ども・若者

問1 あなたは直近1年間で、学校や職場以外で何か地域活動やボランティア活動などに参加しましたか。

1. 参加している		2. 参加していない	
↓		↓	
<p>問1-1 その活動はどのようなものですか。 (いくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 町内会、自治会などの係や役員活動</li><li>2. 地域のスポーツ活動や文化・芸術活動 (地域の野球チームやサッカーチーム、音楽・ダンスサークルに所属している等)</li><li>3. お祭や運動会など地域のイベント活動</li><li>4. 公園・道路の清掃活動や、花や木を植えるなどの緑化活動</li><li>5. 交通安全や防犯・防災活動</li><li>6. 資源回収などのリサイクル活動</li><li>7. 高齢者や障がい者、子どもや青少年のための活動</li><li>8. 国際交流に関する活動</li><li>9. その他 (具体的に: )</li></ol>	<p>問1-2 参加していない理由は何ですか。 (いくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. どのような活動が行われているか知らないから</li><li>2. 参加するきっかけが無いから</li><li>3. 一緒に参加する友人がいないから</li><li>4. 参加方法がわからないから</li><li>5. 時間や日程が合わないから</li><li>6. 参加する時間が無いから</li><li>7. 活動に興味が無いから</li><li>8. 周りで活動が盛んではないから</li><li>9. 面倒くさいから</li><li>10. その他 (具体的に: )</li><li>11. 特に理由はない</li></ol>		

問2 あなたは現在、学校や職場などで何らかの部活動やグループ・団体活動に参加していますか。

1. 参加している		2. 参加していない	
↓		↓	
<p>問2-1 その活動はどのようなものですか。 (いくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 部活動やサークル活動</li><li>2. 生徒会、学生自治会などの活動</li><li>3. 行事やイベントの運営など</li><li>4. その他 (具体的に: )</li></ol>	<p>問2-2 参加していない理由は何ですか。 (いくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. やりたいことが無いから</li><li>2. 団体活動が好きでないから</li><li>3. 一緒に活動する仲間がいないから</li><li>4. 忙しくて時間がとれないから</li><li>5. その他 (具体的に: )</li><li>6. 特に理由はない</li></ol>		

問3-1 あなたには1日の中でどれだけ自由な時間(自分の好きに利用できる時間)がありますか。選択肢から1つお選びください。

<b>【平日】</b> 1. 十分にある 2. 多少はある 3. ほとんどない 4. 全くない	<b>【休日】</b> 1. 十分にある 2. 多少はある 3. ほとんどない 4. 全くない
---	---

問3-2 あなたにはどれだけ自由な時間(自分の好きに利用できる時間)がありますか。時間数をお選びください。

<b>【平日】</b> ( ) 時間	<b>【休日】</b> ( ) 時間
-----------------------	-----------------------

問4-1 あなたは自由な時間をどのように過ごすことが多いですか。(いくつでも)

- 1. テレビ、漫画、動画サイト、雑誌などをみる
- 2. スマホや専用機器等でゲームをする
- 3. 買い物をする(ネットショッピング含む)
- 4. 読書をしたり、音楽を聴いたりする
- 5. 趣味の活動をする(音楽活動、料理、写真、スポーツ、映画鑑賞、ライブ参加 etc)
- 6. 地域の行事やイベントに参加する
- 7. 友人と遊んだり、飲食したりする
- 8. SNSやブログを見たり投稿したりする
- 9. 資格試験などの勉強をする
- 10. 1人でお酒を飲んだり、食事をしたりする
- 11. 特に何もせずに過ごしている
- 12. その他 (具体的に: )

問4-2 実際の過ごし方にかかわらず、自由な時間に求めているものは何ですか。(いくつでも)

- 1. 静かさ
- 2. やすらぎ
- 3. リフレッシュ
- 4. にぎやかさ
- 5. 楽しさ
- 6. 活動力、パワー
- 7. 友人や仲間との交流
- 8. 新たな友人との出会い (具体的に )
- 9. 暇つぶし
- 10. 自己研鑽や自己実現ができる
- 11. 趣味など好きなことができる
- 12. 一人になれる
- 13. その他

問5-1 あなたは、スマートフォン(携帯電話)、パソコン、タブレット端末などを合計して直近1週間で1日おおよそ何時間ぐらい利用しましたか(学校の授業や宿題、仕事に関する利用を除く)。

直近1週間での1日あたり利用時間 …約 ( ) 時間
----------------------------



問5-2 スマートフォン(携帯電話)、パソコン、タブレット端末などをどのようなことに利用しましたか?  
(いくつでも)

1. インターネットでの情報収集	6. 電子書籍の読書
2. SNSやチャット等を使った学校や職場等の友人・知人(いわゆる「リアル友達」)との交流	7. 映像、画像、音楽の編集
3. SNSやチャット等を使ったWEB上の友人・知人(「リアル友達」以外)との交流	8. ネットショッピング・オークション
4. ホームページ、ブログなどの作成、書き込み	9. ゲーム
5. 動画や音楽の鑑賞	10. 電話(LINE電話等を含む音声電話)
	11. テレビ電話やビデオ通話
	12. スケジュール管理やメモ
	13. 自己啓発(アプリを用いた学習等)
	14. その他
	(具体的に: )

問6 あなたは1日に何時間ぐらいSNS(LINE、Twitter、YouTube、Instagram、TikTok、Facebookなど)を利用しますか(学校の授業や宿題、仕事に関する利用を除く)。  
平日・休日それぞれ1つずつお答えください。(それぞれひとつずつ)

平日	1. 全く利用しない	4. 3時間以上、5時間未満
	2. 1時間未満	5. 5時間以上、8時間未満
	3. 1時間以上、3時間未満	6. 8時間以上
休日	1. 全く利用しない	4. 3時間以上、5時間未満
	2. 1時間未満	5. 5時間以上、8時間未満
	3. 1時間以上、3時間未満	6. 8時間以上

問7-1 あなたは、インターネットを利用して、直近1年以内で、次のようなトラブルにあったことがありますか。(いくつでも)

1. 身におぼえのない料金を請求された
2. 知らないうちに会員登録や契約をしてしまった
3. ネットショッピングなどで詐欺にあった(商品が届かない、不良品が届く)
4. オンラインゲームで被害にあった(アイテムがなくなる、ゲームができなくなる)
5. LINEやTwitter、Facebook、メールなどで、中傷やいやがらせを受けた
6. 名前や住所、メールアドレスなどの個人情報や写真を勝手に使用された
7. 迷惑メール(フィッシング詐欺メールなど)が頻繁に送られてきた
8. コンピューターウイルスに感染した
9. つきまとい、いやがらせなど、現実の犯罪やトラブルに巻き込まれた
10. その他(具体的に: )
11. 被害にあったことはない

問7-2 トラブルにあった時、誰に相談しましたか。(いくつでも)

- |             |               |               |
|-------------|---------------|---------------|
| 1. 家族       | 4. 公的な相談窓口    | 7. 誰にも相談していない |
| 2. 先生や職場の上司 | 5. 警察         | 8. その他        |
| 3. 友人や先輩・後輩 | 6. ネットの掲示板などで | (具体的に: )      |

問8 あなたが今、関心のあることは何ですか。(いくつでも)

- |                 |                         |
|-----------------|-------------------------|
| 1. 自分の将来や進路のこと  | 8. お金のこと                |
| 2. 流行やファッションのこと | 9. 生活のこと                |
| 3. 友人や仲間のこと     | 10. 仕事のこと               |
| 4. 自分の家族のこと     | 11. 趣味のこと               |
| 5. 勉強のこと        | 12. 政治や社会のこと            |
| 6. 恋愛・結婚のこと     | 13. 自分自身のこと(健康・容姿・性格など) |
| 7. 性に関すること      | 14. その他(具体的に: )         |
|                 | 15. 特に関心のあることはない        |

問9-1 あなたは、現在の経済的な生活状況をどのように感じていますか。

- |                          |
|--------------------------|
| 1. 生活に十分な余裕がある           |
| 2. 生活にある程度の余裕がある         |
| 3. 生活に余裕は無いが、それほど困ってもいない |
| 4. 生活がやや苦しい              |
| 5. 生活が大変苦しい              |
| 6. わからない                 |

問9-2 あなたは将来(5~10年後)の経済的な生活状況をどのように感じていますか。

- |                                |
|--------------------------------|
| 1. 生活に余裕が見込まれる(見通しが立っている)      |
| 2. 生活に余裕までは見込めないが、大きく困ることもなさそう |
| 3. 生活がやや苦しくなりそう                |
| 4. 生活が大変苦しくなりそう                |
| 5. わからない                       |

問10-1 あなたは次のうちどれにあたりますか?

- |                          |
|--------------------------|
| 1. 高等学校に通っている            |
| 2. 大学(院)や専門学校等に通っている     |
| 3. 正規社員や正規職員として働いている     |
| 4. 嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている |
| 5. 自営業や会社役員として働いている      |
| 6. 専業主婦・主夫である            |
| 7. 無職                    |
| 8. その他( )                |

問10-2 あなたは、将来どの学校まで行きたい(卒業したい)ですか。

1. 中学校まで	4. 大学またはそれ以上
2. 高校まで	5. まだわからない
3. 短大・高専・専門学校まで	

問10-3 前問のように回答した理由を教えてください。(いくつでも)

1. 希望する学校や仕事があるから	6. 家にお金がないから
2. 自分の成績から考えて	7. 早くはたらく必要があるから
3. 親が希望しているから	8. その他 ( )
4. 兄や姉がそうしているから	9. 特に理由はない
5. まわりの先輩や友達がそうしているから	

問11 あなたは、仕事を選ぶ際にそれぞれについてどの程度重要だと思いますか。  
(それぞれひとつずつ)

	とても重要	どちらかと言えば重要	どちらかと言えば重要ではない	重要ではない	わからない
(ア) 自分のやりたいことができる	1	2	3	4	5
(イ) 自分が身につけた知識や技術を活かせる	1	2	3	4	5
(ウ) 安定していて長く続けられる	1	2	3	4	5
(エ) 高収入である	1	2	3	4	5
(オ) 福利厚生が充実している	1	2	3	4	5
(カ) 働く先が大きな会社(大企業)又は有名な会社である	1	2	3	4	5
(キ) 残業が少ない・休みがとりやすいなどワークライフバランスが取れる	1	2	3	4	5

問12 あなたは次のことについてどう思いますか。(それぞれひとつずつ)

	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらかと 言えば そう思わ ない	そう 思わない	わから ない
(ア) 大学を出ないとよい仕事につけないと思う	1	2	3	4	5
(イ) がんばってはたらかなくても生活していけると思う	1	2	3	4	5
(ウ) 希望する学校や会社に入れるか不安だ	1	2	3	4	5
(エ) 自分の将来が楽しみだ	1	2	3	4	5
(オ) 自分のことが好きだ	1	2	3	4	5
(カ) 自分は家族に大事にされていると思う	1	2	3	4	5

問13 あなたの理想とする生き方について、次の中であなたの考えにもっとも近いものは何ですか。

1. 経済的に豊かになること	5. 家族と幸せに暮らすこと
2. 社会的な地位や名誉を得ること	6. わからない
3. 自分の好きなように暮らすこと	7. その他
4. 社会のために尽くすこと	(具体的に： )

問14-1 あなたは、過去又は、現在、家族・家庭で以下のようなつらい経験をしたことがありますか。(いくつでも)

1. 家庭が貧しかった	5. 家庭内で孤立していた(コミュニケーションが希薄だった)
2. 親又は親戚からの過度な期待(いい成績を取るよう)があった	6. 親や親戚、きょうだいの世話や介護をしないといけなかった
3. 親又は親戚から虐待をされた	7. その他( )
4. 家庭内の仲が悪かったり、親が離婚した	8. つらい経験は特にしていない

問14-2 あなたは、過去又は、現在、学校で以下のようなつらい経験をしたことがありますか。(いくつでも)

- |                          |                  |
|--------------------------|------------------|
| 1. 成績が悪かった又は授業についていけなかった | 5. いじめられた        |
| 2. クラスになじめなかった           | 6. 不登校となった       |
| 3. 先生との関係が悪かった           | 7. その他 ( )       |
| 4. 体罰やハラスメントがあった         | 8. つらい経験は特にしていない |

問14-3 あなたは、過去又は、現在、職場で以下のようなつらい経験をしたことがありますか。(いくつでも)

- |                           |                           |
|---------------------------|---------------------------|
| 1. 職場になじめなかった             | 4. ストレスで休職をとった            |
| 2. パワハラやセクハラなどのハラスメントがあった | 5. その他 ( )                |
| 3. いじめられた                 | 6. つらい経験は特にしていない又はまだ働いてない |

問15 次の各項目について、直近1か月間のあなたの気持ちはどうでしたか。(それぞれひとつずつ)

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない
(ア) 神経過敏に感じる時があった	1	2	3	4	5
(イ) 絶望的だと感じる時があった	1	2	3	4	5
(ウ) そわそわ落ち着かなく感じる時があった	1	2	3	4	5
(エ) 気分が沈んで何が起ころうとも気が晴れないように感じる時があった	1	2	3	4	5
(オ) 何をするのも面倒だと感じる時があった	1	2	3	4	5
(カ) 自分は価値のない人間だと感じる時があった	1	2	3	4	5

問16 あなたは、過去1年間で、悩みごとを誰に相談しましたか。(いくつでも)

- |                              |                                   |             |
|------------------------------|-----------------------------------|-------------|
| 1. 家族や親せき                    | 5. 専門の相談機関や相談窓口                   | 8. 誰にも相談しない |
| 2. 友人・知人や恋人                  | 6. インターネット上の不特定の人物 (SNS や匿名掲示板など) | 9. 悩みごとはない  |
| 3. 学校の同窓生 (同級生、先輩・後輩) や職場の同僚 | 7. その他 (具体的に: )                   |             |
| 4. 学校の先生や職場の上司               |                                   |             |

問17-1 あなたは、直近1か月以内に「いらいらする」「むかつく」ことはありましたか。

- |              |            |
|--------------|------------|
| 1. しょっちゅうあった | 3. あまりなかった |
| 2. ときどきあった   | 4. なかった    |

問17-2 どのようなときに「いらいらする」「むかつく」状態になりましたか。(いくつでも)

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1. 他の人から注意されたり、しかられたりしたとき          |
| 2. すれ違いざまに誰かと体がぶつかったとき             |
| 3. 物事が自分の思うように進まないとき               |
| 4. 他の人が悪いことやルールを守らないのを見たり、聞いたりしたとき |
| 5. 他の人がいじめをしているのを見たり、聞いたりしたとき      |
| 6. 友人や仲間の悪口を言われたとき                 |
| 7. その他(具体的に: )                     |

問17-3 「いらいらする」「むかつく」状態を、どのように解消しましたか。(いくつでも)

- |                 |                  |                     |
|-----------------|------------------|---------------------|
| 1. 好きなものを飲食する   | 5. 旅行に出かける       | 9. ボーッとしたり、だらだらと過ごす |
| 2. 身体を動かす       | 6. 温泉施設等に行く      | 10. わからない           |
| 3. 好きなTVや映画等を観る | 7. 家族や友人とおしゃべりする | 11. その他             |
| 4. 音楽を聴く        | 8. たくさん寝る        | (具体的に: )            |

問18 あなたは今、幸せですか。

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う         | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 5. そう思わない         |
| 3. どちらとも言えない    | 6. わからない          |

問19-1 あなたは、過去1年間で以下の青少年関連施設をどれだけ利用しましたか(学校行事や場所を指定された研修等は除く)。施設ごとに該当する選択肢をお選びください。(それぞれひとつずつ)

	定期的 に利用 した	何回 か利用 した	1度 くらい は利用 した	知っ ている が1年 以内に 利用し たこと はない	知ら ない
1. 青少年の家 (宮前区)	1	2	3	4	5
2. 八ヶ岳少年自然の家 (長野県)	1	2	3	4	5
3. 黒川青少年野外活動センター (麻生区)	1	2	3	4	5
4. 市民館・教育文化会館	1	2	3	4	5
5. 市立図書館	1	2	3	4	5
6. かわさき宙と緑の科学館 (多摩区)	1	2	3	4	5
7. 岡本太郎美術館 (多摩区)	1	2	3	4	5
8. 藤子・F・不二雄ミュージアム (多摩区)	1	2	3	4	5
9. こども文化センター (ふれあい館 (川崎区) 含む)	1	2	3	4	5
10. 子ども夢パーク (高津区)	1	2	3	4	5
11. 市営スポーツ施設 (野球場、サッカー場、テニスコート、スポーツ センター、とどろきアリーナ、等々力陸上競技場、 市営プールなど)	1	2	3	4	5
12. 学校の施設 (体育館や運動場等)	1	2	3	4	5

問 1 9 - 2 今後行きたいと思う施設(現在利用している施設も含む)をお答えください。(いくつでも)

- |                  |  |                         |
|------------------|--|-------------------------|
| 1. 青少年の家         | 8. 藤子・F・不二雄ミュージアム  | 12. 学校の施設<br>(体育館や運動場等) |
| 2. 八ヶ岳少年自然の家     | 9. こども文化センター<br>(ふれあい館含む)  | 13. 行きたい施設はない           |
| 3. 黒川青少年野外活動センター | 10. 子ども夢パーク  |                         |
| 4. 市民館・教育文化会館    | 11. 市営スポーツ施設<br>(野球場、サッカー場、テニスコ<br>ート、スポーツセンター、とどろきア<br>リーナ、等々陸上競技場、市営プ<br>ールなど) |                         |
| 5. 市立図書館         |  |                         |
| 6. かわさき宙と緑の科学館   |  |                         |
| 7. 岡本太郎美術館       |  |                         |

問 2 0 あなたは、青少年関連施設にどんなことを望みますか。(いくつでも)

- |                           |                             |
|---------------------------|-----------------------------|
| 1. 遊びやゲームがたくさんできるようにしてほしい | 6. 施設の利用料金を安くしてほしい          |
| 2. 友人や仲間ができるようにしてほしい      | 7. 開館する曜日や時間を利用しやすいようにしてほしい |
| 3. 楽しいイベントや講座を開いてほしい      | 8. 施設や設備をもっと充実させてほしい        |
| 4. 学習もののイベントや講座を開いてほしい    | 9. 1つの居場所として気ままに使用したい       |
| 5. 趣味のイベントや講座を開いてほしい      | 10. その他(具体的に: )             |
|                           | 11. 特に望むことはない               |

問 2 1 - 1 あなたが落ち着ける、または自分らしくいられる“居場所”はどこですか。(いくつでも)

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1. 自分の部屋           | 5. 地域の集まりや施設など     |
| 2. 家庭(実家や親族の家等を含む) | 6. インターネット空間       |
| 3. 学校(卒業した学校を含む)   | 7. その他<br>(具体的に: ) |
| 4. 職場(過去の職場を含む)    | 8. 特に無い            |
| 5. 地域の集まりや施設など     |                    |

問 2 1 - 2 どのような“居場所”があればいいと思いますか?(いくつでも)

- |                       |                    |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 一人で過ごせる            | 5. わからない           |
| 2. 家族や友人、仲間と過ごせる      | 6. 居場所の必要性を感じない    |
| 3. 仲間と共通の目標に向かって活動できる | 7. その他<br>(具体的に: ) |
| 4. 問題や悩みを相談できる        |                    |



問22 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、あなたが困っていることは何ですか。(いくつでも)

1. 人と交流する機会が減っている
2. 外出や遠出をすることができず、ストレスが溜まっている
3. 落ち着いて過ごせる居場所が無い
4. 仕事や学業が上手くいかない
5. 自分や家族の仕事がなくなったり、減ったりして、経済的に苦しい
6. 自分や家族が生活していけるか不安だ
7. 「新しい生活様式」に慣れない(ソーシャルディスタンス、手指の消毒、「3密」回避など)
8. 感染症に自分や家族が感染しないか不安だ
9. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)
10. 特に困っていることはない

問23-1 あなたの性別をお答えください。

1. 男
2. 女
3. その他 または 答えたくない

問23-2 あなたの年齢をお知らせください。

( \_\_\_\_\_ ) 歳

問24 あなたは、どこの区に住んでいますか。1つ選んでください。

1. 川崎区
2. 幸区
3. 中原区
4. 高津区
5. 宮前区
6. 多摩区
7. 麻生区

問25 あなたの最終学歴(卒業した学校)は以下のうちどれですか。(○は1つだけ)

1. 中学(中学部)まで
2. 高校(高等部)まで
3. 短大・高専・専門学校(専攻科)まで
4. 大学又はそれ以上
5. その他( \_\_\_\_\_ )
6. 学校に在学している

最後に、川崎市の青少年施策や本アンケート等に関して、ご意見やご要望がありましたら、自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

川崎市子ども・若者調査 報告書

---

令和3年3月

発行：川崎市こども未来局総務部企画課

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

電話：044-200-3028

FAX：044-200-3190

e-mail：45kikaku@city.kawasaki.jp

---